大正藏第 1 冊 No.26.

中 阿 含 經

Madhyama-āgama (Zhong ahan jing)

【東晉 瞿曇僧伽提婆譯】

傳為說一切有部(Sarvāstivādin)誦本

中阿含經 目錄

卷第一 (Ma.1～5)....1
(Ma.1)善法經 第一....1
(Ma.2)晝度樹經 第二(初一日誦)....4
(Ma.3)城喻經□第三(初一日誦)....5
(Ma.4)水喻經 第四(初一日誦)....8
(Ma.5)木積喻經 第五(初一日誦)....10
卷第二 (6～10)....15
(Ma.6)善人往經第六 (初一日誦) 15
(Ma.7)世間福經 第七(初一日誦)....16
(Ma.8)七日經 第八(初一日誦)....18
(Ma.9)七車經第九 (初一日誦)....21
(Ma.10)漏盡經 第十(初一日誦)....26
卷第三(Ma.11～17)....29
(Ma.11)鹽喻經 第一....29
(Ma.12)想破經 第二(想乎過反)(初一日誦) 31
(Ma.13)度經 第三(初一日誦)....34
(Ma.14)羅云經 第四 (初一日誦)....36
(Ma.15)思經 第五 (初一日誦)....40
(Ma.16)伽藍經 第六 (初一日誦)....42
(Ma.17)伽彌尼經 第七(伽音巨羅反)(初一日誦) 45
卷第四 (Ma.18～20)....47
(Ma.18)師子經 第八(初一日誦)....47
(Ma.19)尼乾經 第九 (初一日誦)....51
(Ma.20)波羅牢經 第十 (初一日誦)....56
卷第五 (Ma.21～25)....64
(Ma.21)等心經 第一....64
(Ma.22)成就戒經 第二(初一日誦)....66

(Ma.23)智經 第三(初一日誦)....69
(Ma.24)師子吼經 第四(初一日誦)....74
(Ma.25)水喻經第五(初一日誦)....77
卷第六(Ma.26～28)....79
(Ma.26)瞿尼師經 第六 (初一日誦)....79
(Ma.27)梵志陀然經 第七 (初一日誦)....82
(Ma.28)教化病經 第八(初一日誦)....89
卷第七 (Ma.29～31)....95
(Ma.29)大拘絺羅經 第九 (初一日誦)....96
(Ma.30) 象跡喻經 第十（初一日誦)....102
卷第八 (Ma.32～35)....108
(Ma.32)未曾有法經 第一....109
(Ma.33)侍者經 第二(初一日誦)....113
(Ma.34)薄拘羅經 第三 (初一日誦)....120
(Ma.35)阿修羅經 第四 (初一日誦)....123
卷第九 (Ma.36～41)....127
(Ma.36)地動經 第五 (初一日誦)....127
(Ma.37)瞻波經 第六(初一日誦)....129
(Ma.38)郁伽長者經 第七 (初一日誦)....132
(Ma.39)郁伽長者經 第八 (初一日誦)....136
(Ma.40)手長者經 第九(初一日誦)....139
(Ma.41)手長者經 第十 (初一日誦)....143
卷第十 (Ma.42～57)....144
(Ma.42)何義經 第一....145
(Ma.43)不思經第二(初一日誦)....147
(Ma.44)念經 第三(初一日誦)....148
(Ma.45)慚愧經 第四(初一日誦)....148
(Ma.46) 慚愧經 第五(初一日誦)....149
(Ma.47)戒經 第六(初一日誦)....150
(Ma.48) 戒經 第七(初一日誦)....150
(Ma49)恭敬經 第八(初一日誦)....151
(Ma.50)恭敬經 第九(初一日誦)....152
(Ma.51) 本際經 第十(初一日誦)....153
(Ma.52) 食經第十一(初一日誦)....154
(Ma.53) 食經第十二(初一日誦)....157
(Ma.54)盡智經 第十三(初一日誦)....159
(Ma.55)涅槃經 第十四(初一日誦)....160
(Ma.56) 彌醯經 第十五(初一日誦)....161

(Ma.57)即為比丘說經 第十六(初一日誦)....164
卷第十一 (Ma.58～62)....165
(Ma.58)七寶經 第一....165
(Ma.59)三十二相經 第二(初一日誦)....166
(Ma.60)四洲經 第三(初一日誦)....169
(Ma.61)牛糞喻經 第四(初一日誦)....172
(Ma.62) 頻鞞娑邏王迎佛經 第五(初一日誦)....176
卷第十二 (Ma.63～64)....180
(Ma.63) 鞞婆陵耆經 第六(初一日誦)....180
(Ma.64)天使經 第七(初一日誦)....188
卷第十三 (Ma.65～66)....194
(Ma.65)烏鳥喻經 第一....194
(Ma.66)說本經 第二(第二小土城誦)....199
卷第十四 (Ma.67～68)....205
(Ma.67)大天奈林經 第三 (第二小土城誦)....205
(Ma.68) 大善見王經 第四(第二小土城誦)....212
卷第十五 (Ma.69~70) 219
(Ma.69)三十喻經 第五(第二小土城誦)....220
(Ma.70)轉輪王經 第六(第二小土城誦)....223
卷第十六 (Ma.71)....231
(Ma.71)蜱肆經 第七(第二小土城誦)....232
卷第十七 (Ma.72)....248
(Ma.72)長壽王本起經 第一....248
卷第十八 (Ma.73~77) 261
(Ma.73)天經 第二(第二小土城誦)....261
(Ma.74)八念經 第三(第二小土城誦)....264
(Ma.75)淨不動道經 第四 (第二小土城誦)....267
(Ma.76)郁伽支羅經 第五(第二小土城誦)....270
(Ma.77)娑雞帝三族姓子經 第六(第二小土城誦)....272
卷第十九 (Ma.78~80) 277
(Ma.78)梵天請佛經 第七(第二小土城誦)....278
(Ma.79)有勝天經 第八(第二小土城誦)....283
(Ma.80)迦絺那經 第九(第二小土城誦)....289
卷第二十 (Ma.81-83) 294
(Ma.81)念身經 第十(第二小土城誦)....295
(Ma.82)支離彌梨經 第十一(第二小土城誦)....302
(Ma.83)長老上尊睡眠經 第十二(第二小土城誦)....306
卷第二十一 (Ma.84-86) 308

(Ma.84)無刺經 第十三(第二小土城誦)....308
(Ma.85)真人經 第十四 (第二小土城誦)....310
(Ma.86)說處經 第十五 (第二小土城誦)....312
卷第二十二(Ma.87~88) 319
(Ma.87)穢品經 第一....320
(Ma.88)求法經 第二(第二小土城誦)....327
卷第二十三(Ma.89~96) 330
(Ma.89)比丘請經 第三(第二小土城誦)....330
(Ma.90)知法經 第四(第二小土城誦)....333
(Ma.91)周那問見經第五(第二小土城誦)....334
(Ma.92)青白蓮華喻經 第六(第二小土城誦)....337
(Ma.93)水淨梵志經 第七(第二小土城誦)....338
(Ma.94)黑比丘經 第八(第二小土城誦)....340
(Ma.95)住法經 第九(第二小土城誦)....343
(Ma.96)無經 第十(第二小土城誦)....344
卷第二十四(Ma.97~98) 345
(Ma.97)大因經 第一....346
(Ma.98)念處經 第二(第二小土城誦)....357
卷第二十五 (Ma.99~102) 361
(Ma.99)苦陰經 第三(第二小土城誦)....362
(Ma.100)苦陰經 第四(第二小土城誦)....365
(Ma.101)增上心經 第五(第二小土城誦)....369
(Ma.102)念經 第六(第二小土城誦)....371
卷第二十六 (Ma.103~106) 373
(Ma.103)師子吼經 第七(第二小土城誦)....374
(Ma.104)優曇婆邏經 第八(第二小土城誦)....376
(Ma.105)品願經 第九(第二小土城誦)....385
(Ma.106)想經 第十(第二小土城誦)....386
卷第二十七(Ma.107~112)....388
(Ma.107) 林經 第一....388
(Ma.108) 林經 第二(第二小土城誦)....390
(Ma.109) 自觀心經 第三(第二小土城誦)....391
(Ma.110)自觀心經 第四(第二小土城誦)....392
(Ma.111)達梵行經 第五(第二小土城誦)....394
(Ma.112)阿奴波經 第六(第二小土城誦)....396
卷第二十八 (Ma.113~116)....401
(Ma.113)諸法本經 第七(第二小土城誦)....401
(Ma.114)優陀羅經 第八(第二小土城誦)....402

(Ma.115)蜜丸喻經 第九(第二小土城誦) 403
(Ma.116)瞿曇彌經 第十(第二小土城誦) 407
卷第二十九 (Ma.117~125) 412
(Ma.117)柔軟經 第一 413
(Ma.118)龍象經 第二(第三念誦) 414
(Ma.119)說處經 第三(第三念誦) 416
(Ma.120)說無常經 第四(第三念誦) 418
(Ma.121)請請經 第五(下一請字音慈井反)(第三念誦) 419
(Ma.122)瞻波經 第六(第三念誦) 421
(Ma.123)沙門二十億經 第七(第三念誦) 424
(Ma.124)八難經 第八(第三念誦) 427
(Ma.125)貧窮經 第九(第三念誦) 429
卷第三十 (Ma.126~131) 431
(Ma.126)行欲經 第十 (第三念誦) 432
(Ma.127)福田經 第十一(第三念誦) 434
(Ma.128)優婆塞經 第十二(第三念誦) 435
(Ma.129)怨家經 第十三(第三念誦) 437
(Ma.130)教曇彌經 第十四(第三念誦) 439
卷第三十一(Ma.132) 449
(Ma.132)賴吒恕羅經 第十六(第三念誦) 449
卷第三十二(Ma.133) 462
(Ma.133)優婆離經 第十七(第三念誦) 462
卷第三十三 (Ma.134~135) 474
(Ma.134)釋問經 第十八 (第三念誦) 475
(Ma.135)善生經 第十九(第三念誦) 488
卷第三十四 (Ma.136~141) 495
(Ma.136)商人求財經 第二十 (第三念誦) 495
(Ma.137)世間經 第二十一(第三念誦) 501
(Ma.138)福經 第二十二(第三念誦) 502
(Ma.139)息止道經 第二十三(第三念誦) 505
(Ma.140)至邊經 第二十四(第三念誦) 506
(Ma.141)喻經 第二十五(第三念誦) 507
卷第三十五 (Ma.142~144) 509
(Ma.142)雨勢經 第一 509
(Ma.143) 傷歌邏經 第二(第三念誦) 515
(Ma.144)算數目揵連經 第三(第三念誦) 519
卷第三十六 (Ma.145~148) 524
(Ma.145)瞿默目揵連經 第四(第三念誦) 524

(Ma.146)象跡喻經 第五(第三念誦)....530
(Ma.147)聞德經 第六(第三念誦)....535
(Ma.148)何苦經 第七(第三念誦)....538
卷第三十七 (Ma.149~153) 541
(Ma.149)何欲經 第八(第三念誦)....542
(Ma.150)欝瘦歌邏經 第九(第三念誦)....543
(Ma.151)梵志阿攝恕經 第十(第三念誦)....549
卷第三十八 (Ma.152~153) 557
(Ma.152)鸚鵡經 第一(第三念誦)....558
(Ma.153)閑提經 第二(閑音呼奸反)(第四分別誦) 567
卷第三十九 (Ma.154~156) 574
(Ma.154)婆羅婆堂經 第三(第四分別誦)....574
(Ma.155)須達哆經 第四(第三分別誦)....582
(Ma.156)梵波羅延經 第五(第四分別誦)....585
卷第四十 (Ma.157~160) 587
(Ma.157)黃蘆園經 第六(第四分別誦)....588
(Ma.158)頭那經 第七(第四分別誦)....591
(Ma.159)阿伽羅訶那經 第八(第四分別誦)....594
(Ma.160)阿蘭那經 第九(第四分別誦)....596
卷第四十一 (Ma.161)....601
(Ma.161)梵摩經 第十(第四分別誦)....601
卷第四十二 (Ma.162~164) 613
(Ma.162)分別六界經 第一....613
(Ma.162)分別六處經 第二(第四分別誦)....619
(Ma.164)分別觀法經 第三(第四分別誦)....623
卷第四十三 (Ma.165~169) 627
(Ma.165)溫泉林天經 第四(第四分別誦)....627
(Ma.166)釋中禪室尊經 第五(第四分別誦)....632
(Ma.167)阿難說經 第六(第四分別誦)....635
(Ma.168)意行經 第七(第四分別誦)....637
(Ma.169)拘樓瘦無諍經 第八(第四分別誦)....639
卷第四十四 (Ma.170~171) 644
(Ma.170)鸚鵡經 第九(第四分別誦)....645
(Ma.171)分別大業經 第十(第四分別誦)....651
卷第四十五 (Ma.172~175) 657
(Ma.172)心經 第一....657
(Ma.173)浮彌經 第二(第四分別誦)....660
(Ma.174)受法經 第三(第四分別誦)....663

(Ma.175)受法經 第四(第四分別誦)....666
卷第四十六 (Ma.176~177) 668
(Ma.176)行禪經 第五(第四分別誦)....668
(Ma.177)說經 第六(第四分別誦)....674
卷第四十七 (Ma.178~181) 678
(Ma.178)獵師經 第七(第四分別誦)....679
(Ma.179)五支物主經 第八(第四分別誦)....682
(Ma.180)瞿曇彌經 第九(第四分別誦)....685
(Ma.181)多界經 第十(第四分別誦)....688
卷第四十八 (Ma.182~186) 692
(Ma.182)馬邑經 第一....693
(Ma.183)馬邑經 第二(第四分別誦)....695
(Ma.184)牛角娑羅林經 第三(第四分別誦)....697
(Ma.185)牛角娑羅林經 第四(第四分別誦)....703
(Ma.186)求解經 第五(第四分別誦)....707
卷第四十九 (Ma.187~191) 710
(Ma.187)說智經 第一....710
(Ma.188)阿夷那經 第二(第五後誦)....715
(Ma.189)聖道經 第三(第五後誦)....718
(Ma.190)小空經 第四(第五後誦)....721
(Ma.191)大空經 第五(第五後誦)....723
卷第五十 (Ma.192~193) 729
(Ma.192)加樓烏陀夷經 第一....729
(Ma.192)牟犁破群那經 第二(第五後誦)....736
卷第五十一 (Ma.194~195) 742
(Ma.194)跋陀和利經 第三(第五後誦)....742
(Ma.195)阿濕貝經 第四(第五後誦)....749
卷第五十二 (Ma.196~198) 755
(Ma.196)周那經 第五(第五後誦)....755
(Ma.197)優婆離經 第六(第五後誦)....762
(Ma.198)調御地經 第七(第五後誦)....765
卷第五十三 (Ma.199)....770
(Ma.199)癡慧地經 第八(第五後誦)....770
卷第五十四 (Ma.200~201) 779
(Ma.200)阿梨吒經 第九(第五後誦)....780
(Ma.201)[口*荼]帝經□第十(第五後誦) 788
卷第五十五 (Ma.202~203) 799
(Ma.202)持齋經 第一....800

(Ma.203)晡利多經 第二(第五後誦)....806
卷第五十六 (Ma.204~206)....812
(Ma.204)羅摩經 第三 (第五後誦)....812
(Ma.205)五下分結經 第四 (第五後誦)....818
(Ma.206)心穢經 第五....822
卷第五十七 (Ma.207~209)....825
(Ma.207)箭毛經 第六 (第五後誦)....825
(Ma.208)箭毛經 第七....830
(Ma.209)鞞摩那修經 第八 (第五後誦)....837
卷第五十八 (Ma.210~211)....841
(Ma.210)法樂比丘尼經 第九 (第五後誦)....841
(Ma.211)大拘絺羅經 第十(第五後誦)....849
卷第五十九 (Ma.212~215)....857
(Ma.212)一切智經 第一....858
(Ma.213)法莊嚴經 第二 (第五後誦)....865
(Ma.214)鞞訶提經 第三 (第五後誦)....871
(Ma.215)第一得經 第四 (第五後誦)....876
卷第六十 (Ma.216~222)....879
(Ma.216)愛生經 第五 (第五後誦)....879
(Ma.217)八城經第六 (第五後誦)....883
(Ma.218)阿那律陀經 第七(第五後誦)....885
(Ma.219)阿那律陀經 第八 (第五後誦)....886
(Ma.220)見經 第九 (第五後誦)....888
(Ma.221)箭喻經 第十第五後誦)....890
(Ma.222)例經 第十一 (第五後誦)....893

中阿含經

卷第一 (Ma.1～5)

東晉孝武及安帝世隆安元年十一月至二年六月了於東亭寺[1]

罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆[2]譯 道祖筆受[3]

中阿含[4] 七法品第一(有十經)(初一日誦[5])[6](有五品半合有六十四經)

善法・晝度樹　　城・水・木積喻
善人往・世福　　日・車・漏盡七[7]

（一）中阿含[8]七法品[9]

(Ma.1)善法經 第一

[T1.421a13] 我聞如是。

[T1.421a13] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

---

[1]〔孝武…東亭寺〕二十三字－【宋】【元】【明】
[2] 瞿曇僧伽提婆(Gautama Saṅghadeva)(梵)，瞿曇為姓，僧伽提婆直譯為‘眾天’，罽賓國人，學通三藏，尤善阿毘曇心，為人俊朗有深鑑，儀止溫恭，前秦建元年中至長安。曾與慧遠、竺佛念等共譯諸論。計其所譯，先後共百餘萬言，道化聲譽頗高，安世高以來無人能及。其傳記見於高僧傳卷一。
[3]〔道祖筆受〕－【宋】【元】【明】
[4]〔中阿含〕－【宋】【元】【明】
[5] 一日誦(bhāṇavāra)(巴)，指結集經典時，一日誦出之經典分量。至後世，演變為一日課誦經典之分量。以中阿含而言，計有初「一日誦」(共五品半，包含六十四經)、第二「一日誦」(共四品半，包含五十二經)、第三「一日誦」(共一品半，包含三十五經)、第四「一日誦」(共二品二半品，包含三十五經)、第五「一日誦」(共三品半，包含三十六經)。
[6] 夾註（有五品…經）十字【宋】【元】【明】俱在品中經題下
[7] 日車漏盡七＝七日車漏盡【宋】【元】【明】
[8]〔中阿含〕－【明】。 《中阿含》梵語 Madhyamâgama。madhya 字義「中的」(不是長也不是短的)。āgama 字義「傳來的聖教(集)」。《中阿含》共收錄 222 經。巴利語《中部》Majjhima-nikāya M.l～152 經，P.T.S.版 Majjhima・nikāya Vol.I～III
[9] ～《增支部》A. VII. 64. Dhammaññū sutta(知法經)，No.27.《七知經》(大正 1.810a)。《增壹阿含 39.1 經》(大正 2.728b)，《般泥洹經》卷上(大正 1.176a)

[T1.421a14] 爾時，世尊告諸比丘：「若有比丘成就七法者，便於賢聖得歡喜樂，正趣漏盡。云何為七？謂比丘知法[1]、知義、知時、知節、知己、知眾、知人勝如。」

[T1.421a17]「云何比丘為知法耶？謂比丘知正經[2]、歌詠、記說、偈咋、因緣、撰錄、本起、此說、生處、廣解、未曾有法及說是[3]義，是謂比丘為知法也。若有比丘不知法者，謂不知正經、歌詠、記說、偈咋、因緣、撰錄、本起、此說、生處、廣解、未曾有法及說義，如是比丘為不知法。 若有比丘善知法者，謂知正經、歌詠、記說、偈咋、因緣、撰錄、本起、此說、生處、廣解、未曾有法及說義，是謂比丘善知法也。」

[T1.421a25]「云何比丘為知義耶？謂比丘知彼彼說義是彼義、是此義，是謂比丘為知義也。若有比丘不知義者，謂不知彼彼說義是彼義、是此義，如是比丘為不知義。 若有比丘善知義者，謂知彼彼說義是彼義、是此義，是謂比丘善知義也。」

[T1.421b02]「云何比丘為知時耶？謂比丘知是時修下相，是時修高相，是時修捨相，是謂比丘為知時也。若有比丘不知時者，謂不知是時修下相，是時修高相，是時修捨相，如是比丘為不知時。若有比丘善知時者，謂知是時修下相，是時修高相，是時修捨相，是謂比丘善知時也。」

[T1.421b08]「云何比丘為知節耶？謂比丘知節，若飲若食、若去若住、若坐若臥、若語若默、若大小便，捐除睡眠，修行正智，是謂比丘為知節也。 若有比丘不知節者，謂不知若飲若食、若去若住、若坐若臥、若語若默、若大小便，捐除睡眠，修行正智，如是比丘為不知節。若有比丘善知節者，謂知若飲若食，若去若住，若坐若臥、若語若默、若大小便，捐除睡眠，修行正智，是謂比丘善知節也。」

[T1.421b17]「云何比丘為知己耶？謂比丘自知我有爾所信、戒、聞、施、慧、辯、阿含及所得，是謂比丘為知己也。 若有比丘不知己者，謂不自知我有爾所信、戒、聞、施、慧、辯、阿含及所得，如是比丘為不知己。 若有比丘善知己者，謂自知我有爾所信、戒、聞、施、慧、辯、阿含及所得，是謂比丘善知己也。」

---

[1] 七法（知法…知人勝法）～Dhammaññū, attaññū, kālaññū, mattaññū, atthaññū, parisaññū, puggalaparaññū.

[2] 十二部經～（九部經）Sutta, Geyya, Veyyākaraṇa, Gāthā, Udāna, Itivuttaka, Jātaka, Abbhutadhamma, Vedalla.

[3]〔是〕－【宋】【元】【明】

[T1.421b24]「云何比丘為知眾耶？謂比丘知此剎利眾、此梵志眾、此居士眾、此沙門眾，我於彼眾應如是去、如是住、如是坐、如是語、如是默，是謂比丘為知眾也。若有比丘不知眾者，謂不知此剎利眾、此梵志眾、此居士眾、此沙門眾，我於彼眾應如是去、如是住、如是坐、如是語、如是默，如是比丘為不知眾。若有比丘善知眾者，謂知此剎利眾、此梵志眾、此居士眾、此沙門眾、我於彼眾應如是去、如是住、如是坐、如是語、如是默，是謂比丘善知眾也。」

[T1.421c05]「云何比丘知人勝如？謂比丘知有二種人，有信有不信，若信者勝，不信者為不如也。謂信人復有二種，有數往見比丘，有不數往見比丘，若數往見比丘者勝，不數往見比丘者為不如也。 謂數往見比丘人復有二種，有禮敬比丘，有不禮敬比丘；若禮敬比丘者勝，不禮敬比丘者為不如也。謂禮敬比丘人復有二種，有問經，有不問經；若問經者勝，不問經者為不如也。謂問經人復有二種，有一心聽經，有不一心聽經；若一心聽經者勝，不一心聽經者為不如也。謂一心聽經人復有二種，有聞持法，有聞不持法；若聞持法者勝，聞不持法者為不如也。謂聞持法人復有二種，有聞法觀義，有聞法不觀義；若聞法觀義者勝，聞法不觀義者為不如也。謂聞法觀義人復有二種，有知法、知義、向法次法、隨順於法、如法行之；有不知法、不知義、不向法次法、不隨順法、不如法行。若知法、知義、向法次法、隨順於法、如法行者勝；不知法、不知義、不向法次法、不隨順法、不如法行者為不如也。」

[T1.421c27]「謂知法、知義、向法次法、隨順於法。如法行人復有二種，有自饒益，亦饒益他，饒益多人，愍傷世間，為天、為人求義及饒益，求安隱快樂；有不自饒益，亦不饒益他，不饒益多人，不愍傷世間，不為天、不[1]為人求義及饒益，求安隱快樂。若自饒益，亦饒益他，饒益多人，愍傷世間，為天、為人求義及饒益，求安隱快樂者，此人於彼人中為極第一，為大、為上、為最、為勝、為尊、為妙。譬如因牛有乳，因乳有酪，因酪有生酥，因生酥有熟酥，因熟酥有酥精，酥精者，於彼中為極第一，為大、為上、為最、為勝、為尊、為妙、如是若人自饒益，亦饒益他，饒益多人，愍傷世間，為天、為人求義及饒益，求安隱快樂。此二人如上所說，如上分別，如上施設，此為第一，為大，為上、為最、為勝、為尊、為妙，是謂比丘知人勝如。」

[T1.422a15] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.422a17]善法經第一竟[2](一千四百二十三字)[3]。

（二）中阿含[1]七法品

[1]〔不〕－【宋】【元】【明】
[2]〔善法…竟〕六字－【明】
[3]〔一千…字〕八字－【宋】【元】【明】

(Ma.2)晝度樹經 第二 [2](初一日誦)[3]

[T1.422a19] 我聞如是。

[T1.422a19] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.422a20] 爾時，世尊告諸比丘：「若三十三天晝度樹葉萎黃，是時，三十三天悅樂歡喜，晝度樹葉不久當落。復次，三十三天晝度樹葉已落，是時，三十三天悅樂歡喜，晝度樹葉不久當還生。復次，三十三天晝度樹葉已還生，是時，三十三天悅樂歡喜，晝度樹不久當生網。復次，三十三天晝度樹已生網，是時，三十三天悅樂歡喜，晝度樹不久當生如鳥喙。復次，三十三天晝度樹已生如鳥喙，是時，三十三天悅樂歡喜，晝度樹不久當開如鉢。復次，三十三天晝度樹已開如鉢，是時，三十三天悅樂歡喜，晝度樹不久當盡敷開，若晝度樹已盡敷開，光所照，色所映，香所熏，周百由延，是時，三十三天於中夏四月，以天五欲功德具足而自娛樂，是謂三十三天於晝度樹下集會娛樂也。」

[T1.422b06] 「如是義，聖弟子亦復爾，思念出家，是時聖弟子名為葉黃，猶三十三天晝度樹葉萎黃也。復次，聖弟子剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，是時聖弟子名為葉落，猶三十三天晝度樹葉落也。復次，聖弟子離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，得初禪成就遊，是時，聖弟子名葉還生，猶三十三天晝度樹葉還生也。復次，聖弟子覺、觀已息，內靜[4]、一心，無覺、無觀，定生喜、樂，得第二禪成就遊，是時，聖弟子名為生網，猶三十三天晝度樹生網也。復次，聖弟子離於喜欲，捨無求遊，正念正智而身覺樂，謂聖所說、聖所捨、念、樂住、空，得第三禪成就遊，是時，聖弟子名生如鳥喙，猶三十三天晝度樹如鳥喙也。復次，聖弟子樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦不樂、捨、念、清淨，得第四禪成就遊，是時，聖弟子名生如鉢，猶三十三天晝度樹如鉢也。」

[T1.422b23] 「復次，聖弟子諸漏已盡，心解脫、慧解脫，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，是時，聖弟子名盡敷開，猶三十三天晝度樹盡敷開也。彼為漏盡阿羅訶比丘，三十三天集在善法正殿，咨嗟稱歎，某尊弟子於某村邑剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，諸漏已盡，心解脫、慧解脫，於現法中自知自覺，自作證成

---

[1]〔中阿含〕－【明】
[2] ～《增支部》A.7.65.Pāricchattaka、No.28.園生樹經(大正 1.810c)、《增壹阿含 39.2 經》(大正 2.729b)
[3]〔初一日誦〕－【明】
[4] 靜＝靖【宋】【元】【明】

就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，是謂漏盡阿羅訶共集會也。如三十三天晝度樹下共集會也。」

[T1.422c06] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.422c08] 晝度樹經第二竟 [1](七百五十二字)[2]，

（三）中阿含 [3]七法品

(Ma.3)城喻經□第三 [4](初一日誦)[5]

[T1.422c10] 我聞如是。

[T1.422c10] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.422c11] 爾時，世尊告諸比丘：「如王邊城七事具足，四食豐饒，易不難得，是故王城不為外敵破，唯除內自壞。」

[T1.422c13]「云何王城七事具足？謂王邊城造立樓櫓，築地使堅，不可毀壞，為內安隱，制外怨敵，是謂王城一事具足。復次，如王邊城掘鑿池塹，極使深廣，修備可依，為內安隱，制外怨敵，是謂王城二事具足。復次，如王邊城周匝通道，開除平博，為內安隱，制外怨敵，是謂王城三事具足。復次，如王邊城集四種軍力 [6]象軍、馬軍、車軍、步軍 [7]，為內安隱，制外怨敵，是謂王城四事具足。復次，如王邊城豫備軍器弓、矢、鉾、戟，為內安隱，制外怨敵，是謂王城五事具足。復次，如王邊城立守門大將，明略智辯，勇毅奇謀，善則聽入，不善則禁，為內安隱，制外怨敵，是謂王城六事具足。復次，如王邊城築立高墻，令極牢固，泥塗堊灑，為內安隱，制外怨敵，是謂王城七事具足也。」

[T1.422c28]「云何王城四食 [8]豐饒，易不難得？謂王邊城水草樵木，資有豫備，為內安隱，制外怨敵，是謂王城一食豐饒，易不難得。復次，如王邊城多收稻穀及儲畜麥，為內安隱，制外怨敵，是謂王城二食豐饒，易不難得。復次，如

---

[1]〔晝度…竟〕七字－【明】
[2]〔七百…字〕六字－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《增支部》A.7.63.Nagara(城經)，《增壹阿含 39.4 經》(大正 2.730b)
[5]〔初一日誦〕－【明】
[6]〔力〕－【宋】＊【元】＊【明】＊
[7] [>象軍馬軍車軍步軍]～Hatthārohā, assārohā, rathikā, dhanuggahā.
[8] 食＝事【宋】【元】【明】

王邊城多積秇[1]豆及大小豆，為內安隱，制外怨敵，是謂王城三食豐饒，易不難得。復次，如王邊城畜酥油、蜜及甘蔗、餳[2]、魚、鹽、脯肉，一切具[3]足，為內安隱，制外[4]怨敵，是謂王城四食豐饒，易不難得，如是王城七事具足，四食豐饒，易不難得，不為外敵破，唯除內自壞。」

[T1.423a11]「如是，若聖弟子亦得七善法，逮四增上心，易不難得。是故聖弟子不為魔王之所得便，亦不隨惡不善之法，不為染污所染，不復更受生也。云何聖弟子得七善法？謂聖弟子得堅固信，深著如來，信根已立，終不隨外沙門、梵志，若天、魔、梵及餘世間，是謂聖弟子得一善法。復次，聖弟子常行慚耻，可慚知慚，惡不善法穢汙煩惱，受諸惡報，造生死本，是謂聖弟子得二善法。復次，聖弟子常行羞愧，可愧知愧，惡不善法穢汙煩惱，受諸惡報，造生死本，是謂聖弟子得三善法。復次，聖弟子常行精進，斷惡不善，修諸善法，恒自起意，專一堅固，為諸善本，不捨方便，是謂聖弟子得四善法。復次，聖弟子廣學多聞，守持不忘，積聚博聞，所謂法者，初善、中善、竟亦善，有義有文，具足清淨，顯現梵行，如是諸法廣學多聞，翫習至千，意所惟觀，明見深達，是謂聖弟子得五善法。復次，聖弟子常行於念，成就正念，久所曾習，久所曾聞，恒憶不忘，是謂聖弟子得六善法。復次，聖弟子修行智慧，觀興衰法，得如此智，聖慧明達，分別曉了，以正盡苦，是謂聖弟子得七善法也。」

[T1.423b04]「云何聖弟子逮四增上心，易不難得？謂聖弟子離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，逮初禪成就遊，是謂聖弟子逮初增上心，易不難得。復次，聖弟子覺、觀已息，內靜[5]、一心，無覺、無觀，定生喜、樂，逮第二禪成就遊，是謂聖弟子逮第二增上心，易不難得。復次，聖弟子離於喜欲，捨無求遊，正念正智而身覺樂，謂聖所說、聖所捨、念、樂住、空，逮第三禪成就遊，是謂聖弟子逮第三增上心，易不難得。復次，聖弟子樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦不樂、捨、念、清淨，逮第四禪成就遊，是謂聖弟子逮第四增上心，易不難得。」

[T1.423b16]「如是，聖弟子得七善法，逮四增上心，易不難得。不為魔王之所得便，亦不隨惡不善之法，不為染污所染，不復更受生，如王邊城造立樓櫓，築地使堅，不可毀壞，為內安隱，制外怨敵。如是，聖弟子得堅固信，深著如來，信根已立，終不隨外沙門，梵志，若天、魔、梵及餘世間，是謂聖弟子得信樓櫓，除惡不善，修諸善法也。」

---

[1] 秇＝葫【元】【明】
[2] 餳＝糖【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 具＝充【宋】【元】【明】
[4] 外＝伏【明】
[5] 靜＝靖【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.423b23] 「如王邊城掘鑿池塹，極使深廣，修備可依，為內安隱，制外怨敵。如是，聖弟子常行慚耻，可慚知慚，惡不善法穢汙煩惱，受諸惡報，造生死本，是謂聖弟子得慚池塹，除惡不善，修諸善法也。」

[T1.423b28] 「如王邊城周匝通道，開除平博，為內安隱，制外怨敵。如是，聖弟子常行羞愧，可愧知愧，惡不善法穢污煩惱，受諸惡報，造生死本，是謂聖弟子得愧平道，除惡不善，修諸善法也。」

[T1.423c03]「如王邊城集四種軍*力象軍、馬軍、車軍、步軍，為內安隱，制外怨敵。如是，聖弟子常行精進，斷惡不善，修諸善法，恒自起意，專一堅固，為諸善本，不捨方便，是謂聖弟子得精進軍力，除惡不善，修諸善法也。」

[T1.423c08] 「如王邊城豫備[1]軍器弓、矢、鉾[2]、戟，為內安隱，制外怨敵。如是，聖弟子廣學多聞，守持不忘，積聚博聞，所謂法者，初善、中善、竟亦善，有義有文，具足清淨，顯現梵行，如是諸法廣學多聞，翫習至千，意所惟觀，明見深達[3]，是謂聖弟子得多聞軍器，除惡不善，修諸善法也。」

[T1.423c14] 「如王邊城立守門大將，明略智辯，勇毅奇謀，善則聽入，不善則禁，為內安隱，制外怨敵。如是，聖弟子常行於念，成就正念，久所曾習，久所曾聞，恒憶不忘，是謂聖弟子得念守門大將，除惡不善，修諸善法也。」

[T1.423c19] 「如王邊城築立高牆，令極牢固，泥塗堊灑，為內安隱，制外怨敵。如是，聖弟子修行智慧，觀興衰法，得如此智，聖慧明達，分別曉了，以正盡苦，是謂聖弟子得智慧牆，除惡不善，修諸善法也。」

[T1.423c23] 如王邊城水草樵木，資有豫備，為內安隱，制外怨敵。如是，聖弟子離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，逮初禪成就遊，樂住無乏，安隱快樂，自致涅槃也。」

[T1.423c27] 「如王邊城多收稻穀及儲畜麥，為內安隱，制外怨敵。如是，聖弟子覺、觀已息，內*靜、一心，無覺、無觀，定生喜、樂，逮第二禪成就遊，樂住無乏，安隱快樂，自致涅槃也。」

[T1.424a02] 「如王邊城多積秧豆及大小豆，為內安隱，制外怨敵。如是，聖弟子離於喜欲，捨無求遊，正念正智而身覺樂，謂聖所說、聖所捨、念、樂住、空，逮第三禪成就遊，樂住無乏，安隱快樂，自致涅槃也。」

---

[1] 豫備＝備豫【元】【明】
[2] 鉾＝矛【宋】【元】【明】
[3] 達＝遠【宋】【元】【明】

[T1.424a06]「如王邊城畜酥油、蜜及甘蔗、*饎、魚、鹽、脯肉，一切充足，為內安隱，制外怨敵。如是，聖弟子樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦不樂、捨、念、清淨，逮第四禪成就遊，樂住無乏，安隱快樂，自致涅槃。」

[T1.424a10] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.424a12]城喻[1]經第三竟(一千九百二字)[2]。

（四）中阿含[3]七法品

(Ma.4)水喻經 第四[4](初一日誦)[5]

[T1.424a14] 我聞如是。

[T1.424a14] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.424a15] 爾時，世尊告諸比丘：「我當為汝說七水人，諦聽，諦聽，善思念之。」

[T1.424a16] 時，諸比丘受教而聽。

[T1.424a17] 佛言：「云何為七？或有一人常臥水中，或復有人出水還沒，或復有人出水而住，或復有人出水而住，住已而觀，或復有人出水而住，住已而觀，觀已而渡[1]，或復有人出水而住，住已而觀，觀已而*渡，*渡已至彼岸，或復有人出水而住，住已而觀，觀已而*渡，*渡已至彼岸，至彼岸已，謂住岸人。如是，我當復為汝說七水喻人，諦聽，諦聽，善思念之。」

[T1.424a25] 時，諸比丘受教而聽。

[T1.424a25] 佛言：「云何為七？或有人[2]常臥[3]，或復有人出已還沒，或復有人出已而住，或復有人出已而住，住已而觀，或復有人出已而住，住已而觀，觀

---

[1]〔城喻…竟〕六字－【明】
[2]〔一千…字〕六字－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《增支部》A.7.15. Udakūpamā，No.29.《鹹水喻經》(大正 1.811c)，《增壹阿含 39.3 經》(大正 2.729c)
[5]〔初一日誦〕－【明】
[1] 渡＝度【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] （一）＋人【宋】【元】【明】
[3] 臥＋（水中）【元】【明】

已而*渡，或復有人出已而住，住已而觀，觀已而*渡，*渡已至彼岸，或復有人出已而住，住已而觀，觀已而*渡，*渡已至彼岸，至彼岸已，謂住岸梵志，此七水喻人，我略說也。」如上說，如上施設，「汝知何義，何所分別，有何因緣？」

[T1.424b05] 時，諸比丘白世尊曰：「世尊為法本，世尊為法主[1]，法由世尊，唯願說之，我等聞已，得廣知義。」

[T1.424b07] 佛便告曰：「汝等諦聽，善思念之，我當為汝分別其義。」

[T1.424b08] 時，諸比丘受教而聽。

[T1.424b09] 佛言：「云何有人常臥？謂或有人為不善法之所覆蓋，染汙所染，受惡法報，造生死本，是謂有人常臥。猶人沒溺，臥于水中，我說彼人亦復如是，是謂初水喻人，世間諦如有也。」

[T1.424b13]「云何有人出已還沒？謂人既出，得信善法，持戒、布施、多聞、智慧，修習善法，彼於後時失信不固，失持戒、布施、多聞、智慧而不堅固，是謂有人出已還沒，猶人溺水，既出還沒，我說彼人亦復如是，是謂第二水喻人，世間諦如有也。」

[T1.424b18]「云何有人出已而住？謂人既出，得信善法，持戒、布施、多聞、智慧，修習善法，彼於後時信固不失，持戒、布施、多聞、智慧，堅固不失，是謂有人出已而住，猶人溺水，出已而住，我說彼人亦復如是，是謂第三水喻人，世間諦如有也。」

[T1.424b23]「云何有人出已而住，住已而觀？謂人既出，得信善法，持戒、布施、多聞、智慧，修習善法，彼於後時信固不失，持戒、布施、多聞、智慧，堅固不失，住善法中，知苦如真，知苦習[2]、知苦滅、知苦滅道如真，彼如是知、如是見，三結便盡，謂身見、戒取、疑，三結已盡，得須陀洹，不墮惡法，定趣正覺，極受七[3]有，天上、人間七往來已，便得苦際，是謂有人出已而住，住已而觀，猶人溺水，出已而住，住已而觀，我說彼人亦復如是，是謂第四水喻人，世間諦如有也。」

[T1.424c04]「云何有人出已而住，住已而觀，觀已而*渡？謂人既出，得信善法，持戒、布施、多聞、智慧，修習善法，彼於後時信固[4]不失，持戒，布施、

---

[1] 主＝王【宋】【元】【明】
[2] 習＝集【元】【明】＊
[3] 七＝十【元】
[4] 固＝因【元】

多聞、智慧，堅固不失，住善法中，知苦如真，知苦*習、知苦滅、知苦滅道如真，如是知、如是見，三結便盡，謂身見、戒取、疑，三結已盡，婬、怒、癡薄，得一往來天上、人間，一往來已，便得苦際，是謂有人出已而住，住已而觀，觀已而*渡，猶人溺水，出已而住，住已而觀，觀已而*渡，我說彼人亦復如是，是謂第五水喻人，世間諦如有也。」

[T1.424c15]「云何有人出已而住，住已而觀，觀已而*渡，*渡已至彼岸？謂人既出，得信善法，持戒、布施、多聞、智慧，修習善法，彼於後時信固不失，持戒、布施、多聞、智慧，堅固不失，住善法中，知苦如真，知苦*習、知苦滅、知苦滅道如真，如是知、如是見，五下分結盡，謂貪欲、瞋恚、身見、戒取、疑，五下分結盡已，生於彼間，便般涅槃，得不退法，不還此世，是謂有人出已而住，住已而觀，觀已而*渡，*渡已至彼岸，猶人溺水，出已而住，住已而觀，觀已而*渡，*渡已至彼岸，我說彼人亦復如是，是謂第六水喻人，世間諦如有也。」

[T1.424c26]「云何有人出已而住，住已而觀，觀已而*渡，*渡已至彼岸，至彼岸已？謂住岸梵志，謂人既出，得信善法，持戒、布施、多聞、智慧，修習善法，彼於後時信固不失，持戒、布施、多聞、智慧，堅固不失，住善法中，知苦如真，知苦*習、知苦滅、知苦滅道如真，如是知、如是見，欲漏心解脫，有漏、無明漏心解脫，解脫已，便知解脫，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。是謂有人出已而住，住已而觀，觀已而*渡，*渡已至彼岸，至彼岸已，謂住岸梵志，猶人溺水，出已而住，住已而觀，觀已而*渡，*渡已至彼岸，至彼岸已，謂住岸人，我說彼人亦復如是，是謂第七水喻人，世間諦如有也。我向所言，當為汝說七水人者，因此故說。」

[T1.425a12] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.425a14]水喻經第四竟 [1](千三百八十八字)[2]，

（五）中阿含 [3]七法品

[1]〔水喻…竟〕六字－【明】
[2]〔千三…字〕七字－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】

(Ma.5)木積喻經 第五 [1](初一日誦)[2]

[T1.425a16] 我聞如是。

[T1.425a16] 一時，佛遊拘薩羅，在人間，與大比丘眾翼從而行。

[T1.425a17] 爾時，世尊則於中路，忽見一處有大木積，洞燃俱熾，世尊見已，便下道側，更就餘樹敷尼師檀 [3]，結加 [4]趺坐。

[T1.425a20] 世尊坐已，告諸比丘：「汝等見彼有大木積洞燃俱熾耶？」

[T1.425a21] 時，諸比丘答曰：「見也。世尊！」

[T1.425a21]世尊 [5]復告諸比丘曰：「於汝 [6]意云何？謂 [7]大木積洞燃俱熾，若抱、若坐、若臥，謂剎利女，梵志、居士、工師女，年在盛時，沐浴香薰，著明淨衣，華鬘、瓔珞嚴飾其身，若抱、若坐、若臥，何者為樂？」

[T1.425a26] 時，諸比丘白曰：「世尊！謂大木積洞燃俱熾，若抱、若坐、若臥，甚苦。世尊！謂剎利女，梵志、居士、工師女，年在盛時，沐浴香薰，著明淨衣，華鬘、瓔珞嚴飾其身，若抱、若坐、若臥，甚樂。世尊！」

[T1.425b01] 世尊告曰：「我為汝說，不令汝等學沙門失沙門道，汝欲成無上梵行者，寧抱木積洞燃俱熾，若坐、若臥，彼雖因此受苦或死，然不以是身壞命終，趣至惡處，生地獄中，若愚癡人犯戒不精進，生惡不善法，非梵行稱梵行，非沙門稱沙門，若抱剎利女，梵志、居士、工師女，年在盛時，沐浴香薰，著明淨衣，華鬘、瓔珞嚴飾其身，若坐、若臥者，彼愚癡人因是長夜不善不義，受惡法報，身壞命終，趣至惡處，生地獄中。是故汝等當觀自義、觀彼義、觀兩義，當作是念：我出家學，不虛不空，有果有報，有極安樂，生諸善處而得長壽，受人信施衣被、飲食、床褥、湯藥，令諸施主得大福祐，得大果報，得大光明者，當作是學。」

[T1.425b15] 世尊復告諸比丘曰：「於意云何？若有力士以緊索毛繩絞勒其[蹲 [1]-酋+(十/田/厶)]斷皮，斷皮已斷肉，斷肉已斷筋，斷筋已斷骨，斷骨已至髓而

---

[1] ～《增支部》A.7.68. Aggi(火經)，《增壹阿含 33.10 經》(大正 2.689a)
[2]〔初一日誦〕－【明】
[3] 檀＝壇【宋】【元】【明】
[4] 加＝跏【宋】【元】【明】
[5]〔世尊〕－【宋】【元】【明】
[6]〔汝〕－【宋】【元】【明】
[7] 謂＝諸【宋】【元】【明】
[1] [蹲-酋+(十/田/厶)]＝腽【宋】＊【元】＊【明】＊

住，若從剎利、梵志、居士、工師受其信施，按摩身體、支節、手足，何者為樂？」

[T1.425b19] 時，諸比丘白曰：「世尊！若有力士以緊索毛繩絞勒其*[摶>[蹲-酋+(十/田/厶)]]斷皮，斷皮已斷肉，斷肉已斷筋，斷筋已斷骨，斷骨已至髓而住，甚苦。世尊！若從剎利、梵志、居士、工師受其信施，按摩身體、支節、手足，甚樂。世尊！」

[T1.425b24] 世尊告曰：「我為汝說，不令汝等學沙門失沙門道，汝欲成無上梵行者，寧令力士以緊索毛繩絞勒其*[摶>[蹲-酋+(十/田/厶)]]斷皮，斷皮已斷肉，斷肉已斷筋，斷筋已斷骨，斷骨已至髓而住，彼雖因此受苦或死，然不以是身壞命終，趣至惡處，生地獄中，若愚癡人犯戒不精進，生惡不善法，非梵行稱梵行，非沙門稱沙門，從剎利、梵志、居士、工師受其信施，按摩身體、支節、手足，彼愚癡人因是長夜不善不義，受惡法報，身壞命終，趣至惡處，生地獄中。是故汝等當觀自義、觀彼義、觀兩義，當作是念：我出家學，不虛不空，有果有報，有極安樂，生諸善處而得長壽，受人信施衣被、飲食、床褥、湯藥，令諸施主得大福祐，得大果報，得大光明者，當作是學。」

[T1.425c10] 世尊復告諸比丘曰：「於意云何？若有力士以瑩磨利刀截斷其髀，若從剎利、梵志、居士、工師受信施、禮拜，恭敬將迎，何者為樂？」

[T1.425c13] 時，諸比丘白曰：「世尊！若有力士以瑩磨利刀截斷其髀，甚苦。世尊！若從剎利、梵[2]志、居士、工師受信施、禮拜，恭敬將迎，甚樂。世尊！」

[T1.425c16] 世尊告曰：「我為汝說，不令汝等學沙門失沙門道，汝欲成無上梵行者，寧令力士以瑩磨利刀截斷其髀，彼雖因此受苦或死，然不以是身壞命終，趣至惡處，生地獄中，若愚癡人犯戒不精進，生惡不善法，非梵行稱梵行，非沙門稱沙門，從剎利、梵志、居士、工師受信施、禮拜，恭敬將迎，彼愚癡人因是長夜不善不義，受惡法報，身壞命終，趣至惡處，生地獄中。是故汝等當觀自義、觀彼義、觀兩義，當作是念：我出家學，不虛不空，有果有報，有極安樂，生諸善處而得長壽，受人信施衣被、飲食床褥、湯藥，令諸施主得大福祐，得大果報，得大光明者，當作是學。」

[T1.425c29] 世尊復告諸比丘曰：「於意云何？若有力士以鐵銅鍱洞燃俱熾，纏絡其身，若從剎利、梵志、居士、工師受信施衣服，何者為樂？」

---

[2] 梵＝居【元】

[T1.426a03] 時，諸比丘白曰：「世尊！若有力士以鐵銅鍱洞燃俱熾，纏絡其身，甚苦。世尊！若從剎利、梵志、居士、工師受信施衣服，甚樂。世尊！」

[T1.426a06] 世尊告曰：「我為汝說，不令汝等學沙門失沙門道，汝欲成無上梵行者，寧令力士以鐵銅鍱洞燃俱熾，纏絡其身，彼雖因此受苦或死，然不以是身壞命終，趣至惡處，生地獄中，若愚癡人犯戒不精進，生惡不善法，非梵行稱梵行，非沙門稱沙門，從剎利、梵志、居士、工師受信施衣服，彼愚癡人因是長夜不善不義，受惡法報，身壞命終，趣至惡處，生地獄中。是故汝等當觀自義、觀彼義、觀兩義，當作是念：我出家學，不虛不空，有果有報，有極安樂，生諸善處而得長壽，受人信施衣被、飲食、床褥、湯藥，令諸施主得大福祐，得大果報，得大光明者，當作是學。」

[T1.426a19] 世尊復告諸比丘曰：「於意云何？若有力士以熱鐵鉗[1]鉗開其口，便以鐵丸洞燃俱熾，著其口中，彼熱鐵丸燒脣，燒脣已燒舌，燒舌已燒斷，燒斷已燒咽，燒咽已燒心，燒心已燒腸胃，燒腸胃已下過，若從剎利、梵志、居士、工師受信施食無量眾味，何者為樂？」

[T1.426a25] 時，諸比丘白曰：「世尊！若有力士以熱鐵*鉗鉗開其口，便以鐵丸洞燃俱熾，著其口中，彼熱鐵丸燒脣，燒脣已燒舌，燒舌已燒斷，燒斷已燒咽，燒咽已燒心，燒心已燒腸胃，燒腸胃已下過，甚苦。世尊！若從剎利、梵志、居士、工師受信施食無量眾味，甚樂。世尊！」

[T1.426b02] 世尊告曰：「我為汝說，不令汝等學沙門失沙門道，汝欲成無上梵行者，寧令力士以熱鐵鉗鉗開其口，便以鐵丸洞燃俱熾，著其口中，彼熱鐵丸燒脣，燒脣已燒舌，燒舌已燒斷，燒斷已燒咽，燒咽已燒心，燒心已燒腸胃，燒腸胃已下過，彼雖因此受苦或死，然不以是身壞命終，趣至惡處，生地獄中，若愚癡人犯戒不精進，生惡不善法，非梵行稱梵行，非沙門稱沙門，從剎利、梵志、居士、工師受信施食無量眾味，彼愚癡人因是長夜不善不義，受惡法報，身壞命終，趣至惡處，生地獄中。是故汝等當觀自義、觀彼義、觀兩義，當作是念：我出家學，不虛不空，有果有報，有極安樂，生諸善處而得長壽，受人信施衣被、飲食、床褥、湯藥，令諸施主得大福祐，得大果報，得大光明者，當作是學。」

[T1.426b19] 世尊復告諸比丘曰：「於意云何？若有力士以鐵銅床洞燃俱熾，強逼使人坐臥其上，若從剎利、梵志、居士、工師受其信施床榻臥具，何者為樂？」

---

[1] 鉗鉗＝鈷鈷【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.426b22] 時，諸比丘白曰：「世尊！若有力士以鐵銅床洞燃俱熾，強逼使人坐臥其上，甚苦。世尊！若從剎利、梵志、居士、工師受其信施床榻臥具，甚樂。世尊！」

[T1.426b25] 世尊告曰：「我為汝說，不令汝等學沙門失沙門道，汝欲成無上梵行者，寧令力士以鐵銅床洞燃俱熾，強逼使人坐臥其上，彼雖因此受苦或死，然不以是身壞命終，趣至惡處，生地獄中，若愚癡人犯戒不精進，生惡不善法，非梵行稱梵行，非沙門稱沙門，從剎利、梵志、居士、工師受其信施床榻臥具，彼愚癡人因是長夜不善不義，受惡法報，身壞命終，趣至惡處，生地獄中。是故汝等當觀自義、觀彼義、觀兩義，當作是念：我出家學，不虛不空，有果有報，有極安樂，生諸善處而得長壽，受人信施衣被、飲食、床褥、湯藥，令諸施主得大福祐，得大果報，得大光明者，當作是學。」

[T1.426c10] 世尊復告諸比丘曰：「於意云何？若有力士以大鐵銅釜洞燃俱熾，撮舉人已，倒著釜中，若從剎利、梵志、居士、工師受信施房舍，泥治堊灑，窻戶牢密，爐火熅暖[1]，何者為樂？」

[T1.426c14] 時，諸比丘白曰：「世尊！若有力士以大鐵銅釜洞燃俱熾，撮舉人已，倒著釜中，甚苦。世尊！若從剎利、梵志、居士、工師受信施房舍，泥治堊灑，窻戶牢密，爐火*熅暖，甚樂。世尊！」

[T1.426c18] 世尊告曰：「我為汝說，不令汝等學沙門失沙門道，汝欲成無上梵行者，寧令力士以大鐵銅釜洞燃俱熾，撮舉人已，倒著釜中，彼雖因此受苦或死，然不以是身壞命終，趣至惡處，生地獄中，若愚癡人犯戒不精進，生惡不善法，非梵行稱梵行，非沙門稱沙門，從剎利、梵志、居士、工師受信施房舍，泥治堊灑，窻戶牢密，爐火*熅暖，彼愚癡人因是長夜不善不義，受惡法報，身壞命終，趣至惡處，生地獄中。是故汝等當觀自義、觀彼義、觀兩義，當作是念：我出家學，不虛不空，有果有報，有極安樂，生諸善處而得長壽，受人信[2]施衣被、飲食、床褥、湯藥，令諸施主得大福祐，得大果報，得大光明者，當作是學。」

[T1.427a03] 說此法時，六十比丘漏盡結解，六十比丘捨戒還家。所以者何？世尊教誡[3]甚深，甚難，學道亦復甚深，甚難。」

[T1.427a05] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.427a07]木積喻經第五竟[1](二千六百四十四字)[2]，

---

[1] 熅暖＝溫暖【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 信＝布【元】【明】
[3] 誡＝戒【宋】【元】【明】

中阿含經卷第一(八千一百九字)[5](初一日誦)[6]

中阿含經

卷第二 (6～10)

東晉罽賓三藏瞿曇僧伽提婆譯

（六）七法品 [3]

(Ma.6)善人 [4]往經第六 (初一日誦) [5]

[T1.427a14] 我聞如是。

[T1.427a14] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.427a15] 爾時，世尊告諸比丘：「我當為汝說七善人所往至處及無餘涅槃，諦聽，諦聽，善思念之。」

[T1.427a17] 時，諸比丘受教而聽。

[T1.427a17] 佛言：「云何為七？比丘行當如是，我者無我，亦無我所，當來無我，亦無我所，已有便斷，已斷得捨，有樂不染，合會不著，如是行者，無上息迹慧之所見，然未得證，比丘行如是，往至何所，譬如燒[麩-夫+孚]，纔 [6]燃便滅，當知比丘亦復如是，少慢未盡，五下分結已斷，得中般涅槃，是謂第一善人所往至處，世間諦如有。」

---

[1]〔木積…竟〕七字－【明】
[2]〔二千…字〕八字－【宋】【元】【明】
[5]〔八千…字〕六字－【宋】【元】【明】
[6]〔初一日誦〕－【宋】【元】【明】
[3] ～《增支部》A.7.52.Purisagati(人趣)
[4] 往＋（來）【宋】【元】【明】
[5]〔初一日誦〕－【明】
[6] 纔＝裁【宋】

[T1.427a24]「復次，比丘行當如是，我者無我，亦無我所，當來無我，亦無我所，已有便斷，已斷得捨，有樂不染，合會不著，行如是者，無上息迹慧之所見，然未得證，比丘行如是，往至何所，譬若如鐵洞燃俱熾，以椎[1]打之，迸火飛空，上已即滅，當知比丘亦復如是，少慢未盡，五下分結已斷，得中般涅槃，是謂第二善人所往至處，世間諦如有。」

[T1.427c22] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行[2]。

[T1.427c24]善人往經第六竟[3](千一百三字)[4]。

（七）中阿含[5]七法品

(Ma.7)世間福經 第七(初一日誦)[6]

[T1.427c26] 我聞如是。

[T1.427c26] 一時，佛遊拘舍彌，在瞿沙羅園。

[T1.427c27] 爾時，尊者摩訶周那則於晡時從宴坐起，往詣佛所，到已作禮，却坐一面，白曰：「世尊！可得施設世間福耶？」

[T1.427c29] 世尊告曰：「可得。周那！有七世間福，得大福祐，得大果報，得大名譽，得大功德。云何為七？周那！有信族姓男、族姓女，施比丘眾房舍、堂閣，周那！是謂第一世間之福，得大福祐，得大果報，得大名譽，得大功德 。」

[T1.428a05]「復次，周那！有信族姓男、族姓女，於房舍中施與床座、氈[毯-炎+數]、氉[7] [毯-炎+登]、氈[8]褥、臥具，周那！是謂第二世間之福，得大福祐，得大果報，得大名譽，得大功德 。」

[T1.428a08]「復次，周那！有信族姓男、族姓女，於房舍中施與一切新淨妙衣，周那！是謂第三世間之福，得大福祐，得大果報，得大名譽，得大功德 。」

---

[1] 椎＝鎚【元】【明】[>＊]
[2] ＋（性空佛海德佛）【宋】【元】【明】
[3] 〔善人…竟〕七字－【明】
[4] 〔千一…字〕五字－【宋】【元】【明】
[5] 〔中阿含〕－【明】
[6] 〔初一日誦〕－【明】。～《增壹阿含 40.7 經》(大正 2.741b)
[7] 氉[[登*毛]>[毯-炎+登]]＝[登*毛]氉【元】【明】
[8] 氈＝被【宋】【元】【明】

[T1.428a11]「復次，周那！有信族姓男、族姓女，於房舍中常施於眾朝粥、中食，又以園民供給使令，若風雨寒雪，躬往園所，增施供養，諸比丘眾食已，不患風雨寒雪沽[1]漬衣服，晝夜安樂禪寂思惟，周那！是謂第七世間之福，得大福祐，得大果報，得大名譽，得大功德 。」

[T1.428a17] 「周那！信族姓男、族姓女已得此七世間福者，若去若來，若立若坐，若眠若覺，若晝若夜，其福常生，轉增轉廣，周那！譬如恒伽水，從源流出，入于大海，於其中間轉深轉廣，周那！如是信族姓男、族姓女已得此七世間福者，若去若來，若立若坐，若眠若覺，若晝若夜，其福常生，轉增轉廣 。」

[T1.428a24] 於是，尊者摩訶周那即從坐[2]起，偏袒右肩，右膝著地，長跪叉手白曰：「世尊！可得施設出世間福耶？」

[T1.428a26] 世尊告曰：「可得，周那！更有七福出於世間，得大福祐，得大果報，得大名譽，得大功德。云何為七？周那！有信族姓男、族姓女，聞如來、如來弟子遊於某處，聞已歡喜，極懷踊躍，周那！是謂第一出世間福，得大福祐，得大果報，得大名譽，得大功德 。」

[T1.428b03]「復次，周那！有信族姓男、族姓女，聞如來、如來弟子欲從彼至此，聞已歡喜，極懷踊躍，周那！是謂第二出世間福，得大福祐，得大果報，得大名譽，得大功德 。」

[T1.428b06]「復次，周那！有信族姓男、族姓女，聞如來、如來弟子已從彼至此，聞已歡喜，極懷踊躍，以清淨心躬往奉見，禮敬供養，既供養已，受三自歸於佛、法及比丘[3]眾，而受禁戒，周那！是謂第七出世間福，得大福祐，得大果報，得大名譽，得大功德 。」

[T1.428b12] 「周那！信[4]族姓男、族姓女若得此七世間之福及更有七出世間福者，其福不可數，有爾所福，爾所福果，爾所福報，唯不可限、不可量、不可得[5]大福之數，周那！譬如從閻浮洲有五河流：一曰恒伽，二曰搖尤那，三曰舍勞浮，四曰阿夷羅婆提，五曰摩企，流入大海，於其中間水不可數，有爾所升[6]斛，唯不可限，不可量、不可得大水之數，周那！如是信族姓男、族姓女若得

---

[1] 沽＝沾【宋】【元】【明】
[2] 坐＝座【宋】【元】【明】
[3] 及比丘眾＝僧眾【宋】【元】，＝僧中【明】
[4] （有）＋信【宋】【元】【明】
[5] 得＋（知）【宋】【元】【明】
[6] 升＝斗【宋】【元】【明】

此七世間之福及更有七出世間福者，其[1]福不可數，有爾所福，爾所福果，爾所福報，唯不可限、不可量、不可得大福之數 。」

[T1.428b24] 爾時，世尊而說頌曰：

恒伽之河　清淨易渡[2]　海多珍寶　眾水中王
猶若河水　世人敬奉　諸川所歸　引入大海
如是人者　施衣飲食　床榻茵褥　及諸坐具
無量福報　將至妙處　猶若河水　引入大海

[T1.428c04] 佛說如是，尊者摩訶周那及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.428c06]世間[3]福經第七竟(九百九十三字)[4]。

（八）中阿含[5]七法品

(Ma.8)七日經 第八[6](初一日誦)[7]

[T1.428c08] 我聞如是。

[T1.428c08] 一時，佛遊鞞舍離，在奈[8]氏樹園。

[T1.428c09] 爾時，世尊告諸比丘：「一切行無常，不久住法、速變易法、不可猗[9]法，如是諸行不當樂著，當患厭之，當求捨離，當求解脫。所以者何？有時不雨，當不雨時，一切諸樹、百穀、藥木皆悉枯槁，摧碎滅盡，不得常住。是故一切行無常，不久住法、速變易法、不可猗法，如是諸行不當樂著，當患厭之，當求捨離，當求解脫 。」

---

[1]〔其〕－【宋】【元】【明】
[2]　　渡＝度【宋】【元】【明】
[3]〔世間…竟〕七字－【明】
[4]〔九百…字〕六字－【宋】【元】【明】
[5]〔中阿含〕－【明】
[6] ～《增支部》A.7.62. Suriya(太陽)、No.30.《薩鉢多酥哩踰捺野經》(大正 1.811c)、《增壹阿含 40.1 經》(大正 2.735b)
[7]〔初一日誦〕－【明】
[8] 奈＝奈【宋】【元】【明】
[9] 猗＝倚【元】【明】＊

[T1.428c16]「復次，有時二日出世，二日出時，諸溝渠川流皆悉竭盡，不得常住。是故一切行無常，不久住法、速變易法、不可*猗法，如是諸行不當樂著，當患厭之，當求捨離，當求解脫 。」

[T1.428c20]「復次，有時三日出世，三日出時，諸大江河皆悉竭盡，不得常住。是故一切行無常，不久住法、速變易法，不可*猗法，如是諸行不當樂著，當患厭之，當求捨離，當求解脫 。」

[T1.428c24]「復次，有時四日出世，四日出時，諸大泉源從閻浮洲五河所出，一曰恒伽[1]，二曰搖尤那[2]，三曰舍牢浮[3]，四曰阿夷羅婆提[4]，五曰摩企[5]，彼大泉源皆悉竭盡，不得常住。是故一切行無常，不久住法、速變易法，不可*猗法，如是諸行不當樂著，當患厭之，當求捨離，當求解脫 。」

[T1.429a01]「復次，有時五日出世，五日出時，大海水減一百由延，轉減乃至七百由延，五日出時，海水餘有七百由延，轉減乃至一百由延，五日出時，大海水減一多羅樹，轉減乃至七多羅樹，五日出時，海水餘有七多羅樹，轉減乃至一多羅樹，五日出時，海水減一[6]人，轉減乃至七人，五日出時，海水餘有七人，轉減乃至一人，五日出時，海水減至頸、至肩、至腰、至[月*奇][7]、至膝、至踝，有時海水消盡，不足沒指。是故一切行無常，不久住法、速變易法、不可*猗法，如是諸行不當樂著，當患厭之，當求捨離，當求解脫 。」

[T1.429a12]「復次，有時六日出世，六日出時，一切大地須彌山王皆悉烟起，合為一烟，譬如陶師始爨竈時，皆悉烟起，合為一烟，如是六日出時，一切大地須彌山王皆悉烟起，合為一烟。是故一切行無常，不久住法、速變易法，不可*猗法，如是諸行不當樂著，當患厭之，當求捨離，當求解脫 。」

[T1.429a19]「復次，有時七日出世，七日出時，一切大地須彌山王洞燃俱熾，合為一[火*僉][8]，如是七日出時，一切大地須彌山王洞燃俱熾，合為一*[火*僉]，風吹火* [火*僉]，乃至梵天，是時，晃昱諸天始生天者，不諳[9]世間成敗，不見世間成敗，不知世間成敗，見大火已，皆恐怖毛竪而作是念：火不來至此耶？火不來至此耶？前生諸天*諳世間成敗，見世間成敗，知世間成敗，見大火已，慰勞諸天曰：「莫得恐怖，火法齊彼，終不至此，七日出時，須彌山王百由延崩

---

[1] [>恒伽]～Gaṅgā.
[2] [>搖尤那]～Yamunā.
[3] [>舍牢浮]～Sarabhū.
[4] [>阿夷羅婆提]～Aciravatī
[5] [>摩企]～Mahī.
[6] 一＝十【宋】【元】【明】
[7] [月*奇]＝胯【宋】【元】【明】
[8] [火*僉]＝焰【宋】＊【元】＊【明】＊
[9] 諳＝聞【宋】＊【元】＊【明】＊

散壞滅盡，二百由延、三百由延，乃[1]至七百由延崩散壞滅盡，七日出時，須彌彌山王及此大地燒壞消滅，無餘栽[2]燼，如燃酥油，煎熬消盡，無餘烟墨[3]，如如是七日出時，須彌山王及此大地無餘栽[4]燼。是故一切行無常，不久住法、速速變易法、不可*猗法，如是諸行不當樂著，當患厭之，當求捨離，當求解脫 。」

[T1.429b07] 「我今為汝說須彌山王當崩壞盡，誰有能信，唯見諦者耳，我今為汝說大海水當竭消盡，誰有能信，唯見諦者耳，我今為汝說一切大地當燒燃盡，誰有能信，唯見諦者耳。所以者何？比丘，昔有大師名曰善眼[5]，為外道仙仙人之所師宗，捨離欲愛，得如意足，善眼大師有無量百千弟子，善眼大師為諸弟子說梵世法[6]，若善眼大師為說梵世法時，諸弟子等有不具足奉行法者，彼彼命終已，或生四王天，或生三十三天，或生*[火*僉]摩天，或生兜率哆天，或生化樂天，或生他化樂天，若善眼大師為說梵世法時，諸弟子等設有具足奉行法者，彼修四梵室，捨離於欲，彼命終已，得生梵天，彼時善眼大師而作是念：我不應與弟子等同俱至後世共生一處，我今寧可更修增上慈，修增上慈已，命終得生晃昱天中，彼時善眼大師則於後時更修增上慈，修增上慈已，命終得生晃昱天中，善眼大師及諸弟子學道不虛，得大[7]果報。」

[T1.429b26]「諸比丘！於意云何？昔善眼大師為外道仙人之所師宗，捨離欲愛，得如意足者，汝謂異人耶？莫作斯念，當知即是我也。我於爾時名善眼大師，為外道仙人之所師宗，捨離欲愛，得如意足，我於爾時有無量百千弟子，我於爾時為諸弟子說梵世法，我說梵世法時，諸弟子等有不具足奉行法者，彼命終已，或生四王天，或生三十三天，或生*[火*僉]摩天，或生兜率哆天，或生化樂天，或生他化樂天，我說梵世法時，諸弟子等設有具足奉行法者，修四梵室，捨離於欲，彼命終已，得生梵天，我於爾時而作是念：我不應與弟子等同俱至後世共生一處，我今寧可更修增上慈，修增上慈已，命終得生晃昱天中，我於後時更修增上慈，修增上慈已，命終得生晃昱天中，我於爾時及諸弟子學道不虛，得大果報 。」

[T1.429c14] 「我於爾時親行斯道，為自饒益，亦饒益他，饒益多人，愍傷世間，為天、為人求義及饒益，求安隱快樂，爾時說法不至究竟，不究竟白淨，不究竟梵行，不究竟梵行訖，爾時不離生、老、病、死、啼哭、憂慼，亦未能得脫一切苦。」

---

[1] 〔乃〕－【宋】【元】【明】
[2] 栽＝灰【宋】，＝栽【元】【明】
[3] 墨＝燄【宋】【元】【明】
[4] 栽＝灰【宋】
[5] [>善眼]～Sunetta.
[6] 梵世法～Brahmalokasahavyatāya dhamma.
[7] 大＝天【宋】【元】【明】

[T1.429c19] 「比丘！我今出世，如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，我今自饒益，亦饒益他，饒益多人，愍傷

世間，為天、為人求義及饒益，求安隱快樂，我今說法得至究竟，究竟白淨，究竟梵行，究竟梵行訖，我今已離生、老、病、死、啼哭、憂慼，我今已得脫一切苦。」

[T1.429c26] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.429c27]七日 [1]經第八竟(千七百一字)[2]，

（九）中阿含 [3]七法品

(Ma.9)七車經第九 [6](初一日誦)[4]

[T1.429c29] 我聞如是。

[T1.429c29] 一時，佛遊王舍城，在竹林精舍 [5]，與大比丘眾共受夏坐，尊者滿慈子 [6]亦於生地受夏坐，是時，生地諸比丘受夏坐訖，過三月已，補治衣竟，攝衣持鉢，從生地出，向王舍城，展轉進前，至王舍城，住王舍城竹林精舍。

[T1.430a05] 是時，生地諸比丘詣世尊所，稽首作禮，却坐一面。

[T1.430a06] 世尊問曰：「諸比丘！從何所來，何處夏坐？」

[T1.430a07] 生地諸比丘白曰：「世尊！從生地來，於生地夏坐 。」

[T1.430a08] 世尊問曰：「於彼生地諸比丘中，何等比丘為諸比丘所共稱譽，自少欲、知足，稱說少欲、知足，自閑居，稱說閑居，自精進，稱說精進，自正念，稱說正念，自一心，稱說一心，自智慧，稱說智慧，自漏盡，稱說漏盡，自勸發渴仰，成就歡喜，稱說勸發渴仰，成就歡喜 。」

---

[1]〔七日…竟〕六字－【明】[1]
[2]〔千七百一字〕－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[6] ～《中部 24 經》Rathavinītasuttaṁ (傳車經)，《增壹阿含 39.10 經》七車經(大正 2.733c)
[4]〔初一日誦〕－【明】
[5] [>竹林精舍]～Veḷuvana.
[6] 滿慈子～Puṇṇa Mantāniputta.

[T1.430a14] 生地諸比丘白曰：「世尊！尊者滿慈子於彼生地，為諸比丘所共稱譽，自少欲、知足，稱說少欲、知足，自閑居，稱說閑居，自精進，稱說精進，自正念，稱說正念，自一心，稱說一心，自智慧，稱說智慧，自漏盡，稱說漏盡，自勸發渴仰，成就歡喜，稱說勸發渴仰，成就歡喜 。」

[T1.430a20] 是時，尊者舍梨子在眾中坐，尊者舍梨子作如是念：「世尊如事問彼生地諸比丘輩，生地諸比丘極大稱譽賢者滿慈子，自少欲、知足，稱說少欲、知足，自閑居，稱說閑居，自精進，稱說精進，自正念，稱說正念，自一心，稱說一心，自智慧，稱說智慧，自漏盡，稱說漏盡，自勸發渴仰，成就歡喜，稱說勸發渴仰，成就歡喜。」

[T1.430a27] 尊者舍梨子復作是念：「何時當得與賢者滿慈子共聚集會，問其少義，彼或能聽我之所問。」

[T1.430a29] 爾時，世尊於王舍城受夏坐訖，過三月已，補治衣竟，攝衣持鉢，從王舍城出，向舍衛國，展轉進前，至舍衛國，即住勝林給孤獨園。尊者舍梨子與生地諸比丘於王舍城共住少日，攝衣持鉢，向舍衛國，展轉進前，至舍衛國，共住勝林給孤獨園。

[T1.430b06] 是時，尊者滿慈子於生地受夏坐訖，過三月已，補治衣竟，攝衣持鉢，從生地出，向舍衛國，展轉進前，至舍衛國，亦住勝林給孤獨園。尊者滿慈子詣世尊所，稽首作禮，於如來前敷尼師檀[1]，結加[2]趺坐。

[T1.430b10] 時，尊者舍梨子問餘比丘：「諸賢！何者是賢者滿慈子耶？」

[T1.430b12] 諸比丘白尊者舍梨子：「唯然，尊者在如來前坐，白皙隆鼻，如鸚鵡觜，即其人也。」

[T1.430b13] 時，尊者舍梨子知滿慈子色貌已，則善記念。

[T1.430b14] 尊者滿慈子過夜平旦，著衣持鉢，入舍衛國而行乞食，食訖中後，還舉衣鉢，澡洗手足，以尼師檀著於肩上，至安陀林[3]經行之處，尊者舍梨子亦過夜平旦，著衣持鉢，入舍衛國而行乞食，食訖中後，還舉衣鉢，澡洗手足，以尼師*檀著於肩上，至安陀林經行之處。

[T1.430b21] 時，尊者滿慈子到安陀林，於一樹下敷尼師*檀，結*加趺坐，尊者舍梨子亦至安陀林，離滿慈子不遠，於一樹下敷尼師*檀，結*加趺坐。

---

[1] 檀＝壇【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 加＝跏【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] [>安陀林]～Andhavana.

[T1.430b24] 尊者舍梨子則於晡時從燕[1]坐起，往詣尊者滿慈子所，共相問訊，却坐一面，則問尊者滿慈子曰：「賢者，從沙門瞿曇修梵行耶？」

[T1.430b27] 答曰：「如是。」

[T1.430b27]「云何，賢者，以戒淨故，從沙門瞿曇修梵行耶？」

[T1.430b28] 答曰：「不也。」

[T1.430b29] 「以心淨故、以見淨故、以疑蓋淨故、以道非道知見淨故、以道跡知見淨故、以道跡斷智淨故，從沙門瞿曇修梵行耶？」

[T1.430c02] 答曰：「不也。」

[T1.430c03] 又復問曰：「我向問賢者從沙門瞿曇修梵行耶？則言如是，今問賢者以戒淨故從沙門瞿曇修梵行耶？便言不也。以心淨故、以見淨故、以疑蓋淨故、以道非道知見淨故、以道跡知見淨故、以道跡斷智淨故，從沙門瞿曇修梵行耶？便言不也。然以何義，從沙門瞿曇修梵行耶？」

[T1.430c09] 答曰：「賢者，以無餘涅槃[2]故　。」

[T1.430c10] 又復問曰：「云何，賢者，以戒淨故，沙門瞿曇施設無餘涅槃耶？」

[T1.430c11] 答曰：「不也。」

[T1.430c12]「以心淨故、以見淨故、以疑蓋淨故、以道非道知見淨故、以道跡知見淨故、以道跡斷智淨故，沙門瞿曇施設無餘涅槃耶？」

[T1.430c14] 答曰：「不也。」

[T1.430c15] 又復問曰：「我向問仁。云何賢者以戒淨故，沙門瞿曇施設無餘涅槃耶？賢者言不，以心淨故、以見淨故、以疑蓋淨故、以道非道知見淨故、以道跡知見淨故、以道跡斷智淨故，沙門瞿曇施設無餘涅槃耶？賢者言不，賢者所說為是何義。云何得知　。」

[T1.430c21]答曰：「賢者，若以戒淨故，世尊沙門瞿曇施設無餘涅槃者，則以有餘稱說無餘，以心淨故、以見淨故、以疑蓋淨故、以道非道知見淨故、以道跡知見淨故、以道跡斷智淨故，世尊沙門瞿曇施設無餘涅槃者，則以有餘稱說無餘，賢者，若離此法，世尊施設無餘涅槃者，則凡夫亦當般涅槃，以凡夫亦離

---

[1] 燕＝宴【宋】【元】【明】
[2] 無餘涅槃～Anupādā parinibbāna.

此法故，賢者，但以戒淨故，得心淨，以心淨故，得見淨，以見淨故，得疑蓋淨，以疑蓋淨故，得道非道知見淨，以道非道知見淨故，得道跡知見淨，以道跡知見淨故，得道跡斷智淨，以道跡斷智淨故，世尊沙門瞿曇施設無餘涅槃也。」

[T1.431a04]「賢者，復聽，昔拘薩羅王波斯匿[1]在舍衛國，於婆雞帝[2]有事，彼作是念：以何方便，令一日行，從舍衛國至婆雞帝耶？復作是念：我今寧可從舍衛國至婆雞帝，於其中間布置七車。爾時，即從舍衛國至婆雞帝，於其中間布置七車，布七車已，從舍衛國出，至初車，乘初車，至第二車，捨初車，乘第一車[3]，至第三車，捨第二車，乘第三車，至第四車，捨第三車，乘第四車，至第五車，捨第四車，乘第五車，至第六車，捨第五車，乘第六車，至第七車[4]，乘第七車，於一日中至婆雞帝　。」

[T1.431a15]「彼於婆雞帝辦其事已，大臣圍繞，坐王正殿，群臣白曰：『云何，天王，以一日行從舍衛國至婆雞帝耶？』王曰：『如是。』『云何天王，乘第一車一日從舍衛國至婆雞帝耶？』王曰：『不也。』『乘第二車乘第三車至第七車，從舍衛國至婆雞帝耶？』王曰：『不也。』『云何賢者？　』拘薩羅王波斯匿群臣復問，當云何說　。」

[T1.431a22]「王答群臣：『我在舍衛國，於婆雞帝有事，我作是念：以何方便，令一日行，從舍衛國至婆雞帝耶？我復作是念：我今寧可從舍衛國至婆雞帝，於其中間布置七車，我時即從舍衛國至婆雞帝，於其中間布置七車，布七車已，從舍衛國出，至初車，乘初車，至第二車，捨初車，乘第二車，至第三車，捨第二車，乘第三車，至第四車，捨第三車，乘第四車，至第五車，捨第四車，乘第五車，至第六車，捨第五車，乘第六車，至第七*車，乘第七車，於一日中至婆雞帝　。』」

[T1.431b04]「如是，賢者，拘薩羅王波斯匿答對群臣所問如是。如是，賢者，以戒淨故，得心淨，以心淨故，得見淨，以見淨故，得疑蓋淨，以疑蓋淨故，得道非道知見淨，以道非道知見淨故，得道跡知見淨，以道跡知見淨故，得道跡斷智淨，以道跡斷智淨故，世尊施設無餘涅槃。」

[T1.431b10] 於是，尊者舍梨子問尊者滿慈子：「賢者名何等，諸梵行人云何稱賢者耶？」

---

[1] [>波斯匿]～Pasenadi.
[2] ～Saketa. 娑雞帝
[3] 一＝二【宋】【元】【明】
[4] 車＋（捨第六車）【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.431b12] 尊者滿慈子答曰：「賢者，我號[1]滿也。我母名慈，故諸梵行人稱我為滿慈子 。」

[T1.431b14] 尊者舍梨子歎曰：「 善哉！善哉！賢者滿慈子，為如來弟子，所作智辯聰明決定，安隱無畏，成就調御，逮大辯才，得甘露幢，於甘露界自作證成就遊，以問賢者甚深義盡能報故，賢者滿慈子，諸梵行人為得大利，得值賢者滿慈子，隨時往見，隨時禮拜，我今亦得大利，隨時往見，隨時禮拜，諸梵行人應當縈衣頂上戴賢者滿慈子，為得大利，我今亦得大利，隨時往見，隨時禮拜 。」

[T1.431b23] 尊者滿慈子問尊者舍梨子：「賢者名何等，諸梵行人云何稱賢者耶？」

[T1.431b24] 尊者舍梨子答曰：「賢者，我字優波鞮舍，[2]我母名舍梨，故諸梵行人稱我為舍梨子 。」

[T1.431b26] 尊者滿慈子歎曰：「我今與世尊弟子[3]共論而不知，第二尊共論而不知，法將共論而不知，轉法輪復轉弟子共論而不知，若我知尊者舍梨子者，不能答一句，況復爾所深論。善哉！善哉！尊者舍梨子！為如來弟子，所作智辯聰明決定，安隱無畏、成就調御、逮大辯才、得甘露幢，於甘露界自作證成就遊。以尊者甚深甚深問故。尊者舍梨子！諸梵行人為得大利，得值尊者舍梨子！隨時往見，隨時禮拜，我今亦得大利，隨時往見，隨時禮拜，諸梵行人應當縈衣頂上戴尊者舍梨子！為得大利，我今亦得大利，隨時往見，隨時禮拜 。」

[T1.431c10] 如是二賢更相稱說，更相讚善已，歡喜奉行。即從坐[4]起，各還所止。

[T1.431c12]七車[5]經第九竟(二千五百八字)[6]。

（一○）中阿含[7]七法品

---

[1] 號＝父號【宋】，＝字【元】【明】
[2] 優波鞮舍＝憂波鞮舍【宋】【元】【明】～Upatissa.
[3] （等）＋弟【宋】【元】【明】
[4] 坐＝座【宋】【元】【明】
[5]〔七車…竟〕六字－【明】
[6]〔二千…字〕六字－【宋】【元】【明】
[7]〔中阿含〕－【明】

(Ma.10)漏盡經 第十 [1](初一日誦)[2]

[T1.431c14] 我聞如是。

[T1.431c14] 一時，佛遊拘樓瘦，在劒磨瑟曇拘樓都邑。

[T1.431c15] 爾時，世尊告諸比丘：「以知[3]、以見故諸漏得盡，非不知、非不見也。云何以知、以見故諸漏得盡耶？有正思惟、不正思惟[4]，若不正思惟者，未生欲漏[5]而生，已生便增廣，未生有漏、無明漏而生，已生便增廣，若正思惟者，未生欲漏而不生，已生便滅，未生有漏、無明漏而不生，已生便滅 。」

[T1.431c21]「然凡夫愚人不得聞正法，不值真知識，不知聖法，不調御聖法，不知如真法。不正思惟者，未生欲漏而生，已生便增廣，未生有漏、無明漏而生，已生便增廣。正思惟者，未生欲漏而不生，已生便滅，未生有漏、無明漏而不生，已生便滅。不知如真法故，不應念法而念，應念法而不念，以不應念法而念，應念法而不念故，未生欲漏而生，已生便增廣，未生有漏、無明漏而生，已生便增廣。」

[T1.432a01]「多聞聖弟子得聞正法，值真知識，調御聖法，知如真法，不正思惟者，未生欲漏而生，已生便增廣，未生有漏、無明漏而生，已生便增廣，正思惟者，未生欲漏而不生，已生便滅，未生有漏、無明漏而不生，已生便滅，知如真法已，不應念法不念，應念法便念，以不應念法不念，應念法便念故，未生欲漏而不生，已生便滅，未生有漏、無明漏而不生，已生便滅也。」

[T1.432a10]「有七斷漏、煩惱、憂慼法。云何為七？有漏從見[6]斷，有漏從護[7]斷，有漏從離[8]斷，有漏從用[9]斷，有漏從忍[10]斷，有漏從除[11]斷，有漏從思惟[12]斷。」

---

[1] 《中部 2 經》Sabbāsava-Sutta (一切漏經)，No.31.《一切流攝守因經》(大正 1.813a)，《增壹阿含 40.6 經》淨諸漏(大正 2.740a)

[2]〔初一日誦〕－【明】

[3] 以知…得盡～jānato passato āsavāna khayaṃ.

[4] 正思惟不正思惟～yoniso manasikāraṃ ayoniso m.

[5] 欲漏～Āsava.

[6] 見～Dassana.

[7] 護～Saṃvara.

[8] 離～Parivajjana.

[9] 用～Paṭisevanā.

[10] 忍～Adhivāsana.

[11] [6]除～Vinodana.[4]

[12] 思惟～Bhāvana.

[T1.432a13]「云何有漏從見斷耶？凡夫愚人不得聞正法，不值真知識，不知聖法，不調御聖法，不知如真法，不正思惟故，便作是念：我有過去世，我無過去世，我何因過去世，我云何過去世耶？我有未來世，我無未來世，我何因未來世，我云何未來世耶？自疑己身何謂，是云何是耶？今此眾生從何所來，當至何所，本何因有，當何因有，彼作如是不正思惟，於六見中隨其見生而生真有神，此見生而生真無神，此見生而生神見神，此見生而生神見非神，此見生而生非神見神，此見生而生此是神，能語、能知、能作、教[1]、作[2]起、教起，生彼彼處，受善惡報，定無所從來，定不有、定不當有，是謂見之弊，為見所動，見結所繫，凡夫愚人以是之故，便受生、老、病、死苦也。」

[T1.432a28]「多聞聖弟子得聞正法，值真知識，調御聖法，知如真法，知苦如真，知苦習[3]、知苦滅、知苦滅道如真，如是知如真已，則三結盡，身見、戒取、疑三結盡已，得須陀洹，不墮惡法，定趣正覺，極受七有，天上人間七往來已，便得苦際，若不知見者，則生煩惱、憂慼，知見則不生煩惱、憂慼，是謂有漏從見斷也。」

[T1.432b06]「云何有漏從護斷耶？比丘，眼見色護眼根者，以正思惟不淨觀也。不護眼根者，不正思惟以淨觀也。若不護者，則生煩惱、憂慼，護則不生煩惱、憂慼，如是耳、鼻、舌、身、意知法，護意根者，以正思惟不淨觀也。不護意根者，不正思惟以淨觀也。若不護者，則生煩惱、憂慼，護則不生煩惱、憂慼，是謂有漏從護斷也。」

[T1.432b13]「云何有漏從離斷耶？比丘，見惡象則當遠離，惡馬、惡牛、惡狗、毒蛇、惡道、溝坑、屏廁、江河、深泉、山巖、惡知識、惡朋友、惡異道、惡閭里、惡居止，若諸梵行與其同處，人無疑者而使有疑，比丘者應當離，惡知識、惡朋友、惡異道、惡閭里、惡居止，若諸梵行與其同處，人無疑者而使有疑，盡當遠離，若不離者，則生煩惱、憂慼，離則不生煩惱、憂慼，是謂有漏從離斷也。」

[T1.432b21]「云何有漏從用斷耶？比丘，若用衣服，非為利故，非以貢高故，非為嚴飾故，但為蚊虻、風雨、寒熱故，以慚愧故也。若用飲食，非為利故，非以貢高故，非為肥悅故，但為令身久住，除煩惱、憂慼故，以行梵行故，欲令故病斷，新病不生故，久住安隱無病故也。若用居止房舍、床褥、臥具，非為利故，非以貢高故，非為嚴飾故，但為疲惓[4]得止息故，得靜[5]坐故也。若用湯藥，非為利故，非以貢高故，非為肥悅故，但為除病惱故，攝御命根故，安隱

---

[1] （能）＋教【宋】【元】【明】
[2] 作＝能【宋】【元】【明】
[3] 習＝集【宋】【元】【明】
[4] 惓＝倦【宋】【元】【明】
[5] 靜＝靖【宋】【元】【明】

無病故，若不用者，則生煩惱、憂慼，用則不生煩惱、憂慼，是謂有漏從用斷也。」

[T1.432c05]「云何有漏從忍斷耶？比丘，精進斷惡不善，修善法故，常有起想，專心精勤，身體、皮肉、筋骨、血髓皆令乾竭，不捨精進，要得所求，乃捨精進，比丘！復當[1]堪忍飢渴、寒熱、蚊虻蠅蚤虱，[2]風日所逼，惡聲捶杖，亦能忍之，身遇諸病[3]，極為苦痛，至命欲絕，諸不可樂，皆能堪忍，若不忍者，則生煩惱、憂慼，忍則不生煩惱、憂慼，是謂有漏從忍斷也。」

[T1.432c13]「云何有漏從除斷耶？比丘，生欲念不除斷捨離，生恚念、害念不除斷捨離，若不除者，則生煩惱、憂慼，除則不生煩惱、憂慼，是謂有漏從除斷也。」

[T1.432c16]「云何有漏從思惟斷耶？比丘，思惟初念覺支，依離、依無欲、依於滅盡，起[4]至出要，法精進喜息定，思惟第七捨覺支，依離依無欲依於滅盡，趣至出要，若不思惟者，則生煩惱、憂慼，思惟則不生煩惱、憂慼，是謂有漏從思惟斷也[5]。」

[T1.432c21]「若使比丘有漏從見斷則以見斷，有漏從護斷則以護斷，有漏從離斷則以離斷，有漏從用斷則以用斷，有漏從忍斷則以忍斷，有漏從除斷則以除斷，有漏從思惟斷則以思惟斷，是謂比丘一切漏盡諸結已解，能以正智而得苦際[6]。」

[T1.432c27] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.432c29]漏盡[7]經第十竟[8](千六百二十一字)[9]。

中阿含經卷第二[10] (七千九百三十四字)[11]

中阿含[1]七法品第一竟(一萬六千四十三字)[2](初一日誦)[3]，

---

[1] 復當＝當復【宋】【元】【明】
[2]〔虱〕－【明】
[3] 病＝疾【宋】【元】【明】
[4] 起＝趣【宋】【元】【明】
[5]〔也〕－【宋】【元】【明】
[6] 際＝除【宋】【元】【明】
[7]〔漏盡…竟〕六字－【明】
[8] 十竟＝竟十【元】
[9]〔千六…字〕七字－【宋】【元】【明】
[10] 卷末題在品末題次行【宋】【元】【明】
[11]〔七千…字〕八字－【宋】【元】【明】

中阿含經

卷第三(Ma.11～17)

東晉罽賓三藏瞿曇僧伽提婆譯

業相應品第二(有十經)(初一日誦)

鹽喻、恕破、度　羅云[4]、思、伽藍
伽彌尼、師子　　尼乾[5]、波羅牢

（一一）中阿含[6]業相應品

(Ma.11)鹽喻經 第一[7]

[T1.433a13] 我聞如是。

[T1.433a13] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.433a14] 爾時，世尊告諸比丘：「隨[8]人所作業則受其報。如是，不行梵行不得盡苦，若作是說，隨人所作業則受其報。如是，修行梵行便得盡苦。所以者何？若使有人作不善業，必受苦果地獄之報。云何有人作不善業，必受苦果地獄之報，謂有一人不修身、不修戒、不修心、不修慧，壽命甚短，是謂有人作不善業，必受苦果地獄之報，猶如有人以[　>一]兩鹽投少水中，欲令水鹹不可得飲，於意云何？此一兩鹽能令少水鹹[[11]>]叵[9]飲耶？」

---

[1]〔中阿含〕－【明】
[2]〔一萬…字〕八字－【宋】【元】【明】
[3]〔初一日誦〕－【明】
[4] 云＝雲【明】
[5] 乾＝揵【明】
[6]〔中阿含〕－【明】
[7] ～《增支部》A.3.99.Loṇaphala (鹽果)
[8] 隨…其報～Yathā yathā’yaṃ puriso kammaṃ karoti tathā tathā taṃ paṭisamvediyati.
[9] 叵＝不可【宋】【元】【明】

[T1.433a24] 答曰：「如是。世尊！」

[T1.433a24]「所以者何？鹽多水少。是故能令鹹不可飲。如是，有人作不善業，必受苦果地獄之報。云何有人作不善業，必受苦果地獄之報，謂有一人不修身、不修戒、不修心、不修慧、壽命甚短，是謂有人作不善業，必受苦果地獄之報。 」

[T1.433a29]「復次，有人作不善業，必受苦果現法之報。云何有人作不善業，必受苦果現法之報，謂有一人修身、修戒、修心、修慧，壽命極長，是謂有人作不善業，必受苦果現法之報，猶如有人以一兩鹽投恒水中，欲令水鹹不可得飲，於意云何？此一兩鹽能令恒水鹹[1]叵飲耶？」

[T1.433b07] 答曰：「不也。世尊！」

[T1.433b07]「所以者何？恒水甚多，一兩鹽少。是故不能令鹹叵飲。如是，有人作不善業，必受苦果現法之報。云何有人作不善業，必受苦果現法之報，謂有一人修身、修戒、修心、修慧、壽命極長，是謂有人作不善業，必受苦果現法之報。」

[T1.433b12]「復次，有人作不善業，必受苦果地獄之報。云何有人作不善業，必受苦果地獄之報，謂有一人不修身、不修戒、不修心、不修慧，壽命甚短，是謂有人作不善業，必受苦果地獄之報，猶如有人奪取他羊。云何有人奪取他羊，謂奪羊者，或王、王臣，極有威勢，彼羊主者，貧賤無力，彼以無力故便種種承望，叉手求索而作是說，尊者，可見還羊，若見與直，是謂有人奪取他羊。如是，有人作不善業，必受苦果地獄之報。云何有人作不善業，必受苦果地獄之報，謂有一人不修身、不修戒、不修心、不修慧，壽命甚短，是謂有人作不善業，必受苦果地獄之報。」

[T1.433b25]「復次，有人作不善業，必受苦果現法之報。云何有人作不善業，必受苦果現法之報，謂有一人修身、修戒、修心、修慧，壽命極長，是謂有人作不善業，必受苦果現法之報，猶如有人雖竊他羊，主還奪取。云何有人雖竊他羊，主還奪取，謂竊羊者貧賤無勢，彼羊主者或王、王臣，極有威力，以有力故收縛竊者，還奪取羊，是謂有人雖竊他羊，主還奪取。如是，有人作不善業，必受苦果現法之報。云何有人作不善業，必受苦果現法之報，謂有一人修身、修戒、修心、修慧，壽命極長，是謂有人作不善業，必受苦果現法之報。」

[T1.433c09]「復次，有人作不善業，必受苦果地獄之報。云何有人作不善業，必受苦果地獄之報，謂有一人不修身、不修戒、不修心、不修慧，壽命甚短，是

[1]〔鹽喻…竟〕六字－【明】

謂有人作不善業，必受苦果地獄之報，猶如有人負他五錢，為主所縛，乃至一錢亦為主所縛。云何有人負他五錢，為主所縛，乃至一錢亦為主所縛，謂負債人貧無力勢，彼貧無力故，負他五錢，為主所縛，乃至一錢亦為主所縛，是謂有人負他五錢，為主所縛，乃至一錢亦為主所縛。如是，有人作不善業，必受苦果地獄之報。云何有人作不善業，必受苦果地獄之報，謂有一人不修身、不修戒、不修心、不修慧，壽命甚短，是謂有人作不善業，必受苦果地獄之報。」

[T1.433c23]「復次，有人作不善業，必受苦果現法之報。云何有人作不善業，必受苦果現法之報，謂有一人修身、修戒、修心、修慧，壽命極長，是謂有人作不善業，必受苦果現法之報，猶如有人雖負百錢，不為主所縛，乃至千萬亦不為主所縛。云何有人雖負百錢，不為主所縛，乃至千萬亦不為主所縛，謂負債人產業無量，極有勢力，彼以是故，雖負百錢，不為主所縛，乃至千萬亦不為主所縛，是謂有人雖負百錢，不為主所縛，乃至千萬亦不為主所縛。如是，有人作不善業，必受苦果現法之報。云何有人作不善業，必受苦果現法之報，謂有一人修身、修戒、修心、修慧，壽命極長，是謂有人作不善業，必受苦果現法之報，彼於現法設受善惡業報而輕微也。」

[T1.434a09] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.434a11]鹽[1]喻經第一竟(千三百五十一字)[2]，

（一二）中阿含[3]業相應品

(Ma.12)愬破經 第二[4](愬乎過反)[5](初一日誦)[6]

[T1.434a14] 我聞如是。

[T1.434a14] 一時，佛遊釋羇瘦[7]迦維羅衛[8]，在尼拘類園[9]。

---

[1]〔鹽喻…竟〕六字－【明】
[2]〔千三…字〕七字－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《增支部》A.4.195. Vappa (愬破)
[5] 愬乎過反＝愬音乎過反【宋】【元】，＝愬乎過切【明】
[6]〔初一日誦〕－【明】
[7] 釋羇瘦～Sakkesu.
[8] 迦維羅衛＝加維羅衛【宋】【元】【明】～Kapilavatthu.
[9] [>尼拘類園]～Nigrodhārāma.

[T1.434a15] 爾時，尊者大目[1]乾[2]連與比丘眾俱，於中食後有所為故，集坐講堂，是時，尼[3]*乾有一弟子，釋種，名曰恝破[4]，中後彷徉至尊者大目*乾連所，共相問訊，却坐一面。

[T1.434a19] 於是，尊者大目*乾連問如此事：「於恝破意云何。若有比丘身、口、意護，汝頗見是處，因此生不善漏，令至後世耶？」

[T1.434a21] 恝破答曰：「大目*乾連。若有比丘身、口、意護，我見是處，因此生不善漏令至後世，大目*乾連。若有前世行不善行，因此生不善漏令至後世。」

[T1.434a25]後[5]時，世尊靜處宴坐，以淨天耳出過於人，聞尊者大目*乾連與尼*乾弟子釋恝破共論如是，世尊聞已，則於晡時從宴坐起，往詣講堂比丘眾前，敷座而坐。

[T1.434a28] 世尊坐已，問曰：「目*乾連，向與尼*乾弟子釋恝破共論何事，復以何事集坐講堂。」

[T1.434b02] 尊者大目*乾連白曰：「世尊！我今日與比丘眾俱，於中食後有所為故，集坐講堂，此尼*乾弟子釋恝破中後彷徉來至我所，共相問訊，却坐一面，我問如是，於恝破意云何。若有比丘身、口、意護，汝頗見是處，因此生不善漏令至後世耶？尼*乾弟子釋恝破即答我言。若有比丘身、口、意護，我見是處，因此生不善漏令至後世，大目*乾連。若有前世行不善行，因此生不善漏令至後世。世尊！向與尼*乾弟子釋恝破共論如是，以此事故，集坐講堂。」

[T1.434b13] 於是，世尊語尼*乾弟子釋恝破曰：「若我所說是者，汝當言是，若不是者，當言不是，汝有所疑，便可問我，沙門瞿曇！此有何事，此有何義，隨我所說，汝若能受者，我可與汝共論此事。」

[T1.434b17] 恝破答曰：「沙門瞿曇！若所說是，我當言是，若不是者，當言不是，我若有疑，當問瞿曇！瞿曇！此有何事，此有何義，隨沙門瞿曇所說，我則受持，沙門瞿曇但當與我共論此事。」

[T1.434b21] 世尊問曰：「於恝破意云何？若有比丘生不善身行、漏、煩熱[6]、憂慼，彼於後時不善身行滅，不更造新業，棄捨故業，即於現世便得究竟而無

---

[1] [>大目乾連]～Mahāmoggallāna.
[2] 乾＝揵【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] ～Nigaṇṭhasāvaka.
[4] [>恝破]～Vappa.
[5] 後＝彼【宋】【元】【明】
[6]〔熱〕－【宋】【元】【明】

煩熱，常住不變，謂聖慧所見、聖慧所知也。身生不善、口行不善、意行不善無明行、漏、煩熱、憂慼，彼於後時不善無明行滅，不更造新業，棄捨故業，即於現世便得究竟而無煩熱，常住不變，謂聖慧所見、聖慧所知。云何，恕破！如是比丘身、口、意護，汝頗見是處，因此生不善漏令至後世耶？」

[T1.434c02] 恕破答曰：「瞿曇！若有比丘如是身、口、意護，我不見是處，因此生不善漏令至後世。」

[T1.434c04] 世尊歎曰：「善哉，恕破！云何？恕破！若有比丘無明已盡，明已生，彼無明已盡，明已生，生後身覺便知生後身覺，生後命覺便知生後命覺，身壞命終，壽已畢訖，即於現世一切所覺便盡止息，當知至竟冷[1]，猶如恕破[2]，因樹有影，若使有人持利斧來斫彼樹根，段段斬截，破為十分，或為百分，火燒成灰，或大風吹，或著水中，於恕破意云何？影因樹有，彼影從是已絕其因，滅不生耶？」

[T1.434c13] 恕破答曰：「如是，瞿曇！」

[T1.434c14]「恕破！當知比丘亦復如是，無明已盡，明已生，彼無明已盡，明已生，生後身覺便知生後身覺，生後命覺便知生後命覺，身壞命終，壽已畢訖，即於現世一切所覺便盡止息，當知至竟*冷，恕破！比丘如是正心解脫，便得六善住處。云何為六？恕破！比丘眼見色，不喜不憂，捨求無為，正念正智，恕破！比丘如是正心解脫，是謂得第一善住處。如是，耳、鼻、舌、身、意知法，不喜不憂，捨求無為，正念正智，恕破！比丘如是正心解脫，是謂得第六善住處，恕破！比丘如是正心解脫，得此六善住處。」

[T1.434c25] 恕破白曰：「如是，瞿曇！多聞聖弟子如是正心解脫，得六善住處。云何為六？瞿曇！多聞聖弟子眼見色，不喜不憂，捨求無為，正念正智，瞿曇！多聞聖弟子如是正心解脫，是謂得第一善住處。如是，耳、鼻、舌、身、意知法，不喜不憂，捨求無為，正念正智。如是，瞿曇！多聞聖弟子如是正心解脫，是謂得第六善住處。如是，瞿曇！多聞聖弟子如是正心解脫，得此六善住處。」

[T1.435a04] 於是，恕破白世尊曰：「瞿曇！我已知，善逝，我已解，瞿曇猶明目人，覆者仰之，覆者發之，迷者示道，暗中施明。若有眼者便見於色，沙門瞿曇亦復如是，為我無量方便說法現義，隨其諸[3]道。世尊！我今自歸於佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

---

[1] 冷＝令【明】＊
[2] 猶如恕破＝和破猶如【明】
[3] 其諸＝甚深【宋】【元】【明】

[T1.435a11]「世尊！猶如有人養不良馬，望得其利，徒自疲勞而不獲利。世尊！我亦如是，彼愚癡尼乾不善曉了，不能解知，不識良田而不自審，長夜奉敬供養禮事，望得其利，唐苦無益。世尊！我今再自歸佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.435a17]「世尊！我本無知，於愚癡尼*乾有信有敬，從今日斷。所以者何？欺誑我故。世尊！我今三自歸佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.435a21] 佛說如是，釋恕破及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.435a23]恕[1]破經第二竟(一千五百二字)[2]。

[>（一三）]中阿含[3]業相應品

(Ma.13)度經 第三[4](初一日誦)[5]

[T1.435a25] 我聞如是。

[T1.435a25] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.435a26] 爾時，世尊告諸比丘：「有三度處異姓、異名、異宗、異說，謂有慧者善受、極持而為他說，然不獲利。云何為三？或有沙門、梵志如是見、如是說，謂人所為一切皆因宿命造，復有沙門、梵志如是見、如是說，謂人所為一切皆因尊祐造，復有沙門、梵志如是見、如是說，謂人所為一切皆無因無緣。」

[T1.435b03]「於中若有沙門、梵志如是見、如是說，謂人所為一切皆因宿命造者，我便往彼，到已，即問：『諸賢，實如是見、如是說，謂人所為一切皆因宿命造耶？』彼答言：『爾。』我復語彼：『若如是者，諸賢等皆是殺生。所以者何？以其一切皆因宿命造故。如是，諸賢皆是不與取、邪婬、妄言，乃至邪見。所以者何？以其一切皆因宿命造故。諸賢！若一切皆因宿命造，見如真者，於內因內，作以不作，都無欲、無方便。諸賢！若於作以不作，不知如真

---

[1]〔恕…竟〕六字－【明】
[2]〔一…[六>字]〕六字－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《增支部》A.3.61. Tittha (度處)
[5]〔初一日誦〕－【明】

者，便失正念、無正智，則無可以教，如沙門法如是說者，乃可以理伏彼沙門、梵志。』」

[T1.435b15]「於中若有沙門、梵志如是見、如是說，謂人所為一切皆因。」尊祐造者，我便往彼，到已，即問：『諸賢，實如是見、如是說，謂人所為一切皆因尊祐造耶？』彼答言：『爾。』我復語彼：『若如是者，諸賢等皆是殺生。所以者何？以其一切皆因尊祐造故。如是，諸賢皆是不與取、邪婬、妄言，乃至邪見。所以者何？以其一切皆因尊祐造故。諸賢！若一切皆因尊祐造，見如真者，於內因內，作以不作，都無欲、無方便。諸賢！若於作以不作，不知如真者，便失正念、無正智，則無可以教，如沙門法如是說者，乃可以理伏彼沙門、梵志。』」

[T1.435b27]「於中若有沙門、梵志如是見、如是說，謂人所為一切皆無因無緣者，我便往彼，到已，即問：『諸賢，實如是見、如是說，謂人所為一切皆無因無緣耶？』彼答言：『爾。』我復語彼：『若如是者，諸賢等皆是殺生。所以者何？以其一切皆無因無緣故。如是，諸賢皆是不與取、邪婬、妄言，乃至邪見。所以者何？以其一切皆無因無緣故。諸賢！若一切皆無因無緣，見如真者，於內因內，作以不作，都無欲、無方便。諸賢！若於作以不作，不知如真者，便失正念、無正智，則無可以教，如沙門法如是說者，乃可以理伏彼沙門、梵志。』」

[T1.435c09]「我所自知、自覺法，為汝說者，若沙門、梵志，若天、魔、梵及餘世間皆無能伏，皆無能穢，皆無能制。云何我所自知、自覺法為汝說，非為沙門、梵志，若天、魔、梵及餘世間所能伏、所能穢、所能制，謂有六處法，我所自知、自覺為汝說，非為沙門、梵志，若天、魔、梵及餘世間所能伏、所能穢、所能制，復有六界法，我所自知、自覺為汝說，非為沙門、梵志，若天、魔、梵及餘世間所能伏、所能穢、所能制。」

[T1.435c18]「云何六處法，我所自知、自覺為汝說，謂眼處，耳、鼻、舌、身、意處，是謂六處法，我所自知、自覺為汝說也。云何六界法，我所自知、自覺為汝說，謂地界，水、火、風、空、識界，是謂六界法，我所自知、自覺為汝說也。」

[T1.435c23]「以六界合故，便生母胎，因六界便有六處，因六處便有更樂，因更樂便有覺，比丘。若有覺者便知苦如真，知苦習[1]、知苦滅、知苦滅道如真。云何知苦如真，謂生苦、老苦、病苦、死苦、怨憎會苦、愛別離苦、所求不得苦、略五盛陰苦，是謂知苦如真。云何知苦*習如真，謂此愛受當來有樂欲，共俱求彼彼有，是謂知苦*習如真。云何知苦滅如真，謂此愛受當來有樂欲，共俱

[1] 習＝集【元】【明】＊

求彼彼有斷無餘，捨、吐盡、無欲、滅、止、沒，是謂知苦滅如真。云何知苦滅道如真，謂八支聖道正見，乃至正定，是為八，是謂知苦滅道如真，比丘！當知苦如真，當斷苦*習，當苦滅作證，當修苦滅道，若比丘知苦如真，斷苦*習，苦滅作證，修苦滅道者，是謂比丘一切漏盡，諸結已解，能以正智而得苦際[1]。」

[T1.436a09] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.436a11]度[2]經第三竟(千一百八十四字)[3]，

[>（一四）中阿含[4]業相應品

(Ma.14)羅[5]云[6]經 第四 (初一日誦)[7]

[T1.436a13] 我聞如是。

[T1.436a13] 一時，佛遊王舍城，在竹林迦蘭哆園。

[T1.436a14] 爾時，尊者羅*云[8]亦遊王舍城溫泉林中。於是，世尊過夜平旦，著衣持鉢入王舍城而行乞食，乞食已竟，至溫泉林羅*云住處，尊者羅*云遙見佛來，即便往迎，取佛衣鉢，為敷坐[9]具，汲水洗足，佛洗足已，坐羅*云座。

[T1.436a19] 於是，世尊即取水器，瀉[10]留少水已，問曰：「羅*云，汝今見我取此水器，*瀉留少水耶？」

[T1.436a21] 羅*云答曰：「見也。世尊！」

[T1.436a21] 佛告羅*云，我說彼道少，亦復如是，謂知已妄言，不羞不悔，無慚無愧，羅*云，彼亦無惡不作。是故，羅*云！當作是學。」不得戲笑妄言。

---

[1] 際＝除【宋】【元】【明】
[2]〔度…竟〕五字－【明】
[3]〔千…字〕七字－【宋】【元】【明】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～M. 61. Rāhulovada Sutta(Ambalaṭṭhika- rāhulovādasuttaṁ) (菴婆孽林教誡羅睺羅經)
[6] 云＝雲【明】＊
[7]〔初一日誦〕－【明】
[8] [>尊者羅云]～Ayasmā Rāhulo.
[9] 坐＝座【宋】【元】【明】
[10] 瀉＝寫【宋】【元】【明】[>＊]

[T1.436a24] 世尊復取此少水器，盡*瀉棄已，問曰：「羅*云！汝復見我取少水器，盡*瀉棄耶？」

[T1.436a26] 羅*云答曰：「見也。世尊！」

[T1.436a27] 佛告羅*云，我說彼道盡棄，亦復如是，謂知已妄言，不羞不悔，無慚無愧，羅*云！彼亦無惡不作。是故，羅*云！當作是學。」不得戲笑妄言。

[T1.436b01] 世尊復取此空水器，覆著地已，問曰：「羅*云！汝復見我取空水器，覆著地耶？」

[T1.436b03] 羅*云答曰：「見也。世尊！」

[T1.436b03] 佛告羅*云：「我說彼道覆，亦復如是，謂知已妄言，不羞不悔，無慚無愧，羅*云！彼亦無惡不作。是故羅*云，當作是學。不得戲笑妄言。」

[T1.436b06] 世尊復取此覆水器，發令仰已，問曰：「羅*云！汝復見我取覆水器，發令仰耶？」

[T1.436b08] 羅*云答曰：「見也。世尊！」

[T1.436b08] 佛告羅*云：「我說彼道仰，亦復如是，謂知已妄言，不羞不悔，不[1]慚不愧，羅*云！彼亦無惡不作。是故，羅云！當作是學。不得戲笑妄言。」

[T1.436b12] 「羅*云！猶如王有大象入陣鬪時，用前脚、後脚、尾、骼[2]、脊、脇、項[3]、額、耳、牙，一切皆用，唯護於鼻，象師見已，便作是念：此王大象猶故惜命。所以者何？此王大象入陣鬪時，用前脚、後脚、尾、*骼、脊、脇、*項、額、耳、牙，一切皆用，唯護於鼻，羅*云！若王大象入陣鬪時，用前脚、後脚、尾、*骼、脊、脇、*項、額、耳、牙、鼻，一切盡用，象師見已，便作是念：此王大象不復惜命。所以者何？此王大象入陣鬪時，用前脚、後脚、尾、*骼、脊、脇、*項、額、耳、牙、鼻，一切盡用，羅*云！若王大象入陣鬪時，用前脚、後脚、尾、*骼、脊、脇、*項、額、耳、牙、鼻，一切盡用，羅*云！我說此王大象入陣鬪時，無惡不作。如是，羅*云！謂知已妄言，不羞不悔，無慚無愧，羅*云！我說彼亦無惡不作。是故，羅*云！當作是學。不得戲笑妄言。」

[T1.436b27] 於是，世尊即說頌曰：「

---

[1] 不＝無【宋】【元】【明】
[2] [骼>骼]＝[骼>骼]【宋】【元】【明】[>＊]
[3] 項＝頭【宋】＊【元】＊【明】＊

人犯一法[1]　　謂妄言是　不畏後世　　無惡不作
寧噉鐵丸　　其熱如火　不以犯戒　　受世信施
若畏於苦　　不愛念者　於隱顯處　　莫作惡業
若不善業　　已作今作　終不得脫　　亦無避處

[T1.436c07] 佛說頌已，復問羅*云：「於意云何？人用鏡為。」

[T1.436c08] 尊者羅*云答曰：「世尊！欲觀其面，見淨不淨。」

[T1.436c09]「如是，羅*云！若汝將作身業，即觀彼身業，我將作身業，彼身業為淨，為不淨，為自為，為他，羅*云！若觀時則知，我將作身業，彼身業淨，或自為，或為他，不善與苦果受於苦報，羅*云！汝當捨彼將作身業，羅*云！若觀時則知，我將作身業，彼身業不淨，或自為，或為他，善與樂果受於樂報，羅*云！汝當受彼將作身業。」

[T1.436c16] 「羅*云！若汝現作身業，即觀此身業，若我現作身業，此身業為淨，為不淨，為自為，為他，羅*云！若觀時則知，我現作身業，此身業淨，或自為，或為他，不善與苦果受於苦報，羅*云！汝當捨此現作身業，羅*云！若觀時則知，我現作身業，此身業不淨，或自為，或為他，善與樂果受於樂報，羅*云！汝當受此現作身業。」

[T1.436c23]「羅*云！若汝已作身業，即觀彼身業，若我已作身業，彼身業已過去滅盡變易，為淨，為不淨，為自，或[2]為他，羅*云！若觀時則知，我已作身業，彼身業已過去滅盡變易，彼身業淨，或自為，或為他，不善與苦果受於苦報，羅*云！汝當詣善知識、梵行人所，彼已作身業，至心發露，應悔過說，慎莫覆藏，更善持[3]護，羅*云！若觀時則知，我已作身業，彼身業已過去滅盡變易，彼身業不淨，或自為，或為他，善與樂果受於樂報，羅*云！汝當晝夜歡喜，住正念正智，口業亦復如是。」

[T1.437a05]「羅*云！因過去行故，已生意業，即觀彼意業，若因過去行故，已生意業，彼意業為淨，為不淨，為自為，為他，羅*云！若觀時則知，因過去行故，已生意業，彼意業已過去滅盡變易，彼意業淨，或自為，或為他，不善與苦果受於苦報，羅*云！汝當捨彼過去意業，羅*云！若觀時則知，因過去行故，已生意業已過去滅盡變易，彼意業不淨，或自為，或為他，善與樂果受於樂報，羅*云！汝當受彼過去意業。」

---

[1] ～Dhammapada 306, 308 參照
[2] 或＝為【宋】【元】【明】
[3] 持＝將【宋】【元】【明】

[T1.437a14]「羅*云！因未來行故，當生意業，即觀彼意業，若因未來行故，當生意業，彼意業為淨，為不淨，為自為，為他，羅*云！若觀時則知，因未來行故，當生意業，彼意業淨，或自為，或為他，不善與苦果受於苦報，羅*云！汝當捨彼未來意業，羅*云！若觀時則知，因未來行故，當生意業，彼意業不淨，或自為，或為他，善與樂果受於樂報，羅*云！汝當受彼未來意業。」

[T1.437a22]「羅*云！因現在行故，現生意業，即觀此意業，若因現在行故，現生意業，此意業為淨，為不淨，為自為，為他，羅*云！若觀時則知，因現在行故，現生意業，此意業淨，或自為，或為他，不善與苦果受於苦報，羅*云！汝當捨此現在意業，羅*云！若觀時則知，因現在行故，現生意業，此意業不淨，或自為，或為他，善與樂果受於樂報，羅*云！汝當受此現在意業。」

[T1.437b02]「羅*云！若有過去沙門、梵志、身、口、意業，已觀而觀，已淨而淨，彼一切即此身、口、意業，已觀而觀，已淨而淨，羅*云！若有未來沙門、梵志，身、口、意業，當觀而觀，當淨而淨，彼一切即此身、口、意業，當觀而觀，當淨而淨，羅*云。若有現在沙門、梵志，身、口、意業，現觀而觀，現淨而淨，彼一切即此身、口、意業，現觀而觀，現淨而淨，羅*云！汝當如是學，我亦即此身、口、意業，現觀而觀，現淨而淨。」

[T1.437b10] 於是，世尊復說頌曰：

身業口業　意業羅*云　善不善法　汝應常觀
知已妄言　羅*云莫說　禿[1]從他活　何可妄言
覆沙門法　空無真實　謂說妄言　不護其口
故不妄言　正覺之子　是沙門法　羅*云當學
方方豐樂　安隱無怖　羅*云至彼　莫為害他

[T1.437b21] 佛說如是，尊者羅*云及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.437b23]羅[2]*云經第四竟(一千八百三十二字)[3]。

（一五）中阿含[4]業相應品

[1] 禿＝本【宋】【元】【明】
[2]〔羅…竟〕六字－【明】
[3]〔一…字〕八字－【宋】【元】【明】
[4]〔中阿含〕－【明】

(Ma.15)思經 第五[1] (初一日誦)[2]

[T1.437b25] 我聞如是。

[T1.437b25] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.437b26] 爾時，世尊告諸比丘：「若有故作業，我說彼必受其報，或現世受，或後世受若不故作業，我說此不必受報，於中，身故作三業，不善與苦果受於苦報，口有四業，意有三業，不善與苦果受於苦報。」

[T1.437c01]「云何身故作三業，不善與苦果受於苦報，一曰殺生，極惡飲血，其欲傷害，不慈眾生，乃至蜫蟲，二曰不與取，著他財物以偷意取，三曰邪婬，彼或有父所護，或母所護，或父母所護，或姊妹所護，或兄弟所護，或婦父母所護，或親親所護，或同姓所護，或為他婦女，有鞭罰恐怖，及有名假賃至華鬘[3]，親犯如此女，是謂身故作三業，不善與苦果受於苦報。」

[T1.437c09]「云何口故作四業，不善與苦果受於苦報，一曰妄言，彼或在眾，或在眷屬，或在王家，若呼彼問，汝知便說，彼不知言知，知言不知，不見言見，見言不見，為己為他，或為財物，知已妄言，二曰兩舌，欲離別他，聞此語彼，欲破壞此，聞彼語此，欲破壞彼，合者欲離，離者復離，而作群黨，樂於群黨，稱說群黨，三曰麤言，彼若有言，辭氣麤獷，惡聲逆耳，眾所不喜，眾所不愛，使他苦惱，令不得定，說如是言，四曰綺語，彼非時說，不真實說，無義說，非法說，不止息說，又復稱歎不止息事，違背於時而不善教，亦不善訶，是謂口故作四業，不善與苦果受於苦報。」

[T1.437c22]「云何意故作三業，不善與苦果受於苦報，曰貪伺，見他財物諸生活具，常伺求望，欲令我得，二曰嫉恚，意懷憎嫉而作是念：彼眾生者，應殺、應縛、應收、應免、應逐擯出，其欲令彼受無量苦，三曰邪見，所見顛倒，如是見、如是說，無施、無齋、[與>無]有呪說，無善惡業，無善惡業報，無此世彼世，無父無母，世無真人往至善處、善去、善向，此世彼世，自知、自覺、自作證成就遊，是謂意故作三業，不善與苦果受於苦報。」

[T1.438a03] 「多聞聖弟子捨身不善業，修身善業，捨口、意不善業，修口、意善業，彼多聞聖弟子如是具足精進戒德，成就身淨業，成就口、意淨業，離恚離諍，除去睡眠，無調[4]、貢高，斷疑、度慢，正念正智，無有愚癡，彼心與慈

---

[1] ～《增支部》A.10.207. Cetanā (思)，A.10.208. karaja-kāya (業所生身)

[2] 〔初一日誦〕－【明】

[3] 鬘＝鬚【宋】

[4] 調＝掉【元】【明】

俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，彼作是念：我本此心少不善修，我今此心無量善修，多聞聖弟子其心如是無量善修，若本因惡知識，為放逸行，作不善業，彼不能將去，不能穢汙，不復相隨。若有幼少童男、童女，生便能行慈心解脫者，而於後時，彼身、口、意寧可復作不善業耶？」

[T1.438a17] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.438a17]「所以者何？自不作惡業，惡業何由生，是以男女在家、出家，常當勤修慈心解脫，若彼男女在家、出家修慈心解脫者，不持此身往至彼世，但隨心去此，比丘應作是念：我本放逸，作不善業，是一切今可受報，終不後世。若有如是行慈心解脫無量善與者，必得阿那含，或復上得。如是，悲、喜、心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，彼作是念：我本此心少不善修，我今此心無量善修，多聞聖弟子其心如是無量善修，若本因惡知識，為放逸行，作不善業，彼不能將去，不能穢汙，不復相隨。若有幼少童男、童女，生便能行捨心解脫者，而於後時，彼身、口、意寧可復作不善業耶？」

[T1.438b03] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.438b03]「所以者何？自不作惡業，惡業何由生，是以男女在家、出家，常當勤修捨心解脫，若彼男女在家、出家修捨心解脫者，不持此身往至彼世，但隨心去此，比丘應作是念：我本放逸，作不善業，是一切今可受報，終不後世。若有如是行捨心解脫無量善修者，必得阿那含，或復上得。」

[T1.438b10] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.438b12] 思[1]經第五竟(一千七十四字)[2]，

（一六）中阿含[3]業相應品

[1]〔思…竟〕五字－【明】
[2]〔[>一]千…字〕[七>六]字－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】

(Ma.16)伽藍經[1] 第六 (初一日誦)[2]

[T1.438b14] 我聞如是。

[T1.438b14] 一時，佛遊伽藍[3]園[4]，與大比丘眾俱，至羇舍子[5]，住羇舍子村北尸攝恕林中。

[T1.438b16] 爾時，羇舍子伽藍人聞沙門瞿曇釋種子捨釋宗族，出家學道，遊伽藍*園，與大比丘眾俱，來至此羇舍子，住羇舍子村北尸攝恕林中，彼沙門瞿曇有大名稱，周聞十方，沙門瞿曇如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼於此世，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，自知自覺，自作證成就遊，彼若說法，初善、中善、竟亦善，有義有文，具足清淨，顯現梵行，若見如來、無所著、等正覺，尊重禮拜，供養承事者，快得善利，我等應共往見沙門瞿曇！禮事供養。

[T1.438b27] 羇舍子伽藍人聞已，各與等類眷屬相隨從羇舍子出，北行至尸攝恕林，欲見世尊禮事供養，往詣佛已，彼伽藍人或稽首佛足，却坐一面。或問訊佛，却坐一面。或叉手向佛，却坐一面。或遙見佛已，默然而坐。彼時，伽藍人各坐已定，佛為說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，默然而住。

[T1.438c05] 時，伽藍人，佛為說法，勸發渴仰，成就歡喜已，各從坐起，偏袒著衣，叉手向佛，白世尊曰：「瞿曇！有一沙門梵志來詣伽藍！但自稱歎己所知見，而呰毀他所知所見，瞿曇！復有一沙門梵志來詣伽藍！亦自稱歎己所知見，而呰毀他所知所見，瞿曇！我等聞已，便生疑惑，此沙門梵志何者為實，何者為虛。」

[T1.438c12] 世尊告曰：「伽藍！汝等莫生疑惑。所以者何？因有疑惑，便生猶豫，伽藍！汝等自無淨智，為有後世，為無後世，伽藍！汝等亦無淨智，所作有罪，所作無罪。伽藍！當知諸業有三，因習本有，何云為三，伽藍！謂貪是諸業，因習本有，伽藍！恚及癡是諸業，因習本有，伽藍！貪者為貪所覆，心無厭足，或殺生，或不與取，或行邪婬，或知已妄言，或復飲酒，伽藍！恚者為恚所覆，心無厭足，或殺生，或不與取，或行邪婬，或知已妄言，或復飲

---

[1] ～《增支部》A.3.65. Kesaputtiyā (於羇舍子〔村〕)
[2] 〔初一日誦〕－【明】
[3] [>伽藍]～Kālāmā.
[4] 園＝國【宋】＊【元】＊【明】＊
[5] [>羇舍子]～Kosaputta.

酒，伽藍！癡者為癡所覆，心無厭足，或殺生，或不與取，或行邪婬，或知已妄言，或復飲酒。」

[T1.438c24] 「伽藍！多聞聖弟子離殺斷殺，棄捨刀杖，有慚有愧，有慈悲心，饒益一切，乃至蜫蟲，彼於殺生淨除其心。伽藍！多聞聖弟子離不與取，斷不與取，與之乃取，樂於與取，常好布施，歡喜無悋，不望其報，彼於不與取淨除其心。伽藍！多聞聖弟子離非梵行，斷非梵行，勤修梵行，精勤妙行，清淨無穢，離欲斷婬，彼於非梵行淨除其心。伽藍！多聞聖弟子離妄言，斷妄言，真諦言，樂真諦，住真諦不移動，一切可信，不欺世間，彼於妄言淨除其心。」

[T1.439a05] 「伽藍！多聞聖弟子離兩舌，斷兩舌，行不兩舌，不破壞他，不聞此語彼，欲破壞此，不聞彼語此，欲破壞彼，離者欲合，合者歡喜，不作群黨，不樂群黨，不稱群黨，彼於兩舌淨除其心。伽藍！多聞聖弟子離麤言，斷麤言。若有所言，辭氣麤獷，惡聲逆耳，眾所不喜，眾所不愛，使他苦惱，令不得定，斷如是言。若有所說，清和柔潤，順耳入心，可喜可愛，使他安樂，言聲具了，不使人畏，令他得定，說如是言，彼於麤言淨除其心。伽藍！多聞聖弟子離綺語，斷綺語，時說、真說[1]、法說、義說、止息說，樂止息說，事順時得宜，善教善訶，彼於綺語淨除其心。伽藍！多聞聖弟子離貪伺，斷貪伺，心不懷諍，見他財物諸生活具，不起貪伺，欲令我得，彼於貪伺淨除其心。」

[T1.439a20] 「伽藍！多聞聖弟子離恚，斷恚，有慚有愧，有慈悲心，饒益一切，乃至蜫虫，彼於嫉恚淨除其心。伽藍！多聞聖弟子離邪見，斷邪見，行於正見而不顛倒，如是見，如是說，有施有齋，亦有呪說，有善惡業報[2]，有此世彼世，有父有母，世有真人往至善處、善去、善向，此世彼世，自知、自覺、自作證成就遊，彼於邪見淨除其心。」

[T1.439a28] 「如是，伽藍！多聞聖弟子成就身淨業，成就口、意淨業，離恚離諍，除去睡眠無調[3]、貢高，斷疑、度慢，正念正智，無有愚癡，彼心與慈俱，遍滿一方成就遊。如是，二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。如是，悲、喜心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。」

[T1.439b07] 「如是，伽藍！多聞聖弟子心無結無怨，無恚無諍，便得四安隱住處。云何為四？有此世彼世，*有善惡業報，我得此正見相應業，受持具足，身壞命終，必至善處，乃生天上。如是，伽藍！多聞聖弟子心無結無怨，無恚無諍，是謂得第一安隱住處。復次，伽藍！無此世彼世，無善惡業報[4]，如是我於

---

[1] 說＋（實說）【元】【明】
[2] （有善惡業）＋有【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 調＝掉【元】【明】
[4] （無善惡業）＋無【宋】＊【元】＊【明】＊

現法中，非以此故為他所毀，但為正智所稱譽，精進人、正見人說其有。如是，伽藍！多聞聖弟子心無結無怨，無恚無諍，是謂得第二安隱住處。復次，伽藍。若有所作，必不作惡，我不念惡。所以者何？自不作惡，苦何由生。如是，伽藍！多聞聖弟子心無結無怨，無恚無諍，是謂得第三安隱住處。復次，伽藍。若有所作，必不作惡，我不犯世怖與不怖，常當慈愍一切世間，我心不與眾生共諍，無濁歡悅。如是，伽藍！多聞聖弟子心無結無怨，無恚無諍，是謂得第四安隱住處。如是，伽藍！多聞聖弟子心無結無怨，無恚無諍，是謂得四安隱住處。」

[T1.439b26] 伽藍白世尊曰：「如是，瞿曇！多聞聖弟子心無結無怨，無恚無諍，得四安隱住處。云何為四？有此世彼世，*有善惡業報，我得此正見相應業，受持具足，身壞命終，必至善處，乃至[1]天上。如是，瞿曇！多聞聖弟子心無結無怨，無恚無諍，是謂得第一安隱住處。復次，瞿曇！若無此世彼世，*無善惡業報，我於現法中，非以此故為他所毀，但為正智所稱譽，精進人、正見人說其有。如是，瞿曇！多聞聖弟子心無結無怨，無恚無諍，是謂得第二安隱住處。復次，瞿曇。若有所作，必不作惡，我不念惡。所以者何？自不作惡，苦何由生。如是，瞿曇！多聞聖弟子心無結無怨，無恚無諍，是謂得第三安隱住處。復次，瞿曇。若有所作，必不作惡，我不犯世怖與不怖，常當慈愍一切世間，我心不與眾生共諍，無濁歡悅。如是，瞿曇！多聞聖弟子心無結無怨，無恚無諍，是謂得第四安隱住處。如是，瞿曇！多聞聖弟子心無結無怨，無恚無諍，是謂得四安隱住處，瞿曇！我已知，善逝，我已解。世尊！我等盡[2]自歸佛、法及比丘眾，唯願世尊受我等為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.439c20] 佛說如是，一切伽藍人及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.439c22] 伽[3]藍經第六竟(一千九百八十七字)[4]，

（一七）中阿含[5]業相應品

[1] 至＝生【宋】【元】【明】
[2] 盡＋（壽）【宋】【元】【明】
[3]〔伽…竟〕六字－【明】
[4]〔一…字〕八字－【宋】【元】【明】
[5]〔中阿含〕－【明】

(Ma.17)伽彌尼經 第七(伽音巨羅反)[1](初一日誦)[2]

[T1.439c25] 我聞如是。

[T1.439c25] 一時，佛遊那難陀園[3]，在墻村捺林。

[T1.439c26] 爾時，阿私羅天有子名伽彌尼！色像巍巍，光耀煒曄，夜將向旦，往詣佛所，稽首佛足，却住一面。

[T1.439c28] 阿私羅天子伽彌尼白曰：「世尊！梵志自高，事若干天，若眾生命終者，彼能令自在往來善處，生於天上，世尊為法主，唯願世尊使眾生命終得至善處，生於天中。」

[T1.440a02] 世尊告曰：「伽彌尼！我今問汝，隨所解答，伽彌尼！於意云何？若村邑中或有男女，懈不精進，而行惡法，成就十種不善業道，殺生、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，彼命終時，若眾人來，各叉手向稱歎求索，作如是語，汝等男女，懈不精進，而行惡法，成就十種不善業道，殺生、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，汝等因此緣此，身壞命終，必至善處，乃生天上。如是，伽彌尼！彼男女等，懈不精進，而行惡法，成就十種不善業道，殺生、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，寧為眾人各叉手向稱歎求索，因此緣此，身壞命終，得至善處，生天上耶？」

[T1.440a15] 伽彌尼答曰：「不也。世尊！」

[T1.440a15] 世尊歎曰：「善哉，伽彌尼。所以者何？彼男女等，懈不精進，而行惡法，成就十種不善業道，殺生、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，若為眾人各叉手向稱歎求索，因此緣此，身壞命終，得至善處，乃生天上者，是處不然，伽彌尼！猶去村不遠有深水淵，於彼有人以大重石擲著水中，若眾人來，各叉手向稱歎求索，作如是語，願石浮出[4]，伽彌尼！於意云何？此大重石寧為眾人各叉手向稱歎求索，因此緣此，而當出耶？」

[T1.440a25] 伽彌尼答曰：「不也。世尊！」

[T1.440a25] 「如是，伽彌尼！彼男女等，懈不精進，而行惡法，成就十種不善業道，殺生、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，若為眾人各叉手向稱歎求索，

---

[1]〔伽音巨羅反〕五字－【明】，〔反〕－【宋】【元】
[2]〔初一日誦〕－【明】。～《相應部》S.42.6. Pacchābhūmako(西〔地〕方人) or Matako (死歿者)
[3] 園＝國【宋】【元】【明】
[4] 出＋（願石浮出）【宋】【元】【明】

因此緣此，身壞命終，得至善處，生天上者，是處不然。所以者何？謂此十種不善業道，黑有黑報，自然趣下，必至惡處。」

[T1.440b02] 「伽彌尼！於意云何？若村邑中或有男女，精進勤修，而行妙法，成十善業道，離殺、斷殺、不與取、邪婬、妄言，乃至離邪見，斷邪見，得正見，彼命終時，若眾人來，各叉手向稱歎求索，作如是語，汝男女等，精進勤修，而行妙法，成十善業道，離殺、斷殺、不與取、邪婬、妄言，乃至離邪見，斷邪見，得正見，汝等因此緣此，身壞命終，當至惡處，生地獄中，伽彌尼！於意云何？彼男女等，精進勤修，而行妙法，成十善業道，離殺、斷殺、不與取、邪婬、妄言，乃至離邪見，斷邪見，得正見，寧為眾人各叉手向稱歎求索，因此緣此，身壞命終，得至惡處，生地獄中耶？」

[T1.440b14] 伽彌尼答曰：「不也。世尊！」

[T1.440b15] 世尊歎曰：「善哉，伽彌尼！所以者何？伽彌尼！彼男女等，精進勤修，而行妙法，成十善業道，離殺、斷殺、不與取、邪婬、妄言，乃至離邪見，斷邪見，得正見，若為眾人各叉手向稱歎求索，因此緣此，身壞命終，得生[1]惡處，生地獄中者，是處不然。所以者何？伽彌尼！謂此十善業道，白有白報，自然昇上，必至善處，伽彌尼！猶去村不遠有深水淵，於彼有人以酥油瓶投水而破，滓瓦沈下，酥油浮上。」

[T1.440b24] 「如是，伽彌尼！彼男女等，精進勤修，而行妙法，成十善業道，離殺、斷殺、不與取，邪婬、妾[2]言乃至離邪見，斷邪見，得正見，彼命終時，謂身麤色四大之種從父母生，衣食長養，坐臥按摩，澡浴強忍，是破壞法，是滅盡法，離散之法，彼命終後，或烏鳥啄，或虎狼食，或燒或埋，盡為粉塵，彼心、意、識常為信所熏，為精進、多聞、布施、智慧所熏，彼因此緣此，自然昇上，生於善處，伽彌尼！彼殺生者，離殺、斷殺，園觀之道、昇進之道、善處之道，伽彌尼！不與取、邪婬、妄言，乃至邪見者，離邪見，得正見，園觀之道、昇進之道、善處之道，伽彌尼！復有園觀之道、昇進之道、善處之道，伽彌尼。云何復有園觀之道、昇進之道、善處之道，謂八支聖道正見，乃至正定，是為八，伽彌尼！是謂復有園觀之道、昇進之道、善處之道。」

[T1.440c12] 佛說如是，伽彌尼及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.440c14] 伽[3]彌尼經第七竟(千二百一十三字)[4]，

---

[1] 生＝至【宋】【元】【明】
[2] 妾＝妄【宋】【元】【明】
[3]〔伽…竟〕七字－【明】
[4]〔千…字〕七字－【宋】【元】【明】

中阿含經卷第三(一萬二百四十七字)[1]

中阿含經

卷第四 (Ma.18～20)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（一八）業相應品

(Ma.18)師子經 第八 [2](初一日誦)[3]

[T1.440c23] 我聞如是。

[T1.440c23] 一時，佛遊鞞舍離[4]，在獼猴水邊高樓臺觀。

[T1.440c24] 爾時，眾多鞞舍離麗掣[5]集在聽堂，數稱歎佛，數稱歎法及比丘眾，彼時，尼[6]乾[7]弟子師子大臣亦在眾中。

[T1.440c26] 是時，師子大臣欲往見佛，供養禮事，師子大臣則先往詣諸尼*乾所，白尼*乾曰：「諸尊，我欲往見沙門瞿曇！」

[T1.440c29] 彼時，尼*乾訶師子曰：「汝莫欲見沙門瞿曇。所以者何？沙門瞿曇宗本不可作[8]，亦為人說不可作法。師子！若見宗本不可作則不吉利，供養禮事亦不吉利。」

---

[1]〔一…字〕八字－【宋】【元】【明】

[2] ～《增支部》A.8.12. Sīha(師子)、《五分律》卷 22(大正 22.149b)、《四分律》卷 42(大正 22.871.)，參閱《律藏》大品 Vinaya (Mv.6.31.10-11.)

[3]〔初一日誦〕－【明】

[4] [>鞞舍離]～Vesālī.

[5] [>麗掣]～Licchavī.

[6] [>尼乾弟子師子]～Sīha senapati Nigaṇṭha-sāvaka.

[7] 乾＝揵【宋】＊【元】＊【明】＊

[8] 宗本…作[>法]～akiriyavādo akiriyāya dhammaṃ deseti.

[T1.441a03] 彼眾多鞞舍離麗掣再三集在聽堂，數稱歎佛，數稱歎法及比丘眾，彼時，尼*乾弟子師子大臣亦再三在彼眾中，時，師子大臣亦復再三欲往見佛，供養禮事。

[T1.441a07] 師子大臣便不辭尼*乾，即往詣佛，共相問訊，却坐一面，而作是語：「我聞沙門瞿曇宗本不可作，亦為人說不可作法，瞿曇！若如是說，沙門瞿曇宗本不可作，亦為人說不可作法，彼不謗毀沙門瞿曇耶？彼說真實耶？彼說是法耶？彼說法如法[1]耶？於如法無過、無難詰耶？」

[T1.441a13] 世尊答曰：「師子！若如是說，沙門瞿曇宗本不可作，亦為人說不可作法，彼不謗毀沙門瞿曇！彼說真實，彼說是法，彼說如法，於法無過，亦無難詰。所以者何？師子！有事因此事故，於如實法不能謗毀，沙門瞿曇宗本不可作，亦為人說不可作法。師子！復有事因此事故，於如實法不能謗毀，沙門瞿曇宗本可作，亦為人說可作之法。師子！復有事因此事故，於如實法不能謗毀，沙門瞿曇宗本斷滅，亦為人說斷滅之法。師子！復有事因此事故，於如實法不能謗毀，沙門瞿曇宗本可惡，亦為人說可憎惡法。師子！復有事因此事故，於如實法不能謗毀，沙門瞿曇宗本法、律，亦為人說法、律之法。師子！復有事因此事故，於如實法不能謗毀，沙門瞿曇宗本苦行，亦為人說苦行之法。師子！復有事因此事故，於如實法不能謗毀，沙門瞿曇宗本不入於胎，亦為人說不入胎法。師子！復有事因此事故，於如實法不能謗毀，沙門瞿曇宗本安隱，亦為人說安隱之法。」

[T1.441b05] 「師子！云何有事因此事故，於如實法不能謗毀，沙門瞿曇宗本不可作，亦為人說不可作法。師子！我說身惡行不可作，口、意惡行亦不可作。師子！若如是比無量不善穢污之法，為當來有本、煩熱苦報、生老病死因。師子！我說此法盡不可作。師子！是謂有事因此事故，於如實法不能謗毀，沙門瞿曇宗本不可作，亦為人說不可作法。」

[T1.441b13] 「師子！云何復有事因此事故，於如實法不能謗毀，沙門瞿曇宗本可作，亦為人說可作之法。師子！我說身妙行可作，口、意妙行亦可作。師子！若如是比無量善法與樂果，受於樂報，生於善處而得長壽。師子！我說此法盡應可作。師子！是謂有事因此事故，不能謗毀，沙門瞿曇宗本可作，亦為人說可作之法。」

[T1.441b20] 「師子！云何復有事因此事故，於如實法不能謗毀，沙門瞿曇宗本斷滅，亦為人說斷滅之法。師子！我說身惡行應斷滅，口、意惡行亦應斷滅。師子！若如是比無量不善穢汙之法，為當來有本、煩熱苦報、生老病死因。師

[1] 法如法～Dhamma ca anudhamma.

子！我說此法盡應斷滅。師子！是謂有事因此事故，於如實法不能謗毀，沙門瞿曇宗本斷滅，亦為人說斷滅之法。」

[T1.441b28] 「師子！云何復有事因此事故，於如實法不能謗毀，沙門瞿曇宗本可惡，亦為人說可憎惡法。師子！我說身惡行可憎惡，口、意惡行亦可憎惡。師子！若如是比無量不善穢汙之法，為當來有本、煩熱苦報、生老病死因。師子！我說此法盡可憎惡。師子！是謂有事因此事故，於如實法不能謗毀，沙門瞿曇宗本可惡，亦為人說可憎惡法。」

[T1.441c06] 「師子！云何復有事因此事故，於如實法不能謗毀，沙門瞿曇宗本法、律，亦為人說法、律之法。師子！我為斷貪婬故而說法、律，斷瞋恚、愚癡故而說法、律。師子！若如是比無量不善穢汙之法，為當來有本、煩熱苦報、生老病死因。師子！我為斷彼故而說法、律。師子！是謂有事因此事故，於如實法不能謗毀，沙門瞿曇宗本法、律，亦為人說法、律之法。」

[T1.441c14] 「師子！云何復有事因此事故，於如實法不能謗毀，沙門瞿曇宗本苦行，亦為人說苦行之法。師子！或有沙門、梵志裸形無衣，或以手為衣，或以葉為衣，或以珠為衣，或不以瓶取水，或不以魁[1]取水，不食刀杖劫抄之食，不食欺妄食，不自往，不遣信，不來尊、不善尊、不住尊。若有二人食，不在中食，不懷妊家食，不畜狗家食，設使家有糞蠅飛來，便不食也。不噉魚，不食肉，不飲酒，不飲惡水，或都無所飲，學無飲行，或噉一口，以一口為足，或二口[2]、三、四，乃至七口，以七口為足，或食一得，以一得為足，或二、三、四，乃至七得，以七得為足，或日一食，以一食為足，或二、三、四、五、六、七日、半月、一月一食，以一食為足，或食菜茹，或食稗子，或食穄米，或食雜[麩-夫+廣]，或食頭頭邏食，或食麤食，或至無事處，依於無事，或食根，或食果，或食自落果，或持連合衣，或持毛衣，或持頭舍衣，或持毛頭舍衣，或持全皮，或持穿皮，或持全穿皮，或持散髮，或持編髮，或持散編髮，或有剃髮，或有剃鬚，或剃鬚髮，或有拔髮，或有拔鬚，或拔鬚髮，或住立斷坐，或修蹲行，或有臥刺，以刺為床，或有臥果，以果為床，或有事水，晝夜手抒，或有事火，竟昔然之，或事日、月、尊祐大德，叉手向彼，如此之比受無量苦，學煩熱行。師子！有此苦行我不說無。師子！然此苦行為下賤業，至苦至困，凡人所行，非是聖道，師子。若有沙門、梵志，彼苦行法知斷滅盡，拔絕其根，至竟不生者，我說彼苦行。師子！如來、無所著、等正覺，彼苦行法知斷滅盡，拔絕其根，至竟不生。是故我苦行。師子！是謂有事因此事故，於如實法不能謗毀，沙門瞿曇宗本苦行，亦為人說苦行之法。」

---

[1] 魁＝槐【宋】【元】【明】
[2]〔口〕－【宋】【元】【明】

[T1.442a19] 「師子！云何復有事因此事故，於如實法不能謗毀，沙門瞿曇宗本不入於胎，亦為人說不入胎法，師子。若有沙門、梵志當來胎生，知斷滅盡，拔絕其根，至竟不生者，我說彼不入於胎。師子！如來、無所著、等正覺，當[1]來有胎生知斷滅盡，拔絕其根，至竟不生。是故我不入於胎。師子！是謂有事因此事故，於如實法不能謗毀，沙門瞿曇宗本不入於胎，亦為人說不入胎法。」

[T1.442a27]「師子！云何復有事因此事故，於如實法不能謗毀，沙門瞿曇宗本安隱，亦為人說安隱之法。師子！族姓子所有[2]剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，唯無上梵行訖，我於現法自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，我自安隱，亦安隱他比丘、比丘尼、優婆塞、優婆夷，我已安彼，便為生法，眾生於生法解脫，老法、病法、死法、憂慼染汙法，眾生於憂慼染污法解脫。師子！是謂有事因此事故，於如實法不能謗毀，沙門瞿曇宗本安隱，亦為人說安隱之法。」

[T1.442b10] 師子大臣白世尊曰：「瞿曇！我已知，善逝！我已解，瞿曇！猶明目人，覆者仰之，覆者發之，迷者示道，闇中施明。若有眼[3]者，便見於色，沙門瞿曇亦復如是，為我無量方便說法、現義，隨其諸道。世尊！我今自歸於佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。世尊！猶如有人養不良馬，望得其利，徒自疲勞而不獲利。世尊！我亦如是，彼愚癡尼*乾不善曉了，不能自知，不識良田而不自審，長夜奉敬，供養禮事，望得其利，唐苦無益。世尊！我今再自歸佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。世尊！我本無知，於愚癡尼*乾有信有敬，從今日斷。所以者何？欺誑我故。世尊！我今三自歸佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.442b26] 佛說如是，師子大臣及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行[4]。

師子經第八竟[5](二千四百一十三字)[6]，

（一九）中阿含[7]業相應品

---

[1] ～gabbhaseyyā punabhavābhimbbatti.
[2] 有＝為【宋】【元】【明】
[3] 眼＝明【宋】【元】【明】
[4] 奉行＋（海德佛性空佛）六字【宋】【元】【明】
[5]〔師子…竟〕六字－【明】
[6]〔二千…字〕八字－【宋】【元】【明】
[7]〔中阿含〕－【明】

(Ma.19)尼乾[1]經[2] 第九 (初一日誦)[3]

[T1.442b29] 我聞如是。

[T1.442c01] 一時，佛遊釋羇瘦[4]，在天邑[5]中。

[T1.442c02] 爾時，世尊告諸比丘：「諸尼*乾等如是見、如是說，謂人所受皆因本作[6]，若其故業因苦行滅，不造新者，則諸業盡，諸業盡已，則得苦盡，得苦盡已，則得苦邊。我便往彼，到已，即問：『尼*乾，汝等實如是見、如是說，謂人所受皆因本作，若其故業因苦行滅，不造新者，則諸業盡，諸業盡已，則得苦盡，得苦盡已，則得苦邊耶？』彼答我言：『如是，瞿曇！』我復問彼尼*乾：『汝等自有淨智，我為本有，我為本無，我為本作惡，為不作惡，我為爾所苦盡，為爾所苦不盡，若盡已，便得盡，即於現世斷諸不善，得眾善法，修習作證耶？』彼答我言：『不也。瞿曇！』」

[T1.442c14] 我復語彼尼*乾：「汝等自無淨智，我為本有，我為本無，我為本作惡，為不作惡，我為爾所苦盡，為爾所苦不盡，若盡已，便得盡，即於現世斷諸不善，得眾善法，修習作證，而作是說，謂人所受皆因本作，若其故業因苦行滅，不造新者，則諸業盡，諸業盡已，則得苦盡，得苦盡已，則得苦邊。尼*乾！若汝等自有淨智，我為本有，我為本無，我為本作惡，為不作惡，我為爾所苦盡，為爾所苦不盡，若盡已，便得盡，即於現世斷諸不善，得眾善法，修習作證。尼*乾！汝等可得作是說，謂人所受皆因本作，若其故業因苦行滅，不造新者，則諸業盡，諸業盡已，則得苦盡，得苦盡已，則得苦邊。」

[T1.442c28]「尼*乾！猶如有人身被毒箭，因被毒箭則生極苦，彼為親屬憐念愍傷，欲饒益安隱故，即呼拔箭金醫，箭金醫來，便以利刀而為開瘡，因開瘡時，復生極苦，既開瘡已，而求箭金，求箭金時，復生極苦，求得金已，即便拔出，因拔出時，復生極苦，拔金出已，薄[7]瘡纏裹，因裹瘡時，復生極苦，彼於拔箭金後，得力無患，不壞諸根，平復如故。尼*乾！彼人自有淨智，便作是念：我本被毒箭，因被毒箭，則生極苦，我諸親屬見憐念愍傷，欲饒益安隱我故，即呼拔箭金醫，箭金醫來，便以利刀為我開瘡，因開瘡時，復生極苦，既開瘡已，而求箭金，求箭金時，復生極苦，求得金已，即便拔出，因拔出時，

---

[1] 乾＝揵【宋】＊【元】＊【明】＊［＊
[2] ～M. 101. Devadaha sutta. (天臂經)，cf.《中部 27 經》
[3]〔初一日誦〕－【明】
[4] [>釋羇瘦]～Sakkesu.
[5] 天邑～Devadaha.
[6] 因本作～Pubbekatahetu.
[7] [簿>薄]＝覆【宋】【元】【明】[>＊]

復生極苦，拔金出已，*薄瘡纏裹，因裹瘡時，復生極苦，我於拔箭金後，得力無患，不壞諸根，平復如故。」

[T1.443a15]「如是，尼*乾！若汝等自有淨智，我為本有，我為本無，我為本作惡，為不作惡，我為爾所苦盡，為爾所苦不盡，若盡已，便得盡，即於現世斷諸不善，得眾善法，修習作證，尼*乾！汝等可得作是說，謂人所受皆因本作，若其故業因苦行滅，不造新者，則諸業盡，諸業盡已，則得苦盡，得苦盡已，則得苦邊，我問如是，不見諸尼*乾能答我言：『瞿曇！如是，不如是。』」

[T1.443a23]「復次，我問諸尼*乾曰：『若諸尼*乾有上斷、上苦行，爾時諸尼*乾生上苦耶？』彼答我言：『如是，瞿曇。』『若有中斷、中苦行，爾時諸尼*乾生中苦耶？』彼答我言：『如是，瞿曇。』『若有下斷、下苦行，爾時諸尼*乾生下苦耶？』彼答我言：『如是，瞿曇！』是為諸尼*乾有上斷、上苦行，爾時諸尼*乾則生上苦，有中斷、中苦行，爾時諸尼*乾則生中苦，有下斷、下苦行，爾時諸尼*乾則生下苦，若使諸尼*乾有上斷、上苦行，爾時諸尼*乾止息上苦，有中斷、中苦行，爾時諸尼*乾止息中苦，有下斷、下苦行，爾時諸尼*乾止息下苦，若如是作、不如是作，止息極苦甚重苦者，當知諸尼*乾即於現世作苦，但諸尼*乾為癡所覆，為癡所纏，而作是說：『謂人所受皆因本作，若其故業因苦行滅，不造新者，則諸業盡，諸業盡已，則得苦盡，得苦盡已，則[1]得苦邊。』我問如是，不見諸尼*乾能答我言：『瞿曇。如是，不如是。』」

[T1.443b12]「復次，我問諸尼*乾曰：『諸尼*乾。若有樂報業，彼業寧可因斷、因苦行，轉作苦報耶？』彼答我言：『不也。瞿曇！』『諸尼*乾。若有苦報業，彼業寧可因斷、因苦行，轉作樂報耶？』彼答我言：『不也。瞿曇！』『諸尼*乾，若有現法報業，彼業寧可因斷、因苦行，轉作後生報耶？』彼答我言：『不也。瞿曇！』『諸尼*乾。若有後生報業，彼業寧可因斷、因苦行，轉作現法報耶？』彼答我言：『不也。瞿曇！』『諸尼*乾，若有不熟報業，彼業寧可因斷、因苦行，轉作熟報耶？』彼答：『我言不也。瞿曇！』『諸尼*乾，若有熟報業，彼業寧可因斷、因苦行，轉作異耶？』彼答我言：『不也。瞿曇！』『諸尼*乾，是為樂報業，彼業不可因斷、因苦行，轉作苦報，諸尼*乾，苦報業，彼業不可因斷、因苦行，轉作樂報，諸尼*乾，現法報業，彼業不可因斷、因苦行，轉作後生報，諸尼*乾，後生報業，彼業不可因斷、因苦行，轉作現法報，諸尼*乾，不熟業，彼業不可因斷、因苦行，轉作熟報，諸尼*乾，熟報業，彼業不可因斷、因苦行，轉作異者，以是故，諸尼*乾，虛[2]妄方便，空斷無獲。』」

---

[1] 則＝即【宋】【元】【明】
[2] （等）＋虛【宋】【元】【明】

[T1.443c04] 彼諸尼*乾便報我言：「瞿曇！我有尊師，名親子尼*乾[1]，作如是說：『諸尼*乾，汝等若本作惡業，彼業皆可因此苦行而得滅盡，若今護身、口、意，因此不復更作惡業也。』我復問彼諸尼*乾曰：『汝等信尊師親子尼*乾，不疑惑耶？』彼答我言：『瞿曇！我信尊師親子尼*乾，無有疑惑。』我復語彼諸尼*乾曰：『有五種法現世二報，信、樂、聞、念、見善觀，諸尼*乾，人自有虛妄言，是可信、可樂、可聞、可念、可見善觀耶？』彼答我言：『如是，瞿曇！』我復語彼諸尼*乾曰：『是虛妄言，何可信，何可樂，何可聞，何可念，何可善觀，謂人自有虛妄言，有信、有樂、有聞、有念、有善觀。』」

[T1.443c17]「若諸尼*乾作是說者，於如法中得五詰責，為可憎惡。云何為五？今此眾生所受苦樂皆因本作，若爾者，諸尼*乾等本作惡業。所以者何？因彼故，諸尼*乾於今受極重苦，是謂尼*乾第一可憎惡。復次，眾生所受苦樂皆因合會，若爾者，諸尼*乾等本惡合會。所以者何？因彼故，諸尼*乾於今受極重苦，是謂尼*乾第二可憎惡。復次，眾生所受苦樂皆因為命，若爾者，諸尼揵等本惡為命。所以者何？因彼故，諸尼*乾於今受極重苦，是謂尼*乾第三可憎惡。復次，眾生所受苦樂皆因見也。若爾者，諸[2]尼*乾等本有惡見。所以者何？因彼故，諸尼*乾於今受極重苦，是謂尼*乾第四可憎惡。復次，眾生所受苦樂皆因尊祐造，若爾者，諸尼*乾等本惡尊祐。所以者何？因彼故，諸尼*乾於今受極重苦，是謂尼*乾第五可憎惡，若諸尼*乾因本所作惡業、惡合會、惡為命、惡見、惡尊祐，為惡尊祐所造，因彼故，諸尼*乾於今受極重苦，是謂因彼事故，諸尼*乾等為可憎惡。」

[T1.444a08]「我所自知、自覺法為汝說者，若沙門、梵志，若天、魔、梵及餘世間皆無能伏，皆無能穢，皆無能制。云何我所自知、自覺法為汝說者，非為沙門、梵志，若天、魔、梵及餘世間所能伏、所能穢、所能制。若有比丘捨身不善業，修身善業，捨口、意不善業，修口、意善業，彼於未來苦，便自知我無未來苦，如法得樂而不棄捨，彼或欲斷苦因，行欲，或欲斷苦因，行捨欲[3]，彼若欲斷苦因，行欲者，即修其行欲，已斷者，苦便得盡，彼若欲斷苦因，行捨欲者，即修其行捨欲，已斷者，苦便得盡，若彼比丘便作是念：隨所為、隨所行，不善法生而善法滅，若自斷苦，不善法滅而善法生，我今寧可自斷其苦，便自斷苦，自斷苦已，不善法滅而善法生，不復斷苦。所以者何？比丘，本所為者，其義已成，若復斷苦，是處不然。」

[T1.444a24]「比丘！猶如箭工用檢撓箭，其箭已直，不復用檢。所以者何？彼人本所為者，其事已成，若復用檢，是處不然。如是，比丘便作是念：隨所

---

[1] 親子尼乾～Nigaṇṭha Nāṭaputta.
[2] 諸＝謂【宋】【元】【明】
[3] 彼或欲…捨欲～Imassa khome dukkhanidānassa saṃkhāraṃ padahato saṃkhārappadhānā virāgo hoti; imassa pana me dukkhanidānassa ajjhupekkhato upekham bhāvayato virago hoti.

為、隨所行，不善法生而善法滅，若自斷苦，不善法滅而善法生，我今寧可自斷其苦，便自斷苦，自斷苦已，不善法滅而善法生，不復斷苦。所以者何？本所為者，其義已成，若復斷苦，是處不然，比丘！猶如有人愛念、染著、敬待彼女，然彼女人更與他語，共相問訊，往來止宿，其人因是身心生苦[1]惱，極憂慼耶？」

[T1.444b05] 比丘答曰：「如是。世尊！」

[T1.444b06]「所以者何？其人於女愛念、染著，極相敬待，而彼女人更與他語，共相問訊，往來止宿，其人身心何得不生苦惱憂慼，比丘！若使其人而作是念：我唐愛念、敬待彼女，然彼女人更與他語，共相問訊，往來止宿，我今寧可因自苦自憂故，斷為彼[2]女愛念、染著耶？其人於後因自苦自憂故，便斷為彼[3]女愛念、染著，若彼女人故與他語，共相問訊，往來止宿，其人於後，身心寧當復生苦惱，極憂慼耶？」

[T1.444b15] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.444b15]「所以者何？其人於女無復愛念、染著之情，若彼女人故與他語，共相問訊，往來止宿，若使其人因此身心復生苦惱極憂慼者，是處不然。如是，比丘便作是念：隨所為、隨所行，不善法生而善法滅，若自斷其苦，不善法滅而善法生，我今寧可自斷其苦，便自斷苦，自斷苦已，不善法滅而善法生，不復斷苦。所以者何？本所為者，其義已成，若復斷苦，是處不然。」

[T1.444b24] 「彼復作是念。若有所因，斷其苦者，我便已斷，然我於欲猶故未斷，我今寧可求斷於欲，便求斷欲，彼為斷欲故，獨住[4]遠離，在無事處，或至樹下空安靜[5]處，山巖石室、露地穰積，或至林中，或在塚間，彼已在無事處，或至樹下空安*靜處，敷尼師檀[6]，結加[7]趺坐，正身正願，反念不向，斷除貪伺，心無有諍，見他財物諸生活具不起貪伺，欲令我得，彼於貪伺淨除其心。如是，瞋恚、睡眠、掉[8]悔，斷疑、度惑，於諸善法無有猶豫，彼於疑惑淨除其心。」

[T1.444c05] 「彼已斷此五蓋、心穢、慧羸，離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊，彼得如是定，心清淨，無穢無煩，柔軟善住，得不動心，趣向漏盡智

---

[1]〔苦〕－【宋】【元】【明】
[2]〔彼〕－【宋】【元】【明】
[3]〔彼〕－【宋】【元】【明】
[4] 住＝依【元】【明】
[5] 靜＝靖【宋】＊【元】＊【明】＊
[6] 檀＝壇【宋】【元】【明】
[7] 加＝跏【宋】【元】【明】
[8] 掉＝調【宋】＊

通作證，彼便知此苦如真[1]，知此苦習[2]、知此苦滅、知此苦滅道如真，亦知此漏如真，知此漏*習、知此漏滅、知此漏滅道如真，彼如是知、如是見已，則欲漏心解脫，有漏、無明漏心解脫，解脫已，便知解脫，生已盡，梵行已立，所作已[辨>辦]，不更受有，知如真。」

[T1.444c14] 「如來如是正心解脫，得五稱譽，如法無諍，可愛可敬。云何為五？彼眾生者，所受苦樂皆因本作，若爾者，如來本有妙業，因彼故，如來於今聖無漏樂，寂靜止息而得樂覺，是謂如來得第一稱譽。復次，眾生所受苦樂皆因合會，若爾者，如來本妙合會，因彼故，如來於今聖無漏樂，寂靜止息而得樂覺，是謂如來得第二稱譽。復次，眾生所受苦樂皆因為命，若爾者，如來本妙為命，因彼故，如來於今聖無漏樂，寂靜止息而得樂覺，是謂如來得第三稱譽。復次，眾生所受苦樂皆因見也。若爾者，如來本妙見，因彼故，如來於今聖無漏樂，寂靜止息而得樂覺，是謂如來得第四稱譽。復次，眾生所受苦樂皆因尊祐造，若爾者，如來本妙尊祐，因彼故，如來於今聖無漏樂，寂靜止息而得樂覺，是謂如來得第五稱譽，是為如來本妙業、妙合會、妙為命、妙見、妙尊祐，為妙尊祐所造，因彼故，如來於今聖無漏樂，寂靜止息而得樂覺，以此事故，如來於今得五稱譽。」

[T1.445a05] 「有五因緣，心生憂苦。云何為五？婬欲纏者，因婬欲纏故，心生憂苦。如是，瞋恚、睡眠、*掉悔、疑惑纏者，因疑惑纏故，心生憂苦，是謂五因緣，心生憂苦，有五因緣，心滅憂苦。云何為五？若婬欲纏者，因婬欲纏故，心生憂苦，除婬欲纏已，憂苦便滅，因婬欲纏，心生憂苦，於現法中而得究竟，無煩無熱，常住不變，是聖所知、聖所見。如是，瞋恚、睡眠、*掉悔，若疑惑纏者，因疑惑纏故，心生憂苦，除疑惑纏已，憂苦便滅，因疑惑纏，心生憂苦，於現法中而得究竟，無煩無熱，常住不變，是聖所知、聖所見，是謂五因緣，心滅憂苦。」

[T1.445a17]「復次，更有現法而得究竟，無煩無熱，常住不變，是聖所知、聖所見。云何更有現法而得究竟，無煩無熱，常住不變，是聖所知、聖所見，謂八支聖道正見，乃至正定，是為八，是謂更有現法而得究竟，無煩無熱，常住不變，是聖所知、聖所見。」

[T1.445a22] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.445a24]尼[3]*乾經第九竟 (三千六百)[4]，

---

[1] 知此苦如真～Idaṃ dukkhani yathābhūtaṃ pajānāti.
[2] 習＝集【元】【明】＊
[3]〔尼…竟〕六字－【明】
[4]〔三…百〕四字－【宋】【元】【明】

（二○）中阿含[1]業相應品

(Ma.20)波羅牢經 第十[2] (初一日誦)[3]

[T1.445a27] 我聞如是。

[T1.445a27] 一時，佛遊拘麗瘦[4]，與大比丘眾俱，往至北村[5]，住北村北尸攝恕林中。」

[T1.445a28] 爾時，波羅牢伽彌尼[6]聞沙門瞿曇釋種子捨釋宗族，出家學道，遊拘麗瘦，與大比丘眾俱，至此北村，住北村北尸攝恕林中，彼沙門瞿曇有大名稱，周聞十方，沙門瞿曇如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼於此世，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，自知自覺，自作證成就遊，彼若說法，初善、中善、竟亦善，有義有文，具足清淨，顯現梵行，若見如來、無所著、等正覺，尊重禮拜，供養承事者，快得善利，彼作是念：我應往見沙門瞿曇！禮事供養。

[T1.445b10] 波羅牢伽彌尼聞已，從北村出，北行至尸攝恕林，欲見世尊禮事供養，波羅牢伽彌尼遙見世尊在林樹間，端正姝好，猶星中月，光曜暐曄，晃若金山，相好具足，威神巍巍，諸根寂定，無有蔽礙，成就調御，息心靜[7]默。

[T1.445b15] 波羅牢伽彌尼遙見佛已，前至佛所，共相問訊，却坐一面，白世尊曰：「我聞沙門瞿曇知幻是幻，瞿曇！若如是說，沙門瞿曇知幻是幻，彼不謗毀沙門瞿曇耶？彼說真實耶？彼說是法耶？彼說法如法耶？於如法無過、無難詰耶？」

[T1.445b20] 世尊答曰：「伽彌尼！若如是說，沙門瞿曇知幻是幻，彼不謗毀沙門瞿曇！彼說真實，彼說是法，彼說法如法，於法無過，亦無難詰。所以者何？伽彌尼[8]，我知彼幻，我自非幻。」

---

[1]〔中阿含〕－【明】
[2] ～S. 42. 13. Pāṭali. (波羅牢) or Manāpo (可意)
[3]〔初一日誦〕－【明】
[4] [>拘麗瘦]～Koḷiyesu.
[5] 北村～Uttara.
[6] [>波羅牢伽彌尼]～Pāṭaliya gāmaṇī.
[7] 靜＝靖【宋】【元】【明】
[8]〔伽彌尼〕－【宋】【元】【明】

[T1.445b24] 波羅牢說曰：「彼沙門、梵志所說真實，而我不信彼說沙門瞿曇知幻是幻。」

[T1.445b26] 世尊告曰：「伽彌尼！若知幻者，即是幻耶？」

[T1.445b27] 波羅牢白曰：「如是。世尊！如是，善逝。」

[T1.445b28] 世尊告曰：「伽彌尼！汝莫自誤，謗毀於我，若謗毀我者，則便自損，有諍有犯，聖賢所惡，而得大罪，所以者何[1]，此實不如汝之所說，伽彌尼！汝聞拘麗瘦有卒耶？」

[T1.445c02] 答曰：「聞有。」

[T1.445c02] 「伽彌尼！於意云何？拘麗瘦用是卒為。」

[T1.445c03] 答曰：「瞿曇！通使殺賊，為此事故，拘麗瘦畜是卒也。」

[T1.445c04] 「伽彌尼！於意云何？拘麗瘦卒為有戒，為無戒耶？」

[T1.445c06] 答曰：「瞿曇！若世間有無戒德者，無過拘麗瘦卒。所以者何？拘麗瘦卒極犯禁戒，唯行惡法。」

[T1.445c08] 復問：「伽彌尼！汝如是見、如是知，我不問汝，若他問汝，波羅牢伽彌尼知拘麗瘦卒極犯禁戒，唯行惡法，因此事故，波羅牢伽彌尼極犯禁戒，唯行惡法，若如是說，為真說耶？」

[T1.445c12] 答曰：「非也。瞿曇。所以者何？拘麗瘦卒見異、欲異，所願亦異，拘麗瘦卒極犯禁戒，唯行惡法，我極持戒，不行惡法。」

[T1.445c14] 復問：「伽彌尼！汝知拘麗瘦卒極犯禁戒，唯行惡法，然不以此為犯禁戒，唯行惡法，如來何以不得知幻而自非幻。所以者何？我知幻，知幻人，知幻報，知斷幻，伽彌尼！我亦知殺生，知殺生人，知殺生報，知斷殺生，伽彌尼！我知不與取，知不與取人，知不與取報，知斷不與取，伽彌尼！我知妄言，知妄言人，知妄言報，知斷妄言，伽彌尼！我如是知、如是見。若有作是說沙門瞿曇知幻即是幻者，彼未斷此語，聞彼心、彼欲、彼願、彼聞、彼念、彼觀，如屈伸臂頃，命終生地獄中。」

[T1.445c25] 波羅牢伽彌尼聞已，怖懼戰慄，身毛皆竪，即從坐[2]起，頭面禮足，長跪叉手，白世尊曰：「悔過，瞿曇！自昔[1]，善逝，如愚、如癡、如不

---

[1] 何＋（伽彌尼）【宋】【元】【明】
[2] 坐＝座【宋】＊【元】＊【明】＊

定、如不善。所以者何？我以妄說沙門瞿曇是幻，唯願瞿曇受我悔過，見罪發露，我悔過已，護不更作。」

[T1.446a02] 世尊告曰：「如是，伽彌尼！汝實如愚、如癡、如不定、如不善。所以者何？謂汝於如來、無所著、等正覺妄說是幻，然汝能悔過，見罪發露，護不更作。如是，伽彌尼。若有悔過，見罪發露，護不更作者，則長養聖法而無有失。」

[T1.446a07] 於是，波羅牢伽彌尼叉手向佛，白世尊曰：「瞿曇！有一沙門梵志如是見、如是說。若有殺生者，彼一切即於現法受報，因彼生憂苦。若有不與取、妄言，彼一切即於現法受報，因彼生憂苦，沙門瞿曇！於意云何？」

[T1.446a12] 世尊告曰：「伽彌尼！我今問汝，隨所解答，伽彌尼！於意云何？若村邑中，或有一人，頭冠華鬘，雜香塗身，而作倡樂，歌舞自娛，唯作女妓，歡樂如王。若有問者，此人本作何等，今頭冠華鬘，雜香塗身，而作倡樂，歌舞自娛，唯作女妓，歡樂如王，或有答者，此人為王殺害怨家，王歡喜已，即與賞賜，是以此人頭冠華鬘，雜香塗身，而作倡樂，歌舞自娛，唯作女妓，歡樂如王，伽彌尼！汝如是見、如是聞不。」

[T1.446a21] 答曰：「見也。瞿曇！已聞、當聞。」

[T1.446a21] 伽彌尼！又復見王收捕罪人，反縛兩手，打鼓唱令，出南城門，坐高標下而梟[2]其首。若有問者，此人何罪，為王所戮，或有答者，此人枉殺王家無過之人，是以王教如是行刑，伽彌尼！汝如是見、如是聞不。」

[T1.446a26] 答曰：「見也。瞿曇！已聞、當聞。」

[T1.446a27] 「伽彌尼！若有沙門、梵志如是見、如是說。若有殺生，彼一切即於現法受報，因彼生憂苦，彼為真說，為虛妄言。」

[T1.446a29] 答曰：「妄言，瞿曇！」

[T1.446b01] 「若彼說妄言，汝意信不。」

[T1.446b01] 答曰：「不信也。瞿曇！」

[T1.446b02] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！伽彌尼！」

---

[1] 昔＝首【宋】【元】【明】
[2] 梟＝臬【宋】

[T1.446b02] 復問：「伽彌尼！於意云何？若村邑中，或有一人，頭冠華鬘，雜香塗身，而作倡樂，歌舞自娛，唯作女妓，歡樂如王。若有問者，此人本作何等，今頭冠華鬘，雜香塗身，而作倡樂，歌舞自娛，唯作女妓，歡樂如王，或有答者，此人於他國中而不與取，是以此人頭冠華鬘，雜香塗身，而作倡樂，歌舞自娛，唯作女妓，歡樂如王，伽彌尼！汝如是見、如是聞不。」

[T1.446b10] 答曰：「見也。瞿曇！已聞、當聞。」

[T1.446b11] 「伽彌尼！又復見王收捕罪人，反縛兩手，打鼓唱令，出南城門，坐高標下而梟其首。若有問者，此人何罪，為王所戮，或有答者，此人於王國而不與取，是以王教如是行刑，伽彌尼！汝如是見、如是聞不。」

[T1.446b16] 答曰：「見也。瞿曇！已聞、當聞。」

[T1.446b16] 「伽彌尼！若有沙門、梵志如是見、如是說。若有不與取，彼一切即於現法受報，因彼生憂苦[1]，彼為真說，為虛妄言。」

[T1.446b19] 答曰：「妄言，瞿曇！」

[T1.446b19] 「若彼說妄言，汝意信不。」

[T1.446b20] 答曰：「不信也。瞿曇！」

[T1.446b20] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！伽彌尼！」

[T1.446b21] 復問：「伽彌尼！於意云何？若村邑中，或有一人，頭冠華鬘，雜香塗身，而作倡樂，歌舞自娛，唯作女妓，歡樂如王。若有問者，此人本作何等，今頭冠華鬘，雜香塗身，而作倡樂，歌舞自娛，唯作女妓，歡樂如王，或有答者，此人作妓，能戲調笑，彼以妄言令王歡喜，王歡喜已，即與賞賜，是以此人頭冠華鬘，雜香塗身，而作倡樂，歌舞自娛，唯作女妓，歡樂如王，伽彌尼！汝如是見、如是聞不。」

[T1.446c01] 答曰：「見也。瞿曇！已聞、當聞。」

[T1.446c01] 「伽彌尼！又復見王收捕罪人，用棒打殺，盛以木檻，露車載之，出北城門，棄著塹中。若有問者，此人何罪，為王所殺，或有答者，此人在王前妄有所證，彼以妄言欺誑於王，是以王教取作如是，伽彌尼！汝如是見、如是聞不。」

---

[1] 苦＝若【宋】【元】

[T1.446c07] 答曰：「見也。瞿曇！已聞、當聞。」

[T1.446c07] 「伽彌尼！於意云何？若有沙門、梵志如是見、如是說。若有妄言，彼一切即於現法受報，因彼生憂苦，彼為真說，為虛妄言。」

[T1.446c10] 答曰：「妄言，瞿曇！」

[T1.446c10] 「若彼說妄言，汝意信不。」

[T1.446c11] 答曰：「不信也。瞿曇！」

[T1.446c11] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！伽彌尼！」

[T1.446c12] 於是，波羅牢伽彌尼即從*坐起，偏袒著衣，叉手向佛，白世尊曰：「甚奇，瞿曇所說極妙，善喻善證，瞿曇！我於北村中造作高堂，敷設床褥[1]，安立水器，然大明燈。若有精進沙門、梵志來宿高堂，我隨其力，供給所須，有四論士，所見各異，更相違反，來集高堂，於中論士如是見、如是說，無施無齋，無有呪說，無善惡業，無善惡業報，無此世彼世，無父無母，世無真人往至善處，善去善向，此世彼世，自知自覺，自作證成就遊。」

[T1.446c22] 「第二論士而有正見，反第一論士所見、所知，如是見、如是說，有施有齋，亦有呪說，有善惡業，有善惡業報，有此世彼世，有父有母，世有真人往至善處，善去善向，此世彼世，自知自覺，自作證成就遊。」

[T1.446c27] 「第三論士如是見、如是說，自作、教作，自斷、教斷，自煮、教煮，愁煩憂慼，搥[2]胸懊惱，啼哭愚癡，殺生、不與取、邪婬、妄言、飲酒，穿牆開藏，至他巷劫[3]，害村壞邑，破城滅國，作如是者，為不作惡，又以鐵輪利如剃刀，彼於此地一切眾生，於一日中斫截斬剉，剝裂剟割，作一肉段，一分一積，因是無惡業，因是無惡業報，恒水南岸殺、斷、煮去，恒水北岸施與、作齋、呪說而來，因是無罪無福，因是無罪福報，施與、調御、守護、攝持、稱譽、饒益，惠施、愛言、利及等利，因是無福，因是無福報。」

[T1.447a08] 「第四論士而有正見，反第三論士所知、所見，如是見、如是說，自作、教作，自斷、教斷，自煮、教煮，愁煩憂慼，搥胸懊惱，啼哭愚癡，殺生、不與取、邪婬、妄言、飲酒，穿墻開藏，至他巷*劫，害村壞邑，破城滅國，作如是者，實為作惡，又以鐵輪利如剃刀，彼於此地一切眾生，於一日中斫截斬剉，剝裂剟割，作一肉段，一分一積，因是有惡業，因是有惡業報，恒

---

[1] 褥＝蓐【宋】【元】【明】
[2] 搥＝槌【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 劫＝陌【元】【明】＊

水南岸殺、斷、煮去，恒水北岸施與、作齋、呪說而來，因是有罪有福，因是有罪福報，施與、調御、守護、攝持、稱譽、饒益，惠施、愛言、利及等利，因是有福，因是有福報，瞿曇！我聞是已，便生疑惑，此沙門、梵志，誰說真實，誰說虛妄。」

[T1.447a22] 世尊告白：「伽彌尼！汝莫生疑惑。所以者何？因有疑惑便生猶豫，伽彌尼！汝自無淨智，為有後世，為無後世，伽彌尼！汝又無淨智，所作為惡，所作為善，伽彌尼！有法之定，名曰遠離，汝因此定，可得正念，可得一心。如是，汝於現法便斷疑惑，而得昇進。」

[T1.447a28] 於是，波羅牢伽彌尼復從*坐起，偏袒著衣，叉手向佛，白世尊曰：「瞿曇。云何法定，名曰遠離，令我因此可得正念，可得一心，如是我[1]於現法便斷疑惑，而得昇進。」

[T1.447b02] 世尊告曰：「伽彌尼！多聞聖弟子離殺斷殺，斷不與取、邪婬、妄言，至斷邪見，得正見，彼於晝日教田作耕稼，至暮放息，入室坐定，過夜曉時而作是念：我離殺斷殺，斷不與取、邪婬、妄言，至斷邪見，得正見，彼便自見，我斷十惡業道，念十善業道，彼自見斷十惡業道，念十善業道已，便生歡悅，生歡悅已，便生於喜，生於喜已，便止息身，止息身已，便身覺樂，身覺樂已，便得一心，伽彌尼！多聞聖弟子得一心已，則心與慈俱，遍滿一方成就遊。如是，二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，彼作是念。若有沙門、梵志如是見、如是說，無施無齋，無有呪說，無善惡業，無善惡業報，無此世彼世，無父無母，世無真人往至善處，善去善向，此世彼世，自知自覺，自作證成就遊，若彼沙門、梵志所說真實者，我不犯世怖與不怖，常當慈愍一切世間，我心不與眾生共諍，無濁歡悅，我今得無上人上[2]之法，昇進得安樂居，謂遠離法定，彼沙門、梵志所說不是不非，不是不非已，得內心止，伽彌尼！是謂法定，名曰遠離，汝因此定，可得正念，可得一心，如是汝於現法便斷疑惑，而得昇進。」

[T1.447b27]「復次，伽彌尼！多聞聖弟子離殺斷殺，斷不與取、邪婬、妄言，至斷邪見，得正見，彼於晝日教田作耕稼，至暮放息，入室坐定，過夜曉時而作是念：我離殺斷殺，斷不與取、邪婬、妄言，至斷邪見，得正見，彼便自見，我斷十惡業道，念十善業道，彼自見斷十惡業道，念十善業道已，便生歡悅，生歡悅已，便生於喜，生於喜已，便止息身，止息身已，便身覺樂，身覺樂已，便得一心，伽彌尼！多聞聖弟子得一心已，則心與悲俱，遍滿一方成就遊。如是，二三四方，四維上下，普周一切，心與悲俱，無結無怨，無恚無

[1]〔我〕－【宋】【元】【明】
[2]〔上〕－【元】【明】＊

諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，彼[1]作是念：若[2]沙門、梵志如是見、如是說，有施有齋，亦有呪說，有善惡業，有善惡業報，有此世彼世，有父有母，世有真人往至善處，善去善向，此世彼世，自知自覺，自作證成就遊，若彼沙門、梵志所說真實者，我不犯世怖與不怖，常當慈愍一切世間，我心不與眾生共諍，無濁歡悅，我得無上人*上之法，昇進得安樂居，謂遠離法定，彼沙門、梵志所說不是不非，不是不非已，得內心止，伽彌尼！是謂法定，名曰遠離，汝因此定，可得正念，可得一心，如是於現法便斷疑惑，而得昇進。」

[T1.447c22]「復次，伽彌尼！多聞聖弟子離殺斷殺，斷不與取、邪婬、妄言，至斷邪見，得正見，彼於晝日教田作耕稼，至暮放息，入室坐定，過夜曉時而作是念：我離殺斷殺，斷不與取、邪婬、妄言，至斷邪見，得正見，彼便自見，我斷十惡業道，念十善業道，彼自見斷十惡業道，念十善業道已，便生歡悅，生歡悅已，便生於喜，生於喜已，便止息身，止息身已，便身覺樂，身覺樂已，便得一心，伽彌尼！多聞聖弟子得一心已，則心與喜俱，遍滿一方成就遊。如是，二三四方，四維上下，普周一切，心與喜俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，*彼作是念。若有沙門、梵志如是見、如是說，自作、教作，自斷、教斷，自煮、教煮，愁煩憂慼，搥[3]胷懊惱，啼哭愚癡，殺生、不與取、邪婬、妄言、飲酒，穿墻開藏，至他巷劫，害村壞邑，破城滅國，作如是者，實[4]為不作惡，又以鐵輪利如剃刀，彼於此地一切眾生，於一日中斫截斬剉，剝裂剒割，作一肉段，一分一積，因是無惡業，因是無惡業報，恒水南岸殺、斷、煮去，恒水北岸施與、作齋、呪說而來，因是無罪無福，因是無罪福報，施與、調御、守護、攝持、稱譽、饒益，惠施、愛言、利及等利，因是無福，因是無福報，若沙門、梵志所說真實者，我不犯世怖與不怖，常當慈愍一切世間，我心不與眾生共諍，無濁歡悅，我今[5]得無上人*上之法，昇進得安樂居，謂遠離法定，彼於沙門、梵志所說不是不非，不是不非已，內得心止，伽彌尼！是謂法定，名曰遠離，汝因此定，可得正念，可得一心，如是汝[6]於現法便斷疑惑，而得昇進。」

[T1.448a25]「復次，伽彌尼！多聞聖弟子離殺斷殺，斷不與取、邪婬、妄言，至斷邪見，得正見，彼於晝日教田作耕稼，至暮放息，入室坐定，過夜曉時而作是念：我離殺斷殺，斷不與取、邪婬、妄言，至斷邪見，得正見，彼便自見，我斷十惡業道，念十善業道，彼自見斷十惡業道，念十善業道已，便生歡悅，生歡悅已，便生於喜，生於喜已，便止息身，止息身已，便身覺樂，身覺樂

---

[1] 彼＝便【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 若＋（有）【宋】【元】【明】
[3] 搥＝椎【宋】＊【元】＊【明】＊
[4]〔實〕－【宋】【元】【明】
[5]〔今〕－【宋】【元】【明】
[6]〔汝〕－【宋】【元】【明】

已，便得一心，伽彌尼！多聞聖弟子得一心已，則心與捨俱，遍滿一方成就遊。如是，二三四方，四維上下，普周一切，心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，彼作是念。若有沙門、梵志如是見、如是說，自作、教作，自斷、教斷，自煮、教煮，愁煩憂慼，*搥胸懊惱，啼哭愚癡，殺生、不與取、邪婬、妄言、飲酒，穿墻開藏，至他巷*劫，害村壞邑，破城滅國，作如是者，實為作惡，又以鐵輪利如剃刀，彼於此地一切眾生，於一日中斫截斬剉，剝裂剟割，作一肉段，一分一積，因是有惡業，因是有惡業報，恒水南岸殺、斷、煮去，恒水北岸施與、作齋、呪說而求[1]，因是有罪有福，因是有罪福報，施與、調御、守護、攝持、稱譽、饒益，惠施、愛言、利及等利，因是有福，因是有福報，若沙門、梵志所說真實者，我不犯世怖與不怖，常當慈愍一切世間，我心不與眾生共諍，無濁歡悅，我得無上人*上之法，昇進得樂[2]居，謂遠離法定，彼於沙門、梵志所說不是不非，不是不非已，得內心止，伽彌尼！是謂法定，名曰遠離，汝因此定，可得正念，可得一心，如是於現法便斷疑惑，而得昇進。」

[T1.448b27] 說此法時，波羅牢伽彌尼遠塵離垢，諸法淨[3]眼生。於是，波羅牢伽彌尼見法、得法，覺白淨法，斷疑度惑，更無餘尊，不復從他，無有猶豫，已住果證，於世尊法得無所畏，即從*坐起，稽首佛足，白曰：「世尊！我今自歸佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.448c05] 佛說如是，波羅牢伽彌尼及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.448c07]波羅牢經第十竟[4] (四千八百)[5]，

中阿含[6]經卷第四 (一萬八百十三字)[7]

中阿含[8]業相應品第二竟(二萬一千六十字)[9] (初一日誦)[10]，

---

[1] 求＝來【宋】【元】【明】
[2] （安）＋樂【元】【明】
[3] 淨＝法【宋】【元】【明】
[4]〔波…竟〕七字－【明】
[5]〔四…百〕四字－【明】
[6] 卷末題在品末題次行【宋】【元】
[7]〔一…字〕－【宋】【元】【明】
[8]〔中…竟〕十字－【明】
[9]〔二…字〕七字－【宋】【元】【明】
[10]〔初一日誦〕－【明】

中阿含經

卷第五 (Ma.21～25)

東晉罽賓三藏瞿曇僧伽提婆譯

舍梨子相應品 第三(有十一經)(初一日誦)[1]

等心、得戒、智、師子　　水喻、瞿尼、陀然梵[2]
教病、拘絺、象跡喻　　分別四諦最在後

（二一）舍梨子相應品

(Ma.21)等心經 第一[3]

[T1.448c20] 我聞如是。

[T1.448c20] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.448c21] 爾時，尊者舍梨子與比丘眾夜集講堂，因內結、外結[4]，為諸比丘分別其義：「諸賢！世實有二種人。云何為二？有內結人阿那含，不還此間，有外結人非阿那含，還來此間。諸賢，云何內結人阿那含，不還此間。若有一人修習禁戒，無穿無缺，無穢無濁，極多無難，聖所稱譽，善修善具，彼因修習禁戒，無穿無缺，無穢無濁，極多無難，聖所稱譽，善修善具故，復學厭欲、無欲、斷欲，因學厭欲、無欲、斷欲故，得息心解脫，得已樂中，愛惜不離，於現法中不得究竟智，身壞命終，過摶食天，生餘意生天中，既生彼已，便作是念：我本為人時，修習禁戒，無穿無缺，無穢無濁，極多無難，聖所稱譽，善修善具，因修習禁戒，無穿無缺，無穢無濁，極多無難，聖所稱譽，善修善具故，復學厭欲、無欲、斷欲，因學厭欲、無欲、斷欲故，得息、心解脫，得已樂中，愛惜不離，於現法中不得究竟智，身壞命終，過摶食天，生餘意生天在於此中。」

---

[1] 夾註（有十一經）四字及（初一日誦）四字在經題下【宋】【元】
[2] 陀然梵＝梵陀然【宋】【元】【明】
[3] ～《增支部》A.2.4.5.Saññojana(結)；A.2.4.6. Samacittā (等心)
[4] 內結外結～Ajjhattasaññojana, bahiddhāsaññojana

[T1.449a10]「諸賢！復有一人修習禁戒，無穿無缺，無穢無濁，極多無難，聖所稱譽，善修善具，彼因修習禁戒，無穿無缺，無穢無濁，極多無難，聖所稱譽，善修善具故，復學色有斷、貪斷業，學欲捨離，因學色有斷、貪斷業，學欲捨離故，得息、心解脫，得已樂中，愛惜不離，於現法中不得究竟智，身壞命終，過摶食天，生餘意生天中，既生彼已，便作是念：我本為人時，修習禁戒，無穿無缺，無穢無濁，極多無難，聖所稱譽，善修善具，因修習禁戒，無穿無缺，無穢無濁，極多無難，聖所稱譽，善修善具故，復學色有斷、貪斷業，學欲捨離，因學色有斷、貪斷業，學欲捨離故，得息、心解脫，得已樂中，愛惜不離，於現法中不得究竟智，身壞命終，過摶食天，生餘意生天在於此中。諸賢！是謂內結人阿那含，不還此間。」

[T1.449a26]「諸賢！云何外結人非阿那含，來還此間。若有一人修習禁戒，守護從解脫，又復善攝威儀禮節，見纖介罪，常懷畏怖，受持學戒。諸賢！是謂[1]外結人非阿那含，還來此間。」

[T1.449b01] 於是，眾多等心天色像巍巍，光輝[2]暐曄，夜將向旦，來詣佛所，稽首作禮，却住一面，白曰：「世尊！尊者舍梨子昨夜與比丘眾集在講堂，因內結、外結，為諸比丘分別其義。諸賢！世實有二種人，內結人、外結人。世尊！眾已歡喜，唯願世尊慈哀愍念，往至講堂，彼時，世尊為諸等心天默然而許，諸等心天知世尊默然許可，稽首佛足，繞三匝已，即彼處沒。」

[T1.449b10] 諸等心天去後不久，於是世尊往至講堂比丘眾前，敷座而坐，世尊坐已，歎曰：「 善哉！善哉！舍梨子！汝極甚善。所以者何？汝於昨夜與比丘眾集在講堂，因內結、外結，為諸比丘分別其義。諸賢，世實有二種人，內結人、外結人。舍梨子！昨夜向旦，諸等心天來詣我所，稽首禮已，却住一面，白我言。世尊！尊者舍梨子昨夜與比丘眾集在講堂，因內結、外結，為諸比丘分別其義。諸賢，世實有二種人，內結人、外結人。世尊！眾已歡喜，唯願世尊慈哀愍念，往至講堂。舍梨子！我便為彼諸等心天默然而許，諸等心天知我默然許可，稽首我足，繞三匝已，即彼處沒。」

[T1.449b22] 「舍梨子！諸等心天或十、二十，或三十、四十，或五十、六十，共住錐頭處，各不相妨。舍梨子！諸等心天非生彼中，甫修善心，極廣甚大，令諸等心天或十、二十，或三十、四十，或五十、六十，共住錐頭處，各不相妨。舍梨子！諸等心天本為人時，已修善心，極廣甚大，因是故，令諸等心天或十、二十，或三十、四十，或五十、六十，共住錐頭處，各不相妨。是故。舍梨子！當學寂靜，諸根寂靜，心意寂靜，身、口、意業寂靜，向於世尊及諸智梵行。舍梨子！虛偽異學，長衰永失。所以者何？謂不得聞如此妙法。」

---

[1] 謂＝諸【元】【明】
[2] 輝＝曜【宋】【元】【明】

[T1.449c04] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.449c06] 等心經第一竟 [1](千一百八十一字)[2]，

（二二）舍梨子相應品

(Ma.22)成就戒經 [3] 第二(初一日誦)[4]

[T1.449c08] 我聞如是。

[T1.449c08] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.449c09] 爾時，尊者舍梨子告諸比丘：「若比丘成就戒 [5]，成就定，成就慧者，便於現法出入想知滅定 [6]，必有此處，若 [7]於現法不得究竟智，身壞命終，過摶食天 [8]，生餘意生 [9]天中，於彼出入想知滅定，必有此處。」

[T1.449c13] 是時，尊者烏陀夷 [10]共在眾中，尊者烏陀夷白曰：「尊者舍梨子！若比丘生餘意生天中，出入想知滅定者，終無此處。」

[T1.449c16] 尊者舍梨子再三告諸比丘：「若比丘成就戒，成就定，成就慧者，便於現法出入想知滅定，必有此處，若於現法不得究竟智，身壞命終，過摶食天，生餘意生天中，於彼出入想知滅定，必有此處。」

[T1.449c21] 尊者烏陀夷亦復再三白曰：「尊者舍梨子！若比丘生餘意生天中，出入想知滅定者，終無此處。」

[T1.449c23] 於是，尊者舍梨子便作是念：「此比丘乃至再三非我所說，無一比丘歎我所說，我寧可往至世尊所。」

[T1.449c25] 於是，尊者舍梨子往詣佛所，稽首作禮，却坐一面，尊者舍梨子去後不久，尊者烏陀夷及諸比丘亦往詣佛所 [1]，稽首作禮，却坐一面，於中，尊者

---

[1]〔等…竟〕六字－【明】
[2]〔千…字〕－【宋】【元】【明】
[3] ～《增支部》A.5.166. Nirodha(滅)
[4]〔初一日誦〕－【明】
[5] [>成就戒成就定成就慧]～Sīlasampanna, samādhisampanna, paññāsampanna.
[6] 想知滅定～Saññāvedayitanirodha.
[7] 若＝苦【元】
[8] 摶食天～Kabaliṅkārāhārabhakkha-deva.
[9] 意生～Manomaya kāya.
[10] [>烏陀夷]～Udāyi.

舍梨子復告諸比丘：「若比丘成就戒，成就定，成就慧者，便於現法出入想知滅定，必有此處，若於現法不得究竟智，身壞命終，過摶食天，生餘意生天中，於彼出入想知滅定，必有此處。」

[T1.450a04] 尊者烏陀夷復白曰：「尊者舍梨子！若比丘生餘意生天中，出入想知滅定者，終無此處。」

[T1.450a06] 尊者舍梨子復再三告諸比丘：「若比丘成就戒，成就定，成就慧者，便於現法出入想知滅定，必有此處，若於現法不得究竟智，身壞命終，過摶食天，生餘意生天中，於彼出入想知滅定，必有此處。」

[T1.450a10] 尊者烏陀夷亦復再三白曰：「尊者舍梨子！若比丘生餘意生天中，出入想知滅定者，終無此處。」

[T1.450a13] 尊者舍梨子復作是念：「此比丘於世尊前再三非我所說，亦無一比丘歎我所說，我宜默然。」

[T1.450a15] 於是，世尊問曰：「烏陀夷，汝說意生天為是色耶？」

[T1.450a16] 尊者烏陀夷白世尊曰：「是也。世尊！」

[T1.450a17] 世尊面訶烏陀夷曰：「汝愚癡人，盲無有目，以何等故，論甚深阿毘曇。」於是，尊者烏陀夷為佛面訶已，內懷憂慼，低頭默然，失辯無言，如有所思[2]。

[T1.450a20] 世尊面訶尊者烏陀夷已，語尊者阿難曰：「上尊名德長老比丘為他所詰，汝何以故，縱而不撿[3]，汝愚癡人，無有慈心，捨背上尊名德長老。」

[T1.450a23] 於是，世尊面訶尊者烏陀夷及尊者阿難已，告諸比丘：「若比丘成就戒，成就定，成就慧者，便於現法出入想知滅定，必有此處，若於現法不得究竟智，身壞命終，過摶食天，生餘意生天中，於彼出入想知滅定，必有此處。」佛說如是，即入禪室，宴坐默然。

[T1.450a29] 爾時，尊者白淨[1]比丘在於眾中。尊者阿難白尊者白淨：「是他所作，而我得責，尊者白淨。」世尊晡時必從禪室出，至比丘眾前，敷座而坐，共論此義。尊者白淨應答此事：「我極慚愧於世尊所及諸梵行。」

---

[1]〔所〕－【宋】【元】【明】

[2] 思＝伺【宋】【元】【明】
[3] 撿＝儉【宋】

[T1.450b05] 於是，世尊則於晡時從禪室出，至比丘眾前，敷座而坐，告曰：「白淨，長老比丘為有幾法，為諸梵行者愛敬尊重。」

[T1.450b08] 尊者白淨白曰：「世尊！長老比丘若有五法，為諸梵行者愛敬尊重。云何為五？世尊！長老比丘修習禁戒，守護從解脫，又復善攝威儀禮節，見纖介罪，常懷畏怖，受持學戒。世尊！禁戒長老上尊比丘，為諸梵行者愛敬尊重。復次。世尊！長老比丘廣學多聞，守持不忘，積聚博聞，所謂法者，初善、中善、竟亦善，有義有文，具足清淨，顯現梵行，如是諸法廣學多聞，翫習至千[2]，意所惟[3]觀，明見深達。世尊！多聞長老上尊比丘，為諸梵行者愛敬尊重。復次。世尊！長老比丘得四增上心，現法樂居，易不難得。世尊！禪伺[4]長老上尊比丘，為諸梵行者愛敬尊重。復次。世尊！長老比丘修行智慧，觀興衰法，得如是智，聖慧明達，分別曉了，以正盡苦。世尊！智慧長老上尊比丘，為諸梵行者愛敬尊重。復次。世尊！長老比丘諸漏已盡，無復有結，心解脫、慧解脫，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。世尊！漏盡長老上尊比丘，為諸梵行者愛敬尊重。世尊！長老比丘若成就此五法，為諸梵行者愛敬尊重。」

[T1.450b29] 世尊問曰：「白淨！若長老比丘無此五法，當以何義使諸梵行者愛敬尊重，尊者白淨白曰：「世尊！若長老比丘無此五法者，更無餘事使諸梵行愛敬尊重，唯以老耄、頭白、齒落，盛壯日衰，身曲脚戾，體重氣上，柱[5]杖而行，肌縮皮緩，皺如麻子，諸根毀熟，顏色醜惡，彼因此故，使諸梵行愛敬尊重。」世尊告曰：「如是如是，若長老比丘無此五法，更無餘事使諸梵行愛敬尊重，唯以老耄、頭白、齒落，盛壯日衰，身曲脚戾，體重氣上，*柱杖而行，肌縮皮緩，皺如麻子，諸根毀熟，顏色醜惡，彼因此故，使諸梵行愛敬尊重，白淨，舍梨子比丘有此五法，汝等應當愛敬尊重。所以者何？白淨，舍梨子比丘修習禁戒，守護從解脫，又復善攝威儀禮節，見纖芥罪，常懷畏怖，受持學戒。復次，白淨，舍梨子比丘廣學多聞，守持不忘，積聚博聞，所謂法者，初善、中善、竟亦善，有義有文，具足清淨，顯現梵行，如是諸法，廣學多聞，翫習至千[6]，意所惟觀，明見深達。復次，白淨，舍梨子比丘得四增上心，現法樂居，易不難得。復次，白淨，舍梨子比丘修行智慧，觀興衰法，得如是智，聖慧明達，分別曉了，以正盡苦。復次，白淨，舍梨子比丘諸漏已盡，無復有結，心解脫、慧解脫，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，白淨，舍梨子比丘成就此五法，汝等應共愛敬尊重。」

---

[1] 白淨～Upavāna.
[2] 千＝十【宋】【元】，＝于【明】
[3] 惟＝唯【宋】【元】【明】
[4] 伺＝思【元】【明】
[5] 柱＝扜【明】＊
[6] 千＝十【元】，＝于【明】

[T1.450c27] 佛說如是，尊者白淨及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.450c29] 成就戒經第二竟 [1](一千七百四十六字)[2]，

（二三）舍梨子相應品

(Ma.23)智經 [3] 第三(初一日誦)[4]

[T1.451a01] 我聞如是。

[T1.451a02] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.451a03] 爾時，牟利破群 [5][少/兔]比丘捨戒罷道，黑齒 [6]比丘聞牟利破群[少/兔]比丘捨 [7]戒罷道，即詣尊者舍梨 [8]子所，稽首禮足，却 [9]坐一面，坐已，白曰：「尊者舍梨子！當知牟利破群[少/兔]比丘捨戒罷道。」

[T1.451a07] 尊者舍梨子曰：「牟利破群[少/兔]比丘於此法中而愛樂耶？」

[T1.451a08] 黑齒比丘問曰：「尊者舍梨子！於此法中而愛樂耶？」

[T1.451a09] 尊者舍梨子答曰：「黑齒！我於此法無有疑惑。」

[T1.451a10] 黑齒比丘即復問曰：「尊者舍梨子！於當來事復云何耶？」

[T1.451a12] 尊者舍梨子答曰：「黑齒！我於來事亦無猶預。」

[T1.451a13] 黑齒比丘聞如是已，即從坐 [10]起，往詣佛所，稽首作禮 [11]，却坐一面，白曰：「世尊！尊者舍梨子今自稱說得智，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。」

---

[1]〔成…竟〕七字－【明】
[2]〔一…字〕八字－【宋】【元】【明】
[3] ～《相應部》S.12.32. Kaḷāra (伽拉羅〔比丘〕)
[4]〔初一日誦〕－【明】
[5] [>牟利破群[少/兔]]～Moliyaphagguna.
[6] [>黑齒]～Kāḷārakhattiya.
[7] 捨＝於【宋】【元】
[8] 梨＝利【明】
[9] 却＝即【宋】【元】【明】
[10] 坐＝座【宋】＊【元】＊【明】＊
[11] 作禮＝禮足【宋】【元】【明】

[T1.451a16] 世尊聞已，告一比丘，汝往舍梨子所，語：「舍梨子！世尊呼汝。」

[T1.451a17] 一比丘受教已，即從*坐起，禮佛而去，往詣尊者舍梨子所，白曰：「世尊呼尊者舍梨子。」尊者舍梨子聞已，即往詣佛，稽首作禮，却坐一面。」

[T1.451a21] 世尊問曰：「舍梨子！汝今實自稱說得智，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真耶？」

[T1.451a23] 尊者舍梨子白曰：「世尊！不以此文，不以此句，我但說義。」

[T1.451a24] 世尊告曰：「舍梨子！族姓子隨其方便稱說，得智者即說得智。」

[T1.451a25] 尊者舍梨子白曰：「世尊！我向已說，不以此文，不以此句，我但說義。」

[T1.451a27] 世尊問曰：「舍梨子！若諸梵行來問汝言：『尊者舍梨子！云何知云何見，自稱說得智，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真耶？』舍梨子！汝聞此已當云何答？」

[T1.451b02] 尊者舍梨子白曰：「世尊！若諸梵行來問我言：『尊者舍梨子。云何知。云何見，自稱說得智，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。』世尊！我聞此已，當如是答：『諸賢！生者有因，此生因盡，知生因盡已，我自稱說得智，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。』世尊！若諸梵行來問如此，我當如是答。」

[T1.451b09] 世尊歎曰：「善哉！善哉！舍梨子！若諸梵行來問如此，汝應如是答。所以者何？如此說者，當知是義。」

[T1.451b11] 世尊問曰：「舍梨子！若諸梵行來問汝言：『尊者舍梨子！生者何因何緣，為從何生，以何為本？』汝聞此已，當云何答？」

[T1.451b13] 尊者舍梨子白曰：「世尊！若諸梵行來問我言：『尊者舍梨子！生者何因何緣，為從何生，以何為本？』世尊！我聞此已，當如是答：『諸賢！生者因有緣有，從有而生，以有為本[1]。』世尊！若諸梵行來問如此，我當如是答。」

[T1.451b18] 世尊歎曰：「善哉！善哉！舍梨子！若諸梵行來問如此，汝應如是答。所以者何？如此說者，當知是義。」

---

[1] 因有…為本～Bhavanidānā bhavasamu ayā bhavajātikā bhavapabhavā.

[T1.451b20] 世尊問曰：「舍梨子！若諸梵行來問汝言：『尊者舍梨子！有者何因何緣，為從何生，以何為本？』汝聞此已，當云何答？」

[T1.451b23] 尊者舍梨子白曰：「世尊！若諸梵行來問我言：『尊者舍梨子！有者何因何緣，為從何生，以何為本？』世尊！我聞此已，當如是答：『諸賢！有者因受[1]、緣受，從受而生，以受為本。』世尊！若諸梵行來問如此，我當如是答。」

[T1.451b28] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！舍梨子！若諸梵行來問如此，應如是答。所以者何？如此說者，當知是義。」

[T1.451c01] 世尊問曰：「舍梨子！若諸梵行來問汝言：『尊者舍梨子！受者何因何緣，為從何生，以何為本？』汝聞此已，當云何答？」

[T1.451c04] 尊者舍梨子白曰：「世尊！若諸梵行來問我言：『尊者舍梨子！受者何因何緣，為從何生，以何為本？』世尊！我聞此已，當如是答：『諸賢！受者因愛[2]、緣愛，從愛而生，以愛為本。』世尊！若諸梵行來問如此，我當如是答。」

[T1.451c09] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！舍梨子！若諸梵行來問如此，汝應如是答。所以者何？如此說者，當知是義。」

[T1.451c11] 世尊問曰：「舍梨子！若諸梵行來問汝言：『尊者舍梨子！云何為愛？』汝聞此已，當云何答？」

[T1.451c13] 尊者舍梨子白曰：「世尊！若諸梵行來問我言：『尊者舍梨子！云何為愛？』世尊！我聞此已，當如是答：『諸賢！謂有三覺[3]樂覺、苦覺、不苦不樂覺，於中樂欲著者，是謂為愛。』世尊！若諸梵行來問如此，我當如是答。」

[T1.451c17] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！舍梨子！若諸梵行來問如此，汝應如是答。所以者何？如此說者，當知是義。」

[T1.451c20] 世尊問曰：「舍梨子！若諸梵行來問汝言：『尊者舍梨子！云何知。云何見，於三覺中無樂欲著，汝聞此已，當云何答？』

[T1.451c22] 尊者舍梨子白曰：「世尊！若諸梵行來問我言：『尊者舍梨子！云何知。云何見，於三覺中無樂欲著。』世尊！我聞此已，當如是答：『諸賢！謂

---

[1] 受～Upādāna.
[2] 愛～Taṇhā.
[3] 覺～Vedanā.

此三覺無常法、苦法、滅法，無常法即是苦，見苦已，便於三覺無樂欲著。』世尊！若諸梵行來問如此，我當如是答。」

[T1.451c28] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！舍梨子！若諸梵行來問如此，汝應如是答。所以者何？如此說者，當知是義。」

[T1.452a01] 爾時，世尊告曰：「舍梨子！此說復有義可得略答。舍梨子！復有何義，此說可得略答，所覺所為，即皆是苦。舍梨子！是謂復有義此說可得略答。」

[T1.452a04] 世尊問曰：「舍梨子！若諸梵行來問汝言：『尊者舍梨子！云何背不向自稱說得智，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。』」

[T1.452a07] 尊者舍梨子白曰：「世尊！若諸梵行來問我言：『尊者舍梨子！云何背不向自稱說得智，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。』世尊！我聞此已，當如是答：『諸賢！我自於內背而不向則諸愛盡，無驚無怖，無疑無惑，行如是守護，如其守護已，不生不善漏。』世尊！若諸梵行來問如此，我當如是答。」

[T1.452a14] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！舍梨子！若諸梵行來問如此，汝應如是答。所以者何？如此說者，當知是義。」

[T1.452a16] 世尊告曰：「舍梨子！復次有義，此說可得略答，若諸結沙門所說，彼結非我有，行如是守護，如其守護已，不生不善漏。舍梨子！是謂復有義此說可得略答。」世尊說如是已，即從*坐起，入室燕[1]坐。

[T1.452a21] 世尊入室不久，尊者舍梨子告諸比丘：「諸賢！我始未作意，而世尊卒問此義，我作是念：恐不能答。諸賢！我初說一義，便為世尊之所讚可，我復作是念：若世尊一日一夜，以異文異句問我此義者，我能為世尊一日一夜，以異文異句而答此義，若世尊二、三、四，至七日七夜，以異文異句問我此義者，我亦能為世尊二、三、四，至七日七夜，以異文異句而答此義。」

[T1.452b01] 黑齒比丘聞尊者舍梨子說如是已，即從*坐起，疾詣佛所，白世尊曰：「世尊入室不久，尊者舍梨子所說至高，一向師子吼。諸賢！我始未作意，而世尊卒問此義，我作是念：恐不能答。諸賢！我初說一義，便為世尊之所讚可，我復作是念：若世尊一日一夜，以異文異句問我此義者，我能為世尊一日一夜，以異文異句而答此義。諸賢！若世尊二、三、四，至七日七夜，以異文異句問我此義者，我亦能為世尊二、三、四，至七日七夜，以異文異句而答此義。」

[1] 燕＝宴【宋】【元】【明】

[T1.452b11] 世尊告曰：「黑齒！如是，如是，若我一日一夜，以異文異句問舍梨子比丘此義者，舍梨子比丘必能為我一日一夜，以異文異句而答此義，黑齒！若我二、三、四，至七日七夜，以[1]異文異句問舍梨子比丘此義者，舍梨子比丘亦能為我二、三、四，至七日七夜，以異文異句而答此義。所以者何？黑齒！舍梨子比丘深達法界故。」

[T1.452b19] 佛說如是，尊者舍梨子及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.452b21]智經第三竟[2](一千一百六十九字)[3]。

（二四）舍梨子相應品

(Ma.24)師子吼經[4] 第四(初一日誦)[5]

[T1.452b23] 我聞如是。

[T1.452b23] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.452b24] 爾時，世尊與大比丘眾俱，於舍衛國而受夏坐，尊者舍梨子亦遊舍衛國而受夏坐。於是，尊者舍梨子舍衛國受夏坐訖，過三月已，補治衣竟，攝衣持鉢，往詣佛所，稽首禮足，却坐一面，白曰：「世尊！我於舍衛國受夏坐訖。世尊！我欲遊行人間 。」

[T1.452b29] 世尊告曰：「舍梨子！汝去隨所欲，諸未度者當令得度，諸未脫者當令得脫，諸未般涅槃者令得般涅槃。舍梨子！汝去隨所欲 。」

[T1.452c03] 於是，尊者舍梨子聞佛所說，善受善持，即從坐[6]起，稽首佛足，繞三匝而去，還至己房，收舉床座，攝衣持鉢，即便出去遊行人間。」

[T1.452c06] 尊者舍梨子去後不久，有一梵行在於佛前犯相違法，白世尊曰：「今日尊者舍梨子輕慢我已，遊行人間 。」

---

[1]〔以〕－【明】
[2]〔智…竟〕五字－【明】
[3]〔一千…字〕八字－【宋】【元】【明】
[4] ～《增支部》A.9.11. Vuttha(安居住)、《法句經注》Dhp.A.2. p.178f、《增壹阿含 37.6 經》(大正 2.712c)
[5]〔初一日誦〕－【明】
[6] 坐＝座【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.452c09] 世尊聞已，告一比丘：「汝往舍梨子所，語舍梨子！世尊呼汝，汝去不久，有一梵行在於我前犯相違法，而作是語。世尊！今日尊者舍梨子輕慢我已，遊行人間 。」

[T1.452c13] 一比丘受教已，即從坐起，禮佛而去。於是，尊者阿難住世尊後執拂侍佛。

[T1.452c14] 一比丘去後不久，尊者阿難即持戶鑰，遍至諸房，見諸比丘便作是語：「善哉，諸尊，速詣講堂，今尊者舍梨子當在佛前而師子吼，若尊者舍梨子所說甚深，息中之息，妙中之妙，如是說者，諸尊及我得聞此已，當善誦習，當善受持，彼時，諸比丘聞尊者阿難語已，悉詣講堂 。」

[T1.452c21] 爾時，一比丘往詣尊者舍梨子所，白曰：「世尊呼汝，汝去不久，有一梵行在於我前犯相違法，而作是語。世尊！今日尊者舍梨子輕慢我已，遊行人間 。」

[T1.452c24] 於是，尊者舍梨子聞已，即從坐起，便還詣佛，稽首禮足，却坐一面，佛便告曰：「舍梨子！汝去不久，有一梵行在於我前犯相違法，而作是語。世尊！今日尊者舍梨子輕慢我已，遊行人間。舍梨子！汝實輕慢一梵行已而遊人間耶？」

[T1.453a01] 尊者舍梨子白曰：「世尊！若無身身念者[1]，彼便輕慢於一梵行而遊人間。世尊！我善有身身念，我當云何輕慢一梵行而遊人間。世尊！猶截角牛，至忍溫良，善調善御，從村至村，從巷至巷，所遊行處，無所侵犯。世尊！我亦如是，心如截角牛，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。世尊！若無身身念者，彼便輕慢於一梵行而遊人間。世尊！我善有身身念，我當云何輕慢一梵行而遊人間 。」

[T1.453a11]「 世尊！猶旃陀羅子[2]而截兩手，其意至下，從村至村，從邑至邑，所遊行處，無所侵犯。世尊！我亦如是，心如截手旃陀羅子，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。世尊！若無身身念者，彼便輕慢於一梵行而遊人間。世尊！我善有身身念，我當云何輕慢一梵行而遊人間 。」

[T1.453a18] 「世尊！猶若如地，淨與不淨，大便、小便、涕、唾悉受，地不以此而有憎愛，不羞不慙，亦不愧恥。世尊！我亦如是，心如彼地，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。世尊！若無身身念

---

[1] 身身念～Kāye kāyagatā sati.

[2] [>旃陀羅子]～Caṇḍālakumāraka(+vā caṇḍālakumārikā vā)

者，彼便輕慢於一梵行而遊人間。世尊！我善有身身念，我當云何輕慢一梵行而遊人間 。」

[T1.453a25] 「世尊！猶若如水，淨與不淨，大便、小便、涕、唾悉洗，水不以此而有憎愛，不羞不慙，亦不愧恥。世尊！我亦如是，心如彼水，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。世尊！若無身身念者，彼便輕慢於一梵行而遊人間。世尊！我善有身身念，我當云何輕慢一梵行而遊人間 。」

[T1.453b03] 「世尊！猶若如火，淨與不淨，大便、小便、涕、唾悉燒，火不以此而有憎愛，不羞不慙，亦不愧恥。世尊！我亦如是，心如彼火，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切[間世>世間]成就遊。世尊！若無身身念者，彼便輕慢於一梵行而遊人間。世尊！我善有身身念，我當云何輕慢一梵行而遊人間 。」

[T1.453b10] 「世尊！猶若如風，淨與不淨，大便、小便、涕、唾悉吹，風不以此而有憎愛，不羞不慙，亦不愧耻。世尊！我亦如是，心如彼風，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。世尊！若無身身念者，彼便輕慢於一梵行而遊人間。世尊！我善有身身念，我當云何輕慢一梵行而遊人間 。」

[T1.453b16] 「世尊！猶如掃箒[1]，淨與不淨，大便、小便、涕、唾悉掃[2]，*箒不以此而有憎愛，不羞不慙，亦不愧耻。世尊！我亦如是，心如掃箒，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿[>一]切世間成就遊。世尊！若無身身念者，彼便輕慢於一梵行而遊人間。世尊！我善有身身念，我當云何輕慢一梵行而遊人間 。」

[T1.453b23] 「世尊！猶晡旃[3]尼，淨與不淨，大便、小便、涕、唾悉拭，晡*旃尼不以此故而有憎愛，不羞不慙，亦不愧耻。世尊！我亦如是，心如晡旃尼，無結無怨，無恚無諍，極廣[廣>甚]大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。世尊！若無身身念者，彼便輕慢於一梵行而遊人間。世尊！我善有身身念，我當云何輕慢一梵行而遊人間 。」

[T1.453c01] 「世尊！猶如膏瓶處處裂破，盛滿膏已而著日中，漏遍漏津遍津。若有目人，來住一面，見此膏瓶處處裂破，盛滿膏已而著日中，漏遍漏津遍津。世尊！我亦如是，常觀此身九孔不淨，漏遍漏津遍津。世尊！若無身身念

---

[1] 箒＝篲【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 掃＋（掃）【宋】【元】【明】
[3] 旃＝栴【宋】【元】＊

者，彼便輕慢於一梵行而遊人間。世尊！我善有身身念，我當云何輕慢一梵行而遊人間 。」

[T1.453c08]「世尊！猶如有一自喜[1]年少，沐浴澡洗，熏以塗香，著白淨衣，瓔珞自嚴，剃鬚治髮，頭冠華鬘，若以三屍死蛇、死狗及以死人，青瘀膨脹，極臭爛壞，不淨流漫，繫著咽頸，彼懷羞慙，極惡穢之。世尊！我亦如是，常觀此身臭處不淨，心懷羞慙，極惡穢之。世尊！若無身身念者，彼便輕慢於一梵行而遊人間。世尊！我善有身身念，我當云何輕慢一梵行而遊人間 。」

[T1.453c17] 於是，彼比丘即從*坐起，稽首佛足，白世尊曰：「悔過。世尊！自首，善逝，如愚如癡，如不定，如不善。所以者何？謂我以虛妄言誣謗清淨梵行舍梨子比丘。世尊！我今悔過，願為受之，見已發露，後不更作 。」

[T1.453c21] 世尊告曰：「如是，比丘！汝實如愚如癡，如不定，如不善。所以者何？謂汝以虛妄言空無真實，誣謗清淨梵行舍梨子比丘，汝能悔過，見已發露，後不更作。若有悔過，見已發露，後不更作者，如是長養於聖法、律則不衰退 。」

[T1.453c26] 於是，佛告尊者舍梨子：「汝速受彼癡人悔過，莫令彼比丘即於汝前頭破七分。」

[T1.453c28] 尊者舍梨子即為哀愍彼比丘故，便受悔過。

[T1.453c29] 佛說如是，尊者舍利子及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.454a02]師子吼經第四竟[2](千九百七十七字)[3]，

（二五）舍梨子相應品

(Ma.25)水喻經[4]第五(初一日誦)[5]

[T1.454a05] 我聞如是。

[T1.454a05] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

---

[1] 喜＝善【元】【明】
[2]〔師子…竟〕七字－【明】
[3]〔千…字〕七字－【宋】【元】【明】
[4] ～《增支部》A.5.162. Āghātavinaya. (除惱)，雜 18.7(496), 舉罪參照
[5]〔初一日誦〕－【明】

[T1.454a06] 爾時，尊者舍梨子告諸比丘：「諸賢！我今為汝說五除惱法[1]，諦聽，諦聽，善思念之，彼諸比丘受教而聽。

[T1.454a08] 尊者舍梨子言：「云何為五？諸賢，或有一人身不淨行，口淨行，若慧者見，設生恚惱，應當除之。復次。諸賢！或有一人口不淨行，身淨行，若慧者見，設生恚惱，應當除之。復次。諸賢！或有一人身不淨行，口不淨行，心少有淨，若慧者見，設生恚惱，應當除之。復次。諸賢！或有一人身不淨行，口、意不淨行，若慧者見，設生恚惱，應當除之。復次。諸賢！或有一人身淨行，口、意淨行，若慧者見，設生恚惱，應當除之。」

[T1.454a17]「諸賢！或有一人身不淨行，口淨行，若慧者見，設生恚惱，當云何[徐>除]。諸賢！猶如阿練若[2]比丘持糞掃衣[3]，見糞聚中所棄弊衣，或大便污或小便、涕、唾及餘不淨之所染污，見已，左手執之，右手舒張，若非大便、小便、涕、唾及餘不淨之所污處，又不穿者，便裂取之。如是。諸賢！或有一人身不淨行，口淨行，莫念彼身不淨行也[4]，但當念彼口之淨行，若慧者見，設生恚惱，應如是除。」

[T1.454a26]「諸賢！或有一人口不淨行，身淨行，若慧者見，設生恚惱，當云何除。諸賢！猶村外不遠，有深水池，[葶-丁+呆][5]草所覆。若有人來，熱極煩悶，飢渴頓乏，風熱所逼，彼至池已，脫衣置岸，便入池中，兩手披*[葶-丁+呆]，恣意快浴，除熱煩悶，飢渴頓乏。如是。諸賢！或有一人口不淨行，身有淨行，莫念彼口不淨行，但當念彼身之淨行，若慧者見，設生恚惱，應如是除。」

[T1.454b05]「諸賢！或有一人身不淨行，口不淨行，心少有淨，若慧者見，設生恚惱，當云何除。諸賢！猶四衢道，有牛跡水。若有人來，熱極煩悶，飢渴頓乏，風熱所逼，彼作是念：此四衢道牛跡少水，我若以手以葉取者，則擾渾濁，不得除我熱極煩悶、飢渴頓乏，我寧可跪[6]，手膝拍地，以口飲水，彼即長*跪，手膝拍地，以口飲水，彼即得除熱極煩悶、飢渴頓乏。如是。諸賢！或有一人身不淨行，口不淨行，心少有淨，莫得念彼身不淨行，口不淨行，但當念彼心少有淨。諸賢！若慧者見，設生恚惱，應如是除。」

[T1.454b16]「諸賢！或有一人身不淨行，口、意不淨行，若慧者見，設生恚惱，當云何除。諸賢！猶如有人遠涉長路，中道得病，極困委[7]頓，獨無伴侶，後村

---

[1] 五除惱法～Pañcāaghata-paṭivinayā.
[2] [>阿練若]～Araññа.
[3] [>糞掃衣]～paṃsu-kūla.
[4]〔也〕－【宋】【元】【明】
[5] [藁>[葶-丁+呆]]＝苔【元】【明】＊
[6] 跪＝跽【宋】＊【元】＊【明】＊
[7] 委＝萎【宋】＊【元】＊【明】＊

轉遠，而前村未至。若有人[1]來住一面，見此行人遠涉長路[2]，中道得病，極困*委頓，獨無伴侶，後村轉遠，而前村未至，彼若得侍人，從迥野中，將至村邑，與妙[3]湯藥，餔養美食，好瞻視者，如是此人病必得差，謂彼人於此病人，極有哀愍慈念之心。如是。諸賢！或有一人身不淨行，口、意不淨行，若慧者見，便作是念：此賢身不淨行，口、意不淨行，莫令此賢因身不淨行，口、意不淨行，身壞命終，趣至惡處，生地獄中，若此賢得善知識者，捨身不淨行，修身淨行，捨口、意不淨行，修口、意淨行。如是，此賢因身淨行，口、意淨行，身壞命終，必至善處，乃生[4]天上，謂彼賢為此賢極有哀愍慈念之心，若慧者見，設生恚惱，應如是除。」

[T1.454c05]「諸賢！或有一人身淨行，口、意淨行，若慧者見，設生恚惱，當云何除。諸賢！猶村外不遠，有好池水，既清且美，其淵平滿，翠草被岸，華樹四周。若有人來，熱極煩悶，飢渴頓乏，風熱所逼，彼至池已，脫衣置岸，便入池中，恣意快浴，除熱煩悶、飢渴頓乏。如是。諸賢！或有一人身淨行，口、意淨行，常當念彼身之淨行，口、意淨行，若慧者見，設生恚惱，應如是除。諸賢！我向所說五除惱法者，因此故說。」

[T1.454c14] 尊者舍梨子所說如是，諸比丘聞已，歡喜奉行。

[T1.454c16]水喻經第五竟[5](千一百一字)[6]，

中阿含經卷第五(七千一百七十四字)[7](初一日誦)[8]

中阿含經

卷第六(Ma.26～28)

東晉罽賓三藏瞿曇僧伽提婆譯

---

[1] （月）＋人【宋】【元】【明】
[2] 長路＝路長【宋】【元】【明】
[3] 妙＝好【宋】【元】【明】
[4] 生＝至【明】
[5]〔水喻…竟〕六字－【明】
[6]〔千…字〕五字－【宋】【元】【明】
[7]〔七…字〕八字－【宋】【元】【明】
[8]〔初一日誦〕－【明】

（二六）舍梨子相應品

(Ma.26)瞿尼師經 第六 [1] (初一日誦)[2]

[T1.454c26] 我聞如是。

[T1.454c26] 一時，佛遊王舍城，在竹林迦蘭哆園。

[T1.454c27] 爾時，瞿尼師 [3]比丘亦遊王舍城，在無事室，調笑、憍慢，躁擾、喜忘，心如獼猴，瞿尼師比丘為少緣故，至王舍城，是時尊者舍梨子與比丘眾俱，中食已後，因小事故，集在講堂，瞿尼師比丘於王舍城所作已訖，往詣講堂。

[T1.455a03] 尊者舍梨子遙見瞿尼師來已，因瞿尼師告諸比丘：「諸賢！無事比丘 [4]行於無事，當學敬重而隨順觀。諸賢！若無事比丘行於無事，多不敬重，不隨順觀者，則致比丘訶數詰責，此賢無事，何為行無事。所以者何？此賢無事，行於無事，多不敬重，不隨順觀，若至眾中，亦致比丘訶數詰責。是故。諸賢！無事比丘行於無事，當學敬重，令隨順觀。」

[T1.455a10]「諸賢！無事比丘行於無事，當學不調笑而不躁擾。諸賢！若無事比丘行於無事，多行調笑而躁擾者，則致比丘訶數詰責，此賢無事，何為行無事。所以者何？此賢無事，行於無事，多行調笑及於躁擾，若至眾中，亦致比丘訶數詰責。是故。諸賢！無事比丘行於無事，當學不調笑，令不躁擾。」

[T1.455a17]「諸賢！無事比丘行於無事，當學不畜生論。諸賢！若無事比丘行於無事，多畜生論者，則致比丘訶數詰責，此賢無事，何為行無事。所以者何？此賢無事，行於無事，多畜生論，若至眾中，亦致比丘訶數詰責。是故。諸賢！無事比丘行於無事，當學不畜生論。」

[T1.455a23]「諸賢！無事比丘行於無事，當學不憍慢及少言說。諸賢！若無事比丘行於無事，多行憍慢，多言說者，則致比丘訶數詰責，此賢無事，何為行無事。所以者何？此賢無事，行於無事，多行憍慢及多言說，若至眾中，亦致比丘訶數詰責。是故。諸賢！無事比丘行於無事，當學不憍慢及少言說。」

---

[1] ～M. 69. Gulissāni sutta. (瞿尼師經)
[2]〔初一日誦〕－【明】
[3] [>瞿尼師]～Gulissāni.
[4] 無事比丘～Āraññaka bhikkhu.

[T1.455b01]「諸賢！無事比丘行於無事，當學護諸根。諸賢！若無事比丘行於無事，多不護諸根者，則致比丘訶數詰責，此賢無事，何為行無事。所以者何？此賢無事，行於無事，多不護諸根，若至眾中，亦致比丘訶數詰責。是故。諸賢！無事比丘行於無事，當學護諸根。」

[T1.455b07]「諸賢！無事比丘行於無事，當學食知止足。諸賢！若無事比丘行於無事，貪餘多食，不知足者，則致比丘訶數詰責，此賢無事，何為行無事。所以者何？此賢無事，行於無事，貪餘多食，不知止足，若至眾中，亦致比丘訶數詰責。是故。諸賢！無事比丘行於無事，當學食知止足。」

[T1.455b13]「諸賢！無事比丘行於無事，當學精進而不懈怠。諸賢！若無事比丘行於無事，多不精進而懈怠者，則致比丘訶數詰責，此賢無事，何為行無事。所以者何？此賢無事，行於無事，多不精進而反懈怠，若至眾中，亦致比丘訶數詰責。是故。諸賢！無事比丘行於無事，當學精進而不懈怠。」

[T1.455b20]「諸賢！無事比丘行於無事，當學正念及正智也。諸賢，若無事比丘行於無事，多無正念，無正智者，則致比丘訶數詰責，此賢無事，何為行無事。所以者何？此賢無事，行於無事，多無正念及無正智，若至眾中，亦致比丘訶數詰責。是故。諸賢！無事比丘行於無事，當學正念及正智也。」

[T1.455b27]「諸賢！無事比丘行於無事，當學知時及善時也。不早入村而行乞食，亦不[1]晚出。諸賢！若無事比丘行於無事，早入村邑而行乞食，又晚出者，則致比丘訶數詰責，此賢無事，何為行無事。所以者何？此賢無事，行於無事，早入村邑而行乞食，又復晚出，若至眾中，亦致比丘訶數詰責。是故。諸賢！無事比丘行於無事，當學知時及善時也。」

[T1.455c06]「諸賢！無事比丘行於無事，當學知坐取善坐也。不逼長老坐，為小比丘訶。諸賢！若無事比丘行於無事，逼長老坐，為小比丘訶者，則致比丘訶數詰責，此賢無事，何為行無事。所以者何？此賢無事，行於無事，逼長老坐，為小比丘訶，若至眾中，亦致比丘訶數詰責。是故。諸賢！無事比丘行於無事，當學知坐及善坐也。」

[T1.455c13] 「諸賢！無事比丘行於無事，當學共論律、阿毘曇[2]，何以故。諸賢！無事比丘行於無事時，或有來問律、阿毘曇。諸賢！若無事比丘行於無事，不知答律、阿毘曇者，則致比丘訶數詰責，此賢無事，何為行無事。所以者何？此賢無事，行於無事，不知答律及阿毘曇，若至眾中，亦致比丘訶數詰責。是故。諸賢！無事比丘行於無事，當學共論律、阿毘曇。」

---

[1] 不＝無【宋】【元】【明】
[2] 當學…毘曇～Abhidhamme abhivinaye yogo karaṇīyo

[T1.455c21]「諸賢！無事比丘行於無事，當學共論息解[>脫]，離色至無色定，何以故。諸賢！無事比丘行於無事時，或有來問息解脫，離色至無色定。諸賢！若無事比丘行於無事，不知答息解脫，離色至無色定者，則致比丘訶數詰責，此賢無事，何為行無事。所以者何？此賢無事，行於無事，不知答息解脫，離色至無色定，若至眾中，亦致比丘訶數詰責。是故。諸賢！無事比丘行於無事，當學共論息解脫，離色至無色定。」

[T1.456a02]「諸賢！無事比丘行於無事，當學共論漏盡智通，何以故。諸賢！無事比丘行於無事時，或有來問漏盡智通。諸賢！若無事比丘行於無事，而不知答漏盡智通者，則致比丘訶數詰責，此賢無事，何為行無事。所以者何？此賢無事，行於無事，而不知答漏盡智通，若至眾中，亦致比丘訶數詰責。是故。諸賢！無事比丘行於無事，當學共論漏盡智通。」

[T1.456a10] 是時，尊者大目揵連亦在眾中，尊者大目乾[1]連白曰：「尊者舍梨子！但無事比丘行於無事，應學如是法，非謂人間比丘耶？」

[T1.456a13] 尊者舍梨子答曰：「尊者大目*乾連，無事比丘行於無事，尚學如是法，況復人間比丘耶？」

[T1.456a15] 如是二尊更相稱說，讚歎善哉，聞所說已，從座起去。

敬重無調笑　不畜生論慵　護根食知足　精進正念智
知時亦善坐　論律阿毘曇　及說息解[說>脫]　漏盡通亦然

[T1.456a21]瞿尼師經第六竟[2](千七百四十字)，[3]

（二七）中阿含[4]舍梨子相應品

(Ma.27)梵志陀然經 第七[5] (初一日誦)[6]

[T1.456a24] 我聞如是。

---

[1] 乾＝揵【宋】＊【元】＊【明】＊
[2]〔瞿尼…竟〕七字－【明】
[3]〔千…字〕六字－【明】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～M. 97. Dhānañjani sutta. (陀然經)
[6]〔初一日誦〕－【明】

[T1.456a24] 一時，佛遊王舍城，在竹林加[1]蘭哆園，與大比丘眾俱，共[2]受夏坐[3]，爾時，尊者舍梨子在舍衛國亦受夏坐。

[T1.456a26] 是時，有一比丘於王舍城受夏坐訖，過三月已，補治衣竟，攝衣持鉢，從王舍城往舍衛國，住勝林給孤獨園。彼一比丘往詣尊者舍梨子所，稽首禮足，却坐一面。

[T1.456b01] 尊者舍梨子問曰：「賢者，從何處來，於何夏坐。」

[T1.456b02] 彼一比丘答曰：「尊者舍梨子！我從王舍城來，在王舍城受夏坐。」

[T1.456b04] 復問：「賢者，世尊在王舍城受夏坐，聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？」

[T1.456b05] 答曰：「如是。尊者舍梨子！世尊在王舍城受夏坐，聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常。」

[T1.456b08] 復問：「賢者，比丘眾、比丘尼眾在王舍城受夏坐，聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常，欲數見佛，樂聞法耶？」

[T1.456b10] 答曰：「如是。尊者舍梨子！比丘眾、比丘尼眾在王舍城受夏坐，聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常，欲數見佛，盡樂聞法。」

[T1.456b13] 復問：「賢者，優婆塞眾、優婆夷眾住王舍城，身體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常，欲數見佛，樂聞法耶？」

[T1.456b15] 答曰：「如是。尊者舍梨子！優婆塞眾、優婆夷眾住王舍城，身體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常，欲數見佛，盡樂聞法。」

[T1.456b18] 復問：「賢者，若干異學沙門、梵志在王舍城受夏坐，身體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常，欲數見佛，樂聞法耶？」

[T1.456b21] 答曰：「如是。尊者舍梨子！若干異學沙門、梵志在王舍城受夏坐，身體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常，欲數見佛，盡樂聞法。」

[T1.456b24] 復問賢者：「在王舍城有一梵志，名曰陀然，是我昔日未出家友，賢者識耶？」

---

[1] 加＝迦【宋】【元】【明】
[2]〔共〕－【宋】【元】【明】
[3] 受夏坐～Vassam vuṭṭho.

[T1.456b26] 答曰：「識之。」

[T1.456b26] 復問賢者：「梵志陀然住王舍城，身體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常，欲數見佛，樂聞法耶？」

[T1.456b28] 答曰：「尊者舍梨子！梵志陀然住王舍城，身體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常，不欲見佛，不樂聞法。所以者何？尊者舍梨子！梵志陀然而不精進，犯於禁戒，彼依傍於王，欺誑梵志、居士，依恃[1]梵志、居士，欺誑於王。」

[T1.456c04] 尊者舍梨子聞已，於舍衛國受夏坐訖，過三月已，補治衣竟，攝衣持鉢，從舍衛國往詣王舍城，住竹林加[2]蘭哆園。

[T1.456c07] 於是，尊者舍梨子過夜平旦，著衣持鉢，入王舍城，次行乞食，乞食已，竟往至梵志陀然家，是時，梵志陀然從其家出，至泉水邊苦治居民。

[T1.456c10] 梵志陀然遙見尊者舍梨子來，從坐[3]而起，偏袒著衣，叉手向尊者舍梨子讚曰：「善來。舍梨子！舍梨子久不來此。於是，梵志陀然敬心扶抱尊者舍梨子！將入家中，為敷好床，請使[4]令坐，尊者舍梨子即坐其床，梵志陀然見尊者舍梨子坐已，執金澡灌[5]，請尊者舍梨子食。」

[T1.456c16] 尊者舍梨子曰：「止，止，陀然，但心喜足。」

[T1.456c17] 梵志陀然復再三請食，尊者舍梨子亦再三語曰：「止，止，陀然，但心喜足。」

[T1.456c19] 是時，梵志陀然問曰：「舍梨子！何故入如是家而不肯食。」

[T1.456c20] 答曰：「陀然，汝不精進，犯於禁戒，依傍於王，欺誑梵志、居士，依傍梵志、居士，欺誑於王。」

[T1.456c22] 梵志陀然答曰：「舍梨子！當知我今在家，以家業為事，我應自安隱，供養父母，瞻視妻子，供給奴婢，當輸王租，祠祀諸天，祭餟先祖及布施沙門、梵志，為後生天而得長壽，得樂果報故。舍梨子！是一切事不可得疑[6]，一向從法。」

---

[1] 恃＝傍【宋】【元】【明】
[2] 加＝迦【宋】【元】【明】
[3] 坐＝座【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 使＝便【宋】【元】【明】
[5] 灌＝罐【元】【明】
[6] 疑＝廢【宋】【元】【明】

[T1.456c27] 於是，尊者舍梨子告曰：「陀然，我今問汝，隨所解答，梵志陀然，於意云何？若使有人為父母故而行作惡，因行惡故，身壞命終趣至惡處，生地獄中，生地獄已，獄卒執捉，極苦治時，彼向獄卒而作是語，獄卒，當知，莫苦治我。所以者何？我為父母故而行作惡。云何，陀然，彼人可得從地獄卒脫此苦耶？」

[T1.457a05] 答曰：「不也。」

[T1.457a06] 復問：「陀然，於意云何？若復有人為妻子故而行作惡，因行惡故，身壞命終趣至惡處生地獄中，生地獄已，獄卒執捉，極苦治時，彼向獄卒而作是語，獄卒，當知，莫苦治我。所以者何？我為妻子故而行作惡。云何，陀然，彼人可得從地獄卒脫此苦耶？」

[T1.457a11] 答曰：「不也。」

[T1.457a12] 復問：「陀然，於意云何？若復有人為奴婢故，而行作惡，因行惡故，身壞命終趣至惡處，生地獄中，生地獄已，獄卒執捉，極苦治時，彼向獄卒而作是語，獄卒，當知，莫苦治我。所以者何？我為奴婢故而行作惡。云何，陀然，彼人可得從地獄卒脫此苦耶？」

[T1.457a17] 答曰：「不也。」

[T1.457a18] 復問：「陀然，於意云何？若復有人為王、為天、為先祖、為沙門、梵志故，而行作惡，因行惡故，身壞命終趣至惡處，生地獄中，生地獄已，獄卒執捉，極苦治時，彼向獄卒而作是語，獄卒，當知，莫苦治我。所以者何？我為王、為天、為先祖、為沙門、梵志故，而行作惡。云何，陀然，彼人可得從地獄卒脫此苦耶？」

[T1.457a25] 答曰：「不也。」

[T1.457a25] 「陀然，族姓子可得如法、如業、如功德得錢財，尊重奉敬孝養父母，行福德業，不作惡業，陀然，若族姓子如法、如業、如功德得錢財，尊重奉敬孝養父母，行福德業，不作惡業者，彼便為父母之所愛念，而作是言，令汝強健，壽考無窮。所以者何？我由汝故，安隱快樂，陀然。若有人極為父母所愛念者，其德日進，終無衰退。」

[T1.457b04] 「陀然，族姓子可得如法、如業、如功德得錢財，愛念妻子，供給瞻視，行福德業，不作惡業，陀然，若族姓子如法、如業、如功德得錢財，愛念妻子，供給瞻視，行福德業，不作惡業者，彼便為妻子之所尊重，而作是

言，願尊強健，壽考無窮。所以者何？我由尊故，安隱快樂，陀然。若有人極為妻子所尊重者，其德日進，終無衰退。」

[T1.457b11] 「陀然，族姓子可得如法、如業、如功德得錢財，愍傷奴婢，給恤瞻視，行福德業，不作惡業，陀然，若族姓子如法、如業、如功德得錢財，愍傷奴婢，給恤瞻視，行福德業，不作惡業者，彼便為奴婢之所尊重，而作是言，願令大家強健，壽考無窮。所以者何？由大家故，我得安隱，陀然。若有人極為奴婢所尊重者，其德日進，終無衰退。」

[T1.457b19] 「陀然，族姓子可得如法、如業、如功德得錢財，尊重供養沙門、梵志，行福德業，不作惡業，陀然，若族姓子如法、如業、如功德得錢財，尊重供養沙門、梵志，行福德業，不作惡業者，彼便極為沙門、梵志之所愛念，而作是言，令施主強健，壽考無窮。所以者何？我由施主故，得安隱快樂，陀然。若有人極為沙門、梵志所愛念者，其德日進，終無衰退。」

[T1.457b27] 於是，梵志陀然即從*坐起，偏袒著衣，叉手向尊者舍梨子白曰：「舍梨子！我有愛婦，名曰端正，我惑彼故，而為放逸，大作罪業。舍梨子！我從今日始，捨端正婦，自歸尊者舍梨子。」

[T1.457c02] 尊者舍梨子答曰：「陀然，汝莫歸我，我所歸佛汝應自歸。」

[T1.457c03] 梵志陀然白曰：「尊者舍梨子！我從今日自歸於佛、法及比丘眾，唯願尊者舍梨子受我為佛優婆塞，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.457c06] 於是，尊者舍梨子為梵志陀然說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，從*坐起去，遊王舍城，住經數日，攝衣持鉢，從王舍城出，往詣南山，住南山村北尸攝恕林中。

[T1.457c10] 彼時，有一比丘遊王舍城，住經數日，攝衣持鉢，從王舍城出，亦至南山[1]，住南山村北尸攝恕林中。

[T1.457c13] 於是，彼一比丘往詣尊者舍梨子所，稽首禮足，却坐一面。

[T1.457c14] 尊者舍梨子問曰：「賢者從何處來，何處遊行。」

[T1.457c15] 比丘答曰：「尊者舍梨子！我從王舍城來，遊行王舍城。」

[T1.457c16] 復問：「賢者，知王舍城有一梵志，名曰陀然，是我昔日未出家友耶？」

---

[1] 南山～Dakkhiṇāgiri.

[T1.457c18] 答曰：「知也。」

[T1.457c18] 復問：「賢者，梵志陀然住王舍城，身體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常，欲數見佛，樂聞法耶？」

[T1.457c20] 答曰：「尊者舍梨子！梵志陀然欲數見佛，欲數聞法，但不安快，氣力轉衰。所以者何？尊者舍梨子！梵志陀然今者疾病，極困危篤，或能因此而至命終。」

[T1.457c24] 尊者舍梨子聞是語已，即攝衣持鉢，從南山出，至王舍城，住竹林加[1]蘭哆園。

[T1.457c25] 於是，尊者舍梨子過夜平旦，著衣持鉢，往詣梵志陀然家，梵志陀然遙見尊者舍梨子來，見已便欲從床而起，尊者舍梨子見梵志陀然欲從床起，便止彼曰：「梵志陀然，汝臥勿起，更有餘床，我自別坐。」

[T1.458a01] 於是，尊者舍梨子即坐其床，坐已，問曰：「陀然，所患今者何似，飲食多少，疾苦轉損，不至增耶？」

[T1.458a03] 陀然答曰：「所患至困，飲食不進，疾苦但增而不覺損。尊者舍梨子！猶如力士以利刀刺頭，但生極苦，我今頭痛亦復如是。尊者舍梨子！猶如力士以緊索繩而纏絡頭，但生極苦，我今頭痛亦復如是。尊者舍梨子！猶屠牛兒而以利刀破於牛腹，但生極苦，我今腹痛亦復如是。尊者舍梨子！猶兩力士捉一羸人在火上炙，但生極苦，我今身痛，舉體生苦，但增不減，亦復如是。」

[T1.458a12] 尊者舍梨子告曰：「陀然，我今問汝，隨所解答，梵志陀然，於意云何？地獄、畜生，何者為勝？」

[T1.458a14] 陀然答曰：「畜生勝也。」

[T1.458a14] 復問：「陀然，畜生、餓鬼，何者為勝？」

[T1.458a15] 陀然答曰：「餓鬼勝也。」

[T1.458a15] 復問：「陀然，餓鬼比人，何者為勝？」

[T1.458a16] 陀然答曰：「人為勝也。」

[T1.458a17] 復問：「陀然，人、四王天，何者為勝？」

---

[1] 加＝伽【明】＊

[T1.458a17] 陀然答曰：「四王天勝。」

[T1.458a18] 復問，陀然，四王天、三十三天，何者為勝？」

[T1.458a19] 陀然答曰：「三十三天勝。」

[T1.458a19] 復問，陀然，三十三天、 [火*僉][1]摩天，何者為勝？」

[T1.458a20] 陀然答曰：「*[火*僉]摩天勝。」

[T1.458a21] 復問，陀然，*[火*僉]摩天、兜率陀 [2]天，何者為勝？」

[T1.458a22] 陀然答曰：「*兜率陀天勝。」

[T1.458a22] 復問，陀然，*兜率陀天、化樂天，何者為勝？」

[T1.458a23] 陀然答曰：「化樂天勝。」

[T1.458a24] 復問，陀然，化樂天、他化樂天、何者為勝？」

[T1.458a25] 陀然答曰：「他化樂天勝。」

[T1.458a25] 復問，陀然，他化樂天、梵天，何者為勝？」

[T1.458a26] 陀然答曰：「梵天最勝，梵天最勝。」

[T1.458a27] 尊者舍梨子告曰：「陀然，世尊、知、見、如來、無所著、等正覺說四梵室，謂族姓男、族姓女修習多修習，斷欲、捨欲念，身壞命終，生梵天中。云何為四？陀然，多聞聖弟子心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，是謂，陀然，世尊、知、見、如來、無所著、等正覺說四梵室，謂族姓男、族姓女修習多修習，斷欲、捨欲念，身壞命終，生梵天中。」

[T1.458b09] 於是，尊者舍梨子教化陀然，為說梵天法已，從*坐起去，尊者舍梨子從王舍城出，未至竹林*加蘭哆園，於其中間，梵志陀然修習四梵室，斷欲、捨欲念，身壞命終，生梵天中。

---

[1] [火*僉]＝焰【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 兜率陀＝鬪瑟哆【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.458b14] 是時，世尊無量大眾前後圍繞而為說法，世尊遙見尊者舍梨子來，告諸比丘：「舍梨子比丘聰慧、速慧、捷慧、利慧、廣慧、深慧、出要慧、明達慧、辯才慧，舍梨子比丘成就實慧，此舍梨子比丘教化梵志陀然，為說梵天法來，若復上化者，速知法如法。」

[T1.458b19] 於是，尊者舍梨子往詣佛所，稽首禮足，却坐一面，世尊告曰：「舍梨子！汝何以不教梵志陀然過梵天法，若上化者，速知法如法。」

[T1.458b22] 尊者舍梨子白曰：「世尊！彼諸梵志長夜愛著梵天，樂於梵天，究竟梵天，是尊梵天，實有梵天，為我梵天。是故。世尊！我如是應。」

[T1.458b25] 佛說如是，尊者舍梨子及無量百千眾聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.458b27]梵志陀然經第七竟 [1](三千三百三十一字)[2]，

（二八）中阿含 [3]舍梨子相應品

(Ma.28)教化病經 第八 [4](初一日誦)[5]

[T1.458c01] 我聞如是。

[T1.458c01] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.458c02] 爾時，長者給孤獨 [6]疾病危篤。於是，長者給孤獨告一使人：「汝往詣佛，為我稽首禮世尊足，問訊世尊！聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？作如是語，長者給孤獨稽首佛足，問訊世尊！聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？汝既為我問訊佛已，往詣尊者舍梨子所，為我稽首禮彼足已，問訊尊者，聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常不，作如是語，長者給孤獨稽首尊者舍梨子足，問訊尊者，聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常不。尊者舍梨子！長者給孤獨疾病極困，今至危篤，長者給孤獨至心欲見尊者舍梨子！然體至羸乏，無力可來詣尊者舍梨子所，善哉。尊者舍梨子！為慈愍故，願往至長者給孤獨家。」

---

[1]〔梵志…竟〕八字－【明】
[2]〔三…字〕八字－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～M.143. Anāthapiṇḍika Sutta. (教給孤獨經)，《增壹阿含 51.8 經》(大正 2.819b)，《雜阿含 1032 經》(大正 2.269c)，《相應部》S.55.26. Paṭhama-anāthapiṇḍika- suttaṁ(破戒)(1)
[5]〔初一日誦〕－【明】
[6] [>長者給孤獨]～Anāthapiṇḍika gahapati.

[T1.458c17] 於是，使人受長者給孤獨教已，往詣佛所，稽首禮足，却住一面，白曰：「世尊！長者給孤獨稽首佛足，問訊世尊！聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？」

[T1.458c20] 爾時，世尊告使人曰：「令長者給孤獨安隱快樂，令天及人、阿修[1]羅、揵塔[2]恕、羅剎及餘種種身安隱快樂。」

[T1.458c22] 於是，使人聞佛所說，善受善持，稽首佛足，繞三匝而去，往詣尊者舍梨子所，稽首禮足，却坐一面，白曰：「尊者舍梨子！長者給孤獨稽首尊者舍梨子足，問訊尊者，聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常不。尊者舍梨子！長者給孤獨疾病極困，今至危篤，長者給孤獨至心欲見尊者舍梨子！然體至羸乏，無力可來詣尊者舍梨子所，善哉。尊者舍梨子！為慈愍故，往詣長者給孤獨家。」

[T1.459a01] 尊者舍梨子即為彼故，默然而受。於是，使人知尊者舍梨子默然受已，即從坐[3]起，稽首作禮，繞三匝而去。

[T1.459a04] 尊者舍梨子過夜平旦，著衣持鉢，往詣長者給孤獨家，長者給孤獨遙見尊者舍梨子來，見已，便欲從床而起。

[T1.459a06] 尊者舍梨子見彼長者欲從床起，便止彼曰：「長者莫起，長者莫起，更有餘床我自別坐。

[T1.459a08] 尊者舍梨子即坐其床，坐已，問曰：「長者所患今復何似，飲食多少，疾苦轉損，不至增耶？」

[T1.459a10] 長者答曰：「所患至困，飲食不進，疾苦但增而不覺損。」

[T1.459a12] 尊者舍梨子告曰：「長者莫怖，長者莫怖。所以者何？若愚癡凡夫成就不信，身壞命終，趣至惡處，生地獄中，長者今日無有不信，唯有上信，長者因上信故，或滅苦痛，生極快樂，因上信故，或得斯陀含果，或阿那含果，長者本已得須陀洹。」

[T1.459a17] 「長者莫怖，長者莫怖。所以者何？若愚癡凡夫因惡戒故，身壞命終，趣至惡處，生地獄中，長者無有惡戒，唯有善戒，長者因善戒故，或滅苦痛，生極快樂，因善戒故，或得斯陀含果，或阿那含果，長者本已得須陀洹。」

---

[1] 修＝脩【宋】【元】【明】
[2] 塔＝沓【宋】【元】【明】
[3] 坐＝座【宋】【元】【明】

[T1.459a22] 「長者莫怖，長者莫怖。所以者何？若愚癡凡夫因不多聞，身壞命終，趣至惡處，生地獄中，長者無不多聞，唯有多聞，長者因多聞故，或滅苦痛，生極快樂，因多聞故，或得斯陀含果，或阿那含果，長者本已得須陀洹。」

[T1.459a27] 「長者莫怖，長者莫怖。所以者何？若愚癡凡夫因慳貪故，身壞命終，趣至惡處，生地獄中，長者無有慳貪，唯有惠施，長者因惠施故，或滅苦痛，生極快樂，因惠施故，或得斯陀含果，或阿那含果，長者本已得須陀洹。」

[T1.459b03] 「長者莫怖，長者莫怖。所以者何？若愚癡凡夫因惡慧故，身壞命終，趣至惡處，生地獄中，長者無有惡慧，唯有善慧，長者因善慧故，或滅苦痛，生極快樂，因善慧故，或得斯陀含果，或阿那含果，長者本已得須陀洹。」

[T1.459b08] 「長者莫怖，長者莫怖。所以者何？若愚癡凡夫因邪見故，身壞命終，趣至惡處，生地獄中，長者無有邪見，唯有正見，長者因正見故，或滅苦痛，生極快樂，因正見故，或得斯陀含果，或阿那含果，長者本已得須陀洹。」

[T1.459b14] 「長者莫怖，長者莫怖。所以者何？若愚癡凡夫因邪志故，身壞命終，趣至惡處，生地獄中，長者無有邪志，唯有正志，長者因正志故，或滅苦痛，生極快樂，因正志故，或得斯陀含果，或阿那含果，長者本已得須陀洹。」

[T1.459b19] 「長者莫怖，長者莫怖。所以者何？若愚癡凡夫因邪解故，身壞命終，趣至惡處，生地獄中，長者無有邪解，唯有正解，長者因正解故，或滅苦痛，生極快樂，因正解故，或得斯陀含果，或阿那含果，長者本已得須陀洹。」

[T1.459b24] 「長者莫怖，長者莫怖。所以者何？若愚癡凡夫因邪脫故，身壞命終，趣至惡處，生地獄中，長者無有邪脫，唯有正脫，長者因正脫故，或滅苦痛，生極快樂，因正脫故，或得斯陀含果，或阿那含果，長者本已得須陀洹。」

[T1.459b29] 「長者莫怖，長者莫怖。所以者何？若愚癡凡夫因邪智故，身壞命終，趣至惡處，生地獄中，長者無有邪智，唯有正智，長者因正智故，或滅苦痛，生極快樂，因正智故，或得斯陀含果，或阿那含果，長者本已得須陀洹。」

[T1.459c05] 於是，長者病即得差，平復如故，從臥起坐，歎尊者舍梨子曰：「 善哉！善哉！為病說法，甚奇，甚特。尊者舍梨子！我聞教化病法，苦痛即滅，生極快樂。尊者舍梨子！我今病差，平復如故。尊者舍梨子！我往昔時，少有所為，至王舍城寄宿一長者家，時，彼長者明當飯佛及比丘眾，時，彼長者過夜向曉，教勅兒孫、奴使、眷屬，汝等早起，當共嚴辦，彼各受教，共設廚宰，供辦餚饌、種種腆美，長者躬自敷置高座，無量嚴飾。」

[T1.459c14] 「尊者舍梨子！我既見已，便作是念：今此長者為婚姻事，為迎婦節會，為請國王，為呼大臣，為作齋會施設大施耶？尊者舍梨子！我既念已，便問長者，汝為婚姻事，為迎婦節會，為請國王，為呼大臣，為作齋會施設大施耶？時，彼長者而答我曰：『吾無婚姻事，亦不迎婦，不為節會，不請國王及呼大臣，但為齋會施設大施，明當飯佛及比丘眾。 』 」

[T1.459c22] 「尊者舍梨子！我未曾聞佛名，聞已舉身毛豎，即復問曰：『長者說佛，何名為佛？』時，彼長者而答我曰：『君不聞乎，有釋種子捨釋宗族，剃除鬚髮，著袈[娑>裟]衣，至信、捨家、無家、學道，得無上等正覺，是名為佛。』我復問曰：『長者說眾，何名為眾？』時，彼長者復答我曰：『有若干姓異名族，剃除鬚髮，著袈[娑>裟]衣，至信、捨家、無家，從佛學道，是名為眾，此佛及眾，吾之所請。』尊者舍梨子！我即復問彼長者曰：『世尊於今為在何處，我欲往見。』時，彼長者復答我曰：『世尊今在此王舍城竹林加[1]蘭哆園，欲往隨意。』」

[T1.460a04] 「尊者舍梨子！我作是念：『若速曉者，疾往見佛。尊者舍梨子！』我時至心欲往見佛，即於其夜生晝明想，便從長者家出，往至城息門，是時，城息門中有二直士，一直初夜，外客使入，不令有礙，一直後夜，若客使出，亦不作礙。尊者舍梨子！我復作是念：『夜尚未曉。』所以者何？城息門中有二直士，一直初夜，外客使入，不令有礙，一直後夜，若客使出，亦不作礙。尊者舍梨子！出城息門，出外不久，明滅還暗[2]。尊者舍梨子！！我便恐怖，舉身毛豎，莫令人、非人來觸嬈我。」

[T1.460a15]「時，城息門而有一天，從王舍城至竹林*加蘭哆園，光明普照，來語我言：『長者莫怖！長者莫怖！所以者何？我本前世是汝朋友，名密[3]器，年少極相愛念，長者，我本昔時往詣尊者大目乾[4]連所，稽首禮足，却坐一面，尊者大目*乾連為我說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為我說法，勸發渴仰，成就歡喜已，賜三自歸，見授五戒，長者，我因三歸，受持五戒，身壞命終，生四天[5]王天住此城息門中，長者速去，長者速去，去實勝住。』彼天勸我而說頌曰：「

得馬百臣女　　車百滿珍寶　往詣佛一步　　不當十六分
白象百最上　　金銀鞍勒被　往詣佛一步　　不當十六分

---

[1] 加＝迦【明】＊
[2] 暗＝闇【宋】【元】【明】
[3] 密＝蜜【宋】【元】【明】
[4] 乾＝揵【宋】＊【元】＊【明】＊
[5]〔天〕－【宋】【元】【明】

女百色端正　　瓔珞花嚴身　往詣佛一步　　不當十六分
轉輪王所敬　　玉[1]女寶第一　往詣佛一步　　不當十六分

[T1.460b05] 「天說頌已，而復勸曰：『長者速去，長者速去，去實勝住。』尊者舍梨子！我復作是念：『佛尊祐德，法及比丘眾亦尊祐德。』所以者何？乃至於天，亦欲使見。尊者舍梨子！我因此光明往至竹林加蘭哆園，爾時，世尊夜其向旦，從禪室出，露地經行而待於我。尊者舍梨子！我遙見佛端正姝好，猶星中月，光耀[2]暐曄，晃若金山，相好具足，威神巍巍，諸根寂定，無有蔽礙，成就調御，息心靜默，見已歡喜，前詣佛所，接足作禮，隨佛經行，以長者法說頌問訊：『

世尊寐安隱　　至竟眠快耶　如梵志滅度　　以不染於欲
捨離一切願　　逮得至安隱　心除無煩熱　　自樂歡喜眠

[T1.460b19] 「於是，世尊即便往至經行道頭，敷尼師檀[3]，結加[4]趺坐。尊者舍梨子！我禮佛足，却坐一面，世尊為我說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為我說法，勸發渴仰，成就歡喜已，如諸佛法，先說端正法，聞者歡悅，謂，說施、說戒、說生天法，毀呰欲為災患，生死為穢，稱歎無欲為妙道品白淨，世尊為我說如是法已，佛知我有歡喜心、具足心、柔軟心、堪耐心、昇上心、一向心、無疑心、無蓋心，有能有力，堪受正法，謂如諸佛所說正要，世尊即為我說苦、習[5]、滅、道。尊者舍梨子！我即於坐中見四聖諦苦、*習、滅、道，猶如白素易染為色，我亦如是，即於坐中見四聖諦苦、*習、滅、道。」

[T1.460c03] 「尊者舍梨子！我已見法得法，覺白淨法，斷疑度惑，更無餘尊，不復從他，無有猶豫，已住果證，於世尊法得無所畏，即從*坐起，為佛作禮。世尊！我今自歸於佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。尊者舍梨子！我即叉手白曰：『世尊！願受我請，於舍衛國而受夏坐及比丘眾。』時，佛問我：『汝名何等，舍衛國人呼汝云何。』我即答曰：『我名須達哆[6]，以我供給諸孤獨者。是故舍衛國人呼我為給孤獨。』爾時，世尊復問我曰：『舍衛國中有房舍未。』我復答曰：『舍衛國中無有房舍。』爾時，世尊而告我曰：『長者當知。若有房舍，比丘可得往來，可得住止。』我復白曰：『唯然。世尊！我當如是為起房舍，比丘可得往來，於舍衛國可得住止，唯願世尊差一佐[7]助。』爾時，世尊即差尊者舍梨子！遣尊者舍梨子令見佐助。」

---

[1] 玉＝王【元】【明】
[2] 耀＝曜【宋】【元】【明】
[3] 檀＝壇【宋】【元】【明】
[4] 加＝跏【宋】【元】【明】
[5] 習＝集【元】【明】＊
[6] [>須達哆]～Sudatta.
[7] 佐＝人【元】【明】

[T1.460c20] 「我於爾時聞佛所說，善受善持，即從坐起，為佛作禮，繞三匝而去，於王舍城所作已訖，與尊者舍梨子俱往至舍衛國，不入舍衛城亦不歸家，便於城外周遍行地，為於何處往來極好，晝不喧鬧，夜則寂靜，無有蚊虻，亦無蠅蚤，不寒不熱，可立房舍施佛及眾。尊者舍梨子！我時唯見童子勝園往來極好，晝不喧鬧，夜則寂靜，無有蚊虻，亦無蠅蚤，不寒不熱，我見此已，便作是念：唯此處好，可立房舍施佛及眾。」

[T1.461a01] 「尊者舍梨子！我於爾時入舍衛國，竟不還家，便先往詣童子勝所，白曰：『童子，可賣此園持與我耶？』爾時，童子便語我曰：『長者當知，吾不賣園。』如是，再三白曰：『童子，可賣此園持與我耶？』爾時，童子亦復再三而語我曰：『吾不賣園，至億億布滿。』我即白曰：『童子今已決斷價數，但當取錢。』尊者舍梨子！我與童子或言斷價，或言不斷，大共訛訟[1]，即便俱往至舍衛國大決斷處判論此事，時，舍衛國大決斷人語童子勝曰：『童子已自決斷價數，但當取錢。』」

[T1.461a11] 「尊者舍梨子！我即入舍衛國，還家取錢，以象馬車舉負輦載，出億億布地，少處未遍。尊者舍梨子！我作是念：當取何藏，不大不小，可此餘處持來布滿，時，童子勝便語我曰：『長者若悔，錢自相歸，園地還吾。』我語童子：『實不悔也。』但自思念，當取何藏，不大不小，可此餘處持來滿耳，時，童子勝便作是念：『佛必大尊，有大德祐，法及比丘眾亦必大尊，有大德祐。所以者何？乃令長者施設大施，輕財乃爾，吾今寧可即於此處造立門屋施佛及眾 。』」

[T1.461a21] 「時，童子勝便語我曰：『長者且止，莫復出錢布此處也，吾於此處造立門屋施佛及眾。』尊者舍梨子！我為慈愍故，即以此處與童子勝。尊者舍梨子！我即於此夏起十六大屋、六十拘絺，尊者舍梨子時見佐助，然尊者舍梨子說教化病法，甚奇，甚特，我聞此教化病法已，極重疾苦即得除愈，生極快樂。尊者舍梨子！我今無病，極得安隱，願尊者舍梨子於此飯食。」

[T1.461b01] 時，尊者舍梨子默然受請，於是長者知尊者舍梨子默然受已，即從坐[2]起，自行澡水，以極美淨妙種種豐饒食噉含消，手自斟酌，令得充滿，食訖，舉器行澡水竟，敷一小床，別坐聽法，長者坐已，尊者舍梨子為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，從坐[3]起去。

---

[1] 訛訟＝紛紜【宋】【元】【明】
[2] 坐＝座【元】【明】
[3] 坐＝座【宋】【元】【明】

[T1.461b08] 是時，世尊無量大眾前後圍繞而為說法，世尊遙見尊者舍梨子來，告諸比丘：「舍梨子比丘聰慧、速慧、捷慧、利慧、廣慧、深慧、出要慧、明達慧、辯才慧、舍梨子比丘成就實慧。所以者何？我所略說四種須陀洹，舍梨子比丘為長者給孤獨十種廣說來。」

[T1.461b13] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.461b15] 教化病經第八竟[1](三千八百九十八字)[2]，

中阿含經卷第六(八千九百六十九字)[3](初一日誦)[4]

中阿含經

卷第七 (Ma.29～31)

東晉罽賓三藏瞿曇僧伽提婆譯

（二九）舍梨子相應品[5]

(Ma.29)大拘絺羅經 第九 (初一日誦)[6]

[T1.461b24] 我聞如是。

[T1.461b24] 一時，佛遊王舍城，在竹林加[7]蘭哆[8]園。

[T1.461b25] 爾時，尊者舍梨子則於晡時從燕[9]坐起，至尊者大拘絺羅[1]所，共相問訊，却坐一面。

---

[1]〔教化…竟〕七字－【明】
[2]〔三千…字〕八字－【宋】【元】【明】
[3]〔八千…字〕八字－【宋】【元】【明】
[4]〔初一日誦〕－【明】，初一日誦四字在品中經末題下【宋】【元】
[5] ～A.9.13. Koṭṭhita(拘絺羅)；A.4.174. Koṭṭhika(拘絺羅)、《雜阿含 343 經》(大正 2.94b)
[6]〔初一日誦〕－【明】
[7] 加＝迦【宋】【元】【明】
[8] 哆＝多【明】
[9] 燕＝宴【宋】【元】【明】

[T1.461b27] 尊者舍梨子語尊者大拘絺羅：「我欲有所問，聽我問耶？」

[T1.461b28] 尊者大拘絺羅答曰：「尊者舍梨子！欲問便問，我聞已當思。」

[T1.461b29] 尊者舍梨子問曰：「賢者大拘絺羅，頗有事因此事，比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法耶？」

[T1.461c03] 答曰：「有也。尊者舍梨子！謂有比丘知不善、知不善根。云何知不善，謂身惡行不善，口、意惡行不善，是謂知不善。云何知不善根，謂貪不善根，恚、癡不善根，是謂知不善根，尊者舍梨子。若有比丘如是知不善及不善根者，是謂比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法中。」

[T1.461c09] 尊者舍梨子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者大拘絺羅。」尊者舍梨子歎已，歡喜奉行。

[T1.461c11] 尊者舍梨子復問曰：「賢者大拘絺羅，頗更有事因此事，比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法耶？」

[T1.461c13] 答曰：「有也。尊者舍梨子！謂有比丘知善、知善根。云何知善，謂身妙行善，口、意妙行善，是謂知善。云何知善根，謂無貪善根，無恚、無癡善根，是謂知善根，尊者舍梨子。若有比丘如是知善，知善根者，是謂比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法中。」

[T1.461c19] 尊者舍梨子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者大拘絺羅。」尊者舍梨子歎已，歡喜奉行。

[T1.461c21] 尊者舍梨子復問曰：「賢者大拘絺羅，頗更有事因此事，比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法耶？」

[T1.461c23] 答曰：「有也。尊者舍梨子！謂有比丘知食如真，知食習[1]、知食滅、知食滅道如真。云何知食如真，謂有四食，一者[搏>摶]食麤、細，二者更樂食，三者意思食，四者識食，是謂知食如真。云何知食*習如真，謂因愛便有食，是謂知食*習如真。云何知食滅如真，謂愛滅食便滅，是謂知食滅如真。云何知食滅道如真，謂八支聖道，正見，乃至正定為八，是謂知食滅道如真，尊者舍梨子。若有比丘如是知食如真，知食習、知食滅、知食滅道如真者，是謂比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法中。」

---

[1] [>大拘絺羅]～Mahā-koṭṭhita.

[1] 習＝集【元】【明】＊

[T1.462a06] 尊者舍梨子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者大拘絺羅。」尊者舍梨子歎已，歡喜奉行。

[T1.462a08] 尊者舍梨子復問曰：「賢者大拘絺羅，頗更有事因此事，比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法耶？」

[T1.462a10] 答曰：「有也。尊者舍梨子！謂有比丘知漏如真，知漏*習、知漏滅、知漏滅道如真。云何知漏如真，謂有三漏欲漏、有漏、無明漏，是謂知漏如真。云何知漏*習如真，謂因無明便有漏，是謂知漏習如真。云何知漏滅如真，謂無明滅漏便滅，是謂知漏滅如真。云何知漏滅道如真，謂八支聖道，正見乃至正定為八，是謂知漏滅道如真，尊者舍梨子。若有比丘如是知漏如真，知漏習、知漏滅、知漏滅道如真者，是謂比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法中。」

[T1.462a21] 尊者舍梨子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者大拘絺羅。」尊者舍梨子歎已，歡喜奉行。

[T1.462a23] 尊者舍梨子復問曰：「賢者大拘絺羅，頗更有事因此事，比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法耶？」

[T1.462a25] 答曰：「有也。尊者舍梨子！謂有比丘知苦如真，知苦習、知苦滅、知苦滅道如真。云何知苦如真，謂生苦、老苦、病苦、死苦、怨憎會苦、愛別離苦、所求不得苦、略五盛陰苦，是謂知苦如真。云何知苦*習如真，謂因老死便有苦，是謂知苦*習如真。云何知苦滅如真，謂老死滅苦便滅，是謂知苦滅如真。云何知苦滅道如真，謂八支聖道、正見乃至正定為八，是謂知苦滅道如真，尊者舍梨子。若有比丘如是知苦如真，知苦*習、知苦滅、知苦滅道如真者，是謂比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法中。」

[T1.462b08] 尊者舍梨子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者大拘絺羅。」尊者舍梨子歎已，歡喜奉行。

[T1.462b09] 尊者舍梨子復問曰：「賢者大拘絺羅，頗更有事因此事，比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法耶？」

[T1.462b12] 答曰：「有也。尊者舍梨子！謂有比丘死知老死如真，知老死*習、知老死滅、知老死滅道如真。云何知老，謂彼老耄，頭白齒落，盛壯日衰，身曲脚戾，體重氣上，柱[1]杖而行，肌縮皮緩，皺如麻子，諸根毀熟，顏色醜惡，是名老也。云何知死，謂彼眾生、彼彼眾生種類，命終無常，死喪散滅，壽盡破壞，命根閉塞，是名死也。此說死前說老，是名老死，是謂知老死如真。云

[1] 柱＝拄【宋】【明】

何知老死*習如真，謂因生便有老死，是謂知老死*習如真。云何知老死滅如真，謂生滅老死便滅，是謂知老死滅如真。云何知老死滅道如真，謂八支聖道，正見，乃至正定為八，是謂知老死滅道如真，尊者舍梨子。若有比丘如是知老死如真，知老死習、知老死滅、知老死滅道如真者，是謂比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法中。」

[T1.462b28] 尊者舍梨子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者大拘絺羅。」尊者舍梨子歎已，歡喜奉行。

[T1.462b29] 尊者舍梨子復問曰：「賢者大拘絺羅，頗更有事因此事，比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法耶。」

[T1.462c03] 答曰：「有也。尊者舍梨子！謂有比丘知生如真，知生*習、知生滅、知生滅道如真。云何知生如真，謂彼眾生、彼彼眾生種類，生則生，出則出，成則成，興起[1]五陰，已得命根，是謂知生如真。云何知生*習如真，謂因有便有生，是謂知生*習如真。云何知生滅如真，謂有滅生便滅，是謂知生滅如真。云何知生滅道如真，謂八支聖道，正見，乃至正定為八，是謂知生滅道如真，尊者舍梨子。若有比丘如是知生如真，知生*習、知生滅、知生滅道如真者，是謂比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法中。」

[T1.462c14] 尊者舍梨子聞已，歎曰：「善哉！善哉！賢者大拘絺羅。」尊者舍梨子歎已，歡喜奉行。

[T1.462c16] 尊者舍梨子復問曰：「賢者大拘絺羅，頗更有事因此事，比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法耶？」

[T1.462c19] 答曰：「有也。尊者舍梨子！謂有比丘知有如真，知有*習、知有滅、知有滅道如真。云何知有如真，謂有三有欲有、色有、無色有，是謂知有如真。云何知有*習如真，謂因受便有有，是謂知有*習如真。云何知有滅如真，謂受滅有便滅，是謂知有滅如真。云何知有滅道如真，謂八支聖道，正見乃至正定為八，是謂知有滅道如真，尊者舍梨子。若有比丘如是知有如真，知有*習、知有滅、知有滅道如真者，是謂比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法中。」

[T1.462c29] 尊者舍梨子聞已，歎曰：「善哉！善哉！賢者大拘絺羅。」尊者舍梨子歎已，歡喜奉行。

[T1.463a02] 尊者舍梨子復問曰：「賢者大拘絺羅，頗更有事因此事，比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法耶？」

---

[1] 起＝報【宋】【元】【明】

[T1.463a04] 答曰：「有也。尊者舍梨子！謂有比丘知受如真，知受*習、知受滅、知受滅道如真。云何知受如真，謂有四受欲受、戒受、見受、我受，是謂知受如真。云何知受*習如真，謂因愛便有受，是謂知受*習如真。云何知受滅如真，謂愛滅受便滅，是謂知受滅如真。云何知受滅道如真，謂八支聖道，正見乃至正定為八，是謂知受滅道如真，尊者舍梨子。若有比丘如是知受如真，知受習、知受滅、知受滅道如真者，是謂比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法中。」

[T1.463a15] 尊者舍梨子聞已，歎曰：「善哉！善哉！賢者大拘絺羅。」尊者舍梨子歎已，歡喜奉行。

[T1.463a17] 尊者舍梨子復問曰：「賢者大拘絺羅，頗更有事因此事，比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法耶？」

[T1.463a19] 答曰：「有也。尊者舍梨子！謂有比丘知愛如真，知愛*習、知愛滅、知愛滅道如真。云何知愛如真，謂有三愛欲愛、色愛、無色愛，是謂知愛如真。云何知愛*習如真，謂因覺便有愛，是謂知愛習如真。云何知愛滅如真，謂覺滅愛便滅，是謂知愛滅如真。云何知愛滅道如真，謂八支聖道，正見，乃至正定為八，是謂知愛滅道如真，尊者舍梨子。若有比丘如是知愛如真，知愛*習、知愛滅、知愛滅道如真者，是謂比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法中。」

[T1.463b01] 尊者舍梨子聞已，歎曰：「善哉！善哉！賢者大拘絺羅。」尊者舍梨子歎已，歡喜奉行。

[T1.463b02] 尊者舍梨子復問曰：「賢者大拘絺羅，頗更有事因此事，比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法耶？」

[T1.463b05] 答曰：「有也。尊者舍梨子！謂有比丘知覺如真，知覺*習、知覺滅、知覺滅道如真。云何知覺如真，謂有三覺樂覺、苦覺、不苦不樂覺，是謂知覺如真。云何知覺習如真，謂因更樂便有覺，是謂知覺*習如真。云何知覺滅如真，謂更樂滅覺便滅，是謂知覺滅如真。云何知覺滅道如真，謂八支聖道，正見，乃至正定為八，是謂知覺滅道如真，尊者舍梨子。若有比丘如是知覺如真，知覺*習、知覺滅、知覺滅道如真者，是謂比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法中。」

[T1.463b16] 尊者舍梨子聞已，歎曰：「善哉！善哉！賢者大拘絺羅。」尊者舍梨子歎已，歡喜奉行。

[T1.463b18] 尊者舍梨子復問曰：「賢者大拘絺羅，頗更有事因此事，比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法耶？」

[T1.463b20] 答曰：「有也。尊者舍梨子！謂有比丘知更樂如真，知更樂*習、知更樂滅、知更樂滅道如真。云何知更樂如真，謂有三更樂樂更樂、苦更樂、不苦不樂更樂，是謂知更樂如真。云何知更樂*習如真，謂因六處便有更樂，是謂知更樂*習如真。云何知更樂滅如真，謂六處滅更樂便滅，是謂知更樂滅如真。云何知更樂滅道如真，謂八支聖道，正見，乃至正定為八，是謂知更樂滅道如真，尊者舍梨子。若有比丘如是知更樂如真，知更樂*習、知更樂滅、知更樂滅道如真者，是謂比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法中。」

[T1.463c03] 尊者舍梨子聞已，歎曰：「善哉！善哉！賢者大拘絺羅。」尊者舍梨子歎已，歡喜奉行。

[T1.463c05] 尊者舍梨子復問曰：「賢者大拘絺羅，頗更有事因此事，比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法耶？」

[T1.463c07] 答曰：「有也。尊者舍梨子！謂有比丘知六處如真，知六處*習、知六處滅、知六處滅道如真。云何知六處如真，謂眼處，耳、鼻、舌、身、意處，是謂知六處如真。云何知六處*習如真，謂因名色便有六處，是謂知六處*習如真。云何知六處滅如真，謂名色滅六處便滅，是謂知六處滅如真。云何知六處滅道如真，謂八支聖道，正見，乃至正定為八，是謂知六處滅道如真，尊者舍梨子。若有比丘如是知六處如真，知六處*習、知六處滅、知六處滅道如真者，是謂比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法中。」

[T1.463c19] 尊者舍梨子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者大拘絺羅。」尊者舍梨子歎已，歡喜奉行。

[T1.463c20] 尊者舍梨子復問曰：「賢者大拘絺羅，頗更有事因此事，比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法耶？」

[T1.463c23] 答曰：「有也。尊者舍梨子！謂有比丘知名色如真，知名色*習、知名色滅、知名色滅道如真。云何知名，謂四非色陰為名。云何知色，謂四大及四大造為色，此說色，前說名，是為名色，是謂知名色如真。云何知名色*習如真，謂因識便有名色，是謂知名色*習如真。云何知名色滅如真，謂識滅名色便滅，是謂知名色滅如真。云何知名色滅道如真，謂八支聖道，正見，乃至正定為八，是謂知名色滅道如真，尊者舍梨子。若有比丘如是知名色如真，知名色*習、知名色滅、知名色滅道如真者，是謂比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法中。」

[T1.464a07] 尊者舍梨子聞已，歎曰：「善哉！善哉！賢者大拘絺羅。」尊者舍梨子歎已，歡喜奉行。

[T1.464a08] 尊者舍梨子復問曰：「賢者大拘絺羅，頗更有事因此事，比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法耶？」

[T1.464a11] 答曰：「有也。尊者舍梨子！謂有比丘知識如真，知識*習、知識滅、知識滅道如真。云何知識如真，謂有六識眼識，耳、鼻、舌、身、意識，是謂知識如真。云何知識*習如真，謂因行便有識，是謂知識*習如真。云何知識滅如真，謂行滅識便滅，是謂知識滅如真。云何知識滅道如真，謂八支聖道，正見乃至正定為八，是謂知識滅道如真，尊者舍梨子。若有比丘如是知識如真，知識*習、知識滅、知識滅道如真者，是謂比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法中。」

[T1.464a22] 尊者舍梨子聞已，歎曰：「善哉！善哉！賢者大拘絺羅。」尊者舍梨子歎已，歡喜奉行。

[T1.464a23] 尊者舍梨子復問曰：「賢者大拘絺羅，頗更有事因此事，比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法耶？」

[T1.464a26] 答曰：「有也。尊者舍梨子！謂有比丘知行如真，知行*習、知行滅、知行滅道如真。云何知行如真，謂有三行身行、口行、意行，是謂知行如真。云何知行*習如真，謂因無明便有行，是謂知行*習如真。云何知行滅如真，謂無明滅行便滅，是謂知行滅如真。云何知行滅道如真，謂八支聖道，正見乃至正定為八，是謂知行滅道如真，尊者舍梨子。若有比丘如是知行如真，知行*習、知行滅、知行滅道如真者，是謂比丘成就見，得正見，於法得不壞淨，入正法中。」

[T1.464b08] 尊者舍梨子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者大拘絺羅。」尊者舍梨子歎已，歡喜奉行。

[T1.464b09] 尊者舍梨子復問曰：「賢者大拘絺羅。若有比丘無明已盡，明已生，復作何等。」

[T1.464b11] 尊者大拘絺羅答曰：「尊者舍梨子。若有比丘無明已盡，明已生，無所復作。」

[T1.464b13] 尊者舍梨子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者大拘絺羅。」

[T1.464b14] 如是，彼二尊更互說義，各歡喜奉行。從坐[1]起去 。

[T1.464b16]大拘絺羅經第九竟[2] (四千七十七字)[3]，

（三○）中阿含[4]舍梨子相應品

(Ma.30)[5]象跡喻經 第十（初一日誦)[6]

[T1.464b19] 我聞如是。

[T1.464b19] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.464b20] 爾時，尊者舍梨子告諸比丘：「諸賢。若有無量善法，彼一切法皆四聖諦所攝，來入四聖諦中，謂四聖諦於一切法最為第一。所以者何？攝受一切眾善法故。諸賢，猶如諸畜之跡，象跡為第一。所以者何？彼象跡者最廣大故。如是。諸賢，無量善法，彼一切法皆四聖諦所攝，來入四聖諦中，謂四聖諦於一切法最為第一。云何為四？謂苦聖諦，苦習[7]、苦滅、苦滅道聖諦，諸賢。云何苦聖諦，謂生苦、老苦、病苦、死苦、怨憎會苦、愛別離苦、所求不得苦、略五盛陰[8]苦。」

[T1.464c01] 「諸賢！云何五盛陰苦，謂色盛陰，覺、想、行、識盛陰，諸賢。云何色盛陰，謂有色，彼一切四大[9]及四大造，諸賢。云何四大，謂地界，水、火、風界[10]，諸賢。云何地界。諸賢，謂地界有二，有內地[11]界，有外地界，賢。云何內地界，謂內身中在，內所攝堅，堅[12]性住，內之所受，此為云何，髮、毛、爪[13]、齒、麤細皮膚、肌肉、筋、骨、心、腎、肝、肺、脾[14]、腸、胃[15]、糞，如是比此身中餘在，內所攝，堅[1]性住，內之所受。諸賢，是謂內地

---

[1] 坐＝座【宋】【元】【明】
[2]〔大拘…竟〕八字－【明】
[3]〔四千…字〕六字－【宋】【元】【明】
[4] 〔中阿含〕－【明】
[5] ～M. 28. Mahā-Hatthipadopama Sutta. (象跡喻大經)
[6]〔初一日誦〕－【明】
[7] 習＝集【元】【明】
[8] 五盛陰～Pañca upādānakkhandā.
[9] [>四大]～Cattāri mahābhūtāni.
[10] 地界～Paṭhavīdhātu，水界 āpodh，火界 tejodh，風界 vāyodh.
[11] 內外～Ajjhattikā, bāhirā.
[12] 堅＝竪【宋】【元】【明】
[13] 爪＝脾【宋】【元】
[14] 肺脾＝脾肺【宋】【元】【明】
[15] 胃＝胃【宋】【元】【明】

界。諸賢，外地界者，謂大是，淨是，不憎惡是。諸賢，有時水災，是時滅外地界。」

[T1.464c12] 「諸賢！此外地界極大，極淨，極不憎惡，是無常法、盡法、衰法、變易之法，況復此身暫住，為愛所受，謂不多聞愚癡凡夫而作此念：『是我，是我所，我是彼所。』多聞聖弟子不作此念：『是我，是我所，我是彼所。』彼云何作是念。若有他人罵詈、捶打、瞋恚責數者，彼作是念：『我生此苦，從因緣生，非無因緣。』云何為緣，緣苦更樂，彼觀此更樂無常，觀覺、想、行、識無常，彼心緣界住止、合一、心定、不移動，彼於後時他人來語柔辭軟言者，彼作是念：『我生此樂，從因緣生，非無因緣。』云何為緣，緣樂更樂，彼觀此更樂無常，觀覺、想、行、識、無常，彼心緣界住，止合一心，定不移動，彼於後時，若幼少、中年、長老來行不可事，或以拳扠，或以石擲，或刀杖加，彼作是念：『我受此身，色法麤質，四大之種，從父母生，飲食長養，常衣被覆，坐臥按摩，澡浴強忍，是破壞法，是滅盡法，離散之法，我因此身致拳扠、石擲及刀杖加。』由是之故，彼極精勤而不懈怠，正身正念，不忘[2]不癡，安定一心，彼作是念：『我極精勤而不懈怠，正身正念，不*忘不癡，安定一心，我受此身，應致拳扠、石擲及刀杖加，但當精勤學世尊法。』」

[T1.465a06] 「諸賢！世尊亦如是說。若有賊來，以利刀鋸，節節解身，若汝為賊以利刀鋸節節解身時，或心變易，或惡語言者，汝則衰退，汝當作是念。若有賊來，以利刀鋸節節解我身者，因此令我心不變易，不惡語言，當為彼節節解我身者起哀愍心，為彼人故，心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。」

[T1.465a15] 「諸賢！彼比丘若因佛、法、眾，不住善相應捨者。諸賢，彼比丘應慙愧羞厭，我於利無利，於德無德，謂我因佛、法、眾，不住善相應捨。諸賢，猶如初迎新婦，見其姑嫜，若見夫主，則慙愧羞厭。諸賢，當知比丘亦復如是，應慙愧羞厭，我於利無利，於德無德，謂我因佛、法、眾，不住善相應捨，彼因慙愧羞厭故，便住善相應捨，是妙息寂，謂捨一切有，離愛[3]、無欲、滅盡無餘。諸賢，是謂比丘一切大學。」

[T1.465a24] 「諸賢。云何水界。諸賢，謂水界有二，有內水界，有外水界，諸賢。云何內水界，謂內身中在，內所攝水，水性潤，內之所受，此為云何，謂腦、腦根[4]，淚、汗、涕、唾、膿、血、肪、髓、涎、膽、小便，如是比此身中

---

[1] 堅＋（堅）【宋】【元】【明】
[2] 忘＝恚【元】【明】＊
[3] 愛＝受【宋】【元】【明】
[4] 腦根＝脂眼【元】【明】

餘在，內所攝水，水性潤，內之所受。諸賢，是謂內水界。諸賢，外水界者，謂大是，淨是，不憎惡是[1]。諸賢，有時火災，是時滅外水界。」

[T1.465b02] 「諸賢！此外水界極大，極淨，極不憎惡，是無常法、盡法、衰法、變易之法，況復此身暫住，為愛所受，謂不多聞愚癡凡夫而作此念：『是我，是我所，我是彼所。』多聞聖弟子不作此念：『是我，是我所，我是彼所。』彼云何作是念。若有他人罵詈、捶打、瞋恚責數者，便作是念：『我生此苦，從因緣生，非無因緣。』云何為緣，緣苦更樂，彼觀此更樂無常，觀覺、想、行、識無常，彼心緣界住，止合一心，定不移動，彼於後時，他人來語柔辭軟言者，彼作是念：『我生此樂，從因緣生，非無因緣。』云何為緣，緣樂更樂，彼觀此更樂無常，觀覺、想、行、識無常，彼心緣界住，止合一心，定不移動，彼於後時，若幼少、中[2]年、長老來行不可事，或以拳扠，或以石擲，或刀杖加，彼作是念：『我受此身，色法麤質，四大之種，從父母生，飲食長養，常衣被覆，坐臥按摩，澡浴強忍，是破壞法，是滅盡法，離散之法，我因此身致拳扠、石擲及刀杖加。』由是之故，彼極精勤而不懈怠，正身正念，不*忘不癡，安定一心，彼作是念：『我極精勤而不懈怠，正身正念，不*忘不癡，安定一心，我受此身應致拳扠、石擲及刀杖加，但當精勤學世尊法。』」

[T1.465b25] 「諸賢！世尊亦如是說。若有賊來，以利刀鋸，節節解身，若汝為賊以利刀鋸節節解身時，或心變易，或惡語言者，汝則衰退，汝當作是念。若有賊來，以利刀鋸節節解我身者，因此令我心不變易，不惡語言，當為彼節節解我身者起哀愍心，為彼人故，心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。」

[T1.465c05]「諸賢！彼比丘若因佛、法、眾，不住善相應捨者。諸賢，彼比丘應慙愧羞厭，我於利無利，於德無德，謂我因佛、法、眾，不住善相應捨。諸賢，猶如初迎新婦，見其姑嫜，若見夫主，則慙愧羞厭。諸賢，當知比丘亦復如是，應慙愧羞厭，我於利無利，於德無德，謂我因佛、法、眾，不住善相應捨，彼因慙愧羞厭故，便住善相應捨，是妙息寂，謂捨一切有，離愛、無欲，滅盡無餘。諸賢，是謂比丘一切大學。」

[T1.465c14] 「諸賢。云何火界。諸賢，謂火界有二，有內火界，有外火界，諸賢。云何內火界，謂內身中在，內所攝火，火性熱，內之所受，此為云何，謂暖身、熱身、煩悶、溫壯、消化飲食，如是比此身中餘在，內所攝火，火性熱，內之所受。諸賢，是謂內火界。諸賢，外火界者，謂大是，淨是，不憎惡是。諸賢，有時外火界起，起已燒村邑、城郭、山林、曠野，燒彼已，或至

[1] 是＋（謂）【宋】【元】【明】
[2] 少中＝中少【明】

道、至水，無受而滅。諸賢，外火界滅後，人民求火，或鑽木截竹，或以珠燧。」

[T1.465c23] 「諸賢！此外火界極大，極淨，極不憎惡，是無常法、盡法、衰法、變易之法，況復此身暫住，為愛所受，謂不多聞愚癡凡夫而作此念：『是我，是我所，我是彼所。』多聞聖弟子不作此念：『是我，是我所，我是彼所。』彼云何作是念。若有他人罵詈、捶打、瞋恚責數者，便作是念：『我生此苦，從因緣生，非無因緣。云何為緣，緣苦更樂，彼觀此更樂無常，觀覺、想、行、識無常，彼心緣界住，止合一心，定不移動，彼於後時，他人來語柔辭軟言者，彼作是念：『我生此樂，從因緣生，非無因緣。』云何為緣，緣樂更樂，彼觀此更樂無常，觀覺、想、行、識無常，彼心緣界住，止合一心，定不移動，彼於後時，若幼少、中年、長老來行不可事，或以拳扠，或以石擲，或刀杖加，彼作是念：『我受此身，色法麤質，四大之種，從父母生，飲食長養，常衣被覆，坐臥按摩，澡浴強忍，是破壞法，是滅盡法，離散之法，我因此身致拳扠、石擲及刀杖加。』由是之故，彼極精勤而不懈怠，正身正念，不*忘不癡，安定一心，彼作是念：『我極精勤而不懈怠，正身正念，不*忘不癡，安定一心，我受此身應致拳扠、石擲及刀杖加，但當精勤學世尊法。』」

[T1.466a17] 「諸賢！世尊亦如是說。若有賊來，以利刀鋸，節節解身，若汝為賊以利刀鋸節節解身時，或心變易，或惡語言者，汝則衰退，汝當作是念。若有賊來，以利刀鋸節節解我身者，因此令我心不變易，不惡語言，當為彼節節解我身者起哀愍心，為彼人故，心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。」

[T1.466a26] 「諸賢！彼比丘若因佛、法、眾，不住善相應捨者。諸賢，彼比丘應慙愧羞厭，我於利無利，於德無德，謂我因佛、法、眾，不住善相應捨。諸賢，猶如初迎新婦，見其姑嫜，若見夫主，則慙愧羞厭。諸賢，當知比丘亦復如是，應慙愧羞厭，我於利無利，於德無德，謂我因佛、法、眾，不住善相應捨，彼因慙愧羞厭故，便住善相應捨，是妙息寂，謂捨一切有，離愛、無欲，滅盡無餘。諸賢，是謂比丘一切大學。」

[T1.466b06] 「諸賢！云何風界。諸賢，謂風界有二，有內風界，有外風界，諸賢。云何內風界，謂內身中在，內所攝風，風性動，內之所受，此為云何，謂上風、下風、腹風、行風、掣縮風、刀風、躋[1]風、非道風、節節行風、息出風、息入風，如是比此身中餘在，內所攝風，風性動，內之所受。諸賢，是謂內風界。諸賢，外風界者，謂大是，淨是，不憎惡是。諸賢，有時外風界起，

[1] 躋＝[叔/足]【宋】，＝[尉/足]【元】【明】

風界起時撥[1]，屋拔樹，崩山，山巖*撥已便止，纖毫不動。諸賢，外風界止後，人民求風，或以其扇，或以哆邏[2]葉，或以衣求風。」

[T1.466b17] 「諸賢！此風界極大，極淨，極不憎惡，是無常法、盡法、衰法、變易之法，況復此身暫住，為愛所受，謂不多聞愚癡凡夫而作此念：『是我，是我所，我是彼所。』多聞聖弟子不作此念：『是我，是我所，我是彼所。』彼云何作是念。若有他人罵詈、捶打、瞋恚責數者，便作是念：『我生此苦，從因緣生，非無因緣。』云何為緣，緣苦更樂，彼觀此更樂無常，觀覺、想、行、識無常，彼心緣界住，止合一心，定不移動，彼於後時，他人來語柔辭軟言者，彼作是念：『我生此樂，從因緣生，非無因緣。』云何為緣，緣樂更樂，彼觀此更樂無常，觀覺、想、行、識無常，彼心緣界住，止合一心，定不移動，彼於後時，若幼少、中年、長老來行不可事，或以拳扠，或以石擲，或刀杖加，彼作是念：『我受此身，色法麤質，四大之種，從父母生，飲食長養，常衣被覆，坐臥按摩，澡浴強忍，是破壞法，是滅盡法，離散之法，我因此身致拳扠、石擲及刀杖加。』由是之故，彼極精勤而不懈怠，正身正念，不*忘不癡，安定一心，彼作是念：『我極精勤而不懈怠，正身正念，不*忘不癡，安定一心，我受此身應致拳扠、石擲及刀杖加，但當精勤學世尊法。』」

[T1.466c10] 「諸賢！世尊亦如是說。若有賊來，以利刀鋸，節節解身，若汝為賊以利刀鋸節節解身時，或心變易，或惡語言者，汝則衰退，汝當作是念。若有賊來，以利刀鋸節節解我身者，因此令我心不變易，不惡語言，當為彼節節解我身者起哀愍心，為彼人故，心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。」

[T1.466c19] 「諸賢！彼比丘若因佛、法、眾，不住善相應捨者。諸賢，彼比丘應慙愧羞厭，我於利無利，於德無德，謂我因佛、法、眾，不住善相應捨。諸賢，猶如初迎新婦，見其姑嫜，若見夫主，則慙愧羞厭。諸賢，當知比丘亦復如是，應慙愧羞厭，我於利無利，於德無德，謂我因佛、法、眾，不住善相應捨，彼因慙愧羞厭故，便住善相應捨，是妙息寂，謂捨一切有，離愛、無欲，滅盡無餘。諸賢，是謂比丘一切大學。」

[T1.466c28] 「諸賢！猶如因材木，因泥土，因水草，覆裹於空，便生屋名。諸賢，當知此身亦復如是，因筋骨，因皮膚，因肉血，纏裹於空，便生身名。諸賢，若內眼處壞者，外色便不為光明所照，則無有念，眼識不得生。諸賢，若內眼處不壞者，外色便為光明所照，而便有念，眼識得生。諸賢，內眼處及

[1] 撥＝發【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 哆邏＝多羅【宋】

色，眼識知外色，是屬色陰。若有覺是覺陰。若有想是想陰。若有思是思陰。若有識是識陰，如是觀陰合會。」

[T1.467a09] 「諸賢！世尊亦如是說，若見緣起便見法，若見法便見緣起。所以者何？諸賢，世尊說五盛陰從因緣生，色盛陰，覺、想、行、識盛陰。諸賢，若內耳、鼻、舌、身、意處壞者，外法便不為光明所照，則無有念，意識不得生。諸賢，若內意處不壞者，外法便為光明所照而便有念，意識得生。諸賢，內意處及法，意識知外色法，是屬色陰。若有覺是覺陰。若有想是想陰。若有思是思陰。若有識是識陰，如是觀陰合會。諸賢，世尊亦如是說，若見緣起便見法，若見法便見緣起。所以者何？諸賢，世尊說五盛陰從因緣生，色盛陰，覺、想、行、識盛陰，彼厭此過去、未來、現在五盛陰，厭已便無欲，無欲已便解脫，解脫已便知解脫，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。諸賢，是謂比丘一切大學。」

[T1.467a24] 尊者舍梨子所說如是，彼諸比丘聞尊者舍梨子所說，歡喜奉行。

[T1.467a27]象跡喻經第十竟 [1](三千八百六十七字)。[2]

（三一）中阿含 [3]舍梨子相應品

[T1.469c04] 於是頌曰：「

佛明達諸法　　見無量善德　　苦*習滅道諦　　善顯現分別

[T1.469c07] 尊者舍梨子所說如是，彼諸比丘聞尊者舍梨子所說，歡喜奉行。

[T1.469c09]分別聖諦經第十一竟 [4] (三千四百二十五字)，[5]

中阿含 [6]經卷第七 (一萬一千三百六十九字)[7]

---

[1]〔象跡…竟〕七字－【明】
[2]〔三千…字〕八字－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4]〔分別…竟〕九字－【明】
[5]〔三千…字〕八字－【宋】【元】【明】
[6] 卷末題在品末題次行【宋】【元】
[7]〔一萬…字〕十字－【宋】【元】【明】

中阿含[1]舍梨子相應品第三竟 (二萬七千五百一十二字)[2] (初一日誦)，[3]

中阿含經

卷第八 (Ma.32～35)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽[婆提>提婆] 譯

未曾有法品 第四(有十經)(初一日誦)

未曾有、侍者　薄拘、阿修[1]羅　地動、及瞻波　郁伽、手各二

（三二）中阿含[2]未曾有法品

(Ma.32)未曾[3]有法[4]經 第一

[T1.469c21] 我聞如是。

[T1.469c21] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.469c22] 爾時，尊者阿難則於晡時從燕[5]坐起，往詣佛所，稽首禮足，却住一面，白曰：「世尊！我聞世尊迦葉佛時始願佛道，行梵行，若世尊迦葉佛時始願佛道，行梵行者，我受持是世尊未曾有法，我聞世尊迦葉佛時始願佛道，行梵行，生兜瑟哆[6]天，若世尊迦葉佛時始願佛道，行梵行，生*兜瑟哆天者，我受持是世尊未曾有法。」

---

[1]〔中阿含〕－【明】
[2]〔二萬…字〕十字－【宋】【元】【明】
[3]〔初一日誦〕－【明】
[1] 修＝脩【宋】【元】【明】
[2]〔中阿含〕－【明】
[3] ～M. 123. Acchariyabbhuta-dhamma sutta. (希有未曾有法經)
[4]〔法〕－【宋】【元】【明】
[5] 燕＝宴【宋】＊【元】＊【明】＊
[6] 兜瑟哆＝兜率哆【宋】＊【元】＊【明】＊～Tusita.

[T1.469c29]「我聞世尊迦葉佛時始願佛道，行梵行，生*兜瑟哆天，世尊後生以三事勝於前生*兜瑟多天者，天壽、天色、天譽，以此故，諸*兜瑟哆天歡喜踊躍，歎此天子甚奇，甚特，有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神。所以者何？彼後來生以三事勝於前生*兜瑟哆天者，天壽、天色、天譽，若世尊迦葉佛時始願佛道，行梵行，生*兜瑟哆天，世尊後生以三事勝於前生*兜瑟哆天者，天壽、天色、天譽，以此故，諸*兜瑟哆天歡喜踊躍，歎此天子甚奇，甚特，有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神。所以者何？彼後來生以三事勝於前生*兜瑟哆天者，天壽、天色、天譽者，我受持是世尊未曾有法。」

[T1.470a13]「我聞世尊在*兜瑟哆天，於彼命終，知入母胎，是時震動一切天地，以大妙光普照世間，乃至幽隱諸闇冥處無有障蔽，謂此日月有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，光所不照者，彼盡蒙耀，彼眾生者因此妙光各各生知，有奇特眾生生，有奇特眾生生，若世尊在*兜瑟哆天，於彼命終，知入母胎，是時震動一切天地，以大妙光普照世間，乃至幽隱諸闇冥處無有障蔽，謂此日月有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，光所不照者，彼盡蒙耀[1]，彼眾生者因此妙光各各生知，有奇特眾生生，有奇特眾生生者，我受持是世尊未曾有法。」

[T1.470a26]「我聞世尊知住母胎，依倚右脇，若世尊知住母胎依倚右脇者，我受持是世尊未曾有法，我聞世尊舒體住母胎，若世尊舒體住母胎者，我受持是世尊未曾有法，我聞世尊覆藏住母胎，不為血所污，亦不為精及諸不淨所污，若世尊覆藏出母胎，不為血所污，亦不為精及諸不淨所污者，我受持是世尊未曾有法，我聞世尊知出母胎，是時震動一切天地，以大妙光普照世間，乃至幽隱諸闇冥處無有障蔽，謂此日月有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，光所不照者，彼盡蒙*耀，彼眾生者因此妙光各各生知，有奇特眾生生，有奇特眾生生，若世尊知出母胎，是時震動一切天地，以大妙光普照世間，乃至幽隱諸闇冥處無有障蔽，謂此日月有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，光所不照者，彼盡蒙*耀，彼眾生者因此妙光各各生知，有奇特眾生生，有奇特眾生生者，我受持是世尊未曾有法。」

[T1.470b16]「我聞世尊舒體出母胎，若世尊舒體出母胎者，我受持是世尊未曾有法，我聞世尊覆藏出母胎，不為血所污，亦不為精及諸不淨所污，若世尊覆藏出母胎，不為血所污，亦不為精及諸不淨所污者，我受持是世尊未曾有法，我聞世尊初生之時，有四天子手執極細衣，住於母前，令母歡喜，歎此童子甚奇，甚特，有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，若世尊初生之時，有四天子手執細衣，住於母前，令母歡喜，歎此童子甚奇，甚特，有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神者，我受持是世尊未曾有法。」

---

[1] 耀＝曜【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.470b28] 「我聞世尊初生之時，即行七步，不恐不怖，亦不畏懼，觀察諸方，若世尊初生之時，即行七步，不恐不怖，亦不畏懼，觀察諸方者，我受持是世尊未曾有法，我聞世尊初生之時，則於母前而生大池，其水滿岸，令母於此得用清淨，若世尊初生之時，則於母前而生大池，其水滿岸，令母於此得用清淨者，我受持是世尊未曾有法，我聞世尊初生之時，上虛空中雨水注下，一冷一暖，灌世尊身，若世尊初生之時，上虛空中雨水注下，一冷一暖，灌世尊身者，我受持是世尊未曾有法。」

[T1.470c10] 「我聞世尊初生之時，諸天於上鼓天妓樂，天青蓮華、紅蓮華、赤蓮華、白蓮華、天文陀羅花及細末栴檀香散世尊上，若世尊初生之時，諸天於上鼓天妓樂，天青蓮華、紅蓮華、赤蓮華、白蓮華、天文陀羅華及細末栴檀香散世尊上者，我受持是世尊未曾有法。」

[T1.470c16] 「我聞世尊一時在父白淨王家，晝監田作，坐閻浮樹下，離欲、離惡不善之法，有覺有觀，離生喜樂，得初禪成就遊，爾時中後，一切餘樹影皆轉移，唯閻浮樹其影不移，蔭世尊身，於是釋白淨往觀田作，至作人所，問曰：『作人，童子何處？』作人答曰：『天童子今在閻浮樹下。』於是釋白淨往詣閻浮樹，時，釋白淨日中後，見一切餘樹影皆轉移，唯閻浮樹其影不移，蔭世尊身，便作是念：『今此童子甚奇，甚特，有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神。所以者何？日中之後，一切餘樹影皆轉移，唯閻浮樹其影不移，蔭童子身。』若世尊日中之後，一切餘樹影皆轉移，唯閻浮樹其影不移，蔭世尊身者，我受持是世尊未曾有法。」

[T1.471a01] 「我聞世尊一時遊鞞舍離大林之中。於是，世尊過夜平旦，著衣持鉢，入鞞舍離城而行乞食，乞食已竟，收舉衣鉢，澡洗手足，以尼師檀[1]著於肩上，往入林中，至一哆羅樹下，敷尼師*檀，結加[2]趺坐，是時中後，一切餘樹影皆轉移，唯哆羅樹其影不移，蔭世尊身，於是釋摩訶男中後仿佯[3]，往至大林，釋摩訶男日中後，見一切餘樹影皆轉移，唯哆羅樹其影不移，蔭世尊身，便作是念：『沙門瞿曇甚奇，甚特，有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神。所以者何？日中之後，一切餘樹影皆轉移，唯哆羅樹其影不移，蔭沙門瞿曇身。』若世尊日中之後，一切餘樹影皆轉移，唯哆羅樹其影不移，蔭世尊身者，我受持是世尊未曾有法。」

[T1.471a16] 「我聞世尊一時遊鞞舍離大林之中，爾時，諸比丘置鉢露地，時，世尊鉢亦在其中，有一獼猴持佛鉢去，諸比丘訶，恐破佛鉢，佛告諸比丘：『止，止，莫訶，不破鉢也。』時，彼獼猴持佛鉢去，至一娑羅樹，徐徐上樹，

---

[1] 檀＝壇【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 加＝跏【宋】【元】【明】
[3] 仿佯＝彷徉【宋】【元】【明】

於娑羅樹上取蜜滿鉢，徐徐下樹，還詣佛所，即以蜜鉢奉上世尊！世尊不受，時，彼獼猴却在一面，取[槎-工+目][1]去蟲，既去蟲已，還持上佛，佛復不受，獼猴復却在於一面，取水著蜜中，持還上佛，世尊便受，獼猴見佛取蜜鉢已，歡喜踊躍，却行弄舞，迴旋而去，若世尊令彼獼猴見世尊取蜜鉢已，歡喜踊躍，却行弄舞，迴旋去者，我受持是世尊未曾有法。」

[T1.471a29] 「我聞世尊一時遊鞞舍離獼猴水邊高樓臺觀，爾時，世尊曝曬坐具，抖擻拂拭，是時，大非時雲來，普覆虛空，欲雨而住，須待世尊[2]，世尊曝曬坐具，抖擻拂拭，舉著一處已，攝持掃箒住屋基上，於是大雲已見世尊收舉坐具，便下大雨，於卑、高地滂霈[3]平滿，若世尊令彼大雲已見世尊收舉坐具，便下大雨，於卑、高地滂*霈滿者，我受持是世尊未曾有法。」

[T1.471b08] 「我聞世尊一時遊跋耆中，在溫泉林娑羅樹王下坐，爾時中後，一切餘樹影皆轉移，唯娑羅樹王其影不移，蔭世尊身，於是羅摩園主行視園時，日中後，見一切餘樹影皆轉移，唯娑羅樹王其影不移，蔭世尊身，便作是念：沙門瞿曇甚奇，甚特，有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神。所以者何？日中之後，一切餘樹影皆轉移，唯娑羅樹王其影不移，蔭沙門瞿曇身。』若世尊日中之後，一切餘樹影皆轉移，唯娑羅樹王其影不移，蔭世尊身者，我受持是世尊未曾有法 。」

[T1.471b18] 「我聞世尊一時在阿浮神室中，爾時，世尊過夜平旦，著衣持鉢，入阿浮村而行乞食，乞食已竟，收舉衣鉢，澡洗手足，以尼師*檀著於肩上，入神室*燕坐，爾時，天大雷雨雹，殺四牛、耕者二人，彼送葬時，大眾喧鬧，其聲高大，音響震動。於是，世尊則於晡時*燕坐而起，從神室出，露地經行，時，彼大眾中，有一人見世尊則於晡時*燕坐而起，從神室出，露地經行，即往詣佛，稽首作禮，隨佛經行，佛見在後，問彼人曰：『以何等故，大眾喧鬧，其聲高大，音響震動耶？』彼人白曰：『世尊！今日天大雷雨雹，殺四牛、耕者二人，彼送葬時，大眾喧鬧，其聲高大，音響震動。世尊！向者不聞聲耶？』世尊答曰：『我不聞聲，復問：『世尊！向為眠耶？』答曰：『不也。』復問：『世尊！時寤[4]不聞此大聲耶？』答曰：『如是。』爾時，彼人便作是念：『甚奇，甚特，極息至寂，如來、無所著、等正覺之所行。所以者何？寤而不聞此大音聲。』若世尊*寤而不聞此大音聲者，我受持是世尊未曾有法。」

[T1.471c09] 「我聞世尊一時在鬱鞞羅尼連然河邊，阿闍恕羅尼拘類樹下初得佛道，爾時大雨，至于七日，高下悉滿，潢澇橫流，世尊於中露地經行，其處塵

---

[1] [槎-工+目]＝筋【宋】【元】【明】
[2] 〔世尊〕－【宋】【元】【明】
[3] 霈＝沛【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 寤＝覺【宋】＊【元】＊【明】＊

起，若世尊潢澇橫流，世尊於中露地經行，其處塵起者，我受持是世尊未曾有法。」

[T1.471c14] 「我聞魔王六年[遂>逐]佛，求其長短，不能得便，厭已而還，若世尊魔王六年隨逐世尊！求其長短，不能得便，厭已而還者，我受持是世尊未曾有法。」

[T1.471c17] 「我聞世尊七年念身，常念不斷，若世尊七年念身，常念不斷者，我受持是世尊未曾有法。」

[T1.471c19] 於是，世尊告曰：「阿難！汝從如來更受持此未曾有法。阿難！如來知覺生，知住、知滅，常知，無不知時。阿難！如來知思想生，知住、知滅，常知，無不知時。是故。阿難！汝從如來更受持此未曾有法 。」

[T1.471c24] 佛說如是，尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.471c26]未曾有法經第一竟 [1](二千九百十七字)[2]。

（三三）中阿含[3]未曾有法品

(Ma.33)侍者經[4] 第二(初一日誦)[5]

[T1.471c28] 我聞如是。

[T1.471c28] 一時，佛遊王舍城。

[T1.471c28] 爾時，多識名德、上尊長老比丘、大弟子等，謂尊者拘隣若、尊者阿攝貝、尊者跋提釋迦王、尊者摩訶男拘隸、尊者恕破、尊者耶舍、尊者邠耨、尊者維摩羅、尊者伽恕波提、尊者須陀耶、尊者舍梨子、尊者阿那律陀、尊者難提、尊者金毘羅、尊者隸婆哆、尊者大目乾[6]連、尊者大迦葉、尊者大拘絺羅、尊者大周那！尊者大迦旃延、尊者邠耨加[少/(兔-、)]寫長老、尊者耶舍

---

[1]〔未曾…竟〕八字－【明】
[2]〔二千…字〕七字－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《長老偈》Thag. (1018～1050.)
[5]〔初一日誦〕－【明】
[6] 乾＝揵【宋】＊【元】＊【明】＊

行籌長老，如是比餘多識名德、上尊、長老比丘、大弟子等，亦遊王舍城，並皆近佛葉屋邊住。

[T1.472a09] 是時，世尊告諸比丘：「我今年老，體轉衰弊，壽過垂訖，宜須侍者，汝等見為舉一侍者，令瞻視我可非不可，受我所說，不失其義。」

[T1.472a12] 於是，尊者拘隣若即從坐[1]起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！我願奉侍可非不可，及受所說，不失其義。」

[T1.472a15] 世尊告曰：「拘隣若，汝自年老，體轉衰弊，壽過垂訖，汝亦自應須瞻視者，拘隣若，汝還本坐。」

[T1.472a17] 於是，尊者拘隣若即禮佛足，便還復坐。

[T1.472a18] 如是尊者阿攝貝、尊者跋提釋迦王、尊者摩訶男拘隸、尊者恕破！尊者耶舍、尊者邠耨、尊者維摩羅、尊者伽恕波提、尊者須陀耶、尊者舍梨子、尊者阿那律陀、尊者難提、尊者金毘羅、尊者隸婆哆、尊者大目*乾連、尊者大迦葉、尊者大拘絺羅、尊者大周那、尊者大迦旃延、尊者邠耨加[少/(兔-、)]寫長老。

[T1.472a24] 尊者耶舍行籌長老即從坐[2]起，偏袒著衣，叉手向佛白曰：「世尊！我願奉侍可非不可，及受所說，不失其義。」

[T1.472a27] 世尊告曰：「耶舍，汝自年老，體轉衰弊，壽過垂訖，汝亦自應須瞻視者，耶舍，汝還本坐。」

[T1.472a29] 於是，尊者耶舍即禮佛足，便還復坐。

[T1.472b01] 爾時，尊者大目*乾連在彼眾中，便作是念：「世尊欲求誰為侍者，意在何比丘，欲令瞻視可非不可，及受所說，不失其義，我寧可入如其像定，觀眾比丘心。」於是，尊者大目*乾連即入如其像定，觀眾比丘心，尊者大目*乾連即知世尊欲得賢者阿難以為侍者，意在阿難！欲令瞻視可非不可，及受所說，不失其義。

[T1.472b08] 於是，尊者大目*乾連即從定起，白眾比丘曰：「諸賢知不，世尊欲得賢者阿難以為侍者，意在阿難！欲令瞻視可非不可，及受所說，不失其義。諸賢！我等今應共至賢者阿難所，勸喻令為世尊侍者。」

---

[1] 坐＝座【宋】【元】【明】
[2] 坐＝座【明】

[T1.472b13] 於是，尊者大目*乾連及諸比丘共至尊者阿難所，共相問訊，却坐一面，是時，尊者大目*乾連坐已，語曰：「賢者阿難！汝今知不，佛欲得汝以為侍者，意在阿難！令瞻視我可非不可，受我所說，不失其義。阿難！猶村外不遠有樓閣臺觀，向東開窻，日出光照在於西壁，賢者阿難！世尊亦然，欲得賢者阿難以為侍者，意在阿難！令瞻視我可非不可，受我所說，不失其義，賢者阿難！汝今可為世尊侍者。」

[T1.472b22] 尊者阿難白曰：「尊者大目*乾連，我不堪任奉侍世尊！所以者何？諸佛世尊難可難侍謂為侍者，尊者大目*乾連，猶如王大[1]雄象，年滿六十，憍發[2]力盛，牙足體具，難可難近謂為看視也。尊者大目*乾連，如來、無所著、等正覺亦復如是，難可難近謂為侍者，尊者大目*乾連，我以是故，不任侍者。」

[T1.472b29] 尊者大目*乾連復語曰：「賢者阿難！聽我說喻，智者聞喻，即解其義，賢者阿難！猶如優曇鉢華，時生於世，賢者阿難！如來、無所著、等正覺亦復如是，時時出世，賢者阿難！汝可速為世尊侍者，瞿曇當得大果。」

[T1.472c04] 尊者阿難復白曰：「尊者大目*乾連，若世尊與我三願者，我便然可為佛侍者。云何為三？我願不著佛新故衣，願不食別請佛食，願不非時見佛，尊者大目*乾連，若世尊與我此三願者，如是我便為佛侍者。」

[T1.472c09] 於是，尊者大目*乾連勸尊者阿難為侍者已，即從坐[3]起，繞尊者阿難！而便還去，往詣佛所，稽首禮足，却坐一面，白曰：「世尊！我已勸喻賢者阿難為佛侍者。世尊！賢者阿難從佛求三願。云何為三？願不著佛新故衣，願不食別請佛食，願不非時見佛，尊者大目*乾連，若世尊與我此三願者，如是我便為佛侍者。」

[T1.472c16] 世尊白曰：「大目*乾連，阿難比丘聰明智慧，豫知當有譏論，或諸梵行作如是語：『阿難比丘為衣故奉侍世尊！』大目*乾連，若阿難比丘聰明智慧，豫知當有譏論，或諸梵行作如是：『語阿難比丘為衣故奉侍世尊者，是謂阿難比丘未曾有法。』大目*乾連，阿難比丘聰明智慧，豫知當有譏論，或諸梵行作如是語：『阿難比丘為食故奉侍世尊！』大目*乾連，若阿難比丘聰明智慧，豫知當有譏論，或諸梵行作如是語：『阿難比丘為食故奉侍世尊者！』是謂阿難比丘未曾有法。」

[T1.472c27]「大目*乾連，阿難比丘善知時，善別時，知我是往見如來時，知我非往見如來時。知比丘眾、比丘尼眾是往見如來時，知比丘眾、比丘尼眾非往

---

[1] （有）＋大【宋】【元】【明】
[2] 發＝慠【宋】【元】【明】
[3] 坐＝座【宋】【元】【明】

見如來時。知優婆塞、優婆私眾是往見如來時，知優婆塞眾、優婆私眾非往見如來時。知眾多異學沙門、梵志是往見如來時，知眾多異學沙門、梵志非往見如來時。知此眾多異學沙門、梵志能與如來共論，知此眾多異學沙門、梵志不能與如來共論。知此食噉含消，如來食已，安隱饒益，知此食噉含消，如來食已，不安隱饒益。知此食噉含消，如來食已，得辯才說法，知此食噉含消，如來食已，不得辯才說法。是謂阿難比丘未曾有法。」

[T1.473a12] 「大目*乾連，阿難比丘雖無他心智，而善知如來晡時從燕[1]坐起，豫為人說，今日如來行如是，如是現法樂居，審如所說，諦無有異，是謂阿難比丘未曾有法。」

[T1.473a16] 尊者阿難作是說：「諸賢！我奉侍佛來二十五年，若以此心起貢高者，無有是相，若尊者阿難作此說，是謂尊者阿難未曾有法。」

[T1.473a19] 尊者阿難復作是說：「諸賢！我奉侍佛來二十五年，初不非時見佛，若尊者阿難作此說，是謂尊者阿難未曾有法。」

[T1.473a21] 尊者阿難復作是說：「諸賢！我奉侍佛來二十五年，未曾為佛所見訶責，除其一過，此亦為他故，若尊者阿難作此說，是謂尊者阿難未曾有法。」

[T1.473a24] 尊者阿難復作是說：「諸賢！我從如來受八萬法聚，受持不忘，若以此起貢高者，無有此相，若尊者阿難作此說，是謂尊者阿難未曾有法。」

[T1.473a28] 尊者阿難復作是說：「諸賢！我從如來受八萬法聚，初不再問，除其一句，彼亦如是不易，若尊者阿難作此說，是謂尊者阿難未曾有法。」

[T1.473b02] 尊者阿難復作是說：「諸賢！我從如來受持八萬法聚，初不見從他人受法，若尊者阿難作此說，是謂尊者阿難未曾有法。」

[T1.473b05] 尊者阿難復作是說：「諸賢！我從如來受持八萬法聚，初無是心，我受此法，為教語他。諸賢！但欲自御自息，自般涅槃故，若尊者阿難作此說，是謂尊者阿難未曾有法。」

[T1.473b08] 尊者阿難復作是說：「諸賢！此甚奇，甚特，謂四部眾來詣我所而聽法，若我因此起貢高者，都無此相，亦不豫作意，有來問者，我當如是如是答。諸賢！但在坐[2]時，隨其義應，若尊者阿難作此說，是謂尊者阿難未曾有法。」

---

[1] 燕＝宴【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 坐＝座【元】【明】

[T1.473b13] 尊者阿難復作是說：「諸賢！此甚奇，甚特，謂眾多異學沙門、梵志來問我事，我若以此有恐怖，有畏懼，身毛豎者，都無此相，亦不豫作意，有來問者，我當如是如是答。諸賢！但在坐時，隨其義應，若尊者阿難作此說，是謂尊者阿難未曾有法。」

[T1.473b19]「復次，一時。尊者舍梨子！尊者大目*乾連、尊者阿難在舍衛國婆[1]羅邏[2]山中，是時，尊者舍梨子問曰：「賢者阿難！汝奉侍佛來二十五年，頗憶有時起欲心耶？」

[T1.473b22] 尊者阿難白曰[3]：「尊者舍梨子！我是學人，而不離欲。」

[T1.473b24] 尊者舍梨子復語曰：「賢者阿難！我不問汝學以無學，我但問汝奉侍佛來二十五年，汝頗憶有起欲心耶？」

[T1.473b26] 尊者舍梨子復再三問曰：「賢者阿難！汝奉侍佛來二十五年，頗憶有時起欲心耶？」

[T1.473b28] 尊者阿難亦至再三白曰：「尊者舍梨子！我是學人，而不離欲。」

[T1.473b29] 尊者舍梨子復語曰：「賢者阿難！我不問汝學以無學，我但問汝奉侍佛來二十五年，汝頗憶有起欲心耶？」

[T1.473c03] 於是，尊者大目*乾連語曰：「賢者阿難！速答，速答。阿難！汝莫觸嬈上尊長老。」

[T1.473c05] 於是，尊者阿難答曰：「尊者舍梨子！我奉侍佛來二十五年，我初不憶曾起欲心。所以者何？我常向佛有慚愧心，及諸智梵行人，若尊者阿難作此說，是謂尊者阿難未曾有法。」

[T1.473c09]「復次，一時，世尊遊王舍城，在巖山中，是時，世尊告曰：「阿難！汝臥當如師子臥法。」

[T1.473c10] 尊者阿難白曰：「世尊！獸王師子臥法云何？」

[T1.473c11] 世尊答曰：「阿難！獸王師子晝為食行，行已入窟，若欲眠時，足足相累，伸尾在後，右脅而臥，過夜平旦，回顧視身，若獸王師子身體不正，見已不喜，若獸王師子其身周正，見已便喜，彼若臥起，從窟而出，出已頻

---

[1] 婆＝娑【宋】【元】【明】
[2]〔邏〕－【宋】【元】【明】
[3]〔曰〕－【宋】【元】【明】

呻，頻呻已自觀身體，自觀身已四顧而望，四顧望已便再三吼，再三吼已便行求食，獸王師子臥法如是。」

[T1.473c19] 尊者阿難白曰：「世尊！獸王師子臥法如是，比丘臥法當復云何？」

[T1.473c20] 世尊答曰：「阿難！若比丘依村邑，過夜平旦，著衣持鉢，入村乞食，善護持身，守攝諸根，立於正念，彼從村邑乞食已竟，收舉衣鉢，澡洗手足，以尼師檀[1]著於肩上，至無事處，或至樹下，或空室中，或經行，或坐禪，淨除心中諸障礙法，晝或經行或坐禪，淨除心中諸障礙已，復於初夜或經行，或坐禪，淨除心中諸障礙法，於初夜時，或經行，或坐禪，淨除心中諸障礙已，於中夜時，入室欲臥，四疊[2]優[3]哆*邏[4]僧敷著床上，襞僧伽梨作枕，右脅而臥，足足相累，意係明相[5]，正念正智，恒念起想，彼後夜時速從臥起，或經行，或坐禪，淨除心中諸障礙法，如是比丘師子臥法。」

[T1.474a04] 尊者阿難白曰：「世尊！如是比丘師子臥法。」

[T1.474a05] 尊者阿難復作是說：「諸賢！世尊教我師子喻臥法，從是已來，初不復以左脅而臥，若尊者阿難作此說，是謂尊者阿難未曾有法。」

[T1.474a08]復次，一時，世尊遊拘尸那竭，住恕跋單力士娑羅林中，爾時，世尊最後欲取般涅槃時告曰：「阿難！汝往至雙娑羅樹間，可為如來北首敷床，如來中夜當般涅槃。」

[T1.474a12] 尊者阿難受如來教，即詣雙樹，於雙樹間而為如來北首敷床，敷床已訖，還詣佛所，稽首禮足，却住一面，白曰：「世尊！已為如來於雙樹間北首敷床，唯願世尊自當知時。」

[T1.474a16] 於是，世尊將尊者阿難至雙樹間，四疊[6]*優哆*邏僧以敷床上，襞僧伽梨作枕，右脅而臥，足足相累，最後般涅槃時，尊者阿難執拂侍佛，以手抆淚而作是念：「本有諸方比丘眾，來欲見世尊供養禮事，皆得隨時奉見世尊供養禮事，若聞世尊般涅槃已，便不復來奉見世尊供養禮事，我亦不得隨時見佛供養禮事。」

[T1.474a23] 於是，世尊問諸比丘：「阿難比丘今在何處？」

---

[1] 檀＝壇【宋】【元】【明】
[2] 疊＝褻【元】【明】
[3] 優＝憂【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 邏＝羅【宋】＊【元】＊【明】＊
[5] 相＝想【宋】【元】【明】

[6] 疊＝揲【宋】，＝褻【元】【明】

[T1.474a24] 時，諸比丘白曰：「世尊！尊者阿難執拂侍佛，以手抆淚而作是念：『本有諸方比丘眾，來欲見世尊供養禮事，皆得隨時奉見世尊供養禮事，若聞世尊般涅槃已，便不復來奉見世尊供養禮事，我亦不得隨時見佛供養禮事。』」

[T1.474a29] 於是，世尊告曰：「阿難！汝勿啼泣，亦莫憂慼。所以者何？阿難！汝奉侍我，身行慈，口、意行慈，初無二心，安樂無量，無邊無限。阿難！若過去時，諸如來、無所著、等正覺有奉侍者，無勝於汝。阿難！若未來諸如來、無所著、等正覺有奉侍者，亦無勝汝。阿難！我今現在如來、無所著、等正覺。若有侍者，亦無勝汝。所以者何？阿難善知時，善別時，知我是往見如來時，知我非往見如來時，知比丘眾、比丘尼眾是往見如來時，知比丘眾、比丘尼眾非往見如來時，知優婆塞眾、優婆私眾是往見如來時，知優婆塞眾、優婆私眾非往見如來時，知眾多異學沙門、梵志是往見如來時，知眾多異學沙門、梵志非往見如來時，知此眾多異學沙門、梵志能與如來共論，知此眾多異學沙門、梵志不能與如來共論，知此食噉含消、如來食已，得安隱饒益，知此食噉含消，如來食已，不得安隱饒益，知此食噉含消，如來食已，得辯才說法，知此食噉含消，如來食已，不得辯才說法。復次。阿難！汝雖無他心智，而逆知如來晡時從*燕坐起，預為人說，今日如來行如是，如是現法樂居，審如所說，諦無有異。」

[T1.474b23] 於是，世尊欲令尊者阿難喜，告諸比丘：「轉輪聖王得四未曾有法。云何為四？剎利眾往見轉輪王，若默然時，見已歡喜，若所說時，聞已歡喜。梵志眾、居士眾、沙門眾往見轉輪王，若默然時，見已歡喜，若所說時，聞已歡喜。阿難比丘亦復如是，得四未曾有法。云何為四？比丘眾往見阿難！若默然時，見已歡喜，若所說時，聞已歡喜。比丘尼眾、優婆塞眾、優婆私[1]眾往見阿難！若默然時，見已歡喜，若所說時，聞已歡喜。」

[T1.474c04]「復次，阿難為眾說法，有四未曾有[2]。云何為四？阿難比丘為比丘眾至心說法，非不至心，彼比丘眾亦作是念：『願尊者阿難常說法，莫令中止。』彼比丘眾聞尊者阿難說法，終無厭足，然阿難比丘自默然住，為比丘尼眾、優婆塞眾、優婆*私眾至心說法，非不至心，優婆*私眾亦作是念：『願尊者阿難常說法，莫令中止。』優婆*私眾聞尊者阿難說法，終無厭足，然阿難比丘自默然住。」

[T1.474c12]「復次，一時，佛般涅槃後不久，尊者阿難遊於金剛，住金剛村中，是時，尊者阿難無量百千眾前後圍繞而為說法。於是，尊者金剛子亦在眾中，尊者金剛子心作是念：『此尊者阿難！故是學人，未離欲耶？我寧可入如其像

[1] 私＝夷【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 有＋（法）【宋】【元】【明】

定，以如其像定，觀尊者阿難心。』於是，尊者金剛子便入如其像定，以如其像定觀尊者阿難心，尊者金剛子即知尊者阿難！故是學人而未離欲。」

[T1.474c21]「於是，尊者金剛子從三昧起，向尊者阿難而說頌曰：『

山林靜思惟　　涅槃令入心　瞿曇禪無亂　　不久息跡證

[T1.474c25]「於是，尊者阿難受尊者金剛子教，離眾獨行，精進無亂，彼離眾獨行，精進無亂，族姓子所為，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，唯無上梵行訖，彼即於現法自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。」

[T1.475a01]「尊者阿難知法已，乃至得阿羅訶，尊者阿難作是說：『諸賢，我坐床上，下頭未至枕頃，便斷一切漏，得心解脫，[1]若尊者阿難作此說，是謂尊者阿難未曾有法。』」

[T1.475a05]「尊者阿難復作是說：『諸賢，我當結加[2]趺坐而般涅槃，尊者阿難便結*加趺[3]坐而般涅槃，若尊者阿難結*加趺坐而般涅槃，是謂尊者阿難未曾有法。』」

[T1.475a08] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.475a10]侍者經第二竟[4] (四千三百九十九字)[5]。

（三四）中阿含[6]未曾有法品

---

[1] 《善見律毘婆沙》：「阿難從初夜觀身已(caṅkamena 由經行)，過中夜未有所得。阿難思惟：世尊往昔有如是言：『汝已修功德，若入禪定(padhānamanuyuñja 再接再厲)速得羅漢(anāsavo 無漏)。』佛言無虛，當由我心精懃太過，今當疇量取其中適。於是阿難從經行處下至洗脚處，洗脚已入房却坐床上，欲少時消息倚身欲臥，脚已離地，頭未至枕，於此中間便得羅漢。」(大正24.674.3)。Sp.CS.pg.1.10：Ayañhi āyasmā caṅkamena bahi vītināmetvā visesaṁ nibbattetuṁ asakkonto cintesi– “Nanu maṁ Bhagavā etadavoca– ‘katapuññosi tvaṁ, Ānanda, padhānamanuyuñja; khippaṁ hohisi anāsavo’ti (dī.ni.2.207). Buddhānañca kathādoso nāma natthi. Mama accāraddhaṁ vīriyaṁ tena me cittaṁ uddhaccāya saṁvattati. Handāhaṁ vīriyasamathaṁ yojemī”ti caṅkamā orohitvā pādadhovanaṭṭhāne ṭhatvā pāde dhovitvā vihāraṁ pavisitvā mañcake nisīditvā “Thokaṁ vissamissāmī”ti kāyaṁ mañcake upanāmesi. Dve pādā bhūmito muttā, sīsañca imbohanaṁ asampattaṁ.

[2] 加＝跏【宋】＊【元】＊【明】＊

[3]〔趺〕－【明】

[4]〔侍者…竟〕六字－【明】

[5]〔四千…字〕八字－【宋】【元】【明】

[6]〔中阿含〕－【明】

(Ma.34)薄拘羅經 第三[1] (初一日誦)[2]

[T1.475a13] 我聞如是。

[T1.475a13] 一時，佛般涅槃後不久，尊者薄拘羅遊王舍城，在竹林加[3]蘭哆園。

[T1.475a14] 爾時，有一異學，是尊者薄拘羅未出家時親善朋友，中後仿佯[4]，往詣尊者薄拘羅所，共相問訊，却坐一面，異學曰：「賢者薄拘羅，我欲有所問，為見聽不。」

[T1.475a18] 尊者薄拘羅答曰：「異學，隨汝所問，聞已當思。」

[T1.475a19] 異學問曰：「賢者薄拘羅，於此正法、律中學道幾時。」

[T1.475a20] 尊者薄拘羅答曰：「異學，我於此正法、律中學道已來八十年。」

[T1.475a21] 異學復問曰：「賢者薄拘羅，汝於此正法律中學道已來八十年，頗憶曾行婬欲事耶？」

[T1.475a23] 尊者薄拘羅語異學曰：「汝莫作是問，更問餘事，賢者薄拘羅，於此正法、律中學道已來八十年，頗憶曾起欲想耶？異學，汝應作是問。」

[T1.475a26] 於是，異學便作是語：「我今更問賢者薄拘羅，汝於此正法、律中學道已來八十年，頗憶曾起欲想耶？」

[T1.475a29] 於是，尊者薄拘羅因此異學問，便語諸比丘：「諸賢！我於此正法、律中學道已來八十年，以此起貢高者，都無是想，若尊者薄拘羅作此說，是謂尊者薄拘羅未曾有法。」

[T1.475b03]復次，尊者薄拘羅作是說：「諸賢！我於此正法、律中學道已來八十年，未曾有欲想，若尊者薄拘羅作此說，是謂尊者薄拘羅未曾有法。」

[T1.475b07]復次，尊者薄拘羅作是說：「諸賢！我持糞掃衣來八十年，若因此起貢高者，都無是相，若尊者薄拘羅作此說，是謂尊者薄拘羅未曾有法。」

---

[1] ～M. 124. Bakkula.(薄拘羅經)
[2] 〔初一日誦〕－【明】
[3] 加＝迦【宋】【元】【明】
[4] 仿佯＝彷徉【宋】【元】【明】

[T1.475b10]復次，尊者薄拘羅作是說：「諸賢！我持糞掃衣來八十年，未曾憶受居士衣，未曾割截作衣，未曾倩他比丘作衣，未曾用針縫衣，未曾持縫[1]囊，乃至一縷，若尊者薄拘羅作此說，是謂尊者薄拘羅未曾有法。」

[T1.475b15]復次，尊者薄拘羅作是說：「諸賢！我乞食來八十年，若因此起貢高者，都無是相，若尊者薄拘羅作此說，是謂尊者薄拘羅未曾有法。」

[T1.475b18]復次，尊者薄拘羅作是說：「諸賢！我乞食來八十年，未曾憶受居士請，未曾超越乞食，未曾從大家乞食於中當得淨好極妙豐饒食噉含消，未曾視女人面，未曾憶入比丘尼坊[2]中，未曾憶與比丘尼共相問訊，乃至道路亦不共語，若尊者薄拘羅作此說，是謂尊者薄拘羅未曾有法。」

[T1.475b24]復次，尊者薄拘羅作此說：「諸賢！我於此正法、律中學道已來八十年，未曾憶畜沙彌，未曾憶為白衣說法，乃至四句頌亦不為說，若尊者薄拘羅作此說，是謂尊者薄拘羅未曾有法。」

[T1.475b28]復次，尊者薄拘羅作是說。諸賢！我於此正法、律中學道已來八十年，未曾有病，乃至彈指頃頭痛者，未曾憶服藥，乃至一片訶梨勒[3]，若尊者薄拘羅作此說，是謂尊者薄拘羅未曾有法。」

[T1.475c03]復次，尊者薄拘羅作是說：「諸賢！我結加[4]趺坐，於八十年未曾猗壁猗[5]樹，若尊者薄拘羅作此說，是謂尊者薄拘羅未曾有法。」

[T1.475c06]復次，尊者薄拘羅作是說：「諸賢！我於三日夜中得三達證，若尊者薄拘羅作此說，是謂尊者薄拘羅未曾有法。」

[T1.475c09]復次，尊者薄拘羅作是說：「諸賢！我結*加趺坐而般涅槃，尊者薄拘羅便結*加趺坐而般涅槃，若尊者薄拘羅結*加趺坐而般涅槃，是謂尊者薄拘羅未曾有法。」

[T1.475c13] 尊者薄拘羅所說如是，彼時異學及諸比丘聞所[6]說已，歡喜奉行。

[T1.475c15]薄拘羅經第三竟[7] (九百八十字)，[8]

---

[1] 縫＝綖【宋】【元】【明】
[2] 坊＝房【宋】【元】【明】
[3] [>訶梨勒]～Harītakī.
[4] 加＝跏【宋】＊【元】＊【明】＊
[5] 猗＝倚【宋】＊【元】＊【明】＊
[6] (佛）＋所【宋】【元】【明】
[7]〔薄拘…竟〕七字－【明】
[8]〔九百…字〕五字－【宋】【元】【明】

（三五）中阿含[1]未曾有法品

(Ma.35)阿[2]修[3]羅經 第四 (初一日誦)[4]

[T1.475c18] 我聞如是。

[T1.475c18] 一時，佛遊鞞蘭若[5]，在黃蘆園。

[T1.475c18] 爾時，婆羅[6]*邏[7]阿*修羅王、牟梨遮阿*修羅子，色像巍巍，光耀暐曄，夜將向旦，往詣佛所，禮世尊足，却住[8]一面。

[T1.475c21] 世尊問曰：「婆羅*邏，大海中阿*修羅無有衰退阿*修羅壽、阿*修羅色、阿*修羅樂、阿*修羅力，諸阿*修羅樂大海中耶？」

[T1.475c24] 婆羅*邏阿*修羅王、牟梨遮阿*修羅子答曰：「世尊！我大海中諸阿*修羅無有衰退於阿*修羅壽、阿*修羅色、阿*修羅樂、阿*修羅力、諸阿*修羅樂大海中。」

[T1.475c27] 世尊復問曰：「婆羅*邏，大海中有幾未曾有法，令諸阿*修羅見已樂中。」

[T1.475c29] 婆羅*邏答曰：「世尊！我大海中有八未曾有法，令諸阿*修羅見已樂中。云何為八？世尊！我大海從下至上，周迴漸廣，均調轉上，以成於岸，其水常滿，未曾流出。世尊！若我大海從下至上，周迴漸廣，均調轉上，以成於岸，其水常滿，未曾流出者，是謂我大海中第一未曾有法，諸阿*修羅見已樂中。」

[T1.476a07] 「復次。世尊！我大海潮未曾失時。世尊！若我大海潮未曾失時者，是謂我大海中第二未曾有法，諸阿*修羅見已樂中。」

[T1.476a09] 「復次。世尊！我大海水甚深無底，極廣無邊。世尊！若我大海甚深無底，極廣無邊者，是謂我大海中第三未曾有法，諸阿*修羅見已樂中。」

---

[1] 〔中阿含〕－【明】
[2] ～《增支部》A.8.19. Pahārāda. (波呵羅)、《增壹阿含 42.4 經》(大正 2.752c)
[3] 修＝脩【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 〔初一日誦〕－【明】
[5] [>鞞蘭若]～Verañjā.
[6] [>婆羅邏]～Pahārāda.
[7] 邏＝羅【宋】＊【元】＊【明】＊
[8] 住＝坐【宋】【元】【明】

[T1.476a12] 「復次。世尊！我大海水鹹，皆同一味。世尊！若我大海水鹹，皆同一味者，是謂我大海中第四未曾有法，諸阿*修羅見已樂中。」

[T1.476a15]「復次。世尊！我大海中多有珍寶，無量瓚[1]異，種種珍琦，充滿其中，珍寶名者，謂金、銀、水精、琉璃、摩尼、真珠、碧玉、白珂、螺璧、珊瑚、虎[2]珀、馬瑙[3]、璹瑁、赤石、琁珠。世尊！若我大海中多有珍寶，無量*瓚異、種種珍琦，充滿其中，珍寶名者，謂金、銀、水精、琉璃、摩尼、真珠、碧玉、白珂、螺璧、珊瑚、*虎珀、*馬瑙、璹瑁、赤石、琁珠者，是謂我大海中第五未曾有法，諸阿*修羅見已樂中。」

[T1.476a23] 「復次。世尊！我大海中大神所居，大神名者，謂阿*修羅、乾[4]塔恕、羅剎、魚摩竭、龜、鼉、婆留泥、帝麗、帝麗伽[5]羅、提帝麗伽羅。復次，大海中甚奇，甚特，眾生身體有百由延，有二百由延，有至三百由[廷>延]，有至七百由延，身皆居海中。世尊！若大海中大神所居，大神名者，謂阿*修羅、*乾塔恕、羅剎、魚摩竭、龜、鼉、婆留泥、帝麗、帝麗伽羅、提帝麗伽羅。復次，大海中甚奇，甚特，眾生身體有百由延，有二百由延，有三百由延，有至七百由延，身皆居海中者，是謂我大海中第六未曾有法，諸阿*修羅見已樂中。」

[T1.476b05] 「復次。世尊！我大海清淨，不受死屍。若有命終者，過夜風便吹著岸上。世尊！若我大海清淨，不受死屍。若有命終者，過夜風便吹著岸上者，是謂我大海中第七未曾有法，諸阿*修羅見已樂中。」

[T1.476b10] 「復次。世尊！我大海閻浮洲中有五大河，一曰恒伽[6]，二曰搖尤那[7]，三曰舍牢浮[8]，四曰阿夷羅婆提[9]，五曰摩企[10]，悉入大海，既入中已，各捨本名，皆曰大海。世尊！若我大海閻浮洲中有五大河，一曰恒伽，二曰搖尤那，三曰舍牢浮，四曰阿夷羅婆提，五曰摩企，悉入大海，既入中已，各捨本名，皆曰大海者，是謂我大海中第八未曾有法，諸阿*修羅見已樂中。世尊！是謂我大海中有八未曾有法，諸阿*修羅見已樂中。世尊！於佛正法、律中有幾未曾有法，令諸比丘見已樂中。」

---

[1] 瓚＝貴【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 虎＝琥【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 馬瑙＝碼碯【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 乾＝揵【宋】＊【元】＊【明】＊
[5] 伽＝加【元】【明】
[6] [>恒伽]～Gaṅgā.
[7] [>搖尤那]～Yamunā.
[8] [>舍牢浮]～Sarabhū.
[9] [>阿夷羅婆提]～Aciravatī.
[10] [>摩企]～Mahī.

[T1.476b20] 世尊答曰：「婆羅*邏，我正法、律中亦有八未曾有法，令諸比丘見已樂中。云何為八？婆羅*邏，如大海從下至上，周迴漸廣，均調轉上，以成於岸，其水常滿，未曾流出，婆羅*邏，我正法、律亦復如是，漸作漸學，漸盡漸教，婆羅*邏，若我正法、律中漸作漸學，漸盡漸教者，是謂我正法、律中第一未曾有法，令諸比丘見已樂中。」

[T1.476b28]「復次，婆羅*邏，如大海潮，未曾失時，婆羅*邏，我正法、律亦復如是，為比丘、比丘尼、優婆塞、優婆*私[1]施設禁戒，諸族姓子乃至命盡，終不犯戒，婆羅邏，若我正法、律中為比丘、比丘尼、優婆塞、優婆*私施設禁戒，諸族姓子乃至命盡，終不犯戒者，是謂我正法、律中第二未曾有法，令諸比丘見已樂中。」

[T1.476c05]「復次，婆羅*邏，如大海水，甚深無底，極廣無邊，婆羅*邏，我正法、律亦復如是，諸法甚深，甚深無底，極廣無邊，婆羅*邏，若我正法、律中諸法甚深，甚深無底，極廣無邊者，是謂我正法、律中第三未曾有法，令諸比丘見已樂中。」

[T1.476c10]「復次，婆羅*邏，如大海水鹹，皆同一味，婆羅*邏，我正法、律亦復如是，無欲為味，覺味、息味及道味，婆羅*邏，若我正法、律中無欲為味，覺味、息味及道味者，是謂我正法、律中第四未曾有法，令諸比丘見已樂中。」

[T1.476c15]「復次，婆羅*邏，如大海中多有珍寶，無量*瑣異、種種珍琦，充滿其中，珍寶名者，謂金、銀、水精、琉璃、摩尼、真珠、碧玉、白珂、螺璧、珊瑚、*虎珀、*馬瑙、璹[瑁-目+月]、赤石、琁珠，婆羅*邏，我正法、律亦復如是，多有珍寶，無量*瑣異，種種珍琦，充滿其中，珍寶名者，謂四念處、四正勤[2]、四如意足、五根、五力、七覺支、八支聖道，婆羅*邏，若我正法、律中多有珍寶，無量*瑣異，種種珍琦，充滿其中，珍寶名者，謂四念處、四正*勤、四如意足、五根、五力、七覺支、八支聖道者，是謂我正法、律中第五未曾有法，令諸比丘見已樂中。」

[T1.476c26]「復次，婆羅*邏，如大海中大神所居，大神名者，謂阿*修羅、*乾塔恕、羅剎、魚摩竭、龜、鼉、婆留泥、帝麗、帝麗伽羅、提帝麗伽羅。復次，大海中甚奇，甚特，眾生身體有百由延，有二百由延，有三百由延，有至七百由延，身皆居海中，婆羅*邏，我正法、律亦復如是，聖眾大神皆居其中，大神名者，謂阿羅訶、向阿羅訶、阿那含、向阿那含、斯陀含、向斯陀含、須陀洹、向須陀洹，婆羅*邏，若我正法、律中聖眾大神皆居其中，大神名者，謂

[1] 私＝夷【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 勤＝斷【宋】＊【元】＊【明】＊

阿羅訶、向阿羅訶、阿那含、向阿那含、斯陀含、向斯陀含、須陀洹、向須陀洹者，是謂我正法、律中第六未曾有法，令諸比丘見已樂中。」

[T1.477a09]「復次，婆羅*邏，如大海清淨，不受死屍。若有命終者，過夜風便吹著岸上，婆羅*邏，我正法、律亦復如是，聖眾清淨，不受死尸[1]。若有不精進人惡生，非梵行稱梵行，非沙門稱沙門，彼雖墮[2]在聖眾之中，然去聖眾遠，聖眾亦復去離彼遠，婆羅*邏，若我正法、律中聖眾清淨，不受死屍。若有不精進人惡生，非梵行稱梵行，非沙門稱沙門，彼雖*墮在聖眾之中，然去聖眾遠，聖眾亦復去離彼遠者，是謂我正法、律中第七未曾有法，令諸比丘見已樂中。」

[T1.477a20]「復次，婆羅*邏，如大海閻浮洲中有五大河，一曰恒伽，二曰搖尤那，三曰舍牢浮，四曰阿夷羅婆提，五曰摩企，悉入大海，既入中已，各捨本名，皆曰大海，婆羅*邏，我正法、律亦復如是，剎利種族姓子，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，彼捨本名，同曰沙門，梵志種、居士種、工師種族姓子，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，彼捨本名，同曰沙門，婆羅*邏，若我正法、律中剎利種族姓子剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，彼捨本名，同曰沙門，梵志種、居士種、工師種族姓子，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，彼捨本名，同曰沙門者，是謂我正法、律中第八未曾有法，令諸比丘見已樂中。」

[T1.477b05]「婆羅*邏，是謂正法、律中有八未曾有法，令諸比丘見已樂中，婆羅*邏，於意云何？若我正法、律中有八未曾有法，若汝大海中有八未曾有法，此二種未曾有法，何者為上、為勝、為妙、為最。」

[T1.477b09] 婆羅*邏白曰：「世尊！我大海中有八未曾有法，不及如來八未曾有法，不如千倍萬倍，不可比，不可喻，不可稱、不可數，但世尊八未曾有法為上、為勝、為妙、為最。世尊！我今[3]自歸於佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.477b15] 佛說如是，婆羅*邏阿*修羅王及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.477b17]阿[4]*修羅經第四竟(二千三百六十二字)，[5]

中阿含經卷第八 (一萬六百五十八字)[6] (初一日誦)[1]

---

[1] 尸＝屍【宋】【元】【明】
[2] 墮＝隨【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 今＋（日）【宋】【元】【明】
[4]〔阿修…竟〕[六>七]字－【明】
[5]〔二千…字〕八字－【宋】【元】【明】
[6]〔一萬…字〕八字－【宋】【元】【明】

中阿含經

卷第九 (Ma.36～41)

東晉罽賓三藏瞿曇僧伽提婆譯

（三六）未曾有法品

(Ma.36)地動經[2] 第五 (初一日誦)[3]

[T1.477b24] 我聞如是。

[T1.477b24] 一時，佛遊金剛國，城名曰地。

[T1.477b24] 爾時，彼地大動，地大動時，四面大風起，四方彗星出，屋舍牆壁皆崩壞盡。於是，尊者阿難見地大動，地大動時，四面大風起，四方彗星出，屋舍牆壁皆崩壞盡。

[T1.477b28] 尊者阿難見已恐怖，舉身毛豎，往詣佛所，稽首禮足，却住一面，白曰：「世尊！今地大動，地大動時，四面大風起，四方彗星出，屋舍牆壁皆崩壞盡。」

[T1.477c02] 於是，世尊語尊者阿難曰：「如是。阿難！今地大動。如是。阿難！地大動時，四面大風起，四方彗星出，屋舍牆壁皆崩壞盡。」

[T1.477c05] 尊者阿難白曰：「世尊！有幾因緣令地大動，地大動時，四面大風起，四方彗星出，屋舍牆壁皆崩壞盡。」

[T1.477c07] 世尊答曰：「阿難！有三因緣令地大動，地大動時，四面大風起，四方彗星出，屋舍牆壁皆崩壞盡。云何為三？阿難！此地止水上，水止風上，

---

[1]〔初一日誦〕－【明】，在品中經末題下【宋】【元】

[2] ～《增支部》A.8.70.Bhūmicāla(地震)，《增壹阿含 42.5 經》(大正 2.753c)，《長部 16 經》Mahā-Parinibbāna-Suttanta (大般涅槃經)、《自說經》(Ud.6.1.)

[3]〔初一日誦〕－【明】

風依於空。阿難！有時空中大風起，風起則水擾，水擾則地動，是謂第一因緣令地大動，地大動時，四面大風起，四方彗星出，屋舍牆壁[>皆]崩壞盡。」

[T1.477c14]「復次。阿難！比丘有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，心自在如意足，彼於地作小想，於水作無量想，彼因是故，此地隨所欲、隨其意，擾復擾，震[1]復*震，護比丘天亦復如是，有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，心自在如意足，彼於地作小想，於水作無量想，彼因是故，此地隨所欲、隨其意，擾復擾，*震復*震，是謂第二因緣令地大動，地大動時，四面大風起，四方彗星出，屋舍牆壁皆崩壞盡。」

[T1.477c23]「復次。阿難！若如來不久過三月已當般涅槃，由是之故，令地大動，地大動時，四面大風起，四方彗星出，屋舍牆壁皆崩壞盡，是謂第三因緣令地大動，地大動時，四面大風起，四方彗星出，屋舍牆壁皆崩壞盡。」

[T1.477c28] 於是，尊者阿難聞是語已，悲泣涕零，叉手向佛，白曰：「世尊！甚奇，甚特，如來、無所著、等正覺成就功德，得未曾有法。所以者何？謂如來不久過三月已當般涅槃，是時令地大動，地大動時，四面大風起，四方彗星出，屋舍牆壁皆崩壞盡。」

[T1.478a04] 世尊語尊者阿難曰：「如是，阿難！如是。阿難！甚奇，甚特，如來、無所著、等正覺成就功德，得未曾有法。所以者何？謂如來不久過三月已當般涅槃，是時令地大動，地大動時，四面大風起，四方彗星出，屋舍牆壁皆崩壞盡。」

[T1.478a09]「復次。阿難！我往詣無量百千剎利眾，共坐談論，令可彼意，共坐定已，如彼色像，我色像亦然，如彼音聲，我音聲亦然，如彼威儀禮節，我威儀禮節亦然，若彼問義，我答彼義。復次，我為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即彼處沒，我既沒已，彼不知誰，為人，為非人。阿難！如是甚奇，甚特，如來、無所著、等正覺成就功德，得未曾有法，如是梵志眾、居士眾、沙門眾。」

[T1.478a18] 「阿難！我往詣無量百千四王天眾，共坐談論，令可彼意，共坐定已，如彼色像，我色像亦然，如彼音聲，我音聲亦然，如彼威儀禮節，我威儀禮節亦然，若彼問義，我答彼義。復次，我為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即彼處沒，我既沒已，彼不知誰，為天，為異天。阿難！如是甚奇，甚特，如來、無所著、等正覺成就功德，得未曾有法，如是三十三天、 [火*僉][2]摩天、兜率哆天、化樂天、他化樂

[1] 震＝振【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] [火*僉]＝焰【宋】【元】【明】

天、梵身天、梵富樓天、少光天、無量光天、晃昱天、少淨天、無量淨天、遍淨天、無罣礙天、受福天、果實天、無煩天、無熱天、善見天、善現天。」

[T1.478b01] 「阿難！我往詣無量百千色究竟天眾，共坐談論，令可彼意，共坐定已，如彼色像，我色像亦然，如彼音聲，我音聲亦然，如彼威儀禮節，我威儀禮節亦然，若彼問義，我答彼義。復次，我為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即彼處沒，我既沒已，彼不知誰，為天，為異天。阿難！如是甚奇，甚特，如來、無所著、等正覺成就功德，得未曾有法。」

[T1.478b10] 佛說如是，尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.478b12]地動經第五竟 [1](一千二百三十三字)[2]，

（三七）中阿含 [3]未曾有法品

(Ma.37)瞻波經 第六 [4](初一日誦)[5]

[T1.478b15] 我聞如是。

[T1.478b15] 一時，佛遊瞻波，在恒伽池邊。

[T1.478b15] 爾時，世尊月十五日說從解脫 [6]時，於比丘眾前敷座而坐，世尊坐已，即便入定，以他心智觀察眾心，觀眾心已，至初夜竟，默然而坐。

[T1.478b19] 於是，有一比丘即從坐起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！初夜已訖，佛及比丘眾集坐來久，唯願世尊說從解脫。」爾時，世尊默然不答。

---

[1]〔地動…竟〕六字－【明】
[2]〔一千…字〕八字－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【宋】【元】【明】
[4] ～《增支部》A.8.20. Uposatha(布薩)、《律藏》〈小品〉(Vin.Cv.9.1.)、《自說經》(Ud.5.5.)、《五分律》卷 28(大正 22.180.)、No.33.《恒水經》(大正 1.817a)、No.34.《法海經》(大正 1.817a)、No.35.《海八德經》(大正 1.819a)、《增壹阿含 48.2 經》(大正 2.786a)
[5]〔初一日誦〕－【明】
[6] 從解脫～Pātimokkha.

[T1.478b22] 於是，世尊復至中夜默然而坐，彼一比丘再從坐起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！初夜已過，中夜將訖，佛及比丘眾集坐來久，唯願世尊說從解脫。」世尊亦再默然不答。

[T1.478b26] 於是，世尊復至後夜默然而坐，彼一比丘三從坐起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！初夜既過，中夜復訖，後夜垂盡，將向欲明，明出不久，佛及比丘眾集坐極久，唯願世尊說從解脫。」

[T1.478c01] 爾時，世尊告彼比丘：「於此眾中，有一比丘已為不淨，彼時尊者大目乾[1]連亦在眾中。」於是，尊者大目*乾連便作是念：「世尊為何比丘而說此眾中有一比丘已為不淨，我寧可入如其像定，以如其像定他心之智，觀察眾心。」尊者大目*乾連即入如其像定，以如其像定他心之智，觀察眾心，尊者大目*乾連便知世尊所為比丘說此眾中有一比丘已為不淨。

[T1.478c09] 於是，尊者大目*乾連即從定起，至彼比丘前，牽臂將出，開門置外，癡人遠去，莫於此住，不復得與比丘眾會，從今已去，非是比丘，閉門下鑰，還詣佛所，稽首佛足，却坐一面，白曰：「世尊所為比丘說此眾中有一比丘已為不淨，我已逐出。世尊！初夜既過，中夜復訖，後夜垂盡，將向欲明，明出不久，佛及比丘眾集坐極久，唯願世尊說從解脫。」

[T1.478c17] 世尊告曰：「大目*乾連，彼愚癡人當得大罪，觸嬈世尊及比丘眾，大目*乾連，若使如來在不淨眾說從解脫者，彼人則便頭破七分。是故大目*乾連，汝等從今已後說從解脫，如來不復說從解脫。所以者何？大目*乾連，如彼大海，從下至上，周迴漸廣，均調轉上，以成於岸，其水常滿，未曾流出，大目*乾連，我正法、律亦復如是，漸作漸學，漸盡漸教，大目*乾連，若我正法、律漸作漸學，漸盡漸教者，是謂我正法、律中未曾有法。」

[T1.478c27]「復次，大目*乾連，如大海潮，未曾失時，大目*乾連，我正法、律亦復如是，為比丘、比丘尼、優婆塞、優婆私[2]施設禁戒，諸族姓子乃至命盡，終不犯戒，大目*乾連，若我正法、律為比丘、比丘尼、優婆塞、優婆*私施設禁戒，諸族姓子乃至命盡，終不犯戒者，是謂我正法、律中未曾有法。」

[T1.479a04]「復次，大目*乾連，如大海水，甚深無底，極廣無邊，大目*乾連，我正法、律亦復如是，諸法甚深，甚深無底，極廣無邊，大目*乾連，若我正法、律諸法甚深，甚深無底，極廣無邊者，是謂我正法、律中未曾有法。」

---

[1] 乾＝揵【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 私＝夷【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.479a08]「復次，大目*乾連，如海水鹹，皆同一味，大目*乾連，我正法、律亦復如是，無欲為味，覺味、息味及道味，大目*乾連，若我正法、律無欲為味，覺味、息味及道味者，是謂我正法、律中未曾有法。」

[T1.479a13]「復次，大目*乾連，如大海中多有珍寶，無量瓚[1]異，種種珍奇[2]，充滿其中，珍寶名者，謂金、銀、水精、琉璃、摩尼、真珠、碧玉、白珂、車磲[3]、珊瑚、虎[4]珀、馬瑙[5]、璹瑁、赤石、琁珠，大目*乾連，我正法、律亦復如是，多有珍寶，無量*瓚異，種種珍琦，充滿其中。珍寶名者，謂四念處、四正勤、四如意足、五根、五力、七覺支、八支聖道，大目*乾連。若我正法、律多有珍寶，無量*瓚異，種種珍奇，充滿其中，珍寶名者，謂四念處、四正勤、四如意足、五根、五力、七覺支、八支聖道者，是謂我正法、律中未曾有法。」

[T1.479a23]「復次，大目*乾連，如大海中，大神所居，大神名者，謂阿修[6]羅、乾沓[7]恕、羅剎、魚摩竭、龜、鼉、婆留泥、帝麗、帝麗伽羅、提帝麗伽羅。復次，大海中甚奇甚特，眾生身體有百由延，有二百由延，有三百由延，有至七百由延，身皆居海中，大目*乾連，我正法、律亦復如是，聖眾大神皆居其中。大神名者，謂阿羅訶、向阿羅訶、阿那含、向阿那含、斯陀含、向斯陀含、須陀洹、向須陀洹，大目*乾連，若我正法、律聖眾大神皆居其中，大神名者，謂阿羅訶、向阿羅訶、阿那含、向阿那含，斯陀含、向斯陀含、須陀洹、向須陀洹者，是謂我正法、律中未曾有法。」

[T1.479b06]「復次，大目*乾連，如大海清淨，不受死屍。若有命終者，過夜風便吹著岸上，大目*乾連，我正法、律亦復如是，聖眾清淨，不受死屍。若有不精進人惡生，非梵行稱梵行，非沙門稱沙門，彼雖隨在聖眾之中，然去聖眾遠，聖眾亦復去離彼遠，大目乾連，若我正法、律聖眾清淨，不受死屍。若有不精進人惡生，非梵行稱梵行，非沙門稱沙門，彼雖隨在聖眾之中，然去聖眾遠，聖眾亦復去離彼遠者，是謂我正法、律中未曾有法。」

[T1.479b16]「復次，大目*乾連，如彼大海閻浮洲中有五大河，一曰恒伽，二曰搖尤那，三曰舍牢浮，四曰阿夷羅婆提，五曰摩企，皆入大海，及大海中龍水從空雨墮，渧[8]如車釧[9]，是一切水不能令大海有增減也。大目*乾連，我正法、律亦復如是，剎利種族姓子剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，

---

[1] 瓚＝貴【宋】【元】【明】
[2] 奇＝琦【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 車磲＝螺壁【宋】【元】【明】
[4] 虎＝琥【宋】【元】【明】
[5] 馬瑙＝碼碯【宋】【元】【明】
[6] 修＝脩【宋】【元】【明】
[7] 乾沓＝揵塔【宋】【元】【明】
[8] 渧＝滴【宋】【元】【明】
[9] 釧＝軸【宋】【元】【明】

不移動心解脫，自作證成就遊，大目*乾連，不移動心解脫，於我正法、律中無增無減，如是梵志種、居士種、工師種族姓子剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，不移動心解脫，自作證成就遊，大目*乾連，不移動心解脫，於我正法、律中無增無減，大目*乾連，若我正法、律剎利種族姓子剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，不移動心解脫，自作證成就遊，大目*乾連，不移動心解脫，於我正法、律中無增無減，如是梵志種、居士種、工師種族姓子剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，不移動心解脫，自作證成就遊，大目*乾連，不移動心解脫，於我正法、律中無增無減者，是謂我正法、律中未曾有法。」

[T1.479c08] 佛說如是，尊者大目*乾連及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.479c10]瞻波經第六竟 [1](一千八百一十四字)[2]，

（三八）中阿含 [3]未曾有法品

(Ma.38)郁伽長者 [4]經 [5] 第七 (初一日誦)[6]

[T1.479c13] 我聞如是。

[T1.479c13] 一時，佛遊鞞舍離 [7]，住大林中。

[T1.479c14] 爾時，郁伽長者唯婦女侍從，在諸女前從鞞舍離出，於鞞舍離大林中間唯作女妓，娛樂如王，於是郁伽長者飲酒大醉，捨諸婦女，至大林中，郁伽長者飲酒大醉，遙見世尊在林樹間，端正姝好，猶星中月，光耀 [8]暐曄，晃若金山，相好具足，威神巍巍，諸根寂定，無有蔽礙，成就調御，息心靜默，彼見佛已，即時醉醒，郁伽長者醉既醒已，便往詣佛，稽首禮足，却坐一面，

[T1.479c22] 爾時，世尊為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，如諸佛法先說端正法，聞者歡悅，謂說施、說戒、說生天法，毀呰欲為災患，生死為穢，稱歎無欲為妙，道品白淨，世尊為彼說如

---

[1]〔瞻波…竟〕六字－【明】
[2]〔一千…字〕八字－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【宋】【元】【明】
[4] ～《增支部》A.8.21. Ugga(郁伽)
[5] 經＋（上）【明】
[6]〔初一日誦〕－【明】
[7] [>鞞舍離]～Ves.
[8] 耀＝曜【宋】【元】【明】

是法已，佛知彼有歡喜心、具足心、柔軟心、堪耐心、勝[1]上心、一向心、無疑心、無蓋心，有能、有力堪受正法，謂如諸佛說正法要，世尊即為彼說苦、習[2]、滅、道，彼時郁伽長者即於坐[3]中見四聖諦苦、*習、滅、道，猶如白素，素，易染為色，郁伽長者亦復如是，即於坐中見四聖諦苦、*習、滅、道。

[T1.480a04] 於是，郁伽長者已見法得法，覺白淨法，斷疑度惑，更無餘尊，不復從他，無有猶豫，已住果證，於世尊法得無所畏，即從*坐起，為佛作禮，白曰：「世尊！我今自歸於佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。世尊！我從今日，從世尊自盡形壽，梵行為首，受持五戒。」

[T1.480a11] 郁伽長者從世尊自盡形壽，梵行為首，受持五戒已，稽首佛足，繞三匝而去，還歸其家，即集諸婦人，集已，語曰：「汝等知不，我從世尊自盡形壽，梵行為首，受持五戒，汝等欲得住於此者，便可住此，行施作福，若不欲住者，各自還歸，若汝欲得嫁者，我當嫁汝。」

[T1.480a17] 於是，最大夫人白郁伽長者：「若尊從佛自盡形壽，梵行為首，受持五戒者，便可以我與彼某甲。」

[T1.480a19] 郁伽長者即為呼彼人，以左手執大夫人臂，右手執金澡罐[4]，語彼人曰：「我今以大夫人與汝作婦。」

[T1.480a22] 彼人聞已，便大恐怖，身毛皆豎，白郁伽長者：「長者，欲殺我耶？欲[5]殺我耶？」

[T1.480a23] 長者答曰：「不殺汝，然我從佛自盡形壽，梵行為首，受持五戒。是故我以最大夫人與汝作婦耳，郁伽長者已與大夫人，當與、與時都無悔心。」

[T1.480a27] 是時，世尊無量百千大眾圍繞，於中咨嗟稱歎郁伽長者，郁伽長者有八未曾有法。」

[T1.480a29] 於是，有一比丘過夜平旦，著衣持鉢，往詣郁伽長者家，郁伽長者遙見比丘來，即從*坐起，偏袒著衣，叉手向比丘白曰：「尊者善來，尊者久不來此，願坐此床，彼時，比丘即坐其床，郁伽長者禮比丘足，却坐一面。」

---

[1] 勝＝昇【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 習＝集【元】【明】＊
[3] 坐＝座【元】【明】＊
[4] 罐＝灌【宋】＊
[5] （長者）＋欲【宋】【元】【明】

[T1.480b05] 比丘告曰：「長者，汝有善利，有大功德。所以者何？謂世尊為汝無量百千大眾圍繞，於中咨嗟稱歎，郁伽長者有八未曾有法，長者，汝有何法。」

[T1.480b08] 郁伽長者答比丘曰：「尊者，世尊初不說異，然我不知世尊為何因說，但尊者聽，謂我有法，一時，世尊遊鞞舍離，住大林中，尊者，我於爾時唯婦女侍從，我最在前出鞞舍離，於鞞舍離大林中間唯作女妓，娛樂如王，尊者，我於爾時飲酒大醉，捨諸婦女，至大林中，尊者，我時大醉，遙見世尊在林樹間，端正姝好，猶星中月，光耀暐曄，晃若金山，相好具足，威神巍巍，諸根寂定，無有蔽礙，成就調御，息心靜默，我見佛已，即時醉醒，尊者，我有是法。」

[T1.480b18] 比丘歎曰：「長者。若有是法，甚奇，甚特。」

[T1.480b19] 「尊者，我不但有是法。復次，尊者，我醉醒已，便往詣佛，稽首禮足，却坐一面，世尊為我說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為我說法，勸發渴仰，成就歡喜已，如諸佛法先說端正法，聞者歡悅，謂說施、說戒、說生天法，毀呰欲為災患，生死為穢，稱歎無欲為妙，道品白淨，世尊為我說如是法已，佛知我有歡喜心、具足心、柔軟心、堪耐心、*勝上心、一向心、無疑心、無蓋心，有能、有力堪受正法，謂如諸佛說正法要，世尊即為我說苦、習、滅、道，我爾時即於*坐中見四聖諦苦、*習、滅、道，猶如白素，易染為色，尊者，我亦如是，即於*坐中見四聖諦苦、*習、滅、道，尊者，我有是法。」

[T1.480c03] 比丘歎曰：「長者。若有是法，甚奇，甚特。」

[T1.480c04] 「尊者，我不但有是法。復次，尊者，我見法得法，覺白淨法，斷疑度惑，更無餘尊，不復從他，無有猶豫，已住果證，於世尊法得無所畏，尊者，我爾時即從*坐起，稽首佛足。世尊！我今自歸於佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今[目>日]始，終身自歸，乃至命盡。世尊！我從今日，從世尊自盡形壽，梵行為首，受持五戒，尊者，若我從世尊自盡形壽，梵行為首，受持五戒，未曾知己犯戒，尊者，我有是法。」

[T1.480c13] 比丘歎曰：「長者。若有是法，甚奇，甚特。」

[T1.480c14] 「尊者，我不但有是法。復次，尊者，我爾時從世尊自盡形壽，梵行為首，受持五戒已，稽首佛足，繞三匝而去，還歸其家，集諸婦女，集已，語曰：『汝等知不，我從世尊自盡形壽，梵行為首，受持五戒，汝等欲得住於此者，便可住此，行施作福，若不欲住者，各自還歸，若汝欲得嫁者，我當嫁汝。』於是，最大夫人來白我曰：『若尊從佛自盡形壽，梵行為首，受持五戒

者，便可以我與彼某甲。』尊者，我爾時即為呼彼人，以左手執大夫人臂，右手執金澡*罐，語彼人曰：『我今以大夫人與汝作婦。』彼人聞已，便大恐怖，身毛皆竪，而白我曰：『長者欲殺我耶？長者欲殺我耶？』尊者，我語彼曰：『不欲殺汝，然我從佛自盡形壽，梵行為首，受持五戒。是故我以最大夫人與汝作婦耳。』尊者，我已與大夫人，當與、與時都無悔心，尊者，我有是法。」

[T1.481a02] 比丘歎曰：「長者。若有是法，甚奇，甚特。」

[T1.481a03] 「尊者，我不但有是法。復次，尊者，我詣眾園時，若初見一比丘，便為作禮，若彼比丘經行者，我亦隨經行，若彼坐者，我亦於一面坐，坐已聽法，彼尊為我說法，我亦為彼尊說法，彼尊問我事，我亦問彼尊事，彼尊答我事，我亦答彼尊事，尊者，我未曾憶輕慢上中下長老上尊比丘，尊者，我有是法。」

[T1.481a10] 比丘歎曰：「長者。若有是法，甚奇，甚特。」

[T1.481a10] 「尊者，我不但有是法。復次，尊者，我在比丘眾行布施時，天住虛空而告我曰：「長者，此是阿羅訶，此是向阿羅訶，此是阿那含，此是向阿那含，此是斯陀含，此是向斯陀含，此是須陀洹，此是向須陀洹，此精進，此不精進，尊者，我施比丘眾時，未曾憶有分別意，尊者，我有是法。」

[T1.481a17] 比丘歎曰：「長者。若有是法，甚奇，甚特。」

[T1.481a18] 「尊者，我不但有是法。復次，尊者，我在比丘眾行布施時，有天住虛空中而告我曰：「長者，有如來、無所著、等正覺、世尊善說法，如來聖眾善趣向，尊者，我不從彼天信，不從彼欲樂，不從彼所聞，但我自有淨智，知有如來、無所著、等正覺、世尊善說法，如來聖眾善趣向，尊者，我有是法。」

[T1.481a24] 比丘歎曰：「長者。若有是法，甚奇，甚特。」

[T1.481a25] 「尊者，我不但有是法。復次，尊者，謂佛所說五下分結，貪欲、瞋恚、身見、戒取、疑、我見此五，無一不盡令縛我還此世間，入於胎中，尊者，我有是法。」

[T1.481a28] 比丘歎曰：「長者。若有是法，甚奇，甚特。」

[T1.481a29] 郁伽長者白比丘曰：「願尊在此食。」

[T1.481b01] 比丘為郁伽長者故，默然受請，郁伽長者知彼比丘默然受已，即從坐起，自行澡水，以極淨美種種豐饒食噉含消，自手斟酌，令得飽滿，食訖收器，行澡水竟，持一小床，別坐聽法，比丘為長者說法，勸發渴仰，成就歡

喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，從坐起去，往詣佛所，稽首禮足，却坐一面，謂與郁伽長者本所共論，盡向佛廣[1]說。

[T1.481b09] 於是，世尊告諸比丘[2]：「我以是故，咨嗟稱歎郁伽長者有八未曾有法。」

[T1.481b11] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.481b12]郁伽長者經第七竟[3] (二千三百二十九字)[4]，

（三九）中阿含[5]未曾有法品

(Ma.39)郁伽長者經[6] 第八 (初一日誦)[7]

[T1.481b15] 我聞如是。

[T1.481b15] 一時，佛般涅槃後不久，眾多上尊長老比丘遊鞞舍離，在獼猴水邊高樓臺觀。

[T1.481b17] 爾時，郁伽長者施設如是大施，謂與遠來客食，與行人、病人、瞻病者食，常設粥食，常設飯食，供給守僧園人，常請二十眾食，五日都請比丘眾食，施設如是大施，復於海中有一舶船，載滿貨還，價直百千，一時沒失，眾多上尊長老比丘聞郁伽長者施設如是大施，謂與遠來客食，與行人、病人、瞻病者食，常設粥食，常設飯食，供給守僧園人，常請二十眾食，五日都請比丘眾食，聞已共作是議：「諸賢！誰能往語郁伽長者，長者可止，勿復布施，長者後自當知，彼作是念：尊者阿難是佛侍者，受世尊教，佛所稱譽及諸智梵行人，尊者阿難欲[8]往語郁伽長者，長者可止，勿復布施，長者後自當知。諸賢！我等共往詣尊者阿難所，說如此事。」

[T1.481c03] 於是，眾多上尊長老比丘往詣尊者阿難所，共相問訊，却坐一面，語曰：「賢者阿難知不，郁伽長者施設如是大施，謂與遠來客食，與行人、病人、瞻病者食，常設粥食，常設飯食，供給守僧園人，常請二十眾食，五日都

---

[1]〔廣〕－【宋】【元】【明】
[2] 丘＋（甲）【宋】【元】【明】
[3]〔郁伽…竟〕八字－【明】
[4]〔二千…字〕八字－【宋】【元】【明】
[5]〔中阿含〕－【宋】【元】【明】
[6] 經＋（下）【明】
[7]〔初一日誦〕－【明】
[8] 欲＝能【宋】【元】【明】

請比丘眾食，施設如是大施，復於海中有一舶船，載滿貨還，價直百千，一時沒失，我等共作是議，誰能往語郁伽長者而作是語：『長者可止，勿復布施，長者後自當知。』復作是念：尊者阿難是佛侍者，受世尊教，佛所稱譽及諸智梵行人，尊者阿難能往語郁伽長者，長者可止，勿復布施，長者後自當知，賢者阿難可往詣郁伽長者而語彼曰：『長者可止，勿復布施，長者後自當知』。」

[T1.481c16] 尊者阿難白諸長老上尊比丘曰：「諸尊，郁伽長者其性嚴整，若我自為語者，儻能致大不喜，諸尊，我為誰語。」

[T1.481c19] 諸長老上尊比丘答曰：「賢者，稱比丘眾語，稱比丘眾語已，彼無所言，尊者阿難便默然受諸長老上尊比丘命。」於是，諸長老上尊比丘知尊者阿難默然許已，即從坐[1]起，繞尊者阿難！各自還去。

[T1.481c23] 尊者阿難過夜平旦，著衣持鉢，往詣郁伽長者家，郁伽長者遙見尊者阿難來，即從*坐起，偏袒著衣，叉手向尊者阿難！白曰：「善來尊者阿難！尊者阿難久不來此，願坐此床。」尊者阿難即坐其床，郁伽長者禮尊者阿難足，却坐一面。

[T1.481c29] 尊者阿難告曰：「長者知不？長者施設如是大施，與遠來客食，與行人、病人、瞻病者食，常設粥食，常設飯食，供給守僧園人，常請二十眾食，五日都請比丘眾食，施設如是大施，復於海中有一舶船，載滿貨還，價直百千，一時沒失，長者可止，勿復布施，長者後自當知。」

[T1.482a06] 長者白曰：「尊者阿難！為是誰語？」

[T1.482a07] 尊者阿難答曰：「長者，我宣比丘眾語。」

[T1.482a07] 長者白曰：「若尊者阿難宣比丘眾語者，無所復論，若自語者，或能致大不喜，尊者阿難！若我如是捨與，如是惠施，一切財物皆悉竭盡，但使我願滿，如轉輪王願。」

[T1.482a11] 尊者阿難問曰：「長者云何轉輪王願？」

[T1.482a12] 長者答曰：「尊者阿難！村中貧人作是念：『令我於村中最富！』即是彼願。村中富人作是念：『令我於邑中最富！』即是彼願，邑中富人作是念：『令我於城中最富！』即是彼願。城中富人作是念：『令我於城中作宗正！』即是彼願。中宗正作是念：『令我作國相！』即是彼願。國相作是念：『令我作小王！』即是彼願。小王作是念：『令我作轉輪王！』即是彼願，轉輪王作是念：『令我如族姓子所為，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，謂

[1] 坐＝座【元】【明】＊

無上梵行訖，令我於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已[辨>辦]，不更受有，知如真。』即是彼願。尊者阿難！若我如是捨與，如是惠施，一切財物皆悉竭盡，但使我願滿，如轉輪王願，尊者阿難！我有是法。」

[T1.482a27] 尊者阿難歎曰：「長者。若有是法，甚奇，甚持[1]。」

[T1.482a28]「復次，尊者阿難！我不但有是法，尊者阿難！我詣僧園時，若初見一比丘，便為作禮，若彼比丘經行者，我亦隨經行，若彼坐者，我亦於一面坐，坐已聽法，彼尊為我說法，我亦為彼尊說法，彼尊[間>問]我事，我亦問彼尊事，彼尊答我事，我亦答彼尊事，尊者阿難！我未曾憶輕慢上中下長老上尊比丘，尊者阿難！我有是法。」

[T1.482b06] 尊者阿難歎曰：「長者。若有是法，甚奇，甚*持。」

[T1.482b07]「復次，尊者阿難！我不但有是法，尊者阿難！我在比丘眾行布施時，天住虛空而告我曰：「長者，此是阿羅訶，此是向阿羅訶，此是阿那含，此是向阿那含，此是斯陀含，此是向斯陀含，此是須陀洹，此是向須陀洹，此是[2]精進，此不精進，尊者阿難！我施比丘眾時未曾憶有分別意，尊者阿難！我有是法。」

[T1.482b14] 尊者阿難歎曰：「長者。若有是法，甚希，甚特。」

[T1.482b15]「復次，尊者阿難！我不但有是法，尊者阿難！我在比丘眾行布施時，天住虛空而告我曰：「長者，有如來、無所著、等正覺、世尊善說法，如來聖眾善趣向，我不從彼天信，不從彼欲樂，不從彼所聞，但我自有淨智，知有如來、無所著、等正覺、世尊善說法，如來聖眾善趣向，尊者阿難！我有是法。」

[T1.482b21] 尊者阿難歎曰：「長者。若有是法，甚奇，甚特。」

[T1.482b22]「復次，尊者阿難！我不但有是法，尊者阿難！我離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊，尊者阿難！我有是法。」

[T1.482b25] 尊者阿難歎曰：「長者。若有是法，甚奇，甚特。」

[T1.482b26] 於是，郁伽長者白曰：「尊者阿難！願在此食。」

---

[1] 持＝特【宋】＊【元】＊【明】＊
[2]〔是〕－【宋】【元】【明】

[T1.482b27] 尊者阿難為郁伽長者故，默然受請，郁伽長者知尊者阿難默然受已，即從坐起，自行澡水，以極淨美種種豐饒食噉含消，自手斟酌，令得飽滿，食訖收器，行澡水已，取一小床，別坐聽法，尊者阿難為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，從坐起去。」

[T1.482c04] 尊者阿難所說如是，郁伽長者聞尊者阿難所說，歡喜奉行。

[T1.482c06]郁伽長者經第八竟[1] (一千七百四十八字)[2]，

（四○）中阿含[3]未曾有法品

(Ma.40)手長者[4]經[5] 第九(初一日誦)[6]

[T1.482c09] 我聞如是。

[T1.482c09] 一時，佛遊阿[7]邏鞞[8]伽邏[9]，在恕林中。

[T1.482c10] 爾時，手長者[10]與五百大長者俱，往詣佛所，稽首禮足，却坐一面，五百長者亦禮佛足，却坐一面。

[T1.482c12] 世尊告曰：「手長者，汝今有此極大眾，長者，汝以何法攝此大眾？」

[T1.482c13] 彼時手長者白曰：「世尊！謂有四事攝[11]，如世尊說，一者惠施，二者愛言，三者以利，四者等利。世尊！我以此攝於大眾，或以惠施，或以愛言，或以利，或以等利。」

[T1.482c17] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！手長者，汝能以如法攝於大眾，又以如門攝於大眾，以如因緣攝於大眾，手長者，若過去有沙門、梵志以如法攝大眾者，彼一切即此四事攝於中或有餘，手長者。若有未來沙門、梵志以如法攝大

---

[1]〔郁伽…竟〕八字－【明】
[2]〔一千…字〕八字－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【宋】【元】【明】
[4] ～《增支部》A.8.24. Hatthaka.(手長者)
[5] 經＋（上）【明】
[6]〔初一日誦〕－【元】【明】
[7] [>阿邏鞞]～Ālavī.
[8] 邏＝羅【宋】＊【元】＊【明】＊
[9] [>伽邏]～Aggāḷava.
[10] 手長者～Hatthaka.
[11] 四事攝～Cattāri saṃgahavatthūni.

眾者，彼一切即此四事攝，於中或有餘，手長者。若有現在沙門、梵志以如法攝大眾者，彼一切即此四事攝於中或有餘。」

[T1.482c25] 於是，世尊為手長者說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，默然而住。於是，手長者佛為說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即從坐起，為佛作禮，繞三匝而去，還歸其家，到外門已。若有人者，盡為說法，勸發渴仰，成就歡喜，中門、內門及入在內。若有人者盡為說法，勸發渴仰，成就歡喜已，昇堂敷床，結跏趺坐，心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。

[T1.483a09] 爾時，三十三天集在法堂，咨嗟稱歎手長者：「諸賢！手長者有大善利，有大功德。所以者何？彼手長者，佛為說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即從坐[1]起，為佛作禮，繞三匝[2]而去，還歸其家，到外門已。若有人者盡為說法，勸發渴仰，成就歡喜，中門、內門及入在內。若有人者盡為說法，勸發渴仰，成就歡喜已，昇堂敷床，結加[3]趺坐，心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。」

[T1.483a21] 於是，毘沙門大天王色像巍巍，光耀[4]暐曄，夜將向旦，往詣手長者家，告曰：「長者，汝有善利，有大功德。所以者何？今三十三天為長者集在法堂，咨嗟稱歎，手長者有大善利，有大功德。所以者何？諸賢，彼手長者，佛為說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即從*坐起，為佛作禮，繞三匝而去，還歸其家，到外門已。若有人者盡為說法，勸發渴仰，成就歡喜，中門、內門及入在內。若有人者盡為說法，勸發渴仰，成就歡喜已，昇堂敷床，結加趺坐，心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。」

[T1.483b07] 是時，手長者默然不語，不觀、不視毘沙門大天王。所以者何？以尊重定，守護定故。

---

[1] 坐＝座【【元】＊【明】＊
[2] 繞三匝＝三匝繞【元】【明】宋】＊
[3] 加＝跏【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 耀＝曜【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.483b09] 爾時，世尊於無量百千眾中，咨嗟稱歎手長者：「手長者有七未曾有法，彼手長者，我為說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即從坐起，為我作禮，繞三匝而去，還歸其家，到外門已。若有人者盡為說法，勸發渴仰，成就歡喜，中門、內門及入在內。若有人者盡為說法，勸發渴仰，成就歡喜已，昇堂敷床，結加趺坐，心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。」

[T1.483b21] 「今三十三天為彼集在法堂，咨嗟稱歎，手長者有大善利，有大功德。所以者何？諸賢，彼手長者，佛為說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即從*坐起，為佛作禮，繞三匝而去，還歸其家，到外門已。若有人者盡為說法，勸發渴仰，成就歡喜，中門、內門及入在內。若有人者盡為說法，勸發渴仰，成就歡喜已，昇堂敷床，結*加趺坐，心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。」

[T1.483c04] 「今毘沙門大天王色像巍巍，光曜暐曄，夜將向旦，詣手長者家，告曰：『長者，汝有善利，有大功德。』所以者何？今三十三天為長者集在法堂，咨嗟稱歎，手長者有大善利，有大功德。所以者何？諸賢，彼手長者，佛為說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即從*坐起，為佛作禮，繞三匝而去，還歸其家，到外門已。若有人者盡為說法，勸發渴仰，成就歡喜，中門、內門及入在內。若有人者盡為說法，勸發渴仰，成就歡喜已，昇堂敷床，結加趺坐，心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。」

[T1.483c19] 於是，有一比丘過夜平旦，著衣持鉢，往詣手長者家，手長者遙見比丘來，即從坐起，叉手向比丘白曰：「尊者善來，尊者久不來此，願坐此床，彼時比丘即坐其床，手長者禮比丘足，却坐一面。」

[T1.483c24] 比丘告曰：「長者，汝有善利，有大功德。所以者何？世尊為汝於無量百千眾中，咨嗟稱歎手長者，手長者有七未曾有法，手長者我為說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即從坐起，為我作禮，繞三匝而去，還歸其家，到外門已。若有人者盡為說法，勸發渴仰，成就歡喜，中門、內門及入在內。若有人者盡為說法，勸發渴仰，成就歡喜已，昇堂敷床，結加趺坐，心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無

恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。」

[T1.484a08] 「今三十三天為彼集在法堂，咨嗟稱歎，手長者，有大善利，有大功德。所以者何？諸賢，彼手長者，佛為說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即從*坐起，為佛作禮，繞三匝而去，還歸其家，到外門已。若有人者盡為說法，勸發渴仰，成就歡喜，中門、內門及入在內。若有人者盡為說法，勸發渴仰，成就歡喜已，昇堂敷床，結*加趺坐，心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結無怨無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。」

[T1.484a20] 於是，毘沙門大天王色像巍巍，光*耀暐曄，夜將向旦，詣手長者家，告曰：「長者，汝有善利，有大功德。所以者何？今三十三天為手長者集在法堂，咨嗟稱歎，手長者，有大善利，有大功德。所以者何？諸賢，彼手長者，佛為說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即從*坐起，為佛作禮，繞三匝而去，還歸其家，到外門已。若有人者盡為說法，勸發渴仰，成就歡喜，中門、內門及入在內。若有人者盡為說法，勸發渴仰，成就歡喜已，昇堂敷床，結*加趺坐，心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，是時，手長者默然不語，亦不觀視毘沙門大天王。所以者何？以尊重定、守護定故。」

[T1.484b08] 於是，手長者白比丘曰：「尊者，是時無白衣耶？」

[T1.484b09] 比丘答曰：「無白衣也。又問曰。若有白衣者，當有何咎。」

[T1.484b11] 長者答曰：「尊者，或有不信世尊語者，彼當長夜不義不忍，生極惡處，受苦無量。若有信佛語者，彼因此事故，便能尊重恭敬禮事我，尊者，我亦不欲令爾也。尊者，願在此食。」

[T1.484b15] 彼比丘為手長者故，默然受請，手長者知彼比丘默然受已，即從*坐起，自行澡水，以極淨美種種豐饒食噉含消，自手斟酌，令得飽滿，食訖收器，行澡水已，取一小床，別坐聽法，彼比丘為手長者說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，從*坐起去，往詣佛所，稽首禮足，却坐一面，謂與手長者本所共論盡向佛說。

[T1.484b23] 於是，世尊告諸比丘：「我以是故，稱說手長者有七未曾有法，復次汝等當知，手長者復有第八未曾有法，手長者無求無欲。」

[T1.484b26] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.484b27]手長者[1]經第九竟 (二千六百五十八字)[2]，

（四一）中阿含[3]未曾有法品

(Ma.41)手長者[4]經[5] 第十 (初一日誦)[6]

[T1.484c01] 我聞如是。

[T1.484c01] 一時，佛遊阿邏[7]鞞伽*邏，在恕林中。

[T1.484c02] 爾時，世尊告諸比丘：「手長者有八未曾有法。云何為八？手長者有少欲、有信、有慚、有愧、有精[8]進、有念、有定、有慧，手長者有少欲者，此何因說，手長者自少欲，不欲令他知我少欲，有信、有慚、有愧、有[9]精進、有念、有定、有慧，手長者自有慧，不欲令他知我有慧，手長者有少欲者，因此故說，手長者有信者，此何因說，手長者得信堅固，深著如來，信根已立，終不隨外沙門、梵志、若天、魔、梵及餘世間，手長者有信者，因此故說。」

[T1.484c12] 「手長者有慚者，此何因說，手長者常行慚耻，可慚知慚，惡不善法，穢污煩惱受諸惡報，造生死本，手長者有慚者，因此故說，手長者有愧者，此何因說，手長者常行愧，可羞愧知愧，惡不善法，穢污煩惱受諸惡報，造生死本，手長者有愧者，因此故說，手長者有精進者，此何因說，手長者常行精進，除惡不善，修諸善法，恒自起意，專一堅固，為諸善本，不捨方便，手長者有精進者，因此故說。」

[T1.484c21] 「手長者有念者，此何因說，手長者觀內身如身，觀內覺、心、法如法，手長者有念者，因此故說，手長者有定者，此何因說，手長者離欲、離惡不善之法至得第四禪成就遊，手長者有定者，因此故說，手長者有慧者，此何因說，手長者修行智慧，觀興衰法，得如此智，聖慧明達，分別曉了，以正盡苦，手長者有慧者，因此故說，手長者有八未曾有法者，因此故說。」

---

[1]〔手長…竟〕七字－【明】
[2]〔二千…字〕八字－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【宋】【元】【明】
[4] ～《增支部》A.8.23. Hatthaka・(手長者)
[5] 經＋（下）【明】
[6]〔初一日誦〕－【明】
[7] 邏＝羅【宋】＊【元】＊【明】＊
[8]〔精〕－【宋】【元】【明】
[9]〔有〕－【宋】【元】【明】

[T1.484c29] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.485a02]手長者經第十竟[1] (四百七十三字)[2]，

中阿含[3]經卷第九 (一萬二千八十八字)[4]

中阿含[5]未曾有法品第四竟 (一萬九百四十六字)[6] (初一日誦)[7]，

中阿含經

卷第十 (Ma.42～57)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

習相應品第五(有十六經)(初一日誦)

何義、不思、念、慚二[8]　　戒敬各二、及本際
二食、盡智、說涅槃　　彌醯、即為比丘說

（四二）中阿含[9]習相應品

(Ma.42)何義經[10] 第一

[T1.485a14] 我聞如是。

[T1.485a14] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

---

[1]〔手長…竟〕七字－【明】
[2]〔四百…字〕六字－【宋】【元】【明】
[3] 卷末題有品末題次行【宋】【元】【明】
[4]〔一萬…字〕八字－【明】
[5]〔中阿含〕－【明】
[6]〔一萬…字〕八字－【宋】【元】【明】
[7]〔初一日誦〕－【明】
[8] 慚二＝二慚【宋】【元】【明】
[9]〔中阿含〕－【明】
[10]　　～《增支部》A.10.1. Kimatthiya．(何義)

[T1.485a15] 爾時，尊者阿難則於晡時從燕[1]坐起，往詣佛所，稽首禮足，却住一面，白曰：「世尊！持戒為何義。」

[T1.485a17] 世尊答曰：「阿難！持戒者，令不悔義，阿難！若有持戒者，便得不悔。」

[T1.485a18] 復問：「世尊！不悔為何義。」

[T1.485a19] 世尊答曰：「阿難！不悔者，令歡悅義，阿難！若有不悔者，便得歡悅。」

[T1.485a20] 復問：「世尊！歡悅為何義。」

[T1.485a21] 世尊答曰：「阿難！歡悅者，令喜義，阿難！若有歡悅者，便得喜，

[T1.485a22] 復問：「世尊！喜為何義。」

[T1.485a23] 世尊答曰：「阿難！喜者，令止義，阿難！若有喜者，便得止身。」

[T1.485a24] 復問。：「世尊！止為何義。」

[T1.485a25] 世尊答曰：「阿難！止者，令樂義，阿難！若有止者，便得覺樂。」

[T1.485a26] 復問：「世尊！樂為何義。」

[T1.485a26] 世尊答曰：「阿難！樂者，令定義，阿難！若有樂者，便得定心。」

[T1.485a28] 復問：「世尊！定為何義。」

[T1.485a28] 世尊答曰：「阿難！定者，令見如實、知如真[2]義，阿難！若有定者，便得見如實、知如真。」

[T1.485b01] 復問：「世尊！見如實、知如真為何義。」

[T1.485b02] 世尊答曰：「阿難！見如實、知如真者，令厭義，阿難！若有見如實、知如真者，便得厭。」

[T1.485b04] 復問：「世尊！厭為何義。」

---

[1] 燕＝宴【宋】【元】【明】
[2] 見如實知如真～Yathābhūtañāṇadassana.

[T1.485b04] 世尊答曰：「阿難！厭者，令無欲義，阿難！若有厭者，便得無欲。」

[T1.485b06] 復問：「世尊！無欲為何義。」

[T1.485b06] 世尊答曰：「阿難！無欲者，令解脫義，阿難！若有無欲者，便得解脫一切婬、怒、癡，是為。阿難！因持戒便得不悔，因不悔便得歡悅，因歡悅便得喜，因喜便得止，因止便得樂，因樂便得定。阿難！多聞聖弟子因定便得見如實、知如真，因見如實、知如真，便得厭，因厭便得無欲，因無欲便得解脫，因解脫便知解脫，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。阿難！是為法法相益，法法相因，如是此戒趣至第一，謂度此岸，得至彼岸。」

[T1.485b16] 佛說如是，尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.485b18] 何義經第一竟[1](五百二十九字)[2]，

（四三） 中阿含[4]習相應品

(Ma.43)不思經[5]第二(初一日誦)[6]

[T1.485b21] 我聞如是。

[T1.485b21] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.485b22] 爾時，世尊告曰：「阿難！持戒者不應思，令我不悔。阿難！但法自然，持戒者便得不悔。阿難！有不悔者不應思，令我歡悅。阿難！但法自然，有不悔者便得歡悅。阿難！有歡悅者不應思，令我喜。阿難！但法自然，有歡悅者便得喜。阿難！有喜者不應思，令我止。阿難！但法自然，有喜者便得止身。」

[T1.485b28]「阿難！有止者不應思，令我樂。阿難！但法自然，有止者便得覺樂。阿難！有樂者不應思，令我定。阿難！但法自然，有樂者便得定心。阿難！有定者不應思，令我見如實、知如真。阿難！但法自然，有定者便得見如實、知如真。阿難！有見如實、知如真者不應思，令我厭。阿難！但法自然，

---

[1]〔何義…竟〕六字－【宋】【元】【明】
[2]〔五百…字〕六字－【宋】【元】【明】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～《增支部》A.10.2. Cetanā(思)
[6]〔初一日誦〕－【明】

有見如實、知如真者便得厭。阿難！有厭者不應思，令我無欲。阿難！但法自然，有厭者便得無欲。阿難！有無欲者不應思，令我解脫。阿難！但法自然，有無欲者便得解脫一切婬、怒、癡。」

[T1.485c10]「阿難！是為因持戒便得不悔，因不悔便得歡悅，因歡悅便得喜，因喜便得止，因止便得樂，因樂便得定心。阿難！多聞聖弟子有定心者便見如實、知如真，因見如實、知如真便得厭，因厭便得無欲，因無欲便得解脫，因解脫便知解脫，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。阿難！是為法法相益，法法相因，如是此戒趣至第一，謂度此岸，得至彼岸。」

[T1.485c19] 佛說如是，尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.485c21] 不思經第二竟[1](四百五十字)[2]，

（四四）中阿含[3]習相應品

(Ma.44)念經[4] 第三(初一日誦)[5]

[T1.485c23] 我聞如是。

[T1.485c23] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.485c24] 爾時，世尊告諸比丘：「若比丘多忘無正智，便害正念正智，若無正念正智，便害護諸根、護戒、不悔、歡悅、喜、止、樂、定、見如實、知如真、厭、無欲、解脫，若無解脫，便害涅槃，若比丘不多忘有正智，便習正念正智。若有正念正智，便習護諸根、護戒、不悔、歡悅、喜、止、樂、定、見如實、知如真、厭、無欲、解脫。若有解脫，便習涅槃。」

[T1.486a02] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.486a04] 念經第三竟[6](一百五十一字)[7]，

---

[1]〔不思…竟〕六字－【明】
[2]〔四百…字〕五字－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] cf.《增支部》A.8.81. Sati(念)
[5]〔初一日誦〕－【明】
[6]〔念經…竟〕五字－【明】
[7]〔一百…字〕六字－【宋】【元】【明】

（四五）中阿含[1]習相應品[2]

(Ma.45)慚愧經[3] 第四(初一日誦)[4]

[T1.486a07] 我聞如是。

[T1.486a07] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.486a08] 爾時，世尊告諸比丘：「若比丘無慚無愧，便害愛恭敬，若無愛恭敬，便害其信，若無其信，便害正思惟，若無正思惟，便害正念正智，若無正念正智，便害護諸根、護戒、不悔、歡悅、喜、止、樂、定、見如實、知如真、厭、無欲、解脫，若無解脫，便害涅槃，若比丘有慚有愧，便習愛恭敬。若有愛恭敬，便習其信。若有其信，便習正思惟。若有正思惟，便習正念正智。若有正念正智，便習護諸根、護戒、不悔、歡悅、喜、止、樂、定、見如實、知如真、厭、無欲、解脫。若有解脫，便習涅槃。」

[T1.486a18] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.486a20] 慚愧經第四竟[5](二百四字)[6]，

（四六）中阿含[7]習相應品

(Ma.46)[8] 慚愧經[9] 第五(初一日誦)[10]

[T1.486a23] 我聞如是。

[T1.486a23] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

---

[1]〔中阿含〕－【明】
[2] cf.《增支部》A.8.81. Sati(念)
[3] 經＋（上）【明】。～《增支部》A.7.61. Hiri(慚愧)，參閱《增支部》A.8.81. Sati(念)
[4]〔初一日誦〕－【明】
[5]〔慚愧…竟〕六字－【明】
[6]〔二百四字〕－【宋】【元】【明】
[7]〔中阿含〕－【明】
[8] ～《增支部》A.7.61. Hiri(慚愧)，參閱《增支部》A.8.81. Sati(念)；A.10.3. Sīla (戒)
[9] 經＋（下）【明】。
[10]〔初一日誦〕－【明】

[T1.486a24] 爾時，尊者舍梨子告諸比丘：「諸賢！若比丘無慚無愧，便害愛恭敬，若無愛恭敬，便害其信，若無其信，便害正思惟，若無正思惟，便害正念正智，若無正念正智，便害護諸根、護戒、不悔、歡悅、喜、止、樂、定、見如實、知如真、厭、無欲、解脫，若無解脫，便害涅槃。諸賢！猶如有樹，若害外皮，則內皮不成，內皮不成，則莖、幹、心、節、枝、葉、華、實皆不得成。諸賢！當知比丘亦復如是，若無慚無愧，便害愛恭敬，若無愛恭敬，便害其信，若無其信，便害正思惟，若無正思惟，便害正念正智，若無正念正智，便害護諸根、護戒、不悔、歡悅、喜、止、樂、定、見如實、知如真、厭、無欲、解脫，若無解脫，便害涅槃。」

[T1.486b08] 「諸賢！比丘有慚有愧，便習愛恭敬。若有愛恭敬，便習其信。若有其信，便習正思惟。若有正思惟，便習正念正智。若有正念正智，便習護諸根、護戒、不悔、歡悅、喜、止、樂、定、見如實、知如真、厭、無欲、解脫。若有解脫，便習涅槃。諸賢！猶如有樹，不害外皮，則內皮得成，內皮得成，則莖、幹、心、節、枝、葉、華、實皆得成就。諸賢！當知比丘亦復如是。若有慚有愧，便習愛恭敬。若有愛恭敬，便習其信。若有其信，便習正思惟。若有正思惟，便習正念正智。若有正念正智，便習護諸根、護戒、不悔、歡悅、喜、止、樂、定、見如實、知如真、厭、無欲、解脫。若有解脫，便習涅槃。」

[T1.486b20] 尊者舍梨子所說如是，彼諸比丘聞尊者舍梨子所說，歡喜奉行。

[T1.486b22] 慚愧經第五竟[1]四百六十二字)[2]，

（四七）中阿含[3]習相應品[4]

(Ma.47)戒經[5] 第六(初一日誦)[6]

[T1.486b24] 我聞如是。

[T1.486b24] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

---

[1]〔慚愧…竟〕六字－【明】
[2]〔四百…字〕－【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] cf.《增支部》A.10.3. Sīla.(戒)
[5] 經＋（上）【明】
[6]〔初一日誦〕－【明】

[T1.486b25] 爾時，世尊告諸比丘：「若比丘犯戒，便害不悔、歡悅、喜、止、樂、定、見如實、知如真、厭、無欲、解脫，若無解脫，便害涅槃。若比丘持戒，便習不悔、歡悅、喜、止、樂、定、見、如實、知如真、厭、無欲、解脫。若有解脫，便習涅槃。」

[T1.486b29] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.486c02] 戒經第六竟[1](一百一十字)[2]，

（四八）中阿含[3]習相應品

(Ma.48)[4]戒經[5] 第七(初一日誦)[6]

[T1.486c04] 我聞如是。

[T1.486c04] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.486c05] 爾時，尊者舍梨子告諸比丘：「諸賢！若比丘犯戒，便害不悔、歡悅、喜、止、樂、定、見如實、知如真、厭、無欲、解脫，若無解脫，便害涅槃。諸賢！猶如有樹，若害根者，則莖、幹、心、節、枝、葉、華、實皆不得成。諸賢！當知比丘亦復如是。若有犯戒，便害不悔、歡悅、喜、止、樂、定、見如實、知如真、厭、無欲、解脫，若無解脫，便害涅槃。」

[T1.486c12] 「諸賢！若比丘持戒，便習不悔、歡悅、喜、止、樂、定、見如實、知如真、厭、無欲、解脫。若有解脫，便習涅槃。諸賢！猶如有樹，若不害根者，則莖、幹、心、節、枝、葉、華、實皆得成就。諸賢！當知比丘亦復如是。若有持戒，便習不悔、歡悅、喜、止、樂、定、見如實、知如真、厭、無欲、解脫。若有解脫，使習涅槃。」

[T1.486c18] 尊者舍梨子所說如是，彼諸比丘聞尊者舍梨子所說，歡喜奉行。

[T1.486c20] 戒經第七竟[7](三百九字)[1]，

---

[1]〔戒經…竟〕五字－【明】
[2]〔一百…字〕五字－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《增支部》A.10.4. Upanisā. (近習)；A.10.5. Ānanda.(阿難)、《雜阿含 495 經》(大正 2.129a)
[5] 經＋（下）【明】
[6]〔初一日誦〕－【明】
[7]〔戒經…竟〕五字－【明】

（四九）中阿含[2]習相應品[3]

(Ma49)恭敬經[4] 第八(初一日誦)[5]

[T1.486c23] 我聞如是。

[T1.486c23] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.486c24] 爾時，世尊告諸比丘：「比丘當行恭敬及善觀，敬重諸梵行人，若比丘不行恭敬、不善觀、不敬重諸梵行已，具威儀法者，必無是處，不具威儀法已，具學法者，必無是處，不具學法已，具戒身者，必無是處，不具戒身已，具定身者，必無是處，不具定身已，具慧身者，必無是處，不具慧身已，具解脫身者，必無是處，不具解脫身已，具解脫知見身者，必無是處，不具解脫知見身已，具涅槃者，必無是處。」

[T1.487a04] 若比丘行恭敬及善觀，敬重諸梵行已，具威儀法者，必有是處，具威儀法已，具學法者，必有是處，具學法已，具戒身者，必有是處，具戒身已，具定身者，必有是處，具定身已，具慧身者，必有是處，具慧身已，具解脫身者，必有是處，具解脫身已，具解脫知見身者，必有是處，具解脫知見身已，具涅槃者，必有是處。」

[T1.487a12] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.487a14] 恭敬經第八竟[6](三百字)[7]，

（五○）中阿含[8]習相應品[9]

---

[1]〔三百九字〕－【宋】【元】【明】
[2]〔中阿含〕－【明】
[3] ～《增支部》A.5.21-22. Agārava(恭敬)
[4] 經＋（上）【明】
[5]〔初一日誦〕－【明】
[6]〔恭敬…竟〕六字－【明】
[7]〔三百字〕－【宋】【元】【明】
[8]〔中阿含〕－【明】
[9] ～《增支部》A.5.21-22. Agārava(恭敬)

(Ma.50)恭敬經 第九(初一日誦)[1]

[T1.487a17] 我聞如是。

[T1.487a17] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.487a18] 爾時，世尊告諸比丘：「比丘當行恭敬及善觀，敬重諸梵行人，若比丘不行恭敬、不善觀、不敬重諸梵行已，具威儀法者，必無是處，不具威儀法已，具學法者，必無是處，不具學法已，護諸根、護戒、不悔、歡悅、喜、止、樂、定、見如實、知如真、厭、無欲、解脫，不具解脫已，具涅槃者，必無是處 。」

[T1.487a24] 「若比丘行恭敬及善觀，敬重諸梵行已，具威儀法者，必有是處，具威儀法已，具學法者，必有是處，具學法已，具護諸根、護戒、不悔、歡悅、喜、止、樂、定、見如實、知如真、厭、無欲、解脫，具解脫已，具涅槃者，必有是處 。」

[T1.487a29] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.487b02] 恭敬經第九竟[2](二百一十七字)[3]，

（五一）中阿含[4]習相應品

(Ma.51)[5]本際經 第十(初一日誦)[6]

[T1.487b05] 我聞如是。

[T1.487b05] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.487b06] 爾時，世尊告諸比丘：「有愛者[7]，其本際不可知，本無有愛，然今生有愛，便可得知，所因有愛[1]，有愛者，則有習，非無習，何謂有愛習？答

---

[1]〔初一日誦〕－【明】
[2]〔恭敬…竟〕六字－【明】
[3]〔二百…字〕六字－【宋】【元】【明】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～《增支部》A.10.61-62. Āhāra(食)、No.36.《佛說本相猗致經》(大正 1.819c)、No.37.《佛說緣本致經》(大正 1.820b)
[6]〔初一日誦〕－【明】
[7] 有愛者…生有愛～Purimā koṭina paññāyati bhavataṇhāya’ito pubbe bhavatanhā nāhosi, atha pacchā sambhavī’ti, evañ c’etaṃ vuccati.

曰：『無明為習，無明亦有習，非無習。』何謂無明習？答曰：『五蓋為習，五蓋亦有習，非無習。』何謂五蓋習？答曰：『三惡行為習，三惡行亦有習，非無習。』何謂三惡行習？答曰：『不護諸根為習。』」

[T1.487b13] 「不護諸根亦有習，非無習。何謂不護諸根習？答曰：『不正念、不正智為習，不正念、不正智亦有習，非無習。』何謂不正念、不正智習？，答曰：『不正思惟為習，不正思惟亦有習，非無習。』何謂不正思惟習？答曰：『不信為習，不信亦有習，非無習。』何謂不信習？答曰：『聞惡法為習，聞惡法亦有習，非無習。』何謂聞惡法習？答曰：『親近惡知識為習，親近惡知識亦有習，非無習。』何謂親近惡知識習？答曰：『惡人為習。』」

[T1.487b22] 「是為具惡人已，便具親近惡知識，具親近惡知識已，便具聞惡法，具聞惡法已，便具生不信，具生不信已，便具不正思惟，具不正思惟已，便具不正念、不正智，具不正念、不正智已，便具不護諸根，具不護諸根已，便具三惡行，具三惡行已，便具五蓋，具五蓋已，便具無明，具無明已，便具有愛，如是此有愛展轉具成。」

[T1.487b29] 「明、解脫亦有習，非無習。何謂明、解脫習？答曰：『七覺支為習，七覺支亦有習，非無習。』何謂七覺支習？答曰：『四念處為習，四念處亦有習，非無習。』何謂四念處習？答曰：『三妙行為習，三妙行亦有習，非無習。』何謂三妙行習？答曰：『護諸根為習。』」

[T1.487c06] 「護諸根亦有習，非無習，何謂護諸根習？答曰：『正念、正智為習，正念、正智亦有習，非無習。』何謂正念、正智習？答曰：『正思惟為習，正思惟亦有習，非無習。』何謂正思惟習？答曰：『信為習，信亦有習，非無習。』何謂信習？答曰：「聞善法為習，聞善法亦有習，非無習。』何謂聞善法習？答曰：『親近善知識為習，親近善知識亦有習，非無習。』何謂親近善知識習？答曰：『善人為習。」

[T1.487c14] 「是為具善人已，便具親近善知識，具親近善知識已，便具聞善法，具聞善法已，便具生信，具生信已，便具正思惟，具正思惟已，便具正念、正智，具正念、正智已，便具護諸根，具護諸根已，便具三妙行，具三妙行已，便具四念處，具四念處已，便具七覺支，具七覺支已，便具明、解脫，如是此明、解脫展轉具成。」

[T1.487c21] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

---

[1] 便可得知所因有愛～Athaca pana paññyati’idappaccayā bhavataṇhā’ti.

[T1.487c23] 本際經第十竟[1](七百五十四字)[2]，

（五二）中阿含[3]習相應品

(Ma.52) 食經[4][5]第十一(初一日誦)[6]

[T1.487c26] 我聞如是。

[T1.487c26] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.487c27] 爾時，世尊告諸比丘：「有愛者[7]，其本際不可知，本無有愛，然今生有愛，便可得知，所因有愛，有愛者，則有食[8]，非無食。何謂有愛食？答曰：『無明為食，無明亦有食，非無食。』何謂無明食？答曰：『五蓋為食，五蓋亦有食，非無食。』何謂五蓋食？答曰：『三惡行為食，三惡行亦有食，非無食。』何謂三惡行食？答曰：『不護諸根為食。』」

[T1.488a05]「不護諸根亦有食，非無食。』何謂不護諸根食？答曰：『不正念、不正智為食，不正念、不正智亦有食，非無食。』何謂不正念、不正智食？答曰：『不正思惟為食，不正思惟亦有食，非無食。』何謂不正思惟食？答曰：『不信為食，不信亦有食，非無食。』何謂不信食？答曰：『聞惡法為食，聞惡法亦有食，非無食。』何謂聞惡法食？答曰：『親近惡知識為食，親近惡知識亦有食，非無食。』何謂親近惡知識食？答曰：『惡人為食。』」

[T1.488a14]「是為具[9]惡人已，便具親近惡知識，具親近惡知識已，便具聞惡法，具聞惡法已，便具生不信，具生不信已，便具不正思惟，具不正思惟已，便具不正念、不正智，具不正念、不正智已，便具不護諸根，具不護諸根已，便具三惡行，具三惡行已，便具五蓋，具五蓋已，便具無明，具無明已，便具有愛，如是此有愛展轉具成。」

---

[1]〔本際…竟〕六字－【宋】【元】【明】
[2]〔七百…字〕六字－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《增支部》A.10.61-62. Āhāra(食)
[5] 經＋（上）【明】
[6]〔初一日誦〕－【明】
[7] 有愛者其本際不可知本無有愛然今生有愛～Purimā koṭina paññāyati bhavataṇhāya''ito pubbe bhavatanhā nāhosi, atha pacchā sambhavī'ti, evañ c'etaṃ vuccati.
[8] 食～Āhāra.
[9] （食）＋具【宋】【元】【明】

[T1.488a21]「大海亦有食，非無食。』何謂大海食？答曰：『大河為食，大河亦有食，非無食。』何謂大河食？答曰：『小河為食，小河亦有食，非無食。』何謂小河食？答曰：『大川為食，大川亦有食，非無食。』何謂大川食？答曰：『小川為食，小川亦有食，非無食。』何謂小川食？答曰：『山巖溪澗、平澤為食，山巖溪澗、平澤亦有食，非無食。』何謂山巖溪澗、平澤食？答曰：『雨為食，有時大雨，大雨已，則山巖溪澗、平澤水滿，山巖溪澗、平澤水滿已，則小川滿，小川滿已，則大川滿，大川滿已，則小河滿，小河滿已，則大河滿，大河滿已，則大海滿，如是彼大海展轉成滿，如是有愛亦有食，非無食。』」

[T1.488b05]「何謂有愛食？答曰：『無明為食，無明亦有食，非無食。』何謂無明食？答曰：『五蓋為食，五蓋亦有食，非無食。』何謂五蓋食？答曰：『三惡行為食，三惡行亦有食，非無食。』何謂三惡行食？答曰：『不護諸根為食，不護諸根亦有食，非無食。』何謂不護諸根食？答曰：『不正念、不正智為食，不正念、不正智亦有食，非無食。』何謂不正念、不正智食？答曰：『不正思惟為食，不正思惟亦有食，非無食。』何謂不正思惟食？答曰：『不信為食，不信亦有食，非無食，何謂不信食？答曰：『聞惡法為食，聞惡法亦有食，非無食。』何謂聞惡法食？答曰：『親近惡知識為食，親近惡知識亦有食，非無食。』何謂親近惡知識食？答曰：『惡人為食。』」

[T1.488b19]「是為具惡人已，便具親近惡知識，具親近惡知識已，便具聞惡法，具聞惡法已，便具生不信，具生不信已，便具不正思惟，具不正思惟已，便具不正念、不正智，具不正念、不正智已，便具不護諸根，具不護諸根已，便具三惡行，具三惡行已，便具五蓋，具五蓋已，便具無明，具無明已，便具有愛。」如是此有愛展轉具成。」

[T1.488b27]「明、解脫亦有食，非無食，何謂明、解脫食？答曰：『七覺支為食，七覺支亦有食，非無食。』何謂七覺支食？答曰：「四念處為食，四念處亦有食，非無食。』何謂四念處食？答曰：『三妙行為食，三妙行亦有食，非無食。』何謂三妙行食？答曰：『護諸根為食，護諸根亦有食，非無食。』何謂護諸根食？答曰：「正念、正智為食，正念、正智亦有食，非無食。』何謂正念、正智食？答曰：『正思惟為食，正思惟亦有食，非無食。』何謂正思惟食？答曰：『信為食，信亦有食，非無食。』何謂信食？答曰：『聞善法為食，聞善法亦有食，非無食。』何謂聞善法食？答曰：『親近善知識為食，親近善知識亦有食，非無食。』何謂親近善知識食？答曰：『善人為食。』」

[T1.488c11]「是為具善人已，便具親近善知識，具親近善知識已，便具聞善法，具聞善法已，便具生信，具生信已，便具正思惟，具正思惟已，便具正念、正智，具正念、正智已，便具護諸根，具護諸根已，便具三妙行，具三妙行已，

便具四念處，具四念處已，便具七覺支，具七覺支[1]已，便具明、解脫，如是此明、解脫展轉具成。」

[T1.488c18]「大海亦有食，非無食，何謂大海食？答曰：『大河為食，大河亦有食，非無食。』何謂大河食？答曰：『小河為食，小河亦有食，非無食。』何謂小河食？答曰：『大川為食，大川亦有食，非無食。』何謂大川食？答曰：『小川為食，小川亦有食，非無食。』何謂小川食？答曰：『山巖溪澗、平澤為食，山巖溪澗、平澤亦有食，非無食。』何謂山巖溪澗、平澤食？答曰：『雨為食，有時大雨，大雨已，則山巖溪澗、平澤水滿，山巖溪澗、平澤水滿已，則小川滿，小川滿已，則大川滿，大川滿已，則小河滿，小河滿已，則大河滿，大河滿已，則大海滿，如是彼大海展轉成滿。」

[T1.489a01]「如是明、解脫亦有食，非無食，何謂明、解脫食？答曰：『七覺支為食，七覺支亦有食，非無食。』何謂七覺支食？答曰：『四念處為食，四念處亦有食，非無食。』何謂四念處食？答曰：『三妙行為食，三妙行亦有食，非無食。』何謂三妙行食？答曰：『護諸根為食，護諸根亦有食，非無食。』何謂護諸根食？答曰：『正念、正智為食，正念、正智亦有食，非無食。』何謂正念、正智食？答曰：『正思惟為食，正思惟亦有食，非無食。』何謂正思惟食？答曰：『信為食，信亦有食，非無食。』何謂信食？答曰：『聞善法為食，聞善法亦有食，非無食。』何謂聞善法食？答曰：『親近善知識為食，親近善知識亦有食，非無食。』何謂親近善知識食？答曰：『善人為食。」

[T1.489a15]「是為具善人已，便具親近善知識，具親近善知識已，便具聞善法，具聞善法已，便具生信，具生信已，便具正思惟，具正思惟已，便具正念、正智，具正念、正智已，便具護諸根，具護諸根已，便具三妙行，具三妙行已，便具四念處，具四念處已，便具七覺支，具七覺支已，便具明、解脫，如是此明、解脫展轉具成。」

[T1.489a22] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.489a24] 食經第十一竟[2](一千八百三十三字)[3]，

（五三）中阿含[4]習相應品

[1]〔支〕－【宋】【元】【明】
[2]〔食經…竟〕六字－【明】
[3]〔一千…字〕八字－【宋】【元】【明】
[4]〔中阿含〕－【明】

(Ma.53) 食經[1] [2]第十二(初一日誦)[3]

[T1.489a27] 我聞如是。

[T1.489a27] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.489a28] 爾時，世尊告諸比丘：「有愛者，其本際不可知[4]，本無有愛，然今生有愛，便可得知，所因有愛[5]，有愛者，則有食，非無食。」何謂有愛食？答曰：『無明為食，無明亦有食，非無食。』何謂無明食？答曰：『五蓋為食，五蓋亦有食，非無食。』何謂五蓋食？答曰：『三惡行為食，三惡行亦有食，非無食。』何謂三惡行食？答曰：『不護諸根為食，不護諸根亦有食，非無食。』何謂不護諸根食？答曰：『不正念、不正智為食。』」

[T1.489b08]「不正念、不正智亦有食，非無食，何謂不正念、不正智食？答曰：『不正思惟為食，不正思惟亦有食，非無食。』何謂不正思惟食？答曰：『不信為食，不信亦有食，非無食。』何謂不信食？答曰：『聞惡法為食，聞惡法亦有食，非無食。』何謂聞惡法食？答曰：『親近惡知識為食，親近惡知識亦有食，非無食。』何謂親近惡知識食？答曰：『惡人為食。』」

[T1.489b15]「大海亦有食，非無食，何謂大海食？答曰：『雨為食，有時大雨，大雨已則山巖溪澗、平澤水滿，山巖溪澗、平澤水滿已，則小川滿，小川滿已，則大川滿，大川滿已，則小河滿，小河滿已，則大河滿，大河滿已，則大海滿，如是彼大海展轉成滿。』」

[T1.489b20]「如是具惡人已，便具親近惡知識，具親近惡知識已，便具聞惡法，具聞惡法已，便具生不信，具生不信已，便具不正思惟，具不正思惟已，便具不正念、不正智，具不正念、不正智已，便具不護諸根，具不護諸根已，便具三惡行，具三惡行已，便具五蓋，具五蓋已，便具無明，具無明已，便具有愛，如是此有愛展轉具成。」

[T1.489b28] 「明、解脫亦有食，非無食，何謂明、解脫食？答曰：『七覺支為食，七覺支亦有食，非無食。』何謂七覺支食？答曰：『四念處為食，四念處亦有食，非無食。』何謂四念處食？答曰：『三妙行為食，三妙行亦有食，非無

---

[1] ～《增支部》A.10.61-62. Āhāra(食)
[2] 經＋（下）【明】
[3]〔初一日誦〕－【明】
[4] 有愛者其本際不可知本無有愛然今生有愛～Purimā koṭina paññāyati bhavataṇhāya'ito pubbe bhavatanhā nāhosi, atha pacchā sambhavī' ti, evañ c'etaṃ vuccati.
[5] 便可得知所因有愛～Athaca pana paññyati 'idappaccayā bhavataṇhā'ti.

食。』何謂三妙行食？答曰：『護諸根為食，護諸根亦有食，非無食。』何謂護諸根食？答曰：『正念、正智為食。」

[T1.489c06]「正念、正智亦有食，非無食，何謂正念、正智食？答曰：『正思惟為食，正思惟亦有食，非無食。』何謂正思惟食？答曰：『信為食，信亦有食，非無食。』何謂信食？答曰：『聞善法為食，聞善法亦有食，非無食。』何謂聞善法食？答曰：『親近善知識為食，親近善知識亦有食，非無食。』何謂親近善知識食？答曰：『善人為食。」

[T1.489c13]「大海亦有食，非無食，何謂大海食？答曰：『雨為食，有時大雨，大雨已，則山巖溪澗、平澤水滿，山巖溪澗、平澤水滿已，則小川滿，小川滿已，則大川滿，大川滿已，則小河滿，小河滿已，則大河滿，大河滿已，則大海滿，如是彼大海展轉成滿。』」

[T1.489c18]「如是善人具已，便具親近善知識，具親近善知識已，便具聞善法，具聞善法已，便具生信，具生信已，便具正思惟，具正思惟已，便具正念、正智，具正念、正智已，便具護諸根，具護諸根已，便具三妙行，具三妙行已，便具四念處，具四念處已，便具七覺支，具七覺支已，便具明、解脫，如是此明、解脫展轉具成。」

[T1.489c25] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.489c27] 食經第十二竟[1](九百三十字)[2]，

（五四）中阿含[3]習相應品

(Ma.54)盡智經[4] 第十三(初一日誦)[5]

[T1.490a01] 我聞如是。

[T1.490a01] 一時，佛遊拘樓瘦，在劍摩瑟曇拘樓都邑。」

[T1.490a02] 爾時，世尊告諸比丘：「有知有見者，便得漏盡，非不知，非不見。云何知見便得漏盡，謂知見苦如真，便得漏盡，知見苦習[1]、知見苦滅、知

---

[1]〔食經…竟〕六字－【明】
[2]〔九百…字〕五字－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] 參閱 Ma.42.《何義經》、Ma.43.《不思經》、Ma.44.《念經》
[5]〔初一日誦〕－【明】

見苦滅道如真，便得漏盡，盡智有習，非無習，何謂盡智習？答曰：『解脫為習，解脫亦有習，非無習。』何謂解脫習？答曰：『無欲為習，無欲亦有習，非無習。』何謂無欲習？答曰：『厭為習，厭亦有習，非無習。』何謂厭習？答曰：『見如實、知如真為習，見如實、知如真亦有習，非無習。』何謂見如實、知如真習？答曰：『定為習，定亦有習，非無習。』何謂定習？答曰：『樂為習，樂亦有習，非無習？何謂樂習？答曰：『止為習，止亦有習，非無習。』何謂止習？答曰：『喜為習，喜亦有習，非無習。』何謂喜習？答曰：『歡悅為習，歡悅亦有習，非無習。』何謂歡悅習？答曰：『不悔為習。』」

[T1.490a17]「不悔亦有習，非無習，何謂不悔習？答曰：『護戒為習，護戒亦有習，非無習。』何謂護戒習？答曰：『護諸根為習，護諸根亦有習，非無習。』何謂護諸根習？答曰：『正念、正智為習，正念、正智亦有習，非無習。』何謂正念、正智習？答曰：『正思惟為習，正思惟亦有習，非無習。』何謂正思惟習？答曰：『信為習，信亦有習，非無習。』何謂信習？答曰：「觀法忍為習，觀法忍亦有習，非無習。』何謂觀法忍習？答曰：『翫誦法為習，翫誦法亦有習，非無習。』何謂翫誦法習？答曰：『受持法為習，受持法亦有習，非無習。』何謂受持法習？答曰：『觀法義為習，觀法義亦有習，非無習。』何謂觀法義習？答曰：『耳界為習，耳界亦有習，非無習。』何謂耳界習？答曰：『聞善法為習，聞善法亦有習，非無習。』何謂聞善法習？答曰：『往詣為習，往詣亦有習，非無習。』何謂往詣習？答曰：『奉事為習。』」

[T1.490b05]「若有奉事善知識者，未聞便聞，已聞便利，如是善知識若不奉事者，便害奉事習，若無奉事，便害往詣習，若無往詣，便害聞善法習，若不聞善法，便害耳界習，若無耳界，便害觀法義習，若無觀法義，便害受持法習，若無受持法，便害翫誦法習，若無翫誦法，便害觀法忍習，若無觀法忍，便害信習，若無信，便害正思惟習，若無正思惟，便害正念、正智習，若無正念、正智，便害護諸根、護戒、不悔、歡悅、喜、止、樂、定、見如實、知如真、厭、無欲、解脫習，若無解脫，便害盡智習。」

[T1.490b16]「若奉事善知識者，未聞便聞，已聞便利，如是善知識，若奉事者，便習奉事。若有奉事，便習往詣。若有往詣，便習聞善法。若有聞善法，便習耳界。若有耳界，便習觀法義。若有觀法義，便習受持法。若有受持法，便習翫誦法。若有翫誦法，便習觀法忍。若有觀法忍，便習信。若有信，便習正思惟。若有正思惟，便習正念、正智。若有正念、正智，便習護諸根、護戒、不悔、歡悅、喜、止、樂、定、見如實、知如真、厭、無欲、解脫。若有解脫，便習盡智。」

[T1.490b26] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

---

[1] 習＝集【元】【明】

[T1.490b28] 盡智經第十三竟[1](八百六十八字)[2]，

（五五）中阿含[3]習相應品

(Ma.55)涅槃經 第十四(初一日誦)[4]

[T1.490c01] 我聞如是。

[T1.490c01] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.490c02] 爾時，世尊告諸比丘：「涅槃有習，非無習，何謂涅槃習？答曰：『解脫為習，解脫亦有習，非無習。』何謂解脫習？答曰：『無欲為習，無欲亦有習，非無習。』何謂無欲習？答曰：『厭為習厭亦有習，非無習。』何謂厭習？答曰：『見如實、知如真為習，見如實、知如真亦有習，非無習。』何謂見如實、知如真習？答曰：『定為習，定亦有習，非無習。』何謂定習？答曰：『樂為習，樂亦有習，非無習。』何謂樂習？答曰：『止為習，止亦有習，非無習。』何謂止習？答曰：『喜為習，喜亦有習，非無習，何謂喜習？答曰：『歡悅為習，歡悅亦有習，非無習。』何謂歡悅習？答曰：『不悔為習，不悔亦有習，非無習。』何謂不悔習？答曰：『護戒為習，護戒亦有習，非無習。』何謂護戒習？答曰：『護諸根為習。』」

[T1.490c16]「護諸根亦有習，非無習，何謂護諸根習？答曰：『正念、正智為習，正念、正智亦有習，非無習。』何謂正念、正智習？答曰：『正思惟為習，正思惟亦有習，非無習。』何謂正思惟習？答曰：『信為習，信亦有習，非無習。』何謂信習？答曰：『苦為習，苦亦有習，非無習。』何謂苦習？答曰：『老死為習，老死亦有習，非無習。』何謂老死習？答曰：『生為習，生亦有習，非無習。』何謂生習？答曰：『有為習，有亦有習，非無習。』何謂有習？答曰：『受為習，受亦有習，非無習。』何謂受習？答曰：『愛為習，愛亦有習，非無習。』何謂愛習？答曰：『覺為習，覺亦有習，非無習。』何謂覺習？答曰：『更樂為習，更樂亦有習，非無習，。』何謂更樂習？答曰：『六處為習，六處亦有習，非六處習。』答曰：『名色為習，名色亦有習，非無習。』何謂名色習？答曰：「識為習，識亦有習，非無習。』何謂識習？答曰：『行為習，行亦有習，非無習，何謂行習？答曰：『無明為習。』」

---

[1]〔盡智…竟〕七字－【明】
[2]〔八百…字〕六字－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4]〔初一日誦〕－【明】

[T1.491a04]「是為緣無明行，緣行識，緣識名色，緣名色六處，緣六處更樂，緣更樂覺，緣覺愛、緣愛受，緣受有，緣有生，緣生老死，緣老死苦，習苦，便有信，習信，便有正思惟，習正思惟，便有正念正智，習正念正智，便有護諸根、護戒、不悔、歡悅、喜、止、樂、定、見如實、知如真、厭、無欲、解脫，習解脫，便得涅槃。」

[T1.491a11] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.491a13] 涅槃經第十四竟[1](六百六十三字)[2]。

（五六）中阿含[3]習相應品

(Ma.56) 彌醯經 第十五(初一日誦)[5]

[4]

[T1.491a16] 我聞如是。

[T1.491a16] 一時，佛遊摩竭陀國，在闍鬪[6]村莽奈林窟。

[T1.491a17] 爾時，尊者彌醯[7]為奉侍者。於是，尊者彌醯過夜平旦，著衣持鉢，入闍鬪村而行乞食，乞食已竟，往至金鞞[8]河邊，見地平正，名好奈林，金鞞河水極妙可樂，清泉徐流，冷暖和適，見已歡喜，便作是念：「此地平正，名好奈林，金鞞河水極妙可樂，清泉徐流，冷暖和適，若族姓子欲學斷者，當於此處，我亦有所斷，寧可在此靜處學斷耶？」

[T1.491a24] 於是，彌醯食訖，中後舉[9]衣鉢已，澡洗手足，以尼師檀[10]著於肩上，往詣佛所，稽首禮足，却住一面，白曰：「世尊！我今平旦著衣持鉢，入闍鬪村而行乞食，乞食已竟，往至金鞞河邊，見地平正，名好奈林，金鞞河水極妙可樂，清泉徐流，冷暖和適，我見喜已，便作是念：此地平正，名好奈林，

---

[1]〔涅槃…竟〕七字－【明】
[2]〔六百…字〕六字－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《增支部》A.9.3. Meghiya(彌醯)、《自說經》Ud.4.1.
[5]〔初一日誦〕－【明】
[6] [>闍鬪]～Jantu.
[7] [>彌醯]～Meghiya.
[8] [>金鞞]～Kimikālā.
[9] 舉＝攝【宋】【元】【明】
[10] 檀＝壇【宋】＊【元】＊【明】＊

金鞞河水極妙可樂，清泉徐流，冷暖和適，若族姓子欲學斷者，當於此處，我亦有所斷，寧可在此靜處學斷耶？世尊！我今欲往至彼奈林靜處學斷。」

[T1.491b05] 爾時，世尊告曰：「彌醯，汝今知不，我獨無人，無有侍者，汝可小住，須比丘來為吾侍者，汝便可去，至彼奈林靜處而學。」

[T1.491b08] 尊者彌醯乃至再三白曰：「世尊！我今欲往至彼奈林靜[1]處學斷。」

[T1.491b10] 世尊亦復再三告曰：「彌醯，汝今知不，我獨無人，無有侍者，汝可小住，須比丘來為吾侍者，汝便可去，至彼奈林*靜處而學。」

[T1.491b12] 彌醯復白曰：「世尊無為無作，亦無所觀。世尊！我有為有作而有所觀。世尊！我至彼奈林靜處學斷。」

[T1.491b15] 世尊告曰：「彌醯！汝欲求斷者，我復何言。彌醯！汝去，隨意所欲。」於是，尊者彌醯聞佛所說，善受善持而善誦習，即禮佛足，繞三匝而去，詣彼奈林，入林中已，至一樹下，敷尼師*檀，結加[2]趺坐。

[T1.491b19] 尊者彌醯住奈林中便生三惡不善之念，欲念、恚念及與害念，彼由此故便念世尊！於是，彌醯則於晡時從燕[3]坐起，往詣佛所，稽首禮足，却住一面，白曰：「世尊！我至奈林，於靜處坐便生三惡不善之念，欲念、恚念及與害念，我由此故便念世尊。」

[T1.491b25] 世尊告曰：「彌醯！心解脫未熟，欲令熟者有五習法。云何為五？彌醯！比丘者，自善知識與善知識俱，善知識共和合。彌醯！心解脫未熟，欲令熟者，是謂第一習法。復次，彌醯！比丘者，修習禁戒，守護從解脫，又復善攝威儀禮節，見纖芥罪，常懷畏怖，受持學戒。彌醯！心解脫未熟，欲令熟者，是謂第二習法。復次，彌醯！比丘者，謂所可說聖有義，令心柔軟，使心無蓋，謂說戒、說定、說慧、說解脫、說解脫知見、說漸損、說不樂聚會、說少欲、說知足、說斷、說無欲、說滅、說*燕坐、說緣起，得如是比沙門所說，具得，易不難得。彌醯！心解脫未熟，欲令熟者，是謂第三習法。復次，彌醯！比丘者，常行精進，斷惡不善，修諸善法，恒自起意，專一堅固，為諸善本，不捨方便。彌醯！心解脫未熟，欲令熟者，是謂第四習法。復次，彌醯！比丘者，修行智慧，觀興衰法，得如是智，聖慧明達，分別曉了，以正盡苦，彌醯！心解脫未熟，欲令熟者，是謂第五習法。」

---

[1] 靜＝靖【宋】【元】＊
[2] 加＝跏【宋】【元】【明】
[3] 燕＝宴【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.491c15] 「彼有此五習法已，復修四法。云何為四？修惡露，令斷欲，修慈，令斷恚，修息出息入，令斷亂念，修無常想，令斷我慢。彌醯！若比丘自善知識與善知識俱，善知識共和合，當知必修習禁戒，守護從解脫，又復善攝威儀禮節，見纖芥罪，常懷畏怖，受持學戒。彌醯！若比丘自善知識與善知識俱，善知識共和合，當知必得所可說聖有義，令心柔軟，使心無蓋，謂說戒、說定、說慧、說解脫、說解脫知見、說漸損、說不樂聚會、說少欲、說知足、說斷、說無欲、說滅、說*燕坐、說緣起，得如是比沙門所說，具得，易不難得。」

[T1.491c27] 「彌醯！若比丘自善知識與善知識俱，善知識共和合，當知必行精進，斷惡不善，修諸善法，恒自起意，專一堅固，為諸善本，不捨方便，彌醯！若比丘自善知識與善知識俱，善知識共和合，當知必行智慧，觀興衰法，得如此智，聖慧明達，分別曉了，以正盡苦。彌醯！若比丘自善知識與善知識俱，善知識共和合，當知必修惡露，令斷欲，修慈，令斷恚，修息出息入，令斷亂念，修無常想，令斷我慢。彌醯！若比丘得無常想者，必得無我想。彌醯！若比丘得無我想者，便於現法斷一切我慢，得息、滅、盡、無為、涅槃。」

[T1.492a10] 佛說如是，尊者彌醯及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.492a12] 彌醯經第十五竟[1](千三百二十三字)[2]。

（五七）中阿含[3]習相應品

(Ma.57)即為比丘說經[4] 第十六(初一日誦)[5]

[T1.492a15] 我聞如是。

[T1.492a15] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.492a16] 爾時，世尊告諸比丘：「心解脫未熟，欲令熟者，有五習法。云何為五？比丘！自善知識與善知識俱，善知識共和合，心解脫未熟，欲令熟者，是謂第一習法。復次，比丘！修習禁戒，守護從解脫，又復善攝威儀禮節，見纖芥罪，常懷畏怖，受持學戒，心解脫未熟，欲令熟者，是謂第二習法。復次，比丘！謂所可說聖有義，令心柔軟，使心無蓋，謂說戒、說定、說慧、說

---

[1]〔彌醯…竟〕七字－【明】
[2]〔千三…字〕七字－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《增支部》A.9.1. Sambodhi.(等覺)
[5]〔初一日誦〕－【明】

解脫、說解脫知見、說漸損、說不樂聚會、說少欲、說知足、說斷、說無欲、說滅、說燕[1]坐、說緣起，得如是比沙門所說，具得，易不難得，心解脫未熟，欲令熟者，是謂第三習法。復次，比丘！常行精進，斷惡不善，修諸善法，恒自起意，專一堅固，為諸善本，不捨方便，心解脫未熟，欲令熟者，是謂第四習法。復次，比丘！修行智慧，觀興衰法，得如此智，聖慧明達，分別曉了，以正盡苦，心解脫未熟，欲令熟者，是謂第五習法。」

[T1.492b05]「彼有此五習法已，復修四法。云何為四？修惡露，令斷欲，修慈，令斷恚，修息出息入，令斷亂念，修無常想，令斷我慢，若比丘自善知識與善知識俱，善知識共和合，當知必修習禁戒，守護從解脫，又復善攝威儀禮節，見纖芥罪，常懷畏怖，受持學戒，若比丘自善知識與善知識俱，善知識共和合，當知必得所可說聖有義，令心柔軟，使心無蓋，謂說戒、說定、說慧、說解脫、說解脫知見、說漸損、說不樂聚會、說少欲、說知足、說斷、說無欲、說滅、說燕*坐、說緣起，得如是比沙門所說，具得，易不難得。」

[T1.492b16]「若比丘自善知識與善知識俱，善知識共和合，當知必行精進，斷惡不善，修諸善法，恒自起意，專一堅固，為諸善本，不捨方便，若比丘自善知識與善知識俱，善知識共和合，當知必行智慧，觀興衰法，得如此智，聖慧明達，分別曉了，以正盡苦，若比丘自善知識與善知識俱，善知識共和合，當知必修惡露，令斷欲，修慈，令斷恚，修息出息入，令斷亂念，修無常想，令斷我慢，若比丘得無常想者，必得無我想，若比丘得無我想者，便於現法斷一切我慢，得息、滅、盡、無為、涅槃。」

[T1.492b27] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.492b29] 即為比丘說經第十六竟[2](六百八十三字)[3]，

中阿含經卷[4]第十(九千七百五十六字)[5]

卷第十一 (Ma.58～62)

東晉罽賓三藏瞿曇僧伽提婆譯

---

[1] 燕＝宴【宋】＊【元】＊【明】＊
[2]〔即為…竟〕[六>十]字－【明】
[3]〔六百…字〕六字－【宋】【元】【明】
[4] 卷末題前行有中阿含習相應品第五竟初一日誦十四字【宋】【元】同有習相應品第五竟七字【明】
[5]〔九千…字〕八字－【宋】【元】【明】

中阿含[1]王相應品第六(有七經王相應品本有十四經分後七經屬第二誦[2](初二日[3]誦)

七寶、相、四洲　　牛糞、摩竭王　　鞞婆麗陵耆　　天使最在後

（五八）中阿含[4]王相應品

(Ma.58)七寶經[5] 第一

[T1.493a11] 我聞如是。

[T1.493a11] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.493a12] 爾時，世尊告諸比丘：「若轉輪王出於世時，當知便有七寶出世。云何為七？輪寶、象寶、馬寶、珠寶、女寶、居士寶、主兵臣寶，是謂為七。」

[T1.493a15]「若轉輪王出於世時，當知有此七寶出世，如是如來、無所著、等正覺出於世時，當知亦有七覺支寶出於世間。云何為七？念覺支寶、擇法覺[6]支、精進覺支、喜覺支、息覺支、定覺支、捨覺支寶，是謂為七，如來、無所著、等正覺出於世時，當知有此七覺支寶出於世間。」

[T1.493a21] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.493a23]七寶經第一竟[7] (一百八十二字)[8]，

（五九）中阿含[9]王相應品

---

[1]〔中阿含〕－【明】
[2] 有七…誦＝有十四經【明】
[3] 二日＝一日【宋】【元】【明】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～《相應部》S.46.42. Cakkavatti.(轉輪)、No.38.《佛說輪王七寶經》(大正 1.821a)、《雜阿含 721 經》(大正 2.194a)、《增壹阿含 39.7 經》(大正 2.731b)，參閱《長部 17 經》Mahā-Sudassana-Suttanta.(大善見王經)
[6]〔覺〕－【宋】【元】【明】
[7]〔七…竟〕－【明】
[8]〔一百…字〕－【宋】【元】【明】
[9]〔中阿含〕－【明】

(Ma.59)三十二相經[1] 第二(初一日誦)[2]

[T1.493a26] 我聞如是。

[T1.493a26] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.493a27] 爾時，諸比丘於中食後集坐講堂，共論此事。諸賢！甚奇，甚特，大人成就三十二相，必有二處真諦不虛，若在家者，必為轉輪王，聰明智慧，有四種軍，整御天下，由己自在，如法法王成就七寶，彼七寶者，輪寶、象寶、馬寶、珠寶、女寶、居士寶、主兵臣寶，是為七[3]，千子具足，顏貌端正，勇猛無畏，能伏他眾，彼必統領此一切地乃至大海，不以刀杖，以法教令，令得安[藥>樂]，若剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，必得如來、無所著、等正覺，名稱流布，周聞十方。

[T1.493b08] 爾時，世尊在於燕坐，以淨天耳出過於人，聞諸比丘於中食後集坐講堂，共論此事。諸賢！甚奇，甚特，大人成就三十二相，必有二處真諦不虛，若在家者，必為轉輪王，聰明智慧，有四種軍，整御天下，由己自在，如法法王成就七寶，彼七寶者，輪寶、象寶、馬寶、珠寶、女寶、居士寶、主兵臣寶，是為七，千子具足，顏貌端正，勇猛無畏，能伏他眾，彼必統領此一切地乃至大海，不以刀杖，以法教令，令得安樂，若剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，必得如來、無所著、等正覺，名稱流布，周聞十方。

[T1.493b20] 世尊聞已，則於晡時從燕坐起，往詣講堂比丘眾前敷座而坐，問諸比丘：「汝等今日共論何事集坐講堂？」

[T1.493b22] 時，諸比丘白曰：「世尊！我等今日集坐講堂共論此事。諸賢！甚奇，甚特，大人成就三十二相，必有[>二]處真諦不虛，若在家者，必為轉輪王，聰明智慧，有四種軍，整御天下，由己自在，如法法王成就七寶，彼七寶者，輪寶、象寶、馬寶、珠寶、女寶、居士寶、主兵臣寶，是為七，千子具足，顏貌端正，勇猛無畏，能伏他眾，彼必統領此一切地乃至大海，不以刀杖，以法教令，令得安樂，若剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，必得如來、無所著、等正覺，名稱流布，周聞十方。世尊！我等共論如此事故集坐講堂。」

---

[1] ～《長部 30 經》Lakkhaṇa-Suttanta(三十二相經)
[2] 〔初一日誦〕－【明】，（初一日誦）在經題次行【宋】【元】
[3] 七＋（寶）【宋】【元】【明】[>＊]

[T1.493c05] 於是，世尊告曰：「比丘！汝等欲得從如來聞三十二相耶？謂大人所成，必有二處真諦不虛，若在家者，必為轉輪王，聰明智慧，有四種軍，整御天下，由己自在，如法法王成就七寶，彼七寶者，輪寶、象寶、馬寶、珠寶、女寶、居士寶、主兵臣寶，是為*七，千子具足，顏貌端正，勇猛無畏，能伏他眾，彼必統領此一切地乃至大海，不以刀杖，以法教令，令得安樂，若剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，必得如來、無所著、等正覺，名稱流布，周聞十方。」

[T1.493c15] 時，諸比丘聞已，白曰：「世尊！今正是時，善逝，今正是時，若世尊為諸比丘說三十二相者，諸比丘聞已當善受持。」

[T1.493c17] 世尊告曰：「諸比丘！諦聽，諦聽，善思念之，吾當為汝廣分別說，時，諸比丘受教而聽。」

[T1.493c19] 佛言：「[1]大人足安平立，是謂大人大人之相。復次，[2]大人足下生輪，輪有千輻，一切具足，是謂大人大人之相。復次，[3]大人足指纖長，是謂大人大人之相。復次，[4]大人足周正直，是謂大人大人之相。復次，[5]大人足跟踝後兩邊平滿，是謂大人大人之相。復次，[6]大人足兩踝傭，是謂大人大人之相。復次，[7]大人身毛上向，是謂大人大人之相。復次，[8]大人手足網縵，猶如鴈王，是謂大人大人之相。復次，[9]大人手足極妙柔弱軟敷，猶兜羅華，是謂大人大人之相。復次，[10]大人肌皮軟細，塵水不著，是謂大人大人之相。」

[T1.494a01]「復次，[11]大人一一毛，一一毛者，身一[1]孔一毛生，色若紺青，如螺右旋，是謂大人大人之相。復次，[12]大人鹿[蹲[2]-酋+(十/田/厶)]腸。猶如鹿王，是謂大人大人之相。復次，[13]大人陰馬藏。猶良馬王，是謂大人大人之相。復

[1] 一＋（一）【宋】【元】【明】
[2] [[跳-兆+專]>[蹲-酋+(十/田/厶)]]＝腨【宋】【元】【明】

次，[14] 大人身形圓好。猶如 [1]尼拘類 [2]樹。上下圓相稱，是謂大人大人之相。復次，[15] 大人身不阿曲。身不曲者。平立申 [3]手以摩其膝，是謂大人大人之相。復次，[16] 大人身黃金色。如紫磨金，是謂大人大人之相。復次，[17] 大人身七處滿，七處滿者，兩手．兩足．兩肩及頸，是謂大人大人之相。復次，[18] 大人其上身大，猶如師子，是謂大人大人之相。復次，[19] 大人師子頰車，是謂大人大人之相。」

[T1.494a14]「復次，[20] 大人脊背平直，是謂大人大人之相。復次，[21] 大人兩肩上連，通頸平滿，是謂大人大人之相。復次，[22] 大人四十齒牙．[23] 平齒．[24] 不踈齒．[25] 白齒．[26] 通味第一味，是謂大人大人之相。復次，[27] 大人梵音可愛。其聲猶如加羅毘伽，是謂大人大人之相。復次，[28] 大人廣長舌，廣長舌者，舌從口出遍覆其面，是謂大人大人之相。復次，[29] 大人承淚處滿。猶如牛王，是謂大人大人之相。復次，[30] 大人眼色紺青，是謂大人大人之相。復次，[31] 大人頂有肉髻。團圓相稱。髮螺右旋，是謂大人大人之相。復次，[32] 大人眉間生毛。潔白右縈，是謂大人大人之相。[4]」

---

[1] 〔如〕－【宋】【元】【明】

[2] [>尼拘類]～[Ngrodha.>Nigrodha.]

[3] 申＝伸【宋】【元】【明】

[4]【三十二相】梵語 dvātriṃśan mahā-puruṣa-lakṣaṇāni，巴利語 dvattiṁsa mahā-purisa-lakkhaṇāni。(一)足下安平立相（梵 su-pratiṣṭhita-pāda）。(二)足下二輪相，又作千輻輪相，或謂「足」亦指手足，故又稱手足輪相（梵 cakrāṅkita-hasta-pāda-tala）、手掌輪相。(三)長指相（梵 dīrghāṅguli）。(四)足跟廣平相（梵 āyata-pāda-parṣṇi）。(五)手足指縵網相（梵 jālāvanaddha-hasta-pāda）。(六)手足柔軟相（梵 mṛdu-taruṇa-hasta-pāda-tala）。(七)足趺高滿相（梵 ucchaṅkha-pāda）。(八)伊泥延腨相（梵 aiṇeya-jaṅgha）。(九)正立手摩膝相（梵 sthitānavanata-pralamba-bāhutā）。(十)陰藏相（梵 kośopagata-vasti-guhya）。(十一)身廣長等相（梵 nyagrodha-parimaṇḍala）。(十二)毛上向相（梵 ūrdhvaṁ-ga-roma）。(十三)一一孔一毛生

[T1.494a26] 「諸比丘！大人成就此三十二相，必有二處真諦不虛，若在家者，必為轉輪王，聰明智慧，有四種軍，整御天下，由己自在，如法法王成就七寶，彼七寶者，輪寶、象寶、馬寶、珠寶、女寶、居士寶、主兵臣寶，是[1]為*七，千子具足，顏貌端正，勇猛無畏，能伏他眾，彼必統領此一切地乃至大海，不以刀杖，以法教令，令得安樂，若剃除髮鬚，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，必得如來、無所著、等正覺，名稱流布，周聞十方。」

[T1.494b06] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.494b08] 三十二相經第二竟[2] (千六百八字)[3]，

（六○）中阿含[4]王相應品

(Ma.60)四洲經[5] 第三(初一日誦)[6]

[T1.494b10] 我聞如是。

[T1.494b10] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.494b11] 爾時，尊者阿難在安靜處，燕坐思惟而作是念：「世人甚少少能於欲有滿足意，少有厭患於欲而命終者，世人於欲有滿足意，厭患於欲而命終者，為甚難得。」

[T1.494b14] 尊者阿難則於晡時從燕坐起，往詣佛所，到已作禮，却住一面，白曰：「世尊！我今在安靜處，燕坐思惟而作是念：世人甚少少能於欲有滿足意，少有厭患於欲而命終者，世人於欲有滿足意，厭患於欲而命終者，為甚難得。」

相（梵 ekaika-roma-pradakṣiṇāvarta）。(十四)金色相（梵 suvaṃa-varṇa）。(十六)細薄皮相（梵 sūkṣma-suvarṇa-cchavi）。(十七)七處隆滿相（梵 saptotsada）。 (十八)兩腋下隆滿相（梵 citāntarāṃsa）。 (十九)上身如獅子相(梵 siṃha-pūrvārdha kāya)。(廿)大直身相(梵 ṛjugātratā)。(廿一)肩圓好相（梵 su-saṃvṛta-skandha）。(廿二)四十齒相（梵 catvariṃśad-danta）。(廿三)齒齊相（梵 sama-danta）。(廿四)牙白相（梵 suśukla-danta）。(廿六)味中得上味相（梵 rasa-rasāgratā）。(廿七)大舌相(梵 prabhuta-tanu-jihva)。(廿八)梵聲相(梵 brahma-svara)。(廿九)真青眼相（梵 abhinīla-netra）。(卅)牛眼睫相（梵 go-pakṣmā）。(卅一)頂髻相（梵 uṣṇīṣa-śiraskatā）。(卅二)白毛相（梵 ūṛṇā-keśa）。

[1] 是＋（謂）【宋】【元】【明】

[2]〔三…竟〕－【明】

[3]〔千…字〕－【宋】【元】【明】

[4]〔中阿含〕－【明】

[5] ～Divyâvadāna. (pp.210-226)，No.39.《佛說頂生王故事經》(大正 1.822b)，No.40.《文陀竭王經》(大正 1.824a)，《增壹阿含 17.7 經》(大正 2.583b)

[6]〔初一日誦〕－【明】

[T1.494b20] 佛告阿難：「如是，如是，世人甚少少能於欲有滿足意，少有厭患於欲而命終者。阿難！世人於欲有滿足意，厭患於欲而命終者，為甚難得。阿難！世人極甚難得，極甚難得於欲有滿足意，厭患於欲而命終者。阿難！但世間人甚多甚多，於欲無滿足意，不厭患欲而命終也。所以者何？阿難！往昔有王名曰頂生，作轉輪王，聰明智慧，有四種軍，整御天下，由己自在，如法法王成就七寶，彼七寶者，輪寶、象寶、馬寶、珠寶、女寶、居士寶、主兵臣寶，是[1]為七[2]，千子具足，顏貌端正，勇猛無畏，能伏他眾，彼必統領此一切地乃至大海，不以刀杖，以法教令，令得安樂。阿難！彼頂生王而於後時極大久遠，便作是念：我有閻浮洲，極大富樂，多有人民，我有七寶，千子具足，我欲於宮雨寶七日，積至于膝。阿難！彼頂生王有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，適發心已，即於宮中雨寶七日，積至于膝。」

[T1.494c09]「阿難！彼頂生王而於後時極大久遠，復作是念：我有閻浮洲，極大富樂，多有人民，我有七寶，千子具足，及於宮中雨寶七日，積至于膝，我憶曾從古人聞之，西方有洲名瞿陀尼，極大富樂，多有人民，我今欲往見瞿陀尼洲，到已整御。阿難！彼頂生王有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，適發心已，即以如意足乘虛而去，及四種軍。阿難！彼頂生王即時往到住瞿陀尼洲。阿難！彼頂生王住已整御瞿陀尼洲，乃至無量百千萬歲。」

[T1.494c19]「阿難！彼頂生王而於後時極大久遠，復作是念：我有閻浮洲，極大富樂，多有人民，我有七寶，千子具足，及於宮中雨寶七日，積至于膝，我亦復有瞿陀尼洲，我復曾從古人聞之，東方有洲名弗婆鞞陀提，極大富樂，多有人民，我今欲往見弗婆鞞陀提洲，到已整御。阿難！彼頂生王有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，適發心已，即以如意足乘虛而去，及四種軍。阿難！彼頂生王即時往到住弗婆鞞陀提洲。阿難！彼頂生王住已整御弗婆鞞陀提洲，乃至無量百千萬歲。」

[T1.495a02]「阿難！彼頂生王而於後時極大久遠，復作是念：『我有閻浮洲，極大富樂，多有人民，我有七寶，千子具足，及於宮中雨寶七日，積至于膝，我亦復有瞿陀尼洲，亦有弗婆鞞陀提洲，我復曾從古人聞之，北方有洲名欝單曰[3]，極大富樂，多有人民，彼雖無我想亦無所受，我今欲往見欝單*曰洲，到已整御，及諸眷屬。』阿難！彼頂生王有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，適發心已，即以如意足乘虛而去，及四種軍。」

[T1.495a11]「阿難！彼頂生王遙見平地白，告諸臣曰：『卿等見欝單*曰平地白耶？』諸臣對曰：『見也。天王。』王復告曰：『卿等知不，彼是欝單*曰人自

---

[1] 是＋（謂）【宋】【元】【明】
[2] 七＋（寶）【宋】【元】【明】
[3] 曰＝越【明】＊

然粳[1]米，欝單曰人常所食者，卿等亦應共食此食。』阿難！彼頂生王復遙見欝單*曰洲中，若干種樹，淨妙嚴飾，種種綵色，在欄楯裏，告諸臣曰：『卿等見欝單*曰洲中，若干種樹，淨妙嚴飾，種種綵色，在欄楯裏耶？』諸臣對曰：『見也。天王。』王復告曰：『卿等知不，是欝單*曰人衣樹，欝單*曰人取此衣著，卿等亦應取此衣著。』阿難！彼頂生王即時往到住欝單*曰洲。阿難！彼頂生王住已整御欝單*曰洲，乃至無量百千萬歲，及諸眷屬。」

[T1.495a24]「阿難！彼頂生王而於後時極大久遠，復作是念：我有閻浮洲，極大富樂，多有人民，我有七寶，千子具足，及於宮中雨寶七日，積至于膝，我亦復有瞿陀尼洲，亦有弗婆鞞陀提洲，亦有欝單曰洲，我復曾從古人聞之，有天名曰三十三天，我今欲往見三十三天。阿難！彼頂生王有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，適發心已，即以如意足乘虛而往，及四種軍，向日光去。阿難！彼頂生王遙見三十三天中，須彌山王上猶如大雲，告諸臣曰：『卿等見三十三天中，須彌山王上猶如大雲耶？』諸臣對曰：『見也。天王，王復告曰：「卿等知不，是三十三天晝度樹也。三十三天在此樹下，於夏四月，具足五欲，而自娛樂 。』」

[T1.495b09]「阿難！彼頂生王復遙見三十三天中，須彌山王上近於南邊猶如大雲，告諸臣曰：『卿等見三十三天中，須彌山王上近於南邊猶如大雲耶？』諸臣對曰：『見也，天王。』王復告曰：『卿等知不，是三十三天正法之堂，三十三天於此堂中，八日、十四日、十五日，為天為人，思法思義。阿難！彼頂生王即到三十三天，彼頂生王到三十三天已，即入法堂。』於是，天帝釋便與頂生王半座[2]令坐，彼頂生王即坐天帝釋半*座。於是，頂生王及天帝釋都無差別，光光無異，色色無異，形形無異，威儀禮節及其衣服亦無有異，唯眼眴異。』」

[T1.495b21]「阿難！彼頂生王而於後時極大久遠，復作是念：我有閻浮洲，極大富樂，多有人民，我有七寶，千子具足，及於宮中雨寶七日，積至于膝，我亦復有瞿陀尼洲，亦有弗婆鞞陀提洲，亦有欝單曰洲，我又已見三十三天雲集大會，我已得入諸天法堂，又天帝釋與我半座，我已得坐帝釋半*座，我與帝釋都無差別，光光無異，色色無異，形形無異，威儀禮節及其衣服亦無有異，唯眼眴異，我今寧可驅帝釋去，奪取半*座，作天人王，由己自在。」

[T1.495c02]「阿難！彼頂生王適發此念，不覺已下在閻浮洲，便失如意足，生極重病，命將終時，諸臣往詣頂生王所白曰：『天王。若有梵志、居士及臣人民，來問我等，頂生王臨命終時說何等事，天王，我等當云何答梵志、居士及臣人民！』 」

---

[1] 粳＝杭【明】
[2] 座＝坐【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.495c08] 「時，頂生王告諸臣曰：『若梵志、居士及臣人民，來問卿等，頂生王臨命終時說何等事，卿等應當如是答之，頂生王得閻浮洲，意不滿足而命終，頂生王得七寶，意不滿足而命終，千子具足，意不滿足而命終，頂生王七日雨寶，意不滿足而命終，頂生王得瞿陀尼洲，意不滿足而命終，頂生王得弗婆鞞陀提洲，意不滿足而命終，頂生王得欝單*曰洲，意不滿足而命終，頂生王見諸天集會，意不滿足而命終，頂生王具足五欲功德色、聲、香、味、觸，意不滿足而命終，若梵志、居士及臣人民，來問卿等，頂生王臨命終時說何等事，卿等應當如是答之。』」

[T1.495c20] 於是，世尊而說頌曰：

天雨妙珍寶　欲者無厭足　欲苦無有樂　慧者應當知
若有得金積[1]　猶如大雪山　一一無有足　慧者作是念
得天妙五欲　不以此五樂　斷愛不著欲　等正覺弟子

[T1.495c28] 於是，世尊告曰：「阿難！昔頂生王[2]，汝謂異人耶？莫作斯念，當知即是我也。阿難！我於爾時為自饒益，亦饒益他，饒益多人，愍傷世間，為天、為人求義及饒益，求安隱快樂，爾時說法不至究竟，不究竟白淨，不究竟梵行，不究竟梵行訖，爾時不離生老病死、啼哭憂慼，亦未能得脫一切苦。阿難！我今出世，如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上[土>士]、道法御、天人師，號佛、眾祐，我今自饒益，亦饒益他，饒益多人，愍傷世間，為天、為人求義及饒益，求安隱快樂，我今說法得至究竟，究竟白淨，究竟梵行，究竟梵行訖，我今得離生老病死、啼哭憂慼，我今已得脫一切苦。」

[T1.496a12] 佛說如是，尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.496a14] 四洲經第三竟[3](三千三百五十三字)[4]。

（六一）中阿含[5]王相應品

---

[1] 積＝[卄/積]【宋】【元】【明】
[2] 王＝者【宋】【元】【明】
[3]〔四…竟〕－【明】
[4]〔[二>三]千三百五十三字〕－【宋】【元】【明】
[5]〔中阿含〕－【明】

(Ma.61)牛糞喻經[1] 第四(初一日誦)[2]

[T1.496a17] 我聞如是。

[T1.496a17] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.496a18] 爾時，有一比丘在安靜處，燕坐思惟而作是念：「頗復有色常住不變，而一向樂，恒久存耶？頗有覺、想、行、識常住不變，而一向樂，恒久存耶？」

[T1.496a21] 彼一比丘則於晡時從燕坐起，往詣佛所，稽首作禮，却坐一面，白曰：「世尊！我今在安靜處燕坐思惟而作是念：頗復有色常住不變，而一向樂，恒久存耶？頗有覺、想、行、識常住不變，而一向樂，恒久存耶？」

[T1.496a25] 佛告比丘，無有一色常住不變，而一向樂，恒久存者，無有覺、想、行、識常住不變，而一向樂，恒久存者 。

[T1.496a28] 於是，世尊以手指爪抄少牛糞，告曰：「比丘！汝今見我以手指爪抄少牛糞耶？」

[T1.496a29] 比丘白曰：「見也。世尊！」

[T1.496b01] 佛復告曰比丘：「如是無有少色常住不變，而一向樂，恒久存也。如是無有少覺、想、行、識常住不變，而一向樂，恒久存也。所以者何？比丘，我憶昔時長夜作福，長作福已，長受樂報，比丘！我在昔時七年行慈，七反成敗，不來此世，世敗壞時，生晃昱天，世成立時，來下生空梵宮殿中，於彼梵中作大梵天，餘處千反，作自在天王，三十六反，作天帝釋，復無量反，作剎利頂生王。」

[T1.496b09]「比丘！我作剎利頂生王[3]時，有八萬四千大象，被好乘具，眾寶校飾，白珠珞[4]覆，于娑賀象王[5]為首，比丘！我作剎利頂生王時，有八萬四千馬，被好乘具，眾寶莊飾，金銀珓[6]珞[7]，[馬*毛]馬王[8]為首，比丘！我作剎利頂生王時，有八萬四千車，四種校飾，莊以眾好、師子、虎豹斑文之皮，織成

---

[1] ～《相應部》S.22.96. Gomayam(牛糞)，《雜阿含 264 經》(大正 2.67c)
[2] 〔初一日誦〕－【明】
[3] [>剎利頂生王]～Khattiyamuddhāvasitta.
[4] 珞＝絡【宋】【元】【明】
[5] [>于娑賀象王]～Uposathanāgarāja.
[6] 銀珓＝鏡校【宋】【元】【明】
[7] 珞＝絡【明】
[8] [>[馬*毛]馬王]～Valāhaka assarāja.

雜色，種種莊*飾，極利疾，名樂聲車[1]為首，比丘！我作剎利頂生王時，有八萬四千大城，極大富樂，多有人民，拘舍恕[2]堤[3]王城為首，比丘！我作剎利頂生王時，有八萬四千樓，四種寶樓，金、銀、琉璃及水精，正法殿[4]為首。」

[T1.496b21]「比丘！我作剎利頂生王時，有八萬四千御座，四種寶座，金、銀、琉璃及水精，敷以氍氀、毾[毯-炎+登]，覆以錦綺羅縠，有襯體被，兩頭安枕，加陵伽波恕邏[5]波遮悉多羅那，比丘！我作剎利頂生王時，有八萬四千雙衣，初[6]摩衣、錦衣、繒衣、劫貝衣、加陵伽波*恕邏衣，比丘！我作剎利頂生王時，有[>八]萬四千女，身體光澤，皎[7]潔明淨，美色過人，小不及天，姿容端正，覩者歡悅，眾寶瓔珞嚴飾具足，盡剎利種女，餘族無量，比丘！我作剎利頂生王時，有八萬四千種食，[盡>晝]夜常供，為我故設，欲令我食。」

[T1.496c03]「比丘！彼八萬四千種食中，有一種食，極美淨潔，無量種味，是我常所食，比丘！彼八萬四千女中，有一剎利女，最端正姝好，常奉侍我，比丘！彼八萬四千雙衣中，有一雙衣，或初[8]摩衣、或錦衣、或繒衣、或劫貝衣、或加陵伽波恕邏衣，是我常所著，比丘！彼八萬四千御座中，有一御座，或金、或銀、或琉[9]璃、或水精，敷以氍氀、毾[毯-炎+登]，覆以錦綺羅縠，有襯體被，兩頭安枕，加陵伽波*恕邏波遮悉多羅那，是我常所臥，比丘！彼八萬四千樓觀中，有一樓觀，或金、或銀、或*琉璃、或水精，名正法殿，是我常所住。」

[T1.496c14]「比丘！彼八萬四千大城中，而有一城，極大富樂，多有人民，名拘舍恕*堤，是我常所居，比丘！彼八萬四千車中，而有一車，莊以眾好、師子、虎豹斑文之皮[10]，織成雜色，種種莊飾，極利疾，名樂聲車，是我常所載，至望園觀，比丘！彼八萬四千馬中，而有一馬，體紺青色，頭像如烏，名[馬*毛]馬王，是我常所騎，至觀望園觀，比丘！彼八萬四千大象中，而有一象，舉體極白，七支盡正，名于娑賀象王，是我常所乘，至觀望園觀。」

[T1.496c23]「比丘！我作此念，是何業果，為何業報，令我今日有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，比丘！我復作此念，是三業果，為三業報，令我今日有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，一者布施，二者調御，

---

[1] 樂聲車～Vejayantaratha.
[2] [>拘舍恕堤]～Kusāvatī.
[3] 堤＝提【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 正法殿～Dhammapāsāda.
[5] 加陵伽波恕邏＝加陵伽波恕羅【宋】＊【元】＊【明】＊
[6] 初＝芻【元】【明】
[7] 皎＝皦【宋】【元】
[8] 初＝蒭【元】，＝芻【明】
[9] 琉＝瑠【宋】＊【元】＊【明】＊
[10] 皮＝毛【宋】【元】【明】

三者守護，比丘！汝觀彼一切所有[1]盡滅，如意足亦失，比丘！於意云何？色為為有常，為無常耶？」

[T1.497a01] 答曰：「無常也。世尊！」

[T1.497a02] 復問曰：「若無常者，是苦，非苦耶？」

[T1.497a03] 答曰：「苦、變易也。世尊！」

[T1.497a03] 復問曰：「若無常、苦、變易法者，是多聞聖弟子頗受是我，是我所，我是彼所耶？」

[T1.497a05] 答曰：「不也。世尊！」

[T1.497a05] 復問曰：「比丘！於意云何？覺、想、行、識為有常，為無常耶？」

[T1.497a06] 答曰：「無常也。世尊！」

[T1.497a07] 復問曰：「若無常者，是苦，非苦耶？」

[T1.497a07] 答曰：「苦、變易也。世尊！」

[T1.497a08] 復問曰：「若無常、苦、變易法者，是多聞聖弟子頗受是我，是我所，我是彼所耶？」

[T1.497a10] 答曰：「不也。世尊！」

[T1.497a10] 「是故，比丘！汝應如是學。若有色，或過去、或未來、或現在，或內、或外，或麤、或細、或好、或惡，或近、或遠，彼一切非我，非我所，我非彼所，當以慧觀知如真。若有覺、想、行、識，或過去、或未來、或現在，或內、或外，或麤、或細，或好、或惡、或近、或遠，彼一切非我，非我所，我非彼所，當以慧觀知如真，比丘！若多聞聖弟子如是觀者，彼便厭色，厭覺、想、行、識，厭已便無欲，無欲已便解脫，解脫已便知解脫，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。」

[T1.497a20] 於是，彼比丘聞佛所說，善受善持，即從坐起，稽首佛足，繞三匝而去。

[T1.497a22] 彼比丘受佛化已，獨住遠離，心無放逸，修行精勤，彼獨住遠離，心無放逸，修行精勤已，族姓子所為，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無

[1] 有＝行【宋】【元】【明】

家、學道者，唯無上梵行訖，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，如是彼比丘知法已，乃至得阿羅訶。

[T1.497a28] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.497b01] 牛糞喻經第四竟[1](千六百三十三字)[2]。

（六二）中阿含[3]王相應品

(Ma.62)[4]頻鞞娑邏[5]王迎佛經 第五(初一日誦)[6]

[T1.497b04] 我聞如是。

[T1.497b04] 一時，佛遊摩竭陀國，與大比丘眾俱，比丘一千悉無著、至真，本皆編髮，往詣王舍城摩竭陀邑。於是，摩竭陀王頻鞞娑*邏[7]聞世尊遊摩竭陀國，與大比丘眾俱，比丘一千悉無著、至真，本皆編髮，來此王舍城摩竭陀邑，摩竭陀王頻鞞娑*邏聞已，即集四種軍，象軍、馬軍、車軍，步軍，集四種軍已，與無數眾俱，長一由延，往詣佛所。於是，世尊遙見摩竭陀王頻鞞娑*邏來，則便避道，往至善住尼拘類樹王下，敷尼師檀[8]，結跏趺坐，及比丘眾。

[T1.497b14] 摩竭陀王頻鞞娑*邏遙見世尊在林樹間，端正姝好，猶星中月，光耀煒曄，晃若金山，相好具足，威神巍巍，諸根寂定，無有蔽礙，成就調御，息心靜默，見已下車，若諸王剎利以水灑頂，得為人主，整御大地，有五儀式，一者[9]劍，二*者蓋，三*者天[10]冠，四*者珠柄拂，五*者嚴飾屣[11]，一切除

---

[1]〔牛…竟〕－【明】
[2]〔千…字〕－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～No.41.《佛說頻毘沙羅王經》(大正 1.825a)。《律藏》〈大品〉(Mv. 1.22.)，《十誦律》卷 24(大正 23.174b)，《撰集百緣經》卷 2.19 經.〈頻婆娑羅王請佛緣〉(大正 4.212b)，《五分律》卷 16(大正 22.108.)，《四分律》卷 33(大正 22.794c)，《雜阿含 1074 經》(大正 2.279a)，《別譯雜阿含 13 經》(大正 2.377a)，梵 Bimbisāra-s.小經，藏(東北 289, 北京 955.)
[5] 邏＝羅【宋】＊【元】＊【明】＊
[6]〔初一日誦〕－【明】
[7] [>頻鞞娑邏]～Bimbisāra.
[8] 檀＝壇【宋】【元】【明】
[9]〔者〕－【宋】＊【元】＊【明】＊
[10] （曰）＋天【宋】【元】【明】
[11] 屣＝履【宋】【元】【明】

却，及四種軍，步進詣佛，到已作禮，三自稱名姓：「世尊！我是摩竭陀王洗尼[1]頻鞞娑*邏，如是至三。」

[T1.497b23] 於是，世尊告曰：「大王。如是，如是，汝是摩竭陀王洗尼頻鞞娑*邏。」

[T1.497b24] 於是，摩竭陀王洗尼頻鞞娑*邏再三自稱名姓已，為佛作禮，却坐一面，諸摩竭陀人或禮佛足，却坐一面，或問訊佛，却坐一面，或叉手向佛，却坐一面，或遙見佛已，默然而坐。

[T1.497b28] 爾時，尊者欝毘邏迦葉[2]亦在眾坐，尊者欝毘羅迦葉是摩竭陀人意之所係，謂大[3]尊師是無著真人。於是，摩竭陀人悉作是念：「沙門瞿曇從欝毘羅迦葉學梵行耶？為欝毘羅迦葉從沙門瞿曇學梵行耶？」

[T1.497c04] 爾時，世尊即知摩竭陀人心之所念，便向尊者欝毘羅迦葉而說頌曰：「

欝毘見何等　斷火來就此　迦葉為我說　所由不事火
飲食種種味　為欲故事火　生中見如此　是故不樂事
迦葉意不樂　飲食種種味　何不樂天人　迦葉為我說
見寂靜滅盡　無為不欲有　更無有尊天　是故不事火
世尊為最勝　世尊不邪思　了解覺諸法　我受最勝法

[T1.497c16] 於是，世尊告曰：「迦葉，汝今當為現如意足，令此眾會咸得信樂。」

[T1.497c17] 於是，尊者欝毘羅迦葉即如其像作如意足，便在坐沒，從東方出，飛騰虛空，現四種威儀，一行、二住、三坐、四臥。復次，入於火定，尊者欝毘羅迦葉入火定已，身中便出種種火焰[4]，青、黃、赤、白中水精色，下身出火，上身出水，上身出火，下身出水，如是南、西、北方，飛騰虛空，現四種威儀、一行、二住、三坐、四臥。復次，入於火定，尊者欝毘羅迦葉入火定已，身中便出種種火*焰，青、黃、赤、白中水精色，下身出火，上身出水，上身出火，下身出水。」

---

[1] [>洗尼]～Seniya.
[2] [>欝毘邏迦葉]～Uruvelakassapa.
[3] 大＝天【宋】【元】【明】
[4] 焰＝[火*僉]【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.497c27] 於是，尊者欝毘羅迦葉止[1]如意足已，為佛作禮，白曰：「世尊！佛是我師，我是佛弟子，佛[2]一切智，我無一切智。」

[T1.498a01] 世尊告曰：「如是，迦葉。如是，迦葉，我有一切智，汝無一切智。」

[T1.498a02] 爾時，尊者欝毘羅迦葉因自己故，而說頌曰：「

昔無所知時　為解脫事火　雖老猶生盲　邪不見真際
我今見上跡　無上龍所說　無為盡脫苦　見已生死盡

[T1.498a08] 諸摩竭陀人見如此已，便作是念：沙門瞿曇不從欝毘羅迦葉學梵行，欝毘羅迦葉從沙門瞿曇學梵行也。

[T1.498a10] 世尊知諸摩竭陀人心之所念，便為摩竭陀王洗尼頻鞞娑*邏說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，如諸佛法，先說端正法，聞者歡悅，謂說施、說戒、說生天法，毀呰欲為災患，生死為穢，稱歎無欲為妙道品白淨。

[T1.498a16] 世尊為彼大王說之：「佛已知彼有歡喜心、具足心、柔軟心、堪耐心、昇上心、一向心、無疑心、無盡[3]心，有能、有力堪受正法，謂如諸佛所說正要，世尊即為彼說苦、習[4]、滅、道，大王，色生滅，汝當知色生滅，大王，覺、想、行、識生滅，汝當知識生滅，大王，猶如[5]大雨時，水上之泡或生或滅，大王，色生滅亦如是，汝當知色生滅，大王，覺、想、行、識生滅，汝當知識生滅。」

[T1.498a24]「大王，若族姓子知色生滅，便知不復生當來色，大王，若族姓子知覺、想、行、識生滅，便知不復生當來識，大王，若族姓子知色如真，便不著色，不計色，不染色，不住色，不樂色是我，大王，若族姓子知覺、想、行、識如真，便不著識，不計識，不染識，不住識，不樂識是我，大王，若族姓子不著色，不計色，不染色，不住色，不樂色是我者，便不復更受當來色，大王，若族姓子不著覺、想、行、識，不計識，不染識，不住識，不樂識是我者，便不復更受當來識，大王，此族姓子無量、不可計、無限，得息寂，若捨此五陰已，則不更受陰也。於是，諸摩竭陀人而作是念：若使色無常，覺、想、行、識無常者，誰活，誰受苦樂。」

---

[1] 止＝現【宋】【元】【明】
[2] 佛＋（具）【宋】【元】【明】
[3] 盡＝蓋【宋】【元】【明】
[4] 習＝集【元】【明】
[5]〔如〕－【宋】【元】【明】

[T1.498b09] 世尊即知摩竭陀人心之所念，便告比丘：「愚癡凡夫不有所聞，見我是我而著於我，但無我、無我所，空我、空我所，法生則生，法滅則滅，皆由因緣合會生苦，若無因緣，諸苦便滅，眾生因緣會相連續則生諸法，如來見眾生相連續生已，便作是說，有生有死，我以清淨天眼出過於人，見此眾生死時、生時，好色、惡色，或妙、不妙，往來善處及不善處，隨此眾生之所作業，見其如真。」

[T1.498b18] 「若此眾生成就身惡行，口、意惡行，誹謗聖人，邪見成就邪見業，彼因緣此，身壞命終，必至惡處，生地獄中，若此眾生成就身善行，口、意善行，不誹謗聖人，正見成就正見業，彼因緣此，身壞命終，必昇善處，乃至天上，我知彼如是，然不語彼，此是我為能覺、能語、作教、作起、教起，謂彼彼處受善惡業報，於中或有作是念：此不相應，此不得住，其行如法，因此生彼，若無此因便不生彼，因此有彼，若此滅者，彼便滅也。所謂緣無明有行，乃至緣生有老死，若無明滅，則行便滅，乃至生滅則老死滅。大王，於意云何？色為有常，為無常耶？」

[T1.498c01] 答曰：「無常也。世尊！」

[T1.498c01] 復問曰：「若無常者，是苦，非苦耶？」

[T1.498c02] 答曰：「苦、變易也。世尊！」

[T1.498c03] 復問曰：「若無常、苦、變易法者，是多聞聖弟子頗受是我，是我所，我是彼所耶？」

[T1.498c04] 答曰：「不也。世尊！」

[T1.498c05] 大王，於意云何？覺、想、行、識為有常，為無常耶？」

[T1.498c06] 答曰：「無常也。世尊！」

[T1.498c06] 復問曰：「若無常者，是苦，非苦耶？」

[T1.498c07] 答曰：「苦、變易也。世尊！」

[T1.498c07] 復問曰：「若無常、苦、變易法者，是多聞聖弟子頗受是我，是我所，我是彼所耶？」

[T1.498c09] 答曰：「不也。世尊！」

[T1.498c09] 「大王。是故汝當如是學。若有色，或過去、或未來、或現在，或內、或外，或麤、或細、或好、或惡、或近、或遠，彼一切非我，非我所，我非彼所，當以慧觀知如真，大王。若有覺、想、行、識，或過去、或未來、或現在，或內、或外，或麤、或細，或好、或惡，或近、或遠，彼一切非我，非我所，我非彼所，當以慧觀知如真，大王，若多聞聖弟子如是觀者，彼便厭色，厭覺、想、行、識，厭已便無欲，無欲已便得解脫，解脫已便知解脫，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。」

[T1.498c20] 佛說此法時，摩竭陀王洗尼頻鞞娑邏遠塵離垢，諸法法眼生，及八萬天、摩竭陀諸人萬二千，遠塵離垢，諸法法眼生。於是，摩竭陀王洗尼頻鞞娑邏見法得法，覺白淨法，斷疑度惑，更無餘尊，不復從他，無有猶豫，已住果證，於世尊法得無所畏，即從坐起，稽首佛足，白曰：「世尊！我今自歸於佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.498c28] 佛說如是，摩竭陀王洗尼頻鞞娑邏及八萬天、摩竭諸人萬二千及千比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.499a02] 頻鞞娑邏王迎佛經第五竟 [1](二千二百二十字)[2]，

中阿含 [3]經卷第十一(七千九百九十六字) [4]

中阿含經

卷第十二 (Ma.63～64)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯 [5]

（六三）中阿含 [6]王相應品 [7]

---

[1]〔頻…竟〕－【明】
[2]〔二千…字〕－【宋】【元】【明】
[3] ＋（初一日誦）【元】【明】
[4]〔七千…字〕－【宋】【元】【明】
[5] 譯＝誦【宋】【元】
[6]〔中阿含〕－【明】
[7] 王相應品四字及初一日誦四字在前行【宋】【元】

(Ma.63) [1]鞞婆陵耆經 [2] 第六(初一日誦)[3]

[T1.499a11] 我聞如是。

[T1.499a11] 一時，佛遊拘薩羅國。

[T1.499a11] 爾時，世尊與大比丘眾俱行道，中路欣然而笑，尊者阿難見世尊笑，叉手向佛，白曰：「世尊！何因緣笑，諸佛如來、無所著、等正覺若無因緣，終不妄笑，願聞其意。」

[T1.499a15] 彼時，世尊告曰：「阿難！此處所中，迦葉如來、無所著、等正覺在此處坐，為弟子說法。」

[T1.499a17] 於是，尊者阿難即在彼處速疾敷座，叉手向佛，白曰：「世尊！唯願世尊亦坐此處，為弟子說法，如是此處為二如來、無所著、等正覺所行。」

[T1.499a20] 爾時，世尊便於彼處坐尊者阿難所敷之座，坐已，告曰：「阿難！此處所中，迦葉如來、無所著、等正覺有講堂，迦葉如來、無所著、等正覺於中坐已，為弟子說法。阿難！此處所中昔有村邑，名鞞婆陵耆 [4]，極大豐樂，多有人民。阿難！鞞婆陵耆村邑之中有梵志大長者，名曰無恚，極大富樂，資財無量，畜牧產業不可稱計，封戶食邑種種具足。阿難！梵志大長者無恚有子，名優多羅摩納，為父母所舉，受生清淨，乃至七世父母不絕種族，生生無惡，博聞總持，誦過四典經，深達因、緣、正、文、戲五句說。阿難！優多羅童子有善朋友，名難提波羅陶師，常為優多羅童子之所愛念，喜見無厭。」

[T1.499b04] 「阿難！難提波羅陶師歸佛、歸法、歸比丘眾，不疑三尊，不惑苦、習 [5]、滅、道，得信、持戒、博聞、惠施、成就智慧，離殺、斷殺、棄捨刀杖，有慚有愧，有慈悲心，饒益一切乃至蜫蟲，彼於殺生淨除其心。阿難！難提波羅陶師離不與取，斷不與取，取之乃取，樂於與取，常好布施，歡喜無悋，不望其報，彼於不與取淨除其心。阿難！難提波羅陶師離非梵行，斷非梵行，勤修梵行，精勤妙行，清淨無穢，離欲斷婬，彼於非梵行淨除其心。」

[T1.499b14]「阿難！難提波羅陶師離妄言，斷妄言，真諦言，樂真諦，住真諦不移動，一切可信，不欺世間，彼於妄言淨除其心。阿難！難提波羅陶師離兩舌，斷兩舌，行不兩舌，不破壞他，不聞此語彼，欲破壞此，不聞彼語此，欲

---

[1] cf. M. 81. Ghaṭīkāra Sutta. (陶師經)
[2] （麗）＋陵【宋】【元】【明】
[3]〔初一日誦〕－【明】
[4] [>鞞婆陵耆]～Vebhaḷinga.
[5] 習＝集【元】【明】

破壞彼，離者欲合，合者歡喜，不作群黨，不樂群黨，不稱群黨，彼於兩舌淨除其心。阿難！難提波羅陶師離麤言，斷麤言。若有所言辭氣麤獷，惡聲逆耳，眾所不喜，眾所不愛，使他苦惱，令不得定，斷如是言。若有所說清和柔潤，順耳入心，可喜可愛，使他安樂，言聲具了，不使人畏，令他得定，說如是言，彼於麤言淨除其心。阿難！難提波羅陶師離綺語，斷綺語，時說、真說、法說、義說、止息說、樂止息說，事順時得宜，善教善訶，彼於綺語淨除其心。」

[T1.499c01]「阿難！難提波羅陶師離治生，斷治生，棄捨稱量及斗斛，棄捨受貨，不縛束人，不望折斗量，不以小利侵欺於人，彼於治生淨除其心。阿難！難提波羅陶師離受寡婦、童女，斷受寡婦、童女，彼於受寡婦、童女淨除其心。阿難！難提波羅陶師離受奴婢，斷受奴婢，彼於受奴婢淨除其心。阿難！難提波羅陶師離受象、馬、牛、羊，斷受象、馬、牛、羊，彼於受象、馬、牛、羊淨除其心。阿難！難提波羅陶師離受雞、猪，斷受雞、猪，彼於受雞、猪淨除其心。阿難！難提波羅陶師離受田業、店肆，斷受田業、店肆，彼於受田業、店肆淨除其心。阿難！難提波羅陶師離受生稻、麥、豆，斷受生稻、麥、豆，彼於受生稻、麥、豆淨除其心。」

[T1.499c15] 「阿難！難提波羅陶師離酒、斷酒，彼於飲酒淨除其心。阿難！難提波羅陶師離高廣大床，斷高廣大床，彼於高廣大床淨除其心。阿難！難提波羅陶師離華鬘、瓔珞、塗香、脂粉，斷華鬘、瓔珞、塗香、脂粉，彼於華鬘、瓔珞、塗香、脂粉淨除其心。阿難！難提波羅陶師離歌舞倡妓及往觀聽，斷歌舞倡妓及往觀聽，彼於歌舞倡妓及往觀聽淨除其心。阿難！難提波羅陶師離受生色像寶，斷受生色像寶，彼於生色像寶淨除其心。阿難！難提波羅陶師離過中食，斷過中食，常一食，不夜食，學時食，彼於過中食淨除其心。』

[T1.499c27] 「阿難！難提波羅陶師盡形壽手離鏵鍬，不自掘地，亦不教他，若水岸崩土及鼠傷[1]土，取用作器，舉著一面，語買者曰：「汝等若有豌豆、稻、麥、大小麻豆、豍豆、芥子，瀉[2]已持器去，隨意所欲。』

[T1.500a02] 「阿難！難提波羅陶師盡形壽供侍父母，父母無目，唯仰於人。是故供侍。』

[T1.500a04] 「阿難！難提波羅陶師過夜平旦，往詣迦葉如來、無所著、等正覺所，到已作禮，却坐一面，迦葉如來、無所著、等正覺為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，默然而住，阿難！於

[1] 傷＝場【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 瀉＝寫【宋】＊【元】＊【明】＊

是，難提波羅陶師，迦葉如來、無所著、等正覺為其說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即從坐起，禮迦葉如來、無所著、等正覺足[1]已，繞三匝而去。』

[T1.500a12] 爾時，優多羅童子乘白馬車，與五百童子俱，過夜平旦，從鞞婆陵耆村邑出，往至一無事處，欲教若干國來諸弟子等，令讀梵志書。於是，優多羅童子遙見難提波羅陶師來，見已便問，難提波羅，汝從何來，難提波羅答曰：「我今從迦葉如來、無所著、等正覺所供養禮事來，優多羅，汝可共我往詣迦葉如來、無所著、等正覺所供養禮事」。於是，優多羅童子答曰：「難提波羅，我不欲見禿頭沙門，禿沙門不應得道，道難得故。」於是，難提波羅陶師捉優多羅童子頭髻[2]，牽令下車。於是，優多羅童子便作是念：「此難提波羅陶師常不調戲，不狂不癡，今捉我頭*髻，必當有以。」念已，語曰：「難提波羅，我隨汝去，我隨汝去，難提波羅喜，復語曰：「去者甚善。」

[T1.500a27] 於是，難提波羅陶師與優多羅童子共往詣迦葉如來、無所著、等正覺所，到已作禮，却坐一面，難提波羅陶師白迦葉如來、無所著、等正覺曰：「世尊！此優多羅童子是我朋友，彼常見愛，常喜見我，無有厭足，彼於世尊無信敬心，唯願世尊善為說法，令彼歡喜得信敬心。於是，迦葉如來、無所著、等正覺為難提波羅陶師及優多羅童子說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，默然而住。於是，難提波羅陶師及優多羅童子，迦葉如來、無所著、等正覺為其說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即從坐[3]起，禮迦葉如來、無所著、等正覺足，繞三匝而去。」

[T1.500b11] 於是，優多羅童子還去不遠，問曰：「難提波羅，汝從迦葉如來、無所著、等正覺得聞如是微妙之法，何意住家，不能捨離學聖道耶？」於是，難提波羅陶師答曰：「優多羅，汝自知我盡形壽供養父母，父母無目，唯仰於人，我以供養侍父母故。於是，優多羅童子問難提波羅，我可得從迦葉如來、無所著、等正覺出家學道，受於具足，得作比丘，行梵行耶？於是，難提波羅陶師及優多羅童子即從彼處復往詣迦葉如來、無所著、等正覺所，到已作禮，却坐一面。」

[T1.500b21] 難提波羅陶師白迦葉如來、無所著、等正覺曰：「世尊！此優多羅童子還去不遠，而問我言：『難提波羅，汝從迦葉如來、無所著、等正覺得聞如是微妙之法，何意住家，不能捨離學聖道耶？』世尊！我答彼曰：『優多羅，汝自知我盡形壽供養父母，父母無目，唯仰於人，我以供養侍父母故。』優多羅復問我曰：『難提波羅，我可得從迦葉如來、無所著、等正覺出家學道，受於具足，得作比丘，行梵行耶？』願世尊度彼出家學道，授與具足，得作比丘，迦葉

---

[1]〔足〕－【宋】【元】【明】
[2] 髻＝髮【宋】【元】【明】[>＊]
[3] 坐＝座【元】【明】＊

如來、無所著、等正覺為難提波羅默然而受。」於是，難提波羅陶師知迦葉如來、無所著、等正覺默然受已，即從坐起，稽首作禮，繞三匝而去。

[T1.500c06] 於是，迦葉如來、無所著、等正覺，難提波羅去後不久，度優多羅童子出家學道，授與具足，出家學道，授與具足已，於鞞婆陵耆村邑隨住數日，攝持衣鉢，與大比丘眾俱，共遊行，欲至波羅奈[1]迦私[2]國邑，展轉遊行，便到波羅奈迦私國邑，遊波羅奈住仙人處鹿野園[3]中。

[T1.500c12] 於是，頻鞞[4]王聞迦葉如來、無所著、等正覺遊行迦私國，與大比丘眾俱，到此波羅奈住仙人處鹿野園中，*頻鞞王聞已，告御者曰：「汝可嚴駕，我今欲往詣迦葉如來、無所著、等正覺所，時，彼御者受王教已，即便嚴駕，嚴駕已訖，還白王曰：「已嚴好車，隨天王意。」

[T1.500c18] 於是，*頻鞞王乘好車已，從波羅奈出，往詣仙人住處鹿野園中，時，*頻鞞王遙見樹間迦葉如來、無所著、等正覺，端正姝好，猶星中月，光耀煒曄，晃若金山，相好具足，威神巍巍，諸根寂定，無有蔽礙，成就調御，息心靜默，見已下車，步詣迦葉如來、無所著、等正覺所，到已作禮，却坐一面，*頻鞞王坐一面已，迦葉如來、無所著、等正覺為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，默然而住。

[T1.500c27] 於是，*頻鞞王，迦葉如來、無所著、等正覺為其說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即從*坐起，偏袒著衣，叉手而向，白迦葉如來、無所著、等正覺曰：「唯願世尊明受我請，及比丘眾，迦葉如來、無所著、等正覺為*頻鞞王默然受請。」於是，頻鞞王知迦葉如來、無所著、等正覺默然受已，稽首作禮，繞三匝而去，還歸其家，於夜施設極美淨妙種種豐饒食噉含消，即於其夜供辦已訖，平旦敷床唱曰：「世尊！今時已到，食具已辦，唯願世尊以時臨顧。」

[T1.501a08] 於是，迦葉如來、無所著、等正覺過夜平旦，著衣持鉢，諸比丘眾侍從世尊往詣*頻鞞王家，在比丘眾上敷座而坐。於是，*頻鞞王見佛及比丘眾坐已，自行澡水，以極美淨妙種種豐饒食噉含消，手自斟酌，令得飽滿，食訖收器，行澡水竟，敷一小床，別坐聽法，*頻鞞王坐已，迦葉如來、無所著、等正覺為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，默然而住。

---

[1] 波羅奈＝波羅柰【明】～Bārāṇasī.
[2] [>迦私]～Kāsī.
[3] 仙人處鹿野園～Isipatana Migadāya.
[4] 頻鞞＝頻鞞【宋】＊【元】＊【明】＊ ～Kikin.

[T1.501a17] 於是，*頻鞞王，迦葉如來、無所著、等正覺為其說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即從*坐起，偏袒著衣，叉手而向，白迦葉如來、無所著、等正覺曰：「唯願世尊於此波羅奈受我夏坐，及比丘眾，我為世尊作五百房、五百床褥，及施拘執如此白粳[1]米。」王之所食種種諸味，飯飼[2]世尊及比丘眾，迦葉如來、無所著、等正覺告*頻鞞王曰：「止，止，大王，但心喜足。」*頻鞞王如是至再三，叉手而向，白迦葉如來、無所著、等正覺曰：「唯願世尊於此波羅奈受我夏坐，及比丘眾，我為世尊作五百房、五百床褥，及施拘執如此白*粳米。」王之所食種種諸味，飯*飼世尊及比丘眾，迦葉如來、無所著、等正覺亦再三告*頻鞞王曰：「止，止，大王，但心喜足。」

[T1.501b03] 於是，*頻鞞王不忍不欲，心大憂慼，迦葉如來、無所著、等正覺不能為我於此波羅奈而受夏坐，及比丘眾，作是念已，*頻鞞王白迦葉如來、無所著、等正覺曰：「世尊！頗更有在家白衣，奉事世尊如我者耶？」

[T1.501b08] 迦葉如來、無所著、等正覺告*頻鞞王曰：「有，在王境界鞞婆陵耆村極大豐樂，多有人民，大王，彼鞞婆陵耆村中有難提波羅陶師，大王，難提波羅陶師歸佛、歸法、歸比丘眾，不疑三尊，不惑苦、*習、滅、道，得信、持戒、博聞、惠施、成就智慧，離殺、斷殺，棄捨刀杖，有慙有愧，有慈悲心，饒益一切乃至蜫蟲，彼於殺生淨除其心，大王，難提波羅陶師離不與取，斷不與取，與之乃取，樂於與取，常好布施，歡喜無悋，不望其報，彼於不與取淨除其心，大王，難提波羅陶師離非梵行，斷非梵行，勤修梵行，精懃妙行，清淨無穢，離欲斷婬，彼於非梵行淨除其心。」

[T1.501b21] 「大王，難提波羅陶師離妄言，斷妄言，真諦言，樂真諦，住真諦不移動，一切可信，不欺世間，彼於妄言淨除其心，大王，難提波羅陶師離兩舌，斷兩舌，行不兩舌，不破壞他，不聞此語彼，欲破壞此，不聞彼語此，欲破壞彼，離者欲合，合者歡喜，不作群黨，不樂群黨，不稱群黨，彼於兩舌淨除其心。大王，難提波羅陶師離麤言，斷麤言。若有所言辭氣麤獷，惡聲逆耳，眾所不喜，眾所不愛，使他苦惱，令不得定，斷如是言。若有所說清和柔潤，順耳[人>入]心，可喜可愛，使他安樂，言聲具了，不使人畏，令他得定，說如是言，彼於麤言淨除其心。大王，難提波羅陶師離綺語，斷綺語，時說、真說、法說、義說、止息說、樂止息說，事順時得[3]宜，善教善訶，彼於綺語淨除其心。」

[T1.501c07] 「大王，難提波羅陶師離治生，斷治生，棄捨稱量及斗斛，亦不受貨，不縛束人，不望折斗量，不以小利侵欺於人，彼於治生淨除其心。大王，

---

[1] 粳＝杭【明】＊
[2] 飼＝供【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 時得＝得時【宋】【元】【明】

難提波羅陶師離受寡婦、童女，斷受寡婦、童女，彼於受寡婦、童女[1]淨除其心。大王，難提波羅陶師離受奴婢，斷受奴婢，彼於受奴婢淨除其心，大王，難提波羅陶師離受象、馬、牛、羊，斷受象、馬、牛、羊，彼於受象、馬、牛、羊淨除其心。大王，難提波羅陶師離受雞、猪，斷受雞、猪，彼於受雞、猪淨除其心。大王，難提波羅陶師離受田業、店肆，斷受田業、店肆，彼於受田業、店肆淨除其心。大王，難提波羅陶師離受生稻、麥、豆，斷受生稻、麥、豆，彼於受生稻、麥、豆淨除其心。」

[T1.501c22] 「大王，難提波羅陶師離酒、斷酒，彼於飲酒淨除其心。大王，難提波羅陶師離高廣大床，斷高廣大床，彼於高廣大床淨除其心。大王，難提波羅陶師離華鬘、瓔珞、塗香、脂粉，斷華鬘、瓔珞、塗香、脂粉，彼於華鬘、瓔珞、塗香、脂粉淨除其心。大王，難提波羅陶師離歌舞倡妓及往觀聽，斷歌舞倡妓及往觀聽，彼於歌舞倡妓及往觀聽淨除其心。大王，難提波羅陶師離受生色像寶，斷受生色像寶，彼於受生色像寶淨除其心。大王，難提波羅陶師離過中食，斷過中食，常一食，不夜食，學時食，彼於過中食淨除其心。」

[T1.502a04] 「大王，難提波羅陶師盡形壽手離鏵鍬，不自掘地，亦不教他，若水岸崩土及鼠*傷土，取用作器，舉著一面，語買者言，汝等若有豌豆、稻、麥、大小麻豆、豍豆、芥子，瀉已持器去，隨意所欲。」

[T1.502a09] 「大王，難提波羅陶師盡形壽供侍父母，父母無目，唯仰於人。是故供侍。」

[T1.502a10] 「大王，我憶昔時依鞞婆陵耆村邑遊行，大王，我爾時平旦著衣持鉢，入鞞婆陵耆村邑乞食，次第乞食，往到難提波羅陶師家。爾時，難提波羅為小事故，出行不在，大王，我問難提波羅陶師父母曰：「長老，陶師今在何處。」彼答我曰：「世尊！侍者為小事故，暫出不在，善逝，侍者為小事故，暫出不在。世尊！籮中有麥飯，釜中有豆羹，唯願世尊為慈愍故隨意自取，大王，我便受鬱單曰[2]法，即於籮釜中取羹飯而去。」

[T1.502a20]「難提波羅陶師於後還家，見籮中飯少，釜中羹減，白父母曰：『誰取羹飯。』父母答曰：『賢子，今日迦葉如來、無所著、等正覺至此乞食，彼於籮釜中取羹飯去。』難提波羅陶師聞已，便作是念：『我有善利，有大功德，迦葉如來、無所著、等正覺於我家中隨意自在，彼以此歡喜結跏趺坐，息心靜默，至于七日，於十五日中而得歡樂，其家父母於七日中亦得歡樂。　』」

---

[1] 女＝子【明】
[2] 曰＝越【明】＊

[T1.502a28]「復次，大王，我憶昔時依鞞婆陵耆村邑遊行，大王，我爾時平旦著衣持鉢，入鞞婆陵耆村邑乞食，次第乞食，往到難提波羅陶師家，爾時，難提波羅為小事故，出行不在，大王，我問難提波羅陶師父母曰：『長老，陶師今在何處。』彼答我曰：『世尊！侍者為小事故，暫出不在，善逝，侍者為小事故，暫出不在。世尊！大釜中有*粳米飯，小釜中有羹，唯願世尊為慈愍故隨意自取。』大王，我便受欝單曰法，即於大小釜中取羹飯去。」

[T1.502b09] 「難提波羅陶師於後還家，見大釜中飯少，小釜中羹減，白父母曰：「誰大釜中取飯，小釜中取羹，父母答曰：『賢子，今日迦葉如來、無所著、等正覺至此乞食，彼於大小釜中取羹飯去。』難提波羅陶師聞已，便作是念：『我有善利，有大功德，迦葉如來、無所著、等正覺於我家中隨意自在，彼以此歡喜結跏趺坐，息心靜默，至于七日，於十五日中而得歡樂，其家父母於七日中亦得歡樂』。」

[T1.502b18]「復次，大王，我憶昔時依鞞婆陵耆村邑而受夏坐，大王，我爾時新作屋未覆，難提波羅陶師故陶屋新覆，大王，我告瞻侍比丘曰：『汝等可去壞難提波羅陶師故陶屋，持來覆我屋，瞻侍比丘即受我教，便去往至難提波羅陶師家，挽壞故陶屋，作束持來用覆我屋。』難提波羅陶師父母聞壞故陶屋，聞已，問曰：『誰壞難提波羅故陶屋耶？』比丘答曰：『長老，我等是迦葉如來、無所著、等正覺瞻侍比丘，挽壞難提波羅陶師故陶屋，作束用覆迦葉如來、無所著、等正覺屋。』難提波羅父母語曰：『諸賢，隨意持去，無有制者。』」

[T1.502c01] 「難提波羅陶師於後還家，見挽壞故陶屋，白父母曰：『誰挽壞我故陶屋耶？父母答曰：『賢子，今日迦葉如來、無所著、等正覺瞻侍比丘挽壞故陶屋，作束持去，用覆迦葉如來、無所著、等正覺屋。』難提波羅陶師聞已，便作是念：『我有善利，有大功德，迦葉如來、無所著、等正覺於我家中隨意自在，彼以此歡喜結加[1]趺坐，息心靜默，至于七日，於十五日中而得歡樂，其家父母於七日中亦得歡樂。』」

[T1.502c10] 「大王，難提婆羅陶師故陶屋竟夏四月都不患漏。所以者何？蒙佛威神故，大王，難提波羅陶師無有不忍，無有不欲，心無憂慼，迦葉如來、無所著、等正覺於我家中隨意自在，大王，汝有不忍，汝有不欲，心大憂慼，迦葉如來、無所著、等正覺不受我請，於此波羅奈而受夏坐，及比丘眾。於是，迦葉如來、無所著、等正覺為*頻鞞王說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，從坐起去。」

[T1.502c20] 時，*頻鞞王於迦葉如來、無所著、等正覺去後不久，便勅侍者，汝等可以五百乘車載滿白粳米，王之所食種種諸味，載至難提波羅陶師家，而

[1] 加＝跏【宋】【元】【明】

語之曰：「難提波羅，此五百乘車載滿白*粳米，王之所食種種諸味，*頰鞞王送來餉汝，為慈愍故，汝今當受，時，彼侍者受王教已，以五百乘車載滿白*粳米，王之所食種種諸味，送詣難提波羅陶師家。」到已，語曰：「難提波羅陶師，此五百乘車載滿白*粳米，王之所食種種諸味，*頰鞞王送來餉汝，為慈愍故，汝今當受。」於是，難提波羅陶師辭讓不受，語侍者曰：「諸賢！*頰鞞王家國大事多，費用處廣，我知如此，以故不受。」

[T1.503a03] 佛告阿難：「於意云何？爾時童子優多羅者，汝謂異人耶？莫作斯念，當知即是我也。阿難！我於爾時為自饒益，亦饒益他，饒益多人，愍傷世間，為天、為人求義及饒益，求安隱快樂，爾時說法不至究竟，不究竟白淨，不究竟梵行，不究竟梵行訖，爾時不離生老病死、啼哭憂慼，亦未能得脫一切苦。阿難！我今出世，如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，我今自饒益，亦饒益他，饒益多人，愍傷世間，為天、為人求義及饒益，求安隱快樂，我今說法得至究竟，究竟白淨，究竟梵行，究竟梵行訖，我今已離生老病死、啼哭憂慼，我今已得脫一切苦。」

[T1.503a17] 佛說如是，尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.503a20]鞞婆陵[1]耆經第六竟[2](五千七百三十四字)[3]，

（六四）中阿含[4]王相應品

(Ma.64)天使經 第七[5](初一日誦)[6]

[T1.503a23] 我聞如是。

[T1.503a23] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.503a24] 爾時，世尊告諸比丘：「我以淨天眼出過於人，見此眾生死時、生時，好色、惡色，或妙、不妙，往來善處及不善處，隨此眾生之所作業，見其如真，若此眾生成就身惡行，口、意惡行，誹謗聖人，邪見成就邪見業，彼因

---

[1] （麗）＋陵【宋】【元】
[2]〔鞞…竟〕八字－【明】
[3]〔五千…字〕八字－【宋】【元】【明】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～《中部》M. 130. Devadūta Sutta (天使經)，No.42.《鐵城泥梨經》(大正 1.826c)，No.43.《閻羅王五使者經》(大正 1.828b)，《增壹阿含 32.4 經》(大正 2.674b)
[6]〔初一日誦〕－【明】

緣此，身壞命終，必至惡處，生地獄中，若此眾生成就身妙行，口、意妙行，不誹謗聖人，正見成就正見業，彼因緣此，身壞命終，必昇善處，乃生天上。』

[T1.503b03]「猶大雨時，水上之泡，或生或滅。若有目人住一處，觀生時、滅時，我亦如是，以淨天眼出過於人，見此眾生死時、生時，好色、惡色，或妙、不妙，往來善處及不善處，隨此眾生之所作業，見其如真，若此眾生成就身惡行，口、意惡行，誹謗聖人，邪見成就邪見業，彼因緣此，身壞命終，必至惡處，生地獄中，若此眾生成就身妙行，口、意妙行，不誹謗聖人，正見成就正見業，彼因緣此，身壞命終，必昇善處，乃[1]生天上。』

[T1.503b12]「猶大雨時，雨墮之滴[2]或上或下。若有目人住一處，觀上時、下時，我亦如是，以淨天眼出過於人，見此眾生，死時、生時，好色、惡色，或妙、不妙，往來善處及不善處，隨此眾生之所作業，見其如真，若此眾生成就身惡行，口、意惡行，誹謗聖人，邪見成就邪見業，彼因緣此，身壞命終，必至惡處，生地獄中，若此眾生成就身妙行，口、意妙行，不誹謗聖人，正見成就正見業，彼因緣此，身壞命終，必昇善處，乃生[3]天上。』

[T1.503b22]「猶琉[4]璃珠，清淨自然，生無瑕穢，八楞善治，貫以妙繩，或青或黃，或赤、黑、白。若有目人住一處，觀此*琉璃珠，清淨自然，生無瑕穢，八楞善治，貫以妙繩，或青或黃，或赤、黑、白，我亦如是，以淨天眼出過於人，見此眾生死時、生時，好色、惡色，或妙、不妙，往來善處及不善處，隨此眾生之所作業，見其如真，若此眾生成就身惡行，口、意惡行，誹謗聖人，邪見成就邪見業，彼因緣此，身壞命終，必至惡處，生地獄中，若此眾生成就身妙行，口、意妙行，不誹謗聖人，正見成就正見業，彼因緣此，身壞命終，必昇善處，乃*生天上。』

[T1.503c04]「猶如兩屋共一門，多人出入。若有目人住一處，觀出時入時，我亦如是，以淨天眼出過於人，見此眾生死時、生時，好色、惡色，或妙、不妙，往來善處及不善處，隨此眾生之所作業，見其如真，若此眾生成就身惡行，口、意惡行，誹謗聖人，邪見成就邪見業，彼因緣此，身壞命終，必至惡處，生地獄中，若此眾生成就身妙行，口、意妙行，不誹謗聖人，正見成就正見業，彼因緣此，身壞命終，必昇善處，乃生天上。』

[T1.503c13]「若有目人住高樓上，觀於下人往來周旋、坐臥走踊，我亦如是，以淨天眼出過於人，見此眾生死時、生時，好色、惡色，或妙、不妙，往來善處及不善處，隨此眾生之所作業，見其如真，若此眾生成就身惡行，口、意惡

---

[1] 乃＝及【宋】【元】【明】
[2] 滴＝滴【宋】【元】【明】
[3] 生＝至【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 琉＝瑠【明】＊

行，誹謗聖人，邪見成就邪見業，彼因緣此，身壞命終，必至惡處，生地獄中，若此眾生成就身妙行，口、意妙行，不誹謗聖人，正見成就正見業，彼因緣此，身壞命終，必昇善處，乃生天上。』

[T1.503c22]「若有眾生生於人間，不孝父母，不知尊敬[門沙>沙門]、梵志，不行如實，不作福業，不畏後世罪，彼因緣此，身壞命終，生閻王境界，閻王人收送詣王所，白曰：『天王，此眾生本為人時，不孝父母，不知尊敬沙門、梵志，不行如實，不作福業，不畏後世罪，唯願天王處當其罪』。』

[T1.503c29]「於是，閻王以初天使善問、善撿、善教、善訶：『汝頗曾見初天使來耶？』彼人答曰：『不見也。天王。』閻王復問：『汝本不見一村邑中，或男或女，幼小嬰孩，身弱柔軟，仰向自臥大小便中，不能語父母，父母抱移離不淨處，澡浴其身，令得淨潔。』彼人答曰：『見也。天王。』閻王復問：『汝於其後有識知時，何不作是念：我自有生法，不離於生，我應行妙身、口、意業。』彼人白曰：『天王，我了敗壞，長衰永失耶？』閻王告曰：『汝了敗壞，長衰永失，今當考[1]汝，如治放逸行、放逸人，汝此惡業非父母為，非王非天，亦非沙門、梵志所為，汝本自作惡不善業。是故汝今必當受報』。』

[T1.504a12]「閻王以此初天使善問、善撿、善教、善訶已，復以第二天使善問、善撿、善教、善訶：『汝頗曾見第二天使來耶？』彼人答曰：『不見也。天王。』閻王復問，汝本不見一村邑中，或男或女，年耆極老，壽過苦極，命垂欲訖，齒落頭白，身曲[2]步，拄杖而行，身體戰動耶？』彼人答曰：『見也。天王。』閻王復問：『汝於其後有識知時，何不作是念：我自有老法，不離於老，我應行妙身、口、意業。』彼人白曰：『天王，我了敗壞，長衰永失耶？』閻王告曰：『汝了敗壞，長衰永失，今當*考汝，如治放逸行、放逸人，汝此惡業非父母為，非王非天，亦非沙門、梵志所為，汝本自作惡不善業。是故汝今必當受報』。』

[T1.504a25]「閻王以此第二天使善問、善撿、善教、善訶已，復以第三天使善問、善撿、善教、善訶：『汝頗曾見第三天使來耶？』彼人答曰：『不見也。天王。』閻王復問：『汝本不見一村邑中，或男或女，疾病困篤，或坐臥床，或坐臥榻，或坐臥地，身生極苦甚重苦，不可愛念，令促命耶？』彼人答曰：『見也。天王。』閻王復問：『汝於其後有識知時，何不作是念：我自有病法，不離於病，我應行妙身、口、意業。』彼人白曰：『天王，我了敗壞，長衰永失耶？』閻王告曰：『汝了敗壞，長衰永失，今當*考汝，如治放逸行、放逸人，汝此惡行非父母為，非王非天，亦非沙門、梵志所為，汝本自作惡不善業。是故汝今必當受報』。』

---

[1] 考＝拷【元】【明】＊
[2] 螻＝僂【宋】【元】【明】

[T1.504b09]「閻王以此第三天使善問、善撿、善教、善訶已，復以第四天使善問、善撿、善教、善訶：『汝頗曾見第[>四]天使來耶？』彼人答曰：『不見也。天王。』閻王復問：『汝本不見一村邑中，或男或女，若死亡時，或一、二日，至六、七日，烏鵄所啄[1]，犲狼所食，或以火燒，或埋地中，或爛腐壞耶？』彼人答曰：『見也。天王。』閻王復問：『汝於其後有識知時，何不作是念：我自有死法，不離於死，我應行妙身、口、意業。』彼人白曰：『天王，我了敗壞，長衰永失耶？』閻王告曰：『汝了敗壞，長衰永失，今當*考汝，如治放逸行、放逸人，汝此惡業非父母為，非王非天，亦非沙門、梵志所為，汝本自作惡不善業。是故汝今必當受報』。』

[T1.504b22]「閻王以此第四天使善問、善撿、善教、善訶已，復以第五天使善問、善撿、善教、善訶：『汝頗曾見第五天使來耶？彼人答曰：『不見也。天王。』閻王復問：『汝本不見王人捉犯罪人，種種*考治，截手截足，或截手足，截耳截鼻，或截耳鼻，或臠臠[2]割，拔鬚、拔髮，或拔鬚髮，或著檻中衣裹火燒，或以沙壅草纏火燒[3]，或內[4]鐵驢腹中，或著鐵猪口中，或置鐵虎口中燒，或安銅釜中，或著鐵釜中煑，或段段截，或利叉刺，或以鈎鈎，或臥鐵床以沸油澆[5]，或坐鐵臼以鐵杵擣，或以龍蛇蜥[6]，或以鞭鞭，或以杖撾，或以棒打，或生貫高標上，或梟其首耶？』彼人答曰：『見也。天王。』閻王復問：『汝於其後有識知時，何不作是念：我今現見惡不善法。』彼人白曰：『天王，我了敗壞，長衰永失耶？』閻王告曰：『汝了敗壞，長衰永失，今當*考汝，如治放逸行、放逸人，汝此惡業非父母為，非王非天，亦非沙門、梵志所為，汝本自作惡不善業。是故汝今必當受報。』閻王以此第五天使善問、善撿、善教、善訶已，即付獄卒，獄卒便捉持，著四門大地獄中，於是頌曰：『

四柱有四門　壁[7]方十二楞　以鐵為垣墻　其上鐵覆蓋
地獄內鐵地　熾燃鐵火布　深無量由延　乃至地底住
極惡不可受　火色難可視　見已身毛豎　恐懼怖甚苦
彼墮生地獄　脚上頭在下　誹謗諸聖人　調御善清善

[T1.504c23]「有時於後極大久遠，為彼眾生故，四門大地獄東門便[8]開，東門開已，彼眾生等[>走]來趣向，欲求安處，求所歸依，彼若集聚無量百千已，地獄東門便還自閉，彼於其中受極重苦，啼哭喚呼，心悶臥地，終不得死，要令彼

---

[1] 啄＝喙【宋】
[2]〔臠〕－【宋】
[3] 燒＝焫【宋】【元】【明】
[4] 內＝著【宋】【元】【明】
[5] 澆＝燒【宋】
[6] 蜥＝蜤【元】【明】
[7] 壁＝辟【宋】【元】【明】
[8] 便＝復【元】

惡不善業盡，極大久遠，南門、西門、北門復開，北門開已，彼眾生等走來趣向，欲求安處，求所歸依，彼若集聚無量百千已，地獄北門復還自閉，彼於其中受極重苦，啼哭喚呼，心悶臥地，終不得死，要令彼惡不善業盡。』

[T1.505a04]「復於後時極大久遠，彼眾生等從四門大地獄出，四門大地獄次生峰巖地獄，火滿其中，無煙無焰[1]，令行其上，往來周旋，彼之兩足皮肉及血，下足則盡，舉足則生，還復如故，治彼如是無量百千歲，受極重苦，終不得死，要令彼惡不善業盡。』

[T1.505a09]「復於後時極大久遠，彼眾生等從峰巖大地獄出，峰巖大地獄次生糞屎[2]大地獄，滿中糞屎，深無量百丈，彼眾生等盡墮其中，彼糞屎大地獄中生眾多蟲，蟲名凌瞿來，身白頭黑，其觜如針，此蟲鑽破彼眾生足，破彼足已，復破[膊>膊]腸骨，破[膊>膊]腸骨已，復破髀骨，破髀骨已，復破臗骨，破臗骨已，復破脊骨，破脊骨已，復破肩骨、頸骨、頭骨，破頭骨已，食頭腦盡，彼眾生等如是逼迫無量百千歲，受極重苦，終不得死，要令彼惡不善業盡。』

[T1.505a19]「復於後時極大久遠，彼眾生等從糞屎大地獄出，糞屎大地獄次生鐵鍱林[3]大地獄，彼眾生見已，起清涼想，便作是念：我等往彼，快得清涼，彼眾生等走往趣向，欲求安處，求所歸依，彼若集聚無量百千已，便入鐵鍱林大地獄中，彼鐵鍱林大地獄中，四方則有大熱風來，熱風來已，鐵鍱便落，鐵鍱落時，截手、截足，或截手足，截耳、截鼻，或截耳鼻及餘支節，截身血塗無量百千歲，受極重苦，終不得死，要令彼惡不善業盡。復次，彼鐵鍱林大地獄中生極大狗，牙齒極長，擥彼眾生，從足剝皮，至頭[4]便食，從*頭剝皮，至足便食，彼眾生等如是逼迫無量百千歲，受極重苦，終不得死，要令彼惡不善業盡。復次，彼鐵鍱林大地獄中生大烏鳥，兩頭鐵喙，住眾生額，生挑眼吞，喙破頭骨，取腦而食，彼眾生等如是逼迫無量百千歲，受極重苦，終不得死，要令彼惡不善業盡。』

[T1.505b08]「復於後時極大久遠，彼眾生等從鐵鍱林大地獄出，鐵鍱林大地獄次生鐵劍樹林大地獄，彼大劍樹高一由延，刺長尺六，令彼眾生使緣上下，彼上樹時，刺便下向，若下樹時，刺便上向，彼劍樹刺貫刺眾生，刺手、刺足，或刺手足，刺耳、刺鼻，或刺耳鼻及餘支節，刺身血塗無量百千歲，受極重苦，終不得死，要令彼惡不善業盡。』

---

[1] 焰＝[火*僉]【宋】【元】【明】
[2] [>糞屎]～Gūtha.
[3] [>鐵鍱林]～Asipattavana.
[4] 頭＝項【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.505b16]「復於後時極大久遠，彼眾生等從鐵劍樹林大地獄出，鐵劍樹林大地獄次生灰河[1]，兩岸極高，周遍生刺，沸灰湯滿，其中極闇，彼眾生見已，起冷水想，當[2]有冷水，彼起想已，便作是念：我等往彼，於中洗浴，恣意飽飲，快得涼樂，彼眾生等競走趣向，入於其中，欲求樂處，求所歸依，彼若集聚無量百千已，便墮灰河，墮灰河已，順流、逆流，或順逆流，彼眾生等順流、逆流、順逆流時，皮熟墮落，肉熟墮落，或皮肉熟俱時墮落，唯骨鎖[3]在，灰河兩岸有地獄卒，手捉刀劍、大棒、鐵叉，彼眾生等欲度上岸，彼時獄卒還推著中。』

[T1.505b28]「復次，灰河兩岸有地獄卒，手捉鉤羂[4]，鉤挽眾生從灰河出，著熱鐵地，洞燃俱熾，舉彼眾生極撲著地，在地旋轉，而問之曰：「汝從何來，彼眾生等僉共答曰：「我等不知所從來處，但我等今唯患大飢，彼地獄卒便捉眾生著熱鐵床，洞然俱熾，強令坐上，以熱鐵鉗鉗開其口，以熱鐵丸洞然俱熾，著其口中，彼熱鐵丸燒脣，燒脣已燒舌，燒舌已燒斷[5]，燒*斷已燒咽，燒咽已燒心，燒心已燒大腸，燒大腸已燒小腸，燒小腸已燒胃[6]，燒*胃已從身下過，彼如是逼迫無量百千歲，受極重苦，終不得死，要令彼惡不善業盡。』

[T1.505c11]「復次，彼地獄卒問眾生曰：「汝欲何去，眾生答曰：「我等不知欲何所去，但患大渴，彼地獄卒便捉眾生著熱鐵床，洞然俱熾，強令坐上，以熱鐵鉗鉗開其口，以沸洋銅灌其口中，彼沸洋銅燒脣，燒脣已燒舌，燒舌已燒斷，燒斷已燒咽，燒咽已燒心，燒心已燒大腸，燒大腸已燒小腸，燒小腸已燒*胃，燒*胃已從身下過，彼如是逼迫無量百千歲，受極重苦，終不得死，要令彼惡不善業盡。』

[T1.505c20]「若彼眾生地獄惡不善業不悉盡、不一切盡、盡無餘者，彼眾生等復墮灰河中，復上下鐵劍樹林大地獄，復入鐵鍱林大地獄，復墮糞屎大地獄，復往來峰巖大地獄，復入四門大地獄中，若彼眾生地獄惡不善業悉盡、一切盡、盡無餘者，彼於其後或入畜生，或墮餓鬼，或生天中，若彼眾生本為人時，不孝父母，不知尊敬沙門、梵志，不行如實，不作福業，不畏後世罪，彼受如是不愛、不念、不喜苦報，譬猶若彼地獄之中，若彼眾生本為人時，孝順父母，知尊敬沙門、梵志，行如實事，作福德業，畏後世罪，彼受如是可愛、可念、[不>可]喜樂報，猶虛空神宮殿之中。』

---

[1] [>灰河]～Khārodakā.
[2] 當＝常【宋】【元】【明】
[3] 鎖＝體【宋】【元】【明】
[4] 羂＝衒【宋】【元】【明】
[5] 斷＝鬥【宋】＊【元】＊【明】＊
[6] 胃＝胃【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.506a04]「昔者閻王在園觀中而作是願，我此命終，生於人中。若有族姓極大富樂，資財無量，畜牧產業不可稱計，封戶食邑種種具足，彼為云何，謂剎利大長者族、梵志大長者族、居士大長者族，若更有如是族極大富樂，資財無量，畜牧產業不可稱計，封戶食邑種種具足，生如是家，生已覺根成就，如來所說正法之律，願得淨[1]信，得*淨信已，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，族姓子所為剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，唯無上梵行訖，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。』

[T1.506a16] 「昔者閻王在園觀中而作是願，於是頌曰：『

為天使所訶	人故放逸者	長夜則憂慼	謂弊欲所覆
為天使所訶	真實有上人	終不復放逸	善說妙聖法
見受使恐怖	求願生老盡	無受滅無餘	便為生老訖
彼到安隱樂	現法得滅度	度一切恐怖	亦度世間灑[2]

[T1.506a26] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.506a27]天[3]使經第七竟(四千二百五字)[4]，

中阿含經卷第十二(九千九百三十九字)

中阿含[5]王應品第六竟(一萬七千九百三十五字)(初一日誦訖)[6]，

中阿含經

卷第十三 (Ma.65～66)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

中阿含[1]王相應品第一[2](有七經第二日誦名小土城有四品半合有五十二經)[3]

---

[1] 淨＝清【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 灑＝流【宋】【元】【明】
[3]〔天…竟〕－【明】
[4]〔四…字〕－【宋】【元】【明】
[5]〔中阿含王應品第六竟(一萬七千九百三十五字)〕－【宋】【元】【明】
[6] 初一日誦訖五字在品中經末題下【宋】【元】，在卷末題前行【明】

烏鳥喻、說本　　天奈林、善見　　三十喻、轉輪　　蜱[4]肆最在後

（六五）中阿含[5]王相應品

(Ma.65)烏鳥喻經[6] 第一[7]

[T1.506b12] 我聞如是。

[T1.506b12] 一時，佛遊王舍城，在竹林加蘭哆園。

[T1.506b13] 爾時，世尊告諸比丘：「昔轉輪王欲試珠寶時，便集四種軍象軍、馬軍、車軍、步軍，集四種軍已，於夜闇中豎立高幢，安珠置上，出至園觀，珠之光耀，照四種軍，明之所及，方半由延，彼時，有一梵志而作是念：『我寧可往見轉輪王及四種軍，觀琉璃珠。』爾時，梵志復作是念：『且置見轉輪王及四種軍、觀琉璃珠，我寧可往至彼林間』。」

[T1.506b20]「於是，梵志便往詣林，到已入中，至一樹下，坐已未久，有一獺獸來，梵志見已而問之曰：『善來，獺獸，汝從何來，為欲何去。』答曰：『梵志，此池本時清泉盈溢，饒藕多華，魚龜滿中，我昔所依，而今枯熇[8]，梵志當知，我欲捨去，入彼大河，我今欲去，唯畏於人。』時，彼獺獸與此梵志共論是已，便捨而去，梵志故坐。

[T1.506b27] 「復有究暮鳥來，梵志見已而問之曰：『善來[9]，究暮鳥，汝從何來，為欲何去，答曰：『梵志，此池本時清泉盈溢，饒藕多華，魚龜滿中，我昔所依，而今枯熇，梵志當知，我欲捨去，依彼死牛聚處栖宿，或依死驢，或依死人聚處栖宿，我今欲去，唯畏於人。』彼究暮鳥與此梵志共論是已，便捨而去，梵志故坐。」

[T1.506c05] 「復有鷲鳥來，梵志見已而問之曰：『善來，鷲鳥，汝從何來，為欲何去。』答曰：『梵志，我從大墓復至大墓殺害而來，我今欲食死象之肉，死

---

[1]〔中阿含王相應品第一(有七經第二日誦名小土城有四品半合有五十二經)〕－【明】
[2]〔中阿含〕－【宋】【元】
[3]　（一）＋日【宋】【元】
[4] 蜱＝埤【元】
[5]〔中阿含〕－【明】
[6]〔經〕－【元】【明】
[7]　一＝八【明】，一＋（第二小土城誦）六字【明】
[8]　熇＝稿【宋】＊【元】＊【明】＊，但熇稿交用【宋】
[9] 來＝哉【明】

馬、死牛、死人之肉，我今欲去，唯畏於人。』時，彼鷲鳥與此梵志共論是已，便捨而去，梵志故坐。」

[T1.506c10]「復有食吐鳥來，梵志見已而問之曰：『善來，食吐鳥，汝從何來，為欲何去。』答曰：『梵志，汝見向者鷲鳥去耶？我食彼吐，我今欲去，唯畏於人。』彼食吐鳥與此梵志共論是已，便捨而去，梵志故坐。」

[T1.506c15]「復有犲獸[1]來，梵志見已而問之曰：『善來，犲*獸，汝從何來，為欲何去。』答曰：『梵志，我從深澗至深澗，從榛莽至榛莽，從僻靜至僻靜處來，我今欲食死象肉[2]，死馬、死牛、死人之肉，我今欲去，唯畏於人。』時，彼犲獸與此梵志共論是已，便捨而去，梵志故坐。」

[T1.506c21]「復有烏鳥來，梵志見已而問之曰：『善來，烏鳥，汝從何來，為欲何去。』答曰：『梵志，汝強額癡狂，何為問我，汝從何來，為欲何去。』彼時，烏鳥面訶梵志已，便捨而去，梵志故坐。」

[T1.506c25]「復有狌狌獸來，梵志見已而問之曰：『善來，狌狌獸，汝從何來，為欲何去。』答曰：『梵志，我從園至園，從觀至觀，從林至林，飲清泉水，食[3]好果來，我今欲去，不畏於人。』彼狌狌獸與此梵志共論是已，便捨而去。」

[T1.506c29] 佛告諸比丘：「吾說此喻，欲令解義，汝等當知此說有義，時，彼獺獸與此梵志共論是已，便捨而去，吾說此喻有何義耶？若有比丘依村邑行，比丘平旦著衣持鉢，入村乞食，不護於身，不守諸根，不立正念，而彼說法，或佛所說，或聲聞所說，因此得利衣被、飲食、床褥、湯藥、諸生活具，彼得利已，染著觸猗，不見災患，不能捨離，隨意而用，彼比丘行惡戒，成就惡法，最在其邊，生弊腐敗，非梵行稱梵行，非沙門稱沙門，猶如梵志見獺獸已，而問之曰：『善來，獺獸，汝從何來，為欲何去。』答曰：『梵志，此池本時清泉盈溢，饒藕多華，魚龜滿中，我昔所依，而今枯槁，梵志當知，我欲捨去，入彼大河，我今欲去，唯畏於人。』吾說比丘亦復如是，入惡不善穢汙法中，為當來有本煩熱苦報、生老病死因，是以比丘莫行如獺，莫依非法以自存命，當淨身行，淨口、意行，住無事中，著糞掃衣，常行乞食，次第乞食，少欲知足，樂住遠離而習精勤，立正念、正智、正定、正慧，常當遠離，應學如是。」

[T1.507a21]「彼究暮鳥與此梵志共論是已，便捨而去，吾說此喻有何義耶？若有比丘依村邑行，比丘平旦著衣持鉢，入村乞食，不護於身，不守諸根，不立正念，彼入他家教化說法，或佛所說，或聲聞所說，因此得利衣被、飲食、床

---

[1] 獸＝狩【宋】＊
[2] （之）＋肉【宋】【元】
[3] 食＝念【元】【明】

褥、湯藥、諸生活具，彼得利已，染著觸猗，不見災患，不能捨離，隨意而用，彼比丘[1]惡戒，成就惡法，最在其邊，生弊腐敗，非梵行稱梵行，非沙門稱沙門，猶如梵志見究暮已，而問之曰：『善來，究暮，汝從何來，為欲何去。』答曰：『梵志，此池本時清泉盈溢，饒藕多華，魚龜滿中，我昔所依，而今枯槁，梵志當知，我今欲去，依彼死牛聚處栖宿，或依死驢，或依死人聚處栖宿，我今欲去，唯畏於人。』吾說比丘亦復如是，依惡不善穢汙之法，為當來有本煩熱苦報、生老病死因，是以比丘莫行如究暮，莫依非法以自存命，當淨身行，淨口、意行，住無事中，著糞掃衣，常行乞食，次第乞食，少欲知足，樂住遠離而習精勤，立正念、正智、正定、正慧，常當遠離，應學如是。」

[T1.507b12]「時，彼鷲鳥與此梵志共論是已，便捨而去，吾說此喻有何義耶？若有比丘依村邑行，比丘平旦著衣持鉢，入村乞食，不護於身，不守諸根，不立正念，彼入他[2]家教化說法，或佛所說，或聲聞所說，因此得利衣被、飲食、床褥、湯藥、諸生活具，彼得利已，染著觸猗，不見災患，不能捨離，隨意而用，彼比丘行惡戒，成就惡法，最在其邊，生弊腐敗，非梵行稱梵行，非沙門稱沙門，猶如梵志見鷲鳥已，而問之曰：『善來，鷲鳥，汝從何來，為欲何去。』答曰：『梵志，我從大墓復至大墓殺害而來，我今欲食死象之肉，死馬、死牛、死人之肉，我今欲去，唯畏於人。』吾說比丘亦復如是，是以比丘莫行如鷲鳥，莫依非法以自存命，當淨身行，淨口、意行，住無事中，著糞掃衣，常行乞食，次第乞食，少欲知足，樂住遠離而習精勤，立正念、正智、正定、正慧，常當遠離，應學如是。」

[T1.507c01]「彼食吐鳥與此梵志共論是已，便捨而去，吾說此喻有何義耶？若有比丘依村邑行，比丘平旦著衣持鉢，入村乞食，不護於身，不守諸根，不立正念，彼入比丘尼房教化說法，或佛所說，或聲聞所說，彼比丘尼入若干家說好說惡，受信施物持與比丘，因此得利衣被、飲食、床褥、湯藥、諸生活具，彼得利已，染著觸猗，不見災患，不能捨離，隨意而用，彼比丘行惡戒，成就惡法，最在其邊，生弊腐敗，非梵行稱梵行，非沙門稱沙門，猶如梵志見食吐鳥已，而問之曰：『善來，食吐鳥，汝從何來，為欲何去。』答曰：『梵志，汝見向者鷲鳥去耶？我食彼吐，我今欲去，唯畏於人。』吾說比丘亦復如是，是以比丘莫行如食吐鳥，莫依非法以自存命，當淨身行，淨口、意行，住無事中，著糞掃衣，常行乞食，次第乞食，少欲知足，樂住遠離而習精勤，立正念、正智、正定、正慧，常當遠離，應學如是。」

[T1.507c19]「時，彼犲獸與此梵志共論是已，便捨而去，吾說此喻有何義耶？若有比丘依貧村住彼若知村邑及城郭中多有智慧精進梵行者，即便避去，若知村邑及城郭中無有智慧精進梵行者，而來住中，或九月，或十月，諸比丘見已，

[1] 丘＋（行）【宋】【元】【明】
[2] 他＝大【宋】【元】【明】

便問：『賢者，何處遊行。』彼即答曰：『諸賢，我依某處貧村邑行。』諸比丘聞已即作是念：『此賢者難行而行。』所以者何？此賢者乃能依某貧村邑行，諸比丘等便共恭敬禮事供養，因此得利衣被、飲食、床褥、湯藥、諸生活具，彼得利已，染著觸猗，不見災患，不能捨離，隨意而用，彼比丘行惡戒，成就惡法，最在其邊，生弊腐敗，非梵行稱梵行，非沙門稱沙門，猶如梵志見犲獸已，而問之曰：『善來，犲獸，汝從何來，為欲何去。』答曰：『梵志，我從深澗至深澗，從榛莽至榛莽，從僻靜至僻靜處來，我今欲食死象之肉，死馬、死牛、死人之肉，我今欲去，唯畏於人。』吾說比丘亦復如是，是以比丘莫行如犲，莫依非法以自存命，當淨身行，淨口、意行，住無事中，著糞掃衣，常行乞食[1]，次第乞食，少欲知足，樂住遠離而習精勤，立正念、正智、正定、正慧，常當遠離，應學如是。」

[T1.508a12]「彼時，烏鳥面訶梵志已，便捨而去，吾說此喻有何義耶？若有比丘依貧無事處而受夏坐，彼若知村邑及城郭中多有智慧精進梵行者，即便避去，若知村邑及城郭中無有智慧精進梵行者，而來住中二月、三月，諸比丘見已，問曰：『賢者，何處夏坐，答曰：『諸賢，我今依某貧無事處而受夏坐，我不如彼諸愚癡輩，作床成就[2]，具足五事而住於中，中前中後、中後中前，口隨其味，味隨其口，求而求，索而索。』時，諸比丘聞已，即作是念：『此賢者難行而行。』所以者何？此賢者乃能依某貧無事處而受夏坐，諸比丘等便共恭敬禮事供養，因此得利衣被、飲食、床褥、湯藥、諸生活具，彼得利已，染著觸猗，不見災患，不能捨離，隨意而用，彼比丘行惡戒，成就惡法，最在其邊，生弊腐敗，非梵行稱梵行，非沙門稱沙門，猶如梵志見烏鳥已，而問之曰：『善來，烏鳥，汝從何來，為欲何去。』答曰：『梵志，汝強額癡狂，何為問我，汝從何來，為欲何去。』吾說比丘亦復如是，是以比丘莫行如烏，莫依非法以自存命，當淨身行，淨口、意行，住無事中，著糞掃衣，常行乞食，次第乞食，少欲知足，樂住遠離而習精勤，立正念、正智、正定、正慧，常當遠離，應學如是。」

[T1.508b07]「彼狌狌獸與此梵志共論是已，便捨而去，吾說此喻有何義耶？若有比丘依村邑行，比丘平旦著衣持鉢，入村乞食，善護於身，守攝諸根，立於正念，彼從村邑乞食已竟，食訖，中後收舉衣鉢，澡洗手足，以尼師擅[3]著於肩上，或至無事處，或至樹下，或至空屋中，敷尼師*檀，結加[4]趺坐，正身正願，反[5]念不向，斷除貪伺，心無有諍，見他財物、諸生活具，不起貪伺，欲令我得，彼於貪伺淨除其心，如是瞋恚、睡眠、調[6]悔，斷疑度惑，於善法中無有猶豫，彼於疑惑淨除其心，彼已斷此五蓋心穢慧羸，離欲、離惡不善之法，至

---

[1] 食＝命【宋】【元】
[2] 就＝訖【宋】【元】【明】
[3] 擅＝壇【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 加＝跏【宋】【元】【明】
[5] 反＝及【宋】【元】【明】
[6] 調＝掉【元】【明】

得第四禪成就遊，彼得如是，定心清淨，無穢無煩，柔軟善住，得不動心，趣向漏盡智通作證，彼便知此苦如真，知此苦習[1]，知此苦滅，知此苦滅道如真，知此漏，知此漏習，知此漏滅，知此漏滅道如真，彼如是知，如是見已，則欲漏心解脫，有漏、無明漏心解脫，解脫已，便知解脫，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。猶如梵志見狌狌已，而問之曰：『善來，狌狌，汝從何來，為欲何去。』答曰：『梵志，我從園至園，從觀至觀，從林至林，飲清泉水，噉好果來，我今欲去，不畏於人。』吾說比丘亦復如是。」

[T1.508c02]「是以比丘莫行如獺，莫行如究暮，莫行如鷲，莫行如食吐鳥，莫行如犲，莫行如烏，當行如狌狌。所以者何？世中無著真人如狌狌獸。」

[T1.508c06] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.508c08]烏鳥喻經第一竟[2](三千一百七十八字)[3]，

（六六）中阿含[4]王相應品

(Ma.66)說本經[5] 第二[6](第二小土城誦)[7]

[T1.508c11] 我聞如是。

[T1.508c11] 一時，佛遊波羅奈，在仙人住處鹿野園中。

[T1.508c12] 時，諸比丘於中食後，以小因緣集坐講堂，共論此事：「云何。諸賢！居士在家何者為勝，為比丘等持戒妙法，成就威儀，入家受食耶？為朝朝益利[8]百千萬倍乎。」

[T1.508c15] 或有比丘作是說者：「諸賢！何用*益利百千萬倍，唯此至要。若有比丘持戒妙法，成就威儀，入家受食，非為朝朝*益利百千萬倍。」

[T1.508c19] 是時，尊者阿那律陀亦在眾中。於是，尊者阿那律陀告諸比丘：「諸賢！何用*益利百千萬倍，設復過是，唯此至要。若有比丘持戒妙法，成就

---

[1] 習＝集【元】【明】
[2]〔烏鳥喻經第一竟〕－【明】，〔竟〕－【宋】【元】
[3]〔三千…字〕－【宋】【元】【明】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～cf.《長老偈》Thag. 910～919，No.44.《佛說古來世時經》(大正 1.829b)
[6] 二＝九【明】
[7]〔第二小土城誦〕－【明】，第二小土城誦六字在品中經題次行【宋】【元】
[8] 益利＝利益【宋】＊【元】＊【明】＊

威儀，入家受食，非為朝朝*益利百千萬倍。所以者何？我憶昔時在此波羅奈國為貧窮人，唯仰捃拾客擔生活，是時，此波羅奈國災旱、早霜、蟲蟥[1]不熟，人民荒儉，乞求難得，是時，有一辟支佛，名曰無患，依此波羅奈住。於是，無患辟支佛過夜平旦著衣持鉢，入波羅奈而行乞食，我於爾時為捃拾故，早出波羅奈。諸賢！我登出時，逢[2]見無患辟支佛入彼，時，無患辟支佛持淨鉢入，如本淨鉢出。」

[T1.509a02] 「諸賢！我時捃還入波羅奈，復見無患辟支佛出，彼見我已，便作是念：我旦入時，見此人出，我今還出，復見此人入，此人或能未得食也。我今寧可隨此人去，時，辟支佛便追尋我，如影隨形。諸賢！我持捃還到家，捨擔而迴顧視，便見無患辟支佛來追尋我後，如影隨形，我見彼已，便作是念：我旦出時，見此仙人入城乞食，今此仙人或未得食，我寧可自闕己食，分與此仙人，作是念已，即持食分與辟支佛，白曰：「仙人，當知此食是我己分，為慈愍故，願哀受之，時，辟支佛即答我曰：「居士，當知今年災旱、早霜、蟲*蟥，五穀不熟，人民荒儉，乞求難得，汝可減半著我鉢中，汝自食半，俱得存命，如是者好，我復白曰：「仙人，當知我在居家自有釜竈、有樵薪、有穀米，飲食早晚亦無時節，仙人，當為慈愍我故，盡受此食，時，辟支佛為慈愍故，便盡受之。」

[T1.509a20] 「諸賢！我因施彼一鉢食福，七反生天，得為天王，七反生人，復為人王。諸賢！我因施彼一鉢食福，得生如此釋種族中，大富豐饒，多諸畜牧、封戶、食邑，資財無量，珍寶具足。諸賢！我因施彼一鉢食福，棄捨百千姟金錢王，出家學道，況復其餘種種雜物。諸賢！我因施彼一鉢食福，為王、王臣、梵志、居士、一切人民所見識待，及四部眾比丘、比丘尼、優婆塞、優婆夷[3]所見敬重。諸賢！我因施彼一鉢食福，常為人所請[4]求，令受飲食、衣被、氈氍、毼[毯-炎+登]、床褥、綩綖、病瘦湯藥、諸生活具，非不請求，若我爾時知彼沙門是無著真人者，所獲福報當復轉倍，受大果報，極妙功德，明所徹照，極廣甚大。」

[T1.509b04] 於是，尊者阿那律陀無著真人逮正解脫，說此頌曰：「

我憶[5]昔貧窮　唯仰捃拾活　闕已供沙門　無患最上德
因此生釋種　名曰阿那律　善解能歌舞　作樂常歡喜
我得見世尊　正覺如甘露　見已生信樂　棄捨家學道

---

[1] 蟥＝蝗【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 逢＝遙【宋】【元】【明】
[3] 夷＝私【宋】【元】【明】
[4] 請＋（請）【宋】【元】【明】
[5] 我憶…無餘般涅槃～Thera-gāthā.910-919.

我得識宿命　知本之所生　生三十三天　七反住[1]於彼
此七彼亦七　世受生十四　人間及天上　初不墮惡處
我今知死生　眾生往來處　知他心是非　賢聖五娛樂
得五支[2]禪定　常息心靜默　已得靜正住　便逮淨天眼
所為今學道　遠離棄捨家　我今獲此義　得入佛境界
我不樂於死　亦不願於生　隨時任所適　建立正念智
隨耶[3]離竹林　我命在彼盡　當在竹林下　無餘般涅槃

[T1.509b26] 爾時，世尊在於燕坐，以淨天耳出過於人，聞諸比丘於中食後集坐講堂，共論此事，

[T1.509b28] 世尊聞已，則於晡時從燕坐起，往至講堂比丘眾前，敷座而坐，問諸比丘：「汝等今日以何事故集坐講堂？」

[T1.509c01] 時，諸比丘白曰：「世尊！我等今日以尊者阿那律陀因過去事而說法故集坐講堂。」

[T1.509c03] 於是，世尊告諸比丘：「汝等今日欲從佛聞因未來事而說法耶？」

[T1.509c04] 諸比丘白曰：「世尊！今正是時，善逝，今正是時，若世尊為諸比丘因未來事而說法者，諸比丘聞已，當善受持。」

[T1.509c07] 世尊告曰：「諸比丘！諦聽，諦聽，善思念之，吾當為汝廣分別說。」

[T1.509c08] 時，諸比丘受教而聽。

[T1.509c09] 世尊告曰：「諸比丘！未來久遠當有人民壽八萬歲，人壽八萬歲時，此閻浮洲極大富樂，多有人民，村邑相近，如雞一飛，諸比丘！人壽八萬歲時，女年五百乃當出嫁，諸比丘！人壽八萬歲時，唯有如是病，謂寒、熱、大小便、欲、飲食、老，更無餘患。」

[T1.509c14]「諸比丘！人壽八萬歲時，有王名螺，為轉輪王，聰明智慧，有四種軍，整御天下，由己自在，如法法王成就七寶，彼七寶者，輪寶、象寶、馬寶、珠寶、女寶、居士寶、主兵臣寶，是[4]為七，千子具足，顏貌端正，勇猛無畏，能伏他眾，彼當統領此一切地乃至大海，不以刀杖，以法教令，令得安樂，有大金幢，諸寶嚴飾，舉高千肘，圍十六肘，彼當豎之，既豎之後，下便

[1] 反住＝往反【宋】【元】【明】
[2] 支＝枝【宋】
[3] 耶＝邪【宋】【元】【明】
[4] 是＋（謂）【宋】【元】【明】

布施沙門、梵志、貧窮、孤獨、遠來乞者，以飲食、衣被、車乘、華鬘、散華、塗香、屋舍、床褥、氈氎、綩綖、給使、明燈，彼施此已，便剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，彼族姓子所為，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，唯無上梵行訖，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。」

[T1.509c29] 爾時，尊者阿夷哆在眾中坐。於是，尊者阿夷哆即從坐起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！我於未來久遠人壽八萬歲時，可得作王，號名曰螺，為轉輪王，聰明智慧，有四種軍，整御天下，由己自在，如法法王成就七寶，彼七寶者，輪[1]寶、象寶、馬寶、珠寶、女寶、居士寶、主兵臣寶，是為七，我當有千子具足，顏貌端正，勇猛無畏，能伏他眾，我當統領此一切地乃至大海，不以刀杖，以法教令，令得安樂，有大金幢，諸寶嚴飾，舉高千肘，圍十六肘，我當豎之，既豎之後，下便布施沙門、梵志、貧窮、孤獨、遠來乞者，以飲食、衣被、車乘、花鬘、散華、塗香、屋舍、床褥、氈氎、綩綖、給使、明燈，我施此已，便剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，我族姓子所為，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，唯無上梵行訖，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。」

[T1.510a18] 於是，世尊訶尊者阿夷哆曰：「汝愚癡人，應更一死，而求再終。所以者何？謂汝作是念。世尊！我於未來久遠人壽八萬歲時，可得作王，號名曰螺，為轉輪王，聰明智慧，有四種軍，整御天下，由己自在，如法法王成就七寶，彼七寶者，輪寶、象寶、馬寶、珠寶、女寶、居士寶、主兵臣寶，是為七，我當有千子具足，顏貌端正，勇猛無畏，能伏他眾，我當統領此一切地乃至大海，不以刀杖，以法教令，令得安樂，有大金幢，諸寶嚴飾，舉高千肘，圍十六肘，我當豎之，既豎之後，下便布施沙門、梵志、貧窮、孤獨、遠來乞者，以飲食、衣被、車乘、華鬘、散華、塗香、屋舍、床褥、氈氎、綩綖、給使、明燈，我施此已，便剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，我族姓子所為，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，唯無上梵行訖，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。」

[T1.510b07] 世尊告曰：「阿夷哆，汝於未來久遠人壽八萬歲時，當得作王，號名曰螺，為轉輪王，聰明智慧，有四種軍，整御天下，由己自在，如法法王成就七寶，彼七寶者，輪寶、象寶、馬寶、珠寶、女寶、居士寶、主兵臣寶，是為七，汝當有千子具足，顏貌端正，勇猛無畏，能伏他眾，汝當統領此一切地乃至大海，不以刀杖，以法教令，令得安樂，有大金幢，諸寶嚴飾，舉高千

[1] （轉）＋輪【宋】【元】【明】

肘，圍十六肘，汝當豎之，既豎之後，下便布施沙門、梵志、貧窮、孤獨、遠來乞者，以飲食、衣被、車乘、華鬘、散華、塗香、屋舍、床褥、氍氀、綩綖、給使、明燈，汝施此已，便剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，汝族姓子所為，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，唯無上梵行訖，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。」

[T1.510b24] 佛告諸比丘：「未來久遠人壽八萬歲時，當有佛，名彌勒如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，猶如我今已成如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼於此世，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，自知自覺，自作證成就遊，猶如我今於此世，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，自知自覺，自作證成就遊，彼當說法，初妙、中妙、竟亦妙，有義有文，具足清淨，顯現梵行，猶如我今說法，初妙、中妙、竟亦妙，有義有文，具足清淨，顯現梵行，彼當廣演流布梵行，大會無量，從人至天，善發顯現，猶如我今廣演流布梵行，大會無量，從人至天，善發顯現，彼當有無量百千比丘眾，猶如我今無量百千比丘眾。」

[T1.510c10] 爾時，尊者彌勒在彼眾中。於是，尊者彌勒即從坐[1]起，偏袒著衣，叉手向佛白曰：「世尊！我於未來久遠人壽八萬歲時，可得成佛，名彌勒如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，如今世尊、如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，我於此世，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，自知自覺，自作證成就遊，如今世尊於此世，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，自知自覺，自作證成就遊，我當說法，初妙、中妙、竟亦妙，有義有文，具足清淨，顯現梵行，如今世尊說法，初妙、中妙、竟亦妙，有義有文，具足清淨，顯現梵行，我當廣演流布梵行，大會無量，從人至天，善發顯現，如今世尊廣演流布梵行，大會無量，從人至天，善發顯現，我當有無量百千比丘眾，如今世尊無量百千比丘眾。」

[T1.510c27] 於是，世尊歎彌勒曰：「 善哉！善哉！彌勒，汝發心極妙，謂領大眾。所以者何？如汝作是念。世尊！我於未來久遠人壽八萬歲時，可得成佛，名彌勒如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，如今世尊、如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，我於此世，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，自知自覺，自作證成就遊，如今世尊於此世，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，自知自覺，自作證成就遊，我當說法，初妙、中

[1] 坐＝座【宋】【元】【明】

妙、竟亦妙，有義有文，具足清淨，顯現梵行，如今世尊說法，初妙、中妙、竟亦妙，有義有文，具足清淨，顯現梵行，我當廣演流布梵行，大會無量，從人至天，善發顯現，如今世尊廣演流布梵行，大會無量，從人至天，善發顯現。」

[T1.511a13] 佛復告曰：「彌勒，汝於未來久遠人壽八萬歲時，當得作佛，名彌勒如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，猶如我今如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，汝於此世，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，自知自覺，自作證成就遊，猶[1]如我今於此世，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，自知自覺，自作證成就遊，汝當說法，初妙、中妙、竟亦妙，有義有文，具足清淨，顯現梵行，猶如我今說法，初妙、中妙、竟亦妙，有義有文，具足清淨，顯現梵行，汝當廣演流布梵行，大會無量，從人至天，善發顯現，猶如我今廣演流布梵行，大會無量，從人至天，善發顯現，汝當有無量百千比丘眾，猶如我今無量百千比丘眾。」

[T1.511a29] 爾時，尊者阿難執拂侍佛。於是，世尊迴顧告曰：「阿難！汝取金縷織成衣來，我今欲與彌勒比丘。」

[T1.511b02] 爾時，尊者阿難受世尊教，即取金縷織成衣來，授與世尊！於是，世尊從尊者阿難受此金縷織成衣已，告曰：「彌勒，汝從如來取此金縷織成之衣，施佛、法、眾。所以者何？彌勒，諸如來、無所著、等正覺，為世間護，求義及饒益，求安隱快樂。」

[T1.511b07] 於是，尊者彌勒從如來取金縷織成衣已，施佛、法、眾。

[T1.511b09] 時，魔波旬便作是念：此沙門瞿曇遊[2]波羅奈仙人住處鹿野園中，彼為弟子因未來說法，我寧可往而嬈亂之。

[T1.511b11] 時，魔波旬往至佛所，到已向佛即說頌曰：「

彼必定當得　容貌妙第一　華鬘瓔珞身　明珠佩其臂
若在雞頭城　螺王境界中

[T1.511b16] 於是，世尊而作是念：此魔波旬來到我所，欲相嬈亂，世尊知已，為魔波旬即說頌曰：「

[1]〔猶〕－【宋】【元】【明】
[2] 遊＋（行）【宋】【元】【明】

彼必定當得　　無伏無疑惑　斷生老病死　　無漏所作訖
若行梵行者　　彌勒境界中

[T1.511b22] 於是，魔王復說頌曰：「

彼必定當得　　名衣上妙服　旃檀以塗體　　身傭直姝長
若在雞頭城　　螺王境界中

[T1.511b26] 爾時，世尊復說頌曰：「

彼必定當得　　無主亦無家　手不持金寶　　無為無所憂
若行梵行者　　彌勒境界中

[T1.511c01] 於是，魔王復說頌曰：「

彼必定當得　　名財好飲食　善能解歌舞　　作樂常歡喜
若在雞頭城　　螺王境界中

[T1.511c05] 爾時，世尊復說頌曰：「

彼為必度岸　　如鳥破網出　得禪自在遊　　具樂常歡喜
汝魔必當知　　我已相降伏

[T1.511c09] 於是，魔王復作是念：世尊知我，善逝見我，愁惱憂慼不能得住，即於彼處忽沒不現。

[T1.511c11] 佛說如是，彌勒、阿夷哆、尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

說本經第二竟 [1](四千一字)[2] 。

中阿含經卷第十三(七千一百七十九字)[3](第二小土城誦)[4]

中阿含經

[1]〔說…竟〕－【明】
[2]〔四…字〕－【宋】【元】【明】
[3]〔七千…字〕－【宋】【元】【明】
[4]〔第二小土城誦〕－【明】，（第二小土城誦）六字在品中經末題下【宋】【元】

卷第十四 (Ma.67～68)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯[1]

（六七）中阿含王相應品[2]

(Ma.67)大天奈林經[3] 第三[4] (第二小土城誦[5])

[T1.511c23] 我聞如是。

[T1.511c23] 一時，佛遊鞞陀提國，與大比丘眾俱，往至彌薩羅[6]，住大天奈林[7]中。

[T1.511c24] 爾時，世尊行道中路欣然而[笑[8]，尊者阿難見世尊*笑，叉手向佛，白曰：「世尊！何因緣*笑，諸如來、無所著、等正覺若無因緣，終不妄笑，願聞其意。」

[T1.511c28] 彼時，世尊告曰：「阿[雖>難]，在昔異時此彌薩羅奈林之中，於彼有王，名曰大天[9]，為轉輪王[10]，聰明智慧，有四種軍，整御天下，由己自在，如法法王成就七寶，得人四種如意之德。阿難！彼大天王成就七寶，為何謂耶[11]，謂輪寶、象寶、馬寶、珠寶、女寶、居士寶、主兵臣寶，是謂為七。」

[T1.512a05] 「阿難！彼大天王云何名為成就輪寶。阿難！時，大天王於月十五日說從解脫時，沐浴澡洗，昇正殿上，有天輪寶從東方來，輪有千輻，一切具足，清淨自然，非人所造，色如火[火*僉][6]，光明昱爍，大[7]天王見已，歡喜踊

---

[1] 譯號次行＋（王相應品之四第二小土（王【元】）城誦）十二字【宋】【元】，又其次行＋（大天奈林經大善見王經）十字【宋】【元】
[2] 〔中阿含王相應品〕－【宋】【元】，〔中阿含〕－【明】
[3] ～《中部》M. 83. Makhādeva-sutta(大天木奈林經)，《增壹阿含經序品》(大正 2.549b)。《增壹阿含 50.4 經》(大正 2.806c)，參閱 J.9.Makhādeva-jātaka
[4] 三＝十【明】
[5] 〔第二小土城誦〕－【宋】【元】【明】
[6] [>彌薩羅]～Mithilā.
[7] [>大天奈林]～Makhādevambavana
[8] 笑＝咲【醍】＊
[9] 大天～Makhādeva.
[10] 轉輪王～Dhammarāja.
[11] 耶＝邪【醍】＊
[6] [火*僉]＝焰【醍】＊
[7] 〔大〕－【宋】【元】【明】【醍】

躍，心自念曰：『生賢輪寶，生妙輪寶，我亦曾從古人聞之，若頂生剎利王於月十五日說從解脫時，沐浴澡洗，昇正殿上，有天輪寶從東方來，輪有千輻，一切具足，清淨自然，非人所造，色如火[火*僉]，光明昱爍，彼必當作轉輪王也。我將無作轉輪王耶？』」

[T1.512a16]「阿難！昔大天王將欲自試天輪寶，時，集四種軍象軍、馬軍、車軍、步軍，集四種軍已，詣天輪寶所，以左手撫輪，右手轉之，而作是語，隨天輪寶，隨天輪寶之所轉去。阿難！彼天輪寶[1]轉已即去，向於東方，時，大天王亦自隨後及四種軍，若天輪寶有所住處，時大天王即彼止宿及四種軍。於是，東方諸小國王，彼皆來詣大天王所，白曰：『天王，善來，天王，此諸國土極大豐樂，多有人民，盡屬天王，唯願天王以法教之，我等亦當輔佐天王。』於是，大天王告諸小王曰：『卿等各各自領境界，皆當以法，莫以非法，無令國中有諸惡業、非梵行人。』」

[T1.512a28]「 阿難！彼天輪寶過東方去，度東大海，迴至南方、西方、北方。阿難！隨天輪寶周迴轉去時，大天王亦自隨後及四種軍，若天輪寶有所住處，時大天王即彼止宿及四種軍。於是，北方諸小國王，彼皆來詣大天王所白曰：『天王，善來，天王，此諸國土極大豐樂，多有人民，盡屬天王，唯願天王以法教之，我等亦當輔佐天王。』於是，大天王告諸小王曰：『卿等各各自領境界，皆當以法，莫以非法，無令國中有諸惡業、非梵行人。』阿難！彼天輪寶過北方去，度北大海，即時速還至本王城，彼大天王坐正殿上斷[2]理財物，時，天輪寶住於虛空，是謂[3]大天王成就如是天輪之寶。」

[T1.512b12]「阿難！彼大天王云何名為成就象寶。阿難！時，大天王而生象寶，彼象極白而有七支，其象名曰于娑賀，大天王見已，歡喜踊躍，若可調者，極令賢善。阿難！彼大天王則於後時告象師曰：『汝速御象，令極善調，若象調已，便來白我。』爾時，象師受王教已，至象寶所，速御象寶，令極善調，彼時象寶受極御治，疾得善調，猶昔良象壽無量百千歲，以無量百千歲受極御治，疾得善調，彼象寶者亦復如是，受極御治，疾得善調。阿難！爾時，象師速御象寶，令極善調，象寶調已，便詣大天王所，白曰：『天王，當知我以極御治之，象寶已調，隨天王意。』阿難！昔大天王試象寶時，平旦日出，至象寶所，乘彼象寶，遊一切地乃至大海，即時速還至本王城，是謂大天王成就如是白象之寶。」

[T1.512b28]「阿難！彼大天王云何名為成就馬寶。阿難！時，大天王而生馬寶，彼馬寶者，極紺青色，頭像如烏[4]，以毛嚴身，名髦[1]馬王，天王見已，歡喜踊

---

[1]〔寶〕－【宋】【元】【明】
[2] 斷＝料【宋】【元】【明】
[3] 謂＝諸【醍】
[4] 烏＝鳥【宋】

躍，若可調者，極令賢善。阿難！彼大天王則於後時告馬師曰：『汝速御馬，令極善調，若馬調已，便來白我。』爾時，馬師受王教已，至馬寶所，速御馬寶，令極善調，彼時馬寶受極御治，疾得善調，猶昔良馬壽無量百千歲，以無量百千歲受極御治，疾得善調，彼馬寶者亦復如是，受極御治，疾得善調。阿難！爾時，馬師速御馬寶，令極善調，馬寶調已，便詣大天王所，白曰：『天王，當知我以極御治之，馬寶已調，隨天王意。』阿難！昔大天王試馬寶時，平旦日出，至馬寶所，乘彼馬寶，遊一切地乃至大海，即時速還至本王城，是謂大天王成就如是紺馬之寶。」

[T1.512c15]「阿難！彼大天王云何名為成就珠寶。阿難！時，大天王而生珠寶，彼珠寶者，明淨自然，無有造者，八楞無垢，極好磨治，貫以五色繩，青、黃、赤、白、黑。阿難！時，大天王內宮殿中欲得燈明，即用珠寶。阿難！昔大天王試珠寶時，便集四種軍象軍、馬軍、車軍、步軍，集四種軍已，於夜闇中豎立高幢，安珠置上，出[2]至園觀，珠之光耀照四種軍，明之所及方半由延，是謂大天王成就如是明珠之寶。」

[T1.512c23]「阿難！彼大天王云何名為成就女寶。阿難！時，大天王而生女寶，彼女寶者，身體光澤，皦[3]潔明淨，美色過人，少[4]不及天，姿容端正，覩者歡悅，口出芬馥青蓮華香，身諸毛孔出栴[5]檀馨，冬則身溫，夏則身涼，彼女至心承事於王，發言悅樂，所作捷疾，聰明智慧，歡喜行善，彼女念王，常不離心，況身、口行，是謂大天王成就如是美女之寶。」

[T1.513a02]「阿難！彼大天王云何成就居士之[6]寶。阿難！時，大天王生居士寶，彼居士寶極大豐富，資財無量，多有畜牧、封戶、食邑，種種具足福業之報，而得天眼，見諸寶藏，空、有悉見，見有守護無守護者，金藏、錢藏，作以不作皆悉見之。阿難！彼居士寶詣大天王，白曰：『天王，若欲得金及錢寶者，天王莫憂，我自知時。』阿難！昔大天王試居士寶時，彼王乘船，入恒水中，告曰：『居士，我欲得金及以錢寶，居士白曰：『天王，願船至岸。』，時，大天王告曰：『居士，正欲此中得，正欲此中得。』居士白曰：『天王，願令船住。』阿難！時，居士寶至船前頭，長跪申手，便於水中舉四藏，出金藏、錢藏、作藏、不作藏，白曰：『天王，隨意所欲，金及錢寶恣其所用，用已餘者，還著水中。』是謂大天王成就如是居士之寶。」

---

[1] 髦＝毛【宋】【元】【明】【醍】
[2] 出＝步【醍】
[3] 皦＝皎【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 少＝小【宋】【元】【明】【醍】
[5] 栴＝旃【宋】【元】【明】
[6]〔之〕－【宋】【元】【明】

[T1.513a18]「阿難！彼大天王云何成就主兵臣寶。阿難！時，大天王生主兵寶，彼主兵臣聰明智慧，辯才巧[1]言，多識分別，主兵臣寶為大天王設現世義，勸安立之，設後世義，勸安立之，設現世義、後世義，勸安立之，彼主兵臣為大天王，欲合軍眾，便能合之，欲解便解，欲令大天王四種軍眾不使疲乏，及勸助之，諸臣亦然，是謂大天王成就如是主兵臣寶。阿難！是謂大天王成就七寶。」

[T1.513a26]「阿難！彼大天王云何得人四種如意之德，彼大天王壽命極長八萬四千歲，為童子嬉戲八萬四千歲，作小國王八萬四千歲，為大國王八萬四千歲，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道、學仙人王修行梵行，在此彌薩羅，住大天奈林中[2]。阿難！若大天王壽命極長八萬四千歲，為童子嬉戲八萬四千歲，作小國王八萬四千歲，為大國王八萬四千歲，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，學仙人王修行梵行，在此彌薩羅，住大天奈林中者，是謂大天王第一如意之德。」

[T1.513b09]「復次。阿難！彼大天王無有疾病，成就平等食味之道，不冷不熱，安隱無諍，由是之故，其所飲食而得安消。阿難！若大天王無有疾病，成就平等食味之道，不冷不熱，安隱無諍，由是之故，其所飲食而得安消者，是謂大天王第二如意之德。」

[T1.513b14]「復次。阿難！彼大天王身體光澤，*噭潔明淨，美色過人，小不及天，端正姝好，觀[3]者歡悅。阿難！若大天王身體光澤，*噭潔明淨，美色過人，小不及天，端正姝好，觀者歡悅，是謂大天王第三如意之德。」

[T1.513b18]「復次。阿難！彼大天王常於愛念梵志、居士，如父念子，梵志、居士亦復敬重於大天王，如子敬父。阿難！昔大天王在園觀中告御者曰：『徐徐御車，我欲久視梵志、居士。』梵志、居士亦告御者：『徐徐御車，我等欲久視大天王。』阿難！若大天王常於愛念梵志、居士，如父念子，梵志、居士亦復敬重我大天王，如子敬父者，是謂大天王第四如意之德。阿難！是謂大天王得人四種如意之德。」

[T1.513b27]「阿難！彼大天王則於後時告剃鬚[4]人，汝若見我頭生白髮者，便可啟我。於是，剃*鬚人受王教已，而於後時沐浴王頭，見生白髮，見已，啟曰：『天王，當知天使[5]已至，頭生白髮，彼大天王復告剃*鬚人，汝持金鑷徐拔白髮，著吾手中。』時，剃*鬚人聞王教已，即以金鑷徐拔白髮，著王手中。阿難！彼大天王手捧白髮而說頌曰：『

---

[1] 巧＝工【醍】
[2] 中＋（所）【宋】【元】【明】
[3] 觀＝覩【醍】
[4] 鬚＝髮【宋】【元】【明】[＞＊]
[5] 天使…生白髮～Pātubhūtā kho devassa devadūtā: dissanti sirasmim phalitāni jātāni.

我頭生白髮　　壽命轉衰減　天使已來至　　我今學道時

[T1.513c09]「阿難！彼大天王見白髮已，告太子曰：『太子，當知天使已至，頭生白髮，太子，我已得人間欲，今當復求天上之欲，太子，我欲剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，太子，我今以此四天下付授於汝，汝當如法治化，莫以非法，無令國中有諸惡業、非梵行人，大[1]子，汝後若見天使已至，頭生白髮者，汝當復以此國政授汝太子，善教勅之，授太子國已，汝亦當復剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，太子，我今為汝轉此相繼之法，汝亦當復轉此相繼之法，莫令人民墮在極邊，太子。云何我今為汝轉此相繼之法，汝亦當復轉此相繼之法，莫令人民[2]墮在極邊，太子，若此國中傳授法絕，不復續者，是名人民墮在極邊，太子，以是之故，我今為汝轉，太子，我已為汝轉此相繼之法，汝亦當復轉此相繼之法，莫令人民墮在極邊。』」

[T1.513c26]「阿難！彼大[3]天王以此國政付授太子，善教勅已，便剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，學仙人王修行梵行，在此彌薩羅大天王奈林中，彼亦轉輪王，成就七寶，得人[4]四種如意之德。云何成就七寶，得人四種如意之德，如前所說七寶，得人四種如意之德。」

[T1.514a03]「阿難！彼轉輪王亦於後時告剃*鬚人，汝若見我頭生白髮者，便可啟我。於是，剃*鬚人受王教已，而於後時沐浴王頭，見生白髮，見已，啟曰：『天王，當知天使已至，頭生白髮，彼轉輪王復告剃*鬚人，汝持金鑷徐拔白髮，著吾手中，時，剃*鬚人聞王教已，即以金鑷徐拔白髮，著王手中。』阿難！彼轉輪王手捧白髮而說頌曰：『

我頭生白髮　　壽命轉衰減　天使已來至　　我今學道時

[T1.514a13]「阿難！彼轉輪王見白髮已，告太子曰：『太子，當知天使已至，頭生白髮，太子，我已得人間欲，今當復求天上之欲，太子，我欲剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，我今以此四天下付授於汝，汝當如法治化，莫以非法，無令國中有諸惡業、非梵行人，太子，汝後若見天使已至，頭生白髮者，汝亦當復以此國政授汝太子，善教勅之，授太子國已，汝亦[5]當復剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，太子，我今為汝轉此相繼之法，汝亦當復轉此相繼之法，莫令人民墮在極邊，太子。云何我今為汝轉此相繼之法，汝亦當復轉此相繼之法，莫令人民墮在極邊，太子，若此國中傳授法

---

[1] 大＝太【宋】【元】【明】
[2] 民＝種斷【醍】
[3] 大＝太【醍】
[4]〔人〕－【宋】【元】【明】
[5]〔亦〕－【宋】【元】【明】

絕，不復續者，是名人民墮在極邊，太子，以是之故，我今為汝轉，太子，我已為汝轉此相繼之法，汝亦當復轉此相繼之法，莫令人民墮在極邊。』」

[T1.514b01]「阿難！彼轉輪王以此國政付授太子，善教勅已，便剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，學仙人王修行梵行，在此彌薩羅大天奈林中。」

[T1.514b04]「阿難！是為從子至子，從孫至孫，從族至族，從見至見，展轉八萬四千轉輪王，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，學仙人王修行梵行，在此彌薩羅大天奈林中，彼最後王名曰尼彌[1]，如法法王，行法如法，而為太子、后妃、婇女及諸臣民、沙門、梵志乃至蜫蟲，奉持法齋，月八日、十四日、十五日修行布施，施諸窮乏沙門、梵志、貧窮、孤獨、遠來乞者，以飲食、衣被、車乘、華鬘、散華、塗香、屋舍、床褥、氈氎、綩綖、給使、明燈。」

[T1.514b13]「彼時，三十三天[2]集坐善法講堂[3]，咨嗟稱歎尼彌王曰：『諸賢，鞞陀提[4]人有大善利，有大功德。所以者何？彼最後王名曰尼彌，如法法王，行法如法，而為太子、后妃、婇女及諸臣民、沙門、梵志，乃至蜫蟲，奉持法齋，月八日、十四日、十五日修行布施，施諸窮乏沙門、梵志、貧窮、孤獨、遠來乞者，以飲食、衣被、車乘、華鬘、散華、塗香、屋舍、床褥、氈氎、綩綖、給使、明燈。』」

[T1.514b21]「時，天帝釋[5]亦在眾中。於是，天帝釋告三十三天曰：『諸賢，汝等欲得即在此見尼彌王耶？」三十三天白曰：『拘翼我等欲得即在此見彼[6]尼彌王。」爾時，帝釋猶如力士屈申[7]臂頃，於三十三天上忽沒不現，已來至此尼彌王殿。於是，尼彌王見天帝釋，見已，問曰：『汝為是誰。』帝釋答曰：『大王，聞有天帝釋耶？』答曰：『聞有帝釋。』告曰：『我即是也。大王有大善利，有大功德。所以者何？三十三天為汝集坐善法講堂，咨嗟稱歎曰：『諸賢，鞞陀提人有大善利，有大功德。』所以者何？彼最後王名曰尼彌，如法法王，行法如法，而為太子、后妃、婇女及諸臣民、沙門、梵志，乃至蜫蟲，奉持法齋，月八日、十四日、十五日修行布施，施諸窮乏沙門、梵志、貧窮、孤獨、遠來乞者，以飲食、衣被、車乘、華鬘、散華、塗香、屋舍、床褥、氈氎、綩綖、給使、明燈，大王，欲見三十三天耶？』答曰：『欲見。』帝釋復告尼彌王曰：「我

---

[1] [>尼彌]～Nimi.
[2] [>三十三天]～Deva Tāvatimsat.
[3] 善法講堂～Sudhammā.
[4] [>鞞陀提]～Videha.
[5] [>天帝釋]～Sakka devānaṃ Inda.
[6] 彼＝於【宋】【元】【明】
[7] 申＝伸【明】＊

還天上，當勅嚴駕千象車來，大王乘車娛樂遊戲昇於天上。』時，尼彌王為天帝釋默然而受。」

[T1.514c12]「於是，帝釋知尼彌王默然受已，猶如力士*屈申臂頃，於尼彌王殿忽沒不現，已還至彼三十三天，帝釋到已，告御者曰：『汝速嚴駕千象車，往迎尼彌王。』到已，白曰：『大王，當知天帝釋遣此千象車來迎於大王，可乘此車娛樂遊戲昇於天上。』王乘車已，復白王曰：『王欲令我從何道送，為從惡受惡報道，為從妙受妙報道耶？』」

[T1.514c20]「於是，御者受帝釋教已，即便嚴駕千象車，往至尼彌王所，到已，白曰：『大王，當知帝釋遣此千象車來迎於大[1]王，可乘此車娛樂遊戲昇於天上。』時，尼彌王昇彼車已，御者復白王：『欲令我從何道送，為從惡受惡報道，為從妙受妙報道耶？』時，尼彌王告御者曰：『汝於兩道中間送我，惡受惡報，妙受妙報。』於是，御者便於兩道中間送王，惡受惡報，妙受妙報。於是，三十三天遙見尼彌王來，見已稱善，善來，大王，善來[42]，大王，可與三十三天共住娛樂，時，尼彌王為三十三天而說頌曰：『

猶如假借乘　一時暫求車　此處亦復然　謂為他所有
我還彌薩羅　當作無量善　因是生天上　作福為資粮

[T1.515a07]「阿難！昔大天王者汝謂異人耶？莫作是念：當知即是我也。阿難！我昔從子至子，從孫至孫，從族至族，從我展轉八萬四千轉輪王，剃除鬚髮，著袈[娑>裟]衣，至信、捨家、無家、學道、學仙人王修行梵行，在此彌薩羅大天奈林中。阿難！我爾時為自饒益，亦饒益他，饒益多人，愍傷世間，為天、為人求義及饒益，求安隱快樂，爾時說法不至究竟，不究竟白淨，不究竟梵行，不究竟梵行訖，爾時不離生老病死、啼哭憂慼，亦未能得脫一切苦。」

[T1.515a17]「阿難！我今出世，如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，我今為自饒益，亦饒益他，饒益多人，愍傷世間，為天、為人求義及饒益，求安隱快樂，我今說法得至究竟，究竟白淨，究竟梵行，究竟梵行訖，我今得離生老病死，啼哭憂慼，我今已得脫一切苦。」

[T1.515a23]「阿難！我今為汝轉相繼法，汝亦當復轉相繼法，莫令佛種斷，阿難！云何我今為汝轉相繼法，汝亦當復轉相繼法，莫令佛種斷，謂八支聖道，正見，乃至正定為八。阿難！是謂我今為汝轉相繼法，汝亦當復轉相繼法，莫令佛種斷。」

---

[1] 大＝天【宋】
[4]　[2]〔善來〕－【宋】【元】【明】

[T1.515a29] 佛說如是，尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.515b02] 大天奈林經 [1]第三 [2]竟[4](四千七百三十九字)[3]。

（六八）中阿含 [4]王相應品

(Ma.68) [5]大善見王經 第四 [6] (第二小土城誦)[7]

[T1.515b05] 我聞如是。

[T1.515b05] 一時，佛遊拘尸城 [8]，住恕跋單力士娑羅林 [9]中。

[T1.515b06] 爾時，世尊最後欲取般涅槃時，告曰：「阿難！汝往至雙娑羅樹 [10]間，可為如來北首敷床，如來中夜當般涅槃。」

[T1.515b08] 尊者阿難受如來教，即詣雙樹，於雙樹間而為如來北首敷床，敷床已訖，還詣佛所，稽首禮足，却住一面，白曰：「世尊！已為如來於雙樹間北首敷床，唯願世尊自當知時。於是，世尊將尊者阿難至雙樹間，四疊鬱多羅僧以敷床上，襞僧伽梨 [11]作枕，右脇而臥，足足相累，最後欲取般涅槃。」

[T1.515b15] 時，尊者阿難執拂侍佛，尊者阿難叉手向佛，白曰：「世尊！更有餘大城，一名瞻波 [12]，二名舍衛，三名鞞舍離，四名王舍城，五名波羅奈 [13]，六名加 [14]維羅衛，世尊不於彼般涅槃，何故正在此小土城，諸城之中此最為下。」

---

[1]〔大天…竟〕－【明】
[2] 三＝十【宋】【元】
[3] 四千七百三十九字＝四千七百二十四字【宋】【元】，〔四千七百三十九字〕－【明】
[4]〔中阿含〕－【宋】【元】
[5] ～《長部 17 經》Mahā-Sudassana-Suttanta.(大善見王經)，《六度集經》8.87.摩調王經(大正 3.48.)，《法句譬喻 4.41 經》卷 4 (大正 4.606.)，《長阿含 2 經》遊行經(大正 1.21.)，《佛般泥洹經》卷下(大正 1.169.)，《般泥洹經》(大正 1.185.)，《大般涅槃經》(大正 1.201.)，《根本說一切有部毘奈耶雜事》卷 37(大正 24.393.)
[6] 四＝十一【宋】【元】【明】
[7]〔第二小土城誦〕－【宋】【元】【明】
[8] [>拘尸城]～Kusinārā.
[9] [>恕跋單力士娑羅林]～Upavattana. Nailānaṃ sālavana.
[10] 雙娑羅樹～Yamaka-sālā.
[11] 梨＝黎【明】
[12] 瞻波…加維羅衛～Campā, Rājagaha, Sāvatthī, Sāketa, Kosambī, Bārāṇasī.
[13] 奈＝柰【宋】【元】【明】
[14] 加＝迦【元】【明】

[T1.515b20] 是時，世尊告曰：「阿難！汝莫說此為小土城，諸城之中此最為下。所以者何？乃[1]過去時，此拘尸城名拘尸王城，極大豐樂，多有人民。阿難！拘尸王城長十二由延[2]，廣七由延。阿難！造立樓櫓，高如一人，或二、三、四，至高七人。阿難！拘尸王城於外周匝有塹七重，其塹則以四寶塼壘金、銀、琉璃及水精，其底布以四種寶沙金、銀、琉璃及水精。阿難！拘尸王城周匝外有垣墻七重，其墻亦以四寶塼壘金、銀、琉璃及水精。阿難！拘尸王城周匝七重，行四寶多羅樹金、銀、琉璃及水精，金多羅樹銀葉華實，銀多羅樹金葉華實，琉璃多羅樹水精葉華實，水精多羅樹琉璃葉華實。」

[T1.515c04]「阿難！彼多羅樹間作種種華池青蓮華池，紅蓮、赤蓮、白蓮華池。阿難！其華池岸四寶塼壘金、銀、琉[3]璃及水精，其底布以四種寶沙金、銀、琉璃及水精。阿難！彼池中有四寶梯陛金、銀、琉璃及水精，金陛銀蹬[4]、銀陛金*蹬，琉璃陛水精*蹬，水精陛琉璃*蹬。阿難！彼池周匝有四寶鉤欄金、銀、琉璃及水精，金欄銀鉤，銀欄金鉤，琉璃欄水精鉤，水精欄琉璃鉤。阿難！彼池覆以羅網，鈴懸其間，彼鈴四寶金、銀、琉璃及水精，金鈴銀舌，銀鈴金舌，琉璃鈴水精舌，水精鈴琉璃舌。」

[T1.515c15]「阿難！於彼池中殖[5]種種水華青蓮華，紅蓮、赤蓮、白蓮華，常水常華，無守視者，通一切人。阿難！於彼池岸*殖種種陸華修摩那華、婆師華、瞻蔔華、修揵提華、摩頭揵提華、阿提牟哆華、波羅頭華。」

[T1.515c19]「阿難！其華池岸有眾多女，身體光澤，皦[6]潔明淨，美色過人，少[7]不及天，姿容端正，覩者歡悅，眾寶瓔珞，嚴飾具足，彼行惠施，隨其所須，飲食、衣被、車乘、屋舍、床褥、氍氀、給使、明燈，悉以與之。」

[T1.515c23]「阿難！其多羅[8]樹葉，風吹之時，有極上妙音樂之聲，猶五種妓工師作樂，極妙上好諧和之音。阿難！其多羅樹葉，風吹之時，亦復如是。阿難！拘尸城中設有弊惡極下之人，其有欲得五種妓[9]樂者，即共往至多羅樹間，皆得自恣，極意娛樂。阿難！拘尸王城常有十二種聲，未曾斷絕，象聲、馬聲、車聲、步聲、吹螺聲、鼓聲、薄洛鼓聲、伎鼓聲、歌聲、舞聲、飲食聲、惠施聲。」

---

[1] 乃＋（往）【宋】【元】【明】
[2] [>由延]～Yojana.
[3] 琉＝瑠【宋】【元】【明】【醍】＊
[4] 蹬＝橙【宋】，＝隥【元】【明】【醍】＊
[5] 殖＝植【宋】＊【元】＊【明】＊
[6] 皦＝皎【宋】【元】【明】
[7] 少＝小【宋】【元】【明】
[8] [>多羅]～Tāla.
[9] 妓＝妙【宋】【元】【明】

[T1.516a02]「阿難！拘尸城中有王，名大善見[1]，為轉輪王，聰明智慧，有四種軍整御天下，由己自在，如法法王成就七寶，得人四種如意之德。云何成就七寶，得人四種如意之德，如前所說七寶、四種人如意之德，阿難！於是，拘尸王城梵志、居士，多取珠寶、鉗婆羅寶，載詣大善見王，白曰：『天王，[2]此多珠寶、鉗婆羅寶，天王當為見慈愍故，願垂納受。』大善見王告梵志、居士曰：『卿等送獻，我所不須，吾亦自有。』」

[T1.516a11]「阿難！復有八萬四千諸小國王詣大善見王，白曰：『天王，我等欲為天王作殿，大善見王告諸小王，卿等欲為我作正殿，我所不須，自有正殿。』八萬四千諸小國王皆叉手向，再三白曰：『天王，我等欲為天王作殿，我等欲為天王作殿。』於是，大善見王為八萬四千諸小王故，默然而聽，爾時，八萬四千諸小國王知大善見王默然聽已，拜謁辭退，繞三匝而去，各還本國，以八萬四千車載金自重，并及其錢作以不作，復以一一珠寶之柱載往拘尸城，去城不遠，作大正殿。」

[T1.516a22]「阿難！彼大正殿長一由延，廣一由延。阿難！彼大正殿四寶塼壘金、銀、琉璃及水精。阿難！彼大正殿四寶梯陛金、銀、琉璃及水精，金陛銀*蹬，銀陛金*蹬，琉璃陛水精蹬，水精陛琉璃*蹬。阿難！大正殿中有八萬四千柱，以四寶作金、銀、琉璃及水精，金柱銀櫨磉[3]，銀柱金*櫨磉，琉璃柱水精*櫨磉，水精柱琉璃*櫨磉。阿難！大正殿內立八萬四千樓，以四寶作金、銀、琉璃及水精，金樓銀覆，銀樓金覆，琉璃樓水精覆，水精樓琉璃覆。」

[T1.516b03]「阿難！大正殿中設八萬四千御座，亦四寶作金、銀、琉璃及水精，金樓設銀御座，敷以氍氀、毼[毯-炎+登]，覆以錦綺羅[穀>縠]，有襯[4]體被，兩頭安枕，加陵伽波恕邏[5]波遮悉多羅那，如是銀樓設金御座，琉璃樓設水精御座，水精樓設琉璃御座，敷以氍氀、毼[毯-炎+登]，覆以錦綺羅[穀>縠]，有*襯體被，兩頭安枕[6]，加陵伽波恕*邏波遮悉多羅[7]那。阿難！彼大正殿周匝繞有四寶鈎欄金、銀、琉璃及水精，金欄銀鈎，銀欄金鈎，琉璃欄水精鈎，水精欄琉璃鈎。阿難！彼大正殿覆以羅網，鈴懸其間，彼鈴四寶金、銀、琉璃及水精，金鈴銀舌，銀鈴金舌，琉璃鈴水精舌，水精鈴琉璃舌。」

[T1.516b16]「阿難！彼大正殿具足成已，八萬四千諸小國王去殿不遠，作大華池。阿難！彼大華池長一由延，廣一由延。阿難！彼大華池四寶塼壘金、銀、

---

[1] [>大善見]～Mahāsudassana.
[2] [>天王]～Mahārāja.
[3] 櫨磉＝鑪鎟【宋】，＝鑪【元】＊
[4] 襯＝櫬【醍】＊
[5] 恕邏＝和羅【醍】＊
[6] 枕＝杭【醍】＊
[7] 羅＝邏【宋】【元】

琉璃及水精，其底布以四種寶沙金、銀、琉璃及水精。阿難！彼大華池有四寶梯陛金、銀、琉璃及水精，金陛銀*蹬，銀陛金*蹬，琉璃陛水精*蹬，水精陛琉璃*蹬。」

[T1.516b22]「阿難！彼大華池周匝繞[1]有四寶鉤欄金、銀、琉璃及水精，金欄銀鉤，銀欄金鉤，琉璃欄水精鉤，水精欄琉璃鉤。阿難！彼大華池覆以羅網，鈴懸其間，彼鈴四寶金、銀、琉璃及水精，金鈴銀舌，銀鈴金舌，琉璃鈴水精舌，水精鈴琉璃舌。阿難！彼大華池其中則有種種水華青蓮華，紅蓮、赤蓮、白蓮華，常水常華，有守視者，不通一切人。阿難！彼大華池其岸則有種種陸華修摩那華、婆師華、瞻蔔華、修揵提華、摩頭揵提華、阿提牟哆華、波羅賴[2]華。」

[T1.516c03]「阿難！如是大殿及大華池具足成已，八萬四千諸小國王去殿不遠，作多羅園。阿難！彼多羅園長一由延，廣一由延。阿難！多羅園中*殖八萬四千多羅樹，則以四寶金、銀、琉璃及水精，金多羅樹銀葉華實，銀多羅樹金葉華實，琉璃多羅樹水精葉華實，水精多羅樹琉璃葉華實。阿難！彼多羅園周匝有四寶鉤欄金、銀、琉璃及水精，金欄銀鉤，銀欄金鉤，琉璃欄水精鉤，水精欄琉璃鉤。阿難！彼多羅園覆以羅網，鈴懸其間，彼鈴四寶金、銀、琉璃及水精，金鈴銀舌，銀鈴金舌，琉璃鈴水精舌，水精鈴琉璃舌。」

[T1.516c15]「阿難！如是大殿華池及多羅園具足成已，八萬四千諸小國王即共往詣大善見王，白曰：『天王，當知大殿華池及多羅園悉具足成，唯願天王隨意所欲。阿難！爾時，大善見王便作是念：我不應先昇此大殿。若有上尊沙門、梵志，依此拘尸王城住者，我寧可請一切來集坐此大殿，施設上味極美餚饌，種種豐饒食噉含消，手自斟酌，皆令飽滿，食竟收器，行澡水訖，發遣令還。』」

[T1.516c23]「阿難！大善見王作是念已，即請上尊沙門、梵志，依彼拘尸王城住者，一切來集昇大正殿，都集坐已，自行澡水，便以上味極美餚饌，種種豐饒食噉含消，手自斟酌，皆令飽滿，食竟收器，行澡水訖，受呪願已，發遣令還。」

[T1.516c28]「阿難！大善見王復作是念：『今我不應大正殿中而行於欲，我寧可獨將一侍人昇大殿住。』阿難！大善見王則於後時，將一侍人昇大正殿，便入金樓，坐銀御床，敷以氍氀、毾[毯-炎+登]，覆以錦綺羅縠，有襯體被，兩頭安枕，加陵伽波恕邏波遮悉多羅那，坐已，離欲、離惡不善之法，有覺、有觀、離生喜、樂，逮初禪成就遊，從金樓出，次入銀樓，坐金御床，敷以氍氀、毾[毯-炎+登]，覆以錦綺羅縠，有襯體被，兩頭安枕，加陵伽波恕邏波遮悉多羅

[1] （圍）＋繞【元】【明】＊
[2] 賴＝柰【醍】

那，坐已，離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，逮初禪成就遊，從銀樓出，入琉璃樓，坐水精御床，敷以氍氀、毾[毯-炎+登]，覆以錦綺羅縠，有襯體被，兩頭安枕，加陵伽波恕邏波遮悉多羅那，坐已，離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，逮初禪成就遊，從琉璃樓出，入水精樓，坐琉璃御床，敷以氍氀、毾[毯-炎+登]，覆以錦綺羅縠，有襯體被，兩頭安枕，加陵伽波恕邏波遮悉多羅那，坐已，離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，逮初禪成就遊。」

[T1.517a19]「阿難！爾時八萬四千夫人及女寶並久不見大善見王，各懷飢虛，渴仰欲見。於是，八萬四千夫人共詣女寶，白曰：『天后，當知我等並久不覲天王，天后，我等今欲共見天王。』女寶聞已，告主兵臣：『汝今當知，我等並久不覲天王，今欲往見。』主兵臣聞，即送八萬四千夫人及女寶至大正殿，八萬四千象、八萬四千馬、八萬四千車、八萬四千步、八萬四千小王亦共侍送至大正殿，當去之時，其聲高大，音響震動，大善見王聞其聲高大，音聲震動，聞已，即問傍侍者曰：『是誰聲高大，音響震動。』侍者白曰：『天王，是八萬四千夫人及女寶，今悉共來詣大正殿，八萬四千象、八萬四千馬、八萬四千車、八萬四千步、八萬四千小王亦復共來詣大正殿。是故其聲高大，音響震動。』大善見王聞已，告侍者曰：『汝速下殿，可於露地疾敷金床，訖還白我。』侍者受教，即從殿下，則於露地疾敷金床訖，還白曰：『已為天王則於露地敷金床訖，隨天王意。』」

[T1.517b10]「阿難！大善見王即共侍者從殿來下，昇金床上，結跏趺坐。阿難！彼時八萬四千夫人及女寶皆[1]悉共前，詣大善見王。阿難！大善見王遙見八萬四千夫人及女寶，見已，則便閉塞諸根。於是，八萬四千夫人及女寶見王閉塞諸根已，便作是念：『天王今必不用我等。所以者何？天王適見我等，便閉塞諸根。』」

[T1.517b17] 「阿難！於是，女寶則前往詣大善見王，到已，白曰：『天王，當知彼八萬四千夫人及女寶盡是天王所有，唯願天王常念我等，乃至命終，八萬四千象、八萬四千馬、八萬四千車、八萬四千步、八萬四千小王，盡是天王所有，唯願天王常念我等，乃至命終。』」

[T1.517b23]「彼時大善見王聞斯語已，告女寶曰：『妹，汝等長夜教我為惡，不令行慈，妹，汝等從今已[2]後，當教我行慈，莫令為惡。』阿難！八萬四千夫人及女寶却住一面，涕零悲泣，而作此語：『我等非是天王之妹，而今天王稱我等為妹。』」

---

[1]〔皆〕－【宋】【元】【明】
[2] 已＝以【醍】

[T1.517b28]「阿難！彼八萬四千夫人及女寶各各以衣扙[1]拭其淚，復前往詣大善見王，到已，白曰：『天王，我等云何教天王行慈，不為惡耶？』大善見王答曰：『諸妹，汝等為我，應如是說，天王知不，人命短促，當就後世，應修梵行，生無不終，天王，當知彼法必來，非可愛念，亦不可喜[2]，壞[3]一切世，名曰為死，是以天王於八萬四千夫人及女寶有念有欲者，唯願天王悉斷、捨離，至終莫念，於八萬四千象、八萬四千馬、八萬四千車、八萬四千步、八萬四千小王，天王有欲有念者，唯願天王悉斷、捨離、至終莫念，諸妹，汝等如是教我行慈，不令為惡。」』

[T1.517c12]「阿難！彼八萬四千夫人及女寶白曰：『天王，我等從今已後，當教天王行慈，不令為惡，天王，人命短促，當就後世，彼法必來，非可愛念，亦不可憙，壞一切世，名曰為死，是以天王於八萬四千夫人及女寶有念有欲者，唯願天王悉斷、捨離，至終莫念，於八萬四千象、八萬四千馬、八萬四千車、八萬四千步、八萬四千小王，天王有欲有念者，唯願天王悉斷、捨離，至終莫念。』阿難！大善見王為彼八萬四千夫人及女寶說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，發遣令還。阿難！彼八萬四千夫人及女寶知大善見王發遣已，各拜辭還。」

[T1.517c25]「阿難！彼八萬四千夫人及女寶還去不久，大善見王即共侍者還昇大殿，則入金樓，坐銀御床，敷以氍氀、毼[毯-炎+登]，覆以錦綺羅縠，有*襯體被，兩頭安枕，加陵伽波*想邏波遮悉多羅那，坐已，作是觀：『我[4]是最後邊，念欲、念恚、念害、鬪諍、相憎、諛諂、虛偽、欺誑、妄言，無量諸惡不善之法是最後邊，心與慈俱，遍滿一方[5]成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。』」

[T1.518a07]「『從金樓出，次入銀樓，坐金御床，敷以氍氀、毼[毯-炎+登]，覆以錦綺羅縠，有*襯體被，兩頭安枕，加陵伽波*想邏波遮悉多羅那，坐已，作是觀，我是最後邊，念欲、念恚、念害、鬪諍、相憎、諛諂、虛偽、欺誑、妄言，無量諸惡不善之法是最後邊，心與悲俱，遍滿一*方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。」』

[T1.518a15]「『從銀樓出，入琉璃樓，坐水精御床，敷以氍氀、毼[毯-炎+登]，覆以錦綺羅縠，有襯體被，兩頭安枕，加陵伽波想邏波遮悉多羅那，坐已，作是觀，我是最後邊，念欲、念恚、念害、鬪諍、相憎、諛諂、虛偽、欺誑、妄

---

[1] 扙＝[打-丁+(改-己)]【醍】
[2] 喜＝憙【醍】
[3] 壞＝懷【醍】
[4] （身）＋我【醍】
[5] 方＝切【醍】＊

言，無量諸惡不善之法是最後邊，心與喜俱，遍滿一*方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。』」

[T1.518a23]「『從琉璃樓出，入水精樓，坐瑠璃御床，敷以氍氀、毼[毯-炎+登]，覆以錦綺羅縠，有*襯體被，兩頭安*枕，加陵伽波*恝邏波遮悉多羅那，坐已，作是觀，我是最後邊，念欲、念恚、念害、鬪諍、相憎、諛諂、虛偽、欺誑、妄言，無量諸惡不善之法是最後邊，心與捨俱，遍滿一*方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。』」

[T1.518b02]「阿難！大善見王於最後時生微微死痛，猶如居士或居士子，食極妙食，生小微煩。阿難！大善見王於最後時生微微死痛亦復如是。阿難！爾時大善見王修習四梵室，捨念欲已，乘是命終，生梵天中。」

[T1.518b07]「阿難！在昔異時大善見王者，汝謂異人耶？莫作斯念，當知即是我也。阿難！我於爾時為自饒益，亦饒益他，饒益多人，愍傷世間，為天、為人求義及饒益，求安隱快樂，爾時說法不至究竟，不究竟白淨，不究竟梵行，不究竟梵行訖，爾時不離生老病死、啼哭憂慼，亦未能得脫一切苦。」

[T1.518b14]「阿難！我今出世，如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師、號佛、眾祐，我今為自饒益，亦饒益他，饒益多人，愍傷世間，為天、為人求義及饒益，求安隱快樂，我今說法得至究竟，究竟白淨，究竟梵行，究竟梵行訖，我今得離生老病死、啼哭憂慼，我今已得脫一切苦。」

[T1.518b20]「阿難！從拘尸城，從恝跋單力士娑[1]羅林，從尼連然河，從求[2]求河，從天冠寺，從為我敷床處，我於其中間七反捨身，於中六反為轉輪王，今第七如來、無所著、等正覺。」

[T1.518b24]「阿難！我不復見世中天及魔、梵、沙門、梵志，從天至人，更復捨身者，是處不然。阿難！我今最後生、最後有、最後身、最後形、得最後我，我[3]說是苦邊。」

[T1.518b28] 佛說如是，尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.518c01]大善見王經第四竟[1](四千六百一十五字)[2]，

---

[1] 娑＝婆【宋】
[2] 求＝婆【宋】【元】【明】，〔求〕－【醍】
[3]〔我〕－【宋】【元】【明】

中阿含經卷第十四(九千五十四字)[3]三百(第二小土城誦)[4]

中阿含經

卷第十五 (Ma.69~70)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（六九）中阿含[5]王相應品

(Ma.69)三十喻經 第五[6](第二小土城誦)[7]

[T1.518c11] 我聞如是。

[T1.518c11] 一時，佛遊王舍城，在竹林加蘭哆園，與大比丘眾俱，共受夏坐。」

[T1.518c12] 爾時，世尊於十五日說從解脫時，在比丘眾前敷座而坐，世尊坐已，便入定意，觀諸比丘心。於是，世尊見比丘眾靜坐默然極默然，無有睡眠，除陰蓋故，比丘眾坐甚深極甚深，息極息、妙極妙。

[T1.518c17] 是時，尊者舍梨子亦在眾中。於是，世尊告曰：「舍梨子！比丘眾靜坐默然極默然，無有睡眠，除陰蓋故，比丘眾坐甚深極甚深，息極息、妙極妙。舍梨子！誰能敬重奉事比丘眾者 。」

[T1.518c21] 於是，尊者舍梨子即從坐起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！如是比丘眾靜坐默然極默然，無有睡眠，除陰蓋故，比丘眾坐甚深極甚深，息極息、妙極妙。世尊！無能敬重奉事比丘眾者，唯有世尊能敬重奉事法及比丘眾、戒、不放逸、布施及定，唯有世尊能敬重奉事 。」

---

[1]〔大…竟〕－【明】
[2]〔四千六百一十五字〕八字－【明】，五＝三【宋】【元】
[3]〔九…字〕八字－【宋】【元】【明】
[4]〔第二小土城誦〕－【宋】【元】【明】，【醍】
[5]〔中阿含〕－【宋】【元】【明】
[6] 五＝十二【明】
[7] 〔第二小土城誦〕－【明】

[T1.518c27] 世尊告曰：「舍梨子。如是，如是，無能敬重奉事比丘眾者，唯有世尊能敬重奉事法及比丘眾、戒、不放逸、布施及定，唯有世尊能敬重奉事。舍梨子！猶如王及大臣有種種嚴飾具，繒綵錦罽、指環、臂釧、肘瓔、咽鉗、生色[1]珠鬘，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以戒德為嚴飾具。舍梨子！若比丘、比丘尼成就戒德為嚴飾具者，便能捨惡，修習於善。舍梨子！猶如王及大臣有五儀式，劍、蓋、天冠、珠柄之拂及嚴飾屣，守衛其身，令得安隱，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以持禁戒為衛梵行。舍梨子！若比丘、比丘尼成就禁戒為衛梵行者，便能捨惡，修習於善 。」

[T1.519a12]「舍梨子！猶如王及大臣有守閤人。舍梨子！如是、比丘、比丘尼以護六根為守閤人。舍梨子！若比丘、比丘尼成就護六根為守閤人者，便能捨惡，修習於善。舍梨子！猶如王及大臣有守門將，聰明智慧，分別曉了，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以正念為守門將。舍梨子！若比丘、比丘尼成就正念為守門將者，便能捨惡，修習於善。舍梨子！猶如王及大臣有好浴池，清泉平滿，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以自[2]心為浴池泉。舍梨子！若比丘、比丘尼成就*自心為浴池泉者，便能捨惡，修習於善。舍梨子！猶如王及大臣有沐浴人，常使洗浴，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以善知識為沐浴人。舍梨子！若比丘、比丘尼成就善知識為沐浴人者，便能捨惡，修習於善 。」

[T1.519a27]「舍梨子！猶如王及大臣有塗身香，木蜜、沈水、栴[3]檀、蘇合雞舌、都梁，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以戒德為塗香。舍梨子！若比丘、比丘尼成就戒德為塗香者，便能捨惡，修習於善。舍梨子！猶如王及大臣有好衣服，初[4]摩衣、錦繒衣、白[疊*毛]衣、加陵伽波恕邏[5]衣，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以慙愧為衣服。舍梨子！若比丘、比丘尼成就慙愧為衣服者，便能捨惡，修習於善。舍梨子！猶如王及大臣有好床座，極廣高大，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以四禪為床座。舍梨子！若比丘、比丘尼成就四禪為床座者，便能捨惡，修習於善 。」

[T1.519b10]「舍梨子！猶如王及大臣有工剃師，常使洗浴，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以正念為剃師。舍梨子！若比丘、比丘尼成就正念為剃師者，便能捨惡，修習於善。舍梨子！猶如王及大臣有餚饌美食，種種異味，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以喜為食。舍梨子！若比丘、比丘尼成就於喜以為食者，便能捨惡，修習於善。舍梨子！猶如王及大臣有種種飲，奈飲、瞻波飲、甘蔗

---

[1] 色＋（像）【宋】【元】【明】
[2] 自＝息【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 栴＝旃【明】
[4] 初＝芻【宋】【元】【明】
[5] 邏＝羅【宋】【元】

飲、蒲桃[1]飲、末蹉提飲，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以法味為飲。舍梨子！若比丘、比丘尼成就法味以為飲者，便能捨惡，修習於善 。」

[T1.519b21]「舍梨子！猶如王及大臣有妙華鬘，青蓮華鬘、瞻蔔華鬘、修摩那華鬘、婆師華鬘、阿提牟哆華鬘，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以三定為華鬘，空、無願、無相。舍梨子！若比丘、比丘尼成就三定為華鬘者，便能捨惡，修習於善。舍梨子！猶如王及大臣有諸屋舍、堂閣、樓觀，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以三室為屋舍，天室、梵室、聖室。舍梨子！若比丘、比丘尼成就三室為屋舍者，便能捨惡，修習於善。舍梨子！猶如王及大臣有典守者，謂守室人，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以智慧為守室人。舍梨子！若比丘、比丘尼成就智慧為守室人者，便能捨惡，修習於善 。」

[T1.519c05]「舍梨子！猶如王及大臣有諸國邑四種租稅，一分供王及給皇后、宮中婇女，二分供給太子、群臣，三分供國一切民人，四分供給沙門、梵志，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以四念處為租稅。舍梨子！若比丘、比丘尼成就四念處為租稅者，便能捨惡，修習於善。舍梨子！猶如王及大臣有四種軍象軍、馬軍、車軍、步軍，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以四正斷為四種軍。舍梨子！若比丘、比丘尼成就四正斷為四種軍者，便能捨惡，修習於善。舍梨子！猶如王及大臣有種種輿，象輿、馬輿、車輿、步輿，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以四如意足為搁輿。舍梨子！若比丘、比丘尼成就四如意足以為輿者，便能捨惡，修習於善 。」

[T1.519c19]「舍梨子！猶如王及大臣有種種車莊，以眾好師子、虎、豹斑文之皮，織成雜色種種莊飾，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以止觀為車。舍梨子！若比丘、比丘尼成就止觀以為車者，便能捨惡，修習於善。舍梨子！猶如王及大臣有駕御者，謂御車人，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以正念為駕御人。舍梨子！若比丘、比丘尼成就正念為駕御人者，便能捨惡，修習於善。舍梨子！猶如王及大臣有極高幢，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以己心為高幢。舍梨子！若比丘、比丘尼成就己心為高幢者，便能捨惡，修習於善 。」

[T1.520a02]「舍梨子！猶如王及大臣有好道路，平正坦然，唯趣園觀，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以八支聖道為道路，平正坦然，唯趣涅槃。舍梨子！若比丘、比丘尼成就八支聖道以為道路，平正坦然，唯趣涅槃者，便能捨惡，修習於善。舍梨子！猶如王及大臣有主兵臣，聰明智慧，分別曉了，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以智慧為主兵臣。舍梨子！若比丘、比丘尼成就智慧為主兵臣者，便能捨惡，修習於善。舍梨子！猶如王及大臣有大正殿，極廣高敞，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以智慧為大正殿。舍梨子！若比丘、比丘尼成就智慧為大正殿者，便能捨惡，修習於善 。」

---

[1] 桃＝菊【明】

[T1.520a14]「舍梨子！猶如王及大臣昇高殿上，觀殿下人往來走踊、住立坐臥，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以昇無上智慧高殿，為自觀己心，周正柔軟，歡喜遠離。舍梨子！若比丘、比丘尼成就無上智慧高殿，為自觀己心，周正柔軟，歡喜遠離者，便能捨惡，修習於善。舍梨子！猶如王及大臣有宗正卿，諳練宗族，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以四聖種為宗正卿。舍梨子！若比丘、比丘尼成就四聖種為宗正卿者，便能捨惡，修習於善。舍梨子！猶如王及大臣有名良醫，能治眾病，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以正念為良醫。舍梨子！若比丘、比丘尼成就正念為良醫者，便能捨惡，修習於善 。」

[T1.520a27]「舍梨子！猶如王及大臣有正御床，敷以氍氀、毾[毯-炎+登]，覆以錦綺羅縠，有襯體被，兩頭安枕，加陵伽波恕邏波遮悉多羅那，舍利子。如是，比丘、比丘尼以無礙定為正御床。舍梨子！若比丘、比丘尼成就無礙定為正御床者，便能捨惡，修習於善。舍梨子！猶如王及大臣有名珠寶，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以不動心解脫為名珠寶。舍梨子！若比丘、比丘尼成就不動心解脫為名珠寶者，便能捨惡，修習於善。舍梨子！猶如王及大臣極淨沐浴，好香塗身，身極清淨，舍梨子。如是，比丘、比丘尼以自觀己心為身極淨。舍梨子！若比丘、比丘尼成就自觀己心為身淨者，便能敬重奉事世尊、法及比丘眾、戒、不放逸、布施及定 。」

[T1.520b13] 佛說如是，尊者舍梨子及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.520b15] 三十喻經第五竟[1](二千三百八十八字)[2]。

（七○）中阿含[3]王相應品

(Ma.70)轉輪王經[4] 第六[5](第二小土城誦)[6]

[T1.520b18] 我聞如是。

[T1.520b18] 一時，佛遊摩兜麗[7]剎利，在奈林駛河岸。

---

[1]〔三…竟〕－【明】
[2]〔二…字〕－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《長部 26 經》Cakkavatti-Sīhanāda-Suttanta.(轉輪聖王師子吼經)，《長阿含 6 經》轉輪聖王修行經(大正 1.39a)
[5] 六＝十三【明】
[6]〔第二小土城誦〕－【明】，（第二小土城誦）六字在經題次行【宋】【元】
[7] [>摩兜麗]～Mātulā.

[T1.520b19] 爾時，世尊告諸比丘：「諸比丘！當自[1]然法燈，自歸己法，莫然餘燈，莫歸餘法，諸比丘！若自然法燈，自歸己法，不然餘燈，不歸餘法者，便能求學得利，獲福無量。所以者何？比丘，昔時有王名曰堅念[2]，為轉輪王，聰明智慧，有四種軍整御天下，由己自在，如法法王，成就七寶，得人四種如意之德。云何成就七寶，得人四種如意之德，如前所說成就七寶，得人四種如意之德。」

[T1.520b27]「於是，堅念王而於後時，天輪寶移，忽離本處，有人見之，詣堅念王白曰：『天王，當知天輪寶移離於本處。』堅念王聞已，告曰：『太子，我天輪寶移離於本處，太子，我自曾從古人聞之，若轉輪王天輪寶移離本處者，彼王必不久住，命不久存，太子，我已得人間之欲，今當復求於天上欲，太子，我欲剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，太子，我今以此四天下付授於汝，汝當如法治化，莫以非法，無令國中有諸惡業、非梵行人，太子，汝後若見天輪寶移離本處者，汝亦當復以此國政授汝太子，善教勅之，授太子國已，汝亦當復剃除鬚髮，著袈[娑>裟]衣，至信、捨家、無家、學道於是，堅念王授太子國，善教勅已，便剃除鬚髮，著袈[娑>裟]衣，至信、捨家、無家、學道。』」

[T1.520c14]「時，堅念王出家學道七日之後，彼天輪寶即沒不現，失天輪已，[10]剎利頂生王[3]便大憂惱，愁慼不樂，剎利頂生王即詣父堅念王仙人所，到已，白曰：『天王，當知天王學道七日之後，彼天輪寶便沒不現。』父堅念王仙人告子剎利頂生王曰：『汝莫以失天輪寶故而懷憂慼。所以者何？汝不從父得此天輪。』剎利頂生王復白父曰：『天王，我今當何所為？』」

[T1.520c22]「父堅念王仙人告其子曰：『汝當應學相繼之法，汝若學相繼之法者。』於十五日說從解脫時，沐浴澡洗，昇正殿已，彼天輪寶必從東方來，輪有千[幅>輻]，一切具足，清淨自然，非人所造，色如火[火*僉]，光明昱爍，剎利頂生王復白父曰：『天王。云何相繼之法欲令我學，令[4]我學已。』於十五日說從解脫時，沐浴澡洗，昇正殿已，彼天輪寶從東方來，輪有千輻，一切具足，清淨自然，非人所造，色如火[火*僉]，光明昱爍。」

[T1.521a02]「父堅念王仙人復告子曰：『汝當觀法如法，行法如法，當為太子、后妃、婇女及諸臣民、沙門、梵志乃至蜫蟲奉持法齋，月八日、十四日、十五日修行布施，施諸窮乏沙門、梵志、貧窮、孤獨、遠來乞者，以飲食、衣被、車乘、華鬘、散華、塗香、屋舍、床褥、氍[毯-炎+數]、綩綖、給使、明燈，若

---

[1] 當自…餘法～Atta-dīpā viharatha atta-saraṇā anañña-saraṃā, dhamma-dīpā dhamma-saraṇā anañña-saraṇā.
[2] 堅念～Daḷhanemi.
[3] [>剎利頂生王]～Khattiya muddhāvasitta.
[4] 令＝今【元】

汝國中有上尊、名德、沙門、梵志者，汝當隨時往詣彼所，問法受[1]法，諸尊，何者善法，何者不善法，何者為罪，何者為福，何者為妙，何者非妙，何者為黑，何者為白，黑白之法從何而生，何者現世義，何者後世義。云何作行受善不受惡，從彼聞已，行如所說，若汝國中有貧窮者，當出財物，以給恤之，天王，是謂相繼之法，汝當善學，汝善學已，於十五日說從解脫時，沐浴澡洗，昇正殿已，彼天輪寶必從東方來，輪有千輻，一切具足，清淨自然，非人所造，色如火焰[2]，光明昱爍。」

[T1.521a19]「剎利頂生王便於後時觀法如法，行法如法，而為太子、后妃、婇女及諸臣民、沙門、梵志乃至蜫蟲奉持法齋，月八日、十四日、十五日修行布施，施諸窮乏沙門、梵志、貧窮、孤獨、遠來乞者，以飲食、衣被、車乘、華鬘、散華、塗香、屋舍、床褥、氍[毯-炎+數]、綩綖，給使、明燈，若其國中有上尊、名德、沙門、梵志者，便自隨時往詣彼所，問法受法：『諸尊，何者善法，何者不善法，何者為罪，何者為福，何者為妙，何者非妙，何者為黑，何者為白，黑白之法從何而生，何者現世義，何者後世義。云何作行受善不受惡。』從彼聞已，行如所說：『若其國中有貧窮者，即出財物，隨時給恤。』剎利頂生王於後十五日說從解脫時，沐浴澡洗，昇正殿已，彼天輪寶從東方來，輪有千輻，一切具足，清淨自然，非人所造，色如火[火*僉]，光明昱爍，彼亦得轉輪王，亦成就七寶，亦得人四種如意之德。云何成就七寶、得人四種如意之德，亦如前說。」

[T1.521b08]「彼轉輪王而於後時，天輪寶移，忽離本處，有人見之，詣轉輪王白曰：『天王，當知天輪寶移離於本處。』轉輪王聞已，告曰：『太子，我天輪寶移離本處，太子，我曾從父堅念王仙人聞之，若轉輪王天輪寶移離本處者，彼王必不久住，命不久存，太子，我已得人間之欲，今當復求於天上欲，太子，我欲剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，太子，我今以此四天下付授於汝，汝當如法治化，莫以非法，無令國中有諸惡業、非梵行人，太子，汝後若見天輪寶移離本處者，汝亦當復以此國政授汝太子，善教勅之。授太子國已，汝亦當復剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道於是。』轉輪王授太子國，善教勅已，便剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道。』」

[T1.521b23]「彼轉輪王出家學道七日之後，彼天輪寶即沒不現，失天輪已，剎利頂生王而不憂慼，但染欲著欲，貪欲無厭，為欲所縛，為欲所觸，為欲所使，不見災患，不知出要，便自出意治國，以自出意治國故，國遂衰減，不復增

[1] 受＝授【宋】【元】
[2] 焰＝[火*僉]【宋】【元】【明】

益，猶如昔時諸轉輪王學相繼法，國土人民轉增熾盛，無有衰減，剎利頂生王亦復如是，自出意治國，以自[1]出意治國故，國遂衰減，不復增益。」

[T1.521c02]「於是，國師梵志案[2]行國界，見國人民轉就衰減，不復增益，便作是念：剎利頂生王自出意治國，以自出意治國故，國土人民轉就衰減，不復增益，猶如昔時諸轉輪王學相繼法，國土人民轉增熾盛，無有衰減，此剎利頂生王亦復如是，自出意治國，以自出意治國故，國土人民轉就衰減，不復增益。」

[T1.521c09]「國師梵志即共往詣剎利頂生王，白曰：『天王，當知天王自出意治國，以自出意治國故，國土人民轉就衰減，不復增益，猶如昔時諸轉輪王學相繼法，國土人民轉增熾盛，無有衰減，今天王亦復如是，自出意治國，以自出意治國故，國土人民轉就衰減，不復增益。』剎利頂生王聞已告曰：『梵志，我當云何？』國師梵志白曰：『天王，國中有人聰明智慧，明知算數，國中有大臣眷屬學經明經，誦習受持相繼之法，猶如我等一切眷屬，天王，當學相繼之法。』」學相繼法已，於十五日說從解脫時，沐浴澡洗，昇正殿已，彼天輪寶必從東方來，輪有千輻，一切具足，清淨自然，非人所造，色如火[火*僉]，光明昱爍　。」

[T1.521c23]「剎利頂生王復問曰：『梵志。云何相繼之法欲令我學，令我學已。』於十五日說從解脫時，沐浴澡洗，昇正殿已，彼天輪寶必從東方來，輪有千輻，一切具足，清淨自然，非人所造，色如火[火*僉]，光明昱爍，國師梵志白曰：『天王，當觀法如法，行法如法，當為太子、后妃、婇女及諸臣民、沙門、梵志乃至蜫蟲奉持法齋，月八日、十四日、十五日修行布施，施諸窮乏沙門、梵志、貧窮、孤獨、遠來乞者，以飲食、衣被、車乘、華鬘、散華、塗香、屋舍、床褥、氍[毯-炎+數]、綩綖，給使、明燈。若王國中有上尊、名德、沙門、梵志者，當自隨時往詣彼所，問法受法，諸尊，何者善法，何者不善法，何者為罪，何者為福，何者為妙，何者非妙，何者為黑，何者為白，黑白之法從何而生，何者現世義，何者後世義。云何作行受善不受惡，從彼聞已，行如所說，若王國中有貧窮者，當出財物，用給恤之。天王，是謂相繼之法，當善取學。』善取學已，於十五日說從解脫時，沐浴澡洗，昇正殿已，彼天輪寶必從東方來，輪有千輻，一切具足，清淨自然，非人所造，色如火[火*僉]，光明昱爍。」

[T1.522a15]「剎利頂生王便於後時觀法如法，行法如法，而為太子、后妃、婇女及諸臣民、沙門、梵志乃至蜫蟲奉持法齋，月八日、十四日、十五日修行布施，施諸窮乏沙門、梵志、貧窮、孤獨、遠來乞者，以飲食、衣被、車乘、華鬘、散華、塗香、屋舍、床褥、氍[毯-炎+數]、綩綖，給使、明燈。若其國中有

[1]〔自〕－【宋】【元】【明】
[2] 案＝按【宋】【元】【明】

上尊、名德、沙門、梵志者，便自隨時往詣彼所，問法受法，諸尊，何者善法，何者不善法，何者為罪，何者為福，何者為妙，何者非妙，何者為黑，何者為白，黑白之法從何而生，何者現世義，何者後世義。云何作行受善不受惡，從彼聞已，行如所說。」

[T1.522a27]「然國中民有貧窮者，不能出物，用給恤之，是為困貧無財物者不能給恤，故人轉窮困，因窮困故，便盜他物，因偷盜故，其主捕伺收縛，送詣剎利頂生王，白曰：『天王，此人盜我物，願天王治。』剎利頂生王問彼人曰：『汝實盜耶？』彼人白曰：『天王，我實偷盜。所以者何？天王，以貧困故，若不盜者，便無以自濟。』剎利頂生王即出財物而給與之，語盜者曰：『汝等還去，後莫復作。』於是，國中人民聞剎利頂生王若國中人有行盜者，王便出財物而給與之，由斯之故，人作是念：『我等亦應盜他財物 。』 」

[T1.522b09]「於是，國人各各競行盜他財物，是為困貧無財物者，不能給恤，故人轉窮困，因窮困故，盜轉滋甚，因盜滋甚故，彼人壽轉減，形色轉惡，彼壽轉減色轉惡已，比丘！父壽八萬歲，子壽四萬歲，比丘！彼人壽四萬歲時，有人便行盜他財物，其主捕伺收縛，送詣剎利頂生王，白曰：『天王，此人盜我物，願天王治，剎利頂生王問彼人曰：『汝實盜耶？』彼人白曰：『天王，我實偷盜。所以者何？以貧困故，若不盜者，便無以自濟。』剎利頂生王聞已，便作是念：『若我國中有盜他物，更出財物盡給與者，如是唐空竭國藏，盜遂滋甚，我今寧可作極利刀，若我國中有偷盜者，便收捕取，坐高標下，斬截其頭。』」

[T1.522b23]「於是，剎利頂生王後便勅令，作極利刀：『若國中有盜他物者，即勅捕取，坐高標下，斬截其頭，國中人民聞剎利頂生王勅作利刀，若國中有盜他物者，即便捕取，坐高標下，斬截其頭，我亦寧可效作利刀，持行劫物，若從劫物者，捉彼物主而截其頭。』於是，彼人則於後時効作利刀，持行劫物，捉彼物主，截斷其頭，是為困[1]貧無財物者，不能給恤故，人轉窮困，因窮困故，盜轉滋甚，因盜滋甚故，刀殺轉增，因刀殺增故，彼人壽轉減，形色轉惡，彼壽轉減，色轉惡已。比丘，父壽四萬歲，子壽二萬歲。」

[T1.522c05]「比丘！人壽二萬歲時，有人盜他財物，其主捕伺收縛，送詣剎利頂生王，白曰：『天王，此人盜我財物，願天王治。』剎利頂生王問彼人曰：『汝實盜耶？』時，彼盜者便作是念：『剎利頂生王若知其實，或縛鞭我，或拋[2]或擯，或罰錢物，或種種苦治，或貫標上，或梟其首，我寧可以妄言欺誑剎利頂生王耶？』念已，白曰：『天王，我不偷盜。』是為困[3]貧無財物者，不能給恤故，人轉窮困，因窮困故，盜轉滋甚，因盜滋甚故，刀殺轉增，因刀殺增故，

[1] 困＝因【宋】【元】
[2] 拋＝挽【宋】【元】【明】
[3] 困＝因【宋】【元】【明】

便妄言、兩舌轉增，因妄言、兩舌增故，彼人壽轉減，形色轉惡，彼壽轉減，色轉惡已。比丘，父壽二萬歲，子壽一萬歲。」

[T1.522c17]「比丘！人壽萬歲時，人民或有德，或無德，若無德者，彼為有德人起嫉妬意而犯其妻，是為困貧無財物者，不能給恤故，人轉窮困，因窮困故，盜轉滋甚，因盜滋甚故，刀殺轉增，因刀殺增故，便妄言，兩舌轉增，因妄言、兩舌增故，便嫉妬、邪婬轉增，因嫉妬、邪婬增故，彼人壽轉減，形色轉惡，彼壽轉減，色轉惡已，比丘！父壽萬歲，子壽五千歲。」

[T1.522c25]「比丘！人壽五千歲時，三法轉增，非法、欲貪、邪法，因三法增故，彼人壽轉減，形色轉惡，彼壽轉減，色轉惡已，比丘！父壽五千歲，子壽二千五百歲，比丘！人壽二千五百歲時，復三法轉增，兩舌、麤言、綺語，因三法增故，彼人壽轉減，形色轉惡，彼壽轉減，色轉惡已，比丘！父壽二千五百歲，子壽千歲，比丘！人壽千歲時，一法轉增，邪見是也。因一法增故，彼人壽轉減，形色轉惡，彼壽轉減，色轉惡已，比丘！父壽千歲，子壽五百歲。」

[T1.523a05]「比丘！人壽五百歲時，彼人盡壽[1]不孝父母，不能尊敬沙門、梵志，不行順事，不作福業，不見後世罪，彼因不孝父母，不能尊敬沙門、梵志，不行順事，不作福業，不見後世罪故，比丘！父壽五百歲，子壽或二百五十、或二百歲，比丘！今若有長壽，或壽百歲，或不啻者。」

[T1.523a11] 佛復告曰：「比丘！未來久遠時，人壽十歲，比丘！人壽十歲時，女生五月，即便出嫁，比丘！人壽十歲時，有[2]穀名稗子，為第一美食，猶如今人，粳粮為上饌，比丘！如是人壽十歲時，*有穀名稗子，為第一美食，比丘！人壽十歲時，若今日所有美味，酥油、鹽、蜜、甘[3]蔗、糖[4]，彼一切盡沒，比丘！人壽十歲時，若行十惡業道者，彼便為人所敬重，猶如今日若行十善業道者，彼便為人所敬重，比丘！人壽十歲時亦復如是，若行十惡業道者，彼便為人之所敬重，比丘！人壽十歲時都無有善名，況復有行十善業道。」

[T1.523a23]「比丘、人壽十歲時，有人名彈罰，周行遍往，家家彈罰，比丘！人壽十歲時，母於其子極有害心，子亦於母極有害心，父子、兄弟、姊妹、親屬，展轉相向，有賊害心，猶如獵師見彼鹿已，極有害心，比丘！人壽十歲時亦復如是，母於其子極有害心，子亦於母極有害心，父子、兄弟、姊妹、親屬，展轉相向，有賊害心，比丘！人壽十歲時，當有七日刀兵劫，彼若捉草，即化成刀，若捉樵木，亦化成刀，彼以此刀各各相殺，彼於七日刀兵劫，過七日便止。」

---

[1]〔壽〕－【宋】【元】【明】
[2]（無）＋有【宋】＊【元】＊【明】＊
[3]甘＝苷【宋】【元】【明】
[4]糖＝粳【元】【明】，糖＋（粮）【元】【明】

[T1.523b04]「爾時，亦有人生慙耻羞愧，厭惡不愛，彼人七日刀兵*劫時，便入山野，在隱處藏，過七日已，則從山野於隱處出，更互相見，生慈愍心，極相愛念，猶如慈母，唯有一子，與久離別，從遠來還，安隱歸家，相見喜歡[1]，生慈愍心，極相愛念，如是彼人過七日後，則從山野於隱處出，更互相見，生慈愍心，極相愛念，共相見已，便作是語：『諸賢，我今相見，今[2]得安隱，我等坐生不善法故，今值見此，親族死盡，我等寧可共行善法。云何當共行善法耶？我等皆是殺生之人，今寧可共離殺、斷殺，我等應共行是善法。』」

[T1.523b16]「彼便共行如是善法，行善法已，壽便轉增，形色轉好，彼壽轉增，色轉好已，比丘！壽十歲人生子壽二十，比丘！壽二十歲人復作是念：『若求學善者，壽便轉增，形色轉好，我等應共更增行善，云何當共更增行善，我等已共離殺、斷殺、然故共行不與而取，我等寧可離不與取，斷不與取，我等應共行是善法。』彼便共行如是善法，行善法已，壽便[3]轉增，形色轉好，彼壽轉增，色轉好已，比丘！壽二十歲人生子壽四十[4]。」

[T1.523b25]「比丘！壽四十歲人亦作是念：『若求學善者，壽便轉增，形色轉好，我等應共更增行善。云何當共更增行善，我等已離殺、斷殺、離不與取、斷不與取，然故行邪婬，我等寧可離邪婬、斷邪婬，我等應共行是善法。』彼便共行如是善法，行善法已，壽便轉增，形色轉好，彼壽轉增，色轉好已，比丘！壽四十歲人生子壽八十。」

[T1.523c04]「比丘！壽八十歲人亦作是念：『若求學善者，壽便轉增，形色轉好，我等應共更增行善。云何當共更增行善，我等已離殺、斷殺、離不與取、斷不與取，離邪婬、斷邪婬，然故行妄言，我等寧可離妄言、斷妄言，我等應共行是善法，彼便共行如是善法。』行善法已，壽便轉增，形色轉好，彼壽轉增，色轉好已，比丘！壽八十歲人生子壽百六十。」

[T1.523c11]「比丘！壽百六十歲人亦作是念：『若求學善者，壽便轉增，形色轉好，我等應共更增行善。云何當共更增行善，我等已離殺、斷殺、離不與取、斷不與取，離邪婬、斷邪婬，離妄言、斷妄言，然故行兩舌，我等寧可離兩舌、斷兩舌，我等應共行是善法。』彼便共行如是善法，行善法已，壽便轉增，形色轉好，彼壽轉增，色轉好已，比丘！壽百六十歲人生子壽三百二十歲。」

[T1.523c20]「比丘！壽三百二十歲人亦作是念：『若求學善者，壽便轉增，形色轉好，我等應共更增行善。云何當共更增行善，我等已離殺、斷殺、離不與取、斷不與取，離邪婬、斷邪婬，離妄言、斷妄言，離兩舌、斷兩舌，然故行

---

[1] 喜歡＝歡喜【宋】【元】【明】
[2] 今＝令【宋】【元】【明】
[3] 便＝更【宋】【元】【明】
[4] 十＋（歲）【宋】【元】【明】

麤言，我等寧可離麤言、斷麤言，我等應共行是善法。』彼便共行如是善法，行善法已，壽便轉增，形色轉好，彼壽轉增，色轉好已，比丘！壽三百二十歲人生子壽六百四十。」

[T1.523c29]「比丘！壽六百四十歲人亦作是念：若求學善者，壽便轉增，形色轉好，我等應共更增行善。云何當共更增行善，我等已離殺、斷殺、離不與取、斷不與取，離邪婬、斷邪婬，離妄言、斷妄言，離兩舌、斷兩舌，離麤言、斷麤言，然故行綺語，我等寧可離綺語、斷綺語，我等應共行是善法，彼便共行如是善法，行善法已，壽便轉增，形色轉好，彼壽轉增，色轉好已，比丘！壽六百四十歲人生子壽二千五百。」

[T1.524a09]「比丘！壽二千五百歲人亦作是念：『若求學善者，壽便轉增，形色轉好，我等應共更增行善。云何當共更增行善，我等已離殺、斷殺、離不與取、斷不與取，離邪婬、斷邪婬，離妄言、斷妄言，離兩舌、斷兩舌，離麤言、斷麤言，離綺語、斷綺語，然故行貪嫉，我等寧可離貪嫉、斷貪嫉，我等應共行是善法。』彼便共行如是善法，行善法已，壽便轉增，形色轉好，彼壽轉增，色轉好已，比丘！壽二千五百歲人生子壽五千[1]。」

[T1.524a18]「比丘！壽五千歲人亦作是念：『若求學善者，壽便轉增，形色轉好，我等應共更增行善。云何當共更增行善，我等已離殺、斷殺、離不與取、斷不與取，離邪婬、斷邪婬，離妄言、斷妄言，離兩舌、斷兩舌，離麤言、斷麤言，離綺語、斷綺語，離貪嫉、斷貪嫉，然故行瞋恚，我等寧可離瞋恚、斷瞋恚，我等應共行是善法。』彼便共行如是善法，行善法已，壽便轉增，形色轉好，彼壽轉增，色轉好已，比丘！壽五千歲人生子壽一萬。」

[T1.524a28]「比丘！壽萬歲人亦作是念：『若求學善者，壽便轉增，形色轉好，我等應共更增行善。云何當共更增行善，我等已離殺、斷殺、離不與取、斷不與取，離邪婬、斷邪婬，離妄言、斷妄言，離兩舌、斷兩舌，離麤言、斷麤言，離綺語、斷綺語，離貪嫉、斷貪嫉，離瞋恚、斷瞋恚，然故行邪見，我等寧可離邪見、斷邪見，我等應共行是善法。』彼便共行如是善法，行善法已，壽便轉增，形色轉好，彼壽轉增，色轉好已，比丘！壽萬歲人生子壽二萬。」

[T1.524b09]「比丘！壽二萬歲人亦作是念：『若求學善者，壽便轉增，形色轉好，我等應共更增行善。云何當共更增行善，我等已離殺、斷殺、離不與取、斷不與取，離邪婬、斷邪婬，離妄言、斷妄言，離兩舌、斷兩舌，離麤言、斷麤言，離綺語、斷綺語，離貪嫉、斷貪嫉，離瞋恚、斷瞋恚，離邪見、斷邪見，然故有非法、欲惡、貪行邪法，我等寧可離此三惡不善法、斷三惡不善

[1] 千＋（歲）【宋】【元】【明】

法，我等應共行是善法。』彼便共行如是善法，行善法已，壽便轉增，形色轉好，彼壽轉增，色轉好已，比丘！壽二萬歲人生子壽四萬[1]。」

[T1.524b20]「比丘！人壽四萬歲時孝順父母，尊重恭敬沙門、梵志，奉行順事，修習福業，見後世罪，彼因孝順父母，尊重恭敬沙門、梵志，奉行順事，修習福業，見後世罪故，比丘！壽四萬歲人生子壽八*萬，比丘！人壽八萬歲時，此閻浮洲極大豐樂，多有人民，村邑相近，如雞一飛，比丘！人壽八萬歲時，女年五百乃當出嫁，比丘！人壽八萬歲時，唯有如是病，寒熱、大小便、欲、不[2]食、老，更無餘患。」

[T1.524b29]「比丘！人壽八萬歲時有王名螺，為轉輪王，聰明智慧，有四種軍整御天下，由己自在，如法法王，成就七寶，彼七寶者，輪寶、象寶、馬寶、珠寶、女寶、居士寶、主兵臣寶，是謂為七，千子具足，顏貌端正，勇猛無畏，能伏他眾，彼必統領此一切地，乃至大海，不以刀杖，以法教令，令得安樂，比丘！諸剎利頂生王得為人主，整御天下，行自境界，從[3]父所得，彼因行自境界，從父所得，壽不轉減，形色不惡，未曾失樂，力亦不衰，諸比丘！汝等亦應如是，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，行自境界，從父所得，諸比丘！汝等因行自境界，從父所得，壽不轉減，形色不惡，未曾失樂，力亦不衰。」

[T1.524c14]「云何比丘行自境界，從父所得，此比丘觀內身如身，觀內覺、心、法如法，是謂比丘行自境界，從父所得。云何比丘壽，此比丘修欲定如意足，依遠離，依無欲，依滅盡，趣向出要，修精進定，修心定，修思惟定如意足，依遠離，依無欲，依滅盡，趣向出要，是謂比丘壽。云何比丘色，此比丘修習禁戒，守護從解脫，又復善攝威儀禮節，見纖介罪，常懷畏怖，受持學戒，是謂比丘色。云何比丘樂，此比丘離欲、離惡不善之法，乃至得第四禪成就遊，是謂比丘樂。云何比丘力，此比丘諸漏[4]已盡，得無漏，心解脫、慧解脫，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，是謂比丘力。」

[T1.524c28]「比丘！我不更見有力不可降伏如魔王力，彼[5]漏盡比丘則以無上聖慧之力而能降伏。」

[T1.525a01] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

---

[1] 萬＋（歲）【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 不＝飲【宋】【元】【明】
[3] 從＝彼【明】
[4] 諸漏…成就遊～Āsavānaṃ khayā anāsavaṃ ceto-vimuttiṃ paññā-vimuttiṃ diṭṭhe va dhamme sayam abhiññā sacchi katvā upasampajja viharati.
[5] 彼＝故【宋】【元】【明】

[T1.525a03]轉輪王經第六竟 [1](六千三百一十三字)[2] [3]，

中阿含經卷第十五(八千七百二十一字) [4]

中阿含經

卷第十六 (Ma.71)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（七一）中阿含 [5]王相應品

(Ma.71)蜱肆經 [6] 第七 [7](第二小土城誦)[8]

[T1.525a12] 我聞如是。

[T1.525a12] 一時，尊者鳩摩羅迦葉 [9]遊拘薩羅國，與大比丘眾俱，往詣斯恕提 [10]，住彼村北尸攝恕林 [11]。

[T1.525a14] 爾時，斯恕提中有王名蜱肆 [12]，極大豐樂，資財無量，畜牧產業不可稱計，封戶、食邑種種具足，斯恕提邑泉池草木一切屬王，從拘薩羅王波斯匿 [13]之所封授。

[T1.525a17] 於是，斯恕提梵志、居士聞，有沙門名鳩摩羅迦葉遊拘薩羅國，與大比丘眾俱，來至此斯恕提，住彼村北尸攝恕林，彼沙門鳩摩羅迦葉有大名

---

[1]〔轉…竟〕－【明】
[2]〔六…字〕－【宋】【元】【明】
[3] 品中經末題下＋（第二小土城誦）【宋】【元】
[4]〔八…字〕－【宋】【元】【明】
[5]〔中阿含〕－【宋】【元】【明】
[6] ～《長部 23 經》Pāyāsi-Suttanta(弊宿經)，《大正句王經》(大正 1.831a)，參閱《長阿含 7 經》弊宿經(大正 1.42b)
[7] 七＝十四【明】
[8]〔第二小土城誦〕－【明】
[9] [>鳩摩羅迦葉]～Kumāra-Kassapa.
[10] [>斯恕提]～Setavyā.
[11] [>尸攝恕林]～Simsapā-vana.
[12] [>蜱肆]～Pāyāsī
[13] [>波斯匿]～Pasenadi

稱，周聞十方，鳩摩羅迦葉才辯無礙，所說微妙，彼是多聞阿羅訶也。若有見此阿羅訶恭敬禮事者，快得善利，我等可往見彼沙門鳩摩羅迦葉，斯恕提梵志、居士各與等類相隨而行，從斯恕提並共北出，至尸攝恕林。

[T1.525a26] 是時，蜱肆王在正殿上，遙見斯恕提梵志、居士各與等類相隨而行，從斯恕提並共北出，至尸攝恕林，蜱肆王見已，告侍人曰：「此斯恕提梵志、居士，今日何故各與等類相隨而行，從斯恕提並共北出，至尸攝恕林。」

[T1.525b02] 侍人白曰：「天王，彼斯恕提梵志、居士聞，有沙門鳩摩羅迦葉遊拘薩羅國，與大比丘眾俱，來至此斯恕提，住彼村北尸攝恕林，天王，彼沙門鳩摩羅迦葉有大名稱，周聞十方，鳩摩羅迦葉才辯無礙，所說微妙，彼是多聞阿羅訶也。若有見此阿羅訶恭敬禮事者，快得善利，我等可往見彼沙門鳩摩羅迦葉，天王。是故斯恕提梵志、居士各與等類相隨而行，從斯恕提並共北出，至尸攝恕林。」

[T1.525b11] 蜱肆王聞已，告侍人曰：「汝往詣彼斯恕提梵志、居士所，而語之曰：「蜱肆王告斯恕提梵志、居士，諸賢可住，我與汝等共往見彼沙門鳩摩羅迦葉，汝等愚癡，勿為彼所欺，為有後世，有眾生生，我如是見，如是說，無有後世，無眾生生。」

[T1.525b16] 侍人受教，即往詣彼斯恕提梵志、居士所，而語之曰：「蜱肆王告斯恕提梵志、居士，諸賢可住，我與汝等共往見彼沙門鳩摩羅迦葉，汝等愚癡，勿為彼所欺，為有後世，有眾生生，我如是見，如是說，無有後世，無眾生生。」

[T1.525b21] 斯恕提梵志、居士聞此教已，答侍人曰：「輒如來勅。」

[T1.525b22] 侍人還啟，已宣王命：「彼斯恕提梵志、居士住待天王，唯願天王宜知是時。」

[T1.525b24] 時，蜱肆王即勅御者：「汝速嚴駕，我今欲行。

[T1.525b25] 御者受教[1]，即速嚴駕訖，還白王，嚴駕已[辨>辦]，隨天王意。

[T1.525b26] 時，蜱肆王即乘車出，往詣斯恕提梵志、居士所，與共行至尸攝恕林，時，蜱肆王遙見尊者鳩摩羅迦葉在樹林間，即下車步進，往詣尊者鳩摩羅迦葉所，共相問訊，却坐一面，問曰：「迦葉，我今欲問，寧見聽耶？」

[1] 教即＝命【宋】【元】【明】

[T1.525c02] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，若欲問者，便可問之，我聞已當思。」

[T1.525c03] 時，蜱肆王即便問曰：「迦葉，我如是見，如是說，無有後世，無眾生生，沙門鳩摩羅迦葉，於意云何？」

[T1.525c06] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，我今問王，隨所解答，於王意云何，今此日月，為是今世，為後世耶？」

[T1.525c08] 蜱肆答曰[1]：「沙門鳩摩羅迦葉雖作是說，但我如是見，如是說，無有後世，無眾生生。」

[T1.525c10] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，復更有惡而過此耶？」

[T1.525c11] 蜱肆答曰：「如是，迦葉，復更有惡，迦葉，我有親親疾病困篤，我往彼所，到已，謂言：『汝等當知我如是見，如是說，無有後世，無眾生生，親親，有沙門、梵志如是見，如是說，言，有後世，有眾生生，我常不信彼之所說。』彼復作是語：『若有男女作惡行，不精進，事惰[2]、懈怠、嫉妬、慳貪，不舒手，不庶幾，極著財物，彼因緣此，身壞命終，必至惡處，生地獄中，若彼沙門、梵志所說是真實者，汝等是我親親，作惡行，不精進*事惰、懈怠、嫉妬、慳貪，不舒手，不庶幾，極著財物，若汝等身壞命終，必至惡處，生地獄中者，可還語我，蜱肆，彼地獄中如是如是苦，若當爾者，我便現見，彼聞我語，受我教已，都無有來語我言，蜱肆，彼地獄中如是如是苦。』迦葉，因此事故，我作是念：無有後世，無眾生生。」

[T1.525c27] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，我復問王，隨所解答。若有王人收縛罪者，送至王所，白曰：『天王，此人有罪，王當治之。』王告彼曰：『汝等將去反縛兩手，令彼騎驢，打破敗鼓，聲如驢鳴，遍宣令已，從城南門出，坐高標下，斬斷其頭。』彼受教已，即反縛罪人，令其騎驢，打破敗鼓，聲如驢鳴，遍宣令已，從城南門出，坐高標下，欲斬其頭，此人臨死語彼卒曰：『汝且小住，我欲得見父母、妻子、奴婢、使人，聽我暫去。』於王意云何，彼卒寧當放斯罪人，聽暫去耶？」

[T1.526a08] 蜱肆答曰：「不也。迦葉。」

[T1.526a09] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，王親親者亦復如是，作惡行，不精進，*事惰、懈怠、嫉妬、慳貪、不舒手，不庶幾，極著財物，彼因緣此，身壞命終，必至惡處，生地獄中，地獄卒捉極苦治時，彼語卒曰：『諸地獄卒，汝等

---

[1] 答曰＝王答【宋】【元】【明】
[2] 事惰＝懶惰【宋】＊【元】＊【明】＊

小住，莫苦治我，我欲暫去詣蜱肆王。』告語之曰：『彼地獄中如是如是苦，令彼現見。』於王意云何，彼地獄卒寧當放王親親令暫來耶？」

[T1.526a17] 蜱肆答曰：「不也。迦葉。」

[T1.526a17] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，汝應如是觀於後世，莫如肉眼之所見也。蜱肆。若有沙門、梵志斷絕離欲，趣向離欲，斷絕離恚，趣向離恚，斷絕離癡，趣向離癡，彼以清淨天眼出過於人，見此眾生死時、生時，好色、惡色，或妙、不妙，往來善處及不善處，隨此眾生之所作業，見其如真。」

[T1.526a23] 蜱肆王復言：「沙門鳩摩羅迦葉雖作是說，但我如是見，如是說，無有後世，無眾生生。」

[T1.526a25] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，復更有惡而過此耶？」

[T1.526a27] 蜱肆答曰：「如是，迦葉，復更有惡，迦葉，我有親親疾病困篤，我往彼所，到已謂言：『汝等當知我如是見，如是說，無有後世，無眾生生，親親，有沙門、梵志如是見，如是說，言，有後世，有眾生生，我常不信彼之所說，彼復作是語。若有男女妙行精進，精勤不懈，無有嫉妬，亦不慳貪，舒手，庶幾，開意放捨，給諸孤窮，常樂施與，不著財物，彼因緣此，身壞命終，必昇善處，乃生天上，若彼沙門、梵志所說是真實者，汝等是我親親，妙行精進，精勤不懈，無有嫉妬，亦不慳貪，舒手，庶幾，開意放捨，給諸孤窮，常樂施與，不著財物，若汝等身壞命終，必昇善處，生天上者，可還語我，蜱肆，天上如是如是樂，若當爾者，我便現見，彼聞我語，受我教已，都無有來語我言。』蜱肆，天上如是如是[1]樂，迦葉，因此事故，我作是念：無有後世，無眾生生。」

[T1.526b15] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，聽我說喻，慧者聞喻則解其義，蜱肆，猶村邑外有都圊廁，深沒人頭，糞滿其中，而有一人墮沒廁底，若復有人為慈愍彼，求義及饒益，求安隱快樂，便從廁上徐徐挽出，刮以竹片，拭以樹葉，洗以暖湯，彼於後時淨澡浴已，以香塗身，昇正殿上，以五所欲而娛樂之，於王意云何，彼人寧復憶念先廁，歡喜稱譽，復欲見耶？」

[T1.526b23] 蜱肆答曰：「不也。迦葉，若更有人憶念彼廁，歡喜稱譽而欲見者，便不愛此人，況復自憶念先廁，歡喜稱譽，復欲見者，是處不然。」

[T1.526b26]「蜱肆，若王有親親妙行精進，精勤不懈，無有嫉妬，亦不慳貪，舒手，庶幾，開意放捨，給諸孤窮，常樂施與，不著財物，彼因緣此，身壞命

[1]〔如是〕－【宋】【元】【明】

終，必昇善處，乃生天上，生天上已，天五所欲而自娛樂，於王意云何，彼天天子寧當捨彼天五所欲，憶念於此人間五欲，歡喜稱譽，復欲見耶？」

[T1.526c03] 蜱肆答曰：「不也。迦葉。所以者何？人間五欲臭處不淨，甚可增[1]惡，而不可向，不可愛念，麤澁不淨[2]，迦葉，比於人間五所[3]欲者，天欲為最，最上最好，最妙最勝，若彼天天子捨天五欲，而更憶念人間五欲，歡喜[4]稱譽，復欲見者，是處不然。」

[T1.526c09]「蜱肆，汝應如是觀於後世，莫如肉眼之所見也。蜱肆。若有沙門、梵志斷絕離欲，趣向離欲，斷絕離恚，趣向離恚，斷絕離癡，趣向離癡，彼以清淨天眼出過於人，見此眾生死時、生時，好色、惡色，或妙、不妙，往來善處及不善處，隨此眾生之所作業，見其如真。」

[T1.526c15] 蜱肆王復言：「沙門鳩摩羅迦葉雖作是說，但我如是見，如是說，無有後世，無眾生生。」

[T1.526c16] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，復更有惡而過是耶？」

[T1.526c18] 蜱肆答曰：「如是，迦葉，復更有惡，迦葉，我有親親疾病困篤，我往彼所，到已謂言：『汝等當知我如是見，如是說，無有後世，無眾生生，親親，有沙門、梵志如是見，如是說，言，有後世，有眾生生，我常不信彼之所說，彼復作是語。若有男女妙行精進，精勤不懈，無有嫉妬，亦不慳貪，舒手，庶幾，開意放捨，給[緒>諸]孤窮，常樂施與，不著財物，彼因緣此，身壞命終，必昇善處，乃生天上，若彼沙門、梵志所說是真實者，汝等是我親親，妙行精進，精勤不懈，無有嫉妬，亦不慳貪，舒手，庶幾，開意放捨，給諸孤窮，常樂施與，不著財物，若汝等身壞命終，必昇善處，生天上者，可還語我，蜱肆，天上如是如是樂，若汝天上而作是念：我若還歸，當何所得，蜱肆王家多有財物，吾當與汝，彼聞我語，受我教已，都無有來語我言。』蜱肆，天上如是如是樂，迦葉，因此事故，我作是念：無有後世，無眾生生。」

[T1.527a07] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，天上壽長，人間命短，若人間百歲，是三十三天一日一夜，如是一日一夜，月三十日，年十二月，三十三天天[5]壽千年，於王意云何，若汝有親親妙行精進，[>精]勤不懈，無有嫉妬，亦不慳貪，舒手，庶幾，開意放捨，給諸孤窮，常樂施與，不著財物，彼因緣此，身壞命終，必昇善處，乃生天上，生天上已，便作是念：『我等先當一日一夜，以

---

[1] 增＝憎【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 不淨＝有諍【宋】【元】【明】
[3]〔所〕－【宋】【元】【明】
[4] 歡喜＝喜歡【宋】【元】【明】
[5]〔天〕－【宋】＊【元】＊【明】＊

天五欲而自娛樂，或二、三、四，至六、七日，以天五欲而自娛樂，然後當往語蜱肆王，天上如是如是樂，令彼現見。』於王意云何，汝竟當得爾所活不。」

[T1.527a19] 蜱肆問曰：「迦葉，誰從後世來語，沙門鳩摩羅迦葉，天上壽長，人間命短，若人間百歲，是三十三天一日一夜，如是一日一夜，月三十日，年十二月，三十三天*天壽千年。」

[T1.527a22] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，聽我說喻，慧者聞喻則解其義，蜱肆，猶如盲人，彼作是說，無黑白色，亦無見黑白色，無長短色，亦無見長短色，無近遠色，亦無見近遠色，無麤細色，亦無見麤細色，何以故，我初不見不知。是故無有色，彼盲如是說，為真說耶？」

[T1.527a28] 蜱肆答曰：「不也。迦葉。所以者何？迦葉，有黑白色，亦有見黑白色，有長短色，亦有見長短色，有近遠色，亦有見近遠色，有麤細色，亦有見麤細色，若盲作是說，我不見不知。是故無有色者，彼作是說，為不真實。」

[T1.527b04] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆王亦如盲，若王作是說，誰從後世來語，沙門鳩摩羅迦葉，天上壽長，人間命[1]短，若人間百歲是三十三天一日一夜，如是一日一夜，月三十日，年十二月，三十三天天壽千年。」

[T1.527b09] 蜱肆王言：「沙門鳩摩羅迦葉，大為不可，不應作是說。所以者何？沙門鳩摩羅迦葉，精進比我如盲，迦葉，若知我知我親親妙行精進，精勤不懈，無有嫉妬，亦不慳貪，舒手，庶幾，開意放捨，給諸孤窮，常樂施與，不著財物，彼因緣此，身壞命終，必昇善處，生天上者，迦葉，我今便應即行布施，修諸福業，奉齋守戒已，以刀自殺，或服毒藥，或投坑井，或自縊[2]死，沙門鳩摩羅迦葉，精進不應比我如彼盲人。」

[T1.527b18] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，復聽我說喻，慧者聞喻則解其義，蜱肆，猶如梵志有年少婦，方始懷妊，又前婦者已有一男，而彼梵志於其中間忽便命終，命終之後，彼前婦兒語小母曰：『小母，當知今此家中所有財物盡應屬我，不復見應可與分者。』小母報曰：『我今懷妊，若生男者，汝應與分，若生女者，物盡屬汝。』彼前婦兒復更再三語小母曰：『今此家中所有財物盡應屬我，不復見應可與分者。』小母亦復再三報曰[3]：『我今懷妊，若[4]生男者，汝應與分，若生女者，物盡屬汝。』於是，小母愚癡不達，不善曉解，無有智慧，欲求存命而反自害，即入室中，便取利刀自決其腹，看為是男，為是女耶？彼愚癡不達，不善曉解，無有智慧，欲求存命而反自害及[復>腹]中子。」

---

[1] 命＝壽【宋】【元】【明】
[2] 縊＝經【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 曰＝云【宋】【元】【明】
[4] 若＝為【宋】【元】【明】

[T1.527c04] 當知蜱肆亦復如是愚癡不達，不善曉解，無有智慧，欲求存命，反作是念：「迦葉，若知我知我親親妙行精進，精勤不懈，無有嫉妬，亦不慳貪，舒手，庶幾，開意放捨，給諸孤窮，常樂施與，不著財物，彼因緣此，身壞命終，必昇善處，生天上者，我今便應即行布施，修諸福業，奉齋守戒已，以刀自殺，或服毒藥，或投坑井，或自縊死，沙門鳩摩羅迦葉，精進不應比我如彼盲人，蜱肆，若精進人長壽者，便得大福，若得大福者，便得生天長壽，蜱肆，汝應如是觀於後世，莫如肉眼之所見也。蜱肆。若有沙門、梵志斷絕離欲，趣向離欲，斷絕離恚，趣向離恚，斷絕離癡，趣向離癡，彼以清淨天眼出過於人，見此眾生死時、生時，好色、惡色，或妙、不妙，往來善處及不善處，隨此眾生之所作業，見其如真。」

[T1.527c21] 蜱肆王復言：「沙門鳩摩羅迦葉雖作是說，但我如是見，如是說，無有後世，無眾生生。」

[T1.527c23] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，復更有惡而過此耶？」

[T1.527c24] 蜱肆答曰：「如是，迦葉，復更有惡，迦葉，我有親親疾病困篤，我往彼所，慰勞看彼，彼亦慰勞視我，彼若命終，我復詣彼慰勞看彼，彼亦不復慰勞視我，我亦不復慰勞看彼，迦葉，以此事故，我作是念：無眾生生。」

[T1.527c28] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，復聽我說喻，慧者聞喻則解其義，蜱肆，猶如有人善能吹螺，若彼方土未曾聞螺聲，便往彼方，於夜闇中昇高山上盡力吹螺，彼眾多人未曾聞螺聲，聞已，便念：『此為何聲，如是極妙，為甚奇特，實可愛樂，好可觀聽，令心歡悅。』時，彼眾人便共往詣善吹螺人所，到已，問曰：『此是何聲，如是極妙，為甚奇特，實可愛樂，好可觀聽，令心歡悅，善吹螺人以螺投地。』語眾人曰：『諸君，當知即此螺聲。』於是，眾人以足蹴螺，而作是語，螺可出聲，螺可出聲，寂無音響，善吹螺人便作是念：今此眾人愚癡不達，不善曉解，無有智慧。所以者何？乃從無知之物欲求音聲。」

[T1.528a13]「是時，善吹螺人還取彼螺，以水淨洗，便舉向口，盡力吹之，時，彼眾人聞已，作是念：『螺甚奇妙。所以者何？謂因手因水因口，風吹便生好聲，周滿四方。』如是，蜱肆，若人活命存者，則能言語共相慰勞，若其命終，便不能言共相慰勞，蜱肆，汝應[1]如是觀眾生生，莫如肉眼之所見也。蜱肆。若有沙門、梵志斷絕離欲，趣向離欲，斷絕離恚，趣向離恚，斷絕離癡，趣向離癡，彼以清淨天眼出過於人，見此眾生死時、生時，好色、惡色，或妙、不妙，往來善處及不善處，隨此眾生之所作業，見其如真。」

[1] 應＝若【宋】【元】【明】

[T1.528a24] 蜱肆王復言：「沙門鳩摩羅迦葉雖作是說，但我如是見，如是說，無眾生生。」

[T1.528a26] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，復更有惡而過此耶？」

[T1.528a27] 蜱肆答曰：「如是，迦葉，復更有惡，迦葉，我有右伺[1]，收捕罪人送詣我所，到已，白曰：『天王，此人有罪，願王治之。』我語彼曰：『取此罪人可生稱之，生稱之已，還下著地，以繩絞殺，殺已[2]復稱。我欲得知此人為何時極輕柔軟，色悅澤[3]好，為死時耶？為活時耶？』彼受我教，取此罪人，活稱之已，還下著地，以繩絞殺，殺已復稱，彼罪人活時極輕柔軟，色悅*澤好，彼人死已，皮轉厚重，堅不柔軟，色不悅*澤，迦葉，因此事故，我作是念：無眾生生。」

[T1.528b08] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，復聽我說喻，慧者聞喻則解其義，[喻>蜱]肆，猶如鐵丸或鐵犁鑱，竟日火燒，彼當爾時，極輕柔軟，色悅*澤好，若火滅已，漸漸就冷，轉[4]凝厚重，堅不柔軟，色不悅*澤。如是，蜱肆，若人活時，身體極輕柔軟，色悅*澤好，若彼死已，便轉厚重，堅不柔軟，色不悅*澤，蜱肆，汝應如是觀眾生生，莫如肉眼之所見也。蜱肆。若有沙門、梵志斷絕離欲，趣向離欲，斷絕離恚，趣向離恚，斷絕離癡，趣向離癡，彼以清淨天眼出過於人，見眾生死時、生時，好色、惡色，或妙、不妙，往來善處及不善處，隨此眾生之所作業，見其如真。」

[T1.528b21] 蜱肆王復言：「沙門鳩摩羅迦葉雖作是說，但我如是見，如是說，無眾生生。」

[T1.528b22] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，復更有惡而過此耶？」

[T1.528b24] 蜱肆答曰：「如是，迦葉，復更有惡，迦葉，我有*右伺收捕罪人送詣我所，到已，白曰：『天王，此人有罪，願王治之。』我語彼曰：『取此罪人倒著鐵釜中，或著銅釜中，密蓋其口，於下燃火，下燃火已，觀視眾生入時出時，往來周旋。』彼受我教，取此罪人，倒著鐵釜中，或著銅釜中，密蓋其口，於下燃火，下燃火已，觀視眾生入時出時、往來周旋，迦葉，我作如是方便，不見眾生生，迦葉，因此事故，我作是念：無眾生生。」

---

[1] 右伺＝有司【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 已＝以【宋】【元】【明】
[3] 澤＝懌【宋】＊
[4] 轉＝漸【宋】【元】【明】

[T1.528c04] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，我今問汝，隨所解答，於意云何？若汝食好極美上饌，晝寢於床，汝頗曾憶於夢中見園觀浴池、林木華果、清泉長流，極意遊戲周旋往來耶？」

[T1.528c08] 蜱肆答曰：「曾憶有之。」

[T1.528c08] 迦葉復問：「若汝食好極美上饌，晝寢於床，爾時頗有直侍人不。」

[T1.528c10] 答曰：「有也。」

[T1.528c10] 迦葉復問：「若汝食好極美上饌，晝寢於床，當爾之時，左右直侍頗有見汝出入周旋往來時耶？」

[T1.528c12] 蜱肆答曰：「正使異人亦不能見，況復左右直侍人耶？」

[T1.528c14]「蜱肆，汝應如是觀眾生生，莫如肉眼之所見也。蜱肆。若有沙門、梵志斷絕離欲，趣向離欲，斷絕離恚，趣向離恚，斷絕離癡，趣向離癡，彼以清淨天眼出過於人，見此眾生死時、生時，好色、惡色，或妙、不妙，往來善處及不善處，隨此眾生之所作業，見其如真。」

[T1.528c19] 蜱肆王復言：「沙門鳩摩羅迦葉雖作是說，但我如是見，如是說，無眾生生。」

[T1.528c21] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，復更有惡而過此耶？」

[T1.528c22] 蜱肆答曰：「如是，迦葉，復更有惡，迦葉，我有*右伺，收捕罪人送詣我所，到已，白曰：『天王，此人有罪，願王治之。』我語彼曰：『取此罪人剝皮剔肉，截筋破骨，乃至於髓，求眾生生。』彼受我教，取此罪人剝皮剔肉，截筋破骨，乃至於髓，求眾生生，迦葉，我作如是方便求眾生生，而竟不見[1]眾生生，迦葉，因此事故，我作是念：無眾生生。」

[T1.529a01] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，復聽我說喻，慧者聞喻則解其義，蜱肆，猶如事火編髮梵志[2]居近道邊，去彼不遠，有商人宿，時，諸[3]商人過夜平旦忽忽發去，忘一小兒。於是，事火編髮梵志早起案行商人宿處，見一小兒獨住失主，見已，念曰：『今此小兒無所依怙，我不養者，必死無疑，便抱持去，還至本處而養長之，此兒轉大，諸根成就。』爾時，事火編髮梵志彼於人間有小事緣。於是，事火編髮梵志勑年少曰：『我有小事暫出人間，汝當種火，慎莫令滅，若火滅者，汝可取此火鑽求之 。』 」

---

[1] 而竟不＝竟不能得【宋】【元】【明】
[2] [>事火編髮梵志]～Aggika jaṭila.
[3]〔諸〕－【宋】【元】【明】

[T1.529a13]「爾時，事火編髮梵志善教勅已，即至人間，於後年少便出遊戲，火遂滅盡，彼還求火，即取火鑽以用打地，而作是語：『火出，火出。』火竟不出，復於石上加力打之：『火出，火出。』火亦不出，火既不出，便破火鑽十片、百片，棄去坐地，愁惱而言，不能得火，當如之何？』」

[T1.529a18]「是時，事火編髮梵志彼於人間所作已訖，還歸本處，到已，問曰：『年少，汝不遊戲隨視種火，不令滅耶？』年少白曰：『尊者，我出遊戲，火後遂滅，我還求火。』即取火鑽以用打地而作是語：『火出，火出。』火竟不出，復於石上加力打之：『火出，火出。』火亦不出，火既不出，便破火鑽十片、百片，棄去坐地：『尊者，我如是求，不能得火，當如之何 ？』 」

[T1.529a26]「爾時，事火編髮梵志便作是念：『今此年少甚癡不達，不善曉解，無有智慧。所以者何？從無知火鑽作如是意求索火耶？』於是，事火編髮梵志取燥火鑽火母，著地而以鑽之，即便火出，轉轉熾盛，語年少曰：『年少，求火法應如是，不應如[沙>汝]愚癡不達，無有智慧，從無知火鑽作如是意求索於火。』 當知蜱肆亦復如是，愚癡不達，不善曉解，無有智慧，於無知死肉乃至骨髓求眾生生。蜱肆，汝應如是觀眾生生，莫如肉眼之所見也。蜱肆。若有沙門、梵志斷絕離欲，趣向離欲，斷絕離恚，趣向離恚，斷絕離癡，趣向離癡，彼以清淨天眼出過於人，見此眾生死時、生時，好色、惡色，或妙、不妙，往來善處及不善處，隨此眾生之所作業，見其如真。」

[T1.529b12] 蜱肆王復言：「沙門鳩摩羅迦葉雖作是說，但我此見欲取、恚取、怖取、癡取，終不能捨，所以者何。若有他國異人聞之，便作是說，蜱肆王有見長夜受持，彼為沙門鳩摩羅迦葉之所降伏、所治斷捨，迦葉。是故我此見欲取、恚取、怖取、癡取，終不能捨。」

[T1.529b18] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，聽[1]我說喻，慧者聞喻則解其義，蜱肆，猶如朋友二人捨家治生，彼行道時，初見有麻甚多無主，一人見已，便語伴曰：『汝當知之，今此有麻甚多無主，我欲與汝共取，自重而擔，還歸可得資用。』便取重擔。彼於道路復見多有劫貝紗縷及劫貝衣甚多無主，復見多銀亦無有主，一人見已，便棄麻擔取銀自重，復於道路見多金聚而無有主，時，擔銀人語擔麻者：『汝今當知，此金極多而無有主，汝可捨麻，我捨銀擔，我欲與汝共取此金，重擔而歸，可得供用。』彼擔麻者語擔銀人：『我此麻擔已好，裝治縛束已堅，從遠擔來，我不能捨，汝且自知，勿憂我也。』於是，擔銀人強奪麻擔，撲著於地而[打-丁+勉][2]壞之。彼擔麻者語擔銀人：『汝已如是*[打-丁+勉]壞我擔，我此麻擔縛束已堅，所來處遠，我要自欲擔此麻歸，終不捨之，汝且自知，勿憂我也。』」

---

[1] （復）＋聽【宋】【元】【明】
[2] [打-丁+勉]＝挽【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.529c06]「彼擔銀人即捨銀擔，便自取金重擔而還，擔金人歸，父母遙見擔金來歸，見已，嘆曰：『善來，賢子，快來，賢子，汝因是金快得生活，供養父母，供給妻子、奴婢、使人，復可布施沙門、梵志，作福昇上，善果善報，生天長壽。』彼擔麻者還歸其家，父母遙見擔麻來歸，見已，罵曰：『汝罪人來，無德人來，汝因此麻，不得生活，供養父母，供給妻子、奴婢、使人，又亦不得布施沙門及諸梵志，作福昇上，善果善報，生天長壽[1]當知蜱肆亦復如是，若汝此見欲取、恚取、怖取、癡取，終不捨者，汝便當受無量之惡，亦為眾人之所*增惡。』」

[T1.529c18] 蜱肆王復言：「沙門鳩摩羅迦葉雖作是說，但我此見欲取、恚取、怖取、癡取，終不能捨，所以者何。若有他國異人聞之，便作是說：『蜱肆王有見長夜受持，彼為沙門鳩摩羅迦葉之所降伏、所治斷捨。』迦葉。是故我此見欲取、恚取、怖取、癡取，終不能捨。」

[T1.529c24] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，復聽我說喻，慧者聞喻則解其義，蜱肆，猶如商人與其大眾，有千乘車，行飢儉道，此大眾中而有兩主，彼作是念：『我等何因得脫此難。』復作是念：『我此大眾應分為兩部，部各五百，彼商人眾便分為兩部，部各五百。』於是，一商人主將五百乘至飢儉道，彼商人主常在前導，見有一人從傍道來，衣服盡濕，身黑頭黃，兩眼極赤，著蘅華鬘而乘驢車，泥著兩[轗-咸+匆]，彼商人主見，便問曰：『飢儉道中有天雨不，彼有新水、樵及草耶？』彼人答曰：『飢儉道中天降[2]大雨，極有新水乃饒樵、草。諸賢！汝等可捨故水、樵、草，莫令乘乏[3]，汝等不久當得新水及好樵、草。』」

[T1.530a08]「彼商人主聞已即還、詣諸商人而告之曰：『我在前行，見有一人從傍道來，衣服盡濕，身黑頭黃，兩眼極赤，著蘅華鬘而乘驢車，泥著兩[轗-咸+匆]。』我問彼曰：「「飢儉道中有天雨不，彼有新水、樵及草耶？」」彼答我曰：「「飢儉道中天*降大雨，極有新水乃饒樵、草。諸賢，汝等可捨故水、樵、草，莫令乘*乏，汝等不久當得新水及好樵、草。」」諸商人，我等可捨故水、樵、草，如是不久當得新水、樵、草，莫令乘*乏。』彼商人等即便棄捨故水、樵、草，一日行道不得新水、樵、草，二日、三日，乃至七日行道，猶故不得新水、樵、草，過七日已，為食人鬼之所殺害。」

[T1.530a21]「第二商人主便作是念：『前商人主已過嶮難，我等今當以何方便復得脫難。』第二商人主作是念已，與五百車即便俱進至飢儉道，第二商人主自在前導，見有一人從傍道來，衣服盡濕，身黑頭黃，兩眼極赤，著蘅華鬘而乘驢車，泥著兩[轗-咸+匆]，第二商人主見便問曰：『飢儉道中有天雨不，彼有新

---

[1] 長壽＝壽長【宋】【元】【明】
[2] 降＝適【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 乏＝之【宋】＊【元】＊【明】＊

水、樵及草耶？』彼人答曰：『飢儉道中天降大雨，極有新水乃饒樵、草。諸賢！汝等可捨故水、樵、草，莫令乘*乏，汝等不久當得新水及好樵、草。』」

[T1.530b02]「第二商人主聞已即還，詣諸商人而告之曰：『我在前行見有一人從傍道來，衣服盡濕，身黑頭黃，兩眼極赤，著蘅華鬘而乘驢車，泥著兩[轗-咸+匆]。我問彼曰：「「飢儉道中有天雨不，彼有新水、樵及草耶？」」彼答我曰：「「飢儉道中天適大雨，極有新水乃饒樵、草。諸賢！汝等可捨故水、樵、草，莫令乘*乏，汝等不久當得新水及好樵、草。 」」諸商人！我等未可捨故水、樵、草，若得新水、樵、草，然後當棄。』彼不捨故水、樵、草，一日行道不得新水、樵、草，二日、三日，乃至七日行道，猶故不得新水、樵、草，第二商人主在前行時，見前第一商人主及諸商人為食人鬼之所殺害，第二商人主見已，語諸商人：『汝等看前商人主愚癡不達，不善曉解，無有智慧，既自殺身，復殺諸人，汝等商人若欲取前諸商人物，自恣取之。』當知蜱肆亦復如是，若汝此見欲取、恚取、怖取、癡取，終不捨者，汝便當受無量之惡，亦為眾人之所憎惡，猶前第一商人之主及諸商人。」

[T1.530b21] 蜱肆王復言：「沙門鳩摩羅迦葉雖作是說，但我此見欲取、恚取、怖取、癡取，終不能捨，所以者何。若有他國異人聞之，便作是說，蜱肆王有見長夜受持，彼為沙門鳩摩羅迦葉之所降伏、所治斷捨，迦葉。是故我此見欲取、恚取、怖取、癡取，終不能捨。」

[T1.530b27] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，復聽我說喻，慧者聞喻則解其義，蜱肆，猶如二人許戲[1]賭[麩-夫+并]，第一戲者並竊食之，食一、二、三，或至眾多，第二戲者便作是念：『共此人戲，數數欺我而偷[麩-夫+并]食，或一、二、三，或至眾多。』見如是已，語彼伴曰：『我今欲息，後當更戲。』於是，第二戲者離於彼處，便以毒藥用塗其[麩-夫+并]，塗已即還，語其伴曰：『可來共戲，即來共戲。』第一戲者復竊[麩-夫+并]食，或一、二、三，或至眾多，既食[麩-夫+并]已，即便戴眼吐沫欲死。於是，第二戲者向第一戲人即說頌曰：『

此[麩-夫+并]毒藥塗　　汝貪食不覺　坐為[麩-夫+并]欺我　　後必致苦患

[T1.530c11]「當知蜱肆亦復如是，若汝此見欲取、恚取、怖取、癡取，終不捨者，汝便當受無量之惡，亦為眾人之所憎惡，猶如戲人為[麩-夫+并]欺他，還自得殃。」

[T1.530c14] 蜱肆王復言：「沙門鳩摩羅迦葉雖作是說，但我此見欲取、恚取、怖取、癡取，終不能捨，所以者何。若有他國異人聞之，便作是說：『蜱肆王有

[1] 許戲＝數數【宋】【元】【明】

見長夜受持，彼為沙門鳩摩羅迦葉之所降伏、所治斷捨。』迦葉。是故我此見欲取、恚取、怖取、癡取，終不能捨。」

[T1.530c19] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，復聽我說喻，慧者聞喻則解其義，蜱肆，猶養猪人，彼行路時，見有熇糞甚多無主，便作是念：『此糞可以養飽多猪，我寧可取自重而去。』即取負去，彼於中道遇天大雨，糞液[1]流漫，澆污其身，故負持去，終不棄捨，彼則自受無量之惡，亦為眾人之所憎惡，當知蜱肆亦復如是，若汝此見欲取、恚取、怖取、癡取，終不捨者，汝便當受無量之惡，亦為眾人之所憎惡，猶養猪人。」

[T1.530c28] 蜱肆王復言：「沙門鳩摩羅迦葉雖作是說，但我此見欲取、恚取、怖取、癡取，終不能捨，所以者何。若有他國異人聞之，便作是說，蜱肆王有見長夜受持，彼為沙門鳩摩羅迦葉之所降伏、所治斷捨，迦葉。是故我此見欲取、恚取、怖取、癡取，終不能捨。」

[T1.531a05] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，復聽我說最後譬喻，若汝知者，善，若不知者，我不復說法，蜱肆，猶如大猪為五百猪王，行嶮難道，彼於中路[2]遇見一虎，猪見虎已，便作是念：『若與鬪者，虎必殺我，若畏走者，然諸親族便輕慢我，不知今當以何方便得脫此難。』作是念已，而語虎曰：『若欲鬪者，便可共鬪，若不爾者，借我道過。』彼虎聞已，便語猪曰：『聽汝共鬪，不借汝道，猪復語曰：『虎，汝小住，待我被著祖父時鎧，還當共戰。』彼虎聞已，而作是念：『彼非我敵，況祖父鎧耶？』便語猪曰：『隨汝所欲。』猪即還至本廁處所，婉[3]轉糞中，塗身至眼已，便往至虎所，語曰：『汝欲鬪者便可共鬪，若不爾者，借我道過。』虎見猪已，復作是念：『我常不食雜小蟲者，以惜牙故，況復當近此臭猪耶？』虎念是已，便語猪曰：『我借汝道，不與汝鬪，猪得過已，則還向虎而說頌曰：『

虎汝有四足　　我亦有四足　汝來共我鬪　　何意怖而走

[T1.531a25] 時，虎聞已，亦復說頌而答猪曰：『

汝毛竪森森　　諸畜中下極　猪汝可速去　　糞臭不可堪

[T1.531a28] 時，猪自誇復說頌曰：『

摩竭鴦二國　　聞我共汝鬪　汝來共我戰　　何以怖而走

---

[1] 液＝釋【宋】【元】【明】
[2] 路＝道【宋】【元】【明】
[3] 婉＝宛【宋】【元】【明】

[T1.531b02] 虎聞此已，復說頌曰[1]，

舉身毛皆污　　猪汝臭熏我　汝鬪欲求勝　　我今與汝勝

[T1.531b05] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，我亦如是，若汝此見欲取、恚取、怖取、癡取，終不捨者，汝便自受無量之惡，亦為眾人之所憎惡，猶如彼虎與猪勝也。」

[T1.531b08] 蜱肆王聞已，白曰：「尊者初說日月喻時，我聞即解，歡喜奉受，然我欲從尊者鳩摩羅迦葉求上復上妙智所說。是故我向問復問耳，我今自[2]歸尊者鳩摩羅迦葉。」

[T1.531b12] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，汝莫歸我，我所歸佛，汝亦應歸。」

[T1.531b13] 蜱肆王白曰：「尊者，我今自歸佛[3]、法及比丘眾，願尊者鳩摩羅迦葉為佛受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡，尊者鳩摩羅迦葉，我從今日始行布施修福。」

[T1.531b17] 尊者鳩摩羅迦葉問曰：「蜱肆，汝欲行施修福，施與幾人，能至幾時。」

[T1.531b18] 蜱肆王白曰：「布施百人，或至千人，一日、二日，或至七日。」

[T1.531b20] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「若王行施修福，布施百人，或至千人，一日、二日，或至七日者，諸方沙門、梵志盡聞，蜱肆王有見長夜受持，彼為沙門鳩摩羅迦葉之所降伏、所治斷捨，諸方聞已，盡當遠來，七日之中不及王施，若不得食王信施者，王便無福，不得長夜受其安樂，蜱肆王，猶如種子不碎不壞，不剖不[6]坼，非風非日，非水中傷，秋時好藏，若彼居士深耕良田，極治地已，隨時下種，然雨澤不適者，於蜱肆意云何，彼種可得生增長不。」

[T1.531c01] 答曰：「不也。」

[T1.531c01] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，汝亦如是，若行施修福，布施百人或至千人，一日、二日，或至七日者，諸方沙門、梵志盡聞，蜱肆王有見長夜受持，彼為沙門鳩摩羅迦葉之所降伏、所治斷捨，諸方聞已，盡當遠來，七日之中不及王施，若不得食王信施者，王便無福，不得長夜受其安樂。」

[T1.531c08] 蜱肆王復問曰：「尊者，我當云何？」

---

[1] 曰＝答【宋】【元】【明】
[2] 自＝日【元】【明】
[3] （於）＋佛【宋】【元】【明】

[T1.531c09] 尊者鳩摩羅迦葉答曰：「蜱肆，汝當行施修福，常供長齋，若蜱肆王行施修福，常供長齋者，諸方沙門、梵志聞，蜱肆王有見長夜受持，彼為沙門鳩摩羅迦葉之所降伏、所治斷捨，諸方聞已，盡當遠來，彼皆可得及王信施，王便有福，而得長夜受其安樂，蜱肆，猶如種子不碎不壞，不剖不坼[1]，非風非日，非水中傷，秋時好藏，若彼居士深耕良田，極治地已，隨時下種，雨澤適者，於蜱肆意云何，彼種可得生增長不？」

[T1.531c18] 答曰：「生也。」

[T1.531c18] 尊者鳩摩羅迦葉告曰：「蜱肆，汝亦如是，若當行施修福，常供長齋者，諸方沙門、梵志聞，蜱肆王有見長夜受持，彼為沙門鳩摩羅迦葉之所降伏、所治斷捨，諸方聞已，盡當遠來，彼皆可得及王信施，王便有福，而得長夜受其安樂。」

[T1.531c24] 於是，蜱肆王白曰：「尊者，我從今始行施修福，常供長齋。」

[T1.531c25] 爾時，尊者鳩摩羅迦葉為蜱肆王及斯恕提梵志、居士說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便，為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，默然而住。於是，蜱肆王及斯恕提梵志、居士，尊者鳩摩羅迦葉為其說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即從坐[2]起，稽首尊者鳩摩羅迦葉足，繞三匝而去。

[T1.532a04] 彼蜱肆王雖行施修福，然極惡麤弊豆羹菜茹，唯一片薑，又復施以麤弊布衣，時，監厨者名優多羅[3]，彼行施修福時，為蜱肆王囑語上座呪願，此施若有福報者，莫令蜱肆王今世後世受，蜱肆王聞優多羅行施修福時，常為囑上座呪願，此施若有福報者，莫令蜱肆王今世後世受，聞已，即呼問曰：「優多羅，汝實行施修福時，為我囑上座呪願，此施若有福報者，莫令蜱肆王今世後世受，為如是耶？」

[T1.532a13] 優多羅白曰：「實爾，天王。所以者何？天王雖行施修福，然極惡麤弊豆羹菜茹，唯一片薑，天王，此食尚不可以手觸，況復自食耶？天王施以麤弊布衣，天王，此衣尚不可[4]以脚躡，況復自著耶？我敬天王，不重所施。是故，天王，我不願此弊布施報令王受也。」

[T1.532a19] 蜱肆王聞已，告曰：「優多羅，汝從今始，如我所食，當以飯食，如我著衣，當以布施。於是，優多羅從是已後，如王所食，便以飯食，如王所衣，便以布施。」

---

[1] 坼＝析【元】【明】＊
[2] 坐＝座【元】【明】
[3] [>優多羅]～Uttara.
[4]〔可〕－【宋】【元】【明】

[T1.532a22] 爾時，優多羅因為蜱肆王監行布施故，身壞命終，生四王天[1]中，彼蜱肆王以不至心行布施故，身壞命終，生楫樹林空宮殿[2]中，尊者橋[火*僉]鉢[3]帝數往遊行彼*楫樹林空宮殿中，尊者橋[火*僉]鉢帝遙見蜱肆王，即便問曰：「汝是誰耶？」

[T1.532a27] 蜱肆王答曰：「尊者橋[火*僉]鉢帝，頗聞閻浮洲中有斯恕[4]提王，名蜱肆耶？」

[T1.532a29] 尊者橋[火*僉]鉢帝答曰：「我聞閻浮洲中斯*恕提有王，名蜱肆。」

[T1.532b01] 蜱肆王白曰：「尊者橋[火*僉]鉢帝，我即是也。本名蜱肆王。」

[T1.532b03] 尊者橋[火*僉]鉢帝復問曰：「蜱肆王如是見，如是說，無有後世，無眾生生，彼何由生此，依[5]四王天小*楫樹林空宮殿中。」

[T1.532b05] 蜱肆王白曰：「尊者橋[火*僉]鉢帝，我本實有是見，然為尊者沙門鳩摩羅迦葉之所降伏、所治斷捨，若尊者橋[火*僉]鉢帝還下閻浮洲者，願遍告語閻浮洲人[6]，若行施修福時，當至心與，自手與，自往與，至信與，知有業、有業報與。所以者何？莫令以是受布施報如斯*恕提蜱肆王也。蜱肆王者是布施主，以不至心行施與故，生依四王天小*楫樹林空宮殿中，爾時，尊者橋[火*僉]鉢帝默然而受。」

[T1.532b14] 於是，尊者橋[火*僉]鉢帝有時來下至閻浮洲，則遍告諸[7]閻浮洲人，至心施與，自手與，自往與，至信與，知有業、有業報與。所以者何？莫令以是受布施報如斯*恕提蜱肆王也。蜱肆王者是布施主，以不至心行施與故，生依四王天小*楫樹林空宮殿中。」

[T1.532b20] 尊者鳩摩羅迦葉所說如是，蜱肆王、斯恕提梵志、居士及諸比丘聞尊者鳩摩羅迦葉所說，歡喜奉行。

[T1.532b23] 蜱肆王經第七竟[8](萬三百六十七字)[9]。

---

[1] [>四王天]～[Catummahārājika devā.>Cātummahārājika devā.]
[2] 楫樹林空宮殿＝叢樹林宮殿【宋】【元】【明】[>＊]～Suñña Serīsaka vimāna.
[3] [>橋[火*僉]鉢]～Gavampati.
[4] 恕＝和【宋】＊【元】＊【明】＊
[5] 依＝住【明】
[6] 人＝中【宋】【元】【明】
[7] 諸＝語【宋】【元】【明】
[8]〔蜱…竟〕－【明】
[9]〔萬…字〕－【宋】【元】【明】

中阿含經卷 [1]第十六(萬三百六十七字) [2]

中阿含 [3]王相[>應]品第一 [4]竟(三萬五千六百二十一字)[5](第二小土城誦)[6]，

中阿含經

卷第十七 (Ma.72)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

中阿含 [7]長壽王品第二 [8](有十五經)(第二小土城誦)[9]

長壽、天、八念　淨不移動道　郁伽 [10]支羅說　娑雞三族姓
梵天迎請 [11]佛　勝天、*伽絺那　念身、支離彌　上尊長老眠
無刺及真人　說處最在後

（七二）中阿含 [12]長壽王品

(Ma.72)長壽王本起經 [13] 第一

[T1.532c10] 我聞如是。

[T1.532c10] 一時，佛遊拘舍彌 [1]，在瞿師羅園 [2]。

---

[1] 卷末題在品末題次行【宋】【元】【明】
[2]〔萬…字〕－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【宋】【元】【明】
[4] 一＝六【明】
[5]〔三萬…字〕－【明】
[6]〔第二小土城誦〕－【明】
[7]〔中阿含〕－【宋】【元】【明】
[8] 第二＝第七【明】
[9] 夾註〔有十五經〕－【宋】【元】
[10] 伽＝迦【宋】＊【元】＊【明】＊
[11] 迎請＝請迎【明】
[12]〔中阿含〕－【宋】＊【元】＊【明】＊
[13] ～《中部》M. 128. Upakkilesa sutta. (隨煩惱經)，《本生經》J.428，《律藏》大品(Mv.10.2.2～20.)，四分律.卷 43(大正 22.879.)，五分律.卷 24(大正 22.158.)，《六度集經》1.10 經(大正 3.5.)，長壽王經.卷 1(大正 3.386.)，《增壹阿含 24.8 經》(大正 2.626b)

[T1.532c11] 爾時，拘舍彌諸比丘數共鬪諍。於是，世尊告拘舍彌諸比丘曰：「比丘！汝等莫共鬪諍。所以者何？

若以諍止諍　　至竟不見止　唯忍能止諍　　是法可尊貴

[T1.532c16]「所以者何？昔過去時，有拘娑羅國王，名曰長壽，復有加赦國王，名梵摩達哆，彼二國王常共戰諍。於是，加赦國王梵摩達哆興四種軍象軍、馬軍、車軍、步軍，興四種軍已，加赦國王梵摩達哆自引軍往，欲與拘娑羅國王長壽共戰，拘娑羅國王長壽聞加赦國王梵摩達哆興四種軍象軍、馬軍、車軍、步軍，興四種軍已，來與我戰，拘娑羅國王長壽聞已，亦興四種軍象軍、馬軍、車軍、步軍，興四種軍已，拘娑羅國王長壽自引軍出，往至界上，列陣共戰，即摧破之。於是，拘娑羅國王長壽盡奪取彼梵摩達哆四種軍象軍、馬軍、車軍、步軍，乃復生擒加赦國王梵摩達哆身，得已，即放而語彼曰：『汝窮厄人，今原赦汝，後莫復作！』」

[T1.533a01]「加赦國王梵摩達哆復再三興四種軍象軍、馬軍、車軍、步軍，興四種軍已，復自引軍往與拘娑羅國王長壽共戰，拘娑羅國王長壽聞加赦國王梵摩達哆復興四種軍象軍、馬軍、車軍、步軍，興四種軍已，來與我戰，拘娑羅國王長壽聞已，便作是念：『我已剋[3]彼，何須復*剋，我已伏彼，何足更伏，我已害彼，何須復害，但以空弓，足能伏彼。』拘娑羅國王長壽作是念已，晏[4]然不復興四種軍象軍、馬軍、車軍、步軍，亦不自往。於是，加赦國王梵摩達哆得來破之，盡奪取拘娑羅國王長壽四種軍眾象軍、馬軍、車軍、步軍。」

[T1.533a12]「於是，拘娑羅國王長壽聞加赦國王梵摩達哆來，盡奪取我四種軍眾象軍、馬軍、車軍、步軍已，復作是念：『鬪為甚奇，鬪為甚惡。所以者何？*剋當復剋，伏當復伏，害當復害，我今寧可獨將一妻，共乘一車，走至波羅奈。』於是，拘娑羅國王長壽即獨將妻，共乘一車，走至波羅*奈，拘娑羅國王長壽復作是念：『我今寧可至村村邑邑，受學博聞。』拘娑羅國王長壽作是念已，即便往至村村邑邑，受學博聞，以博聞故，即轉名為長壽博士。」

[T1.533a22]「長壽博士復作是念：『所為學者，我今已得，我寧可往波羅*奈都邑中，住街街巷巷，以歡悅顏色作妙音伎，如是波羅*奈諸貴豪族聞已，當極歡喜而自娛樂。』長壽博士作是念已，便往至[5]波羅*奈都邑中，住街街巷巷，以歡悅顏色作妙音伎，如是波羅*奈諸貴豪族聞已，極大歡喜而自娛樂。於是，加赦國王梵摩達哆外眷屬聞，中眷屬、內眷屬及梵志國師展轉悉聞，梵志國師聞

---

[1] [>拘舍彌]～Kosambī.
[2] [>瞿師羅園]～Ghositārāma.
[3] [剋>剋]＝克【元】【明】＊
[4] 晏＝宴【宋】【元】【明】
[5]〔至〕－【宋】【元】【明】

已，便呼見之。於是，長壽博士往詣梵志國師所，向彼而立，以歡悅顏色作妙音伎，梵志國師聞已，極大歡喜而自娛樂。於是，梵志國師告長壽博士：『汝從今日可依我住，當相供給。』長壽博士白曰：『尊者，我有一妻，當如之何。』梵志國師報曰：『博士，汝可將來依我家住，當供給之。』於是，長壽博士即將其妻依梵志國師家住，梵志國師即便供給彼。」

[T1.533b10]「於後時長壽博士妻心懷憂慼，作如是念：『欲令四種軍陣列鹵簿，拔白露刃，徐庠[1]而過，我欲遍觀，亦復欲得磨刀水飲。』長壽博士妻作是念已，便白長壽博士：『我心懷憂慼，作如是念，欲令四種軍陣列鹵簿，拔白露刃，徐*庠而過，我欲遍觀，亦復欲得磨刀水飲。』長壽博士即告妻曰：『卿莫作是念。所以者何？我等今為梵摩達哆王所破壞，卿當何由得見四種軍陣列鹵簿，拔白露刃，徐庠[2]而過，我欲遍觀，亦復欲得磨刀水飲耶？』妻復白曰：『尊若能得者，我有活望，若不得者，必死無疑。』」

[T1.533b22]「長壽博士即便往詣梵志國師所，向彼而立，顏色愁慘，以惡微聲作諸音伎，梵志國師聞已不得歡喜。於是，梵志國師問曰：『博士，汝本向我立，以歡悅顏色作妙音伎，我聞已極大歡喜而自娛樂，汝今何以向我立，顏色愁慘，以惡微聲作諸音伎，我聞已不得歡喜，長壽博士，汝身無疾患，意無憂慼耶？』長壽博士白曰：『尊者，我身無患，但意有憂慼耳，尊者，我妻心懷憂慼，作如是念：『我欲得四種軍陣列鹵簿，拔白露刃，徐庠[3]而過，我欲遍觀，亦復欲得磨刀水飲。』我即報妻曰：『卿莫作是念。所以者何？我今如此，卿當何由得四種軍陣列鹵簿，拔白露刃，徐*庠而過，我欲遍觀，亦復欲得磨刀水飲耶？』妻復白我曰：『尊若能得者，我有活望，若不得者，必死無疑。』尊者，若妻不全，我亦無理。」

[T1.533c09]「梵志國師問曰：『博士，汝妻可得見不，白曰：『尊者，可得見耳。』於是，梵志國師將長壽博士往至妻所，是時，長壽博士妻懷有德子，梵志國師見長壽博士妻懷有德子故，便以右膝跪地，叉手向長壽博士妻，再三稱說：『生拘娑羅國王，生拘娑羅國王。』教勅左右曰：『莫令人知，梵志國師告曰：『博士，汝勿憂慼，我能令汝妻得見四種軍陣列鹵簿，拔白露刃，徐*庠而過，亦能令得磨刀水飲。』」

[T1.533c18]「於是，梵志國師往詣加赦國王梵摩達哆所，到已，白曰：『天王，當知有德星現，唯願天王嚴四種軍，陣列鹵簿，拔白露刃，徐*庠導引，出曜軍威，以水磨刀，唯願天王自出觀視，天王，若作是者，必有吉應。』加赦國王梵摩達哆即勅主兵臣：『卿，今當知有德星現，卿宜速嚴四種之軍，陣列鹵簿，拔

---

[1] 庠＝詳【明】＊
[2] 庠＝詳【宋】【元】【明】
[3] 庠＝詳【明】＊

白露刃，徐*庠導引，出曜軍威，以水磨刀，我自出觀，若作是者，必有吉應。』時，主兵臣即受王教，嚴四種軍，陣列鹵簿，拔白露刃，徐*庠導引，出曜軍威，以水磨刀，梵摩達哆即自出觀。」

[T1.533c29]「因是長壽博士妻得見四種軍陣列鹵簿，拔白露刃，徐*庠導引，出曜軍威，并亦復得磨刀水飲，飲磨刀水已，憂慼即除，尋生德子，便為作字，名長生童子，寄人密養，漸已長大，長生童子若諸剎利頂生王者，整御天下得大國土，種種伎[1]藝，乘象、騎馬、調御、馳驟、射戲、手搏、擲羂[2]、擲鉤、乘車[3]、坐輦，如是種種諸妙*伎藝皆善知之，若干種妙觸事殊勝，猛毅超世，聰明挺出，幽微隱遠，無不博達。」

[T1.534a09]「於是，梵摩達哆聞拘娑羅國王長壽彼作博士，轉名在此波羅*奈城中，梵摩達哆即勅左右：『卿等速往收拘娑羅國王長壽，反縛兩手，令彼騎驢，打破敗鼓，聲如驢鳴，遍宣令已，從城南門出，坐高標下，詰問其辭。』左右受教，即便往收拘娑羅國王長壽，反縛兩手，令彼騎驢，打破敗鼓，聲如驢鳴，遍宣令已，從城南門出，坐高標下，詰問其辭，是時，長生童子尋隨父後，或在左右而白父曰：『天王勿怖，天王勿怖，我即於此，必能拔濟，必能拔濟。』拘娑羅王長壽告曰：『童子可忍，童子可忍，莫起怨詰，但當行慈。』眾人聞長壽王而作此語，便問於王，所道何等，王答眾人曰：『此童子聰明，必解我語。』」

[T1.534a22]「爾時，長生童子勸波羅*奈城中諸貴豪族：『諸君，行施修福，為拘娑羅國王長壽呪願，以此施福，願拘娑羅國王長壽令安隱，得解脫。』於是，波羅奈城中諸貴豪族為長生童子所勸，行施修福，為拘娑羅國王長壽呪願，以此施福，願拘娑羅國王長壽令安隱，得[加>解]脫，加赦國王梵摩達哆聞此波羅*奈諸貴豪族行施修福，為拘娑羅國王長壽呪願，以此施福願拘娑羅國王長壽令安隱，得解脫，聞即大怖，身毛皆豎：『莫令此波羅*奈城中諸貴豪族反於我耶？且置彼事，我今急當先滅此事。』於是，加赦國王梵摩達哆教勅左右：『汝等速去，殺拘娑羅國王長壽，斬作七段。』左右受教，即便速往，殺長壽王，斬作七段。」

[T1.534b07]「於是，長生童子勸波羅*奈城中諸貴豪族而作是語：『諸君看此，加赦國王梵摩達哆酷暴無道，彼取我父拘娑羅國王長壽無過之人，奪取其國倉庫財物，怨酷枉殺，斬作七段，諸君可往，以新繒疊[4]收斂我父，取七段屍，以一切香、香木積聚而闍維之，立於廟堂，為我作書與梵摩達哆言，拘娑羅國王

---

[1] 伎＝技【元】【明】＊
[2] 羂＝衒【宋】【元】【明】
[3] 車＝載【宋】【元】【明】
[4] 疊＝[疊*毛]【宋】＊【元】＊【明】＊

長生童子，彼作是語，汝不畏後為子孫作患耶？』於是，波羅奈諸貴豪族為長生童子所勸，以新繒*疊即往斂，取彼七段屍，以一切香、香木積聚而闍維之，為立廟堂，亦為作書與梵摩達哆言，拘娑羅國王長生童子，彼作是語，汝不畏後為子孫作患耶？」

[T1.534b20]「於是，長壽王妻告長生童子曰：『汝當知此加赦國王梵摩達哆酷暴無道，彼取汝父拘娑羅國王長壽無過之人，奪取其國倉庫財物，怨酷枉殺，斬作七段，童子汝來，共乘一車，走出波羅奈，若不去者，禍將及汝。』於是，長壽王妻與長生童子共乘一車，走出波羅奈。爾時，長生童子作如是念：『我寧可往至村村邑邑，受學博聞。』長生童子作是念已，便往至村村邑[1]邑，受學博聞，以博聞故，即轉名為長生博士。」

[T1.534b29]「長生博士復作是念：『所為學者，我今已得，我寧可往波羅奈都邑中，住街街巷[2]巷，以歡悅顏色作妙音伎，如是波羅奈諸貴豪族聞已，當大歡喜而自娛樂。』長生博士作是念已，便往至波羅*奈都邑中，住街*街巷巷，歡悅顏色作妙音伎，如是波羅奈諸貴豪族聞已，極大歡喜[3]而自娛樂。於是，加赦國王梵摩達哆外眷屬聞，中眷屬、內眷屬、梵志國師，展轉乃至加赦國王梵摩達哆聞，便呼見。」

[T1.534c09]「於是，長生博士即往詣加赦國王梵摩達哆所，向彼而立，以歡悅顏色作妙音伎，如是加赦國王梵摩達哆聞已，極大歡喜而自娛樂。於是，加赦國王梵摩達哆告曰：『博士，汝從今日可依我住，當相供給。』於是，長生博士即依彼住，加赦國王梵摩達哆即供給之，後遂信任，一以委付，即持衛身刀劍授與長生博士。」

[T1.534c16]「爾時，加赦國王梵摩達哆便勅御者，汝可嚴駕，我欲出獵，御者受教，即便嚴駕訖，還白曰：『嚴駕已[辨>辦]，隨天王意。』於是，加赦國王梵摩達哆便與長生博士共乘車出，長生博士即作是念：『此加赦國王梵摩達哆酷暴無道，彼取我父拘娑羅國王長壽無過之人，奪取其國倉庫財物，怨酷枉殺，斬作七段，我今寧可御車，使離四種軍眾各在異處。』長生博士作是念已，即便御車離四種軍，各在異處。」

[T1.534c25]「彼時，加赦國王梵摩達哆冒涉塗路，風熱所逼，煩悶渴乏，疲極欲臥，即便下車，枕長生[煩>]博士膝眠。於是，長生博士復作是念：『此加赦國王梵摩達哆酷暴無道，彼取我父無過之人，奪取其國倉庫財物，怨酷枉殺，斬作七段，然于[4]今日已在我手，但當報怨。』長生博士作是念已，即拔利刀，著

---

[1] 村邑＝邑村【宋】
[2] 街巷＝巷街【宋】＊
[3] 喜＝悅【宋】【元】【明】
[4] 于＝子【宋】＊【元】＊【明】＊

加赦國王梵摩達哆頸上而作是語：『我今殺汝，我今殺汝。』長生博士復作是念：『我為不是。所以者何？憶父昔日在標下時，臨終語我，童子可忍，童子可忍，莫起怨結，但當行慈。』憶已，舉刀還內鞘中。」

[T1.535a07]「彼時，加赦國王梵摩達哆夢見拘娑羅國王長壽兒長生童子，手拔利刀，著我頸上而作此言[1]：『我今殺汝，我今殺汝。』見已恐怖，身毛皆豎，便疾驚寤[2]，起語長生博士：『汝今當知我於夢中，見拘娑羅國王長壽兒長生童子，手拔利刀，著我頸上而作是言[3]，我今殺汝，我今殺汝。』長生博士聞已，白曰：『天王勿怖，天王勿怖。所以者何？彼拘娑羅國王長壽兒長生童子者，即我身是，天王，我作是念：加赦國王梵摩達哆酷暴無道，彼取我父無過之人，奪取其國倉庫財物，怨酷枉殺，斬作七段，而*于今日已在我手，但當報怨，天王，我拔利刃，著王頸上而作是語，我今殺汝，我今殺汝，天王，我復作是念：我為不是。所以者何？憶父昔日在標下時，臨終語我：童子可忍，童子可忍，莫起怨結，但當行慈　。』憶已舉刀還內鞘中　。」

[T1.535a23]「加赦國王梵摩達哆語曰：『童子，汝作是說，童子可忍，童子可忍，我已[和>知]此義。』童子又言：『莫起怨結，但當行慈者。』此謂何義，長生童子答曰：「天王，莫起怨結，但當行慈者，即謂此也。』加赦國王梵摩達哆聞已，語曰：『童子，從今日始，我所領國盡以相與，汝父本國還持付卿。所以者何？汝所作甚難，乃惠我命。』長生童子聞已，白曰：『天王本國自屬天王，我父本國可以見還。』」

[T1.535b02]「於是，加赦國王梵摩達哆與長生童子共載還歸，入波羅奈城，坐正殿上，告諸臣曰：『卿等若見拘娑羅國王長壽兒長生童子者，當云何耶？諸臣聞已，或有白曰：『天王，若見彼者，當截其手。』或復作是語：『天王，若見彼者，當截其足。』或復作是語：『當斷其命。』加赦國王梵摩達哆告諸臣曰：『卿等欲見[4]拘娑羅國王長壽兒長生童子者，即此是也。汝等莫起惡意向此童子。所以者何？此童子所作甚難，惠與我命。』於是，加赦國王梵摩達哆以王沐浴浴長生童子，塗以王香，衣以王服[5]，令坐金御床，以女妻之，還其本國。」

[T1.535b14]「比丘！彼諸國王剎利頂生王，為大國主，整御天下，自行忍辱，復稱歎忍，自行慈心，復稱歎慈，自行恩惠，復稱恩惠，諸比丘！汝亦應如是，至信、捨家、無家、學道，當行忍辱，復稱歎忍，自行慈心，復稱歎慈，自行恩惠，復稱恩惠。」

---

[1] 此言＝是語【宋】【元】【明】
[2] 寤＝覺【宋】【元】【明】
[3] 言＝語【宋】【元】【明】
[4] 見＝知【宋】【元】【明】
[5] 服＝飯【元】

[T1.535b19] 於是，諸比丘聞佛所說，有作是言，世尊法主[1]今且住也。彼導[2]說我，我那得不*導說彼。」

[T1.535b21] 於是，世尊不悅可拘舍彌諸比丘所行威儀、禮節、所學、所習，即從坐[3]起，而說頌曰：「

以若干言語	破壞最尊眾	破壞聖眾時	無有能訶止
碎身至斷命	奪象牛馬財	破國滅亡盡	彼猶故和解
況汝小言罵	不能制和合	若不思真義	怨結焉得息
罵詈責數說	而能制和合	若思真實義	怨結必得息
若以諍止諍	至竟不見止	唯忍能止諍	是法可尊貴
瞋向慧真人	口說無賴言	誹謗牟尼聖	是下賤非智
他人不解義	唯我獨能知	若有能解義	彼恚便得息
若得定為侶	慧者共修善	捨本所執意	歡喜常相隨
若不得定伴	慧者獨修善	如王嚴治國	如象獨在野
獨行莫為惡	如象獨在野	獨行為善勝	勿與惡共會
學不得善友	不與己等者	當堅意獨住	勿與惡共會

[T1.535c17] 爾時，世尊說此頌已，即以如意足乘虛而去，至婆羅樓羅村[4]。於是，婆羅樓羅村有尊者婆咎釋[5]家子，晝夜不眠，精勤行道，志行常定，住道品法，尊者釋家子遙見佛來，見已往迎，攝佛衣鉢，為佛敷床，汲水洗足，佛洗足已，坐尊者釋家子婆咎座，坐已，告曰：「婆咎比丘，汝常安隱，無所乏耶？」

[T1.535c23] 尊者釋家子婆咎白曰：「世尊！我常安隱，無有所乏。」

[T1.535c24] 世尊復問，婆咎比丘。云何安隱，無所乏耶？」

[T1.535c25] 尊者婆咎白曰：「世尊！我晝夜不眠，精勤行道，志行常定[6]，住道品法。世尊！如是我常安隱，無有所乏。」

[T1.535c28] 世尊復念：「此族姓子遊行安樂，我今寧可為彼說法，作是念已，便為尊者婆咎說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成

---

[1] 主＝王【宋】【元】【明】
[2] 導＝道【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 坐＝座【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] [>婆羅樓羅村]～Bālakaloṇakāragāma.
[5] [>婆咎]～Bhagu.
[6] 定＋（定）【宋】【元】【明】

就歡喜已，從*坐起去，往至護寺林，入護寺林中，至一樹下，敷尼師檀[1]，結跏趺坐。」

[T1.536a04] 世尊復念：「我已得脫彼拘舍彌諸比丘輩，數數鬪訟，相伏相憎，相瞋共諍，我不喜念彼方，謂拘舍彌諸比丘輩所住處也。當爾之時，有一大象為眾象王，彼離象眾而獨遊行，亦至護寺林，入護寺林中，至賢娑羅樹，倚賢娑羅樹立，爾時，大象而作是念：我已得脫彼群象輩，牝象、牡象，大小象子，彼群象輩常在前行，草為之蹋，水為之渾，我於爾時，食彼[2]蹋草，飲渾濁水，我今飲食新草、清水。」

[T1.536a13] 於是，世尊以他心智，知彼大象心之所念，即說頌曰：「

一象與象等　　成身具足牙　以心與心等　　若樂獨住林

[T1.536a17] 於是，世尊從護寺林攝衣持鉢，往至般那蔓闍寺林[3]，爾時，般那蔓闍寺林有三族姓子共在中住，尊者阿那律陀[4]、尊者難提[5]、尊者金毘羅[6]，彼尊者等所行如是，若彼乞食有前還者，便敷床，汲水出，洗足器，安洗足蹬[7]，及拭脚巾、水瓶、澡罐[8]，若所乞食能盡食者，便盡食之。若有餘者，器盛覆舉，食訖收鉢、澡洗手足，以尼師檀[9]著於肩上，入室宴坐，若彼乞食有後還者，能盡食者，亦盡食之，若不足者，取前餘食，足而食之。若有餘者，便著淨地，及無蟲水中，取彼食器，淨洗拭已，舉著一面，收卷[11]床席[12]，斂洗蹬[13]，收拭脚巾，舉洗足器，及水瓶、澡罐，掃灑食堂，糞除淨已，收舉衣澡洗手足，以尼師*檀著於肩上，入室宴坐，彼尊者等至於晡時。若有先從宴坐起者，見水瓶、澡*罐空無有水，便持行取，若能勝者，便舉持來，安著一面，若不能勝，則便以手招一比丘，兩人共舉，持著一面，各不相語，各不相問，彼尊者等五日一集，或共說法，或聖默然。」

---

[1] 檀＝壇【明】
[2] 彼＝被【宋】【元】【明】
[3] [>般那蔓闍寺林]～Pācīnavaṃsadāya.
[4] [>阿那律陀]～Anuruddha.
[5] [>難提]～Nandiya.
[6] [>金毘羅]～Kimbila.
[7] 蹬＝橙【宋】，＝凳【元】【明】
[8] 罐＝灌【宋】＊
[9] 檀＝壇【宋】＊【元】＊【明】＊
[10] 瀉＝寫【宋】【元】【明】
[11] 卷＝捲【宋】【元】【明】
[12] 席＝蓆【宋】【元】【明】
[13] 蹬＝橙【宋】，＝[柷-口+登]【元】，＝凳【明】

[T1.536b07] 於是，守林人遙見世尊來，逆訶止曰：「沙門，沙門，莫入此林。所以者何？今此林中有三族姓子，尊者阿那律陀、尊者難提、尊者金毘羅，彼若見汝，或有不可。」

[T1.536b11] 世尊告曰：「汝守林人，彼若見我，必可，無不可。」

[T1.536b12] 於是，尊者阿那律陀遙見世尊來，即訶彼曰：「汝守林人，莫訶世尊！汝守林人，莫止善逝。所以者何？是我尊來，我善逝來，尊者阿那律陀出迎世尊！攝佛衣鉢，尊者難提為佛敷床，尊者金毘羅為佛取水。」

[T1.536b17] 爾時，世尊洗手足已，坐彼尊者所敷之座，坐已，問曰：「阿那律陀，汝常安隱，無所乏耶？」

[T1.536b19] 尊者阿那律陀白曰：「世尊！我常安隱，無有所乏，」

[T1.536b20] 世尊復問阿那律陀。云何安隱，無所乏耶？」

[T1.536b21] 尊者阿那律陀白曰：「世尊！我作是念：我有善利，有大功德，謂我與如是梵行共行。世尊！我常向彼梵行行慈身業，見與不見，等無有異，行慈口業、行慈意業，見與不見，等無有異。世尊！我作是念：我今寧可自捨己心，隨彼諸賢心。世尊！我便自捨己心，隨彼諸賢心。世尊！我未曾有一不可心。世尊！如是我常安隱，無有所乏，問尊者難提，答亦如是。」

[T1.536b29] 復問尊者金毘羅曰：「汝常安隱，無所乏耶？」

[T1.536c01] 尊者金毘羅白曰：「世尊！我常安隱，無有所乏。」

[T1.536c02] 問曰：「金毘羅。云何安隱，無所乏耶？尊者金毘羅白曰：「世尊！我作是念：我有善利，有大功德，謂我與如是梵行共行。世尊！我常向彼梵行行慈身業，見與不見，等無有異，行慈口業、行慈意業，見與不見，等無有異。世尊！我作是念：我今寧可自捨己心，隨彼諸賢心。世尊！我便自捨己心，隨彼諸賢心。世尊！我未曾有一不可心。世尊！如是我常安隱，無有所乏。」

[T1.536c11] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！阿那律陀，如是汝等常共和合，安樂無諍，一心一師，合一水乳，頗得人上之法而有差降安樂住止耶？」

[T1.536c13] 尊者阿那律陀白曰：「世尊！如是我等常共和合，安樂無諍，一心一師，合一水乳，得人上之法而有差降安樂住止。世尊！我等得光明便見色，彼見色光明尋復滅。」

[T1.536c17] 世尊告曰：「阿那律陀，汝等不達此相，謂相得光明而見色者，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我本未得覺無上正真道時，亦得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我作是念：我心中有何患，令我失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我行精勤無懈怠，身止住，有正念正智，無有愚癡，得定一心，阿那律陀，我作是念：我行精勤無懈怠，身止住，有正念正智，無有愚癡，得定一心，若世中無道[1]，我可見可知彼耶？我心中生此疑患，因此疑患故，便失定而滅眼，眼滅已，我本所[2]得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我今要當作是念：我心中不生疑患，阿那律陀，我欲不起此患故，便在遠離獨住，心無放逸，修行精懃，因在遠離獨住，心無放逸，修行精勤故，便得光明而見色，彼見色光明尋復滅。」

[T1.537a06]「阿那律陀，我復作是念：我心中有何患，令我失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我復作是念：我心中生無念患，因此無念患故，便失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色[3]，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我今要當作是念：我心中不生疑患，亦不生無念患，阿那律陀，我欲不起此患故，便在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，因在遠離獨住，心無放逸，修行精勤故，便得光明而見色，彼見色光明尋復滅。」

[T1.537a17]「阿那律陀，我復作是念：我心中有何患，令[4]我失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我復作是念：我心中生身病想患，因此身病想患故，便失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我今要當作是念：我心中不生疑患，不生無念患，亦不生身病想患，阿那律陀，我欲不起此患故，便在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，因在遠離獨住，心無放逸，修行精勤故，便得光明而見色，彼見色光明尋復滅。」

[T1.537a28]「阿那律陀，我復作是念：我心中有何患，令我失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我復作是念：我心中生睡眠患，因此睡眠患故，便失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我今要當作是念：我心中不生疑患，不生無念患，不生身病想患，亦不生睡眠患，阿那律陀，我欲不起此患故，便在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，因在遠離獨住，心無放逸，修行精勤故，便得光明而見色，彼見色光明尋復滅。」

[T1.537b10]「阿那律陀，我復作是念：我心中有何患，令我失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我復作是念：我心

---

[1] 道＝是【宋】【元】【明】
[2] 所＝可【元】【明】
[3] 色＋（光）【宋】【元】【明】
[4] 令＝今【元】

中生過精勤患，因此過精勤患故，便失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，猶如力士捉蠅太急，蠅即便死。如是，阿那律陀，我心中生過精勤患，因此過精勤患故，便失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我今要當作是念：我心中不生疑患，不生無念患，不生身病想患，不生睡眠患，亦不生過精勤患，阿那律陀，我欲不起此患故，便在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，因在遠離獨住，心無放逸，修行精勤故，便得光明而見色，彼見色光明尋復滅。」

[T1.537b25]「阿那律陀，我復作是念：我心中有何患，令我失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我復作是念：我心中生太懈怠患，因此太懈怠患故，便失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，猶如力士捉蠅太緩，蠅便飛去，阿那律陀，我心中生太懈怠患，因此太懈怠患故，便失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我今要當作是念：我心中不生疑患，不生無念患，不生身病想患，不生睡眠患，不生太精勤患，亦不生太懈怠患，阿那律陀，我欲不起此患故，便在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，因在遠離獨住，心無放逸，修行精勤故，便得光明而見色，彼見色光明尋復滅。」

[T1.537c12]「阿那律陀，我復作是念：我心中有何患，令我失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我復作是念：我心中生恐怖患，因此恐怖患故，便失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，猶如人行道，四方有怨賊來，彼人見已，畏懼恐怖，舉身毛豎。如是，阿那律陀，我心中生恐怖患，因此恐怖患故，便失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我今要當作是念：我心中不生疑患，不生無念患，不生身病想患，不生睡眠患，不生大[1]精勤患，不生太懈怠患，亦不生恐怖患，阿那律陀，我欲不起此患故，便在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，因在遠離獨住，心無放逸，修行精勤故，便得光明而見色，彼見色光明尋復滅。」

[T1.537c29]「阿那律陀，我復作是念：我心中有何患，令我失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我復作是念：我心中生喜悅患，因此喜悅患故，便失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，猶若如人本求一寶藏，頓得四寶藏，彼見已，便生悅歡喜。如是，阿那律陀，我心中生喜悅患，因此喜悅患故，便失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我今要當作是念：我心中不生疑患，不生無念患，不生身病想患，不生睡眠患，不生太精勤患，不生太懈怠患，不生恐怖患，亦不生喜悅患，阿那律陀，我欲不起此

[1] 大＝太【宋】＊【元】＊【明】＊

患故，便在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，因在遠離獨住，心無放逸，修行精勤故，便得光明而見色，彼見色光明尋復滅。」

[T1.538a17]「阿那律陀，我復作是念：我心中有何患，令我失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我復作是念：我心中生自高心患，因此自高心患故，便失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我今要當作是念：我心中不生疑患，不生無念患，不生身病想患，不生睡眠患，不生太精勤患，不生太懈怠患，不生恐怖患，不生喜悅患，亦不生自高心患，阿那律陀，我欲不起此患故，便在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，因在遠離獨住，心無放逸，修行精勤故，便得光明而見色，彼見色光明尋復滅。」

[T1.538b01]「阿那律陀，我復作是念：我心中有何患，令我失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我復作是念：我心中生若干想患，因此若干想患故，便失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我今要當作是念：我心中不生疑患，不生無念患，不生身病想患，不生睡眠患，不生*大精勤患，不生太懈怠患，不生恐怖患，不生喜悅患，不生自高心患，亦不生若干想患，阿那律陀，我欲不起此患故，便在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，因在遠離獨住，心無放逸，修行精勤故，便得光明而見色，彼見色光明尋復滅。」

[T1.538b15]「阿那律陀，我復作是念：我心中有何患，令我失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我復作是念：我心中生不觀色患，因此不觀色患故，便失定而滅眼，眼滅已，我本所得光明而見色，彼見色光明尋復滅，阿那律陀，我今要當作是念：我心中不生疑患，不生無念患，不生身病想患，不生睡眠患，不生太精勤患，不生太懈怠患，不生恐怖患，不生喜悅患，亦[1]不生自高心患，不生若干想患，亦不生不觀色患，阿那律陀，我欲不起此患故，便在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，因在遠離獨住，心無放逸，修行精勤故，便得光明而見色，阿那律陀，若我心生疑患，彼得心清淨，無念、身病想、睡眠、太精勤、太懈怠、恐怖、喜悅、高心、生若干想、不觀色心患，彼得心清淨。」

[T1.538c02]「阿那律陀，我復作是念：我當修學三定，修學有覺有觀定，修學無覺少觀定，修學無覺無觀定，阿那律陀，我便修學三定，修學有覺有觀定，修學無覺少觀定，修學無覺無觀定，若我修學有覺有觀定者，心便順向無覺少觀定，如是我必不失此智[2]見，阿那律陀，如是我知如是已，竟日、竟夜、竟日夜修學有覺有觀定，阿那律陀，我爾時行此住止行，若我修學有覺有觀定者，心

[1]〔亦〕－【宋】【元】【明】
[2] 智＝知【元】【明】＊

便順向無覺無觀定，如是我必不失此*智見，阿那律陀，如是我知如是已，竟日、竟夜、竟日夜修學有覺有觀定，阿那律陀，我爾時行此住止行。」

[T1.538c14]「阿那律陀，若我修學無覺少觀定者，心便順向有覺有觀定[1]，如是我必不失此*智見，阿那律陀，如是我知如是已，竟日、竟夜、竟日夜修學無覺少觀定，阿那律陀，我爾時行此住止行[2]，若我修學無覺少觀定者，心便順向無覺無觀定，如是我必不失此*智見，阿那律陀，如是我知如是已，竟日、竟夜、竟日夜修學無覺少觀定，阿那律陀，我爾時行此住止行。」

[T1.538c23]「阿那律陀，若我修學無覺無觀定者，心便順向有覺有觀定，如是我必不失此*智見，阿那律陀，如是我知如是已，竟日、竟夜、竟日夜修學無覺無觀定，阿那律陀，我爾時行此住止行，若我修學無覺無觀定者，心便順向無覺少觀定，如是我不失此*智見，阿那律陀，如是我知如是已，竟日、竟夜、竟日夜修學無覺無觀定，阿那律陀，我爾時行此住止行。」

[T1.539a02]「阿那律陀，有時我知光明而不見色，阿那律陀，我作是念：何因何緣知光明而不見色，阿那律陀，我復作是念：若我念光明相，不念色相者，爾時我知光明而不見色，阿那律陀，如是我知如是已，竟日、竟夜、竟日夜知光明而不見色，阿那律陀，我爾時行此住止行，阿那律陀，有時我見色而不知光明，阿那律陀，我作是念：何因何緣我見色而不知光明，阿那律陀，我復作是念：若我念色相，不念光明相者，爾時我知色而不知光明，阿那律陀，如是我知如是已，竟日、竟夜、竟日夜知色而不知光明，阿那律陀，我爾時行此住止行。」

[T1.539a14]「阿那律陀，有時我少知光明，亦少見色，阿那律陀，我作是念：何因何緣我少知光明，亦少見色，阿那律陀，我復作是念：若我少入定，少入定故，少眼清淨，少眼清淨故，我少知光明，亦少見色，阿那律陀，如是我知如是已，竟日、竟夜、竟日夜少知光明，亦少見色，阿那律陀，爾時我行此住止行，阿那律陀，有時我廣知光明，亦廣見色，阿那律陀，我作是念：何因何緣我廣知光明，亦廣見色，阿那律陀，我復作是念：若我廣入定，廣入定故，廣眼清淨，廣眼清淨故，我廣知光明，亦廣見色，阿那律陀，如是我知如是已，竟日、竟夜、竟日夜廣知光明，亦廣見色，阿那律陀，爾時我行此住止行，

[T1.539a28]「阿那律陀，若我心中生疑患，彼得心清淨，無念、身病想、睡眠、太精勤、太懈怠、恐怖、喜悅、高心、生若干想、不觀色心患，彼得心清淨，有覺有觀定修學極修學，無覺少觀定修學極修學，無覺無觀定修學極修學，一

---

[1] 定＋（阿那律陀我爾時行此住止行阿那律陀若我修學無觀少觀定者心便順向有覺有觀定）【宋】【元】【明】

[2] 行＋（阿那律陀）【宋】【元】【明】

向定修學極修學，雜定修學極修學，少定修學極修學，廣無量定修學極修學，我生知見極明淨，趣向定住，精勤修道品，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，阿那律陀，爾時我行此住止行。」

[T1.539b08] 佛說如是，尊者阿那律陀、尊者難提、尊者金毘羅聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.539b11] 長壽王本起經第一竟[1](九千二百一十八字)[2]，

中阿含經卷第十七(九千二百一十八字)[3](第二小土城誦)[4]

中阿含經

卷第十八 (Ma.73~77)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（七三）中阿含[5]長壽王品

(Ma.73)天經[6] 第二(第二小土城誦)[7]

[T1.539b21] 我聞如是。

[T1.539b21] 一時，佛遊枝提瘦，在水渚林中。

[T1.539b22] 爾時，世尊告諸比丘：「我本未得覺無上正真道時，而作是念：我寧可得生其光明，因其光明而見形色，如是我智[8]見極大明淨，我為*智見極明淨故，便在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，我因在遠離獨住，心無放逸，修

---

[1]〔長…竟〕－【明】
[2]〔九…字〕－【宋】【元】【明】
[3]〔九…字〕－【宋】【元】【明】
[4]〔第二小土城誦〕－【宋】【元】【明】
[5]〔中阿含〕－【宋】【元】【明】
[6] ～《增支部》A.8.64. Gayā(伽耶)
[7]〔第二小土城誦〕－【明】
[8] 智＝知【元】【明】＊

行精勤故，即得光明，便見形色也。然我未與彼天共同集會，未相慰勞，未有所論說，未有所答對。」

[T1.539b29]「我復作是念：我寧可得生其光明，因其光明而見形色，及與彼天共同集會，共相慰勞，有所論說，有所答對，如是我智見極大明淨，我為*智見極明淨故，便在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，我因在遠離獨住，心無放逸，修行精勤故，即得光明，便見形色，及與彼天共同集會，共相慰勞，有所論說，有所答對也。然我不知彼天如是姓、如是字、如是生。」

[T1.539c08]「我復作是念：我寧可得生其光明，因其光明而見形色，及與彼天共同集會，共相慰勞，有所論說，有所答對，亦知彼天如是姓、如是字、如是生，如是我*智見極大明淨，我為*智見極明淨故，便在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，我因在遠離獨住，心無放逸，修行精勤故，即得光明，便[具>見]形色，及與彼天共同集會，共相慰勞，有所論說，有所答對，亦知彼天如是姓、如是字、如是生也。然我不知彼天如是食、如是受苦樂。」

[T1.539c18]「我復作是念：我寧可得生其光明，因其光明而見形色，及與彼天共同集會，共相慰勞，有所論說，有所答對，亦知彼天如是姓、如是字、如是生，亦知彼天如是食、如是受苦樂，如是我智見極大明淨，我為*智見極明淨故，便在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，我因在遠離獨住，心無放逸，修行精勤故，即得光明，便見形色，及與彼天共同集會，共相慰勞，有所論說，有所答對，亦知彼天如是姓、如是字、如是生，亦知彼天如是食、如是受苦樂也。然我不知彼天如是長壽、如是久住、如是命盡。」

[T1.540a01]「我復作是念：我寧可得生其光明，因其光明而見形色，及與彼天共同集會，共相慰勞，有所論說，有所答對，亦知彼天如是姓、如是字、如是生，亦知彼天如是食、如是受苦樂，亦知彼天如是長壽、如是久住、如是命盡，如是我*智見極大明淨，我為*智見極明淨故，便在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，我因在遠離獨住，心無放逸，修行精勤故，即得光明，便見形色，及與彼天共同集會，共相慰勞，有所論說，有所答對，亦知彼天如是姓、如是字、如是生，亦知彼天如是食、如是受苦樂，亦知彼天如是長壽、如是久住、如是命盡也。然我不知彼天作如是如是業已，死此生彼。」

[T1.540a15]「我復作是念：我寧可得生其光明，因其光明而見形色，及與彼天共同集會，共相慰勞，有所論說，有所答對，亦知彼天如是姓、如是字、如是生，亦知彼天如是食、如是受苦樂，亦知彼天如是長壽、如是久住、如是命盡，亦知彼天作如是如是業已，死此生彼，如是我*智見極大明淨，我為*智見極明淨故，便在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，我因在遠離獨住，心無放逸，修行精勤故，即得光明，便見形色，及與彼天共同集會，共相慰勞，有所

論說，有所答對，亦知彼天如是姓、如是字、如是生，亦知彼天如是食、如是受苦樂，亦知彼天如是長壽、如是久住、如是命盡，亦知彼天作如是如是業已，死此生彼也。然我不知彼天、彼彼天中。」

[T1.540b01]「我復作是念：我寧可得生其光明，因其光明而見形色，及與彼天共同集會，共相慰勞，有所論說，有所答對，亦知彼天如是姓、如是字、如是生，亦知彼天如是食、如是受苦樂，亦知彼天如是長壽、如是久住、如是命盡，亦知彼天作如是如是業已，死此生彼，亦知彼天、彼彼天中，如是我*智見極大明淨，我為*智見極明淨故，便在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，我因在遠離獨住，心無放逸，修行精勤故，即得光明，便見形色，及與彼天共同集會，共相慰勞，有所論說，有所答對，亦知彼天如是姓、如是字、如是生，亦知彼天如是食、如是受苦樂，亦知彼天如是長壽、如是久住、如是命盡，亦知彼天作如是如是業已，死此生彼，亦知彼天、彼彼天中也。然我不知彼天上我曾生中、未曾生中。」

[T1.540b17]「我復作是念：我寧可得生其光明，因其光明而見形色，及與彼天共同集會，共相慰勞，有所論說，有所答對，亦知彼天如是姓、如是字、如是生，亦知彼天如是食、如是受苦樂，亦知彼天如是長壽、如是久住、如是命盡，亦知彼天作如是如是業已，死此生彼，亦知彼天、彼彼天中，亦知彼天上我曾生中、未曾生中，如是我*智見極大明淨，我為*智見極明淨故，便在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，我因在遠離獨住，心無放逸，修行精勤故，即得光明，便見形色，及與彼天共同集會，共相慰勞，有所論說，有所答對，亦知彼天如是姓、如是字、如是生，亦知彼天如是食、如是受苦樂，亦知彼天如是長壽、如是久住、如是命盡，亦知彼天作如是如是業已，死此生彼，亦知彼天、彼彼天中，亦知彼天上我曾生中、未曾生中也。」

[T1.540c05]「若我不正知得此八行者，便不可一向說得，亦不知我得覺無上正真之道，我亦於此世間，諸天、魔、梵、沙門、梵志不能出過其上，我亦不得解脫種種解脫，我亦未離諸顛倒，未生已盡、梵行已立、所作已辦、不更受有，知如真，若我正知得此八行者，便可一向說得，亦知我得覺無上正真之道，我亦於此世間，諸天、魔、梵、沙門、梵志出過其上，我亦得解脫種種解脫，我心已離諸顛倒，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。」

[T1.540c15] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.540c17] 天經第二竟 [1](千七百七十四字)[2]，

---

[1]〔天…竟〕－【明】
[2]〔千…字〕－【宋】【元】【明】

（七四）中阿含[1]長壽王品

(Ma.74)八念經[2] 第三(第二小土城誦)[3]

[T1.540c20] 我聞如是。

[T1.540c20] 一時，佛遊婆奇瘦[4]，在鼉山怖林鹿野園[5]中。

[T1.540c21] 爾時，尊者阿那律陀在枝提瘦[6]水渚林中，彼時，尊者阿那律陀在安靜處燕[7]坐思惟，心作是念：道從無欲，非有欲得，道從知足，非無厭得，道從遠離，非樂聚會，非住聚會，非合聚會得，道從精勤，非懈怠得，道從正念，非邪念得，道從定意，非亂意得，道從智慧，非愚癡得。

[T1.540c27] 於是，世尊以他心智知尊者阿那律陀心中所念、所思、所行，世尊知已，即入如其像定，以如其像定猶若力士屈申[8]臂頃，如是世尊從婆奇瘦鼉山怖林鹿野園中忽沒不現，住枝提瘦水渚林中尊者阿那律陀前，是時，世尊便從定覺，歎尊者阿那律陀曰：「 善哉！善哉！阿那律陀，謂汝在安靜處燕坐思惟，心作是念：道從無欲，非有欲得，道從知足，非無厭得，道從遠離，非樂聚會，非住聚會，非合聚會得，道從精勤，非懈怠得，道從正念，非邪念得，道從定意，非亂意得，道從智慧，非愚癡得[9]。」

[T1.541a10]「阿那律陀，汝從如來更受第八大人之念，受已，便思道從不戲、樂不戲、行不戲，非戲、非樂戲、非行戲得，阿那律陀，若汝成就此大人八念[10]者，汝必能離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊，阿那律陀，若汝成就大人八念，而復得此四增上心，現法樂居，易不難得者，如王、王臣有好緘[11]盛滿種種衣，中前欲著，便取著之，中時、中後若欲著衣，便取著之，隨意自在，阿那律陀，汝亦如是，得糞掃衣為第一服，汝心無欲，行此住止行，阿那律陀，若汝成就大人八念，而復得此四增上心，現法樂居，易不難得者，如

---

[1]〔中阿含〕－【宋】【元】【明】
[2] ～《增支部》A.8.30. Anuruddha(阿那律)，《增壹阿含 42.6 經》(大正 2.754a)，No.46.《佛說阿那律八念經》(大正 1.835c)
[3]〔第二小土城誦〕－【宋】【元】【明】
[4] [>婆奇瘦]～Bhaggesu.
[5] [>鼉山怖林鹿野園]～Suṃsumāragira Bhesakaḷāvana Migadāya.
[6] [>枝提瘦]～Cetīsu.
[7] 燕＝宴【元】【明】
[8] 申＝伸【明】＊
[9] 得＋（道）【元】
[10] [>大人八念]～Aṭṭha mahāpurisa-vittakka.
[11] 緘＝[禾*咸]【元】【明】

王、王臣有好廚宰，種種淨妙甘美饍饍[1]，阿那律陀，汝亦如是，常行乞食為第第一饌，汝心無欲，行此住止行，阿那律陀，若汝成就大人八念，而復得此四增上心，現法樂居，易不難得者，如王、王臣有好屋舍，或樓閣宮殿，阿那律陀，汝亦如是，依樹下止為第一舍，汝心無欲，行此住止行，阿那律陀，若汝成就大人八念，而復得此四增上心，現法樂居，易不難得者，如王、王臣有好床座，敷以氍氀、毾[毯-炎+登]，覆以錦綺、羅縠，有襯體被，兩頭安枕，加陵伽波恕邏波遮悉哆羅那，阿那律陀，汝亦如是，草座葉座為第一座，汝心無欲，行此住止行。」

[T1.541b05]「阿那律陀，若汝成就大人八念，而復得此四增上心，現法樂居，易不難得者，如是汝若遊東方，必得安樂，無眾苦患，若遊南方、西方、北方者，必得安樂，無眾苦患，阿那律陀，若汝成就大人八念，而復得此四增上心，現法樂居，易不難得者，我尚[2]不說汝諸善法住，況說衰退，但當晝夜增長長善法而不衰退，阿那律陀，若汝成就大人八念，而復得此四增上心，現法樂居，易不難得者，汝於二果必得其一，或於現世得究竟智，或復有餘得阿那含，阿那律陀，汝當成就此大人八念，亦應得此四增上心，現法樂居，易不難得已，然後於枝提瘦水渚林中受夏坐也。」

[T1.541b18] 爾時，世尊為尊者阿那律陀說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，入如其像定，以如其像定，猶若力士屈*申臂頃。如是，世尊從枝提瘦水渚林中忽沒不見，住婆奇瘦鼉山怖林鹿野園中。

[T1.541b24] 彼時，尊者阿難執拂侍佛。於是，世尊便從定覺，迴顧告曰：「阿難！若有比丘遊鼉山怖林鹿野園中者，令彼一切皆集講堂，集講堂已，還來白我。」

[T1.541b27] 尊者阿難受佛教已，稽首禮足，即行宣勅，諸有比丘遊鼉山怖林鹿野園中者，令彼一切皆集講堂，集講堂已，還詣佛所，頭面禮足，却住一面，白曰：「世尊！諸有比丘遊鼉山怖林鹿野園中者，已令一切皆集講堂，唯願世尊自當知時。」

[T1.541c04] 於是，世尊將尊者阿難往詣講堂，於比丘眾前敷座而坐，坐已，告曰：「諸比丘！我今為汝說大人八念，汝等諦聽，善思念之。」時，諸比丘受教而聽。

[T1.541c07] 佛言：「大人八念者，謂道從無欲，非有欲得，道從知足，非無厭得，道從遠離，非樂聚會，非住聚會，非合聚會得，道從精勤，非懈怠得，道

[1] 饍＝饌【宋】【元】【明】
[2] 尚＝向【明】

從正念，非邪念得，道從定意，非亂意得，道從智慧，非愚癡得，道從不戲、樂不戲、行不戲，非戲、非樂戲、非行戲得。」

[T1.541c13]「云何道從無欲，非有欲得，謂比丘得無欲，自知得無欲，不令他人知我無欲，得知足、得遠離、得精勤、得正念、得定意、得智慧、得不戲，自知得不戲，不欲令他知我無欲，是謂道從無欲，非有欲得。云何道從知足，非無厭得，謂比丘行知足，衣取覆形，食取充軀，是謂道從知足，非無厭得。云何道從遠離，非樂聚會，非住聚會，非合聚會得，謂比丘行遠離，成就二[1]遠離，身及心俱遠離，是謂道從遠離，非樂聚會，非住聚會，非合聚會得。云何道從精進，非懈怠得，謂比丘常行精進，斷惡不善，修諸善法，恒自起意，專一堅固，為諸善本不捨方便，是謂道從精勤，非懈怠得。云何道從正念，非邪念得，謂比丘觀內身如身，觀內覺、心、法如法，是謂道從正念，非邪念得。云何道從定意，非亂意得，謂比丘離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊，是謂道從定意，非亂意得。云何道從智慧，非愚癡得，謂比丘修行智慧，觀興衰法，得如是智，聖慧明達，分別曉了，以正盡苦，是謂道從智慧，非愚癡得。云何道從不戲、樂不戲、行不戲，非戲、非樂戲、非行戲得，謂比丘意常滅戲，樂住無餘涅槃，心恒樂住，歡喜意解，是謂道從不戲、樂不戲、行不戲，非戲、非樂戲、非行戲得。」

[T1.542a09]「諸比丘！阿那律陀比丘成就此大人八念已，然後枝提瘦水渚林中受夏坐也。我以此教，彼在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，彼在遠離獨住，心無放逸，修行精勤已，族姓子所為，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，唯無上梵行訖，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。」

[T1.542a16] 是時，尊者阿那律陀得阿羅呵，心正解脫，得長老上尊，則於爾時而說頌曰：「

遙知我思念	無上世間師	正身心入定	乘虛忽來到
如我心所念	為說而復過	諸佛樂不戲	遠離一切戲
既從彼知法	樂住正法中	逮得三昧達	佛法作已辦
我不樂於死	亦不願於生	隨時任所適	立正念正智
鞞耶離竹林	我壽在彼盡	當在竹林下	無餘般涅槃

[T1.542a29] 佛說如是，尊者阿那律陀及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.542b02] 八念經第三竟[2](千九百五十四字)[1]，

---

[1] 二＝三【明】
[2]〔八…竟〕－【明】

（七五）中阿含[2]長壽王品

(Ma.75)淨不動道經[3] 第四 (第二小土城誦)[4]

[T1.542b05] 我聞如是。

[T1.542b05] 一時，佛遊拘樓瘦[5]，在劒磨瑟曇[6]拘樓都邑。

[T1.542b06] 爾時，世尊告諸比丘：「欲者無常、虛偽、妄言，是妄言法，則是幻化、欺誑、愚癡，若現世欲及後世欲，若現世色及後世色，彼一切是魔境界，則是魔餌，因此令心生無量惡不善之法，增伺、瞋恚及鬪諍等，謂聖弟子學時為作障礙，多聞聖弟子作如是觀，世尊所說，欲者無常、虛偽、妄言，是妄言法則是幻化、欺誑、愚癡，若現世欲及後世欲，若現世色及後世色，彼一切是魔境界，則是魔餌，因此令心生無量惡不善之法，增伺、瞋恚及鬪諍等，謂聖弟子學時為作障礙，彼作是念：我可得大心成就遊，掩伏世間，攝持其心，若我得大心成就遊，掩伏世間，攝持其心者，如是心便不生無量惡不善之法，增伺、瞋恚及鬪諍等，謂聖弟子學時為作障礙，彼以是行、以是學，如是修習而廣布，便於處得心淨，於處得心淨已，比丘者或於此得入不動，或以慧為解，彼於後時，身壞命終，因本意故，必至不動，是謂第一說淨不動道[7]。」

[T1.542b25]「復次，多聞聖弟子作如是觀。若有色者，彼一切四大及四大造，四大者是無常法，是苦、是滅，彼如是行、如是學，如是修習而廣布，便於處得心淨，於處得心淨已，比丘者或於此得入不動，或以慧為解，彼於後時，身壞命終，因本意故，必至不動，是謂第二說淨不動道。」

[T1.542c02]「復次，多聞聖弟子作如是觀，若現世欲及後世欲，若現世色及後世色，若現世欲想、後世欲想，若現世色想、後世色想，彼一切想是無常法、是苦、是滅，彼[8]於爾時必得不動想，彼如是行、如是學，如是修習而廣布，便於處得心淨，於處得心淨已，比丘者或於此得入不動，或以慧為解，彼於後時，身壞命終，因本意故，必至不動，是謂第三說淨不動道。」

---

[1]〔千…字〕－【宋】【元】【明】
[2]〔中阿含〕－【明】
[3] ～《中部》M. 106. Āṇañfijasappāya sutta. (不動利益經)
[4]〔第二小土城誦〕－【明】
[5] [>拘樓瘦]～Kurūsu.
[6] [>劒磨瑟曇]～Kammassadhamma.
[7] [>是謂第一說淨不動道]～Ayaṃ paṭhamā āṇañjasappāya paṭipadā akkhāyati.
[8] 彼＝後【宋】【元】【明】

[T1.542c10]「復次，多聞聖弟子作如是觀，若現世欲想、後世欲想，若現世色想、後世色想及不動想，彼一切想是無常法、是苦、是滅，彼於爾時得無所有處想，彼如是行、如是學，如是修習而廣布，便於處得心淨，於處得心淨已，比丘者或於此得入不動，或以慧為解，彼於後時，身壞命終，因本意故，必至不動，是謂第一說淨無所有處道。」

[T1.542c18]「復次，多聞聖弟子作如是觀，此世空空於神、神所有，空有常，空有恒，空長存，空不變易，彼如是行、如是學，如是修習而廣布，便於處得心淨，於處得心淨已，比丘者或於此得入無所有處，或以慧為解，彼於後時，身壞命終，因本意故，必至無所有處，是謂第二說淨無所有處道。」

[T1.542c24]「復次，多聞聖弟子作如是觀，我非為他而有所為，亦非自為而有所為，彼如是行、如是學，如是修習而廣布，便於處得心淨，於處得心淨已，比丘者或於此得入無所有處，或以慧為解，彼於後時，身壞命終，因本意故，必至無所有處，是謂第三說淨無所有處道。」

[T1.543a01]「復次，多聞聖弟子作如是觀，若現世欲及後世欲，若現世色及後世色，若現世欲想、後世欲想，若現世色想、後世色想及不動想、無所有處想，彼一切想是無常法、是苦、是滅，彼於爾時而得無想，彼如是行、如是學，如是修習而廣布，便於處得心淨，於處得心淨已，比丘者或於此得入無想，或以慧為解，彼於後時，身壞命終，因本意故，必至無想處，是謂說淨無想道。」

[T1.543a09] 是時，尊者阿難執拂侍佛。於是，尊者阿難叉手向佛，白曰：「世尊！若有比丘如是行，無我、無我所、我當不有、我所當不有，若本有者，便盡得捨。世尊！比丘行如是，彼為盡，得般涅槃耶？」

[T1.543a14] 世尊告曰：「阿難！此事不定，或有得者，或有不得。」

[T1.543a15] 尊者阿難白曰：「世尊！比丘云何行不得般涅槃。」

[T1.543a16] 世尊告曰：「阿難！若比丘如是行，無我、無我所、我當不有、我所當不有，若本有者，便盡得捨。阿難！若比丘樂彼捨、著彼捨、住彼捨者。阿難！比丘行如是，必不得般涅槃。」

[T1.543a20] 尊者阿難白曰：「世尊！比丘若有所受，不得般涅槃耶？」

[T1.543a21] 世尊告曰：「阿難！若比丘有所受者，彼必不得般涅槃也。」

[T1.543a23] 尊者阿難白曰：「世尊！彼比丘為何所受。」

[T1.543a24] 世尊告曰：「阿難！行中有餘，謂有想、無想處，於有中第一，彼比丘受。」

[T1.543a25] 尊者阿難白曰：「世尊！彼比丘受餘行耶？」

[T1.543a26] 世尊告曰：「阿難！如是比丘受餘行也。」

[T1.543a27] 尊者阿難白曰：「世尊！比丘云何行必得般涅槃。」

[T1.543a28] 世尊告曰：「阿難！若比丘如是行，無我、無我所、我當不有、我所當不有，若本有者，便盡得捨。阿難！若比丘不樂彼捨、不著彼捨、不住彼捨者。阿難！比丘行如是，必得般涅槃。」

[T1.543b03] 尊者阿難白曰：「世尊！比丘若無所受，必得般涅槃耶？」

[T1.543b04] 世尊告曰：「阿難！若比丘無所受，必得般涅槃。」

[T1.543b05] 爾時，尊者阿難叉手向佛，白曰：「世尊已說淨不動道，已說淨無所有處道，已說淨無想道，已說無餘涅槃。世尊！云何聖解脫耶？」

[T1.543b08] 世尊告曰：「阿難！多聞聖弟子作如是觀，若現世欲及後世欲，若現世色及後世色，若現世欲想、後世欲想，若現世色想、後世色想及不動想、無所有處想、無想想，彼一切想是無常法、是苦、是滅，是謂自己有，若自己有者，是生、是老、是病、是死，阿難！若有此法，一切盡滅無餘不復有者，彼則無生，無老、病、死。」

[T1.543b15]「聖如是觀。若有者必是解脫法。若有無餘涅槃者是名甘露，彼如是觀、如是見，必得欲漏心解脫，有漏、無明漏心解脫，解脫已，便知解脫，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。」

[T1.543b20]「阿難！我今為汝已說淨不動道，已說淨無所有處道，已說淨無想道，已說無餘涅槃，已說聖解脫，如尊師所為弟子起大慈哀，[隣>憐]念愍傷，求義及饒益，求安隱快樂者，我今已作，汝等當復自作，至無事處，至林樹下，空安靜處燕坐思惟，勿得放逸，勤加精進，莫令後悔，此是我之教勅，是我訓誨。」

[T1.543b27] 佛說如是，尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.543b29]淨不動經第四竟 [1](千七百八十七字)[1]，

[1]〔淨…竟〕－【明】

（七六）中阿含[2]長壽王品

(Ma.76)郁伽支羅經[3] 第五(第二小土城誦)[4]

[T1.543c03] 我聞如是。

[T1.543c03] 一時，佛遊郁伽支羅，在恒水池岸。

[T1.543c04] 爾時，一比丘則於晡時從燕坐起，往詣佛所，稽首佛足，却坐一面，白曰：「世尊！唯願為我善略說法，從法[5]世尊聞已，在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，因在遠離獨住，心無放逸，修行精勤故，族姓子所為，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，唯無上梵行訖，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。」

[T1.543c12] 世尊告曰：「比丘當如是學，令心得住，在內不動無量善修，復觀內身如身，行極精勤，立正念、正智，善自御心，令離慳貪，意無憂慼，復觀外身如身，行極精勤，立正念、正智，善自御心，令離慳貪，意無憂慼，復觀內外身如身，行極精勤，立正念、正智，善自御心，令離慳貪，意無憂慼，比丘！如此[6]之定，去時、來時當善修習，住時、坐時、臥時、眠時、寤[7]時、眠*寤時亦當修習。復次，亦當修習有覺有觀定、無覺少觀定，修習無覺無觀定，亦當修習喜共俱定、樂共俱定、定共俱定，修習捨共俱定。」

[T1.543c23]「比丘！若修此定極善修者，比丘！當復更修觀內覺如覺，行極精勤，立正念、正智，善自御心，令離慳貪，意無憂慼，復觀外覺如覺，行極精勤，立正念、正智，善自御心，令離慳貪，意無憂慼，復觀內外覺如覺，行極精勤，立正念、正智，善自御心，令離慳貪，意無憂慼，比丘！如此之定，去時、來時當善修習，住時、坐時、臥時、眠時、*寤時、眠*寤時亦當修習。復次，亦當修習有覺有觀定、無覺少觀定，修習無覺無觀定，亦當修習喜共俱定、樂共俱定、定共俱定，修習捨共俱定。」

[T1.544a04]「比丘！若修此定極善修者，比丘！當復更修觀內心如心，行極精勤，立正念、正智，善自御心，令離慳貪，意無憂慼，復觀外心如心，行極精

---

[1]〔千…字〕－【宋】【元】【明】
[2]〔中阿含〕－【明】
[3] 參閱《相應部》S.47.2. Sato(正念)，《雜阿含 610 經》(大正 2.171b)
[4]〔第二小土城誦〕－【明】
[5]〔法〕－【宋】【元】【明】
[6] 此＝是【宋】【元】【明】
[7] 寤＝覺【宋】＊【元】＊【明】＊

勤，立正念、正智，善自御心，令離慳貪，意無憂慼，復觀內外心如心，行極精勤，立正念、正智，善自御心，令離慳貪，意無憂慼，比丘！如此之定，去時、來時當善修習，住時、坐時、臥時、眠時、*寤時、眠*寤時亦當修習。復次，亦當修習有覺有觀定、無覺少觀定，修習無覺無觀定，亦當修習喜共俱定、樂共俱定、定共俱定，修習捨共俱定。」

[T1.544a15]「比丘！若修此定極善修[1]者，比丘！當復更修觀內法如法，行極精勤，立正念、正智，善自御心，令離慳貪，意無憂慼，復觀外法如法，行極精勤，立正念、正智，善自御心，令離慳貪，意無憂慼，復觀內外法如法，行極精勤，立正念、正智，善自御心，令離慳貪，意無憂慼，比丘！如此之定，去時、來時當善修習，住時、坐時、臥時、眠時、*寤時、眠*寤時亦當修習。復次，亦當修習有覺有觀定、無覺少觀定，修習無覺無觀定，亦當修習喜共俱定、樂共俱定、定共俱定，修習捨共俱定。」

[T1.544a26]「比丘！若修此定極善修者，比丘！心當與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。」

[T1.544b03]「比丘！若汝修習此定極善修者，若遊東方，必得安樂，無眾苦患，若遊南方、西方、北方者，必得安樂，無眾苦患，比丘！若汝修習此定極善修者，我尚不說汝諸善法住，況說衰退，但當晝夜增長善法而不衰退，比丘！若汝修習此定極善修者，汝於二果必得其一，或於現世得究竟智，或復有餘得阿那含。」

[T1.544b10] 於是，彼比丘聞佛所說，善受善持，即從坐[2]起，稽首佛足，繞三匝而去，受持佛教，在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，因在遠離獨住，心無放逸，修行精勤故，族姓子所為，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，唯無上梵行訖，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，彼尊者知法已至，得阿羅訶。

[T1.544b18] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.544b20] 郁伽支羅經第五竟[3](千二百六字)[4]，

（七七）中阿含[1]長壽王品

[1] 修＋（習）【宋】【元】【明】
[2] 坐＝座【元】【明】
[3]〔郁…竟〕－【明】
[4]〔千…字〕－【宋】【元】【明】

(Ma.77)娑雞帝三族姓子經[2] 第六(第二小土城誦)[3]

[T1.544b23] 我聞如是。

[T1.544b23] 一時，佛遊娑雞帝，在青林中。

[T1.544b23] 爾時，娑雞帝有三族姓子，尊者阿那律陀、尊者難提、尊者金毘羅，並皆年少新出家學，共來入此正法不久，爾時，世尊問諸比丘：「此三族姓子並皆年少新出家學，共來入此正法不久，此三族姓子頗樂於此正法、律中行梵行耶？」時，諸比丘嘿然不答。

[T1.544b29] 世尊復再三問諸比丘：「此三族姓子並皆年少新出家學，共來入此正法不久，此三族姓子頗樂於此正法、律中行梵行耶？」時，諸比丘亦復再三嘿然不答。

[T1.544c04] 於是，世尊自問三族姓子，告尊者阿那律陀：「汝等三族姓子並皆年少新出家學，共來入此正法不久，阿那律陀，汝等頗樂此正法、律中行梵行耶？」

[T1.544c07] 尊者阿那律陀白曰：「世尊！如是，我等樂此正法，修行梵行。」

[T1.544c09] 世尊問曰：「阿那律陀，汝等小時年幼童子，清淨黑髮，身體盛壯，樂於遊戲，樂數澡浴，嚴愛其身，於後親親及其父母皆[4]相愛戀，悲泣啼哭，不欲令汝出家學道，汝等故能剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，阿那律陀，汝等不畏王而行學道，亦不畏賊，不畏負債，不畏恐怖，不畏貧窮不得活故而行學道，但厭生、老、病、死、啼哭、憂苦，或復欲得大苦聚邊，阿那律陀，汝等不以如是心故出家學道耶？」

[T1.544c18] 答曰：「如是。」

[T1.544c18]「阿那律陀，若族姓子以如是心出家學道者，為知所由，得無量善法耶？」

[T1.544c20] 尊者阿那律陀白世尊曰：「世尊為法本，世尊為法主，法由世尊！唯願說之，我等聞已，得廣知義。」

---

[1]〔中阿含〕－【明】
[2] ～M. 68. Naḷakapana sutta. (那羅伽波寧村經)
[3]〔第二小土城誦〕－【明】
[4] 皆＝共【宋】【元】【明】

[T1.544c22] 佛便告曰：「阿那律陀，汝等諦聽，善思念之，我當為汝分別其義。」阿那律陀等受教而聽。

[T1.544c24] 世尊告曰：「阿那律陀，若為欲所覆、惡法所纏者，不得捨樂、無上止息，彼心生增伺、瞋恚、睡眠，心生不樂，身生頻伸[1]，多食心憂，彼比丘便不能忍飢渴、寒熱、蚊虻、蠅蚤、風日所逼，惡聲、捶杖亦不能忍，身遇諸疾極為苦痛，至命欲絕，諸不可樂，皆不堪耐。所以者何？以為欲所覆、惡法所纏，不得捨樂、無上止息故。若有離欲，非為惡法之所纏者，必得捨樂及無上止息，彼心不生增伺、瞋恚、睡眠、心不生不樂，身不生頻*伸，亦不多食，心不愁憂，彼比丘便能忍飢渴、寒熱、蚊虻、蠅蚤、風日所逼，惡聲、捶杖亦能忍之，身遇諸疾極為苦痛，至命欲絕，諸不可樂，皆能堪耐。所以者何？以非為欲所覆故，不為惡法之所纏故，又得捨樂、無上止息故。」

[T1.545a10] 世尊問曰：「阿那律陀，如來以何義故，或有所除，或有所用，或有所堪，或有所止，或有所吐耶？」

[T1.545a12] 阿那律陀白世尊曰：「世尊為法本，世尊為法主，法由世尊！唯願說之，我等聞已，得廣知義。」

[T1.545a14] 佛便告曰：「阿那律陀，汝等諦聽，善思念之，我當為汝分別其義。」阿那律陀等受教而聽。

[T1.545a17] 世尊告曰：「阿那律陀，諸漏穢污為當來有本，煩熱苦報，生、老、病、死因，如來非不盡，非不知故，或有所除，或有所用，或有所堪，或有所止，或有所吐，阿那律陀，如來但因此身故，因六處故，因壽命故，或有所除，或有所用，或有所堪，或有所止，或有所吐，阿那律陀，如來以此義故，或有所除，或有所用，或有所堪，或有所止，或有所吐。」

[T1.545a24] 世尊問曰：「阿那律陀，如來以何義故，住無事處、山林樹下，樂居高巖，寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順燕坐耶？」

[T1.545a27] 尊者阿那律陀白世尊曰：「世尊為法本，世尊為法主，法由世尊！唯願說之，我等聞已，得廣知義。」

[T1.545a29] 佛便告曰：「阿那律陀，汝等諦聽，善思念之，我當為汝分別其義。」阿那律陀等受教而聽。

[T1.545b02] 世尊告曰：「阿那律陀，如來非為未得欲得、未獲欲獲、未證欲證故，住無事處、山林樹下，樂居高巖，寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨

[1] 伸＝呻【宋】＊【元】＊【明】＊

順燕坐，阿那律陀，如來但以二義故，住無事處、山林樹下，樂居高巖，寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順燕坐，一者為自現法樂居故，二者為慈愍後生人故，或有後生人效如來[1]住無事處、山林樹下，樂居高巖，寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順燕坐，阿那律陀，如來以此義故，住無事處、山林樹下，樂居高巖，寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順燕坐。」

[T1.545b14] 世尊問曰：「阿那律陀，如來以何義故，弟子命終，記說某生某處、某生某處。」

[T1.545b16] 尊者阿那律陀白世尊曰：「世尊為法本，世尊為法主，法由世尊！唯願說之，我等聞已，得廣知義。」

[T1.545b18] 佛便告曰：「阿那律陀，汝等諦聽，善思念之，我當為汝分別其義。」阿那律陀等受教而聽。

[T1.545b20] 世尊告曰：「阿那律陀，如來非為趣為人說，亦不欺誑人，亦不欲得人歡樂故，弟子命終，記說某生某處、某生某處，阿那律陀，如來但為清信族姓男、族姓女，極信極愛，極生喜悅，聞此正[2]法、律已，或心願效如是如是，故弟子命終，記說某生某處、某生某處，若比丘聞某尊者於某處命終，彼為佛所記，得究竟智，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，或自見彼尊者，或復從他數數聞之，彼尊者如是有信、如是持戒、如是博聞、如是惠施、如是智慧，其人聞已，憶彼尊者有信、持戒、博聞、惠施、智慧，聞此正法、律已，或心願效如是如是，阿那律陀，如是比丘必得差降安樂住止。」

[T1.545c04]「阿那律陀。復次，比丘聞某尊者於某處命終，彼為佛所記，五下分結已盡，生於彼間而般涅槃，得不退法，不還此世，或自見彼尊者，或復從他數數聞之，彼尊者如是有信、如是持戒、如是博聞、如是慧[3]施、如是智慧，其人聞已，憶彼尊者有信、持戒、博聞、惠施、智慧，聞此正法、律已，或心願效如是如是，阿那律陀，如是比丘必得差降安樂住止。」

[T1.545c12]「阿那律陀。復次，比丘聞某尊者於某處命終，彼為佛所記，三結盡，婬怒癡薄，得一往來天上人間，一往來已而得苦際，或自見彼尊者，或復從他數數聞之，彼尊者如是有信、如是持戒、如是博聞、如是惠施、如是智慧，其人聞已，憶彼尊者有信、持戒、博聞、惠施、智慧，聞此正法、律已，或心願效如是如是，阿那律陀，如是比丘必得差降安樂住止。」

---

[1] 來＝是【宋】【元】【明】
[2] 正＝王【元】
[3] 慧＝惠【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.545c20]「阿那律陀。復次，比丘聞某尊者於某處命終，彼為佛所記，三結已盡，得須陀洹，不墮惡法，定趣正覺，極受七有，天上人間七往來已而得苦際，或自見彼尊者，或復從他數數聞之，彼尊者如是有信、如是持戒、如是博聞、如是惠施、如是智慧，其人聞已，憶彼尊者有信、持戒、博聞、惠施、智慧，聞此正法、律已，或心願效如是如是，阿那律陀，如是比丘必得差降安樂住止。」

[T1.545c29]「阿那律陀，若比丘尼聞某比丘尼於某處命終，彼為佛所記，得究竟智，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，或自見彼比丘尼，或復從他數數聞之，彼比丘尼如是有信、如是持戒、如是博聞、如是惠施、如是智慧，其人聞已，憶彼比丘尼有信、持戒、博聞、惠施、智慧，聞此正法、律已，或心願效如是如是，阿那律陀，如是比丘尼必得差降安樂住止。」

[T1.546a08]「阿那律陀。復次，比丘尼聞某比丘尼於某處命終，彼為佛所記，五下分結已盡，生於彼間而般涅槃，得不退法，不還此生[1]，或自見彼比丘尼，或復從他數數聞之，彼比丘尼如是有信、如是持戒、如是博聞、如是惠施、如是智慧，其人聞已，憶彼比丘尼有信、持戒、博聞、惠施、智慧，聞此正法、律已，或心願效如是如是，阿那律陀，如是比丘尼必得差降安樂住止。」

[T1.546a16]「阿那律陀。復次，比丘尼聞某比丘尼於某處命終，彼為佛所記，三結已盡，婬怒癡薄，得一往來天上人間，一往來已而得苦際，或自見彼比丘尼，或復從他數數聞之，彼比丘尼如是有信、如是持戒、如是博聞、如是惠施、如是智慧，其人聞已，憶彼比丘尼有信、持戒、博聞、[慧>惠]施、智慧，聞此正法、律已，或心願效如是如是，阿那律陀，如是比丘尼必得差降安樂住止。」

[T1.546a25]「阿那律陀。復次，比丘尼聞某比丘尼於某處命終，彼為佛所記，三結已盡，得須陀洹，不墮惡法，定趣正覺，極受七有，天上人間七往來已而得苦際，或自見彼比丘尼，或復從他數數聞之，彼比丘尼如是有信、如是持戒、如是博聞、如是惠施、如是智慧，其人聞已，憶彼比丘尼有信、持戒、博聞、惠施、智慧，聞此正法、律已，或心願效如是如是，阿那律陀，如是比丘尼必得差降安樂住止。」

[T1.546b04]「阿那律陀，若優婆塞聞某優婆塞於某村命終，彼為佛所記，五下分結已盡，生於彼間而般涅槃，得不退法，不還此世，或自見彼優婆塞，或復從他數數聞之，彼優婆塞如是有信、如是持戒、如是博聞、如是惠施、如是智

[1] 生＝世【宋】【元】【明】

慧，其人聞已，憶彼優婆塞有信、持戒、博聞、惠施、智慧，聞此正法、律已，或心願效如是如是，阿那律陀，如是優[1]婆塞必得差降安樂住止。」

[T1.546b13]「阿那律陀。復次，優婆塞聞某優婆塞於某村命終，彼為佛所記，三結已盡，婬怒癡薄，得一往來天上人間，一往來已而得苦際，或自見彼優婆塞，或復從他數數聞之，彼[2]優婆塞如是有信、如是持戒、如是博聞、如是惠施、如是智慧，其人聞已，憶彼優婆塞有信、持戒、博聞、惠施、智慧，聞此正法、律已，或心願效如是如是，阿那律陀，如是彼優婆塞必得差降安樂住止。」

[T1.546b21] 「阿那律陀。復次，優婆塞聞某優婆塞於某村命終，彼為佛所記，三結已盡，得須陀洹，不墮惡法，定趣正覺，極受七有，天上人間七往來已而得苦際，或自見彼優婆塞，或復從他數數聞之，彼優婆塞如是有信、如是持戒、如是博聞、如是惠施、如是智慧，其人聞已，憶彼優婆塞有信、持戒、博聞、惠施、智慧，聞此正法、律已，或心願效如是如是，阿那律陀，如是優婆塞必得差降安樂住止。」

[T1.546c01]「阿那律陀，若優婆私聞某優婆私於某村命終，彼為佛所記，五下分結已盡，生於彼間而般涅槃，得不退法，不還此世，或自見彼優婆私，或復從他數數聞之，彼優婆私如是有信、如是持戒、如是博聞、如是惠施、如是智慧，其人聞已，憶彼優婆私有信、持戒、博聞、*慧施、智慧，聞此正法、律已，或心願效如是如是，阿那律陀，如是優婆私必得差降安樂住止。」

[T1.546c09]「阿那律陀。復次，優婆私聞某優婆私於某村命終，彼為佛所記，三結已盡，婬怒癡薄，得一往來天上人間，一往來已而得苦際，或自見彼優婆私，或復從他數數聞之，彼優婆私如是有信、如是持戒、如是博聞、如是惠施、如是智慧，其人聞已，憶彼優婆私有信、持戒、博聞、*慧施、智慧，聞此正法、律已，或心願效如是如是，阿那律陀，如是優婆私必得差降安樂住止。」

[T1.546c18]「阿那律陀。復次，優婆私聞某優婆私於某村命終，彼為佛所記，三結已盡，得須陀洹，不墮惡趣[3]，定趣正覺，極受七有，天上人間七往來已而得苦際，或自見彼優婆私，或復從他數數聞之，*彼優婆私如是有信、如是持戒、如是博聞、如是惠施、如是智慧，其人聞已，憶彼優婆私有信、持戒、博聞、惠施、智慧，聞此正法、律已，或心願效如是如是，阿那律陀，如是優婆私必得差降安樂住止，阿那律陀，如來以此義故，弟子命終，記說某生某處、某生某處。」

---

[1] （彼）＋優【宋】【元】【明】
[2] 彼＋（處）【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 趣＝法【宋】【元】【明】

[T1.546c28] 佛說如是，尊者阿那律陀及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.547a01]娑雞帝三族姓子經第六竟 [1](三千四百六字)[2]，

中阿含經卷第十八(萬一百二十七字)[3](第二小土城誦) [4]

中阿含經

卷第十九 (Ma.78~80)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（七八）中阿含 [5]長壽王品

(Ma.78)梵天請佛經 [6] 第七(第二小土城誦)[7]

[T1.547a11] 我聞如是。

[T1.547a11] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.547a12] 爾時，有一梵天住梵天上，生如是邪見，此處有常，此處有恒 [8]，此處長存，此處是要，此處不終法，此處出要，此出要更無出要過其上，有勝、有妙、有最者。

[T1.547a15] 於是，世尊以他心智，知彼梵天心之所念，即入如其像定，以如其像定，猶若力士屈申 [9]臂頃，於舍衛國勝林給孤獨園忽沒不現，往梵天上。

---

[1]〔娑雞帝三族姓子經第六竟〕－【明】，娑＝婆【宋】
[2]〔三…字〕－【宋】【元】【明】
[3]〔萬…字〕－【宋】【元】【明】
[4] 第二小土城誦在卷末題前行【明】
[5]〔中阿含〕－【宋】【元】【明】
[6] ～M. 49. Brahmanimantanika sutta. (梵天請經)
[7]〔第二小土城誦〕－【明】
[8] 有恒＝恒有【宋】＊【元】＊【明】＊
[9] 申＝伸【明】

[T1.547a19] 時，彼梵天見世尊來，即請世尊！善來大仙人，此處有常，此處*有恒，此處長存，此處是要，此處不終法，此處出要，此出要更無出要過其上，有勝、有妙、有最者。

[T1.547a22] 於是，世尊告曰：「梵天，汝無常稱說常，不恒稱說恒，不存稱說存，不要稱說要，終法稱說不終法，非出要稱說出要，此出要更無出要過其上，有勝、有妙、有最者，梵天，汝有是無明，梵天，汝有是無明。」

[T1.547a27] 時，魔波旬在彼眾中。於是，魔波旬語世尊曰：「比丘！莫違此梵天所說，莫逆此梵天所說，比丘！若汝違此梵天所說，逆此梵天所說者，是為比丘猶如有人吉祥事來，而排却之，比丘所說亦復如是。是故，比丘！我語汝莫違此梵天所說，莫逆此梵天所說，比丘！若汝違此梵天所說，逆此梵天所說者，是為比丘猶如有人從山上墮，雖以手足捫摸於空而無所得，比丘所說亦復如是。是故，比丘！我語汝莫違此梵天所說，莫逆此梵天所說，比丘！若汝違此梵天所說，逆此梵天所說者，是為比丘猶如有人從樹上墮，雖以手足捫摸枝葉而無所得，比丘所說亦復如是。是故，比丘！我語汝莫違此梵天所說，莫逆此梵天所說。所以者何？此梵天梵、福祐、能化、最尊、能作、能造、是父，已有、當有一切眾生皆從是生，此所知盡知、所見盡見。」

[T1.547b15]「大仙人。若有沙門、梵志憎惡地[1]、毀呰*地者，彼身壞命終，必生餘下賤妓樂神中，如是水、火、風、神、天、生主，憎惡梵天、毀呰梵天者，彼身壞命終，必生餘下賤妓樂神中，大仙人。若有沙門、梵志愛樂*地、稱歎*地者，彼身壞命終，必生最上尊梵天中，如是水、火、風、神、天、生主，愛樂梵天、稱歎梵天者，彼身壞命終，必生最上尊梵天中，大仙人，汝不見此梵天大眷屬坐如我輩耶？」

[T1.547b24] 彼魔波旬非是梵天，亦非梵天眷屬，然自稱說我是梵天，爾時，世尊便作是念：「此魔波旬非是梵天，亦非梵天眷屬，然自稱說我是梵天，若說有魔波旬者，此即是魔波旬。」

[T1.547b28] 世尊知已，告曰：「魔波旬，汝非梵天，亦非梵天眷屬，然汝自稱說我是梵天，若說有魔波旬者，汝即是魔波旬。』於是，魔波旬而作是念：『世尊知我，善逝見我。」知已愁憂，即於彼處忽沒不現。

[T1.547c03] 時，彼梵天至再三請世尊：「善來大仙人，此處有常，此處恒有，此處長存，此處是要，此處不終法，此處出要，此出要更無出要過其上，有勝、有妙、有最者。」

---

[1] 地＝他【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.547c06] 世尊亦至再三告曰：「梵天，汝無常稱說常，不恒稱說恒，不存稱說存，不要稱說要，終法稱說不終法，非出要稱說出要，此出要更無出要過其上，有勝、有妙、有最者，梵天，汝有是無明，梵天，汝有是無明。」

[T1.547c11] 於是，梵天白世尊曰：「大仙人，昔有沙門、梵志，壽命極長，存住極久，大仙人，汝壽至短，不[知>如]彼沙門、梵志一燕坐頃。所以者何？彼所知盡知、所見盡見，若實有出要者，更無餘出要過其上，有勝、有妙、有最者，若無有實出要者，更無餘出要過其上，有勝、有妙、有最者，大仙人，汝於出要不出要想，不出要出要想，如是汝不得出要，便成大癡。所以者何？以無境界故，大仙人。若有沙門、梵志愛樂*地、稱歎*地者，彼為我自在，為隨我所欲，為隨我所使，如是水、火、風、神、天、生主，愛樂梵天、稱歎梵天者，彼為我自在，為隨我所欲，為隨我所使，大仙人，若汝愛樂*地、稱歎*地者，汝亦為我自在，為隨我所欲，為隨我所使，如是水、火、風、神、天、生主，愛樂梵天、稱歎梵天者，汝亦為我自在，為隨我所欲，為隨我所使。」

[T1.547c27] 於是，世尊告曰：「梵天如是，梵天所說真諦。若有沙門、梵志愛樂*地、稱歎*地者，彼為汝自在，為隨汝所欲，為隨汝所使，如是水、火、風、神、天、生主，愛樂梵天、稱歎梵天者，彼為汝自在，為隨汝所欲，為隨汝所使，梵天，若我愛樂*地、稱歎*地者，我亦為汝自在，為隨汝所欲，為隨汝所使，如是水、火、風、神、天、生主，愛樂梵天、稱歎梵天者，我亦為汝自在，為隨汝所欲，為隨汝所使。」

[T1.548a07]「梵天，若此八事，我隨其事愛樂稱歎者，彼亦有如是，梵天，我知汝所從來處、所往至處、隨所住、隨所終、隨所生。若有梵天有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神。」

[T1.548a11] 於是，梵天白世尊曰：「大仙人，汝云何知我所知、見我所見。云何識悉[1]我，如日自在，明照諸方，是為千世界，於千世界中，汝得自在耶？知彼彼處無有晝夜，大仙人曾更[2]歷彼，數經歷彼耶？」

[T1.548a15] 世尊告曰：「梵天，如日自在，明照諸方，是為千世界，於千世界中，我得自在，亦知彼彼處無有晝夜，梵天，我曾更歷彼，我數經歷彼，梵天，有三種天，光天、淨光天、遍淨光天，梵天，若彼三種天有知有見者，我亦有彼知見，梵天，若彼三種天無知無見者，我亦自有知見，梵天，若彼三種天及眷屬有知有見者，我亦有彼知見，梵天，若彼三種天及眷屬無知無見者，我亦自有知見，梵天，若汝有知有見者，我亦有此知見，梵天，若汝無知無[3]見

---

[1] 識悉＝悉識【明】
[2] 更＝經【宋】＊【元】＊【明】＊
[3]〔無〕－【宋】【元】【明】

者，我亦自有知見，梵天，若汝及眷屬有知有見者，我亦有此知見，梵天，若汝及眷屬無知無見者，我亦自有知見，梵天，汝不與我一切等，不與我盡等，但我於汝最勝最上。」

[T1.548b01] 於是，梵天白世尊曰：「大仙人，何由得彼三種天有知有見者，汝亦有彼知見，若彼三種天無知無見者，汝亦自有知見，若彼三種天及眷屬有知有見者，汝亦有彼知見，若彼三種天及眷屬無知無見者，汝亦自有知見，若我有知有見者，汝亦有此知見，若我無知無見者，汝亦自有知見，若我及眷屬有知有見者，汝亦有此知見，若我及眷屬無知無見者，汝亦自有知見，大仙人，非為愛言耶？問已不知增益愚癡。所以者何？以識無量境界故，無量知、無量見、無量種別，我各各知別，是地知地，水、火、風、神、天、生主，是梵天知梵天。」

[T1.548b13] 於是，世尊告曰：「梵天。若有沙門、梵志於地有地想，地是我，地是我所，我是地所，彼計地是我已，便不知地，如是於水、火、風、神、天、生主、梵天、無煩、無熱，淨[1]有淨想，淨是我，淨是我所，我是淨所，彼計淨是我已，便不知淨，梵天。若有沙門、梵志，地則知地，地非是我，地非我所，我非地所，彼不計地是我已，彼便知地，如是水、火、風、神、天、生主、梵天、無煩、無熱，淨則知淨，淨非是我，淨非我所，我非淨所，彼不計淨是我已，彼便知淨，梵天，我於地則知地，地非是我，地非我所，我非地所，我不計地是我已，我便知地，如是水、火、風、神、天、生主、梵天、無煩、無熱，淨則知淨，淨非是我，淨非我所，我非淨所，我不計淨是我已，我便知淨。」

[T1.548b27] 於是，梵天白世尊曰：「大仙人，此眾生愛有、樂有、習有，汝已拔有根本。所以者何？謂如來、無所著、等正覺故，便說頌曰：「

於有[2]見恐怖　無有見不懼　是故莫樂有　有何不可[3]斷

[T1.548c04] 大仙人，我今欲自隱形，

[T1.548c04] 世尊告曰：「梵天，汝若欲自隱形者，便隨所欲。」

[T1.548c05] 於是，梵天即隨所處自隱其形，世尊即知，梵天，汝在彼，汝在此，汝在中。

---

[1] （於）＋淨【明】
[2] 於有…斷～Bhave vāhaṃ bhayaṃ disvā bhavañ ca vibhavesinaṃ bhavaṃ nābhivadiṃ kañci nandiñ ca na upādiyin ti.
[3] 不可＝可不【宋】【元】【明】

[T1.548c07] 於是，梵天盡現如意，欲自隱形而不能隱，還住梵天中。於是，世尊告曰：「梵天，我今亦欲自隱其形。」

[T1.548c09] 梵天白世尊曰：「大仙人，若欲自隱形者，便隨所欲。」

[T1.548c10] 於是，世尊而作是念：「我今寧可現如其像如意足，放極妙光明，照一切梵天而自隱住，使諸梵天及梵天眷屬但聞我聲而不見形。於是，世尊即現如其像如意足，放極妙光明，照一切梵天，便自隱住，使諸梵天及梵天眷屬但聞其聲而不見其形。於是，梵天及梵天眷屬各作是念：沙門瞿曇甚奇，甚特，有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神。所以者何？謂放極妙光明，照一切梵天而自隱住，使我等及眷屬但聞彼聲而不見形。」

[T1.548c21] 於是，世尊復作是念：「我已化此梵天及梵天眷屬，我今寧可攝如意足。」世尊便攝如意足，還住梵天中。於是，魔王亦至再三在彼眾中，爾時，魔王白世尊曰：「大仙人善見、善知、善達，然莫訓誨教呵弟子，亦莫為弟子說法，莫著弟子，莫為著弟子故，身壞命終，生餘下賤妓樂神中，行無為，於現世受安樂。所以者何？大仙人，此唐自煩勞，大仙人，昔有沙門、梵志訓誨弟子，教呵弟子，亦為弟子說法，樂著弟子，彼以著弟子故，身壞命終，生餘下賤妓樂神中，大仙人。是故我語汝莫得訓誨教呵弟子，亦莫為弟子說法，莫著弟子，莫為著弟子故，身壞命終，生餘下賤妓樂神中，行無為，於現世受安樂。所以者何？大仙人，汝唐自煩勞。」

[T1.549a07] 於是，世尊告曰：「魔波旬，汝不為我求義故說，非為饒益故，非為樂故，非為安隱故，莫得訓誨教呵弟子，莫為弟子說法，莫著弟子，莫為著弟子故，身壞命終，生餘下賤妓樂神中，行無為，於現世受安樂。所以者何？大仙人，汝唐自煩勞。魔波旬，汝作是念：此沙門瞿曇為弟子說法，彼弟子聞法已，出我境界，魔波旬。是故汝今語我，莫得訓誨教呵弟子，亦莫為弟子說法，莫著弟子，莫為著弟子故，身壞命終，生餘下賤妓樂神中，行無為，於現世受安樂。所以者何？大仙人，汝唐自煩勞。」

[T1.549a18]「魔波旬。若有沙門、梵志訓誨弟子，教呵弟子，為弟子說法，樂著弟子，為著弟子故，身壞命終，生餘下賤妓樂神中，彼沙門、梵志，彼非沙門稱說沙門，非梵志稱說梵志，非阿羅訶稱說阿羅訶，非等正覺稱說等正覺，魔波旬，我實沙門稱說沙門，實梵志稱說梵志，實阿羅訶稱說阿羅訶，實等正覺稱說等正覺，魔波旬，若我為弟子說法，若不說者，汝且自去，我今自知應為弟子說法、不應為弟子說法。」

[T1.549a28]「 是為梵天請，魔波旬違逆世尊隨順說。是故此經名梵天請佛。」

[T1.549a29] 佛說如是，梵天及梵天眷屬聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.549b02] 梵天請佛經第七竟 [1](三千九十字)[2]，

（七九）中阿含 [3]長壽王品

(Ma.79)有勝天經 [4] 第八(第二小土城誦)[5]

[T1.549b05] 我聞如是。

[T1.549b05] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.549b06] 於是，仙餘財主告一使人：「汝往詣佛，為我稽首，禮世尊足，問訊世尊聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？作如是語，仙餘財主稽首佛足，問訊世尊聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？汝既為我問訊佛已，往詣尊者阿那律陀所，為我稽首禮彼足已，問訊尊者聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常不，作如是語，仙餘財主稽首尊者阿那律陀足，問訊尊者聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常不，仙餘財主請尊者阿那律陀四人俱，供 [6]明日食，若受請者，復作是語，尊者阿那律陀，仙餘財主多事多為，為王眾事斷 [7]理臣佐，唯願尊者阿那律陀為慈愍故，與四人俱，明日早來至仙餘財主家。」

[T1.549b20] 於是，使人受仙餘財主教已，往詣佛所，稽首佛 [8]足，却住一面，白曰：「世尊！仙餘財主稽首佛足，問訊世尊聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？」

[T1.549b23] 爾時，世尊告使人曰：「令仙餘財主安隱快樂，令天及人、阿修羅、揵塔和、羅剎及餘種種身安隱快樂。」

[T1.549b26] 於是，使人聞佛所說，善受善持，稽首佛足，繞三匝而去，往詣尊者阿那律陀所，稽首禮足，却坐一面，白曰：「尊者阿那律陀，仙餘財主稽首尊者阿那律陀足，問訊尊者聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常不，仙餘財主請尊者阿那律陀四人*俱，供明日食。」

---

[1]〔梵…竟〕－【明】
[2]〔三…字〕－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～M. 127. Anuruddha sutta. (阿那律經)
[5] 第二小土城誦在經題次行【明】
[6] 供＝共【宋】＊【元】＊【明】＊
[7] 斷＝料【宋】＊【元】＊【明】＊
[8] 佛＝禮【明】

[T1.549c03] 是時，尊者真迦旃延去尊者阿那律陀不遠而燕坐也。於是，尊者阿那律陀告曰：「賢者迦旃延，我向所道，明日我等為乞食故，入舍衛國，正謂此也。今仙餘財主遣人請我等四人，*供明日食。」

[T1.549c07] 尊者真迦旃延即時白曰：「願尊者阿那律陀為彼人故，默然受請，我等明日出此闇林，為乞食故，入舍衛國，尊者阿那律陀為彼人故，默然而受。」

[T1.549c10] 於是，使人知尊者阿那律陀默然受已，尋復白曰：「仙餘財主白尊者阿那律陀，仙餘財主多事多為，為王眾事*斷理臣佐，願尊者阿那律陀為慈愍故，與四人俱，明日早來，至仙餘財主家。」

[T1.549c15] 尊者阿那律陀告使人曰：「汝便還去，我自知時。於是，使人即從坐起，稽首作禮，繞三匝而去。」

[T1.549c17] 於是，尊者阿那律陀過夜平旦，著衣持鉢，四人共俱，往詣仙餘財主家，爾時，仙餘財主婇女圍遶，住中門下，待尊者阿那律陀，仙餘財主遙見尊者阿那律陀來，見已，叉手向尊者阿那律陀，讚曰：「善來尊者阿那律陀，尊者阿那律陀久不來此。於是，仙餘財主敬心扶抱尊者阿那律陀，將入家中，為敷好床，請使令坐。」

[T1.549c24] 尊者阿那律陀即坐其床，仙餘財主稽首尊者阿那律陀足，却坐一面，坐已，白曰：「尊者阿那律陀，欲有所問，唯願見聽。」

[T1.549c27] 尊者阿那律陀告曰：「財主，隨汝所問，聞已當思。」

[T1.549c28] 仙餘財主便問尊者阿那律陀，或有沙門、梵志來至我所，語我，財主，汝當修大心解脫[1]，尊者阿那律陀，復有沙門、梵志來至我所，語我，財主，汝當修無量心解脫[2]，尊者阿那律陀，大心解脫、無量心解脫，此二解脫，為文異義異耶？為一義文異耶？」

[T1.550a05] 尊者阿那律陀告曰：「財主，汝前問此事，汝[3]先自答，我當後答。」

[T1.550a06] 仙餘財主白曰：「尊者阿那律陀，大心解脫、無量心解脫，此二解脫一義文異，仙餘財主不能答此事。」

---

[1] [>大心解脫]～Mahaggatā cetovimutti.
[2] [>無量心解脫]～Appamāṇā cetovimutti.
[3]〔汝〕－【宋】【元】【明】

[T1.550a08] 尊者阿那律陀告曰：「財主，當聽我為汝說大心解脫、無量心解脫，大心解脫者。若有沙門、梵志在無事處，或至樹下空安靜處，依一樹意解大心解脫遍滿成就遊，彼齊限是心解脫不過是，若不依一樹者，當依二三樹，意解大心解脫遍滿成就遊，彼齊限是心解脫不過是，若不依二三樹者，當依一林，若不依一林者[1]，當依二三林，若不依二三林者，當依一村，若不依一村者，當依二三村，若不依二三村者，當依一國，若不依一國者，當依二三國，若不依二三國者，當依此大地乃至大海，意解大心解脫遍滿成就遊，彼齊限是心解脫不過是，是謂大心解脫。」

[T1.550a22]「財主。云何無量心解脫。若有沙門、梵志在無事處，或至樹下空安靜處，心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修遍滿一切世間成就遊，是謂無量心解脫，財主，大心解脫，無量心解脫，此二解脫為義異文異，為一義文異耶？」

[T1.550b02] 仙餘財主白尊者阿那律陀曰：「如我從尊者聞，則解其義，此二解脫義既異文亦異。」

[T1.550b03] 尊者阿那律陀告曰：「財主，有三種天，光天、淨光天、遍淨光天，於中光天者，彼生在一處，不作是念：此我所有，彼我所有，但光天隨其所往，即樂彼中，財主，猶如蠅在肉段，不作是念：此我所有，彼我所有，但蠅隨肉段去，即樂彼中，如是彼光天不作是念：此我所有，彼我所有，但光天隨其所往，即樂彼中，有時光天集在一處，雖身有異而光不異，財主，猶如有人然無量燈，著一室中，彼燈雖異而光不異，如是彼光天集在一處，雖身有異而光不異，有時光天各自散去，彼時各散去時，其身既異，光明亦異，財主，猶如有人從一室中出眾多燈，分著諸室，彼燈即異，光明亦異，如是彼光天各自散去，彼各散去時，其身既異，光明亦異。」

[T1.550b18] 於是，尊者真迦旃[2]延白曰：「尊者阿那律陀，彼光天生在一處，可知有勝如、妙不妙耶？」

[T1.550b20] 尊者阿那律陀答曰：「賢者迦*旃延，可說彼光天生在一處，知有勝如、妙與不妙。」

[T1.550b22] 尊者真迦旃延復問曰：「尊者阿那律陀，彼光天生在一處，何因何緣知有勝如、妙與不妙耶？」

---

[1]〔者〕－【宋】【元】【明】
[2] 旃＝栴【宋】【元】＊～Kaccāna.

[T1.550b24] 尊者阿那律陀答曰：「賢者迦*旃延。若有沙門、梵志在無事處，或至樹下空安靜處，依一樹，意解作光明[1]想成就遊，心作光明想極盛，彼齊限是心解脫不過是，若不依一樹者，或依二三樹，意解作光*明想成就遊，心作光明想極盛，彼齊限是心解脫不過是，賢者迦*旃延，此二心解脫，何解脫為上、為勝、為妙、為最耶？」

[T1.550c02] 尊者真迦*旃延答曰：「尊者阿那律陀。若有沙門、梵志不依一樹者，或依二三樹，意解作光*明想成就遊，心作光明想極盛，彼齊限是心解脫不過是，尊者阿那律陀，二解脫中，此解脫為上、為勝、為妙、為最。」

[T1.550c07] 尊者阿那律陀復問曰：「賢者迦*旃延，若不依二三樹者，或依一林，若不依一林者，或依二三林，若不依二三林者，或依一村，若不依一村者，或依二三村，若不依二三村者，或依一國，若不依一國者，或依二三國，若不依二三國者，或依此大地乃至大海，意解作光*明想成就遊，心作光明想極盛，彼齊限是心解脫不過是，賢者迦旃延，此二解脫，何解脫為上、為勝、為妙、為最。」

[T1.550c16] 尊者真迦旃延答曰：「尊者阿那律陀。若有沙門、梵志不依二三樹者，或依一林，若不依一林者，或依二三林，若不依二三林[2]者，或依一村，若不依一村者，或依二三村，若不依二三村者，或依一國，若不依一國者，或依二三國，若不依二三國者，或依此大地乃至大海，意解作光*明想成就遊，心作光明想極盛，彼齊限是心解脫不過是，尊者阿那律陀，二解脫中此解脫為上、為勝、為妙、為最。」

[T1.550c26] 尊者阿那律陀告曰：「迦*旃延，因是緣是，彼光天生在一處，知有勝如、妙與不妙。所以者何？因人心勝如故，修便有精麤，因修有精麤故，得人則有勝如，賢者迦*旃延，世尊亦如是說人有勝如。」

[T1.551a01] 尊者真迦*旃延復問曰：「尊者阿那律陀，彼淨[3]光天生在一處，可知有勝如、妙與不妙耶？」

[T1.551a03] 尊者阿那律陀答曰：「賢者迦*旃延，可說彼*淨光天生在一處，知有勝如、妙與不妙。」

[T1.551a05] 尊者真迦*旃延復問曰：「尊者阿那律陀，彼*淨光天生在一處，何因何緣，知有勝如、妙與不妙耶？」

---

[1] 明＝天【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 〔林〕－【宋】【明】
[3] 淨＝清【宋】【元】＊

[T1.551a07] 尊者阿那律陀答曰：「賢者迦*旃延。若有沙門、梵志在無事處，或至樹下空安靜處，意解*淨光天遍滿成就遊，彼此定不修、不習、不廣，不極成就，彼於後時，身壞命終，生*淨光天中，彼生已，不得極[1]止息，不得極寂靜，亦不得盡壽訖，賢者迦*旃延，猶青蓮華，紅、赤、白蓮，水生水長，在水底時，爾時根、莖、葉、華，彼一切水漬水澆，水所潤，無處不漬，賢者迦*旃延。若有沙門、梵志在無事處，或至樹下空安靜處，意解*淨光天遍滿成就遊，彼此定不修、不習、不廣，不極成就，彼身壞命終，生*淨光天中，彼生[2]已，不得極止息，不得極寂靜，亦不得盡壽訖。」

[T1.551a20]「賢者迦*旃延，復有沙門、梵志意解*淨光天遍滿成就遊，彼此定數修、數習、數廣，極成就，彼身壞命終，生*淨光天中，彼生已，得極止息，得極寂靜，亦得壽盡訖，賢者迦*旃延，猶青蓮華，紅、赤、白蓮，水生水長，出水上住，水所不漬[3]，賢者迦*旃延，如是復有沙門、梵志在無事處，或至樹下空安靜處，意解*淨光天遍滿成就遊，彼此定數修、數習、數廣，極成就，彼身壞命終，生*淨光天中，彼生已，得極止息，得極寂靜，亦得壽盡訖。」

[T1.551b01]「賢者迦*旃延，因是緣是，彼*淨光天生在一處，知有勝如、妙與不妙。所以者何？因人心勝如故，修便有精麤，因修有精麤故，得人則有勝如，賢者迦*旃延，世尊亦如是說人有勝如。」

[T1.551b05] 尊者真迦*旃延復問曰：「尊者阿那律陀，彼遍淨光天生在一處，可知有勝如、妙與不妙耶？」

[T1.551b07] 尊者阿那律陀答曰：「賢者迦*旃延，可說彼遍淨光天生在一處，知有勝如、妙與不妙。」

[T1.551b09] 尊者真迦*旃延復問曰：「尊者阿那律陀，彼遍淨光天生在一處，何因何緣知有勝如、妙與不妙耶？」

[T1.551b11] 尊者阿那律陀答曰：「賢者迦*旃延。若有沙門、梵志在無事處，或至樹下空安靜處，意解遍淨光天遍滿成就遊，彼不極止睡眠，不善息調[4]悔，彼於後時身壞命終，生遍淨光天中，彼生已，光不極淨，賢者迦*旃延，譬如燃[5]燈，因緣油炷，若油有滓，炷復不淨，因是燈光生不明淨，賢者迦*旃延，如是若有沙門、梵志在無事處，或至樹下空安靜處，意解遍淨光天遍滿成就遊，彼

---

[1]〔極〕－【宋】【元】【明】
[2] 生＋（天）【宋】【元】【明】
[3] 漬＝汙【宋】【元】【明】
[4] 調＝掉【元】【明】＊
[5] 燃＝然【宋】【元】【明】

不極止睡眠，不善息*調悔，彼身壞命終，生遍淨光天中，彼生已，光不極淨。」

[T1.551b22]「賢者迦*旃延，復有沙門、梵志在無事處，或至樹下空安靜處，意解遍淨光天遍滿成就遊，彼極止睡眠，善息*調悔，彼身壞命終，生遍淨光天中，彼生已，光極明淨，賢者迦*旃延，譬如然燈，因緣油炷，若油無滓，炷復極淨，因是燈光生極明淨。」

[T1.551b27]「賢者迦*旃延，如是復有沙門、梵志在無事處，或至樹下空安靜處，意解遍淨光天遍滿成就遊，彼極止睡眠，善息*調悔，彼身壞命終，生遍淨光天中，彼生已，光極明淨。」

[T1.551c02]「賢者迦*旃延，因是緣是，彼遍淨光天生在一處，知有勝如、妙與不妙。所以者何？因人心勝如故，修便有精麤，因修有精麤故，得人則有勝如，賢者迦*旃延，世尊亦如是說人有勝如。」

[T1.551c07] 於是，尊者真迦*旃延歎仙餘財主曰：「 善哉！善哉！財主，汝為我等多所饒益。所以者何？初問尊者阿那律陀有勝天，我等未曾從尊者阿那律陀聞如是義，是謂彼天、有彼天、如是彼天。

[T1.551c11] 於是，尊者阿那律陀告曰：「賢者迦*旃延，多有彼天，謂此日月如是有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，以光不及光，彼與我集，共相慰勞，有所論說，有所答對，然我不如是說，是謂彼天、有彼天、如是彼天。」

[T1.551c16] 爾時，仙餘財主知彼尊者所說已訖，即從坐[1]起，自行澡水，以極淨美種種豐饒食噉含消，手自斟酌，令得飽滿，食訖舉器，行澡水已，取一小床，別坐聽法，仙餘財主坐已，尊者阿那律陀而為說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，從*坐起去。」

[T1.551c22] 尊者阿那律陀所說如是，仙餘財主及諸比丘聞尊者阿那律陀所說，歡喜奉行。

[T1.551c25] 有勝天經第八竟[2](二千五百九十九字)[3]，

（八○）中阿含[1]長壽王品

---

[1] 坐＝座【元】【明】＊
[2]〔有…竟〕－【明】
[3]〔二…字〕－【宋】【元】【明】

(Ma.80)迦絺那經 第九(第二小土城誦)[2]

[T1.551c28] 我聞如是。

[T1.551c28] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.551c29] 爾時，尊者阿那律陀亦在舍衛國，住娑羅邏巖山中。於是，尊者阿那律陀過夜平旦，著衣持鉢，入舍衛乞食，尊者阿難亦復平旦著衣持鉢，入舍衛乞食。

[T1.552a03] 尊者阿那律陀見尊者阿難亦行乞食，見已，語曰：「賢者阿難！當知我三衣麤素壞盡，賢者，今可倩諸比丘為我作衣，尊者阿難為尊者阿那律陀默然許倩。」

[T1.552a07] 於是，尊者阿難舍衛乞食已[3]，食訖，中後收舉衣鉢，澡洗手足，以尼師檀[4]著於肩上，手執戶鑰，遍詣房房，見諸比丘便語之曰：「諸尊，今往詣娑羅邏巖山中，為尊者阿那律陀作衣。」

[T1.552a11] 於是，諸比丘聞尊者阿難語，皆往詣娑羅邏巖山中，為尊者阿那律陀作衣。

[T1.552a13] 於是，世尊見尊者阿難手執戶鑰，遍詣房房，見已，問曰：「阿難！汝以何事，手執戶鑰，遍詣房房。」

[T1.552a15] 尊者阿難白曰：「世尊！我今倩諸比丘！為尊者阿那律陀作衣。」

[T1.552a16] 世尊告曰：「阿難！汝何以故不請[5]如來為阿那律陀比丘作衣。」

[T1.552a18] 於是，尊者阿難即叉手向佛，白世尊曰：「唯願世尊往詣娑羅邏巖山中，為尊者阿那律陀作衣，世尊為尊者阿難默然而許。」

[T1.552a21] 於是，世尊將尊者阿難！往詣娑羅邏巖山中比丘眾前，敷坐而坐，爾時，娑羅邏巖山中有八百比丘及世尊共集坐，為尊者阿那律陀作衣。

[T1.552a24] 彼時，尊者大目揵連亦在眾中。於是，世尊告曰：「目揵連，我能為阿那律陀舒張衣裁，割截連綴而縫合之。」

---

[1]〔中阿含〕－【明】
[2]〔第二小土城誦〕－【明】，第二小土城誦六字在經題次行【宋】【元】
[3] 已＝訖【宋】【元】【明】
[4] 檀＝壇【宋】【元】【明】
[5] 請＝倩【元】【明】

[T1.552a26] 爾時，尊者大目揵連即從座[1]起，偏袒著衣，叉手向佛，白世尊曰：「唯願世尊為賢者阿那律陀舒張衣裁，諸比丘當共割截，連綴縫合。」

[T1.552b01] 於是，世尊即為尊者阿那律陀舒張衣裁，諸比丘便共割截，連綴縫合，即彼一日為尊者阿那律陀成三衣訖。

[T1.552b03] 爾時，世尊知尊者阿那律陀三衣已成，則便告曰：「阿那律陀，汝為諸比丘說迦絺那法，我今腰痛，欲小自息。」

[T1.552b05] 尊者阿那律陀白曰：「唯然。世尊！」

[T1.552b06] 於是，世尊四疊優多羅僧以敷床上，襞僧伽梨作枕，右脇而臥，足足相累，作光明想，立正念正智，常作起想。

[T1.552b09] 彼時，尊者阿那律陀告諸比丘：「諸賢！我本未出家學道時，厭生老病死、啼哭懊惱、悲泣憂慼，欲斷此大苦聚。諸賢！我厭已而作是觀，居家至狹，塵勞之處，出家學道，發露曠大，我今在家為鎖所鎖，不得盡形壽修諸梵行，我寧可捨少財物及多財物，捨少親族及多親族，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道。諸賢！我於後時捨少財物及多財物，捨少親族及多親族，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道。諸賢！我出家學道，捨族姓已，受比丘學，修行禁戒，守護從解脫，又復善攝威儀禮節，見纖介[2]罪，常懷畏怖，受持學戒。」

[T1.552b21]「諸賢！我離殺，斷殺，棄捨刀杖，有慚有愧，有慈悲心，饒益一切乃至蜫蟲，我於殺生淨除其心。諸賢！我離不與取，斷不與取，與而後取，樂於與取，常好布施，歡喜無悋，不望其報，我於不與取淨除其心。諸賢！我離非梵行，斷非梵行，勤修梵行，精勤妙行，清淨無穢，離欲斷婬，我於非梵行淨除其心。」

[T1.552b28]「諸賢！我離妄言，斷妄言，真諦言，樂真諦，住真諦，不移動，一切可信，不欺世間，我於妄言淨除其心。諸賢！我離兩舌，斷兩舌，行不兩舌，不破壞他，不聞此語彼，欲破壞此，不聞彼語此，欲破壞彼，離者欲合，合者歡喜，不作群黨，不樂群黨，不稱說群黨，我於兩舌淨除其心。諸賢！我離麤言，斷麤言。若有所言，辭氣麤獷，惡聲逆耳，眾所不喜，眾所不愛，使他苦惱，令不得定，斷如是言。若有所說，清和柔潤，順耳入心，可喜可愛，使他安樂，言聲具了，不使人畏，令他得定，說如是言，我於麤言淨除其心。諸賢！我離綺語，斷綺語，時說、真說、法說、義說、止息說、樂止息說，事順時得宜，善教善訶，我於綺語淨除其心。」

---

[1] 座＝坐【宋】
[2] 介＝芥【明】

[T1.552c13]「諸賢！我離治生，斷治生，棄捨稱量及斗斛，不受財貨，不縛束人，不望折斗量，不以小利侵欺於人，我於治生淨除其心。諸賢！我離受寡婦、童女，斷受寡婦、童女，我於受寡婦、童女淨除其心。諸賢！我離受奴婢，斷受奴婢，我於受奴婢淨除其心。諸賢！我離受象、馬、牛、羊，斷受象、馬、牛、羊，我於受象、馬、牛、羊淨除其心。諸賢！我離受雞、猪、斷受雞、猪，我於受雞、猪淨除其心。諸賢！我離受田業、店肆，斷受田業、店肆，我於受田業、店肆淨除其心。諸賢！我離受生稻、麥、豆，斷受生稻、麥、豆，我於受生稻、麥、豆淨除其心。」

[T1.552c25]「諸賢！我離酒，斷酒，我於飲酒淨除其心。諸賢！我離高廣大床，斷高廣大床，我於高廣大床淨除其心。諸賢！我離華鬘、瓔珞、塗香、脂粉，斷華鬘、瓔珞、塗香、脂粉，我於花鬘、瓔珞、塗香、脂粉淨除其心。諸賢！我離歌舞、倡妓及往觀聽，斷歌舞、倡妓及往觀聽，我於歌舞、倡妓及往觀聽淨除其心。諸賢！我離受生色像寶，斷受生色像寶，我於受生色像寶淨除其心。諸賢！我離過中食，斷過中食，一食，不夜食，學時食，我於過中食淨除其心。」

[T1.553a06]「諸賢！我已成就此聖戒聚，當復學極知足，衣取覆形，食取充軀[1]，隨所遊至，與衣鉢俱，行無顧戀，猶如鷹鳥與兩翅俱，飛翔空中。諸賢！我亦如是，隨所遊至，與衣鉢俱，行無顧戀。諸賢！我已成就此聖戒聚及極知足，當復學守護諸根，常念閉塞，念欲明達，守護念心而得成就，恒起正知，若眼見色，然不受相，亦不味色，謂忿諍故，守護眼根，心中不生貪伺、憂慼、惡不善法，趣向彼故，守護眼根，如是耳、鼻、舌、身，若意知法，然不受相，亦[2]不味法，謂忿諍故，守護意根，心中不生貪伺、憂慼、惡不善法，趣向彼故，守護意根。」

[T1.553a18]「諸賢！我已成就此聖戒聚及極知足，守護諸根，當復學正知出入，善觀分別，屈申[3]低仰，儀容庠序，善著僧伽梨[4]及諸衣鉢，行住坐臥，眠寤[5]語默，皆正知之。諸賢！我已成就此聖戒聚及極知足，守護諸根，正知出入，當復學獨住遠離，在無事處，或至樹下空安靜處、山巖石室、露地蘘[6][卄/積]，或至林中，或在塚間。諸賢！我已在無事處，或至樹下空安靜處，敷尼師*檀，結加[7]趺坐，正身正願，反念不向，斷除貪伺，心無有諍，見他財物、諸生活具，

---

[1] 軀＝體【宋】
[2]〔亦〕－【宋】【元】【明】
[3] 申＝伸【明】
[4] 梨＝黎【明】
[5] 寤＝覺【宋】【元】【明】
[6] 蘘＝穰【宋】【元】【明】
[7] 加＝跏【宋】＊【元】＊【明】＊

不起貪伺，欲令我得，我於貪伺淨除其心，如是嗔恚、睡眠、*調悔、斷疑、度惑，於諸善法無有猶豫，我於疑惑淨除其心。」

[T1.553b02]「諸賢！我已斷此五蓋、心穢、慧羸，離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊。諸賢！我已得如是定心清淨，無穢無煩，柔軟善住，得不動心，學如意足智通作證。諸賢！我得無量如意足，謂分一為眾，合眾為一，一則住一，有知有見，不礙石壁，猶如行空，沒地如水，履水如地，結*加趺坐，上昇虛空，猶如鳥翔，今此日月有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，以手捫摸身至梵天。諸賢！我已得如是定心清淨，無穢無煩，柔軟善住，得不動心，學天耳智通作證。諸賢！我以天耳聞人、非人音聲，近遠、妙與不妙。」

[T1.553b14]「諸賢！我已[1]得如是定心清淨，無穢無煩，柔軟善住，得不動心，學他心智通作證。諸賢！我為他眾生所念、所思、所為、所行，以他心智知他心如真，有欲心知有欲心如真，無欲心知無欲心如真，有恚無恚、有癡無癡、有穢無穢、合散、高下、小大、修不修、定不定，不解脫心知不解脫心如真，解脫心知解脫心如真。」

[T1.553b21]「諸賢！我*已得如是定心清淨，無穢無煩，柔軟善住，得不動心學憶宿命智通作證。諸賢！有行有相貌，憶本無量昔所經歷，謂一生、二生、百生、千生、成劫、敗劫、無量成敗劫，彼眾生名某，彼昔更歷，我曾生彼，如是姓、如是字、如是生、如是飲食、如是受苦樂、如是長壽、如是久住、如是壽命訖，此死生彼，彼死生此，我生在此，如是姓、如是字、如是生、如是飲食、如是受苦樂、如是長壽、如是久住、如是壽命訖。」

[T1.553c01]「諸賢！我已得如是定心清淨，無穢無煩，柔軟善住，得不動心，學生死智通作證。諸賢！我以[2]清淨天眼出過於人，見此眾生死時生時，好色惡色，妙與不妙，往來善處及不善處，隨此眾生之所作業見其如真，若此眾生成就身惡行，口、意惡行，誹謗聖人，邪見，成就邪見業，彼因緣此，身壞命終，必至惡處，生地獄中，若此眾生成就身妙行，口、意妙行，不誹謗聖人，正見、成就正見業，彼因緣此，身壞命終，必昇善處，上生天中。」

[T1.553c11]「諸賢！我已得如是定心清淨，無穢無煩，柔軟善住，得不動心，學漏盡智通作證。諸賢！我知此苦如真，知此苦習[3]、知此苦滅、知此苦滅道如真，知此漏、知此漏*習、知此漏滅、知此漏滅道如真，彼如是知、如是見，欲漏心解脫，有漏、無明漏心解脫，解脫已，便知解脫，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。」

---

[1] 已＝以【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 以＝已【宋】【元】【明】
[3] 習＝集【元】【明】＊

[T1.553c18]「諸賢！若有比丘犯戒、破戒、缺戒、穿戒、穢戒、黑戒者，欲依戒立戒，以戒為梯，昇無上慧堂正法閣者，終無是處。諸賢！猶去村不遠，有樓觀堂閣，其中安梯或施十隥[1]，或十二*隥。若有人來，求願欲得昇彼堂閣，若不登此梯第一*隥上，欲登第二*隥者，終無是處，若不登第二*隥，欲登第三、四，至昇堂閣者，終無是處。諸賢！如是若有比丘犯戒、破戒、缺戒、穿戒、穢戒、黑戒者，欲依戒立戒，以戒為梯，昇無上慧堂正法閣者，終無是處。」

[T1.553c28]「諸賢！若有比丘不犯戒、破戒、缺戒、穿戒、穢戒、黑戒者，欲依戒立戒，以戒為梯，昇無上慧堂正法閣者，必有是處。諸賢！猶去村不遠，有樓觀堂閣，其中安梯或施十*隥，或十二*隥。若有人來，求願欲得昇彼堂閣，若登此梯第一*隥上，欲登第二*隥者，必有是處，若登第二*隥，欲登第三、四，至昇堂閣者，必有是處。諸賢！如是若有比丘不犯戒、破戒、缺戒、穿戒、穢戒、黑戒者，欲依戒立戒，以戒為梯，昇無上慧堂正法閣者，必有是處。」

[T1.554a09]「諸賢！我依戒立戒，以戒為梯，昇無上慧堂正法之閣，以小方便觀千世界。諸賢！猶有目人住高樓上，以小方便觀下露地，見千土塹[2]。諸賢！我亦如是，依戒立戒，以戒為梯，昇無上慧堂正法之閣，以小方便觀千世界。諸賢！若王大象，或有七寶，或復減八，以多羅葉覆之，如我覆藏於此六通。」

[T1.554a16]「諸賢！若於我如意足智通作證有疑惑者，彼應問我，我當答之。諸賢！若於我天耳智通作證有疑惑者，彼應問我，我當答之。諸賢！若於我他心智通作證有疑惑者，彼應問我，我當答之。諸賢！若於我宿命智通作證有疑惑者，彼應問我，我當答之。諸賢！若於我生死智通作證有疑惑者，彼應問我，我當答之。諸賢！若於我漏盡智通作證有疑惑者，彼應問我，我當答之。」

[T1.554a25] 於是，尊者阿難白曰：「尊者阿那律陀，今娑羅邏[3]巖山集坐八百比丘及世尊在中，為尊者阿那律陀作衣，若於尊者阿那律陀如意足智通作證有疑惑者，彼當問之，尊者阿那律陀答，若於尊者阿那律陀天耳智通作證有疑惑者，彼當問之，尊者阿那律陀答，若於尊者阿那律陀他心智通作證有疑惑者，彼當問之，尊者阿那律陀答，若於尊者阿那律陀宿命智通作證有疑惑者，彼當問之，尊者阿那律陀答，若於尊者阿那律陀生死智通作證有疑惑者，彼當問之，尊者阿那律陀答，若於尊者阿那律陀漏盡智通作證有疑惑者，彼當問之，尊者阿那律陀答，但我等長夜以心識尊者阿那律陀心，如尊者阿那律陀，有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神。」

---

[1] 隥＝橙【宋】＊
[2] 塹＝墩【宋】【元】【明】
[3] 邏＝羅【宋】【元】

[T1.554b12] 於是，世尊所患已差[1]而得安隱，即時便起，結*加趺坐，世尊坐已，歎尊者阿那律陀曰：「 善哉！善哉！阿那律陀，極善，阿那律陀，謂汝為諸比丘說迦絺那法，阿那律陀，汝復為諸比丘說迦絺那法，阿那律陀，汝為諸比丘數數說迦絺那法。」

[T1.554b17] 於是，世尊告諸比丘：「比丘！汝等受迦絺那法，誦習迦絺那法，善持迦絺那法。所以者何？迦絺那法與法相應，為梵行本，致通致覺，亦致涅槃，若族姓子剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，應當至心受迦絺那法，善受善持迦絺那法。所以者何？我不見過去時諸比丘作如是衣，如阿那律陀比丘，不見未來、現在諸比丘作如是衣，如阿那律陀比丘。所以者何？謂今娑羅*邏巖山集坐八百比丘及世尊在中，為阿那律陀比丘作衣，如是阿那律陀比丘，有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神。」

[T1.554b29] 佛說如是，尊者阿那律陀及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.554c02] 迦絺那[2]經第九竟[3](三千七百八十字)[4]。

中阿含經卷第十九(一萬四百六十九字)[5](第二小土城誦)[6]

中阿含經

卷第二十 (Ma.81-83)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（八一）中阿含[7]長壽王品

---

[1] 差＝除【宋】【元】【明】
[2] 那＋（衣）【宋】【元】
[3]〔迦…竟〕－【明】
[4]〔三…字〕－【宋】【元】【明】
[5]〔一…字〕－【宋】【元】【明】
[6]〔第二小土城誦〕－【宋】【元】【明】
[7]〔中阿含〕－【宋】【元】【明】

(Ma.81)念身經[1] 第十(第二小土城誦)[2]

[T1.554c12] 我聞如是。

[T1.554c12] 一時，佛遊鴦祇國中，與大比丘眾俱，往詣阿恕[3]那揵尼住處。

[T1.554c13] 爾時，世尊過夜平旦，著衣持鉢，入阿恕那而行乞食，食訖，中後收舉衣鉢，澡洗手足，以尼師檀[4]著於肩上，往詣一林，入彼林中，至一樹下，敷尼師*檀，結跏趺坐。

[T1.554c17] 爾時，眾多比丘於中食後，集坐講堂，共論此事。諸賢！世尊甚奇，甚特，修習念身，分別廣布，極知極觀，極修習，極護治，善具善行，在一心中，佛說念身有大果報，得眼、有目見第一義。

[T1.554c21] 爾時，世尊在於宴[5]坐，以淨天耳出過於人，聞諸比丘於中食後，集坐講堂，共論此事。諸賢！世尊甚奇，甚特，修習念身，分別廣布，極知極觀，極修習，極護治，善具善行，在一心中，佛說念身有大果報，得眼、有目見第一義，世尊聞已，則於晡時從*宴坐起，往詣講堂比丘眾前，敷座而坐。

[T1.554c28] 爾時世尊告諸比丘：「汝等向共論何事耶？以何事故集坐講堂？」

[T1.554c29] 時，諸比丘白曰：「世尊！我等諸比丘於中食後，集坐講堂，共論此事。諸賢！世尊甚奇，甚特，修習念身，分別廣布，極知極觀，極修習，極護治，善具善行，在一心中，佛說念身有大果報，得眼、有目見第一義。世尊！我等向共論如此事，以此事故，集坐講堂。」

[T1.555a06] 世尊復告諸比丘曰：「云何我說修習念身，分別廣布，得大果報。」

[T1.555a07] 時，諸比丘白世尊曰：「世尊為法本，世尊為法主，法由世尊！惟[6]願說之，我等聞已，得廣知義。」

[T1.555a09] 佛便告曰：「汝等諦聽，善思念之，我當為汝分別其義。」時，諸比丘受教而聽。

---

[1] ～M. 119. Kāyagatāsati sutta. (身行念經)
[2] 〔第二小土城誦〕－【宋】
[3] 恕＝和【宋】【元】【明】
[4] 檀＝壇【宋】＊【元】＊【明】＊
[5] 宴＝燕【宋】＊【元】＊【明】＊
[6] 惟＝唯【宋】【元】【明】

[T1.555a11] 佛言：「云何比丘修習念身，比丘者，行則知行，住則知住，坐則知坐，臥則知臥，眠則知眠，寤[1]則知*寤，眠*寤則知眠*寤，如是比丘隨其身行，便知上如真，彼若如是在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，斷心諸患而得定心，得定心已，則知上如真，是謂比丘修習念身。」

[T1.555a17]「復次，比丘修習念身，比丘者，正知出入，善觀分別，屈伸低仰，儀容庠序，善著僧伽梨[2]及諸衣鉢，行住坐臥、眠*寤語默皆正知之，如是比丘隨其身行便知上如真，彼若如是在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，斷心諸患而得定心，得定心已，則知上如真，是謂比丘修習念身。」

[T1.555a24]「復次，比丘修習念身，比丘者，生惡不善念，以善法念治斷滅止，猶木工師、木工弟子，彼持墨繩，用拼[3]於木，則以利斧斫治令直，如是比丘生惡不善念，以善法念治斷滅止，如是比丘隨其身行，便知上如真，彼若如是在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，斷心諸患而得定心，得定心已，則知上如真，是謂比丘修習念身。」

[T1.555b02]「復次，比丘修習念身，比丘者，齒齒相著，舌逼上[4]齶[5]，以心治心，治斷滅止，猶二力士捉一羸人，處處旋[6]捉，自在打鍛，如是比丘齒齒相著，舌逼上齶，以心治心，治斷滅止，如是比丘隨其身行，便知上如真，彼若如是在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，斷心諸患而得定心，得定心已，則知上如真，是謂比丘修習念身。」

[T1.555b10]「復次，比丘修習念身，比丘者，念入息即知念入息，念出息即知念出息，入息長即知入息長，出息長即知出息長，入息短即知入息短，出息短即知出息短，學一切身息入，學一切身息出，學止身行息入，學止口行息出，如是比丘隨其身行，便知上如真，彼若如是在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，斷心諸患而得定心，得定心已，則知上如真，是謂比丘修習念身。」

[T1.555b18]「復次，比丘修習念身，比丘者，離生喜樂，漬身潤澤，普遍充滿於此身中，離生喜樂無處不遍，猶工浴人器盛澡豆，水和成摶，水漬潤澤，普遍充滿無處不周，如是比丘離生喜樂，漬身潤澤，普遍充滿於此身中，離生喜樂無處不遍，如是比丘隨其身行，便知上如真，彼若如是在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，斷心諸患而得定心，得定心已，則知上如真，是謂比丘修習念身。」

---

[1] 寤＝覺【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 梨＝黎【明】
[3] 拼＝絣【元】【明】
[4] 上＝二【元】
[5] 齶＝腭【宋】＊
[6] 旋＝執【宋】【元】【明】

[T1.555b27]「復次，比丘修習念身，比丘者，定生喜樂，漬身潤澤，普遍充滿於此身中，定生喜樂無處不遍，猶如山泉，極淨澄清，充滿盈流，四方水來，無緣得入，即彼泉底，水自涌出，盈流於外，漬山潤澤，普遍充滿無處不周，如是比丘定生喜樂，漬身潤澤，普遍充滿於此身中，定生喜樂無處不遍，如是比丘隨其身行，便知上如真，彼若如是在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，斷心諸患而得定心，得定心已，則知上如真，是謂比丘修習念身。」

[T1.555c07]「復次，比丘修習念身，比丘者，無喜生樂，漬身潤澤，普遍充滿於此身中，無喜生樂無處不遍，猶青蓮華，紅、赤、白蓮，水生水長，在於水底，根莖華葉，悉漬潤澤，普遍充滿無處不周，如是比丘無喜生樂，漬身潤澤，普遍充滿於此身中，無喜生樂無處不遍，如是比丘隨其身行，便知上如真，彼若如是在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，斷心諸患而得定心，得定心已，則知上如真，是謂比丘修習念身。」

[T1.555c17]「復次，比丘修習念身，比丘者，於此身中，以清淨心意解遍滿成就遊，於此身中，以清淨心無處不遍，猶有一人，被七肘衣或八肘衣，從頭至足，於此身體無處不覆，如是比丘於此身中，以清淨心意解遍滿成就遊，於此身中，以清淨心無處不遍，如是比丘隨其身行，便知上如真，彼若如是在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，斷心諸患而得定心，得定心已，則知上如真，是謂比丘修習念身。」

[T1.555c26]「復次，比丘修習念身，比丘者，念光明想，善受善持，善意所念，如前後亦然，如後前亦然，如晝夜亦然，如夜晝亦然，如下上[1]亦然，如上下[2]亦然，如是不顛倒，心無有纏，修光明心，心終不為闇之所覆，如是比丘隨其身行，便知上如真，彼若如是在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，斷心諸患而得定心，得定心已，則知上如真，是謂比丘修習念身。」

[T1.556a05]「復次，比丘修習念身，比丘者，觀相善受、善持、善意所念，猶如有人，坐觀臥人，臥觀坐人，如是比丘觀相善受、善持、善意所念，如是比丘隨其身行，便知上如真，彼若如是在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，斷心諸患而得定心，得定心已，則知上如真，是謂比丘修習念身。」

[T1.556a11]「復次，比丘修習念身，比丘者，此身隨住，隨其好惡，從頭至足，觀見種種不淨充滿，謂此身中有髮、毛、爪、齒、麁細[3]薄膚、皮、肉、筋、骨、心、腎、肝、肺、大腸、小腸、脾、胃、摶[4]糞、腦及腦根、淚、汗、涕、

---

[1] 下上＝上下【宋】【元】【明】
[2] 上下＝下上【宋】【元】【明】
[3] 麁細＝塵網【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] [摶>摶]＝膴【宋】【明】，＝揣【元】＊

唾、膿、血、肪、髓、涎、膽[1]、小便，猶以器盛若干種子，有目之士，悉見分明，謂稻、粟種、大麥、小麥、大小麻豆、菘[2]菁芥子，如是比丘此身隨住，隨其好惡，從頭至足，觀見種種不淨充滿，謂此身中有髮、毛、爪、齒、*麁細薄膚、皮、肉、筋、骨、心、腎、肝、肺、大腸、小腸、脾、胃、*摶糞、腦及腦根、淚、汗、涕、唾、膿、血肪、髓、涎、*膽、小便，如是比丘隨其身行，便知上如真，彼若如是在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，斷心諸患而得定心，得定心已，則知上如真，是謂比丘修習念身。」

[T1.556a26]「復次，比丘修習念身，比丘者，觀身諸界，我此身中有地界、水界、火界、風界、空界、識界，猶如屠兒殺牛，剝皮布於地[3]上，分作六段，如是比丘觀身諸界，我此身中，地界、水界、火界、風界、空界、識界，如是比丘隨其身行，便知上如真，彼若如是在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，斷心諸患而得定心，得定心已，則知上如真，是謂比丘修習念身。」

[T1.556b04]「復次，比丘修習念身，比丘者，觀彼死屍，或一、二日，至六、七日，烏鵄所啄，犲狗所食，火燒埋地，悉腐爛壞，見已自比，今我此身亦復如是，俱有此法，終不得離，如是比丘隨其身行，便知上如真，彼若如是在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，斷心諸患而得定心，得定心已，則知上如真，是謂比丘修習念身。」

[T1.556b11]「復次，比丘修習念身，比丘者，如本見息道骸骨青色，腐爛食半，骨鎖在地，見已自比，今我此身亦復如是，俱有此法，終不得離，如是比丘隨其身行，便知上如真，彼若如是在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，斷心諸患而得定心，得定心已，則知上如真，是謂比丘修習念身。」

[T1.556b18]「復次，比丘修習念身，比丘者，如本見息道離皮肉血，唯筋相連，見已自比，今我此身亦復如是，俱有此法，終不得離，如是比丘隨其身行，便知上如真，彼若如是在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，斷心諸患而得定心，得定心已，則知上如真，是謂比丘修習念身。」

[T1.556b24]「復次，比丘修習念身，比丘者，如本見息道骨節解散，散在諸方，足骨、膊[4]骨、髀骨、髖骨、脊骨、肩骨、頸骨、髑髏骨，各在異處，見已自比，今我此身亦復如是，俱有此法，終不得離，如是比丘隨其身行，便知上如真，彼若如是在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，斷心諸患而得定心，得定心已，則知上如真，是謂比丘修習念身。」

---

[1] 膽＝痰【元】【明】＊
[2] 菘＝蔓【宋】【元】【明】
[3] 於地＝地於【宋】【元】【明】
[4] 膊＝踹【元】【明】

[T1.556c02]「復次，比丘修習念身，比丘者，如本見息道骨白如螺，青猶鴿色，赤若血塗，腐壞碎末，見已自比，今我此身亦復如是，俱有此法，終不得離，如是比丘隨其身行，便知上如真，彼若如是在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，斷心諸患而得定心，得定心已，則知上如真，是謂比丘修習念身。」

[T1.556c09]「若有如是修習念身、如是廣布者，彼諸善法盡在其中，謂道品法也。若彼有心意解遍滿，猶如大海，彼諸小河盡在海中。若有如是修習念身、如是廣布者，彼諸善法盡在其中，謂道品法也。」

[T1.556c13]「若有沙門、梵志不正立念身、遊行少心者，彼為魔波旬伺求其便，必能得也。所以者何？彼沙門、梵志空無念身故，猶如有瓶，中空無水，正安著地，若人持水來瀉瓶中，於比丘意云何，彼瓶如是當受水不？」

[T1.556c18] 比丘答曰：「受也。世尊！」

[T1.556c19]「所以者何？彼空無水，正安著地。是故必受，如是若有沙門、梵志不正立念身、遊行少心者，彼為魔波旬伺求其便，必能得也。所以者何？彼沙門、梵志空無念身故。」

[T1.556c23]「若有沙門、梵志正立念身、遊行無量心者，彼為魔波旬伺求其便，終不能得。所以者何？彼沙門、梵志不空有念身故，猶如有瓶，水滿其中，正安著地，若人持水來瀉[1]瓶中，於比丘意云何，彼瓶如是復受水不？」

[T1.556c27] 比丘答曰：「不也。世尊！所以者何？彼瓶水滿，正安著地。是故不受，如是若有沙門、梵志，有正立念身、遊行無量心者，彼為魔波旬伺求其便，終不能得。所以者何？彼沙門、梵志不空有念身故。」

[T1.557a03]「若有沙門、梵志不正立念身、遊行少心者，彼為魔波旬伺求其便，必能得也。所以者何？彼沙門、梵志空無念身故，猶如力士，以大重石擲淖泥中，於比丘意云何，泥為受不？」

[T1.557a07] 比丘答曰：「受也。世尊！」

[T1.557a07]「所以者何？泥淖石重。是故必受，如是若有沙門、梵志不正立念身、遊行少心者，彼為魔波旬伺求其便，必能得也。所以者何？彼沙門、梵志空無念身故。」

[1] 瀉＝寫【宋】【元】

[T1.557a11]「若有沙門、梵志正立念身、遊行無量心者，彼為魔波旬伺求其便，終不能得。所以者何？彼沙門、梵志不空有念身故，猶如力士，以輕毛毳擲平戶扇，於比丘意云何，彼為受不　？」

[T1.557a15] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.557a16]「所以者何？毛毳輕闡[1]，戶扇平立。是故不受，如是若有沙門、梵志正立念身、遊行無量心者，彼為魔波旬伺求其便，終不能得。所以者何？彼沙門、梵志不空有念身故。」

[T1.557a19]「若有沙門、梵志不正立念身、遊行少心者，彼為魔波旬伺求其便，必能得也。所以者何？彼沙門、梵志空無念身故，猶人求火，以槁木為母，以燥鑽鑽，於比丘意云何，彼人如是，為得火不？」

[T1.557a24] 比丘答曰：「得也。世尊！」

[T1.557a24]「所以者何？彼以燥鑽鑽於槁木。是故必得，如是若有沙門、梵志不正立念身、遊行少心者，彼為魔波旬伺求其便，必能得也。所以者何？彼沙門、梵志空無念身故。」

[T1.557a28]「若有沙門、梵志正立念身、遊行無量心者，彼為魔波旬伺求其便，終不能得。所以者何？彼沙門、梵志不空有念身故，猶人求火，以濕木為母，以濕鑽鑽，於比丘意云何，彼人如是，為得火不？」

[T1.557b04] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.557b04]「所以者何？彼以濕鑽鑽於濕木。是故不得，如是若有沙門、梵志正立念身、遊行無量心者，彼為魔波旬伺求其便，終不能得。所以者何？彼沙門、梵志不空有念身故。」

[T1.557b08]「如是修習念身、如是廣布者，當知有十八德。云何十八，比丘者，能忍飢渴、寒熱、蚊虻、蠅蚤、風日所逼，惡聲、捶杖亦能忍之，身遇諸疾，極為苦痛，至命欲絕，諸不可樂，皆能堪耐，如是修習念身，如是廣布者，是謂第一德。復次，比丘堪耐不樂，若生不樂，心終不著，如是修習念身、如是廣布者，是謂第二德。復次，比丘堪耐恐怖，若生恐怖，心終不著，如是修習念身、如是廣布者，是謂第三德。」

[1] 闡＝搏【宋】【元】【明】

[T1.557b17]「復次，比丘生三惡念欲念、恚念、害念，若生三惡念，心終不著，如是修習念身、如是廣布者，是謂第四五六七[1]德。復次，比丘離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊，如是修習念身、如是廣布者，是謂[2]第八德。」

[T1.557b22]「復次，比丘三結已盡，得須陀洹，不墮惡法，定趣正覺，極受七有，天上人間一[3]往來已而得苦際，如是修習念身、如是廣布者，是謂第九德。復次，比丘三結已盡，婬怒癡薄，得一往來天上人間，一往來已而得苦際，如是修習念身、如是廣布者，是謂第十德。復次，比丘五下分結盡，生於彼間，便般涅槃，得不退法，不還此世，如是修習念身、如是廣布者，是謂第十一德。」

[T1.557c02]「復次，比丘若有息解脫，離色得無色，如其像定身作證成就遊，而以慧觀知漏、斷漏，如是修習念身、如是廣布者，是謂第十二十三十四十五十六十七[4]德。」

[T1.557c05]「復次，比丘如意足、天耳、他心智、宿命智、生死智，諸漏已盡，得無漏心解脫、慧解脫，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，如是修習念身、如是廣布者，是謂[5]第十八德，如是修習念身、如是廣布者，當知有此十八功德。」

[T1.557c11] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.557c13] 念身經第十竟[6](四千二百二十五字)[7]，

[T1.557c14] 十八[8]德內關六七八并十三至十七者應在第五第十八德內也。南本結在第四第十二中理猶難曉，

（八二）中阿含[9]長壽王品

---

[1]〔五六七〕－【明】
[2] 謂＋（第五至）【明】
[3] 一＝七【宋】【元】【明】
[4]〔十三…七〕－【明】
[5] 謂＋（第十三至）【明】
[6]〔念…竟〕－【明】
[7]〔四千二百二十五字〕[>－【宋】【元】【明】]
[8]〔十八…曉〕－【宋】【元】【明】
[9]〔中阿含〕－【明】

(Ma.82)支離彌梨經[1] 第十一(第二小土城誦)[2]

[T1.557c19] 我聞如是。

[T1.557c19] 一時，佛遊王舍城，在竹林加蘭哆園，

[T1.557c20] 爾時，眾多比丘於中食後少有所為，集坐講堂，欲斷諍事，謂論此法、律，此佛之教，彼時，質多羅象子[3]比丘亦在眾中。於是，質多羅象子比丘，眾多比丘論此法、律，此佛教時，於其中間競有所說，不待諸比丘說法訖竟，又不以恭敬、不以善觀問諸上尊長老比丘。

[T1.557c26] 是時，尊者大拘絺羅[4]在彼眾中。於是，尊者大拘絺羅告質多羅象子比丘曰：「賢者，當知眾多比丘說此法、律，此佛教時，汝莫於中競有所說，若諸比丘所說訖已，然後可說，汝當以恭敬、當以善觀問諸上尊長老比丘，莫不恭敬、莫不善觀問諸上尊長老比丘。」

[T1.558a03] 爾時，質多羅象子比丘諸親朋友悉在眾中。於是，質多羅象子比丘諸親朋友語尊者大拘絺羅曰：「賢者大拘絺羅，汝莫大責數質多羅象子比丘。所以者何？質多羅象子比丘戒德多聞，似如懈怠，然不貢高，賢者大拘絺羅，質多羅象子比丘，諸比丘隨所為時而能佐助。」

[T1.558a09] 於是，尊者大拘絺羅語質多羅象子比丘諸親朋友曰：「諸賢！不知他心者，不得妄說稱不稱。所以者何？或有一人在世尊前時，及諸上尊長老梵行可慙可愧、可愛可敬前，彼便善守善護，若於後時離世尊前，及離諸上尊長老梵行可慙可愧、可愛可敬前，彼便數與白衣共會，調笑貢高，種種談譁，彼數與白衣共會，調笑貢高，種種談譁已，心便生欲，彼心生欲已，便身熱心熱，彼身心熱已，便捨戒罷道。諸賢！猶若如牛，入他田中，守田人捉，或以繩繫，或著欄中，諸賢。若有作是說，此牛不復入他田中，如是彼為正說耶？」

[T1.558a21] 答曰：「不也。」

[T1.558a22]「所以者何？謂彼牛者，為繩所繫，或斷或解，為欄所遮，或破或跳出，復入他田，如前無異。諸賢！或有一人在世尊前時，及諸上尊長老梵行可慙可愧、可愛可敬前，彼便善守善護，若於後時離世尊前，及離諸梵行可慙可愧、可愛可敬前，彼便數與白衣共會，調笑貢高，種種談譁，彼數與白衣共

---

[1] ～《增支部》A.6.60. Citta(質多〔比丘〕)
[2] 〔第二小土城誦〕－【明】，第二小土城誦六字在經題次行【宋】【元】
[3] [>質多羅象子]～Citta Hatthisāriputta.
[4] [>大拘絺羅]～Mahā-koṭṭhita.

會，調笑貢高，種種談譁已，心便生欲，彼心生欲已，便身熱心熱，彼身心熱已，便捨戒罷道。諸賢！是謂有一人。」

[T1.558b02]「復次。諸賢！或有一人逮得初禪，彼得初禪已，便自安住，不復更求未得欲得、不獲欲獲、不作證欲作證，彼於後時，便數與白衣共會，調笑貢高，種種談譁，彼數與白衣共會，調笑貢高，種種談譁已，心便生欲，彼心生欲已，便身熱心熱，彼身心熱已，便捨戒罷道。諸賢！猶大雨時，村間湖池水滿其中，彼若本時所見沙石、草木、甲蟲、魚鼈、蝦蟆及諸水性，去時來時，走時住時，後水滿已，盡不復見，諸賢。若有作是說，彼湖池中終不復見沙石、草木、甲蟲、魚鼈、蝦蟆及諸水性，去時來時，走時住時，如是彼為正說耶？」

[T1.558b14] 答曰：「不也。」

[T1.558b14]「所以者何？彼湖池水，或象飲馬飲，駱駝、牛、驢、猪、鹿、水牛飲，或人取用，風吹日炙，彼若本時不見沙石、草木、甲蟲、魚鼈、蝦蟆及諸水性，去時來時，走時住時，後水減已，還見如故。如是，賢者，或有一人逮得初禪，彼得初禪已，便自安住，不復更求未得欲得、不獲欲獲、不作證欲作證，彼於後時，便數與白衣共會，調笑貢高，種種談譁，彼數與白衣共會，調笑貢高，種種談譁已，心便生欲，彼心生欲已，便身熱心熱，彼身心熱已，便捨戒罷道。諸賢！是謂有一人。」

[T1.558b24]「復次。諸賢！或有一人得第二禪，彼得第二禪已，便自安住，不復更求未得欲得、不獲欲獲、不作證欲作證，彼於後時，便數與白衣共會，調笑貢高，種種談譁，彼數與白衣共會，調笑貢高，種種談譁已，心便生欲，彼心生欲已，便身熱心熱，彼身心熱已，便捨戒罷道。諸賢！猶大雨時，四衢道中塵滅[1]作泥，諸賢。若有作是說，此四衢道泥終不燥，不復作塵，如是彼為正說耶？」

[T1.558c04] 答曰：「不也。」

[T1.558c05]「所以者何？此四衢道，或象行馬行，駱駝、牛、驢、猪、鹿、水牛及人民行，風吹日炙，彼四衢道泥乾燥已，還復作塵。如是。諸賢！或有一人得第二禪，彼得第二禪已，便自安住，不復更求未得欲得、不獲欲獲、不作證欲作證，彼於後時，便數與白衣共會，調笑貢高，種種談譁，彼數與白衣共會，調笑貢高，種種談譁已，心便生欲，彼心生欲已，便身熱心熱，彼身心熱已，便捨戒罷道。諸賢！是謂有一人。」

[1] 滅＝咸【元】【明】

[T1.558c14]「復次。諸賢！或有一人得第三禪，彼得第三禪已，便自安住，不復更求未得欲得、不獲欲獲、不作證欲作證，彼於後時，便數與白衣共會，調笑貢高，種種談譁，彼數與白衣共會，調笑貢高，種種談譁已，心便生欲，彼心生欲已，便身熱心熱，彼身心熱已，便捨戒罷道。諸賢！猶山泉湖水，澄清平岸，定不動搖，亦無波浪，諸賢。若有作是說，彼山泉湖水終不復動，亦無波浪，如是彼為正說耶？」

[T1.558c23] 答曰：「不也。」

[T1.558c23]「所以者何？或於東方大風卒來，吹彼湖水，動涌波浪，如是南方、西方、北方大風卒來，吹彼湖水，動涌波浪。如是。諸賢！或有一人得第三禪，彼得第三禪已，便自安住，不復更求未得欲得、不獲欲獲、不作證欲作證，彼於後時，便數與白衣共會，調笑貢高，種種談譁，彼數與白衣共會，調笑貢高，種種談譁已，心便生欲，彼心生欲已，便身熱心熱，彼身心熱[1]已，便捨戒罷道。諸賢！是謂有一人。」

[T1.559a03]「復次。諸賢！或有一人得第四禪，彼得第四禪已，便自安住，不復更求未得欲得、不獲欲獲、不作證欲作證，彼於後時，便數與白衣共會，調笑貢高，種種談譁，彼數與白衣共會，調笑貢高，種種談譁已，心便生欲，彼心生欲已，便身熱心熱，彼身心熱已，便捨戒罷道。諸賢！猶如居士、居士子，食微妙食，充足飽滿已，本欲食者，則不復欲，諸賢。若有作是說，彼居士、居士子，終不復欲得食，如是彼為正說耶？」

[T1.559a12] 答曰：「不也。」

[T1.559a13]「所以者何？彼居士、居士子，過夜飢已，彼若本所不用食者，還復欲得。如是。諸賢！或有一人得第四禪，彼得第四禪已，便自安住，不復更求未得欲得、不獲欲獲、不作證欲作證，彼於後時，便數與白衣共會，調笑貢高，種種談譁，彼數與白衣共會，調笑貢高，種種談譁已，心便生欲，彼心生欲已，便身熱心熱，彼身心熱已，便捨戒罷道。諸賢！是謂有一人。」

[T1.559a21]「復次。諸賢！或有一人得無[2]想[3]心定，彼得無*想心定已，便自安住，不復更求未得欲得、不獲欲獲、不作證欲作證，彼於後時，便數與白衣共會，調笑[高貢>貢高]，種種談譁，彼數與白衣共會，調笑貢高，種種談譁已，心便生欲，彼心生欲已，便身熱心熱，彼身心熱已，便捨戒罷道。諸賢！猶如一無事處，聞支離彌梨[4]蟲聲，彼無事處，或王或王大臣夜止宿，彼象聲、馬

---

[1] （熱）＋心【宋】【元】【明】
[2] 無想心定～Animitta samādhi.
[3] 想＝相【宋】＊
[4] [>支離彌梨]～Giriḷikā.

聲、車聲、步聲、螺聲、鼓聲、細腰鼓聲、妓鼓聲、舞聲、歌聲、琴聲、飲食聲，彼若本聞支離彌梨蟲聲便不復聞，諸賢。若有作是說，彼無事處，終不復聞支離彌梨蟲聲，如是彼為正說耶？」

[T1.559b04] 答曰：「不也。」

[T1.559b04]「所以者何？彼王及王大臣過夜平旦，各自還歸，彼若聞象聲、馬聲、車聲、步聲、螺聲、鼓聲、細腰鼓聲、妓鼓聲、舞聲、歌聲、瑟[1]聲、飲食聲故，不聞支離彌梨蟲聲，彼既去已，還聞如故。如是。諸賢！得無*想心定，得無*想心定已，便自安住、不復更求未得欲得、不獲欲獲、不作證欲作證，彼於後時，便數與白衣共會，調笑貢高，種種談譁，彼數與白衣共會，調笑貢高，種種談譁已，便心生欲，心生欲已，便身熱心熱，彼身心熱已，便捨戒罷道。諸賢！是謂有一人。」

[T1.559b15] 爾時，質多羅象子比丘尋於其後捨戒罷道，質多羅象子比丘諸親朋友聞質多羅象子比丘捨戒罷道已，往詣尊者大拘絺羅所，到已，白曰：「尊者大拘絺羅，為知質多羅象子比丘心，為因餘事知。所以者何？今質多羅象子比丘已捨戒罷道。」

[T1.559b20] 尊者大拘絺羅告彼親朋友曰：「諸賢！此事正應爾。所以者何？以不知如真，不見如真。所以者何？因不知如真，不見如真故。」

[T1.559b23] 尊者大拘絺羅所說如是，彼諸比丘聞尊者大拘絺羅所說，歡喜奉行。

[T1.559b26] 支離彌梨經第十一竟[2](二千四百四十七字)[3]，

（八三）中阿含[4]長壽王品

(Ma.83)長老上尊睡眠經[5] 第十二(第二小土城誦)[6]

[T1.559b29] 我聞如是。

---

[1] 瑟＝琴【宋】【元】【明】
[2]〔支…竟〕－【明】
[3]〔二…字〕－【宋】【元】【明】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～《增支部》A.7.58. Pacala (first part) (睡眠)，No.47.《佛說離睡經》(大正 1.837a)，《長老偈》(Thag. 1146～1149.)
[6]〔第二小土城誦〕－【明】，第二小土城誦六字在經題次行【宋】【元】

[T1.559b29] 一時，佛遊婆耆瘦，[1]在鼉山怖林鹿野園[2]中。

[T1.559c01] 爾時，尊者大目揵連遊[摩竭國[3]，在善知識村[4]中。於是，尊者大目揵連獨安靜處宴坐思惟而便睡眠，世尊遙知尊者大目揵連獨安靜處宴坐思惟而便睡眠，世尊知已，即入如其像定，以如其像定，猶若力士屈申[5]臂頃，從婆耆瘦鼉山怖林鹿野園中忽沒不現，往[6]摩竭國善知識村尊者大目揵連前。於是，世尊從定而寤[7]，告曰：「大目揵連，汝著睡眠，大目揵連，汝著睡眠。」

[T1.559c10] 尊者大目揵連白世尊曰：「唯然。世尊！」

[T1.559c10] 佛復告曰：「大目揵連，如所相著睡眠，汝莫修彼相，亦莫廣布，如是睡眠便可得滅，若汝睡眠故不滅者，大目揵連，當隨本所聞法，隨而受持廣布誦習，如是睡眠便可得滅，若汝睡眠故不滅者，大目揵連，當隨本所聞法，隨而受持為他廣說，如是睡眠便可得滅，若汝睡眠故[8]不滅者，大目揵連，當隨本所聞法，隨而受持、心念、心思，如是睡眠便可得滅，若汝睡眠故不滅者，大目揵連，當以兩手捫摸於耳，如是睡眠便可得滅。」

[T1.559c21]「若汝睡眠故不滅者，大目揵連，當以冷水澡洗面目及灑身體，如是睡眠便可得滅，若汝睡眠故不滅者，大目揵連，當從室出，外觀四方，瞻視星宿，如是睡眠便可[室>得]滅，若汝睡眠故不滅者，大目揵連，當從室出，而至屋頭，露地經行，守護諸根，心安在內，於後前想，如是睡眠便可得滅，若汝睡眠故不滅者，大目揵連，當捨經行道，至經行道頭，敷尼師檀[9]，結跏趺坐，如是睡眠便可得滅，若汝睡眠故不滅者，大目揵連，當還入室，四疊優多羅僧以敷床上，襞僧伽梨作枕，右脇而臥，足足相累，心作明想，立正念正智，常欲起想。」

[T1.560a04]「大目揵連，莫計床樂眠臥安快，莫貪財利，莫著名譽。所以者何？我說一切法不可與會，亦說與會，大目揵連，我說何法不可與會，大目揵連，若道俗法共合會者，我說此法不可與會，大目揵連，若道俗法共合會者，便多有所說，若多有所說者，則便有調。若有調者，便心不息，大目揵連，若心不息者，便心離定，大目揵連。是故我說不可與會，大目揵連，我說何法可與共會，大目揵連，彼無事處，我說此法可與共會，山林樹下空安靜處，高巖石室

---

[1] [>婆耆瘦]～Bhaggesu.
[2] [>鼉山怖林鹿野園]～Sumsumā-ragira Bhesakaḷāvana-migadāya.
[3] [>摩竭國]～Magadha.
[4] 善知識村～Kallavālamutta-gāma.
[5] 申＝伸【明】
[6] 往＝住【宋】【元】【明】
[7] 寤＝覺【宋】【元】【明】
[8]〔故〕－【宋】
[9] 檀＝壇【宋】【元】【明】

寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順宴坐，大目揵連，我說此法可與共會。」

[T1.560a16]「大目揵連，汝若入村行乞食者，當以厭利，厭供養、恭敬，汝若於利、供養、恭敬心作厭已，便入村乞食，大目揵連，莫以高大意入村乞食，所以者何[1]，諸[2]長者家有如是事，比丘來乞食，令長者不作意，比丘便作是念：誰壞我長者家。所以者何？我入長者家，長者不作意，因是生憂，因憂生調，因調生心不息，因心不息，心便離定，大目揵連，汝說法時莫以諍說，若諍說者，便多有所說，因多說故，則便生調，因生調故，便心不息，因心不息故，便心離定，大目揵連，汝說法時莫強，說法如師子！大[揵目>目揵]連，汝說法時，下意說法，捨力、滅力、破壞於力，當以不強，說法如師子！大目揵連，當學如是。」

[T1.560b01] 爾時，尊者大目揵連即從坐起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！云何比丘得至究竟，究竟白淨、究竟梵行、究竟梵行訖。」

[T1.560b04] 世尊告曰：「大目揵連，比丘若覺樂、覺苦、覺不苦不樂者，彼此覺觀無常、觀興衰、觀斷、觀無欲、觀滅、觀捨，彼此覺觀無常、觀興衰、觀斷、觀無欲、觀滅、觀捨已，不受此世，因不受世已，便不疲勞，因不疲勞已，便般涅槃，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，大目揵連，如是比丘得至究竟，究竟白淨、究竟梵行、究竟梵行訖。」

[T1.560b12] 佛說如是，尊者大目揵連聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.560b14] 長老上尊睡眠經第十二竟[3](千一百三十七字)[4]，

中阿含經卷第二十(七千八百九字)[5](第二小土城誦)[6]

中阿含經

[1] 何＋（或）【宋】【元】【明】
[2] 諸＝詣【元】【明】
[3]〔長…竟〕－【明】
[4]〔千…字〕－【宋】【元】【明】
[5]〔七…字〕－【宋】【元】【明】
[6]〔第二小土城誦〕－【宋】【元】【明】

卷第二十一 (Ma.84-86)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（八四）中阿含[1]長壽王品

(Ma.84)無刺經[2] 第十三(第二小土城誦)[3]

[T1.560b24] 我聞如是。

[T1.560b24] 一時，佛遊鞞舍離，在獼猴江邊高樓臺觀，此諸名德、長老上尊、大弟子等，謂遮羅[4]、優簸遮羅[5]、賢善、賢患、無患、耶舍上稱，如是[比>此]諸名德、長老上尊、大弟子等，亦遊鞞舍離獼猴江邊高樓臺觀，並皆近佛葉屋邊住。

[T1.560b29] 諸鞞舍離麗掣[6]聞世尊遊鞞舍離獼猴江邊高樓臺觀，便作是念：「我等寧可作大如意足，作王威德，高聲唱傳，出鞞舍離，往詣佛所供養禮事。」

[T1.560c03] 時，諸名德、長老上尊、大弟子等，聞諸鞞舍離麗掣作大如意足，作王威德，高聲唱傳，出鞞舍離，來詣佛所供養禮事，便作是念：「禪以聲為刺[7]，世尊亦說禪以聲為刺，我等寧可往詣牛角娑羅林[8]，在彼無亂，遠離獨住，閑居]靜[9]處，宴坐思惟。」於是，諸名德、長老上尊、大弟子等，往[10]詣牛角娑羅林，在彼無亂，遠離獨住，閑居*靜處，宴坐思惟。

[T1.560c11] 爾時，眾多鞞舍離麗掣作大如意足，作王威德，高聲唱傳，出鞞舍離，往詣佛所供養禮事，或有鞞舍離麗掣，稽首佛足，却坐一面，或有與佛共相問訊，却坐一面，或有叉手向佛，却坐一面，或有遙見佛已，默然而坐。

---

[1]〔中阿含〕－【宋】【元】【明】
[2] ～《增支部》A.10.72. Kaṇṭhaka.(刺)
[3]〔第二小土城誦〕－【明】，第二小土城誦六字在卷題下【宋】【元】
[4] [>遮羅]～Cāla.
[5] [>優簸遮羅]～Upocāla.
[6] [>麗掣]～Licchavī.
[7] [>刺]～Kanthaka.
[8] [>牛角娑羅林]～Gosiṅgasālavana.
[9] 靜＝靖【宋】＊【元】＊【明】＊
[10] （即便共）＋往【宋】【元】【明】

[T1.560c16] 彼時，眾多鞞舍離麗掣各坐已定，世尊為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，默然而住。於是，眾多鞞舍離麗掣，世尊為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即從坐[1]起，稽首佛足，繞三匝而去。

[T1.560c21] 鞞舍離麗掣去後不久。於是，世尊問諸比丘：「諸長老上尊、大弟子等為至何許。」

[T1.560c23] 諸比丘白曰：「世尊！諸長老上尊、大弟子等，聞諸鞞舍離麗掣作大如意足，作王威德，高聲唱傳，出鞞舍離，來詣佛所供養禮事，便作是念：禪以聲為刺，世尊亦說禪以聲為刺，我等寧可往詣牛角娑羅林，在彼無亂，遠離獨住，閑居*靜處，宴坐思惟。世尊！諸長老上尊、大弟子等共往詣彼。」

[T1.561a01] 於是，世尊聞已嘆曰：「 善哉！善哉！若長老上尊、大弟子等應如是說，禪以聲為刺，世尊亦說禪以聲為刺。所以者何？我實如是說，禪有刺，持戒者以犯戒為刺，護諸根者以嚴飾身為刺，修習惡露者以淨相為刺，修習慈心者以恚為刺，離酒者以飲酒為刺，梵行者以見女色為刺，入初禪者以聲為刺，入第二禪者以覺觀為刺，入第三禪者以喜為刺，入第四禪者以入息出息為刺，入空處者以色想為刺，入識處者以空處想為刺，入無所有處者以識處想為刺，入無想處者以無所有處想為刺，入想知滅定者以想知為刺。」

[T1.561a13]「復次，有三刺欲刺、恚刺、愚癡之刺，此三刺者，漏盡阿羅訶已斷、已知，拔絕根本，滅不復生，是為阿羅訶無刺、阿羅訶離刺、阿羅訶無刺離刺。」

[T1.561a17] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.561a19] 無刺經第十三竟[2](八百三十五字)[3]，

（八五）中阿含[4]長壽王品

[1] 坐＝座【宋】【元】【明】
[2]〔無…竟〕－【明】
[3]〔八…字〕－【宋】【元】【明】
[4]〔中阿含〕－【明】

(Ma.85)真人經[1] 第十四 (第二小土城誦)[2]

[T1.561a22] 我聞如是。

[T1.561a22] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.561a23] 爾時，世尊告諸比丘：「我今為汝說真人法及不真人法，諦聽，諦聽，善思念之。」

[T1.561a24] 時，諸比丘受教而聽。

[T1.561a25] 佛言：「云何不真人法，或有一人是豪貴族出家學道，餘者不然，彼因是豪貴族故，自貴賤他，是謂不真人法，真人法者作如是觀，我不因此是豪貴族故，斷婬、怒、癡，或有一人不是豪貴出家學道，彼行法如法，隨順於法，向法次法，彼因此故，得供養恭敬，如是趣向得真諦法者，不自貴、不賤他，是謂真人法。」

[T1.561b03]「復次，或有一人端正可愛，餘者不然，彼因端正可愛故，自貴賤他，是謂不真人法，真人法者作如是觀，我不因此端正可愛故，斷婬、怒、癡，或有一人不端正可愛，彼行法如法，隨順於法，向法次法，彼因此故，得供養恭敬，如是趣向得真諦法者，不自貴、不賤他，是謂真人法。」

[T1.561b10]「復次，或有一人才辯工談，餘者不然，彼因才辯工談故，自貴賤他，是謂不真人法，真人法者作如是觀，我不因此才辯工談故，斷婬、怒、癡，或有一人無才辯工談，彼行法如法，隨順於法，向法次法，彼因此故，得供養恭敬，如是趣向得真諦法者，不自貴、不賤他，是謂真人法。」

[T1.561b16]「復次，或有一人是長老，為王者所識及眾人所知，而有大福，餘者不然，彼因是長老，為王者所識及眾人所知，而有大福故，自貴賤他，是謂不真人法，真人法者作如是觀，我不因此是長老，為王者所識及眾人所知，而有大福故，斷婬、怒、癡，或有一人非是長老，不為王者所識及眾人所知，亦無大福，彼行法如法，隨順於法，向法次法，彼因此故，得供養恭敬，如是趣向得真諦法者，不自貴、不賤他，是謂真人法。」

[T1.561b26]「復次，或有一人誦經、持律、學阿毘曇，諳阿含[3]慕，多學經書，餘者不然，彼因諳阿*含慕，多學經書故，自貴賤他，是謂不真人法，真人法者

---

[1] ～《中部》M.113. Sappurisa sutta. (善士經)，No.48.《是法非法經》(大正 1.837c)

[2] 〔第二小土城誦〕－【明】

[3] 含＝鋡【宋】＊【元】＊【明】＊

作如是觀，我不因此諳阿*含慕，多學經書故，斷婬、怒、癡，或有一人不諳阿*含慕，亦不多學經書，彼行法如法，隨順於法，向法次法，彼因此故，得供養恭敬，如是趣向得真諦法者，不自貴、不賤他，是謂真人法。」

[T1.561c06]「復次，或有一人著糞掃衣，攝三法服，持不慢衣，餘者不然，彼因持不慢衣故，自貴賤他，是謂不真人法，真人法者作如是觀，我不因此持不慢衣故，斷婬、怒、癡，或有一人不持不慢衣，彼行法如法，隨順於法，向法次法，彼因此故，得供養恭敬，如是趣向得真諦法者，不自貴、不賤他，是謂真人法。」

[T1.561c13]「復次，或有一人常行乞食，飯齊五升，限七家食，或復一食，過中不飲漿，餘者不然，彼因過中不飲漿故，自貴賤他，是謂不真人法，真人法者作如是觀，我不因此過中不飲漿故，斷婬、怒、癡，或有一人不斷過中飲漿，彼行法如法，隨順於法，向法次法，彼因此故，得供養恭敬，如是趣向得真諦法者，不自貴、不賤他，是謂真人法。」

[T1.561c21]「復次，或有一人在無事處、山林樹下，或住高巖，或止露地，或處塜[1]間，或能知時，餘者不然，彼因此知時故，自貴賤他，是謂不真人法，真人法者作如是觀，我不因此知時故，斷婬、怒、癡，或有一人而不知時，彼行法如法，隨順於法，向法次法，彼因此故，得供養恭敬，如是趣向得真諦法者，不自貴、不賤他，是謂真人法。」

[T1.561c28]「復次，或有一人逮得初禪，彼因得初禪故，自貴賤他，是謂不真人法，真人法者作如是觀，初禪者，世尊說無量種。若有計者是謂愛[2]也。彼因此故，得供養恭敬，如是趣向得真諦法者，不自貴、不賤他，是謂真人法。」

[T1.562a04]「復次，或有一人得第二、第三、第四禪，得空處、識處、無所有處、非有想非無想處，餘者不然，彼因得非有想非無想處故，自貴賤他，是謂不真人法，真人法者作如是觀，非有想非無想處，世尊說無量種。若有計者是謂*愛也。彼因此故，得供養恭敬，如是趣向得真諦法者，不自貴、不賤他，是謂真人法。」

[T1.562a12]「諸比丘！是謂真人法、不真人法，汝等當知真人法、不真人法，知真人法、不真人法已，捨離不真人法，學真人法，汝等當學如是。」

[T1.562a15] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

豪貴、端正、談　　長老、誦諸經　　衣、食、無事、禪　　四無色在後

---

[1] 塜＝冢【宋】【元】【明】
[2] 愛＝受【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.562a18]真人經第十四竟[1](千二百九十三字)[2]，

（八六）中阿含[3]長壽王品

(Ma.86)說處經 第十五[4] (第二小土城誦)[5]

[T1.562a21] 我聞如是。

[T1.562a21] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.562a22] 爾時，尊者阿難則於晡時從宴坐起，將諸年少比丘往詣佛所，稽首佛足，却住一面，諸年少比丘亦稽首佛足，却坐一面，尊者阿難白曰：「世尊！此諸年少比丘我當云何教呵。云何訓誨。云何為彼而說法耶？」

[T1.562a27] 世尊告曰：「阿難！汝當為諸年少比丘說處[6]及教處，若為諸年少比丘說處及教處者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。」

[T1.562b01] 尊者阿難叉手向佛，白曰：「世尊！今正是時，善逝，今正是時，若世尊為諸年少比丘說處及教處者，我與諸年少比丘從世尊聞已，當善受持。」

[T1.562b04] 世尊告曰：「阿難！汝等諦聽，善思念之，我當為汝及諸年少比丘廣分別說，尊者阿難等受教而聽。」

[T1.562b07] 世尊告曰：「阿難！我本為汝說五盛陰，色盛陰，覺、想、行、識盛陰。阿難！此五盛陰，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此五盛陰者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。阿難！我本為汝說六內處[7]，眼處，耳、鼻、舌、身、意處。阿難！此六內處，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此六內處者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。阿難！我本為汝說六外處[8]，色處，聲、香、味、觸、法處。阿難！此六外處，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此六外處者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。」

---

[1]〔真人…竟〕－【明】
[2]〔千…字〕－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《中部》M. 148. Chachakka sutta. (六六經)，《雜阿含 304 經》(大正 2.86c)，《雜阿含 326~312 經》(大正 2.92c)
[5]〔第…誦〕－【明】
[6] [>處]～Āyatana.
[7] [>六內處]～Cha ajjhattikāni āyatanāni
[8] [>六外處]～Cha bāhirāni ā.

[T1.562b20]「阿難！我本為汝說六識身[1]，眼識，耳、鼻、舌、身、意識。阿難！此六識身，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此六識身者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。阿難！我本為汝說六更樂身[2]，眼更樂，耳、鼻、舌、身、意更樂。阿難！此六更樂身，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此六更樂身者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。阿難！我本為汝說六覺身[3]，眼覺，耳、鼻、舌、身、意覺。阿難！此六覺身，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此六覺身者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。」

[T1.562c04]「阿難！我本為汝說六想身，眼想，耳、鼻、舌、身、意想。阿難！此六想身，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此六想身者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。阿難！我本為汝說六思身，眼思，耳、鼻、舌、身、意思。阿難！此六思身，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此六思身者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。阿難！我本為汝說六愛身[4]，眼愛，耳、鼻、舌、身、意愛。阿難！此六愛身，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此六愛身者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。」

[T1.562c17]「阿難！我本為汝說六界，地界，水、火、風、空、識界。阿難！此六界，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此六界者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。」

[T1.562c22]「阿難！我本為汝說因緣起及因緣起所生法。若有此則有彼，若無此則無彼，若生此則生彼，若滅此則滅彼，緣無明行，緣行識，緣識名色，緣名色六處，緣六處更樂，緣更樂覺，緣覺愛，緣愛受，緣受有，緣有生，緣生老死，若無明滅則行滅，行滅則識滅，識滅則名色滅，名色滅則六處滅，六處滅則更樂滅，更樂滅則覺滅，覺滅則愛滅，愛滅則受滅，受滅則有滅，有滅則生滅，生滅則老死滅。阿難！此因緣起及因緣起所生法，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此因緣起及因緣起所生法者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。」

[T1.563a06]「阿難！我本為汝說四念處，觀身如身，觀覺、心、法如法。阿難！此四念處，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此四念處者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。阿難！我本為汝說四正斷，比丘者，已生惡不善法為斷故，起欲求方便行，精勤[5]舉心斷，未生惡不善法為

---

[1] [>六識身]～Cha viññāṇakāyā.
[2] [>六更樂身]～Cha phassakāyā.
[3] [>六覺身]～Cha vedanākāyā.
[4] [>六愛身]～Cha taṇhākāyā.
[5] 勤＝進【宋】＊【元】＊【明】＊

不生故，起欲求方便行，精*勤舉心斷，未生善法為生故，起欲求方便行，精勤舉心斷，已生善法為住故、不忘故、不退故、轉增多故、廣布故、滿具足故，起欲求方便行，精勤舉心斷。阿難！此四正斷，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此四正斷者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。」

[T1.563a20]「阿難！我本為汝說四如意足，比丘者，成就欲定燒諸行，修習如意足，依於無欲、依離、依滅，願至非品，如是精進定、心定，成就觀定燒諸行，修習如意足，依於無欲、依離、依滅，願至非品。阿難！此四如意足，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此四如意足者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。阿難！我本為汝說四禪，比丘者，離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊。阿難！此四禪，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此四禪者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。」

[T1.563b03]「阿難！我本為汝說四聖諦，苦聖諦，苦習[1]、苦滅、苦滅道聖諦。阿難！此四聖諦，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此四聖諦者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。阿難！我本為汝說四想，比丘者，有小想、有大想、有無量想、有無所有想。阿難！此四想，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此四想者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。阿難！我本為汝說四無量，比丘者，心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結、無怨、無恚、無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結、無怨、無恚、無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。阿難！此四無量，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此四無量者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。」

[T1.563b22]「阿難！我本為汝說四無色，比丘者，斷一切色想，乃至得非有想非無想處成就遊。阿難！此四無色，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此四無色者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。阿難！我本為汝說四聖種，比丘、比丘尼者，得麁素衣而知止足，非為衣故求滿其意，若未得衣，不憂悒，不啼泣，不搥胸，不癡惑，若得衣者，不染不著，不欲不貪，不觸不計，見災患知出要而用衣，如此事利不懈怠而正知者，是謂比丘、比丘尼正[2]住舊聖種，如是食、住處，欲斷樂斷，欲修樂修，彼因欲斷樂斷、欲修樂修故，不自貴、不賤他，如此事利不懈怠而正知者，是謂比丘、比丘尼*正住舊聖種。阿難！此四聖種，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此四聖種者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。」

---

[1] 習＝集【元】【明】
[2] 正＝止【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.563c11]「阿難！我本為汝說四沙門果，須陀洹、斯陀含、阿那含、最上阿羅漢果。阿難！此四沙門果，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此四沙門果者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。阿難！我本為汝說五熟解脫想，無常想、無常苦想、苦無我想、不淨惡露想、一切世間不可樂想。阿難！此五熟解脫想，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此五熟解脫想者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。」

[T1.563c22]「阿難！我本為汝說五解脫處，若比丘、比丘尼因此故，未解脫心得解脫，未盡諸漏得盡無餘，未得無上涅槃得無上涅槃。云何為五？阿難！世尊為比丘、比丘尼說法，諸智梵行者亦為比丘、比丘尼說法。阿難！若世尊為比丘、比丘尼說法，諸智梵行者亦為比丘、比丘尼說法，彼聞法已，便知法解義，彼因知法解義故，便得歡悅，因歡悅故，便得歡喜，因歡喜故，便得止身，因止身故，便得覺樂，因覺樂故，便得心定。阿難！比丘、比丘尼因心定故，便得見如實、知如真，因見如實、知如真故，便得厭，因厭故，便得無欲，因無欲故，便得解脫，因解脫故，便得知解脫，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。阿難！是謂第一解脫處，因此故，比丘、比丘尼未解脫心得解脫，未盡諸漏得盡無餘，未得無上涅槃得無上涅槃。」

[T1.564a10]「復次。阿難！世尊不為比丘、比丘尼說法，諸智梵行者亦不為比丘、比丘尼說法，但如本所聞、所誦習法而廣讀之，若不廣讀本所聞、所誦習法者，但隨本所聞、所誦習法為他廣說，若不為他廣說本所聞、所誦習法者，但隨本所聞、所誦習法心思惟分別，若心不思惟分別本所聞、所誦習法者，但善受持諸三昧相。阿難！若比丘、比丘尼善受持諸三昧相者，便知法解義，彼因知法解義故，便得歡悅，因歡悅故，便得歡喜，因歡喜故，便得止身，因止身故，便得覺樂，因覺樂故，便得心定。」

[T1.564a21]「阿難！比丘、比丘尼因心定故，便得見如實、知如真，因見如實、知如真故，便得厭，因厭故，便得無欲，因無欲故，便得解脫，因解脫故，便得知解脫，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。阿難！是謂第五解脫處，因此故，比丘、比丘尼未解脫心得解脫，未盡諸漏得盡無餘，未得無上涅槃得無上涅槃。阿難！此五解脫處，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此五解脫處者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。」

[T1.564b03]「阿難！我本為汝說五根，信根，精進、念、定、慧根。阿難！此五根，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此五根者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。阿難！我本為汝說五力，信力，精進、念、定、慧力。阿難！此五力，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此五力者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。」

[T1.564b11]「阿難！我本為汝說五出要界。云何為五？阿難！多聞聖弟子極重善觀欲，彼因極重善觀欲故，心便不向欲，不樂欲，不近欲，不信解欲，若欲心生，即時融消燋縮，轉還不得舒張，捨離不住欲，穢惡厭患欲。阿難！猶如雞毛及筋，持著火中，即時融消燋縮，轉還不得舒張。阿難！多聞聖弟子亦復如是極重善觀欲，彼因極重善觀欲故，心便不向欲，不樂欲，不近欲，不信解欲，若欲心生，即時融消燋縮，轉還不得舒張，捨離不住欲，穢惡厭患欲，觀無欲，心向無欲，樂無欲，近無欲，信解無欲，心無礙，心無濁，心得樂，能致樂，遠離一切欲及因欲生諸漏煩熱憂慼，解彼脫彼，復解脫彼，彼不復受此覺，謂覺因欲生，如是欲出要。阿難！是謂第一出要界。」

[T1.564b27]「復次。阿難！多聞聖弟子極重善觀恚，彼因極重善觀恚故，心便不向恚，不樂恚，不近恚，不信解恚，若恚心生，即時融消燋縮，轉還不得舒張，捨離不住恚，穢惡厭患恚。阿難！猶如雞毛及筋，持著火中，即時融消燋縮，轉還不得舒張。阿難！多聞聖弟子亦復如是極重善觀恚，彼因極重善觀恚故，心便不向恚，不樂恚，不近恚，不信解恚，若恚心生，即時融消燋縮，轉還不得舒張，捨離不住恚，穢惡厭患恚，觀無恚，心向無恚，樂無恚，近無恚，信解無恚，心無礙，心無濁，心得樂，能致樂，遠離一切恚，及因恚生諸漏煩熱憂慼，解彼脫彼，復解脫彼，彼不復受此覺，謂覺因恚生，如是恚出要。阿難！是謂第二出要界。」

[T1.564c12]「復次。阿難！多聞聖弟子極重善觀害，彼因極重善觀害故，心便不向害，不樂害，不近害，不信解害，若害心生，即時融消燋縮，轉還不得舒張，捨離不住害，穢惡厭患害。阿難！猶如鷄毛及筋，持著火中，即時融消燋縮，轉還不得舒張。阿難！多聞聖弟子亦復如是極重善觀害，彼因極重善觀害故，心便不向害，不樂害，不近害，不信解害，若害心生，即時融消燋縮，轉還不得舒張，捨離不住害，穢惡厭患害，觀無害，心向無害，樂無害，近無害，信解無害，心無礙，心無濁，心得樂，能致樂，遠離一切害及因害生諸漏煩熱憂慼，解彼脫彼，復解脫彼，彼不復受此覺，謂覺因害生，如是害出要。阿難！是謂第三出要界。」

[T1.564c26]「復次。阿難！多聞聖弟子極重善觀色，彼因極重善觀色故，心便不向色，不樂色，不近色，不信解色，若色心生，即時融消燋縮，轉還不得舒張，捨離不住色，穢惡厭患色。阿難！猶如雞毛及筋，持著火中，即時融消燋縮，轉還不得舒張。阿難！多聞聖弟子亦復如是極重善觀色，彼因極重善觀色故，心便不向色，不樂色，不近色，不信解色，若色心生，即時融消燋縮，轉還不得舒張，捨離不住色，穢惡厭患色，觀無色，心向無色，樂無色，近無色，信解無色，心無礙，心無濁，心得樂，能致樂，遠離一切色及因色生諸漏煩熱憂慼，解彼脫彼，復解彼脫，彼不復受此覺，謂覺因色生，如是色出要。阿難！是謂第四出要界。」

[T1.565a12]「復次。阿難！多聞聖弟子極重善觀己身，彼因極重善觀己身故，心便不向己身，不樂己身，不近己身，不信解己身，若己身心生，即時融消燋縮，轉還不得舒張，捨離不住己身，穢惡厭患己身。阿難！猶如鷄毛及筋，持著火中，即時融消燋縮，轉還不得舒張。阿難！多聞聖弟子亦復如是極重善觀己身，彼因極重善觀己身故，心便不向己身，不樂己身，不近己身，不信解己身，若己身心生，即時融消燋縮，轉還不得舒張，捨離不住己身，穢惡厭患[1]己身，觀無己身，心向無己身，樂無己身，近無己身，信解無己身，心無礙，心無濁，心得樂，能致樂，遠離一切己身及因己身生諸漏煩熱憂慼，解彼脫彼，復解脫彼，彼不復受此覺，謂覺因己身生，如是己身出要。阿難！是謂第五出要界。」

[T1.565a28]「阿難！此五出要界，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此五出要界者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。」

[T1.565b02]「阿難！我本為汝說七財，信財，戒、慚、愧、聞、施、慧財。阿難！此七財，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此七財者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。阿難！我本為汝說七力，信力，精進、慚、愧、念、定、慧力。阿難！此七力，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此七力者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。」

[T1.565b11]「阿難！我本為汝說七覺支，念覺支，擇法、精進、喜、息、定、捨覺支。阿難！此七覺支[2]，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此七覺支者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。」

[T1.565b15]「阿難！我本為汝說八支聖道，正見、正志[3]、正語、正業、正命、正方便、正念、正定，是謂為八。阿難！此八支聖道，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此八支聖道者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。」

[T1.565b21] 於是，尊者阿難叉手向佛，白曰：「世尊！甚奇，甚特，世尊為諸年少比丘說處及教處。」

---

[1] 患＋（厭患）【宋】【元】【明】
[2] 支＝枝【宋】
[3] 志＝思【宋】【元】【明】

[T1.565b23] 世尊告曰：「阿難！如是，如是，甚奇，甚特，我[1]為諸年少比丘說處及教處。阿難！若汝從如來復問[2]頂法及頂法退者，汝便於如來極信歡喜。」

[T1.565b26] 於是，尊者阿難叉手向佛，白曰：「世尊！今正是時，善逝，今正是時，若世尊為諸年少比丘說頂法及頂法退說及教者，我及諸年少比丘從世尊聞已，當善受持。」

[T1.565c01] 世尊告曰：「阿難！汝等諦聽，善思念之，我當為汝及諸年少比丘說頂法及頂法退。」尊者阿難等受教而聽。

[T1.565c03] 世尊告曰：「阿難！多聞聖弟子真實因心，思念稱量，善觀分別無常、苦、空非我，彼如是思念，如是稱量，如是善觀分別，便生忍、生樂、生欲、欲聞、欲念、欲觀。阿難！是謂頂法。阿難！若得此頂法復失衰退，不修守護，不習精勤。阿難！是謂頂法退，如是內外識、更樂、覺、想、思、愛、界，因緣起。阿難！多聞聖弟子此因緣起及因緣起法，思念稱量，善觀分別無常、苦、空、非我，彼如是思念，如是稱量，如是善觀分別，便生忍、生樂、生欲，欲聞、欲念、欲觀。阿難！是謂頂法。阿難！若得此頂法復失衰退，不修守護，不習精勤。阿難！是謂頂法退。阿難！此頂法及頂法退，汝當為諸年少比丘說以教彼，若為諸年少比丘說教此頂法及頂法退者，彼便得安隱，得力得樂，身心不煩熱，終身行梵行。」

[T1.565c19]「阿難！我為汝等說處及教處、頂法及頂法退，如尊師所為弟子起大慈哀，憐念愍傷，求義及饒益，求安隱快樂者，我今已作，汝等當復自作，至無事處、山林樹下、空安靜處宴坐思惟，勿得放逸，勤加精進，莫令後悔，此是我之教勅，是我訓誨。」

[T1.565c25] 佛說如是，尊者阿難及諸年少比丘聞佛所說，歡喜奉行。

陰、內、外、識、更　　覺、想、思、愛、界
因緣、念、　　正斷　　如意、禪、諦、想
無量、無色、　種　　沙門果、解脫
　處、根、力、出要　　財、力、覺、道、頂

[T1.566a02]說處經第十五竟[3](五千一百九十七字)[4]，

---

[1] 我＝猶【宋】
[2] 問＝向【宋】
[3]〔說…竟〕－【明】
[4]〔五…字〕－【宋】【元】【明】

中阿含經卷第二十一 [1](七千三百二十四字)[2]

長壽王品第二竟 [3](四萬四千九百四十七字)[4]， [5]

中阿含經

卷第二十二(Ma.87~88)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

穢品第三 [6](有十經)(第二小土城誦)[7]

穢、求、比丘請　　智、周那問見　華喻、水淨梵　　黑、住、無在後

（八七）中阿含 [8]

(Ma.87)穢品經 [9] 第一

[T1.566a14] 我聞如是。

[T1.566a14] 一時，佛遊婆奇瘦，在鼉山怖林鹿野園中。

[T1.566a15] 爾時，尊者舍梨子告諸比丘：「諸賢！世有四種人。云何為四？或有一人內實有穢不自知，內有穢不知如真，或有一人內實有穢自知，內有穢知如真，或有一人內實無穢不自知，內無穢不知如真，或有一人內實無穢自知，內無穢知如真。」

---

[1] 卷末題在品末題次行【宋】【元】【明】
[2]〔七…字〕－【宋】【元】【明】
[3] 二竟＝七竟【明】
[4]〔四…字〕－【宋】【元】【明】
[5] 品末題下有第二小土城誦六字【宋】【元】
[6] 三＝八【明】
[7] 有十經三字及第二小土城誦六字在卷題下【宋】【元】
[8]〔中阿含〕－【明】
[9] （穢）＋經【宋】【元】【明】。～M. 5. Anaṅgana sutta 無穢經），No.49.《求欲經》(大正 1.839a)，《增壹阿含 25.6 經》結(大正 2.632a)

[T1.566a20]「諸賢！若有一人內實有穢不自知，內有穢不知如真者，此人於諸人中為最下賤。若有一人內實有穢自知，內有穢知如真者，此人於諸人中為最勝也。若有一人內實無穢不自知，內無穢不知如真者，此人於諸人中為最下賤。若有一人內實無穢自知，內無穢知如真者，此人於諸人中為最勝也。」

[T1.566a28] 於是，有一比丘即從坐[1]起，偏袒著衣，叉手向尊者舍梨子！白曰：「尊者舍梨子！何因、何緣說前二人俱有穢，穢污心，一者下賤，一者最勝，復何因緣說後二人俱無穢，不穢污心，一者下賤，一者最勝。」

[T1.566b03] 於是，尊者舍梨子答彼比丘曰：「賢者。若有一人內實有穢不自知，內有穢不知如真者，當知彼人不欲斷穢，不求方便，不精勤學，彼便有穢，穢污心命終，彼因有穢，穢污心命終故，便不賢死，生不善處。所以者何？彼因有穢，穢污心命終故，賢者，猶如有人或從市肆，或從銅作家，買銅槃來，塵垢所污，彼持來已，不數洗塵[2]，不數揩拭，亦不日炙，又著饒塵處，處，如是銅槃增受塵垢，賢者，如是若有一人內實有穢不自知，內有穢不知如真者，當知彼人不欲斷穢，不求方便，不精勤學，彼便有穢，穢污心命終，彼因有穢，穢污心命終故，便不賢死，生不善處。所以者何？彼因有穢，穢污心命終故。」

[T1.566b17]「賢者。若有一人我內有穢，我內實有此穢知如真者，當知彼人欲斷此穢，求方便，精勤學，彼便無穢，不穢污心命終，彼因無穢，不穢污心命終故，便賢死，生善處。所以者何？彼因無穢，不穢污心命終故，賢者，猶如有人或從市肆，或從銅作家，買銅槃來，塵垢所污，彼持來已，數數洗塵，數數揩拭，數數日炙，不著饒塵處，如是銅槃便極淨潔，賢者，如是若有一人我內有穢，我內實有此穢知如真者，當知彼人欲斷此穢，求方便，精勤學，彼便無穢，不穢污心命終，彼因無穢，不穢污心命終故，便賢死，生善處。所以者何？彼因無穢，不穢污心命終故。」

[T1.566c01]「賢者。若有一人我內無穢，我內實無此穢不知如真者，當知彼人不護由眼耳所知法，彼因不護由眼耳所知法故，則為欲心纏，彼便有欲有穢，穢污心命終，彼因有欲有穢，穢污心命終故，便不賢死，生不善處。所以者何？彼因有欲有穢，穢污心命終故，賢者，猶如有人或從市肆，或從銅作家，買銅槃來，無垢淨潔，彼持來已，不數洗塵，不數揩拭，不數日炙，著饒塵處，如是銅槃必受塵垢，賢者，如是若有一人我內無穢，我內實無此穢不知如真者，當知彼人不護由眼耳所知法，彼因不護由眼耳所知法故，則為欲心纏，彼便有欲有穢，穢污心命終，彼因有欲有穢，穢污心命終故，便不賢死，生不善處。所以者何？彼因有欲有穢，穢污心命終故。」

---

[1] 坐＝座【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 塵＝磨【元】【明】＊

[T1.566c16]「賢者。若有一人我內無穢，我內實無此穢知如真者，當知彼人護由眼耳所知法，彼因護由眼耳所知法故，則不為欲心纏，彼便無欲無穢，不穢污心命終，彼因無欲無穢，不穢污心命終故，便賢死，生善處。所以者何？彼因無欲無穢，不穢污心命終故，賢者，猶如有人或從市肆，或從銅作家，買銅槃來，無垢淨潔，彼持來已，數數洗磨，數數揩拭，數數日炙，不著饒塵處，如是銅槃便極淨潔，賢者，如是若有一人我內無穢，我內實無此穢知如真者，當知彼人護由眼耳所知法，彼因護由眼耳所知法故，則不為欲心纏，彼便無欲無穢，不穢污心命終，彼因無欲無穢，不穢污心命終故，便賢死，生善處。所以者何？彼因無欲無穢，不穢污心命終故，賢者，因是緣是，說前二人俱有穢，穢污心，一者下賤，一者最勝，因是緣是，說後二人俱無穢穢污心，一者下賤，一者最勝。」

[T1.567a05] 於是，復有比丘即從坐起，偏袒著衣，叉手向尊者舍梨子！白曰：「尊者舍梨子！所說穢者，何等為穢。」

[T1.567a08] 尊者舍梨子答比丘曰：「賢者，無量惡不善法從欲生，謂之穢。所以者何？或有一人心生如是欲，我所犯戒，莫令他人知我犯戒，賢者，或有他人知彼犯戒，彼因他人知犯戒故，心便生惡，若彼心生惡及心生欲者，俱是不善，賢者，或有一人心生如是欲，我所犯戒，當令他人於屏處訶，莫令在眾訶我犯戒，賢者，或有他人於眾中訶，不在屏處，彼因他人在眾中訶，不在屏處故，心便生惡，若彼心生惡及心生欲者，俱是不善，賢者，或有一人心生如是欲，我所犯戒，令勝人訶，莫令不如人訶我犯戒，賢者，或有不如人訶彼犯戒，非是勝人，彼因不如人訶，非勝人故，心便生惡，若彼心生惡及心生欲者，俱是不善。」

[T1.567a22]「賢者，或有一人心生如是欲，令我在佛前坐，問世尊法，為諸比丘說，莫令餘比丘在佛前坐，問世尊法，為諸比丘說，賢者，或有餘比丘在佛前坐，問世尊法，為諸比丘說，彼因餘比丘在佛前坐，問世尊法，為諸比丘說故，心便生惡，若彼心生惡及心生欲者，俱是不善，賢者，或有一人心生如是欲，諸比丘入內時，令我最在其前，諸比丘侍從我將入內，莫令餘比丘諸比丘入內時，最在其前，諸比丘侍從彼將[1]入內，賢者，或有餘比丘諸比丘入內時，最在其前，諸比丘侍從彼將入內，彼因餘比丘諸比丘入內時，最在其前，諸比丘侍從彼將入內故，心便生惡，若彼心生惡及心生欲者，俱是不善。」

[T1.567b08]「賢者，或有一人心生如是欲，諸比丘已入內時，令我最在上坐，得第一座[2]、第一澡水，得第一食，莫令餘比丘諸比丘已入內時，最在上坐，得第一座、第一澡水，得第一食，賢者，或有餘比丘諸比丘已入內時，最在上坐，

[1] 彼將＝將彼【宋】【元】【明】
[2] 座＝坐【宋】＊【元】＊【明】＊

得第一*座、第一澡水，得第一食，彼因餘比丘諸比丘已入內時，最在上坐，得第一*座、第一澡水，得第一食故，心便生惡，若彼心生惡及心生欲者，俱是不善。」

[T1.567b17]「賢者，或有一人心生如是欲，諸比丘食竟，收攝食器，行澡水已，令我為諸居士說法，勸發渴仰，成就歡喜，莫令餘比丘諸比丘食竟，收攝食器，行澡水已，為諸居士說法，勸發渴仰，成就歡喜，賢者，或有餘比丘諸比丘食竟，收攝食器，行澡水已，為諸居士說法，勸發渴仰，成就歡喜，彼因餘比丘諸比丘食竟，收攝食器，行澡水已，為諸居士說法，勸發渴仰，成就歡喜故，心便生惡，若彼心生惡及心生欲者，俱是不善。」

[T1.567b26]「賢者，或有一人心生如是欲，諸居士往詣眾園時，令我與共會共集，共坐共論，莫令餘比丘諸居士往詣眾園時，與共會共集，共坐共論，賢者，或有餘比丘諸居士往詣眾園時，與共會共集，共坐共論，彼因餘比丘諸居士往詣眾園時，與共會共集，共坐共論故，心便生惡，若彼心生惡及心生欲者，俱是不善。」

[T1.567c05]「賢者，或有一人心生如是欲，令我為王者所識，及王大臣、梵志、居士、國中人民所知重，莫令餘比丘為王者所識，及王大臣、梵志、居士、國中人民所知重，賢者，或有餘比丘為王者所識，及王大臣、梵志、居士、國中人民所知重，彼因餘比丘為王者所識，及王大臣、梵志、居士、國中人民所知重故，心便生惡，若彼心生惡及心生欲者，俱是不善。」

[T1.567c12]「賢者，或有一人心生如是欲，令我為四眾比丘、比丘尼、優婆塞、優婆私所敬重，莫令餘比丘為四眾比丘、比丘尼、優婆塞、優婆私所敬重，賢者，或有餘比丘為四眾比丘、比丘尼、優婆塞、優婆私所敬重，彼因餘比丘為四眾比丘、比丘尼、優婆塞、優婆私所敬重故，心便生惡，若彼心生惡及心生欲者，俱是不善。」

[T1.567c20]「賢者，或有一人心生如是欲，令我得衣被、飲食、床褥、湯藥、諸生活具，莫令餘比丘得衣被、飲食、床褥、湯藥、諸生活具，賢者，或有餘比丘得衣被、飲食、床褥、湯藥、諸生活具，彼因餘比丘得衣被、飲食、床褥、湯藥、諸生活具故，心便生惡，若彼心生惡及心生欲者，俱是不善。」

[T1.567c26]「賢者，如是彼人若有諸智梵行者，不知彼生如是無量惡不善心欲者，如是彼非沙門沙門想，非智沙門智沙門想，非正智正智想，非正念正念想，非清淨清淨想，賢者，如是彼人若有諸智梵行者，知彼生如是無量惡不善心欲者，如是彼非沙門非沙門想，非智沙門非智沙門想，非正智非正智想，非正念非正念想，非清淨非清淨想。」

[T1.568a05]「賢者，猶如有人或從市肆，或從銅作家，買銅合槃來，盛滿中糞，蓋覆其上便持而去，經過店肆，近眾人行，彼眾見已，皆欲得食，意甚愛樂，而不憎惡，則生淨想，彼持去已，住在一處便開示之，眾人見已，皆不欲食，無愛樂意，甚憎惡之，生不淨想，若欲食者則不復用，況其本自不欲食耶。」

[T1.568a12]「賢者，如是彼人若有諸智梵行者，不知彼生如是無量惡不善心欲者，如是彼非沙門沙門想，非智沙門智沙門想，非正智正智想，非正念正念想，非清淨清淨想，賢者，如是彼人若有諸智梵行者，知彼生如是無量惡不善心欲者，如是彼非沙門非沙門想，非智沙門非智沙門想，非正智非正智想，非正念非正念想，非清淨非清淨想，賢者，當知如是人莫得親近，莫恭敬禮事，若比丘不應親近便親近，不應恭敬禮事便恭敬禮事者，如是彼便長夜得無利無義[1]，則不饒益，不安隱快樂，生苦憂慼。」

[T1.568a24]「賢者，或有一人心不生如是欲，我所犯戒，莫令他人知我犯戒，賢者，或有他人知彼犯戒，彼因他人知犯戒故，心不生惡，若彼心無惡，心不生欲者，是二俱善，賢者，或有一人心不生如是欲，我所犯戒，當令他人於屏處訶，莫令在眾訶我犯戒，賢者，或有他人於眾中訶，不在屏處，彼因在眾中訶，不在屏處故，心不生惡，若彼心無惡，心不生欲者，是二俱善，賢者，或有一人心不生如是欲，我所犯戒，令勝人訶，莫令不如人訶我犯戒，賢者，或有不如人訶彼犯戒，非是勝人，彼因不如人訶，非勝人故，心不生惡，若彼心無惡，心不生欲者，是二俱善。」

[T1.568b08]「賢者，或有一人心不生如是欲，令我在佛前坐，問世尊法，為諸比丘說，莫令餘比丘在佛前坐，問世尊法，為諸比丘說，賢者，或有餘比丘在佛前坐，問世尊法，為諸比丘說，彼因餘比丘在佛前坐，問世尊法，為諸比丘說故，心不生惡，若彼心無惡，心不生欲者，是二俱善，賢者，或有一人心不生如是欲，諸比丘入內時，令我最在其前，諸比丘侍從我將入內，莫令餘比丘諸比丘入內時，最在其前，諸比丘侍從彼將入內，賢者，或有餘比丘諸比丘入內時，最在其前，諸比丘侍從彼將入內，彼因餘比丘諸比丘入內時，最在其前，諸比丘侍從將入內故，心不生惡，若彼心無惡，心不生欲者，是二俱善。」

[T1.568b23]「賢者，或有一人心不生如是欲，諸比丘已入內時，令我最在上坐，得第一*座、第一澡水，得第一食，莫令餘比丘諸比丘已入內時，最在上坐，得第一座、第一澡水，得第一食，賢者，或有餘比丘諸比丘已入內時，最在上坐，得第一*座、第一澡水，得第一食，彼因餘比丘諸比丘已入內時，最在上坐，得第一座、第一澡水，得第一食故，心不生惡，若彼心無惡，心不生欲者，是二俱善。」

---

[1] 義＝誼【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.568c03]「賢者，或有一人心不生如是欲，諸比丘食竟，收攝食器，行澡水已，我為諸居士說法，勸發渴仰，成就歡喜，莫令餘比丘諸比丘食竟，收攝食器，行澡水已，為諸居士說法，勸發渴仰，成就歡喜，賢者，或有餘比丘諸比丘食竟，收攝食器，行澡水已，為諸居士說法，勸發渴仰，成就歡喜，彼因餘比丘諸比丘食竟，收攝食器，行澡水已，為諸居士說法，勸發渴仰，成就歡喜故，心不生惡，若彼心無惡，心不生欲者，是二俱善。」

[T1.568c13]「賢者，或有一人心不生如是欲，諸居士往詣眾園時，令我與共會共集，共坐共論，莫令餘比丘諸居士往詣眾園時，與共會共集，共坐共論，賢者，或有餘比丘諸居士往詣眾園時，與共會共集，共坐共論，彼因餘比丘諸居士往詣眾園時，與共會共集，共坐共論故，心不生惡，若彼心無惡，心不生欲者，是二俱善。」

[T1.568c20]「賢者，或有一人心不生如是欲，令我為王者所識，及王大臣、梵志、居士、國中人民所知重，莫令餘比丘為王者所識，及王大臣、梵志、居士、國中人民所知重，賢者，或有餘比丘為王者所識，及王大臣、梵志、居士、國中人民所知重，彼因餘比丘為王者所識，及王大臣、梵志、居士、國中人民所知重故，心不生惡，若彼心無惡，心不生欲者，是二俱善。」

[T1.568c28]「賢者，或有一人心不生如是欲，令我為四眾比丘、比丘尼、優婆塞、優婆私所敬重，莫令餘比丘為四眾比丘、比丘尼、優婆塞、優婆私所敬重，賢者，或有餘比丘為四眾比丘、比丘尼、優婆塞、優婆私所敬重，彼因餘比丘為四眾比丘、比丘尼、優婆塞、優婆私所敬重故，心不生惡，若彼心無惡，心不生欲者，是二俱善。」

[T1.569a06]「賢者，或有一人心不生如是欲，令我得衣被、飲食、床褥、湯藥、諸生活具，莫令餘比丘得衣被、飲食、床褥、湯藥、諸生活具，賢者，或餘比丘得衣被、飲食、床褥、湯藥、諸生活具，彼因餘比丘得衣被、飲食、床褥、湯藥、諸生活具故，心不生惡，若彼心無惡，心不生欲者，是二俱善。」

[T1.569a13]「賢者，如是彼人若有諸智梵行者，不知彼生如是無量善心欲者，如是彼沙門非沙門想，智沙門非智沙門想，正智非正智想，正念非正念想，清淨非清淨想，賢者，如是彼人若有諸智梵行者，知彼生如是無量善心欲者，如是彼沙門沙門想，智沙門智沙門想，正智正智想，正念正念想，清淨清淨想。」

[T1.569a20]「賢者，猶如有人或從市肆，或從銅作家，買銅合槃來，盛滿種種淨美飲食，蓋覆其上便持而去，經[1]過店肆，近眾人行，彼眾見已，皆不欲食，無愛樂意，甚憎惡之，生不淨想，便作是說，即彼糞去，即彼糞去，彼持去已，

[1] 經＝逕【宋】

住在一處便開示之，眾人見已，則皆欲食，意甚愛樂而不憎惡，則生淨想，彼若本不用食者，見已欲食，況復其本欲得食耶？」

[T1.569a28]「賢者，如是彼人若有諸智梵行者，不知彼生如是無量善心欲者，如是彼沙門非沙門想，智沙門非智沙門想，正智非正智想，正念非正念想，清淨非清淨想，賢者，如是彼人若有諸智梵行者，知彼生如是無量善心欲者，如是彼沙門沙門想，智沙門智沙門想，正智正智想，正念正念想，清淨清淨想，賢者，當知如是人應親近之，恭敬禮事，若比丘應親近者便親近，應恭敬禮事者便恭敬禮事，如是彼便長夜得利得義，則得饒益安隱快樂，亦得無苦，無憂愁慼。」

[T1.569b10] 爾時，尊者大目揵連在彼眾中。於是，尊者大目揵連白曰：「尊者舍利子，我今欲為此事說喻，聽我說耶？」

[T1.569b12] 尊者舍梨子告曰：「賢[1]者大目揵連，欲說喻者便可說之。」

[T1.569b14] 尊者大目揵連則便白曰：「尊者舍梨子！我憶一時遊王舍城，在巖山中，我於爾時過夜平旦，著衣持鉢，入王舍城而行乞食，詣舊車師無衣滿子家，時，彼[2]比舍更有車師斫治車軸，是時，舊車師無衣滿子往至彼家。於是，舊車師無衣滿子見彼治軸，心生是念，若彼車師執斧治軸，斫彼彼惡處者，如是彼軸便當極好，時，彼車師即如舊車師無衣滿子心中所念，便持斧斫彼彼惡處。於是，舊車師無衣滿子極大歡喜，而作是說，車師子！汝心如是，則知我心。所以者何？以汝持斧斫治車軸彼彼惡處，如我意故。如是，尊者舍梨子。若有諛諂、欺誑、嫉妬、無信、懈怠，無正念正智，無定無慧，其心狂惑，不護諸根，不修沙門，無所分別。尊者舍梨子！心為知彼心故，而說此法，尊者舍梨子。若有人不諛諂，不欺誑，無嫉妬，有信，精進而無懈怠，有正念正智，修定修慧，心不狂惑，守護諸根，廣修沙門而善分別，彼聞尊者舍梨子所說法者，猶飢欲得[3]食，渴欲得飲，口及意也。」

[T1.569c05]「尊者舍梨子！猶剎利女，梵志、居士、工師女，端正姝好，極淨沐浴，以香塗身，著明淨衣，種種瓔珞嚴飾其容，或復有人為念彼女，求利及饒益，求安隱快樂，以青蓮華鬘，或薝蔔華鬘，或修摩那華鬘，或婆師華鬘[4]，或阿提牟哆華鬘[5]，持與彼女，彼女歡喜，兩手受之，以嚴其頭。尊者舍梨子！如是。若有人不諛諂，不欺誑，無妬嫉，有信，精進而無懈怠，有正念正智，修定修慧，心不狂惑，守護諸根，廣修沙門而善分別，彼聞尊者舍梨子所說法

---

[1] 賢＝尊【元】【明】
[2] 彼＋（皆）【宋】【元】，彼＋（家）【明】
[3]〔得〕－【宋】【元】【明】
[4] [>婆師華鬘]～Vassikamāla.
[5] [>阿提牟哆華鬘]～Atimuttakamālā.

者，猶飢欲食，渴欲得飲，口及意也。尊者舍梨子甚奇，甚特，尊者舍梨子常拔濟諸梵行者，令離不善，安立善處。」

[T1.569c18]如是二尊更相稱說，從座起去。

[T1.569c19] 尊者舍梨子所說如是，尊者大目揵連及諸比丘聞尊者舍梨子所說，歡喜奉行。

[T1.569c22] 穢經第一竟[1](五千一百九十六字)[2]，

（八八）中阿含[3]穢品

(Ma.88)求法經[4] 第二(第二小土城誦)[5]

[T1.569c24] 我聞如是。

[T1.569c24] 一時，佛遊拘娑[6]羅國，與大比丘眾俱，往詣五娑羅村北尸攝恕林中，及諸名德、上尊長老、大弟子等，謂尊者舍梨子、尊者大目揵連、尊者大迦葉、尊者大迦旃延、尊者阿那律陀、尊者麗越、尊者阿難！如是比餘名德、上尊長老、大弟子等，亦在五娑羅村並皆近佛葉屋邊住。

[T1.570a01] 爾時，世尊告諸比丘：「汝等當行求法，莫行求飲食。所以者何？我慈愍弟子故，欲令行求法，不行求飲食，若汝等行求飲食，不行求法者，汝等既自惡，我亦無名稱，若汝等[7]行求法，不行求飲食者，汝等既自好，我亦有名稱。」

[T1.570a06]「云何諸弟子為求飲食故而依佛行，非為求法，我飽食訖，食事已辦，猶有殘食，於後有二比丘來，飢渴力羸，我語彼曰：「我飽食訖，食事已辦，猶有殘食，汝等欲食者便取食之，若汝不取者，我便取以瀉著淨地，或復瀉著無蟲水中，彼二比丘，第一比丘便作是念：世尊食訖，食事已辦，猶有殘食，若我不取者，世尊必取瀉著淨地，或復瀉著無蟲水中，我今寧可取而食之，即便取食。」

---

[1]〔穢…竟〕－【明】
[2] 五千一百九十六字＝五千一百八十八字【宋】，－【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～M. 3. Dhammadāyāda-sutta. (法嗣經)，《增壹阿含 189.3 經》(大正 2.587c)
[5]〔第二小土城誦〕－【明】
[6] 娑＝婆【宋】【元】【明】
[7] 等＝遵【宋】【元】【明】

[T1.570a15] 彼比丘取此食已，雖一日一夜樂而得安隱，但彼比丘因取此食故，不可佛意。所以者何？彼比丘因取此食故，不得少欲，不知厭足，不得易養，不得易滿，不得知時，不知節限，不得精進，不得宴坐，不得淨行，不得遠離，不得一心，不得精勤，亦不得涅槃，是以彼比丘因取此食故，不可佛意，是謂諸弟子為行求飲食故而依佛行，非為求法。」

[T1.570a24]「云何諸弟子行求法，不行求飲食，彼二比丘，第二比丘便作是念：世尊食訖，食事已辦，猶有殘食，若我不取者，世尊必取瀉著淨地，或復瀉著無蟲水中，又世尊說食中之下極者，謂殘餘食也。我今寧可不取此食，作是念已，即便不取。」

[T1.570a29] 彼比丘不取此食已，雖一日一夜苦而不安隱，但彼比丘因不取此食故，得可佛意。所以者何？彼比丘因不取此食故，得少欲，得知足，得易養，得易滿，得知時，得節限，得精進，得宴坐，得淨行，得遠離，得一心，得精勤，亦得涅槃，是以彼比丘因不取此食故，得可佛意，是謂諸弟子為行求法故而依佛行，非為求飲食。」

[T1.570b08] 於是，世尊告諸弟子：「若有法、律尊師樂住遠離，上弟子不樂住遠離者，彼法、律不饒益多人，多人不得樂，非為愍傷世間，亦非為天為人求義及饒益，求安隱快樂。若有法、律尊師樂住遠離，中、下弟子不樂住遠離者，彼法、律不饒益多人，多人不得樂，非為愍傷世間，亦非為天為人求義及饒益，求安隱快樂。若有法、律尊師樂住遠離，上弟子亦樂住遠離者，彼法、律饒益多人，多人得樂，為愍傷世間，亦為天為人求義及饒益，求安隱快樂。若有法、律尊師樂住遠離，中、下弟子亦樂住遠離者，彼法、律饒益多人，多人得樂，為愍傷世間，亦為天為人求義及饒益，求安隱快樂。」

[T1.570b21] 是時，尊者舍梨子亦在眾中，彼時，世尊告曰：「舍利子，汝為諸比丘說法如法，我患背痛，今欲小息。」

[T1.570b24] 尊者舍利子即受佛教：「唯然。世尊！」於是，世尊四疊優多羅僧以敷床上，卷僧伽梨作枕，右脇而臥，足足相累，作光明想，正念正智，常念欲起。

[T1.570b27] 是時，尊者舍梨子告諸比丘：「諸賢！當知世尊向略說法。若有法、律尊師樂住遠離，上弟子不樂住遠離者，彼法、律不饒益多人，多人不得樂，不為愍傷世間，亦非為天為人求義及饒益，求安隱快樂。若有法、律尊師樂住遠離，中、下弟子不樂住遠離者，彼法、律不饒益多人，多人不得樂，不為愍傷世間，亦非為天為人求義及饒益，求安隱快樂。若有法、律尊師樂住遠離，上弟子亦樂住遠離者，彼法、律饒益多人，多人得樂，為愍傷世間，亦為天為人求義及饒益，求安隱快樂。若有法、律尊師樂住遠離，中、下弟子亦樂

住遠離者，彼法、律饒益多人，多人得樂，為愍傷世間，亦為天為人求義及饒益，求安隱快樂，然世尊說此法極略，汝等云何解義。云何廣分別。」

[T1.570c14] 彼時，眾中或有比丘作如是說。尊者舍梨子！若諸長老上尊自說：「我得究竟智，我生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。」諸梵行者聞彼比丘自說我得究竟智，便得歡喜。

[T1.570c18] 復有比丘作如是說：「尊者舍梨子！若中、下弟子求願無上涅槃，諸梵行者見彼行已，便得歡喜，如是彼比丘而說此義，不可尊者舍梨子意。」

[T1.570c21] 尊者舍梨子告彼比丘：「諸賢等，聽我為汝說，諸賢。若有法、律尊師樂住遠離，上弟子不樂住遠離者，上弟子有三事可毀。云何為三？尊師樂住遠離，上弟子不學捨離，上弟子以此可毀，尊師若說可斷法，上弟子不斷彼法，上弟子以此可毀，所可受證，上弟子而捨方便，上弟子以此可毀。若有法、律尊師樂住遠離，上弟子不樂住遠離者，上弟子有此三事可毀，諸賢。若有法、律尊師樂住遠離，中、下弟子不樂住遠離者，中、下弟子有三事可毀。云何為三？尊師樂住遠離，中、下弟子不學捨離，中、下弟子以此可毀，尊師若說可斷法，中、下弟子不斷彼法，中、下弟子以此可毀，所可受證，中、下弟子而捨方便，中、下弟子以此可毀。若有法、律尊師樂住遠離，中、下弟子不樂住遠離者，中、下弟子有此三事可毀。」

[T1.571a09]「諸賢！若有法、律尊師樂住遠離，上弟子亦樂住遠離者，上弟子有三事可稱。云何為三？尊師樂住遠離，上弟子亦學捨離，上弟子以此可稱，尊師若說可斷法，上弟子便斷彼法，上弟子以此可稱，所可受證，上弟子精進勤學，不捨方便，上弟子以此可稱。諸賢，若有法、律尊師樂住遠離，上弟子亦樂住遠離者，上弟子有此三事可稱。諸賢，若有法、律尊師樂住遠離，中、下弟子亦樂住遠離者，中、下弟子有三事可稱。云何為三？尊師樂住遠離，中、下弟子亦學捨離，中、下弟子以此可稱，尊師若說可斷法，中、下弟子便斷彼法，中、下弟子以此可稱，所可受證，中、下弟子精進勤學，不捨方便，中、下弟子以此可稱，諸賢。若有法、律尊師樂住遠離，中、下弟子亦樂住遠離者，中、下弟子有此三事可稱。」

[T1.571a25] 尊者舍梨子復告諸比丘：「諸賢！有中道能得心住，得定得樂，順法次法，得通得覺，亦得涅槃。諸賢，云何有中道能得心住，得定得樂，順法次法，得通得覺，亦得涅槃。諸賢，念欲惡，惡念欲亦惡，彼斷念欲，亦斷惡念欲，如是恚、怨結、慳嫉、欺誑、諛諂、無慙、無愧、慢、最上慢、貢高、放逸、豪貴、憎諍。諸賢！貪亦惡，著亦惡，彼斷貪，亦斷著。諸賢，是謂中道能得心住，得定得樂，順法次法，得通得覺，亦得涅槃。諸賢，復有中道能得心住，得定得樂，順法次法，得通得覺，亦得涅槃。諸賢。云何復有中道能

得心住，得定得樂，順法次法，得通得覺，亦得涅槃，謂八支聖道，正見，乃至正定，是為八。諸賢，是謂復有中道能得心住，得定得樂，順法次法，得通得覺，亦得涅槃。」

[T1.571b11] 於是，世尊所患即除而得安隱，從臥寤起，結跏[1]趺坐，嘆尊者舍梨子：「 善哉！善哉！舍梨子為諸比丘說法如法。舍梨子！汝當復為諸比丘說法如法。舍梨子！汝當數數為諸比丘說法如法。」

[T1.571b16] 爾時，世尊告諸比丘：「汝等當共受法如法，誦習執持。所以者何？此法如法，有法有義，為梵行本，得通得覺，亦得涅槃，諸族姓子剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，此法如法，當善受持。」

[T1.571b20] 佛說如是，尊者舍梨子及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.571b22] 求法經第二竟[2](二千二百八十六字)[3]，

中阿含經卷第二十二(七千四百八十二字)[4](第二小土城誦)[5]

中阿含經

卷第二十三(Ma.89~96)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（八九）穢品

(Ma.89)比丘請經[6] 第三(第二小土城誦)[7]

[T1.571c01] 我聞如是。

---

[1] 跏＝加【宋】【元】
[2]〔求…竟〕六字－【明】
[3]〔二千…字〕八字－【宋】【元】【明】
[4]〔七千…字〕八字－【宋】【元】【明】
[5]〔第二小土城誦〕六字－【宋】【元】【明】
[6] ～《中部》M. 15. Anumāna sutta. (思量經)，No.50.《受歲經》(大正 1.842b)
[7]〔第二小土城誦〕－【明】，（第二小土城誦）六字在卷題下【宋】【元】

[T1.571c01] 一時，佛遊王舍城，在竹林迦蘭哆園，與大比丘眾俱，受夏坐。

[T1.571c02] 爾時，尊者大目揵連告諸比丘：「諸賢。若有比丘請諸比丘！諸尊，語我、教我、訶我，莫難於我。所以者何？諸賢，或有一人戾語，成就戾語法，成就戾語法故，令諸梵行者不語彼，不教、不訶而難彼人。諸賢，何者戾語法。若有成就戾語法者，諸梵行者不語彼，不教、不訶而難彼人。諸賢，或有一人惡欲、念欲。諸賢，若有人惡欲、念欲者，是謂戾語法，如是染行染、不語結住，欺誑諛諂，慳貪嫉妬，無慙無愧，瞋弊惡意，瞋恚[1]語言，訶比丘訶，訶比丘輕慢，訶比丘發露，更互相避而說外事，不語、瞋恚、憎嫉熾盛，惡朋友、惡伴侶，無恩、不知恩。諸賢，若有人無恩、不知恩者，是謂戾語法。諸賢，是謂諸戾語法。若有成就戾語法者，諸梵行者不語彼，不教、不訶而難彼人。諸賢，比丘者，當自思量。」

[T1.571c18]「諸賢！若有人惡欲、念欲者，我不愛彼，若我惡欲、念欲者，彼亦不愛我，比丘如是觀，不行惡欲、不念欲者，當學如是，如是染行染、不語結住，欺誑諛諂，慳貪嫉妬，無慙無愧，瞋弊惡意，瞋瞋[2]語言，訶比丘，訶[3]比丘輕慢，訶比丘發露，更互相避而說外事，不語、瞋恚、憎嫉熾盛，惡朋友、惡伴侶，無恩、不知恩，諸賢。若有人無恩、不知恩者，我不愛彼，若我無恩、不知恩者，彼亦不愛我，比[4]丘如是觀，不行無恩、不知恩者，當學如是。」

[T1.571c28]「諸賢！若比丘不請諸比丘！諸尊，語我、教我、訶我，莫難於我。所以者何？諸賢，或有一人善語，成就善語法，成就善語法故，諸梵行者善語彼，善教、善訶，不難彼人。諸賢，何者善語法。若有成就善語法者，諸梵行者善語彼，善教、善訶，不難彼人。諸賢，或有一人不惡欲、不念欲，諸賢。若有人不惡欲、不念欲者，是謂善語法，如是不染行染、不[5]語結住，不欺誑諛諂，不慳貪嫉妬，不無慙無愧，不瞋弊惡意，不瞋瞋語言，不訶比丘訶，不訶比丘輕慢，不訶比丘發露，不更互相避而說外事，不不語、瞋恚、憎嫉熾盛，不惡朋友、惡伴侶，不無恩、不知恩。諸賢，若有人不無恩、不知恩者，是謂善語法。諸賢，是謂諸[6]善語法。若有成就善語法者，諸梵行者善語彼[7]，善教、善訶，不難彼人。諸賢！比丘者當自思量。」

---

[1] 恚＝瞋【明】
[2] 瞋＝恚【宋】【元】
[3] 訶＋（訶）【明】
[4] （若）＋比【宋】【元】【明】
[5] 不＋（不）【元】【明】
[6] 〔諸〕－【宋】【元】【明】
[7] 彼＝教【宋】【元】【明】

[T1.572a16]「諸賢！若有人不惡欲、不念欲者，我愛彼人，若我不惡欲、不念欲者，彼亦愛我，比丘如是觀，不行惡欲、不念欲者，當學如是，如是不染行染、不不語結住，不欺誑諛諂，不慳貪嫉妬，不無慙無愧，不瞋弊惡意，不瞋瞋語言，不訶比丘訶，不訶比丘輕慢，不訶比丘發露，不更互相避而說外事，不不語、瞋恚、憎嫉熾盛，不惡朋友、惡伴侶，不無恩、不知恩。諸賢，若有人不無恩、不知恩者，我愛彼人，若我不無恩、不知恩者，彼亦愛我，比丘如是觀，不無恩、不知恩者，當學如是。」

[T1.572a27] 「諸賢！若比丘如是觀者，必多所饒益，我為惡欲、念欲，為不惡欲、念欲耶？諸賢，若比丘觀時，則知我是惡欲、念欲者，則不歡悅，便求欲斷。諸賢，若比丘觀時，則知我無惡欲、不念欲者，即便歡悅我自清淨，求學尊法。是故歡悅。諸賢，猶有目人以鏡自照，則見其面淨及不淨。諸賢，若有目人見面有垢者，則不歡悅，便求欲洗。諸賢，若有目人見面無垢者，即便歡悅我面清淨。是故歡悅。」

[T1.572b07]「諸賢！若比丘觀時，則知我行惡欲、念欲者，則不歡悅，便求欲斷。諸賢！若比丘觀時，則知我不行惡欲、不念欲者，即便歡悅我自清淨，求學尊法。是故歡悅，如是我為染行染，為不染行染，為不語結住，為不不語結住，為欺誑諛諂，為不欺誑諛諂，為慳貪嫉妬，為不慳貪嫉妬，為無慙無愧，為不無慙無愧，為瞋弊惡意，為不瞋弊惡意，為瞋瞋語言，為不瞋瞋語言，為訶比丘訶，為不訶比丘訶，為訶比丘輕慢，為不訶比丘輕慢，為訶比丘發露，為不訶比丘發露，為更互相避，為不更互相避，為說外事，為不說外事，為不語、瞋恚、憎嫉熾盛，為不不語、瞋恚、憎嫉熾盛，為惡朋友、惡伴侶，為不惡朋友、惡伴侶，為無恩、不知恩，為不無恩，不知恩耶？諸賢，若比丘觀時，則知我無恩、不知恩者，則不歡悅，便求欲斷。諸賢！若比丘觀時，則知我不無恩、不知恩者，即便歡悅我自清淨，求學尊法。是故歡悅。諸賢！猶有目人以鏡自照，則見其面淨及不淨，諸賢。若有目人見面有垢者，則不歡悅，便求欲洗，諸賢。若有目人見面無垢者，即便歡悅我面清淨。是故歡悅。」

[T1.572b29]「諸賢！如是若比丘觀時，則知我無恩、不知恩者，則不歡悅，便求欲斷。諸賢！若比丘觀時，則知我不無恩、不知恩者，即便歡悅我自清淨，求學尊法。是故歡悅，因歡悅故，便得歡喜，因歡喜故，便得止身，因[1]止身故，便得覺樂，因覺樂故，便得定心。諸賢！多聞聖弟子因定心故，便見如實、知如真，因見如實、知如真故，便得厭，因厭故，便得無欲，因無欲故，便得解脫，因解脫故，便得知解脫，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。」

[1]〔因〕－【宋】【元】【明】

[T1.572c11] 尊者大目揵連所說如是，彼諸比丘聞尊者大目揵連所說，歡喜奉行。

比[1]丘請經第三竟(千五百六十三字)[2]，

（九○）中阿含[3]穢品

(Ma.90)知法經[4] 第四(第二小土城誦)[5]

[T1.572c15] 我聞如是。一時，佛遊拘舍彌在瞿師羅園。

[T1.572c16] 爾時，尊者周那[6]告諸比丘：「若有比丘作如是說，我知諸法所可知法而無增[7]伺，然彼賢者心生惡*增伺而住，如是諍訟、恚恨、瞋纏、不語結、慳、嫉、欺誑、諛諂、無慙、無愧，無惡欲、惡見，然彼賢者心生惡欲、惡見而住，諸梵行人知彼賢者不知諸法所可知法而無增伺。所以者何？以彼賢者心生*增伺而住，如是諍訟、恚恨、瞋纏、不語結、慳、嫉、欺誑、諛諂、無慙、無愧，無惡欲、惡見。所以者何？以彼賢者心生惡欲、惡見而住。」

[T1.572c25]「諸賢！猶人不富自稱說富，亦無國封說有國封，又無畜牧說有畜牧，若欲用時，則無金、銀、真珠、琉璃、水精、琥珀，無畜牧、米穀，亦無奴婢，諸親朋友往詣彼所，而作是說，汝實不富自稱說富，亦無國封說有國封，又無畜牧說有畜牧，然欲用時，則無金、銀、真珠、琉璃、水精、琥珀，無畜牧、米穀，亦無奴婢。」

[T1.573a03]「如是。諸賢，若有比丘作如是說，我知諸法所可知法而無*增伺，然彼賢者心生惡*增伺而住，如是諍訟、恚恨、瞋纏、不語結、慳、嫉、欺誑、諛諂、無慙、無愧，無惡欲、惡見，然彼賢者心生惡欲、惡見而住，諸梵行人知彼賢者不知諸法所可知法而無增伺。所以者何？以彼賢者心不向增伺盡、無餘涅槃，如是諍訟、恚恨、瞋纏、不語結、慳、嫉、欺誑、諛諂、無慙、無愧，無惡欲、惡見。所以者何？以彼賢者心不向惡見法盡、無餘涅槃。」

---

[1]〔比…竟〕－【明】
[2]〔千…字〕－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【宋】【元】【明】
[4] ～《增支部》A.10.24. Cunda(周陀)
[5]〔第二小土城誦〕－【明】
[6] [>周那]～Cunda.
[7] 增＝憎【宋】＊

[T1.573a13]「諸賢！或有比丘不作是說，我知諸法所可知法而無增伺，然彼賢者心不生惡*增伺而住，如是諍訟、恚恨、瞋纏、不語結、慳、嫉、欺誑、諛諂、無慙、無愧，無惡欲、惡見，然彼賢者心不生惡欲、惡見而住，諸梵行人知彼賢者實知諸法所可知法而無*增伺。所以者何？以彼賢者心不生惡*增伺而住，如是諍訟、恚恨、瞋纏、不語結、慳、嫉、欺誑、諛諂、無慙、無愧，無惡欲、惡見。所以者何？以彼賢者心不生惡欲、惡見而住。」

[T1.573a22]「諸賢！猶人大富自說不富，亦有國封說無國封，又有畜牧說無畜牧，若欲用時，則有金、銀、真珠、琉璃、水精、琥珀，有畜牧、米穀，亦有奴婢，諸親朋友往詣彼所，作如是說，汝實大富自說不富，亦有國封說無國封，又有畜牧說無畜牧，然欲用時，則有金、銀、真珠、琉璃、水精、琥珀，有畜牧、米穀，亦有奴婢。」

[T1.573a29]「如是，諸賢。若有[1]比丘不作是說，我知諸法所可知法而無*增伺，然彼賢者心不生惡*增伺而住，如是諍訟、恚恨、瞋纏、不語結、慳、嫉、欺誑、諛諂、無慙、無愧，無惡欲、惡見，然彼賢者心不生惡欲、惡見而住，諸梵行人知彼賢者知諸法所可知法而無*增伺。所以者何？以彼賢者心向*增伺盡、無餘涅槃，如是諍訟、恚恨、瞋纏、不語結、慳、嫉、欺誑、諛諂、無慙、無愧，無惡欲、惡見。所以者何？以彼賢者心向惡見法盡、無餘涅槃。」

[T1.573b10] 尊者周那所說如是，彼諸比丘聞尊者周那所說，歡喜奉行。

[T1.573b12] 知法經第四竟[2](八百八十一字)[3]，

（九一）中阿含[4]穢品

(Ma.91)周那問見經[5]第五(第二小土城誦)[6]

[T1.573b15] 我聞如是。

[T1.573b15] 一時，佛遊拘舍彌，在瞿師羅園 。

---

[1]〔有〕－【宋】【明】
[2]〔知…竟〕－【明】
[3]〔八…字〕－【宋】【元】【明】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～M. 8. Sallekha sutta. (削減經)
[6]〔第二小土城誦〕－【明】

[T1.573b16] 於是，尊者大周那[1]則於晡時從宴坐起，往詣佛所，稽首佛足，却坐一面，白曰：「世尊！世中諸見生而生，謂計有神，計有眾生，有人、有壽、有命、有世。世尊！云何知、云何見，令此見得滅、得捨離，而令餘見不續，不受耶？」

[T1.573b21] 彼時，世尊告曰：「周那！世中諸見生而生，謂計有神，計有眾生，有人、有壽、有命、有世，周那！若使諸法滅盡無餘者，如是知、如是見，令此見得滅、得捨離，而令餘見不續、不受，當學漸損[2]。」

[T1.573b25]「周那！於聖法、律中，何者漸損，比丘者，離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊，彼作是念：我行漸損，周那！於聖法、律中，不但是漸損，有四增上心現法樂居[3]，行者從是起而復還入[4]，彼作是念：我行漸損，周那！於聖法、律中，不但是漸損，比丘者，度一切色想，至得非有想、非無想處成就遊，彼作是念：我行漸損，周那！於聖法、律中不但是漸損，有四息解脫，離色得無色，行者從是起當為他說，彼作是念：我行漸損，周那！於聖法、律中不但是漸損。」

[T1.573c07]「周那！他有惡欲、念欲，我無惡欲、念欲，當學漸損，周那！他有害意瞋，我無害意瞋，當學漸損，周那！他有殺生、不與取、非梵行，我無非梵行，當學漸損，周那！他有*增伺、諍意、睡眠所纏、調[5]、貢高而有疑惑，我無疑惑，當學漸損，周那！他有瞋結、諛諂、欺誑、無慙、無愧，我有慙愧，當學漸損，周那！他有慢，我無慢，當學漸損，周那！他有增慢，我無增慢，當學漸損，周那！他不多聞，我有多聞，當學漸損，周那！他不觀諸善法，我觀諸善法，當學漸損，周那！他行非法惡行，我行是法妙行，當學漸損，周那！他有妄言、兩舌、麤言、綺語、惡戒、我無惡戒，當學漸損，周那！他有不信、懈怠、無念、無定而有惡慧，我無惡慧，當學漸損。」

[T1.573c21]「周那！若但發心念欲求學諸善法者，則多所饒益，況復身、口行善法耶？周那！他有惡欲、念欲，我無惡欲、念欲，當發心，周那！他有害意瞋，我無害意瞋，當發心，周那！他有殺生、不與取、非梵行，我無非梵行，當發心，周那！他有*增伺、諍意、睡眠所纏、*調、貢高而有疑惑，我無疑惑，當發心，周那！他有瞋結、諛諂、欺誑、無慙、無愧，我有慙愧，當發心，周那！他有慢，我無慢，當發心，周那！他有增慢，我無增慢，當發心，周那！他不多聞，我有多聞，當發心，周那！他不觀諸善法，我觀諸善法，當發心，周那！他行非法惡行，我行是法妙行，當發心，周那！他有妄言、兩

---

[1] [>大周那]～Mahā-Cunda.
[2] 漸損～Sallekha.
[3] 居＝號【宋】
[4] 入＝人【宋】
[5] 調＝掉【元】【明】＊

舌、麤言、綺語、惡戒、我無惡戒，當發心，周那！他有不信、懈怠、無念、無定而有惡慧，我無惡慧，當發心，周那！猶如惡道與正道對，猶如惡度與正度對。」

[T1.574a09]「如是，周那！惡欲者與非惡欲為對，害意瞋者與不害意瞋為對，殺生、不與取、非梵行者與梵行為對，增伺、諍意、睡眠、調、貢高、疑惑者與不疑惑為對，瞋結、諛諂、欺誑、無慙、無愧者與慙愧為對，慢者與不慢為對，增慢者與不增慢為對，不多聞者與多聞為對，不觀諸善法者與觀諸善法為對，行非法惡行者與行是法妙行為對，妄言、兩舌、麤言、綺語、惡戒者與善戒為對，不信、懈怠、無念、無定、惡慧者與善慧為對。」

[T1.574a19]「周那！或有法黑，有黑報，趣至惡處，或有法白，有白報，而得昇上。如是，周那！惡欲者，以非惡欲為昇上，害意瞋者，以不害意瞋為昇上，殺生、不與取、非梵行者，以梵行為昇上，增伺、諍意、睡眠、調、貢高、疑惑者，以不疑惑為昇上，瞋結、諛諂、欺誑、無慙、無愧者，以慙愧為昇上，慢者，以不慢為昇上，增慢者，以不增慢為昇上，不多聞者，以多聞為昇上，不觀諸善法者，以觀諸善法為昇上，行非法惡行者，以行是法妙行為昇上，妄言、兩舌、麤言、綺語、惡戒者，以善戒為昇上，不信、懈怠、無念、無定、惡慧者，以善慧為昇上。」

[T1.574b02]「周那！若有不自調御，他不調御欲調御者，終無是處，自沒溺，他沒溺欲拔出者，終無是處，自不般涅槃，他不般涅槃令般涅槃者，終無是處，周那。若有自調御，他不調御欲調御者，必有是處，自不沒溺，他沒溺欲拔出者，必有是處，自般涅槃，他不般涅槃令般涅槃者，必有是處。」

[T1.574b08]「如是，周那！惡欲者，以非惡欲為般涅槃，害意瞋者，以不害意瞋為般涅槃，殺生、不與取、非梵行者，以梵行為般涅槃，*增伺、諍意、睡眠、調、貢高、疑惑者，以不疑惑為般涅槃，瞋結、諛諂、欺誑、無慙、無愧者，以慙愧為般涅槃，慢者，以不慢為般涅槃，增[1]慢者，以不*增慢為般涅槃，不多聞者，以多聞為般涅槃，不觀諸善法者，以觀諸善法為般涅槃，行非法惡行者，以行是法妙行為般涅槃，妄言、兩舌、麤言、綺語、惡戒者，以善戒為般涅槃，不信、懈怠、無念、無定、惡慧者，以善慧為般涅槃。」

[T1.574b19]「是為，周那！我已為汝說漸損法，已說發心法，已說對法，已說昇上法，已說般涅槃法，如尊師所為弟子起大慈哀憐念愍傷，求義及饒益，求安

[1] 增＝憎【宋】【元】＊

隱快樂者，我今已作，汝[1]等亦當復自作，至無事處山林樹下空安靜處，坐禪思惟，勿得放逸，勤加精進，莫令後悔，此是我之教勅，是我訓誨。」

[T1.574b26] 佛說如是，尊者大周那及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.574b29] 周那問見經第五竟[2](千五百七十五字)[3]，

（九二）中阿含[4]穢品

(Ma.92)青白蓮華喻經 第六(第二小土城誦)[5]

[T1.574c03] 我聞如是。

[T1.574c03] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.574c04] 爾時，世尊告諸比丘：「或有法從身滅，不從口滅，或有法從口滅，不從身滅，或有法不從身口滅，但以慧見滅。」

[T1.574c06]「云何法從身滅，不從口滅，比丘者，有不善身行充滿、具足受持著身，諸比丘見已，訶彼比丘，賢者，不善身行充滿、具足受持，何為著身，賢者，可捨不善身行，修習善身行[6]，彼於後時，捨不善身行，修習善身行，是謂法從身滅，不從口滅。」

[T1.574c12]「云何法從口滅，不從身滅，比丘者，不善口行充滿具足受持著口，諸比丘見已呵彼比丘，賢者，不善口行充滿、具足受持，何為著口，賢者，可捨不善口行，修習善口行，彼於後時，捨不善口行，修習善口行，是謂法從口滅，不從身滅。」

[T1.574c17]「云何法不從身口滅，但以慧見滅，增伺不從身口滅，但以慧[7]見滅，如是諍訟、恚恨、瞋纏、不語結、慳、嫉、欺誑、諛諂、無慙、無愧，惡欲、惡見，不從身口滅，但以慧見滅，是謂法不從身口滅，但以慧見滅。」

---

[1] 汝＝法【宋】【元】
[2]〔周…竟〕－【明】
[3]〔千…字〕－【宋】【元】【明】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5]〔第二小土城誦〕－【明】
[6] 行彼＝彼行【宋】【元】【明】
[7] 慧＝善【元】【明】

[T1.574c22]「如來或有觀，觀他人心，知此人不如是修身、修戒、修心、修慧、如修身、修戒、修心、修慧、得滅*增伺。所以者何？以此人心生惡*增伺而住，如是諍訟、恚恨、瞋纏、不語結、慳、嫉、欺誑、諛諂、無慙、無愧，得滅惡欲、惡見。所以者何？以此人心生惡欲、惡見而住，知此人如是修身、修戒、修心、修慧，如修身、修戒、修心、修慧，得滅增伺。所以者何？以此人心不生惡*增伺而住，如是諍訟、恚恨、瞋纏、不語結、慳、嫉、欺誑、諛諂、無慙、無愧，得滅惡欲、惡見。所以者何？以此人心不生惡欲、惡見而住，猶如青蓮華，紅、赤、白蓮花，水生水長，出水上，不著水。如是，如來世間生、世間長，出世間行，不著世間法。所以者何？如來無所著、等正覺，出一切世間。」

[T1.575a07] 爾時，尊者阿難執拂侍佛。於是，尊者阿難叉手向佛，白曰：「世尊！此經當名何。云何受持？」

[T1.575a09] 於是，世尊告曰：「阿難！此經名為青白蓮華喻，汝當如是善受持誦。」

[T1.575a11] 爾時，世尊告諸比丘：「汝等當共受此青白蓮花喻經，誦習守持。所以者何？此青白蓮華喻經如法有義，是梵行本，致通、致覺，亦致涅槃，若族姓子，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，應當受此青白蓮華喻經，善諷誦持。」

[T1.575a16] 佛說如是，尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.575a18] 青白蓮華喻[1]經第六竟[2](七百三字)[3]，

（九三）中阿含[4]穢品

(Ma.93)水淨梵志經[5] 第七(第二小土城誦)[6]

[T1.575a21] 我聞如是。

---

[1]〔青…竟〕－【明】
[2]〔經〕－【宋】【元】
[3]〔七…字〕－【宋】【元】【明】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～M. 7. Vatthūpama sutta. (布喻經)，No.51.《梵志許水淨經》(大正 1.843c)，《增壹阿含 13.5 經》孫陀利(大正 2.573c)後半，《雜阿含 1185 經》 (大正 2.321a)，《別譯雜阿含 99 經》(大正 2.408c)
[6]〔第二小土城誦〕－【明】

[T1.575a21] 一時，佛遊鬱鞞羅尼連然河岸，在阿耶恕羅尼拘類樹下，初得道時。

[T1.575a22] 於是，有一水淨梵志，中後仿佯往詣佛所[1]，世尊[2]遙見水淨梵志來，因水淨梵志故，告諸比丘：「若有二十一穢[3]污於心者，必至惡處，生地獄中。云何二十一穢，邪見心穢、非法欲心穢、惡貪心穢、邪法心穢、貪心穢、恚心穢、睡眠心穢、調[4]悔心穢、疑惑心穢、瞋纏心穢、不語結心穢、慳心穢、嫉心穢、欺誑心穢、諛諂心穢、無慙心穢、無愧心穢、慢心穢、大慢心穢、慢慠心[5]穢、放逸心穢。若有此[6]二十一穢污於心者，必至惡處，生地獄中，猶垢膩衣持與染家，彼染家得，或以淳灰、或以澡豆、或以土漬極浣，令淨此垢膩衣，染家雖治或以淳灰、或以澡豆、或以土漬極浣令淨，然此污衣故有穢色，如是。若有二十一穢污於心者，必至惡處，生地獄中。云何二十一穢，邪見心穢、非法欲心穢、惡貪心穢、邪法心穢、貪心穢、恚心穢、睡眠心穢、*調悔心穢、疑惑心穢、瞋纏心穢、不語結心穢、慳心穢、嫉心穢、欺誑心穢、諛諂心穢、無慙心穢、無愧心穢、慢心穢、大慢心穢、*慢慠心穢、放逸心穢。若有此二十一穢污於心者，必至惡處，生地獄中。」

[T1.575b14]「若有二十一穢不污心者，必至善處，生於天上。云何二十一穢，邪見心穢、非法欲心穢、惡貪心穢、邪法心穢、貪心穢、恚心穢、睡眠心穢、調悔心穢、疑惑心穢、瞋纏心穢、不語心心[7]穢、慳心穢、嫉心穢、欺誑心穢、諛諂心穢、無慙心穢、無愧心穢、慢心穢、大慢心穢、憍慠心穢、放逸心穢。若有此二十一穢不污心者，必至善處，生於天上，猶如白淨波羅奈衣持與染家，彼染家得，或以淳灰、或以澡豆、或以土漬極浣令淨，此白淨波羅奈衣，染家雖治或以淳灰、或以澡豆、或以土漬極浣令淨，然此白淨波羅奈衣本已淨而復淨，如是若有二十一穢不污心者，必至善處，生於天上。云何二十一穢，邪見心穢、非法欲心穢、惡貪心穢、邪法心穢、貪心穢、恚心穢、睡眠心穢、調悔心穢、疑惑心穢、瞋纏心穢、不語結心穢、慳心穢、嫉心穢、欺誑心穢、諛諂心穢、無慙心穢、無愧心穢、慢心穢、大慢心穢、憍慠心穢、放逸心穢。若有此二十一穢不污心者，必至善處，生於天上。」

[T1.575c04]「若知邪見是心穢者，知已便斷，如是非法欲心穢、惡貪心穢、邪法心穢、貪心穢、恚心穢、睡眠心穢、調悔心穢、疑惑心穢、瞋纏心穢、不語結心穢、慳心穢、嫉心穢、欺誑心穢、諛諂心穢、無慙心穢、無愧心穢、慢心

---

[1]〔所〕－【宋】【元】【明】
[2]　（尊）＋世尊【宋】【元】【明】
[3] 穢～Upakkilesa.
[4] 調＝掉【元】【明】＊
[5] 慢慠心＝憍慠心【宋】＊【元】＊【明】＊
[6] 此＝比【元】
[7] 心心＝結心【宋】【元】【明】

穢、大慢心穢、憍慢心穢，若知放逸是心穢者，知已便斷，彼心與慈俱，遍滿十[1]方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切與慈俱，無結、無怨、無恚、無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。如是，悲、喜心與捨俱，無結、無怨、無恚、無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，梵志，是謂洗浴內心，非浴外身。」

[T1.575c16] 爾時，梵志語世尊曰：「瞿曇！可詣多水河浴。」

[T1.575c17] 世尊問曰：「梵志，若詣多水河浴者，彼得何等？」

[T1.575c19] 梵志答曰：「瞿曇！彼多水河[2]者，此是世間齋潔之相[3]、度相、福*相，瞿曇！若詣多水河浴者，彼則淨除於一切惡。」

[T1.575c21] 爾時，世尊為彼梵志而說頌曰：「

妙好首梵志　若入多水河　是愚常遊戲　不能淨黑業
好首何往泉　何義多水河　人作不善業　清水何所益
淨者無垢穢　淨者常說戒　淨者清白業　常得清淨行
若汝不殺生　常不與不取[4]　真諦不妄語[5]　常正念正知
梵志如是學　一切眾生安　梵志何還家　家泉無所淨
梵志汝當學　淨洗以善法　何須弊惡水　但去身體垢
梵志白佛曰　我亦作是念　淨洗以善法　何須弊惡水
梵志聞佛教　心中大歡喜　即時禮佛足　歸命[6]佛法眾

[T1.576a10] 梵志白曰：「世尊！我已知，善逝，我已解，我今自歸佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.576a12] 佛說如是，好首水淨梵志及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.576a15] 水淨梵志經第七竟[7](一千二百一十字)[8]，

（九四）中阿含[1]穢品

---

[1] 十＝一【宋】【元】【明】
[2] 河＋（浴）【宋】【元】【明】
[3] 相＝想【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 與不＝不與【宋】【元】【明】
[5] 語＝言【宋】【元】【明】
[6] 命＝依【宋】【元】【明】
[7]〔水…竟〕－【明】
[8]〔一千…字〕－【宋】【元】【明】

(Ma.94)黑比丘經[2] 第八(第二小土城誦)[3]

[T1.576a18] 我聞如是。

[T1.576a18] 一時，佛遊舍衛國，在東園鹿母堂。

[T1.576a19] 是時，黑[4]比丘鹿母子常憙鬪諍，往詣佛所，世尊遙見黑比丘來，因黑比丘故，告諸比丘：「或有一人常喜鬪諍，不稱止諍。若有一人常喜鬪諍，不稱止諍者，此法不可樂，不可愛喜，不能令愛念，不能令敬重，不能令修習，不能令攝持，不能令得沙門，不能令得一意，不能令得涅槃。」

[T1.576a25]「或有一人惡欲，不稱止惡欲。若有一人惡欲，不稱止惡欲者，此法不可樂，不可愛憙，不能令愛念，不能令敬重，不得令修習，不能令攝持，不能令得沙門，不能令得一意，不能令得涅槃。」

[T1.576b01]「或有一人犯戒、越戒、缺戒、穿戒、污戒，不稱持戒。若有一人犯戒、越戒、缺戒、穿戒、污戒、不稱持戒者，此法不可樂，不可愛憙，不能令愛念、不能令敬重，不能令修習，不能令攝持，不能令得沙門，不能令得一意，不能令得涅槃。」

[T1.576b07] 或有一人有瞋纏、有不語結、有慳嫉、有諛諂欺誑、有無慙無愧，不稱慙愧。若有一人有瞋纏、有不語結、有慳嫉、有諛諂欺誑、有無慙無愧、不稱慙愧者，此法不可樂，不可愛憙，不能令愛念，不能令敬重，不能令修習，不能令攝持，不能令得沙門，不能令得一意，不能令得涅槃。」

[T1.576b13]「或有一人不經勞諸梵行，不稱經勞諸梵行。若有一人不經勞諸梵行，不稱經勞諸梵行者，此法不可樂，不可愛憙，不能令愛念，不能令敬重，不能令修習，不能令攝持，不能令得沙門，不能令得一意，不能令得涅槃。」

[T1.576b19] 「或有一人不觀諸法，不稱觀諸法。若有一人不觀諸法，不稱觀諸法者，此法不可樂，不可愛憙，不能令愛念，不能令敬重，不能令修習，不能令攝持，不能令得沙門，不能令得一意，不能令得涅槃。」

[T1.576b24]「或有一人不宴坐，不稱宴坐。若有一人不宴坐，不稱宴坐者，此法不可樂，不可愛憙，不能令愛念，不能令敬重，不能令修習，不能令攝持，不能令得沙門，不能令得一意，不能令得涅槃，此人雖作是念：令諸梵行者供

---

[1]〔中阿含〕－【明】
[2] ～A. X. 87. Adhikaraṇa.
[3]〔第二小土城誦〕－【明】
[4] [>黑]～Kālaka.

養、恭敬、禮事於我，然諸梵行者不供養、恭敬、禮事於彼。所以者何？彼人有此無量惡法，因彼有此無量惡法故，令諸梵行者不供養、恭敬、禮事於彼，猶如惡馬繫在櫪養，雖作是念：令人繫我著安隱處，與我好飲食、好看視我，然人不繫著安隱處，不與好飲食、不好看視。所以者何？彼馬有惡法，謂極麁弊、不溫良故，令人不繫著安隱處，不與好飲食、不好看視。如是，此人雖作是念：令諸梵行者供養、恭敬、禮事於我，然諸梵行者不供養、恭敬、禮事於彼。所以者何？彼人有此無量惡法，因彼有此無量惡法故，令諸梵行者不供養、恭敬、禮事於彼。」

[T1.576c13]「或有一人不憙鬪諍，稱譽止諍。若有一人不憙鬪諍，稱譽止諍者，此法可樂、可愛、可憙，能令愛念，能令敬重，能令修習，能令攝持，能令得沙門，能令得一意，能令得涅槃。」

[T1.576c17]「或有一人不惡欲，稱譽止惡欲。若有一人不惡欲，稱譽止惡欲者，此法可樂、可愛、可憙，能令愛念，能令敬重，能令修習，能令攝持，能令得沙門，能令得一意，能令得涅槃。」

[T1.576c21]「或有一人不犯戒、不越戒、不缺戒、不穿戒、不污戒，稱譽持戒。若有一人不犯戒、不越戒、不缺戒、不穿戒、不污戒，稱譽持戒者，此法可樂、可愛、可喜，能令愛念，能令敬重，能令修習，能令攝持，能令得沙門、能令得一意，能令得涅槃。」

[T1.576c26]「或有一人無瞋纏、無不語結、無慳嫉、無諛諂欺誑、無無[1]慙無愧，稱譽慙愧。若有一人無瞋纏、無不語結、無慳嫉、無諛諂欺誑、無*無慙無愧，稱譽慙愧者，此法可樂、可愛、可喜，能令愛念，能令敬重，能令修習，能令攝持，能令得沙門，能令得一意，能令得涅槃。」

[T1.577a04]「或有一人經勞諸梵行，稱譽經勞諸梵行。若有一人經勞諸梵行，稱譽經勞諸梵行者，此法可樂、可愛、可喜，能令愛念，能令敬重，能令修習，能令攝持，能令得沙門，能令得一意，能令得涅槃。」

[T1.577a08]「或有一人觀諸法，稱譽觀諸法。若有一人觀諸法，稱譽觀諸法者，此法可樂、可愛、可憙，能令愛念，能令敬重，能令修習，能令攝持，能令得沙門，能令得一意，能令得涅槃。」

[T1.577a12]「或有一人宴坐，稱譽宴坐。若有一人宴坐，稱譽宴坐者，此法可樂、可愛、可憙，能令愛念，能令敬重，能令修習，能令攝持，能令得沙門，能令得一意，能令得涅槃，此人雖不作是念：令諸梵行者供養、恭敬、禮事於

[1]〔無〕－【宋】＊【元】＊【明】＊

我，然諸梵行者供養、恭敬、禮事於彼。所以者何？彼人有此無量善法，因彼有此無量善法故，令諸梵行者供養、恭敬、禮事於彼，猶如良馬繫在櫪養，雖不作是念：令人繫我著安隱處，與我好飲食、好看視我，然人繫彼著安隱處，與好飲食、好看視之。所以者何？彼馬有善法，謂軟調好、極溫良故，令人繫著於安隱處，與好飲食、好看視之。如是，此人雖不作是念：令諸梵行者供養、恭敬、禮事於我，然諸梵行者供養、恭敬、禮事於彼。」

[T1.577a28] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.577b01] 黑[1]比丘經第八竟(一千五百二十七字)[2]，

（九五）中阿含[3]穢品

(Ma.95)住法經[4] 第九(第二小土城誦)[5]

[T1.577b04] 我聞如是。

[T1.577b04] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.577b05] 爾時，世尊告諸比丘：「我說退善法不住、不增，我說住善法不退、不增，我說增善法不退、不住。云何退善法不住、不增，比丘者。若有篤信、禁戒、博聞、布施、智慧、辯才，阿含及其所得，彼人於此法退不住、不增，是謂退善法不住、不增。云何住善法不退、不增，比丘者。若有篤信、禁戒、博聞、布施、智慧、辯才、阿含及其所得，彼人於此法住不退、不增，是謂住善法不退、不增。云何增善法不退、不住，比丘者。若有篤信、禁戒、博聞、布施、智慧、辯才、阿含及其所得，彼人於此法增不退、不住[6]，是謂增善法不退、不住。」

[T1.577b16]「比丘者，作如是觀，必多所饒益，我為多行增[7]伺，為多行無*增伺，我為多行瞋恚心，為多行無瞋恚心，我為多行睡眠纏，為多行無睡眠纏，我為多行調[8]、貢高、為多行無調、貢高，我為多行疑惑，為多行無疑惑，我為

---

[1]〔黑…竟〕－【明】
[2]〔一千…字〕－【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《增支部》A.10.53. Ṭhiti(止住)，參閱《增支部》A.10.17, 18 Nātha (救護)
[5]〔第二小土城誦〕－【明】
[6] 不住＝是謂【元】
[7] 增＝憎【宋】＊
[8] 調＝掉【元】【明】

多行身諍，為多行無身諍，我為多行穢污心，為多行無穢污心，我為多行信、為多行不信，我為多行精進，為多行懈怠，我為多行念，為多行無念，我為多行定，為多行無定，我為多行惡慧，為多行無惡慧。」

[T1.577b26] 「若比丘觀時則知我多行*增伺、瞋恚心、睡眠纏、*調、貢高、疑惑、身諍、穢污心、不信、懈怠、無念、無定、多行惡慧者，彼比丘欲滅此惡不善法故，便以速求方便，學極精勤，正念正智，忍不令退，猶人為火燒頭、燒衣，急求方便救頭、救衣，如是比丘欲滅此惡不善法故，便以速求方便，學極精勤，正念正智，忍不令退。」

[T1.577c04]「若比丘觀時則知我多行無貪[1]伺、若無瞋恚心、無睡眠纏、無調貢高、無疑惑、無身諍、無穢污心、有信、有進、有念、有定、多行無惡慧者，彼比丘欲住此善法，不忘、不退修行廣布故，便以速求方便，學極[2]精勤，正念正智，忍不令退，猶人為火燒頭、燒衣，急求方便救頭、救衣，如是比丘欲住此善法，不忘、不退修行廣布故[3]，便以速求方便，學極精勤，正念正智，忍不令退。」

[T1.577c13] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.577c14] 住法經第九竟[4](六百三十一字)[5]，

（九六）中阿含[6]穢品

(Ma.96)無經[7] 第十(第二小土城誦)[8]

[T1.577c16] 我聞如是。

[T1.577c16] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.577c17] 爾時，尊者舍梨子告諸比丘：「諸賢。若有比丘、比丘尼未聞法者不得聞，已聞法者便忘失，若使有法本所修行，廣布誦習，慧之所解，彼不復憶，知而不知。諸賢！是謂比丘、比丘尼淨法衰退。」

---

[1] 貪＝憎【宋】，＝增【元】【明】＊
[2]〔極〕－【宋】【元】【明】
[3] 故＝方【宋】【元】【明】
[4]〔住…竟〕－【明】
[5]〔六…字〕－【宋】【元】【明】
[6]〔中阿含〕－【明】
[7] ～《增支部》A.10.55. Parihāna(衰退)
[8]〔第二小土城誦〕－【明】

[T1.577c21]「諸賢！若有比丘、比丘尼未聞法者便得聞，已聞法者不忘失，若使有法本所修行，廣布誦習，慧之所解，彼常憶念，知而復知，是謂比丘、比丘尼淨法轉增。」

[T1.577c25]「諸賢！比丘者，當作如是觀，我為有*增伺，為無有*增伺，我為有瞋恚心，為無有瞋恚心，我為有睡眠纏，為無有睡眠纏，我為有*調、貢高，為無有調、貢高，我為有疑惑，為無有疑惑，我為有身諍，為無有身諍，我為有穢污心，為無有穢污心，我為有信，為無有信，我為有進，為無有進，我為有念，為無有念，我為有定，為無有定，我為有惡慧，為無有惡慧。」

[T1.578a04]「諸賢！若比丘觀時則知，我有*增伺、有瞋恚心、有睡眠纏、有*調貢高、有疑惑、有身諍、有穢污心，無信、無進、無念、無定有惡慧者。諸賢！彼比丘欲滅此惡不善法故，便以速求方便，學極精勤，正念正智，忍不令[1]退。諸賢！猶人為火燒頭、燒衣，急求方便救頭、救衣。諸賢！如是比丘欲滅此惡不善法故，便以速求方便，學極精勤，正念正智，忍不令退。」

[T1.578a12]「諸賢！若比丘觀時則知，我無*增伺、無瞋恚心、無睡眠纏、無*調貢高、無有疑惑、無有身諍、無穢污心，有信、有進、有念、有定、無惡慧者，彼比丘欲住此善法，不忘不退，修行廣布故，便以速求方便，學極精勤，正念正智，忍不令退，猶人為火燒頭、燒衣，急求方便救頭、救衣。諸賢！如是比丘欲住此善法，不忘不退，修行廣布故，便以速[2]求方便，學極精勤，正念正智，忍不令退。」

[T1.578a21] 尊者舍梨子所說如是，彼諸比丘聞尊者舍梨子所說，歡喜奉行。

[T1.578a23] 無經第十竟[3](五百六十八字)[4]，

中阿含經卷第二十三(八千六百五十八字)[5]

中阿含穢品[6]第三[7]竟(萬六千一百四字)[8](第二小土城誦)[9]，

---

[1] 令＝念【宋】【元】
[2]〔速〕－【宋】【元】【明】
[3]〔無…竟〕－【明】
[4]〔五…字〕－【宋】【元】【明】
[5]〔八…字〕－【宋】【元】【明】
[6] 品末題在卷末題前行【宋】【元】【明】，〔中阿含〕－【明】
[7] 三＝八【明】
[8]〔萬…字〕－【宋】【元】【明】
[9]〔第二小土城誦〕－【明】，（第二小土城誦）六字在卷末題下【宋】【元】

中阿含經

卷第二十四(Ma.97~98)

中阿含經卷第二十四

東晉罽賓三藏瞿曇僧伽提婆譯

因品第四 [1](有十經)(第二小土城誦)[2]

因、[止>處]、二苦 [3]陰　　增上心、及念　師子吼、優曇　　願、想最在後

（九七）中阿含 [4]因品

(Ma.97)大因經 [5] 第一

[T1.578b08] 我聞如是。

[T1.578b08] 一時，佛遊拘樓瘦 [6]，在劍磨瑟曇 [7]拘樓都邑。

[T1.578b09] 爾時，尊者阿難閑居獨處，宴坐思惟，心作是念：「此緣起甚奇，極甚深，明亦甚深，然我觀見至淺至淺。」於是，尊者阿難則於晡時從宴坐起，往詣佛所，稽首佛足，却住一面，白曰：「世尊！我今閑居獨處，宴坐思惟，心作是念：此緣起 [8]甚奇，極甚深，明亦甚深，然我觀見至淺至淺。」

[T1.578b15] 世尊告曰：「阿難！汝莫作是念：此緣起至淺至淺。所以者何？此緣起極甚深，明亦甚深。阿難！於此緣起不知如真，不見如實，不覺不達故，

---

[1] 四＝九【明】
[2] 第二小土城誦 在卷題下【宋】【元】
[3] 二苦＝處二【宋】【元】【明】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～《長部 15 經》Mahā-Nidāna-Suttanta(大緣經)，《長阿含 13 經》大緣方便經(大正 1.60a)，No.14.《佛說人本欲生經》(大正 1.241c)，No.52.《佛說大生義經》(大正 1.844b)，No.124.《緣起經》(大正 2.547b)
[6] [>拘樓瘦]～Kurūsu.
[7] [>劍磨瑟曇]～Kammāsadhamma.
[8] 緣起～Paṭicca-samuppāda.

念[9]彼眾生如織機相鎖，如蘊[1]蔓草，多有調[2]亂，忽忽喧鬧，從此世至彼世，從彼世至此世，往來不能出過生死，阿難！是故知此緣起極甚深，明亦甚深。」

[T1.578b22]「阿難！若有問者，老死有緣耶[3]，當如是答，老死有緣。若有問者，老死有何緣，當如是答，緣於生[4]也。阿難！若有問者，生有緣耶？當如是答，生亦有緣。若有問者，生有何緣，當如是答，緣於有[5]也。阿難！若有問者，有有緣耶？當如是答，有亦有緣。若有問者，有有何緣，當如是答，緣於受[6]也。阿難！若有問者，受有緣耶？當如是答，受亦有緣。若有問者，受有何緣，當如是答，緣於愛[7]也。阿難！是為緣愛有受，緣受有有，緣有有生，緣生有老死，緣老死有愁慼，啼哭、憂苦、懊惱皆緣老死有，如此具足純生大苦陰。」

[T1.578c06]「阿難！緣生有老死者，此說緣生有老死，當知所謂緣生有老死。阿難！若無生，魚、魚種，鳥、鳥種，蚊[8]、蚊種，龍、龍種，神、神種，鬼、鬼種，天、天種，人、人種。阿難！彼彼眾生隨彼彼處，若無生，各各無生者，設使離生，當有老死耶？」

[T1.578c11] 答曰：「無也。」

[T1.578c11]「阿難！是故當知是老死因、老死習、老死本、老死緣者，謂此生也。所以者何？緣生故則有老死。阿難！緣有有生者，此說緣有有生，當知所謂緣有有生。阿難！若無有，魚、魚種，鳥，鳥種，蚊、蚊種，龍、龍種，神、神種，鬼、鬼種，天、天種，人、人種。阿難！彼彼眾生隨彼彼處無有，各各無有者，設使離有，當有生耶？」

[T1.578c18] 答曰：「無也。」

[T1.578c18]「阿難！是故當知是生因、生習、生本、生緣者，謂此有也。所以者何？緣有故則有生。阿難！緣受有有者，此說緣受有有，當知所謂緣受有有。阿難！若無受，各各無受者，設使離受，當復有有，施設有有耶？」

[T1.578c23] 答曰：「無也。」

---

[9] 念＝令【宋】【元】【明】
[1]〔蘊〕－【宋】【元】【明】
[2] 調＝稠【宋】【元】【明】
[3] 老死有緣耶～Atthi idappaccayā jarā-maraṇam.
[4] 生～Jāti.
[5] 有～Bhava.
[6] 受～Upādāna.
[7] 愛～Taṇhā.
[8] 蚊＝蛟【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.578c23]「阿難！是故當知是有因、有習、有本、有緣者，謂此受也。所以者何？緣受故則有有。阿難！緣愛有受者，此說緣愛有受，當知所謂緣愛有受。阿難！若無愛，各各無愛者，設使離愛，當復有受立於受耶？」

[T1.578c27] 答曰：「無也。」

[T1.578c28]「阿難！是故當知是受因、受習、受本、受緣者，謂此愛也。所以者何？緣愛故則有受。阿難！是為緣愛有求[1]，緣求有利[2]，緣利有分[3]，緣分有染染欲[4]，緣染欲有著[5]，緣著有慳[6]，緣慳有家[7]，緣家有守[8]。阿難！緣守故便便有刀杖，鬪諍、諛諂、欺誑、妄言、兩舌，起無量惡不善之法，有如此具足純生大苦陰。阿難！若無守，各各無守者，設使離守，當有刀杖、鬪諍、諛諂、欺誑、妄言、兩舌，起無量惡不善之法耶？」

[T1.579a08] 答曰：「無也。」

[T1.579a08]「阿難！是故當知是刀杖、鬪諍、諛諂、欺誑、妄言、兩舌，起無量惡不善之法，因是習、是本、是緣者，謂此守也。所以者何？緣守故則有刀杖、鬪諍、諛諂、欺誑、妄言、兩舌，起無量惡不善之法，有如此具足純生大苦陰。阿難！緣家有守者，此說緣家有守，當知所謂緣家有守。阿難！若無家，各各無家者，設使離家，當有守耶？」

[T1.579a15] 答曰：「無也。」

[T1.579a16]「阿難！是故當知是守因、守習、守本、守緣者，謂此家也。所以者何？緣家故則有守。阿難！緣慳有家者，此說緣慳有家，當知所謂緣慳有家。阿難！若無慳，各各無慳者，設使離慳，當有家耶？」

[T1.579a20] 答曰：「無也。」

[T1.579a20]「阿難！是故當知是家因、家習、家本、家緣者，謂此慳也。所以者何？緣慳故則有家。阿難！緣著有慳者，此說緣著有慳，當知所謂緣著有慳。阿難！若無著，各各無著者，設使離著，當有慳耶？」

[T1.579a25] 答曰：「無也。」

---

[1] 求～Pariyesanā.
[2] 利～Lābha.
[3] 分～Vinicchaya.
[4] 染欲～Chanda-rāga.
[5] 著～Ajjhosāna.
[6] 慳～Pariggaha.
[7] 家～Macchariya.
[8] 守～Ārakkha

[T1.579a25]「阿難！是故當知是慳因、慳習、慳本、慳緣者，謂此著也。所以者何？緣著故則有慳。阿難！緣欲有著者，此說緣欲有著，當知所謂緣欲有著。阿難！若無欲，各各無欲者，設使離欲，當有著耶？」

[T1.579a29] 答曰：「無也。」

[T1.579b01]「阿難！是故當知是著因、著習、著本、著緣者，謂此欲也。所以者何？緣欲故則有著。阿難！緣分有染欲者，此說緣分有染欲，當知所謂緣分有染欲。阿難！若無分，各各無分者，設使離分，當有染欲耶？」

[T1.579b05] 答曰：「無也。」

[T1.579b06]「阿難！是故當知是染欲因、染欲習、染欲本、染欲緣者，謂此分也。所以者何？緣分故則有染欲。阿難！緣利有分者此說緣利有分，當知所謂緣利有分。阿難！若無利，各各無利者，設使離利，當有分耶？」

[T1.579b10] 答曰：「無也。」

[T1.579b10]「阿難！是故當知是分因、分習、分本、分緣者，謂此利也。所以者何？緣利故則有分。阿難！緣求有利者，此說緣求有利，當知所謂緣求有利。阿難！若無求，各各無求者，設使離求，當有利耶？」

[T1.579b15] 答曰：「無也。」

[T1.579b15]「阿難！是故當知是利因、利習、利本、利緣者，謂此求也。所以者何？緣求故別[1]有利。阿難！緣愛有求者，此說緣愛有求，當知所謂緣愛有求。阿難！若無愛，各各無愛者，設使離愛，當有求耶？」

[T1.579b20] 答曰：「無也。」

[T1.579b20]「阿難！是故當知是求因、求習、求本、求緣者，謂此愛也。所以者何？緣愛故則有求。阿難！欲愛[2]及有愛[3]，此二法因覺[4]、緣覺致來，阿難！若有問者，覺有緣耶？當如是答，覺亦有緣。若有問者，覺有何緣，當如是答，緣更樂[5]也。當知所謂緣更樂有覺。阿難！若無有眼更樂，各各無眼更樂者，設使離眼更樂，當有緣眼更樂生樂覺、苦覺、不苦不樂覺耶？」

---

[1] 別＝則【宋】【元】【明】
[2] 欲愛～Kāma-taṇhā.
[3] 有愛～Bhava-taṇhā.
[4] 覺～Vedanā.
[5] 更樂～Phassa.

[T1.579b28] 答曰：「無也。」

[T1.579b28]「阿難！若無耳、鼻、舌、身、意更樂，各各無意更樂者，設使離意更樂，當有緣意更樂生樂覺、苦覺、不苦不樂覺耶？」

[T1.579c02] 答曰：「無也。」

[T1.579c02]「阿難！是故當知是覺因、覺習、覺本、覺緣者，謂此更樂也。所以者何？緣更樂故則有覺，阿難！若有問者，更樂有緣耶？當如是答，更樂有緣。若有問者，更樂有何緣，當如是答，緣名色[1]也。當知所謂緣名色有更樂。阿難！所行、所緣有名身，離此行、離此緣有有對更樂耶？」

[T1.579c08] 答曰：「無也。」

[T1.579c09]「阿難！所行、所緣有色身，離此行、離此緣有增語更樂耶？」

[T1.579c10] 答曰：「無也。」

[T1.579c10] 設使離名身及色身，當有更樂施設更樂耶？」

[T1.579c11] 答曰：「無也。」

[T1.579c12]「阿難！是故當知是更樂因、更樂習、更樂本、更樂緣者，謂此名色也。所以者何？緣名色故則有更樂，阿難！若有問者，名色有緣耶？當如是答，名色有緣。若有問者，名色有何緣，當如是答，緣識[2]也。當知所謂緣識有名色。阿難！若識不入母胎者，有名色成此身耶？」

[T1.579c18] 答曰：「無也。」

[T1.579c18]「阿難！若識入胎即出者，名色會精耶？」

[T1.579c19] 答曰：「不會。」

[T1.579c19]「阿難！若幼童男童女識初斷壞不有者，名色轉增長耶？」

[T1.579c21] 答曰：「不也。」

[T1.579c21]「阿難！是故當知是名色因、名色習、名色本、名色緣者，謂此識也。所以者何？緣識故則有名色，阿難！若有問者，識有緣耶？當如是答，識

---

[1] 名色～Nāmarūpa.

[2] 識～Viññāna.，（於）＋識【宋】【元】【明】

亦有緣。若有問者，識有何緣，當如是答，緣名色也。當知所謂緣名色有識。阿難！若識不得名色，若識不立、不倚[1]名色者，識寧有生、有老、有病、有死、有苦耶？」

[T1.579c28] 答曰：「無也。」

[T1.579c28]「阿難！是故當知是識因、識習、識本、識緣者，謂此名色也。所以者何？緣名色故則有識。阿難！是為緣名色有識，緣識亦有名色，由是增語，增語說傳，傳說可施設有，謂識、名色共俱也。阿難！云何有一見有神耶？」

[T1.580a04] 尊者阿難白世尊曰：「世尊為法本，世尊為法主，法由世尊！唯願說之，我今聞已，得廣知義。」

[T1.580a06] 佛便告曰：「阿難！諦聽，善思念之，我當為汝分別其義，尊者阿難受教而聽。」

[T1.580a08] 佛言：「阿難！或有一見覺是神，或復有一不見覺是神，見神能覺，然神法能覺，或復有一不見覺是神，亦不見神能覺，然神法能覺，但見神無所覺，阿難！若有一見覺是神者，應當問彼，汝有三覺樂覺、苦覺、不苦不樂覺，汝此三覺為見何覺是神耶？阿難！當復語彼。若有覺樂覺者，彼於爾時二覺滅苦覺、不苦不樂覺，彼於爾時唯覺樂覺，樂覺者，是無常法、苦法、滅法，若樂覺已滅，彼不作是念：非為神滅耶？阿難！若復有一覺苦覺者，彼於爾時二覺滅樂覺、不苦不樂覺，彼於爾時唯覺苦覺，苦覺者，是無常法、苦法、滅法，若苦覺已滅，彼不作是念：非為神滅耶？阿難！若復有一覺不苦不樂覺者，彼於爾時二覺滅樂覺、苦覺，彼於爾時唯覺不苦不樂覺，不苦不樂覺者，是無常法、苦法、滅法，若不苦不樂覺已滅，彼不作是念：非為神滅耶？阿難！彼如是無常法但離[2]苦樂，當復見覺是神耶？」

[T1.580a27] 答曰：「不也。」

[T1.580a27]「阿難！是故彼如是無常法但*離苦樂，不應復見覺是神也。阿難！若復有一不見覺是神，然神能覺，見神法能覺者，應當語彼，汝若無覺者，覺[3]不可得，不應說是我所有。阿難！彼當復如是見覺不是神，然神能覺，見神法能覺耶？」

[T1.580b03] 答曰：「不也。」

---

[1] 倚＝猗【宋】
[2] 離＝雜【宋】＊【元】＊【明】＊
[3]〔覺〕－【宋】【元】【明】

[T1.580b04]「阿難！是故彼不應如是見覺非神，神能覺，見神法能覺。阿難！若復有一不見覺是神，亦不見神能覺，然神法能覺，但見神無所覺者，應當語彼，汝若無覺都不可得，神離覺者，不應神清淨。阿難！彼當復見覺非神，亦不見神能覺、神法能覺，但見神無所覺耶？」

[T1.580b10] 答曰：「不也。」

[T1.580b10]「阿難！是故彼不應如是見覺非神，亦不見神能覺、神法能覺，但見神無所覺，是謂有一見有神也。阿難！云何有一不見有神耶？」

[T1.580b13] 尊者阿難白世尊曰：「世尊為法本，世尊為法主，法由世尊！唯願說之，我今聞已，得廣知義。」

[T1.580b15] 佛便告曰：「阿難！諦聽，善思念之，我當為汝分別其義，尊者阿難受教而聽。」

[T1.580b17] 佛言：「阿難！或有一不見覺是神，亦不見神能覺，然神法能覺，亦不見神無所覺，彼如是不見已，則不受此世間，彼不受已，則不疲勞，不疲勞已，便般涅槃，我生已盡，梵行已立，所作[1]已辦，不更[2]受有，知如真。阿難！是謂增語，增語說傳，傳說可施設有，知是者，則無所受。阿難！若比丘如是正解脫者，此不復有見如來終，見如來不終，見如來終、不終，見如來亦非終亦非不終，是謂有一不見有神也。阿難！云何有一有神施設而施設耶？」

[T1.580b27] 尊者阿難白世尊曰：「世尊為法本，世尊為法主，法由世尊！唯願說之，我今聞已，得廣知義。」

[T1.580c01] 佛便告曰：「阿難！諦聽，善思念之，我當為汝分別其義，尊者阿難受教而聽。」

[T1.580c02] 佛言：「阿難！或有一少色是神施設而施設，或復有一非少色是神施設而施設，無量色是神施設而施設，或復有一非少色是神施設而施設，亦非無量色是神施設而施設，少無色是神施設而施設，或復有一非少色是神施設而施設，亦非無量色是神施設而施設，亦非少無色是神施設而施設，無量無色是神施設而施設。」

[T1.580c10]「阿難！若有一少色是神施設而施設者，彼今少色是神施設而施設，身壞命終，亦如是說、亦如是見，有神若離少色時，亦如是如是思，彼作如是念。阿難！如是有一少色是神施設而施設，如是有一少色是神見著而著。」

---

[1] 作＝非【宋】
[2] 更＝臾【元】

[T1.580c15]「阿難！若復有一非少色是神施設而施設，無量色是神施設而施設者，彼今無量色是神施設而施設，身壞命終，亦如是說、亦如是見，有神若離無量色時，亦如是如是思，彼作如是念。阿難！如是有一無量色是神施設而施設，如是無量色是神見著而著。」

[T1.580c21]「阿難！若復有一非少色是神施設而施設，亦非無量色是神施設而施設，少無色是神施設而施設者，彼今少無色是神施設而施設，身壞命終，亦如是說、亦如是見，有神若離少無色時，亦如是如是思，彼作如是念。阿難！如是有一少無色是神施設而施設，如是有一少無色是神見著而著。」

[T1.580c28]「阿難！若復有一非少色是神施設而施設，亦非無量色是神施設而施設，亦非少無色是神施設而施設，無量無色是神施設而施設者，彼今無量無色是神施設而施設，身壞命終，亦如是說、亦如是見，有神若離無量無色時，亦如是如是思，彼作如是念。阿難！如是有一無量無色是神施設而施設，如是有一無量無色是神見著而著，是謂有一有神施設而施設也。」

[T1.581a08]「阿難！云何有一無神施設而施設耶？」

[T1.581a09] 尊者阿難白世尊曰：「世尊為法本，世尊為法主，法由世尊！唯願說之，我今聞已，得廣知義。」

[T1.581a11] 佛便告曰：「阿難！諦聽，善思念之，我當為汝分別其義。」尊者阿難受教而聽。

[T1.581a13] 佛言：「阿難！或有一非少色是神施設而施設，亦非無量色是神施設而施設，亦非少無色是神施設而施設，亦非無量無色是神施設而施設，阿難！若有一非少色是神施設而施設者，彼非今少色是神施設而施設，身壞命終，亦不如是說、亦不如是見，有神若離少色時，亦不如是如是思，亦不作如是念。阿難！如是有一非少色是神施設而施設，如是有一非少色是神不見著而著。」

[T1.581a22]「阿難！若復有一非無量色是神施設而施設者，彼非今無量色是神施設而施設，身壞命終，亦不如是說、亦不如是見，有神若離無量色時，亦不如是如是思，亦不作如是念。阿難！如是有一非無量色是神施設而施設，如是有一非無量色是神不見著而著。」

[T1.581a28]「阿難！若復有一非少無色是神施設而施設者，彼非今[1]少無色是神施設而施設，身壞命終，亦不如是說、亦不如是見，有神若離少無色時，亦不

[1] 今＝令【元】

如是如是思，亦不作如是念。阿難！如是有一非少無色是神施設而施設，如是有一非少無色是神不見著而著。」

[T1.581b05]「阿難！若復有一非無量無色是神施設而施設者，彼非今無量無色是神施設而施設，身壞命終，亦不如是說、亦不如是見，有神若離無量無色時，亦不如是如是思，亦不作如是[1]念。阿難！如是有一非無量無色是神施設而施設，如是有一非無量無色是神不見著而著。阿難！是謂有一無神施設而施設也。」

[T1.581b12]「復次。阿難！有七識住[2]及二處[3]。云何七識住，有色眾生若干身、若干想，謂人及欲天，是謂第一識住。復次。阿難！有色眾生若干身、一想，謂梵天初生不夭壽，是謂第二識住。復次。阿難！有色眾生一身、若干想，謂晃昱天[4]，是謂第三識住。復次。阿難！有色眾生一身、一想，謂遍淨天[5]，是謂第四識住。復次。阿難！有無色眾生度一切色想，滅有對想，不念若干想，無量空處，是[6]空處成就遊，謂無量空處天，是謂第五識住。復次。阿難！有無色眾生度一切無量空處，無量識處，是識處成就遊[7]，謂無量識處天，是謂第六識住。復次。阿難！有無色眾生度一切無量識處，無所有處，是無所有處成就遊[8]，謂無所有處天，是謂第七識住。」

[T1.581b27]「阿難！云何有二處，有色眾生無想無覺，謂無想天[9]，是謂第一處。復次。阿難！有無色眾生度一切無所有處，非有想非無想處，是非有想非無想處[10]成就遊，謂非有想非無想處天，是謂第二處。阿難！第一識住者，有色眾生若干身、若干想，謂人及欲天。若有比丘知彼識住、知識住習[11]，知滅、知味、知患、知出要如真。阿難！此比丘寧可樂彼識住，計著住彼識住耶？」

[T1.581c06] 答曰：「不也。」

[T1.581c06]「阿難！第二識住者，有色眾生若干身、一想，謂梵天初生不夭壽。若有比丘知彼識住、知識住*習，知滅、知味、知患、知出要如真。阿難！此比丘寧可樂彼識住，計著住彼識住耶？」

---

[1] 作如是＝如是作【明】
[2] 七識住～Satta viññānaṭṭhitiyo.
[3] 二處～Dve āyatanāni.
[4] [>晃昱天]～Ābhassara.
[5] [>遍淨天]～Subbakiṇṇā.
[6] 是＋（無量）【宋】＊【元】＊【明】＊，無量空處成就遊～Akāsânancâyatanucircpagā.
[7] （無量）識處成就遊～Viññāṇañcâyatanupagā.
[8] 無所有處成就遊～Ākiñcaññâyatanucircpagā.
[9] [>無想天]～Asaññasattâyatana.
[10] 非有想非無想處～Nevasaññā-nâsaññâyatana.
[11] 習＝集【元】【明】＊

[T1.581c10] 答曰：「不也。」

[T1.581c11]「阿難！第三識住者，有色眾生一身、若干想，謂晃昱天。若有比丘知彼識住、知識住習，知滅、知味、知患、知出要如真。阿難！此比丘寧可樂彼識住，計著住彼識住耶？

[T1.581c14] 答曰：「不也。」

[T1.581c15]「阿難！第四識住者，有色眾生一身、一想，謂遍淨天。若有比丘知彼識住、知識住習，知滅、知味、知患、知出要如真。阿難！此比丘寧可樂彼識住，計著住彼識住耶？

[T1.581c18] 答曰：「不也。」

[T1.581c19]「阿難！第五識住者，無色眾生度一切色想，滅有對想，不念若干想，無量空處，*是空處成就遊，謂無量空處天。若有比丘知彼識住、知識住*習，知滅、知味、知患、知出要如真。阿難！此比丘寧可樂彼識住，計著住彼識住耶？」

[T1.581c24] 答曰：「不也。」

[T1.581c24]「阿難！第六識住者，無色眾生度一切無量空處，無量識處，*是識處成就遊，謂無量識處天。若有比丘知彼識住、知識住*習，知滅、知味、知患、知出要如真。阿難！此比丘寧可樂彼識住，計著住彼識住耶？」

[T1.581c29] 答曰：「不也。」

[T1.581c29]「阿難！第七識住者，無色眾生度一切無量識處，無所有處，是無所有處成就遊，謂無所有處天。若有比丘知彼識住、知識住*習，知滅、知味、知患、知出要如真。阿難！此比丘寧可樂彼識住，計著住彼識住耶？」

[T1.582a05] 答曰：「不也。」

[T1.582a05]「阿難！第一處者，有色眾生無想無覺，謂無想天。若有比丘知彼處、知彼處*習，知滅、知味、知患、知出要如真。阿難！此比丘寧可樂彼處，計著住彼處耶？」

[T1.582a09] 答曰：「不也。」

[T1.582a09]「阿難！第二處者，無色眾生度一切無所有處，非有想非無想處，是非有想非無想處成就遊，謂非有想非無想處天。若有比丘知彼處、知彼處*習，知滅、知味、知患、知出要如真。阿難！此比丘寧可樂彼處，計著住彼處耶？」

[T1.582a14] 答曰：「不也。」

[T1.582a14]「阿難！若有比丘彼七識住及二處知如真，心不染著，得解脫者，是謂比丘阿羅訶，名慧解脫。」

[T1.582a17]「復次。阿難！有八解脫。云何為八？色觀色，是謂第一解脫。復次，內無色想外觀色，是謂第二解脫。復次，淨解脫身作證成就遊，是謂第三解脫。復次，度一切色想，滅有對想，不念若干想，無量空處，是無量空處成就遊，是謂第四解脫。復次，度一切無量空處，無量識處，是無量識處成就遊，是謂第五解脫。復次，度一切無量識處，無所有處，是無所有處成就遊，是謂第六解脫。復次，度一切無所有處，非有想非無想處，是非有想非無想處成就遊，是謂第七解脫。復次，度一切非有想非無想處，想知滅解脫身作證成就遊，及慧觀諸漏盡知，是謂第八解脫，阿難！若有比丘彼七識住及二處知如真，心不染著，得解脫，及此八解脫，順逆身作證成就遊，亦慧觀諸漏盡者，是謂比丘阿羅訶，名俱解脫。」

[T1.582b04] 佛說如是，尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.582b06] 大因經第一竟[1](五千四百七十二字)[2]，

（九八）中阿含[3]因品

(Ma.98)念處經[4] 第二(第二小土城誦)[5]

[T1.582b08] 我聞如是。

[T1.582b08] 一時，佛遊拘樓瘦[6]，在劒磨瑟曇[7]拘樓都邑。」

---

[1]〔大…竟〕－【明】
[2]〔五…字〕－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《中部》M. 10. Satipaṭṭhāna sutta. (念處經)，《長部 22 經》大念處經(其 18~21 本經缺)，參閱《增壹阿含 12.1 經》(大正 2.567c)
[5]〔第二小土城誦〕－【明】
[6] [>拘樓瘦]～Kurūsu.
[7] [>劒磨瑟曇]～Kammāsadhamma.

[T1.582b09] 爾時，世尊告諸比丘：「有一道淨眾生，度憂畏，滅苦惱，斷啼哭，得正法，謂四念處[1]。若有過去諸如來、無所著、等正覺悉斷五蓋、心穢、慧羸，立心正住於四念處，修七覺支，得覺無上正盡之覺。若有未來諸如來、無所著、等正覺悉斷五蓋、心穢、慧羸，立心正住於四念處，修七覺支，得覺無上正盡之覺，我今現在如來、無所著、等正覺，我亦斷五蓋、心穢、慧羸，立心正住於四念處，修七覺支，得覺無上正盡之覺。」

[T1.582b18]「云何為四？觀身如身念處，如是觀覺心法[2]如法念處。云何觀身如身念處，比丘者，行則知行，住則知住，坐則知坐，臥則知臥，眠則知眠，寤則知寤，眠[寐>寤]則知眠寤，如是比丘觀內身如身，觀外身如身，立念在身，有知有見，有明有達，是謂比丘觀身如身。復次，比丘觀身如身，比丘者，正知[3]出入，善觀分別，屈伸低昂[4]，儀容庠序，善著僧伽梨及諸衣鉢，行住坐臥，眠寤語默皆正知之，如是比丘觀內身如身，觀外身如身，立念在身，有知有見，有明有達，是謂比丘觀身如身。」

[T1.582b29]「復次，比丘觀身如身，比丘者，生惡不善念，以善法念治斷滅止，猶木工師、木工弟子，彼持墨繩，用拼[5]於木，則以利斧斫治令直，如是比丘生惡不善念，以善法念治斷滅止，如是比丘觀內身如身，觀外身如身，立念在身，有知有見，有明有達，是謂比丘觀身如身。復次，比丘觀身如身，比丘者，齒齒相著，舌逼上齶，以心治心，治斷滅止，猶二力士捉一羸人，處處捉旋，自在打鍛，如是比丘齒齒相著，舌逼上齶，以心治心，治斷滅止，如是比丘觀內身如身，觀外身如身，立念在身，有知有見，有明有達，是謂比丘觀身如身。」

[T1.582c12]「復次，比丘觀身如身，比丘者，念入息即知念入息，念出息即知念出息，入息長即知入息長，出息長即知出息長，入息短即知入息短，出息短即知出息短，學[6]一切身息入，[覺>學]一切身息出，學止身行息入，學止口行息出，如是比丘觀內身如身，觀外身如身，立念在身，有知有見，有明有達，是謂比丘觀身如身。」

[T1.582c20]「復次，比丘觀身如身，比丘者，離生喜樂，漬[7]身潤澤，普遍充滿於此身中，離生喜樂無處不遍，猶工浴人器盛澡豆，水和成摶[8]，水漬潤澤，普遍充滿無處不周，如是比丘離生喜樂，漬身潤澤，普遍充滿於此身中，離生喜

---

[1] 四念處～Cattāro satipaṭṭhāna.
[2] 如是觀覺心法＝如是覺心觀法【宋】【元】，＝觀覺如覺念處觀心如心念處觀法十四字【明】
[3] 知＝如【元】【明】
[4] 昂＝仰【宋】【元】【明】
[5] 拼＝絣【宋】【元】【明】
[6] 學＝覺【宋】【元】【明】
[7] 漬＝清【宋】
[8] 摶＝團【宋】【元】【明】

樂無處不遍，如是比丘觀內身如身，觀外身如身，立念在身，有知有見，有明見達，是謂比丘觀身如身。」

[T1.582c27]「復次，比丘觀身如身，比丘者，定生喜樂，漬身潤澤，普遍充滿於此身中，定生喜樂無處不遍，猶如山泉，清淨不濁，充滿流溢，四方水來，無緣得入，即彼泉底，水自涌出，流溢於外，漬山潤澤，普遍充滿無處不周，如是比丘定生喜樂，漬身潤澤，普遍充滿於此身中，定生喜樂無處不遍，如是比丘觀內身如身，觀外身如身，立念在身，有知有見，有明有達，是謂比丘觀身如身。」

[T1.583a07]「復次，比丘觀身如身，比丘者，無喜生樂，漬身潤澤，普遍充滿於此身中，無喜生樂無處不遍，猶青蓮華，紅、赤、白蓮，水生水長，在於水底，彼根莖華葉悉漬潤澤，普遍充滿無處不周，如是比丘無喜生樂，漬身潤澤，普遍充滿於此身中，無喜生樂無處不遍，如是比丘觀內身如身，觀外身如身，立念在身，有知有見，有明有達，是謂比丘觀身如身。」

[T1.583a14]「復次，比丘觀身如身，比丘者，於此身中，以清淨心意解遍滿成就遊，於此身中，以清淨心無處不遍，猶有一人，被七肘衣或八肘衣，從頭至足，於其身體無處不覆，如是比丘於此身中，以清淨心無處不遍，如是比丘觀內身如身，觀外身如身，立念在身，有知有見，有明有達，是謂比丘觀身如身。」

[T1.583a21]「復次，比丘觀身如身，比丘者，念光明想，善受善持，善憶所念，如前後亦然，如後前亦然，如晝夜亦然，如夜晝亦然，如下上亦然，如上下亦然，如是不顛倒，心無有纏，修光明心，心終不為闇之所覆，如是比丘觀內身如身，觀外身如身，立念在身，有知有見，有明有達，是謂比丘觀身如身。」

[T1.583a28]「復次，比丘觀身如身，比丘者，善受觀相，善憶所念，猶如有人，坐觀臥人，臥觀坐人，如是比丘善受觀相，善憶所念，如是比丘觀內身如身，觀外身如身，立念在身，有知有見，有明有達，是謂比丘觀身如身。」

[T1.583b04]「復次，比丘觀身如身，比丘者，此身隨住，隨其好惡，從頭至足，觀見種種不淨充滿，我此身中有髮、髦[1]、爪、齒、麁細[2]薄膚、皮、肉、筋、骨、心、腎、肝、肺、大腸、小腸、脾、胃、摶糞、腦及腦根、淚、汗、涕、唾、膿、血、肪、髓、涎、膽[3]、小便，猶如器盛若干種子，有目之士，悉見分明，謂稻、粟種、蔓[4]菁、芥子，如是比丘此身隨住，隨其好惡，從頭至足，觀

[1] 髦＝毛【明】＊
[2] 麁細＝塵網【宋】＊
[3] 膽＝痰【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 蔓＝蒿【宋】，＝菘【元】【明】

見種種不淨充滿，我此身中有髮、*髦、爪、齒、麤細薄膚、皮、肉、筋、骨、心、腎、肝、肺、大腸、小腸、脾、胃、摶糞、腦及腦根、淚、汗、涕、唾、膿、血、肪、髓、涎、*膽、小便，如是比丘觀內身如身，觀外身如身，立念在身，有知有見，有明有達，是謂比丘觀身如身。」

[T1.583b17]「復次，比丘觀身如身，比丘者，觀身諸界，我此身中有地界、水界、火界、風界、空界、識界、猶如屠兒殺牛[1]，剝皮布地於[2]上，分作六段，如是比丘觀身諸界，我此身中，地界、水界、火界、風界、空界、識界，如是比丘觀內身如身，觀外身如身，立念在身，有知有見，有明有達，是謂比丘觀身如身。」

[T1.583b23]「復次，比丘觀身如身，比丘者，觀彼死屍，或一、二日，至六、七日，烏鵄所啄，犲狼所食，火燒埋[3]地，悉腐爛壞，見已自比，今我此身亦復如是，俱有此法，終不得離，如是比丘觀內身如身，觀外身如身，立念在身，有知有見，有明有達，是謂比丘觀身如身。」

[T1.583b29]「復次，比丘觀身如身，比丘者，如本見息道骸骨青色，爛腐食[4]半，骨璅[5]在地，見已自比，今我此身亦復如是，俱有此法，終不得離，如是比丘觀內身如身，觀外身如身，立念在身，有知有見，有明有達，是謂比丘觀身如身。復次，比丘觀身如身，比丘者，如本見息道，離皮肉血，唯筋相連，見已自比，今我此身亦復如是，俱有此法，終不得離，如是比丘觀內身如身，觀外身如身，立念在身，有知有見，有明有達，是謂比丘觀身如身。」

[T1.583c10]「復次，比丘觀身如身，比丘者，如本見息道骨節解散，散在諸方，足骨、膊[6]骨、髀骨、髖骨、脊骨、肩骨、頸骨、髑髏骨，各在異處，見已自比，今我此身亦復如是，俱有此法，終不得離，如是比丘觀內身如身，觀外身如身，立念在身，有知有見，有明有達，是謂比丘觀身如身。復次，比丘觀身如身，比丘者，如本見息道骨白如螺，青猶鴿色，赤若血塗，腐壞碎粖[7]，見已自比，今我[8]此身亦復如是，俱有此法，終不得離，如是比丘觀內身如身，觀外身如身，立念在身，有知有見，有明有達，是謂比丘觀身如身，若比丘、比丘尼，如是少少觀身如身者，是謂觀身如身念處。」

---

[1] 牛＝生【元】【明】
[2] 地於＝於地【宋】【元】【明】
[3] 埋＝理【宋】
[4] 食＝餘【宋】【元】【明】
[5] 璅＝鎖【宋】【元】【明】
[6] 膊＝膞【宋】【元】【明】
[7] 粖＝末【宋】【元】【明】
[8] 今我＝我今【宋】【元】【明】

[T1.583c24]「云何觀覺如覺念處，比丘者，覺樂覺時，便知覺樂覺，覺苦覺時，便知覺苦覺，覺不苦不樂覺時，便知覺不苦不樂覺，覺樂身、苦身、不苦不樂身，樂心、苦心、不苦不樂心，樂食、苦食、不苦不樂食，樂無食、苦無食、不苦不樂無食，樂欲、苦欲、不苦不樂欲，樂無欲[1]、苦無欲覺、不苦不樂無欲覺時，便知覺不苦不樂無欲覺，如是比丘觀內覺如覺，觀外覺如覺，立念在覺，有知有見，有明有達，是謂比丘觀覺如覺，若比丘、比丘尼如是少少觀覺如覺者，是謂觀覺如覺念處。」

[T1.584a05]「云何觀心如心念處，比丘者、有欲心知有欲心如真，無欲心知無欲心如真，有恚無恚、有癡無癡、有穢污無穢污、有合有散、有下有高、有小有大、修不修、定不定，有不解脫心知不解脫心如真，有解脫心知解脫心如真，如是比丘觀內心如心，觀外心如心，立念在心，有知有見，有明有達，是謂比丘觀心如心。若有比丘、比丘尼如是少少觀心如心者，是謂觀心如心念處。」

[T1.584a14]「云何觀法如法念處，眼緣色生內結，比丘者，內實有結知內有結如真，內實無結知內無結如真，若未生內結而生者知如真，若已生內結滅不復生者知如真，如是耳、鼻、舌、身，意緣法生內結，比丘者，內實有結知內有結如真，內實無結知內無結如真，若未生內結而生者知如真，若已生內結滅不復生者知如真，如是比丘觀內法如法，觀外法如法，立念在法，有知有見，有明有達，是謂比丘觀法如法，謂內六處。」

[T1.584a24]「復次，比丘觀法如法，比丘者，內實有欲知有欲如真，內實無欲知無欲如真，若未生欲而生者知如真，若已生欲滅不復生者知如真，如是瞋恚、睡眠、調[2]悔，內實有疑知有疑如真，內實無疑知無疑如真，若未生疑而生者知如真，若已生疑滅不復生者知如真，如是比丘觀內法如法，觀外法如法，立念在法，有知有見，有明有達，是謂比丘觀法如法，謂五蓋也。」

[T1.584b03]「復次，比丘觀法如法，比丘者，內實有念覺支知有念覺支如真，內實無念覺支知無念覺支如真，若未生念覺支而生者知如真，若已生念覺支便住不忘而不衰退，轉修增廣者知如真，如是法[3]、精進、喜、息、定，比丘者，內實有捨覺支知有捨覺支如真，內實無捨覺支知無捨覺支如真，若未生捨覺支而生者知如真，若已生捨覺支便住不忘而不衰退，轉修增廣者知如真，如是比丘觀內法如法，觀外法如法，立念在法，有知有見，有明有達，是謂比丘觀法如法，謂七覺支。若有比丘、比丘尼如是少少觀法如法者，是謂觀法如法念處。」

---

[1] 欲＋（覺）【宋】【元】【明】
[2] 調＝掉【元】【明】
[3] （擇）＋法【宋】【元】【明】

[T1.584b16]「若有比丘、比丘尼七年立心正住四念處者，彼必得二果，或現法得究竟智，或有餘[1]得阿那含[2]，置七年，六五四三二一年。若有比丘、比丘尼七月立心正住四念處者，彼必得二果，或現法得究竟智，或有餘得阿那含，置七月，六五四三二一月。若有比丘、比丘尼七日七夜立心正住四念處者，彼必得二果，或現法得究竟智，或有餘得阿那含，置七日七夜，六五四三二，置一日一夜。若有比丘、比丘尼少少須臾頃立心正住四念處者，彼朝行如是，暮必得昇進，暮行如是，朝必得昇進。」

[T1.584b27] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.584b29]念處經第二竟[3](三千一百三十七字)[4]，

中阿含經卷第二十四(八千六百九字)[5](第二小土城誦)[6]

中阿含經

卷第二十五 (Ma.99~102)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（九九）因品

(Ma.99)苦陰經[7] 第三[8](第二小土城誦)[9]

[T1.584c09] 我聞如是。

[T1.584c09] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

---

[1] 有餘～Upādisesa.
[2] [>阿那含]～Anāgamin.
[3]〔念…竟〕－【明】
[4]〔三…字〕－【宋】【元】【明】
[5]〔八…字〕－【宋】【元】【明】
[6]〔第二小土城誦〕－【明】
[7] ～《中部》M. 13. Mahā-Dukkhakkandha sutta. (苦蘊大經)，No.53.《苦陰經》(大正 1.846c)，《增壹阿含 21.9 經》(大正 2.604c)
[8] （上）＋第【明】
[9]〔第二小土城誦〕－【明】，（第二小土城誦）六字在卷題下【宋】【元】

[T1.584c10] 爾時，諸比丘於中食後，少有所為，集坐講堂，於是眾多異學，中後彷徉往詣諸比丘所，共相問訊，却坐一面，語諸比丘：「諸賢！沙門瞿曇施設知斷欲，施設知斷色，施設知斷覺。諸賢！我等亦施設知斷欲[1]，施設知斷色[2]，施設知斷覺[3]，沙門瞿曇及我等此二知二斷，為有何[4]勝、有何差別。」

[T1.584c16] 於是，諸比丘聞彼眾多異學所說，不是亦不非，默然起去，並作是念：如此所說，我等當從世尊得知，便詣佛所，稽首作禮，却坐一面，謂與眾多異學所可共論，盡向佛說，彼時，世尊告諸比丘：「汝等即時應如是問眾多異學，諸賢。云何欲味[5]。云何欲患[6]。云何欲出要[7]。云何色味。云何色患。云何色出要。云何覺味。云何覺患。云何覺出要，諸比丘！若汝等作如是問者，彼等[8]聞已，便更互相難說外餘事，瞋諍轉增，必從座起，默然而退。所以者何？我不見此世，天及魔、梵、沙門、梵志、一切餘眾，能知此義而發遣者，唯有如來、如來弟子或從此聞。」

[T1.584c29] 佛言：「云何欲味，謂因五欲功德，生樂生喜，極是欲味，無復過是，所患甚多。」

[T1.585a02]「云何欲患，族姓子者，隨其伎[9]術以自存活，或作田業、或行治生、或以學書、或明算術、或知工數、或巧刻印、或作文章、或造手筆、或曉經書、或作勇將、或奉事王，彼寒時則寒，熱時則熱，飢渴、疲勞、蚊虻所蜇[10]，作如是業，求圖錢財，彼族姓子如是方便，作如是行，作如是求，若不錢財者，便生憂苦、愁慼、懊惱，心則生癡，作如是說，唐作唐苦，所求無果，彼族姓子如是方便作如是行，作如是求，若得錢財者，彼便愛惜，守護密藏。所以者何？我此財物，莫令王奪、賊劫、火燒、腐壞、亡失，出財無利，或作諸業，而不成就，彼作如是守護密藏。若有王奪、賊劫、火燒、腐壞、亡失，便生憂苦、愁慼、懊惱，心則生癡，作如是說，[苦>若]有長夜所可愛念者，彼則亡失，是謂現法苦陰，因欲緣欲，以欲為本。」

[T1.585a18]「復次，眾生因欲緣欲，以欲為本故，母共子諍，子共母諍，父子、兄弟、姊妹、親族展轉共諍，彼既如是共鬪諍已，母說子惡，子說母惡，父子、兄弟、姊妹、親族更相說惡，況復他人，是謂現法苦陰，因欲緣欲，以欲

---

[1] 知斷欲～Kāmānaṃ pariññā.
[2] [>知斷色]～Rūpānaṃ pariññā.
[3] [>知斷覺]～Vedānam pariññā.
[4] 何＝可【元】【明】
[5] 味～Assāda.
[6] 患～Adīnava.
[7] 出要～Nissaraṇa.
[8] 等＝得【宋】【元】【明】
[9] 伎＝技【宋】【元】【明】
[10] 蜇＝蜥【宋】＊

為本。復次，眾生因欲緣欲，以欲為本故，王王共諍，梵志梵志共諍，居士居士共諍，民民共諍，國國共諍，彼因鬪諍共相憎故，以種種器仗，轉相加害，或以拳扠石擲，或以杖打刀斫，彼當鬪時，或死、或怖，受極重苦，是謂現法苦陰，因欲緣欲，以欲為本。」

[T1.585a28]「復次，眾生因欲緣欲，以欲為本故，著鎧被袍，持矟弓箭，或執刀楯[1]入在軍陣，或以象鬪，或馬、或車，或以步軍，或以男女鬪，彼當鬪時，或死、或怖，受[2]極重苦，是謂現法苦陰，因欲緣欲，以欲為本。復次，眾生因欲緣欲，以欲為本故，著鎧被袍，持矟弓箭，或執刀*楯往奪他國，攻城破塢，共相格戰，打鼓吹角，高聲喚呼，或以槌[3]打，或以鉾戟，或以利輪，或以箭射，或亂下石，或以大弩，或以融銅珠子灑之，彼當鬪時，或死、或怖，受極重苦，是謂現法苦陰，因欲緣欲，以欲為本。」

[T1.585b11]「復次，眾生因欲緣欲，以欲為本故，著鎧被袍，持矟弓箭，或執刀*楯入村、入邑、入國、入城，穿牆發藏，劫奪財物，斷截王路，或至他巷，壞村、害邑、滅國、破城，於中或為王[4]人所捉，種種考[5]治，截手、截足或截手足，截耳、截鼻或截耳鼻，或臠臠割，拔鬚、拔髮或拔鬚髮，或著檻中衣裹火燒，或以沙壅草纏火焚，或內鐵驢腹中，或著鐵猪口中，或置鐵虎口中燒，或安銅釜中，或著鐵釜中煮，或段段截，或利叉[刺>刺]，或鐵鉤鉤，或臥鐵床以沸油澆，或坐鐵臼以鐵杵擣，或龍蛇蜇，或以鞭鞭，或以杖撾，或以棒打，或生貫高標上，或梟其首，彼在其中，或死或怖，受極重苦，是謂現法苦陰，因欲緣欲，以欲為本。」

[T1.585b25]「復次，眾生因欲緣欲，以欲為本故，行身惡行，行口、意惡行，彼於後時，疾病著床，或坐、臥地，以苦逼身，身受極重，苦不可愛樂，彼若有身惡行，口、意惡行，彼臨終時在前覆障，猶日將沒大山崗側，影障覆地。如是，彼若有身惡行，口、意惡行，在前覆障，彼作是念：我本惡行，在前覆我，我本不作福業，多作惡業，若使有人作惡凶[6]暴唯為罪，不作福、不行善，無所畏、無所依、無所歸，隨生處者，我必生彼，從是有悔，悔者不善死，無福命終，是謂現法苦陰，因欲緣欲，以欲為本。復次，眾生因欲緣欲，以欲為本故，行身惡行，行口、意惡行，彼因身、口、意惡行故，因此、緣此，身壞命終，必至惡處，生地獄中，是謂後世苦陰，因欲緣欲，以欲為本，是謂欲患。」

---

[1] 楯＝盾【元】【明】＊
[2] 受＝或【宋】【元】
[3] 槌＝椎【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 王＝正【元】
[5] 考＝拷【元】【明】
[6] 凶＝兇【元】【明】

[T1.585c11]「云何欲出要，若斷除[1]欲，捨離於欲，滅欲欲盡，度欲出要，是謂欲出要。若有沙門、梵志，欲味、欲患、欲出要不知如真者，彼終不能自斷其欲，況復能斷於他欲耶？若有沙門、梵志，欲味、欲患、欲出要知如真者，彼既自能除，亦能斷他欲。」

[T1.585c17]「云何色味，若剎利女、梵志、居士、工師女，年十四五，彼於爾時，美色最妙，若因彼美色、緣彼美色故，生樂生喜，極是色味無復過是，所患甚多。」

[T1.585c20]「云何色患，若見彼姝[2]而於後時極大衰老，頭白齒落，背僂脚戾，拄杖而行，盛壯日衰，壽命垂盡，身體震動，諸根毀熟，於汝等意云何，若本有美色，彼滅生患耶？答曰：「如是。復次，若見彼*姝疾病著床，或坐[3]、臥地，以苦逼身，受極重苦，於汝等意云何，若本有美色，彼滅生患耶？答曰：「如是。復次，若見彼*姝死，或一二日至六七日，烏鵄所啄，豺狼所食，火燒埋地，悉爛腐壞，於汝等意云何，若本有美色，彼滅生患耶？答曰：「如是。復次，若見彼*姝息道，骸骨青色爛腐，食[4]半骨璅[5]在地，於汝等意云何，若本有美色，彼滅生患耶？答曰：「如是。復次，若見彼*姝息道，離皮肉血，唯筋相連，於汝等意云何，若本有美色，彼滅生患耶？答曰：「如是。復次，若見彼*姝息道，骨節解散，散在諸方，足骨、[跳-兆+尃][6]骨、髀骨、髖骨、脊骨、肩骨、頸骨、髑髏骨各在異處，於汝等意云何，若本有美色，彼滅生患耶？答曰：「如是。復次，若見彼*姝息道，骨白如螺，青猶鴿色，赤若血塗，腐壞碎末，於汝等意云何，若本有美色，彼滅生患耶？」答曰：「如是，是謂色患。」

[T1.586a13]「云何色出要，若斷除色，捨離於色，滅色色盡，度色出要，是謂色出要。若有沙門、梵志，色味、色患、色出要不知如真者，彼終不能自斷其色，況復能斷於他色耶？若有沙門、梵志，色味、色患、色出要知如真者，彼既自能除，亦能斷他色。」

[T1.586a18]「云何覺味，比丘者，離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊，彼於爾時不念自害，亦不念害他，若不念害者，是謂覺樂味。所以者何？不念害者，成就[7]是樂，是謂覺味。」

[T1.586a22]「云何覺患，覺者是無常法、苦法、滅法，是謂覺患。」

---

[1] 除＝陰【宋】【元】【明】
[2] 姝＝妹【宋】【元】＊
[3] 坐＝生【宋】【元】【明】
[4] 食＝餘【宋】＊【元】＊【明】＊
[5] 璅＝鏁【宋】【元】【明】
[6] [跳-兆+尃]＝腨【宋】【元】【明】
[7] 成就＝我說【宋】，＝我謂【元】【明】

[T1.586a23]「云何覺出要，若斷除覺，捨離於覺，滅覺覺盡，度覺出要，是謂覺出要。若有沙門、梵志，覺味、覺患、覺出要不知如真者，彼終不能自斷其覺，況復能斷於他覺耶？若有沙門、梵志，覺味、覺患、覺出要知如真者，彼既自能除，亦能斷他覺。」

[T1.586a28] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.586b01] 苦陰經第三竟[1](二千一百六十五字)[2]，

（一○○）中阿含[3]因品

(Ma.100)苦陰經[4] 第四[5](第二小土城誦)[6]

[T1.586b04] 我聞如是。

[T1.586b04] 一時，佛遊釋羈瘦[7]，在加維羅衛尼拘類園[8]。

[T1.586b05] 爾時，釋摩訶男[9]中後仿佯往詣佛所，稽首佛足，却坐一面，白曰：「世尊！我如是知世尊法，令我心中得滅三穢[10]，染心穢、恚心穢、癡心穢。世尊！我如是知此法，然我心中復生染法、恚法、癡法。世尊！我作是念：我有何法不滅，令我心中復生染法、恚法、癡法耶？」

[T1.586b11] 世尊告曰：「摩訶男，汝有一法不滅，謂汝住在家，不至信、捨家、無家、學道，摩訶男，若汝滅此一法者，汝必不住在家，必至信、捨家、無家，學道，汝因一法不滅故，住在家，不至信、捨家、無家、學道。」

[T1.586b15] 於是，釋摩訶男即從坐[11]起，偏袒著衣，叉手向佛，白世尊曰：願世尊為我說法，令我心淨，除疑得道。」

---

[1]〔苦…竟〕－【明】
[2]〔二千…字〕－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《中部》Cūḷa-dukkhakkhandha sutta (苦蘊小經)，No.54.《釋摩訶男本四子經》(大正 1.848b)。No.55.《苦陰因事經》(大正 1.849b)，《增壹阿含 41.1 經》(大正 2.744a)
[5] 經第四＝第四經【宋】，＝經下第四【明】
[6]〔第二小土城誦〕－【明】
[7] [>釋羈瘦]～Sakkesu.
[8] [>加維羅衛尼拘類園]～Kapilavatthu, Nigrodhārāma.
[9] 釋摩訶男～Sakka Mahānāma.
[10] 穢～Upakkilesa.
[11] 坐＝座【元】【明】

[T1.586b18] 世尊告曰：「摩訶男，有五欲功德可愛、可念、歡喜、欲相應而使人樂。云何為五？謂眼知色、耳知聲、鼻知香、舌知味、身知觸，由此令王及王眷屬得安樂歡喜，摩訶男，極是欲味無復過是，所患甚多。」

[T1.586b22]「摩訶男，云何欲患，摩訶男，族姓子者，隨其技術，以自存活，或作田業、或行治生、或以學書、或明算術、或知工數、或巧刻印、或作文章、或造手筆、或曉經書、或作勇將、或奉事王，彼寒時則寒，熱時則[1]熱，飢渴、疲勞、蚊虻所蜇[2]，作如是業，求圖錢財，摩訶男，此族姓子如是方便作如是行，作如是求，若不得錢財者，便生憂苦、愁慼、懊惱，心則生癡，作如是說，唐作唐苦，所求無果，摩訶男，彼族姓子如是方便作如是行，作如是求，若得錢財者，彼便愛惜守護密藏。所以者何？我此財物莫令王奪、賊劫、火燒、腐壞、亡失，出財無利，或作諸業，而不成就，彼作如是守護密藏，若使王奪、賊劫、火燒、腐壞、亡失，彼便生憂苦、愁慼、懊惱，心則生癡，作如是說。若有長夜所可愛念者，彼則亡失，摩訶男，如是現法苦陰，因欲緣欲，以欲為本。」

[T1.586c11]「摩訶男。復次，眾生因欲緣欲，以欲為本故，母共子諍，子共母諍，父子、兄弟、姊妹、親族展轉共諍，彼既如是共鬪諍已，母說子惡，子說母惡，父子、兄弟、姊妹、親族更相說惡，況復他人，摩訶男，是謂現法苦陰，因欲緣欲，以欲為本，摩訶男。復次，眾生因欲緣欲，以欲為本故，王王共諍，梵志梵志共諍，居士居士共諍，民民共諍，國國共諍，彼因鬪諍共相憎故，以種種器仗，轉相加害，或以拳扠石擲，或以杖打刀斫，彼當鬪時，或死、或怖，受極重苦，摩訶男，是謂現法苦陰，因欲緣欲，以欲為本。」

[T1.586c22]「摩訶男。復次，眾生因欲緣欲，以欲為本故，著鎧被袍，持矟弓箭，或執刀楯入在軍陣，或以象鬪，或馬、或車，或以步軍，或以男女鬪，彼當鬪時，或死、或怖，受極重苦，摩訶男，是謂現法苦陰，因欲緣欲，以欲為本，摩訶男。復次，眾生因欲緣欲，以欲為本故，著鎧被袍，持矟弓箭，或執刀楯往奪他國，攻城破塢，共相格戰，打鼓吹角，高聲喚呼，或以槌打，或以鉾戟，或以利輪，或以箭射，或亂下石，或以大弩，或以融銅珠子灑之，彼當鬪時，或死、或怖，受極重苦，摩訶男，是謂現法苦陰，因欲緣欲，以欲為本。」

[T1.587a05]「摩訶男。復次，眾生因欲緣欲，以欲為本故，著鎧被袍，持矟弓箭，或執刀楯入村、入邑、入國、入城，穿牆發藏，劫奪財物，斷截王路，或至他巷，壞村、害邑、滅國、破城，於中或為王人所捉，種種拷[3]治，截手、截

---

[1] 則＝即【宋】【元】
[2] 蜇＝蜥【宋】
[3] 拷＝考【宋】

足或截手足，截耳、截鼻或截耳鼻，或臠臠割，拔鬚、拔髮或拔鬚髮，或著檻中衣裹火燒，或以沙壅草纏火焚，或內鐵驢腹中，或著鐵猪口中，或置鐵虎口中燒，或安銅釜中，或著鐵釜中煮，或段段截，或利叉刺，或鐵鉤鉤，或臥鐵床以沸油澆，或坐鐵臼以鐵杵擣，或龍蛇蜇，或以鞭鞭，或以杖撾，或以棒打，或生貫高標上，或梟其首，彼在其中，或死、或怖，受極重苦，摩訶男，是謂現法苦陰，因欲緣欲，以欲為本。」

[T1.587a19]「摩訶男。復次，眾生因欲緣欲，以欲為本故，行身惡行，行口、意惡行，彼於後時疾病著床，或坐、臥地，以苦逼身，受極重苦，不可愛樂，彼若有身惡行，口、意惡行，彼臨終時在前覆障，猶日將沒大山崗側，影障覆地。如是，彼若有身惡行，口、意惡行，在前覆障，彼作是念：我本惡行在前覆我，我本不作福業，多作惡業，若使有人作惡兇暴唯為罪，不作福、不行善，無所畏、無所依、無所歸，隨生處者，我必生彼，從是有悔，悔者不善死，無福命終，摩訶男，是謂現法苦陰，因欲緣欲，以欲為本。」

[T1.587b02]「摩訶男。復次，眾生因欲緣欲，以欲為本故，行身惡行，行口、意惡行，彼因身、口、意惡行故，因此、緣此，身壞命終，必至惡處，生地獄中，摩訶男，是謂後世苦陰，因欲緣欲，以欲為本，摩訶男。是故當知欲一向無樂，無量苦患，多聞聖弟子不見如真者，彼為欲所覆，不得捨樂及無上息，摩訶男，如是彼多聞聖弟子因欲退轉，摩訶男，我知欲無樂，無量苦患，我知如真已，摩訶男，不為欲所覆，亦不為惡所纏，便得捨樂及無上息，摩訶男。是故我不因欲退轉。」

[T1.587b12]「摩訶男，一時，我遊王舍城，住鞞哆邏[1]山仙人七葉屋，摩訶男，我於晡時，從宴坐起，往至廣山，則於彼中見眾多尼揵[2]，行不坐行[4]，常立不坐，受極重苦，我往問曰：『諸尼揵，汝等何故行此不坐行，常立不坐，受如是苦。』彼如是說：『瞿曇！我有尊師尼揵，名曰親子[3]，彼則教我作如是說，諸尼揵等，汝若宿命有不善業，因此苦行故，必當得盡，若今身妙行護，口、意妙行護，因緣此故，不復作惡不善之業 。』」

[T1.587b22]「摩訶男，我復問曰：『諸尼揵，汝等信尊師無有疑耶？』彼復答我：『如是，瞿曇！我等信尊師無有疑惑。』摩訶男，我復問曰：『尼揵，若爾者，汝等尊師尼揵本重作惡不善之業，彼本作尼揵死，今生人間出家作尼揵，行不

[1] 哆邏＝多羅【元】【明】，＝哆羅【宋】
[2] [>尼揵]～Niganṭha.
[4] 不坐行～Āsanapaṭikkhitta.
[3] 親子～Nāthaputta.

坐行，常立不坐，受如是苦，如汝等輩及弟子也。』彼復語我曰：『瞿曇！樂不因樂要因苦得，如頻鞞娑羅[1]王樂，沙門瞿曇不如也。』」

[T1.587c01]「我復語曰：『汝等癡狂，所說無義。所以者何？汝等不善，無所曉了，而不知時，謂汝作是說，如頻鞞娑羅王樂，沙門瞿曇不如也。尼揵，汝等本應如是問，誰樂勝，為頻鞞娑羅王，為沙門瞿曇耶？尼揵，若我如是說我樂勝，頻鞞娑羅王不如者，尼揵，汝等可得作是語，如頻鞞娑羅王樂，沙門瞿曇不如也。彼諸尼揵即如是說，瞿曇！我等今問沙門瞿曇！誰樂勝，為頻鞞娑羅王，為沙門瞿曇耶？』我復語曰：『尼揵，我今問汝，隨所解答，諸尼揵等，於意云何？頻鞞娑羅王可得如意靜[2]默無言，因是七日七夜得歡喜快樂耶？』尼揵答曰：『不也。瞿曇！』『六五四三二，一日一夜得歡喜快樂耶？』尼揵答曰：『不也。瞿曇！』復問曰：「尼揵，我可得如意靜默無言，因是一日一夜得歡喜快樂耶？』尼揵答曰：『如是，瞿曇！』『二三四五六，七日七夜得歡喜快樂耶？』尼揵答曰：『如是，瞿曇！』我復問曰：『諸尼揵等，於意云何？誰樂勝，為頻鞞娑羅王，為是我耶？』尼揵答曰：『瞿曇！如我等受解沙門瞿曇所說，瞿曇樂勝，頻鞞娑羅王不如也。』」

[T1.587c22]「摩訶男，因此故知，欲無樂有，無量苦患，若多聞聖弟子不見如真者，彼為欲所覆，惡、不善所纏，不得捨樂及無上息，摩訶男，如是彼多聞聖弟子為欲退轉，摩訶男，我知欲無樂，有無量苦患，我知如真已，不為欲所覆，亦不為惡不善法所纏，便得捨樂及無上息，摩訶男。是故我不為欲退轉。」

[T1.587c29] 佛說如是，釋摩訶男及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.588a02] 苦陰經第四竟[3](二千二百五十四字)[4]，

（一○一）中阿含[5]因品

(Ma.101)增上心經[6] 第五(第二小土城誦)[7]

[T1.588a05] 我聞如是。

---

[1] [>頻鞞娑羅]～Bimbisāra.
[2] 靜＝靖【宋】【元】【明】
[3]〔苦…竟〕－【明】
[4]〔二千…字〕－【宋】【元】【明】
[5]〔中阿含〕－【明】
[6] ～《中部》M. 20. Vitakkasanthāna sutta. (想念止息經)
[7]〔第二小土城誦〕－【明】

[T1.588a05] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.588a06] 爾時，世尊告諸比丘：「若比丘欲得增上心[1]者，當以數數念於五相[2]，數念五相已，生不善念，即便得滅，惡念滅已，心便常住，在內止息，一意得定。」

[T1.588a09]「云何為五？比丘者，念相善相應，若生不善念者，彼因此相復更念異相善相應，令不生惡不善之念，彼因此相更念異相善相應，已生不善念，即便得滅，惡念滅已，心便常住，在內、止息、一意、得定，猶木工師、木工弟子，彼持墨繩，用拼[3]於木，則以利斧，斫治令直。如是，比丘！因此相復更念念異相善相應，令不生惡不善之念，彼因此相更念異相善相應，已生不善念，即便得滅，惡念滅已，心便常住，在內止息，一意得定，若比丘欲得增上心者，當以數數念此第一相，念此相已，生不善念，即便得滅，惡念滅已，心便常住，在內止息，一意得定。」

[T1.588a22]「復次，比丘！念相善相應，若生不善念者，彼觀此念惡有災患，此念不善，此念是惡，此念智者所惡，此念若滿具者，則不得通、不得覺道、不得涅槃，令生惡不善念故，彼如是觀惡，已生不善念，即便得滅，惡念滅已，心便常住，在內止息，一意得定，猶人年少，端政[4]可愛，沐浴澡洗，著明淨衣，以香塗身，修治鬚髮，極令淨潔，或以死蛇、死狗、死人食[5]半青色，膖脹脹臭爛，不淨流出，繫著彼頸，彼便惡穢，不喜不樂。如是，比丘！彼觀此念，惡有災患，此念不善，此念是惡，此念智者所惡，此念若滿具者，則不得通、不得覺道、不得涅槃，令生惡不善念故，彼如是觀惡，已生不善念，即便得滅，惡念滅已，心便常住，在內止息，一意得定，若比丘欲得增上心者，當以數數念此第二相，念此相，已生不善念，即便得滅，惡念滅已，心便常住，在內止息，一意得定。」

[T1.588b11]「復次，比丘！念相善相應時，生不善念，觀念惡患時，復生不善念者，彼比丘不應念此念，令生惡不善念故，彼不念此念，已生不善念，即便得滅，惡念滅已，心便常住，在內止息，一意得定，猶有目人，色在光明，而不用見，彼或閉目，或身避去，於汝等意云何，色在光明，彼人可得受色相耶？答曰：「不也。如是，比丘不應念此念，令生惡不善念故，彼不念此念，已生不善念，即便得滅，惡念滅已，心便常住，在內止息，一意得定，若比丘欲得增上心者，當以數數念此第三相，念此相已，生不善念，即便得滅，惡念滅已，心便常住，在內止息，一意得定。」

---

[1] 增上心～Adhicitta.
[2] 五相～Pañca nimittāni.
[3] 拼＝絣【宋】【元】【明】
[4] 政＝正【宋】【元】【明】
[5] 食＝餘【宋】【元】【明】

[T1.588b24]「復次，比丘！念相善相應時生不善念，觀念惡患時亦生不善念，不念念時復生不善念者，彼比丘為此念，當以思行漸減其念，令不生惡不善之念，彼為此念，當以思行漸減念，已生不善念，即便得滅，惡念滅已，心便常住，在內止息，一意得定，猶人行道，進路急速，彼作是念：我何為速，我今寧可徐徐行耶？彼即徐行，復作是念：我何為徐行，寧可住耶？彼即便住，復作是念：我何為住，寧可坐耶？彼即便坐，復作是念：我何為坐，寧可臥耶？彼即便臥。如是，彼人漸漸息身麤行，當知比丘亦復如是，彼為此念，當以思行漸減其念，令不生惡不善之念，彼為此念，當以思行漸減念，已生不善念，即便得滅，惡念滅已，心便常住，在內止息，一意得定，若比丘欲得增上心者，當以數數念此第四相，念此相，已生不善念，即便得滅，惡念滅已，心便常住，在內止息，一意得定。」

[T1.588c13]「復次，比丘！念相善相應時生不善念，觀念惡患時亦生不善念，不念念時亦生不善念，當以思行漸減念時復生不善念者，彼比丘應如是觀，比丘者，因此念故，生不善念，彼比丘便齒齒相著，舌逼上齶，以心修心，受持降伏，令不生惡不善之念，彼以心修心，受持降伏，已生不善念，即便得滅，惡念滅已，心便常住，在內止息，一意得定，猶二力士捉一羸人，受持降伏。如是，比丘！齒齒相著，舌逼上[鰐>齶]，以心修心，受持降伏，令不生惡不善之念，彼以心修心，受持降伏，已生不善念，即便得滅，惡念滅已，心便常住，在內止息，一意得定，若比丘欲得增上心者，當以數數念此第五相，念此相，已生不善念，即便得滅，惡念滅已，心便常住，在內止息，一意得定。」

[T1.588c28]「若比丘欲得增上心者，當以數數念此五相，數念五相，已生不善念，即便得滅，惡念滅已，心便常住，在內止息，一意得定，若比丘念相善相應時不生惡念，觀念惡患時亦不生惡念，不念念時亦不生惡念，若以思行漸減念[1]時亦不生惡念，以心修心、受持降伏時亦不生惡念者，便得自在，欲念則念，不念則不念，若比丘欲念則念，不欲念則不念者，是謂比丘隨意諸念，自在諸念跡。」

[T1.589a08] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.589a10] [2]增上心經第五竟[2](千四百五十六字)[3]，

（一○二）中阿含[4]因品

[1] 念＝令【宋】【元】
[2]〔增…竟〕－【明】
[3]〔千…字〕－【宋】【元】【明】
[4]〔中阿含〕－【明】

(Ma.102)念經[1] 第六(第二小土城誦)[2]

[T1.589a12] 我聞如是。

[T1.589a12] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.589a13] 爾時，世尊告諸比丘：「我本未覺無上正盡[3]覺時，作如是念，我寧可別諸念[4]作二分，欲念、恚念、害念作一分，無欲念、無恚念、無害念復作一分，我於後時，便別諸念作二分，欲念、恚念、害念作一分，無欲念、無恚念、無害念復作一分，我如是行，在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，生欲念，我即覺生欲念，自害、害他、二俱害滅慧多煩勞、不得涅槃，覺自害、害他、二俱害滅，慧多煩勞不得涅槃，便速滅，復生恚念、害念，我即覺生恚念、害念，自害、害他、二俱害滅，慧多煩勞不得涅槃，覺自害、害他、二俱害滅，慧多煩勞不得涅槃，便速滅。」

[T1.589a25]「我生欲念不受斷除吐，生恚念、害念不受斷除吐。所以者何？我見因此故，必生無量惡不善之法，猶如春後月，以種田故，放牧地，則不廣，牧牛兒放牛野澤，牛入他田，牧牛兒即執杖往遮。所以者何？牧牛兒知因此故，必當有罵、有打、有縛、有過失也。是故牧牛兒執杖往遮，我亦如是，生欲念不受斷除吐，生恚念、害念不受斷除吐。所以者何？我見因此故，必生無量惡不善之法。」

[T1.589b05]「比丘者，隨所思、隨所念，心便樂中，若比丘多念欲念者，則捨無欲念，以多念欲念故，心便樂中，若比丘多念恚念、害念者，則捨無恚念、無害念，以多念恚念、害念故，心便樂中。如是，比丘不離欲念，不離恚念，不離害念者，則不能脫生、老、病、死、愁憂、啼哭，亦復不能離一切苦，我如是行，在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，生無欲念，我即覺生無欲念，不自害、不害他，亦不俱害，修慧不煩勞而得涅槃，覺不自害、不害他，亦不俱害，修慧不煩勞而得涅槃，便速修習廣布，復生無恚念、無害念，我即覺生無恚念、無害念，不自害、不害他，亦不俱害，修慧不煩勞而得涅槃，覺不自害、不害他、亦不俱害，修慧不煩勞而得涅槃，便速修習廣布，我生無欲念、多思念，生無恚念、無害念、多思念。」

---

[1] ～《中部》M.19. Dvedhāvitakka sutta. (雙想經)
[2]〔第二小土城誦〕－【明】
[3] 盡＝真【宋】【元】【明】
[4] 念～Vitakka.

[T1.589b21]「我復作是念：多思念者，身定[1]憙忘，則便損心，我寧可治內心，常住在內止息，一意得定，令不損心，我於後時便治內心，常住在內止息，一意得定，而不損心，我生無欲念已，復生念向法次法，生無恚念、無害念已，復生念向法次法。所以者何？我不見因此生無量惡不善之法，猶如秋後月收一切穀訖，牧牛兒放牛野田時作是念：我牛在群中。所以者何？牧牛兒不見因此故當得罵詈，得打、得縛，有過失也。是故彼作是念：我牛在群中，我亦如是，生無欲念已，復生念向法次法，生無恚念、無害念已，復生念向法次法。所以者何？我不見因此生無量惡不善之法。」

[T1.589c05]「比丘者，隨所思、隨所念，心便樂中，若比丘多念無欲念者，則捨欲念，以多念無欲念故，心便樂中，若比丘多念無恚念、無害念者，則捨恚念、害念，以多念無恚念、無害念故，心便樂中，彼覺、觀已息，內靜[2]、一心、無覺、無觀，定生喜、樂，得第二禪成就遊，彼離喜欲，捨無求遊，正念正智而身覺樂，謂聖所說，聖所捨、念、樂住室[3]，得第三禪成就遊，彼樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦不樂、捨、念、清淨，得第四禪成就遊。」

[T1.589c14]「彼如是定，心清淨無穢、無煩，柔軟善住，得不動心，趣向漏盡通智作證，便知此苦如真，知此苦習[4]，知此苦滅，知此苦滅道如真，亦知此漏如真，知此漏*習，知此漏滅，知此漏滅道如真，彼如是知，如是見已，則欲漏心解脫，有漏、無明漏心解脫，解脫已便知解脫，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，此比丘離欲念、離恚念、離害念，則得解脫生、老、病、死、愁憂、啼哭，離一切苦，猶如一無事處有大泉水，彼有群鹿遊住其中，有一人來，不為彼群鹿求義及饒益、求安隱快樂，塞平正路，開一惡道，作大坑塹，使人守視，如是群鹿一切死盡，復有一人來，為彼群鹿求義及饒益，求安隱快樂，開平正路，閉塞惡道，却守視人，如是群鹿普得安濟。」

[T1.589c29]「比丘！當知我說此喻，欲令知義，慧者聞喻，則解其趣，此說有義，大泉水者，謂是五欲愛念歡樂。云何為五？眼知色、耳知聲、鼻知香、舌知味、身知觸，大泉水者，當知是五欲也。大群鹿者，當知是沙門、梵志也。有一人來，不為彼求義及饒益、求安隱快樂者，當知是魔波旬也。塞平正路，開一惡道者，是三惡不善念，欲念、恚念、害念也。惡道者，當知是三惡不善念，復更有惡道，謂八邪道，邪見乃至邪定是為八，作大坑塹者，當知是無明也。使人守者，當知是魔波旬眷屬也。復有一人來，為彼求義及饒益、求安隱快樂者，當知是如來、無所著、等正覺也。閉塞惡道，開平正路者，是三善

---

[1] 定＝之【宋】【元】【明】
[2] 靜＝靖【宋】【元】【明】
[3] 室＝定【宋】【元】【明】
[4] 習＝集【元】【明】＊

念，無欲念、無恚念、無害念也。道者，當知是三善念，復更有道，謂八正道，正見乃至正定是為八。」

[T1.590a16]「比丘！我為汝等開平正路，閉塞惡道，填平坑塹，除却守人，如尊師所為弟子起大慈，哀憐念愍傷，求義及饒益，求安隱快樂者，我今已作，汝等亦當復自作，至無事處山林樹下空安靜處，宴坐思惟，勿得放逸，勤加精進，無令後悔，此是我之教勅，是我訓誨。」

[T1.590a22] 佛說如是，彼諸[1]比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.590a24] 念經第六竟[2](千五百九十三字)[3]，

中阿含經卷第二十五[4](七千四百六十八字)[5]

中阿含經

卷第二十六 (Ma.103~106)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（一○三）因品

(Ma.103)師子吼經[6] 第七(第二小土城誦)[7]

[T1.590b06] 我聞如是。

[T1.590b06] 一時，佛遊拘樓瘦，在劒磨瑟曇拘樓都邑。

[T1.590b07] 爾時，世尊告諸比丘：「此中有第一沙門，第二、第三、第四沙門，此外更無沙門、梵志，異道一切空無沙門、梵志，汝等隨在眾中，作如是

---

[1]〔諸〕－【宋】【元】【明】
[2]〔念…竟〕－【明】
[3]〔[七>千]五百九十三字〕七字－【宋】【元】【明】
[4]〔七…字〕－【宋】【元】【明】
[5] ＋（第二小土城誦）【宋】【元】
[6] ～M. 11. (Cūḷa)-Sīhanāda sutta. (師子吼小經)
[7]〔第二小土城誦〕－【明】，（第二小土城誦）六字在卷題下【宋】【元】

正師子吼，比丘！或有異學來問汝等。諸賢！汝有何行，有何力，有何智，令汝等作如是說，此有第一沙門，第二、第三、第四沙門，此外更無沙門、梵志，異道一切空無沙門、梵志，汝等隨在眾中，作如是正師子吼。」

[T1.590b15]「比丘！汝等應如是答異學。諸賢！我世尊有知有見，如來、無所著、等正覺說四法，因此四法故，令我等作如是說，此有第一沙門，第二、第三、第四沙門，此外更無沙門、梵志，異道一切空無沙門、梵志，我等隨在眾中，作如是正師子吼。云何為四？諸賢，我等信尊師、信法、信戒德具足，愛敬同道，恭恪奉事。諸賢！我世尊有知有見，如來、無所著、等正覺說此四法，因此四法故，令我等作如是說，此有第一沙門，第二、第三、第四沙門，此外更無沙門、梵志，異道一切空無沙門、梵志，我等隨在眾中，作如是正師子吼。」

[T1.590b27]「比丘！異學或復作是說。諸賢！我等亦信尊師，謂我尊師也。信法，謂我法也。戒德具足，謂我戒也。愛敬同道，恭恪奉事，謂我同道出家及在家者也。諸賢，沙門瞿曇及我等此二種說，有何勝，有何意，有何差別耶？比丘，汝等應如是問異學。諸賢！為一究竟，為眾多究竟耶？比丘，若異學如是答。諸賢！有一究竟，無眾多究[意>竟]，比丘！汝等復問異學。諸賢！為有欲者得究竟是耶？為無欲者得究竟是耶？比丘，若異學如是答，無欲者得究竟是，非有欲者得究竟是，比丘！汝等復問異學。諸賢！為有恚者得究竟是耶？為無恚者得究竟是耶？比丘，若異學如是答，無恚者得究竟是，非有恚者得究竟是，比丘！汝等復問異學。諸賢！為有癡者得究竟是耶？為無癡者得究竟是耶？比丘，若異學如是答。諸賢！無癡者得究竟是，非有癡者得究竟是。」

[T1.590c15]「比丘！汝等復問異學。諸賢！為有愛、有受者得究竟是耶？為無愛、無受者得究竟是耶？比丘，若異學如是答。諸賢！無愛、無受者得究竟是，非有愛、有受者得究竟是，比丘！汝等復問異學。諸賢！為無慧、不說慧者得究竟是耶？為有慧、說慧者得究竟是耶？比丘，若異學如是答。諸賢！有慧、說慧者得究竟是，非無慧、不說慧者得究竟是，比丘！汝等復問異學。諸賢！為有憎、有諍者得究竟是耶？為無憎、無諍者得究竟是耶？比丘，若異學如是答。諸賢！無憎、無諍者得究竟是，非有憎、有諍者得究竟是。」

[T1.590c27]「比丘！汝等為異學應如是說。諸賢！是為如汝等說有一究竟是，非眾多究竟是，無欲者得究竟是，非有欲者得究竟是，無恚者得究竟是，非有恚者得究竟是，無癡者得究竟是，非有癡者得究竟是，無愛、無受者得究竟是，非有愛、有受者得究竟是，有慧、說慧者得究竟是，非無慧、不說慧者得究竟是，無憎、無諍者得究竟是，非有憎、有諍者得究竟是。若有沙門、梵志依無量見，彼一切依猗[1]二見，有見及無見也。若依有見者，彼便著有見，依*猗有

[1] 猗＝倚【元】【明】＊

見，猗[1]住有見，憎諍無見，若依無見者，彼便著無見，依*猗無見，猗住無見，憎諍有見。」

[T1.591a11]「若有沙門、梵志不知因、不知習[2]、不知滅、不知盡、不知味、不知患、不知出要如真者，彼一切有欲、恚、有癡、有愛、有受、無慧、非說慧、有憎、有諍，彼則不離生老病死，亦不能脫愁慼啼哭、憂苦懊惱，不得苦邊。若有沙門、梵志於此見知因、知*習、知滅、知盡、知味、知患、知出要如真者，彼一切無欲、無恚、無癡、無愛、無受、有慧、說慧、無憎、無諍，彼則得離生老病死，亦能得脫愁慼啼哭、憂苦懊惱，則得苦邊。」

[T1.591a20]「或有沙門、梵志施設斷受，然不施設斷一切受，施設斷欲受，不施設斷戒受、見受、我受。所以者何？彼沙門、梵志不知三處如真。是故彼雖施設斷受，然不施設斷一切受，復有沙門、梵志施設斷受，然不施設斷一切受，施設斷欲受、戒受，不施設斷見受、我受。所以者何？彼沙門、梵志不知二處如真。是故彼雖施設斷受，然不施設斷一切受，復有沙門、梵志施設斷受，然不施設斷一切受，施設斷欲受、戒受、見受，不施設斷我受。所以者何？彼沙門、梵志不知一處如真。是故彼雖施設斷受，然不施設斷一切受，如是法、律，若信尊師者，彼非正、非第一，若信法者，亦非正、非第一，若具足戒德者，亦非正、非第一，若愛敬同道、恭恪奉事者，亦非正、非第一。」

[T1.591b06]「若有如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼施設斷受，於現法中施設斷一切受，施設斷欲受、戒受、見受、我受，此四受何因何習，從何而生，以何為本，此四受因無明，習無明，從無明生，以無明為本。若有比丘無明已盡，明已生者，彼便從是不復更受欲受、戒受、見受、我受，彼不受已，則不恐怖，不恐怖已，便斷因緣，必般涅槃，生已盡，梵行已立，所作已[辨>辦]，不更受有，知如真，如是正法、律，若信尊師者，是正、是第一，若信法者，是正、是第一，若戒德具足者，是正、是第一，若愛敬同道、恭恪奉事者，是正、是第一。」

[T1.591b19]「諸賢！我等有是行，有是力，有是智，因此故令我等作如是說，此有第一沙門，第二、第三、第四沙門，此外更無沙門、梵志，異道一切空無沙門、梵志，以是故，我等隨在眾中，作如是正師子吼。」

[T1.591b23] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

---

[1] （依）＋猗【宋】【元】【明】

[2] 習＝集【元】【明】＊

[T1.591b25] 師子吼經第七竟[1](一千六百九十字)[2]，

（一○四）中阿含[3]因品

(Ma.104)優曇婆邏[4]經 第八(第二小土城誦)[5]

[T1.591b28] 我聞如是。

[T1.591b28] 一時，佛遊王舍城，在竹林伽[6]蘭哆園。

[T1.591b29] 爾時，有一居士名曰實意[7]，彼於平旦從王舍城出，欲往詣佛供養禮事。於是，實意居[土>士]作如是念：「且置詣佛，世尊或能宴坐及諸尊比丘，我寧可往優曇婆*邏林詣異學園。」於是，實意居士即往優曇婆*邏林詣異學園。

[T1.591c05] 彼時，優曇婆*邏林異學園中，有一異學名曰無恚[8]，在彼中尊為異學師，眾人所敬，多所降伏，為五百異學之所推宗，在眾調亂，音聲高大，說種種鳥論，語論、王論、賊論、鬪諍論、飲食論、衣被論、婦女論、童女論、婬女論、世俗論、非道論、海論、國論，如是比說種種鳥論，皆[9]集在彼坐。於是，異學無恚遙見實意居士來，即勅己眾，皆令嘿然。諸賢！汝等莫語嘿然，樂嘿然，各自斂[10]攝。所以者何？實意居士來，是沙門瞿曇弟子。若有沙門瞿弟子名德高遠，所可宗重，在家住止，居王舍城者，彼為第一，彼不語，樂嘿然，自收斂，若彼知此眾嘿然住者，彼或能來。於是，異學無恚令眾嘿然，自亦嘿然。

[T1.591c19] 於是，實意居士往詣異學無恚所，共相問訊，却坐一面，實意居[土>士]語曰：「無恚，我佛世尊若在無事處山林樹下，或住高巖，寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順宴坐，是佛世尊如斯之比，在無事處山林樹下，

---

[1]〔師…竟〕－【明】
[2]〔一千…字〕－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] 優曇婆邏＝優曇婆羅【宋】＊【元】＊【明】＊，～《長部》D.25.Udumbarika-Sīhanāda-Suttanta(優曇婆邏師子吼經)，《長阿含 8 經》散陀那經(大正 1.47a)。No.11.《佛說尼拘陀梵志經》(大正 1.222a)
[5]〔第二小土城誦〕－【明】
[6] 伽＝迦【宋】【元】【明】
[7] 實意～Sandhāna.
[8] 無恚～Nigrodha.
[9] 皆＝比【宋】【元】【明】
[10] 斂＝歛【元】【明】

或住高巖，寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順宴坐，彼在遠離處常樂宴坐，安隱快樂，彼佛世尊初不一日一夜共聚集會，如汝今日及眷屬也。」

[T1.591c27] 於是，異學無恚語曰：「居士，止[1]，止，汝何由得知，沙門瞿曇空慧解脫，此不足說，或相應或不相應，或順或不順，彼沙門瞿曇行邊至邊，樂邊至邊，住邊至邊，猶如瞎牛在邊地食，行邊至邊，樂邊至邊，住邊至邊，彼沙門瞿曇亦復如是，居士，若彼沙門瞿曇來此眾者，我以一論滅彼，如弄空瓶，亦當為彼說瞎牛喻。」

[T1.592a05] 於是，異學無恚告己眾曰：「諸賢！沙門瞿曇儻至此眾，若必來者，汝等莫敬，從坐[2]而起，叉手向彼，莫請令坐，豫[3]留一座，彼到此已，作如是語，瞿曇！有座，欲坐隨意。」

[T1.592a09] 爾時，世尊在於宴坐，以淨天耳出過於人，聞實意居士與異學無恚共論如是，則於晡時從宴坐起，往詣優曇婆*邏林異學園中，異學無恚遙見世尊來，即從坐起偏袒著衣，叉手向佛，讚曰：「善來，沙門瞿曇！久不來此，願坐此座。」

[T1.592a14] 彼時，世尊作如是念，此愚癡人，自違其要，世尊知已，即坐其床，異學無恚便與世尊共相問訊，却坐一面，世尊問曰：「無恚，向與實意居[土>士]共論何事，以何等故集在此坐？」

[T1.592a18] 異學無恚答曰：「瞿曇！我等作是念：沙門瞿曇有何等法，謂教訓弟子，弟子受教訓已，令得安隱，盡其形壽，淨修梵行，及為他說，瞿曇！向與實意居士共論如是，以是之故，集在此坐。」

[T1.592a23] 實意居[土>士]聞彼語已，便作是念：「此異學無恚異哉妄語。所以者何？在佛面前欺誑世尊！」世尊知已，語曰：「無恚，我法甚深，甚奇，甚特，難覺難知，難見難得，謂我教訓弟子，弟子受教訓已，盡其形壽，淨修梵行，亦為他說，無恚，若汝師宗所可不了憎惡行者，汝以問我，我必能答，令可汝意。」

[T1.592a29] 於是，調亂異學眾等同音共唱，高大聲曰：「沙門瞿曇甚奇，甚特，有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神。所以者何？乃能自捨己宗，而以他宗隨人所問於是。」異學無恚自勅己眾，令嘿然已，問曰：「瞿曇！不了可憎行。云何得具足。云何不得具足。」

---

[1] 止＝山【元】
[2] 坐＝座【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 豫＝預【宋】【元】【明】

[T1.592b06] 於是，世尊答曰：「無恚，或有沙門、梵志倮形無衣，或以手為衣，或以葉為衣，或以珠為衣，或不以瓶取水，或不以槌取水，不食刀杖劫抄之食，不食欺妄食，不自往、不遣信，不求來尊，不善尊，不住尊。若有二人食，不在中食，不懷姙家食，不畜狗家食，設使家有糞蠅飛來而[1]不食[2]，不噉魚，不食肉，不飲酒，不飲惡水，或都無所飲，學無飲行，或噉一口，以一口為足，或二、三、四，乃至七口，以七口為足，或食一得，以一得為足，或二、三、四乃至七得，以七得為足，或日一食，以一食為足，或二、三、四、五、六、七日、半月、一月一食，以一食為足 。」

[T1.592b19]「或食菜茹，或食稗子，或食[木*祭]米，或食雜[麩-夫+黃]，或食頭頭邏[3]食，或食麤食，或至無事處，依於無事，或食根，或食果，或食自落果，或持連合衣，或持毛衣，或持頭舍衣[4]，或持毛頭舍衣，或持全皮，或持穿皮，或持全穿皮，或持散髮，或持編髮，或持散編髮[5]，或有剃髮，或有剃鬚，或剃鬚髮，或有拔髮，或有拔鬚[6]，或拔鬚髮，或住立斷坐，或修蹲行，或有臥刺，以刺為床，或有臥果，以果為床，或有事水，晝夜手抒，或有事火，竟昔[7]然之，或事日月尊祐大德，叉手向彼，如此之比，受無量苦，學煩熱行，無恚，於意云何？不了可憎行如是，為具足，為不具足。」

[T1.592c03] 異學無恚答曰：「瞿曇！如是不了可憎行為具足，非不具足。」

[T1.592c04] 世尊復語曰：「無恚，我為汝說此不了可憎具足行為無量穢所污。」

[T1.592c06] 異學無恚問曰：「瞿曇云何為我說此不了可憎具足行為無量穢所污耶？」

[T1.592c07] 世尊答曰：「無恚，或有一清[8]苦行苦行，因此*清苦行苦行，惡欲、念欲，無恚。若有一*清苦行苦行，因此清苦行苦行，惡欲、念欲者，是謂，無恚，行苦行者穢。復次，無恚，或有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，仰視日光，吸服日氣，無恚。若有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，仰視日光，吸服日氣者，是謂，無恚，行苦行者穢。復次，無恚，或有一*清苦行苦行，因此清苦行苦行而自貢高，得*清苦行苦行已，心便繫著，無恚。若有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行而自貢高，得*清苦行苦行已，心便繫著者，是謂，無恚，行苦行者穢。」

---

[1] 而＝便【宋】【元】【明】
[2] 食＋（也）【宋】【元】【明】
[3] [>頭頭邏]～Daddula.，邏＝羅【宋】【元】【明】
[4] [>頭舍衣]～Dussa.
[5] 髮＝鬚【元】【明】＊
[6] 鬚＝髮【元】【明】
[7] 昔＝宿【元】【明】
[8] 清＝精【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.592c20]「復次，無恚，或有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，自貴賤他，無恚。若有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，自貴賤他者，是謂，無恚，行苦行者穢。復次，無恚，或有一*清苦行苦行，因此清苦行苦行，往至家家而自稱說，我行*清苦，我行甚難，無恚。若有一*清苦行苦行，因此清苦行苦行，往至家家而自稱說，我行*清苦，我行甚難，者，是謂，無恚，行苦行者穢。」

[T1.592c28]「復次，無恚，或有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，若見沙門、梵志為他所敬重、供養、禮事者，便起嫉妬言，何為敬重、供養、禮事彼沙門、梵志，應敬重、供養、禮事於我。所以者何？我行苦行，無恚。若有一*清苦行苦行，因此清苦行苦行，若見沙門、梵志為他所敬重、供養、禮事者，便起嫉妬言，何為敬重、供養、禮事彼沙門、梵志，應敬重、供養、禮事於我。所以者何？我行苦行，者，是謂，無恚，行苦行者穢。」

[T1.593a08]「復次，無恚，或有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，若見沙門、梵志為他所敬重、供養、禮事者，便面訶此沙門、梵志言，何為敬重、供養、禮事，汝多欲、多求、常食，食根種子、樹種子、果種子、節種子、種子[1]為五，猶如暴雨，多所傷害五穀種子，嬈亂畜生及於人民。如是，彼沙門、梵志數入他家亦復如是，無恚。若有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，若見沙門、梵志為他所敬重、供養、禮事者，便面訶此沙門、梵志言，何為敬重、供養、禮事，汝多欲、多求、常食，食根種子、樹種子、果種子、節種*子、種子為五，猶如暴雨，多所傷害五穀種子，嬈亂畜生及於人民。如是，彼沙門、梵志數入他家亦復如是，者，是謂，無恚，行苦行者穢。」

[T1.593a22]「復次，無恚，或有一*清苦行苦行，因此清苦行苦行，有愁癡恐怖、恐懼密行、疑恐失名、增伺放逸，無恚。若有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，有愁癡恐怖、恐懼密行、疑恐失名、增伺放逸者，是謂，無恚，行苦行者穢。復次，無恚，或有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，生身見、邊見、邪見、見取、難為，意無節限，為諸沙門、梵志可通法而不通，無恚。若有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，生身見、邊見、邪見、見取、難為，意無節限，為沙門、梵志可通法而不通者，是謂，無恚，行苦行者穢。」

[T1.593b04]「復次，無恚，或有一*清苦行苦行，因此清苦行苦行，瞋、纏、不語結、慳、嫉、諛諂、欺誑、無慙、無愧，無恚。若有一*清苦行苦行，因此清苦行苦行，瞋纏、不語結、慳、嫉、諛諂、欺誑、無慙、無愧者，是謂，無恚，行苦行者穢。復次，無恚，或有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，妄言、兩舌、麤言、綺語，具惡戒，無恚。若有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，妄言、兩舌、麤言、綺語，具惡戒者，是謂，無恚，行苦行者穢，復[>次]，無恚，或有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，不信、懈怠，無正念正

[1] 子＋（子）【宋】＊【元】＊【明】＊

智，有惡慧，無恚。若有一*清苦行苦行，因此清苦行苦行，不信、懈怠，無正念正智、有惡慧者，是謂，無恚，行苦行者穢，無恚，我不為汝說此不了可憎具足行，無量穢所污耶？」

[T1.593b18] 異學無恚答曰：「如是，瞿曇為我說此不了可憎具足行，無量穢所污。」

[T1.593b20]「無恚，我復為汝說此不了可憎具足行，不為無量穢所污。」

[T1.593b21] 異學無恚復問曰：「云何瞿曇為我說此不了可憎具足行，不為無量穢所污耶？」

[T1.593b23] 世尊答曰：「無恚，或有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，不惡欲、不念欲，無恚。若有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，不惡欲、不念欲者，是謂，無恚，行苦行者無穢。復次，無恚，或有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，不視日光，不服日氣，無恚。若有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，不視日光，不服日氣者，是謂，無恚，行苦行者無穢。復次，無恚，或有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行而不貢高，得清苦行苦行已，心不繫著，無恚。若有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行而不貢高，得清苦行苦行已，心不繫著者，是謂，無恚，行苦行者無穢。」

[T1.593c06]「復次，無恚，或有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，不自貴、不賤他，無恚，若一*清苦行苦行，因此清苦行苦行，不自貴、不賤他者，是謂，無恚，行苦行者無穢。復次，無恚，若[1]有一*清苦行苦行，因此清苦行苦行，不至家家而自稱說，我行清苦行，我行甚難，無恚。若有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，不至家家而自稱說，我行*清苦行[2]，我行甚難，者，是謂，無恚，行苦行者無穢。」

[T1.593c15]「復次，無恚，或有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，若見沙門、梵志為他所敬重、供養、禮事者，不起嫉妬言，何為敬重、供養、禮事彼沙門、梵志，應敬重、供養、禮事於我。所以者何？我行苦行，無恚。若有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，若見沙門、梵志為他所敬重、供養、禮事者，不起嫉妬言，何為敬重、供養、禮事彼沙門、梵志，應敬重、供養、禮事於我。所以者何？我行苦行，者，是謂，無恚，行苦行者無穢。」

[T1.593c24]「復次，無恚，或有一*清苦行苦行，因此清苦行苦行，若見沙門、梵志為他所敬重、供養、禮事者，不面訶此沙門、梵志言，何為敬重、供養、禮事，汝多欲、多求、常食，食根種子、樹種子、果種子、節種*子、種子為

[1] 若＝或【宋】【元】【明】
[2]〔行〕－【宋】【元】【明】

五，猶如暴雨，多所傷害五穀種子，嬈亂畜生及於人民。如是，彼沙門、梵志數入他家亦復如是，無恚。若有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，若見沙門、梵志為他所敬重、供養、禮事者，不面訶此沙門、梵志言，何為敬重、供養、禮事，汝多欲、多求、常食，食根種子、樹種子、果種子、節種*清子、種子為五，猶如暴雨，多所傷害五穀種子，嬈亂畜生及於人民。如是，彼沙門、梵志數入他家亦復如是，者，是謂，無恚，行苦行者無穢。」

[T1.594a09]「復次，無恚，或有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，不愁癡恐怖、不恐懼密行、不疑恐失名、不增[1]伺放逸，無恚。若有一*清苦行苦行，因此清苦行苦行，不愁癡恐怖、不恐懼密行、不疑恐失名、不*增伺放逸者，是謂，無恚，行苦行者無穢。復次，無恚，或有一*清苦行苦行，因此清苦行苦行，不生身見、邊見、邪見、見取、不難為，意無節限，為諸沙門、梵志可通法而通，無恚。若有一*清苦行苦行，因此清苦行苦行，不生身見、邊見、邪見、見取、不難為，意無節限，為諸沙門、梵志可通法而通者，是謂，無恚，行苦行者無穢。」

[T1.594a21]「復次，無恚，或有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，無瞋纏、不語結、慳、嫉、諛諂、欺誑、無慙、無愧，無恚。若有一*清苦行苦行，因此清苦行苦行，無瞋、纏、不語結、慳、嫉、諛諂、欺誑、無慙、無愧者，是謂，無恚，行苦行者無穢。復次，無恚，或有一*清苦行苦行，因此清苦行苦行，不妄言、兩舌、麤言、綺語，不具惡戒，無恚。若有一*清苦行苦行，因此清苦行苦行，不妄言、兩舌、麤言、綺語，不具惡戒者，是謂，無恚，行苦行者無穢。復次，無恚，或有一*清苦行苦行，因此*清苦行苦行，無不信、懈怠，有正念正智，無有惡慧，無恚。若有一*清苦行苦行，因此清苦行苦行，無不信、懈怠，有正念正智、無惡慧者，是謂，無恚，行苦行者無穢，無恚，我不為汝說此不了可憎具足行，不為無量穢所污耶？」

[T1.594b07] 異學無恚答曰：「如是，瞿曇為我說此不了可憎具足行，不為無量穢所污。」

[T1.594b09] 異學無恚問曰：「瞿曇！此不了可憎行，是得第一、得真實耶？」

[T1.594b10] 世尊答曰：「無恚，此不了可憎行，不得第一、不得真實，然有二種，得皮、得節。」

[T1.594b12] 異學無恚復問曰：「瞿曇。云何此不了可憎行得表皮耶？」

[1] 增＝僧【宋】＊

[T1.594b13] 世尊答曰：「無恚，此或有一沙門梵志行四行，不殺生、不教殺、不同殺，不偷、不教偷、不同偷、不取他女、不教取他女、不同取他女，不妄言、不教妄言、不同妄言，彼行此四行，樂而不進，心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結、無怨、無恚、無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲喜心與捨俱，無結、無怨、無恚、無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，無恚，於意云何？如是此不了可憎行得表皮耶？」

[T1.594b23] 無恚答曰：「瞿曇！如是此不了可憎行得表皮也。瞿曇。云何此不了可憎行得節耶？」

[T1.594b25] 世尊答曰：「無恚，或有一沙門梵志行四行，不殺生、不教殺、不同殺，不偷、不教偷、不同偷，不取他女、不教取他女、不同取他女，不妄言、不教妄言、不同妄言，彼行此四行，樂而不進，彼有行有相貌，憶本無量昔所經歷，或一生、二生、百生、千生、成劫、敗劫、無量成敗劫，彼眾生名某，彼昔更歷，我曾生彼，如是姓、如是字、如是生、如是飲食、如是受苦樂、如是長壽、如是久住、如是壽命訖，此死生彼，彼死生此，我生在此如是姓、如是字、如是生、如是飲食、如是受苦樂、如是長壽、如是久住、如是壽命訖，無恚，於意云何？如是此不了可憎行得節耶？」

[T1.594c09] 無恚答曰：「瞿曇！如是此不了可憎行得節也。瞿曇。云何此不了可憎行得第一、得真實耶？」

[T1.594c11] 世尊答曰：「無恚，或有一沙門梵志行四行，不殺生、不教殺、不同殺、不偷、不教偷、不同偷、不取他女，不教取他女、不同取他女，不妄言、不教妄言、不同妄言，彼行此四行，樂而不進，彼以清淨天眼出過於人，見此眾生死時生時，好色惡色，妙與不妙，往來善處及不善處，隨此眾生之所作業，見其如真，若此眾生成就身惡行，口、意惡行，誹謗聖人，邪見成就邪見業，彼因緣此，身壞命終，必至惡處，生地獄中，若此眾生成就身妙行，口、意妙行，不誹謗聖人，正見成就正見業，彼因緣此，身壞命終，必昇善處，乃生[1]天上，無恚，於意云何？如是此不了可憎行得第一、得真實耶？」

[T1.594c24] 無恚答曰：「瞿曇！如是此不了可憎行得第一、得真實也。瞿曇。云何此不了可憎行作證故，沙門瞿曇弟子依沙門行梵行耶？

[T1.594c27] 世尊答曰：「無恚，非因此不了可憎行作證故，我弟子依我行梵行也。無恚，更有異，最上、最妙、最勝，為彼證故，我弟子依我行梵行。」

[1] 生＝至【宋】【元】【明】

[T1.595a01] 於是，調亂異學眾等發高大聲。如是，如是，為彼證故，沙門瞿曇弟子依沙門瞿曇行梵行。」

[T1.595a03] 於是，異學無恚自勑己眾，令默然已，白曰：「瞿曇！何者更有異，最上、最妙、最勝，為彼證故，沙門瞿曇弟子依沙門瞿曇行梵行耶？」

[T1.595a06] 於是，世尊答曰：「無恚，若如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，出於世間，彼捨五蓋心穢慧羸，離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊，彼已如是定心清淨，無穢無煩，柔軟善住，得不動心，趣向漏盡智通作證，彼知此苦如真，知此苦習[1]、知此苦滅、知此苦滅道如真，亦知此漏、知此*漏習、知此漏滅、知此漏滅道如真，彼如是知、如是見，欲漏心解脫，有漏、無明漏心解脫，解脫已，便知解脫，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，無恚，是謂更有異，最上、最妙、最勝，為彼證故，我弟子依我行梵行。」

[T1.595a19] 於是，實意居士語曰：「無恚，世尊在此，汝今可以一論滅，如抦空瓶，說如瞎牛在邊地食。」

[T1.595a21] 世尊聞已，語異學無恚曰：「汝實如是說耶？」

[T1.595a22] 異學無恚答曰：「實如是，瞿曇！」

[T1.595a22] 世尊復問曰：「無恚，汝頗曾從長老舊學所聞如是，過去如來、無所著、等正覺。若有無事處山林樹下，或有高巖，寂無音聲，遠離、無惡，無有人民，隨順宴坐，諸佛世尊在無事處山林樹下，或住高巖，寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順宴坐，彼在遠離處常樂宴坐，安隱快樂，彼初不一日一夜共聚集會，如汝今日及眷屬耶？」

[T1.595b01] 異學無恚答曰：「瞿曇！我曾從長老舊學所聞如是，過去如來、無所著、等正覺。若有無事處山林樹下，或有高巖，寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順宴坐，諸佛世尊在無事處山林樹下，或住高巖，寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順宴坐，彼在遠離處常樂宴坐，安隱快樂，初不一日一夜共聚集會，如我今日及眷屬也。」

[T1.595b08]「無恚，汝不作是念：如彼世尊在無事處山林樹下，或住高巖，寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順宴坐，彼在遠離處常樂宴坐，安隱快樂，彼沙門瞿曇學正覺道耶？」

---

[1] 習＝集【元】【明】＊

[T1.595b12] 異學無恚答曰：「瞿曇！我若知者，何由當復作如是說，一論便滅，如弄空瓶，說瞎牛在邊地食耶？」

[T1.595b14] 世尊語曰：「無恚，我今有法善善相應，彼彼解脫句能以作證，如來以此自稱無畏，諸比丘我弟子來，無諛諂，不欺誑，質直無虛，我訓隨教已，必得究竟智，無恚，若汝作是念：沙門瞿曇貪師故說法，汝莫作是念：以師還汝，我其為汝說法，無恚，若汝作是念：沙門瞿曇貪弟子故說法，汝莫作是念：弟子還汝，我其為汝說法，無恚，若汝作是念：沙門瞿曇貪供養故說法，汝莫作是念：供養還汝，我其為汝說法，無恚，若汝作是念：沙門瞿曇貪稱譽故說法，汝莫作是念：稱譽還汝，我其為汝說法，無恚，若汝作是念：我若有法善善相應，彼彼解脫句能以作證，彼沙門瞿曇！奪我滅我者，汝莫作是念：以法還汝，我其為汝說法。」

[T1.595b29] 於是，大眾默然而住。所以者何？彼為魔王所制持故，彼時，世尊告實意居士曰：「汝看此大眾默然而住。所以者何？彼為魔王所制持故，彼令異學眾無有一[1]異學作是念：我試於沙門瞿曇所修行梵行。」

[T1.595c05] 世尊知已，為實意居士說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即從*坐起，便接實意居士臂，以神足飛，乘虛而去。

[T1.595c08] 佛說如是，實意居士聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.595c10] 優曇婆邏經第八竟[2](五千八百九十八字)[3]，

（一○五）中阿含[4]因

(Ma.105)品願經 第九[5](第二小土城誦)[6]

[T1.595c12] 我聞如是。

[T1.595c12] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

---

[1]〔一〕－【宋】【元】【明】
[2]〔優…竟〕－【明】
[3]〔五…字〕－【宋】【元】【明】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～《中部》M.6. Ākaṅkheyya sutta.(願經)，參閱 A.10.71.Ākaṅkha.
[6]〔第二小土城誦〕－【明】

[T1.595c13] 爾時，有一比丘在遠離獨任[1]，閑居靜處，宴坐思惟，心作是念：「世尊慰勞共我語言，為我說法，得具足戒而不廢禪，成就觀行於空靜[2]處。」於是，比丘作是念已，則於晡時從宴坐起，往詣佛所。」

[T1.595c17] 世尊遙見彼比丘來，因彼比丘故，告諸比丘：「汝等當願世尊慰勞共我語言，為我說法，得具足戒而不廢禪，成就觀行於空靜處，比丘！當願我有親族，令彼因我身壞命終，必昇善處，乃生天上，得具足戒而不廢禪，成就觀行於空*靜處，比丘！當願諸施我衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，令彼此施有大功德，有大光明，獲大果報，得具足戒而不廢禪，成就觀行於空靜處。」

[T1.595c26]「比丘！當願我能忍飢渴、寒熱、蚊虻、蠅蚤、風日所逼，惡聲、捶杖亦能忍之，身遇諸疾，極為苦痛，至命欲絕，諸不可樂，皆能堪耐，得具足戒而不廢禪，成就觀行於空靜處，比丘！當願我堪耐不樂，若生不樂，心終不著，得具足戒而不廢禪，成就觀行於空靜處，比丘！當願我堪耐恐怖，若生恐怖，心終不著，得具足戒而不廢禪，成就觀行於空*靜處，比丘！當願我若生三惡不善之念欲念、恚念、害念，為此三惡不善之念，心終不著，得具足戒而不廢禪，成就觀行於空靜處。」

[T1.596a08]「比丘！當願我離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊，得具足戒而不廢禪，成就觀行於空*靜處，比丘！當願我三結已盡，得須陀洹，不墮惡法，定趣正覺，極受七有，天上人間七往來已，便得苦邊，得具足戒而不廢禪，成就觀行於空靜處，比丘！當願我三結已盡，婬、怒、癡薄，得一往來天上人間，一往來已，便得苦邊，得具足戒而不廢禪，成就觀行於空靜處，比丘！當願我五下分結盡，生於彼間，便般涅槃，得不退法，不還此世，得具足戒而不廢禪，成就觀行於空*靜處。」

[T1.596a19]「比丘！當願我息、解脫，離色得無色，如其像定，身作證成就遊，以慧而觀斷漏、知漏，得具足戒而不廢禪，成就觀行於空*靜處，比丘！當願我如意足、天耳智、他心智、宿命智、生死智，諸漏已盡而得無漏，心解脫，慧解脫，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，得具足戒而不廢禪，成就觀行於空*靜處。」

[T1.596a27]「於是，彼比丘聞佛所說，善受善持，即從坐[3]起，稽首佛足，繞三匝而去，彼比丘受佛此教，閑居靜處，宴坐思惟，修行精勤，心無放逸，因閑居靜處，宴坐思惟，修行精勤，心無放逸故，若族姓子所為，剃除鬚髮，著袈

---

[1] 任＝住【宋】【元】【明】
[2] 靜＝靖【宋】【元】＊
[3] 坐＝座【宋】【元】【明】

裟衣，至信、捨家、無家、學道者，唯無上梵行訖，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，彼尊者知法已，至得阿羅訶。」

[T1.596b06] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.596b08] 願經第九竟[1](八百六十五字)[2]，

（一○六）中阿含[3]因品

(Ma.106)想經 第十[4](第二小土城誦)[5]

[T1.596b11] 我聞如是。

[T1.596b11] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.596b12] 爾時，世尊告諸比丘：「若有沙門、梵志於地有地想，地即是神，地是神所，神是地所，彼計地即是神已，便不知地，如是水、火、風、神、天、生[6]主、梵天、無煩、無熱，彼於淨有淨想，淨即是神，淨是神所，神是淨所，彼計淨即是神已，便不知淨，無量空處、無量識處、無所有處、非有想非無想處、一、別、若干、見、聞、識、知，得觀意所念、意所思，從此世至彼世，從彼世至此世，彼於一切有一切想，一切即是神，一切是神所，神是一切所，彼[7]計一切即是神已，便不知一切。」

[T1.596b22]「若有沙門、梵志於地則知地，地非是神，地非神所，神非地所，彼不計地即是神已，彼便知地，如是水、火、風、神、天、*生主、梵天、無煩、無熱，彼於淨則知淨，淨非是神，淨非神所，神非淨所，彼不計淨即是神已，彼便知淨，無量空處、無量識處、無所有處、非有想非無想處、一、別、若干、見、聞、識、知，得觀意所念、意所思，從此世至彼世，從彼世至此世，彼於一切則知一切，一切非是神，一切非神所，神非一切所，彼不計一切即是神已，彼便知一切。」

---

[1]〔願…竟〕－【明】
[2]〔八…字〕－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《中部》M.1.Mūlapariyāya sutta (根本法門經)，No.56.《樂想經》(大正 1.851a)、《增壹阿含 44.6 經》
[5]〔第二小土城誦〕－【明】
[6] 生＝王【元】【明】＊
[7] 彼＝便【宋】【元】

[T1.596c03]「我於地則知地，地非是神，地非神所，神非地所，我不計地即是神已，我便知地，如是水、火、風、神、天、*生主、梵天、無煩、無熱，我於淨則知淨，淨非是神，淨非神所，神非淨所，我不計淨即是神已，我便知淨，無量空處、無量識處、無所有處、非有想非無想處、一、別、若干、見、聞、識、知，得觀意所念、意所思，從此世至彼世，從彼世至此世，我於一切則知一切，一切非是神，一切非神所，神非一切所，我不計一切即是神已，我便知一切。」

[T1.596c13] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.596c15] 想經第十竟 [1](五百二十六字)[2]，

中阿含經卷第二十六(八千九百七十九字) [3]

中阿含因品第四竟 [4](二萬五千五十六字)，

中阿含經

卷第二十七(Ma.107~112)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

林品第五 [5](有十經)(第二小土城誦)[6]

二林、觀心二　　達、奴波、法本　　優陀羅、蜜丸　　瞿曇彌在後

（一○七）中阿含 [7]林品

---

[1]〔想…竟〕－【明】
[2]〔五…字〕－【宋】【元】【明】
[3]〔八…字〕－【宋】【元】【明】
[4]〔中阿含因品第四竟(二萬五千五十六字)〕－【宋】【元】【明】
[5] 五＝十【明】
[6]　（第二小土城誦）在卷題下【宋】【元】【明】
[7]〔中阿含〕－【明】

(Ma.107) [1]林經 [2] 第一

[T1.596c26] 我聞如是。

[T1.596c26] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.596c27] 爾時，世尊告諸比丘：「比丘者，依一林住，我依此林住，或無正念便得正念，其心不定而得定心，若不解脫便得解脫，諸漏不盡而得漏盡，不得無上安隱涅槃則得涅槃，學道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，易不難得，彼比丘依此林住，依此林住已，若無正念不得正念，其心不定不得定心，若不解脫不得解脫，諸漏不盡不得漏盡，不得 [3]無上安隱涅槃，然不得涅槃，學道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，易不難得，彼比丘應作是觀，我出家學道，不為衣被故，不為飲食、床榻、湯藥故，亦不為諸生活具故，然我依此林住，或無正念不得正念，其心不定不得定心，若不解脫不得解脫，諸漏不盡不得漏盡，不得無上安隱涅槃，然不得涅槃，學道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，易不難得，彼比丘如是觀已，可捨此林去。」

[T1.597a16]「比丘者，依一林住，我依此林住，或無正念便得正念，其心不定而得定心，若不解脫便得解脫，諸漏不盡而得漏盡，不得無上安隱涅槃則得涅槃，學道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，易不難得，彼比丘依此林住，依此林住已，或無正念便得正念，其心不定而得定心，若不得 [4]解脫便得解脫，諸漏不盡而得漏盡，不得無上安隱涅槃則得涅槃，學道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，甚難可得，彼比丘應作是觀，我出家學道，不為衣被故，不為飲食、床榻、湯藥故，亦不為諸生活具故，然依此林住，或無正念便得正念，其心不定而得定心，若不解脫便得解脫，諸漏不盡而得漏盡，不得無上安隱涅槃則得涅槃，學道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，甚難可得，彼比丘如是觀已，可住此林。」

[T1.597b04]「比丘者，依一林住，我依此林住，或無正念便得正念，其心不定而得定心，若不解脫便得解脫，諸漏不盡而得漏盡，不得無上安隱涅槃則得涅槃，學道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，易不難得，彼比丘依此林住，依此林住已，或無正念不得正念，其心不定不得定心，若不解脫不得解脫，諸漏不盡不得漏盡，不得無上安隱涅槃，然不得涅槃，學

---

[1] ～《中部》M.17. Vanapattha sutta. (林藪經)
[2] 經＋（上）【明】
[3] 得＝修【宋】【元】【明】
[4]〔得〕－【宋】【元】【明】

道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，甚難可得，彼比丘應作是觀，我依此林住，或無正念不得正念，其心不定不得定心，若不解脫不得解脫，諸漏不盡不得漏盡，不得無上安隱涅槃，然不得涅槃，學道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，甚難可得，彼比丘如是觀已，即捨此林，夜半而去，莫與彼別。」

[T1.597b20]「比丘者，依一林住，我依此林住，或無正念便得正念，其心不定而得定心，若不解脫便得解脫，諸漏不盡而得漏盡，不得無上安隱涅槃則得涅槃，學道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，易不難得，彼比丘依此林住，依此林住已，或無正念便得正念，其心不定而得定心，若不解脫便得解脫，諸漏不盡而得漏盡，不得無上安隱涅槃則得涅槃，學道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，易不難得，彼比丘應作是觀，我依此林住，或無正念便得正念，其心不定而得定心，若不解脫便得解脫，諸漏不盡而得漏盡，不得無上安隱涅槃則得涅槃，學道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，易不難得，彼比丘如是觀已，依此林住，乃可終身至其命盡，如依林住，塚[1]間、村邑、依於人住亦復如是。」

[T1.597c09] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.597c10] 林經第一竟[2](千一百六十五字)[3]，

（一○八）中阿含[4]林品

(Ma.108)[5]林經[6] 第二(第二小土城誦)[7]

[T1.597c12] 我聞如是。

[T1.597c12] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.597c13] 爾時，世尊告諸比丘：「比丘者，依一林住，我依此林住，或所為出家學道，欲得沙門義，此義於我得，學道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，易不難得，彼比丘依此林住，依此林住已，所為出家

---

[1] [塚>塚]＝冢【宋】【元】【明】
[2]〔林…竟〕－【明】
[3]〔千…字〕－【宋】【元】【明】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～《中部》M.17. Vanapattha sutta. (林藪經)
[6] 經＋（下）【明】
[7]〔第二小土城誦〕－【明】

學道，欲得沙門義，此義於我不得，學道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，易不難得，彼比丘應作是觀，我出家學道，不為衣被故，不為飲食、床榻、湯藥故，亦不為諸生活具故，然我依此林住，所為出家學道，欲得沙門義，此義於我不得，學道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，易不難得，彼比丘如是觀已，可捨此林去。」

[T1.597c26]「比丘者，依一林住，我依此林住，或所為出家學道，欲得沙門義，此義於我得，學道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，易不難得，彼比丘依此林住，依此林住已，所為出家學道，欲得沙門義，此義於我得，學道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，甚難可得，彼比丘應作是觀，我出家學道，不為衣被故，不為飲食、床榻、湯藥故，亦不為諸生活具故，然我依此林住，所為出家學道，欲得沙門義，此義於我得，學道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，甚難可得，彼比丘如是觀已，可住此林。」

[T1.598a09]「比丘者，依一林住，我依此林住，或所為出家學道，欲得沙門義，此義於我得，學道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，易不難得，彼比丘依此林住，依此林住已，所為出家學道，欲得沙門義，此義於我不得，學道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，甚難可得，彼比丘應作是觀，我依此林住，所為出家學道，欲得沙門義，此義於我不得，學道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，甚難可得，彼比丘如是觀已，即捨此林，夜半而去，莫與彼別。」

[T1.598a20]「比丘者，依一林住，我依此林住，或所為出家學道，欲得沙門義，此義於我得，學道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，易不難得，彼比丘依此林住，依此林住已，所為出家學道，欲得沙門義，此義於我得，學道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，易不難得，彼比丘應作是觀，我依此林住，所為出家學道，欲得沙門義，此義於我得，學道者所須衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，彼一切求索，易不難得，彼比丘作[1]是觀已，依此林住，乃可終身至其命盡，如依林住，塚[2]間、村邑、依於人住亦復如是。」

[T1.598b04] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.598b06] 林經第二竟[3](八百三十一字)[4]，

---

[1] 作＝如【宋】【元】【明】
[2] 塚＝冢【宋】【元】【明】
[3]〔林…竟〕－【明】
[4]〔八…字〕－【宋】【元】【明】

（一○九）中阿含[1]林品

(Ma.109)[2]自觀心經[3] 第三(第二小土城誦)[4]

[T1.598b09] 我聞如是。

[T1.598b09] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.598b10] 爾時，世尊告諸比丘：「若有比丘不能善觀於他心者，當自善觀察於己心，應學如是。云何比丘善自觀心，比丘者。若有此觀，必多所饒益，我為得內止，不得最上慧觀法耶？我為得最上慧觀法，不得內止耶？我為不得內止，亦不得最上慧觀法耶？我為得內止，亦得最上慧觀法耶？」

[T1.598b16]「若比丘觀已，則知我得內止，不得最上慧觀法者，彼比丘得內止已，當求最上慧觀法，彼於後時得內止，亦得最上慧觀法，若比丘觀已，則知我得最上慧觀法，不得內止者，彼比丘住最上慧觀法已，當求內止，彼於後時得最上慧觀法，亦得內止，若比丘觀已，則知我不得內止，亦不得最上慧觀法者，如是比丘不得此善法，為欲得故，便以速求方便，學極精勤，正念正智，忍不令退，猶人為火燒頭、燒衣，急求方便救頭、救衣。如是，比丘不得此善法，為欲得故，便以速求方便，學極精勤，正念正智，忍不令退，彼於後時即得內止，亦得最上慧觀法，若比丘觀已，則知我得內止，亦得最上慧觀法，彼比丘住此善法已，當求漏盡智通作證。所以者何？我說不得畜一切衣，亦說得畜一切衣。」

[T1.598c04]「云何衣我說不得畜，若畜衣便增長惡不善法、衰退善法者，如是衣我說不得畜。云何衣我說得畜，若畜衣便增長善法、衰退惡不善法者，如是衣我說得畜，如衣、飲食、床榻村邑亦復如是，我說不得狎習一切人，亦說得狎習一切人。云何人我說不得狎習，若狎習人便增長惡不善法、衰退善法者，如是人我說不得狎習。云何人我說得與狎習，若狎習人便增長善法、衰退惡不善法者，如是人我說得與狎習。」

[T1.598c14]「彼可習法知如真、不可習法亦知如真，彼可習法、不可習法知如真已，不可習法便不習，可習法便習，彼不可習[1]不習，可習法習已，便增長善法，衰退惡不善法，是謂比丘善自觀心，善自知心，善取善捨。」

---

[1]〔中阿含〕－【明】
[2] ～《增支部》A.10.51. Sacitta(自心)，《增支部》A.10.54. Samatha (寂止)
[3] 經＋（上）【明】
[4]〔第二小土城誦〕－【明】

[T1.598c18] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.598c20] 自觀心經第三竟[2](六百三十五字)[3]，

（一一○）中阿含[4]林品

(Ma.110)[5]自觀心經[6] 第四(第二小土城誦)[7]

[T1.598c23] 我聞如是。

[T1.598c23] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.598c24] 爾時，世尊告諸比丘：「若有比丘不能善觀於他心者，當自善觀察於己心，應學如是。云何比丘善自觀心，比丘者。若有此觀，必多所饒益，我為多行增[8]伺，為多行無*增伺，我為多行瞋恚心，為多行無瞋恚心，我為多行睡眠纏，為多行無睡眠纏，我為多行調[9]貢高，為多行無*調貢高，我為多行疑惑，為多行無疑惑，我為多行身諍，為多行無身諍，我為多行穢污心，為多行無穢汙心，我為多行信，為多行不信，我為多行精進，為多行懈怠，我為多行念，為多行無念，我為多行定，為多行無定，我為多行惡慧，為多行無惡慧。」

[T1.599a07]「若比丘觀時，則知我多行*增伺、瞋恚心、睡眠纏、*調、貢高、疑惑、身諍、穢汙心、不信、懈怠、無念、無定、多行惡慧者，彼比丘欲滅此惡不善法故，便以速求方便，學極精勤，正念正智，忍不令退，猶人為火燒頭、燒衣、急求方便救頭、救衣。如是，比丘欲滅此惡不善法故，便以速求方便，學極精勤，正念正智，忍不令退，若比丘觀時，則知我多行無*增伺、無瞋恚心、無睡眠纏、無*調貢高、無疑惑、無身諍、無穢污心、有信、有進、有念、有定、多行無惡慧者，彼比丘住此[10]善法已，當求漏盡智通作證。所以者何？我說不得畜一切衣，亦說得畜一切衣。」

---

[1] 習＋（法）【宋】【元】【明】
[2]〔自…竟〕－【明】
[3]〔六…字〕－【宋】【元】【明】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～《增支部》A.10.51. Sacitta(自心)，《增支部》A.10.54. Samatha (寂止)
[6] 經＋（下）【明】
[7]〔第二小土城誦〕－【明】
[8] 增＝憎【宋】＊
[9] 調＝掉【元】【明】＊
[10] 此＝北【宋】

[T1.599a20]「云何衣我說不得畜，若畜衣便增長惡不善法、衰退善法者，如是衣我說不得畜。云何衣我說得畜，若畜衣便增長善法、衰退惡不善法者，如是衣我說得畜，如衣，飲食、床榻村邑亦復如是，我說不得狎習一切人，亦說得狎習一切人。云何人我說不得狎習，若狎習人便增長惡不善法、衰退善法者，如是人我說不得狎習。云何人我說得與狎習，若狎習人便增長善法、衰退惡不善法者，如是人我說得與狎習，

[T1.599b01]「彼可習法知如真，不可習法亦知如真，彼可習法、不可習法知如真已，不可習法便不習，可習法便習，彼不可習法不習，可習法習已，便增長善法，衰退惡不善法，是謂比丘善自觀心，善自知心，善取善捨。」

[T1.599b05] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.599b07] 自觀心經第四竟[1](六百六十字)[2]，

（一一一）中阿含[3]林品

(Ma.111)達梵行經 第五[4](第二小土城誦)[5]

[T1.599b10] 我聞如是。

[T1.599b10] 一時，佛遊拘樓瘦，在劍磨瑟曇拘樓都邑。

[T1.599b11] 爾時，世尊告諸比丘：「我當為汝說法，初妙、中妙、竟亦妙，有文有義，具足清淨，顯現梵行，謂名達梵行，能盡諸漏，汝等諦聽，善思念之。」

[T1.599b14] 時，諸比丘受教而聽。

[T1.599b14] 世尊告曰：「汝等當知漏[6]，知漏所因生，知漏有報，知漏勝如[7]，知漏滅盡，知漏滅道，汝等當知覺[8]，知覺所因生，知覺有報，知覺勝如，知覺

---

[1]〔自…竟〕－【明】
[2]〔六…字〕－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《增支部》A. VI. 63. Nibbedhika sutta. (抉擇)，No.57.《佛說漏分布經》(大正 1.851b)
[5]〔第二小土城誦〕－【明】
[6] 漏～Āsava.
[7] 勝如～Vemattatā.
[8] 覺～Vedanā.

滅盡，知覺滅道，汝等當知想[1]，知想所因生，知想有報，知想勝如，知想滅盡，知想滅道，汝等當知欲[2]，知欲所因生，知欲有報，知欲勝如，知欲滅盡，盡，知欲滅道，汝等當知業[3]，知業所因生，知業有報，知業勝如，知業滅盡，盡，知業滅道，汝等當知苦，知苦所因生，知苦有報，知苦勝如，知苦滅盡，知苦滅道。」

[T1.599b25]「云何知漏，謂有三漏欲漏、有漏、無明漏，是謂知漏。云何知漏所因生，謂無明也。因無明則便有漏，是謂知漏所因生。云何知漏有報，謂無明纏者，為諸漏所漬，彼因此受報，或得善處，或得惡處，是謂知漏有報。云何知漏勝如，謂或有漏生地獄中，或有漏生畜生中，或有漏生餓鬼中，或有漏生天上，或有漏生人間，是謂知漏勝如。云何知漏滅盡，謂無明滅，漏便滅，是謂知漏滅盡。云何知漏滅道，謂八支聖道，正見，乃至正定為八，是謂知漏滅道，若比丘如是知漏，知漏所因生，知漏受報，知漏勝如，知漏滅盡，知漏滅道者，是謂達梵行，能盡一切漏。」

[T1.599c09]「云何知覺，謂有三覺樂覺、苦覺、不苦不樂覺，是謂知覺。云何知覺所因生，謂更樂[4]也。因更樂則便有覺，是謂知覺所因生。云何知覺有報，謂謂愛也。愛為覺報，是謂知覺有報。云何知覺勝如，謂比丘者，覺樂覺時便知覺樂覺，覺苦覺時便知覺苦覺，覺不苦不樂覺時便知覺不苦不樂覺，樂身、苦身、不苦不樂身，樂心、苦心、不苦不樂心，樂食、苦食、不苦不樂食、樂無食、苦無食、不苦不樂無食，樂欲、苦欲、不苦不樂欲，樂無欲、苦無欲覺、不苦不樂無欲覺時，便知覺不苦不樂無欲覺，是謂知覺勝如。云何知覺滅盡，謂更樂滅，覺便滅，是謂知覺滅盡。云何知覺滅道，謂八支聖道，正見，乃至正定為八，是謂知覺滅道，若比丘如是知覺，知覺所因生，知覺有報，知覺勝如，知覺滅盡，知覺滅道者，是謂達梵行，能盡一切覺。」

[T1.599c26]「云何知想，謂有四想，比丘者，小想亦知，大想亦知，無量想亦知，無所有處想亦知，是謂知想。云何知想所因生，謂更樂也。因更樂則便有想，是謂知想所因生。云何知想有報，謂說也。隨其想便說，是謂知想有報。云何知想勝如，謂或有想想色，或有想想聲，或有想想香，或有想想味，或有想想觸，是謂知想勝如。云何知想滅盡，謂更樂滅想便滅，是謂知想滅盡。云何知想滅道，謂八支聖道，正見，乃至正定為八，是謂知想滅道，若比丘如是知想，知想所因生，知想有報，知想勝如，知想滅盡，知想滅道者，是謂達梵行，能盡一切想。」

---

[1] 想～Saññā.
[2] 欲～Kāma.
[3] 業～Kamma.
[4] 更樂～Phassa.

[T1.600a09]「云何知欲，謂有五欲功德，可愛、可喜、美色、欲想應、甚可樂。云何為五？眼知色，耳知聲，鼻知香，舌知味，身知觸，是謂知欲。云何知欲所因生，謂更樂也。因更樂則便有欲，是謂知欲所因生。云何知欲有報，謂隨欲種愛樂，著而住彼，因此受報有福處、無福處、不動處，是謂知欲有報。云何知欲勝如，謂或有欲欲色，或有欲欲聲，或有欲欲香，或有欲欲味，或有欲欲觸，是謂知欲勝如。云何知欲滅盡，謂更樂滅欲便滅，是謂知欲滅盡。云何知欲滅道，謂八支聖道，正見，乃至正定為八，是謂知欲滅道，若比丘如是知欲，知欲所因生，知欲受報，[如>知]欲勝如，知欲滅盡，知欲滅道者，是謂達梵行，能盡一切欲。」

[T1.600a23]「云何知業，謂有二業思、已思業，是謂知業。云何知業所因生，謂更樂也。因更樂則便有業，是謂知業所因生。云何知業有報，謂或有業黑有黑報，或有業白有白報，或有業黑白黑白報，或有業不黑不白無報，業業盡，是謂知業有報。云何知業勝如，謂或有業生地獄中，或有業生畜生中，或有業生餓鬼中，或有業生天上，或有業生人間，是謂知業勝如。云何知業滅盡，謂更樂滅業便滅，是謂知業滅盡。云何知業滅道，謂八支聖道，正見，乃至正定為八，是謂知業滅道，若比丘如是知業，知業所因生，知業有報，知業勝如，知業滅盡，知業滅道者，是謂達梵行，能盡一切業。」

[T1.600b08]「云何知苦，謂生苦、老苦、病苦、死苦、怨憎會苦、愛別離苦、所求不得苦、略五盛陰苦，是謂知苦。云何知苦所因生，謂愛也。因愛生苦，是謂知苦所因生。云何知苦有報，謂或有苦微遲滅，或有苦微疾滅，或有苦盛遲滅，或有苦盛疾滅，苦苦盡，是謂知苦有報。云何知苦勝如，謂不多聞愚癡凡夫，不遇善知識，不御聖法法[1]，身生覺極苦甚重苦，命將欲絕，出此從外，更求於彼，或有沙門、梵志持一句呪，或二、三、四、多句呪，或持百句呪，彼[2]治我苦，如是因求生苦，因習[3]生苦，苦滅，是謂知苦勝如。云何知苦滅盡，謂愛滅苦便滅，是謂知苦滅盡。云何知苦滅道，謂八支聖道，正見，乃至正定為八，是謂知苦滅道，若比丘如是知苦，知苦所因生，知苦有報，知苦勝如，知苦滅盡，知苦滅道者，是謂達梵行，能盡一切苦。」

[T1.600b25] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.600b27] 達梵行經第五竟[4](一千六百四十二字)[5]，

---

[1]〔法〕－【宋】【元】【明】
[2] 彼＝術【宋】
[3] 習＝集【元】【明】
[4]〔達…竟〕－【明】
[5]〔一千…字〕－【宋】【元】【明】

（一一二）中阿含[1]林品

(Ma.112)阿奴波經[2] 第六(第二小土城誦)[3]

[T1.600c01] 我聞如是。

[T1.600c01] 一時，佛遊跋耆瘦，在阿奴波跋耆都邑。

[T1.600c02] 爾時，世尊則於晡時從宴坐起，堂上來下，告曰：「阿難！共汝往至阿夷羅恕[4]帝[5]河浴。」

[T1.600c04] 尊者阿難白曰：「唯然。」

[T1.600c04] 於是，世尊將尊者阿難往至阿夷羅*恕帝河，脫衣岸上，便入水浴，浴已還出，拭體著衣。

[T1.600c06] 爾時，尊者阿難執扇扇佛。於是，世尊迴顧告曰：「阿難！提[6]*恕達哆以放逸故，墮極苦難，必至惡處，生地獄中，住至一劫不可救濟。阿難！汝不曾從諸比丘聞，謂我一向記提*恕達哆必至惡處，生地獄中，住至一劫不可救濟耶？」

[T1.600c12] 尊者阿難白曰：「唯然。」

[T1.600c12] 爾時，有一比丘語尊者阿難：「世尊以他心智知提*恕達哆心故，一向記提*恕達哆必至惡處，生地獄中，住至一劫不可救濟耶？」

[T1.600c15] 世尊告曰：「阿難！彼比丘或有小，或有中，或有大，或年少不自知。所以者何？如來已一向記彼故有疑惑。阿難！我不見此世，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，謂我一向記如提*恕達哆。所以者何？阿難！我一向記提*恕達哆必至惡處，生地獄中，住至一劫不可救濟。阿難！若我見提*恕達哆有白淨法如一毛許，我便不一向記提*恕達哆必至惡處，生地獄中，住至一劫不可救濟。阿難！我以不見提*恕達哆有白淨法如一毛許。是故我一向記提*恕達哆必至惡處，生地獄中，住至一劫不可救濟。」

---

[1]〔中阿含〕－【明】
[2] ～《增支部》A.6.62. Udaka.(水)、No.58.《佛說阿耨風經》(大正 1.853c)
[3]〔第二小土城誦〕－【明】
[4] 恕＝和【宋】＊【元】＊【明】＊
[5] [>阿夷羅恕帝]～Aciravatī.
[6] [>提恕達哆]～Devadatta.

[T1.600c27]「阿難！猶去村不遠有大深廁，或人墮中，沒在其底，若人來，為起大慈哀，憐念愍傷，求義及饒益，求安隱快樂，彼人來已，旋轉視之而作是說，此人可得一處如毛髮許，糞所不污，令我得捉挽出之耶？彼遍觀視，不見此人有一淨處如毛髮許，糞所不污，可得手捉挽出之也。如是。阿難！若我見提恕達哆有白淨法如一毛者，我不一向記提恕達哆必至惡處，生地獄中，住至一劫不可救濟。阿難！以我不見提恕達哆有白淨法如一毛許。是故我一向記提恕達哆必至惡處，生地獄中，住至一劫不可救濟。」

[T1.601a10] 於是，尊者阿難啼泣，以手拭淚，白曰：「世尊！甚奇，甚特，謂世尊一向記提恕達哆必至惡處，生地獄中，住至一劫不可救濟。」

[T1.601a13] 世尊告曰：「如是，阿難！如是。阿難！我一向記提恕達哆必至惡處，生地獄中，住至一劫不可救濟。阿難！若汝從如來聞大人根智[1]分別者，必得上信如來而懷歡喜。」

[T1.601a16] 於是，尊者阿難叉手向佛，白曰：「世尊！今正是時，善逝，今正是時，若世尊為諸比丘說大人根智分別者，諸比丘從世尊聞，當善受持。」

[T1.601a20] 世尊告曰：「阿難！諦聽，善思念之，我今為汝說大人根智分別。」

[T1.601a21] 尊者阿難受教而聽。

[T1.601a21] 世尊告曰：「阿難！如來以他心智觀他人心，知此人成就善法，亦成就不善法，如來後時以他心智復觀此人心，知此人滅善法，生不善法，此人善法已滅，不善法已生，餘有善根而不斷絕，從此善根當復更生善，如是此人得清淨法。阿難！猶如平旦日初，出時闇滅明生。阿難！於意云何？日轉昇上，至于食時，闇已滅，明已生耶？」

[T1.601a29] 尊者阿難白曰：「爾也。世尊！」

[T1.601b01]「如是。阿難！如來以他心智觀他人心，知此人成就善法，亦成就不善法，如來後時以他心智復觀此人心，知此人滅善法，生不善法，此人善法已滅，不善法已生，餘有善根而不斷絕，從是善根當復更生善，如是此人得清淨法。阿難！猶如穀種，不壞不破，不腐不剖，不為風熱所傷，秋時密藏，若彼居士善治良田，以種灑中，隨時雨溉。阿難！於意云何？此種寧得轉增長不？」

[T1.601b09] 尊者阿難白曰：「爾也。世尊！」

---

[1] [>大人根智]～Purisindriyañāṇa.

[T1.601b10]「如是。阿難！如來以他心智觀他人心，知此人成就善法，亦成就不善法，如來後時以他心智復觀此人心，知此人滅善法，生不善法，此人善法已滅，不善法已生，餘有善根而不斷絕，從是善根當復更生善，如是此人得清淨法。阿難！是謂如來大人根智，如是如來正知諸法本。」

[T1.601b16]「復次。阿難！如來以他心智觀他人心，知此人成就善法，亦成就不善法，如來後時以他心智復觀此人心，知此人滅善法，生不善法，此人善法已滅，不善法已生，餘有善根而未斷絕，必當斷絕，如是此人得衰退法。阿難！猶如下晡日垂沒時，明滅闇生。阿難！於意云何？彼日已沒，明已滅，闇已生耶？」

[T1.601b23] 尊者阿難白曰：「爾也。世尊！」

[T1.601b24]「如是。阿難！如來以他心智觀他人心，知此人成就善法，亦成就不善法，如來後時以他心智復觀此人心，知此人滅善法，生不善法，此人善法已滅，不善法已生，餘有善根而未斷絕，必當斷絕，如是此人得衰退法。阿難！猶如穀種，不壞不破，不腐不剖，不為風熱所傷，秋時密藏，若彼[1]居士善治良田，以種灑中，雨不隨時。阿難！於意云何？此種寧得轉增長耶？」

[T1.601c03] 尊者阿難白曰：「不也。世尊！」

[T1.601c04]「如是。阿難！如來以他心智觀他人心，知此人成就善法，亦成就不善法，如來後時以他心智復觀此人心，知此人滅善法，生不善法，此人善法已滅，不善法已生，餘有善根而未斷絕，必當斷絕，如是此人得衰退法。阿難！是謂如來大人根智，如是如來正知諸法本。」

[T1.601c10]「復次。阿難！如來以他心智觀他人心，我不見此人有白淨法如一毛許，此人惡不善法一向充滿穢污，為當來有本煩熱苦報、生老病死因，如是此人身壞命終，必至惡處，生地獄中。阿難！猶如種子，腐壞破剖，為風熱所傷，秋時不密藏，若彼居士非是良田，又不善治，便下種子，雨不隨時。阿難！於意云何？此種寧得轉增長耶？」

[T1.601c18] 尊者阿難白曰：「不也。世尊！」

[T1.601c18]「如是。阿難！如來以他心智觀他人心，我不見此人有白淨法如一毛許，此人惡不善法一向充滿穢污，為當來有本煩熱苦報、生老病死因，如是此人身壞命終，必至惡處，生地獄中。阿難！是謂如來大人根智，如是如來正知諸法本。」

---

[1] 彼＝使【宋】【元】【明】

[T1.601c24] 於是，尊者阿難叉手向佛，白曰：「世尊已說如此三種之人，寧可更說異三種人耶？」

[T1.601c25] 世尊告曰：「可說也。阿難！如來以他心智觀他人心，知此人成就不善法，亦成就善法，如來後時以他心智復觀此人心，知此人滅不善法而生善法，此人不善法已滅，善法已生，餘有不善根而不斷絕，從是不善根當復更生不善，如是此人得衰退法。阿難！猶如燃火，始然之時，盡然一[火*僉][1]，彼或有人益以燥草，足以槁木。阿難！於意云何？彼火寧轉增熾盛耶？」

[T1.602a05] 尊者阿難白曰：「爾也。世尊！」

[T1.602a05]「如是。阿難！如來以他心智觀他人心，知此人成就不善法，亦成就善法，如來後時以他心智復觀此人心，知此人滅不善法而生善法，此人不善法已滅，善法已生，餘有不善根而不斷絕，從是不善根當復更生不善，如是此人得衰退法。阿難！是謂如來大人根智，如是如來正知諸法本。」

[T1.602a12]「復次。阿難！如來以他心智觀他人心，成就不善法，亦成就善法，如來後時以他心智復觀此人心，知此人滅不善法而生善法，此人不善法已滅，善法已生，餘有不善根而未斷絕，必當斷絕，如是此人得清淨法。阿難！猶如然火熾然之時，盡然一*[火*僉]，彼或有人從此盛火，置平淨地，或著石上。阿難！於意云何？彼火寧轉增熾盛耶？」

[T1.602a20] 尊者阿難白曰：「不也。世尊！」

[T1.602a21]「如是。阿難！如來以他心智觀他人心，知此人成就不善法，亦成就善法，如來後時以他心智復觀此人心，知此人滅不善法而生善法，此人不善法已滅，善法已生，餘有不善根而未斷絕，必當斷絕，如是此人得清淨法。阿難！是謂如來大人根智，如是如來正知諸法本。」

[T1.602a27]「復次。阿難！如來以他心智觀他人心，我不見此人有黑業如一毛許，此人善法一向充滿與樂樂報，必生樂處而得長壽，如是此人即於現世必得般涅槃。阿難！猶如火炭，久滅已冷，彼或有人雖益以燥草，足以槁木。阿難！於意云何？彼死火炭寧可復得熾然之耶？」

[T1.602b04] 尊者阿難白曰：「不也。世尊！」

[T1.602b05]「如是。阿難！如來以他心智觀他人心，我不見此人有黑業如一毛許，此人善法一向充滿與樂樂報，必生樂處而得長壽，如是此人即於現世必得般涅槃。阿難！是謂如來大人根智，如是如來正知諸法本。」

---

[1] [火*僉]＝焰【元】【明】＊

[T1.602b10]「阿難！前說三人者，第一人得清淨法，第二人得衰退法，第三人身壞命終，必至惡處，生地獄中，後說三人者，第一人得衰退法，第二人得清淨法，第三人即於現世得般涅槃。阿難！我已為汝說大人根智，如尊師所為弟子起大慈哀，憐念愍傷，求義及饒益，求安隱快樂，我今已作，汝等當復自作，至無事處、山林樹下、空安靜處，宴坐思惟，勿得放逸，勤加精進，莫令後悔，此是我之教勅，是我訓誨。」

[T1.602b19] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.602b21] 阿奴波經第六竟[1](二千六百四十六字)[2]，

中阿含經卷第二十七(七[3]千五百八十二字)[4]

中阿含經

卷第二十八 (Ma.113~116)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（一一三）中阿含[5]林品

(Ma.113)諸法本經 第七[6](第二小土城誦)[7]

[T1.602c01] 我聞如是。

[T1.602c01] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.602c02] 爾時，世尊告諸比丘：「若諸異學來問汝等，一切諸法以何為本，汝等應當如是答彼，一切諸法以欲為本，彼若復問，以何為和，當如是答，以更樂為和，彼若復問，以何為來，當如是答，以覺為來，彼若復問，以何為

---

[1]〔阿…竟〕－【明】
[2]〔二千…字〕－【宋】【元】【明】
[3]〔七千…字〕－【宋】【元】【明】
[4] ＋（第二小土城誦）【宋】【元】
[5]〔中阿含〕－【宋】【元】【明】
[6] ～《增支部》A.8.83. Mūla(根本)，10.58.Mūla(根本)，No.59.《佛說諸法本經》(大正 1.855c)
[7]〔第二小土城誦〕－【明】，（第二小土城誦）六字在卷題下【宋】【元】

有，當如是答，以思想為有，彼若復問，以何為上主，當如是答，以念為上主，彼若復問，以何為前，當如是答，以定為前，彼若復問，以何為上，當如是答，以慧為上，彼若復問，以何為真，當如是答，以解脫為真，彼若復問，以何為訖，當如是答，以涅槃為訖，是為比丘欲為諸法本，更樂為諸法和，覺為諸法來，思想為諸法有，念為諸法上主，定為諸法前，慧為諸法上，解脫為諸法真，涅槃為諸法訖。是故比丘當如是學。」

[T1.602c17]「習出家學道心，習無常想，習無常苦想，習苦無我想，習不淨想，習惡食想，習一切世間不可樂想，習死想，知世間好惡，習如是想心，知世間習有，習如是想心，知世間習、滅、味、患、出要如真，習如是想心，若比丘得習出家學道心者，得習無常想，得習無常苦想，得習苦無我想，得習不淨想，得習惡食想，得習一切世間不可樂想，得習死想，知世間好惡，得習如是想心，知世間習有，得習如是想心，知世間習、滅、味、患、出要如真，得習如是想心者，是謂比丘斷愛除結，正知正觀諸法已，便得苦邊。」

[T1.602c29] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.603a02] 諸法本經第七竟[1](四百五十七字)[2]，

（一一四）中阿含[3]林品

(Ma.114)優陀羅經[4] 第八(第二小土城誦)[5]

[T1.603a05] 我聞如是。

[T1.603a05] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.603a06] 爾時，世尊告諸比丘：「優陀羅羅摩子[6]，彼在眾中，數如是說，於此生中，觀此覺此，不知癰本[7]，然後具知癰本，優陀羅羅摩子無一切知自稱一切知，實無所覺自稱有覺，優陀羅羅摩子，如是見、如是說，有者，是病、是癰、是刺，設無想者，是愚癡也。若有所覺，是止息、是最妙，謂乃至非有想非無想處，彼自樂身，自受於身，自著身已，修習乃至非有想非無想處，身壞

---

[1]〔諸…竟〕－【明】
[2]〔四…字〕－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《相應部》S.35.103. Uddaka(優陀羅)
[5]〔第二小土城誦〕－【明】
[6] [>優陀羅羅摩子]～Uddaka Rāma-putta.
[7] [>癰本]～Gaṇḍamūla.

命終，生非有想非無想天中，彼壽盡已，復來此間，生於狸中，此比丘正說者於此生中，觀此覺此，不知癰[1]本，然後具知癰本。」

[T1.603a17]「云何比丘正觀耶？比丘者，知六更觸，知習、知滅、知味、知患、知出要，以慧知如真，是謂比丘正觀也。云何比丘覺，比丘者，知三覺，知習、知滅、知味、知患、知出要，以慧知如真，是謂比丘覺。云何比丘不知癰本，然後具知癰本，比丘者，知有愛滅，拔其根本，至竟不復生，是謂比丘不知癰本，然後具知癰本，癰者，謂此身也。色麤四大，從父母生，飲食長養，衣被按摩，澡浴強忍，是無常法、壞法、散法、是謂癰也。癰本者，謂三愛也。欲愛、色愛、無色愛，是謂癰本，癰一切漏者，謂六更觸處也。眼漏視色，耳漏聞聲，鼻漏嗅香，舌漏嘗味，身漏覺觸，意漏知諸法，是謂癰一切漏。」

[T1.603b01]「比丘！我已為汝說癰說癰本，如尊師所為弟子起大慈哀，憐念愍傷，求義及饒益，求安隱快樂者，我今已作，汝等亦當復自作，至無事處、山林樹下、空安靜處，燕[2]坐思惟，勿得放逸，勤加精進，莫令後悔，此是我之教勅，是我訓誨。」

[T1.603b06] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.603b08]優陀羅經第八竟[3](五百一十四字)[4]，

（一一五）中阿含[5]林品

(Ma.115)蜜丸喻經[6] 第九(第二小土城誦)[7]

[T1.603b11] 我聞如是。

[T1.603b11] 一時，佛遊釋羇瘦[8]，在迦維羅衛[9]，

---

[1] 癰＝壅【宋】
[2] 燕＝宴【宋】【元】【明】
[3]〔優…竟〕－【明】
[4]〔五…字〕－【宋】【元】【明】
[5]〔中阿含〕－【明】
[6] ～《中部》M. 18. Madhupiṇḍika sutta. (蜜丸經)，《增壹阿含 40.10 經》甘露法味(大正 2.743a)
[7]〔第二小土城誦〕－【明】
[8] [>釋羇瘦]～Sakkesu.
[9] [>迦維羅衛]～Kapilavatthu.，迦＝加【宋】【元】【明】[>＊]

[T1.603b12] 爾時，世尊過夜平旦，著衣持鉢，為乞食故，入*迦維羅衛，食訖，中後收舉衣鉢，澡洗手足，以尼師壇著於肩上，往詣竹林釋迦寺中，入彼大林，至一樹下敷尼師檀[1]，結加[2]趺坐，

[T1.603b16] 於是，執杖[3]釋拄杖而行，中後彷徉，往詣佛所，共相問訊，拄杖立佛前，問世尊曰：「沙門瞿曇！以何為宗本，說何等法？」

[T1.603b18] 世尊答曰：「釋，若一切世間，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，使不鬪諍，修習離欲清淨梵志[4]，捨離諂曲，除悔，不著有、非有，亦無想，是我宗本，說亦如是。」

[T1.603b22] 於是，執杖釋聞佛所說不是不非，執杖釋奮頭而去。

[T1.603b23] 於是，世尊執杖釋去後不久，則於晡時，從燕[5]坐起，往詣講堂，比丘眾前敷座而坐，告諸比丘：「我今平旦著衣持鉢，為乞食故，入*迦維羅衛，食訖，中後收舉衣鉢，澡洗手足，以尼師*檀著於肩上，往詣竹林釋迦寺中，入彼大林，至一樹下敷尼師*檀，結跏趺坐。於是，執杖釋拄杖而行，中後彷徉，來詣我所，共相問訊，拄杖立我前，問我曰：「沙門瞿曇！以何為宗本，說何等法，我答曰：「釋，若一切世間，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，使不鬪諍，修習離欲清淨梵*志，捨離諂曲，除悔，不著有、非有，亦無想，是我宗本，說亦如是，彼執杖釋聞我所說不是不非，執杖釋奮頭而去。」

[T1.603c07] 於是，有一比丘即從坐[6]起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！云何一切世間，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，使不鬪諍。云何修習離欲，得清淨梵志。云何捨離諂曲，除悔，不著有、非有，亦無想耶？」

[T1.603c12] 世尊告曰：「比丘！若人所因念，出家學道，思想修習，及過去、未來、今現在法，不愛、不樂、不著、不住，是說苦邊欲使，恚使、有使、慢使、無明使、見使、疑使、鬪諍、憎嫉、諛諂、欺誑、妄言、兩舌及無量惡不善之法，是說苦邊。」[T1.603c16] 佛說如是，即從坐[7]起，入室*燕坐。

[T1.603c17] 於是，諸比丘便作是念：「諸賢當知世尊略說此義，不廣分別，即從*坐起，入室*燕坐，若人所因念，出家學道，思想修習，及過去、未來、今現在法，不愛、不樂、不著、不住，是說苦邊，欲使、恚使、有使、慢使、無

---

[1] 檀＝壇【宋】【元】【明】
[2] 加＝跏【明】
[3] 執杖～Daṇḍapāṇi sakka.
[4] 志＝行【宋】＊【元】＊【明】＊
[5] 燕＝宴【宋】＊【元】＊【明】＊
[6] 坐＝座【元】【明】
[7] 坐＝座【宋】＊【元】＊【明】＊

明使、見使、疑使、鬪諍、憎嫉、諛諂、欺誑、妄言、兩舌及無量惡不善之法，是說苦邊，彼復作是念：諸賢誰能廣分別世尊向所略說義，彼復作是念：尊者大迦旃延[1]常為世尊之所稱譽，及諸智梵行人，尊者大迦旃延能廣分別世尊向所略說義，諸賢共往詣尊者大迦旃延所，請說此義，若尊者大迦旃延為分別者，我等當善受持。」

[T1.603c29] 於是，諸比丘往詣尊者大迦旃延所，共相問訊，却坐一面，白曰：「尊者大迦旃延，當知世尊略說此義，不廣分別，即從坐起，入室*燕坐，比丘！若人所因念，出家學道，思想修習，及過去、未來、今現在法，不愛、不樂、不著、不住，是說苦邊，欲使、恚使、有使、慢使、無明使、見使、疑使、鬪諍、憎嫉、諛諂、欺誑、妄言、兩舌及無量惡不善之法，是說苦邊，我等便作是念：諸賢誰能廣分別世尊向所略說義，我等復作是念：尊者大迦旃延常為世尊之所稱譽，及諸智梵行人，尊者大迦旃延能廣分別世尊向所略說義，唯願尊者大迦旃延為慈愍故而廣說之。」

[T1.604a13] 爾時，尊者大迦旃延告曰：「諸賢！聽我說喻，慧者聞喻則解其義。諸賢！猶如有人欲得求實，為求實故，持斧入林，彼見大樹成根、莖、節、枝、葉、華、實，彼人不觸根、莖、節、實，但觸枝、葉，諸賢所說亦復如是，世尊現在捨來就我而問此義。所以者何？諸賢，當知世尊是眼、是智、是義、是法、法主、法將，說真諦義，現一切義由彼世尊！諸賢應往詣世尊所而問此義。世尊！此云何，此何義，如世尊說者，諸賢等當善受持。」

[T1.604a22] 時，諸比丘白曰：「唯然，尊者大迦旃延，世尊是眼、是智、是義、是法、法主、法將，說真諦義，現一切義由彼世尊！我等應往詣世尊所而問此義。世尊！此云何，此何義，如世尊說者，我等當善受持，然，尊者大迦旃延常為世尊之所稱譽，及諸智梵行人，尊者大迦旃延能廣分別世尊向所略說義，唯願尊者大迦旃延為慈愍故而廣說之。」

[T1.604b01] 尊者大迦旃延告諸比丘：「諸賢等共聽我所說。諸賢！緣眼及色，生眼識，三事共會，便有更觸，緣更觸便有所覺，若所覺便想，若所想便思，若所思便念，若所念便分別，比丘者因是念出家學道，思想修習，此中過去、未來、今現在法，不愛、不樂、不著、不住，是說苦邊，欲使、恚使、有使、慢使、無明使、見使、疑使、鬪諍、憎嫉、諛諂、欺誑、妄言、兩舌及無量惡不善之法，是說苦邊，如是耳、鼻、舌、身緣意及法，生意識，三事共會，便有更觸，緣更觸便有所覺，若所覺便想，若所想便[念>思]，若所思便[思>念]，若所念便分別，比丘者因是念出家學道，思想修習，此中過去、未來、今現在法，不愛、不樂、不著、不住，是說苦邊，欲使、恚使、有使、慢使、無明

[1] [>大迦旃延]～Mahākaccāna.

使、見使、疑使、鬪諍、憎嫉、諛諂、欺誑、妄言、兩舌及無量惡不善之法，是說苦邊。」

[T1.604b16] 「諸賢！比丘者，除眼、除色、除眼識，有更觸施設更觸者，是處不然，若不施設更觸，有覺施設覺者，是處不然，若不施設覺，有施設念、出家學道、思想修習者，是處不然，如是耳、鼻、舌、身，除意、除法、除意識，有更觸施設更觸者，是處不然，若不施設更觸，有覺施設覺者，是處不然，若不施設覺，有施設念、出家學道、思想修習者，是處不然。」

[T1.604b24] 「諸賢！比丘者，因眼、因色、因眼識，有更觸施設更觸者，必有此處，因施設更觸，有覺施設覺者，必有此處，因施設覺，有施設念、出家學道、思想修習者，必有此處，如是耳、鼻、舌、身，因意、因法、因意識，有更觸施設更觸者，必有此處，因施設更觸，有覺施設覺者，必有此處，因施設覺，有施設念、出家學道、思想修習者，必有此處。諸賢！謂世尊略說此義、不廣分別，即從*坐起，入室*燕坐，比丘！若人所因念，出家學道，思想修習，及過去、未來、今現在法，不愛、不樂、不著、不住，是說苦邊，欲使、恚使、有使、慢使、無明使、見使、疑使、鬪諍、憎嫉、諛諂、欺誑、妄言、兩舌及無量惡不善之法，是說苦邊，此世尊略說不廣分別義，我以此句、以此文廣說如是。諸賢！可往向佛具陳，若如世尊所說義者，諸賢等便可受持。」

[T1.604c12] 於是，諸比丘聞尊者大迦旃延所說，善受持誦，即從*坐起，遶尊者大迦旃延三匝而去，往詣佛所，稽首作禮，却坐一面，白曰：「世尊！向世尊略說此義，不廣分別，即從*坐起，入室宴坐，尊者大迦旃延以此句、以此文而廣說之。」

[T1.604c17] 世尊聞已，歎曰：「 善哉！善哉！我弟子中有眼、有智、有法、有義。所以者何？謂師為弟子略說此義，不廣分別，彼弟子以此句、以此文而廣說之，如迦旃延比丘所說，汝等應當如是受持。所以者何？以說觀義應如是也。比丘，猶如有人因行無事處、山林樹間，忽得蜜丸，隨彼所食而得其味，如是族姓子於我此正法、律，隨彼所觀而得其味，觀眼得味，觀耳、鼻、舌、身，觀[1]意得味。」

[T1.604c25] 爾時，尊者阿難執拂侍佛。於是，尊者阿難叉手向佛，白曰：「世尊！此法名何等，我當云何奉持。」

[T1.604c28] 世尊告曰：「阿難！此法名為蜜丸喻，汝當受持。」

[1]〔觀〕－【明】

[T1.604c29] 於是，世尊告諸比丘：「汝等受此蜜丸喻法，當諷誦讀。所以者何？比丘，此蜜丸喻有法有義，梵行之本，趣通[1]趣覺，趣於涅槃，若族姓子剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，當善受持此蜜丸喻。」

[T1.605a04] 佛說如是，尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.605a07] 蜜丸喻經第九竟[2](二千二百七十二字)[3]，

（一一六）中阿含[4]林品

(Ma.116)瞿曇彌經[5] 第十(第二小土城誦)[6]

[T1.605a10] 我聞如是。

[T1.605a10] 一時，佛遊釋羇瘦[7]，在迦維羅衛尼拘類樹園[8]，與大比丘眾俱受夏坐。

[T1.605a11] 爾時，瞿曇彌[9]大愛[10]往詣佛所，稽首佛足，却住一面，白曰：「世尊！女人可得第四沙門果耶？因此故，女人於此正法、律中，至信、捨家、無家、學道耶？」

[T1.605a15] 世尊告曰：「止，止，瞿曇彌，汝莫作是念：女人於此正法、律中，至信、捨家、無家、學道，瞿曇彌，如是汝剃除頭髮，著袈裟衣，盡其形壽，淨修梵行。」

[T1.605a18] 於是，瞿曇彌*大愛為佛所制，稽首佛足，繞三匝而去。

[T1.605a19] 爾時，諸比丘為佛治衣，世尊不久於釋羇瘦受夏坐竟，補治衣訖，過三月已，攝衣持鉢，當遊人間，瞿曇彌*大愛聞諸比丘為佛治衣，世尊不久於釋羇瘦受夏坐竟，補治衣訖，過三月已，攝衣持鉢，當遊人間，瞿曇彌大*愛聞

---

[1] 通＝道【宋】【元】【明】
[2]〔蜜…竟〕－【明】
[3]〔二…字〕－【宋】【元】【明】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～《增支部》A.8.51. Gotamī(瞿曇彌)，《律藏》小品(Cv.10.1.)，No.60.《佛說瞿曇彌記果經》(大正 1.856a)，《四分律》卷 48(大正 22.922.)，《五分律》卷 29(大正 22.185.)
[6]〔第二小土城誦〕－【明】
[7] [>釋羇瘦]～Sakkesu.
[8] [>迦維羅衛尼拘類樹園]～Kapilavatthu Nigrodhārāma.
[9] [>瞿曇彌大愛]～Mahāpajāpatī-Gotamī.
[10] 大愛＋（道）【元】【明】＊

已，復詣佛所，稽首佛足，却住一面，白曰：「世尊！女人可得第四沙門果耶？因此故，女人於此正法、律中，至信、捨家、無家、學道耶？」

[T1.605a28] 世尊亦再告曰：「止，止，瞿曇彌，汝莫作是念：女人於此正法、律中，至信、捨家、無家、學道，瞿曇彌，如是汝剃除頭髮，著袈裟衣，盡其形壽，淨修梵行。」

[T1.605b02] 於是，瞿曇彌*大愛再為佛所制，稽首佛足，遶三匝而去。

[T1.605b04] 彼時，世尊於釋羇瘦受夏坐竟，補治衣訖，過三月已，攝衣持鉢，遊行人間，瞿曇彌*大愛聞世尊於釋羇瘦受夏坐竟，補治衣訖，過三月已，攝衣持鉢，遊行人間，瞿曇彌*大愛即與舍夷[1]諸老母，俱隨逐佛後，展轉往至那摩提，住那摩提揵尼精舍。於是，瞿曇彌*大愛復詣佛所，稽首佛足，却住一面，白[白>曰]：「世尊！女人可得第四沙門果耶？因此故，女人於此正法、律中，至信、捨家、無家、學道耶？」

[T1.605b13] 世尊至三告曰：「止，止，瞿曇彌，汝莫作是念：女人於此正法、律中，至信、捨家、無家、學道，瞿曇彌*大愛，如是汝剃除頭髮，著袈裟衣，盡其形壽，淨修梵行。」

[T1.605b16] 於是，瞿曇彌*大愛三為世尊所制，稽首佛足，繞三匝而去。

[T1.605b18] 彼時，瞿曇彌*大愛塗跣污足，塵土坌體，疲極悲泣，住立門外，尊者阿難見瞿曇彌*大愛塗跣污足，塵土坌體，疲極悲泣，住立門外，見已，問曰：「瞿曇彌，以何等故，塗[洗>跣]污足，塵土坌體，疲極悲泣，住立門外。」

[T1.605b23] 瞿曇彌*大愛答曰：「尊者阿難！女人不得於此正法、律中，至信、捨家、無家、學道。」

[T1.605b24] 尊者阿難語曰：「瞿曇彌，今且住此，我往詣佛，白如是事。」

[T1.605b26] 瞿曇彌*大愛白曰：「唯然，尊者阿難！」

[T1.605b26] 於是，尊者阿難往詣佛所，稽首佛足，叉手向佛，白曰：「世尊！女人可得第四沙門果耶？因此故，女人得於此正法、律中，至信、捨家、無家、學道耶？」

[T1.605c01] 世尊告曰：「止，止。阿難！汝莫作是念：女人得於此正法、律中，至信、捨家、無家、學道。阿難！若使女人得於此正法、律中，至信、捨

[1] [>舍夷]～Sakiyānī.

家、無家、學道者，令此梵行便不得久住。阿難！猶如人家多女少男者，此家為得轉興盛耶？」

[T1.605c06] 尊者阿難白曰：「不也。世尊！」

[T1.605c06]「如是。阿難！若使女人得於此正法、律中，至信、捨家、無家、學道者，令此梵行不得久住。阿難！猶如稻田及麥田中，有穢生者必壞彼田。如是。阿難！若使女人得於此正法、律中，至信、捨家、無家、學道者，令此梵行不得久住。」

[T1.605c11] 尊者阿難復白曰：「世尊！瞿曇彌*大愛為世尊多所饒益。所以者何？世尊母亡後，瞿曇彌*大愛鞠養世尊！」

[T1.605c14] 世尊告曰：「如是，阿難！如是。阿難！瞿曇彌*大愛多饒益我，謂母亡後，鞠養於我。阿難！我亦多饒益於瞿曇彌*大愛。所以者何？阿難！瞿曇彌*大愛因我故，得歸佛、歸法、歸比丘僧[1]，不疑三尊及苦、習[2]、滅、道，成就於信，奉持禁戒，修學博聞，成就布施而得智慧，離殺、斷殺、離不與取、斷不與取，離邪婬、斷邪婬，離妄言、斷妄言，離酒、斷酒。阿難！若使有人因人故，得歸佛、歸法、歸比丘*僧，不疑三尊及苦、*習、滅、道，成就於信，奉持禁戒，修學博聞，成就布施而得智慧，離殺、斷殺，離不與取、斷不與取，離邪婬、斷邪婬，離妄言、斷妄言，離酒、斷酒。阿難！設使此人為供養彼人衣被、飲食、臥具、湯藥、諸生活具，至盡形壽，不得報恩。」

[T1.605c28]「阿難！我今為女人施設八尊師法[3]，謂女人不當犯，女人奉持，盡其形壽。阿難！猶如魚師及魚師弟子，深水作塢，為守護水，不令流出。如是。阿難！我今為女人說八尊師法，謂女人不當犯，女人奉持，盡其形壽。云何為八？阿難！比丘尼當從比丘求受具足。阿難！我為女人施設此第一尊師法，謂女人不當犯，女人奉持，盡其形壽。阿難！比丘尼半月半月往從比丘受教。阿難！我為女人施設此第二尊師法，謂女人不當犯，女人奉持，盡其形壽。」

[T1.606a10]「阿難！若住止處設無比丘者，比丘尼便不得受夏坐。阿難！我為女人施設此第三尊師法，謂女人不當犯，女人奉持，盡其形壽。阿難！比丘尼受夏坐訖，於兩部眾中，當請三事，求見、聞、疑。阿難！我為女人施設此第四尊師法，謂女人不當犯，女人奉持，盡其形壽。阿難！若比丘不聽比丘尼問者，比丘尼則不得問比丘經、律、阿毘曇，若聽問者，比丘尼得問經、律、阿

---

[1] 僧＝眾【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 習＝集【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] [>八尊師法]～Aṭṭha garu-dhamma.

毘曇。阿難！我為女人施設此第五尊師法，謂女人不當犯，女人奉持，盡其形壽。」

[T1.606a20]「阿難！比丘尼不得說比丘所犯，比丘得說比丘尼所犯。阿難！我為女人施設此第六尊師法，謂女人不當犯，女人奉持，盡其形壽。阿難！比丘尼若犯僧伽婆尸沙，當於兩部眾中，十五日行不慢。阿難！我為女人施設此第七尊師法，謂女人不當犯，女人奉持，盡其形壽。阿難！比丘尼受具足雖至百歲，故當向始受具足比丘極下意稽首作禮，恭敬承事，叉手問訊。阿難！我為女人施設此第八尊師法，謂女人不當犯，女人奉持，盡其形壽。阿難！我為女人施設此八尊師法，謂女人不當犯，女人奉持，盡其形壽。阿難！若瞿曇彌*大愛奉持此八尊師法者，是此正法、律中，出家學道，得受具足，作比丘尼。」

[T1.606b05] 於是，尊者阿難聞佛所說，善受善持，稽首佛足，繞三匝而去，往詣瞿曇彌*大愛所，語曰：「瞿曇彌，女人得於此正法、律中，至信、捨家、出家、學道，瞿曇彌*大愛，世尊為女人施設此八尊師法，謂女人不當犯，女人奉持，盡其形壽。云何為八？瞿曇彌，比丘尼當從比丘求受具足，瞿曇彌，世尊為女人施設此第一尊師法，謂女人不當犯，女人奉持，盡其形壽，瞿曇彌，比丘尼半月半月往從比丘受教，瞿曇彌，世尊為女人施設此第二尊師法，謂女人不當犯，女人奉持，盡其形壽。」

[T1.606b16]「瞿曇彌，若住止處無比丘者，比丘尼不得受夏坐，瞿曇彌，世尊為女人施設此第三尊師法，謂女人不當犯，女人奉持，盡其形壽，瞿曇彌，比丘尼受夏坐訖，於兩部眾中當請三事，求見、聞、疑，瞿曇彌，世尊為女人施設此第四尊師法，謂女人不當犯，女人奉持，盡其形壽，瞿曇彌，若比丘不聽比丘尼問者，比丘尼不得問比丘經、律、阿毘曇，若聽問者，比丘尼得問經、律、阿毘曇，瞿曇彌，世尊為女人施設此第五尊師法，謂女人不當犯，女人奉持，盡其形壽。」

[T1.606b27]「瞿曇彌，比丘尼不得說比丘所犯，比丘得說比丘尼所犯，瞿曇彌，世尊為女人施設此第六尊師法，謂女人不當犯，女人奉持，盡其形壽，瞿曇彌，比丘尼[苦>若]犯僧伽婆尸沙，當於兩部眾中，十五日行不慢，瞿曇彌，世尊為女人施設此第七尊師法，謂女人不當犯，女人奉持，盡其形壽，瞿曇彌，比丘尼受具足雖至百歲，故當向始受具足比丘極下意稽首作禮，恭敬承事，叉手問訊，瞿曇彌，世尊為女人施設此第八尊師法，謂女人不當犯，女人奉持，盡其形壽，瞿曇彌，世尊為女人施設此八尊師法，謂女人不當犯，女人奉持、盡其形壽，瞿曇彌，世尊如是說，若瞿曇彌*大愛奉持此八尊師法者，是此[1]正法、律中，出家學道，得受具足，作比丘尼。」

[1] 是此＝此是【宋】【元】【明】

[T1.606c13] 於是，瞿曇彌*大愛白曰：「尊者阿難！聽我說喻，智者聞喻則解其義，尊者阿難！猶剎利女，梵志、居士、工師女，端正姝好，極淨沐浴以香塗身，著明淨衣，種種瓔珞嚴飾其容，或復有人為念彼女，求利及饒益，求安穩快樂，以青蓮華鬚[1]、或瞻[2]蔔華鬘、或修摩那華*鬚、或婆師華*鬚、或阿提牟多華鬚，持與彼女，彼女歡喜，兩手受之，以嚴其頭，如是尊者阿難！世尊為女人施設此八尊師法，我盡形壽頂受奉持。」

[T1.606c23] 爾時，瞿曇彌*大愛於正法、律中，出家學道，得受具足，作比丘尼，彼時瞿曇彌*大愛於後轉成大比丘尼眾，與諸長老上尊比丘尼為王者所識，久修梵行，共俱往詣尊者阿難所，稽首作禮，却住一面，白曰：「尊者阿難！當知此諸比丘尼長老上尊為王者所識，久修梵行，彼諸比丘年少新學，晚後出家，入此正法、律甫爾不久，願令此諸比丘為諸比丘尼隨其大小稽首作禮，恭敬承事，叉手問訊。」

[T1.607a03] 於是，尊者阿難語曰：「瞿曇彌，今且住此，我往詣佛，白如是事。」

[T1.607a04] 瞿曇彌大*愛白曰：「唯然，尊者阿難！」

[T1.607a05] 於是，尊者阿難往詣佛所，稽首佛足，却住[3]一面，叉手向佛，白曰：「世尊！今日瞿曇彌大*愛與諸比丘尼長老上尊為王者所識，久修梵行，俱來詣我所，稽首我足，却住一面，叉手語我曰：「尊者阿難！此諸比丘尼長老上尊為王者所識，久修梵行，彼諸比丘年少新學，晚後出家，入此正法、律甫爾不久，願令此諸比丘為諸比丘尼隨其大小稽首作禮，恭敬承事，叉手問訊。」

[T1.607a13] 世尊告曰：「止，止。阿難！守護此言，慎莫說是。阿難！若使汝知如我知者，不應說一句，況復如是說。阿難！若使女人不得於正法、律中，至信、捨家、無家、學道者，諸梵志、居士當以衣布地而作是說，精進沙門可於上行，精進沙門難行而行，令我長夜得利饒益，安隱快樂。阿難！若女人不得於此正法、律中，至信、捨家、無家、學道者，諸梵志、居士當以頭髮布施[4]而作是說，精進沙門可於上行，精進沙門難行而行，令我長夜得利饒益，安隱快樂。」

[T1.607a24]「阿難！若女人不得於此正法、律中，至信、捨家、無家、學道者，諸梵志、居士若見沙門、當以手奉種種飲食，住道邊待[5]而作是說，諸尊，受是

---

[1] 鬚＝鬘【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 瞻＝簷【明】
[3] 住＝依【宋】
[4] 施＝地【宋】【元】【明】
[5] 待＝侍【宋】

食是，可持是去，隨意所用，令我長夜得利饒益，安隱快樂。阿難！若女人不得於此正法、律中，至信、捨家、無家、學道者，諸信梵志見精進沙門，敬心扶抱，將入於內，持種種財物與精進沙門而作是說，諸尊，受是可持是去，隨意所用，令我長夜得利饒益，安隱快樂。」

[T1.607b04]「阿難！若女人不得於此正法、律中，至信、捨家、無家、學道者，此日月有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，然於精進沙門威神之德猶不相及，況復死瘦異學耶？阿難！若女人不得於此正法、律中，至信、捨家、無家、學道者，正法當住千年，今失五百歲，餘有五百年。阿難！當知女人不得行五事，若女人作如來、無所著、等正覺，及轉輪王、天帝釋、魔王、大梵天者，終無是處，當知男子得行五事，若男子作如來、無所著、等正覺，及轉輪王、天帝釋、魔王、大梵天者，必有是處。」

[T1.607b15] 佛說如是，尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.607b17] 瞿曇彌經第十竟[1](三千三百五十六字)[2]，

中阿含經卷第二十八(六千五百九十九字)[3]

中阿含林品第[4]五[5]竟(萬一百八十二字四千)[6](第二小土城[7]誦)[8]，

中阿含經

卷第二十九 (Ma.117~125)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

大品第一[9](有二十五經)(第三一日誦名念[10])(有二品合有二十五經)[1]

---

[1]〔瞿…竟〕－【明】
[2]〔三…字〕－【宋】【元】【明】
[3]〔六…字〕－【宋】【元】【明】
[4] 品末題在經末題上【宋】【元】，在卷末題前行【明】
[5] 五＝十【明】
[6]〔萬…字〕－【宋】【元】【明】
[7] （第二小土城誦）在卷末題下【宋】【元】
[8] 誦＋（訖）【宋】【元】【明】
[9] 一＝十一【明】
[10] 一日誦名念＝念誦【明】

柔軟、龍象、處　　無常、請、瞻波　二十億、八難　　貧窮、欲、福田
優婆塞、怨家　　教曇彌、降魔　賴吒、優婆離　　釋問、及善生
商人、世間、福　　息止、至邊、喻

（一一七）中阿含[2]大品

(Ma.117)柔軟經[3] 第一

[T1.607c05] 我聞如是。

[T1.607c05] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.607c06] 爾時，世尊告諸比丘：「自我昔日出家學道，為從優遊、從容閑樂、極柔輭[4]來，我在父王悅頭檀家時，為我造作種種宮殿，春殿、夏殿及以冬殿，為我好遊戲故，去殿不遠，復造種種若干華池，青蓮華池、紅蓮華池、赤蓮華池、白蓮華池，於彼池中殖[5]種種水華、青蓮華、紅蓮華、赤蓮華、白蓮華，常水常華，使人守護，不通一切，為我好遊戲故，於其池岸*殖種種陸華，修摩那華、婆師華、瞻蔔華、修揵提華、摩頭揵提華、阿提牟多華、波羅頭[6]華。」

[T1.607c16]「為我好遊戲故，而使四人沐浴於我，沐浴我已，赤旃檀香用塗我身，香塗身已，著新繒衣，上下、內外、表裏皆新，晝夜常以繖蓋覆我莫令太子夜為露所沾，晝為日所炙，如常他家麁[麩-夫+廣][7]、麥飯、豆羹、薑菜，為第一食，如是我父悅頭檀家最下使人，粳粮餚饌為第一食。」

[T1.607c22]「復次。若有野田禽獸，最美禽獸，提帝邏恕[8]吒、劫賓闍邏、奚[9]米何犁泥奢施[10]羅米，如是野田禽獸，最美禽獸，常為我設如是之食，我憶昔時父悅頭檀家，於夏四月昇正殿上，無有男子，唯有女妓而自娛樂，初不來下，我欲出至園觀之時，三十名騎，簡選上乘，鹵簿前後，侍從導引，況復其餘，我有是如意足，此最柔軟。」

---

[1]〔有二品合有二十五經〕－【明】，有二品合＝有一品半合【宋】【元】
[2]〔中阿含〕－【明】
[3] ～《增支部》A.3.38. Sukhumāla(柔軟)；A.3.39. Mada(憍慢)
[4] [>從容閑樂極柔輭]～Sukhumālo paramasukhumālu accanta sukhumālo.，從＝縱【知】
[5] 殖＝植【宋】＊【元】＊【明】＊
[6] 頭＝賴【宋】【元】【明】【知】
[7] [麩-夫+廣]＝[麩-夫+黃]【知】
[8] 邏恕＝邏和【宋】【元】【明】，＝羅和【知】
[9] 奚＝灸【知】
[10] 施＝拖【宋】【元】【明】

[T1.607c29]「我復憶昔時看田作人止息田上，往詣閻浮樹下，結跏趺坐，離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，得初禪成就遊，我作是念：不多聞愚癡凡夫自有病法，不離於病，見他人病，憎惡薄賤，不愛不喜[1]，不自觀己，我復作是念：我自有病法，不離於病，若我見他病而憎惡薄賤，不愛不*喜者，我不宜然，我亦有是法故，如是觀已，因不病起貢高者，即便自滅，我復作是念：不多聞愚癡凡夫自有老法，不離於老，見他人老，憎惡薄賤，不愛不*喜，不自觀己。」

[T1.608a11]「我復作是念：我自有老法，不離於老，若我見他老而憎惡薄賤，不愛不喜者，我不宜然，我亦有是法故，如是觀已，若因壽起貢高者，即便自滅，不多聞愚癡凡夫為不病貢高豪貴放逸，因欲生癡，不行梵行，不多聞愚癡凡夫為少壯貢高豪貴放逸，因欲生癡，不行梵行，不多聞愚癡凡夫為壽貢高豪貴放逸，因欲生癡，不行梵行。」

[T1.608a19] 於是，世尊即說頌曰：「

病法老法　及死亡法　如法自有　凡夫見惡
若我憎惡　不度此法　我不宜然　亦有是法
彼如是行　知法離生　無病少壯　為壽貢高
斷諸貢高　見無欲安　彼如是覺　無怖於欲
得無有想　行淨梵行

[T1.608a29] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.608b01] 柔軟經第一竟[2](七百九十一字)[3]，

（一一八）中阿含[4]大品

(Ma.118)龍象經[5] 第二(第三念誦)[6]

[T1.608b03] 我聞如是。

[T1.608b03] 一時，佛遊舍衛國，在東園鹿子母堂[1]。

---

[1] 喜＝憙【知】＊
[2]〔柔…竟〕－【明】
[3]〔七…字〕－【宋】【元】【明】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～《增支部》A.6.43. Nāga(龍)，《長老偈》(Thag.689～704.)
[6]〔第三念誦〕－【明】

[T1.608b04] 爾時，世尊則於晡時從宴[2]坐起，堂上來下，告曰：「烏陀夷，共汝往至東河澡浴。」

[T1.608b05] 尊者烏陀夷白曰：「唯然。」

[T1.608b06] 於是，世尊將尊者烏陀夷往至東河，脫衣岸上，便入水浴，浴已還出，拭體著衣。

[T1.608b08] 爾時，波斯匿王[3]有龍象，名曰念[4]，作一切妓樂，歷度[5]東河，眾人見已，便作是說：「是龍中龍，為大龍王，為是誰耶[6]。」

[T1.608b11] 尊者烏陀夷[7]叉手向佛，白曰：「世尊！象受大身，眾人見已，便作是說，是龍中龍，為大龍王，為是誰*耶？」

[T1.608b13] 世尊告曰：「如是，烏陀夷，如是，烏陀夷，象受大身，眾人見已，便作是說，是龍中龍，為大龍王，為是誰*耶？烏陀夷，馬、駱駝、牛、驢、胸行、人、樹，生大形，烏陀夷[8]，眾人見已，便作是說，是龍中龍，為大龍王，為是誰*耶？烏陀夷，若有世間，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，不以身、口、意害者，我說彼是龍，烏陀夷，如來於世間，天及魔，梵、沙門、梵志，從人至天，不以身、口、意害。是故我名龍。」

[T1.608b21] 於是，尊者烏陀夷叉手向佛，白曰：「世尊！唯願世尊加我威力，善逝加我威力，令我在佛前，以龍相應頌[9]頌讚世尊！」

[T1.608b24] 世尊告曰：「隨汝所欲。」

[T1.608b25] 於是，尊者烏陀夷在於佛前，以龍相應頌讚世尊曰：「

正覺生人間　自御得正定　修習行梵跡　息意能自樂
人之所敬重　越超[10]一切法　亦為天所敬　無著至真人
越度一切結　於林離林去　捨欲樂無欲　如石出真金
普聞正盡覺　如日昇虛空　一切龍中高　如眾山有嶽

---

[1] [>東園鹿子母堂]～Pubbārāma Migāramātu-pāsāda.
[2] 宴＝燕【知】
[3] [>波斯匿]～Pasenadi.
[4] 念～Seta.
[5] 度＝渡【宋】【元】【明】
[6] 耶＝邪【知】＊
[7] [>烏陀夷]～Udāyī.
[8] 〔烏陀夷〕－【宋】【元】【明】
[9] 〔頌〕－【知】
[10] 越超＝超越【宋】【元】【明】

稱說名大龍　而無所傷害　一切龍中龍　真諦無上龍
溫潤無有害　此二是龍足　苦行及梵行　是謂龍所行
大龍信為手　二功德為牙　念項智慧頭　思惟分別法
受持諸法腹　樂遠離雙臂　住善息出入　內心至善定
龍行止[1]俱定　坐定臥亦定　龍一切時定　是謂龍常法
無穢家受食　有穢則不受　得惡不淨食　捨之如師子
所得供養者　為他慈愍受　龍食他信施　存命無所著
斷除大小結　解脫一切縛　隨彼所遊行　心無有繫著
猶如白蓮花　水生水長養　泥水不能著　妙香[2]愛樂色
如是最上覺　世生行世間　不為欲所染　如華水不著
猶如然火熾　不益薪則止　無薪火不傳　此火為之滅
慧者說此喻　欲令解其義　是龍之所知　龍中龍所說
遠離淫欲恚　斷癡得無漏　龍捨離其身　此龍謂之滅

[T1.609a03] 佛說如是，尊者烏陀夷聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.609a05] 龍象經第二竟[3](七百三十字)[4]，

（一一九）中阿含[5]大品

(Ma.119)說處經[6] 第三(第三念誦)[7]

[T1.609a08] 我聞如是。

[T1.609a08] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.609a09] 爾時，世尊告諸比丘：「此有三說處，無四無五，若比丘見已，因彼故說而說我見、聞、識、知，比丘說而說是我所知。云何為三？比丘，因過去世說，而說如是過去世時有，比丘！因未來世說，而說如是未來世時有，比丘！因現在世說，而說如是現在世時有，是謂三說處，無四無五，若比丘見已，因彼故說而說我見、聞、識、知，比丘說而說是我所知，因所說善習得義，因不說不善習得義。」

---

[1] 止＝正【宋】【知】
[2] 香＝音【宋】【元】【明】
[3]〔龍…竟〕－【明】
[4]〔七…字〕－【宋】【元】【明】
[5]〔中阿含〕－【明】
[6] ～《增支部》A.3.67. Kathāvatthu(論事)
[7]〔第三念誦〕－【明】

[T1.609a18]「賢聖弟子兩耳一心聽法，彼兩耳一心聽法已，斷一法、修一法、一法作證，彼斷一法、修一法、一法作證已，便得正定，賢聖弟子心得正定已，便斷一切婬、怒、癡，賢聖弟子如是得心解脫，解脫已便知解脫，我生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，因其所說有四處，當以觀人，此賢者可共說、不可共說，若使此賢者一向論[1]不一向答者，分別論不分別答者，詰論不詰答者，止論不止答者，如是此賢者不得共說，亦不得共論，若使此賢者一向論使[2]一向答者，分別論分別答者，詰論詰答者，止論止答者，如是此賢者得共說，亦得共論。」

[T1.609b01]「復次，因其所說，更有四處，當以觀人，此賢者可共說、不可共說，若使此賢者於處、非處不住者，所知不住者，說喻不住者，道跡不住者，如是此賢者不可共說，亦不可共論，若此賢者於處、非處住者，所知住者，說喻住者，道跡住者，如是此賢者可得共說，亦可得共論，因所說時止息口行，捨已所見，捨怨結意，捨欲、捨恚、捨癡、捨慢、捨不語、捨慳嫉、不求勝、不伏他，莫取所失，說義說法，說義說法已，教復教止，自歡喜、令彼歡喜，如是說義，如是說事，是聖說義，是聖說事，謂至竟漏盡。」

[T1.609b13] 於是，世尊說此頌曰：「

若有諍論議　雜意懷貢高　非聖毀呰[3]德　各各相求便
但求他過失　意欲降伏彼　更互而求勝　聖不如是說
若欲得論議　慧者當知時　有法亦有義　諸聖論如是
慧者如是說　無諍[4]無貢高　意無有厭足　無結無有漏
隨順不顛倒　正知而為說　善說則然可　自終不說惡
不以諍論議　亦不受他諍　知處及說處　是彼之所論
如是聖人說　慧者俱得義　為現法得樂　亦為後世安
當知聰達者　非倒非常說

[T1.609b29] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.609c01]說處經第三竟[5](七百二十三字)[6]，

（一二○）中阿含[1]大品

---

[1] 一向論…不止答者～Ekaṃsavyākaraṇīyam pañhaṃ na ekaṃsena. vyākaroti, vibhajjha-vyākaraṇīyam p. na vibhajjha vy., paṭipucchā vy. p. na patipucchā vy., thapanīyam p. na thapeti.
[2] 使＝便【宋】【元】【明】
[3] 呰＝此【宋】
[4] 諍～Viruddha.
[5]〔說…竟〕－【明】
[6]〔七…字〕－【宋】【元】【明】

(Ma.120)說無常經[2] 第四(第三念誦)[3]

[T1.609c04] 我聞如是。

[T1.609c04] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.609c05] 爾時，世尊告諸比丘：「色者無常，無常則苦，苦則非神，覺亦無常，無常則苦，苦則非神，想亦無常，無常則苦，苦則非神，行亦無常，無常則苦，苦則非神，識亦無常，無常則苦，苦則非神，是為色無常，覺、想、行、識無常，無常則苦，苦則非神，多聞聖弟子作如是觀，修習七[4]道品，無礙正思正念，彼如是知、如是見，欲漏心解脫，有漏、無明漏心解脫，解脫已，便知解脫，我[5]生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。若有眾生及九眾生居，乃至有想無想處行餘第一有，於其中間是第一、是大、是勝、是最、是尊、是妙，謂世中阿羅訶[6]。所以者何？世中阿羅訶得安隱快樂。」

[T1.609c17] 於是，世尊說此頌曰：「

無著第一樂　斷欲無有愛　永捨離我慢　裂壞無明網
彼得不移動　心中無穢濁　不染著世間　梵行得無漏
了知於五陰　境界七善法　大雄遊行處　離一切恐怖
成就七覺寶　具學三種學　妙稱上朋友　佛最上真[7]子
成就十支[8]道　大龍極定心　是世中第一　彼則無有愛
眾事不移動　解脫當來有　斷生老病死　所作辦滅漏
興起無學智　得身最後邊　梵行第一具　彼心不由他
上下及諸方　彼無有喜樂　能為師子吼　世間無上覺

[T1.610a06] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.610a07] 說無常經第四竟[9](四百一十三字)[10]，

（一二一）中阿含[1]大品

---

[1]〔中阿含〕－【明】
[2] ～《相應部》S.22.76. Arahanta.(阿羅漢)
[3]〔第三念誦〕－【明】
[4]　（三十）＋七【元】【明】【知】
[5]〔我〕－【宋】【元】【明】
[6] [>阿羅訶]～Arahaṃ.
[7] 真＝尊【宋】【元】【明】
[8] 支＝枝【知】
[9]〔說…竟〕－【明】
[10]〔四…字〕－【宋】【元】【明】

(Ma.121)請請經[2] 第五(下一請字音慈井反)[3](第三念誦)[4]

[T1.610a10] 我聞如是。

[T1.610a10] 一時，佛遊王舍城，在竹林加蘭哆園，與大比丘眾五百人俱，共受夏坐。

[T1.610a11] 爾時，世尊月十五日，說從解脫相請請時，在比丘眾前敷座而坐，告諸比丘我是梵志，而得滅訖，無上醫王，我今受身，最是後邊，我是梵志，得滅訖後，無上醫王，我今受身，最是後邊，謂汝等輩是我真子，從口而生，法法所化，謂汝等輩是我真子，從口而生，法法所化，汝當教化，轉相教訶。

[T1.610a18] 爾時，尊者舍梨子亦在眾中。於是，尊者舍梨子即從坐[5]起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！嚮[6]之所說，我是梵志，而得滅訖，無上醫王，我今受身，最是後邊，我是梵志，得滅訖後，無上醫王，我今受身，最是後邊，謂汝等輩是我真子，從口而生，法法所化，謂汝等輩是我真子，從口而生，法法所化，汝當教化，轉相教訶，世尊諸不調者令得調御，諸不息者令得止息，諸不度者而令得度，諸不解脫者令得解脫，諸不滅訖者令得滅訖，未得道者令其得道，不施設梵行[7]令施設梵行，知道、覺道、識道、說道，世尊弟子於後得法，受教、受訶、受教、訶已，隨世尊語，即便趣行，得如其意，善知正法，唯然，世尊不嫌我身、口、意行耶？」

[T1.610b04] 彼時，世尊告曰：「舍梨子！我不嫌汝身、口、意行。所以者何？舍梨子！汝有聰慧、大慧、速慧、捷慧、利慧、廣慧、深慧、出要慧、明達慧。舍梨子！汝成就實慧。舍梨子！猶轉輪王而有太子，不越教已，則便受拜父王所傳，而能復傳。如是。舍梨子！我所轉法輪，汝復能轉，舍梨子。是故我不嫌汝身、口、意行。」

[T1.610b10] 尊者舍梨子復再叉手向佛，白曰：「唯然，世尊不嫌我身、口、意行，世尊不嫌此五百比丘身、口、意行耶？」

---

[1]〔中阿含〕－【明】

[2] ～《相應部》S.8.7. Pavāraṇā(自恣)，《雜阿含 1212 經》(大正 2.330a)，《別譯雜阿含 228 經》(大正 2.457a)，《增壹阿含 32.5 經》(大正 2.676b)。No. 61.《佛說受新歲經》(大正 1.858a)。No. 62.《佛說新歲經》(大正 1.859a) No.63.《佛說解夏經》(大正 1.861b)，參閱《長老偈》(Thag. 1234～1237.)，[Pravāraṇa sūtra. 斷片, Hoernle Ms., No. 149]

[3] 音慈井反＝者慈井反【宋】，＝音淨【元】，＝慈井切【明】

[4]〔第三念誦〕－【明】

[5] 坐＝座【明】

[6] 嚮＝屬【宋】【元】【明】【知】

[7] 行＋（者）【宋】【元】【明】

[T1.610b13] 世尊告曰：「舍梨子！我亦不嫌此五百比丘身、口、意行。所以者何？舍梨子！此五百比丘盡得無著，諸漏已盡，梵行已立，所作已辦，重擔已捨，有結已盡，而得善義正智正解脫，唯除一比丘，我亦本已記於現法中得究竟智，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，舍梨子。是故我不嫌此五百比丘身、口、意行。」

[T1.610b20] 尊者舍梨子復三叉手向佛，白曰：「唯然，世尊不嫌我身、口、意行，亦不嫌此五百比丘身、口、意行。世尊！此五百比丘幾比丘得三明達，幾比丘得俱解脫，幾比丘得慧解脫耶？」

[T1.610b24] 世尊告曰：「舍梨子！此五百比丘，九十比丘得三明達，九十比丘得俱解脫，餘比丘得慧解脫。舍梨子！此眾無枝無葉，亦無節戾[1]，清淨真實，得正住立。」

[T1.610b27] 爾時，尊者傍耆舍[2]亦在眾中。於是，尊者傍耆舍即從*坐起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「唯然，世尊加我威力，唯願善逝加我威力，令我在佛及比丘眾前，以如義相應而作讚頌。」

[T1.610c02] 世尊告曰：「傍耆舍，隨汝所欲。」

[T1.610c03] 於是，尊者傍耆舍在佛及比丘眾前，以如義相應而讚頌曰：「

今十五請日　集坐五百眾　斷除諸結縛　無礙有盡仙
清淨光明照　解脫一切有　生老病死盡　漏滅所作辦
調[3]悔及疑結　慢有[4]漏[5]已盡　拔斷愛結刺　上醫無復有
勇猛如師子　一切恐畏除　已度於生死　諸漏已滅訖
猶如轉輪王　群臣所圍繞　悉領一切地　乃至於大海
如是勇猛伏　無上商人主　弟子樂恭敬　三達離死怖
一切是佛子　永除枝葉節　轉無上法輪　稽首第一尊

[T1.610c20] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.610c21] 請請經第五竟[5](千一十三字)[6]，

---

[1] 戾＝類【元】【明】
[2] [>傍耆舍]～Vaṅgīsā.
[3] 調＝掉【元】【明】【知】
[4] 有＝縛【宋】【元】【明】【知】
[5] 漏＝有【知】
[5]〔請…竟〕－【明】
[6]〔千…字〕－【宋】【元】【明】

（一二二）中阿含[1]大品

(Ma.122)瞻波經[2] 第六(第三念誦)[3]

[T1.610c24] 我聞如是。

[T1.610c24] 一時，佛遊瞻波[4]，在恒伽池邊。

[T1.610c25] 爾時，世尊月十五日說從解脫時，於比丘眾前敷座而坐，世尊坐已，即便入定，以他心智觀察眾心，觀眾心已，至初夜竟，默然而坐。於是，有一比丘即從坐[5]起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！初夜已訖，佛及比丘眾集坐來久，唯願世尊說從解脫。」

[T1.611a01] 爾時，世尊默然不答。於是，世尊復至中夜默然而坐，彼一比丘再從*坐起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！初夜已過，中夜將訖，佛及比丘眾集坐來久，唯願世尊說從解脫。」

[T1.611a05] 世尊亦再默然不答。於是，世尊復至後夜默然而坐，彼一比丘三從坐起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！初夜既過，中夜復[6]訖，後夜垂盡，將向欲明，明出不久，佛及比丘眾集坐極久，唯願世尊說從解脫。」

[T1.611a10] 爾時，世尊告彼比丘，於此眾中有一比丘已為不淨。

[T1.611a11] 彼時，尊者大目揵連亦在眾中。於是，尊者大目揵連便作是念：「世尊為何比丘而說此眾中有一比丘已為不淨，我寧可入如其像[7]定，以如其像定他心之智觀察眾心。」

[T1.611a15] 尊者大目揵連即入如其*像定，以如其*像定他心之智觀察眾心，尊者大目揵連便知世尊所為比丘說此眾中有一比丘已為不淨。於是，尊者大目揵連即從定起，至彼比丘前，牽臂將出，開門置外，癡人遠去，莫於此住，不復得與比丘眾會，從今已去，非是比丘，閉門下鑰[8]，還詣佛所，稽首佛足，却坐

---

[1]〔中阿含〕－【明】
[2] ～《增支部》A.8.10. Kāraṇḍava(莠)；A.8.20. Uposatha(布薩)，No.64.《佛說瞻婆比丘經》(大正1.862b)，cf.《中阿含經》(37) 瞻波經
[3]〔第三念誦〕－【明】
[4] [>瞻波]～Campā.
[5] 坐＝座【明】
[6] 復＝又【宋】【元】【明】
[7] 像＝象【知】＊
[8] 鑰＝籥【知】

一面，白曰：「世尊所為比丘說此眾中有一比丘已為不淨者，我已逐出。世尊！初夜既過，中夜復訖，後夜垂盡，將向欲明，明出不久，佛及比丘眾集坐極久，唯願世尊說從解脫。」

[T1.611a26] 世尊告曰：「大目揵連，彼愚癡人當得大罪，觸嬈世尊及比丘眾，大目揵連，若使如來在不淨眾說從解脫者，彼人則便頭破七分。是故，大目揵連，汝等從今已後說從解脫，如來不復說從解脫，所以者何。如是，大目揵連，或有癡人正知出入，善觀分別，屈申[1]低仰，儀容庠序，善著僧伽梨及諸衣鉢[2]，行住坐臥、眠寤[3]語默，皆正知之，似如真梵行，至諸真梵行所，彼或不知，大目揵連，若諸梵行知者，便作是念：是沙門污，是沙門辱，是沙門憎，是沙門刺，知已，便當共擯[4]棄之。所以者何？莫令污染諸梵行者。」

[T1.611b09]「大目揵連，猶如居士有良稻田，或有麥田，生草名穢麥，其根相似，莖、節、葉、花皆亦似麥，後生實已，居士見之，便作是念：是麥污辱，是麥憎刺，知已便拔，擲棄於外。所以者何？莫令污穢餘真好麥。如是，大目揵連，或有癡人正知出入，善觀分別，屈伸[5]低仰，儀容庠序，善著僧伽梨及諸衣鉢，行住坐臥、眠*寤語默，皆正知之，似如真梵行，至諸真梵行所，彼或不知，大目揵連，若諸梵行知者，便作是念：是沙門污，是沙門辱，是沙門憎，是沙門刺，知已，便當共*擯棄之。所以者何？莫令污染諸梵行者。」

[T1.611b20]「大目揵連，猶如居士秋時揚[6]穀，穀聚之中若有成實者，*揚便止住，若不成實及粃糠者，便隨風去，居士見已，即持掃箒，掃治令淨。所以者何？莫令污雜餘淨好稻。如是，大目揵連，或有癡人正知出入，善觀分別，屈*伸低仰，儀容庠序，善著僧伽梨及諸衣鉢，行住坐臥、眠*寤語默，皆正知之，似如真梵行，至諸真梵行所，彼或不知，大目揵連，若諸梵行知者，便作是念：是沙門污，是沙門辱，是沙門憎，是沙門刺，知已，便當共*擯棄之。所以者何？莫令污染諸梵行者。」

[T1.611c02]「大目揵連，猶如居士為過泉水故，作通水槽，持斧入林，扣打諸樹，若堅實者，其聲便小，若空中者，其聲便大，居士知已，便斫治節，擬作通水槽。如是，大目揵連，或有癡人正知出入，善觀分別，屈*伸低仰，儀容庠序，善著僧伽梨及諸衣鉢，行住坐臥、眠*寤語默，皆正知之，似如真梵行，至諸真梵行所，彼或不知，大目揵連，若諸梵行知者，便作是念：是沙門污，是

---

[1] 申＝伸【宋】【元】【明】
[2] 僧伽梨及諸衣鉢～Saṅghāṭipattacīvara.
[3] 寤＝覺【宋】【元】【明】【知】＊
[4] 擯＝儐【知】＊
[5] 伸＝申【知】＊
[6] 揚＝颺【元】【明】【知】[>＊]

沙門辱，是沙門憎，是沙門刺，知已，便當共*擯棄之。所以者何？莫令污染諸梵行者。」

[T1.611c12] 於是，世尊說此頌曰：「

共會集當知　惡欲憎嫉恚[1]　不語[2]結恨慳　嫉妬諂欺誑
在眾詐言息　屏處稱沙門　陰作諸惡行　惡見不守護
欺誑妄語言　如是當知彼　往集不與會　擯棄不共止
欺詐誑說多　非息稱說息　知時具淨行　擯棄遠離彼
清淨共清淨　常當共和合　和合得安隱　如是得苦邊

[T1.611c24] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.611c25] 瞻波經第六竟[3](一千三百五十一字)[4]，

（一二三）中阿含[5]大品

(Ma.123)沙門二十億經[6] 第七(第三念誦)[7]

[T1.611c28] 我聞如是。

[T1.611c28] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.611c29] 爾時，尊者沙門二十億亦遊舍衛國，在闇林[8]中，前夜、後夜學習不眠，精勤正住，修習道品。於是，尊者沙門二十億安靜獨住，宴坐思惟，心作是念：「若有世尊弟子精勤學習正法、律者，我為第一，然諸漏心不得解脫，我父母家極大富樂，多有錢財，我今寧可捨戒罷道行，欲布施修諸福業耶？」

[T1.612a06] 爾時，世尊以他心智知尊者沙門二十億心之所念，便告一比丘：「汝往至彼，呼沙門二十億來。」

---

[1] 嫉恚＝恚疾【宋】【元】【明】【知】
[2] 不語～Makkhā.
[3]〔瞻…竟〕－【明】
[4]〔一千…字〕－【宋】【元】【明】
[5]〔中阿含〕－【明】
[6] ～《增支部》A.6.55. Soṇa.(輸屢那)，《律藏》大品(Mv.5.1.1～30.)，《雜阿含 254 經》(大正 2.62b)，《增壹阿含 23.3 經》(大正 2.612a)，《四分律》卷 39(大正 22.843.)，《五分律》卷 21(大正 22.145.)
[7]〔第三念誦〕－【明】
[8] [>闇林]～Sītavana.

[T1.612a09] 於是，一比丘白曰：「唯然，即從坐[1]起，稽首禮足，遶三匝而去，往至尊者沙門二十億所而語彼曰：「世尊呼汝。」

[T1.612a11] 尊者沙門二十億聞比丘語，即詣佛所，稽首作禮，却坐一面，世尊告曰：「沙門，汝實安靜獨住，宴坐思惟，心作是念。若有世尊弟子精勤學習正法、律者，我為第一，然諸漏心不得解脫，我父母家極大富樂，多有錢財，我今寧可捨戒罷道行，欲布施修諸福業耶？」

[T1.612a17] 彼時，尊者沙門二十億羞耻慙愧，則無無畏，世尊知我心之所念，叉手向佛，白曰：「實爾。」

[T1.612a19] 世尊告曰：「沙門，我今問汝，隨所解答，於意云何？汝在家時，善調彈琴，琴隨歌音，歌隨琴音耶？」

[T1.612a21] 尊者沙門二十億白曰：「如是。世尊！」

[T1.612a22] 世尊[2]復問：「於意云何？若彈琴絃[3]急，為有和音可愛樂耶？」

[T1.612a23] 沙門答曰：「不也。世尊！」

[T1.612a24] 世尊復問：「於意云何？若彈琴*絃緩，為有和音可愛樂耶？」

[T1.612a25] 沙門答曰：「不也。世尊！」

[T1.612a26] 世尊復問：「於意云何？若彈琴調*絃不急不緩，適得其中，為有和音可愛樂耶？」

[T1.612a27] 沙門答曰：「如是。世尊！」

[T1.612a28] 世尊告曰：「如是，沙門，極大精進，令心調[4]亂，不極精進，令心懈怠。是故汝當分別此時，觀察此相，莫得放逸。」

[T1.612b01] 爾時，尊者沙門二十億聞佛所說，善受善持，即從*坐起，稽首佛足，繞三匝而去，受佛彈琴喻教，在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，彼在遠離獨住，心無放逸，修行精勤已，族姓子所為，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家，無家，學道者，唯無上梵行訖，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，尊者沙門二十億知法已，至

---

[1] 坐＝座【元】【明】＊
[2]〔世尊〕－【宋】【元】【明】
[3] 絃＝弦【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 調＝掉【元】【明】

得阿羅訶，彼時，尊者沙門二十億得阿羅訶已，而作是念：「今正是時，我寧可往詣世尊所，說得究竟智耶？」

[T1.612b12] 於是，尊者沙門二十億往詣佛所，稽首作禮，却坐一面，白曰：「世尊！若有比丘得無所著，諸漏已盡，梵行已立，所作已辦，重擔已捨，有結已解，自得善義，正知解脫者，彼於爾時樂此六處，樂於無欲，樂於遠離，樂於無諍，樂於愛盡，樂於受盡，樂心不移動。世尊！或有一人而作是念：此賢者以依信故，樂於無欲者，不應如是觀，但欲盡、恚盡、癡盡，是樂於無欲。」

[T1.612b20]「世尊！或有一人而作是念：此賢者以貪利稱譽求供養故，樂於遠離者，不應如是觀，但欲盡、恚盡、癡盡，是樂於遠離。世尊！或有一人而作是念：此賢者以依戒故，樂於無諍者，不應如是觀，但欲盡、恚盡、癡盡，是樂於無諍，樂於愛盡，樂於受盡，樂心不移動。世尊！若有比丘得無所著，諸漏已盡，梵行已立，所作已辦，重擔已捨，有結已解，自得善義，正智正解脫者，彼於爾時樂此六處。」

[T1.612b29]「世尊！若有比丘學未得意，求願無上安隱涅槃者，彼於爾時成就學根及學戒，彼於後時，諸漏已盡而得無漏，心解脫、慧解脫，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真者，彼於爾時成就無學根及無學戒。世尊！猶幼少童子，彼於爾時成就小根及小戒，彼於後時具足學根者，彼於爾時成就學根及學戒。」

[T1.612c09]「如是。世尊！若有比丘學未得意，求願無上安隱涅槃者，彼於爾時成就學根及學戒，彼於後時，諸漏已盡而得無漏，心解脫、慧解脫，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真者，彼於爾時成就無學根及無學戒，彼若[1]有眼所知色與對眼[2]者，不能令失此心解脫、慧解脫，心在內住，善制守持，觀與[3]衰法。若有耳所知聲、鼻所知香、舌所知味、身所知觸、意所知法與對意者，不能令失此心解脫、慧解脫，心在內住，善制守持，觀興衰法。」

[T1.612c20]「世尊！猶去村不遠有大石山，不破不缺不脆，堅住不空合一，若東方有大風雨來，不能令搖，不動轉移，亦非東方風移至南方，若南方有大風雨來，不能令搖，不動轉移，亦非南方風移至西方，若西方有大風雨來，不能令搖，不動轉移，亦非西方風移至北方，若北方有大風雨來，不能令搖，不動轉移，亦非北方風移至諸方，如是彼若有眼所知色與對眼者，不能令失此心解

[1] 彼若…對眼者～Ce pi cakkhuviññeyyā rūpā cakkhussa āpātham āgacchanti.
[2] 對眼＝眼對【宋】【元】【明】
[3] 與＝興【知】

脫、慧解脫，心在內住，善制守持，觀興衰法。若有耳所知聲、鼻所知香、舌所知味、身所知觸、意所知法與對意者，不能令失此心解脫、慧解脫，心在內住，善制守護[1]，觀興衰法。」

[T1.613a04] 於是，尊者沙門二十億說此頌曰：「

樂在無欲　心存遠離　喜於無諍　受盡欣悅
亦樂受盡　心不移動　得知如真　從是心解
得心解已　比丘息根　作已不觀　無所求作
猶如石山　風不能動　色聲香味　身觸亦然
愛不愛法　不能動心

[T1.613a15] 尊者沙門二十億於佛前說得究竟智已，即從*坐起，稽首佛足，繞三匝而去。」

[T1.613a16] 爾時。世尊！尊者沙門二十億去後不久，告諸比丘：「諸族姓子，應如是來於我前說得究竟智，如沙門二十億來於我前說得究竟智，不自譽，不慢他，說義現法隨諸處也。莫令如癡增上慢所纏，來於我前說得究竟智，彼不得義，但大煩勞，沙門二十億來於我前說得究竟智，不自譽，不慢他，說義現法隨諸處也。」

[T1.613a24] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.613a26] 沙門二十億經第七竟[2](一千七百三十九字)[3]，

（一二四）中阿含[4]大品

(Ma.124)八難經[5] 第八(第三念誦)[6]

[T1.613a29] 我聞如是。

[T1.613a29] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

---

[1] 護＝持【宋】【元】【明】
[2]〔沙…竟〕－【明】
[3]〔一千…字〕－【宋】【元】【明】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～《增支部》A.8.29. Akkhaṇā(難)，《增壹阿含 42.1 經》(大正 2.747a)~~，[No. 125(23.3)]~~
[6]〔第三念誦〕－【明】

[T1.613b01] 爾時，世尊告諸比丘：「人行梵行而有八難、八非時也。云何為八？若時如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師、號佛、眾祐，出世說法，趣向止息，趣向滅訖，趣向覺道，為善逝所演，彼人爾時生地獄中，是謂人行梵行第一難、第一非時。」

[T1.613b07]「復次，若時如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，出世說法，趣向止息，趣向滅訖，趣向覺道，為善逝所演，彼人爾時生畜生中，生餓鬼中，生長壽天中，生在邊國夷狄之中，無信無恩，無有反復，若無比丘、比丘尼、優婆塞、優婆夷，是謂人行梵行第五難、第五非時。」

[T1.613b13]「復次，若時如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，出世說法，趣向止息，趣向滅訖，趣向覺道，為善逝所演，彼人爾時雖生中國，而聾瘂如羊鳴，常以手語，不能知說善惡之義，是謂人行梵行第六難、第六非時。」

[T1.613b19]「復次，若時如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，出世說法，趣向止息，趣向滅訖，趣向覺道，為善逝所演，彼人爾時雖生中國，不聾、不瘂、不[1]如羊鳴，不以手語，又能知說善惡之義，然有邪見及顛倒見，如是見、如是說，無施、無齋，無有呪說，無善惡業，無善惡業報，無此世彼世，無父無母，世無真人往至善處、善去、善向，此世彼世自知自覺，自作證成就遊，是謂人行梵行第七難、第七非時。」

[T1.613b29]「復次，若時如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，不出於世，亦不說法，趣向止息，趣向滅訖，趣向覺道，為善逝所演，彼人爾時生於中國，不聾、不瘂、不[2]如羊鳴，不以手語，又能知說善惡之義，而有正見不顛倒見，如是見、如是說，有施、有齋，亦有呪說，有善惡業，有善惡業報，有此世彼世，有父有母，世有真人往至善處、善去、善向，此世彼世自知自覺，自作證成就遊，是謂人行梵行第八難、第八非時。」

[T1.613c10] 人行梵行有一不難、有一是時。云何人行梵行有一不難、有一是時，若時如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，出世說法，趣向止息，趣向滅訖，趣向覺道，為善逝所演，彼人爾時生於中國，不聾、不瘂、*不如羊鳴，不以手語，又能知說善惡之義，而有正見不顛倒見，如是見、如是說，有施、有齋，亦有呪說，有善

[1]〔不〕－【宋】【元】【明】
[2]〔不〕－【知】＊

惡業，有善惡業報，有此世彼世，有父有母，世有真人往至善處、善去、善向，此世彼世自知自覺，自作證成就遊，是謂人行梵行有一不難、有一是時。」

[T1.613c22] 於是，世尊說此頌曰：「

若得人身者　說最微妙法　若有不得果[1]　必不遇其時
多說梵行難　人在於後世　若得遇其時　是世中甚難
欲得復人身　及聞微妙法　當以精勤學　人自哀愍故
談說聞善法　莫令失其時　若失此時者　必憂墮地獄
若不遇其時　不聞說善法　如商人失財　受生死無量
若有得人身　聞說正善法　遵奉世尊教　必遭遇其時
若遭遇此時　堪任正梵行　成就無上眼　日[2]親之所說
彼為常自護　進行離諸使　斷滅一切結　降魔魔眷屬
彼度於世間　謂得盡諸漏

[T1.614a11] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.614a12] 八難經第八竟[3](一千三十三字)[4]，

（一二五）中阿含[5]大品

(Ma.125)貧窮經[6] 第九(第三念誦)[7]

[T1.614a15] 我聞如是。

[T1.614a15] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.614a16] 爾時，世尊告諸比丘：「世有欲人貧窮，為大苦耶[8]。」

[T1.614a17] 諸比丘白曰：「爾也。世尊！」

---

[1] 果＝遇【宋】【元】【明】
[2] 日＝曰竟【■】
[3]〔八…竟〕－【明】
[4]〔一千…字〕－【宋】【元】【明】
[5]〔中阿含〕－【明】
[6] ～《增支部》A.6.45. Dāliddiya(貧窮) or Iṇasuttaṁ 債務
[7]〔第三念誦〕－【明】
[8] [那>耶]＝邪【知】＊

[T1.614a17] 世尊復告諸比丘曰：「若有欲人貧窮舉貸他家財物，世中舉貸他家財物，為大苦*耶？」

[T1.614a19] 諸比丘白曰：「爾也。世尊！」

[T1.614a20] 世尊復告諸比丘曰：「若有欲人舉貸財物，不得時還，曰[1]曰長息，世中長息，為大苦耶？」

[T1.614a22] 諸比丘白曰：「爾也。世尊！」

[T1.614a22] 世尊復告諸比丘曰：「若有欲人長息不還，財主責[2]索，世中財主*責索，為大苦耶？」

[T1.614a24] 諸比丘白曰：「爾也。世尊！」

[T1.614a25] 世尊復告諸比丘曰：「若有欲人財主*責索，不能得償[3]，財主數往至彼求索，世中財主數往至彼求索，為大苦耶？」

[T1.614a27] 諸比丘白曰：「爾也。世尊！」

[T1.614a28] 世尊復告諸比丘曰。若有欲人財主數往至彼求索，彼故不還，便為財主之所收縛，世中為財主收縛，為大苦耶？」

[T1.614b02] 諸比丘白曰：「爾也。世尊！」

[T1.614b02]「是為世中有欲人貧窮是大苦，世中有欲人舉貸財物是大苦，世中有欲人舉貸長息是大苦，世中有欲人財主*責索是大苦，世中有欲人財主數往至彼求索是大苦，世中有欲人為財主收縛是大苦，如是若有於此聖法之中，無信於善法，無禁戒、無博聞、無布施、無智慧於善法，彼雖多有金、銀、琉[4]璃、水精、摩尼、白珂、螺璧、珊瑚、琥[5]珀、碼[6]碯、璹[瑁[7]-目+月]、硨[8]渠[9]、碧玉、赤石、琁珠，然彼故貧窮，無有力勢，是我聖法中說不善貧窮也。」

---

[1] 曰＝白【宋】【元】【明】
[2] 責＝債【知】＊
[3] 償＝賞【知】
[4] 琉＝瑠【宋】【元】【明】【知】
[5] 琥＝虎【知】
[6] 碼＝馬【知】
[7] 璹[瑁-目+月]＝蝳蝐【宋】【元】【明】
[8] 硨＝車【知】
[9] 渠＝磲【宋】【元】【明】

[T1.614b12]「彼身惡行，口、意惡行，是我聖法中說不善舉貸也。彼欲覆藏身之惡行，不自發露，不欲道說，不欲令人訶責[1]，不[2]順求，欲覆藏口、意惡行，不自發露，不欲道說，不欲令人訶*責，*不順求，是我聖法中說不善長息也。彼或行村邑及村邑外，諸梵行者見已，便作是說。諸賢！此人如是作、如是行、如是惡、如是不淨，是村邑刺，彼作是說。諸賢！我不如是作、不如是行、不如是惡、不如是不淨，亦非村邑刺，是我聖法中說不善責索也。」

[T1.614b22]「彼或在無事處，或在山林樹下，或在空閑居，念三不善念欲念、恚念、害念，是我聖法中說不善數往求索也。彼作身惡行，口、意惡行，彼作身惡行，口、意惡行已，因此緣此，身壞命終，必至惡處，生地獄中，是我聖法中說不善收縛也。我不見縛更有如是苦、如是重、如是麤、如是不可樂，如地獄、畜生、餓鬼縛也。此三苦縛，漏盡阿羅訶比丘已知滅盡，拔其根本，永無來生。」

[T1.614c02] 於是，世尊說此頌曰：「

世間貧窮苦　舉貸他錢財　舉貸錢財已　他*責為苦惱
財主往求索　因此收繫縛　此縛甚重苦　世間樂於欲
於聖法亦然　若無有正信　無慙及無愧　作惡不善行
身作不善行　口意俱亦然　覆藏不欲說　不樂正教訶
若有數數行　意念則為苦　或村或靜處　因是必有悔
身口習諸行　及意之所念　惡業轉增多　數數作[3]復作
彼惡業無慧[4]　多作不善已　隨所生畢訖　必往地獄縛
此縛最甚苦　雄猛之所離　如法得財利　不負得安隱
施與得歡喜　二俱皆獲利　如是諸居士　因施福增多
如是聖法中[5]　若有好誠信　具足成慙愧　庶幾無慳貪
已捨離五蓋　常樂行精進　成就諸禪定　滿具常棄樂[6]
已得無食樂　猶如水浴淨　不動心解脫　一切有結盡
無病為涅槃　謂之無上燈　無憂無塵安[7]　是說不移動

[T1.614c29] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

---

[1] 責＝意【知】＊
[2] （意）＋不【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 作＝他【知】
[4] 慧＝息【知】
[5] 中＝律【宋】【元】【明】【知】
[6] 滿具常棄樂～Ekodi nipako sato.，棄＝安【元】【明】
[7] 無塵安～virajaṃ khemam.，安＝妄【明】

[T1.615a01] 貧窮經第九竟 [1](一千一十字)[2]，

中阿含經卷第二十九 [3](八千八百三字)[4]

中阿含經

卷第三十 (Ma.126~131)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（一二六）大品

(Ma.126)行欲經 [5] 第十 (第三念誦)[6]

[T1.615a09] 我聞如是。

[T1.615a09] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.615a10] 爾時，給孤獨居士往詣佛所，稽首佛足，却坐一面，白曰：「世尊！世中為有幾人行欲？」

[T1.615a12] 世尊告曰：「居士，世中凡有十人行欲。云何為十？居士，有一行欲人，非法無道求索財物，彼非法無道求財物已，不自養安隱及父母、妻子、奴婢、作使，亦不供養沙門、梵志，令昇上與樂俱而受樂報，生天長壽，如是有一行欲人也。復次，居士，有一行欲人，非法無道求索財物，彼非法無道求財物已，能自養安隱及父母、妻子、奴婢、作使，而不供養沙門、梵志，令昇上與樂俱而受樂報，生天長壽，如是有一行欲人也。復次，居士，有一行欲人，非法無道求索財物，彼非法無道求財物已，能自養安隱及父母、妻子、奴婢、作使，亦供養沙門、梵志，令昇上與樂俱而受樂報，生天長壽，如是有一行欲人也。」

---

[1]〔貧…竟〕－【明】
[2]〔一…字〕－【宋】【元】【明】
[3]〔八…字〕－【宋】【元】【明】
[4] ＋（第三念誦）【宋】【元】
[5] ～《增支部》A.10.91. Kāmabhogī.(行欲人)，No.65.《佛說伏婬經》(大正 1.863b)
[6]〔第三念誦〕－【明】，（第三念誦）在卷題下【宋】【元】

[T1.615a25]「復次，居士，有一行欲人，法非法求索財物，彼法非法求財物已，不自養安隱及父母、妻子、奴婢、作使，亦不供養沙門、梵志，令昇上與樂俱而受樂報，生天長壽，如是有一行欲人也。復次，居士，有一行欲人，法非法求索財物，彼法非法求財物已，能自養安隱及父母、妻子、奴婢、作使，而不供養沙門、梵志，令昇上與樂俱而受樂報，生天長壽，如是有一行欲人也。復次，居士，有一行欲人，法非法求索財物，彼法非法求財物已，能自養安隱及父母、妻子、奴婢、作使，亦供養沙門、梵志，令昇上與樂俱而受樂報，生天長壽，如是有一行欲人也。」

[T1.615b09]「復次，居士，有一行欲人，如法以道求索財物，彼如法以道求財物已，不自養安隱及父母、妻子、奴婢、作使，亦不供養沙門、梵志，令昇上與樂俱而受樂報，生天長壽，如是有一行欲人也。復次，居士，有一行欲人，如法以道求索財物，彼如法以道求財物已，能自養安隱及父母、妻子、奴婢、作使，而不供養沙門、梵志，令昇上與樂俱而受樂報，生天長壽，如是有一行欲行人也。」

[T1.615b17]「復次，居士，有一行欲人，如法以道求索財物，彼如法以道求財物已，能自養安隱及父母、妻子、奴婢、作使，亦供養沙門、梵志，令昇上與樂俱而受樂報，生天長壽，得財物已，染著縛繳，繳已染著，不見災患，不知出要而用，如是有一行欲人也。復次，居士，有一行欲人，如法以道求索財物，彼如法以道求財物已，能自養安隱及父母、妻子、奴婢、作使，亦供養沙門、梵志，令昇上與樂俱而受樂報，生天長壽，得財物已，不染不著，不縛不繳，不繳已染著，見災患，知出要而用，如是有一行欲人也。」

[T1.615b29]「居士，若有一行欲人，非法無道求索財物，彼非法無道求財物已，不自養安隱及父母、妻子、奴婢、作使，亦不供養沙門、梵志，令昇上與樂俱而受樂報，生天長壽者，此行欲人於諸行欲人為最下也。居士。若有一行欲人，法非法求索財物，彼法非法求財物已，自養安隱及父母、妻子、奴婢、作使，亦供養沙門、梵志，令昇上與樂俱而受樂報，生天長壽者，此行欲人於諸行欲人為最上也。」

[T1.615c09]「居士，若有一行欲人，如法以道求索財物，彼如法以道求財物已，自養安隱及父母、妻子、奴婢、作使，亦供養沙門、梵志，令昇上與樂俱而受樂報，生天長壽，得財物已，不染不著，不縛不繳，不繳已染著，見災患，知出要而用者，此行欲人於諸行欲人為最第一、最大、最上、最勝、最尊，為最妙也。猶如因牛有乳，因乳有酪，因酪有生酥，因生酥有熟酥，因熟酥有酥

精，酥精者，為最第一、最大、最上、最勝、最尊，為最[1]妙也。如是，居士，此行欲人於諸行欲人為最第一、最大、最上、最勝、最尊，為最妙也。」

[T1.615c20] 於是，世尊說此頌曰：「

若非法求財　及法非法求　不供不自用　亦不施為福
二俱皆有惡　於行欲最下　若如法求財　自身懃所得
供他及自用　亦以施為福　二俱皆有德　於行欲最上[2]
若得出要[3]慧　行欲住在家　見災患知足　節儉用財物
彼得出欲慧　於行欲最上

[T1.616a02] 佛說如是，給孤獨居士及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.616a04] 行欲經第十竟[4](千二百五十三字)[5]，

（一二七）中阿含[6]大品

(Ma.127)福田經[7] 第十一(第三念誦)[8]

[T1.616a07] 我聞如是。

[T1.616a07] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.616a08] 爾時，給孤獨居士往詣佛所，稽首佛足，却坐一面，白曰：「世尊！世中為有幾福田人[9]。」

[T1.616a10] 世尊告曰：「居士，世中凡有二種福田人。云何為二？一者學人[10]，二者無學人，學人有十八，無學人有九，居士。云何十八學人，信行、法行、信解脫[11]、見到、身證、家家、一種、向須陀洹、得須陀洹、向斯陀含、得斯陀含、向阿那含、得阿那含、中般涅槃、生般涅槃、行般涅槃、無行

---

[1] 最＝精【宋】【元】【明】
[2] 欲最上＝最上欲【宋】
[3] 要＝惡【元】【明】
[4]〔行…竟〕－【明】
[5]〔千…字〕－【宋】【元】【明】
[6]〔中阿含〕－【明】
[7] ～《增支部》A.2.4.4. Dakkhineyyā(諸應供)，《雜阿含 992 經》(大正 2.258c)
[8]〔第三念誦〕－【明】
[9] [>福田人]～Dakkhineyya.
[10] [>學人]～Sekkha.
[11]〔脫〕－【元】【明】

般涅槃、上流色究竟，是謂十八學人，居士。云何九無學人，思法、昇進法、不動法、退法、不退法、護法護則不退，不護則退、實住法、慧解脫、俱解脫，是謂九無學人。」

[T1.616a19] 於是，世尊說此頌曰：「

世中學無學　可尊可奉敬　彼能正其身　口意亦復然
居士是良田　施彼得大福

[T1.616a24] 佛說如是，給孤獨居士及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.616a26] 福田經第十一竟[1](二百六十七字)[2]，

（一二八）中阿含[3]大品

(Ma.128)優婆塞經[4] 第十二(第三念誦)[5]

[T1.616a29] 我聞如是。

[T1.616a29] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.616b01] 爾時，給孤獨居士[6]與大優婆塞眾五百人俱，往詣尊者舍梨子所，稽首作禮，却坐一面，五百優婆塞亦為作禮，却坐一面，給孤獨居士及五百優婆塞坐一面已，尊者舍梨子為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即從座起，往詣佛所，稽首佛足，却坐一面，尊者舍梨子去後不久，給孤獨居士及五百優婆塞亦詣佛所，稽首佛足，却坐一面。

[T1.616b09] 尊者舍梨子及眾坐已定，世尊告曰：「舍梨子！若汝知白衣聖弟子善護行五法及得四增上心，現法樂居，易不難得。舍梨子！汝當記別[7]聖弟子地獄盡，畜生、餓鬼及諸惡處亦盡，得須陀洹，不墮惡法，定趣正覺，極受七有，天上人間七往來已而得苦邊。」

---

[1]〔福…竟〕－【明】
[2]〔二…字〕－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《增支部》A.5.179. Gihī(在家者)
[5]〔第三念誦〕－【明】
[6] [>給孤獨居士]～Anāthapiṇḍikagahapati.
[7] 別＝蒞【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.616b15]「舍梨子。云何白衣聖弟子善護行五法，白衣聖弟子者，離殺、斷殺，棄捨刀杖，有慙有愧，有慈悲心，饒益一切乃至蜫蟲，彼於殺生淨除其心，白衣聖弟子善護行，此第一法。」

[T1.616b19]「復次。舍梨子！白衣聖弟子離不與取、斷不與取，與而後取，樂於與取，常好布施，歡喜無悋，不望其報，不以偷所覆，常自護已，彼於不與取淨除其心，白衣聖弟子善護行，此第二法。」

[T1.616b23]「復次。舍梨子！白衣聖弟子離邪婬、斷邪婬，彼或有父所護，或母所護，或父母所護，或兄弟所護，或姊妹所護，或婦父母所護，或親親所護，或同姓所護，或為他婦女，有鞭罰恐怖，及有名雇債[1]至華鬘親，不犯如是女，彼於邪淫淨除其心，白衣聖弟子善護行，此第三法。」

[T1.616b29]「復次。舍梨子！白衣聖弟子離妄言、斷妄言，真諦言，樂真諦，住真諦不移動，一切可信，不欺世間，彼於妄言淨除其心，白衣聖弟子善護行，此第四法。」

[T1.616c04]「復次。舍梨子！白衣聖弟子離酒、斷酒，彼於飲酒淨除其心，白衣聖弟子善護行，此第五法。」

[T1.616c06]「舍梨子！白衣聖弟子云何得四增上心，現法樂居，易不難得，白衣聖弟子念如來，彼如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，如是念如來已。若有惡欲即便得滅，心中有不善、穢污、愁苦、憂慼亦復得滅，白衣聖弟子攀緣如來，心靖得喜。若有惡欲即便得滅，心中有不善、穢污、愁苦、憂慼亦復得滅，白衣聖弟子得第一增上心，現法樂居，易不難得。」

[T1.616c15]「復次。舍梨子！白衣聖弟子念法，世尊善說法，必至究竟，無煩無熱，常有不移動，如是觀、如是覺、如是知、如是念法已。若有惡欲即便得滅，心中有不善、穢污、愁苦、憂慼亦復得滅，白衣聖弟子攀緣法，心靖得喜。若有惡欲即便得滅，心中有不善、穢污、愁苦、憂慼亦復得滅，白衣聖弟子得此第二增上心。」

[T1.616c22]「復次。舍梨子！白衣聖弟子念眾，如來聖眾善趣正趣，向法次法，順行如法，彼眾實有阿羅訶、趣阿羅訶，有阿那含、趣阿那含，有斯陀含、趣斯陀含，有須陀洹、趣須陀洹，是謂四雙八輩，謂如來眾成就尸賴[2]，成就三昧，成就般若，成就解脫，成就解脫知見，可敬可重，可奉可供，世良福田，彼如是念如來眾。若有惡欲即便得滅，心中有不善、穢污、愁苦、憂慼亦復得

[1] 債＝賃【宋】【元】【明】
[2] [>尸賴]～Sīla.

滅，白衣聖弟子攀緣如來眾，心靖得喜。若有惡欲即便得滅，心中有不善、穢污、愁苦、憂慼亦復得滅，白衣聖弟子是謂得第三增上心，現法樂居，易不難得。」

[T1.617a05]「復次。舍梨子！白衣聖弟子自[1]念尸賴，此尸賴不缺不穿，無穢無濁，住如地不虛妄，聖所稱譽，具善受持，彼如是自念尸賴。若有惡欲即便得滅，心中有不善、穢污、愁苦、憂慼亦復得滅，白衣聖弟子攀緣尸賴，心靖得喜。若有惡欲即便得滅，心中有不善、穢污、愁苦、憂慼亦復得滅，白衣聖弟子是謂得第四增上心，現法樂居，易不難得。」

[T1.617a13]「舍梨子！若汝知白衣聖弟子善護行此五法，得此四增上心，現法樂居，易不難得者。舍梨子！汝記*別白衣聖弟子地獄盡，畜生、餓鬼及諸惡處亦盡，得須陀洹，不墮惡法，定趣正覺，極受七有，天上人間七往來已而得苦邊。於是，世尊說此頌曰：「

慧者住在家　見地獄恐怖　因受持聖法　除去一切惡
不殺害眾生　知而能捨離　真諦不妄言　不盜他財物
自有婦知足　不樂他人[2]妻　捨離斷飲酒　心亂狂癡本
常當念正覺　思惟諸善法　念眾觀尸賴　從是得歡喜
欲行其布施　當以望其福　先施於息心　如是成果報
我今說息心　舍梨當[3]善聽　若有黑及白　赤色之與黃
尨[4]色愛樂色　牛及諸鴿鳥　隨彼所生處　良御牛在前
身力成具足　善速往來快　取彼之所能　莫以色為非
如是此人間　若有所生處　剎帝麗[5]梵志　居士本工師
隨彼所生處　長老淨持戒　世無著善逝　施彼得大果
愚癡無所知　無慧無所聞　施彼得果少　無光無所照
若光有所照　有慧佛弟子　信向善逝者　根生善堅住
彼是生善處　如意往人[6]家　最後得涅槃　如是各有緣

[T1.617b16] 佛說如是，尊者舍梨子及諸比丘、給孤獨居士、五百優婆塞聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.617b18] 優婆塞經第十二竟[7](千五百四十九字)[1]，

---

[1] 自＝息【宋】【元】【明】
[2] 他人＝求他【宋】【元】【明】
[3] 當＝子【宋】【元】【明】
[4] 尨＝牻【元】【明】
[5] [>剎帝麗]～Khattiya.，麗＝利【明】
[6] 人＝入【宋】【元】【明】
[7]〔優…竟〕－【明】

（一二九）中阿含[2]大品

(Ma.129)怨家經[3] 第十三(第三念誦)[4]

[T1.617b21] 我聞如是。

[T1.617b21] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.617b22] 爾時，世尊告諸比丘：「有七怨家法而作怨家，謂男女輩瞋恚時來。云何為七？怨家者，不欲令怨家有好色。所以者何？怨家者，不樂怨家有好色，人有瞋恚，習瞋恚，瞋恚所覆，心不捨瞋恚，彼雖好沐浴，名香塗身，然色故惡。所以者何？因瞋恚所覆，心不捨瞋恚故，是謂第一怨家法而作怨家，謂男女輩瞋恚時來。」

[T1.617b29]「復次，怨家者，不欲令怨家安隱眠。所以者何？怨家者，不樂怨家安隱眠，人有瞋恚，習瞋恚，瞋恚所覆，心不捨瞋恚，彼雖臥以御床，敷以氍氀、毾[毯-炎+登]，覆以錦綺羅[穀>縠]，有儭[5]體被，兩頭安枕，加陵伽波想邏波遮悉多羅那[6]，然故憂苦眠。所以者何？因瞋恚所覆，心不捨瞋恚故，是謂第二怨家法而作怨家，謂男女輩瞋恚時來。」

[T1.617c07]「復次，怨家者，不欲令怨家得大利。所以者何？怨家者，不樂怨家得大利，人有瞋恚，習瞋恚，瞋恚所覆，心不捨瞋恚，彼應得利而不得利，應不得利而得利，彼此二法更互相違，大得不利。所以者何？因瞋恚所覆，心不捨瞋恚故，是謂第三怨家法而作怨家，謂男女輩瞋恚時來。」

[T1.617c14]「復次，怨家者，不欲令怨家有朋友。所以者何？怨家者，不樂怨家有朋友，人有瞋恚，習瞋恚，瞋恚所覆，心不捨瞋恚，彼若有親朋友，捨離避去。所以者何？因瞋恚所覆，心不捨瞋恚故，是謂第四怨家法而作怨家，謂男女輩瞋恚時來。」

[T1.617c19]「復次，怨家者，不欲令怨家有稱譽。所以者何？怨家者，不樂怨家有名稱，人有瞋恚，習瞋恚，瞋恚所覆，心不捨瞋恚，彼惡名醜聲周聞諸方。

---

[1]〔千…字〕－【宋】【元】【明】
[2]〔中阿含〕－【明】
[3] ～《增支部》A.7.60. Kodhanā.(諸瞋恚者)
[4]〔第三念誦〕－【明】
[5] 儭＝襯【明】
[6] 加陵伽波想邏波遮悉多羅那～Kadalimigapavarapaccattharaṇa.，加＝迦【元】【明】，邏＝羅【宋】【元】

所以者何？因瞋恚所覆，心不捨瞋恚故，是謂第五怨家法而作怨家，謂男女輩瞋恚時來。」

[T1.617c25]「復次，怨家者，不欲令怨家極大富。所以者何？怨家者，不樂怨家極大富，人有瞋恚，習瞋恚，瞋恚所覆，心不捨瞋恚，彼作如是身、口、意行，使彼大失財物。所以者何？因瞋恚所覆，心不捨瞋恚故，是謂第六怨家法而作怨家，謂男女輩瞋恚時來。」

[T1.618a02]「復次，怨家者，不欲令怨家身壞命終，必至善處，生於天上。所以者何？怨家者，不樂怨家往至善處，人有瞋恚，習瞋恚，瞋恚所覆，心不捨瞋恚，身、口、意惡行，彼身、口、意惡行已，身壞命終，必至惡處，生地獄中。所以者何？因瞋恚所覆，心不捨瞋恚故，是謂第七怨家法而作怨家，謂男女輩瞋恚時來，此七怨家法而作怨家，謂男女輩瞋恚時來。」

[T1.618a09] 於是，世尊說此頌曰：「

瞋者得惡色　眠臥苦不安　應獲得大財　反更得不利
親親善朋友　遠離瞋恚人　數數習瞋恚　惡名流諸方
瞋作身口業　恚纏行意業　人為恚所覆　失一切財物
瞋恚生不利　瞋恚生心穢　恐怖生於內　人所不能覺
瞋者不知義　瞋者不曉法　無目盲闇塞　謂樂瞋恚人
恚初發惡色　猶火始起烟　從是生憎嫉　緣是諸人瞋
若瞋者所作　善行及不善　於後瞋恚止[1]　煩熱如火燒
所謂煩熱業　及諸法所纏　彼彼我今說　汝等善心聽
瞋者逆害父　及於諸兄弟　亦殺姊與妹　瞋者多所殘
所生及長養　得見此世間　因彼得存命　此母瞋亦害
無羞無慚愧　瞋纏無所言　人為恚所覆　口無所不說
造作癡罪逆[2]　而自夭其命　作時不自覺　因瞋生恐怖
繫著自己身　愛樂無極已　雖愛念己身　瞋者亦自害
以刀而自刺　或從巖自投　或以繩自絞　及服諸毒藥
如是像瞋恚[3]　是死依於恚　彼彼一切斷　用慧能覺了
小小不善業　慧者了能除　當堪耐是行　欲令無惡色
無恚亦無憂　除烟無貢高　調御斷瞋恚　滅訖無有漏

[T1.618b16] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

---

[1] 止＝盛【元】【明】
[2] 造作癡罪逆～khūnahaccāni kammāni，逆＝業【宋】【元】【明】
[3] 像瞋恚～kodharūpa.

[T1.618b17] 怨家經第十三竟[1](千一百十五字)[2]，

（一三○）中阿含[3]大品

(Ma.130)教曇彌經[4] 第十四(第三念誦)[5]

[T1.618b20] 我聞如是。

[T1.618b20] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.618b21] 爾時，尊者曇彌[6]為生地尊長[7]，作佛圖主，為人所宗，凶暴急弊，極為麤惡，罵詈責數於諸比丘！因此故生地諸比丘皆捨離去，不樂住此。於是，生地諸優婆塞見生地諸比丘皆捨離去，不樂住此，便作是念：「此生地諸比丘以何意故，皆捨離去，不樂住此。」生地諸優婆塞聞此生地尊者曇彌：「生地尊長，作佛圖主，為人所宗，凶暴急弊，極為麤惡，罵詈責數於諸比丘！因此故生地諸比丘皆捨離去，不樂住此。」生地諸優婆塞聞已，即共往詣尊者曇彌所，驅逐曇彌，令出生地諸寺中去。」

[T1.618c03] 於是尊者曇彌，為生地諸優婆塞所驅，令出生地諸寺中去，即攝衣持鉢遊行，往詣舍衛國，展轉進至舍衛國，住勝林給孤獨園。於是，尊者曇彌往詣佛所，稽首佛足，却坐一面，白曰：「世尊！我於生地諸優婆塞無所污、無所說、無所犯然生地諸優婆塞橫驅逐我，令出生地諸寺中去。」

[T1.618c09] 彼時世尊告曰：「止止曇彌，何須說此！」

[T1.618c10] 尊者曇彌叉手向佛再白曰：「世尊！我於生地諸優婆塞，無所污、無所說、無所犯，然生地諸優婆塞橫驅逐我，令出生地諸寺中去。」

[T1.618c13] 世尊亦再告曰：「曇彌，往昔之時，此閻浮洲有諸商人，乘船入海持視岸鷹行，彼入大海不遠便放視岸鷹，若視岸鷹得至大海岸者，終不還船，若視岸鷹不得至大海岸者，便來還船，如是曇彌，為生地優婆塞所驅逐，令出生地諸寺故，便還至我所，止止曇彌，何須復說此！」

---

[1]〔怨…竟〕－【明】
[2]〔千…字〕－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《增支部》A.6.54. Dhammika.(曇彌)
[5]〔第三念誦〕－【明】
[6] [>曇彌]～Dhammika.
[7] 長＝者【元】【明】

[T1.618c20] 尊者曇彌復三白曰：「世尊我於生地諸優婆塞，無所污、無所說、無所犯，然生地諸優婆塞橫驅逐我，令出生地諸寺中去。」

[T1.618c23] 世尊亦復三告曰：「曇彌，汝住沙門法，為生地諸優婆塞所驅逐，令出生地諸寺耶？」

[T1.618c25] 於是，尊者曇彌即從座起，叉手向佛，白曰：「世尊！云何沙門住沙門法？」

[T1.618c26] 世尊告曰：「曇彌，昔時有人壽八萬歲，曇彌，人壽八萬歲時，此閻浮洲極大富樂，多有人民，村邑相近，如鷄一飛，曇彌，人壽八萬歲時，女年五百歲乃嫁，曇彌，人壽八萬歲時，有如是病，大便、小便、欲、不食、老，曇彌，人壽八萬歲時，有王名高羅婆[1]，聰明智慧，為轉輪王，有四種軍，整御天下，如法法王成就七寶，彼七寶者，輪寶、象寶、馬寶、珠寶、女寶、居士寶、主兵臣寶，是為七，具足千子，顏貌端政[2]，勇猛無畏，能伏他眾，彼[3]必統領此一切地乃至大海，不以刀杖，以法治化，令得安隱。」

[T1.619a08]「曇彌，高羅婆王有樹，名善住尼拘類[4]王[5]，曇彌，善住尼拘類樹王而有五枝，第一枝者，王所食及皇后，第二枝者，太子食及諸臣，第三枝者，國人民食，第四枝者，沙門、梵志食，第五枝者，禽獸所食，曇彌，善住尼拘類樹王果大如二升[6]瓶，味如淳蜜丸，曇彌，善住尼拘類樹王果無有護者，亦無更相偷，有一人來，饑渴極羸，顏色憔悴，欲得食果，往至善住尼拘類樹王所，飽噉果已，毀折其枝，持果歸去，善住尼拘類樹王，有一天依而居之，彼作是念：『閻浮洲人異哉，無恩無有反復。所以者何？』從善住尼拘類樹王飽噉果已，毀折其枝，持果歸去，寧令善住尼拘類樹王無果不生果，善住尼拘類樹王即無果，亦不生果。」

[T1.619a22]「復有一[入>人]來，饑渴極羸，顏色憔悴，欲得噉果，往詣善住尼拘類樹王所，見善住尼拘類樹王無果，亦不生果，即便往詣高羅婆王所，白曰：『天王，當知善住尼拘類樹王無果，亦不生果。』高羅婆王聞已，猶如力士屈伸臂頃，如是高羅婆王於拘樓瘦沒，至三十三天，住天帝釋[7]前，白曰：『拘翼，當知[8]善住尼拘類樹王無果，亦不生果。』於是，天帝釋及高羅婆王猶如力士屈伸臂頃，如是天帝釋及高羅婆王於三十三天中沒，至拘樓瘦，去善住尼拘

---

[1] [>高羅婆]～Koravya.
[2] 政＝正【宋】【元】【明】
[3] 彼＝故【宋】【元】【明】
[4] [>善住尼拘類]～Suppatiṭṭha-nigrodha.
[5] （樹）＋王【宋】【元】【明】
[6] 升＝斗【宋】【元】【明】
[7] [>天帝釋]～Sakka devānam inda.
[8] 拘翼當知～Yaggha mārisa jāneyyāsi.

類樹王不遠住，天帝釋作如其像如意足，以如其像如意足化作大水暴風雨，作大水暴風雨已，善住尼拘類樹王拔根倒豎。」

[T1.619b07]「於是，善住尼拘類樹王居止樹[1]天，因此故，憂苦愁慼，啼泣垂淚，在天帝釋前立，天帝釋問曰：『天，汝何意憂苦愁慼，啼泣垂淚，在我前立耶？』彼天白曰：『拘翼，當知大水暴風雨，善住尼拘類樹王拔根倒豎。』時，天帝釋告彼樹天曰：『天，汝樹天住樹天法，大水暴風雨，善住尼拘類樹王拔根倒豎耶？』樹天白曰：『拘翼。云何樹天住樹天法耶？天帝釋告曰：『天，若使人欲得樹根，持樹根去，欲得樹莖、樹枝、樹葉、樹華、樹果持去者[2]，樹天不應瞋恚，不應憎嫉，心不應恨，樹天捨意而住樹天[3]，如是樹天住樹天法。』」

[T1.619b18]「天復白曰：『拘翼，我樹天不住樹天法，從今日始樹天住樹天法，願善住尼拘類樹王還復如本。』於是，天帝釋作如其像如意足，作如其像如意足已，復化作大水暴風雨，化作大水暴風雨已，善住尼拘類樹王即復如故[4]。如是，曇彌。若有比丘罵者不罵，瞋者不瞋，破者不破，打者不打。如是，曇彌，沙門住沙門法。」

[T1.619b26] 於是，尊者曇彌即從坐起，偏袒著衣，叉手向佛，啼泣垂淚，白曰：「世尊！我非沙門住沙門法，從今日始沙門住沙門法。」

[T1.619b28] 世尊告曰：「曇彌，昔有大師，名曰善眼[5]，為外道仙人之所師宗，捨離欲愛，得如意足，曇彌，善眼大師有無量百千弟子，曇彌，善眼大師為諸弟子說梵世法，曇彌，若善眼大師為說梵世法時，諸弟子等有不具足奉行法者，彼命終已，或生四王天，或生三十三天，或生[火*僉[6]]磨[7]天，或生兜率哆天，或生化樂天，或生他化樂天，曇彌，若善眼大師為說梵世法時，諸弟子等設有具足奉行法者，彼修四梵室，捨離於欲，彼命終已，得生梵天，曇彌，彼時善眼大師而作是念：我不應與弟子等同俱至後世，共生一處，我今寧可更修增上慈，修增上慈已，命終得生晃昱天中。」

[T1.619c12]「曇彌，彼時善眼大師則於後時更修增上慈，修增上慈已，命終得生晃昱天中，曇彌，善眼大師及諸弟子學道不虛，得大果報，如善眼大師，如是

---

[1] 樹＝諸【宋】【元】【明】
[2] 〔者〕－【宋】【元】【明】
[3] 天＝王【宋】【元】【明】
[4] 故＝是【元】【明】
[5] 善眼～Sunetta.
[6] [火*僉]＝焰【宋】【元】【明】
[7] 磨＝摩【明】＊

牟犁[1]破群那[2]、阿羅那遮婆羅門[3]、瞿陀梨舍哆[4]、害提婆羅摩納[5]、儲提摩麗橋鞞陀[6]邏[7]，及薩哆富樓奚哆。」

[T1.619c18]「曇彌，七富樓奚哆師[8]亦有無量百千弟子，曇彌，七富樓奚哆師為諸弟子說梵世法，若七富樓奚哆師為說梵世法時，諸弟子等有不具足奉行法者，彼命終已，或生四王天，或生三十三天，或生[火*僉[9]]磨天，或生兜率哆天，或生化樂天，或生他化樂天，若七富樓奚哆師為說梵世法時，諸弟子等設有具足奉行法者，彼修四梵室，捨離於欲，彼命終已，得生梵天，曇彌，七富樓奚哆師而作是念：我不應與弟子等同俱至後世，共生一處，我今寧可更修增上慈，修增上慈已，命終得生晃昱天中。」

[T1.620a01]「曇彌，彼時七富樓奚哆師則於後時更修增上慈，修增上慈已，命終得生晃昱天中，曇彌，七富樓奚哆師及諸弟子學道不虛，得大果報，曇彌。若有罵彼七師及無量百千眷屬，打破瞋恚責數者，必受無量罪。若有一成就正見佛弟子比丘得小果，罵詈打破瞋恚責數者，此受罪多於彼。是故，曇彌，汝等各各更迭相護。所以者何？離此過已，更無有失。」

[T1.620a09] 於是，世尊說此偈[10]曰：「

[T1.620a11] 須涅、牟梨破群那、 阿*邏那遮婆羅門、 瞿陀梨舍哆、 害提婆羅摩納、 儲提摩麗橋鞞陀*邏、 薩哆富樓奚哆

此在過去世	七師有名德	無愛縛樂悲	欲結盡過去
彼有諸弟子	無量百千數	彼亦離欲結	須臾不究竟
若彼外仙人	善護行苦行	心中懷憎嫉	罵者受罪多
若一得正見	佛子住小果	罵詈責打破	受罪多於彼
是故汝曇彌	各各更相護	所以更相護	重罪無過是
如是甚重苦	亦為聖所惡	必得受惡色	橫[11]取邪見處
此是最下人	聖法之所說	謂未離婬欲	得微妙[12]五根

---

[1] 犁＝梨【宋】【元】【明】
[2] [>牟犁破群那]～Mugapakkha.
[3] [>阿羅那遮婆羅門]～Aranemi-brāhmaṇa.
[4] [>瞿陀梨舍哆]～Kuddālaka-sattha.
[5] [>害提婆羅摩納]～Hatthipāla-māṇava.
[6] [>儲提摩麗橋鞞陀邏]～Jotipāla-govinda.
[7] 邏＝羅【宋】＊【元】＊【明】＊
[8] 七富樓奚哆師～Satta-[R>P]urohita.
[9] [火*僉]＝煩【宋】，＝焰【元】【明】
[10] 偈＝頌【宋】【元】【明】
[11] 橫＝莫【宋】【元】【明】
[12] 妙＝微【宋】【元】【明】

信精進念處[1]　正定及正觀　如是得此苦　前所受其殃
自受其殃已　於後便害他　若能自護者　彼為能護外
是故當自護　慧者無[2]央[3]樂

[T1.620b04] 佛說如是，尊者曇彌及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.620b06] 教曇彌經第十四竟[4](二千四百二十四字)[5]，

（一三一）中阿含[6]大品

(Ma.131)降魔經[7] 第十五(第三念誦)[8]

[T1.620b09] 我聞如是。

[T1.620b09] 一時，佛遊婆奇瘦[9]，在鼉山怖林[10]鹿野園中。

[T1.620b10] 爾時，尊者大目犍連[11]教授為佛而作禪屋，露地經行，彼時，魔王化作細形，入尊者大目揵連腹中。於是，尊者大目犍連即作是念：「我今腹中[12]猶如食豆，我寧可入如其像定，以如其像定自觀其腹。」是時，尊者大目犍連至經行道頭，敷尼師檀[13]，結跏趺坐，入如其像定，以如[14]其像定自觀其腹，尊者大目犍連便知魔王在其腹中。

[T1.620b17] 尊者大目犍連即從定寤[15]，語魔王曰：「汝波旬[1]出，汝波旬出，莫觸嬈如來，亦莫觸嬈如來弟子，莫於長夜無義無饒益，必生惡處，受無量苦。」

---

[1] 處＝慧【宋】【元】【明】
[2] 無央～Sadā.
[3] 央＝殃【宋】【元】【明】
[4]〔教…竟〕－【明】
[5]〔二…字〕－【宋】【元】【明】
[6]〔中阿含〕－【明】
[7] ～《中部》M.50. Māratajjaniya sutta. (魔訶責經)，No.66.《佛說魔嬈亂經》(大正 1.864b)，No.67.《弊魔試目連經》(大正 1.867a)
[8]〔第三念誦〕－【明】
[9] [>婆奇瘦]～Bhaggesu
[10] [>鼉山怖林]～Suṁsumāragira Bhesakaḷāvana.
[11] [>大目犍連]～Mahāmoggallāna.
[12] 中＝重【宋】【元】【明】
[13] 檀＝壇【宋】＊【元】＊【明】＊
[14]〔如〕－【宋】【元】【明】
[15] 寤＝覺【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.620b21] 彼時，魔王便作是念：「此沙門不見不知而作是說，汝波旬出，汝波旬出，莫觸嬈如來，亦莫觸嬈如來弟子，莫於長夜無義無饒益，必生惡處，受無量苦，汝之尊師有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，彼猶不能速知速見，況復弟子能知見耶？」

[T1.620b27] 尊者大目揵連復語魔王：「我復知汝意，汝作是念：此沙門不知不見而作是說，汝波旬出，汝波旬出，莫[2]觸嬈如來，亦莫觸嬈如來弟子，莫於長夜無義無饒益，必生惡處，受無量苦，汝之尊師有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，彼猶不能如是速知速見，況復弟子能知見耶？」

[T1.620c04] 彼魔波旬復作是念：「今此沙門知見我故，而作是說耳。」於是，魔波旬化作細形，從口中出[3]，在尊者大目犍連前立。

[T1.620c07] 尊者大目揵連告曰：「波旬，昔有如來名覺礫拘荀大[4]無所著、等正覺，我時作魔，名曰惡[5]，我有妹，名黑[6]，汝是彼子，波旬，因此事故，汝是我[外*男[7]甥[8]，波旬，覺礫拘荀大如來、無所著、等正覺有二大弟子，一者名音[9]，二者名想[10]，波旬，以何義故，尊者音名音耶？波旬，尊者音住梵天上，以常音聲滿千世界，更無有弟子音聲與彼等者、相似者、勝者，波旬，以是義故，尊者音名音也 。」

[T1.620c16]「波旬，復以何義尊者想名想耶？波旬，尊者想所依遊行村邑，過夜平旦，著衣持鉢，入村乞食，善護其身，善攝諸根，立於正念，彼乞食已，食訖，中後收舉衣鉢，澡洗手足，以尼師*檀著於肩上，至無事處，或至山林樹下，或至閑居靜處，敷尼師*檀，結加[11]趺坐，速入想知滅定，彼時。若有放牛羊人、取樵草人，或行路人，入彼山林，見入[12]想知滅定，便作是念：今此沙門於無事處坐而命終，我等寧可以燥樵、草拾已，積聚覆其身上而耶維之，即拾樵、草積覆其身，以火然之，便捨而去，彼尊者想過夜平旦，從定*寤起，抖擻衣服，所依村邑遊行，如常著衣，持鉢入村乞食，善護其身，善攝諸根，立於[>正]念，彼放牛羊人、取樵草人，或行路人，入彼山林人先見者，便作是

---

[1] [>波旬]～Pāpiman.
[2] （汝）＋莫【宋】【元】【明】
[3] 出＋（出）【元】【明】
[4] [>覺礫拘荀大]～Kakusandha.
[5] [>惡]～Dūsī.
[6] [>黑]～Kāḷī.
[7] [外*男]＝外【宋】【元】【明】
[8] 甥＝生【宋】
[9] 音～Vidhura.
[10] 想～Sañjīva.
[11] 加＝跏【明】
[12] （人）＋見【宋】【元】【明】

念：今此沙門在無事處坐坐[1]而命終，我等昨已拾燥樵、草積覆其身，以火燒之，然已而去，然此賢者更復想也。波旬，以是義故，尊者想名想也。」

[T1.621a05]「波旬，彼時惡魔便作是念：此禿沙門以黑所縛，斷種無子，彼學禪，伺、增伺、數數伺，猶若如驢，竟日負重，繫在櫪上，不得麥食，為彼麥故，伺、增伺、數數伺。如是，此禿沙門為黑所縛，斷種無子，學禪，伺、增伺、數數伺，猶如猫子在鼠穴邊，欲捕鼠故，伺、增伺、數數伺。如是，此禿沙門為黑所縛，斷種無子，彼學禪，伺、增伺、數數伺，猶如鵂狐在燥樵積間，為捕鼠故，伺、增伺、數數伺。如是，此禿沙門為黑所縛，斷種無子，學禪，伺、增伺、數數伺，猶如鶴鳥在水岸邊，為捕魚故，伺、增伺、數數伺。如是，此禿沙門為黑所縛，斷種無子，學禪，伺、增伺、數數伺。」

[T1.621a18]「彼何所伺，為何義伺，求何等伺，彼調亂狂發敗壞，我不知彼何所從來，亦不知彼何所從去，亦不知住止，不知死不知生，我寧可教勅梵志、居士，汝等共來罵詈精進沙門，打破責數。所以者何？或罵打破責數時，儻能起惡心，令我得其便，波旬，彼時惡魔便教勅梵志、居士，彼梵志、居士罵詈精進沙門，打破責數，彼梵志、居士或以木打，或以石擲，或以杖撾，或傷精進沙門頭，或裂壞衣，或破應器，爾時，梵志、居士若有死者，因此緣此，身壞命終，必至惡處，生地獄中，彼生已，作是念：我應受此苦，當復更受極苦過是。所以者何？以我等向精進沙門行惡行故。」

[T1.621b02]「波旬，覺礫拘荀大如來、無所著、等正覺弟子用傷其頭，裂壞其衣，破其應器已，往詣覺礫拘荀大如來、無所著、等正覺所，爾時，覺礫拘荀大如來、無所著、等正覺無量百千眷屬圍遶而為說法，覺礫拘荀大如來、無所著、等正覺遙見弟子頭傷、衣裂、鉢破而來，見已，告諸比丘：「汝等見不，惡魔教勅梵志、居士，汝等共來罵詈精進沙門，打破嘖[2]數。所以者何？或罵打破責數時，儻能起惡心，令我得其便，比丘！汝等當以心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，令惡魔求便不能得便。」

[T1.621b17]「波旬，覺礫拘荀大如來、無所著、等正覺以此教教[3]諸弟子，彼即受教，心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，

[1]〔坐〕－【宋】【元】【明】
[2] 嘖＝責【宋】【元】【明】
[3]〔教〕－【宋】【元】【明】

如是悲喜心與捨俱，無結無怨無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，以此故，彼惡魔求便不能得便。」

[T1.621b24]「波旬，彼時惡魔復作是念：我以此事求精進沙門便，而不能得，我寧可教勅梵志、居士，汝等共來奉敬、供養、禮事精進沙門，或以奉敬、供養、禮事精進沙門，儻能起惡心，令我得其便，波旬，彼梵志、居士為惡魔所教勅已，即共奉敬、供養、禮事精進沙門，以衣敷地而作是說，精進沙門可於上行，精進沙門難行而行，令我長夜得利饒益，安隱快樂，梵志、居士以髮布地而作是說，精進沙門可於上行，精進沙門難行而行，令我長夜得利饒益，安隱快樂，梵志、居士以手捧持種種飲食，住道邊待而作是說，精進沙門受是食是，可持是去，隨意而[1]用，令我長夜得利饒益，安隱快樂，諸信梵志、居士見精進沙門，敬心扶抱，將入於內，持種種財物與精進沙門，作如是說，受是用是，可持是去，隨意所用，爾時，梵志、居士若有死者，因此緣此，身壞命終，必至善處，生於天上，生已，作是念：我應受是樂，當復更受極樂勝是。所以者何？以我等向精進沙門行善行故。」

[T1.621c16]「波旬，覺礫拘荀大如來、無所著、等正覺弟子得奉敬、供養、禮事已，往詣覺礫拘荀大如來、無所著、等正覺所，是時，覺礫拘荀大如來、無所著、等正覺無量百千眷屬圍遶而為說法，覺礫拘荀大如來、無所著、等正覺遙見弟子得奉敬、供養、禮事而來，見已，告諸比丘：「汝等見不，惡魔教勅梵志、居士，汝等共來奉敬、供養、禮事精進沙門、或以奉敬、供養、禮事精進沙門，儻能起惡心，令我得其便，比丘！汝等當觀諸行無常，觀興衰法，觀無欲，觀捨離，觀滅，觀斷，令惡魔求便而不能得，波旬，覺礫拘荀大如來、無所著、等正覺以此教教諸弟子，彼即受教，觀一切行無常，觀興衰法，觀無欲，觀捨離，觀滅，觀斷，令惡魔求便而不能得。」

[T1.622a01]「波旬，彼時惡魔復作是念：我以此事求精進沙門便，而不能得，我寧可化作年少形，手執大杖，住其[2]道邊，打尊者音頭，令破血流污[3]面，波旬，覺礫拘荀大如來、無所著、等正覺於後所依村邑遊行，彼於平旦著衣持鉢，入村乞食，尊者音在後侍從，波旬，爾時，惡魔化作年少形，手執大杖，住在道邊，擊尊者音頭破血流*污面，波旬，尊者音破頭流血已，隨從覺礫拘荀大如來、無所著、等正覺後，猶影不離。」

[T1.622a11]「波旬，覺礫拘荀大如來、無所著、等正覺至村邑已，極其身力右旋顧視，猶如龍視，不恐不怖，不驚不懼而觀諸方，波旬，覺礫拘荀大如來、無所著、等正覺見尊者音頭破血流污[4]面，隨佛後行，如影不離，便作是說，此惡

---

[1] 而＝所【宋】【元】【明】
[2] 其＝在【宋】【元】【明】
[3]〔污〕－【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 污＝于【宋】【元】【明】

魔凶暴，大有威力，此惡魔不知厭足，波旬，覺礫拘荀大如來、無所著、等正覺說語未訖，彼時，惡魔便於彼處，其身即墮無缺大地獄，波旬，此大地獄而有四名，一者無缺，二者百釘，三者逆刺，四者六更，彼大地獄其中有卒，往至惡魔所，語惡魔曰：「汝今當知，若釘釘等共合者，當知滿百年。」

[T1.622a22] 於是，魔波旬聞說此已，即便心悸，恐怖驚懼，身毛皆豎，向尊者大目揵連即說頌曰：「

云何彼地獄　惡魔昔在中　嬈害佛梵行　及犯彼比丘

[T1.622a27] 尊者大目揵連即時以偈答魔波旬曰：「

地獄名無缺　惡魔曾在中　嬈害佛梵行　及犯彼比丘
彼鐵釘有百　一切各逆刺　地獄名無缺　惡魔昔在中
若有不知者　比丘佛弟子　必得如是苦　受黑業之報
若干種園觀　人者在於地　食自然粳米　居止在北洲
大須彌山巖　善修之所熏　修習於解脫　受持最後身
跱立在大泉[1]　宮殿住至劫　金色可愛樂　猶火[火*僉]晃昱
作諸眾妓樂　往詣帝釋所　本以一屋舍　善覺了為施
若釋在前行　昇毘闍延殿[2]　見釋大歡喜　天女各各舞
若見比丘來　還顧有慚愧　若毘闍延殿　見比丘問義
大仙頗能知　愛盡得解脫　比丘即為答　問者如其義
拘翼我能知　愛盡得解脫　聞彼之所答　釋得歡喜樂
比丘多饒益　所說如其義　若毘闍延殿　問帝釋天王
此殿名何等　汝釋攝持城　釋答大仙人　名毘闍延哆
是謂千世界　於千世界中　無有勝此殿　如毘闍延哆
天王天帝釋　自在隨所遊　愛[3]樂那遊哆　化作一行百
毘闍延殿內　釋得自在遊　毘闍延大殿　足指能震[4]動
天王眼所觀　釋得自在遊　若鹿子母堂　築基極深堅
難動不可*震　如意足能搖　彼有琉[5]璃地　聖人之所履
滑澤樂更觸　布柔軟綿褥[6]　愛語共和合　天王常歡喜
善能作妓樂　音節善諧和　謂[7]天來會聚　而說須陀洹
若干無量千　及百諸那術　至三十三天　慧眼者說法

---

[1] 泉＝眾【元】【明】
[2] [>毘闍延殿]～Vejayanta.
[3] 愛＝受【宋】【元】【明】
[4] 震＝振【宋】＊【元】＊【明】＊
[5] 琉＝瑠【明】
[6] 褥＝縟【宋】【元】【明】
[7] 謂＝諸【宋】【元】【明】

聞彼所說法　歡喜而奉行　我亦有是法　如仙人所說
謂至梵天上　問彼梵天事　梵故有此見　謂見昔時有
我住有常存　恒有不變易　梵天為答彼　大仙我無見
謂見昔時有　我恒常不變　我見此境界　諸梵皆過去
我今何由說　恒常不變易　我見此世間　正覺之所說
隨所因緣生　所往而轉還　火無有思念　我燒愚癡人
火然若愚觸　必自然得燒　如是汝波旬　觸燒於如來
久作不善行　受報亦當久　魔汝莫厭佛　莫燒害比丘
一比丘降魔　住在於怖林　彼鬼愁憂慼　目連之所訶
恐怖無智慧　即於彼處沒

[T1.623a02] 尊者大目揵連所說如是，彼魔波旬聞尊者大[日>目]揵連所說，歡喜奉行。

[T1.623a04] 降魔經第十五竟[1](三千二百七十四字)[2]，

中阿含經卷第三十[3](九千五百一十五字)[4]

中阿含經

卷第三十一(Ma.132)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（一三二）大品

(Ma.132)賴吒恕羅經[5] 第十六(第三念誦)[6]

[T1.623a12] 我聞如是。

---

[1]〔降…竟〕－【明】
[2]〔三…字〕－【宋】【元】【明】
[3]〔九…字〕－【宋】【元】【明】
[4] ＋（第三念誦）【宋】【元】
[5] ～《中部》M. 82. Raṭṭhapāla sutta. (賴吒恕羅經)，No.68.《賴吒和羅經》(大正 1.868c)，No.69.《護國經》(大正 1.872a)，《法句經》Dhp.147，《長老偈》Thag.769
[6]〔第三念誦〕－【明】

[T1.623a12] 一時，佛遊拘樓瘦[1]，與大比丘眾俱，往至鍮蘆吒[2]，住鍮蘆吒村北尸攝*恕園中。

[T1.623a14] 爾時，鍮蘆吒梵志、居士聞，沙門瞿曇釋種子捨釋宗族，出家學道，遊拘樓瘦，與大比丘眾俱，來至此鍮蘆吒，住鍮蘆吒村北尸攝*恕園中，彼沙門瞿曇有大名稱，周聞十方，沙門瞿曇如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼於此世，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，自知自覺，自作證成就遊，彼若說法，初妙、中妙、竟亦妙，有義有文，具足清淨，顯現梵行，若見如來、無所著、等正覺，尊重禮拜，供養承事者，快得善利，我等應共往見沙門瞿曇禮拜供養。

[T1.623a25] 鍮蘆吒梵志、居士聞已，各與等類眷屬相隨，從鍮蘆吒出，北行至尸攝*恕園，欲見世尊禮拜、供養，往詣佛已，彼鍮蘆吒梵志、居士或稽首佛足，却坐一面，或問訊佛，却坐一面，或叉手向佛，却坐一面，或遙見佛已，默然而坐，彼時，鍮蘆吒梵志、居士各坐已定，佛為說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，默然而住，時，鍮蘆吒梵志、居士，佛為說法，勸發渴仰，成就歡喜已，各從坐起，稽首佛足，繞佛[3]三匝而去。

[T1.623b06] 彼時，賴吒恕羅[4]居士子故坐不起。於是，賴吒恕羅居士子，鍮蘆吒梵志、居士去後不久，即從坐起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！如我知佛所說法者，若我在家，為鎖所鎖[5]，不得盡形壽清淨行梵行。世尊！願我得從世尊出家學道而受具足，得作比丘，淨修梵行。」

[T1.623b12] 世尊問曰：「居士子，父母聽汝於正法、律中至信、捨家、無家、學道耶？」

[T1.623b14] 賴吒恕羅居士子白曰：「世尊！父母未聽我於正法、律中至信、捨家、無家、學道。」

[T1.623b16] 世尊告曰：「居士子，若父母不聽汝於正法、律中至信、捨家、無家、學道者，我不得度汝出家學道，亦不得受[6]具足。」

[T1.623b18] 賴吒*恕羅居士子白曰：「世尊！我當方便從父母求，必令聽我於正法、律中至信、捨家、無家、學道。」

---

[1] [>拘樓瘦]～Kurūsu.
[2] [>鍮蘆吒]～Thullakoṭṭhita.
[3] 〔佛〕－【聖】
[4] [>賴吒恕羅]～Raṭṭhapāla.
[5] 鎖＝鎮【宋】
[6] 受＝授【宋】【元】【明】

[T1.623b21] 世尊告曰：「居士子，隨汝所欲。」

[T1.623b21] 於是，賴吒恕羅居士子聞佛所說，善受善[1]持，稽首佛足，繞三匝還歸，白曰：「二尊，如我知佛所說法者，若我在家，為鎖所鎖，不得盡形壽清淨行梵行，唯願二尊聽我於正法、律中至信、捨家、無家、學道。」

[T1.623b26] 賴吒恕羅父母告曰：「賴吒恕羅，我今唯有汝一子，極愛憐念，意常愛[2]樂，見無厭足，若汝命終，我尚不欲相棄捨也。況生別離不見汝耶？」

[T1.623b29] 賴吒恕羅居士子復至再三白曰：「二尊，如我知佛所說法者，若我在家，為鎖所鎖，不得盡形壽清淨行梵行，唯願二尊聽我於正法、律中至信、捨家、無家、學道。」

[T1.623c04] 賴吒恕羅居士子父母亦至再三告曰：「賴吒恕羅，我今唯有汝一子，極愛憐念，意常*愛樂，見無厭足，若汝命終，我尚不欲相棄捨也。況生別離不見汝耶？」

[T1.623c07] 於是，賴吒恕羅居士子即時臥地，從今不起，不飲不食，乃至父母聽我於正法、律中至信、捨家、無家、學道。於是，賴吒恕羅居士子一日不食，至二、三、四、多日不食。」

[T1.623c11] 於是，賴吒恕羅居士子父母往至子所，告曰：「賴吒恕羅，汝至柔軟，身體極好，常坐臥好床，汝今不知苦耶？賴吒恕羅，汝可速起，行欲布施，快修福業。所以者何？賴吒恕羅，世尊境界甚難甚難，出家學道亦復甚難。」爾時，賴吒恕羅居士子默然不答。

[T1.623c17] 於是，賴吒恕羅居士子父母往至賴吒恕羅親親及諸臣所，而作是語：「汝等共來至賴吒恕羅所，勸令從地起。」

[T1.623c20] 賴吒恕羅居士子親親及諸臣等即便共至賴吒恕羅所，語曰：「賴吒恕羅，汝至柔軟，身體極好，常坐臥好床，汝今不知苦耶？賴吒恕羅，汝可速起，行欲布施，快修福業。所以者何？世尊境界甚難甚難，出家學道亦復甚難。」彼時，賴吒恕羅居士子默然不答。

[T1.623c25] 於是，賴吒恕羅居士子父母至賴吒恕羅居士子善知識、同伴、同時所，而作是語：「汝等共來至賴吒恕羅所，勸令從地起。」

---

[1]〔善〕－【聖】
[2] 愛＝忍【聖】＊

[T1.623c28] 於是，賴吒恕羅居士子善知識、同伴、同時即共往詣賴吒恕羅居士子所，而作是語：「賴吒恕羅，汝至柔軟，身體極好，常坐臥好床，汝今不知苦耶？賴吒恕羅，汝可速起，行欲布施，快修福業。所以者何？賴吒恕羅，世尊境界甚難甚難，出家學道亦復甚難。」彼時，賴吒恕羅居士子默然不答。

[T1.624a06] 於是，賴吒恕羅居士子善知識、同伴、同時往至賴吒恕羅居士子父母所，作如是語：「可聽賴吒恕羅於正法、律中至信、捨家、無家、學道，若其樂者，於此生中，故可相見，若不樂者，必自來還歸父母所，今若不聽，定死無疑，當何所益。」

[T1.624a11] 於是，賴吒恕羅居士子父母聞已，語賴吒恕羅居士子善知識、同伴、同時曰：「我今聽賴吒恕羅於正法、律中至信、捨家、無家、學道，若學道來還，故可見也。」

[T1.624a14] 賴吒恕羅居士子善知識、同伴、同時即共往詣賴吒恕羅所，便作是語：「居士子，父母聽汝於正法、律中至信、捨家、無家、學道，若學道已，還見父母。」

[T1.624a18] 賴吒恕羅居士子聞是語已，便大歡喜，生愛生樂，從地而起，漸養其身，身平復已，從鍮蘆吒出，往詣佛所，稽首佛足，白曰：「世尊！父母聽我於正法、律中至信、捨家、無家、學道，唯願世尊！聽從世尊出家學道而受具足，得作比丘。」

[T1.624a23] 於是，世尊度賴吒恕羅居士子出家學道，授其具足，授具足已，於鍮蘆吒隨住數時，於後則便攝衣持鉢，遊行展轉，往至舍衛國，住勝林給孤獨園。尊者賴吒恕羅出家學道，受具足已，在遠離獨[1]住，心無放逸，修行精懃，彼在遠離獨住，心無放逸，修行精懃已，族姓子所為剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，唯無上梵行訖，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，尊者賴吒恕羅知法已，至得阿羅訶。

[T1.624b05] 於是，尊者賴吒恕羅得阿羅訶已後或九年十年，而作是念：我本已許出家學道還見父母，我今寧可還赴本要。於是，尊者賴吒恕羅往詣佛所，稽首佛足，却坐一面，白曰：「世尊！我本有要，出家學道已，還見父母。世尊！我今辭行，往見父母，赴其本要。」

[1]〔獨〕－【宋】

[T1.624b11] 爾時，世尊便作是念：此賴吒恕羅族姓子，若使捨戒，罷道行欲如本者，必無是處，世尊知已，告曰：「汝去未度者度，未解脫者令得解脫，未滅訖者令得滅訖，賴吒恕羅，今隨汝意。」

[T1.624b15] 彼時，尊者賴吒恕羅聞佛所說，善受善持，即從坐起，稽首佛足，繞三匝而去，至己房中，收舉臥具，著衣持鉢，遊行展轉，往至鍮蘆吒，住鍮蘆吒村北尸攝*恕園。於是，尊者賴吒恕羅過夜平旦，著衣持鉢，入鍮蘆吒而行乞食，尊者賴吒恕羅作如是念，世尊稱歎次第乞食，我今寧可於此鍮蘆吒次第乞食，尊者賴吒恕羅便於鍮蘆吒次第乞食，展轉至本家。

[T1.624b23] 彼時，尊者賴吒恕羅父在中門住，修理鬚髮，尊者賴吒恕羅父遙見尊者賴吒恕羅來，便作是語：「此禿沙門為黑所縛，斷種無子，破壞我家，我有一子，極愛憐念，意常忍樂，見無厭足，彼將去度，當莫與食。」

[T1.624b28] 尊者賴吒恕羅自於父家不得布施，但得嘖[1][口*數][2]：「此禿沙門為黑所縛，斷種無子，破壞我家，我有一子，極愛憐念，意常愛[3]樂，見無厭足，彼將去度，當莫與食。」尊者賴吒恕羅知已，便速出去。

[T1.624c03] 彼時，尊者賴吒恕羅父家[4]婢使以箕盛臭爛飲食，欲棄著糞聚中，尊者賴吒恕羅見父婢使以箕盛臭爛飲食，欲棄著糞聚中，便作是語：「汝妹，若此爛[5]飲食法應棄者，可著我鉢中，我當食之。」

[T1.624c08] 彼時，尊者賴吒恕羅父家婢使以箕中臭爛飲食瀉[6]著鉢中，*瀉著鉢中時取其二相識，其音聲及其手足，取二相已，即往至尊者賴吒恕羅父所，而作是語：「尊今當知，尊子賴吒恕羅還來至此鍮蘆吒，可往見之，尊者賴吒恕羅父聞已，大歡喜踊躍，左[7]手攝衣，右[8]手摩扠[9]鬚髮，疾往詣尊者賴吒恕羅所。」

[T1.624c15] 彼時，尊者賴吒恕羅向壁食此臭爛食，尊者賴吒恕羅父見尊者賴吒恕羅向壁食此臭爛食，作如是說：「汝賴吒恕羅，汝至柔軟，身體極好，常食好食，賴吒恕羅，汝云何乃食此臭爛食耶？賴吒恕羅，汝以何意來此鍮蘆吒，而不能還至父母家耶？」

---

[1] 嘖＝責【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] [口*數]＝數【元】【明】＊
[3] 愛＝忍【宋】【元】【明】【聖】
[4] 家＝母【聖】
[5] （臭）＋爛【宋】【元】【明】【聖】
[6] 瀉＝寫【宋】【元】【明】【聖】＊
[7] 左＝右【聖】
[8] 右＝左【聖】
[9] 扠＝挍【聖】

[T1.624c21] 尊者賴吒恕羅白曰：「居士，我入父家不得布施，但得*嘖*[口*數]，此禿沙門為黑所縛，斷種無子，破壞我家，我唯有子，至愛憐念，意常*愛樂，見無厭足，彼將去度，當莫與食，我聞此已，便[1]速出去。」

[T1.624c25] 尊者賴吒恕羅父即辭謝曰：「賴吒恕羅可忍，賴吒恕羅可忍，我實不知賴吒恕羅還入父家。」於是，尊者賴吒恕羅父敬心扶抱尊者賴吒恕羅，將入於內，敷座令坐，尊者賴吒恕羅即便就坐[2]。

[T1.625a01] 於是，其父見尊者賴吒恕羅坐已，往至婦所，而作是語：「卿今當知，賴吒恕羅族姓子今來還家，可速辦飲食。」

[T1.625a03] 尊者賴吒恕羅母聞已，大歡喜踊躍，速辦飲食，辦飲食已，疾輦錢出，著中庭地，聚作大積[3]，彼大錢*積，一面立人，一面坐人，各不相見，作大錢*積已，往詣尊者賴吒恕羅所，作如是語：「賴吒恕羅，是汝母分所有錢財，汝父錢財無量，百千不可復計，今盡付汝，賴吒恕羅，汝可捨戒罷道，行欲布施，快修福業。所以者何？世尊境界甚難甚難，出家學道亦復甚難。」

[T1.625a12] 尊者賴吒恕羅白其母曰：「我今欲有所說，能見聽不。」

[T1.625a13] 尊者賴吒恕羅母語曰：「居士子，汝有所說，我當聽之。」

[T1.625a14] 尊者賴吒恕羅白其母曰：「當作新布囊，用盛滿錢，以車載之，至恒伽江，*瀉著深處。所以者何？因此錢故，令人憂苦、愁慼、啼哭，不得快樂。」

[T1.625a17] 於是，尊者賴吒恕羅母而作是念：「以此方便不能令子賴吒恕羅捨戒罷道，我寧可至其本婦所，作如是語：『諸新婦等，汝可以先所著瓔珞嚴飾[4]其身，賴吒恕羅族姓子本在家時極所愛念，以此瓔珞速嚴身已，汝等共往至賴吒恕羅族姓子所，各抱一足而作是說，不審賢郎有何天女勝於我者，而令賢郎捨我為彼修梵行耶？』」

[T1.625a25] 於是，其母即至尊者賴吒恕羅其本婦所，作如是語：「諸新婦等，汝可以先所著瓔珞嚴飾其身，賴吒恕羅族姓子本在家時極所愛念，以此瓔珞速嚴身已，汝等共往至賴吒恕羅族姓子所，各抱一足而作是說，不審賢郎有何天女勝於我者，而令賢郎捨我為彼修梵行耶？」

---

[1] 便＝更【聖】
[2] 坐＝將【聖】
[3] 積＝[卄/積]【宋】【元】【明】【聖】＊
[4] 飾＝[飢-几+希]【明】

[T1.625b03]「彼時，尊者賴吒恕羅其本[>婦]等即各以先所著瓔珞嚴飾其身，尊者賴吒恕羅本在家時極所愛念，以此瓔珞嚴飾身已，往詣尊者賴吒恕羅所，各抱一足而作是說，不審賢郎有何天女勝於我者，而令賢郎捨我為彼修梵行耶？」

[T1.625b08] 尊者賴吒恕羅語本婦曰：「諸妹，當知我不為天女故修於梵行，所為修梵行者，彼義已得，佛教所作今已成辦。」

[T1.625b11] 尊者賴吒恕羅諸婦等却住一面，啼泣[1]垂淚而作是語：「我非賢郎妹，然賢郎喚我為妹。」

[T1.625b13] 於是，尊者賴吒恕羅迴還顧視，白父母曰：「居士，若施食者便以時施，何為相嬈。」

[T1.625b15] 爾時，父母即從坐起，自行澡水，以上味餚饌[2]，種種豐饒，食噉含消，手自斟酌，極令飽滿，食訖收器，行澡水竟，取一小床，別坐聽法，尊者賴吒恕羅為父母說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即從坐[3]起立，說頌曰：「

觀此嚴飾形　珍[4]寶瓔珞等　右磐[5]縈其髮　紺黛畫眉目
此欺愚癡人　不誑[6]度彼岸　以眾好綵色　莊嚴臭穢身
此欺愚癡人　不誑度彼岸　眾香遍塗體[7]　雌黃黃其足
此欺愚癡人　不*誑度彼岸　身服淨妙衣[8]　莊嚴猶幻化
此欺愚癡人　不*誑度彼岸　斷絕鹿鞙繈[9]　及破壞鹿門
我捨離餌去　誰樂於鹿縛

[T1.625c03] 尊者賴吒恕羅說此頌已，以如意足乘虛而去，至鍮蘆吒林入彼林中，於鞞醯勒樹下敷尼師檀[10]，結加[11]趺坐，爾時，拘牢婆[12]王及諸群臣前後圍繞，坐於正殿，咨嗟稱歎尊者賴吒恕羅，若我聞賴吒恕羅族姓子來此鍮蘆吒者，我必往見。

---

[1] 泣＝哭【聖】
[2] 饌＝饍【宋】【元】【明】
[3] 坐＝座【元】【明】
[4] 珍＝真【聖】
[5] 磐＝槃【宋】【元】【明】【聖】
[6] 誑＝任【宋】＊
[7] 塗體＝塗身【聖】
[8] 衣＝好【宋】【元】【明】
[9] 鞙繈＝衒[強-弓+糸]【聖】，鞙＝衒【宋】，鞙＝羂【元】【明】
[10] 檀＝壇【宋】＊【元】＊【明】＊
[11] 加＝跏【宋】＊【元】＊【明】＊
[12] [>拘牢婆]～Koravya.

[T1.625c08] 於是，拘牢婆王告獵師曰：「汝去案[1]行鍮蘆吒林，我欲出獵，獵師受教，即便*案行鍮蘆吒林。於是，獵師*案行鍮蘆吒林，見尊者賴吒恕羅在鞞醯勒樹下，敷尼師*檀，結*加趺坐，便作是念：所為拘牢婆王及諸群臣共坐正殿，咨嗟稱歎者，今已在此。」

[T1.625c14] 爾時，獵師案行鍮蘆吒林已，還詣拘牢婆王所，白曰：「大[2]王，當知我已按[3]行鍮蘆吒林，隨*大王意，*大王本所為與諸群臣共坐正殿，咨嗟稱歎尊者賴吒恕羅，若我聞賴吒恕羅族姓子來此鍮蘆吒[4]者，我必往見，尊者賴吒恕羅族姓子今在鍮蘆吒林中鞞醯勒樹下，敷尼師*檀，結*加趺坐，*大王欲見者，便可往也。」

[T1.625c21] 拘牢婆王聞已，告御者曰：「汝速嚴駕，我今欲往見賴吒恕羅。」

[T1.625c23] 御者受教，即速嚴駕，訖還白曰：「*大王，當知嚴駕已辦，隨*大王意。」

[T1.625c24] 於是，拘牢婆王即乘車出，往至鍮蘆吒林，遙見尊者賴吒恕羅，即便下車，步進往至尊者賴吒恕羅所，尊者賴吒恕羅見拘牢婆王來，而作是說，：「大王，今來欲自坐耶？」

[T1.625c28] 拘牢婆王曰：「今我雖到自己境界，然我意欲令賴吒恕羅族姓子請我令坐。」

[T1.626a01] 尊者賴吒恕羅即請拘牢婆王曰：「今有別座，大王可坐。」

[T1.626a02] 於是，拘牢婆王與尊者賴吒恕羅共相問訊，却坐一面，語賴吒恕羅：「若為家衰故出家學道耶？若為無財物故行學道者，賴吒恕羅，拘牢婆王家多有財物，我出財物與賴吒恕羅，勸賴吒恕羅捨戒罷道，行欲布施，快修福業。所以者何？賴吒恕羅，師教甚難，出家學道亦復甚難。」

[T1.626a09] 尊者賴吒恕羅聞已，語曰：「大王，今以不淨請我，非清淨請，

[T1.626a10] 拘牢婆王聞已，問曰：「我當云何以清淨請賴吒恕羅，非以不淨耶？」

---

[1] 案＝按【元】【明】＊
[2] 大＝天【宋】【元】【明】【聖】＊
[3] 按＝案【聖】
[4] 吒＋（林）【宋】【元】【明】

[T1.626a12] 尊者賴吒恕羅語曰：「大王，應如是語，賴吒恕羅，我國人民安隱快樂，無恐怖、無鬪諍，亦無棘刺、無苦使役，米穀豐饒，乞食易得，賴吒恕羅住我國中，我當護如法，大王，如是以淨請我，非以不淨。」

[T1.626a16] 拘牢婆王聞已，語曰：「我今以淨請賴吒恕羅，非以不淨，我國人民安隱快樂，無恐怖、無鬪諍，亦無棘刺、無苦使役，米穀豐饒，乞食易得，賴吒恕羅住我國中，我當護如法。」

[T1.626a20]「復次，賴吒恕羅，有四種衰，謂衰衰故，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道。云何為四？病衰、老衰、財衰、親衰，賴吒恕羅。云何病衰，或有一人長病疾患，極重甚苦，彼作是念：我長病疾患，極重甚苦，我實有欲，不能行欲，我今寧可剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，彼於後時以病衰故，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，是為[1]病衰。」

[T1.626a28]「賴吒恕羅。云何老衰，或有一人年耆根熟，壽過垂訖，彼作是念：我年耆根熟，壽過垂訖，我實有欲，不能行欲，我今寧可剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，彼於後時以老衰故，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，是謂老衰。」

[T1.626b05]「賴吒恕羅。云何財衰，或有一人貧窮無力，彼作是念：我貧窮無力，我今寧可剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，彼於後時以財衰故，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，是謂財衰。」

[T1.626b09]「賴吒恕羅。云何親衰，或有一人親里[2]斷種，死亡沒盡，彼作是念：我親里斷種，死亡沒盡，我今寧可剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，彼於後時以親衰故，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，是謂親衰，

[T1.626b14]「賴吒恕羅昔時無病，安隱成就，平等食道，不冷不熱，平正安樂，順次不諍由是之故，食噉含消，安隱得化，賴吒恕羅非以病衰故，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道。」

[T1.626b18]「賴吒恕羅往昔之時，年幼童子，髮黑清淨，身體盛壯，爾時作倡伎[3]樂，極以自娛，莊嚴其身，常喜遊戲，彼時親屬皆不欲使令其學道，父母啼泣，憂慼懊惱，亦不聽汝出家學道，然汝剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、

---

[1] 為＝謂【聖】
[2] 里＝理【聖】
[3] 伎＝妓【元】【明】

無家、學道，賴吒恕羅不以老衰故，剃鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道。」

[T1.626b25]「賴吒恕羅，此鍮蘆吒第一家、最大家、最勝家、最上家，謂財物也。賴吒恕羅，不以財衰故，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道。」

[T1.626b28] 賴吒恕羅，此鍮蘆吒林間，大豪親族親皆存在，賴吒恕羅不以親衰故，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道。」

[T1.626c02] 賴吒恕羅，此四種衰，或有衰者，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，我見賴吒恕羅都無此衰，可使賴吒恕羅剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，賴吒恕羅，知見何等，為聞何等，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道。」

[T1.626c07] 尊者賴吒恕羅答曰：「大王，世尊知、見、如來、無所著等正覺[1]為說四事，我欲忍樂是，我知見聞是。是故剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道。云何為四？大王，此世無護，無可依恃，此世一切趣向老法，此世非常，要當捨去，此世無滿，無有厭足，為愛走使。」

[T1.626c13] 拘牢婆王問曰：「賴吒恕羅，向[2]之所說，大王，此世無護，無可依恃，賴吒恕羅，我有兒孫、兄弟、枝黨、象軍、車軍[3]、馬軍、步軍，皆能射御，嚴毅勇猛，王子力士[4]鉢邏[5]騫[6]提摩訶能伽有占相、有策慮、有計算、有善知書、有善談論，有君臣、有眷屬，持呪知呪，彼隨諸方，有恐怖者能制止之，若賴吒恕羅所說，大王，此世無護，無可依恃，賴吒恕羅，向所說，此有何義耶？」

[T1.626c21] 尊者賴吒恕羅答曰：「大王，我今問王，隨所解答，大王，此身頗有病耶？」

[T1.626c23] 拘牢婆王答曰：「賴吒恕羅，今我此身常有風病。」

[T1.626c24] 尊者賴吒恕羅問曰：「大王，風病發時，生極重甚苦者，大王，爾時可得語彼兒孫、兄弟、象軍、馬軍、車軍、步軍皆能[7]射御，嚴毅勇猛，王子

---

[1] 覺＝學【聖】
[2] 向＝屬【宋】【元】【明】【聖】
[3] 車軍馬＝馬軍車【宋】【元】【明】【聖】
[4] 子力士＝力士子【聖】
[5] 邏＝羅【宋】【元】【明】【聖】＊
[6] 騫＝蹇【聖】
[7] 皆能＝能皆【聖】

力士鍮[1]*邏鵞提摩訶能伽，占相、策慮、計算[2]、知書、善[3]能談論、君臣、眷屬，持呪知呪，汝等共來暫代我受極重甚苦，令我無病得安樂耶？」

[T1.627a01] 拘牢婆王答曰：「不也。所以者何？我自作業，因業緣業，獨受極苦，甚重苦也。」

[T1.627a03] 尊者賴吒恕羅語曰：「大王，以是故，世尊說此世無護，無可依恃，我欲忍樂是，我知見聞是。是故剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道。」

[T1.627a06] 拘牢婆王語曰：「若賴吒恕羅所說，大王，此世無護，無可依恃，賴吒恕羅，我亦欲是忍樂於是。所以者何？此世真實無護，無可依恃。」

[T1.627a09] 拘牢婆王復問曰：「若賴吒恕羅所說，大王，此世一切趣向老法，賴吒恕羅向所說，此復有何義。」

[T1.627a11] 尊者賴吒恕羅答曰：「大王，我今問王，隨所解答，若大王年或二十四、或二十五者，於意云何？爾時速疾何如於今，爾時筋力、形體、顏色何如於今。」

[T1.627a14] 拘牢婆王答曰：「賴吒恕羅，若我時年或二十四、或二十五，自憶爾時，速疾、筋力、形體、顏色無勝我者，賴吒恕羅，我今極老，諸根衰熟，壽過垂訖，年滿八十，不復能起。」

[T1.627a18] 尊者賴吒恕羅語曰：「大王，以是故，世尊說此世一切趣向老法，我欲忍樂是，我知見聞是。是故剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道。」

[T1.627a21] 拘牢婆王語曰：「若賴吒恕羅所說，大王，此世一切趣向老法，我亦欲是忍樂於是。所以者何？此世真實一切趣向老法。」

[T1.627a24] 拘牢婆王復問曰：「若賴吒恕羅所說，大王，此世無常，要當捨去，賴吒恕羅向所說，此復有何義？」

[T1.627a26] 尊者賴吒恕羅語曰：「大王，我今問王，隨所解答，大王，有豐拘樓國及豐後宮、豐倉庫耶？」

[T1.627a28] 拘牢婆王答曰。如是。」

---

[1] 鍮＝鉢【宋】【元】【明】
[2] 計算＝筭計【宋】【元】【明】【聖】
[3]〔善〕－【聖】

[T1.627a29] 尊者賴吒恕羅復問曰：「大王，有豐拘樓國及豐後宮、豐倉庫者，若時有法來不可依，忍樂破壞，一切世無不歸死者，爾時豐拘樓國及豐後宮、豐倉庫者，可得從此世持至後世耶？」

[T1.627b04] 拘牢婆王答曰：「不也。所以者何？我獨無二，亦無伴侶從此世至後世也。」

[T1.627b05] 尊者賴吒恕羅語曰：「大王，以是故，世尊說此世無常，要當捨去，我欲忍樂是，我知見聞是。是故剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道。」

[T1.627b09] 拘牢婆王語曰：「若賴吒恕羅所說，大王，此世無常，要當捨去，者，我亦欲是忍樂於是。所以者何？此世真實無常，要當捨去。」

[T1.627b11] 拘牢婆王復問曰：「若賴吒恕羅所說，大王，此世無滿，無有厭足，為愛走使，賴吒恕羅向所說，此復有何義。」

[T1.627b14] 尊者賴吒恕羅答曰：「大王，我今問王，隨所解答，大王，有豐拘樓國及豐後宮、豐倉庫耶？」

[T1.627b16] 拘牢婆王答曰：「如是。」

[T1.627b16] 尊者賴吒恕羅復問曰：「大王，有豐拘樓國及豐後宮、豐倉庫者，若於東方有一人來，可信可任，不欺誑世，來語王言，我從東方來，見彼國土極大富樂，多有人民，大王，可得彼國爾所財物、人民、力役、欲得彼國整御之耶？」

[T1.627b21] 拘牢[1]婆王答曰：「賴吒恕羅，若我知有如是豐國，爾所財物、人民、力役，得彼人民整御治[2]者，我必取之。」

[T1.627b24]「如是南方、西方、北方，從大海岸若有人來，可信可任，不欺誑世，來語王言，我從大海彼岸來，見彼國土極大富樂，多有人民，大王，可得彼國爾所財物、人民、力役，欲得彼國整御之耶？」

[T1.627b28] 拘牢婆王答曰：「賴吒恕羅，若我知有如是豐國，爾所財物、人民、力役，得彼人民整御治者[3]，我必取之。」

---

[1] 牢＝樓【聖】
[2] 治＋（之）【聖】
[3] 者＝之【聖】

[T1.627c02] 尊者賴吒恕羅語曰：「大王，以是故，世尊說此世無滿，無有厭足，為愛走使，我欲忍樂是，我知見聞是。是故剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道。」

[T1.627c05] 拘牢婆王語曰：「若[1]賴吒恕羅所說，大王，此世無滿，無有厭足，為愛走使，我亦欲是忍樂於是。所以者何？此世真實無滿，無有厭足，為愛走使，

[T1.627c08] 尊者賴吒恕羅語曰：「大王，世尊知、見、如來、無所著、等正覺為我說此四事，我知[2]忍樂是，我知見聞是。是故剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道。」

[T1.627c12] 於是，尊者賴吒恕羅說此頌曰：「

我見世間人　有財癡不施　得財復更求　慳貪積聚物
王者得天下　整御隨其力　海內無厭足　復求於海外
王及諸人民　未[3]離欲命盡　散髮妻子哭　嗚呼苦難伏
衣被而埋藏　或積薪火燒　緣行至後世　燒已無慧念
死後財不隨　妻子及奴婢　[貨>貧]富俱共同　愚智亦復然
智者不懷憂　唯愚抱悒慼[4]　是故智[5]慧勝　逮得正覺道
深[6]著於有有　愚癡作惡行　於法非法行　以力強奪他
少智習効他　愚多作惡行　趣胎至後世　數數受生死
已受出生世　獨作眾惡事　如賊他所縛　自作惡所害
如是此眾生　至到於後世　為己所作業　自作惡所害
如果[7]熟自墮　老少亦如斯　欲莊美愛樂　心趣好惡色
為欲所縛害　因欲恐怖生　王我見此覺　知是沙門妙

[T1.628a09] 尊者賴吒恕羅所說如是，拘牢婆王聞尊者賴吒恕羅所說，歡喜奉行。

[T1.628a11] 賴吒恕羅經第十六竟[8](六千七百七十七字)[9]，

---

[1]〔若〕－【聖】
[2] 知＝欲【宋】【元】【明】
[3] 未＝求【聖】
[4] 悒慼＝邑慼【聖】
[5] 智＝知【聖】
[6] 深＝染【聖】
[7] 果＝菓【宋】【元】【聖】
[8]〔賴吒…竟〕九字－【明】
[9]〔六千…字〕八字－【宋】【元】【明】【聖】

中阿含 [1]經卷第三十一 [2](第三念誦) [3]

中阿含 [4]經

卷第三十二(Ma.133)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯 [5]

（一三三）大品

(Ma.133)優婆離經 [6] 第十七(第三念誦)[7]

[T1.628a19] 我聞如是。

[T1.628a19] 一時，佛遊那難陀 [8]，在波婆離奈林 [9]。

[T1.628a20] 爾時，長苦行尼揵 [10]中後彷佯 [11]，往詣佛所，共相問訊，却坐一面。於是，世尊問曰：「苦行尼揵親子 [12]施設幾行，令不行惡業，不作惡業。」

[T1.628a23] 長苦行尼揵答曰：「瞿曇！我尊師尼揵親子不為我等施設於 [13]行，令不行惡業，不作惡業，但為我等施設於罰，令不行惡業，不作惡業。」

[T1.628a26] 世尊又復問曰：「苦行尼揵親子施設幾罰，令不行惡業，不作惡業。」

---

[1] 含＝鎋【聖】＊
[2]〔第三念誦〕－【聖】【明】，第三念誦四字在前行【宋】【元】
[3] ＋（藥王佛天王佛空王佛大集菩薩月光菩薩）十七字【聖】，＋（光明皇后願文）【聖】
[4] 含＝鎋【聖】＊
[5]〔東…譯〕十三字－【聖】
[6] ～《中部》M. 56. Upāli sutta. (優婆離經)，梵 Upāli(Hoernle)。婆＝波【聖】＊
[7]〔第三念誦〕－【明】
[8] [>那難陀]～Nāḷandā.
[9] [>波婆離奈林]～Pāvārikambavana.，波婆＝彼波【聖】＊
[10] 長苦行尼揵～Dīghatapassīniganṭha.
[11] 佯＝徉【宋】【元】【明】
[12] 親子～Nātaputta
[13] 於＝施【聖】

[T1.628a27] 長苦行尼揵答曰：「瞿曇！我尊師尼揵親子為我等輩施設三罰，令不行惡業，不作惡業。云何為三？身罰、口罰及意罰也。」

[T1.628b01] 世尊又復問[1]曰：「苦行。云何身罰異、口罰異、意罰異耶？」

[T1.628b02] 長苦行尼揵答曰：「瞿曇！我等身罰異、口罰異、意罰異也。」

[T1.628b04] 世尊又復問曰：「苦行，此[>三]罰如是相似，尼揵親子施設何罰為最重，令不行惡[>業]，不作惡業，為身罰、口罰，為意罰耶？」

[T1.628b06] 長苦行尼揵答曰：「瞿曇！此三罰如是相似，我尊師尼揵親子施設身罰為最重，令不行惡所，不作惡業，口罰不然，意罰最下，不及身罰極大甚重。」

[T1.628b10] 世尊又復問曰：「苦行，汝說身罰為最重耶？」

[T1.628b11] 長苦行尼揵答曰：「瞿曇！身罰最重。」

[T1.628b12] 世尊復再三問曰：「苦行，汝說身罰為最重耶？」

[T1.628b13] 長苦行尼揵[2]亦再三答曰：「瞿曇！身罰最重。於是，世尊再三審定長苦行尼揵如此事已，便默然住。」

[T1.628b15] 長苦行尼揵問曰：「沙門瞿曇施設幾罰，令不行惡業，不作惡業，

[T1.628b16] 爾時，世尊答曰：「苦行，我不施設罰，令不行惡業，不作惡業，我但施設業，令不行惡業，不作惡業。」

[T1.628b19] 長苦行尼揵問曰：「瞿曇施設幾業，令不行惡業，不作惡業。」

[T1.628b20] 世尊又復答曰：「苦[3]行，我施設三業，令不行惡業，不作惡業。云何為三？身業、口業及意業也。」

[T1.628b22] 苦行尼揵問曰：「瞿曇！身業異、口業異、意業異耶？」

[T1.628b23] 世尊又復答曰：「苦行，我身業異、口業異、意業異也。」

[T1.628b24] 長苦行尼揵問曰：「瞿曇！此三業如是相似，施設何業為最重，令不行惡業，不作惡業，為身業、口業，為意業耶？」

---

[1] 問＝門【元】
[2] 〔尼[犍>揵]…住〕三十四字－【聖】
[3] 苦＝若【宋】【元】

[T1.628b27] 世尊又復答曰：「苦[1]行，此三業如是相似，我施設意業為最重，令不行惡業，不作惡業，身業、口業則不然也。」

[T1.628c01] 長苦行尼揵問曰：「瞿曇施設意業為最重耶？」

[T1.628c02] 世尊又復答曰：「苦行，我施設意業為最重也。」

[T1.628c03] 長苦行尼揵復[2]再[二>三]問曰：「瞿曇施設意業為最重耶？」

[T1.628c04] 世尊亦再三答曰：「苦行，我施設意業為最重也。於是，長苦行尼揵再三審定世尊如此事已，即從座[3]起，繞世尊三匝而退還去，往詣尼揵親子所。」

[T1.628c07] 尼揵親子遙見長苦行尼揵來，即[更>便]問曰：「苦行，從何處來？」

[T1.628c09] 長苦行尼揵答曰：「尊[4]，我[5]從那難陀*波婆離奈林沙門瞿曇處來。」

[T1.628c10] 尼揵親子問曰：「苦行，頗共沙門瞿曇有所論耶？」

[T1.628c11] 長苦行尼揵答曰：「共論。」

[T1.628c12] 尼揵親子告曰：「苦行，若共沙門瞿曇有所論者，盡為我說，我或能知彼之所論。」

[T1.628c14] 於是，長苦行尼揵共世尊有所論者盡向彼說，尼揵親子聞便歎曰：「善哉，苦行，謂汝於師行弟子法，所作智辯聰明決定，安隱無畏成就調御，逮大辯才，得甘露幢，於甘露界自作證成就遊。所以者何？謂汝向沙門瞿曇施設身罰為最重，令不行惡業，不作惡業，口罰不然，意罰最下，不及身罰極大甚重。」

[T1.628c21] 是時，優*婆離[6]居士與五百居士俱集在眾中，叉手向尼揵親子。於是，優*婆離居士語長苦行尼揵曰：「尊已再三審定沙門瞿曇如此事耶？」

[T1.628c24] 長苦行尼揵答曰：「居士，我已再三審定沙門瞿曇如此事也。」

---

[1] 苦＝業【聖】
[2] 復＝亦【宋】【元】【明】
[3] 座＝坐【宋】【聖】
[4]〔尊〕－【元】【明】
[5]　（者）＋我【宋】
[6] [>優婆離]～Upāli.

[T1.628c25] 優*婆離居士語長苦行尼揵曰：「我亦能至再三審定沙門瞿曇如此事已，隨所牽挽，猶如力士執長髦羊，隨所牽挽，我亦如是，能至再三審定沙門瞿曇如此事已，隨所牽挽，猶如力士手執髦[1]裘，抖[2]擻去塵，我亦如是，能至再三審定沙門瞿曇如此事已，隨所牽挽，猶如沽[3]酒師、*沽酒弟子取漉[4]酒囊，著深水中，隨意所欲，隨所牽挽，我亦如是，能至再三審定沙門瞿曇如此事已，隨所牽挽，猶龍象王年滿六十，而以憍傲[5]摩訶能加[6]牙足體具，筋力熾盛，力士將去以水洗髀、洗脊、洗脇、洗腹、洗牙、洗頭及水中戲，我亦如是，能至再三審定沙門瞿曇如此事已，隨其所洗，我往詣沙門瞿曇所，共彼談論，降伏已還。」

[T1.629a11] 尼揵親子語優*婆離居士曰：「我亦可伏沙門瞿曇！汝亦可也。長苦行尼揵亦可也。」

[T1.629a13] 於是，長苦行尼揵白尼揵親子曰：「我不欲令優*婆離居士往詣沙門瞿曇所。所以者何？沙門瞿曇知幻化呪，能呪化作弟子，比丘、比丘尼、優婆塞、優婆私[7]，恐優婆離居士受沙門瞿曇化，化作弟子。」

[T1.629a17] 尼揵親子語曰：「苦行，若優婆離居士受沙門瞿曇化作弟子者，終無是處，若沙門瞿曇受優*婆離居士化作弟子者，必有是處。」

[T1.629a20] 優*婆離居士再三白尼揵親子曰：「我今往詣沙門瞿曇所，共彼談論，降伏已還。」

[T1.629a22] 尼揵親子亦再三答曰：「汝可速往，我亦可伏沙門瞿曇！汝亦可也。長苦行尼揵亦可也。

[T1.629a24] 長苦行尼揵復再三白曰：「我不欲令優*婆離居士往詣沙門瞿曇所。所以者何？沙門瞿曇知幻化呪，能呪化作弟子，比丘、比丘尼、優婆塞、優婆*私，恐優*婆離居士受沙門瞿曇化，化作弟子。」

[T1.629a28] 尼揵親子語曰：「苦行，若優*婆離居士受沙門瞿曇化作弟子者，終無是處，若沙門瞿曇受優*婆離居士化作弟子者，必有是處，優*婆離居士，汝去隨意。」

---

[1] 髦＝毛【元】【明】
[2] 抖＝枓【聖】
[3] 沽＝酤【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 漉＝鹿【聖】
[5] 傲＝傲【宋】【元】【明】
[6] 加＝伽【宋】【元】【明】【聖】
[7] 私＝夷【宋】【元】【明】【聖】＊

[T1.629b03] 於是，優*婆離居士稽首尼揵親子足，[>繞]三匝而去，往詣佛所，共相問訊，却坐一面，問曰：「瞿曇！今日長苦行尼揵來至此耶？」

[T1.629b06] 世尊答曰：「來也。居士。」

[T1.629b06] 優婆離居士問曰：「瞿曇！頗共長苦行尼揵有所論耶[1]。」

[T1.629b07] 世尊答曰：「有所論也。」

[T1.629b08] 優*婆離居士語曰：「瞿曇！若共長苦行尼揵有所論者，盡為我說，若我聞已，或能知之。於是，世尊共長苦行尼揵有所論者，盡向彼說。」

[T1.629b11] 爾時，優*婆離居士聞便歎曰：「善哉，苦行，謂於尊師行弟子法，所作智辯[2]聰明決定，安隱無畏成就調御，逮大*辯才，得甘露幢，於甘露界自作證成就遊。所以者何？謂向沙門瞿曇施設身罰最重，令不行惡業，不作惡業，口罰不然，意罰最下，不及身罰極大甚重。」

[T1.629b17] 彼時，世尊告曰：「居士，我欲與汝共論此事，汝若住真諦[3]者，以真諦答。」

[T1.629b19] 優*婆離居士報曰：「瞿曇！我住真諦，以真諦答，沙門瞿曇！但當與我共論此事。」

[T1.629b21] 世尊問曰：「居士，於意云何？若有尼揵來，好喜於布施，樂行於布施，無戲、樂不戲，為極清淨，極行呪也。若彼行來時，多殺大小蟲。云何，居士，尼揵親子於此殺生施設報耶？」

[T1.629b25] 優*婆離居士答曰：「瞿曇！若思者有大罪，若無思者無大罪也。」

[T1.629b26] 世尊問曰：「居士，汝說思為何等耶？」

[T1.629b27] 優*婆離居士答曰：「瞿曇！意業是也。」

[T1.629b28] 世尊告曰：「居士，汝當思量而後答也。汝之所說，前與後違，後與前違，則不相應，居士，汝在此眾自說，瞿曇！我住真諦，以真諦答，沙門瞿曇！但當與我共論此事，居士，於意云何？若有尼揵來飲湯斷冷水，彼[4]無湯

---

[1] 耶＝也【聖】
[2] 辯＝辨【聖】＊
[3] 住真諦～Sacce patiṭṭhāya.
[4] 彼＋（後）【宋】【元】【明】【聖】

時，便欲飲冷水，不得冷水，彼便命終，居士，尼揵親子云何可[1]說彼尼揵所生耶？」

[T1.629c06] 優*婆離居士答曰：「瞿曇！有天名意著，彼尼揵命終，若意著死者，必生彼處。」

[T1.629c07] 世尊告曰：「居士，汝當思量而後答也。汝之所說，前與後違，後與前違，則不相應，汝在此眾自說，瞿曇！我住真諦，以真諦答，沙門瞿曇！但當與我共論此事，居士，於意云何？若使有人持利刀來，彼作是說，我於此那難陀內一切眾生，於一日中斫剉斬截、剝裂削[2]割，作一肉聚，作一肉積[3]，居士，於意云何？彼人寧能於此那難陀內一切眾生，於一日中斫剉斬截、剝裂*削割，作一肉聚，作一肉*積耶？」

[T1.629c17] 優*婆離居士答曰：「不也。所以者何？此那難陀內極大富樂，多有人民。是故彼人於此那難陀內[4]一切眾生，必不能得於一日中斫剉斬截、剝裂*削割，作一肉聚，作一肉*積，瞿曇！彼人唐大煩勞。」

[T1.629c21]「居士，於意云何？若有沙門、梵志來，有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，心得自在，彼作是說，我以發一瞋念，令此一切那難陀內[5]燒使成灰，居士，於意云何？彼沙門、梵志寧能令此一切那難陀*內燒成灰耶？」

[T1.629c26] 優*婆離居士答曰：「瞿曇！何但一那難陀，何但二、三、四，瞿曇！彼沙門、梵志有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，心得自在，若發一瞋念，能令一切國一切人民燒使成灰，況一那難陀耶？」

[T1.630a01] 世尊告曰：「居士，汝當思量而後答也。汝之所說，前與後違，後與前違，則不相應，汝在此眾自說，瞿曇！我住真諦，以真諦答，沙門瞿曇！但當與我共論此事。」

[T1.630a05] 世尊問曰：「居士，汝頗曾聞大澤無事、麒麟[6]無事、麋鹿無事、靜[7]寂無事、空野無事、無事即無事耶？」

[T1.630a07] 優婆離居士答曰：「瞿曇！我聞有也。」

---

[1]〔可〕－【宋】【元】【明】【聖】
[2] 削＝剛【元】【明】＊，＝制【聖】＊
[3] 積＝[卄/積]【宋】【元】【明】【聖】＊
[4]〔內〕－【聖】
[5] 內＝肉【宋】＊【元】＊【明】＊
[6] 麒麟＝騏驎【宋】【元】【聖】＊
[7] 靜＝靖【宋】【元】【明】【聖】＊

[T1.630a08]「居士，於意云何？彼為誰大澤無事、*麒麟無事、麋鹿無事、*靜寂無事、空野無事、無事即無事耶？」

[T1.630a10] 優婆離居士默然不答，世尊告曰：「居士，速答，居士，速答，今非默然時，居士在此眾自說，瞿曇！我住真諦，以真諦答，沙門瞿曇！但當與我共論此事。」

[T1.630a14] 於是，優婆離居士須臾默然已，語曰：「瞿曇！我不默然，我但思惟於此義耳，瞿曇！彼愚癡尼揵不善曉了，不能解知，不識良田，而不自審，長夜欺我，為彼所誤，謂向沙門瞿曇施設身罰最重，令不行惡業，不作惡業，口罰、意罰而不如也。如我從沙門瞿曇所說知義，仙人發一瞋念，能[1]令大澤無事、麒麟無事、麋鹿無事、寂靜[2]無事、空野無事、無事即無事。世尊！我已知，善逝，我已解，我今自歸於佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.630a24] 世尊告曰：「居士，汝默然行，勿得宣言，如是勝人默然為善。」

[T1.630a26] 優*婆離居士白曰：「世尊！我以是故，復於世尊重加歡喜。所以者何？謂世尊作如是說，居士，汝默然行，勿得宣言，如是勝人默然為善。世尊！若我更為餘沙門、梵志作弟子者，彼等便當持幢、幡[3]、蓋，遍行宣令於那難陀，作如是說，優婆[4]離居士為我作弟子，優*婆離居士為我作弟子，然世尊作是說，居士，汝默然行，勿得宣言，如是勝人默然為善。」

[T1.630b05] 優*婆離居士白曰：「世尊！從今日始，不聽諸尼揵入我家門，唯聽世尊四眾弟子，比丘、比丘尼、優*婆塞、優婆*私[人>入]。」

[T1.630b08] 世尊告曰：「居士，彼尼揵等，汝家長夜所共尊敬，若其來者，汝當隨力供養於彼。」

[T1.630b09] 優婆離白曰：「世尊！我以是故，復於世尊倍加歡喜。所以者何？謂世尊作如是說，居士，彼尼揵等，汝家長夜所共尊敬，若其來者，汝當隨力供養於彼。世尊！我本聞世尊作如是說，當施與我，莫施與他，當施與我弟子，莫施與他弟子，若施與我者，當得大福，若施與他，不得大福，施與我弟子，當得大福，施與他弟子，不得大福。」

---

[1]〔能〕－【聖】
[2] 寂靜＝靖寂【明】
[3] 幡＝旛【明】
[4] 婆＝波【元】

[T1.630b17] 世尊告曰：「居士，我不如是說，當施與我，莫施與他，施與我弟子，莫施與他弟子，若施與我者，當得大福，若施與他，不得大福，施與我弟子，當得大福，若施與他弟子，不得大福，居士，我說如是，施與一切，隨心歡喜，但施與不精進者，不得大福，施與精進者，當得大福。」

[T1.630b24] 優*婆離居士白曰：「世尊！願無為也。我自知施與尼揵、不施與尼揵。世尊！我今再自歸佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。於是，世尊為優*婆離居士說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，如諸佛法，先說端正[1]法，聞者歡悅，謂說施、說戒、說生天法，毀呰欲為災患，生死為穢，稱歎無欲為妙，道品白淨，世尊為彼說如是法已，佛知彼有歡喜心、具足心、柔軟心、堪耐心、昇[2]上心、一向心、無疑心、無蓋心，有能有力，堪受正法，謂如諸佛所說正要，世尊便為彼說苦、習[3]、滅、道，優*婆離居士即於坐中見四聖諦，苦、*習、滅、道，猶如白素，易染為色，如是優*婆離居士即於坐中見四聖諦，苦、*習、滅、道。」

[T1.630c10] 於是，優*婆離居士見法得法，覺白淨法，斷疑度惑，更無餘尊，不復從他，無有猶豫，已住果證，於世尊法得無所畏，即從坐起，為佛作禮：「世尊！我今三自歸佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.630c16] 於是，優*婆離居士聞佛所說，善受善持，稽首佛足，繞三匝而歸，勅守門者：「汝等當知，我今則為世尊弟子，從今日始，諸尼揵來，莫聽入門，唯聽世尊四眾弟子，比丘、比丘尼、優婆塞、優婆*私入，若尼揵來者，當語彼言，尊者，優婆離居士今受佛化，化作弟子，則不聽諸尼揵入門，唯聽世尊四眾弟子，比丘、比丘尼、優婆塞、優婆*私入，若須食者，便可住此，當出食與。」

[T1.630c24] 於是，長苦行尼揵聞優婆離居士受沙門瞿曇化，化作弟子，則不聽諸尼揵入門，唯聽沙門瞿曇弟子，比丘、比丘尼、優婆塞、優婆*私入，長苦行尼揵聞已，往詣尼揵親子所，白曰：「尊，此是我本所說。」

[T1.630c28] 尼揵親子問曰：「苦行，何者是汝本所說耶？」

[T1.630c29] 長苦行尼揵答曰：「尊，我本所說，不欲令優*婆離居[土>士]往詣沙門瞿曇所。所以者何？沙門瞿曇知幻化呪，能呪化作弟子，比丘[4]、比丘尼、

---

[1] 正＝政【聖】
[2] 昇＝升【聖】
[3] 習＝集【元】【明】＊
[4] 比丘比＝比比丘【宋】

優婆塞、優婆*私，恐優*婆離居士受沙門瞿曇化，化作弟子，尊，優婆離居士[1]今已受沙門瞿曇化，化作弟子已，不聽諸尼揵入門，唯聽沙門瞿曇弟子，比丘、比丘尼、優婆塞、優婆*私入。」

[T1.631a08] 尼揵親子語曰：「苦行，若優婆離居士受沙門瞿曇化作弟子者，終無是處，若沙門瞿曇受優*婆離居士化作弟子者，必有是處。」

[T1.631a11] 長苦行尼揵復白曰：「尊，若不信我所說者，尊自可往，亦可遣使。」

[T1.631a12] 於是，尼揵親子告曰：「苦行，汝可自往，詣彼看[2]之，為優*婆離居士受沙門瞿曇化作弟子耶？為沙門瞿曇受優*婆離居士化作弟子耶？」

[T1.631a15] 長苦行尼揵受尼揵親子教已往詣優*婆離居士家，守門人遙見長苦行尼揵來，而作是說，尊者，優*婆離居士今受佛化，化作弟子，則不聽諸尼揵入門，唯聽世尊四眾弟子，比丘、比丘尼、優婆塞、優婆*私入，若欲得食者，便可住此，當出食與。」

[T1.631a21] 長苦行尼揵語曰：「守門人，我不用食。」

[T1.631a22] 長苦行尼揵知此事已，奮頭而去，往詣尼揵親子所，白曰：「尊，此是如我本所說。」

[T1.631a24] 尼揵親子問曰：「苦行，何者是汝本所說耶？」

[T1.631a25] 長苦行尼揵答曰：「尊，我本所說，不欲令優*婆離居士往詣沙門瞿曇所。所以者何？沙門瞿曇知幻化呪，能呪化作弟子，比丘、比丘尼、優婆塞、優婆*私，恐優婆離居士受沙門瞿曇化，化作弟子，尊，優*婆離居士今已受沙門瞿曇化，化作弟子已，不聽諸尼揵入門，唯聽沙門瞿曇弟子，比丘、比丘尼、優婆塞、優婆*私入。」

[T1.631b03] 尼揵親子告曰：「苦行，若優婆離居士受沙門瞿曇化作弟子者，終無是處，若沙門瞿曇受優*婆離居士化作弟子者，必有是處。」

[T1.631b06] 長苦行尼揵白曰：「尊，若不信我所說者，願尊自往。」

[T1.631b07] 於是，尼揵親子與大尼揵眾五百人俱，往詣優*婆離居士家，守門人遙見尼揵親子與大尼揵眾五百人俱來，而作是說：「尊者，優*婆離居士今受

[1]〔受沙…士〕十六字－【聖】
[2] 看＝首【元】

佛化，化作弟子，則不聽諸尼揵入門，唯聽世尊四眾弟子，比丘、比丘尼、優婆塞、優婆*私入，若欲得食者，便可住此，當出食與。」

[T1.631b13] 尼揵親子語曰：「守門人，我不用食，但欲得見優*婆離居士。」

[T1.631b15] 守門人語曰：「願尊住此，我今入白尊者優婆離居士。」

[T1.631b16] 彼守門人即入白曰：「居士，當知尼揵親子與大尼揵眾五百人俱住在門外，作如是語，我欲得見優*婆離居士。」

[T1.631b18] 優*婆離居士告守門人，汝至中門，敷設床座，訖[1]還白我。」

[T1.631b20] 守門人受教，往至中門，敷設床座訖，還白曰居士，當知敷床已訖，唯願居士自當知時。」

[T1.631b22] 優*婆離居士將守門人往至中門。若有床座，極高廣大，極淨好敷，謂優*婆離居士本抱[2]尼揵親子所令坐[3]者，優婆離居士自處其上，結加[4]趺坐，告守門人：「汝出往至尼揵親子所，作如是語，尊人，優*婆離居士言，尊人欲入者，自可隨意。」

[T1.631b27] 彼守門人受教即出，至尼揵親子所，作如是語：「尊人，優*婆離居士言，尊人欲入者，自可隨意。於是，尼揵親子與大尼揵眾五百人俱入至中門。」

[T1.631c02] 優婆離居士遙見尼揵親子與大尼揵眾五百人俱入，而作是語：「尊人，有座，欲坐隨意。」

[T1.631c04] 尼揵親子語曰：「居士，汝應爾耶？自上高座，結*加趺坐，與人共語，如出家者學道無異。」

[T1.631c06] 優*婆離居士語曰：「尊人，我自有物，欲與便與，不與便不與，此座我有。是故我言，有座，欲坐隨意。」

[T1.631c08] 尼揵親子敷座而坐，語曰：「居士，何以故爾，欲降伏沙門瞿曇而反自降伏來，猶如有人求眼入林，而失眼還。如是，居士欲往降伏沙門瞿曇！反為沙門瞿曇所降伏來，猶如有人以渴入池，而反渴還，居士亦然，欲往降伏沙門瞿曇！而反自降伏還，居士，何以故爾。」

---

[1] （設）＋訖【宋】【元】【明】
[2] 抱＝施【宋】【元】【明】
[3] 坐＝座【元】
[4] 加＝跏【宋】【元】【明】【聖】＊

[T1.631c14] 優*婆離居士語曰：「尊人，聽我說喻，慧者聞喻則解其義，尊人，譬一梵志，有年小婦，彼婦懷妊[1]，語其夫曰：『我今懷*妊，君去至市，可為兒買好戲具來。』時，彼梵志語其婦曰：『但令卿得安隱產已，何憂無耶？若生男者，當為卿買男戲具來，若生女者，亦當為買女戲具來。』婦至再三語其夫曰：『我今懷*妊，君去至市，速為兒買好戲具來。』梵志亦至再三語其婦曰：『但令卿得安隱產已，何憂無耶？若生男者，當為卿買男戲具來，若生女者，亦當為買女戲具來。』」

[T1.631c25]「彼梵志者極憐念婦，即便問曰：『卿欲為兒買何戲具，婦報之曰：「君去為兒買獼猴子好戲具來，梵志聞已，往至市中買獼猴子戲具，持還語其婦曰：『我已為兒買獼猴子戲具來還。』其婦見已，嫌色不好，即語夫曰：『君可持此獼猴戲具往至染家，染作黃色，令極可愛，擣使光生。』梵志聞已，即時持此獼猴戲具，往至染家而語之曰：『為我染此獼猴戲具，作好黃色，令極可愛，擣使光生。』爾時，染家便語梵志，獼猴戲具染作黃色，令極可愛，此可爾也。然不可擣使光澤生。於是，染家說此頌曰：『

獼猴忍受色　不能堪忍擣　若擣則命終　終不可椎[2]打
此是臭穢囊　獼猴滿不淨

[T1.632a12]「尊人，當知尼揵所說亦復如是，不能堪忍受他難問，亦不可得思惟觀察，唯但染愚，不染慧也。尊人，復聽，猶如清淨波羅奈衣，主持往至於彼染家，而語之曰：『為染此衣，作極好色，令可愛也。亦為極擣，使光澤生，彼時染家語衣主曰：『此衣可染，作極好色，令可愛也。亦可極擣，使光澤生。於是，染家說此頌曰：『

如波羅奈衣　白淨忍受色　擣已則柔軟　光色增益好

[T1.632a22]「尊人，當知諸如來、無所著、等正覺所說亦復如是，極能堪忍受他難問，亦快可得思惟觀察，唯但染慧，不染愚也。

[T1.632a24]「尼揵親子語曰：『居士為沙門瞿曇幻呪所化。」

[T1.632a25] 優*婆離居士語曰：「尊人，善幻化呪，極善幻化呪，尊人，彼幻化呪令我父母長夜得利饒益，安隱快樂，及其妻子、奴婢、作使、那難陀國王及一切世間[3]，天及魔梵、沙門、梵志，從人至天，令彼長夜得利饒益，安隱快樂。」

---

[1] 妊＝任【聖】＊
[2] 椎＝推【宋】【元】【明】
[3]〔間〕－【宋】【元】【明】【聖】

[T1.632b01] 尼揵親子語曰：「居士，舉那難陀知優婆離居士是尼揵弟子，今者竟為誰弟子耶？」

[T1.632b03] 於是，優*婆離居士即從座[1]起，右膝著地，若方有佛，叉手向彼，語曰：「尊人，聽我所說也[2]。」

雄猛離愚癡　斷穢整[3]降伏　無敵微妙思　學戒禪智慧
安隱無有垢　佛弟子婆*離　大聖修習已　得德說自在
善念妙正觀　不高亦不下　不動常自在　佛弟子婆離
無曲常知足　捨離慳得滿　作沙門成覺　後身尊大士
無比無有塵　佛弟子婆離　無疾不可量　甚深得牟尼
常安隱勇猛　住法微妙思　調御常[4]不戲[5]　佛弟子婆離
大龍樂住高　結盡得解脫　應辯[6]才清淨　慧生離憂慼
不還有釋迦　佛弟子婆離　正去[7]禪思惟　無有嬈清淨
常笑無有恚　樂離得第一　無畏常專精　佛弟子婆離
七仙無與等　三達逮得梵　淨浴如明燈　得息止怨結
勇猛極清淨[8]　佛弟子*婆離　得息慧如地　大慧除世貪
可祠無上眼　上士[9]無與等　御者無有恚　佛弟子*婆離
斷望無上善　善調無比御　無上常[10]歡喜　無疑有光明
斷慢無上覺　佛弟子*婆離　斷愛無比覺　無烟無有[火*僉]
如去為善逝　無比無與[11]等　名稱已逮正　佛弟子*婆離
此是百難[12]佛　本未曾思惟　優*婆離所說　諸天來至彼
善助加諸[13]*辯　如法如其人[14]　尼揵親子問　佛十力弟子

[T1.632c11] 尼揵親子問曰：「居士，汝以何意稱歎沙門瞿曇耶？」

---

[1] 座＝坐【宋】【元】【明】【聖】
[2]〔也〕－【宋】【元】【明】【聖】
[3] 整＝整【聖】
[4] 常＝樂【宋】【元】【明】【聖】
[5] 戲＝穢【聖】
[6] 辯＝辨【聖】＊
[7] 去＝法【明】
[8] 淨＝澄【宋】【元】【明】【聖】
[9] 士＝上【聖】
[10] 上常＝常上【元】【明】
[11] 與＝學【聖】
[12] 難＝歎【宋】【元】【明】【聖】
[13] 諸＝識【宋】【元】【明】【聖】
[14] 人＝父【宋】【元】【明】，＝文【聖】

[T1.632c12] 優婆離居士報曰：「尊[入>人]，聽我說喻，慧者聞喻則解其義，猶善鬘師、鬘師弟子採種種華，以長綖結作種種鬘。如是，尊人，如來、無所著、等正覺有無量稱歎，我之所尊，以故稱歎。」

[T1.632c16] 說此法時，優*婆離居士遠塵離垢，諸法法眼生，尼揵親子即吐熱血，至波[1]恕[2]國，以此惡患，尋便[3]命終。」

[T1.632c18] 佛說如是，優*婆離居士聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.632c20] 優婆離經第十七[4]竟[5](六千二百六十三字)[6]，

中阿*含經卷第三十二[7]

中阿[8]含經

卷第三十三 (Ma.134~135)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯[9]

（一三四）大品

(Ma.134)釋問經[10] 第十八 (第三念誦)[11]

[T1.632c28] 我聞如是。

---

[1] 波＝婆【宋】【元】【明】【聖】
[2] 恕＝和【聖】
[3] 便＝使【宋】【元】【明】
[4]〔優婆…竟〕八字－【明】【聖】
[5] 竟＋（第三念誦）【宋】
[6]〔六千…字〕八字－【宋】【元】【明】【聖】
[7] ＋（光明皇后願文）【聖】＊
[8] 含＝鉿【聖】
[9]〔東…譯〕十三字－【聖】
[10] ～《長部》D. 21. Sakkapañha suttanta. (帝釋所問經)，《長阿含 14 經》釋提桓因問經(大正 1.62b)，No.15.《佛說帝釋所問經》(大正 1.246b)，No.203.《雜寶藏經》卷 6(大正 4.476.)
[11]〔第三念誦〕－【明】【聖】

[T1.632c28] 一時，佛遊摩竭陀國，在王舍城東，奈林[1]村北，鞞陀提[2]山因陀羅石室。

[T1.632c29] 爾時，天王釋聞佛遊摩竭陀國，在王舍城東，奈林村北，鞞陀提山因陀羅石室，時，天王釋告五結樂子：「我聞世尊遊摩竭陀國，在王舍城東，奈林村北，鞞陀提山因陀羅石室，五結，汝來共往見佛。」

[T1.633a05] 五結樂子白曰：「唯然。於是，五結樂子挾琉璃[3]琴從天王釋行，三十三天聞天王釋其意至重，欲往見佛，三十三天亦復侍從天王釋行。於是，天王釋及三十三天、五結樂子猶如力士屈伸[4]臂頃，於三十三天忽沒不現已，住摩竭陀國王舍城東，奈林村北，鞞陀提山，去石室不遠。」

[T1.633a11] 爾時，鞞陀提山光耀[5]極照，明如火[火*僉]，彼山左右居民見之，便作是念：鞞陀提山火燒普然[6]。」

[T1.633a13] 時，天王釋住一處已，告曰：「五結，世尊如是住無事處山林樹下，樂居高巖，寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順燕[7]坐，有大威德，諸天共俱，樂彼遠離，燕坐安隱，快樂遊行，我等未通，不應便前，五結，汝往先通，我等然後當進。」

[T1.633a19] 五結樂子白曰：「唯然。於是，五結樂子受天王釋教已，*挾琉璃琴即先往至因陀羅石室，便作是念：知此處離佛不近不遠，令佛知我，聞我音聲，住彼處已，調*琉璃琴，作欲相應偈、龍相應偈、沙門相應偈、阿羅訶相應偈，而歌頌曰：「

賢禮汝父母　月及耽浮樓[8]　謂生汝殊妙　令我發歡心
煩熱求涼風　渴欲飲冷水　如是我愛汝　猶[9]羅訶愛法
如收水甚難　著欲亦復然　無量生共會　如施與無著
池水清且涼　底有金粟沙[10]　如龍象熱逼　入此池水浴
猶如鉤牽象　我意為汝伏　所行汝不覺　窈窕未得汝
我意極著汝　煩冤燒我心　是故我不樂　如人入虎口
如釋子思禪　常樂在於一　如牟尼得覺　得汝妙淨然

---

[1] 奈林～Ambasaṇḍā.
[2] [>鞞陀提]～Vediyaka.
[3] 挾琉璃＝協流離【聖】＊
[4] 伸＝申【宋】【元】【明】【聖】
[5] 耀＝曜【宋】【元】【明】【聖】
[6] 然＝燃【聖】
[7] 燕＝宴【宋】【元】【明】
[8] 耽浮樓～Timbaru.
[9] 猶＋（如）【聖】
[10] 金粟沙～Kiñjakkha.

如牟尼所樂　無上正盡覺　如是我所樂　常求欲得汝
如病欲得藥　如飢欲得[1]食　賢汝止我心　猶如水滅火
若我所作福　供養諸無著　彼是悉[2]淨妙　我共汝受報
願我共汝終　不離汝獨沽[3]　我寧共汝死　不用相離生
釋為與我願　三十三天尊　汝人無上尊　是我願最堅
是故禮大雄　稽首人最上　斷絕諸愛刺　我禮日之親

[T1.633b22] 於是，世尊從三昧起，讚歎五結樂子曰：「 善哉！善哉！五結，汝歌音與琴聲相應，琴聲與歌音相應，歌音不出琴聲外，琴聲不出歌音外，五結，汝頗憶昔時歌頌此欲相應偈、龍相應偈、沙門相應偈、阿羅訶相應偈耶？」

[T1.633b27] 五結樂子白曰：「世尊！唯大仙人自當知之，大仙人，昔時世尊初得覺道，遊欝鞞羅[4]尼連[5]禪[6]河岸，阿闍恕[7]羅尼拘類[8]樹下，爾時，躭浮樓樂王女，名賢月色[9]，有天名結，摩兜麗御車子，求欲彼女，大仙人，彼當求欲於彼女時，我亦復求欲得彼女，然，大仙人，求彼女時竟不能得，我於爾時住彼女後，便歌頌此欲相應偈、龍相應偈、沙門相應偈、阿羅訶相應偈，大仙人，我歌頌此偈時，彼女迴顧，怡然含笑而語我曰：『五結，我未曾見彼佛世尊！然我已從三十三天聞彼世尊、如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，五結，若汝能數稱歎世尊者，可與汝共事大仙人，我唯一共會，自後不復見 。 』」

[T1.633c12] 於是，天王釋而作是念：「五結樂子已令世尊從定覺起已，通我於善逝。」彼時，天王釋告曰：「五結，汝即往[10]彼，為我稽首佛足，問訊世尊聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？作如是語，大仙人，天王釋稽首佛足，問訊世尊聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？大仙人，天王釋及三十三天欲見世尊！」

[T1.633c20] 五結樂子白曰：「唯然。」

---

[1] 得＝求【宋】【元】【明】【聖】
[2] 悉＝志【宋】【元】【明】
[3] 沽＝活【宋】【元】【明】【聖】
[4] [>欝鞞羅]～Uruvela.
[5] [>尼連禪河]～Nerañjarā.
[6] 禪＝然【宋】【元】【明】【聖】
[7] 恕＝和【聖】＊
[8] [>阿闍恕羅尼拘類]～Ajapālanigrodha.
[9] 賢月色～Bhaddā Suriya.
[10] 往＝任【宋】，＝住【元】【明】【聖】

[T1.633c20] 於是，五結樂子捨*琉璃琴，叉手向佛，白曰：「世尊！唯大仙人，天王釋稽首佛足，問訊世尊聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？大仙人，天王釋及三十三天欲見世尊！」

[T1.633c24] 爾時，世尊告曰：「五結，今[1]天王釋安隱快樂，及諸天、人、阿修羅、揵沓*恕、羅剎及餘種種身安隱快樂，五結，天王釋欲見我者，隨其所欲。」

[T1.633c27] 於是，五結樂子聞佛所說，善受善持，稽首佛足，遶[2]三匝而去，往詣天王釋所，白曰：「天王，我已為白世尊！世尊今待天王，唯願天王自當知時。」

[T1.634a02] 於是，天王釋及三十三天、五結樂子往詣佛所，時，天王釋稽首佛足，再三自稱名姓[3]言：「唯大仙人，我是天王釋，我是天王釋。」

[T1.634a04] 世尊告曰：「如是，如是，拘翼，汝是天王釋。」

[T1.634a05] 時，天王釋再三自稱名*姓，稽首佛足，却住一面，三十三天及五結樂子亦稽首佛足，却住一面，時天王釋白曰：「唯大仙人，我去世尊近遠坐耶？」

[T1.634a09] 世尊告曰：「汝近我坐。所以者何？汝有大天眷屬。」於是，天王釋稽首佛足，却坐一面，三十三天及五結樂子亦稽首佛足，却坐一面，爾時，因陀羅石室忽然廣大。所以者何？佛之威神及諸天威德。

[T1.634a13] 時，天王釋坐已，白曰：「唯大仙人，我於長夜欲見世尊！欲請問法[4]，大仙人，往昔一時世尊遊舍衛國，住石巖中，大仙人，我爾時自為及為三十三天，乘千象車，往至鞞沙門大王家，爾時，鞞沙門大王家有妾，名槃闍那，爾時，世尊入定寂然，彼妾叉手禮世尊足，大仙人，我語彼曰：「妹，我今非往見世尊時，世尊入定，若世尊從定寤[5]者，妹便為我稽首佛足，問訊世尊聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？作如是說，唯大仙人，天王釋稽首佛足，問訊世尊聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？大仙人，彼妹為我稽首佛足，問訊世尊！世尊為憶不耶？」

[T1.634a26] 世尊告曰：「拘翼，彼妹為汝稽首我足，具宣汝意，問訊於我，我亦憶，拘翼，當汝去時，聞此音聲，便從定*寤。」

---

[1] 今＝樂子【宋】【元】【明】，＝令【聖】
[2] 遶＝繞【聖】
[3] 姓＝性【聖】＊
[4] 法＝汝【聖】
[5] 寤＝覺【宋】【元】【明】【聖】＊

[T1.634a28] 「大仙人，昔時我聞[1]，若如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐出於世時，增諸天眾，減[2]阿修羅，大仙人，我自眼見世尊弟子比丘從世尊修習梵行，捨欲離欲，身壞命終，得至善處，生於天中，大仙人，瞿毘[3]釋女是世尊弟子，亦從世尊修習梵行，憎惡是女身，愛樂男形，轉女人身，受[4]男子形，捨欲離欲，身壞命終，得生妙處三十三天，為我作子，彼既生已，諸天悉知，瞿婆[5]天子有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神。」

[T1.634b10]「大仙人，我復見有世尊弟子三比丘等，亦從世尊修習梵行，不捨離欲，身壞命終，生餘下賤伎[6]樂宮中，彼既生已，日日來至三十三天供事諸天，奉侍瞿婆天子，天子見彼已，而說頌曰：『

與眼優婆私[7]　我字名瞿毘　奉敬佛及法　淨意供養眾
我已蒙佛恩　釋子大祐德　妙生三十三　彼知祐天子
見彼本比丘　受生*伎樂神　叉手面前立　瞿婆為說偈
是本瞿曇子　我本為人時　來至到我家　飲食好供養
此[8]本與聖等　行無上梵行　今為他所使　日來奉事天
我本承事汝　聞聖善說法　得信成就戒　妙生三十三
汝本受奉事　行無上梵行　今為他所使　日來奉事天
汝以[9]何為面　受持佛法已　反背不向法　是眼覺善說
我昔見汝等　今生[10]下*伎樂　自行非法行　自生於非法
我本在居家　觀我今勝德　轉女成天子　自在五欲樂
彼訶瞿曇等[11]　厭已歎瞿曇　我今當進行　天子真諦說
二於彼懃[12]行　憶瞿曇法律　知欲有災患　即彼捨離欲
彼為欲結縛　即得捨遠離　如象斷羈鞅[13]　度三十三天
因陀羅天梵　一切皆來集　即彼坐[14]上去　雄猛捨塵欲
帝釋見已厭　勝天天中天　彼本生下賤　度三十三天
厭已妙息言　瞿婆後說曰　人中有佛勝　釋牟尼知欲

---

[1] 聞＝問【宋】【元】
[2] 減＝滅【聖】
[3] [>瞿毘]～Gopikā.
[4] 受＝得【宋】【元】【明】
[5] [>瞿婆]～Gopaka.
[6] 伎＝妓【元】【明】＊
[7] 私＝夷【聖】
[8] 此＝汝【宋】【元】【明】
[9] 汝以＝以汝【宋】【元】【明】
[10] 生＝坐【聖】
[11] 等＝子【宋】【元】【明】【聖】
[12] 懃＝勤【元】【明】
[13] 羈鞅＝羈絆【宋】【元】【明】
[14] 坐＝座【元】【明】

彼子中失念　我訶更復得　於[1]三中之一　則生伎樂中
二成等正道　在天定根樂　汝說如是法　弟子無有惑
度漏斷邪疑　禮佛勝伏根　若彼覺諸法　二得昇[2]進處
彼得*昇進已　生於梵天中　我等知彼法　大仙來至此

[T1.634c26] 爾時，世尊便作是念：「此鬼長夜無有諛[3]諂，亦無欺誑，無幻質直。若有問者，盡欲知故，不欲觸嬈[4]彼之所問亦復如是，我寧可說甚深阿毘曇。」世尊知已，為天王釋說此頌曰：「

於現法樂故　亦為後世樂　拘翼自恣問　隨意之所樂
彼彼之所問　盡當為決斷　世尊已見聽　日[5]天求見義
在摩竭陀國　賢婆娑婆問

[T1.635a07] 於是，天王釋白曰：「世尊！天、人、阿修羅、揵沓恕[6]、羅剎及餘種種身各各有幾結耶？」

[T1.635a08] 世尊聞已，答曰：「拘翼，天、人、阿修羅、揵沓恕、羅剎及餘種種身各各有二結，慳及嫉也。彼各各作是念：令我無杖、無結、無怨、無恚、無諍、無鬪、無苦，安樂遊行，彼雖作是念：然故有杖、有結、有怨、有恚、有諍、有鬪、有苦，無安樂遊行。」

[T1.635a13] 時，天王釋聞已，白曰：「唯然。世尊！唯然，善逝，唯然，大仙人，天、人、阿修羅、揵沓恕、羅剎及餘種種身各各有二結，彼作是念：令我無杖、無結、無怨、無恚、無諍、無鬪、無苦，安樂遊行，彼雖作是念：然故有杖有結、有怨、有恚、有諍、有鬪、有苦，無安樂遊行，唯然。世尊！唯然，善逝，唯然，大仙人，如佛所說法，我悉知之，我斷疑度惑，無有猶豫，聞佛所說故。」

[T1.635a21] 時，天王釋聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.635a22] 復問曰：「大仙人，慳、嫉者，何因何緣，為從何生，由何而有，復何因由無慳、嫉耶？」

[T1.635a24] 世尊聞已，答曰：「拘翼，慳、嫉者，因愛、不愛，緣愛、不愛，從愛、不愛生，由愛、不愛有，若無愛、不愛者，則無慳、嫉也。」

---

[1] 於＝施【聖】
[2] 昇＝升【聖】＊
[3] [諛>諛]＝諭【聖】＊
[4] 嬈＝繞【聖】
[5] 日＝曰【明】
[6] [>揵沓恕]～Gandhabha.

[T1.635a26] 時，天王釋聞已，白曰：「唯然。世尊！唯然，善逝，唯然，大仙人，慳、嫉者，因愛、不愛，緣愛、不愛，從愛、不愛生，由愛、不愛有，若無愛、不愛者，則無慳、嫉也。唯然。世尊！唯然，善逝，唯然，大仙人，如佛所說法，我悉知之，我斷疑度惑，無有猶豫，聞佛所說故。」

[T1.635b03] 時，天王釋聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.635b03] 復問曰：「大仙人，愛、不愛者，何因何緣，為從何生，由何而有，復何因由無愛、不愛耶？」

[T1.635b05] 世尊聞已，答曰：「拘翼，愛、不愛者，因欲緣欲，從欲而生，由欲故有，若無欲者，則無愛、不愛。」

[T1.635b07] 時，天王釋聞已，白曰：「唯然。世尊！唯然，善逝，唯然，大仙人，愛、不愛者，因欲緣欲，從欲而生，由欲故有，若無欲者，則無愛、不愛，唯然。世尊！唯然，善逝，唯然，大仙人，如佛所說法，我悉知之，我斷疑度惑，無有猶豫，聞佛所說故。」

[T1.635b13] 時，天王釋聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.635b13] 復問曰：「大仙人，欲者，何因何緣，為從何生，由何而有，復何因由無有欲耶？」

[T1.635b15] 世尊聞已，答曰：「拘翼，欲者，因念緣念，從念而生，由念故有，若無念者，則無有欲。」

[T1.635b17] 時，天王釋聞已，白曰：「唯然。世尊！唯然，善逝，唯然，大仙人，欲者，因念緣念，從念而生，由念故有，若無念者，則無有欲，唯然。世尊！唯然，善逝，唯然，大仙人，如佛所說法，我悉知之，我斷疑度惑，無有猶豫，聞佛所說故。」

[T1.635b22] 時，天王釋聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.635b23] 復問曰：「大仙人，念者，何因何緣，為從何生，由何而有，復何因由無有念耶？」

[T1.635b24] 世尊聞已，答曰：「拘翼，念者，因思緣思，從思而生，由思故有，若無思者，則無有念，由念故有欲，由欲故有愛、不愛，由愛、不愛故有慳、嫉，由慳、嫉故有刀杖、鬪諍、憎嫉、*諛諂、欺誑、妄言、兩舌，心中生

無量惡不善之法，如是此純[1]大苦陰生，若無思者，則無有念，若無念者，則無有欲，若無欲者，則無愛、不愛，若無愛、不愛者，則無慳、嫉，若無慳、嫉者，則無刀杖、鬪諍、憎[2]嫉、*諛諂、欺誑、妄言、兩舌，心中不生無量惡不善之法，如是此純大苦陰滅。」

[T1.635c05] 時，天王釋聞已，白曰：「唯然。世尊！唯然，善逝，唯然，大仙人，念者，因思緣思，從思而生，由思故有，若無思者，則無有念，由念故有欲，由欲故有愛、不愛，由愛、不愛故有慳、嫉，由慳、嫉故有刀杖、鬪諍、憎嫉、*諛諂、欺誑、妄言、兩舌，心中生無量惡不善之法，如是此純大苦陰生，若無思者，則無有念，若無念者，則無有欲，若無欲者，則無愛、不愛，若無愛、不愛者，則無慳、嫉，若無慳、嫉者，則無刀杖、鬪諍、憎嫉、諛諂、欺誑、妄言、兩舌，心中不生無量惡不善之法，如是此純大苦陰滅，唯然。世尊！唯然，善逝，唯然，大仙人，如佛所說法，我悉知之，我斷疑度惑，無有猶豫，聞佛所說故。」

[T1.635c18] 時，天王釋聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.635c19] 復問曰：「大仙人，何者滅戲道跡，比丘何行趣向滅戲道跡耶？」

[T1.635c20] 世尊聞已，答曰：「拘翼，滅戲道跡者，謂八支[3]聖道，正見，乃至正定為八，拘翼，是謂滅戲道跡，比丘者，行此趣向滅戲道跡。」

[T1.635c23] 時，天王釋聞已，白曰：「唯然。世尊！唯然，善逝，唯然，大仙人，滅戲道跡者，謂八支聖道，正見乃至正定為八，大仙人，是為滅戲道跡，比丘者，行此趣向滅戲道跡，唯然。世尊！唯然，善逝，唯然，大仙人，如佛所說法，我悉知之，我斷疑度惑，無有猶豫，聞佛所說故。」

[T1.635c29] 時，天王釋聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.636a01] 復問曰：「大仙人，比丘者，趣向滅戲道跡，斷幾法，行幾法耶？」

[T1.636a02] 世尊聞已，答曰：「拘翼，比丘者，趣向滅戲道跡，斷三法，修行三法。云何為三？一曰念，二曰言，三曰求，拘翼，念者，我說有二種，可行、不可行，若念不可行者，我即斷彼，若念可行者，我為彼知時，有念有智，為成就彼念故，言亦如是，拘翼，求者，我說亦有二種，可行、不可行，若求不可行者，我即斷彼，若求可行者，我為彼知時，有念有智，成就彼求故。」

---

[1] 純＝結【元】
[2] 憎＝慳【元】【明】
[3] 支＝枝【聖】

[T1.636a10] 時，天王釋聞已，白曰：「唯然。世尊！唯然，善逝，唯然，大仙人，比丘者，趣向滅戲道跡，斷三法，修行三法。云何為三？一曰念，二曰言，三曰求，大仙人說念有二種，可行，不可行，若念增長惡不善法，減[1]損善法者，大仙人便斷彼，若念減損惡不善法，增長善法者，大仙人為彼知時，有念有智，成就彼念故，言亦如是，大仙人說求亦有二種，可行、不可行，若求增長惡不善法，減損善法者，大仙人便斷彼，若求減損惡不善法，增長善法者，大仙人為彼知時，有念有智，成就彼求故，唯然。世尊！唯然，善逝，唯然，大仙人，如佛所說法，我悉知之，我斷疑度惑，無有猶豫，聞佛所說故。」

[T1.636a23] 時，天王釋聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.636a24] 復問曰：「大仙人，比丘者，趣向滅戲道跡有幾法，護從解脫行幾法耶？」

[T1.636a26] 世尊聞已，答曰[2]：「拘翼，比丘者，趣向滅戲道跡有六法，護從解脫行六法也。云何為六？眼視色，耳聞聲，鼻嗅香，舌嘗味，身覺觸，意知法，拘翼，眼視色者，我說有二種，可行、不可行，若眼視色不可行者，我即斷彼，若眼視色可行者，我為彼知時，有念有智，成就彼故，如是耳聞聲、鼻嗅香、舌嘗味、身覺觸、意知法者，我說亦有二種，可行、不可行，若意知法不可行者，我即斷彼，若意知法可行者，我為彼知時，有念有智，成就彼故。」

[T1.636b07] 時，天王釋聞已，白曰：「唯然。世尊！唯然，善逝，唯然，大仙人，比丘者，趣向滅戲道跡者有六法，護從解脫行六法。云何為六？眼視色，耳聞聲，鼻嗅香，舌嘗味，身覺觸，意知法，大仙人說眼視色者，有二種，可行、不可行，若眼視色增長惡不善法，[滅>減]損善法者，大仙人即斷彼，若眼視色減損惡不善法，增長善法者，大仙人為彼知時，有念有智[3]，成就彼故，如是耳聞聲、鼻嗅香、舌嘗味、身覺觸，大仙人說意知法者，亦有二種，可行、不可行，若意知法增長惡不善法，減損善法者，大仙人即斷彼，若意知法減損惡不善法，增長善法者，大仙人為彼知時，有念有智，成就彼故，唯然。世尊！唯然，善逝，唯然，大仙人，如佛所說法，我悉知之，我斷疑度惑，無有猶豫，聞佛所說故。」

[T1.636b22] 時，天王釋聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.636b23] 復問曰：「大仙人，比丘者，趣向滅戲道跡，命存一時頃，復斷幾法，行幾法耶？」

---

[1] 減＝滅【聖】
[2]〔曰〕－【聖】
[3] 智＝知【聖】

[T1.636b25] 世尊聞已，答曰：「拘翼，比丘者，趣向滅戲道跡，命存一時頃，復斷三法，行三法。云何為三？一曰喜，二曰憂，三曰捨，拘翼，喜者，我說有二種，可行、不可行，若喜不可行者，我即斷彼，若喜可行者，我為彼知時，有念有智，成就彼故，憂亦如是，拘翼，捨者，我說亦有二種，可行、不可行，若捨不可行者，我即斷彼，若捨可行者，我為彼知時，有念有智，成就彼故。」

[T1.636c04] 時，天王釋聞已，白曰：「唯然。世尊！唯然，善逝，唯然，大仙人，比丘者，趣向滅戲道跡，命存一時頃，斷三法，行三法。云何為三？一曰喜，二曰憂，三曰捨，大仙人說喜者，有二種，可行、不可行，若喜增長惡不善法，減損善法者，大仙人即斷彼，若喜減損惡不善法，增長善法者，大仙人為彼知時，有念有智，成就彼故，憂亦如是，大仙人說捨者，亦有二種，可行、不可行，若捨增長惡不善法，減損善法者，大仙人即斷彼，若捨減損惡不善法，增長善法者，大仙人為彼知時，有念有智，成就彼故，唯然。世尊！唯然，善逝，唯然，大仙人，如佛所說法，我悉知之，我斷疑度惑，無有猶豫，聞佛所說故。」

[T1.636c17] 時，天王釋聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.636c18] 復問曰：「大仙人，一切沙門、梵志同一說、一欲、一愛、一樂、一意耶？」

[T1.636c19] 世尊聞已，答曰：「拘翼，一切沙門、梵志不同一[1]說、一欲[2]、一愛、一樂、一意也。」

[T1.636c21] 時，天王釋復問曰：「大仙人，一切沙門、梵志以何等故，不同一說、一欲、一愛、一樂、一意耶？」

[T1.636c23] 世尊聞已，答曰：「拘翼，此世有若干種界，有無量界，彼隨所知界，即彼界隨其力，隨其方便，一向說此為真諦，餘者虛妄，拘翼。是故一切沙門、梵志不同一說、一欲、一愛、一樂、一意耳。」

[T1.636c27] 時，天王釋聞已，白曰：「唯然。世尊！唯然，善逝，唯然，大仙人，此世有若干種界，有無量界，彼隨[3]所知界，即彼界隨其力，隨其方便，一向說此為真諦，餘者虛妄，大仙人，以是故，一切沙門、梵志不同一說、一欲、一愛、一樂、一意耳，唯然。世尊！唯然，善逝，唯然，大仙人，如佛所說法，我悉知之，我斷疑度惑，無有猶豫，聞佛所說故。」

---

[1]〔一〕－【宋】【元】
[2]〔一欲〕－【聖】
[3] 彼隨＝隨彼【宋】【元】【明】

[T1.637a06] 時，天王釋聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.637a06] 復問曰：「大仙人，一切沙門、梵志得至究竟，究竟白淨、究竟梵行、究竟梵行訖耶？」

[T1.637a08] 世尊聞已，答曰：「拘翼，不必一切沙門、梵志得至究竟，究竟白淨、究竟梵行、究竟梵行訖。」

[T1.637a10] 時，天王釋復問曰：「大仙人，以何等故，不必一切沙門、梵志得至究竟，究竟白淨、究竟梵行、究竟梵行訖耶？」

[T1.637a13] 世尊聞已，答曰：「拘翼。若有沙門、梵志於無上愛盡，不正善心解脫者，彼不至究竟，不究竟白淨，不究竟梵行，不究竟梵行訖，拘翼。若有沙門、梵志於無上愛盡，正善心解脫者，彼至究竟、究竟白淨、究竟梵行、究竟梵行訖。」

[T1.637a18] 時，天王釋聞已，白曰：「唯然。世尊！唯然，善逝，唯然，大仙人。若有沙門、梵志於無上愛盡，不正善心解脫者，彼不至究竟，不究竟白淨，不究竟梵行，不究竟梵行訖，大仙人。若有沙門、梵志，於無上愛盡，正善心解脫者，彼至究竟，究竟白淨、究竟梵行、究竟梵行訖，唯然。世尊！唯然，善逝，唯然，大仙人，如佛所說法，我悉知之，我斷疑度惑，無有猶豫，聞佛所說故。」

[T1.637a26] 時，天王釋聞佛所說，善受善持，白曰：「大仙人，我於長夜有疑惑刺，世尊今日而拔出之。所以者何？謂如來、無所著、等正覺故。」

[T1.637a29] 世尊問曰：「拘翼，汝頗憶昔時曾問餘沙門、梵志如此事耶？」

[T1.637b02] 時，天王釋答曰：「世尊！唯大仙人自當知之，大仙人，三十三天集在法堂，各懷愁慼，數數[1]歎說，我等若值如來、無所著，等正覺者，必當往見，大仙人，然我等不得值如來、無所著、等正覺已，便行具足五欲功德，大仙人，我等放逸，行放逸已，大威德天子於極妙處，即便命終，大仙人，我見大威德天子於極妙處，即命終時，便生極厭，身毛皆豎，莫令我於此處速命終。」

[T1.637b10]「大仙人，我因此厭、因此憂慼故，若見餘沙門、梵志在無事處山林樹下，樂居高巖，寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順燕[2]坐，彼樂遠離，*燕坐安隱，快樂遊行，我見彼已，便謂是如來、無所著、等正覺，即往奉見，

[1]〔數〕－【聖】
[2] 燕＝宴【宋】＊【元】＊【明】＊

彼不識我，而問我言，汝為是誰，我時答彼，大仙人，我是天王釋，大仙人，我是天王釋，彼復問我，我曾見釋，亦見釋種姓，以何等故名為釋，以何等故為釋種姓，我便答彼，大仙人。若有來問我事者，我便隨所能、隨其力而答彼。是故我名為釋，彼作是說，我等若隨其事以問釋者，釋亦隨其事答我，彼問我事，我不問彼，彼歸命我，我不歸命彼，大仙人，從彼沙門、梵志竟不得威儀法教，況復得如是問耶？」

[T1.637b24] 時，天王釋而說頌曰：「

釋往釋往已　釋今作是說　遠離意所念　除疑諸猶豫
久遠行於世　推求索如來　見沙門梵志　在遠離*燕坐
謂是正盡覺　往奉敬禮事　云何得*昇進　如是我問彼
問已不能知　聖道及道跡　世尊今為我　若意有所疑
所念及所思　其意之所行　知心隱及現　明[1]者為我說
尊佛尊為師　尊無著牟尼　尊斷諸結使　自度度眾生
覺者第一覺　御者最上御　息者尊妙息　大仙自度度
故我禮天尊[2]　稽首人最上　斷絕諸愛刺　我禮日之親

[T1.637c13] 於是，世尊問曰：「拘翼，汝頗憶昔時，得如是離，得如是歡喜，謂於我得法喜耶？」

[T1.637c14] 時，天王釋答曰：「世尊！唯大仙人自當知之，大仙人，昔一時天及阿修[3]羅而共鬪戰，大仙人，天及阿*修羅共鬪戰時，我作是念：令天得勝破阿修羅，諸天食及阿*修羅食，盡令三十三天食，大仙人，天及阿修羅共鬪戰時，天便得勝，破阿*修羅，諸天食及阿*修羅食，盡令三十三天食，大仙人，爾時有離有喜，雜[4]刀杖、結怨、鬪諍、憎嫉，不得神通，不得覺道，不得涅槃，大仙人，今日得離得喜，不*雜刀杖、結怨、鬪諍、憎嫉，得通得覺，亦得涅槃。」

[T1.637c24] 世尊問曰：「拘翼，汝何因得離得喜[5]，謂於我得法喜耶？」

[T1.637c26] 時，天王釋答曰：「大仙人，我作是念：我於此命終，生於人間，彼若有族，極大富樂，資財無量，畜牧、產業不可稱計，封戶、食邑種種具足，謂剎利長者族、梵志長者族、居士長者族及餘族，極大富樂，資財無量，畜牧、產業不可稱計，封戶、食邑種種具足，生如是族已，成就諸根，如來所

---

[1] 明＝眼【宋】
[2] 天尊＝大雄【宋】【元】【明】【聖】
[3] 修＝脩【元】【明】＊
[4] 雜＝離【聖】＊
[5] 喜＝菩【宋】

說法、律有得信者，得信已，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，學智，學智[1]已，若得智者，便得究竟智，得究竟邊，學*智，學*智已，若得智、不得究竟智者。若有諸天，有大福祐，色像巍巍，光耀煒燁[2]極有威[3]力，安隱快樂，長住宮殿，生於最上，我生彼中。」

[T1.638a09] 於是，天王釋而說[4]頌曰：「

捨離於天身　來下生人間　不愚癡入胎　隨我意所樂
得身具足已　逮質直正道　行具足梵行　常樂於乞食

[T1.638a15]「學智，學智已，若得智者，便得究竟智，得究竟邊，學智，學智已，若得智、不得究竟智者，當作最上妙天[5]，諸天聞名，色究竟天，往生彼中，大仙人，願當得阿那含[6]，大仙人，我今定得須陀洹。」

[T1.638a19] 世尊問曰：「拘翼，汝何因得此極好、極高、極廣差降，而自稱說得須陀洹耶？」

[T1.638a21] 時，天王釋以偈答曰：「

不更有餘尊　唯世尊境界　得最上差降　未曾有此處
大仙我此坐　即於此天身　我更得增壽　如是自眼見

[T1.638a26] 說此法時，天王釋遠塵離垢，諸法法眼生，及八萬諸天亦遠塵離垢，諸法法眼生。於是，天王釋見法得法，覺白淨法，斷疑度惑，更無餘尊，不復從他，無有猶豫[7]，已住果證，於世尊法得無所畏，即從坐[8]起，稽首佛足，白曰：「世尊！我今自歸佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.638b04] 於是，天王釋稱歎五結樂子曰：「 善哉！善哉！汝五結大益於我。所以者何？由汝故，佛從定*寤，以汝先使世尊從定*寤故，令我等後得見佛，五結，我從此歸，以躭[9]浮樓*伎樂王女賢月色嫁與汝作婦，及其父樂王本國拜與汝作*伎樂王。」

---

[1] 智＝知【聖】＊
[2] 耀煒燁＝曜暐曄【宋】【元】【明】【聖】＊
[3] 威＝盛【宋】【元】【明】【聖】
[4] 而說＝說此【宋】【元】【明】【聖】
[5] 妙天＝天妙【宋】
[6] 含＝鈴【聖】
[7] 豫＝預【宋】【元】
[8] 坐＝座【元】【明】
[9] 躭＝耽【明】

[T1.638b10] 於是，天王釋告三十三天曰：「汝等共來，若我等本為梵天王[1]，住梵天上，再三恭敬禮事者，彼今盡為世尊恭敬禮事。所以者何？世尊梵天，梵天當造化最尊生眾生眾生[2]有及當有彼所，可知盡知，可見盡見。」

[T1.638b14] 於是，天王釋及三十三天、五結樂子若本為梵天，住梵天上，再三恭敬禮事者，彼盡為世尊恭敬禮事，稽首如來、無所著、等正覺。於是，天王釋及三十三天、五結樂子再[3]為世尊恭敬禮事，稽首佛足，遶[4]三匝已，即於彼處忽沒不現。

[T1.638b20] 爾時，梵天色像巍巍，光*耀煒燁，夜將向旦，往詣佛所，稽首佛足，却住一面，即時以偈白世尊曰：「

為多饒益義　　見利義曰天　賢住摩竭國　　婆娑婆問事

[T1.638b25]「大仙人說此法時，天王釋遠塵離垢，諸法法眼生，及八萬諸天亦遠塵離[5]垢，諸法法眼生。」於是，世尊告梵天曰：「如是，如是，梵[6]天所說。」

為多饒益義　　見利義曰天　賢住摩竭國　　婆娑婆問事

[T1.638c01]「梵天，我說法時，天王釋遠塵離垢，諸法法眼生，及八萬諸天亦遠塵離垢，諸法法眼生。」

[T1.638c02] 佛說如是，時，天王釋及三十三天、五結樂子并大梵天聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.638c05] 釋問經第十八竟[7](七千三百六十八字)[8]，

（一三五）中阿含[9]大品

---

[1] 天王＝志天【聖】，〔王〕－【宋】【元】【明】
[2] 〔眾生〕－【宋】【元】【明】【聖】
[3] 再＋（三）【宋】【元】【明】【聖】
[4] 遶＝繞【聖】
[5] 〔離〕－【聖】
[6] （如）＋梵【宋】【元】【明】【聖】
[7] 〔釋問…竟〕七字－【明】
[8] 〔七千…字〕八字－【宋】【元】【明】【聖】
[9] 〔中阿含〕－【明】

(Ma.135)善生經[1] 第十九(第三念誦)[2]

[T1.638c08] 我聞如是。

[T1.638c08] 一時，佛遊王舍城，在饒蝦蟆林。

[T1.638c09] 爾時，善生居士子，父臨終時，因六方故，遺勅其子，善教善訶曰：「善生，我命終後，汝當叉手向六方禮，東方若有眾生者，我盡恭敬、供養、禮事彼，我盡恭敬、供養、禮事彼已，彼亦當恭敬、供養、禮事我，如是南方、西方、北方、下方、上方。若有眾生者，我盡恭敬、供養、禮事彼，我盡恭敬、供養、禮事彼已，彼亦當恭敬、供養、禮事我。」

[T1.638c16] 善生居士子聞父教已，白父曰：「唯，當如尊勅。」

[T1.638c17] 於是，善生居士子，父命終後，平旦沐浴，著新氎磨[3]衣，手執生拘舍葉，往至水邊，叉手向六方禮：「東方若有眾生者，我盡恭敬、供養、禮事彼，我盡恭敬、供養、禮事彼已，彼亦當恭敬、供養、禮事我，如是南方、西方、北方、下方、上方。若有眾生者，我盡恭敬、供養、禮事彼，我盡恭敬、供養、禮事彼已，彼亦當恭敬、供養、禮事我。」

[T1.638c24] 彼時，世尊過夜平旦，著衣持鉢，入王舍城而行乞食，世尊入王舍城乞食時，遙見善生居士子平旦沐浴，著新氎*磨衣，手執生拘舍葉，往至水邊，叉手向六方禮，東方若有眾生者，我盡恭敬、供養、禮事彼，我盡恭敬、供養、禮事彼已，彼亦當恭敬、供養、禮事我，如是南方、西方、北方、下方、上方。若有眾生者，我盡恭敬、供養、禮事彼，我盡恭敬、供養、禮事彼已，彼亦當恭敬、供養、禮事我。

[T1.639a04] 世尊見已，往至善生居士子所，問曰：「居士子，受何沙門、梵志教，教汝恭敬、供養、禮事，平旦沐浴，著新氎*磨衣，手執生拘舍葉，往至水邊，叉手向六方禮，東方若有眾生者，我盡恭敬、供養、禮事彼，我盡恭敬、供養、禮事彼已，彼亦當恭敬、供養、禮事我，如是南方、西方、北方、下方、上方。若有眾生者，我盡恭敬、供養、禮事彼，我盡恭敬、供養、禮事彼已，彼亦當恭敬、供養、禮事我耶？」

---

[1] ～《長部》D. 31. Siṅgālovāda-suttanta. (教授尸迦羅越經)，《長阿含 16 經》善生經(大正 1.70a)，No.16.《佛說尸迦羅越六方禮經》(大正 1.250c)，No.17.《佛說善生子經》(大正 1.252b)

[2] 〔第三念誦〕－【明】

[3] 磨＝摩【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.639a13] 善生居士子答曰：「世尊！我不受餘沙門、梵志教也。世尊！我父臨命終時，因六方故，遺勅於我，善教善訶曰：「善生，我命終後，汝當叉手向六方禮，東方若有眾生者，我盡恭敬、供養、禮事彼，我盡恭敬、供養、禮事彼已，彼亦當恭敬、供養、禮事我，如是南方、西方、北方、下方、上方。若有眾生者，我盡恭敬、供養、禮事彼，我盡恭敬、供養、禮事彼已，彼亦當恭敬、供養、禮事我。世尊！我受父遺教，恭敬、供養、禮事故，平旦沐浴，著新芻*磨衣，手執生拘舍葉，往至水邊，叉手向六方禮，東方若有眾生者，我盡恭敬、供養、禮事彼，我盡恭敬，供養、禮事彼已，彼亦當恭敬、供養、禮事我，如是南方、西方、北方、下方、上方。若有眾生者，我盡恭敬、供養、禮事[1]彼，我盡恭敬、供養、禮事彼已，彼亦當恭敬、供養、禮事我。」

[T1.639a28] 世尊聞已，告曰：「居士子，我說有六方，不說無也。居士子。若有人善別六方，離四方惡不善業垢，彼於現法可敬可重，身壞命終，必至善處，上生天中，居士子，眾生有四種業、四種穢。云何為四？居士子，殺生者，是眾生業種、穢種，不與取、邪婬[2]、妄言者，是眾生業種、穢種。」於是，世尊說此頌曰：「

殺生不與取　　邪*婬犯他妻　所言不真實　　慧者不稱譽

[T1.639b09]「居士子，人因四事故，便得多罪。云何為四？行欲、行恚、行怖、行癡。」於是，世尊說此頌曰：「

欲恚怖及癡　　行惡非法行　彼必滅名稱　　如月向盡沒

[T1.639b13]「居士子，人因四事故，便得多福。云何為四？不行欲、不行恚、不行怖、不行癡。」於是，世尊說此頌曰：「

斷欲無恚怖　　無癡行法行　彼名稱普聞　　如月漸盛滿

[T1.639b18]「居士子，求財物者，當知有六非道。云何為六？一曰種種戲求財物者為非道，二曰非時行求財物者為非道，三曰飲酒放逸求財物者為非道，四曰親近惡知識求財物者為非道，五曰常喜妓[3]樂求財物者為非道，六曰懶惰[4]求財物者為非道。」

[T1.639b23]「居士子，若人種種戲者，當知有六災患。云何為六？一者負則生怨，二者失則生恥，三者負則眠不安，四者令怨家懷喜，五者使宗親懷憂，六

---

[1]〔事〕－【聖】
[2] 婬＝淫【聖】＊
[3] 妓＝伎【聖】
[4] 懶惰＝事墮【聖】

者在眾所說人不信用，居士子，人博戲者，不經營作事，作事不營，則功業不成，未得財物，則不能得，本有財物，便轉消耗。」

[T1.639b29]「居士子，人非時行者，當知有六災患。云何為六？一者不自護，二者不護財物，三者不護妻子，四者為人所疑，五者多生苦患，六者為人所謗，居士子，人非時行者，不經營作事，作事不營，則功業不成，未得財物，則不能得，本有財物，便轉消耗。」

[T1.639c06]「居士子，若人飲酒放逸者，當知有六災患，一者現財物失，二者多有疾患，三者增諸鬪諍，四者隱藏發露，五者不稱不護，六者滅慧生癡，居士子，人飲酒放逸者，不經營作事，作事不營，則功業不成，未得財物，則不能得，本有財物，便轉消耗。」

[T1.639c12]「居士子，若人親近惡知識者，當知有六災患。云何為六？一者親近賊，二者親近欺誑，三者親近狂醉，四者親近放恣，五者逐會嬉戲，六者以此為親友，以此為伴侶，居士子，若人親近惡知識者，不經營作事，作事不營，則功業不成，未得財物，則不能得，本有財物，便轉消耗。」

[T1.639c18]「居士子，若人憙[1]*伎樂者，當知有六災患。云何為六？一者*憙聞歌，二者*憙見舞，三者*憙往作樂，四者*憙見弄鈴，五者憙拍兩手，六者憙大聚會，居士子，若人*憙*伎樂者，不經營作事，作事不營，則功業不成，未得財物，則不能得，本有財物，便轉消耗。」

[T1.639c24]「居士子。若有懶[2]惰者，當知有六災患。云何為六？一者大早不作業，二者大晚不作業，三者大寒不作業，四者大熱不作業，五者大飽不作業，六者大飢不作業，居士子，若人懶惰者不經營作事，作事不營則功業不成，未得財物則不能得，本有財物便轉消耗。」於是世尊說此頌曰：「

種種戲逐色	嗜酒*憙作樂	親近惡知識	*懶惰不作業
放[3]恣不自護	此處壞敗人	行來不防護	邪*婬犯他妻
心中常結怨	求願無有利	飲酒念女色	此處壞敗人
重作不善行	佷[4]戾不受教	罵沙門梵志	顛倒有邪見
凶[5]暴行黑業	此處壞敗人	自乏無財物	飲酒失衣被
負債[6]如涌泉	彼必壞門族	數往至酒鑪	親近惡朋友

---

[1] 憙＝喜【聖】＊
[2] 懶＝嬾【聖】＊
[3] 放＝於【元】【明】
[4] 佷＝很【宋】【元】【明】
[5] 凶＝兇【元】【明】
[6] 債＝責【聖】[>＊]

應得財不得　是伴黨為樂　多有惡朋友　常隨不善伴
今世及後世　二俱得敗壞　人習惡轉減　習善轉興盛
習勝者轉增　是故當習勝　習*昇則得*昇　常逮[1]智慧*昇
轉獲清淨戒　及與微妙上[2]　晝則喜[3]眠[4]臥　夜則好遊行
放逸常飲酒　居家不[5]得成　大寒及大熱　謂有*懶惰人
至竟不成業　終不獲財利　若寒及大熱　不計猶如草
若人作是業　彼終不失樂

[T1.640a27]「居士子，有四不親而似親。云何為四？一者知事非親似[6]如親，二者面前愛言非親似如親，三者言語非親似如親，四者惡趣伴非親似如親，[>居]士子，因四事故，知事非親似如親。云何為四？一者以知事奪財，二者以少取多，三者或以恐怖，四者或為利狎習。」於是世尊說此頌曰：「

人以知為事　言語至柔軟　怖為利狎習　知非親如親
常當遠離彼　如道有恐怖

[T1.640b08]「居士子，因四事故，面前愛言非親似如親。云何為四？一者制妙事，二者教作惡，三者面前稱譽，四者背說其惡。」於是世尊說此頌曰：「

若制妙善法　教作惡不善　對面前稱譽　背後說其惡
若知妙及惡　亦復覺二說　是親不可親　知彼人如是
常當遠離彼　如道有恐怖

[T1.640b17]「居士子，因四事故言語非親似如親。云何為四？一者認過去事，二者必辯當來事，三者虛不真說，四者現事必滅，我當作不作認說。」於是世尊說此頌曰：「

認過及未來　虛論現滅事　當作不作說　知非親如親
常當遠離彼　如道有恐怖

[T1.640b24]「居士子，因四事故，惡趣伴非親似如親。云何為四？一者教種種戲，二者教非時行，三者教令飲酒，四者教親近惡知識。」於是世尊說此頌曰：「

---

[1] 逮＝逐【聖】
[2] 上＝止【宋】【元】【明】【聖】
[3] 喜＝憙【聖】
[4] 眠＝睡【宋】【元】【明】
[5] 不＝安【宋】【元】【明】【聖】
[6] 似＝以【宋】【元】

教若干種戲　　飲酒犯他妻　習下不習勝　　彼滅如月盡
常當遠離彼　　如道有恐怖

[T1.640c02]「居士子，善親當知有四種。云何為四？一者同苦樂，當知是善親，二者愍念，當知是善親，三者求利，當知是善親，四者饒益，當知是善親，居士子，因四事故同苦樂，當知是善親。云何為四？一者為彼捨己，二者為彼捨財，三者為彼捨妻子，四者所說堪忍。」於是世尊說此頌曰：「

捨欲財妻子　　所說能堪忍　知親同苦樂　　慧者當狎習

[T1.640c11]「居士子，因四事故愍念，當知是善親。云何為四？一者教妙法，二者制惡法，三者面前稱說，四者却怨家。」於是世尊說此頌曰：「

教妙善制惡　　面稱却怨家　知善親愍念　　慧者當狎習

[T1.640c16]「居士子，因四事故求利，當知是善親。云何為四？一者密事發露，二者密不覆藏，三者得利為喜，四者不得利不憂。」於是世尊說此頌曰：「

密事露不藏　　利喜無不憂　知善親求利　　慧者當狎習

[T1.640c22]「居士子，因四事故饒益，當知是善親。云何為四？一者知財物盡，二者知財物盡已便給與物，三者見放逸教訶，四者常以愍念。」於是世尊說此頌曰：「

知財盡與物　　放逸教愍念　知善親饒益　　慧者當狎習

[T1.640c28]「居士子，聖法律中有六方，東方、南方、西方、北方、下方、上方，居士子，如東方者，如是子觀父母，子當以五事奉敬供養父母。云何為五？一者增益財物，二者備辦眾事，三者所欲則奉，四者自恣不違，五者所有私物盡以奉上，子以此五事奉敬供養父母，父母亦以五事善念其子。云何為五？一者愛念兒子，二者供給無乏，三者令子不負*債，四者婚娶稱可，五者父母可意所有財物盡以付子，父母以此五事善念其子，居士子，如是東方二俱分別，居士子，聖法律中東方者，謂子父母也。居士子，若[1]慈孝父母者，必有增益則無衰耗。」

[T1.641a11]「居士子，如南方者，如是弟子觀師，弟子當以五事恭敬供養於師。云何為五？一者善恭順，二者善承事，三者速*起，四者所作業善，五者能奉敬師，弟子以此五事恭敬供養於師，師亦以五事善念弟子。云何為五？一者教技[2]

[1] 若＋（人）【宋】【元】【明】
[2] 技＝伎【宋】【聖】＊

術，二者速教，三者盡教所知，四者安處善方，五者付囑善知識，師以此五事善念弟子，居士子，如是南方二俱分別，居士子，聖法律中南方者，謂弟子師也。居士子，若人慈順於師者，必有增益則無衰耗。」

[T1.641a21]「居士子，如西方者，如是夫觀妻子，夫當以五事愛敬供給妻子。云何為五？一者憐念妻子，二者不輕慢，三者為作瓔珞嚴具，四者於家中得自在，五者念妻親親，夫以此五事愛敬供給妻子，妻子當以十三事善敬順夫。云何十三，一者重愛敬夫，二者重供養夫，三者善念其夫，四者攝持作業，五者善攝眷屬，六者前以瞻侍[1]，七者後以愛行，八者言以誠實，九者不禁制門，十者見來讚善，十一者敷設床待，十二者施設淨美豐饒飲食，十三者供養沙門梵志，妻子以此十三事善敬順夫，居士子，如是西方二俱分別，居士子，聖法律中西方者，謂夫妻子也。居士子，若人慈愍妻子者，必有增益則無衰耗。」

[T1.641b06]「居士子，如北方者，如是大家觀奴婢使人，大家當以五事愍念給恤奴婢使人。云何為五？一者隨其力而作業，二者隨時食之，三者隨時飲之，四者及日休息，五者病給湯藥，大家以此五事愍念給恤奴婢使人，奴婢使人當以九事善奉大家。云何為九？一者隨時作業，二者專心作業，三者一切作業，四者前以瞻*侍，五者後以愛行，六者言以誠實，七者急時不遠離，八者行他方時則便讚歎，九者稱大家庶幾，奴婢使人以此九事善奉大家，居士子，如是北方二俱分別，居士子，聖法律中北方者，謂大家奴婢使人也。居士子。若有人慈愍奴婢使人者，必有增益則無衰耗。」

[T1.641b20]「居士子，如下方者，如是親友觀親友臣，親友當以五事愛敬供給親友臣。云何為五？一者愛敬，二者不輕慢，三者不欺誑，四者施與珍寶，五者拯[2]念親友臣，親友以此五事愛敬供給親友臣，親友臣亦以五事善念親友。云何為五？一者知財物盡，二者知財物盡已[3]供給財物，三者見放逸教訶，四者愛念，五者急時可歸依，親友臣以此五事善念親友，居士子，如是下方二俱分別，居士子，聖法律中下方者，謂親友親友臣也。居士子，若人慈愍親友臣者，必有增益則無衰耗。」

[T1.641c02]「居士子，如上方者，如是施主觀沙門梵志，施主當以五事尊敬供養沙門梵志。云何為五？一者不禁制門，二者見來讚善，三者敷設床待[4]，四者施設淨美豐饒飲食，五者擁護如法，施主以此五事尊敬供養沙門梵志，沙門梵志亦以五事善念施主。云何為五？一者教信行信念信，二者教禁戒，三者教博聞，四者教布施，五者教慧行慧立慧，沙門梵志以此五事善念施主，居士子，

---

[1] 侍＝待【聖】＊
[2] 拯＝極【宋】【元】【明】
[3] 已＝以【聖】
[4] 待＝侍【聖】

如是上方二俱分別，居士子，聖法律中上方者，謂施主沙門梵志也。居士子，若人尊奉沙門梵志者，必有增益則無衰耗。」

[T1.641c13] 居士子，有四攝事。云何為四？一者惠施，二者愛言，三者行利，四者等利。」於是世尊說此頌曰：「

惠施及愛言　常為他行利　眾生等同利　名稱普遠至
此則攝持世　猶如御車人　若無攝持者　母不因其子
得供養恭敬　父因子亦然　若有此法攝　故得大福祐
照遠猶[1]日光　速利翻捷疾　不麤說聰明　如是得名稱
定獲無功[2]高　速利翻捷疾　成就信尸賴　如是得名稱
常起不*懶惰　憙[3]施人飲食　將去調御正　如是得名稱
親友臣同恤　愛樂有齊限　謂攝在親中　殊妙如師子
初當學*技術　於後求財物　後求財物已　分別作四分
一分作飲食　一分作田業　一分舉藏置　急時赴所須
耕[4]作商人給　一分出息利　第五為取婦　第六作屋宅
家若具六事　不增快得樂　彼必饒錢財　如海中水流
彼如是求財　猶如蜂採花[5]　長夜求錢財　當自受快樂
出財莫令遠　亦勿令普漫　不可以財與　兇暴及豪強
東方為父母　南方為師尊　西方為妻子　北方為奴婢[6]
下方親友臣　上沙門梵志　願禮此諸方　二俱得大稱
禮此諸方已　施主得生天

[T1.642a19] 佛說如是，善生居士子聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.642a21] 善生經第十九竟[7](四千二百五十五字)[8]，

中阿含經卷第三十[9]三[10](萬一千六百二十三字)[11]

---

[1] 猶＝於【元】【明】
[2] 獲無功＝護無貢【宋】【元】【明】，獲＝護【聖】
[3] 憙＝善【聖】
[4] 耕＝[米*并]【宋】，＝[禾*并]【元】【明】，＝[禾*并]【聖】
[5] 花＝華【聖】
[6] 為奴婢＝奴婢使【宋】【元】【明】
[7]〔善生…竟〕七字－【明】
[8]〔(四千二百五十五字)〕八字－【宋】【元】【明】，＝第三念誦【聖】
[9] 三＋（第三念誦）【宋】【元】
[10]〔萬一千…字〕九字－【宋】【元】【明】【聖】
[11] ＋（光明皇后願文）【聖】

中阿含經

卷第三十四 (Ma.136~141)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（一三六）大品

(Ma.136)商人求財經[1] 第二十 (第三念誦)[2]

[T1.642a29] 我聞如是。

[T1.642a29] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.642b01] 爾時，世尊告諸比丘：「乃往昔時，閻浮洲中諸商人等皆共集會在賈客堂，而作是念：『我等寧可乘海裝船，入大海中取財寶來，以供家用。』復作是念：『諸賢入海不可豫知安隱、不安隱，我等寧可各各備辦浮海之具，謂羖羊皮囊、大瓠、[3]押栰。』彼於後時各各備辦浮海之具，羖羊皮囊、大瓠、*押栰，便入大海，彼在海中為摩竭魚王破壞其船，彼商人等各各自乘浮海之具，羖羊皮囊、大瓠、*押栰，浮向諸方。」

[T1.642b10]「爾時，海東大風卒起，吹諸商人至海西岸，彼中逢見諸女人輩，極妙端正[4]，一切嚴具以飾其身，彼女見已，便作是語：『善來。諸賢！快來。諸賢！此間極樂最妙好處，園觀浴池、坐臥處所、林木蓊鬱，多有錢財、金銀、水精、琉璃[5]、摩尼、真珠、碧玉、白珂、車磲[6]、珊瑚、虎[7]珀、馬[8]瑙[9]、瑇瑁、赤石、旋[10]珠，盡與諸賢，當與我等共相娛樂，莫令閻浮洲商人南行，乃至於夢。』彼商人等皆與婦人共相娛樂，彼商人等因共婦人合會，生男或復生女

---

[1] ～《本生經》J.196. Valāhassa(雲馬)，《增壹阿含 45.1 經》(大正 2.769b)，No.190.《佛本行集經》卷 50(大正 3.883b)，No.152.《六度集經》卷 37，59(大正 3.19c，33b)

[2] 〔第三念誦〕－【明】

[3] 押＝簿【宋】＊【元】＊【明】＊，＝[椑-(白-日)]【聖】＊

[4] 正＝政【聖】＊

[5] 琉璃＝流離【聖】＊

[6] 車磲＝硨磲【元】【明】＊

[7] 虎＝琥【宋】＊【元】＊【明】＊

[8] 馬＝瑪【宋】【元】，＝碼【明】

[9] 瑙＝碯【明】＊

[10] 旋＝琁【宋】＊【元】＊【明】＊

彼於後時，閻浮洲有一智慧商人獨住靜處，而作是念：『以何等故，此婦人輩制於我等不令南行耶？我寧可伺共居婦人。』知彼眠已，安徐而起，當竊南行。」

[T1.642b23]「彼閻浮洲一智慧商人則於後，伺其居婦人，知彼眠已，安徐而起，即竊南行，彼閻浮洲一智慧商人既南行已，遙聞大音高聲喚叫[1]，眾多人聲啼哭懊惱，喚父呼母，呼喚妻子及諸愛念親親朋友，好閻浮洲安隱快樂，不復得見，彼商人聞已，極大恐怖，身毛皆豎，莫令人及非人觸嬈我者。於是，閻浮洲一智慧商人自制恐怖，復進南行，彼閻浮洲一智慧商人進行南已，忽見東邊有大鐵城，見已，遍觀不見其門，乃至可容猫子出處。」

[T1.642c04]「彼閻浮洲一智慧商人見鐵城北有大叢樹，即往至彼大叢樹所，安徐緣上，上已，問[2]彼大眾人曰：『諸賢，汝等何故，啼哭懊惱，喚父呼母，呼喚妻子及諸愛念親親朋友，好閻浮洲安隱快樂，不復得見耶？』時，大眾人便答彼曰：『賢者，我等是閻浮洲諸商人也。皆共集會在賈客堂，而作是念：我等寧可乘海裝船，入大海中取財寶，求以供家用，賢者，我等復作是念。諸賢！我等入海，不可豫知安隱、不安隱，我等寧可各各備辦浮海之具，謂羖羊皮囊、大瓠、*押栰。』」

[T1.642c15]「『賢者，我於後時各各備辦浮海之具，謂羖羊皮囊、大瓠、*押栰，便入大海，賢者，我等在海中，為摩竭魚王破壞其船，賢者，我等商人各各自乘浮海之具，羖羊皮囊、大瓠、*押栰，浮向諸方，爾時，海東大風卒起，吹我等商人至海西岸，彼中逢見諸女人輩，極妙端*正，一切嚴具以飾其身，彼女見已，便作是語，善來。諸賢！快來。諸賢！此間極樂最妙好處，園觀浴池、坐臥處所、林木蓊鬱，多有錢財、金銀、水精、*琉璃、摩尼、真珠、碧玉、白珂、*車磲、珊瑚、*虎珀、*馬*瑙、璹*[瑁-目+月]、赤石、*旋珠，盡與諸賢，當與我等共相娛樂，莫令閻浮洲商人南行，乃至於夢。』」

[T1.642c27]「『賢者，我等與彼婦人共相娛樂，我等因共婦人合會，生男或復生女，賢者，若彼婦人不聞閻浮洲餘諸商人在於海中，為摩竭魚王破壞船者，則與我等共相娛樂，賢者，若彼婦人聞閻浮洲有諸商人在於海中，為摩竭魚王破壞船者，便食我等，極遭逼迫，若食人時，有餘髮毛及爪[3]齒者，彼婦人等盡取食之，若食人時，有血滴[4]地，彼婦人等便以手*爪掘地深四寸，取而食之，賢者，當知我等閻浮洲商人本有五百人，於中已噉二百五十，餘有二百五十今皆在此大鐵城中，賢者，汝莫信彼婦人語，彼非真人，是羅剎鬼[5]耳。』」

---

[1] 叫＝噭【聖】＊
[2] 問＝聞【聖】
[3] 爪＝抓【聖】＊
[4] 滴＝滴【宋】＊【元】＊【明】＊
[5] [>羅剎鬼]～Yakkhinī.

[T1.643a10]「於是，閻浮洲一智慧商人於大叢樹安徐下已，復道而還彼婦人所本共居處，知彼婦人故眠未寤[1]，即於其夜，彼閻浮洲一智慧商人速往至彼閻浮洲諸商人所，便作是語：『汝等共來，當至靜處，汝各獨往，勿將兒去，當共在彼，密有所論。』彼閻浮洲諸商人等共至靜處，各自獨去，不將兒息。」

[T1.643a17]「於是，閻浮洲一智慧商人語曰：『諸商人，我則獨住於安靜處。』而作是念：以何等故，此婦人輩制於我等不令南行耶？我寧可伺共居婦人，知彼眠已，安徐而起，當竊南行。於是，我便伺共居婦人，知彼眠已，我安徐起，即竊南行，我南行已，遙聞大音高聲喚叫，眾多人聲啼哭懊惱，喚父呼母，呼喚妻子及諸愛念親親朋友，好閻浮洲安隱快樂，不復得見，我聞是已，極大恐怖，身毛皆豎，莫令人及非人觸嬈我者。於是，我便自制恐怖，復進南行，進南行已，忽見東邊有大鐵城，見已，遍觀不見其門，乃至可容猫子出處。』」

[T1.643a29]「『我復見於大鐵城北有大叢樹，即往至彼大叢樹所，安徐緣上，上已，問彼大眾人曰[2]。諸賢！汝等何故，啼[3]哭懊惱，喚父呼母，呼喚妻子及諸愛念親親朋友，好閻浮洲安隱快樂，不復得見耶？彼大眾人而答我曰，賢者，我等是閻浮洲諸商人，皆共集會在賈客堂，而作是念：我等寧可乘海裝船，入大海中取財寶來以供家用，賢者，我等復作是念。諸賢！我等入海，不可豫知安隱、不安隱，我等寧可各各備辦浮海之具，謂羖羊皮囊、大瓠、*押栰，賢者，我等後時各各備辦浮海之具，謂羖羊皮囊、大瓠、*押栰，便入大海，賢者，我等在海中，為摩竭魚王破壞其船，賢者，我等商人各各自乘浮海之具，羖羊皮囊、大瓠、*押栰，浮向諸方，爾時，海東大風卒起，吹我等商人至海西岸，彼中逢見諸女人輩，極妙端*正，一切嚴具以飾其身，彼女見已，便作是語，善來。諸賢！快來。諸賢！此間極樂最妙好處，園觀浴池、坐臥處所、林木蓊鬱，多有錢財、金銀、水精、*琉璃、摩尼、真珠、碧玉、白珂、*車磲、珊瑚、*虎珀、*馬瑙、璹*瑁、赤石、*旋珠，盡與諸賢，當與我等共相娛樂，莫令閻浮洲商人南行，乃至於夢，賢者，我等與彼婦人共相娛樂，我等因共婦人合會，生男或復生女，賢者，若彼婦人不聞閻浮洲更有商人在於海中，為摩竭魚王破壞船者，則與我等共相娛樂，賢者，若彼婦人聞閻浮洲更有商人在於海中，為摩竭魚王破壞船者，便食我等，極遭逼迫，若食人時，有餘髮毛及*爪齒者，彼婦人等盡取食之，若食人時，有血*滯地，彼婦人等便以手*爪掘地深四寸，取而食之，賢者，當知我等閻浮洲商人本有五百人，於中已噉二百五十，餘有二百五十，今皆在此大鐵城中，賢者，汝莫信彼婦人語，彼非真人，是羅剎鬼耳。』」

---

[1] 寤＝覺【宋】【元】【明】【聖】
[2] 曰＋（語）【聖】
[3]〔啼〕－【聖】

[T1.643c06]「於是，閻浮洲諸商人問彼閻浮洲一智慧商人曰：『賢者不問彼大眾人。諸賢！頗有方便令我等及汝等從此安隱度至閻浮洲耶？』閻浮洲一智慧商人答曰：『諸賢，我時脫不如是問也。』於是，閻浮洲諸商人語曰：『賢者，還去至本共居婦人處已，伺彼眠時，安徐而起，更竊南行，復往至彼大眾人所問曰：『諸賢，頗有方便令我等及汝等從此安隱度至閻浮洲耶？』於是，閻浮洲一智慧商人為諸商人默然而受。」

[T1.643c16]「是時，閻浮洲一智慧商人還至共居婦人處已，伺彼眠時，安徐而起，即竊南行，復往至彼大眾人所，問曰：『諸賢，頗有方便令我等及汝等從此安隱度至閻浮洲耶？』彼大眾人答曰：『賢者，更無方便令我等從此安隱度至閻浮洲，賢者，我作是念：我等當共破掘此牆，還歸本所，適發心已，此牆轉更倍高於常，賢者，是謂方便[1]令我等不得從此安隱度至閻浮洲，賢者，別有方便可令汝等從此安隱度至閻浮洲，我等永無方便。』『諸賢。』我等聞天於空中唱曰：『閻浮洲諸商人愚癡不定，亦不善解。所以者何？不能令十五日說從解脫時而南行，彼有[馬*毛]馬王[2]，食自然粳米，安隱快樂，充滿諸根，再三唱曰，誰欲度彼岸，誰欲使我脫，誰欲使我將從此安隱度至閻浮洲耶？汝等可共詣[馬*毛]馬王而作是語，我等欲得渡[3]至彼岸，願脫我等，願將我等從此安隱度至閻浮洲，賢者，是謂方便令汝等從此安隱度至閻浮洲，商人汝來，可往至彼[馬*毛]馬王所，而作是語，我等欲得*渡至彼岸，願脫我等，願將我等從此安隱度至閻浮洲。』」

[T1.644a08]「於是，閻浮洲有一智慧商人語曰：『諸商人，今[4]時往詣[馬*毛]馬王所，而作是語，我等欲得*渡至彼岸，願脫我等，願將我等從此安隱度至閻浮洲。』諸商人隨諸天意，諸商人若使十五日說從解脫時，[馬*毛]馬王食自然粳米，安隱快樂，充滿諸根，再三唱曰：『誰欲*渡彼岸，誰欲從[5]我脫，誰欲使我將從此安隱度至閻浮洲耶[6]，我等爾時即往彼所，而作是語，我等欲得*渡至彼岸，願脫我等，願將我等從此安隱度至閻浮洲。』」

[T1.644a18]「於是，[馬*毛]馬王後十五日說從解脫時，食自然粳米，安隱快樂，充滿諸根，再三唱曰：『誰欲得度彼岸，我當脫彼，我當將彼從此安隱度至閻浮洲。』時，閻浮洲諸商人聞已，即便往詣[馬*毛]馬王所而作是語：『我等欲得度至彼岸，願脫我等，願將我等從此安隱度至閻浮洲。』時[馬*毛]馬王語曰：『商人，彼婦人等必當抱兒共相將來而作是語。諸賢！善來還此，此間極樂最妙好處，園觀浴池、坐臥處所、林木蓊鬱，多有錢財、金銀、水精、*琉璃、

---

[1]〔便〕－【宋】【元】【明】
[2] [>[馬*毛]馬王]～Valāhassarājā.
[3] 渡＝度【宋】【元】【明】【聖】＊
[4] 今＝令【元】
[5] 從＝使【宋】【元】【明】【聖】
[6]〔耶〕－【宋】【元】【明】【聖】

摩尼、真珠、碧玉、白珂、*車磲、珊瑚、*虎珀、*馬*瑙、玳[1]*瑁、赤石、*旋珠，盡與諸賢，當與我等共相娛樂，設不用我者，當憐[2]念兒子。』」

[T1.644b02]「若彼商人而作是念：『我有男女，我有極樂最妙好處，園觀浴池、坐臥處所、林木蓊鬱，我多有錢財、金銀、水精、*琉璃、摩尼、真珠、碧玉、白珂、*車磲、珊瑚、*虎珀、*馬*瑙、*玳*瑁、赤石、*旋珠者，彼雖騎我正當背中，彼必顛倒，落墮於水，便當為彼婦人所食，當遭逼迫，若食人時，有餘髮毛[3]及*爪齒者，彼婦人[4]便當盡取食之。復次，若食人時，有血涕地，彼婦人等便以手爪[5]掘地深四寸，取而食之，若彼商人不作是念：我有男女，我有極樂最妙好處，園觀浴池、坐臥處所、林木蓊鬱，我多有錢財、金銀、水精、*琉璃、摩尼、真珠、碧玉、白珂、*車磲、珊瑚、*虎珀、*馬*瑙、*玳*瑁、赤石、*旋珠者，彼雖持我身上一毛，彼必安隱度至閻浮洲。」

[T1.644b16] 於是，世尊告諸比丘：「彼婦人等抱兒子來，而作是語：『諸賢，善來還此，此間極樂最妙好處，園觀浴池、坐臥處所、林木蓊鬱，多有錢財、金銀、水精、琉璃、摩尼、真珠、碧玉、白珂、*車磲、珊瑚、*虎珀、*馬*瑙、*玳*瑁、赤石、*旋珠，盡與諸賢，當與我等共相娛樂。』若彼商人而作是念：『我有男女，我有極樂最妙好處，園觀浴池、坐臥處所、林木蓊鬱，我多有錢財、金銀、水精、*琉璃、摩尼、真珠、碧玉、白珂、*車磲、珊瑚、*虎珀、*馬*瑙、*玳*瑁、赤石、*旋珠者。』彼雖得騎[馬*毛]馬王脊正當背中，彼必顛倒，落墮於水，便當為彼婦人所食，當遭逼迫，若食人時，有餘髮*毛及爪齒者，彼婦人等盡取食之。復次，食彼人時，有血涕地，彼婦人等便以手*爪掘地深四寸，取而食之，若彼商人不作是念：『我有男女，我有極樂最妙好處，園觀浴池、坐臥處所、林木蓊鬱，我多有錢財、金銀、水精、*琉璃、摩尼、真珠、碧玉、白珂、*車磲、珊瑚、*虎珀、*馬*瑙、*玳*瑁、赤石、*旋珠者，彼雖持[馬*毛]馬王一毛者。』彼必安隱度至閻浮洲。」

[T1.644c07]「諸比丘！我說此喻，欲令知義，此說是義，我法善說，發露極廣，善護無有空缺，如橋梍浮具，遍滿流布，乃至天、人，如是我法善說，發露極廣，善護無有空缺，如橋梍浮具，遍滿流布，乃至天、人。」

[T1.644c11]「若有比丘作如是念，眼是我，我有眼，耳、鼻、舌、身、意是我，我有意者，彼比丘必被害，猶如商人為羅剎所食，我法善說，發露極廣，善護無有空缺，如橋梍浮具，遍滿流布，乃至天、人，如是我法善說，發露極廣，善護無有空缺，如橋梍浮具，遍滿流布，乃至天、人。若有比丘作如是念，眼

---

[1] 玳＝璃【宋】【元】【明】【聖】＊
[2] 憐＝怜【宋】【元】
[3] 毛＝髦【宋】【元】【明】【聖】＊
[4]〔人〕－【宋】【元】【明】
[5] 爪＝瓜【宋】，＝抓【聖】＊

非是我，我無有眼，耳、鼻、舌、身、意非是我，我無有意者，彼比丘得安隱去，猶如商人乘[馬*毛]馬王安隱得度，我法善說，發露極廣，善護無有空缺，如橋梍浮具，遍滿流布，乃至天、人，如是我法善說，發露極廣，善護無有空缺，如橋梍浮具，遍滿流布，乃至天、人。」

[T1.644c24]「若有比丘作如是念，色是我，我有色，聲、香、味、觸、法是我，我有法者，彼比丘必被害，猶如商人為羅剎所食，我法善說，發露極廣，善護無有空缺，如橋梍浮具，遍滿流布，乃至天、人，如是我法善說，發露極廣，善護無有空缺，如橋梍浮具，遍滿流布，乃至天、人。若有比丘作如是念，色非是我，我無有色，聲、香、味、觸、法非是我，我無有法者，彼比丘得安隱去，猶如商人乘[馬*毛]馬王安隱得度，我法善說，發露極廣，善護無有空缺，如橋梍浮具，遍滿流布，乃至天、人，如是我法善說，發露極廣，善護無有空缺，如橋梍浮具，遍滿流布，乃至天、人。」

[T1.645a07]「若有比丘作如是念，色陰是我，我有色陰，覺、想、行、識陰是我，我有識陰者，彼比丘必被害，猶如商人為羅剎所食，我法善說，發露極廣，善護無有空缺，如橋梍浮具，遍滿流布，乃至天、人，如是我[1]法善說，發露極廣，善護無有空缺，如橋梍浮具，遍滿流布，乃至天、人。若有比丘作如是念，色陰非是我，我無有色陰，覺、想、行、識陰非是我，我無有識陰者，彼比丘得安隱去，猶如商人乘[馬*毛]馬王安隱得度，我法善說，發露極廣，善護無有空缺，如橋梍浮具，遍滿流布，乃至天、人，如是我法善說，發露極廣，善護無有空缺，如橋梍浮具，遍滿流布，乃至天、人。」

[T1.645a20]「若有比丘作如是念，地是我，我有地，水、火、風、空、識是我，我有識者，彼比丘必被害，猶如商人為羅剎所食，我法善說，發露極廣，善護無有空缺，如橋梍浮具，遍滿流布，乃至天、人，如是我法善說，發露極廣，善護無有空缺，如橋梍浮具，遍滿流布，乃至天、人。若有比丘作如是念，地非是我，我無有地，水、火、風、空、識非是我，我無有識者，彼比丘得安隱去，猶如商人乘[馬*毛]馬王安隱得度。」於是，世尊說此頌曰：「

若有不信於　佛說正法律　彼人必被害　如為羅剎食
若人有信於　佛說正法律　彼得安隱度　如乘[馬*毛]馬王

[T1.645b06] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.645b08] 商人求財經第二十竟[2](四千二百七十三字)[3]，

---

[1] （念色陰）＋我【聖】
[2]〔商人…竟〕九字－【明】
[3]〔四千…字〕八字－【宋】【元】【明】【聖】

（一三七）中阿含[1]大品

(Ma.137)世間經[2] 第二十一(第三念誦)[3]

[T1.645b11] 我聞如是。

[T1.645b11] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.645b12] 爾時，世尊告諸比丘：「如來自覺世間，亦為他說，如來知世間，如來自覺世間習[4]，亦為他說，如來斷世間習，如來自覺世間滅，亦為他說，如來世間滅作證，如來自覺世間道跡，亦為他說，如來修世間道跡。若有一切盡普正，有彼一切如來知見覺得。所以者何？如來從昔夜覺無上正盡之覺，至于[5]今日夜，於無餘涅槃界，當取滅訖，於其中間，若如來口有所言說，有所應對者，彼一切是真諦，不虛不離於如，亦非顛倒，真諦審實，若說師子者，當如[6]說如來。所以者何？如來在眾有所講說，謂師子吼，一切世間，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，如來是梵有，如來至冷有，無煩亦無熱，真[7]諦不虛有。」於是，世尊說此頌曰：「

知一切世間　出一切世間　說一切世間　一切世如真
彼最上尊雄　能解一切縛　得盡一切業　生死悉解脫
是天亦是人　若有歸命佛　稽首禮如來　甚深極大海
知已亦[8]修敬　諸天香音神　彼亦稽首禮　謂隨於死者
稽首禮智[9]士　歸命人之上[10]　無憂離塵安　無礙諸解脫
是故當[11]樂禪　住遠離極定　當自作燈明　無我必失時
失時有憂慼　謂墮地獄中

[T1.645c11] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

---

[1]〔中阿含〕－【明】，含＝鋡【聖】＊
[2] ～《增支部》A.4.23. Loka(世間)，《如是語經》It.112. Loka(世間)
[3]〔第三念誦〕－【明】
[4] 習＝集【元】【明】
[5] 于＝乎【聖】
[6] 如＝知【宋】【元】【明】
[7] 真＝有【宋】【元】【明】
[8] 亦＝為【宋】【元】【明】【聖】
[9] 智＝知【聖】
[10] 上＝土【宋】【元】
[11] 當＝常【宋】【元】【明】

[T1.645c13] 世間經第二十一竟 [1](三百九十六字)[2]，

（一三八）中阿*含 [3]大品

(Ma.138)福經 [4] 第二十二(第三念誦)[5]

[T1.645c16] 我聞如是。

[T1.645c16] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.645c17] 爾時，世尊告諸比丘：「莫畏於福，愛樂意所念。所以者何？福者是說樂，畏於福，不愛樂意所念。所以者何？非福者，是說苦，何以故，我憶往昔長夜作福，長夜受報，愛樂意所念，我往昔時七年行慈，七返 [6]成敗，不來此世，世敗壞時，生晃昱天 [7]，世成立時，來下生空梵宮殿 [8]中，於彼梵中，作大梵天，餘處千*返作自在天王，三十六*返作天帝釋，復無量*返作剎利頂生王。」

[T1.645c25]「比丘！我作剎利頂生王時，有八萬四千大象，被好乘具，眾寶珓 [9]飾，白珠珞覆，于 [10]娑賀象王為首，比丘！我作剎利頂生王時，有八萬四千馬，被好乘具，眾寶嚴飾，金銀交 [11]絡 [12]，[馬*毛]馬王為首，比丘！我作剎利頂生王時，有八萬四千車，四種珓 [13]飾，莊以眾好，師子、虎豹斑 [14]文之皮織成雜色，種種*珓飾，極利疾，名樂聲車為首，比丘！我作剎利頂生王時，有八萬四千大城，極大富樂，多有人民，拘舍*恕提王城為首，比丘！我作剎利頂生王時，有八萬四千樓，四種寶樓，金、銀、*琉璃及水精，正法殿為首。」

---

[1]〔世間…竟〕八字－【明】
[2]〔三百…字〕六字－【宋】【元】【明】【聖】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《增支部》A.7.58.Pacala(睡眠)後半經，參閱《相應部》S.22.96. Gomayam(牛糞)，《雜阿含 264 經》(大正 2.67c)
[5]〔第三念誦〕－【明】
[6] 返＝反【宋】【元】【明】【聖】＊
[7] [>晃昱天]～Ābhassara.
[8] 空梵宮殿～Suñña-Brahmavimāna.
[9] 珓＝校【宋】【元】【明】，＝絞【聖】
[10] 于＝珓【聖】
[11] 銀交＝鏡珓【宋】【聖】
[12] 絡＝珞【聖】
[13] 珓＝校【元】【明】[>＊]
[14] 斑＝班【宋】＊

[T1.646a07]「比丘！我作剎利頂生王時，有八萬四千御座，四種寶座，金、銀、*琉璃及水精，敷以氍氀、毾[1][毯-炎+登]，覆以錦綺羅縠，有襯[2]體被，兩頭安枕，加陵伽波*想羅波遮悉哆羅那，比丘！我作剎利頂生王時，有八萬四千雙衣，有初[3]摩衣，有錦繒衣，有劫貝衣，有加[4]陵伽波想羅衣，比丘！我作剎利頂生王時，有八萬四千女，身體光澤，皦潔明淨，美色過人，小不及天，恣[5]容端正，覩者歡悅，眾寶瓔珞嚴飾具足，盡剎利種女，餘族無量。」

[T1.646a17]「比丘！我作剎利頂生王時，有八萬四千種食，晝夜常供，為我故設，欲令我食，比丘！彼八萬四千種食中，有一種食，極美淨潔，無量種味，是我常所食，比丘！彼八萬四千女中，有一剎利女，最端*正姝妙[6]，常奉侍我，比丘！彼八萬四千雙衣中，有一雙衣，或*初摩衣，或錦繒衣，或劫貝衣，或*加陵伽波想邏[7]衣，是我常所著，比丘！彼八萬四千御座中，有一御座，或金或銀，或琉璃，或水精，敷以氍氀、*毾[毯-炎+登]，覆以錦綺羅縠，有*襯體被，兩頭安枕，加陵伽波想*邏波遮悉哆*邏那，是我常所臥。」

[T1.646a28]「比丘！彼八萬四千樓觀中，有一樓觀，或金或銀，或*琉璃，或水精，名正法殿，是我常所住，比丘！彼八萬四千大城中，有一城極大富樂，多有人民，名拘舍*想提，是我常所居，比丘！彼八萬四千車中而有一車，莊以眾好，師子、虎豹*斑文之皮織成雜色，種種莊飾，極利疾，名樂聲車，是我常所載，至觀望園觀，比丘！彼八萬四千馬中而有一馬，體紺青色，頭像如烏，名[馬*毛]馬王，是我常所騎，至觀望園觀，比丘！彼八萬四千大象中而有一象，舉體極白，七支盡正[8]，名于娑賀象王，是我常所乘，至觀望園觀。」

[T1.646b11]「比丘！我作此念，是何業果，為何業報，令我今日有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，比丘！我復作此念，是三業果，為三業報，令我今日有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，一者布施，二者調御，三者守護。」於是，世尊說此頌曰：「

觀此福之報　妙善多饒益　比丘我在昔　七年修慈心
七反成敗劫　不來還此世　世間敗壞時　生於晃昱天
世間轉成時　生於梵天中　在梵為大梵　千生自在天
三[9]十六為釋　無量百頂王　剎利頂生王　為人之最尊

---

[1] 毾＝氀【聖】＊
[2] 襯＝襯【宋】【元】【明】，＝[打-丁+親]【聖】
[3] 初＝芻【元】【明】[>＊]
[4] 加＝伽【聖】＊
[5] 恣＝姿【宋】【明】
[6] 妙＝好【宋】【元】【明】【聖】
[7] 邏＝羅【宋】【元】【明】【聖】＊
[8] 正＝政【宋】【聖】
[9] 三＝二【明】

如法非刀杖　政御於天下　如法不加[1]抂[2]　正安樂教授
如法轉相傳　遍一切大地　大富多錢財[3]　生於如是族
財穀具足滿[4]　成就七寶珍　因此大福祐　所生得自在
諸佛御於世　彼佛之所說　知此甚奇特　見神通不少
誰知而不信　如是生於冥　是故當自為　欲求大福祐
當恭敬於法　常念佛法律

[T1.646c07] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.646c08]福經第二十二竟[5](一千一百五十四字)[6]，

（一三九）中阿*含[7]大品

(Ma.139)息止道經[8] 第二十三(第三念誦)[9]

[T1.646c11] 我聞如是。

[T1.646c11] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.646c12] 爾時，世尊告諸比丘：「年少比丘始成就戒，當以數數詣息止道觀相，骨相、青相、腐相、食相、骨鏁相，彼善受善持此相已，還至住處，澡洗手足，敷尼師檀[10]，在於床上結加[11]趺坐，即念此相，骨相、青相、腐相、食相、骨鏁相。所以者何？若彼比丘修習此相，速除心中欲恚之病。」於是，世尊說此頌曰[12]：「

若年少比丘　覺[13]未得上[14]意　當詣息止道　欲除其婬欲
心中無恚諍　慈愍於眾生　遍滿一切方　往至觀諸身

---

[1] 加＝如【元】【明】
[2] 抂＝枉【明】，＝狂【聖】
[3] 錢財＝財錢【聖】
[4] 足滿＝滿足【宋】【元】【明】
[5]〔福經…竟〕七字－【明】
[6]〔一千…字〕八字－【宋】【元】【明】【聖】
[7]〔中阿含〕－【明】
[8] ～cf.《經集》Sn.1.11. Vijaya sutta.(征勝經)
[9]〔第三念誦〕－【明】
[10] 檀＝壇【宋】【元】【明】
[11] 加＝跏【宋】【明】【聖】
[12]〔曰〕－【聖】
[13] 覺＝學【宋】【元】【明】【聖】
[14] 上＝止【元】【明】

當觀於青相　及以爛腐壞　觀鳥[1]蟲所食　骨骨節相連
修習如是相　還歸至本處　澡洗於手足　敷床正基坐
當以觀真實　內身及外身　盛滿大小便　心腎肝肺等
若欲分衛食　到人村邑間　如將鎧纏絡　常正念在前
若見色可愛　清淨欲相應　見已觀如真　正念佛法律
此中無骨筋　無肉亦無血　無腎心肝肺　無有涕唾腦
一切地皆空　水種亦復然　空一切火種　風種亦復空
若所有諸覺　清淨欲相應　彼一切息止　如慧之所觀
如是行精懃　常念不淨想　永斷婬[2]怒癡　除一切無明
興起清淨明　比丘得苦[3]邊

[T1.647a13] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.647a14] 息止道經第二十三竟[4](三百七十二字)[5]，

（一四○）中阿*含[6]大品

(Ma.140)至邊經[7] 第二十四(第三念誦)[8]

[T1.647a17] 我聞如是。

[T1.647a17] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.647a18] 爾時，世尊告諸比丘：「於生活中下極至邊，謂行乞食，世間大諱，謂為禿頭手擎鉢行，彼族姓子為義故受[9]。所以者何？以厭患生老病死、愁慼啼哭、憂苦懊惱，或得此淳具足大苦陰邊，汝等非如是心出家學道耶？」

[T1.647a23] 時，諸比丘白曰：「如是。」

---

[1] 鳥＝烏【宋】【元】【明】，＝身【聖】
[2] 婬＝淫【聖】
[3] 苦＝若【明】
[4]〔息止…竟〕九字－【明】
[5]〔三百…字〕六字－【宋】【元】【明】【聖】
[6]〔中阿含〕－【明】
[7] ～《如是語經》It. 91. Jīvita(淨命自活)，No.765.《本事經》卷 4〔II.32〕(大正 17.682a)，參閱《相應部》S.22.80.Pindolyam(乞食)，《雜阿含 272 經》(大正 2.71c)
[8]〔第三念誦〕－【明】
[9] 受＝愛【宋】

[T1.647a23] 世尊復告諸比丘曰：「彼愚癡人以如是心出家學道，而行伺欲染著至重，濁纏心中，憎嫉無信，懈[1]怠失正念，無正定，惡慧心狂，調[2]亂諸根，持戒極寬，不修沙門，不增廣行，猶人以墨[3]浣*墨所污，以血除血，以垢除垢，以濁除濁，以廁除廁，但增其穢，從冥入冥，從闇入闇，我說彼愚癡人持沙門戒[4]亦復如是，謂彼人[5]伺欲染著至重，濁纏心中，憎嫉無信，懈怠失正念，無正定，惡慧心狂，*調亂諸根，持戒極寬，不修沙門，不增廣行，猶無事處燒人殘木，彼火燼者，非無事所用，亦非村邑所用，我說彼愚癡人持沙門*戒亦復如是，謂彼人行伺欲染著至重，濁纏心中，憎嫉無信，懈怠失正念，無正定，惡慧心狂，*調亂諸根，持戒極寬，不修沙門，不增廣行。」於是，世尊說此頌曰：「

愚癡失欲樂　復失沙門義　俱忘失二邊　猶燒殘火燼
猶如無事處　燒人殘火燼　無事村不用　人著欲亦然
猶燒殘火燼　俱忘失二邊

[T1.647b16] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.647b17] 至邊經第二十四竟[6](四百二十二字)[7]，

（一四一）中阿*含[8]大品

(Ma.141)喻經[9] 第二十五(第三念誦)[10]

[T1.647b20] 我聞如是。

[T1.647b20] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.647b21] 爾時，世尊告諸比丘：「若有無量善法可得，彼一切以不放逸為本，不放逸為習，因不放逸生，不放逸為首，不放逸者，於諸善法為最第一，

---

[1] 懈＝懈【聖】
[2] 調＝掉【元】【明】＊
[3] 墨＝默【聖】＊
[4]〔戒〕－【宋】【元】【明】【聖】＊
[5] 人＋（行）【宋】【元】【明】【聖】
[6]〔至邊…竟〕八字－【明】
[7]〔四百…字〕六字－【宋】【元】【明】【聖】
[8]〔中阿含〕－【明】
[9] ～《相應部》S.3.17. Appamāda(不放逸)；S.45.140-148. Padam etc.(足跡等)，《雜阿含 1239 經》(大正 2.339b)，《別譯雜阿含 66 經》(大正 2.396b)，，No.765.《本事經》卷 1(1.12) (大正 17.664c)，cf.《如是語經》It.23. Ubho atthā(二利)
[10]〔第三念誦〕－【明】

猶作田業，彼一切因地、依地、立地，得作田業，如是若有無量善法可得，彼一切以不放逸為本，不放逸為習，因不放逸生，不放逸為首，不放逸者，於諸善法為最第一，猶種子，村及與鬼村，百穀藥木得生長養，彼一切因地、依地、立地，得生長養。」

[T1.647c01]「如是。若有無量善法可得，彼一切以不放逸為本，不放逸為習，因不放逸生，不放逸為首，不放逸者，於諸善法為最第一，猶諸根香，沈香為第一，猶諸樹香，赤栴檀為第一，猶諸水華，青蓮華為第一，猶諸陸華，須摩那華為第一，猶諸獸[1]跡，彼一切悉入象跡中，象跡盡攝，彼象跡者為最第一，謂廣人[2]故，如是。若有無量善法可得，彼一切以不放逸為本，不放逸為習，因不放逸生，不放逸為首，不放逸者，於諸善法為最第一，猶諸獸[3]中，彼師子王為最第一，猶如列陣共鬪戰時，唯要誓為第一，猶樓觀椽，彼一切皆依承[4]椽梁立，承椽梁、承椽梁皆攝持之，承椽梁者為最第一，謂盡攝故。」

[T1.647c15]「如是。若有無量善法可得，彼一切以不放逸為本，不放逸為習，因不放逸生，不放逸為首，不放逸者，於諸善法為最第一，猶如諸山，須彌山王為第一，猶如諸泉，大泉[5]攝水，大海為第一，猶諸大身，阿須羅王為第一，猶諸瞻侍[6]，魔王為第一，猶諸行欲，頂生王為第一，猶如諸小王，轉輪王為第一，猶如虛空諸星，宿月殿為第一，猶諸綵[7]衣，白練為第一，猶諸光明，慧光明為第一，猶如諸眾[8]，如來弟子眾第[9]一，猶如諸法，有為及無為，愛盡、無欲、滅盡、涅槃為第一，猶諸眾生，無足、二足、四足、多足，色、無色、有想、無想，乃至非有想非無想，如來於彼為極第一，為大為上，為最為勝，為尊為妙，猶如因牛有乳，因乳有酪，因酪有生酥[10]，因生*酥有熟*酥，因熟*酥有*酥精，*酥精為第一，為大為上，為最為勝，為尊為妙，如是若有諸眾生，無足、二足、四足、多足，色、無色、有想、無想，乃至非有想非無想，如來於彼為極第一，為大為上，為最為勝，為尊為妙。」於是，世尊說此頌曰：「

若有求財物　極好轉增多　稱譽不放逸　事無事慧說
有不放逸者　必取二俱義　即此世能獲　後世亦復得
雄猛觀諸義　慧者必解脫

---

[1] 獸＝狩【聖】
[2] 人＝大【聖】
[3] 獸＝狩【宋】【聖】
[4] 承＝子【宋】
[5] 泉＝海【元】【明】
[6] 侍＝待【聖】
[7] 綵＝采【聖】
[8] 眾＋（生）【聖】
[9] （為）＋第【宋】【元】【明】【聖】
[10] 酥＝蘇【聖】＊

[T1.648a12] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.648a13] 喻經第二十五竟 [1](七百七十一字)[2]，

中阿含 [3]經卷第三十四 [4](七千三百八十八字)[5]

中阿含經大品第一 [6]竟 [7](五萬三百六十九字 [8])[9]，

中阿含 [10]經

卷第三十五 (Ma.142~144)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯 [11]

梵志品第 [12]二(有一十 [13]經)(第三念誦)

雨勢、歌羅、數　　瞿默、象跡喻　聞德、何 [14]苦、欲　欝瘦、阿攝恕 [15]

（一四二）中阿含 [16]梵志品

---

[1]〔喻經第二十五竟〕七字－【明】，〔二十〕－【聖】
[2]〔七百…字〕六字－【宋】【元】【明】【聖】
[3] 含＋（大品）【宋】【元】
[4] 四＋（第三念誦）【宋】【元】
[5]〔七千…字〕八字－【宋】【元】【明】【聖】
[6]〔中阿含經大品第一竟〕九字－【宋】【元】，中阿含經大品第一竟九字在卷末題前行【明】【聖】，〔中阿含經〕四字－【明】
[7] 竟＋（第三念誦）【聖】
[8]〔五萬…字〕八字－【宋】【元】【明】【聖】
[9] ＋（藥王佛寂上天王佛諸行無常是生滅法生滅滅已寂滅為樂）二十四字【聖】，＋（光明皇后願文）【聖】
[10] 含＝鋡【聖】＊
[11]〔東…譯〕十三字－【聖】
[12] 第＋（十）【明】
[13] 一十＝十一【宋】【元】，＝二十【明】，〔一〕－【聖】
[14] 何＝阿【聖】
[15] 恕＝和【聖】
[16]〔中阿含〕－【明】

(Ma.142)雨勢經[1] 第一

[T1.648a25] 我聞如是。

[T1.648a25] 一時，佛遊王舍城，在鷲巖山[2]中。

[T1.648a26] 爾時，摩竭陀[3]王未生怨鞞*陀提子[4]，與跋耆[5]相憎，常在眷屬數作是說，跋耆國人有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，我當斷滅跋耆人種，破壞跋耆，令跋耆人遭無量厄。

[T1.648b01] 於是，摩竭*陀王未生怨鞞陀提子聞世尊遊王舍城，在鷲巖山中，便告大臣雨勢[6]曰：「我聞沙門瞿曇遊王舍城，在鷲巖山中，雨勢，汝往至沙門瞿曇所，汝持我名問訊聖體安快無病，氣力如常耶？當作是語，瞿曇！摩竭*陀王未生怨鞞陀提子問訊聖體安快無病，氣力如常耶？瞿曇！摩竭*陀王未生怨鞞陀提子與跋耆相憎，常在眷屬數作是說，跋耆國人有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，我當斷滅跋耆人種，破壞跋耆，令跋耆人遭無量厄，沙門瞿曇當何所說，雨勢，若沙門瞿曇有所說者，汝善受持。所以者何？如是之人，終不妄說。」

[T1.648b14] 大臣雨勢受王教已，乘最好乘，與五百乘俱出王舍城，即便往詣鷲巖山中，登鷲巖山，下車步進，往詣佛所，便與世尊共相問訊，却坐一面，白曰：「瞿曇！摩竭*陀王未生怨鞞陀提子問訊聖體安快無病，氣力如常耶？瞿曇！摩竭陀王未生怨鞞陀提子與跋耆相憎，常在眷屬數作是說，跋耆國人有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，我當斷滅跋耆人種，破壞跋耆，令跋耆人遭無量厄，沙門瞿曇當何所說？」

[T1.648b23] 世尊聞已，告曰：「雨勢，我昔曾遊於跋耆國，彼國[7]有寺名遮恕邏[8]，雨勢，爾時我為跋耆國人說七不衰法，跋耆國人則能受行七不衰法，雨勢，若跋耆國人行七不衰法而不犯者，跋耆必勝，則為不衰。」

---

[1] ～《增支部》A.7.20.Vassakāra.(雨勢)，《長部 16 經》Mahā-Parinibbāna-Suttanta[I.1-11.](大般涅槃經)，《長阿含 2 經》遊行經(大正 1.11a)，No.5.《佛般泥洹經》(大正 1.160b)，No.6.《般泥洹經》(大正 1.176a)，No.7.《大般涅槃經》(大正 1.191)，No.1451.《根本說一切有部毘奈耶雜事》卷 35(大正 24.382.)，《增壹阿含 40.2 經》(大正 2.738c)

[2] [>鷲巖山]～Gijjhakūṭa pabbata.

[3] 陀＝他【聖】＊

[4] 未生怨鞞陀提子～Ajātasattu Vedehiputta.

[5] [>跋耆]～Vajjī.

[6] [>雨勢]～Vassakāra.

[7] 〔國〕－【聖】

[8] [>遮恕邏]～Sārandada.，恕＝和【聖】，邏＝羅【宋】【元】【明】【聖】

[T1.648b28] 大臣雨勢白世尊曰：「沙門瞿曇略說此事，不廣分別，我等不能得解此義，願沙門瞿曇廣分別說，當令我等得知此義。」

[T1.648c02] 世尊告曰：「雨勢，諦聽，善思念之，我當為汝廣說此義。」

[T1.648c03] 大臣雨勢受教而聽。

[T1.648c04] 是時，尊者阿難執拂侍[1]佛，世尊迴顧問曰：「阿難！頗聞跋耆數數集會，多聚集耶？」

[T1.648c05] 尊者阿難白[2]曰：「世尊！我聞跋耆數數集會，多聚集也。」

[T1.648c07] 世尊即告大臣雨勢：「若彼跋耆數數集會，多聚集者，跋耆必勝，則為不衰。」

[T1.648c08] 世尊復問尊者阿難：「頗聞跋耆共俱集會，俱作跋耆事，共俱起耶？」

[T1.648c10] 尊者阿難白曰：「世尊！我聞跋耆共俱集會，俱作跋耆事，共俱起也。」

[T1.648c11] 世尊復告大臣雨勢：「若彼跋耆共俱集會，俱作跋耆事，共俱起者，跋耆必勝，則為不衰 。」

[T1.648c13] 世尊復問尊者阿難：「頗聞跋耆未施設者不更施設，本所施設而不改易，舊跋耆法善奉行耶？」

[T1.648c15] 尊者阿難白曰：「世尊！我聞跋耆未施設者不更施設，本所施設而不改易，舊跋耆法善奉行也。」

[T1.648c18] 世尊復告大臣雨勢：「若彼跋耆未施設者不更施設，本所施設而不改易，舊跋耆法善奉行者，跋耆必勝，則為不衰。」

[T1.648c20] 世尊復問尊者阿難：「頗聞跋耆不以力勢而犯他婦、他童女耶？」

[T1.648c22] 尊者阿難白曰：「世尊！我聞跋耆不以力勢而犯他婦、他童女也。」

[T1.648c23] 世尊復告大臣雨勢：「若彼跋耆不以力勢而犯他婦、他童女者跋耆必勝，則為不衰。」

---

[1]〔阿難執拂侍…尊者〕二十八字－【聖】
[2] 白＝句【聖】

[T1.648c25] 世尊復問尊者阿難：頗聞跋耆有名德尊重者，跋耆悉共宗敬、恭奉、供養，於彼聞教則受耶？」

[T1.648c27] 尊者阿難白曰：「世尊！我聞跋耆有名德尊重者，跋耆悉共宗敬、恭奉、供養，於彼聞教則受。」

[T1.648c29] 世尊復告大臣雨勢：「若彼跋耆有名德尊重者[1]，跋耆悉共宗敬、恭奉、供養，於彼聞教則受者，跋耆必勝，則為不衰。」

[T1.649a03] 世尊復問尊者阿難：「頗聞跋耆所有舊寺，跋耆悉共修飾，遵奉、供養、禮事，本之所施常作不廢，本之所為不減損耶？」

[T1.649a06] 尊者阿難白曰：「世尊！我聞跋耆所有舊寺，跋耆悉共修飾，遵奉、供養、禮事，本之所施常作不廢，本之所為不減損也。

[T1.649a08] 世尊復告大臣雨勢，若彼跋耆所有舊寺，跋耆悉共修飾，遵奉、供養、禮事，本之所施常作不廢，本之所為不減損者，跋耆必勝，則為不衰，

[T1.649a11] 世尊復問尊者阿難！頗聞跋耆悉共擁護諸阿羅訶，極大愛敬，常願未來阿羅訶者而欲令來，既已來者樂恒久住，常使不乏衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具耶？

[T1.649a15] 尊者阿難白曰：「世尊！我聞跋耆悉共擁護諸阿羅訶，極大愛敬，常願未來阿羅訶者而欲令來，既已來者樂恒久住，常使不乏衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具，

[T1.649a19] 世尊復告大臣雨勢：「若彼跋耆悉共擁護諸阿羅訶，極大愛敬，常願未來阿羅訶者而欲令來，既已來者樂恒久住，常使不乏衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具者，跋耆必勝，則為不衰，雨勢，跋耆行此七不衰法，諸受持此七不衰法者，跋耆必勝，則為不衰。」

[T1.649a25] 於是，大臣雨勢即從坐起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「瞿曇！設彼跋耆成就一[2]不衰法者，摩竭陀王未生怨鞞陀提子不能伏彼，況復具七不衰法耶？瞿曇！我國事多，請退還歸。」

[T1.649a29] 世尊報曰：「欲去隨意。」

[T1.649a29] 於是，大臣雨勢聞佛所說，則善受持，起繞世尊三匝而去。

---

[1]〔者〕－【元】【明】【聖】
[2] 一＝七【明】

[T1.649b01] 大臣雨勢去後不久。於是，世尊迴顧告曰：「阿難！若有比丘依鷲巖山處處住者，宣令一切盡集講堂，一切集已，便來白我。」

[T1.649b04] 尊者阿難即受佛教：「唯然。世尊！」是時，尊者阿難便行宣令：「若有比丘依鷲巖山處處住者，今令一切盡集講堂。」一切集已，還詣佛所，稽首作禮，却住一面，白曰：「世尊！我已宣令。若有比丘依鷲巖山處處住者，悉令一切盡集講堂，今皆已集，唯願世尊自知其時。」

[T1.649b10] 於是，世尊將尊者阿難往詣講堂，於比丘眾前敷座而坐，告諸比丘：「今為汝說七不衰法，汝等諦聽，善思念之。」

[T1.649b13] 時，諸比丘白曰：「唯然。」

[T1.649b13] 佛言：「云何為七？若比丘數數集會，多聚集者，比丘必勝，則法不衰，若比丘共齊集會，俱[1]作眾事，共俱起者，比丘必勝，則法不衰，若比丘未施設事不更施設，本所施設而不改易，我所說戒善奉行者，比丘必勝，則法不衰，若比丘此未來有愛喜欲共俱，愛樂彼彼[2]有起不隨者，比丘必勝，則法不衰，若比丘有長老上尊俱學梵行，比丘悉共宗敬、恭奉、供養，於彼聞教則受者，比丘必勝，則法不衰，若比丘有無事處山林高巖，閑居靜處，寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順宴[3]坐，樂住不離者，比丘必勝，則法不衰，若比丘悉共擁護諸梵行者，至重愛敬，常願未來諸梵行者而欲令來，既已來者樂恒久住，常使不乏衣被、飲食、床榻、湯藥、諸生活具者，比丘必勝，則法不衰，若比丘行此七不衰法，受持不犯者，比丘必勝，則法不衰。」

[T1.649c01] 於是，世尊復告諸比丘曰：「我為汝等更說七不衰法，汝等諦聽，善思念之。」

[T1.649c03] 時，諸比丘白曰：「唯然。」

[T1.649c03] 佛言：「云何為七？若比丘尊師，恭敬、極重供養、奉事者，比丘必勝，則法不衰，若比丘法、眾、戒、不放逸、供給、定，恭敬、極重供養、奉事者，比丘必勝，則法不衰，若比丘行此七不衰法，受持不犯者，比丘必勝，則法不衰。」

[T1.649c08] 世尊復告諸比丘曰：「我為汝等更說七不衰法，汝等諦聽，善思念之。」

---

[1] 俱＝具【聖】
[2]〔彼〕－【聖】
[3] 宴＝燕【聖】

[T1.649c10] 時[1]，諸比丘白曰：「唯然。」

[T1.649c10] 佛言：「云何為七？若比丘不行於業，不樂於業，不習業者，比丘必勝，則法不衰，不行譁說，不樂譁說，不習譁說者，不行聚會，不樂聚會，不習聚會者，不行雜合，不樂雜合，不習雜合者，不行睡眠，不樂睡眠，不習睡眠者，不為利，不為譽，不為他人行梵行者，不為暫爾，不為德勝，於其中間捨方便，令德勝者，比丘必勝，則法不衰，若比丘行此七不衰法，受持不犯者，比丘必勝，則法不衰。」

[T1.649c20] 世尊復告諸比丘曰：「我為汝等更說七不衰法，汝等諦聽，善思念之。」

[T1.649c21] 時，諸比丘白曰：「唯然。」

[T1.649c22] 佛言：「云何為七？若比丘成就信財、戒財、慚財、愧財、博[2]聞財、施財，成就慧財者，比丘必勝，則法不衰，若比丘行此七不衰法，受持不犯者，比丘必勝，則法不衰。」

[T1.649c25] 世尊復告諸比丘曰：「我為汝等更說七不衰法，汝等諦聽，善思念之。」

[T1.649c27] 時，諸比丘白曰：「唯然。」

[T1.649c27] 佛言：「云何為七？若比丘成就信力、精[3]進力、慚力、愧力、念力、定力，成就慧力者，比丘必勝，則法不衰，若比丘行此七不衰法，受持不犯者，比丘必勝，則法不衰。」

[T1.650a02] 世尊復告諸比丘曰：「我為汝等更說七不衰法，汝等諦聽，善思念之。」

[T1.650a04] 時，諸比丘白曰：「唯然。」

[T1.650a04] 佛言：「云何為七？若比丘修念覺支[4]，依捨離、依無欲、依滅盡，趣向出要，擇[5]法、精進、喜、息、定，修捨覺*支，依捨離、依無欲、依滅

---

[1] 時＝持【聖】
[2]〔博〕－【聖】
[3]〔精〕－【宋】【元】【明】【聖】
[4] 支＝枝【聖】＊
[5] 擇＝釋【聖】

盡，趣向出要[1]者，比丘必勝，則法不衰，若比丘行此七不衰法，受持不犯者，比丘必勝，則法不衰。」

[T1.650a09] 世尊復告諸比丘曰：「我為汝等更說七不衰法，汝等諦聽，善思念之。」

[T1.650a11] 時，諸比丘白曰：「唯然。」

[T1.650a11] 佛言：「云何為七？若比丘應與面前律與面前律，應與憶律與憶律，應與不癡律與不癡律，應與自發露與自發露，應與居與居，應與展轉與展轉，眾中起諍，當以如棄糞掃止諍法止之者，比丘必勝，則法不衰，若比丘行此七不衰法，受持不犯者，比丘必勝，則法不衰。」

[T1.650a18] 世尊復告諸比丘曰：「今為汝等說六慰勞法，汝等諦聽，善思念之。」

[T1.650a19] 時，諸比丘白曰：「唯然。」

[T1.650a20] 佛言：「云何為六？以慈身業向諸梵行，是慰勞法，愛法樂法，令愛令重，令奉令敬，令修令攝，得沙門，得[2]一心，得精進，得涅槃，如是慈口業、慈意業。若有法利，如法得利，自所飯食，至在鉢中，如是利分，布施諸梵行，是慰勞法，愛法樂法，令愛令重，令奉令敬，令修令攝，得沙門，得一心，得精進，得涅槃。若有戒不缺、不穿、無穢、無黑，如地不隨他，聖所稱譽，具善受持，如是戒分，布施諸梵行，是慰勞法，愛法樂法，令愛令重，令奉令敬，令修令攝，得沙門，得一心，得精進，得涅槃。若有見是聖出要，明了深達，能正盡苦，如是見分，布施諸梵行，是慰勞法，愛法樂法，令愛令重，令奉令敬，令修令攝，得沙門，得一心，得精進，得涅槃，我向所言六慰勞法者，因此故說。」

[T1.650b07] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.650b08] 雨[3]勢[4]經第一竟(三千七字)[5]，

（一四三）中阿*含[1]梵志品

---

[1] 要＋（法）【宋】【元】【明】
[2]〔得〕－【聖】
[3]〔雨勢…竟〕六字－【明】
[4] 勢＝舍【宋】
[5]〔三千七字〕－【宋】【元】【明】【聖】

(Ma.143)[2]傷歌邏[3]經 第二(第三念誦)[4]

[T1.650b11] 我聞如是。

[T1.650b11] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.650b12] 爾時，傷歌*邏[5]摩納中後彷徉，往詣佛所，共相問訊，却坐一面，白曰：「瞿曇！我欲有所問，聽乃敢陳。」

[T1.650b14] 世尊告曰：「摩納。若有疑者，恣汝所問。」

[T1.650b15] 傷歌*邏摩納即便問曰：「瞿曇！梵志如法行乞財物，或自作齋，或教作齋，瞿曇！若自作齋，教作齋者，彼一切行無量福跡[6]，以因齋故，沙門瞿曇弟子隨族剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，自調御，自息止，自滅訖，如是沙門瞿曇弟子隨族行一福*跡，不行無量福*跡，因學道故。」

[T1.650b21] 爾時，尊者阿難執拂侍佛。於是，尊者阿難問曰：「摩納，此二[7]道*跡，何者最上、最妙、最勝耶？」

[T1.650b23] 傷歌*邏摩納語曰：「阿難！沙門瞿曇及阿難我俱恭敬、尊重、奉祠，

[T1.650b25] 尊者阿難復語曰：「摩納，我不問汝恭敬、尊重、奉祠誰，我但問汝此二道*跡，何者最上、最妙、最勝耶？」

[T1.650b27] 尊者阿難至再三問曰：「摩納，此二道*跡，何者最上、最妙、最勝耶？」

[T1.650b29] 傷歌*邏摩納亦再三語曰：「阿難！沙門瞿曇及阿難我俱恭敬、尊重、奉祠。」

[T1.650c01] 尊者阿難復語曰：「摩納，我不問汝恭敬、尊重、奉祠誰，我但問汝此二道跡，何者最上、最妙、最勝耶？」

---

[1]〔中阿含〕－【明】
[2] ～《增支部》A.3.60. Saṅgārava.(傷歌邏)
[3] 邏＝羅【宋】【元】【明】【聖】＊
[4]〔第三念誦〕－【明】
[5] [>傷歌邏]～Saṅgārava.
[6] 跡＝迹【聖】＊
[7] 二＝一【元】

[T1.650c04] 於是，世尊便作是念：此傷歌*邏摩納為阿難所屈，我寧可救彼。」

[T1.650c05] 世尊知已，告曰：「摩納，昔日王及群臣普集大會，共論何事，以何事故共集會耶？」

[T1.650c07] 傷歌*邏摩納答曰：「瞿曇！昔日王及群臣普集大會，共論如此事，何因何緣，昔沙門瞿曇施設少戒，然諸比丘多得道者，何因何緣，今沙門瞿曇施設多戒，然諸比丘少得道耶？瞿曇！昔日王及群臣普集大會，共論此事，以此事故共集會耳。」

[T1.650c12] 爾時，世尊告曰：「摩納，我今問汝，隨所解答，於意云何？若使有一沙門梵志自行如是道、如是*跡，行此道、行此*跡已，諸漏已盡，得無漏，心解脫、慧解脫，自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，彼為他說，我自行如是道、如是跡，行此道、行此*跡已，諸漏已盡，得無漏，心解脫、慧解脫，自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，汝等共來亦自行如是道、如是*跡，行此道、行此*跡已，諸漏已盡，得無漏，心解脫、慧解脫，自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，彼亦自行如是道、如是跡，行此道、行此*跡已，諸漏已盡，得無漏，心解脫、慧解脫，自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，彼為他說，他為他[1]說，如是展轉無量百千，於摩納意云何，我弟子隨族剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，行一福*跡不行無量福*跡，因學道故耶？」

[T1.651a03] 傷歌*邏摩納答曰：「瞿曇！如我解沙門瞿曇所說義，彼沙門瞿曇弟子隨族剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道、行無量福跡，不行一福跡，因學道故。」

[T1.651a07] 世尊復告傷歌*邏曰：「有三示現，如意足示現、占念示現、教訓示現，摩納。云何如意足示現，有一沙門梵志，有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，於如意足心得自在，行無量如意足之[2]功德，謂分一為眾，合眾為一，一則住一，有知有見，不礙石壁，猶如行空，沒地如水，覆水如地，結加[3]趺坐，上昇虛空，猶如鳥翔，今此日月有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，以手捫摸，身至梵天，摩納，是謂如意足示現。」

[T1.651a16]「摩納。云何占念示現，有一沙門梵志，以他相占他意，有是意、如是意、實有是意，無量占不少占，彼一切真諦而無有虛設，不以他相占他意

---

[1] 他＝彼【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 之＝心【宋】
[3] 加＝跏【宋】【元】【明】【聖】

者，但以聞天聲及非人聲而占他意，有是意、如是意、實有是意，無量占不少占，彼一切真諦而無有虛設，不以他相占他意，亦不聞天聲及非人聲占他意者，但以他念、他思、他說，聞聲已，占他意，有是意、如是意、實有是意，無量占不少占，彼一切真諦而無有虛設，不以他相占他意，亦不以聞天聲及非人聲占他意，亦不以他念、他思、他說，聞聲已，占他意者，但以見他入無覺無觀定，見已，作是念：如此賢者不念不思，如意所願，彼賢者從此定寤[1]，如是念，彼從此定*寤即如是如是念，彼亦占過去，亦占未來，亦占現在，久所作、久所說，亦占安靜處、住安靜處，亦占至心、心所有法，摩納，是謂占念示現。」

[T1.651b05]「摩納。云何教訓示現，有一沙門梵志自行如是道、如是*跡，行此道、行此*跡已，諸漏已盡，得無漏，心解脫、慧解脫，自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，彼為他說，我自行如是道、如*是跡，行此道、行此*跡已，諸漏已盡，得無漏，心解脫、慧解脫，自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，汝等共來，亦自行如是道、如是*跡，行此道、行此*跡已，諸漏已盡，得無漏，心解脫、慧解脫，自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，彼亦自行如是道、如是*跡，行此道、行此*跡已，諸漏已盡，得無漏心解脫、慧解脫，自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真[2]，彼為他說，他為*他說，如是展轉無量百千，摩納，是謂教訓示現，此三示現，何者示現最上、最妙、最勝耶？」

[T1.651b23] 傷歌*邏摩納答曰：「瞿曇。若有沙門、梵志有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，於如意足心得自在，乃及身至梵天者，瞿曇！此自作自有，自受其報，瞿曇！於諸示現，此示現大法，瞿曇。若有沙門、梵志以他相占他意，乃至占心、心所有法者，瞿曇！此亦自作自有，自受其報，瞿曇！於諸示現，此亦示現大法，瞿曇。若有沙門、梵志自行如是道、如是*跡，行此道、行此*跡已，諸漏已盡，得無漏，心解脫、慧解脫，自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，彼為他說，他為*他說，如是展轉無量百千者，瞿曇！於三示現，此示現最上、最妙、最勝。」

[T1.651c08] 世尊復問傷歌*邏曰：「於三示現，稱歎何示現？」

[T1.651c09] 傷歌*邏摩納答曰：「瞿曇！於三示現，我稱說沙門瞿曇。所以者何？沙門瞿曇有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，心得自在，乃及

---

[1] 寤＝覺【宋】【元】【明】【聖】＊

[2] 真＋（汝等共來亦自行如是道如是迹行此道行此迹已諸漏已盡得無漏心解脫慧解脫自知自覺自作證成就遊生已盡梵行已立所作已辦不更受有知如真彼亦自行如是道如是迹行此道行此迹已諸漏已盡得無漏心解脫慧解脫自知自覺自作盡成就遊生已盡梵行已立所作已辦不更受有知如真）百十九字【聖】

身至梵天，沙門瞿曇以他相占他意，乃至占心、心所有法，沙門瞿曇示現如是道、如是*跡，行此道、行此*跡已，諸漏已盡，得無漏，心解脫、慧解脫，自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，沙門瞿曇為他說，他為*他說，如是展轉無量百千，瞿曇。是故於三示現，我稱歎沙門瞿曇！」

[T1.651c19] 於是，世尊告曰：「摩納，汝善達此[1]論。所以者何？我有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，於如意足心得自在，乃及身至梵天，摩納，我以他相占他意，乃至占心、心所有法，摩納，我自行如是道、如是*跡，行此道、行此*跡已，諸漏已盡，得無漏，心解脫、慧解脫，自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，我為他說，他為*他說，如是展轉無量百千，摩納。是故汝善達此論，汝當[2]如是善受善持[3]。所以者何？此所說義，應當如是。」

[T1.652a01] 於是，傷歌*邏摩納白曰：「世尊！我已知，善逝，我已解。世尊！我今自歸於佛、法及比丘眾，唯[4]願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.652a04] 佛說如是，傷歌*邏摩納、尊者阿難及諸比丘聞佛所[設>說]，歡喜奉行。」

[T1.652a06] [傷歌*邏經第二竟[5](二千二百五十二字)[6]，

（一四四）中阿*含[7]梵志品

(Ma.144)算數目揵連經[8] 第三(第三念誦)[9]

[T1.652a09] 我聞如是。

[T1.652a09] 一時，佛遊舍衛國，在東園鹿子母堂，

---

[1]〔此〕－【聖】
[2] 當＝常【宋】
[3] 持＝受【宋】【元】【明】
[4] 唯＝惟【宋】【元】【明】
[5]〔傷歌…竟〕七字－【明】
[6]〔二千…字〕八字－【宋】【元】【明】【聖】
[7]〔中阿含〕－【明】
[8] ～《中部》M.107. Gaṇakamoggallāna sutta. (算數家目犍連經)，No.70.《佛說數經》(大正 1.875a)
[9]〔第三念誦〕－【明】

[T1.652a10] 爾時，算數梵志目揵連[1]中後彷徉，往詣佛所，共相問訊，却坐一面，白曰：「瞿曇[2]，我欲有所問，聽乃敢陳，

[T1.652a12] 世尊告曰：「目揵連，恣汝所問，莫自疑難。」

[T1.652a13] 算數目揵連則便問曰：「瞿曇！此鹿子母堂漸次第作，轉後成訖，瞿曇！此鹿子母堂械[3]梯，初昇一隥[4]，後二、三、四，瞿曇！如是此鹿子母堂漸次第上，瞿曇！此御象者，亦漸次第調御成訖，謂因鉤故，瞿曇！此御馬者，亦漸次第調御成訖，謂因鞙[5]故，瞿曇！此剎利亦漸次第至成就訖，謂因捉弓箭故，瞿曇！此諸梵志亦漸次第至成就訖，謂因學經書故，瞿曇！我等學算數，以算數存命，亦漸次第至成就訖。若有弟子，或男或女，始教一一數，二、二、三、三、十、百、千、萬，次第至上，瞿曇！如是我等學算數，以算數存命，漸次第至成[6]訖，沙門瞿曇！此法、律中。云何漸次第作至成就訖？」

[T1.652a26] 世尊告曰：「目揵連。若有正說漸次第作，乃至成[7]訖，目揵連，我法、律中謂正說。所以者何？目揵連，我於此法、律漸次第作至成就訖，目揵連，若年少比丘初來學道，始入法、律者，如來先教，比丘！汝來身護命清淨，口、意護命清淨，目揵連，若比丘身護命清淨，口、意護命清淨者，如來復上教，比丘！汝來觀內身如身，至觀覺、心、法如法，目揵連，若比丘觀內身如身，至觀覺、心、法如法者，如來復上教，比丘！汝來觀內身如身，莫念欲相應念，至觀覺、心、法如法，莫念[8]非法相應念。」

[T1.652b08]「目揵連，若比丘觀內身如身，不念欲相應念，至觀覺[9]、心、法如法，不念非法相應念者，如來復上教，比丘！汝來守護諸根，常[10]念閉塞，念欲明達，守護念心而得成就，恒起正知，若眼見色，然不受相，亦不味色，謂忿諍故，守護眼根，心中不生貪伺、憂慼、惡不善法，趣向彼故，守護眼根，如是耳、鼻、舌、身，若意知法，然不受相，亦不味法，謂忿諍故，守護意根，心中不生貪伺、憂慼、惡不善法，趣向彼故，守護意根。」

[T1.652b17]「目揵連，若比丘守護諸根，常念閉塞，念欲明達，守護念心而得成就，恒起正知，若眼見色，然不受相，亦不味色，謂忿諍故，守護眼根，心中

---

[1] [>算數梵志目揵連]～Gaṇaka-Moggallāna [>brāhmaṇo]
[2] [>瞿曇]～Gotama.
[3] 械＝隥【元】【明】，＝減【聖】
[4] 隥＝橙【宋】【聖】
[5] 鞙＝衒【宋】，＝銜【聖】
[6] 第至成＝至成就【宋】【元】【明】，〔第〕－【聖】
[7] 成＋（就）【元】【明】
[8] 念＝令【聖】
[9] 覺＝學【聖】
[10] 常＝應【元】【明】

不生貪伺、憂慼、惡不善法，趣向彼故，守護眼根，如是耳、鼻、舌、身，若意知法，然不受相，亦不味法，謂[念>忿]諍故，守護意根，心中不生貪伺、憂慼、惡不善法，趣向彼故，守護意根者，如來復上教，比丘！汝來正知出入，善觀分別，屈伸[1]低仰，儀容庠序，善著僧伽梨[2]及諸衣鉢，行住坐臥、眠寤[3]語默，皆正知之。」

[T1.652b28]「目揵連，若比丘正知出入，善觀[4]分別，屈*伸低仰，儀容庠序，善著僧伽梨及諸衣鉢，行住坐臥、[眼>眠]*寤語默，皆正知者，如來復上教，比丘！汝來獨住遠離，在無事處，或至樹下空安靜[5]處、山巖石室、露地穰積，或至林中，或住[6]在塚[7]間，汝已在無事處，或至樹下空安*靜處，敷尼師檀[8]，結加[9]趺坐，正身正願，及[10]念不向，斷除貪伺[11]，心無有諍，見他財物、諸生活具，莫起貪伺，欲令我得，汝於貪伺淨除其心，如是瞋恚、睡眠、調[12]悔、斷疑、度惑，於諸善法無有猶豫，汝於疑惑淨除其心，汝斷此五蓋、心穢、慧羸、離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊，目揵連，若比丘離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊者，目揵連，如來為諸年少比丘多有所益，謂訓誨教訶，目揵連。若有比丘、長老、上尊、舊學梵行，如來復上教，謂究竟訖一切漏盡。」

[T1.652c16] 算數目揵連即復問曰：「沙門瞿曇！一切弟子如是訓誨，如是教訶，盡得究竟智必涅槃耶？」

[T1.652c18] 世尊答曰：「目揵連，不一向得，或有得者，或不[13]得者。」

[T1.652c19] 算數目揵連復更問曰：「瞿曇！此中何因何緣，有涅槃、有涅槃道，沙門瞿曇現在導[14]師，或有比丘如是訓誨，如是教訶，得究竟涅槃[15]，或復不得耶？」

---

[1] 伸＝申【宋】【元】【明】【聖】＊
[2] [>僧伽梨]～Saṁghāṭī.
[3] 寤＝覺【宋】【元】【明】【聖】＊
[4] 觀＝覺【聖】
[5] 靜＝靖【宋】【元】【明】【聖】＊
[6]〔住〕－【宋】【元】【明】【聖】
[7] 塚＝冢【聖】
[8] 檀＝壇【宋】【元】【明】
[9] 加＝跏【宋】【元】【明】【聖】
[10] 及＝反【元】【明】
[11] 伺＝向【聖】
[12] 調＝掉【元】【明】
[13] （有）＋不【聖】
[14] 導＝道【聖】＊
[15] [>究竟涅槃]～Accantaniṭṭhā.

[T1.652c22] 世尊告曰：「目揵連，我還問汝，隨所解答，目揵連，於意云何？汝知王舍城處，暗[1]彼道耶？」

[T1.652c24] 算數目揵連答曰：「唯然，我知王舍城處，亦*諳彼道。」

[T1.652c26] 世尊問曰：「目揵連。若有人來欲見彼王，至王舍城，其人問汝，我欲見王，至王舍城，算數目揵連知王舍城處，*暗彼道徑，可示語我耶？汝告彼人曰：「從此東行至彼某村，從某村去當至某邑，如是展轉至王舍城，若王舍城外有好園林，其地平正，樓觀浴池，若干華樹，俠[2]長流河，又有清泉盡見盡知，彼人聞汝語，受汝教已，從此東行，須臾不久，便捨[3]正道，從惡道還，若王舍城外有好園林，其地平正，樓觀浴池，若干華樹，*俠長流河，又有清泉，彼盡不見，亦不知也。」

[T1.653a08] 復有人來欲見彼王，至王舍城，其人問汝，我欲見王，至王舍城，算數目揵連知王舍城處，*諳彼道徑，可示語我耶？汝告彼人曰：「從此東行至彼[4]某村，從某村去當至某邑，如是展轉至王舍城，若王舍城外有好園林，其地平正，樓觀浴池，若干華樹，*俠長流河，又有清泉，盡見盡知，彼人聞汝語，受汝教已，即從此東行至彼某村，從某村去得至某邑，如是展轉至王舍城，若王舍城外有好園林，其地平正，樓觀浴池，若干華樹，*俠長流河，又有清泉，盡見盡知。」

[T1.653a19]「目揵連，此中何因何緣，有彼王舍城，有王舍城道，汝現在導師，彼第一人隨受汝教，於後不久，捨平正道，從惡道還，若王舍城外有好園林，其地平正，樓觀浴池，若干華樹，*俠長流河，又有清泉，彼盡不見，亦不知耶？彼第二人隨受汝教，從平正道展轉得至於王舍城，若王舍城外有好園林，其地平正，樓觀浴池，若干華樹，*俠長流河，又有清泉，彼盡見盡知耶？」

[T1.653a27] 算數目揵連答曰：「瞿曇！我都無事，有彼王舍城，有王舍城道，我現在*導師，彼第一人不隨我教，捨平正道，從惡道還，若王舍城外有好園林，其地平正，樓觀浴池，若干華樹，*俠長流河，又有清泉，彼盡不見，亦不知耶[5]，彼第二人隨順我教，從平正道展轉得至於王舍城，若王舍城外有好園林，其地平正，樓觀浴池，若干華樹，*俠長流河，又有清泉，彼盡見盡知*耶？」

---

[1] [諳>暗]＝闇【聖】＊
[2] 俠＝挾【元】【明】＊
[3] 便捨＝更念【聖】
[4] 彼＝使【聖】
[5] 耶＝耳【宋】【元】【明】【聖】＊

[T1.653b06] 世尊告曰：「如是，目揵連，我亦無事，有彼涅槃、有涅槃道，我為*導師，為諸比丘如是訓誨，如是教訶，得究竟涅槃，或有不得，目揵連，但各自隨比丘所行，爾時世尊便記彼行，謂究竟漏盡耳。」

[T1.653b11] 算數目揵連白曰：「瞿曇！我已知，瞿曇！我已解，瞿曇！猶如良地有娑羅林，彼中有守娑羅林人，明健[1]不懈，諸娑羅根以時鋤掘，平高填下，糞沃溉灌，不失其時，若其邊有穢惡草生[2]，盡拔棄之。若有橫曲[3]不調直者，盡[利-禾+名][4]治之。若有極好中直樹者，便權養護[5]，隨時鋤掘，糞沃溉灌，不失其時，如是良地娑羅樹林轉茂盛好，瞿曇！如是有人諛[6]諂、欺誑、極不庶幾無信、懈怠、無念、無定、惡慧、心狂、諸根掉[7]亂，持戒寬緩，不廣修沙門，瞿曇！如是之人不能共事。所以者何？瞿曇！如是人者，穢污梵行，瞿曇！若復有人不有*諛諂，亦不欺誑，庶幾有信，精進不懈，有念、有定，亦有智慧，極恭敬戒，廣修沙門，瞿曇！如是之人，能共事也。所以者何？瞿曇！如是人者，清淨梵行。」

[T1.653b26]「瞿曇！猶諸根香，沈香為第一。所以者何？瞿曇！彼沈香者，於諸根香為最上故，瞿曇！猶諸娑羅樹香，赤栴[8]檀為第一。所以者何？瞿曇！赤*栴檀者於諸娑羅樹香為最上故，瞿曇！猶諸水華，青蓮華為第一。所以者何？瞿曇！青蓮華者於諸水華為最上故，瞿曇！猶諸陸華，修摩那花為第一。所以者何？瞿曇！修摩那花者於諸陸花為最上故，瞿曇！猶如世中諸有論士，沙門瞿曇為最第一。所以者何？沙門瞿曇論士能伏一切外道異學故。世尊！我今自歸於佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自[9]歸，乃至命盡。」

[T1.653c09] 佛說如是，算數目揵連及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.653c12] 算數目揵連經第三竟[10](二千三百五十四字)[11]，

中阿*含經卷第三十五(七千六百一十三字[12])(第三念誦[1])[2]

---

[1] 健＝揵【宋】，＝健【元】
[2] 生＋（長）【宋】【元】【明】
[3]〔曲〕－【聖】
[4] [利-禾+名]＝喀【宋】【聖】
[5] 權養護＝擁護養【宋】【元】【明】，權＝擁【聖】
[6] 諛＝諭【聖】＊
[7] 掉＝調【聖】
[8] 栴＝旃【聖】＊
[9] 自＝身【聖】
[10]〔算數…竟〕九字－【明】
[11]〔二千…字〕八字－【宋】【元】【明】【聖】
[12]〔七千…字〕八字－【宋】【元】【明】【聖】

中阿含經

卷第三十六 (Ma.145~148)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（一四五）梵志品

(Ma.145)瞿默目揵連經[3] 第四(第三念誦)[4]

[T1.653c22] 我聞如是。

[T1.653c22] 一時，佛般涅槃後不久，尊者阿難[5]遊王舍城[6]。

[T1.653c23] 爾時，摩竭陀[7]大臣雨勢[8]治王舍城，為防跋耆故。於是，摩竭陀大臣雨勢遣瞿默目揵連[9]田作人，往至竹林加蘭哆園[10]，。

[T1.653c26] 爾時，尊者阿難過夜平旦，著衣持鉢，為乞食故，入[11]王舍城。於是，尊者阿難作是念：「且置王舍城乞食，我寧可往詣瞿默目揵連田作人所。於是，尊者阿難往詣瞿默目揵連田作人所。」

[T1.654a01] 梵志瞿默目揵連遙見尊者阿難來，即從坐[12]起，偏袒著衣，叉手向尊者阿難！白曰：「善來。阿難！久不來此，可坐此座，尊者阿難即坐彼座。」

[T1.654a04] 梵志瞿默目揵連與尊者阿難共相問訊，却坐一面，白曰：「阿難！欲有所問，聽我問耶？」

---

[1]〔第三念誦〕－【明】
[2] ＋（性空佛海德佛空王佛藥王菩薩藥上菩薩）十七字【聖】，＋（光明皇后願文）【聖】
[3] ～《中部》M. 108. Gopakamoggallāna sutta. (瞿默目犍連經)
[4]〔第三念誦〕－【明】
[5] [>阿難]～Ananda.
[6] [>王舍城]～Rajagaha.
[7] [>摩竭陀]～Māgadha
[8] 雨勢～Vassakāra.
[9] [>瞿默目揵連]～Gopaka-Moggallāna.
[10] [>加蘭哆園]～Kalandakanivāpa.
[11] （欲）＋入【宋】【元】【明】
[12] 坐＝座【元】【明】

[T1.654a06] 尊者阿難報曰：「目揵連，汝便可問，我聞當思。」

[T1.654a07] 則便問曰：「阿難！頗有一比丘與沙門瞿曇[1]等耶？」

[T1.654a08] 尊者阿難與梵志瞿默目揵連共論此事時，爾時，摩竭陀[2]大臣雨勢慰勞田作人，往詣梵志瞿默目揵連田作人所。

[T1.654a11] 摩竭*陀大臣雨勢遙見尊者阿難坐在梵志瞿默目揵連田作人中，往詣尊者阿難所，共相問訊，却坐一面，問曰：「阿難！與梵志瞿默目揵連共論何事，以何事故共會此耶？」

[T1.654a15] 尊者阿難答曰：「雨勢，梵志瞿默目揵連問我。阿難！頗有一比丘與沙門瞿曇等耶？」

[T1.654a17] 摩竭*陀大臣雨勢復問曰：「阿難！云何答彼？」

[T1.654a18] 尊者阿難答曰：「雨勢，都無一比丘與世尊等等，

[T1.654a19] 摩竭*陀大臣雨勢復問曰[3]：「唯然。阿難！無一比丘與世尊等等，頗有一比丘為沙門瞿曇在時所立，此比丘我般涅槃後，為諸比丘所依，謂令汝等今所依耶？」

[T1.654a22] 尊者阿難答曰：「雨勢，都無一比丘為世尊所知、見，如來、無所著、等正覺在時所立，此比丘我般涅槃後，為諸比丘所依，謂令我等今所依者。」

[T1.654a26] 摩竭*陀大臣雨勢復問曰：「阿難！唯然，無一比丘與沙門瞿曇等等，亦無一比丘為沙門瞿曇在時所立，此比丘我般涅槃後，為諸比丘所依，謂令汝等今所依者，頗有一比丘與眾共和集拜，此比丘世尊般涅槃後，為諸比丘所依，謂令汝等今所依耶？」

[T1.654b02] 尊者阿難答曰：「雨勢，亦無一比丘與眾共和集拜，此比丘世尊般涅槃後，為諸比丘所依，謂令我等今所依者。」

[T1.654b05] 摩竭*陀大臣雨勢復問曰：「阿難！唯然，無一比丘與沙門瞿曇等等，亦無一比丘為沙門瞿曇在時所立，此比丘我般涅槃後，為諸比丘所依，謂令汝等今所依者，亦無一比丘與眾共和集拜此[丘>比]丘，世尊般涅槃後，為諸

---

[1] [>瞿曇]～Gotama.
[2] 陀＝他【聖】＊
[3] 問曰＝阿問【元】

比丘所依，謂令汝等今所依者。阿難！若爾者，汝等無所依，共和合、不諍、安隱，同一一教，合一水乳，快樂遊行，如沙門瞿曇在時耶？」

[T1.654b13] 尊者阿難告曰：「雨勢，汝莫作是說，言我等無所依。所以者何？我等有所依耳。」

[T1.654b15] 摩竭*陀大臣雨勢白曰：「阿難！前後所說何不相應，阿難向如是說，無一比丘與世尊等等，亦無一比丘為世尊所知、見，如來、無所著、等正覺在時所立，此比丘我般涅槃後，為諸比丘所依，謂令我等今所依者，亦無一比丘與眾共和集拜，此比丘世尊般涅槃後，為諸比丘所依，謂令我等今所依者。阿難！何因何緣，今說我有所依耶？」

[T1.654b23] 尊者阿難答曰：「雨勢，我等不依於人而依於法，雨勢，我等若依村邑遊行，十五日說從[1]解脫時，集坐[二>一]處。若有比丘知法者，我等請彼比丘為我等說法，若彼眾清淨者，我等一切歡喜奉行彼比丘所說，若彼眾不清淨者，隨法所說，我等教作是。」

[T1.654b28] 摩竭*陀大臣雨勢白曰：「阿難！非汝等教作是，但法教作是。阿難！如是少法、多法可得久住者，如是阿難等共和合、不諍、安隱，同一一教，合一水乳，快樂遊行，如沙門瞿曇在時。」

[T1.654c03] 摩竭*陀大臣雨勢復問曰：「阿難！頗有可尊敬耶？」

[T1.654c05] 尊者阿難答曰：「雨勢，有可尊敬。」

[T1.654c05] 雨勢白曰：「阿難！前後所說何不相應，阿難向如是說，無一比丘與世尊共[2]等等，亦無一比丘為世尊在時所立，此比丘我般涅槃後，為諸比丘所依，謂令我等今所依者，亦無一比丘與眾共和集拜，此比丘世尊般涅槃後，為諸比丘所依，謂令我等今所依者。阿難！汝何因何緣，今說有可尊敬耶？」

[T1.654c12] 尊者阿難答曰：「雨勢，世尊知、見、如來、無所著、等正覺說有十法而可尊敬，我等若見比丘有此十法者，則共愛敬、尊重、供養、宗奉，禮事於彼比丘。云何為十？雨勢，比丘修習禁戒，守護從解脫，又復善攝威儀禮節，見纖芥[3]罪，常懷畏怖，受持學戒，雨勢，我等若見比丘極行增上戒者，則共愛敬、尊重、供養、宗奉，禮事於彼比丘。復次，雨勢，比丘廣學多聞，守持不忘，積聚博聞，所謂法者，初妙、中妙、竟亦妙，有義有文，具足清淨，

---

[1] 從＝誦【宋】【元】【明】
[2]〔共〕－【宋】【元】【明】【聖】
[3] 芥＝介【聖】

顯現梵行，如是諸法廣學，多聞誦習至千[1]，意所推[2]觀，明見深遠[3]，雨勢，我等若見比丘極多聞者，則共愛敬、尊重、供養、宗奉，禮事於彼比丘。」

[T1.654c25]「復次，雨勢，比丘作善知識，作善朋友，作善伴黨，雨勢，我等若見比丘極善知識者，則共愛敬、尊重、供養、宗奉，禮事於彼比丘。復次，雨勢，比丘樂住遠離，成就二遠離，身及心也。雨勢，我等若見比丘極樂住遠離者，則共愛敬、尊重、供養、宗奉，禮事於彼比丘。復次，雨勢，比丘樂於燕[4]坐，內行正止，亦不離伺，成就於觀，增長空行，雨勢，我等若見比丘極樂*燕坐者，則共愛敬、尊重、供養、宗奉，禮事於彼比丘。」

[T1.655a05]「復次，雨勢，比丘知足，衣取覆形，食取充軀，隨所遊至，與衣鉢俱，行無顧戀，猶如鷹鳥，與[5]兩翅俱，飛翔空中，如是比丘知足，衣取覆形，食取充軀，隨所遊至，與衣鉢俱，行無顧戀，雨勢，我等若見比丘極知足者，則共愛敬、尊重、供養、宗奉，禮事於彼比丘。復次，雨勢，比丘常行於念，成就正念，久所曾習，久所曾聞，恒憶不忘，雨勢，我等若見比丘極有正念者，則共愛敬、尊重、供養、宗奉，禮事於彼比丘。復次，雨勢，比丘常行精進，斷惡不善，修諸善法，恒自起意，專一堅固，為諸善本，不捨方便，雨勢，我等若見比丘極精懃者，則共愛敬、尊重、供養、宗奉，禮事於彼比丘。」

[T1.655a18]「復次，雨勢，比丘修行智慧，觀興衰法，得如此智，聖慧明達，分別曉了，以正盡苦，雨勢，我等若見比丘極行慧者，則共愛敬、尊重、供養、宗奉，禮事於彼比丘。復次，雨勢，比丘諸漏已盡，而得無漏，心解脫、慧解脫，自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，雨勢，我等若見比丘諸漏盡者，則共愛敬、尊重、供養、宗奉，禮事於彼比丘，雨勢，世尊知見，如來、無所著、等正覺說此十法而可尊敬，雨勢，我等若見比丘行此十法者，則共愛敬、尊重、供養、宗奉，禮事於彼比丘。」

[T1.655a29] 於是，彼大眾放高大音聲：「可修直道，非不可修，若修直道，非不可修者，隨世中阿羅訶愛敬、尊重、供養、禮事，若諸尊可修直道而能修者。是故世中阿羅訶愛敬、尊重、供養、禮事。」

[T1.655b05] 於是，摩竭*陀大臣雨勢及其眷屬問曰：「阿難！今遊何處？」

[T1.655b06] 尊者阿難答曰：「我今遊行此王舍城竹林加蘭哆園。」

---

[1] 千＝于【明】
[2] 推＝惟【聖】
[3] 遠＝達【宋】【元】【明】【聖】
[4] 燕＝宴【宋】＊【元】＊【明】＊
[5]〔與〕－【聖】

[T1.655b07]「阿難！竹林加蘭哆園至可愛樂，政[1]頓可喜[2]，晝不喧鬧，夜則靜[3]寂，無有蚊虻，亦無蠅蚤，不寒不熱。阿難！樂住竹林加蘭哆園耶？」

[T1.655b10] 尊者阿難答曰：「如是，雨勢。如是，雨勢，竹林加蘭哆園至可愛樂，*政頓可*喜，晝不喧鬧，夜則*靜寂，無有蚊虻，亦無蠅蚤，不寒不熱，雨勢，我樂住竹林加蘭哆園中。所以者何？以世尊擁護故。」

[T1.655b15] 是時，婆難[4]大將在彼眾中，婆難大將白曰：「如是，雨勢。如是，雨勢，竹林加蘭哆園至可愛樂，*政頓可*喜，晝不喧鬧，夜則*靜寂，無有蚊虻，亦無蠅蚤，不寒不熱，彼尊者樂住竹林加蘭哆園。所以者何？此尊者行伺、樂伺故。」

[T1.655b20] 摩竭*陀大臣雨勢聞已，語曰：「婆難大將，沙門瞿曇昔時遊行金鞞羅樂園中，婆難大將，爾時我數往詣彼，見沙門瞿曇。所以者何？沙門瞿曇行伺、樂伺，稱歎一切伺。」

[T1.655b23] 尊者阿難聞已，告曰：「雨勢，莫作是說，沙門瞿曇稱說一切伺。所以者何？世尊或稱說伺，或不稱說。」

[T1.655b26] 摩竭*陀大臣雨勢復問曰：「阿難！沙門瞿曇不稱說伺，不稱說何等伺 ？」

[T1.655b27] 尊者阿難答曰：「雨勢，或有一貪欲所纏而起貪欲，不知出要如真，彼為貪欲所障礙故，伺、增伺而重伺，雨勢，是謂第一伺，世尊不稱說。復次，雨勢，或有一瞋恚所纏而起瞋恚，不知出要如真，彼為瞋恚所障礙故，伺、增伺而重伺，雨勢，是謂第二伺，世尊不稱說。復次，雨勢，睡眠所纏而起睡眠，不知出要如真，彼為睡眠所障礙故，伺、增伺而重伺，雨勢，是謂第三伺，世尊不稱說。復次，雨勢，疑惑所纏而起疑惑，不知出要如真，彼為疑惑所障礙故，伺、增伺而重伺，雨勢，是謂第四伺，世尊不稱說，雨勢，世尊不稱說此四伺。」

[T1.655c11] 摩竭*陀大臣雨勢白曰：「阿難！此四伺可增[5]可*增處，沙門瞿曇不稱說。所以者何？正盡覺故。」

[T1.655c13] 摩竭*陀大臣雨勢復問曰：「阿難！何等伺沙門瞿曇所稱說？」

---

[1] 政＝整【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 喜＝憙【聖】＊
[3] 靜＝靖【宋】【元】【明】【聖】＊
[4] 婆難～Upananda.
[5] 增＝憎【宋】【元】【明】【聖】＊

[T1.655c14] 尊者阿難答曰：「雨勢，比丘者，離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊，雨勢，世尊稱說此四伺。」

[T1.655c16] 摩竭*陀大臣雨勢白曰：「阿難！此四伺可稱可稱處，沙門瞿曇所稱[1]。所以者何？以正盡覺故。阿難！我事煩猥，請退還歸。」

[T1.655c19] 尊者阿難告曰：「欲還隨意。」

[T1.655c20] 於是，摩竭*陀大臣雨勢聞尊者阿難所說，善受善持，即從坐起，繞尊者阿難三匝而去。」

[T1.655c22] 是時，梵志瞿默目揵連於摩竭*陀大臣雨勢去後不久，白曰：「阿難！我所問事，都不答耶？」

[T1.655c24] 尊者阿難告曰：「目揵連，我實不答。」

[T1.655c25] 梵志瞿默目揵連白曰：「阿難！我更有所問，聽我問耶？」

[T1.655c26] 尊者阿難答曰：「目揵連，汝便可[2]問，我聞當思。」

[T1.655c27] 梵志瞿默目揵連即問曰：「阿難！若如來、無所著、等正覺解脫及慧解脫、阿羅訶解脫，此三[3]解脫有何差別，有何勝如？」

[T1.656a01] 尊者阿難答曰：「目揵連，若如來、無所著、等正覺解脫及慧解脫、阿羅訶解脫，此*三解脫無有差別，亦無勝如。」

[T1.656a03] 梵志瞿默目揵連白曰：「阿難！可在此食，尊者阿難默然而受。」

[T1.656a04] 梵志瞿默目揵連知默然受已，即從坐[4]起，自行澡水，極美淨妙，種種豐饒食噉含消，自手斟酌，極令飽滿，食訖舉器，行澡水竟，取一小床，別坐聽法。

[T1.656a08] 尊者阿難為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已[5]，尊者阿難所說如是，摩竭*陀大臣雨勢眷屬及梵志瞿默目揵連聞尊者阿難所說，歡喜奉行。

[T1.656a13] 瞿默目揵連經第四竟[1](三千一百四十三字)[2]，

---

[1] 稱＋（說）【宋】【元】【明】【聖】
[2] 便可＝可便【宋】【元】【明】
[3] 三＝二【聖】＊
[4] 坐＝座【元】【明】
[5]〔已〕－【宋】【元】【明】【聖】

（一四六）中阿[3]含[4]梵志品

(Ma.146)象跡喻經[5] 第五(第三念誦)[6]

[T1.656a16] 我聞如是。

[T1.656a16] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.656a17] 爾時，卑盧[7]異學平旦則從舍衛國出，往詣佛所，稽首作禮，却坐一面，佛為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，默然而住，卑盧異學，佛為說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即從坐[8]起，稽首佛足，繞三匝而去。

[T1.656a22] 爾時，生聞梵志[9]乘極好白乘，與五百弟子俱，以平旦時從舍衛出，至無事處，欲教弟子諷讀[10]經書，生聞梵志遙見卑盧異學來，便問：「婆蹉[11]，晨起從何處來？」

[T1.656a26] 卑盧異學答曰：「梵志，我見世尊禮事、供養來。」

[T1.656a27] 生聞梵志問曰：「婆蹉，頗知沙門瞿曇空安靜處學智慧耶？」

[T1.656a28] 卑盧異學答曰：「梵志，何等人可知世尊空安靜處學智慧耶？梵志，若知世尊空安靜處學智慧者，亦當如彼，但，梵志，我所讀書有四句義，因四句義，我必信世尊、如來、無所著、等正覺，世尊[12]所說法善，如來弟子聖眾善趣，梵志，譬善象師遊無事處，於樹林間見大象跡，見已，必信彼象極大而有此跡，梵志，我亦如是，我所讀書有四句義，因四句義，我必信世尊、如來、無所著、等正覺，*世尊所[13]說法善，如來弟子聖眾善趣。」

---

[1]〔瞿默…竟〕九字－【明】
[2]〔三千…字〕八字－【宋】【元】【明】【聖】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] 含＝鉛【聖】＊
[5] ～《中部》M. 27. Hatthipadopama sutta(cūḷa). (象跡喻小經)
[6]〔第三念誦〕－【明】
[7] [>卑盧]～Pilotika.
[8] 坐＝座【元】【明】
[9] [>生聞梵志]～Jāṇussoni brāhmaṇa.
[10] 讀＝誦【宋】
[11] [>婆蹉]～Vacchāyana.
[12]〔世尊〕－【宋】【元】【明】【聖】＊
[13] 所＝而【宋】【元】【明】【聖】

[T1.656b09]「云何四句義，梵志，智慧剎利論士多聞決定，能伏世人，無所不知，則以諸見造作文章，行於世間，彼作是念：我往沙門瞿曇所，問如是如是事，若能答者，當復重問，若不能答，便伏捨去，彼聞世尊遊某村邑，便往彼所，見世尊已，尚不敢問，況復能伏，梵志，我所讀書，用得如此第一句義，我因此義，必信世尊、如來、無所著、等正覺，*世尊所說法善，如來弟子聖眾善趣。」

[T1.656b18] 如是智慧梵志、智慧居士、智慧沙門論士多聞決定，能伏世人，無所不知，則以諸見造作文章，行於世間，彼作是念：我往沙門瞿曇所，問如是如是事，若能答者，當復重問，若不能答，便伏捨去，彼聞世尊遊某村邑，便往彼所，見世尊已，尚不敢問，況復能伏，梵志，我所讀書，用得如此第四句義，我因此義，必信世尊、如來、無所著、等正覺，*世尊所說法善，如來弟子聖眾善趣，梵志，我所讀書有此四句義，我因此四句義故，必信世尊、如來、無所著、等正覺，*世尊所說法善，如來弟子聖眾善趣。」

[T1.656b29] 生聞梵志語曰：「婆蹉，汝大供養沙門瞿曇！所因所緣，歡喜奉行。」

[T1.656c01] 卑盧異學答曰：「梵志。如是，如是，我極供養於彼世尊！亦極稱譽，一切世間亦應供養。」

[T1.656c03] 彼時，生聞梵志聞此義已，即從乘下，右膝著地，叉手向於勝林給孤獨園。再三作禮，南無如來、無所著、等正覺，如是至三已，還乘極好白乘，往詣勝林給孤獨園。到彼乘地，即便下乘，步進詣佛，共相問訊，却坐一面。

[T1.656c08] 生聞梵志向與卑盧異學所共[1]論事盡向佛說，世尊聞已，告曰：「梵志，卑盧異學說象跡喻，猶不善作，亦不具足，如象跡喻善作具足者，今為汝說，當善聽之，梵志，譬善象師遊無事處，於樹林間見大象跡，見已，必信彼象極大而有此跡，梵志，彼善象師或不信者，於此林中復有母象，名加梨[少/兔][2]，身極高大，彼有此跡，即尋此跡，復見大象跡，見已，必信彼象極大而有此跡。」

[T1.656c17]「梵志，彼善象師或復不信，於此林中更有母象，名加羅梨[3]，身極高大，彼有此跡，即尋此跡，復見大象跡，見已，必信彼象極大而有此跡，梵志，彼善象師或復不信，於此林中更有母象，名婆恕[4][少/兔][1]，身極高大，彼

[1] 所共＝共所【宋】【元】【明】【聖】
[2] [>加梨[少/兔]]～Kaṇerukā.
[3] [>加羅梨]～Kāḷārikā.
[4] 恕＝和【聖】

有此跡，即尋此跡，復見大象跡，見已，必信彼象極大而有此跡，彼尋此跡已，見大象跡，大象跡方極長極廣，周匝遍著，正深入地，及見彼象，或去或來，或住或走，或立或臥，見彼象已，便作是念。若有此跡，必是大象。」

[T1.656c26]「梵志。如是，若世中出如來、無所著[2]、等正覺、明行成為、善逝[3]、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼於此世，天及魔、梵、沙門、梵志，乃至天、人，自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，彼說法初妙、中妙、竟亦妙，有義有文，具足清淨，顯現梵行，彼所說法，或居士、居士子，聞已得信，於如來正法、律彼得信已，便作是念：在家至狹[4]，塵勞之處，出家學道，發露曠大，我今在家，為鏁所鏁，不得盡形壽淨修梵行，我寧可捨於少財物及多財物，捨少親族及多親族，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道。」

[T1.657a09]「彼於後時，捨少財物及多財物，捨少親族及多親族，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信捨家、無家、學道，彼出家已，捨親族相，受比丘要，修習禁戒，守護從解脫，又復善攝威儀禮節，見纖芥[5]罪，常懷畏怖，受持學戒。」

[T1.657a14]「彼離殺、斷殺，棄捨刀杖，有慚有愧，有慈悲心，饒益一切，乃至蜫蟲，彼於殺生淨除其心，彼離不與取、斷不與取，與而後取，樂於與取，常好布施，歡喜無悋[6]，不望其報，彼於不與取淨除其心，彼離非梵行、斷非梵行，勤修梵行，精勤妙行，清淨無穢，離欲斷婬[7]，彼於非梵行淨除其心。」

[T1.657a21]「彼離妄言、斷妄言，真諦言，樂真諦，住真諦，不移動，一切可信，不欺世間，彼於妄言淨除其心，彼離兩舌、斷於兩舌，行不兩舌，不破壞他，不聞此語彼，欲破壞此，不聞彼語此，欲破壞彼，離者欲合，合者歡喜，不作群黨，不樂群黨，不稱說群黨事，彼於兩舌淨除其心，彼離麤言、斷於麤言。若有所言，辭氣麤[麩-夫+黃][8]，惡聲逆耳，眾所不憙，眾所不愛，使他苦惱，令不得定，斷如是言。若有所言，清和柔[9]潤，順耳入心，可憙可愛，使他安隱，言聲具了，不使人畏，令他得定，說如是言，彼於麤言淨除其心，彼離綺語、斷於綺語，時說、真說、法說、義說、止息說、樂止息說，事隨時得宜，善教善訶，彼於綺語淨除其心。」

---

[1] [>婆恕[少/兔]]～Vāmanikā.
[2] 著＋（等）【聖】
[3] 逝＝遊【聖】
[4] 狹＝夾【聖】
[5] 芥＝介【聖】
[6] （法）＋悋【聖】
[7] 婬＝望【聖】
[8] [麩-夫+黃]＝[麩-夫+廣]【宋】，＝獷【元】【明】
[9] 柔＝氣【聖】

[T1.657b06]「彼離治生、斷於治生、棄捨稱量及斗斛，亦不受貨，不縛束人，不望折斗量，不以小利侵欺於人，彼於治生淨除其心。」

[T1.657b09]「彼離受寡婦、童女，斷受寡婦、童女、彼於受寡婦、童女淨除其心，彼離受奴婢、斷受奴婢，彼於受奴婢淨除其心，彼離受象、馬、牛、羊，斷受象、馬、牛、羊，彼於受象、馬、牛、羊淨除其心，彼離受雞、猪，斷受雞、猪，彼於受雞、猪淨除其心，彼離受田業、店[1]肆，斷受田*業、店肆，彼於受田業、*店肆淨除其心，彼離受生稻、麥、豆，斷受生稻、麥、豆，彼於受生稻、麥、豆淨除其心。」

[T1.657b18]「彼離酒、斷酒，彼於飲酒淨除其心，彼離高廣大床、斷高廣大床，彼於[2]高廣大床淨除其心，彼離華鬘、瓔珞、塗香、脂粉，斷花鬘、瓔珞、塗香、脂粉，彼於華鬘、瓔珞、塗香、脂粉淨除其心，彼離歌舞[3]、倡妓及往觀聽，斷歌*舞、倡妓及往觀聽，彼於歌舞、倡妓及[4]往觀聽淨除其心，彼離受生色、像[5]寶，斷受生色、*像寶，彼於受生色、*像寶淨除其心，彼離過中食，斷過中食，一食、不夜食、學時食，彼於過中食淨除其心。」

[T1.657b27]「彼已成就此聖戒聚，復行極知足，衣取覆形，食取充軀，隨所遊至，與衣鉢俱，行無顧戀，猶如鷹[6]鳥，與兩翅俱，飛翔空中，彼已成就此聖戒聚，及極知足，復守護諸根，常念閉塞，念欲明達，守護念心而得成就，恒起正知，若眼見色，然不受想[7]，亦不味色，謂忿諍故，守護眼根，心中不生貪伺、憂慼、惡不善法，趣向彼故，守護眼根，如是耳、鼻、舌、身，若意知法，然不受想[8]，亦不味法，謂忿諍故，守護意根，心中不生貪伺、憂慼、惡不善法，趣向彼故，守護意根。」

[T1.657c09]「彼已成就此聖戒聚，及極知足，守護諸根，復正知出入，善觀分別，屈[伸[9]低仰，儀容庠序，善著僧伽梨[10]及諸衣鉢，行住坐臥，眠寤[11]語默，皆正知之，彼已成就此聖戒聚，及極知足，守護諸根，正知出入，復獨住遠離，在無事處，或至樹下空安靖處、山巖石室、露地穰積，或至林中，或在塚[12]間，彼已在無事處，或至樹下空安靜[1]處，敷尼師檀[2]，結加[3]趺坐，正身正

---

[1] 店＝玷【聖】＊
[2] 彼於＝於彼【聖】
[3] 舞＝儛【聖】＊
[4]〔及〕－【聖】
[5]〔像〕－【聖】＊
[6] 鷹＝鸞【聖】
[7] 想＝相【聖】
[8] 想＝相【宋】【元】【聖】
[9] 伸＝申【宋】【元】【明】【聖】
[10] [>僧伽梨]～Samghātī.
[11] 寤＝覺【宋】【元】【明】【聖】
[12] 塚＝冢【聖】

願，返[4]念不向，斷除貪伺，心無有諍，見他財物諸生活具，不起貪伺，欲令我得，彼於貪伺淨除其心。」

[T1.657c19]「如是瞋恚、睡眠、調[5]悔、斷疑、度惑，於諸善法，無有猶豫，彼於疑惑淨除其心，彼斷此五蓋、心穢、慧羸，離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，逮初禪成就遊，梵志，是謂如來所屈[6]，如來所行，如來所服，然彼不以此為訖，世尊、如來、無所著、等正覺，*世尊所說法善，如來弟子聖眾善趣，彼覺觀已息，內靖、一心，無覺、無觀，定生喜、樂，逮第二禪成就遊，梵志，是謂如來所*屈，如來所行，如來所服，然彼不以此為訖，世尊、如來、無所著、等正覺，*世尊所說法善，如來弟子聖眾善趣。」

[T1.658a01]「彼離喜欲，捨無求遊，正念正智而身覺樂，謂聖所說、聖所捨、念、樂住、室，逮第三禪成就遊，梵志，是謂如來所*屈，如來所行，如來所服，然彼不以此為訖，世尊、如來、無所著、等正覺，*世尊所說法善，如來弟子聖眾善趣，彼樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦不樂、捨念、清淨，逮第四禪成就遊，梵志，是謂如來所*屈，如來所行，如來所服，然彼不以此為訖，世尊、如來、無所著、等正覺，*世尊所說法善，如來弟子聖眾善趣。」

[T1.658a10]「彼已得如是定心，清淨無穢，無煩柔軟，善住得不動心，趣向漏盡智通作證，彼知此苦如真，知此苦習[7]，知此苦滅，知此苦滅道如真，知此漏如真，知此漏*習，知此漏滅，知此漏滅道如真，彼如是知、如是見，欲漏心解脫，有漏、無明漏心解脫，解脫已，便知解脫，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，梵志，是謂如來所*屈，如來所行，如來所服，彼以此為訖，世尊、如來、無所著、等正覺，*世尊所說法善，如來弟子聖眾善趣，梵志，於意云何？如是象跡喻善作具足耶？」

[T1.658a21] 生聞梵志答曰：「唯然，瞿曇！如是象跡喻善作具足。」

[T1.658a22] 生聞梵志白曰：「世尊！我已知，善逝[8]，我已解。世尊！我今自歸於佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.658a26] 佛說如是，生聞梵志及卑盧異學聞佛所說，歡喜奉行。

---

[1] 靜＝靖【宋】【元】【明】【聖】
[2] 檀＝壇【宋】【元】【明】
[3] 加＝跏【宋】【元】【明】【聖】
[4] 返＝反【宋】【元】【明】【聖】
[5] 調＝掉【元】【明】
[6] 屈＝崛【宋】＊，＝掘【元】【明】【聖】＊
[7] 習＝集【元】【明】＊
[8] 逝＝遊【聖】

[T1.658a28] 象跡喻經第五竟 [1](二千九百八十八字)[2]，

（一四七）中阿*含 [3]梵志品

(Ma.147)聞德經 第六(第三念誦)[4]

[T1.658b02] 我聞如是。

[T1.658b02] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.658b03] 爾時，生聞梵志中後彷徉，往詣佛所，共相問訊，却坐一面，白曰：「瞿曇！我欲有所問，聽乃敢陳。」

[T1.658b05] 世尊告曰：「梵志，恣汝所問。」

[T1.658b05] 生聞梵志即便問曰：「沙門瞿曇弟子或有在家，或有出家學道，以何義故博聞誦習耶？」

[T1.658b07] 世尊答曰：「梵志，我弟子或有在家，或出家學道，所以博聞誦習，欲自調御，欲自息止，自求滅訖，梵志，我弟子或有在家，或出家學道，以此義故博聞誦習。」

[T1.658b11] 生聞梵志復問曰：「瞿曇！博聞誦習有差別耶？博聞誦習有功德耶？」

[T1.658b12] 世尊答曰：「梵志，博聞誦習而有差別，博聞誦習則有功德。」

[T1.658b14] 生聞梵志復問曰：「瞿曇！博聞誦習有何差別，有何德 [5]耶？」

[T1.658b15] 世尊答曰：「梵志，多聞聖弟子晝日作業，欲得其利，彼所作業敗壞不成，彼所作業敗壞不成已，然不憂慼、愁煩、啼哭，不椎 [6]身懊惱，亦不癡狂，梵志，若多聞聖弟子晝日作業，欲得其利，彼所作業敗壞不成，彼所作業敗壞不成已，然不憂慼、愁煩、啼哭，不*椎身懊惱，亦不癡狂者，梵志，是謂博聞誦習而有差別，有此功德。」

---

[1]〔象跡…竟〕七字－【明】
[2]〔二千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4]〔第三念誦〕－【明】
[5]　（功）＋德【宋】【元】【明】
[6] 椎＝推【聖】＊

[T1.658b23]「復次，梵志，多聞聖弟子所有愛念，異無散解，不復相應，與別離已，然不憂慼、愁煩、啼哭，不*椎身懊惱，亦不癡狂，梵志，若多聞聖弟子所有愛念，異無散解，不復相應，與別離已，然不憂慼、愁煩、啼哭，不*椎身懊惱，亦不癡狂者，梵志，是謂博聞誦習而有差別，有此功德。」

[T1.658b29]「復次，梵志，多聞聖弟子知所有財物皆悉無常，念出家學道，梵志，若多聞聖弟子知所有財物皆悉無常，念出家學道者，梵志，是謂博聞誦習而有差別，有此功德。復次，梵志，多聞聖弟子知所有財物皆悉無常已，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，梵志，若多聞聖弟子知所有財物皆悉無常已，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，梵志，是謂博聞誦習而有差別，有此功德。」

[T1.658c09]「復次，梵志，多聞聖弟子能忍飢渴、寒熱、蚊虻、蠅蚤，風日所逼、惡聲捶[1]杖亦能忍之，身遇諸疾，極為苦痛，至命欲絕，諸不可樂皆能堪耐，梵志，若多聞聖弟子能忍飢渴、寒熱、蚊虻、蠅蚤，風日所逼、惡聲*捶杖亦能忍之，身遇諸疾，極為苦痛，至命欲絕，諸不可樂皆能堪耐者，梵志，是謂博聞誦習而有差別，有此功德。」

[T1.658c16]「復次，梵志，多聞聖弟子堪耐不樂，生不樂已，心終不著，梵志，若多聞聖弟子堪耐不樂，生不樂已，心終不著者，梵志，是謂博聞誦習而有差別，有此功德。」

[T1.658c20]「復次，梵志，多聞聖弟子堪耐恐怖，生恐怖已，心終不著，梵志，若多聞聖弟子堪耐恐怖，生恐怖已，心終不著，梵志，是謂博聞誦習而有差別，有此功德。」

[T1.658c23]「復次，梵志，多聞聖弟子若生三惡不善之念，欲念、恚念及害念，為此三惡不善念已，心終不著，梵志，若多聞聖弟子若生三惡不善之念，欲念、恚念及害念，為此三惡不善念已，心終不著者，梵志，是謂博聞誦習而有差別，有此功德。」

[T1.658c29]「復次，梵志，多聞聖弟子離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊，梵志，若多聞聖弟子離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊者，梵志，是謂博聞誦習而有差別，有此功德。」

[T1.659a04]「復次，梵志，多聞聖弟子三結已盡，得須陀洹，不墮惡法，定趣正覺，極受七有，天上、人間七往來已，則得苦邊，梵志，若多聞聖弟子三結已

[1] 捶＝搖【聖】＊

盡，得須陀洹，不墮惡法，定趣正覺，極受七有，天上、人間七往來已，則得苦邊者，梵志，是謂博聞誦習而有差別，有此功德。」

[T1.659a10]「復次，梵志，多聞聖弟子三結已盡，*婬、怒、癡薄，得一往來，天上、人間一往來已，則得苦邊，梵志，若多聞聖弟子三結已盡，婬、怒、癡薄，得一往來，天上人間一往來已，則得苦邊者，梵志，是謂博聞誦習而有差別，有此功德。」

[T1.659a15]「復次，梵志，多聞聖弟子五下分結盡，生彼間已，便般涅槃，得不退法，不還此世，梵志，若多聞聖弟子五下分結盡，生彼間已，便般涅槃，得不退法，不還此世者，梵志，是謂博聞誦習而有差別，有此功德。」

[T1.659a19]「復次，梵志，多聞聖弟子有息解脫，離色得無色如其像定，身作證成就遊，慧觀斷漏而知漏，梵志，若多聞聖弟子有息解脫，離色得無色如其像定，身作證成就遊，慧觀斷漏而知漏者，梵志，是謂博聞[1]誦習而有差別，有此功德。」

[T1.659a25]「復次，梵志，多聞聖弟子如意足、天耳、他心智、宿命智、生死智，諸漏已盡，得無漏，心解脫、慧解脫，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，梵志，若多聞聖弟子如意足、天耳、他心智、宿命智、生死智，諸漏已盡，得無漏，心解脫、慧解脫，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真者，梵志，是謂博聞誦習而有差別，有此功德。」

[T1.659b05] 生聞梵志復問世尊：「此博聞誦習有此差別，有此功德，頗更有差別，更有功德，最上、最妙、最勝耶？」

[T1.659b07] 世尊答曰：「梵志，此博聞誦習有此差別，有此功德，更無差別，更無功德，最上、最妙、最勝者。」

[T1.659b09] 生聞梵志白曰：「世尊！我已知，善逝，我已解。世尊！我今自歸於佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.659b12] 佛說如是，生聞梵志聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.659b14] 聞德經第六竟[2](一千六百九字)[1]，

---

[1] 聞＋（弟子有息解脫離色得無色如其像定身作證成就遊慧觀斷漏而知漏者梵志是謂博聞）三十五字【聖】

[2]〔聞德…竟〕六字－【明】

（一四八）中阿*含[2]梵志品

(Ma.148)何苦經[3] 第七(第三念誦)[4]

[T1.659b17] 我聞如是。

[T1.659b17] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.659b18] 爾時，生聞梵志中後彷徉，往詣佛所，共相問訊，却坐一面，白曰：「瞿曇！我欲有所問，聽乃敢陳。」

[T1.659b20] 世尊告曰：「梵志，恣汝所問。」

[T1.659b20] 生聞梵志即便問曰：「瞿曇！在家者有何苦，出家學道者有何苦耶？」

[T1.659b22] 世尊答曰：「梵志，在[5]家者，以不自在為苦，出家學道者，以自在為苦。」

[T1.659b23] 生聞梵志復問曰：「瞿曇！在家者。云何以不自在為苦，出家學道者。云何以自在為苦耶？」

[T1.659b25] 世尊答曰：「梵志，若在家者，錢不增長，金、銀、真珠、琉璃[6]、水精悉不增長，畜牧[7]、穀米及奴婢使亦不增長，爾時，在家憂苦愁慼，因此故在家者多有憂苦，多懷愁慼，梵志，若出家學道者行隨其欲，行隨恚、癡，爾時，出家學道憂苦愁慼，因此故出家學道者多有憂苦，多懷愁慼，梵志，如是在家者，以不自在為苦，出家學道者，以自在為苦。」

[T1.659c04] 生聞梵志復問曰：「瞿曇！在家者有何樂，出家學道者有何樂耶？」

[T1.659c06] 世尊答曰：「梵志，在家者，以自在為樂，出家學道者，以不自在為樂。」

---

[1]〔一千…字〕六字－【宋】【元】【明】【聖】
[2]〔中阿含〕－【明】
[3] ～cf.《增支部》A.5.31. Sumanā(須摩那)，《增壹阿含 17.8 經》(大正 2.584c)
[4]〔第三念誦〕－【明】
[5] 在＝出【元】
[6] 琉璃＝流離【聖】＊
[7] 牧＝收【宋】【元】[>＊]

[T1.659c07] 生聞梵志復問曰：「瞿曇！在家者。云何以自在為樂，出家學道者。云何以不自在為樂耶？」

[T1.659c09] 世尊答曰：「梵志，若在家者錢得增長，金、銀、真珠、*琉璃、水精皆得增長，畜*牧、穀米及奴婢使亦得增長，爾時，在家快樂歡喜，因此故在家者多快樂歡喜，梵志，出家學道者行不隨欲，行不隨恚、癡，爾時，出家學道快樂歡喜，因此故出家學道者多快樂歡喜，梵志，如是在家者，以自在為樂，出家學道者，以不自在為樂。」

[T1.659c16] 生聞梵志復問曰：「瞿曇！以何事故，令天及人必無利義，以何事故，令天及人必有利義。」

[T1.659c19] 世尊答曰：「梵志，若天及人共諍者，必無利義，若天及人不諍者，必有利義。」

[T1.659c20] 生聞梵志復問曰：「瞿曇。云何天及人共諍者，必無利義。云何天及人不諍者，必有利義耶？」

[T1.659c22] 世尊答曰：「梵志，若時天及人鬪諍怨憎者，爾時，天及人憂苦愁慼，因此故天及人多有憂苦，多懷愁慼，梵志，若時天及人不鬪諍、不怨憎者，爾時，天及人快樂歡喜，因此故天及人多快樂、多歡喜，梵志，如是天及人共諍者，必無利義，天及人不諍者，必有利義。」

[T1.659c28] 生聞梵志復問曰：「瞿曇！以何事故，令天及人必不得饒益，必得其苦，以何事故，令天及人必得饒益，必得其樂。」

[T1.660a02] 世尊答曰：「梵志，若天及人行於非法及行惡者，必不得益，必得其苦，若天及人能行如法，不行惡者，必得饒益，必得其樂。」

[T1.660a05] 生聞梵志復問曰：「瞿曇！天及人云何行於非法及行惡者，必不得益，必得其苦，天及人云何行如法，不行惡者，必得饒益，必得其樂。」

[T1.660a08] 世尊答曰：「梵志，天及人身行非法及行惡，口、意行非法及行惡者，爾時，天及人必當減損，阿修羅必當興盛，梵志，若天及人身行如法，守護其身，口、意行如法，守護口、意者，爾時，天及人必當興盛，阿修羅必當減損，梵志，如是天及人行於非法及行惡者，必得不[1]益，必得其苦，梵志，如是天及人能行如法，不行惡者，必得饒益，必得其樂。」

[T1.660a16] 生聞梵志復問曰：「瞿曇。云何觀惡知識？」

---

[1] 得不＝不得【元】【明】

[T1.660a17] 世尊答曰：「梵志，當觀惡知識猶如月也。」

[T1.660a18] 生聞梵志復問曰：「瞿曇。云何當觀惡知識猶如月耶？」

[T1.660a19] 世尊答曰：「梵志，如向盡月，日日稍減，宮殿亦減，光明亦減，形色亦減，日日盡去，梵志，有時月乃至於盡，都不復見，梵志，惡知識人於如來正法、律亦得其信，彼得信已，則於後時而不孝順，亦不恭敬，所行不順，不立正智，不趣[1]向法次法，彼便失信，持戒、博聞、庶幾、智慧亦復失之，梵志，有時此惡知識教[2]滅善法，猶如月盡，梵志，如是當觀惡知識猶如月也。」

[T1.660a27] 生聞梵志復問曰：「瞿曇。云何觀善知識？」

[T1.660a28] 世尊答曰：「梵志，當觀善知識猶如月也。」

[T1.660a29] 生聞梵志復問曰：「瞿曇。云何當觀善知識猶如月耶？」

[T1.660b01] 世尊答曰：「梵志，猶如月初生，少壯明淨，日日增長，梵志，或時月十五日，其殿豐滿，梵志，如是善知識於如來正法、律得信，彼得信已，而於後時孝順恭敬，所行隨順，立於正智，趣向法次法，彼增長信，持戒、博聞、庶幾、智慧亦復增長，梵志，有時彼善知識善法具足，如十五日月，梵志，如是當觀善知識猶如月也。」於是，世尊說此頌曰：「

譬如月無垢　遊於虛空界　一切世星宿　悉翳其光明
如是信博聞　庶幾無慳貪　世間一切慳　悉翳施光明
猶如有大龍　興起雲雷電　雨下極滂沛[3]　充滿一切地
如是信博聞　庶幾無慳貪　施飲食豐足　樂勸增廣施
如是極雷震　如天降時雨　彼福雨廣大　施主之所雨
錢財[4]多名譽　得生於善處　彼當受於福　死已生天上

[T1.660b22] 佛說如是，生聞梵志聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.660b23] 何苦經第七竟[5](一千四百二十五字)[6]，

中阿*含經卷第三十六[1](九千一百六十五字[2])[3]

---

[1] 趣＝起【宋】【元】【明】
[2] 教＝都【聖】
[3] 滂沛＝霧霈【宋】【元】【明】
[4] 錢財＝財物【宋】【元】【明】
[5]〔何苦…竟〕六字－【明】
[6]〔一千…字〕八字－【宋】【元】【明】【聖】

中阿含經

卷第三十七 (Ma.149~153)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（一四九）梵志品

(Ma.149)何欲經[4] 第八(第三念誦)[5]

[T1.660c02] 我聞如是。

[T1.660c02] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.660c03] 爾時，生聞梵志中後彷徉，往詣佛所，共相問訊，却坐一面，白曰：「瞿曇！欲有所問，聽乃敢陳。」

[T1.660c05] 世尊告曰：「恣汝所問。」

[T1.660c05] 梵志即便問曰：「瞿曇！剎利何欲、何行、何立、何依、何訖耶？」

[T1.660c06] 世尊答曰：「剎利者，欲得財物，行於智慧，所立以刀，依於人民，以自在為訖。」

[T1.660c08] 生聞梵志問曰：「瞿曇！居士何欲、何行、何立、何依、何訖耶？」

[T1.660c09] 世尊答曰：「居士者，欲得財物，行於智慧，立以技術，依於作業，以作業竟為訖。」

[T1.660c11] 生聞梵志問曰：「瞿曇！婦人何欲、何行、何立、何依、何訖耶？」

---

[1] 六＋（第三念誦）【宋】【元】【聖】
[2]〔九千…字〕八字－【宋】【元】【明】【聖】
[3] ＋（光明皇后願文）【聖】
[4] ～《增支部》A.6.52. Khattiya(剎帝利)，《增壹阿含 37.8 經》(大正 2.714b)
[5]〔第三念誦〕－【明】

[T1.660c12] 世尊答曰：「婦人者，欲得男子，行於嚴飾，立以兒子，依於無對，以自在為訖。」

[T1.660c14] 生聞梵志問曰：「瞿曇！偷劫何欲、何行、何立、何依、何訖耶？」

[T1.660c15] 世尊答曰：「偷劫者，欲不與取，行隱藏處，所立以刀，依於闇冥，以不見為訖，

[T1.660c17] 生聞梵志問曰：「瞿曇！梵志何欲、何行、何立、何依、何訖耶？

[T1.660c18] 世尊答曰：「梵志者，欲得財物，行於智慧，立以經書，依於齋戒，以梵天為訖。」

[T1.660c20] 生聞梵志問曰：「瞿曇！沙門何欲、何行、何立、何依、何訖耶？」

[T1.660c21] 世尊答曰：「沙門者，欲得真諦，行於智慧，所立以戒，依於無處，以涅槃為訖。」

[T1.660c23] 生聞梵志白曰：「世尊！我已知，善逝，我已解。世尊！我今自歸於佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.660c26] 佛說如是，生聞梵志聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.660c28] 何欲經第八竟[1](四百二十二字)[2]，

（一五○）中阿[3]含[4]梵志品

(Ma.150)[5]鬱瘦歌邏[6]經 第九(第三念誦)[7]

[T1.661a02] 我聞如是。

[T1.661a02] 一時，佛遊王舍城，在竹林加蘭哆園。

---

[1]〔何欲…竟〕六字－【明】
[2]〔四百…字〕六字－【宋】【元】【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] 含＝鉿【聖】＊
[5] ～《中部》M.96.Esukārī sutta (鬱瘦歌邏經)
[6] 邏＝羅【宋】＊【元】＊【明】＊
[7]〔第三念誦〕－【明】

[T1.661a03] 爾時，鬱瘦歌*邏梵志中後彷徉，往詣佛所，共相問訊，却坐一面，白曰：「瞿曇！欲有所問，聽乃敢陳。」

[T1.661a05] 世尊告曰：「恣汝所問。」

[T1.661a05] 鬱瘦歌*邏梵志即便問曰：「瞿曇！梵志為四種姓施設四種奉事，為梵志施設奉事，為剎利、居士、工師施設奉事，瞿曇！梵志為梵志施設奉事，梵志應奉事梵志，剎利、居士、工師亦應奉事梵志，瞿曇！此四種姓應奉事梵志，瞿曇！梵志為剎利施設奉事，剎利應奉事剎利，居士、工師亦應奉事剎利，瞿曇！此三種姓應奉事剎利，瞿曇！梵志為居士施設奉事，居士應奉事居士，工師亦應奉事居士，瞿曇！此二種姓應奉事居士，瞿曇！梵志為工師施設奉事，工師應奉事工師，誰復下賤，應施設奉事工師，唯工師奉事工師。」

[T1.661a18] 世尊問曰：「梵志，諸梵志頗自知為四種姓施設四種奉事，為梵志施設奉事，為剎利、居士、工師施設奉事耶？」

[T1.661a20] 鬱瘦歌*邏梵志答曰：「不知也。瞿曇！但諸梵志自作是說，我於此世，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，梵志不自知為四種姓施設四種奉事，為梵志施設奉事，為剎利、居士、工師施設奉事。」

[T1.661a24] 世尊告曰：「梵志，猶如有人，強與他肉，而作是說，士夫可食，當與我直，梵志，汝為諸梵志說亦復如是。所以者何？梵志不自知為四種姓施設四種奉事，為梵志施設奉事，為剎利、居士、工師施設奉事。」

[T1.661a29] 世尊問曰：「梵志。云何奉事。若有奉事，因奉事故，有如無勝者，為是奉事耶？若有奉事，因奉事故，有勝無如者，為是奉事耶？梵志，若奉事梵志，因奉事故，有如無勝者，為是奉事耶？奉事剎利、居士、工師，因奉事故，有如無勝者，為是奉事耶？梵志，若奉事梵志，因奉事故，有勝無如者，為是奉事耶？奉事剎利、居士、工師，因奉事故，有勝無如者，為是奉事耶？」

[T1.661b09] 鬱瘦歌邏[1]梵志答曰：「瞿曇！若我奉事，因奉事故，有如無勝者，我不應奉事彼，若我奉事，因奉事故，有勝無如者，我應奉事彼，瞿曇！若奉事梵志，因奉事故，有如無勝者，我不應奉事彼，奉事剎利、居士、工師，因奉事故，有如無勝者，我不應奉事彼，瞿曇！若奉事梵志，因奉事故，有[2]勝無如者，我應奉事彼，奉事剎利、居士、工師，因奉事故，有勝無如者，我應奉事彼。」

---

[1] 邏＝羅【宋】【元】【明】【聖】＊
[2]〔有〕－【明】

[T1.661b17] 世尊告曰：「梵志，若更有梵志來，非愚非癡，亦非顛倒，心無顛倒，自由自在，我問彼梵志，於意云何？若有奉事，因奉事故，有如無勝者，為是奉事耶？若有奉事，因[1]奉事故[2]，有勝無如[3]者，為是奉事耶？梵志，若奉事梵志，因奉事故，有如無勝者，為是奉事耶？奉事剎利、居士、工[4]師，因奉事故，有如無勝者，為是奉事耶？梵志，若奉事梵志，因奉事故，有勝無如者，為是奉事耶？奉事剎利、居士、工師，因奉事故，有勝無如者，為是奉事耶？」

[T1.661b28]「梵志，彼梵志非愚非癡，亦非顛倒，心無顛倒，自由自在，答我曰：「瞿曇！若我奉事，因奉事故，有如無勝者，我不應奉事彼，若我奉事，因奉事故，有勝無如者，我應奉事彼，瞿曇！若奉事梵志，因奉事故，有如無勝者，我不應奉事彼，奉事剎利、居士、工師，因奉事故，有如無勝者，我不應奉事彼，瞿曇！若奉事梵志，因奉事故，有勝無如者[5]，我應奉事彼，奉事剎利、居士、工師，因奉事故，有勝無如者，我應奉事彼。」

[T1.661c08] 世尊問曰：「梵志，於意云何？若有奉事，因奉事故，失信、戒、博聞、庶幾、智慧者，為是奉事耶？若有奉事，因奉事故，增益信、戒、博聞、庶幾、智慧者，為是奉事耶？梵志，若奉事梵志，因奉事故，失信、戒、博聞、庶幾、智慧者，為是奉事耶？奉事剎利、居士、工師，因奉事故，失信、戒、博聞、庶幾、智慧者，為是奉事耶？梵志，若奉事梵志，因奉事故，增益信、戒、博聞、庶幾、智慧者，為是奉事耶？奉事剎利、居士、工師，因奉事故，增益信、戒、博聞、庶幾、智慧者，為是奉事耶[6]。」

[T1.661c19] 欝瘦歌*邏梵志答曰：「瞿曇！若我奉事，因奉事故，失信、戒、博聞、庶幾、智慧者，我不應奉事彼，若我奉事，因奉事故，增益信、戒、博聞、庶幾、智慧者，我應奉事彼，瞿曇！若奉事梵志，因奉事故，失信、戒、博聞、庶幾、智慧者，我不應奉事彼，奉事剎利、居士、工師，因奉事故，失信、戒、博聞、庶幾、智慧者，我不應奉事彼，瞿曇！若奉事梵志，因奉事故，增益信、戒、博聞、庶幾、智慧者，我應奉事彼，奉事剎利、居士、工師，因奉事故，增益信、戒、博聞、庶幾、智慧者，我應奉事彼。」

[T1.661c29] 世尊告曰：「梵志，若更有梵志來，非愚非癡，亦非顛倒，心無[7]顛倒，自由自在，我問彼梵志，於意云何？若有奉事，因奉事故，失信、戒、博

---

[1] 因＝故【聖】
[2]〔故〕－【聖】
[3] 勝無如＝如無勝【聖】
[4] 工＝二【元】
[5] 者我＝我者【聖】
[6] 耶＋（梵志）【聖】
[7] 無＝不【宋】【元】【明】【聖】

聞、庶幾、智慧者，為是奉事耶？若有奉事，因奉事故，增益信、戒、博聞、庶幾、智慧者，為是奉事耶？梵志，若奉事梵志，因奉事故，失信、戒、博聞、庶幾、智慧者，為是奉事耶？奉事剎利、居士、工師，因[1]奉事故，失信、戒、博聞、庶幾、智慧者，為是奉事耶？梵志，若奉事梵志，因奉事故，增益信、戒、博聞、庶幾、智慧者，為是奉事耶？奉事剎利、居士、工師，因奉事故，增益信、戒、博聞、庶幾、智慧者，為是奉事耶？」

[T1.662a13]「梵志，彼梵志非愚非癡，亦非顛倒，心無顛倒，自由自在，亦如是答我曰：「瞿曇！若我奉事，因奉事故，失信、戒、博聞、庶幾、智慧者，我不應奉事彼，若我奉事，因奉事故，增益信、戒、博聞、庶幾、智慧者，我應奉事彼，瞿曇！若奉事梵志，因奉事故，失信、戒、博聞、庶幾、智慧者，我不應奉事彼，奉事剎利、居士、工師，因奉事故，失信、戒、博聞、庶幾、智慧者，我不應奉事彼，瞿曇！若奉事梵志，因奉事故，增益信、戒、博聞、庶幾、智慧者，我應奉事彼，奉事剎利、居士、工師，因奉事故，增益信、戒、博聞、庶幾、智慧者，我應奉事彼。」

[T1.662a25] 欝瘦歌*邏梵志白曰：「瞿曇！梵志為四種姓施設四種自有財物，為梵志施設自有財物，為剎利、居士、工師施設自有財物，瞿曇！梵志為梵志施設自有財物者，瞿曇！梵志為梵志施設乞求自有財物，若梵志輕慢乞求者，則便輕慢自有財物，輕慢自有財物已，則便失利，猶如放牛人不能看牛者，則便失利。如是，瞿曇！梵志為梵志施設乞求自有財物，若梵志輕慢乞求者，則便輕慢自有財物，輕慢自有財物已，則便失利。」

[T1.662b05]「瞿曇！梵志為剎利施設自有財物者，瞿曇！梵志為剎利施設弓箭自有財物，若剎利輕慢弓箭者，則便輕慢自有財物，輕慢自有財物已，則便失利，猶如放牛人不能看牛者，則便失利。如是，瞿曇！梵志為剎利施設弓箭自有財物，若剎利輕慢弓箭者，則便輕慢自有財物，輕慢自有財物已，則便失利。」

[T1.662b12]「瞿曇！梵志為居士施設自有財物者，瞿曇！梵志為居士施設田作自有財物，若居士輕慢田作者，則便輕慢自有財物，輕慢自有財物已[2]，則便失利，猶如放牛人不能看牛者，則便失利。如是，瞿曇！梵志為居士施設田作自有財物，若居士輕慢田作者，則便輕慢自有財物，輕慢自有財物已，則便失利。」

[T1.662b19]「瞿曇！梵志為工師施設自有財物者，瞿曇！梵志為工師施設麻自有財物，若工師輕慢麻者，則便輕慢自有財物，輕慢自有財物已，則便失利，猶

[1]〔因〕－【聖】
[2] 已＋（慢）【聖】

如放牛人不能看牛者，則便失利。如是，瞿曇！梵志為工師施設麻自有財物，若工師輕慢麻者，則便輕慢自有財物，輕慢自有財物已，則便失利。」

[T1.662b26] 世尊問曰：「梵志，諸梵志頗自知為四種姓施設四種自有財物，為梵志施設自有財物，為剎利、居士、工師施設自有財物耶？」

[T1.662b29] 欝瘦歌*邏梵志答曰：「不知也。瞿曇！但諸梵志自說，我於此世，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，不自知為四種姓施設四種自有財物，為梵志施設自有財物，為剎利、居士、工師施設自有財物。」

[T1.662c04] 世尊告曰：「梵志，猶如有人，強與他肉，而作是說，士夫可食，當與我直，梵志，汝為諸梵志說亦復如是。所以者何？梵志不自知為四種姓施設四種自有財物，為梵志施設自有財物，為剎利、居士、工師施設自有財物。如是，梵志，我自善解、善知諸法，為人施設息止法、滅訖法、覺道法、善趣法，施設自有財物。」

[T1.662c12] 世尊問曰：「梵志，於意云何？頗有梵志於此虛空不著、不縛、不觸、不礙，剎利、居士、工師不然耶？」

[T1.662c14] 欝瘦歌邏梵志答曰：「瞿曇！梵志於此虛空不著、不縛、不觸、不礙，剎利、居士、工師亦然如是。」

[T1.662c16]「梵志，我自善解、善知諸法，為人施設息止法、滅訖法、覺道法、善趣法，施設自有財物。」

[T1.662c18] 世尊問曰：「梵志，於意云何？頗有梵志能行慈心，無結、無怨、無恚、無諍，剎利、居士、工師不然耶？」

[T1.662c20] 欝瘦歌邏梵志答曰：「瞿曇！梵志能行慈心，無結、無怨、無恚、無諍，剎利、居士、工師亦然如是。」

[T1.662c22]「梵志，我自善解、善知諸法，為人施設息止法、滅訖法、覺道法、善趣法，施設自有財物。」

[T1.662c24] 世尊問曰：「梵志，於意云何？若百種人來，或有一人而語彼曰：「汝等共來。若有生剎利族、梵志族者，唯彼能持澡豆至水洗浴，去垢極淨，梵志，於意云何？為剎利族、梵志族者，彼能持澡豆至水洗浴，去垢極淨耶？為居士族、工師族者，彼不能持澡豆洗浴，去垢極淨耶？為一切百種人皆能持澡豆至水洗浴，去垢極淨耶？」

[T1.663a02] 欝瘦歌*邏梵志答曰：「瞿曇！彼一切百種人皆能持澡豆至水洗浴，去垢極淨。」

[T1.663a04]「如是，梵志，我自善解、善知諸法，為人施設息止法、滅訖法、覺道法、善趣法，施設自有財物。」

[T1.663a06] 世尊問曰：「梵志，於意云何？若百種人來，或有一人而語彼曰：「汝等共來，若生剎利族、梵志族者，唯彼能以極燥娑羅及栴[1]檀木用作火母，以*鑽*鑽之，生火長養，梵志，於意云何？為剎利族、梵志族者，彼能以極燥娑羅及*栴檀木用作火母，以*鑽*鑽之，生火長養耶？為居士族、工師族者，彼當以燥猪狗槽、伊蘭檀木及餘弊木用作火母，以*鑽*鑽之，生火長養耶？為一切百種人皆能以若干種木用作火母，以*鑽[2]*鑽之，生火長養耶？」

[T1.663a16] 欝瘦歌*邏梵志答曰：「瞿曇！彼一切百種人皆能以若干種木用作火母，以*鑽*鑽之，生火長養。」

[T1.663a18]「如是，梵志，我自善解、善知諸法，為人施設息止法、滅訖法、覺道法、善趣法，施設自有財物。」

[T1.663a20] 世尊問曰：「梵志，於意云何？若彼百種人皆以若干種木用作火母，以*鑽鑽之，生火長養，彼一切火皆有[火*僉]、有色、有熱、有光，皆能作火事，為彼火獨有[火*僉]、有色、有熱、有光，能作火事耶？為彼火獨無[火*僉]、無色、無熱、無光，不能作火事耶？為彼一切火皆有[火*僉]、有色、有熱、有光，皆能作火事耶？」

[T1.663a27] 欝瘦歌*邏梵志答曰：「瞿曇！若百種人皆以若干種木用作火母，以*鑽*鑽之，生火長養者，彼一切火皆有[火*僉]、有色、有熱、有光，皆能作火事，若彼火獨有[火*僉]、有色、有熱、有光，能為火事者，終無是處，若彼火獨無[火*僉]、無色、無熱、無光，不能為火事者，亦無是處，但，瞿曇！彼一切火皆有[火*僉]、有色、有熱、有光，皆能作火事。」

[T1.663b05]「如是，梵志，我自善解、善知諸法，為人施設息止法、滅訖法、覺道法、善趣法，施設自有財物。」

---

[1] 栴＝旃【聖】＊
[2] 鑽＝攢【聖】＊

[T1.663b07] 世尊問曰：「梵志，於意云何？若彼百種人皆以若干種木用作火母，以*鑽*鑽之，生火長養，彼或有人以燥草木著其火中，生[火*僉]、生色、生熱、生烟，頗有[火*僉][1]、色、熱、烟，[火*僉]、色、熱烟而差別耶？」

[T1.663b12] 欝瘦歌*邏梵志答曰：「瞿曇！若彼百種人皆以若干種木用作火母，以*鑽*鑽之，生火長養，彼若有人以燥草木著其火中，生[火*僉]、生色、生熱、生烟，我於彼火*[火*僉]、色、熱、烟，[火*僉]、色、熱、烟不能施設有差別也。」

[T1.663b16] 世尊告曰：「梵志，如是我所得火，所得不放逸，能滅放逸及貢[2]高慢，我於此火，火亦不能施設有差別也。」

[T1.663b19] 欝瘦歌*邏梵志白曰：「世尊！我已知，善逝，我已解。世尊！我今自歸於佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.663b22] 佛說如是，欝瘦歌*邏梵志聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.663b24] 欝瘦歌*邏經第九竟[3](三千五百八十五字)[4]，

（一五一）中阿*含[5]

(Ma.151)梵志[6]阿攝恕[7]經[8] 第十(第三念誦)[9]

[T1.663b27] 我聞如是。

[T1.663b27] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.663b28] 爾時，眾多梵志於拘薩羅，集在學堂，共論此事，梵志種勝，餘者不如，梵志種白，餘者皆黑，梵志得清淨，非梵志不得清淨，梵志梵天子，從彼口生，梵梵所化，而沙門瞿曇說四種姓皆悉清淨，施設顯示。」

---

[1] [火*僉]色熱烟[火*僉]色熱烟＝[火*僉][火*僉]色色熱熱烟烟【聖】＊
[2] 貢＝功【聖】
[3]〔欝瘦…竟〕八字－【明】
[4]〔三千…字〕八字－【宋】【元】【明】【聖】
[5]〔中阿含〕－【明】
[6] 志＋（品）【宋】【元】【明】
[7] 恕＝和【聖】＊
[8] ～《中部》M.93.Assalāyanasuttaṁ (阿攝恕經)，No.71.《梵志頞波羅延問種尊經》(大正 1.876b)
[9]〔第三念誦〕－【明】

[T1.663c03] 彼作是念：「諸賢！為誰有力能至沙門瞿曇所，則以此事如法難詰。」彼復作是念：「阿攝恕邏[1]延多那摩納[2]為父母所舉，受生清淨，乃至七世父母不絕種族，生生無惡，博聞總持，誦[3]過四典經，深達因、緣、正、文、戲五句說，阿攝*恕*邏延多那摩納有力能至沙門瞿曇所，則以此事如法難詰。諸賢！可共詣阿攝*恕*邏延多那摩納所，向說此事，隨阿攝恕*邏延多那摩納所說，我等當受。」

[T1.663c12] 於是，拘薩羅眾多梵志即詣阿攝恕*邏延多那摩納所，共相問訊，却坐一面，語曰：「摩納，我等眾多梵志於拘薩羅，集在學堂，共論此事，梵志種勝，餘者不如，梵志種白，餘者皆黑，梵志得清淨，非梵志不得清淨，梵志梵[4]天子，從彼[5]口生，梵梵所化，而沙門瞿曇說四種姓皆悉清淨，施設顯示，我等作是念。諸賢！為誰有力能至沙門瞿曇所，則以此事如法難詰，我等復作是念：阿攝*恕*邏延多那摩納為父母所舉，受生清淨，乃至七世父母不絕種族，生生無惡博聞總持，誦過四典經，深達因、緣、正、文、戲五句說，阿攝*恕*邏延多那摩納有力能至沙門瞿曇所，則以此事如法難詰，願阿攝恕邏延多那摩納往詣沙門瞿曇所，則以此事如法難詰。」

[T1.663c27] 阿攝恕邏延多那摩納語諸梵志曰：「諸賢！沙門瞿曇如法說法，若如[6]說法者，不可難詰也。」

[T1.663c29] 拘薩羅眾多梵志語曰：「摩納，汝[7]未有屈事，未可豫自伏。所以者何？阿攝*恕*邏延多那摩納為父母所舉，受生清淨，乃至七世父母不絕種族，生生無惡，博聞總持，誦過四典經，深達因、緣、正、文、戲五句說，阿攝*恕*邏延多那摩納有力能至沙門瞿曇所，則以此事如法難詰，願阿攝*恕*邏延多那摩納往詣沙門瞿曇所，則以此事如法難詰。」

[T1.664a08] 阿攝*恕*邏延多那摩納為拘薩羅眾多梵志默然而受。」

[T1.664a09] 於是，阿攝*恕*邏延多那摩納與彼拘薩羅眾多梵志往詣佛所，共相問訊，却坐一面，白曰：「瞿曇！欲有所問，聽我問耶？」

[T1.664a12] 世尊告曰：「摩納，恣汝所問。」

---

[1] 邏＝羅【宋】【元】【明】【聖】＊
[2] [>阿攝恕邏延多那摩納]～Assalāyana māṇava.
[3] 誦…五句說～Tiṇṇaṃ vedānaṃ pāragū sanighaṇḍuketubhānaṃ sākkharappabhedānaṃ itihāsa-pañcamānaṃ padakoveyyākaraṇo.
[4]〔梵〕－【聖】
[5] 彼＋（梵）【聖】
[6] 如＋（法）【聖】
[7] 汝＝如【聖】

[T1.664a13] 阿攝*恕*邏延多那便問曰：「瞿曇！諸梵志等作如是說，梵志種勝，餘者不如，梵志種白，餘者皆黑，梵志得清淨，非梵志不得清淨，梵志梵天子，從彼口生，梵梵所化，未知沙門瞿曇當云何說？」

[T1.664a17] 世尊告曰：「我今問汝，隨所解答，摩納，頗聞餘尼[1]及劒浮[2]國有二種姓，大家及奴，大家作奴，奴作大家耶？」

[T1.664a20] 阿攝*恕*邏延多那摩納答曰：「瞿曇！我聞餘尼及劒浮國有二種姓，大家及奴，大家作奴，奴作大家也。」

[T1.664a22]「如是，摩納，梵志若正趣者，彼得善解，自知如法，剎利、居士、工師若正趣者，亦得善解，自知如法。」

[T1.664a24] 阿攝*恕*邏延多那摩納白曰：「瞿曇！甚奇，甚特，快說此喻，但諸梵志作如是說，梵志種勝，餘者不如，梵志種白，餘者皆黑，梵志得清淨，非梵志不得清淨，梵志梵天子，從彼口生，梵梵所化。」

[T1.664a29] 世尊問曰：「摩納，於意云何？頗獨有梵志於此虛空不著不縛，不觸不礙，剎利、居士、工師為不然耶？」

[T1.664b02] 阿攝*恕*邏延多那摩納答曰：「瞿曇！梵志於此虛空不著不縛，不觸不礙，剎利、居士、工師亦然。」

[T1.664b04] 如是，摩納，梵志若正趣者，彼得善解，自知如法，剎利、居士、工師若正趣者，亦得善解，自知如法。」

[T1.664b06] 阿攝*恕*邏延多那摩納白曰：「瞿曇！甚奇，甚特，快說此喻，但諸梵志作如是說，梵志種勝，餘者不如，梵志種白，餘者皆黑，梵志得清淨，非梵志不得清淨，梵志梵天子，從彼口生，梵梵所化。」

[T1.664b11] 世尊問曰：「摩納，於意云何？頗獨有梵志能行慈心，無結無怨，無恚無諍，剎利、居士、工師不然耶？」

[T1.664b13] 阿攝*恕*邏延多那摩納答曰：「瞿曇！梵志能行慈心，無結無怨，無恚無諍，剎利、居士、工師亦然。」

[T1.664b15] 如是，摩納，梵志若正趣者，彼得善解，自知如法，剎利、居士、工師若正趣者，亦得善解，自知如法。」

---

[1] [>餘尼]～Yona.
[2] [>劒浮]～Kamboja.

[T1.664b17] 阿攝*想*邏延多那摩納白曰：「瞿曇！甚奇，甚特，快說此喻，但諸梵志作如是說，梵志種勝，餘者不如，梵志種白，餘者皆黑，梵志得清淨，非梵志不得清淨，梵志梵天子，從彼口生，梵梵所化。」

[T1.664b22] 世尊問曰：「摩納，於意云何？若百種人來，或有一人而語彼曰：「汝等共來，若生剎利族梵志族者，唯彼能持澡豆至水洗浴，去垢極淨，摩納，於意云何？為剎利族、梵志族者，彼能持澡豆至水洗浴，去垢極淨耶？為居士族、工師族者，彼不能持澡豆至水洗浴，去垢極淨耶？為一切百種人皆能持澡豆至水洗浴，去垢極淨耶？」

[T1.664b29] 阿攝*想*邏延多那摩納答曰：「瞿曇！彼一切百種人皆能持澡豆至水洗浴，去垢極淨。」

[T1.664c02] 如是，摩納，梵志若正趣者，彼得善解，自知如法，剎利、居士、工師若正趣者，亦得善解，自知如法。」

[T1.664c04] 阿攝*想*邏延多那摩納白曰：「瞿曇！甚奇，甚特，快說此喻，但諸梵志作如是說，梵志種勝，餘者不如，梵志種白，餘者皆黑，梵志得清淨，非梵志不得清淨，梵志梵天子，從彼口生，梵梵所化。」

[T1.664c09] 世尊問曰：「摩納，於意云何？若百種人來，或有一人而語彼曰：『汝等共來，若生剎利族、梵志族者，唯彼能以極燥娑羅及*栴檀木用作火母，以*鑽*鑽之，生火長養。』摩納，於意云何？為剎利族、梵志族者，彼能以極[澡>燥]娑羅及*栴檀木用作火母，以*鑽*鑽之，生火長養耶？為居士族、工師族者，彼當以燥猪狗槽及[1]伊蘭檀[2]木及餘弊木用作火母，以*鑽*鑽之，生火長養耶？為一切百種人皆能以若干種木用作火母，以*鑽*鑽之，生火長養耶？」

[T1.664c19] 阿攝*想*邏多那摩納答曰：「瞿曇！彼一切百種人皆能以若干種木用作火母，以*鑽*鑽之，生火長養。」

[T1.664c21]「如是，摩納，梵志若正趣者，彼得善解，自知如法，剎利、居士、工師若正趣者，亦得善解，自知如法。」

[T1.664c24] 阿攝*想*邏延多那摩納白曰：「瞿曇！甚奇，甚特，快說此喻，但諸梵志作如是說，梵志種勝，餘者不如，梵志種白，餘者皆黑，梵志得清淨，非梵志不得清淨，梵志梵天子，從彼口生，梵梵所化。」

---

[1]〔及〕－【宋】【元】【明】【聖】

[2] 伊蘭檀～Elaṇḍa.

[T1.664c28] 世尊問曰：「摩納，於意云何？若彼百種人皆以若干種木用作火母，以*鑽*鑽之，生火長養，彼一切火皆有[火*僉]、有色、有熱、有光，皆能作火事，為彼火獨有[火*僉]、有色、有熱、有光，能作火事耶？為彼火獨無[火*僉]、無色、無熱、無光，不能作火事耶？為彼一切火皆有[火*僉]、有色、有熱、有光，皆能作火事耶？」

[T1.665a06] 阿攝*想*邏延多那摩納白曰：「瞿曇！若彼百種人皆以若干種木用作火母，以*鑽*鑽之，生火長養者，彼一切火皆有[火*僉]、有色、有熱、有光，皆能作火事，若彼火獨有[火*僉]、有色、有熱、有光，能為火事者，終無是處，若彼火獨無[火*僉]、無色、無熱、無光，不能為火事者，亦無是處，瞿曇！但彼一切火皆有[火*僉]、有色、有熱、有光，皆能作火[1]事。」

[T1.665a13]「如是，摩納，梵志若正趣者，彼得善解，自知如法，剎利、居士、工師若正趣者，亦得善解，自知如法。」

[T1.665a16] 阿攝*想*邏延多那摩納白曰：「瞿曇！甚奇，甚特，快說此喻，但諸梵志作如是說，梵志種勝，餘者不如，梵志種白，餘者皆黑，梵志得清淨，非梵志不得清淨，梵志梵天子，從彼口生，梵梵所化。」

[T1.665a20] 世尊告曰：「摩納，若此身隨所生者，即彼之數，若生梵志族者，即梵志族數，若生剎利、居士、工師族者，即工師族數，摩納，猶若如火，隨所生者，即彼之數，若因木生者，即木火數，若因草糞薪生者，即薪火數。如是，摩納，此身隨所生者，即彼之數，若生梵志族者，即梵志族數，若生剎利，居士、工師族者，即工師族數。」

[T1.665a27] 世尊問曰：「摩納，於意云何？若剎利女與梵志男共合會者，彼因合會，後便生子，或似父，或似母，或不似父母，汝云何說，彼為剎利，為梵志耶？」

[T1.665b01] 阿攝*想*邏延多那摩納答曰：「瞿曇！剎利女與梵志男共合會者，彼因合會，後便生子，或似父，或似母，或不似父母，我不說彼剎利，亦不說梵志，瞿曇！我但說彼他身。」

[T1.665b05]「如是，摩納，此身隨所生者，即彼之數，若生梵志族者，即梵志族數，若生剎利、居士、工師族者，即工師族數。」

[T1.665b08] 世尊問曰：「摩納，若梵志女與剎利男共合會者，彼因合會，後便生子，或似父，或似母，或不似父母，汝云何說，彼為梵志，為剎利耶？」

---

[1] 作火＝火作【聖】

[T1.665b11] 阿攝*恝*邏延多那摩納答曰：「瞿曇！梵志女與剎利男共合會者，彼因合會，後便生子，或似父，或似母，或不似父母，我不說彼梵志，亦不說剎利，瞿曇！我但說彼他身。」

[T1.665b15]「如是，摩納，此身隨所生者，[既>即]彼之數，若生梵志族者，即梵志族數，若生剎利、居士、工師族者，即工師族數。」

[T1.665b17] 世尊問曰：「摩納，於意云何？若人有眾多草馬，放一父驢，於中一草馬與父驢共合會，彼因合會，後便生駒，汝云何說，彼為驢，為馬耶？」

[T1.665b20] 阿攝*恝*邏延多那摩納答[白>曰]，瞿曇。若有[1]馬與驢共合會，彼因合會，後便生駒，我不說彼驢，亦不說馬，瞿曇！我但說彼騾也。」

[T1.665b23]「如是，摩納，若此身隨所生者，即彼之數，若生梵志族者，即梵志族數，若生剎利、居士、工師族者，即工師族數。」

[T1.665b26] 世尊告曰：「摩納，乃往昔時有眾多仙人共住[2]無事高處，生如是惡見，梵志種勝，餘者不如，梵志種白，餘者皆黑，梵志得清淨，非梵志不得清淨，梵志梵天子，從彼口生，梵梵所化。於是，阿私羅仙人提鞞*邏[3]聞[4]眾多仙人共住無事高處，生如是惡見已，著袈裟衣，以袈裟巾裹頭，拄[5]杖持繖，著白衣變[6]，不從門入，至仙人住處靜室經行。」

[T1.665c05] 於是，共住無事高處有一仙人見阿私羅仙人提鞞*邏著袈裟衣，以袈裟巾裹頭，*拄杖持繖，著白衣*變，不從門入，至仙人住處靜室經行，見已，往詣共住無事高處眾多仙人所，便作是語：「諸賢！今有一人著袈裟衣，以袈裟巾裹頭，*拄杖持繖，著白衣*變，不從門入，至仙人住處靜室經行，我等寧可共往[7]呪之，汝[8]作灰汝作灰耶？」

[T1.665c13]「於是，共住無事高處眾多仙人即往詣彼阿私羅仙人提鞞*邏所，到已，共呪：「汝作灰，汝作灰，如其呪法呪之，汝作灰汝作灰者，如是如是，光顏益好，身體悅澤。」彼眾多仙人便作是念：「我等本呪汝作灰汝作灰者，彼即作灰，我今呪此人汝作灰汝作灰，我等如其呪法呪此人，此人光顏益好，身體悅澤，我寧可問。」

---

[1] 有＋（草）【宋】【元】【明】【聖】
[2] 住＝往【宋】【元】【明】【聖】
[3] 阿…鞞邏～Asita-Devala-isi
[4] 聞＝問【聖】
[5] 拄＝柱【聖】[>＊]
[6] 變＝[屧-彳+爿]【宋】【元】＊，＝屧【明】＊
[7] 往＝住【聖】
[8] 汝作灰～Bhasmā vasalī hohi.

[T1.665c20]「即便問之，汝為是誰，阿私羅仙人提鞞*邏答曰：『諸賢，汝等頗聞有阿私羅仙人提鞞*邏耶？』答曰：『聞[1]有阿私羅仙人提鞞*邏，復語曰：『我即是也。』彼眾多仙[2]人即共辭謝阿私羅仙人提鞞*邏曰：「願為忍恕，*我等不知尊是阿私羅仙人提鞞*邏耳。』於是，阿私羅仙人提鞞*邏語諸仙人曰：『我已相恕，汝等實生惡見，梵志種勝，餘者不如，梵志種白，餘者皆黑，梵志得清淨，非梵志不得清淨，梵志梵天子，從彼口生，梵梵所化。』彼諸仙人答曰：『如是。』阿私羅。」

[T1.666a02]「復問諸仙人曰：『汝等為自知己父耶？』彼諸仙人答曰：『知也。』彼梵志取梵志婦，非非梵志，彼父復父，乃至七世父，彼梵志取梵志婦，非非梵志，阿私羅復問諸仙人曰：『汝等為自知己母耶？』彼諸仙人答曰：『知也。』彼梵志取梵志夫，非非梵志，彼母復母，乃至七世母，彼梵志取梵志夫，非非梵志，阿私羅復問諸仙人曰：『汝等頗自知受胎耶？』彼諸仙人答曰：『知也。以三事等合會受胎，父母合會，無滿[3]堪耐，香陰已至，阿私羅，此事等會，入於母胎。』」

[T1.666a12]「阿私羅復問諸仙人曰：『頗知受生為男，為女，知所從來，為從剎利族來，梵志、居士、工師族來耶？為從東方、南方、西[4]方、北方來耶？』彼諸仙人答曰：『不知。』阿私羅復語彼仙人曰：『諸賢，不見不知此者，汝等不知受胎，誰從何處來，為男為女，為從剎利來，梵志、居士、工師來，為從東方、南方[5]、西方[6]、北方來，然作是說，梵志種勝，餘者不如，梵志種白，餘者皆黑，梵志得清淨，非梵志不得清淨，梵志梵天子，從彼口生，梵梵所化，摩納，彼住無事高處眾多仙人為阿私羅仙人提鞞*邏如是善教善訶，不能施設清淨梵志，況汝師徒著皮草衣　。』　」

[T1.666a24] 於是，阿攝*想*邏延多那摩納為世尊面訶詰嘖[7]，內懷愁慼，低頭默然，失辯無言。」

[T1.666a26] 於是，世尊面訶詰*嘖阿攝*想*邏延多那摩納已，復令歡悅，即便告曰：「摩納，有一梵志作齋行施，彼有四兒，二好學問，二不學問，於摩納意云何，彼梵志為先施誰第一座[8]、第一澡水、第一食耶？」

---

[1] 聞＝間【聖】
[2]〔仙〕－【聖】
[3] 滿＝漏【明】
[4] 南方西＝西方南【元】【明】
[5]〔方〕－【宋】【元】【明】
[6]〔方〕－【宋】【元】【明】【聖】
[7] 嘖＝責【宋】＊【元】＊【明】＊
[8] 座＝坐【宋】【元】【明】【聖】＊

[T1.666b02] 阿攝*恕*邏延多那摩納答曰：「瞿曇！若彼梵志其有二兒，好學問者，必先施彼第一*座、第一澡水、第一食也。」

[T1.666b04] 世尊復問曰：「摩納，復有一梵志作[1]齋行施，彼有四兒，二好學問，然不精進，喜[2]行惡法，二不學問，然好精進，喜行妙法，於摩納意云何，彼梵志為先施誰第一*座、第一澡水、第一食耶？」

[T1.666b09] 阿攝*恕*邏延多那摩納答曰：「瞿曇！若彼梵志其有二兒，雖不學問，而好精進，喜行妙法者，必先施彼第一*座、第一澡水、第一食也。」

[T1.666b12] 世尊告曰：「摩納，汝先稱歎學問，後稱歎持戒，摩納，我說四種姓皆悉清淨施設顯示，汝亦說四種姓皆悉清淨施設顯示。」

[T1.666b14] 於是，阿攝*恕*邏延多那摩納即從坐[3]起，欲稽首佛足，爾時，彼大眾唱高大音聲：「沙門瞿曇甚奇，甚特，有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神。所以者何？如沙門瞿曇說，四種姓皆悉清淨施設顯示，令阿攝*恕*邏延多那摩納，亦說四種姓皆悉清淨。」

[T1.666b20] 爾時，世尊知彼大眾心之所念，告曰：「止，止，阿攝*恕*邏延多那，但心喜足，可還復坐，我當為汝說法。」

[T1.666b23] 阿攝*恕*邏延多那摩納稽首佛足，却坐一面，世尊為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，默念而住。

[T1.666b26] 於是，阿攝*恕*邏延多那摩納，佛為說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即從坐起，稽首佛足，繞三匝而去，是時，拘薩羅眾多梵志還去不遠，種種言語責[4]數阿攝*恕*邏延多那：「欲何等作，欲伏沙門瞿曇！而反為沙門瞿曇所降伏還，猶如有人，為眼入林中，而反失眼還，阿攝*恕*邏延多那，汝亦如是，欲伏沙門瞿曇！而反為沙門瞿曇所降伏還，猶如有人，為飲入池，而反渴還，阿攝*恕*邏延多那，汝亦如是，欲伏沙門瞿曇！而反為沙門瞿曇所降伏還，阿攝*恕*邏延多那，欲何等作。」

[T1.666c08] 於是，阿攝*恕*邏延多那摩納語拘薩羅眾多梵志曰：「諸賢！我前已說，沙門瞿曇如法說法，若如法說法者，不可難詰也。」

---

[1] 作＝非【聖】＊
[2] 喜＝憙【聖】
[3] 坐＝座【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 責＝嘖【聖】

[T1.666c11] 佛說如是，阿攝*恕*邏延多那摩納聞佛所說，歡喜奉行[1]，

[T1.666c13] 阿攝*恕經第十竟[2](四千四百一十三字)[3]，

中阿*含經卷第三十七(八千四百二十字)[4]

中阿*含經梵志品第二[5]竟[6](二萬五千一百九十八字[7])[8]，

中阿含[9]經

卷第三十八 (Ma.152~153)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯[10]

梵志品第一[11](有十經)[12](第四一日誦名分別[13])有三品半合有三十五經)[14]

鸚鵡、鬚閑提　　婆羅婆遊堂
須達、梵波羅　　黃蘆園、頭那
阿伽羅訶那　　阿園[15]那、梵摩

（一五二）中阿*含[16]梵志品

---

[1] 行＋（第三念誦訖）【明】
[2]〔阿攝…竟〕七字－【明】
[3]〔四千…字〕八字－【宋】【元】【明】【聖】
[4]〔八千…字〕七字－【宋】【元】【明】【聖】
[5]〔中阿…竟〕十字－【明】，（中阿…竟）十字在谷末題前行【宋】【元】【聖】
[6] 竟＋（第三念誦訖）五字【宋】【元】【聖】
[7]〔二萬…字〕十字－【宋】【元】【明】【聖】
[8] ＋（無量明佛無量光佛藥王菩薩藥上菩薩）十六字【聖】，＋（光明皇后願文）【聖】
[9] 含＝鉛【聖】
[10]〔東晉…譯〕十三字－【聖】
[11]〔梵志品第[猶>一]〕五字－【明】
[12]〔有十經〕－【明】
[13]〔第四…別〕八字－【明】
[14]〔有三…經〕十字－【明】
[15] 園＝闌【宋】【元】【明】【聖】
[16]〔中阿含〕－【明】

(Ma.152)鸚鵡經[1] 第一[2](第三[3]念誦)

[T1.666c28] 我聞如是。

[T1.666c28] 一時，佛遊王舍城，在竹林加蘭哆園。

[T1.666c29] 爾時，鸚鵡摩納都題子[4]少有所為，往至王舍城，寄宿居士家。於是，鸚鵡摩納都題子問所寄宿居士曰：「頗有沙門、梵志宗主眾師，統領大眾，為人所尊，令我隨時往見奉敬，儻[5]能因此敬奉之時，得歡喜耶？」

[T1.667a04] 居士答曰：「有也。天愛，沙門瞿曇釋種子捨釋宗族，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，覺無上正盡覺，天愛，自可隨時往見，詣彼奉敬，或能因此奉敬之時，心得歡喜。」

[T1.667a08] 鸚鵡摩納即復問曰：「沙門瞿曇今在何處，我欲見之。」

[T1.667a10] 居士答曰：「沙門瞿曇在此王舍城竹林加蘭哆園，便可往見。」

[T1.667a11] 於是，鸚鵡摩納從所寄宿居士家出，往詣竹林加蘭哆園，鸚鵡摩納遙見世尊在樹林間，端政[6]姝好，猶星中月，光耀煒[7]曄，晃若金山，相好具足，威神巍巍，諸根寂定，無有蔽礙，成就調御，息心靜默，見已，便前往詣佛所，共相問訊，却坐一面，白曰：「瞿曇！欲有所問，聽乃敢陳？」

[T1.667a17] 世尊告曰：「恣汝所問。」

[T1.667a18] 鸚鵡摩納問曰：「瞿曇！如我所聞，若在家者，便得善解，則知如法，出家學道者，則不然也。我問瞿曇此事云何？」

[T1.667a20] 世尊告曰：「此事不定。」

[T1.667a21] 鸚鵡摩納白曰：「瞿曇！願今為我分別此事。」

[T1.667a22] 世尊告曰：「摩納，諦聽，善思念之，我當為汝具分別說[8]。」

---

[1] ～《中部》M. 99. Subha sutta. (須婆經)，No.79.《佛說鸚鵡經》(大正 1.888b)
[2] 第＋（十）【明】
[3] 三念＝四分別【宋】【元】【明】【聖】
[4] [>鸚鵡摩納都題子]～Subha māṇava Todeyyaputta.
[5] 儻＝讜【宋】【聖】
[6] 政＝正【宋】【元】【明】
[7] 耀煒＝曜暐【宋】【元】【明】【聖】
[8] 我當…分別說～Vibhajjavādo kho aham ettha māṇava; (+nâham ettha ekaṃsavādo.)

[T1.667a23] 鸚鵡摩納受教而聽。

[T1.667a24] 佛言：「摩納。若有在家及出家學道行邪行者，我不稱彼，所以者何。若有[1]在家及出家學道行邪行者，不得善解，不知如法。是故，摩納。若有在家及出家學道行邪行者，我不稱彼，摩納。若有在家及出家學道行正行者，我稱說彼，所以者何。若有在家及出家學道行正行者，必得善解，則知如法。是故，摩納。若有在家及出家學道行正行者，我稱說彼，摩納，我如是說，說此二法，如是分別，如是顯示。若有沙門梵志有力堅固深入，一向專著，而說此為真諦，餘者虛妄。」

[T1.667b06] 鸚鵡摩納白曰：「瞿曇！如我所聞，若在家者，便有大利，有大[2]功德，出家學道者，則不然也。我問[3]瞿曇此事云何？」

[T1.667b08] 世尊告曰：「此事不定。」

[T1.667b09] 鸚鵡摩納白曰：「瞿曇！願復為我分別此事。」

[T1.667b10] 世尊告曰：「摩納，諦聽，善思念之，我當為汝具分別說。」

[T1.667b11] 鸚鵡摩納受教而聽。

[T1.667b12] 佛言：「摩納，若在家者，有大災患，有大鬪諍，有大怨憎，行邪行者，不得大果，無大功德，猶如田作，有大災患，有大鬪諍，有大怨憎，行邪行者，不得大果，無大功德。如是，摩納，若在家者亦復如是，摩納，出家學道少有災患，少有鬪諍，少有怨憎，行邪行者，不得大果，無大功德，猶如治生，少有災患，少有鬪諍，少有怨憎，行邪行者，不得大果，無大功德。如是，摩納，出家學道亦復如是。」

[T1.667b21]「摩納，若在家者，有大災患，有大鬪諍，有大怨憎，行正行者，得大果報，有大功德，猶如田作，有大災患，有大鬪諍，有大怨憎，行正行者[4]，得大果報，有大功德。如是，摩納，若在家者亦復如是，摩納，出家學道少有災患，少有鬪諍，少有怨憎，行正行者，得大果報，有大功德，猶如治生，少有災患，少有鬪諍，少有怨憎，行正行者，得大果報，有大功德。如是，摩納，出家學道亦復如是，摩納，我如是說，說此二法，如是分別，如是顯示。若有沙門、梵志有力堅固深入，一向專著，而說此為真諦，餘者虛妄。」

---

[1]〔有〕－【宋】【元】【明】
[2]〔大〕－【聖】
[3] 問＝聞【聖】
[4] 者＝喜【聖】

[T1.667c03] 鸚鵡摩納白曰：「瞿曇！彼諸梵志施設五法，有大果報，有大功德，作福得善。」

[T1.667c05] 世尊告曰：「若諸梵志施設五法，有大果報，有大功德，作福得善，汝在此眾，今可說耶？」

[T1.667c07] 鸚鵡摩納白曰：「瞿曇！我無不可。所以者何？瞿曇！於今現坐[1]此眾。」

[T1.667c09] 世尊告曰：「汝便可說。」

[T1.667c09] 鸚鵡摩納白曰：「瞿曇！善聽，瞿曇！梵志施設第一真諦[2]法，有大果報，有大功德，作福得善，第二誦習[3]，第三熱行[4]，第四苦行[5]，瞿曇！梵志施設第五梵行[6]，有大果報，有大功德作福得善。」

[T1.667c13] 世尊告曰：「若有梵志施設五法，有大果報，有大功德，作福得善，彼梵志中頗有一梵志作如是說，我此五法，於現法中自知自覺，自作證已，施設果耶？」

[T1.667c17] 鸚鵡摩納白世尊曰：「無也。瞿曇！」

[T1.667c18] 世尊告曰：「頗有師及祖師，至七世父母，作如是說，我此五法，於現法中自知自覺，自作證已，施設果耶？」

[T1.667c20] 鸚鵡摩納白世尊曰：「無也。瞿曇！」

[T1.667c21] 爾時，世尊問曰：「摩納，若昔有梵志壽終命過，誦持經書，流布經書，誦習典經[7]，一曰夜吒[8]，二曰婆摩[9]，三曰婆摩提婆[10]，四曰毗奢[11]蜜哆羅[12]，五曰夜婆陀揵尼，[13]六曰應疑羅婆[14]，七曰婆私吒[15]，八曰迦葉[1]，九曰

---

[1] 坐＝在【宋】【元】【明】
[2] [>真諦]～Sacca.
[3] [>誦習]～Ajjhena.
[4] [>熱行]～Tapa.
[5] [>苦行]～Cāga.
[6] [>梵行]～Brahmacariya.
[7] 典經＝經典【宋】【元】【明】
[8] [>夜吒]～Aṭṭhaka.
[9] [>婆摩]～Vāmaka.
[10] [>婆摩提婆]～Vāmadeva.
[11] 奢＝舍【聖】
[12] [>毗奢蜜哆羅]～Vessāmitta.
[13] [>夜婆陀揵尼]～Yamataggi.
[14] [>應疑羅婆]～Aṅgiras.
[15] [>婆私吒]～Vāseṭṭha.

婆羅婆[2]，十曰婆恕[3]，謂今諸梵志即彼具經誦習持學，彼頗作是說，我此五法，於現法中自知自覺，自作證已，施設果，耶[4]。」

[T1.667c29] 鸚鵡摩納白世尊曰：「無也。瞿曇！但諸梵志因信受持。」

[T1.668a01] 世尊告曰：「若於諸梵志，無一梵志而作是說，我此五法，於現法中自知自覺，自作證已，施設果報，亦無師及祖師，乃至七世父母，而作是說，我此五法，於現法中自知自覺，自作證已，施設果報，若昔有梵志壽終命過，誦持經書，流布經書，誦習典經[5]，一曰夜吒，二曰婆摩，三曰婆摩提婆，四曰毗奢蜜哆邏[6]，五曰夜婆陀揵尼，六曰應疑羅婆，七曰婆私吒，八曰迦葉，九曰婆羅婆，十曰婆恕，謂今諸梵志即彼具經誦習持學，彼無作是說，我此五法，於現法中自知自覺，自作證已，施設果報，摩納，彼諸梵志不以此故，於信向中無根本耶？」

[T1.668a13] 鸚鵡摩納白曰：「瞿曇！實無根本，但諸梵志聞已受持。」

[T1.668a14] 世尊告曰：「猶眾盲兒各相扶持，彼在前者，不見於後，亦不見中，彼在中者，不見於前，亦不見後，彼在後者，不見於中，亦不見前，摩納，所說諸梵志輩亦復如是，摩納，前說信而後復說聞。」

[T1.668a19] 鸚鵡摩納瞋恚世尊！憎嫉不悅，誹謗世尊！指擿世尊！罵詈世尊！應誹謗瞿曇！應指瞿曇！應墮瞿曇！語世尊曰：「有一梵志，名弗袈裟裟[7]羅[8]，姓直清淨化，彼作是說。若有沙門、梵志，於人上法有知有見，現我得者，我聞是已，便大笑之，意不相可，虛妄不真，亦不如法。云何人生人中，自說得人上法，若於人上法言我知我見者，此事不然。」

[T1.668a27] 於是，世尊便作是念：「鸚鵡摩納都題子瞋恚於我，憎嫉不悅，誹謗於我，指擿於我，罵詈於我，應誹謗瞿曇！應指瞿曇！應墮瞿曇！而語我曰：「瞿曇！有梵志名弗袈裟*裟羅，姓直清淨化，彼作是說。若有沙門、梵志，於人上法有知有見，現我得者，我聞是已，便大笑之，意不相可，虛妄不真，亦不如法。云何人生人中，自說得人上法，若於人上法言我知我見者，此事不然。」

---

[1] [>迦葉]～Kassapa.
[2] [>婆羅婆]～Bhāradvāja.
[3] [>婆恕]～Bhagu.
[4] 耶＝也【宋】【元】【明】【聖】
[5] 典經＝經典【明】[>＊]
[6] 邏＝羅【宋】【元】【明】【聖】
[7] 裟＝娑【宋】＊【元】＊【明】＊，＝婆【聖】＊
[8] [>弗袈裟裟羅]～Pokkharassāti.

[T1.668b06] 世尊知已，告曰：「摩納，梵志弗袈裟*裟羅姓直清淨化，彼知一切沙門、梵志心之所念，然後作是說。若有沙門、梵志，於人上法有知有見，現我得者，我聞是已，便大笑之，意不相可，虛妄不真，亦不如法。云何人生人中，自說得人上法，若於人上法言我知我見者，此事不然耶？」

[T1.668b13] 鸚鵡摩納答曰：「瞿曇！梵志弗袈裟裟[1]羅姓直清淨化，自有一婢，名曰不尼，尚不能知心之所念，況復欲知一切沙門、梵志心之所念耶？若使知者，終無是處。」

[T1.668b16] 世尊告曰：「猶人生盲，彼作是說，無黑白色，亦無見黑白色者，無好惡色，亦無見好惡色，無長短色，亦無見長短色，無近遠色，亦無見近遠色，無麤細色，亦無見麤細色，我初不見不知。是故無色，彼生盲人作如是說，為真實耶？」

[T1.668b22] 鸚鵡摩納答世尊曰：「不也。瞿曇。所以者何？有黑白色，亦有見黑白色者，有好惡色，亦有見好惡色，有長短色，亦有見長短色，有近遠色，亦有見近遠色，有麤細色，亦有見麤細色，若言我初不見不知。是故無色，彼生盲人作是說者，為不真實。」

[T1.668b27]「摩納，梵志弗袈裟裟[2]羅姓直清淨化，彼所說者，非如生盲無目人耶？」

[T1.668b29] 鸚鵡摩納答世尊曰：「如盲，瞿曇！」

[T1.668c01] 世尊告曰：「摩納，於意云何？若昔有梵志壽終命過，誦持經書，流布經書，誦習*典經，謂商伽[3]梵志、生聞[4]梵志、弗袈*裟裟羅梵志及汝父都題[5]，若彼所說，可不可、有真無真、有高有下耶？」

[T1.668c05] 鸚鵡摩納答世尊曰：「若昔有梵志壽終命過，誦持經書，流布經書，誦習*典經，謂商伽梵志、生聞梵志、弗袈*裟裟羅梵志及我父都題，彼所說者，於我意者，欲令可，莫令不可，欲令真，莫令不真，欲令高，莫令下。」

[T1.668c10] 彼時，世尊問曰：「摩納，梵志弗袈*裟裟羅姓直清淨化，彼所說者，非為不可、無有可耶？非為不真、無有真耶？非為至下、無有高耶？」

[T1.668c13] 鸚鵡摩納答世尊曰：「實爾，瞿曇！」

---

[1] 裟＝娑【宋】【明】，＝婆【聖】＊
[2] 裟裟＝裟娑【宋】【明】＊，＝娑娑【元】＊
[3] [>商伽]～Caṅkī.
[4] [>生聞]～Jāṇussoṇī.
[5] [>都題]～Todeyya.

[T1.668c14]「復次，摩納，有五法作障[1]礙，作覆蓋，作盲無目，能滅智慧，唐[目>自]疲勞，不得涅槃。云何為五？摩納，欲第一法作障礙，作覆蓋，作盲無目，能滅智慧，唐自疲勞，不得涅槃，摩納，恚、身見、戒取，疑第五法作障礙，作覆蓋，作盲無目，能滅智慧，唐自疲勞，不得涅槃，摩納，於意云何？為此五法之所障礙，覆蓋、陰纏，彼若欲觀自義，觀他義，觀俱義，及知一切沙門、梵志心之所念者，終無是處，摩納，梵志弗袈*裟裟羅姓直清淨化，為欲所染，欲所穢染，欲觸欲猗[2]，著於欲，入於欲中，不見災患，不知出要而行於欲，彼為此五法之所障礙，覆蓋、陰纏，彼若欲觀自義，觀他義，觀俱義，及知一切沙門、梵志心之所念者，終無是處。」

[T1.668c28]「復次，摩納，有五欲功德[3]，愛念意樂，彼有愛色欲相應，甚可於樂。云何為五？目知色，耳知聲，鼻知香，舌知味，身知觸，摩納，於意云何？眾生因此五欲功德故，生樂生喜，不復是過耶？」

[T1.669a03] 鸚鵡摩納白世尊曰。如是，瞿曇！」

[T1.669a04] 世尊問曰：「摩納，於意云何？若因草木而然[4]火，及離草木而然火，何者光[火*僉]最上、最妙、最勝耶？」

[T1.669a06] 鸚鵡摩納白曰：「瞿曇！若離草木而然火者，終無是[5]處，唯有如意足力，瞿曇！若離草木而然火者，彼光[火*僉]最上、最妙、最勝。」

[T1.669a09] 世尊告曰：「如是，如是，摩納，若離草木而然火者，終無是處，唯有如意足力，若離草木而然火者，彼光[火*僉]最上、最妙、最勝，我今假說，摩納，如因草木而然火者，如是眾生所生喜樂，謂因欲、惡不善之法，不得捨樂及於止[6]息，摩納，如離草木而然火者，如是眾生所生捨樂，謂因離欲，從諸善法而得捨樂及於止[7]息。」

[T1.669a16] 世尊告曰：「摩納，於意云何？有一梵志作齋行施，或從東方有剎利童子來，彼作是說，我於其中得第一座[8]、第一澡水、第一飲食，彼於其中不得第一座、第一澡水、第一飲食，便生怨恨而懷憎嫉，或從南方有梵志童子來，彼作是說，我於其中得淨妙食，彼於其中不得淨妙食，便生怨恨而懷憎嫉，或從西方有居士童子來，彼作是說，我於其中得豐饒食，彼於其中不得豐

---

[1] 五障[疑>礙]～Pañca-nīvaraṇā.
[2] 猗＝倚【元】【明】
[3] 五欲功德～Pañca kāma-guna.
[4] 然＝燃【聖】＊
[5] 是＝此【宋】【元】【聖】
[6] 止＝上【聖】
[7] 止＝上【宋】【聖】
[8] 座＝坐【宋】【元】【明】【聖】＊

饒食，便生怨恨而懷憎嫉，或從北方有工師童子來，彼作是說，我於其中得豐足食，彼於其中不得豐足食，便生怨恨而懷憎嫉，摩納，彼諸梵志行如是施，施[1]設何等報耶？」

[T1.669b01] 鸚鵡摩納白曰：「瞿曇！梵志不如是心行於布施，使他生怨恨而懷憎嫉，瞿曇！當知梵志以愍傷心而行於施，以愍傷心而行施已，便得大福。」

[T1.669b04] 世尊告曰：「摩納，梵志非為施設第六法，有大果報，有大功德，作福得善耶？」

[T1.669b06] 鸚鵡摩納答世尊曰。如是，瞿曇！」

[T1.669b06] 世尊問曰：「摩納。若有梵志施設五法，有大果報，有大功德，作福得善，汝見此法多在何處，為在家耶？為出家學道耶？」

[T1.669b09] 鸚鵡摩納答曰：「瞿曇。若有梵志施設五法，有大果報，有大功德，作福得善，我見此法多在出家學道，非在家也。所以者何？在家者多事，多有所作，多有結恨，多有憎諍，彼不能得守護誠諦，瞿曇！出家學道者少事，少有所作，少有結恨，少有憎諍，彼必能得守護誠諦，瞿曇！彼誠諦者，我見多在出家學道，非在家也。所以者何？在家者多事，多有所作，多有結恨，多有憎諍，彼不得行施，不得誦習，不得行苦行，不得行梵行，瞿曇！出家學道者少事，少有所作，少有結恨，少有憎諍，彼得行施，彼得誦習，得行苦行，得行梵行，瞿曇！行梵行者，我見此法多在出家學道，非在家也。」

[T1.669b23] 世尊告曰：「摩納。若有梵志施設五法，有大果報，有大功德，作福得善者，我說是從心起。云何為心，若心無結、無怨、無恚、無諍，為修彼故，摩納，於意云何？若有比丘守護誠諦者，彼因守護誠諦故，得喜得悅，摩納。若有喜及悅，善善相應，我說是從心起。云何為心，若心無結、無怨、無恚、無諍[2]，為修彼故，如是彼得行施，彼得誦習，得行苦行，得行梵行，彼因行梵行故，得喜得悅，摩納。若有喜及悅，善善相應，我說是從心起。云何為心，若心無結、無怨、無恚、無諍，彼心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結、無怨、無恚、無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結、無怨、無恚、無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。」

[T1.669c10]「摩納，猶如有人善吹於螺，彼若有方未曾聞者，彼於夜半而登高山，極力吹螺，出微妙聲，遍滿四方，如是比丘心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結、無怨、無恚、無諍，

[1]〔施〕－【聖】
[2] 諍＝誦【聖】

極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結、無怨、無恚、無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，摩納，於意云何？若有求天，要求天上故，便行貪伺相應心，令我作天及餘天。若有求天，要求天上故，便無結、無怨、無恚、無諍，無量極廣善修，心定意解，遍滿成就遊，令我作天及餘天，汝觀於彼，誰得作天及餘天耶？」

[T1.669c23] 鸚鵡摩納答曰：「瞿曇！若此求天，要求天上故，便無結、無怨、無恚、無諍，無量極廣善修，心定意解，遍滿成就遊者，我觀於彼必得作天或餘天也。」

[T1.669c26] 世尊問曰：「摩納，於意云何？若有求梵天，要求梵天上故，便行貪伺相應心，令我作梵天及餘梵天。若有求梵天，要求梵天上故，便無結、無怨、無恚、無諍，無量極廣善修，心定意解，遍滿成就遊，令我作梵天及餘梵天，汝觀於彼，誰得作梵天及餘梵天耶？」

[T1.670a03] 鸚鵡摩納答曰：「瞿曇！若此求梵天，要求梵天上故，便無結、無怨、無恚、無諍，無量極廣善修，心定意解，遍滿成就遊者，我觀於彼得作梵天或餘梵天。」

[T1.670a06] 鸚鵡摩納問曰：「瞿曇！知梵道跡耶？」

[T1.670a07] 世尊告曰：「摩納，我今問汝，隨所解答，摩納，於意云何？那羅歌[1]邏[2]村去此眾不遠耶？」

[T1.670a09] 鸚鵡摩納答曰：「不遠。」

[T1.670a10] 世尊告曰：「摩納，於意云何？汝於此眾告一人曰：「汝往至彼那羅歌*邏村，到便即還，彼受汝教，速疾往至那羅歌*邏村，到便即還，彼往返[3]已，汝問道路，謂於那羅歌*邏村往*返出入事，彼人寧住不能答耶？」

[T1.670a15] 鸚鵡摩納答世尊曰：「不也。瞿曇！」

[T1.670a15] 世尊告曰：「摩納，彼人往*返於那羅歌*邏村，問道路事，乃可得住而不能答，若問如來、無所著、等正覺梵道跡者，終不暫住而不能答。」

[T1.670a18] 鸚鵡摩納白世尊曰：「沙門瞿曇！無著天[1]祠[2]，此事具足，謂問梵道跡能速答故。世尊！我已知，善逝，我已解。世尊！我今自歸於佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

---

[1] [>那羅歌邏]～Nalakāra.
[2] 邏＝羅【宋】【元】【明】【聖】＊
[3] 返＝反【宋】【元】【明】【聖】＊

[T1.670a23] 佛說如是，鸚鵡摩納聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.670a25] 鸚鵡經第一竟 [3](四千五百六十一字)[4]，

（一五三）中阿含 [5]梵志品鬚

(Ma.153)閑提經 [6] 第二 [7](閑音呼奸反 [8])(第四 [9]分別誦 [10])

[T1.670a28] 我聞如是。

[T1.670a28] 一時，佛遊拘樓瘦 [11]，在婆羅婆 [12]第一靜 [13]室，坐於草座。

[T1.670a29] 爾時，世尊過夜平旦，著衣持鉢，入釼摩瑟曇 [14]次第乞食，食訖 [15]，中後還舉衣鉢，澡洗手足，以尼師檀 [16]著於肩上，往詣一林，至晝行處，爾時，世尊入於彼林，至一樹下，敷尼師*檀，結加 [17]趺坐。

[T1.670b05] 於是，鬚閑提異學中後彷徉，往詣婆羅婆第一靜 [18]室，鬚閑提異學遙見婆羅婆第一*靜室有布草座一脇臥處，似師子臥，似沙門臥，似梵行臥，鬚閑提異學見已，問曰：「婆羅婆第一*靜室，誰有此草座一脇臥處，似師子臥，似沙門臥，似梵行臥。」

[T1.670b10] 婆羅婆梵志答曰：「鬚閑提，有沙門瞿曇釋種子，捨釋宗族，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信，捨家、無家、學道，覺無上正盡覺，彼第一*靜室有此草座一脇臥處，似師子臥，似沙門臥，似梵行臥。」

---

[1] 天＝大【宋】【元】【明】
[2] 祠＝伺【明】
[3]〔鸚鵡…竟〕六字－【明】
[4]〔四千…字〕八字－【宋】【元】【明】【聖】
[5] 〔中阿含〕－【明】
[6] ～《中部》M.75.Māgaṇḍiya sutta (摩犍提經)，Dhp.204.
[7] 第＋（十）【明】
[8] 〔閑音呼奸反〕－【明】
[9] 〔第四分別誦〕－【明】
[10] 誦＝請【元】
[11] [>拘樓瘦]～Kurusu.
[12] [>婆羅婆]～Bhāradvāja.
[13] 靜＝靖【宋】【元】【聖】
[14] [>釼摩瑟曇]～Kammāssadhamma.，釼＝劒【宋】【元】【明】
[15] 訖＝說【元】
[16] 檀＝壇【宋】＊【元】＊【明】＊
[17] 加＝跏【宋】【元】【明】【聖】＊
[18] 靜＝靖【宋】【元】【明】【聖】＊

[T1.670b14] 鬚閑提異學語曰：「婆羅婆，我今不可見見，不可聞聞，謂我見沙門瞿曇臥處。所以者何？彼沙門瞿曇壞敗地，壞敗地者，無可用也。」

[T1.670b17] 婆羅婆語曰：「鬚閑提，汝不應以此事罵彼沙門瞿曇。所以者何？彼沙門瞿曇多有慧，剎利慧、梵志慧、居[土>士]慧、沙門慧，若說慧者皆得聖智，鬚閑提，我欲以此義向彼沙門瞿曇說，為可爾不？」

[T1.670b22] 鬚閑提語曰：「婆羅婆，若欲說者，則隨汝意，我無所違，婆羅婆，若見沙門瞿曇者，我亦說此義。所以者何？彼沙門瞿曇敗壞地，敗壞地者，無可用也。」

[T1.670b25] 爾時，世尊在晝行處，以淨天耳出過於人，聞婆羅婆梵志與鬚閑提異學共論此事，世尊聞已，則於晡時從燕[1]坐起，往詣婆羅婆梵志第一*靜室，於草座上敷尼師*檀，結*加趺坐，婆羅婆梵志遙見世尊在樹林間，端政[2]姝好，猶星中月，光耀煒[3]曄，晃若金山，相好具足，威神巍巍，諸根寂定，無有蔽礙，成就調御，息心靜默，見已，進前往詣佛所，共相問訊，却坐一面。

[T1.670c05] 世尊問曰：「婆羅婆，與鬚閑提異學共論此草坐[4]處耶？」

[T1.670c06] 婆羅婆梵志答世尊曰：「如是，瞿曇！我亦欲以此事向沙門瞿曇[5]說，然沙門瞿曇未[6]說已自知。所以者何？以如來、無所著、等正覺故。」

[T1.670c09] 世尊與婆羅婆梵志共論此事，鬚閑提異學於後彷徉，往詣婆羅婆第一靜室。

[T1.670c11] 世尊遙見鬚閑提異學來已，而作是說，鬚閑提，不調御眼根，不密守護而不修者，必受苦報，彼於沙門瞿曇善自調御，善密守護而善修者，必得樂報，鬚閑提，汝因此故，說沙門瞿曇敗壞地，敗壞地者，無可用耶？」

[T1.670c16] 鬚閑提異學答世尊曰：「如是，瞿曇！」

[T1.670c16]「鬚閑提，如是耳、鼻、舌、身根，不調御意根，不密守護而不修者，必受苦報，彼於沙門瞿曇善自調御，善密守護而善修者，必得樂報，鬚閑提，汝因此故，說沙門瞿曇敗[壞>壞]地，敗壞地者，無可用耶？」

---

[1] 燕＝宴【宋】【元】【明】
[2] 政＝正【宋】【元】，＝坐【明】
[3] 耀煒＝曜暐【宋】【元】【明】【聖】
[4] 坐＝座【宋】【元】【明】【聖】
[5]〔我亦…瞿曇〕十七字－【聖】
[6]　（我）＋未【宋】【元】【明】

[T1.670c21] 鬚閑提異學答世尊曰：「如是，瞿曇！」

[T1.670c22] 世尊問曰：「鬚閑提，於意云何？若人本未出家學道，彼眼知色，愛念意樂，可欲相應，彼於後時捨眼知色，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，彼眼知色，習[1]、滅、味、患、出要見如真，內息心遊行，彼若見人未離色欲，為色愛所食，為色熱所熱，彼眼知色，愛念意樂，可欲相應，行時見已，不稱彼、不樂彼，鬚閑提，於意云何？若有此樂，因愛因色，樂此樂時，薄賤故不稱彼，薄賤故不樂彼，鬚閑提，寧可於彼有所說耶？」

[T1.671a02] 答世尊曰：「不也。瞿曇！」

[T1.671a03]「鬚閑提，於意云何？若人本未出家學道，如是耳知聲，鼻知香，舌知味，身知觸，愛念意樂，可欲相應，彼於後時，捨身知觸，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，彼身知觸，習[2]、滅、味、患、出要見如真，內息心遊行，彼若見人未離觸欲，為觸愛所食，為觸熱所熱，彼身知觸，愛念意樂，可欲相應，行時見已，不稱彼、不樂彼，鬚閑提，於意云何？若有見此樂，因愛因觸，樂此樂時，薄賤故不稱彼，薄賤故不樂彼，鬚閑提，寧可於彼有所說耶？」

[T1.671a13] 答世尊曰：「不也。瞿曇！」

[T1.671a13] 世尊問曰：「鬚閑提，於意云何？若人本未出家學道，五欲功德愛念意樂，可欲相應，彼於後時，捨五欲功德，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，彼五欲功德，*習、滅、味、患、出要見如真，內息心遊行，彼若見人未離欲，為欲愛所食，為欲熱所熱，五欲功德愛念意樂，可欲相應，行時見已，不稱彼、不樂彼，鬚閑提，於意云何？若有此樂，因欲因欲愛，樂此樂時，薄賤故不稱彼，薄賤故不樂彼，鬚閑提，寧可於彼有所說耶？」

[T1.671a23] 答世尊曰：「不也。瞿曇！」

[T1.671a24]「鬚閑提，我本未出家學道時，得五欲功德，易不難得，愛念意樂，可欲相應，我於後時，捨五欲功德，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，彼五欲功德，*習、滅、味、患、出要見如真，內息心遊行，我見人未離欲，為欲愛所食，為欲熱所熱，五欲功德，愛念意樂，可欲相應，行時見已，我不稱彼，我不樂彼，鬚閑提，於意云何？若有此樂，因欲因欲愛，樂此樂[3]時，薄賤故我不稱彼，薄賤故我不樂彼，鬚閑提，寧可於我有所說耶？」

---

[1] 習＝集【明】
[2] 習＝集【元】【明】＊
[3]〔樂〕－【聖】

[T1.671b04] 答世尊曰：「不也。瞿曇！」

[T1.671b05] 世尊告曰：「鬚閑提，猶如居士、居士子，極大富樂，資財無量，多諸畜牧、封戶、食邑，諸生活具種種豐饒，彼得五欲，易不難得，彼成就身妙行，口、意妙行，臨死之時，不樂捨五欲功德，身壞命終，後[1]昇善處，得生天上，具足行五欲功德，鬚閑提，此天及天子寧當捨天五欲功德，樂人間欲，歡喜念耶？」

[T1.671b12] 答世尊曰：「不也。瞿曇。所以者何？人間欲者，臭處不淨，意甚穢惡而不可向，憎諍極苦，瞿曇！於人間欲，天欲最上、最妙、最勝，若彼天及天子捨於天上五欲功德，樂人間欲，歡喜念者，終無是處。」

[T1.671b16]「如是，鬚閑提，我斷人間欲，度於天欲，剃除鬚髮，著袈裟[2]衣，至信、捨家、無家、學道，彼五欲功德，*習、滅、味、患、出要見如真，內息心遊行，我見人未離欲，為欲愛所食，為欲熱所熱，五欲功德愛念意樂，可欲相應，行時見已，我不稱彼，我不樂彼，鬚閑提，於意云何？若有此樂，因欲因欲愛，樂此樂時，薄賤故我不稱彼，薄賤故我不樂彼，鬚閑提，寧可於我有所說耶？」

[T1.671b24] 答世尊曰：「不也。瞿曇！」

[T1.671b25] 世尊告曰：「鬚閑提，猶人病癩，身體爛熟，為蟲所食，爪[3]擿瘡[4]開，臨火坑炙，鬚閑提，於意云何？若病癩人身體爛熟，為蟲所食，*爪擿*瘡開，臨火坑炙，如是寧得除病有力，不壞諸根，為脫癩病，身體完健[5]，平復如故，還本所[6]耶？」

[T1.671c01] 答世尊曰：「不也。瞿曇。所以者何？若病癩人身體爛熟，為蟲所食，*爪擿*瘡開，臨火[抗>坑]炙，如是更生*瘡轉增多，本*瘡轉大，然彼反以癩*瘡為樂。」

[T1.671c05]「鬚閑提，如病癩人身體爛熟，為蟲所食*爪擿*瘡開，臨火坑炙，如是更生*瘡轉增多，本*瘡轉大，然彼反以癩*瘡為樂，鬚閑提，如是眾生未離欲，為欲愛所食，為欲熱所熱而行於欲，鬚閑提，如是眾生未離欲，為欲愛所食，為欲熱所熱而行於欲，如是欲轉增多，欲愛轉廣，然彼反以欲愛為樂，彼

---

[1] 後＝復【宋】【元】【明】【聖】
[2] 裟＝娑【元】
[3] 爪＝抓【宋】【元】【明】，＝扴【聖】＊
[4] 瘡＝創【聖】＊
[5] 健＝揵【宋】
[6]〔還本所〕－【宋】【元】【明】【聖】

若不斷欲，不離欲愛，內息心，已行、當行、今行者，終無是處。所以者何？此非道理，斷欲、離欲愛，謂行於欲。」

[T1.671c14] 世尊告曰：「鬚閑提，猶王及大臣，得五所欲，易不難得，彼若不斷欲，不離欲愛，內息心，已行、當行、今行者，終無是處。所以者何？此非道理，斷欲、離欲愛，謂行於欲。如是，鬚閑提，眾生未離欲，為欲愛所食，為欲熱所熱而行於欲，鬚閑提，若眾生未離欲，為欲愛所食，為欲熱所熱而行欲者，如是欲轉增多，欲愛轉廣，然彼反以欲愛為樂，彼若不斷欲，不離欲愛，內息心，已行、當行、今行者，終無是處。所以者何？此非道理，斷欲、離欲愛，謂行於欲。」

[T1.671c24]「鬚閑提，猶病癩人身體爛熟，為蟲所食，*爪擿*瘡開，臨火坑炙，有人為彼憐念愍傷，求利及饒益，求安隱快樂，與如其像好藥，與如其像好藥已，除病得力，不壞諸根，已脫癩病，身體完健，平復如故，更還本所，彼若見人有癩病者[1]，身體爛熟，為蟲所食，以[2]*爪擿*瘡開，臨火坑炙，鬚閑提，彼人見已，寧復意樂稱譽喜耶？」

[T1.672a03] 答世尊曰：「不也。瞿曇。所以者何？有病須藥，無病不須。」

[T1.672a04]「鬚閑提，於意云何？若彼癩人除病得力，不壞諸根，已脫癩病，身體完健，平復如故，更還本所[3]，有二力士，強捉彼人臨火坑炙，彼於其中憧[4]惶迴避，身生重熱，鬚閑提，於意云何？此火坑者，於今更熱，大苦可患，甚於本耶？」

[T1.672a09] 答世尊曰：「不也。瞿曇！其本病癩，身體爛熟，為蟲所食，*爪擿*瘡開，臨火坑炙，彼於苦大[5]樂更樂想，其心迷亂，有顛倒想，瞿曇！彼人於今除病得力，不壞諸根，已脫癩病，身體完健，平復如故，*更還本所，彼於苦*大苦更樂想，其心泰然，無顛倒想。」

[T1.672a15]「鬚閑提，如病癩人身體爛熟，為蟲所食，*爪擿*瘡開，臨火坑炙，彼於苦*大樂更樂想，其心迷亂，有顛倒想。如是，鬚閑提，眾生不離欲，為欲愛所食，為欲熱所熱而行於欲，彼於苦欲有樂欲想，其心迷亂，有顛倒想，鬚閑提，猶如彼人除病得力，不壞諸根，已脫癩病，身體完健，平復如故，*更還本所，彼於苦*大苦更樂想，其心泰然，無顛倒想。如是，鬚閑提，我於苦欲有苦欲想，得如真實[6]，無顛倒想。所以者何？鬚閑提，過去時欲不淨臭處，意甚

---

[1]〔者〕－【元】【明】
[2]〔以〕－【宋】【元】【明】
[3]〔更還本所〕四字－【宋】【元】【明】
[4] 憧＝憧【聖】
[5] 大＝火【宋】＊【元】＊【明】＊
[6]〔實〕－【聖】

穢惡而不可向，憎諍苦更觸，未來、現在欲亦不淨臭處，意甚穢惡而不可向，憎諍苦更觸，鬚閑提，如來、無所著、等正覺說無病第一利，涅槃第一樂。」

[T1.672a29] 鬚閑提異學白世尊曰：「瞿曇！我亦曾從耆舊尊德長老久學梵行所，聞無病第一利，涅槃第一樂。」

[T1.672b02] 世尊問曰：「鬚閑提，若汝曾從耆舊尊德長老久學梵行所，聞無病第一利，涅槃第一樂，鬚閑提，何者無病，何者涅槃耶？」

[T1.672b05] 於是，鬚閑提異學身即是病、是癰、是箭、是蛇、是無常、是苦、是空、是非神，以兩手扙[1]摸而作是說：「瞿曇！此是無病，此是涅槃。」

[T1.672b08] 世尊語曰：「鬚閑提，猶如生盲，從有目人聞其所說，白淨無垢，白淨無垢，彼聞此已，便求白淨，有諂誑人而不為彼求利及饒益，求安隱快樂，則以垢膩不淨之衣，持往語曰：『汝當知之，此是白淨無垢之衣，汝以兩手敬受被身。』彼盲子喜，即以兩手敬受被身[2]而作是說：『白淨無垢，白淨無垢。』鬚閑提，彼人為自知說，為不知說，為自見說，為不見說。」

[T1.672b16] 鬚閑提異學答曰：「瞿曇！如是說者，實不知見。」

[T1.672b17] 世尊語曰：「如是，鬚閑提，如盲無目，身即是病、是癰、是箭、是蛇、是無常、是苦、是空、是非神，以兩手*扙摸而作是說，瞿曇！此是無病，此是涅槃，鬚閑提，汝尚不識於無病，何況知見於涅槃耶？言知見者，終無是處，鬚閑提，如來、無所著、等正覺說，

無病[3]第一利　涅槃第一樂　諸道八正道　住[4]安隱甘露

[T1.672b25] 彼眾多人並共聞之，眾多異學聞此偈已，展轉相傳，不能知義，彼既聞已，而欲求教，彼並愚癡，還相欺誑，彼自現身四大之種，從父母生，飲食所長，常覆按摩[5]澡浴，強忍、破壞、磨滅，離散之法，然見神受神，緣受則則有，緣有則生，緣生則老死，緣老死則愁慼啼哭、憂苦懊惱，如是此生純大苦陰。於是，鬚閑提異學即從坐[6]起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「瞿曇！我今極信沙門瞿曇！唯願瞿曇善為說法，令我得知此是無病，此是涅槃。」

---

[1] 扙＝捫【宋】＊【元】＊【明】＊，＝牧【聖】
[2] 身＝衣【聖】
[3] 無病…甘露～Arogyaparamā lābhā, nibbānam paramam sukham, aṭṭhaṅgiko ca maggānam khemaṃ amatagaminam.
[4] 住＝往【聖】
[5] 摩＝磨【聖】
[6] 坐＝座【明】

[T1.672c05] 世尊告曰：「鬚閑提，若汝聖慧眼未淨者，我為汝說無病、涅槃，終不能知，唐煩勞我，鬚閑提，猶生盲人，因他往語，汝當知之，此是青色，黃、赤、白色，鬚閑提，彼生盲人頗因他說，知是青色、黃、赤、白色耶？」

[T1.672c10] 答世尊曰：「不也。瞿曇！」

[T1.672c10]「如是，鬚閑提，若汝聖慧眼未淨者，我為汝說無病、涅槃，終不能知，唐煩勞我，鬚閑提，我為汝說如其像妙藥，令未淨聖慧眼而得清淨，鬚閑提，若汝聖慧眼得清[1]淨者，汝便自知此是無病，此是涅槃，鬚閑提，猶生盲人，有諸親親為彼慈愍，求利及饒益，求安隱快樂故，為求眼醫，彼眼醫者與種種治，或吐或下，或灌於鼻，或復灌下，或刺其脉[2]，或令淚出，鬚閑提，儻[3]有此處，得淨兩眼，鬚閑提，若彼兩眼得清淨者，則便自見此是[清>青]色，黃、赤、白色，見彼垢膩不淨之衣，便作是念：彼即怨家，長夜則以垢膩之衣欺誑於我，便有憎心，鬚閑提，此人*儻能殺害於彼。如是，鬚閑提，我為汝說如其像妙藥，令未淨聖慧眼而得清淨，鬚閑提，若汝聖慧眼得淨[4]者，汝便自知此是無病，此是涅槃。」

[T1.672c26] 鬚閑提，有四種法，未淨聖慧眼而得清淨。云何為四？親近善知識，恭敬、承事，聞善法，善思惟，趣向法次法，鬚閑提，汝當如是學，親近善知識，恭敬、承事，聞善法，善思惟，趣向法次法，鬚閑提，當學如是，鬚閑提，汝親近善知識，恭敬、承事已，便聞善法，聞善法已，便善思惟，善思惟已便趣向法次法，趣向法次法已，便知此苦如真，知此苦*習、知此苦滅、知此苦滅道如真。」

[T1.673a06]「云何知苦如真，謂生苦、老苦、病苦、死苦、怨憎會苦、愛別離苦、所求不得苦、略五盛陰苦，如是知苦如真。云何知苦*習如真，謂此愛當受未來有，與喜欲俱，願彼彼有，如是知苦*習如真。云何知苦滅如真，謂此愛當受未來有，與喜欲俱，願彼彼有滅、無餘、斷、捨、吐、盡、無欲、沒、息止，如是知苦[5]滅如真。云何知苦滅道如真，謂八支[6]聖道，正見，乃至正定，是謂為八，如是知苦滅道如真。」

[T1.673a15] 說此法已，鬚閑提異學遠塵離垢，諸法法眼生。於是，鬚閑提異學見法得法，覺白淨法，斷疑度惑，更無餘尊，不復從他，無有猶豫，已住果

---

[1]〔清〕－【宋】
[2] 脉＝眼【聖】
[3] 儻＝讜【聖】＊
[4]　（清）＋淨【聖】
[5]〔苦〕－【聖】
[6] 支＝枝【聖】

證，於世尊法得無所畏，即從座[1]起，稽首佛足，白曰：「世尊！願令我得出家學道，受具足，得比丘。」

[T1.673a21] 世尊告曰：「善來比丘，修行梵行。」

[T1.673a21] 鬚閑提異學即是出家學道，受具足，得比丘，鬚閑提出家學道，受具足，知法已，至得阿羅訶。

[T1.673a23] 佛說如是，尊者鬚閑提聞佛所說，歡喜奉行。

鬚閑提經第二竟[2](四千一百二十一字)[3]，

中阿*含經卷第三十八[4](八千六百六十二字[5])[6]

中阿含[7]經

卷第三十九 (Ma.154~156)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯[8]

（一五四）梵志品

(Ma.154)婆羅婆堂經[9] 第三[10](第四分別誦)[11]

[T1.673b06] 我聞如是。

---

[1] 座＝坐【宋】【聖】
[2]〔鬚閑…竟〕七字－【明】
[3]〔四千…字〕八字－【宋】【元】【明】【聖】
[4] 八＋（第四分別誦）【宋】【元】【聖】
[5]〔八千…字〕八字－【宋】【元】【明】【聖】
[6] ＋（性空佛海德佛藥王佛空王佛藥王菩薩藥上菩薩）二十字【聖】，＋（光明皇后願文）【聖】
[7] 含＝鉿【聖】＊
[8]〔東晉…譯〕十三字－【聖】
[9] ～《長部》D.27.Aggaññ-Suttanta.(起世因本經)，《長阿含 5 經》小緣經(大正 1.36b~)，No.10.《佛說白衣金幢二婆羅門緣起經》(大正 1.216b)
[10] 第＋（十）【明】
[11]〔第四分別誦〕－【明】

[T1.673b06] 一時，佛遊舍衛國，在東園[1]鹿子母堂。

[T1.673b07] 爾時，有二人婆私吒[2]及婆羅婆[3]梵志族，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，諸梵志見已，極訶責[4]數，甚急至苦，而語之曰：「梵志種勝，餘者不如，梵志種白，餘者皆黑，梵志得清淨，非梵志不得清淨，梵志梵天子，從彼口生，梵梵所化，汝等捨勝從不如，捨白從黑，彼禿沙門為黑所縛，斷種無子。是故汝等所作大惡，極犯大過。」

[T1.673b14] 爾時，世尊則於晡時從燕[5]坐起，堂上來下，於堂影中露地經行，為諸比丘說甚深微妙法，尊者婆私吒遙見世尊則於晡時從*燕坐起，堂上來下，於堂影中露地經行，為諸比丘說甚深微妙法，尊者婆私吒見已，語曰：「賢者婆羅婆，當知世尊則於晡時從*燕坐起，堂上來下，於堂影中露地經行，為諸比丘說甚深微妙法，賢者婆羅婆，可共詣佛，或能因此從佛聞法。」

[T1.673b23] 於是，婆私吒及婆羅婆即詣佛所，稽首作禮，從後經行。

[T1.673b24] 世尊迴顧，告彼二人：「婆私吒，汝等二梵志捨梵志族，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、[覺>學]道，諸梵志見已，不大*責數耶[6]？」

[T1.673b27] 彼即答曰：「唯然。世尊！諸梵志見已，極訶*責數，甚急至苦。」

[T1.673b28] 世尊問曰：「婆私吒，諸梵志見已。云何極訶*責數，甚急至苦*耶？」

[T1.673c01] 答曰：「世尊！諸梵志見我等已，而作是說，梵志種勝，餘者不如，梵志種白，餘者皆黑，梵志得清淨，非梵志不得清淨，梵志梵天子，從彼口生，梵梵所化，汝等捨勝從不如，捨白從黑，彼禿沙門為黑所縛，斷種無子。是故汝等所作大惡，極犯大過。世尊！諸梵志見我等已，如是極訶*責數，甚急至苦。」

[T1.673c08] 世尊告曰：「婆私吒，彼諸梵志所說至惡，極[7]自[8]無賴。所以者何？謂彼愚癡，不善曉解，不識良田，不能自知，作如是說，我等梵志是梵天

---

[1] 東園～Pubbāarāma.
[2] [>婆私吒]～Vāseṭṭha.
[3] [>婆羅婆]～Bhāradvāja.
[4] 責＝嘖【聖】＊
[5] 燕＝宴【宋】＊【元】＊【明】＊
[6] 耶＝邪【万】＊
[7] 極自＝困極【宋】【元】【明】
[8] 自＝困【万】【聖】

子，從彼口生，梵梵所化。所以者何？婆私吒，我此無上明、行、作證，不說生勝，不說種姓，不說憍慢，彼可我意，不可我意，因坐因水，所學經書，婆私吒。若有婚姻者，彼應說生，應說種姓，應說憍慢，彼可我意，不可我意，因坐因水，所學經書，婆私吒。若有計生、計姓、計慢者，彼極遠離於我無上明、行、作證，婆私吒，說生、說姓、說慢，彼可我意，不可我意，因坐因水，所學經書者，於我無上明、行、作證別。復次，婆私吒，謂有三種，令非一切人人共諍，雜善不善法，彼則為聖所稱不稱。云何為三？剎利種、梵志種、居士種，婆私吒，於意云何？剎利殺生，不與取、行邪婬、妄言乃至邪見，居士亦然，非梵志*耶？」

[T1.673c24] 答曰：「世尊！剎利亦可殺生、不與取、行邪婬、妄言，乃至邪見，梵志、居士亦復如是。」

[T1.673c26] 世尊問曰：「婆私吒，於意云何？梵志離殺、斷殺、不與取、行邪婬、妄言，乃至離邪見，得正見，剎利、居士為不然*耶？」

[T1.673c29] 答曰：「世尊！梵志亦可離殺、斷殺、不與取、行邪婬、妄言，乃至離邪見得正見，剎利、居士亦復如是。」

[T1.674a02] 世尊問曰：「婆私吒，於意云何？若有無量惡不善法，是剎利、居士所行，非梵志*耶？若有無量善法，是梵志所行，非剎利、居士*耶？」

[T1.674a05] 答曰：「世尊！若有無量惡不善法，彼剎利、居士[1]亦可[2]行，梵志[3]亦復如是。若有無量善法，彼梵志亦可行，剎利、居士亦復如是。」

[T1.674a08]「婆私吒。若有無量惡不善法，一向剎利、居士行，非梵志者。若有無量善法，一向梵志行，非剎利、居士者，彼諸梵志可作是說，我等梵志是梵天子，從彼口生，梵梵所化。所以者何？婆私吒，見梵志女始婚姻時，婚姻已後，見懷妊[4]身[5]時，懷*妊*身已後，見產生時，或童男，或童女，婆私吒，如是諸梵志亦如世法，隨產道生，然彼妄言言[6]*[(一/(人*人)/工)]謗梵天而作是說：『我等梵志是梵天子，從彼口生，梵梵所化。』」

[T1.674a17]「婆私吒，若族姓子、若干種姓、若干種名，捨若干族，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家，從我學道，應作是說[7]：『我等梵志是梵天子，

---

[1]〔居士〕－【宋】【元】【明】【万】【聖】
[2]　（不）＋可【宋】【元】【明】
[3] 志＋（居士）【宋】【元】【明】【万】【聖】
[4] 妊＝任【万】【聖】＊
[5]〔身〕－【宋】【元】【明】【万】【聖】＊
[6] [言*(一/(人*人)/工)]＝誣【元】【明】
[7] 說＝念【宋】【元】【明】

從彼口生，梵梵所化。』所以者何？婆私吒，彼族姓子入我正法、律中，受我正法、律，得至彼岸，斷疑度惑[1]，無有猶豫，於世尊法得無所畏。是故彼應作是說，我等梵志是梵天子，從彼口生，梵梵所化，婆私吒，彼梵天者，是說如來、無所著、等正覺，梵是如來，冷[2]是如來，無煩無熱，不離如者，是如來也。婆私吒，於意云何？諸釋下意愛敬至重，供養奉事於波斯匿[3]拘娑羅王*耶？」

[T1.674a29] 彼則答曰：「如是。世尊！」

[T1.674a29] 世尊問曰：「婆私吒，於意云何？若諸釋下意愛敬至重，供養奉事於波斯匿拘娑羅王，如是波斯匿拘娑羅王則於我身下意愛敬至重，供養奉事我*有眾生生晃昱天[4]，彼於其中妙色意生，一切支節諸根具足，以喜為食，自身光明，昇於虛空，淨色久住，婆私吒，有時此大地滿其中水，彼大水上以風吹攪，結搆[5]為精，合[6]聚和合，猶如熟酪，以抨抨[7]乳，結*搆為精，*合聚和合。如是，婆私吒，有時此大地滿其中水，彼大水上以風吹攪，結*搆為精，*合聚和合，從是生地味，有色香味。云何為色，猶如生酥[8]及熟*酥色。云何為味，如蜜丸味。」

[T1.674b26]「婆私吒，有時此世還復成[9]時。若有眾生生晃昱天，壽盡、業盡、福盡命終，生此為人，生此間已，妙色意生，一切支節諸根具足，以喜為食，自身光明，昇於虛空，淨色久住，婆私吒，爾時，世中無有日月，亦無星宿，無有晝夜，無月、半月，無時無歲，婆私吒，當爾之時，無父無母，無男無女，又無大家，復無奴婢，唯等眾生。於是，有一眾生貪餮[10]不廉，便作是念。云何地味，我寧可以指抄此地味嘗，彼時，眾生便以指抄此地味嘗。如是，眾生既知地味，復欲得食，彼時，眾生復作是念：何故以指食此地味，用自疲勞，我今寧可以手撮此地味食之，彼時，眾生便以手撮此地味食。」

[T1.674c10]「於彼眾生中復有眾生，見彼眾生各以手撮此地味食，便作是念：此實為善，此實為快，我等寧可亦以手撮此地味食，時，彼眾生即以手撮此地味食，若彼眾生以手撮此地味食已，如是如是，身生轉厚、轉重、轉堅，若彼本時有清淨色，於是便滅，自然生闇，婆私吒，世間之法，自然有是，若生闇

---

[1] 惑＝或【万】
[2] 冷＝今【宋】【明】
[3] [>波斯匿]～Pasenadi.
[4] 晃昱天～Ābhassara.
[5] 搆＝構【宋】＊【元】＊【明】＊
[6] 合＝含【聖】[>＊]
[7] 抨抨＝[車*(入/十)][車*(入/十)]【聖】
[8] 酥＝蘇【聖】＊
[9] 復成＝成復【宋】【元】【明】【万】【聖】
[10] 餮＝餘【万】【聖】

者，必生日月，生日月已，便生星宿，生星宿已，便成晝夜，成晝夜已，便有月、半月，有時、有歲，彼食地味，住[1]世久遠。」

[T1.674c20]「婆私吒。若有眾生食地味多者，便生惡色，食地味少者，便有妙色，從是知色有勝有如，因色勝如故，眾生眾生共相輕慢言，我色勝，汝色不如，因色勝如而生輕慢及惡法故，地味便滅，地味滅已，彼眾生等便共聚集，極悲啼泣而作是語，奈何地味，奈何地味，猶如今人含消美物，不說本字，雖受持而不知義，此說觀義亦復如是，婆私吒，地味滅後，彼眾生生地肥[2]，有色香味。云何為色，猶如生*酥及熟*酥色。云何為味，如蜜丸味，彼食此地*肥，住世久遠。」

[T1.675a01]「婆私吒。若有眾生食地*肥多者，便生惡[3]色，食地*肥少者，便有妙色，從是知色有勝有如，因色勝如故，眾生眾生共相輕慢言，我色勝，汝色不如，因色勝如而生輕慢及惡法故，地*肥便滅，地*肥滅已，彼眾生等便共聚集，極悲啼泣而作是語：『奈何地*肥，奈何地*肥。』猶如今人為他所嘖[4]，不說本字，雖受持而不知義，此說觀義亦復如是，婆私吒，地*肥滅後，彼眾生生婆羅[5]，有色香味。云何為色，猶加[6]曇華色。云何為味，如淖蜜丸味，彼食此婆羅，住世久遠。」

[T1.675a12]「婆私吒。若有眾生食婆羅多者，便生惡色，食婆羅少者，便有妙色，從是知色有勝有如，因色勝如故，眾生眾生共相輕慢言，我色勝，汝色不如，因色勝如而生輕慢及惡法故，婆羅便滅，婆羅滅已，彼眾生等便共聚集，極悲啼泣而作是語：『奈何婆羅，奈何婆羅。』猶如今人苦法所觸，不說本字，雖受持而不知義，此說觀義亦復如是。」

[T1.675a20]「婆私吒，婆羅滅後，彼眾生生自然粳米，白淨無皮，亦無有[麩-夫+黃[7]][葶-丁+呆][8]，長四寸，朝刈暮生，暮刈朝生，熟有鹽味，無有生氣，眾生食此自然粳米，如[9]彼眾生食此自然粳米已，彼眾生等便生若干形，或有眾生而生男形，或有眾生而生女形，若彼眾生生男女形者，彼相見已，便作是語，惡眾生生，惡眾生生。」

---

[1] 地味住＝味在【宋】【元】【明】
[2] 肥＝[月*雹]【聖】＊
[3] 惡＝為【聖】
[4] 嘖＝責【宋】【元】【明】
[5] [>婆羅]～Badālatā.
[6] 加＝如【宋】【元】【明】【聖】＊
[7] [麩-夫+黃]＝穬【宋】＊【元】＊【明】＊
[8] [藁>[葶-丁+呆]]＝稾【聖】＊
[9] 如＋（如）【万】【聖】＊

[T1.675a27]「婆私吒，惡眾生生者，謂說婦人也。若彼眾生生於男形及女形者，彼眾生等則更相伺，更相伺已，眼更相視，更相視已，則更相染，更相染已，便有煩熱，有煩熱已，便相愛著，相愛著已，便行於欲，若見行欲時，便以木石，或以杖塊而打擲[1]之，便作是語：『咄[2]，弊惡眾生作非法事。』云何眾生共作是*耶？猶如今人迎新婦時，則以襆[3]華散，或以華鬘垂，作如是言[4]：『新婦安隱，新婦安隱，本所可憎，今所可愛。』婆私吒。若有眾生惡不淨法，憎惡羞恥，懷慚愧者，彼便離眾一日、二日，至六、七日，半月、一月，乃至一歲，婆私吒。若有眾生欲得行此不淨行者，彼便作家而作是說，此中作惡，此中作惡，婆私吒，是謂初因初緣世中起家法，舊第一智，如法非不如法，如法人尊。」

[T1.675b13]「於中有一事[5]懶惰[6]眾生，便作是念：『我今何為日日[7]常取自然粳米，我寧可并[8]取一日食直*耶？』彼便*并取一日食米。於是，有一眾生語彼眾生曰：『眾生，汝來共行取米*耶？』彼則答曰：『我已并取，汝自取去。』彼眾生聞已，便作是念：『此實為善，此實為快，我亦寧可*并取明日所食米*耶？』彼便*并取明日米來，復有一眾生語彼眾生曰：『眾生，汝來共行取米*耶？』彼則答曰：『我已*并取明日米來，汝自取去。』彼眾生聞已，便作是念：『此實為善，此實為快，我今寧可*并取七日食米來*耶？』時，彼眾生即便*并取七日米來，*如彼眾生自然粳米極取積聚，彼宿粳米便生皮* [麩-夫+黃]，刈[9]至七日亦生皮*[麩-夫+黃]，隨所*刈處，即不復生。」

[T1.675b27]「於是，彼眾生便共聚集，極悲啼泣，作如是語：『我等生惡不善之法，謂我曹等儲畜宿米。所以者何？我等本有妙色意生，一切支節諸根具足，以喜[10]為食，自身光明，昇於虛空，淨色久住，我等生地味，有色香味。云何為色，猶如生酥[11]及熟*酥色。云何為味，如蜜丸味，我等食地味，住世久遠，我等若食地味多者，便生惡色，食地味少者，彼[12]有妙色，從是知色有勝有如，因色勝如故，我等各各共相輕慢言，我色勝，汝色不如，因色勝如而生輕慢及惡法故，地味便滅，地味滅後，我等生地*肥，有色香味。云何為色，猶如生*酥及熟*酥色。云何為味，如蜜丸味，我等食地*肥，住世久遠，我等若食地

---

[1] 打擲＝擲打【宋】【元】【明】【聖】
[2] 咄＋（咄）【宋】【元】【明】【万】【聖】
[3] 襆＝[褋-世+ㄊ]【万】，＝樸【聖】
[4] 言＝語【宋】【元】【明】【聖】
[5] 〔事〕－【宋】【元】【明】【聖】
[6] 惰＝嬾【宋】【元】【聖】
[7] 日＝月【聖】
[8] 并＝併【宋】＊【元】＊【明】＊
[9] 刈＝割【宋】＊
[10] 喜＝憙【聖】
[11] 酥＝蘇【万】【聖】＊
[12] 彼＝便【元】【明】

*肥多者，便生惡色，食地*肥少者，便有妙色，從是知色有勝有如，因色勝如故，我等各各共相輕慢言，我色勝，汝色不如，因色勝如而生輕慢及惡法故，地*肥便滅，地*肥滅後，我等生婆羅，有色香味。云何為色，猶*加曇華色。云何為味，如淖蜜丸味，我等食婆羅，住世久遠，我等若食婆羅多者，便生惡色，食婆羅少者，便有妙色，從是知色有勝有如，因色勝如故，我等各各共相輕慢言，我色勝，汝色不如，因色勝如而生輕慢及惡法故，婆羅便滅，婆羅滅後，我等生自然粳米，白淨無皮，亦無有*[麩-夫+黃]*[葶-丁+呆]，長四寸，朝刈暮生，暮刈朝生，熟有鹽味，無有生氣，我等食彼自然粳米，如[1]我等自然粳米，極取積聚，彼宿粳米便生皮*[麩-夫+黃]，刈[2]至七日，亦生皮*[麩-夫+黃]，隨所刈處，即不復生，我等寧可造作田種，立標牓[3]*耶？』」

[T1.675c29]「於是，眾[4]生等造作田種，豎立標*牓，於[5]中有一眾生自有稻穀，而入他田竊取他稻，其主見已，便作是語：『咄，咄，弊惡眾生。』云何作是，汝自有稻，而入他田竊取他稻，汝今可去，後莫復作，然彼眾生復至再三竊取他稻，其主亦至再三見已，便以拳扠牽詣眾所，語彼眾曰：『此一眾生自有稻穀，而入我田竊取我稻。』然彼一眾生亦語眾曰：『此一眾生以拳扠我牽來詣眾。』」

[T1.676a08]「於是，彼諸眾生共聚集[曾>會]，極悲啼泣而作是語：『我等生惡不善之法，謂守田也。所以者何？因守田故，便共諍訟，有失有盡，有相道說，有拳相扠，我等寧可於其眾中舉一端正[6]形色，極妙最第一者，立為田主[7]，若可訶者，當令彼訶，若可擯[8]者，當令彼*擯，若我曹等所得稻穀，當以如法輸送與彼。』於是，彼眾生中。若有端*正形色，極妙最第一者，眾便共舉，立為田主，若可訶者，彼便訶嘖[9]，若可*擯者，彼便*擯棄，若[10]有稻者，便以如法輸送與彼是田主，是田主謂之剎利也[11]，令如法樂眾生，守[12]護行戒王[13]，是王謂之王[14]也。婆私吒，是謂初因初緣世中剎利種，舊第一智，如法不如法，如法人尊。」

---

[1] 如＋（如）【聖】
[2] 刈＝割【宋】【元】【明】
[3] 牓＝榜【聖】＊
[4] （彼）＋眾【宋】【元】【明】【聖】
[5] 〔於〕－【聖】
[6] 正＝政【聖】＊
[7] 田主～Khettānaṁ-pati.
[8] 擯＝殯責【聖】＊
[9] 嘖＝責【宋】＊【元】＊【明】＊
[10] 若＝各【聖】
[11] [>剎利也]～Khattiya.
[12] 守＝密【宋】【明】【万】，＝蜜【元】【聖】
[13] 王＝主【聖】
[14] 王～Rājan.

[T1.676a22]「於是，彼異眾生以守為病，以守為癰，以守為箭[剎>刺]，便棄捨守，依於無事，作草葉屋而學禪也。彼從無事，朝朝平旦入村邑王城而行乞食，彼多眾生見便施與，恭敬尊重，而作是語：『此異眾生以守為病，以守為癰，以守為箭刺，便棄捨守，依於無事，作草葉屋而學禪也。此諸尊捨害、惡不善法是梵志，是梵志謂之梵志也。』」

[T1.676b01]「彼眾生學禪不得禪，學苦行不得苦行，學遠離不得遠離，學一心不得一心，學精進不得精進，便捨[1]無事，還村邑王城，作四柱[2]屋，造立經書，彼多眾生見如是已，便不復施與、恭敬、尊重，而作是語：『此異眾生本以守為病，以守為癰，以守為箭刺，便棄捨守，依於無事，作草葉屋，而學於禪不能得禪，學苦行不得苦行，學遠離不得遠離，學一心不得一心，學精進不得精進，便捨無事，還村邑王城，作四柱[3]屋，造立經書，此諸尊等更學博聞，不復學禪是博聞，是博聞謂之博聞。』婆私吒，是謂初因初緣世中有梵志種，舊第一智，如法非不如法，如法人尊。」

[T1.676b14]「於是，彼異眾生各各詣[4]諸方而作田業，是各各諸方而作田業，是各各諸方而作田業，謂之鞞舍[5]，婆私吒，是謂初因初緣世中有鞞舍種，舊第一智，如法非不如法，如法人尊。」

[T1.676b18]「婆私吒，世中起此三種姓已，便知有第四沙門[6]種也。云何世中有此三種姓已，便知有第四沙門種耶？於剎利族族姓之子，能自訶*嘖惡不善法，自厭憎惡惡不善法，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，而作是念：我當作沙門行於梵行，便作沙門行於梵行，如是梵志種族、鞞舍種族族姓之子，亦自訶*嘖惡不善法，自厭憎惡惡不善法，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，亦作是念：我當作沙門行於梵行，便作沙門行於梵行，婆私吒，如是世中起此三種姓已，便知有第四沙門種也。」

[T1.676c01]「婆私吒，我今廣說此三種姓。云何廣有此三種耶？剎利種族族姓之子身行不善法，口、意行不善法，彼身壞命終，一向受苦，如是梵志種族、鞞舍種族族姓之子身行不善法，口、意行不善法，彼身壞命終，一向受苦，婆私吒，剎利種族族姓之子身行善法，口、意行善法，彼身壞命終，一向受樂，如是梵志種族、鞞舍種族族姓之子身行善法，口、意行善法，彼身壞命終，一向受樂，婆私吒，剎利種族族姓之子身行二行及與護行，口、意行二行及與護

---

[1]〔捨〕－【聖】
[2] 柱＝住【聖】
[3] [枉>柱]＝注【聖】
[4]〔詣〕－【宋】【元】【明】【万】【聖】
[5] [>鞞舍]～Vessa.
[6] [>沙門]～Samaṇa.

行，彼身壞命終，受於苦樂，如是梵志種族、鞞舍種族族姓之子身行二行及與護行，口、意行二行及與護行，彼身壞命終，受於苦樂。」

[T1.676c14]「婆私吒，剎利種族族姓之子，修七覺法，善思善觀，彼如是知、如是見，欲漏心解脫，有漏、無明漏心解脫，解脫已，便知解脫，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。如是，梵志種族、鞞舍種族族姓之子修七覺法，善思善觀，彼如是知、如是見，欲漏心解脫，有漏、無明漏心解脫，解脫已，便知解脫，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，婆私吒，如是此三種廣分別也。梵天帝主說此偈曰：『

剎利二足尊　　謂有種族姓　求學明及行　　彼為天人稱

[T1.676c26]「婆私吒，梵天帝主善說此偈，非不善也。善歌諷誦，非不善也。善詠語言，非不善也。謂如是說：

剎利二足尊　　謂有種族姓　求學明及行　　彼為天人稱

[T1.677a02]「所以者何？我亦如是說：

剎利二足尊　　謂有種族姓　求學明及行　　彼為天人稱

[T1.677a05] 佛說如是，尊者婆私吒、婆羅婆等，及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

婆羅婆堂經第三竟[1](五千六十八字)[2]，

（一五五）中阿*含[3]梵志品

(Ma.155)須達哆[4]經[5] 第[6]四(第三[7]分別誦)[8]

[T1.677a10] 我聞如是。

---

[1]〔婆羅…竟〕－【明】
[2]〔五千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] 哆＝多【宋】【元】【明】
[5] ～《增支部》A.9.20. Velāma(毘羅摩)，No.72.《佛說三歸五戒慈心厭離功德經》(大正 1.878c)，No.73.佛說須達經(大正 1.879a)，No.74.佛說長者施報經(大正 1.880a)，《增壹阿含 27.3 經》(大正 2.644b)
[6] 第＋（十）【明】
[7] 三＝四【宋】【元】【聖】
[8]〔第三分別誦〕－【明】

[T1.677a10] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.677a11] 爾時，須達哆[1]居士往詣佛所，稽首作禮，却坐一面。

[T1.677a12] 世尊問曰：「居士家頗行施耶？」

[T1.677a13] 須達*哆居士答曰：「唯然。世尊！家行布施，但為至麤，不能好也。糠飯麻羹，薑菜一片。」

[T1.677a14] 世尊告曰：「居士，若施麤食及施妙食，俱得報耳，居士，若行麤施，不信施、不故施、不自手施、不自往施、不思惟施、不由信施、不觀業果報施者，當觀如是受報，心不欲得好家，不欲得好乘，不欲得好衣被，不欲得好飲食，不欲得好五欲功德。所以者何？以不至心故行施也。居士，當知受報如是，居士，若行麤施，信施、故施、自手施、自往施、思惟施、由信施、觀業果報施者，當觀如是受報，心欲得好家，欲得好乘，欲得好衣被，欲得好飲食，欲得好五欲功德。所以者何？以其至心故行施也。居士，當知受報如是。」

[T1.677a27]「居士，若行妙施，不信施、不故施、不自手施、不自往施、不思惟施、不由信施、不觀業果報施者，當觀如是受報，心不欲得好家，不欲得好乘，不欲得好衣被，不欲得好飲食，不欲得好五欲功德。所以者何？以不至心故行施也。居士，當知受報如是，居士，若行妙施，信施、故施、自手施、自往施、思惟施、由信施、觀業果報施者，當觀如是受報，心欲得好家，欲得好乘，欲得好衣被，欲得好飲食，欲得好五欲功德。所以者何？以其至心故行施也。居士，當知受報如是。」

[T1.677b08]「居士，昔過去時有梵志大長者，名曰隨藍[2]，極大富樂，資財無量，封戶食邑多諸珍寶，畜牧產業不可稱計，彼行布施其像如是，八萬四千金鉢盛滿碎銀，行如是大施，八萬四千銀鉢盛滿碎金，行如是大施，八萬四千金鉢盛滿碎金，行如是大施，八萬四千銀鉢盛滿碎銀，行如是大施，八萬四千象，莊珓[3]嚴飾，白絡覆上，行如是大施，八萬四千馬，莊嚴珓[4]飾，白絡金合霏那，行如是大施，八萬四千牛，衣繩衣覆，[(殼-一)/牛][5]之皆得一斛乳汁，行如是大施，八萬四千女，姿容端正[6]，覩者歡悅[7]，眾寶瓔珞，嚴飾具足，行如是大施，況復其餘食噉含消。」

---

[1] 哆＝多【明】＊
[2] 隨藍～Velāma.
[3] 珓＝校【宋】【元】【明】【万】【聖】
[4] 嚴珓＝校嚴【宋】【元】【明】【万】【聖】
[5] [(殼-一)/牛]＝構【万】，＝搆【聖】＊
[6] 正＝政【聖】
[7] 悅＝喜【聖】

[T1.677b21] 居士，若梵志隨藍行如是大施，若復有施滿閻浮場凡夫食者，此於彼施為最勝也。居士，若梵志隨藍行如是大施，及施滿閻浮場凡夫人食，若復有施一須陀洹食者，此於彼施最為[1]勝也。居士，若梵志隨藍行如是大施，及施滿閻浮場凡夫人食，施百須陀洹食，若復有施一斯陀含[2]食者，此於彼施為最勝也。居士，若梵志隨藍行如是大施，及施滿閻浮場凡夫人食，施百須陀洹、百斯陀*含食，若復有施一阿那*含食者，此於彼施為最勝也。居士，若梵志隨藍行如是大施，及施滿閻浮場凡夫人食，施百須陀洹、百斯陀*含、百阿那*含食，若復有施一阿羅訶食者，此於彼施為最勝也。」

[T1.677c06]「居士，若梵志隨藍行如是大施，及施滿閻浮場凡夫人食，施百須陀洹、百斯陀*含、百阿那*含、百阿羅訶食，若復有施一辟支佛食者，此於彼施為最勝也。居士，若梵志隨藍行如是大施，及施滿閻浮場凡夫人食，施百須陀洹、百斯陀*含、百阿那*含、百阿羅訶、百辟支佛食，若復有施一如來、無所著、等正覺食者，此於彼施為最勝也。居士，若梵志隨藍行如是大施，及施滿閻浮場凡夫人食，施百須陀洹、百斯陀*含、百阿那*含、百阿羅訶、百辟支佛食。若有作房舍，施四方比丘眾者，此於彼施為最勝也。」

[T1.677c17]「居士，若梵志隨藍行如是大施，及施滿閻浮場凡夫人食，施百須陀洹、百斯陀*含、百阿那*含、百阿羅訶、百辟支佛食，作房舍施四方比丘眾。若有歡喜心歸命三尊佛、法、比丘眾及受戒者，此於彼施為最勝也。居士，若梵志隨藍行如是大施，及施滿閻浮場凡夫人食，施百須陀洹、百斯陀*含、百阿那*含、百阿羅訶、百辟支佛食，作房舍施四方比丘眾，歡喜心歸命三尊佛、法、比丘眾及受戒。若有為彼一切眾生行於慈心，乃至* [(殼-一)/牛]牛頃者，此於彼施為最勝也。」

[T1.677c28]「居士，若梵志隨藍行如是大施，及施滿閻浮場凡夫人食，施百須陀洹、百斯陀*含、百阿那*含、百阿羅訶、百辟支佛食，作房舍施四方比丘眾，歡喜心歸命三尊佛、法、比丘眾及受戒，為一切眾生行於慈心，乃至*[(殼-一)/牛]牛頃。若有能觀一切諸法無常、苦、空及非神者，此於彼施為最勝也。於居士意云何，昔時梵志大長者名隨藍者，謂異人*耶？莫作斯念。所以者何？當知即是我也。我昔為梵志大長者，名曰隨藍，居士，我於爾時為自饒益，亦饒益他，饒益多人，愍傷世間，為天、為人求義及饒益，求安隱快樂，爾時說法不至究竟，不究竟白淨、不究竟梵行、不究竟梵行訖，爾時，不離生老病死、啼哭憂慼，亦未能得脫一切苦。」

[T1.678a13]「居士，我今出世如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，我今自饒益，亦饒益他，饒益多

---

[1] 最為＝為最【宋】【元】【明】【聖】
[2] 含＝鉻【聖】

人，愍傷世間，為天、為人求義及饒益，求安隱快樂，我今說法得至究竟，究竟白淨、究竟梵行、究竟梵行訖，我今已離生老病死、啼哭憂慼，我今已得脫一切苦。」

[T1.678a20] 佛說如是，須達哆[1]居士及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

須達哆經第四竟[2](一千五百八十九字)[3]，

（一五六）中阿含[4]梵志品

(Ma.156)梵波羅延經[5] 第[6]五(第四分別誦)[7]

[T1.678a25] 我聞如是。

[T1.678a25] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.678a26] 爾時，拘娑[8]羅國眾多梵志中後彷徉，往詣佛所，共相問訊，却坐一面，白曰：「瞿曇！欲有所問，聽我問耶？」

[T1.678a28] 世尊告曰：「恣汝所問。」

[T1.678a29] 時，諸梵志問曰：「瞿曇！頗今有梵志學故梵志法，為越故梵志法耶？」

[T1.678b01] 世尊答曰：「今無梵志學故梵志法，梵志久已越故梵志法。」

[T1.678b02] 時，諸梵志問曰：「瞿曇。云何今無梵志學故梵志法，諸梵志等越故梵志法來為幾時*耶？」

[T1.678b04] 彼時，世尊以偈答曰：「

所謂昔時有　自調御熱行　捨五欲功德　行清淨梵行[1]
梵行及戒行　率至柔軟性　恕亮無害心　忍辱護其意

---

[1] 哆＝多【宋】【元】【明】
[2]〔須達…竟〕－【明】
[3]〔一千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～《經集》Sn .2.7. Brahmaṇadhammika sutta. (婆羅門法經)
[6] 第＋（十）【明】
[7]〔第四分別誦〕－【明】
[8] 娑＝婆【万】[>＊]

昔時有此法　梵志不護此　梵志不守護　所有錢財*穀
誦習錢財*穀　梵志守此藏　衣色若干種　屋[2]舍及床榻
豐城及諸國　梵志學如是　此梵志莫害　率守護諸法
往到於他[3]門　無有拘制彼　發家乞求法[4]　隨其食時到
梵志住在家　見者欲為施　滿四十八年　行清淨梵行
求索明行成　昔時梵志行　彼不偷財物　亦無有恐怖
愛愛[5]攝相應　當以共和合　不為煩惱故　怨婬[6]相應法
諸有梵志者　無能行如是　若有第一行　梵志極堅求
彼諸婬[7]欲法　不行乃至夢　彼因此梵行　自稱梵我梵
知彼有此行　慧者當知彼　床薄衣極單　食酥[8]乳命存
乞求皆如法　立齋行布施　齋時無異乞　自於己乞求
立齋行施時　彼不有殺牛　如父母兄弟　及餘有親親
人牛亦如是　彼因是生樂　飲[9]食體有力[10]　乘者安隱樂
知有此義理　莫樂殺於牛　柔軟身極大　精色名稱譽
慇懃自求利　昔時梵志行　梵志為自利　專事及非事
彼當來此世　必度脫此世　彼月過於月　見意趣向彼
遊戲於夜中　嚴飾諸婦人[11]　吉牛圍繞前　婦女極端正[12]
人間微妙欲　梵志之常願　具足車乘具　善作縫治好
家居及婚姻　梵志之常願　彼造作此縛　我等從彼來
大王齋行施　莫失其財利　饒財物米穀　若有餘錢財
大王相應此　梵志及車乘　象齋及馬齋　馬[13]齋不障門
聚[14]集作齋施　財物施梵志　彼從此得[15]利　愛樂惜財物
彼以起為欲　數數增長愛　猶如廣池水　及無量財物
如是人有牛　於生生活具　彼造作此縛　我等從彼來
大王齋[16]行施　莫失其財利　饒財物米穀　若汝多有牛

---

[1] 行＝志【聖】
[2] 屋＝居【万】
[3] 於他＝他族【宋】【元】【明】【万】【聖】
[4] 法＝去【宋】【元】【明】【聖】
[5] 愛＝受【宋】【元】【明】【聖】
[6] 婬＝好【宋】
[7] 婬＝姓【聖】
[8] 酥＝蘇【聖】
[9] 飲＝餘【宋】
[10] 力＝方【宋】
[11] 人＝女【宋】【元】【明】【聖】
[12] 正＝政【聖】
[13] 馬＝烏【宋】【元】【明】【聖】，＝牛【万】
[14] 聚＝取【万】
[15] 此得＝得此【元】【明】
[16] 齋＝齊【万】【聖】

大王相應此　　梵志及車乘　無量百千牛　　因為齋[1]故殺
頭角無所嬈　　牛猪昔時等　往至捉牛角　　持利刀殺牛
喚牛及於父　　羅剎[2]名曰香　彼喚呼非法　　以刀刺牛時
此法行於*齋　　越過最在前　無有事而殺　　遠離衰退法
昔時有三病　　欲不用食者[3]　以憎嫉於牛　　起病九十八
如是此增[4]諍　　故為智所惡　若人見如是　　誰不有憎者
如是此世行　　無智最下賤　各各為欲憎　　若婦誹謗夫
剎利梵志女　　及守護於姓[5]　若犯於生法　　自在由於欲

[T1.679a18]「如是，梵志，今無梵志學故梵志法，梵志越故梵志法來爾許時也。」

[T1.679a19] 於是，拘*娑羅國眾多梵志白曰：「世尊！我已知，善逝，我已解，世尊[6]，我今自歸於佛、法及比丘眾，唯[7]願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.679a23] 佛說如是，彼拘*娑羅國眾多梵志及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

梵波羅延經第五竟[8](九百五十九字)[9]，

中阿含經卷第三十九(十千六百九字[10])(第四分別誦[11])[12]

中阿含經

卷第四十 (Ma.157~160)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯[1]

---

[1] 齋＝齊【聖】[>＊]
[2] 剎＝殺【元】【明】
[3] 者＝老【宋】【元】【明】【聖】
[4] 增＝憎【宋】【元】【明】【聖】
[5] 姓＝性【聖】
[6] 世尊＝善逝【宋】【元】【明】
[7] 唯＝惟【元】【明】
[8]〔梵波…竟〕八字－【明】
[9]〔九百…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[10]〔十千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[11]〔第四分別誦〕－【明】
[12] ＋（性空佛海德佛空王佛）九字【聖】，＋（光明皇后願文）【聖】

（一五七）梵志品

(Ma.157)黃蘆園經[2] 第[3]六(第四分別誦)[4]

[T1.679b06] 我聞如是。

[T1.679b06] 一時，佛遊鞞蘭若[5]，在黃蘆園[6]中。

[T1.679b07] 爾時，鞞蘭若梵志年耆宿老，壽將欲過，命垂至盡，年百二十，拄[7]杖而行，中後彷徉，往詣佛所，共相問訊，當在佛前倚[8]杖而立，白曰：「瞿曇！我聞沙門瞿曇年幼極少，新出家學。若有名德沙門梵志親自來詣，而不禮敬，亦不尊重，不從坐[9]起，不請令坐，瞿曇！此事大為不可。」

[T1.679b13] 世尊告曰：「梵志，我初不見天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，謂自來詣，能令如來禮敬尊重，而從坐起，請令坐者，梵志。若有來詣，欲令如來禮敬尊重，而從坐起，請令坐者，彼人必當頭破七分。」

[T1.679b17] 梵志復白[10]：「瞿曇無味。」

[T1.679b18] 世尊告[白>曰]，梵志，有事令我無味，然不如汝言。若有色味、聲味[11]、香味、觸味者，彼如來斷智絕滅拔根終不復生，是謂有事令我無味，然不如汝言。」

[T1.679b21] 梵志復*白：「瞿曇無恐怖。」

[T1.679b22] 世尊告曰：「梵志，有事令我無恐怖，然不如汝言。若有色恐怖，聲、香、味、觸恐怖者，彼如來斷智絕滅拔根終不復生，是謂有事令我無恐怖，然不如汝言。」

[T1.679b25] 梵志復*白：「瞿曇不入胎。」

---

[1]〔東晉…譯〕十三字－【聖】
[2] ～《增支部》A.8.11. Verañjā(鞞蘭若)，No.75.《佛為黃竹園老婆羅門說學經》(大正 1.882a)
[3] （十）＋六【明】
[4]〔第四分別誦〕－【明】【聖】
[5] [>鞞蘭若]～Verañjā.
[6] [>黃蘆園]～Naḷerupucimanda.
[7] 拄＝柱【聖】
[8] 倚＝猗【聖】
[9] 坐＝座【元】【明】
[10] 白＝曰【宋】【元】【明】【聖】＊
[11]〔味〕－【聖】

[T1.679b26] 世尊告曰：「梵志，有事令我不入胎，然不如汝言。若有沙門、梵志當來胎床，斷智絕滅拔根終不復生者，我說彼不入胎，如來當來胎床，斷智絕滅拔根終不復生。是故令我不入胎，是謂有事令我不入胎，然不如汝言。」

[T1.679c02]「梵志，我於此眾生無明來，無明樂，無明覆，無明卵之所裹，我先觀法，我於眾生為最第一，猶鷄生卵，或十或十二，隨時念，隨時覆，隨時暖，隨時擁護，彼於其後，鷄設放逸，於中有鷄子，或以口嘴，或以足爪，啄破其卵，安隱自出，彼於鷄子為最第一，我亦如是，於此眾生無明來，無明樂、無明覆，無明卵之所裹，我先觀法，我於眾生為最第一。」

[T1.679c10]「梵志，我持蒿草往詣覺樹，布草樹下，敷尼師檀[1]，結加[2]趺坐，不破正坐，要至漏盡，我不破正坐，要至漏盡，我正坐已，離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，逮初禪成就遊，是謂我爾時獲第一增[3]上心，即於現法得安樂居，易不難得，樂住無怖，安隱快樂，令昇涅槃。復次，梵志，我覺、觀已息，內靜[4]、一心，無覺、無觀，定生喜、樂，逮第二禪成就遊，是謂我爾時獲第二增上心，即於現法得安樂居，易不難得，樂住無怖，安隱快樂，令昇涅槃。」

[T1.679c21]「復次，梵志，我離於喜欲捨無求遊，正念正智而身覺樂，謂聖所說、聖所捨、念、樂住、室[5]，逮第三禪成就遊，是謂我爾時獲第三*增上心，即於現法得安樂居，易不難得，樂住無怖，安隱快樂，令昇涅槃。復次，梵志，我樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦不樂、捨、念、清淨，逮第四禪成就遊，是謂我爾時獲第四增上心，即於現法得安樂居，易不難得，樂住無怖，安隱快樂，令昇涅槃。」

[T1.679c29]「復次，梵志，我已得如是定心清淨，無穢無煩，柔軟善住，得不動心，覺[6]憶宿命智通作證，我有行有相[7]貌，憶本無量昔所經歷，謂一生、二生、百生、千生、成劫、敗劫、無量成敗劫，彼眾生名某，彼昔更歷，我曾生彼，如是姓、如是字、如是生、如是飲食、如是受苦樂、如是長壽、如是久住、如是壽訖，此死生彼，彼死生此，我生在此，如是姓、如是字、如是生、如是飲食、如是受苦樂、如是長壽、如是久住、如是壽訖，是謂我爾時初夜得此第一明達，以本無放逸，樂住遠離，修行精懃，謂無智滅而智生，闇壞而明成，無明滅而明生，謂憶宿命智作證明達。」

---

[1] 檀＝壇【宋】【元】【明】
[2] 加＝跏【宋】【元】【明】【聖】
[3] 增＝曾【聖】＊
[4] 靜＝靖【宋】【元】【明】【聖】
[5] 室＝空【宋】【元】【明】
[6] 覺＝學【宋】【元】【明】【聖】
[7] 相＝根【聖】

[T1.680a13]「復次，梵志，我已得如是定心清淨，無穢無煩，柔軟善住，得不動心，學於生死智通作證，我以清淨天眼出過於人，見此眾生死時生時，好色惡色，妙與不妙，往來善處及不善處，隨此眾生之所作業，見其如真，若此眾生成就身惡口、意惡行，誹謗聖人，邪見，成就邪見業，彼因緣此，身壞命終，必至惡處，生地獄中，若此眾生成就身妙行，口、意妙行，不誹謗聖人，正見，成就正見業，彼因緣此，身壞命終，必昇善處，上生天中，是謂我爾時中夜得此第二明達，以本無放逸，樂住遠離，修行精勤[1]，謂無智滅而智生，闇壞而明成，無明滅而明生，謂生死智作證明達。」

[T1.680a26]「復次，梵志，我已得如是定心清淨，無穢無煩，柔軟善住，得不動心，學於漏盡智通作證，我知此苦如真，知此苦習[2]，知此苦滅，知此苦滅道如真，知此漏如真，知此漏*習，知此漏滅，知此漏滅道如真，我如是知、如是見，欲漏心解脫，有漏、無明漏心解脫，解脫已，便知解脫，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，是謂我爾時後夜得此第三明達，以本無放逸，樂住遠離，修行精*勤，謂無智滅而智生，闇壞而明成，無明滅而明生，謂漏盡智作證明達。」

[T1.680b07]「復次，梵志。若有正說而說不癡法，眾生生世，一切眾生最勝，不為苦樂所覆，當知正說者即是我也。所以者何？我說不癡法，眾生生世，一切眾生最勝，不為苦樂所覆。」

[T1.680b11] 於是，鞞蘭若梵志即便捨杖，稽首佛足，白世尊曰：「世尊為第一，世尊為大，世尊為最，世尊為勝，世尊為等，世尊為不等，世尊無與等等，世尊無障，世尊無障人。世尊！我今自歸於佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.680b17] 佛說如是，鞞蘭若梵志及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.680b19] 黃蘆園經第六竟[3] (千六百二字)[4]，

（一五八）中阿含[5]梵志品

---

[1] 勤＝進【宋】【元】【明】，＝懃【聖】＊
[2] 習＝集【元】【明】＊
[3]〔黃蘆…竟〕七字－【明】
[4]〔千六…字〕五字－【宋】【元】【明】【聖】
[5]〔中阿含〕－【明】

(Ma.158)頭那經 [1] 第 [2]七(第四分別誦)[3]

[T1.680b22] 我聞如是。

[T1.680b22] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.680b23] 爾時，頭那梵志中後彷徉，往詣佛所，共相問訊，却坐一面，世尊問曰：「頭那。若有問汝是梵志耶？汝梵志汝自稱說。」

[T1.680b25] 梵志頭那答曰：「瞿曇。若有正稱說梵志者，為父母所舉，受生清淨，乃至七世父母不絕種族，生生無惡，博聞總持，誦 [4]過四典經，深達因、緣、正、文、戲五句說，瞿曇！正稱說梵志者，即是我也。所以者何？我為父母所舉，受生清淨，乃至七世父母不絕種族，生生無惡，博聞總持，誦過四典經，深達因、緣、正、文、戲五句說。」

[T1.680c03] 世尊告曰：「頭那，我今問汝，隨所解答，頭那，於意云何？若昔有梵志壽終命過，誦持經書，流布經書，誦習典經，所謂夜吒 [5]、婆摩 [6]、婆摩提婆 [7]、毗奢蜜哆邏 [8]、夜陀揵尼 [9]、應疑羅娑 [10]、婆私吒 [11]、迦葉 [12]、婆羅婆 [13]、婆和 [14]，謂此施設五種梵志，有梵志猶如梵，有梵志似如天，有梵志不越界，有梵志越界，有梵志旃荼羅 [15]第五，頭那，此五種梵志，汝為似誰？」

[T1.680c11] 頭那白曰：「瞿曇略說此義，不廣分別，我不能知，唯願沙門瞿曇善說，令我知義。」

[T1.680c13] 世尊告曰：「頭那，諦聽，善思念之，我當為汝廣分別說。」

[T1.680c15] 頭那白曰：「唯然，瞿曇！頭那梵志受教而聽。」

---

[1] ～《增支部》A.5.192. Doṇa (頭那〔梵志〕)
[2] 第＋（十）【明】
[3]〔第四分別誦〕－【明】
[4] 誦…五句說～Mantadh~aroṃ tiṇṇaṃ vedāna pārāgū sanighaṇḍuketubhānaṃ sākkharappabhedānaṃ itihāsapañcamānaṃ padako veyyakaraṇo.，[(152) 參照]
[5] [>夜吒]～Aṭṭhaka.
[6] [>婆摩]～Vāmaka.
[7] [>婆摩提婆]～Vāmadeva.
[8] 毗奢蜜哆邏＝毗奢蜜哆羅【宋】【元】【明】【聖】～Vessāmitta.
[9] [>夜陀揵尼]～Yamadaggi.
[10] [>應疑羅娑]～Aṅgīrasa.
[11] [>婆私吒]～Vāseṭṭha.
[12] 迦葉～Kassapa.，＝迦攝【宋】【元】【明】，＝加攝【聖】
[13] [>婆羅婆]～Bhāradvāja.，婆＝娑【聖】
[14] [>婆和]～Bhagu.
[15] 旃荼羅～Caṇḍāla.，＝旃荼羅【宋】＊【元】＊【明】＊，＝[打-丁+(旃-方)]荼羅【聖】＊

[T1.680c16] 佛言：「頭那。云何梵志猶如梵耶？若有梵志為父母所舉，受生清淨，乃至七世父母不絕種族，生生無惡，彼四十八年行童子梵行，欲得經書，誦習典經，彼得經書，誦習典經已，為供養師求乞財物，如法，非不如法。云何不如法，非田作，非治生，非書，非算，非數，非印，非手筆，非文章，非經，非詩，非以刀杖，非王從事，如法求乞，求乞財物供養於師，布施財物已，心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜[1]心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，頭那，如是梵志猶如梵也。」

[T1.681a01]「頭那。云何梵志似如天耶？若有梵志為父母所舉，受生清淨，乃至七世父母不絕種族，生生無惡，彼四十八年行童子梵行，欲得經書，誦習典經，彼得經書，誦習典經已，為供養師求乞財物，如法，非不如法。云何不如法，非田作，非治生，非書，非算，非數，非印，非手筆，非文章，非經，非詩，非以刀杖，非王從事，如法求乞，求乞財物供養於師，布施財物已，行身妙行，口、意妙行，行[2]身妙行，口、意妙行已，彼因緣此，身壞命終，必昇善處，上生天中，頭那，如是梵志似如天也。」

[T1.681a12]「頭那。云何梵志不越界耶？若有梵志為父母所舉，受生清淨，乃至七世父母不絕種族，生生無惡，彼四十八年行童子梵行，欲得經書，誦習典經，彼得經書，誦習典經已，為供養師求乞財物，如法，非不如法。云何不如法，非田作，非治生，非書，非算，非數，非印，非手筆，非文章，非經，非詩，非以刀杖，非王從事，如法求乞，求乞財物供養於師，布施財物已，為自求妻，如法，非不如法。云何不如法，梵志不如是，意向梵志女，令更相愛，相攝合會，彼趣梵志女，非不梵志女，亦非剎利女，不懷姙[3]，不產生，頭那，以何等故梵志非趣懷姙，莫令彼男[4]及以女人名不淨婬[5]。是故梵志非趣懷*姙，頭那，以何等故梵志非趣產生，莫令彼男及以女人名不淨恚。是故梵志不趣產生，頭那，彼所趣向，不為財物，不為憍傲，不為莊嚴，不為珓[6]餺，但為子故，彼生子已。若有故梵志要誓處所界障，住彼、持彼，不越於彼，頭那，如是梵志不越界也。」

[T1.681b03]「頭那。云何梵志為越界耶？若有梵志為父母所舉，受生清淨，乃至七世父母不絕種族，生生無惡，彼四十八年行童子梵行，欲得經書，誦習典經，彼得經書，誦習典經已，為供養師求乞財物，如法，非不如法。云何不如

---

[1] 喜＝憙【聖】
[2]〔行〕－【聖】
[3] 姙＝任【聖】＊
[4] 男＋（子）【宋】【元】【明】
[5] 婬＝淫【聖】＊
[6] 珓＝校【元】【明】＊

法，非田作，非治生，非書，非算，非數，非印，非手筆，非文章，非經，非詩，非以刀杖，非王從事，如法求乞，求乞財物供養於師，布施財物已，為自求妻，如法，非不如法。云何不如法，梵志不如是，意向梵志女，令更相愛，相攝合會，彼趣梵志女，非不梵志女，亦非剎利女，不懷*姙，不產生，頭那，以何等故梵志不趣懷*姙，莫令彼男及以女人名不淨*姙。是故梵志不趣懷*姙，頭那，以何等故梵志不趣產生，莫令彼男及以女人名不淨恚。是故梵志不趣產生，頭那，彼所趣向，不為財物，不為憍慢，不為莊嚴，不為珓餝，但為[1]子故，彼生子已。若有故梵志要誓處所界障，不住止彼，不受持彼，便越於彼，頭那，如是梵志名越界也。」

[T1.681b23]「頭那。云何梵志梵志旃荼羅。若有梵志為父母所舉，受生清淨，乃至七世父母不絕種族，生生無惡，彼四十八年行童子梵行，欲得經書，誦習典經，彼得經書，誦習典經已，為供養師求乞財物，如法，非不如法。云何不如法，非田作，非治生，非書，非算，非數，非印，非手筆，非文章，非經，非詩，非以刀杖，非王從事，如法求乞，求乞財物供養於師，布施財物已，為自求妻，如法，非不如法。云何不如法，梵志不如是，意向梵志女，令更相愛攝合會，趣彼[2]梵志女，非不梵志女，亦不剎利女，不懷*姙，不產生，頭那，以何等故梵志不趣懷*姙，莫令彼男及以女人名不淨*姙。是故梵志不趣懷*姙，頭那，以何等故梵志不趣產生，莫令彼男及以女人名不淨恚。是故梵志不趣產生，頭那，彼所趣向，不為財物，不為憍慢，不為莊嚴，不為珓飾，但為子故，彼生子已，作王相應事、賊相應事、邪道相應事，作如是說，梵志應作一切事，梵志不以此染著，亦不穢污，猶若如火，淨亦燒，不淨亦燒，梵志不應作一切事，梵志不以此染著，亦不穢污，頭那，如是梵志梵志旃荼羅，頭那，此五種梵志，汝為似誰。」

[T1.681c17] 頭那白曰：「瞿曇！說此最後梵志旃荼羅者，我尚不及，況復餘耶？世尊！我已知，善逝，我已解。世尊！我今自歸於佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.681c22] 佛說如是，頭那梵志聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.681c24] 頭那經第七竟[3](千八百五十字)[4]，

（一五九）中阿含[1]梵志品

---

[1] 為＝生【元】【明】
[2] 趣彼＝彼趣【宋】【元】【明】【聖】
[3]〔頭那…竟〕－【明】
[4]〔千八…字〕六字－【宋】【元】【明】【聖】

(Ma.159)阿伽羅訶那經 第[2]八(第四分別誦)[3]

[T1.681c27] 我聞如是。

[T1.681c27] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.681c28] 爾時，阿伽羅訶那梵志中後彷徉，往詣佛所，共相問訊，却坐一面，白曰：「瞿曇！欲有所問，聽乃敢陳？」

[T1.682a01] 世尊告曰：「恣汝所問。」

[T1.682a01] 梵志即便問曰：「瞿曇！梵志經典何所依住？」

[T1.682a02] 世尊答曰：「梵志經典依於人住。」

[T1.682a03] 梵志即復問曰：「瞿曇！人何所依住？」

[T1.682a04] 世尊答曰：「人依稻麥住，

[T1.682a04] 梵志即復問曰：「瞿曇！稻麥何所依住　？」

[T1.682a05] 世尊答曰：「稻麥依地住。」

[T1.682a06] 梵志即復問曰：「瞿曇！地何所依住？」

[T1.682a07] 世尊答曰：「地依水住。」

[T1.682a07] 梵志即復問曰：「瞿曇！水何所依住？」

[T1.682a08] 世尊答曰：「水依風住。」

[T1.682a08] 梵志即復問曰：「瞿曇！風何所依住？」

[T1.682a09] 世尊答曰：「風依空住。」

[T1.682a10] 梵志即復問曰：「瞿曇！空何所依住？」

[T1.682a11] 世尊答曰：「空無所依，但因日月，故有虛空。」

---

[1]〔中阿含〕－【明】
[2] 第＋（十）【明】
[3]〔第四分別誦〕－【明】

[T1.682a12] 梵志即復問曰：「瞿曇！日月何所依住？」

[T1.682a12] 世尊答曰：「日月依於四天王住。」

[T1.682a13] 梵志即復問曰：「瞿曇！四王天何所依住？」

[T1.682a14] 世尊答曰：「四王天依三十三天住。」

[T1.682a15] 梵志即復問曰：「瞿曇！三十三天何所依住？」

[T1.682a16] 世尊答曰：「三十三天依[火*僉]摩天住。」

[T1.682a17] 梵志即復問曰：「瞿曇！[火*僉]摩天何所依住？」

[T1.682a18] 世尊答曰：「[火*僉]摩天依兜瑟哆天住。」

[T1.682a18] 梵志即復問曰：「瞿曇！兜瑟哆天何所依住？」

[T1.682a19] 世尊答曰：「兜瑟哆天依化樂天住。」

[T1.682a20] 梵志即復問曰：「瞿曇！化樂天何所依住？」

[T1.682a21] 世尊答曰：「化樂天依他化樂天住。」

[T1.682a22] 梵志即復問曰：「瞿曇！他化樂天何所依住？」

[T1.682a23] 世尊答曰：「他化樂天依梵世住。」

[T1.682a24] 梵志即復問曰：「瞿曇！梵世何所依住？」

[T1.682a25] 世尊答曰：「梵世依於大梵住。」

[T1.682a25] 梵志即復問曰：「瞿曇！大梵何所依住？」

[T1.682a26] 世尊答曰：「大梵依於忍辱溫良住。」

[T1.682a27] 梵志即復問曰：「瞿曇！忍辱溫良何所依住？」

[T1.682a28] 世尊答曰：「忍辱溫良依涅槃住。」

[T1.682a29] 梵志即復問曰：「瞿曇！涅槃何所依住？」

[T1.682a29] 世尊告曰：「梵志意欲依無窮事，汝今從我受問無邊，然涅槃者無所依住，但涅槃滅訖，涅槃為最，梵志，以此義故，從我行梵行。」

[T1.682b03] 梵志白曰：「世尊！我已知，善逝，我已解。世尊！我今自歸於佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.682b06] 佛說如是，阿伽羅訶那梵志聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.682b09] 阿伽羅訶那經第八竟[1](六百三十四字)[2]，

（一六○）中阿含[3]梵志品

(Ma.160)阿蘭那經[4] 第[5]九(第四分別誦)[6]

[T1.682b12] 我聞如是。

[T1.682b12] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.682b13] 爾時，諸比丘於中食後集坐講堂，論如是事：「諸賢！甚奇，甚奇，人命極少，要至後世，應作善事，應行梵行，生無不死，然今世人於法行、於義行、於善行、於妙行，無為無求。」

[T1.682b17] 彼時，世尊在晝行處，以淨天耳出過於人，聞諸比丘於中食後集坐講堂，論如是事：「諸賢！甚奇，甚奇，人命極少，要至後世，應作善事，應行梵行，生無不死，然今世人於法行、於義行、於善行、於妙行，無為無求。」

[T1.682b22] 世尊聞已，則於晡時從燕[7]坐起，往詣講堂，在比丘眾前敷座而坐，問諸比丘：「汝論何事，以何等故集坐講堂？」

[T1.682b24] 時，諸比丘白曰：「世尊！我等眾比丘於中食後集坐講堂，論如是事。諸賢！甚奇，甚奇，人命極少，要至後世，應作善事，應行梵行，生無不死，然今世人於法行、於義行、於善行、於妙行，無為無求。世尊！我等共論此事，以此事故集坐講堂。」

---

[1]〔阿伽…竟〕－【明】
[2]〔六百…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《增支部》A.7.70. Araka(阿羅迦)；A.7.69. Sunetta(妙眼)
[5] 第＋（十）【明】
[6]〔第四分別誦〕－【明】
[7] 燕＝宴【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.682c01] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！比丘，謂汝作是說。諸賢！甚奇，甚奇，人命極少，要至後世，應作善事，應行梵行，生無不死，然今世人於法行、於義行、於善行、於妙行，無為無求。所以者何？我亦如是說，甚奇，甚奇，人命極少，要至後世，應作善事，應行梵行，生無不死，然今世人於法行、於義行、於善行、於妙行，無為無求。所以者何？乃過去世時，有眾生壽八萬歲，比丘！人壽八萬歲時，此閻浮洲極大豐樂，饒財珍寶，村邑相近，如鷄一飛，比丘！人壽八萬歲時，女年五百乃當出嫁，比丘！人壽八萬歲時，唯有如是病，謂寒、熱、大小便、欲、不食、老，更無餘患。」

[T1.682c13]「比丘！人壽八萬歲時，有王名拘牢婆，為轉輪王，聰明智慧，有四種軍，整御天下，由己自在，如法法王成就七寶，彼七寶者，輪寶、象寶、馬寶、珠寶、女寶、居士寶、主兵臣寶，是謂為七，千子具足，顏貌端正[1]，勇猛無畏，能伏他眾，必當統領此一切地，乃至大海，不以刀杖，以法教令，令得安隱。」

[T1.682c19]「比丘！拘牢婆王有梵志，名阿蘭那[2]大長者，為父母所舉，受生清淨，乃至七世父母不絕種族，生生無惡博聞總持，誦過四典經，深達因、緣、正、文、戲五句說，比丘！梵志阿蘭那有無量百千摩納磨，梵志阿蘭那為無量百千摩納磨住一無事處，教學經書。」

[T1.682c25]「爾時，梵志阿蘭那獨住靜處，*燕坐思惟，心作是念：『甚奇，甚奇，人命極少，要至後世，應作善事，應行梵行，生無不死，然今世人於法行、於義行、於善行、於妙行，無為無求，我寧可剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道。』於是，梵志阿蘭那往至若干國眾多摩納磨所，而語彼曰：『諸摩納磨，我獨住靜[3]處，*燕坐思惟，心作是念：甚奇，甚奇，人命極少，要至後世，應作善事，應行梵行，生無不死，然今世人於法行、於義行、於善行、於妙行，無為無求，我今寧可剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，諸摩納磨，我今欲剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，汝等當作何等？」

[T1.683a10]「彼若干國眾多摩納磨白曰：『尊師，我等所知，皆蒙師恩，若尊師剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，我等亦當剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家，從彼尊師出家學道。」於是，梵志阿蘭那則於後時剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，彼若干國眾多摩納磨亦剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家，從彼尊師梵志阿蘭那出家學道，是為尊師阿蘭那，是為尊師阿蘭那弟子名號生也。

---

[1] 正＝政【聖】
[2] [>阿蘭那]～Araka.
[3] 靜＝靖【宋】【元】【明】【聖】

[T1.683a19]「爾時，尊師阿蘭那為弟子說法：『諸摩納磨，甚奇，甚奇，人命極少，要至後世，應作善事，應行梵行，生無不死，然今世人於法行、於義行、於善行、於妙行，無為無求。」爾時，尊師阿蘭那為弟子說法：『諸摩納磨，甚奇，甚奇，人命極少，要至後世，應作善事，應行梵行，生無不死，然今世人於法行、於義行、於善行、於妙行，無為無求。』如是尊師阿蘭那為弟子說法。」

[T1.683a28]「復次，尊師阿蘭那為弟子說法：『摩納磨，猶如朝露渧在草上，日出則消，暫有不久。如是，摩納磨，人命如朝露，甚為難得，至少少味，大苦災患，災患甚多。』如是尊師阿蘭那為弟子說法。復次，尊師阿蘭那為弟子說法：『摩納磨，猶大雨時，渧水成泡，或生或滅。如是，摩納磨，人命如泡，甚為難得，至少少味，大苦災患，災患甚多。』如是尊師阿蘭那為弟子說法。復次，尊師阿蘭那為弟子說法：『摩納磨，猶如以杖投著水中，還出至速。如是，摩納磨，人命如杖，投水出速，甚為難得，至少少味，大苦災患，災患甚多。』如是尊師阿蘭那為弟子說法。」

[T1.683b11]「復次，尊師阿蘭那為弟子說法：『摩納磨，猶新瓦杅[1]，投水即出，著風熱中，乾燥至速。如是，摩納磨，人命如新瓦杅，水漬速燥，甚為難得，至少少味，大苦災患，災患甚多。』如是尊師阿蘭那為弟子說法。復次，尊師阿蘭那為弟子說法：『摩納磨，猶如小段肉著大釜水中，下熾然火，速得消盡。如是，摩納磨，人命如肉消，甚為難得，至少少味，大苦災患，災患甚多。』如是尊師阿蘭那為弟子說法。復次，尊師阿蘭那為弟子說法：『摩納磨，猶縛賊送至標下殺，隨其舉足，步步趣死，步步趣命盡。如是，摩納磨，人命如賊，縛送標下[2]殺，甚為難得，至少少味，大苦災患，災患甚多。』如是尊師阿蘭那為弟子說法。」

[T1.683b25]「復次，尊師阿蘭那為弟子說法：『摩納磨，猶如屠兒牽牛殺[子>之]，隨其舉足，步步趣死，步步趣命盡。如是，摩納磨，人命如牽牛殺，甚為難得，至少少味，大苦災患，災患甚多。』如是尊師阿蘭那為弟子說法。復次，尊師阿蘭那為弟子說法：『摩納摩，猶如機織，隨其行緯，近成近訖。如是，摩納磨，人命如機織訖，甚為難得，至少少味，大[若>苦]災患，災患甚多，如是尊師阿蘭那為弟子說法。復次，尊師阿蘭那為弟子說法：『摩納磨，猶如山水，瀑漲[3]流疾，多有所漂，水流速駃[4]，無須臾停。如是，摩納磨，人壽行速，去

[1] 杅＝盂【宋】＊【元】＊【明】＊
[2]〔下〕－【宋】【元】【明】
[3] 瀑漲＝暴長【宋】【元】【明】【聖】＊
[4] 駃＝駛【宋】＊【元】＊【明】＊

無一時住，如是[1]，摩納磨，人命如駃水流，甚為難得，至少少味，大苦災患，災患甚多。』如是尊師阿蘭那為弟子說法。」

[T1.683c11]「復次，尊師阿蘭那為弟子說法：『摩納磨，猶如夜闇以杖投地，或下頭墮地，或上頭墮地，或復臥墮，或墮淨處，或墮不淨處。如是，摩納磨，眾生為無明所覆，為愛所繫，或生泥犁[2]，或生畜生，或生餓鬼，或生天上，或生人間。如是，摩納磨，人命如闇杖投[3]地，甚為難得，至少少味，大苦災患，災患甚多。』如是尊師阿蘭那為弟子說法。」

[T1.683c18]「復次，尊師阿蘭那為弟子說法：『摩納磨，我於世斷除貪伺，心無有諍，見他財物諸生活具，不起貪伺，欲令我得，我於貪伺淨除其心，如是瞋恚、睡眠、調[4]悔，我於世斷疑度惑，於諸善法無有猶豫，我於疑惑淨除其心，摩納磨，汝等於世亦當斷除貪伺，心無有諍，見他財物諸生活具，不起貪伺，欲令我得，汝於貪伺淨除其心，如是瞋恚、睡眠、*調悔，汝於世斷疑度惑，於諸善法無有猶豫。』如是尊師阿蘭那為弟子說法。」

[T1.683c29]「復次，尊師阿蘭那為弟子說法：『摩納磨，我心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是[>二]三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，摩納磨，汝等亦當心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。』如是尊師阿蘭那為弟子說法。」

[T1.684a12]「復次，尊師阿蘭那為弟子說梵世法：『若尊師阿蘭那為說梵世法時，諸弟子等有不具足奉行法者，彼命終已，或生四王天，或生三十三天，或生[火*僉]摩[5]天，或生兜瑟[6]哆[7]天，或生化樂天，或生他化樂天，若尊師阿蘭那為說梵世法時，諸弟子等設有具足奉行法者，修四梵室，捨離於欲，彼命終已，得生梵天，』爾時，尊師阿蘭那而作是念：『我不應與弟子等同，俱至後世共生一處，我今寧可更修增上慈，修增上慈已，命終得生晃昱天中。』」

---

[1]〔是〕－【宋】【元】
[2] 犁＝黎【宋】【元】【聖】
[3] 杖投＝投杖【聖】
[4] 調＝掉【元】【明】
[5] 摩＝磨【宋】【元】＊
[6] 瑟＝率【宋】【元】【明】【聖】＊
[7] 哆＝多【宋】【元】【明】

[T1.684a22]「尊師阿蘭那則於後時更修增上慈，修增上慈已，命終得生晃昱天中，尊師阿蘭那及諸弟子學道不虛[1]，得大果報，比丘！於意云何？昔時尊師阿蘭那者謂異人耶？莫作斯念。所以者何？比丘，當知即是我也。我於爾時名尊師阿蘭那，我於爾時有無量百千弟子，我於爾時為諸弟子說梵世法。」

[T1.684a29]「我說梵世法時，諸弟子等有不具足奉行法者，彼命終已，或生四王天，或生三十三天，或生[火*僉]*摩天，或生兜瑟哆[2]天，或生化樂天，或生他化樂天，我說梵世法時，諸弟子等設有具足奉行法者，修四梵室，捨離於欲，彼命終已，得生梵天，我於爾時而作是念：『我不應與弟子等同，俱至後世共生一處，我今寧可更修增上慈。』修增上慈已，命終得生晃昱天中，我於後時更修增上慈，修增上慈已，命終得生晃昱天中，我於爾時及諸弟子學道不虛，得大果報。」

[T1.684b11]「我於爾時自饒益，亦饒益他，饒益多人，愍傷世間，為天為人求義及饒益，求安隱快樂，我於爾時說法不至究竟，不究竟白淨、不究竟梵行、不究竟梵行訖，我於爾時不離生老病死、啼哭憂慼，亦未能得脫一切苦，比丘！我今出世，如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，我今自饒益，亦饒益他，饒益多人，愍傷世間，為天為人求義及饒益，求安隱快樂，我今說法得至究竟，究竟白淨、究竟梵行、究竟梵行訖，我今已離生老病死、啼哭憂慼，我今已得脫一切苦。」

[T1.684b23]「比丘。若有正說者：『人命極少，要至後世，應行善事，應行梵行，生無[3]不死。』比丘，今是正說。所以者何？今若有長壽，遠至百歲，或復小過者。若有長壽者，命存三百時，春時百、夏時百、冬時百，是命存千二百月，春四百月、夏四百、冬四百，命存千二百月者，命存二千四百半月，春八百、夏八百、冬八百，命存二千四百半月者，三萬六千晝夜，春*萬*二千[4]、夏*萬*二千、冬*萬*二千，命存三萬六千晝夜者，七萬二千食，及障礙及母乳。」

[T1.684c03]「於有障礙，苦不食，瞋不食，病不食，有事不食，行來不食，至王間不食，齋日不食，不得者不食，是謂比丘一[5]百歲命存百歲數、時數、歲時數、月數、半月數、月半月數、晝數、夜數、晝夜數、食數、障礙數、食障礙數，比丘。若有尊師所為弟子起大慈哀，憐念愍傷，求義及饒益，求安隱快樂者，我今已作，汝亦當復作，至無事處、山林樹下、空安靜處，*燕坐思惟，勿得放逸，懃加精進，莫令後悔，此是我之教勅，是我訓誨。」

---

[1] 虛＝處【聖】
[2] 哆＝多【明】＊
[3] 無＝死【聖】
[4] 二千＝千二【宋】＊【元】＊【明】＊
[5] 一＝二【宋】【元】【明】【聖】

[T1.684c13] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，*歡喜奉行。

[T1.684c15] 阿蘭那經第九竟 [1](三千二百九十一字)[2]，

中阿含經卷第四十(七千三百七十三字 [7])(第四分別誦 [8])[9]

中阿含經

卷第四十一 (Ma.161)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（一六一）梵志品

(Ma.161)梵摩經 [3] 第十 [4](第四分別誦)[5]

[T1.685a06] 我聞如是。

[T1.685a06] 一時，佛遊鞞陀提 [6]國，與大比丘眾俱。

[T1.685a07] 爾時，彌薩羅 [7]有梵志 [8]，名曰梵摩 [9]，極大富樂，資財無量，畜牧產業不可稱計，封戶食邑種種具足食豐 [10]，彌薩羅乃至水草木，謂摩竭陀王未生怨鞞陀提子特與梵封，梵志梵摩有一摩納，名優多羅，為父母所舉，受生清

---

[1]〔阿蘭…竟〕－【明】
[2]〔三千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[7]〔七千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[8]〔第四分別誦〕－【明】
[9] ＋（光明皇后願文）【聖】
[3] ～《中部》M.91.Brahmāyu sutta. (梵摩經)，No.76.《梵摩渝經》(大正 1.883b)
[4] 第十＝第二十【明】
[5]〔第四分別誦〕－【明】
[6] [>鞞陀提]～Videha.
[7] [>彌薩羅]～Mithilā.
[8] [>梵志]～Brāhmaṇa.
[9] [>梵摩]～Brahmāyu.
[10] 食豐＝豐饒【宋】【元】【明】

淨，乃至七世父母不絕種族，生生無惡，博聞總持，誦過四典經[1]，深達因、緣、正、文、戲五句說。

[T1.685a14] 梵志梵摩聞有沙門瞿曇釋種子捨釋宗族，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，遊鞞陀提國，與大比丘眾俱，彼沙門瞿曇有大名稱，周聞十方，彼沙門瞿曇如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼於此世，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，自知自覺，自作證成就遊，彼說法，初妙、中妙、竟亦妙，有義有文，具足清淨，顯現梵行。

[T1.685a23]復次，聞彼沙門瞿曇成就三十二大人之相，若成就大人相者，必有二處真諦不虛，若在家者，必為轉輪王，聰明智慧，有四種軍，整御天下，由己自在，如法法王成就七寶，彼七寶者，輪寶、象寶、馬寶、珠寶、女寶、居[士>士]寶、主兵臣寶，是謂為七，千子具足，顏貌端政[2]，勇猛無畏，能伏他眾，彼必統領此一切地乃至大海，不以刀杖，以法教令，令得安隱，若剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，必得如來、無所著、等正覺，名稱流布，周聞十方。

[T1.685b04] 梵志梵摩聞已，告曰：「優多羅[3]，我聞如是。彼沙門瞿曇釋種子捨釋宗族，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，遊鞞陀提國，與大比丘眾俱，優多羅，彼沙門瞿曇有大名稱，周聞十方，彼沙門瞿曇如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼於此世，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，自知自覺，自作證成就遊，彼說法[4]，初妙、中妙竟亦妙，有義有文，具足清淨，顯現梵行。」

[T1.685b13]「復次，優多羅，彼沙門瞿曇成就三十二大人之相，若成就大人相者，必有二處真諦不虛，若在家者，必為轉輪王，聰明智慧，有四種軍，整御天下，由己自在，如法法王成就七寶，彼七寶者，輪寶、象寶、馬寶、珠寶、女寶、居士寶、主兵臣寶，是謂為七，千子具足，顏貌端*政，勇猛無畏，能伏他眾，彼必統領此一切地乃至大海，不以刀杖，以法教令，令得安隱，若剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，必得如來、無所著、等正覺，名稱流布，周聞十方。」

[T1.685b23]「優多羅，汝受持諸經，有三十二大人之相，若成就大人相者，必有二處真諦不虛，若在家者，必為轉輪王，聰明智慧，有四種軍，整御天下，由己自在，如法法王成就七寶，彼七寶者，輪寶、象寶、馬寶、珠寶、女寶、居

---

[1] 四典經～三典經 Tiṇṇa veda.
[2] 政＝正【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] [>優多羅]～Uttara.
[4]〔法〕－【聖】

士寶、主兵臣寶，是謂為七，千子具足，顏貌端*政，勇猛無畏，能伏他眾，彼必統領此一切地乃至大海，不以刀杖，以法教令，令得安隱，若剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，必得如來、無所著、等正覺，名稱流布，周聞十方。」

[T1.685c04] 優多羅答曰：「唯然，世[1]尊，我受持諸經，有三十二大人之相，若成就大人相者，必有二處真諦不虛，若在家者，必為轉輪王，聰明智慧，有四種軍，整御天下，由己自在，如法法王成就七寶，彼七寶者，輪寶、象寶、馬寶、珠寶、女寶、居士寶、主兵臣寶，是謂為七，千子具足，顏貌端*政，勇猛無畏，能伏他眾，彼必統領此一切地乃至大海，不以刀杖，以法教令，令得安隱，若剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，必得如來、無所著、等正覺，名稱流布，周聞十方。」

[T1.685c15] 梵志梵摩告曰：「優多羅，汝往詣彼沙門瞿曇所，觀彼沙門瞿曇為如是，為不如是，實有三十二大人相[2]耶？」

[T1.685c18] 優多羅摩納聞已，稽首梵志梵摩足，繞三匝而去，往詣佛所，共相問訊，却坐一面，觀世尊身三十二相，彼見世尊身有三十相，於二相疑惑，陰馬藏及廣長舌，世尊念曰：「此優多羅於我身觀三十二相，彼見有三十相，於二相疑惑，陰馬藏及廣長舌，我今寧可斷其疑惑，世尊知已，即如其像作如意足，如其像作如意足已，令優多羅摩納[3]見我身陰馬藏及廣長舌。」

[T1.685c26] 於是，世尊即如其像作如意足，如其像作如意足已，優多羅摩納見世尊身陰馬藏及廣長舌，廣長舌者，從口出舌，盡覆其面，優多羅摩納見已，而作是念：「沙門瞿曇成就三十二大人之相，若成就大人相者，必有二處真諦不虛，若在家者，必為轉輪王，聰明智慧，有四種軍，整御天下，由己自在，如法法王成就七寶，彼七寶者，輪寶、象寶、馬寶、珠寶、女寶、居士寶、主兵臣寶，是謂為七，千子具足，顏貌端*政，勇猛無畏，能伏他眾，彼必統領此一切地乃至大海，不以刀杖，以法教令，令得安隱，若剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，必得如來、無所著、等正覺，名稱流布，周聞十方。」

[T1.686a11] 優多羅摩納復作是念：「我寧可極觀威儀禮節，及觀遊行所趣。」於是，優多羅摩納尋隨佛行，於夏四月觀威儀禮節，及觀遊行所趣，優多羅摩納過夏四月，悅可世尊威儀禮節，及觀遊行所趣，白曰：「瞿曇！我今有事，欲還請辭。」

---

[1] 〔世〕－【明】
[2] （之）＋相【明】
[3] [>摩納]～Mānava.

[T1.686a16] 世尊告曰：「優多羅，汝去隨意。」

[T1.686a17] 優多羅摩納聞世尊所說，善受善持，即從坐[1]起，繞三匝而去，往詣梵志梵摩所，稽首梵志梵摩足，却坐一面。

[T1.686a19] 梵志梵摩問曰：「優多羅，實如所聞，沙門瞿曇有大名稱，周聞十方，為如是，為不如是，實有三十二大人相耶？」

[T1.686a22] 優多羅摩納答曰：「唯然，尊，實如所聞，沙門瞿曇有大名稱，周聞十方，沙門瞿曇如是，非不如是，實有三十二相，尊，沙門瞿曇足安平立，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇足下生輪，輪有千輻，一切具足，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇足指纖長，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇足周正直，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇足跟踝後兩邊平滿，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇足兩踝傭[2]，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇身毛上向，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇手足網縵，猶如鴈[3]王，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。」

[T1.686b08]「復次，尊，沙門瞿曇手足極妙，柔弱軟[4]軟，猶兜羅華，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇肌皮*軟細，塵水不著，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇一一毛，一一毛者，身一一孔一毛生，色若紺青，如螺右旋，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇鹿[跳-兆+尃][5]腸，猶如鹿王，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇陰馬藏，猶良馬王，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇身形圓好，猶尼拘類樹，上下圓相稱，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇身不阿曲，身不曲者，平立伸[6]手以摩其膝，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。」

[T1.686b22]「復次，尊，沙門瞿曇身黃金色，如紫磨金，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇身七處滿，七處滿者，兩手、兩足、兩肩及項[7]，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇其上身大，猶如師子！是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇師子頰車，是

---

[1] 坐＝座【明】＊
[2] 傭＝膚【宋】
[3] 鴈＝鵞【元】【明】
[4] 軟＝濡【宋】＊【元】＊【明】＊
[5] [跳-兆+尃]＝腨【元】【明】【聖】
[6] 伸＝申【聖】
[7] 項＝頸【宋】【元】【明】

謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇脊背平直，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇兩肩上連，通頸平滿，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇四十齒牙[1]，齒、不踈齒、白齒、通味第一味，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇梵音可愛，其聲猶如迦羅毘伽[2]，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。」

[T1.686c07]「復次，尊，沙門瞿曇廣長舌，廣長舌者，舌從口出，遍覆其面，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇承淚處滿，猶如牛王，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇眼色紺青，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇頂有肉髻，團圓相稱，髮螺右旋，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相。復次，尊，沙門瞿曇眉間生毛，潔白右縈，是謂，尊，沙門瞿曇大人大人之相，是謂，尊，沙門瞿曇成就三十二大人之相。」

[T1.686c17]「若成就大人相者，必有二處真諦不虛，若在家者，必為轉輪王，聰明智慧，有四種軍，整御天下，由己自在，如法法王成就七寶，彼七寶者，輪寶、象寶、馬寶、珠寶、女寶、居士寶、主兵臣寶，是謂為七，千子具足，顏貌端*政，勇猛無畏，能伏他眾，彼必統領此一切地乃至大海，不以刀杖，以法教令，令得安隱，若剃除鬚髮，著袈[娑>裟]衣，至信、捨家、無家、學道者，必得如來、無所著、等正覺，名稱流布，周聞十方。」

[T1.686c26]「復次，尊，我見沙門瞿曇著衣、已著衣，被衣、已被衣，出房、已出房，出園、已出園，行道至村間，入村、已入村，在巷，入家、已入家，正床、已正床，坐、已坐，澡手、已澡手，受飲食、已受飲食，食、已食，澡手呪願，從*坐起，出家、已出家，在巷，出村、已出村，入園、已入園，入房、已入房。尊，沙門瞿曇著衣齊整，不[3]高不下，衣不近體，風不能令衣遠離身，身，尊，沙門瞿曇被衣齊整，不高不下，衣不近體，風不能令衣遠離身。尊，沙門瞿曇常著新衣，隨順於聖，以刀割截，染作惡色，如是彼聖染作惡色，彼持衣者，不為財物，不為貢高，不為自飾，不為莊嚴，但為障蔽蚊虻、風日之所觸故，及為慙愧，覆其身故。」

[T1.687a11]「彼出房時，身不低仰，尊，沙門瞿曇出房時，終不低身，尊，沙門瞿曇若欲行時，先舉右足，正舉正下，行不擾亂，亦無惡亂，行時兩踝[4]終不相相振[5]，尊，沙門瞿曇行時不為塵土所坌。所以者何？以本善行故，彼出園時，時，身不低仰，尊，沙門瞿曇出園時，終不低身，往到村間，身極右旋，觀察

---

[1] 牙＝平【宋】【元】【明】【聖】
[2] [>迦羅毘伽]～Karavīka-bhāṇi.
[3] 不＝人【元】
[4] 踝＝腁【宋】
[5] 振＝[打-丁+棠]【宋】，＝棠【聖】

如龍，遍觀而觀，不恐不怖，亦不驚懼，觀於諸方。所以者何？以如來、無所著、等正覺故，彼入村時，身不低仰，尊，沙門瞿曇入村時，終不低身，彼在街巷不低視，亦不仰視，唯直正視，於中不礙所知所見。」

[T1.687a23]「尊，沙門瞿曇諸根常定。所以者何？以本善行故，彼入家時，身不低仰，尊，沙門瞿曇入家時，終不低身，尊，沙門瞿曇迴身右旋，正床而坐，彼於床上不極身力坐，亦不以手案[月*坒]坐床，彼坐床已，不悒悒，不煩惱，亦復不樂，受澡水時，不高不下，不多不少，彼受飲食，不高不下，不多不少，尊，沙門瞿曇受食平鉢，等羹飲[1]食，尊，沙門瞿曇摶[2]食，齊整徐著口中，*摶食未至，不豫張口，及在口中三嚼而咽，無飯及羹亦不斷碎，有餘在口，復內後*摶。」

[T1.687b04]「尊，沙門瞿曇以三事清淨，食欲得味，不欲染味彼食，不為財物，不為貢[3]高，不為自飾，不為莊嚴，但欲存身，久住無患，用止故疹，不起新病，存命無患[4]，有力快樂，飯食已訖，受洗[5]手水，不高不下，不多不少，受澡鉢水，不高不下，不多不少，彼洗手淨已，其鉢亦淨，洗鉢淨已，其手亦淨，拭手已，便拭鉢，拭鉢已，便拭手，彼洗拭鉢已，安著一面，不近不遠，不數觀鉢，亦不為鉢，彼不毀呰此食，亦不稱譽彼食，但慚[6]默然[7]已，為諸居士說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即從坐[8]起，便退而還，彼出家時，身不低仰。」

[T1.687b17]「尊，沙門瞿曇出家時，終不低身，彼在街巷不低視，亦不仰視，唯直正視，於中不礙所知所見，尊，沙門瞿曇諸根常定。所以者何？以本善行故，彼出村時，身不低仰，尊，沙門瞿曇出村時，終不低身，彼入園時，身不低仰，尊，沙門瞿曇入園時，終不低身，彼中食後，收舉衣鉢，澡洗手足，以尼師檀[9]著於肩上，入房宴[10]坐，尊，沙門瞿曇饒益世間故，入房*宴坐，尊，沙門瞿曇則於晡時從*宴坐起，面色光澤。所以者何？以如來、無所著、等正覺故。」

---

[1] 飲＝飯【宋】【元】【明】
[2] 摶＝揣【聖】＊
[3] 貢＝切【聖】
[4] 患＝惡【宋】【元】【明】【聖】
[5] 洗＝澡【宋】【元】【明】
[6] 慚＝暫【元】【明】
[7] 然＋（食）【聖】
[8] 坐＝座【宋】＊【元】＊【明】＊
[9] 檀＝壇【宋】【元】【明】
[10] 宴＝燕【聖】＊

[T1.687b28]「尊，沙門瞿曇口出八種音聲，一曰甚深，二曰毘摩樓簸[1]，三曰入心，四曰可愛，五曰極滿，六曰活瞿，七曰分了，八曰智也。多人所愛，多人所樂，多人所念，令得心定，尊，沙門瞿曇隨眾說法，聲不出眾外，唯在於眾，為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，即從*坐起，還歸[2]本所，尊，沙門瞿曇其像如是，但有殊勝復過於是，尊，我欲詣彼沙門瞿曇！從學梵行。」

[T1.687c08] 梵志梵摩告曰：「隨意。」

[T1.687c09] 於是，優多羅摩納稽首梵志梵摩足，繞三匝而去，往詣佛所，稽首佛足，却坐一面，白曰：「世尊！願從世尊學道受具足，成就比丘，得從世尊修行梵行。」

[T1.687c12] 於是，世尊度優多羅摩納，令學道受具足，度優多羅摩納，令學道受具足已，遊行鞞陀提國，與大比丘眾俱，展轉進前，到彌薩羅，住彌薩羅大天奈林[3]。」

[T1.687c16] 彼彌薩羅梵志、居士聞沙門瞿曇釋種子捨釋宗族，出家學道，遊行鞞陀提國，與大比丘眾俱，展轉來至此彌薩羅，住大天奈林，沙門瞿曇有大名稱，周聞十方，沙門瞿曇如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼於此世，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，自知自覺，自作證成就遊，彼說法，初妙、中妙、竟亦妙，有義有文，具足清淨，顯現梵行。「若有見如來、無所著、等正覺，敬重禮拜，供養承事者，快得善利，我等寧可共往見彼沙門瞿曇！禮拜供養。」

[T1.687c27] 彼彌薩羅梵志、居士各與等類眷屬相隨，從彌薩羅出，北行至大天奈林，欲見世尊禮拜供養，往詣佛已，或有彌薩羅梵志、居士[4]稽首佛足，却坐一面，或有與佛共相問訊，却坐一面，或有叉手向佛，却坐一面，或有遙見佛已，默然而坐，彼彌薩羅梵志、居士各各坐已，佛為說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，默然而住。

[T1.688a06] 梵志梵摩聞沙門瞿曇釋種子捨釋宗族，出家學道，遊行鞞陀提國，與大比丘眾俱，展轉來至此彌薩羅國，住大天奈林，彼沙門瞿曇有大名稱，周聞十方，彼沙門瞿曇如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼於此世，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，自知自覺，自作證成就遊，彼說法，初妙、中妙、竟亦妙，有義有

---

[1] 簸＝藪【聖】
[2] 還歸＝歸還【宋】【元】【明】
[3] [>大天奈林]～Makhādevambavana.
[4] 士＝寺【元】

文，具足清淨，顯現梵行。「若有見如來、無所著、等正覺，敬重禮拜，供養承事者，快得善利，我寧可往見沙門瞿曇！禮拜供養。」

[T1.688a17] 梵志梵摩告御者曰：「汝速嚴駕，我今[1]欲往詣沙門瞿曇！」

[T1.688a18] 御者受教，即速嚴駕訖，還白曰：「嚴駕已畢，尊自知時。」於是，梵摩乘極賢妙車，從彌薩羅出，北行至大天奈林，欲見世尊禮拜供養。

[T1.688a21] 爾時，世尊在無量眾前後圍繞而為說法，梵志梵摩遙見世[2]尊在無量眾前後圍繞而為說法，見已，恐怖。於是，梵摩即避在道側，至樹下住，告一摩納：「汝往詣彼沙門瞿曇！為我問訊聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？作如是語，瞿曇！我師梵摩問訊聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？瞿曇！我師梵摩欲來見沙門瞿曇！」

[T1.688a29] 於是，摩納即受教行，往詣佛所，共相問訊，却坐一面，白曰：「瞿曇！我師梵摩問訊聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？瞿曇！我師梵摩欲來見[3]沙門瞿曇！」

[T1.688b04] 世尊告曰：「摩納，令梵志梵摩安隱快樂，令天及人、阿修羅、揵沓恕、羅剎及餘種種身安隱快樂，摩納，梵志梵摩欲來隨意。」

[T1.688b07] 於是，摩納聞佛所說，善受善持，即從坐[4]起，繞佛三匝而去，還詣梵志梵摩所，白曰：「尊，我已通沙門瞿曇！彼沙門瞿曇今住待尊，唯尊知時。」

[T1.688b10] 梵志梵摩即從車下，步詣佛所，彼眾遙見梵志梵摩來，即從座[5]起，開道避之。所以者何？以有名德及多識故。

[T1.688b13] 梵志梵摩告彼眾曰：「諸賢！各各復坐，我欲直往見沙門瞿曇！」於是，梵摩往詣佛所，共相問訊，却坐一面。

[T1.688b15] 爾時，梵摩不壞二根，眼根及耳根，梵志梵摩坐已，諦觀佛身三十二相，彼見三十相，於二相有疑，陰馬藏及廣長舌，梵志梵摩即時以偈問世尊曰：「

---

[1] 我今＝訖還【元】【明】
[2] 世＝出【元】
[3] （欲）＋見【宋】【元】【明】
[4] 坐＝座【元】【明】
[5] 座＝坐【聖】

如我昔曾所聞　三十二大人相　於中求不見二　尊沙門瞿曇身
為有陰馬藏不　一切人尊深密　云何為人最尊　不現視微妙舌
若尊有廣長舌　唯願令我得見　今實有疑惑心　願調御決我疑

[T1.688b25] 世尊作是念：「此梵志梵摩求我身三十二相，彼見三十，於二有疑，陰馬藏及廣長舌，我今寧可除彼疑惑。」世尊知已，作如其像如意足，作如其像如意足已，梵志梵摩見世尊身陰馬藏及廣長舌，於中廣長舌者，舌從口出，盡覆其面，世尊止如意足已，為梵志梵摩說此頌曰：「

謂汝昔曾所聞　三十二大人相　彼一切在我身　滿具足最上正
調御斷於我疑　梵志發微妙信　至難得見聞　最上正盡覺
出世為極難　最上正盡覺　梵志我正覺　無上正法王

[T1.688c09] 梵志梵摩聞已：「而作是念：此沙門瞿曇成就三十二大人之相，謂成就大人相者，必有二處真諦不虛，若在家者，必為轉輪王，聰明智慧，有四種軍，整御天下，如法法王成就七寶，彼七寶者，輪寶、象[>寶]、馬寶、珠寶、女寶、居士寶、主兵臣寶，是謂為七，千子具足，顏貌端*政，勇猛無畏，能伏他眾，彼必統領此一切地乃至大海，不以刀[枝>杖]，以法教令，令得安隱，若剃除鬚髮，著袈[娑>裟]衣，至信、捨家、無家、學道者，必得如來、無所著、等正覺，名稱流布，周聞十方。」

[T1.688c19] 於是，世尊而作是念：「此梵志梵摩長夜無諛[1]諂、無欺誑，所欲所問者，一切欲知非為觸嬈，彼亦如是，我寧可說[2]彼甚深阿毘曇。」世尊知已，為梵志梵摩即說頌曰：「

現世樂法故　饒益為後世　梵志汝問事　隨本意所思
彼彼諸問事　我為汝斷疑　世尊[3]已[4]許問　梵志梵摩故
便問世尊事　隨本意所思　云何為梵志　三達[5]有何義
以何說無著　何等正盡[6]覺

[T1.689a02] 爾時，世尊以頌答曰：「

滅惡不善法　立住擇[7]梵行　修習梵志正[1]　以此為梵志
明達於過去　見樂及惡道　得無明盡[2]說[3]　知是立牟尼

---

[1] 諛＝諭【聖】
[2] 說＝請【聖】
[3] 世尊…所思～Athakho Brahmāyu brāhmaṇo Bhagavanta gāthāhiṃ ajjhabhāsi.
[4] 已＝既【宋】【元】【明】
[5] 三達～Tevijja.
[6] 盡＝真【聖】
[7] 擇＝釋【宋】【元】【明】

善知清淨心　盡脫婬怒癡　成就於三明　以此為三達
遠離不善法　正住第一義　第一世所敬　以此為無著
饒益天及人　與眼滅壞諍　普知現視盡　以此正盡[4]覺

[T1.689a13] 於是，梵摩即從座[5]起，欲稽首佛足，彼時大眾同時俱發高大音聲：「沙門瞿曇甚奇，甚特，有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神。所以者何？此彌薩羅國所有梵志、居士者，梵志梵摩於彼最第一，謂出生故，梵志梵摩為父母所舉，受生清淨，乃至七世父母不絕種族，生生無惡，彼為沙門瞿曇極下意尊[6]敬作禮，供養奉事，沙門瞿曇甚奇，甚特，有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神。所以者何？此彌薩羅國所有梵志、居士者，梵志梵摩於彼最第一，謂學書故，梵志梵摩博聞總持，誦過四典經，深達因、緣、正、文、戲五句說，彼為沙門瞿曇極下意尊敬作禮，供養奉事。」

[T1.689a26]「沙門瞿曇甚奇，甚特，有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神。所以者何？此彌薩羅國所有梵志、居士者，梵志梵摩於彼最第一，謂財物故，梵志梵摩極大富樂，資財無量，畜牧產業不可稱計，封戶食邑種種具足食豐[7]，彌薩羅乃至水草木，謂王摩竭陀[8]未生怨鞞陀提子特[9]與梵封，彼為沙門瞿曇極下意尊敬作禮，供養奉事，沙門瞿曇甚奇，甚特，有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神。所以者何？此彌薩羅國所有梵志、居士者，梵志梵摩於彼最第一，謂壽命故，梵志梵摩極大長老，壽命具足，年百二十六，彼為沙門瞿曇極下意尊敬作禮，供養奉事。」

[T1.689b10] 是時，世尊以他心智知彼大眾心之所念，世尊知已，告梵志梵摩：「止，止，梵志，但心喜[10]足，可還復坐，為汝說法。」

[T1.689b12] 梵志梵摩稽首佛足，却坐一面，世尊為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，如諸佛法，先說端政法，聞者歡悅，謂說施、說戒、說生天法，毀呰欲為災患，生死為穢，稱嘆無欲為妙，道品白淨，為說是已，佛知彼有歡喜心、具足心、柔軟心、堪耐心、昇上心、一向心、無疑心、無蓋心，有能有力受佛[11]正法，謂如諸佛所說正要[12]，

---

[1] 正＝行【元】【明】
[2] 無明盡＝盡無明【宋】【元】【明】
[3] 說＝訖【元】【明】【聖】
[4] 正盡＝為正【宋】【元】【明】
[5] 座＝坐【宋】
[6]〔尊〕－【聖】
[7] 食豐＝豐饒【宋】【元】【明】
[8] 陀＝提【宋】【元】【明】
[9] 特＝待【宋】【元】【明】【聖】
[10] 喜＝意【聖】
[11] 受佛＝堪受【宋】【元】【明】【聖】
[12] 要＝心【宋】【元】【明】

世尊具為彼說苦、習[1]、滅、道，梵志梵摩即於座[2]上見四聖諦，苦、*習、滅、道，猶如白素，易染為色，如是[3]梵摩即於*座上見四聖諦，苦、*習、滅、道。

[T1.689b24] 於是，梵摩見法得法，覺白淨法，斷疑度惑，更無餘尊，不復由他，無有猶豫，已住果證，於世尊法得無所畏，即從*座起，稽首佛足：「世尊！我今自歸於佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.689c01] 時，梵志梵摩[又>叉]手向佛，白曰：「世尊！唯願明日垂顧受請，及比丘眾。」

[T1.689c02] 世尊為梵志梵摩故，默然而受。

[T1.689c03] 梵志梵摩知世尊默然受已，稽首佛足，繞三匝而去，還歸其家，即於其夜施設餚饌極妙上味[4]、種種豐饒食噉含消，施設已訖，平旦敷床，至時唱曰：「世尊！飯[5]食已辦，唯聖知時。」

[T1.689c07] 於是，世尊過夜平旦，著衣持鉢，比丘翼從，世尊在前，往詣梵志梵摩家，於比丘眾前敷座而坐，梵志梵摩知世尊及比丘眾眾坐已定，自行澡水，以上味餚饌、種種豐饒食噉含消，自手酌酌，令極飽滿，食訖收器，行澡水竟，取一小床，坐受呪願。

[T1.689c13] 梵志梵摩坐已，世尊為彼說呪願曰：「

呪火第一齋　通音諸音本　王為人中尊　海為江河長
月為星中明　明照無過日　上下維諸方　及一切世間
從人乃至天　唯佛最第一

[T1.689c19] 於是，世尊為梵志梵摩說呪願已，從座起去，彌薩羅國住經數日，攝衣持鉢，則便遊行至舍衛國，展轉前進[6]，到舍衛國，住勝林給孤獨園。於是，眾多比丘舍衛乞食時，聞彼彌薩羅梵志梵摩以偈問佛事，彼便命終，諸比丘聞已，食訖，中後收舉衣鉢，澡洗手足，以尼師檀[7]著於肩上，往詣佛所，稽首作禮，却住一面，白曰：「世尊！我[8]等眾多比丘平旦著衣，持鉢入舍衛乞食

---

[1] 習＝集【元】【明】＊
[2] 座＝坐【聖】＊
[3] 猶如…如是～Seyyathāpi nāma suddham vattham apagatakāḷakaṃ sammadeva rajanaṃ patigaṇheyya, evaṃ evaṃ.
[4] 味＝法【元】【明】
[5] 飯＝飲【宋】【元】【明】
[6] 前進＝進前【宋】【元】【明】
[7] 檀＝壇【宋】【元】【明】
[8] 我＝眾【宋】

時，聞彼彌薩羅梵志梵摩以偈問佛事，彼便命終。世尊！彼至何處，為生何許，後世云何。」

[T1.689c29] 世尊答曰：「比丘！梵志梵摩極有大利，最後知法，為法故不煩勞我，比丘！梵志梵摩五下分結盡，生彼得般涅槃，得不退法，不還此世。」

[T1.690a03] 爾時，世尊記說梵摩得阿那含。

[T1.690a04] 佛說如是，梵志梵摩及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.690a06] 梵摩經第十竟[1](六千七百七十六字)[2]，

中阿含經卷第四十一[3](六千七百七十六字)[4]

中阿含[5]梵志品第一竟[6](三萬四百五十四字[7])[8]，

中阿含經[9]

卷第四十二 (Ma.162~164)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯[10]

根本分別品[11]第二[12](有十經)(第四分別誦[13])

---

[1]〔梵摩經…竟〕－【明】
[2] 六千七百七十六字＝六千七百六十四字【宋】，－【元】【明】【聖】
[3] 卷末題與品末題位置前後【宋】【元】【明】【聖】
[4]〔六千七百七十六字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[5]〔中阿含〕－【明】
[6] 第一竟＝第二十竟【明】
[7] 三萬四百五十四字＝第四分別誦【宋】【元】，－【明】
[8] ＋（性空佛海德佛藥王佛天王佛觀世音菩薩藥王菩薩）二十一字【聖】，＋（光明皇后願文）【聖】
[9]〔中阿…四十二〕－【德】
[10]〔東晉…提婆譯〕－【德】
[11] （中阿鋡）＋根本分別品【德】
[12] 第二＝第十三【明】
[13] 誦＋（卷四十二）【德】

分別六界、處　　觀法、溫泉林
釋中禪室尊　　阿難說、意行
拘樓瘦無諍　　鸚鵡[1]、分別業

（一六二）中阿[2]含[3]根本分別品

(Ma.162)分別六界經[4] 第一

[T1.690a20] 我聞如是。

[T1.690a20] 一時，佛遊摩竭陀[5]國，往詣王舍城宿。於是，世尊往至陶家[6]，語曰：「陶師，我今欲寄陶屋一宿，汝見聽耶[7]？」

[T1.690a22] 陶師答曰：「我無所違，然有一比丘先已住中，若彼聽者，欲住隨意。」

[T1.690a24] 爾時，尊者弗迦邏[8]娑利先已在彼住陶屋中。於是，世尊出陶師家入彼陶屋，語尊者弗迦邏娑利曰：「比丘！我今欲寄陶屋一宿，汝見聽耶？」

[T1.690a27] 尊者弗迦邏娑利答曰：「君，我無所違，且此陶屋草座[9]已敷，君欲住者，自可隨意。」

[T1.690a29] 爾時，世尊從彼陶屋出外洗足訖，還入內，於草*座上敷尼師檀[10]，結跏趺坐，竟夜默然靖[11]坐定意，尊者弗迦邏娑利亦竟夜默然*靖坐定意，彼時，世尊而作是念：「此比丘住止寂靖[12]，甚奇，甚特，我今寧可問彼比丘，汝師是誰，依誰出家學道受法？」

[T1.690b06] 世尊念已，問曰：「比丘！汝師是誰，依誰出家學道受法。」

---

[1] 鵡＝鵝【元】
[2]〔中阿含〕－【宋】【元】【明】
[3] 含＝銜【德】
[4] ～《中部》M.140.Dhātuvibhaṅga sutta (界分別經)
[5] 陀＝提【宋】【元】【明】
[6] [>陶家]～Kumbhakāra.
[7] 耶＝邪【德】＊
[8] 弗迦邏＝弗迦羅【宋】＊【元】＊【明】＊～Pukkusāti.
[9] 座＝坐【德】＊
[10] 檀＝壇【宋】【元】【明】
[11] 靖＝靜【德】＊
[12] 靖＝靜【宋】【元】【明】【德】

[T1.690b07] 尊者弗迦邏[裟>娑]利答曰：「賢者，有沙門瞿曇釋種子，捨釋宗族，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，覺無上正盡覺，彼是我師，依彼出家學道受法。」

[T1.690b10] 世尊即復問曰：「比丘！曾見師*耶？」

[T1.690b11] 尊者弗迦邏娑利答曰：「不見。」

[T1.690b12] 世尊問曰：「若見師者，為識不*耶？」

[T1.690b12] 尊者弗迦邏娑利答曰：「不識，然，賢者，我聞世尊、如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼是我師，依彼出家學道受法。」

[T1.690b16] 彼時，世尊復作是念：「此族姓子依我出家學道受法，我今寧可為說法*耶？」

[T1.690b18] 世尊念已，語尊者弗迦邏娑利曰：「比丘！我為汝說法，初善、中善、竟亦善，有義有文，具足清淨，顯現梵行，謂分別六界，汝當諦聽，善思念之。」

[T1.690b21] 尊者弗迦邏娑利答曰：「唯然。」

[T1.690b22] 佛告彼曰：「比丘！人有六界聚、六觸處、十八意行、四住處。若有住彼，不聞憂慼事，不聞憂慼事已，意便不憎、不憂、不勞，亦不恐怖，如是有教，不放逸慧[1]，守護真諦，長養惠[2]施，比丘！當學最上，當學至寂，分別六界。如是，比丘！人[3]有六界聚，此說何因，謂地界、水界、火界、風界、空界、識界，比丘！人有六界聚者，因此故說。」

[T1.690b29]「比丘！人有六觸處[4]，此說何因，謂比丘眼觸見色，耳觸聞聲，鼻觸嗅[5]香，舌觸嘗味，身觸覺觸，意觸知法，比丘！人有六觸處者，因此故說，比丘！人有十八意行[6]，此說何因，謂比丘眼見色，觀色喜住[7]，觀色憂住，觀色捨住，如是耳、鼻、舌、身，意知法，觀法喜住，觀法憂住，觀法捨住，比

---

[1] [>不放逸慧]～Paññaṃ nappamajjeyya.
[2] 惠＝慧【德】[>＊]
[3] [>人有六界聚]～Chadhāturo ayaṃ puriso ti.
[4] [>六觸處]～Chaphassāyatana.
[5] 嗅＝臭【德】
[6] [>十八意行]～Aṭṭhādasamanopavicāra.
[7] [>觀色喜住]～Somanassaṭ ṭhānīyaṃ rūpaṃ upavicarati.

丘！此六喜觀、六憂觀、六捨觀，合已十八行，比丘！人有十八意行者[1]，因此故說。」

[T1.690c09]「比丘！人有四住處[2]，此說何因，謂真諦住處、慧住處、施住處、息住處，比丘！人有四住處者，因此故說。云何比丘不放逸慧。若有比丘分別身界，今我此身有內地界而受於生，此為云何，謂髮、毛、爪、齒、麤[3]細膚、皮、肉、骨、筋、腎、心、肝、肺、脾、大腸、胃、糞，如斯之比，此身中餘在內，內所攝堅，堅性住內，於生所受，是謂比丘內地界也。比丘。若有內地界及外地界者，彼一切總說地界，彼一切非我有，我非彼有，亦非神也。如是慧觀，知其如真，心不染著於此地界，是謂比丘不放逸慧。」

[T1.690c20]「復次，比丘不放逸慧。若有比丘分別身界，今我此身有內水[4]界而受於生，此為云何，謂腦膜[5]、眼淚、汗、涕、唾、膿、血、肪、髓、涎[6]、淡[7]、小便，如斯之比，此身中餘在內，內所攝水，水性潤內，於生所受，是謂比丘內水界也。比丘。若有內水界及外水界者，彼一切總說水界，彼一切非我有，我非彼有，亦非神也。如是慧觀，知其如真，心不染著於此水界，是謂比丘不放逸慧。」

[T1.691a04]「復次，比丘不放逸慧。若有比丘分別此身界，今我此身有內火界而受於生，此為云何，謂熱身、暖身、煩悶身、溫莊[8]身，謂消飲食，如斯之比，此身中餘在內，內所攝火，火性熱內，於生所受，是謂比丘內火界也。比丘。若有內火界及外火界者，彼一切總說火界，彼一切非我有，我非彼有，亦非神也。如是慧觀，知其如真，心不染著於此火界，是謂比丘不放逸慧。」

[T1.691a13]「復次，比丘不放逸慧。若有比丘分別身界，今我此身有內風界而受於生，此為云何，謂上風、下風、脇風、掣縮風、蹴風、非道風、節節[9]風、息出風、息入風，如斯之比，此身中餘在內，內所攝風，風性動內，於生所受，是謂比丘內風界也。比丘。若有內風界及外風界者，彼一切總說風界，彼一切非我有，我非彼有，亦非神也。如是慧觀，知其如真，心不染著於此風界，是謂比丘不放逸慧。」

---

[1] 者＝麤【聖】
[2] [>四住處]～[Caturā liṭṭnāna.>Caturādhiṭṭhāna.]
[3] [麁>麤]細＝塵網【宋】【元】
[4] 水＝外【德】
[5] 膜＝髓【宋】【元】【明】，＝腦【德】
[6] 涎＝●【德】
[7] 淡＝澹【宋】，＝痰【元】【明】
[8] 莊＝壯【宋】【元】【明】，－【德】，＝在【聖】
[9] 節＋（行）【宋】【元】【明】【德】【聖】

[T1.691a22]「復次，比丘不放逸慧。若有比丘分別身界，今我此身有內空界而受於生，此為云何，謂眼空、耳空、鼻空、口空、咽喉動搖，謂食噉含[1]消，安徐咽住，若下過出，如斯之比，此身中餘在內，內所攝空，在空不為肉、皮、骨、筋所覆，是謂比丘內空界也。比丘。若有內空界及外空界者，彼一切總說空界，彼一切非我有，我非彼有，亦非神也。如是慧觀，知其如真，心不染著於此空界，是謂比丘不放逸慧。」

[T1.691b02]「比丘。若有比丘於此五界知其如真，知如真已，心不染彼而解脫者，唯有餘識，此何等識，樂識、苦識、喜識、憂識、捨識，比丘！因樂更樂[2]故生樂覺，彼覺樂覺，覺樂覺已，即知覺樂覺。若有比丘滅此樂更樂，滅此樂更樂已。若有從樂更樂生樂覺者，彼亦滅息止，知已冷也。比丘，因苦更樂故生苦覺，彼覺苦覺，覺苦覺已，即知覺苦覺。若有比丘滅此苦更樂，滅此苦更樂已。若有從苦更樂生苦覺者，彼亦滅息止，知已冷也。比丘，因喜更樂故生喜覺，彼覺喜覺，覺喜覺已，即知覺喜覺。若有比丘滅此喜更樂，滅此喜更樂已。若有從喜更樂生喜覺者，彼亦滅息止，知已冷也。」

[T1.691b16]「比丘！因憂更樂故生憂覺，彼覺憂覺，覺憂覺已，即知覺憂覺[3]。若有比丘滅此憂更樂，滅此憂更樂已。若有從憂更[藥>樂]生憂覺者，彼亦滅息止，知已冷也。比丘，因捨更樂故生捨覺，彼覺捨覺，覺捨覺已，即知覺捨覺[4]。若有比丘滅此捨更樂，滅此捨更樂已。若有從捨更樂生捨覺者，彼亦滅息止，知已冷也。比丘，彼彼更樂故生彼彼覺，滅彼彼更樂已，彼彼覺亦滅，彼知此覺從更樂，更樂本，更樂習，從更樂生，以更樂為首，依更樂行。」

[T1.691b27]「比丘！猶如火母，因鑽及人方便熱相故，而生火也。比丘，彼彼眾多林木相離分散，若從彼生火，火數熱於生數受，彼都滅止息，則冷樵木也。如是，比丘！彼彼更樂故生彼彼覺，滅彼彼更樂故彼彼覺亦滅，彼知此覺從更樂，更樂本，更樂習，從更樂生，以更樂為首，依更樂行，若比丘不染此三覺而解脫者，彼比丘唯存於捨，極清淨也。比丘，彼比丘作是念：『我此清淨捨，移入無量空處，修如是心，依彼、住彼、立彼、緣彼、繫縛於彼，我此清淨捨，移入無量識處、無所有處、非有想非無想處，修如是心，依彼、住彼、立彼、緣彼、繫縛於彼。』」

[T1.691c10]「比丘！猶工煉[5]金上妙之師，以火燒金，鍛令極薄，又以火燝[1]，數數足火熟*煉令淨，極使柔軟而有光明，比丘！此金者，於金師以數數足火熟

---

[1]〔含〕－【德】【聖】

[2] 因樂更樂…知覺樂覺～Sukhavedanīyaṃ phassaṃ paṭicca uppajjati sukhā vedanā. Sosukhaṃ vedanaṃ vediyamāno sukhaṃ vedanaṃ vediyāmīti pajānāti.

[3] 覺＋（者）【宋】【元】【明】

[4]〔覺〕－【聖】

[5] 煉＝練【宋】【德】【聖】＊，＝鍊【元】【明】＊

*煉[1]令淨，極使柔軟而有光明已，彼金師者，隨所施設，或縺[2]繒綵，嚴飾新衣，指鐶[3]、臂釧、瓔珞、寶鬘，隨意所作。如是，比丘！彼比丘作是念：『我此清淨捨移入無量空處，修如是心，依彼、住彼、立彼、緣彼、繫縛於彼，我此清淨捨移入無量識處、無所有處、非有想非無想處，修如是心，依彼、住彼、立彼、緣彼、繫縛於彼。』」

[T1.691c21]「彼比丘復作是念：『我此清淨捨，依無量空處者，故是有為。若有為者，則是無常，若無常者，即是苦也。若是苦者，便知苦，知苦已，彼此捨不復移入無量空處，我此清淨捨，依無量識處、無所有處、非有想非無想處者，故是有為。若有為者，則是無常，若無常者，即是苦也。若是苦者，便知苦，知苦已，彼此捨不復移入無量識處、無所有處、非有想非無想處。』比丘。若有比丘於此四處以慧觀之，知其如真，心不成就，不移入者，彼於爾時不復有為，亦無所思，謂有及無，彼受身最後覺，則知受身最後覺，受命最後覺，則[4]知受命最後覺，身壞命終，壽命已訖，彼所覺一切滅息止，知至冷也。」

[T1.692a06]「比丘！譬如燃燈，因油因炷，彼若無人更增益油，亦不續炷，是為前已滅訖，後不相續，無所復受。如是，比丘受身最後覺，則知受身最後覺，受命最後覺，則知受命最後覺，身壞命終，壽命已訖，彼所覺一切滅息止，知至冷也。比丘，是謂比丘第一正慧，謂至究竟滅訖，漏盡比丘成就於彼，成就第一正慧處，比丘！此解脫住真諦，得不移動，真諦者，謂如法也。妄言者，謂虛妄法，比丘！成就彼第一真諦處[5]。」

[T1.692a15]「比丘！彼比丘施說施若[6]本必有怨家，彼於爾時放捨、吐離、解脫、滅訖，比丘！是謂比丘第一正惠施[7]，謂捨離一切世盡，無欲、滅、息、止，比丘成就於彼，成就第一*惠施處，比丘！彼比丘心為欲、恚、癡所穢，不得解脫，比丘！此一切婬、怒、癡盡，無欲、滅、息、止，得第一息[8]，比丘！成就彼者成就第一息處。」

[T1.692a22]「比丘！我者是自舉，我當有是亦自舉，我當非有非無是亦自舉，我當色有是亦自舉，我當無色有是亦自舉，我當非有色非無色是亦自舉，我當有想是亦自舉，我當無想是亦自舉，我當非有想非無想是亦自舉，是貢高、是憍慢、是放逸，比丘！若無此一切自舉、貢高、憍慢、放逸者，意謂之息，比丘！若意息者，便不憎、不憂、不勞、不怖。所以者何？彼比丘成就法故，不

---

[1] 燦＝[木*藍]【宋】【聖】，＝[土*藍]【元】，＝[打-丁+監]【明】，＝灆【德】
[2] 縺＝纏【宋】【元】【明】
[3] 鐶＝環【德】
[4] 則＝到【聖】
[5] 第一真諦處～Parama saccādhiṭṭhāna.
[6] 說施若＝設若【宋】，＝設苦【元】【明】
[7] 正惠施＝正慧施【元】【明】～Ariya cāga.
[8] 息～Upasama.

復有可說憎者，若不憎則不憂，不憂則不愁，不愁則不勞，不勞則不怖，因不怖便當般涅槃，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。」

[T1.692b05] 說此法已，尊者弗迦邏[1]娑利遠塵離垢，諸法法[2]眼生。於是，尊者*弗迦邏娑利見法得法，覺白淨法，斷疑度惑[3]，更無餘尊，不復由他，無有猶豫，已住果證，於世尊法得無所畏，即從坐[4]起，稽首佛足，白曰：「世尊！我悔過，善逝，我自首，如愚如癡，如不定，如不善解，不識良田，不能自知。所以者何？以我稱如來、無所著、等正覺為君[5]也。唯願世尊聽我悔過，我悔過已，後不更作。」

[T1.692b14] 世尊告曰：「比丘！汝實愚癡，汝實不定，汝不善解，謂稱如來、無所著、等正覺為君也。比丘，若汝能自悔過，見已發露，護不更作者，比丘！如是則於聖法、律中益而不損，謂能自悔過，見已發露，護不更作。」

[T1.692b18] 佛說如是，尊者弗迦邏[6]娑利聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.692b21] 分別六界經第一竟[7](三千一百三十一字)[8]，

（一六三）中阿含[9]根本分別品

(Ma.162)分別六處經[10] 第二(第四分別誦)[11]

[T1.692b24] 我聞如是。

[T1.692b24] 一時，佛遊舍衛國，在[12]勝林給孤獨園。

[T1.692b25] 爾時，世尊告諸比丘：「我當為汝說法，初妙、中妙、竟亦妙，有義有文，具足清淨，顯現梵行，謂分別六處經，諦聽，諦聽，善思念之。」

---

[1] 迦邏＝加羅【聖】＊
[2]〔法〕－【宋】【元】【明】
[3] 惑＝或【德】
[4] 坐＝座【元】【明】
[5] [>君]～Avuso.
[6] 迦邏＝加羅【宋】【元】【明】【聖】，＝迦羅【德】
[7]〔分別…竟〕－【明】
[8] 三千一百三十一字＝三千一百三十字【宋】【德】，－【元】【明】【聖】
[9]〔中阿含〕－【明】
[10] ～M. 137. Saḷāyatana vibhaṅga sutta.
[11]〔第四分別誦〕－【明】
[12] 在＝安【宋】

[T1.692b28] 時，諸比丘白曰：「世尊！唯當受教。」

[T1.692b28] 佛言：「汝等六處當知內也。六更樂處當知內，十八意行當知內，三十六刀[1]當知內，於中斷彼成就是，無量說法當知內，三意止，謂聖人所習，聖人所習已，眾可教，無上調御士者，調御士趣一切方[2]，是謂分別六處經事。」

[T1.692c05]「六處當知內者，此何因說，謂眼處，耳、鼻、舌、身、意處，六處當知內者，因此故說。」

[T1.692c06]「六更樂處當知內者，此何因說，謂眼更樂為見色，耳更樂為聞聲，鼻更樂為嗅香，舌更樂為嘗味，身更樂為覺觸，意更樂為知法，六更樂處當知內者，因此故說。」

[T1.692c10]「十八意行當知內者，此何因說，比丘者，眼見色已，分別色喜住，分別色憂住，分別色捨住，如是耳、鼻、舌、身，意知法已，分別法喜住，分別法憂住，分別法捨住，是謂分別六喜、分別六憂、分別六捨，總說十八意行，十八意行當知內者，因此故說。」

[T1.692c16]「三十六刀當知內者，此何因說，有六喜依著，有六喜依無欲，有六憂依著，有六憂依無欲，有六捨依著，有六捨依無欲。云何六喜依著。云何六喜依無欲，眼見色已生喜，當知二種，或依著，或依無欲。」

[T1.692c21]「云何喜依著，眼知色[3]可喜、意念、愛[4]色、欲相應樂，未得者欲得，已得者憶已生喜，如是喜，是謂喜依著。云何喜依無欲，知色無常、變易，盡、無欲、滅、息，前及今一切色無常、苦、滅法，憶已生喜，如是喜，是謂喜依無欲，如是耳、鼻、舌、身，意知法已生喜，當知二種，或依著，或依無欲。云何喜依著，意知法可喜、意念、愛法、欲相應樂，未得者欲得，已得者憶已生喜，如是喜，是謂喜依著。云何喜依無欲，知法無常、變易，盡、無欲、滅、息，前及今一切法無常、苦、滅法，憶已生喜，如是喜，是謂喜依無欲。」

[T1.693a07]「云何六憂依著。云何六憂依無欲，眼見色已生憂，當知二種，或依著，或依無欲。云何憂依著，眼知色可喜、意念、愛色、欲相應樂，未得者不得，已得者過去、散壞、滅、變易，生憂，如是憂，是謂憂依著。云何憂依無欲，知色無常、變易，盡、無欲、滅、息，前及今一切色無常、苦、滅法，憶

---

[1] 三十六刀～Chattiṃsa sattapādā.
[2] 方＋（便）【德】
[3] 眼知色…欲相應樂～Cakkhuviññeyyānam rūpānaṃ iṭṭhānaṃ kantānaṃ manāpānaṃ manoramānaṃ lokāmissapatisamyuttānaṃ paṭilābham.
[4] 愛＝受【宋】【元】【明】

已作是念：『我何時彼處成就遊，謂處諸聖人成就遊，是為上具觸願恐怖，知苦憂生憂，如是憂，是謂憂依無欲，如是耳、鼻、舌、身，意知法已生憂，當知二種，或依著，或依無欲。』」

[T1.693a18]「云何憂依著，意知法可喜、意念、愛法、欲相應樂，未得者不得，已得者過去、散壞、滅、變易，生憂，如是憂，是謂憂依著。云何憂依無欲，知法無常、變易，盡、無欲、滅、息，前及今一切法無常、苦、滅法，憶已作是念：『我何時彼處成就遊，謂處諸聖人成就遊，是為上具觸願恐怖，知苦憂生憂，如是憂，是謂憂依無欲。』云何六捨依著。云何六捨依無欲，眼見色已生[1]捨，當知二種，或依著，或依無欲。」

[T1.693a26]「云何捨依著，眼知色生捨，彼平等、不多聞、無智慧、愚、癡、凡夫，為色有捨，不離色，是謂捨依著。云何捨依無欲，知色無常、變易，盡、無欲、滅、息，前及今一切色無常、苦、滅法，憶已捨住。若有至意修習捨，是謂捨依無欲，如是耳、鼻、舌、身，意知法已生捨，當知二種，或依著，或依無欲。」

[T1.693b04]「云何捨依著，意知法生捨，平等、不多聞、無智慧、愚、癡、凡夫，為法有捨，不離法，是謂捨依著。云何捨依無欲，意知法無常、變易，盡、無欲、滅、息，前及今一切法無常、苦、滅法，憶已捨住。若有至意修習捨，是謂捨依無欲，是為六喜依著、六喜依無欲、六憂依著、六憂依無欲、六捨依著、六捨依無欲，總說三十六刀，當知內者，因此故說。」

[T1.693b12]「於中斷彼成就是者，此何因說，謂此六喜依無欲，取是、依是、住是也。謂此、六喜依著，滅彼、除彼、吐彼，如是斷彼也。謂此六憂依無欲，取是、依是、住是也。謂此六憂依著，滅彼、除彼、吐彼，如是斷彼也。謂此六捨依無欲，取是、依是、住是也。謂此六捨依著，滅彼、除彼、吐彼，如是斷彼也。謂此六憂依無欲，取是、依是、住是也。謂此六喜依無欲，滅彼、除彼、吐彼，如是斷彼也。謂此六捨依無欲，取是、依是、住是也。謂此六憂依無欲，滅彼、除彼、吐彼，如是斷彼也。」

[T1.693b22]「有捨無量[2]更樂，若干更樂，有捨一更樂，不若干更樂[3]。云何有捨無量更樂，若干更樂，若捨為色、為聲、為香、為味、為觸，此捨無量更樂，若干更樂。云何捨一更樂，不若干更樂，謂捨或依無量空處[4]，或依無量識處[5]，或依無所有處[1]，或依非有想非無想處[2]，此捨一更樂，不若干更樂，謂此

---

[1] 生＝坐【聖】
[2] 有捨無量…若干更樂～Atthi bhikkave upekhā nānattā nānattasitā.
[3] 有捨一更樂不若干更樂～Atthi upekhāekattā ekattasitā.
[4] [>依無量空處]～Akāsānañcāyatananissitā.
[5] [>依無量識處]～Viññaṅañcāyatananissitā.

捨有一更樂，不若干更樂，取是、依是、住是也。謂此捨有無量更樂，若干更樂，滅彼、除彼、吐彼，如是斷彼也。取無量、依無量、住無量，謂此捨有一更樂，不若干更樂，取是、依是、住是也。謂此捨有無量更樂，若干更樂，滅彼、除彼、吐彼，如是斷彼也。於中斷彼成就是者，因此故說。」

[T1.693c07]「無量說法當知內者，此何因說，如來有四弟子，有增上行、有增上意、有增上念、有增上慧，有辯才成就第一辯才，壽活百歲，如來為彼說法滿百年，除飲食時、大小便時、睡眠息時及聚會時，彼如來所說法，文句法句觀義，以慧而速觀義，不復更問於如來法。所以者何？如來說法無有極不可盡法，文句法句觀義，乃至四弟子命終，猶如四種善射之人，挽彊俱發，善學善知，而有方便，速徹過去。如是，世尊有四弟子，有增上行、有增上意、有增上念、有增上慧，有辯才成就第一辯才，壽活百歲，如來為彼說法滿百年，除飲食時、大小便時、睡眠息時及聚會時，彼如來所說法，文句法句觀義，以慧而速觀義，不復更問於如來法。所以者何？如來無極不可盡，無量說法當知內者，因此故說。」

[T1.693c23]「三意止[3]，謂聖人所習，聖人所習已，眾可教者，此何因說，若如來為弟子說法，憐念愍傷，求義及饒益，求安隱快樂，發慈悲心，是為饒益，是為快樂，是為饒益樂，若彼弟子而不恭敬，亦不順行，不立於智，其心不趣向法、次法，不受正法，違世尊教，不能得定者，世尊不以此為憂慼也。但世尊捨無所為，常念常智，是謂第一意止，謂聖人所習，聖人所習已，眾可教也。」

[T1.694a03]「復次，如來為弟子說法，憐念愍傷，求義及饒益，求安隱快樂，發慈悲心，是為饒益，是為快樂，是為饒益樂，若彼弟子恭敬順行而立於智，其心歸趣向法、次法，受持正法，不違世尊教，能得定者，世尊不以此為歡喜也。但世尊捨無所為，常念常智，是謂[4]第二意止，謂聖人所習，聖人所習已，眾可教也。」

[T1.694a10]「復次，如來為弟子說法，憐念愍傷，求義及饒益，求安隱快樂，發慈悲心，是為饒益，是為快樂，是為饒益樂，或有弟子而不恭敬，亦不順行，不立於智，其心不趣向法、次法，不受正法，違世尊教，不能得定者，或有弟子恭敬順行而立於智，其心歸趣向法、次法，受持正法，不違世尊教，能得定者，世尊不以此為憂慼，亦不歡喜，但世尊捨無所為，常念常智，是謂第三意

---

[1] [>依無所有處]～Ākiñcaññāyatananissitā.
[2] [>依非有想非無想處]～Nevasaññānāsaññāyatananissitā.
[3] 意止～Satipaṭṭhāna.
[4] 謂＝為【明】

止，謂聖人所習，聖人所習已，眾可教也[1]，三意止，謂聖人所習，聖人所習已，眾可教者，因此故說。」

[T1.694a21]「無上調御士者，調[2]御士趣一切方者，此何因說，*調御士者，此說調御士趣一方，或東方、或南方、或西方、或北方，調御象者，調御象趣一方，或東方，或南、西、北方，調御馬者，調御馬趣一方，或東方，或南、西、北方，調御牛者，調御牛趣一方，或東方，或南、西、北方也。無上調御士者，調御士趣一切方，於中方者色觀色，是謂第一方，內無色想，外觀色，是謂第二方，淨解脫身觸成就遊，是謂第三方，度一切色想，滅有對[3]想，不念若干想，無量空，是無量空處成就遊，是謂第四方，度一切無量空處，無量識，是無量識處成就遊，是謂第五方，度一切無量識處，無所有，是無所有處成就遊，是謂第六方，度一切無所有處，非有想非無想，是非有想非無想處成就遊，是謂第七方，度一切非有想非無想處，想知滅盡身觸成就遊，慧觀漏盡斷智，是謂第八方，無上調御士者，調御士趣一切方者，因此故說。」

[T1.694b10] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.694b12] 分別六處經第二竟[4](二千五百一十二字)[5]，

（一六四）中阿含[6]根本分別品

(Ma.164)分別觀法經[7] 第三(第四分別誦)[8]

[T1.694b15] 我聞如是。

[T1.694b15] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.694b16] 爾時，世尊告諸比丘：「我當為汝說法，初妙、中妙、竟亦妙，有義有文，具足清淨，顯現梵行，謂分別觀法經，諦聽，諦聽，善思念之。」

[T1.694b19] 時，諸比丘白曰：「世尊！唯當受教。」

---

[1]〔教也…教〕十八字－【聖】
[2]　（謂）＋調【宋】【元】【明】【德】＊
[3] 對＝碍【聖】＊
[4]〔分別…竟〕－【明】
[5] 二千五百一十二字＝二千五百一十字【宋】【德】，－【元】【明】【聖】
[6]〔中阿含〕－【明】
[7] ～《中部》M.137.Saḷāyatanavibhaṅgasuttaṁ (六處分別經)，《中部》M.138.Uddesavibhaṅgasuttaṁ (總說分別經)
[8]〔第四分別誦〕－【明】

[T1.694b19] 佛言：「比丘！如是如是觀，如汝觀已，比丘！心出外灑散，心不住[1]內，不受而恐怖，比丘！如是如是觀，如汝觀已，比丘！心不出外不灑散，心住內，不受不恐怖，如是不復生、老、病、死，是說苦邊，佛說如是已即從坐[2]起，入室燕[3]坐。」

[T1.694b25] 於是，諸比丘便作是念：「諸賢當知世尊略說此義，不廣分別。」即從坐起，入室燕坐：「比丘！如是如是觀，如汝觀已，比丘！心出外灑散，心不住內，不受而恐怖，比丘！如是如是觀，如汝觀已，比丘！心不出外不灑散，心住內，不受不恐怖，如是不復生、老、病、死，是說苦邊。」

[T1.694c02] 彼復作是念：「諸賢誰能廣分別世尊向所略說義。」彼復作是念：「尊者大迦旃[4]延[5]常為世尊之所稱譽，及諸智梵行人，尊者大迦旃延能廣分別世尊向所略說義，諸賢共往詣尊者大迦旃延所，請說此義，若尊者大迦旃延為分別者，我等當善受持。」

[T1.694c08] 於是，諸比丘往詣尊者大迦旃延所，共相問訊，却坐一面，白曰：「尊者大迦旃延，當知世尊略說此義，不廣分別，即從坐起，入室燕坐，比丘！如是如是觀，如汝觀已，比丘！心出外灑散，心不住內，不受而恐怖，比丘！如是如是觀，如汝觀已，比丘！心不出外不灑散，心住內，不受不恐怖，如是不復生、老、病、死，是說苦邊，我等便作是念：諸賢誰能廣分別世尊向所略說義，我等復作是念：尊者大迦旃延常為世尊之所稱譽，及諸智梵行人，尊者大迦旃延能廣分別世尊向所略說義，唯願尊者大迦旃延為慈愍故而廣說之。」

[T1.694c21] 爾時，尊者大迦旃延告曰：「諸賢！聽我說喻，慧者聞喻則解其義。諸賢！猶如有人欲得求實，為求實故，持斧入林，彼見大樹成根、莖、節、枝、葉、花、實，彼人不觸根、莖、節、實，但觸枝葉，諸賢所說亦復如是，世尊現在捨來就我而問此義。所以者何？諸賢，當知世尊[6]是眼、是智、是義、是法、法主、法將，說真諦義，現一切義，由彼世尊！諸賢，應往詣世尊所而問此義。世尊！此云何，此何義，如世尊說者，諸賢等當善受持。」

[T1.695a01] 時，諸比丘白曰：「唯然，尊者大迦旃延，世尊是眼、是智、是義、是法、法主、法將，說真諦義，現一切義，由彼世尊！我等應往詣世尊所而問此義。世尊！此云何，此何義，如世尊說者，我等當善受持，然尊者大迦

---

[1] 住＝生【元】
[2] 坐＝座【明】＊
[3] 燕＝宴【宋】【元】【明】【德】＊
[4] 旃＝栴【宋】【元】＊
[5] [>尊者大迦旃延]～Ayasmā Mahā-kaccāna.
[6] 世尊…彼世尊～Bhagavā jānaṃ.jānāti passaṃ passati cakkhubhūto ñāṅabhūto dhammabhūto brahmabhūto vattā pavattā atthassa ninnetā amatassa dātā dhammasāmī Tathāgato.

旃延常為世尊之所稱譽，及諸智梵行人，尊者大迦旃延能廣分別世尊向所略說義，唯願尊者大迦旃延為慈愍故而廣說之。」

[T1.695a09] 尊者大迦旃延告諸比丘：「諸賢等，共聽我所說，諸賢。云何比丘心出外灑散。諸賢！比丘眼見色，識食色相，識著色樂相，識縛色樂相，彼色相味結縛心出外灑散，如是耳、鼻、舌、身，意知法，識食法相，識著法樂相，識縛法樂相，彼法相味結縛心出外灑散。諸賢！如是比丘心出外灑散，諸賢。云何比丘心不出外灑散。諸賢！比丘眼見色，識不食色相，識不著色樂相，識不縛色樂相，彼色相味不結縛心，不出外灑散，如是耳、鼻、舌、身，意知法，識不食法相，識不著法樂相，識不縛法樂相，彼法相味不結縛心，不出外灑散。諸賢！如是比丘心不出外灑散。」

[T1.695a22]「諸賢！云何比丘心不住內。諸賢！比丘離欲、離惡不善之法，有覺、有觀[1]，離生喜、樂[2]，得初禪成就遊，彼識著離味，依彼住彼，緣彼縛彼，識不住內。復次。諸賢！比丘[3]覺[4]、觀已息，內靜[5]、一心，[6]無覺、無觀，定生喜、樂，得第二禪成就遊，彼識著定味，依彼住彼，緣彼縛彼，識不住內。復次。諸賢！比丘離於喜欲，捨無求遊，正念正智而身覺樂，謂聖所說、聖所捨、念、樂住、室，得第三禪成就遊，彼識著無喜味，依彼住彼，緣彼縛彼，識不住內。復次。諸賢！比丘樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦不樂、捨、念、清淨，得第四禪成就遊，彼識著捨及念清淨味，依彼住彼，緣彼縛彼，識不住內。」

[T1.695b07]「復次。諸賢！比丘度一切色想，滅有對想，不念若干想，無量空，是無量空處成就遊，彼識著空智味，依彼住彼，緣彼縛彼，識不住內。復次。諸賢！比丘度一切無量空處，無量識[7]，是無量識處成就遊，彼識著識智味，依彼住彼，緣彼縛彼，識不住內。復次。諸賢！比丘度一切無量識處，無所有，是無所有處成就遊，彼識著無所有智味，依彼住彼，緣彼縛彼，識不住內。復次。諸賢！比丘度一切無所有處，非有想非無想，是非有想非無想處成就遊，彼識著無想智味，依彼住彼，緣彼縛彼，識不住內。諸賢！如是比丘心不住內，

[T1.695b19]「諸賢！云何比丘心住內。諸賢！比丘離欲、離惡不善之法，有覺有觀，離生喜樂，得初禪成就遊，彼識不著離味，不依彼不住彼，不緣彼不縛

---

[1] 有覺有觀～Savitakkaṃ Savicāraṃ.
[2] 離生喜樂～Nivekaja pītisukha.
[3]〔丘〕－【元】
[4]　（喜）＋覺【元】【明】
[5] 靜＝靖【宋】【元】【明】【聖】＊
[6] [>內靜一心]～Ekodibhāva.
[7] 識＋（處）【宋】【元】【明】

彼，識住內也。復次。諸賢！比丘覺、觀已息，內靜、一心，無覺、無觀，定生喜、樂，得第二禪成就遊，彼識不著定味，不依彼不住彼，不緣彼不縛彼，識住內也。復次。諸賢！比丘離於喜欲，捨無求遊，正念正智而身覺樂，謂聖所說、聖所捨、念、樂住、室，得第三禪成就遊，彼識不著無喜味，不依彼不住彼，不緣彼[1]不縛彼，識住內也。復次。諸賢！比丘樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦不樂、捨、念、清淨，得第四禪成就遊，識不著捨及念、清淨味，不依彼不住彼，不緣彼不縛彼，識住內也。」

[T1.695c05]「復次。諸賢！比丘度一切色想，滅有對想，不念若干想，無量空，是無量空處成就遊，彼識不著空智味，不依彼不住彼，不緣彼不縛彼，識住內也。復次。諸賢！比丘度一切無量空處，無量識，是無量識處成就遊，彼識不著識智味，不依彼不住彼，不緣彼不縛彼，識住內也。復次。諸賢！比丘度一切無量識處，無所有，是無所有處成就遊，彼識不著無所有智味，不依彼不住彼，不緣彼不縛彼，識住內也。復次。諸賢！比丘度一切無所有處，非有想非無想，是非有想非無想處成就遊，彼識不著無想智味，不依彼不住彼，不緣彼不縛彼，識住內也。諸賢，如是比丘心住內也。」

[T1.695c18]「諸賢！云何比丘不受而恐怖。諸賢！比丘不離色染，不離色欲，不離色愛，不離色渴，諸賢。若有比丘不離色染，不離色欲，不離色愛，不離色渴者，彼欲得色、求色、著色、住色，色即是我，色是我有，欲得色、著色、住色，色即是我，色是我有已，識捫摸色，識捫摸色已，變易彼色時，識轉於色，識轉於色已，彼生恐怖法，心住於中，因心不知故，便怖懼煩勞，不受而恐怖，如是覺、想、行，比丘不離識染，不離識欲，不離識愛，不離識渴，諸賢。若有比丘不離識染，不離識欲，不離識愛，不離識渴者，彼欲得識、求識、著識、住識，識即是我，識是我有，彼欲得識、求識、著識、住識，識即是我，識是我有已，識捫摸識，識捫摸識已，變易彼識時，識轉於識，識轉於識已，彼生恐怖法，心住於中，因心不知故，便怖懼煩勞，不受而恐怖。諸賢！如是比丘不受恐怖。」

[T1.696a07]「諸賢！云何比丘不受不恐怖。諸賢！比丘離色染，離色欲，離色愛，離色渴，諸賢。若有比丘離色染、離色欲、離色愛、離色渴者，彼不欲得色，不求色、不著色、不住色，色非是我，色非我有，彼不欲得色，不求色，不著色，不住色，色非是我，色非我有已，識不捫摸色，識不捫摸色已，變易彼色時，識不轉於色，識不轉於色已，彼不生恐怖法，心不住中，因心知故，便不怖懼，不煩勞，不受，不恐怖，如是覺、想、行，比丘離識染，離識欲，離識愛，離識渴，諸賢。若有比丘離識染，離識欲，離識愛，離識渴者，彼不欲得識，不求識，不著識，不住識，識非是我，識非我有，彼不欲得識，不求

[1]〔不緣彼〕－【宋】【元】【明】【德】

識，不著識，不住識，非是我，識非我有已，識不捫摸識，識不捫摸識已，變易彼識時，識不轉於識，識不轉於識已，彼不生恐怖法，心不住中，因心知故，便不怖懼，不煩勞，不受，不恐怖。諸賢！如是比丘不受不恐怖。」

[T1.696a27]「諸賢！謂世尊略說此義，不廣分別，即從坐起，入室燕坐，比丘！如是如是觀，如汝觀已，比丘！心出外灑散，心不住內，不受而恐怖，比丘！如是如是觀，如汝觀已，比丘！心不出外不灑散，心住內，不受不恐怖，如是不復生、老、病、死，是說苦邊，此世尊略說，不廣分別義，我以此句、以此文廣說如是。諸賢！可往向佛具陳，若如世尊所說義者，諸賢等便可受持。」

[T1.696b06] 於是，諸比丘聞尊者大迦旃延所說，善受持誦，即從坐起，繞尊者大迦旃延三匝而去，往詣佛所，稽首作禮，却坐一面，白曰：「世尊！向世尊略說此義，不廣分別，即從坐起，入室燕坐，尊者大迦旃延以此句、以此文而廣說之。」

[T1.696b12] 世尊聞已，嘆曰：「 善哉！善哉！我弟子中有眼、有智、有法、有義。所以者何？謂師為弟子略說此義，不廣分別，彼弟子以此句、以此文而廣說之，如迦旃延比丘所說，汝等應當如是受持。所以者何？以說觀義應如是也。」

[T1.696b17] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.696b19] 分別觀法經第三竟 [1](二千七百五十一字)[2]，

中阿含經卷第四十二(八千三百九十四字 [3])[4]

中阿含經 [5]

卷第四十三 (Ma.165~169)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯 [1]

---

[1]〔分別…竟〕－【明】
[2] 二千七百五十一字＝二千七百四十六字【宋】，－【元】【明】【聖】
[3] 八千三百九十四字＝八千四百一十六字【宋】，－【元】【明】【聖】
[4] ＋（光明皇后願文）【聖】
[5]〔中阿含…四十三〕－【德】

（一六五）根本分別品 [2]

(Ma.165)溫泉林天經 [3] 第四 [4](第四分別誦 [5])

[T1.696b28] 我聞如是。

[T1.696b28] 一時，佛遊王舍城，在竹林迦 [6]蘭哆 [7]園。

[T1.696b29] 爾時，尊者三彌提 [8]亦遊王舍城，住溫泉林 [9]。於是，尊者三彌提夜將向旦，從房而出，往詣溫泉，脫衣岸上，入溫泉浴，浴已還出，拭體著衣。

[T1.696c03] 爾時，有一天 [10]形體極妙，色像巍巍，夜將向旦，往詣尊者三彌提所，稽首作禮，却住一面，彼天色像威神極妙，光明普照，於溫泉岸，彼天却住於一面已，白尊者三彌提曰：「比丘！受持跋地 [11]羅帝 [12]偈耶？」

[T1.696c08] 尊者三彌提答彼天曰：「我不受持跋地羅帝偈也。」

[T1.696c09] 尋問彼天，汝受持跋地羅帝偈耶 [13]？」

[T1.696c10] 彼天答曰：「我亦不受持跋地羅帝偈也。」

[T1.696c11] 尊者三彌提復問彼天，誰受持跋地羅帝偈耶？」

[T1.696c12] 彼天答曰：「世尊遊此王舍城，在竹林迦蘭哆 [14]園，彼受持跋地羅帝偈也。比丘，可往面從世尊！善受持誦跋地羅帝偈。所以者何？跋地羅帝偈者，有法有義，為梵行本，趣智、趣覺、趣於涅槃，族姓者至信、捨家、無

---

[1]〔東晉…提婆譯〕－【德】
[2] （中阿鋡）＋根本【德】
[3] ～《中部》M.133.Mahākaccāna-bhaddekaratta- sutta.(大迦旃延一夜賢者經)，cf. 藏(東北 313, 617, 974.)
[4]〔第四分別誦〕－【明】
[5] 誦＋（卷四十三）【德】
[6] 迦＝加【德】[>＊]
[7] 哆＝陀【明】
[8] [>尊者三彌提]～Āyasmā Samiddhi.
[9] [>溫泉林]～Tapodārama.
[10] [>有一天]～Aññatara devatā.
[11] 地＝哆【宋】【元】
[12] [>跋地羅帝]～Bhaddekaratta.
[13] 耶＝邪【德】＊
[14] 哆＝地【宋】【元】，＝陀【明】

家、學道，當以跋地羅帝偈善受持誦。」彼天說如是，稽首尊者三彌提足，繞三匝已，即彼處沒。

[T1.696c19] 於是，尊者三彌提，天沒不久往詣佛所，稽首作禮，却坐一面，白曰：「世尊！我於今日夜將向旦出房往詣彼溫泉所，脫衣岸上，入溫泉浴，浴已便出，住岸拭身，爾時，有一天形體極妙，色像巍巍，夜將向旦，來詣我所，稽首作禮，却住一面，彼天色像威神極妙，光明普照，於溫泉岸，彼天却住於一面已，而白我曰：『比丘，受持跋地羅帝偈耶？』我答彼天：『不受持跋地羅帝偈也。』我問彼天：『汝受持跋地羅帝偈耶？』彼天答曰：『我亦不受持跋地羅帝偈也。』我復問：『誰受持跋地羅帝偈耶？』彼天答曰：『世尊遊此王舍城，住竹林*迦蘭哆[1]園，彼受持跋地羅帝偈也。比丘，可往面從世尊善受持誦跋地羅帝偈。所以者何？跋地羅帝偈者，有義有法，為梵行本，趣智、趣覺、趣於涅槃，族姓者至信、捨家、無家、學道，當以跋地羅帝偈善受持誦。』彼天說如是，稽首我足，繞三匝已，即彼處沒。」

[T1.697a08] 世尊問曰：「三彌提，汝知彼天從何處來，彼天名何耶？」

[T1.697a09] 尊者三彌提答曰：「世尊！我不知彼天從何所來，亦不知名也。」

[T1.697a11] 世尊告曰：「三彌提，彼天子名正殿，為三十三天軍將。」

[T1.697a12] 於是，尊者三彌提白曰：「世尊！今正是時，善逝，今正是時，若世尊為諸比丘說跋地羅帝偈者，諸比丘從世尊聞已，當善受持。」

[T1.697a15] 世尊告曰：「三彌提，諦聽，諦聽，善思念之，我當為汝說。」

[T1.697a16] 尊者三彌提白曰：「唯然。」

[T1.697a17] 時，諸比丘受教而聽。佛言：「

慎莫念過去　亦勿願未來　過去事已滅　未來復未至
現在所有法　彼亦當為思　念無有堅強　慧者覺如是
若作聖人行　孰知愁於死　我要不會彼　大苦災患終
如是行精勤　晝夜無懈怠　是故常當說　跋地羅帝偈

[T1.697a26] 佛說如是，即從座起，入室宴[2]坐。於是，諸比丘便作是念：「諸賢當知世尊略說此教，不廣分別，即從座起，入室宴坐，

[1] 哆＝陀【宋】【元】【明】
[2] 宴＝燕【德】＊

慎莫念過去　亦勿願未來　過去事已滅　未來復未至
現在所有法　彼亦當為思　念無有堅強　慧者覺如是
若作聖人行　孰知愁於死　我要不[曾>會]彼　大苦災患終
如是行精勤　晝夜無懈怠　是故常當說　跋地羅帝偈

[T1.697b08] 彼復作是念：「諸賢誰能廣分別世尊向所略說義。」彼復作是念：「尊者大迦旃延常為世尊之所稱譽，及諸智梵行人，尊者大迦旃延能廣分別世尊向所略說義，諸賢共往詣尊者大迦旃延所，請說此義，若尊者大迦旃延為分別者，我等當善受持。」

[T1.697b13] 於是，諸比丘往詣尊者大迦旃延所，共相問訊，却[座>坐]一面，白曰：「尊者大迦旃延，當知世尊略說此教，不廣分別，即從座起，入室*宴坐，

慎莫念過去　亦勿願未來　過去事已滅　未來復未至
現在所有法　彼亦當為思　念無有堅強　慧者覺如是
若學[1]聖人行　孰知愁於死　我要不會彼　大苦災患終
如是行精勤　晝夜無懈怠　是故常當說　跋地羅帝偈

[T1.697b25]「我等便作是念：『諸賢誰能廣分別世尊向所略說義。』我等復作是念：『尊者大迦旃延常為世尊之所稱譽，及諸智梵行人，尊者大迦旃延能廣分別世尊向所略說義。』唯願尊者大迦旃延為慈愍故而廣說之。」

[T1.697b29] 尊者大迦旃延告曰：「諸賢！聽我說喻，慧者聞喻則解其義。諸賢！猶如有人欲得求實，為求實故，持斧入林，彼見大樹成根、莖、節、枝、葉、華、實，彼人不觸根、莖、節、實，但觸枝、葉，諸賢所說亦復如是，世尊現在捨來就我而問此義。所以者何？諸賢，當知世尊是眼、是智、是義、是法，法主、法[2]將，說真諦義，現一切義由彼世尊！諸賢應往詣世尊所而問此義：『世尊！此云何，此何義。』如世尊說者，諸賢等當善受持。」

[T1.697c10] 時，諸比丘白曰：「唯然，尊者大迦旃延，世尊是眼、是智、是義、是法，法主、法將，說真諦義，現一切義由彼世尊！我等往[3]詣世尊所而問此義：『世尊！此云何，此何義。』如世尊說者，我等當善受持，然尊者大迦旃延常為世尊之所稱譽，及諸智梵行人，尊者大迦旃延能廣分別世尊向所略說義，唯願尊者大迦旃延為慈愍故而廣說之。」

---

[1] 學＝作【宋】【元】【明】
[2] 法＝將【德】
[3]　（應）＋往【宋】【元】【明】

[T1.697c18] 尊者大迦旃延告諸比丘：「諸賢等共聽我所說，諸賢。云何比丘念過去耶？諸賢，比丘實有眼知色可喜、意所念，愛色，欲相應，心樂，捫摸本，本即過去也。彼為過去識欲染著，因識欲染著已，則便樂彼，因樂彼已，便念過去，如是耳、鼻、舌、身，實有意知法可喜、意所念，愛法，欲相應，心樂，捫摸本，本即過去也。彼為過去識欲染著，因識欲染著已，則便樂彼，因樂彼已，便念過去。諸賢！如是比丘念過去也。」

[T1.697c27]「諸賢！云何比丘不念過去。諸賢！比丘實有眼知色可喜、意所念，愛色，欲相應，心樂，捫摸本，本即過去也。彼為過去識不欲染著，因識不欲染著已，則便不樂彼，因不樂彼已，便不念過去，如是耳、鼻、舌、身，實有意知法可喜、意所念，愛法，欲相應，心樂，捫摸本，本即過去也。彼為過去識不欲染著，因識不欲染著已，則便不樂彼，因[1]不樂彼已，便不念過去。諸賢！如是比丘不念過去也。」

[T1.698a08]「諸賢！云何比丘願未來耶？諸賢，比丘若有眼、色、眼識未來者，彼未得欲得，已得心願，因心願已，則便樂彼，因樂彼已，便願未來，如是耳、鼻、舌、身。若有意、法、意識未來者，未得欲得，已得心願，因心願已，則便樂彼，因樂彼已，便願未來。諸賢！如是比丘願未來也。」

[T1.698a14]「諸賢！云何比丘不願未來。諸賢！比丘若有眼、色、眼識未來者，未得不欲得，已得心不願，因心不願已，則便不樂彼，因不樂彼已，便不願未來，如是耳、鼻、舌、身。若有意、法、意識未來者，未得不欲得，已得心不願，因心不願已，則便不樂彼，因不樂彼已，便不願未來。諸賢！如是比丘不願未來也。」

[T1.698a21]「諸賢！云何比丘受現在法。諸賢！比丘若有眼、色、眼識現在者，彼於現在識欲染著，因識欲染著已，則便樂彼，因樂彼已，便受現在法，如是耳、鼻、舌、身。若有意、法、意識現在者，彼於現在識欲染著，因識欲染著已，則便樂彼，因樂彼已，便受現在法。諸賢！如是比丘受現在法也。」

[T1.698a27]「諸賢！云何比丘不受現在法。諸賢！比丘若有眼、色、眼識現在者，彼於現在識不欲染著，因識不欲染著已，則便不樂彼，因不樂彼已，便不受現在法，如是耳、鼻、舌、身。若有意、法、意識現在者，彼於現在識不欲染著，因識不欲染著已，則便不樂彼，因不樂彼已，便不受現在法。諸賢！如是比丘不受現在法。」

[T1.698b05]「諸賢！謂世尊略說此教，不廣分別，即從座[2]起，入室*宴坐，

---

[1] （樂）＋因【德】

[2] 座＝坐【德】【聖】＊

慎莫念過去　亦勿願未來　過去事已滅　未來復未至
現在所有法　彼亦當為思　念無有堅強　慧者覺如是
若學聖人行　孰知愁於死　我要[1]不會彼　大[2]苦災患終
如是行精勤　晝夜無懈怠　是故常當說　跋地羅帝偈

[T1.698b16]「此世尊略說，不廣分別，我以此句、以此文廣說如是。諸賢！可往向佛具陳，若如世尊所說義者，諸賢等便可共受持。」

[T1.698b18] 於是，諸比丘聞尊者大迦旃延所說，善受持誦，即從座[3]起，繞尊者大迦旃延三匝而去，往詣佛所，稽首作禮，却坐一面，白曰：「世尊！向世尊略說此教，不廣分別，即從*座起，入室*燕坐，尊者大迦旃延以此句、以此文而廣說之。」

[T1.698b24] 世尊聞已，嘆曰：「 善哉！善哉！我弟子中有眼、有智、有法、有義。所以者何？謂師為弟子略說此教，不廣分別，彼弟子以此句、以此文而廣說之，如大迦旃延比丘所說，汝等應當如是受持。所以者何？以說觀義應如是也。」

[T1.698b29] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.698c02] 溫泉林天經第四竟[4](二千五百八十字)[5]，

（一六六）中阿含[6]根本分別品

(Ma.166)釋中禪室尊經[7] 第五(第四分別誦)[8]

[T1.698c05] 我聞如是。

[T1.698c05] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

---

[1] 要＝惡【德】
[2] 大＝天【元】
[3] 座＝坐【宋】【德】【聖】
[4]〔溫泉…四竟〕－【明】
[5] 二千五百八十字＝二千五百八十四字【宋】，－【元】【明】
[6]〔中阿含〕－【明】
[7] ～《中部》M.134. Lomasakaṅgiya bhaddekaratta sutta. (盧夷強耆一夜賢者經)，No.77.《尊上經》(大正 1.886a)
[8]〔第四分別誦〕－【明】

[T1.698c06] 爾時，尊者盧夷強耆[1]遊於釋中[2]，在無事禪室。於是，尊者盧夷強耆夜將向旦，從彼禪室出，在露地禪室蔭中，於繩床上敷尼師檀[3]，結跏趺坐。」

[T1.698c09] 爾時，有一天形體極妙，色像巍巍，夜將向旦，往詣尊者盧夷強耆所，稽首作禮，却住一面，彼天色像威神極妙，光明普照，於其禪室，彼天却住於一面已，白尊者盧夷強耆曰：「比丘！受持跋地羅帝偈及其義耶？」

[T1.698c14] 尊者盧夷強耆答彼天曰：「我不受持跋地羅帝偈，亦不受義。」

[T1.698c16] 尋問彼天：「汝受持跋地羅帝偈及其義耶？」

[T1.698c17] 彼天答曰：「我受持跋地羅帝偈，然不受義。」

[T1.698c18] 尊者盧夷強耆復問彼天：「云何受持跋地羅帝偈而不受義耶？」

[T1.698c19] 彼天答曰：「一時，世尊遊王舍城，住竹林迦[4]蘭哆[5]園。」爾時，世尊為諸比丘說跋地羅帝偈：「

慎莫念過去　亦勿願未來　過去事已滅　未來復未至
現在所有法　彼亦當為思　念無有堅強　慧者覺如是
若學聖人行　孰知愁於死　我要不會彼　大苦災患終
如是行精勤　晝夜無懈怠　是故常當說　跋地羅帝偈

[T1.699a01]「比丘！我如是受持跋地羅帝偈，不受持義。」

[T1.699a02] 尊者盧夷強耆復問彼天，誰受持跋地羅帝偈及其義耶？」

[T1.699a03] 彼天答曰：「佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。彼受持跋地[6]羅帝偈及其義也。比丘，可往面從世尊！善受持誦跋地羅帝偈及其義也。所以者何？跋地羅帝偈及其義者，有義有法，為梵行本，趣智、趣覺、趣於涅槃，族姓者至信、捨家、無家、學道，當以跋地羅帝偈及其義善受持誦。」彼天說如是，稽首尊者盧夷強耆足，繞三匝已，即彼處沒。

[T1.699a11] 天沒不久。於是，尊者盧夷強耆在釋中受夏坐訖，過三月已，補治衣竟，攝衣持鉢，往詣舍衛國，展轉進前，至舍衛國，住勝林給孤獨園。

---

[1] [>盧夷強耆]～Lomasakaṅgiya.
[2] [>釋中]～Sakka.
[3] 檀＝壇【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 迦＝加【德】[>＊]
[5] 哆＝陀【明】
[6] 地＝陀【宋】【元】

[T1.699a14] 爾時，尊者盧夷強耆往詣佛所，稽首作禮，却坐一面，白曰：「世尊！我一時遊於釋中，在無事禪室。世尊！我於爾時夜將向旦，從彼禪室出，在露地禪室蔭中，於繩床上敷尼師*檀，結跏趺[1]坐，爾時，有一天形體極妙，色像巍巍，夜將向旦，來詣我所，稽首作禮，却住一面，彼天色像威神極妙，光明普照，於其禪室彼天却住於一面已，而白我曰：「比丘！受持跋地羅帝偈及其義耶？我答彼天，不受持跋地羅帝偈，亦不受義，尋問彼天，汝受持跋地羅帝偈及其義耶？彼天答曰：「我受持跋地羅帝偈，然不受義，我復問天。云何受持跋地羅帝偈而不受義耶？天答我曰：「一時，佛遊王舍城，住竹林*迦蘭哆[2]園。」爾時，世尊為諸比丘說跋地羅帝偈：「

慎莫念過去　亦勿願未來　過去事已滅　未來復未至
現在所有法　彼亦當為思　念無有堅強　慧者覺如是
若學聖人行　孰知愁於死　我要不會彼　大苦災患終
如是行精勤　晝夜不懈怠　是故常當說　跋地羅帝偈

[T1.699b09]「比丘！我如是受持跋地羅帝偈，不受持義也。我復問天，誰受持跋地羅帝偈及其義也。天答我曰：「佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。彼受持跋地羅帝偈及其義也。比丘，可往面[3]從世尊！善受持誦跋地羅帝偈及其義耶？所以者何？跋地羅帝偈及其義者，有義有法，為梵行本，趣智、趣覺、趣於涅槃，族姓者至信、捨家、無家、學道，當以跋地羅帝偈及其義善受持誦。」彼天說如是，稽首我[4]足，繞三匝已，即彼處沒。

[T1.699b18] 於是，世尊問尊者盧夷強耆：「汝知彼天從何處來，彼天名何耶？」

[T1.699b19] 尊者盧夷強耆答曰：「世尊！我不知彼天從何處來，亦不知名也。」

[T1.699b21] 世尊告曰：「強耆，彼天子名般那[5]，為三十三天軍將。」

[T1.699b22] 彼時，尊者盧夷強耆白曰：「世尊！今正是時，善逝，今正是時，若世尊為諸比丘說跋地羅帝偈及其義者，諸比丘從世尊聞已，當善受持。」

[T1.699b25] 世尊告曰：「強耆，諦聽，善思念之，我當為汝廣說其義。」

[T1.699b27] 尊者盧夷強耆白曰：「唯然，當受教聽。」

[T1.699b28] 佛言：「

---

[1] 趺＝跏【宋】【元】
[2] 哆＝地【宋】【元】，＝陀【明】
[3] 面＝而【元】【明】
[4] 我＝禮【宋】【元】【明】
[5] [>般那]～Candana.

慎莫念過去　亦勿願未來　過去事已滅　未來復未至
現在所有法　彼亦當為思　念無有堅強　慧者覺如是
若作聖人行　孰知愁於死　我要不會彼　大苦災患終
如是行精勤　晝夜無懈怠　是故常當說　跋地羅帝偈

[T1.699c08]「強耆。云何比丘念過去耶？若比丘樂過去色，欲、著、住，樂過去覺、想、行、識，欲、著、住，如是比丘念過去也。強耆。云何比丘不念過去，若比丘不樂過去色，不欲、不著、不住，不樂過去覺、想、行、識，不欲、不著、不住，如是比丘不念過去，強耆。云何比丘願未來耶？若比丘樂未來色，欲、著、住，樂未來覺、想、行、識，欲、著、住，如是比丘願未來也。強耆。云何比丘不願未來，若比丘不樂未來色，不欲、不著、不住，不樂未來覺、想、行、識，不欲、不著、不住，如是比丘不願未來。」

[T1.699c18]「強耆。云何比丘受現在法，若比丘樂現在色，欲、著、住，樂現在覺、想、行、識，欲、著、住，如是比丘受現在法，強耆。云何比丘不受現在法，若比丘不樂現在色，不欲、不著、不住，不樂現在覺、想、行、識，不欲、不著、不住，如是比丘不受現在法。」

[T1.699c24] 佛說如是，尊者盧夷強耆及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.699c26] 釋中禪室尊經第五[1]竟[2](千五百三十六字)[3]，

（一六七）中阿含[4]根本分別品

(Ma.167)阿難說經[5] 第六(第四分別誦)[6]

[T1.699c29] 我聞如是。

[T1.699c29] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.700a01] 爾時，尊者阿難為諸比丘夜集講堂，說跋地羅帝偈及其義也。

---

[1] 五＝四【元】
[2]〔釋…五竟〕－【明】
[3] 千五百三十六字＝千五百三十四字【宋】，－【元】【明】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～《中部》M. 132. Anandabhaddekaratta sutta. (阿難一夜賢者經)
[6]〔第四分別誦〕－【明】

[T1.700a02] 爾時，有一比丘過夜平旦，往詣佛所，稽首作禮，却坐一面，白曰：「世尊！彼尊者阿難為諸比丘夜集講堂，說跋地羅帝偈及其義也。」

[T1.700a05] 於是，世尊告一比丘，汝往至阿難比丘所，作如是語：「阿難！世尊呼汝。」

[T1.700a07] 彼一比丘受世尊教，即從座起，稽首佛足，繞三匝而去，往至尊者阿難所而語曰：「世尊呼尊者阿難！」

[T1.700a09] 尊者阿難即往佛所，稽首作禮，却住一面，世尊問曰：「阿難！汝實為諸比丘夜集講堂，說跋地羅帝偈及其義耶？」

[T1.700a12] 尊者阿難答曰：「唯然。」

[T1.700a12] 世尊問曰：「阿難！汝云何為諸比丘說跋地羅帝偈及其義耶？」

[T1.700a14] 尊者阿難即便說曰：「

慎莫念過去　亦勿願未來　過去事已滅　未來復未至
現在所有法　彼亦當為思　念無有堅強　慧者覺如是
為[1]作聖人行　孰知愁於死　我要不會彼　大苦災患終
如是行精進[2]　晝夜無懈怠　是故常當說　跋地羅帝偈

[T1.700a23] 世尊即復問曰：「阿難！云何比丘念過去耶？」

[T1.700a23] 尊者阿難答曰：「世尊！若有比丘樂過去色，欲、著、住，樂過去覺、想、行、識，欲、著、住，如是比丘念過去也。」

[T1.700a26] 世尊即復問曰：「阿難！云何比丘不念過去？」

[T1.700a27] 尊者阿難答曰：「世尊！若比丘不樂過去色，不欲、不著、不住，不樂過去覺、想、行、識，不欲、不著、不住，如是比丘不念過去。」

[T1.700b01] 世尊即復問曰：「阿難！云何比丘願未來耶？」

[T1.700b02] 尊者阿難答曰：「世尊！若比丘樂未來色，欲、著、住，樂未來覺、想、行、識，欲、著、住，如是比丘願未來也。」

[T1.700b04] 世尊即復問曰：「阿難！云何比丘不願未來？」

---

[1] 為＝若【宋】【元】【明】
[2] 進＝勤【宋】【元】【明】【聖】

[T1.700b05] 尊者阿難答曰：「世尊！若比丘不樂未來色，不欲、不著、不住，不樂未來覺、想、行、識，不欲、不著、不住，如是比丘不願未來。」

[T1.700b08] 世尊即復問曰：「阿難！云何比丘受現在法？」

[T1.700b09] 尊者阿難答曰：「世尊！若比丘樂現在色，欲、著、住，樂現在覺、想、行、識，欲、著、住，如是比丘受現在法。」

[T1.700b11] 世尊即復問曰：「阿難！云何比丘不受現在法？」

[T1.700b12] 尊者阿難答曰：「世尊！若比丘不樂現在色，不欲、不著、不住，不樂現在覺、想、行、識，不欲、不著、不住，如是比丘不受現在法。世尊！我以如是為諸比丘夜集講堂，說跋地羅帝偈及其義也。」

[T1.700b16] 於是，世尊告諸比丘：「 善哉！善哉！我弟子有眼、有智、有義、有法。所以者何？謂弟子在師面前如是句、如是文廣說此義，實如阿難比丘所說，汝等應當如是受持。所以者何？此說觀義應如是也。」

[T1.700b21] 佛說如是，尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.700b23] 阿難說經第六竟 [1](七百七十二字)[2]，

（一六八）中阿含 [3]根本分別品

(Ma.168)意行經 [4] 第七(第四分別誦)[5]

[T1.700b26] 我聞如是。

[T1.700b26] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.700b27] 爾時，世尊告諸比丘：「我今為汝說法，初妙、中妙、竟亦妙，有義有文，具足清淨，顯現梵行，謂分別意行經，如意行生，諦聽，諦聽，善思念之。」

---

[1]〔阿難…竟〕－【明】
[2]〔七百七十二字〕－【元】【明】【聖】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《中部》M. 120. Saṅkhāruppatti sutta. (行生經)
[5]〔第四分別誦〕－【明】

[T1.700c01] 時，諸比丘受教而聽。

[T1.700c01] 佛言：「云何意行生。若有比丘離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，得初禪成就遊，彼此定樂欲住，彼此定樂欲住已，必有是處，住彼樂彼，命終生梵身天中，諸梵身天者，生彼住彼，受離生喜、樂，及比丘住此，入初禪，受離生喜、樂，此二離生喜、樂無有差別，二俱等等。所以者何？先此行定，然後生彼，彼此定如是修、如是習、如是廣布，生梵身天中，如是意行生。」

[T1.700c10]「復次，比丘覺、觀已息，內靖[1]、一心，無覺、無觀，定生喜、樂，得第二禪成就遊，彼此定樂欲住，彼此定樂欲住已，必有是處，住彼樂彼，命終生晃昱天中，諸晃昱天者，生彼住彼，受定生喜、樂，及比丘住此，入第二禪，受定生喜、樂，此二定生喜、樂無有差別，二俱等等。所以者何？先此行定，然後生彼，彼此定如是修、如是習、如是廣布，生晃昱天中，如是意行生。」

[T1.700c18]「復次，比丘離於喜欲，捨無求遊，正念正智而身覺樂，謂聖所說、聖所捨、念、樂住、室，得第三禪成就遊，彼此定樂欲住，彼此定樂欲住已，必有是處，住彼樂彼，命終生遍淨天中，諸遍淨天者，生彼住彼，受無喜樂，及比丘住此，入第三禪，受無喜樂，此二無喜樂無有差別，二俱等等。所以者何？先此行定，然後生彼，彼此定如是修、如是習、如是廣布，生遍淨天中，如是意行生。」

[T1.700c27]「復次，比丘樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦不樂、捨、念、清淨，得第四禪成就遊，彼此定樂欲住，彼此定樂欲住已，必有是處，住彼樂彼，命終生果實天中，諸果實天者，生彼住彼，受捨、念、清淨樂，及比丘住此，入第四禪，受捨、念、清淨樂，此二捨、念、清淨樂無有差別，二俱等等。所以者何？先此行定，然後生彼，彼此定如是修、如是習、如是廣布，生果實天中，如是意行生。」

[T1.701a06]「復次，比丘度一切色想，滅有對[2]想，不念若干想，無量空，是無量空處成就遊，彼此定樂欲住，彼此定樂欲住已，必有是處，住彼樂彼，命終生無量空處天中，諸無量空處天者，生彼住彼，受無量空處想，及比丘住此，受無量空處想，此二無量空處想無有差別，二俱等等。所以者何？先此行定，然後生彼，彼此定如是修、如是習、如是廣布，生無量空處天中，如是意行生。」

---

[1] 靖＝靜【宋】【元】【明】【德】【聖】
[2] 對＝礙【宋】【元】【明】【聖】

[T1.701a14]「復次，比丘度無量空處，無量識，是無量識處成就遊，彼此定樂欲住，彼此定樂欲住已，必有是處，住彼樂彼，命終生無量識處天中，諸無量識處天者，生彼住彼，受無量識處想，及比丘住此，受無量識處想，此二無量識處想無有差別，二俱等等。所以者何？先此行定，然後生彼，彼此定如是修、如是習、如是廣布，生無量識處天中，如是意行生。」

[T1.701a22]「復次，比丘度無量識處，無所有，是無所有處成就遊，彼此定樂欲住，彼此定樂欲住已，必有是處，住彼樂彼，命終生無所有處天中，諸無所有處天者，生彼住彼，受無所有處想，及比丘住此，受無所有處想，此二無所有處想無有差別，二俱等等。所以者何？先此行定，然後生彼，彼此定如是修、如是習、如是廣布，生無所有處天中，如是意行生。」

[T1.701b01]「復次，比丘度一切無所有處想，非有想非無想，是非有想非無想處成就遊，彼此定樂欲住，彼此定樂欲住已，必有是處，住彼樂彼，命終生非有想非無想處天中，諸非有想非無想處天者，生彼住彼，受非有想非無想處想，及比丘住此，受非有想非無想處想，此二想無有差別，二俱等等。所以者何？先此行[1]定，然後生彼，彼此定如是修、如是習、如是廣布，生非有想非無想處天中，如是意行生。」

[T1.701b11]「復次，比丘度一切非有想非無想處想，知滅身觸成就遊，慧見諸漏盡斷智，彼諸定中，此定說最第一、最大、最上、最勝、最妙，猶如因牛有乳，因乳有酪，因酪有生酥[2]，因生*酥有熟*酥，因熟*酥有*酥精，*酥精者說最第一、最大、最上最勝、最妙，如是彼諸定中，此定說最第一、最大、最上、最勝、最妙，得此定、依此定、住此定已，不復受生老病死苦，是說苦邊。」

[T1.701b19] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.701b21] 意行經第七竟[3](千三百十九字)[4]，

（一六九）中阿含[5]根本分別品

---

[1] 此行＝行此【宋】【元】【明】
[2] 酥＝蘇【德】【聖】＊
[3]〔意行經第七竟〕－【明】
[4]〔千三百十九字〕－【元】【明】【聖】
[5]〔中阿含〕－【明】

(Ma.169)拘樓瘦無諍經[1] 第八(第四分別誦)[2]

[T1.701b24] 我聞如是。

[T1.701b24] 一時，佛遊婆[3]奇瘦劍磨[4]瑟曇拘樓都邑。

[T1.701b25] 爾時，世尊告諸比丘：「我當為汝說法，初妙、中妙、竟亦妙，有義有文，具足清淨，顯現梵行，名分別無諍經，諦聽，諦聽，善思念之。」

[T1.701b28] 時，諸比丘受教而聽。

[T1.701b28] 佛言：「莫求欲樂、極下賤業，為凡夫行，亦莫求自身苦行，至苦非聖行，無義相[5]應，離此二邊，則有中道[6]，成眼成智，自在成定，趣智、趣覺、趣於涅槃，有稱、有譏，有無稱、無譏而為說法，決定於齊[7]，決定知已，所有內樂常[8]求彼也。莫相導[9]說，亦莫面前稱譽，齊限說，莫求[10]齊限，隨國俗法，莫是莫非，此分別無諍經事，莫求欲樂、極下賤業，為凡夫行，亦莫求自身苦行，至苦非聖行，無義相應者，此何因說，莫求欲樂、極下賤業，為凡夫行，是說一邊，亦莫求自身苦行，至苦非聖行，無義相應者，是說二邊，莫求欲樂、極下賤業，為凡夫行，亦莫求自身苦行，至苦非聖行，無義相應者，因此故說。」

[T1.701c13]「離此二邊，則有中道，成眼成智，自在成定，趣智、趣覺、趣涅槃者，此何因說，有聖道八支[11]，正見，乃至正定，是謂為八，離此二邊，則有中道，成眼成智，自在成定，趣智、趣覺、趣涅槃者，因此故說，有稱、有譏，有無稱、無譏而為說法者，此何因說。云何為稱。云何為譏，而不說法。若有欲相應與喜樂俱，極下賤業，為凡夫行，此法有苦、有煩、有熱、有憂慼邪行[12]，彼知此已，則便自譏。所以者何？欲者、無常、苦、磨[13]滅法，彼知

---

[1] ～《中部》M. 139. Araṇa-Vibhaṅga sutta. (無諍分別經)，《相應部》S.56.11.Tathāgatena vutta(1)(如來所說 1)，參閱《相應部》S.42.12.Rāsiyo(王髮)，《雜阿含 912 經》(大正 2.228c)

[2] 〔第四分別誦〕－【明】

[3] 婆＝娑【宋】【元】【明】

[4] 磨＝摩【宋】【元】【明】

[5] 相＝想【德】

[6] [>離此二邊則有中道]～Ete te ubho ante anupagamma majjhimā paṭipadā tathāgatena.

[7] 齊＝齋【德】

[8] 常＝當【宋】【元】【明】【聖】

[9] 導＝道【宋】【元】【明】【德】【聖】

[10] 求＝不【宋】【元】【明】

[11] 支＝枝【德】【聖】

[12] [>有憂慼邪行]～Sapariḷāhā micchāpaṭipamā.

[13] 磨＝摩【宋】【元】【明】【聖】＊

欲無常已。是故彼一切有苦、有煩、有熱、有憂慼邪行，彼知此已。是故便自譏。」

[T1.701c24]「自身苦行，至苦非聖行，無義相應，此法有苦、有煩、有熱、有憂慼邪行，彼知此已，則便自譏。所以者何？彼沙門、梵志所可畏苦，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，彼沙門、梵志復抱此苦。是故彼一切有苦、有煩、有熱、有憂慼邪行，彼知此已。是故便自譏，有結[1]不盡，此法有苦、有煩、有熱、有憂慼邪行，彼知此已，則便自譏，所以者何。若有結不盡者，彼有亦不盡。是故彼一切有煩、有熱、有憂慼邪行，彼知此已。是故便自譏也。有結盡者，此法無苦、無煩、無熱、無憂慼正行，彼知此已，則便自稱，所以者何。若有結盡者，彼有亦盡。是故彼一切無苦無煩、無熱、無憂慼正行，彼知此已。是故便自稱也。」

[T1.702a09]「不求內樂，此法有苦、有煩、有熱、有憂慼邪行，彼知此已，則便自譏，所以者何。若有不求內樂者，彼亦不求內。是故彼一切有苦、有煩、有熱、有憂慼邪行，彼知此已。是故便自譏也。求於內樂，此法無苦、無煩、無熱、無憂慼正行，彼知此已，則便自稱，所以者何。若有求內樂者，彼亦求內。是故彼一切無苦、無煩、無熱、無憂慼正行，彼知此已。是故便自稱，如是有稱有譏而不說法也。不稱不譏而為說法。」

[T1.702a19]「云何不稱不譏而為說法，若欲相應與喜樂俱，極下賤業，為凡夫行，此法有苦、有煩、有熱、有憂慼邪行，彼知此已，則便說法。所以者何？彼不如是說，欲無常、苦、磨滅法，彼知欲無常已。是故彼一切有苦、有煩、有熱、有憂慼邪行，不達此法，唯有苦法，有煩、有熱、有憂慼邪行，彼知此已。是故便說法，自身苦行，至苦非聖行，無義相應，此法有苦、有煩、有熱、有憂慼邪行，彼知此已，則便說法。所以者何？彼不如是說，自身苦行，至苦非聖行，無義相應，此法有苦、有煩、有熱、有憂慼邪行，不達此法，唯有苦法，有煩、有熱、有憂慼邪行，彼知此已。是故便說法也。」

[T1.702b03]「有結不盡，此法有苦、有煩、有熱、有憂慼邪行，彼知此已，則便說法。所以者何？彼不如是說。若有結不盡者，彼有亦不盡。是故彼一切有苦、有煩、有熱、有憂慼邪行，不達此法，唯有苦法，有煩、有熱、有憂慼邪行，彼知此已。是故便說法也。有結盡者，此法無苦、無煩、無熱、無憂慼正行，彼知此已，則便說法。所以者何？彼不如是說。若有結盡者，彼有亦盡。是故彼一切無苦、無煩、無熱、無憂慼正行不達此法，唯無苦法，無煩、無熱、無憂慼正行，彼知此已。是故便說法也。」

[1] 有結～Bhavasaṃyojana.

[T1.702b14]「不求內樂，此法有苦、有煩、有熱、有憂慼邪行，彼知此已，則便說法。所以者何？彼不如是說，若不求內樂者，彼亦不求內。是故彼一切有苦、有煩、有熱、有憂慼邪行，不達此法，唯有苦法，有煩、有熱、有憂慼邪行，彼知此已。是故便說法也。求於內樂，此法無苦、無煩、無熱、無憂慼正行，彼知此已，則便說法。所以者何？彼不如是說。若有求內樂者，彼亦求內。是故彼一切無苦、無煩、無熱、無憂慼正行，不達此法，唯無苦法，無煩、無熱、無憂慼正行，彼知此已。是故便說法，如是不稱、不譏而為說法，有稱有譏、有無稱無譏而為說法者，因此故說也。」

[T1.702b26]「決定於齊[1]，決定知已，所有內樂當求彼者，此何因說，有樂，非聖樂是凡夫樂，病本、癰本、箭刺之本，有食有生死，不可修、不可習、不可廣布，我說於彼則不可修也。有樂，是聖樂、無欲樂、離樂、息樂、正覺之樂，無食無生死，可修、可習、可廣布，我說於彼則可修也。」

[T1.702c04]「云何有樂，非聖樂是凡夫樂，病本、癰本、箭刺之本，有食有生死，不可修、不可習、不可廣布，我說於彼不可修也[2]，彼若因五欲功德生喜生樂，此樂非聖樂，是凡夫樂，病本、癰本、箭刺之本，有食有生死，不可修、不可習、不可廣布，我說於彼則不可修。」

[T1.702c10]「云何有樂，是聖樂無欲樂、離樂、息樂、正覺之樂，無食無生死，可修、可習、可廣布，我說於彼則可修耶？若有比丘離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊，此樂是聖樂、無欲樂、離樂、息樂、正覺之樂，無食無生死，可修、可習、可廣布，我說於彼則可修也。決定於*齊，決定知已，所有內樂當求彼者，因此故說。」

[T1.702c17]「莫相導[3]說，亦莫面前稱譽者，此何因說，有相*導說不真實、虛妄無義相應，有相*導說真實、不虛妄無義相應，有相*導說真實、不虛妄與義相應，於中若有*導說不真實、虛妄無義相應者，此終不可說，於中若有*導說真實、不虛妄無義相應者，彼亦當學不說是也。於中若有*導說真實、不虛妄義相應者，彼為知時，正智正念，令成就彼，如是面前稱譽，莫相*導說，亦莫面前稱譽者，因此故說。」

[T1.702c26]「齊限說，莫不齊限者，此何因說，不齊限說者，煩身，念憙忘，心疲極，聲壞，向智者不自在也。齊限說者，不煩身，念不憙忘，心不疲極，聲不壞，向智者得自在也。齊限說，莫不齊限者，因此故說。」

---

[1] 齊＝齋【德】＊
[2] 也＝耶【宋】【元】【明】
[3] 導＝道【宋】【元】【明】【德】【聖】＊

[T1.703a02]「隨國俗法，莫是莫非者，此何因說。云何隨國俗法，是及非耶[1]，彼彼方、彼彼人間、彼彼事、或說甌，或說[木*墮]，或說杅[2]，或說椀，或說器，如彼彼方、彼彼人間、彼彼事、或說甌，或說[木*墮]，或說*杅，或說椀，或說器，彼彼事隨其力，一向說此是真諦，餘者虛妄，如是隨國俗法，是及非也。云何隨國俗法，不是不非耶？彼彼方、彼彼人間、彼彼事、或說甌，或說[木*墮]，或說*杅，或說椀，或說器，如彼彼方、彼彼人間、彼彼事、或說甌，或說[木*墮]，或說*杅，或說椀，或說器，彼彼事不隨其力，不一向說此是真諦，餘者虛妄，如是隨國俗法，不是不非也。隨國俗法，莫是莫非者，因此故說。」

[T1.703a15]「有諍法、無諍法。云何有諍法[3]。云何無諍法，若欲相應與喜樂俱，極下賤業，為凡夫行，此法有諍，以何等故此法有諍，此法有苦、有煩、有熱、有憂慼邪行。是故此法則有諍也。若自身苦行，至苦非聖行，無義相應，此法有諍，以何等故此法有諍，此法有苦、有煩、有熱、有憂慼邪行。是故此法則有諍也。離此二邊，則有中道，成眼成智，自在成定，趣智、趣覺、趣於涅槃，此法無諍，以何等故此法無諍，此法無苦、無煩、無熱、無憂慼正行。是故此法則無諍也。」

[T1.703a26]「有結不盡，此法有諍，以何等故此法有諍，此法有苦、有煩、有熱、有憂慼邪行。是故此法則有諍也。有結滅盡，此法無諍，以何等故此法無諍，此法無苦、無煩、無熱、無憂慼正行。是故此法則無諍也。」

[T1.703b02]「不求內樂，此法有諍，以何等故此法有諍，此法有苦、有煩、有熱、有憂慼邪行。是故此法則有諍也。求於內樂，此法無諍，以何等故此法無諍，此法無苦、無煩、無熱、無憂慼正行。是故此法則無諍也。」

[T1.703b06]「於中若有樂，非聖樂是凡夫樂，病本、癰本、箭刺之本，有食有生死，不可修、不可習、不可廣布，我說於彼則不可修，此法有諍，以何等故此法有諍，此法有苦、有煩、有熱、有憂慼邪行。是故此法則有諍也。於中若有樂，是聖樂、無欲樂、離樂、息樂、正覺之樂，無食無生死，可修、可習、可廣布，我說於彼則可修也。此法無諍，以何等故此法無諍，此法無苦、無煩、無熱、無憂慼正行。是故此法則無諍也。」

[T1.703b16]「於中若有*導說不真實、虛妄無義相應，此法有諍，以何等故此法有諍，此法有苦、有煩、有熱、有憂慼邪行。是故此法則有諍也。於中若有*導說真實、不虛妄無義相應，此法有諍，以何等故此法有諍，此法有苦、有煩、

---

[1] 耶＝邪【德】＊
[2] 杅＝盂【德】＊
[3] 有諍法＝諍【宋】【元】【明】，〔有〕－【聖】

有熱、有憂慼邪行。是故此法則有諍也。於中若有*導說真實、不虛妄與義相應，此法無諍，以何等故此法無諍，此法無苦、無煩、無熱、無憂慼正行。是故此法則無諍也。」

[T1.703b25]「無齊限說者，此法有諍，以何等故此法有諍，此法有苦、有煩、有熱、有憂慼邪行。是故此法則有諍也。齊限說者[1]，此法無諍，以何等故此法無諍，此法無苦、無煩、無熱、無憂慼正行。是故此法則無諍也。」

[T1.703c01]「隨國俗法，是及非，此法有諍，以何等故此法有諍，此法有苦、有煩、有熱、有憂慼邪行。是故此法則有諍也。隨國俗法，不是不非，此法無諍，以何等故此法無諍，此法[有>無]苦、無煩、無熱、無憂慼正行。是故此法則無諍也。是謂諍法，汝等當知諍法及無諍法，知諍法及無諍法已，棄捨諍法，修習無諍法，汝等當學。」

[T1.703c08]「如是須菩提族姓子以無諍道，於後知法如法。

知法如真實[2]　須菩提說偈　此行真實空　捨此住止息

[T1.703c12] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.703c13] 拘樓瘦無[3]諍經[4]第八竟(三千一十六字)[5]，

中阿含[6]經卷第四十三(九千二百二十三字[7])(第四分別誦[8])[9]

中阿含 6經

卷第四十四 (Ma.170~171)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯[1]

---

[1]〔者〕－【聖】
[2] 實＝法【元】【明】
[3] 無＝天【德】
[4]〔拘…八竟〕－【明】
[5] 三千[>一]十六字＝三千一百八十五字【宋】【德】，－【元】【明】【聖】
[6] 含＝鎗【德】
[7] 九千二百二十三字＝九千三百九十四字【宋】【德】，－【元】【明】【聖】
[8]〔第四分別誦〕－【明】【德】
[9] ＋（光明皇后願文）【聖】
[6] 含＝鎗【聖】＊

（一七○）根本分別品

(Ma.170)鸚鵡經[2] 第九(第四分別誦)[3]

[T1.703c23] 我聞如是。

[T1.703c23] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.703c24] 爾時，世尊過夜平旦著衣持鉢，入舍衛[4]乞食，於乞食時往詣鸚鵡摩納都提子[5]家，是時，鸚鵡摩納都提子少有所為，出行不在，彼時，鸚鵡摩納都提子家有白狗，在大床上金槃[6]中食。於是，白狗遙見佛來，見已便吠，世尊語白狗：「汝不應爾，謂汝從呧[7]至吠。」

[T1.704a01] 白狗聞已，極大瞋恚，從床來下，至木聚邊憂慼愁臥。

[T1.704a02] 鸚鵡摩納都提子於後還家，見[已>己]白狗極大瞋恚，從床來下，至木聚邊憂慼愁臥，問家人曰：「誰觸嬈我狗，令極大瞋恚，從床來下，至木聚邊憂慼愁臥。」

[T1.704a05] 家人答曰：「我等都無觸嬈白狗，令大瞋恚，從床來下，至木聚邊憂慼愁臥，摩納，當知今日沙門瞿曇來此乞食，白狗見已，便逐吠之，沙門瞿曇語白狗曰：『汝不應爾，謂汝從*呧至吠。』因是，摩納，故令白狗極大瞋恚，從床來下，至木聚邊憂慼愁臥。」

[T1.704a11] 鸚鵡摩納都提子聞已，便大瞋恚，欲誣世尊！欲謗世尊！欲墮世尊！如是誣、謗、墮沙門瞿曇！即從舍衛出，往詣勝林給孤獨園。

[T1.704a14] 彼時，世尊無量大眾前後圍繞而為說法，世尊遙見鸚鵡摩納都提子來，告諸比丘：「汝等見鸚鵡摩納都提子來耶？」

[T1.704a17] 答曰：「見也。」

---

[1]〔東晉…婆譯〕－【聖】
[2] ～《中部》M.135.Cūḷakammavibhaṅgasuttaṁ (小業分別經)，No.78.《兜調經》(大正 1.887b)，No.79.《鸚鵡經》(大正 1.888b)，No.80.《佛為首加長者說業報差別經》(大正 1.891a)。No.81.《分別善惡報應經》(大正 1.895b)
[3]〔第四分別誦〕－【明】
[4] 舍衛＋（城）【宋】【元】【明】
[5] [>鸚鵡摩納都提子]～Subha mānava Todeyyaputta.
[6] 金槃＝金盤【宋】【元】【明】【聖】＊
[7] 呧＝護【元】【明】＊，＝哇【聖】＊

[T1.704a17] 世尊告曰：「鸚鵡摩納都提子今命終者，如屈伸[1]臂頃，必生地獄。所以者何？以彼於我極大瞋恚。若有眾生因心瞋恚[2]故，身壞命終，必至惡處，生地獄中。」

[T1.704a21] 於是，鸚鵡摩納都提子往詣佛所，語世尊曰：「沙門瞿曇！今至我家乞食來耶？」

[T1.704a22] 世尊答曰：「我今往至汝家乞食。」

[T1.704a23]「瞿曇！向我白狗說何等事，令我白狗極大瞋恚，從床來下，至木聚邊憂慼愁臥。」

[T1.704a25] 世尊答曰：「我今平旦著衣持鉢，入舍衛乞食，展轉往詣汝家乞食，於是白狗遙見我來，見已而吠，我語白狗：『汝不應爾，謂汝從*呧至吠。』是故白狗極大瞋恚，從床來下，至木聚邊憂慼愁臥。」

[T1.704b01] 鸚鵡摩納問世尊曰：「白狗前世是我何等？」

[T1.704b02] 世尊告曰：「止，止，摩納，慎莫問我，汝聞此已，必不可意。」

[T1.704b03] 鸚鵡摩納復更再三問世尊曰：「白狗前世是我何等？」

[T1.704b04] 世尊亦至再三告曰：「止，止，摩納，慎莫問我，汝聞此已，必不可意。」

[T1.704b06] 世尊復告於摩納曰：「汝至再三問我不止，摩納，當知彼白狗者，於前世時即是汝父，名都提也。」

[T1.704b08] 鸚鵡摩納聞是語已，倍極大恚，欲誣世尊！欲謗世尊！欲墮世尊！如是誣、謗、墮沙門瞿曇！語世尊曰：「我父都提大行布施，作大齋祠，身壞命終，正生[3]梵天，何因何緣，乃生於此下賤狗中。」

[T1.704b13] 世尊告曰：「汝父都提以此增上慢。是故生於下賤狗中：『

梵志增上慢　此終六處生　雞狗猪及犬　驢五地獄六

[T1.704b17]「鸚鵡摩納，若汝不信我所說者，汝可還歸語白狗曰：『若前世時是我父者，白狗當還在大床上，摩納，白狗必還上床也。若前世時是我父者，白

---

[1] 屈伸＝屈申【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 心瞋恚＝瞋恚心【宋】【元】【明】【聖】
[3] 正生＝生妙【宋】【元】【明】【聖】

狗還於*金槃中食，摩納，白狗必當還於*金槃中食也。若前世時是我父者，示我所舉金、銀、水精、珍寶藏處，謂我所不知。』摩納，白狗必當示汝已前所舉金、銀、水精、珍寶藏處，謂汝所不知。」

[T1.704b24] 於是，鸚鵡摩納聞佛所說，善受持誦，繞世尊已，而還其家，語白狗曰：『若前世時是我父者，白狗當還在大床上。』白狗即還在大床上。」

[T1.704b27] 「『若前世時是我父者，白狗還於*金槃中食。』白狗即還*金槃中食。」

[T1.704b29]「『若前世時是我父者，當示於我父本所舉金、銀、水精、珍寶藏處，謂我所不知，白狗即從床上來下，往至前世所止宿處，以口及足掊[1]床四脚下。』[鵡>鸚]鵡摩納便從彼處大得寶物。」

[T1.704c04] 於是，鸚鵡摩納都提子得寶物已，極大歡喜，以右膝著地，叉手向勝林給孤獨園。再三舉聲，稱譽世尊：「沙門瞿曇所說不虛，沙門瞿曇所說真諦，沙門瞿曇所說如寶[2]。」再三稱譽已，從舍衛出，往詣勝林給孤獨園。

[T1.704c09] 爾時，世尊無量大眾前後圍繞而為說法，世尊遙見鸚鵡摩納來，告諸比丘：「汝等見鸚鵡摩納來耶？」

[T1.704c11] 答曰：「見也。」

[T1.704c12] 世尊告曰：「鸚鵡摩納今命終者，如*屈伸臂頃，必至[3]善處。所以者何？彼於我極有善心。若有眾生因善心故，身壞命終，必至善處，生於天中。」

[T1.704c15] 爾時，鸚鵡摩納往詣佛所，共相問訊，却坐一面，世尊告曰：「云[向>何]摩納，如我[4]所說白狗者為如是耶？不如是耶？」

[T1.704c17] 鸚鵡摩納白[5]曰：「瞿曇！實如所說，瞿曇！我復欲有所問，聽乃敢陳？」

[T1.704c19] 世尊告曰：「恣汝所問。」

---

[1] 掊＝把【宋】【元】【明】【聖】
[2] 寶＝實【聖】
[3] 至＝生【宋】【元】【明】【聖】
[4] 我＝如【聖】
[5] 白＝答【宋】【元】【明】，－【聖】

[T1.704c19]「瞿曇！何因何緣，彼眾生者，俱受人身而有高下、有妙不妙。所以者何？瞿曇！我見有短壽、有長壽者，見[1]有多病、有少病者，見不端正[2]、有端*正者，*見無威德、有威德者，*見有卑賤[3]族、有尊貴族者，見無財物、有財物者，見有惡智、有善智者。」

[T1.704c25] 世尊答曰：「彼眾生者，因自行業[4]，因業得報，緣業、依業、業處，眾生隨其高下處妙不妙。」

[T1.704c27] 鸚鵡摩納白世尊曰：「沙門瞿曇所說至略，不廣分別，我不能知，願沙門瞿曇為我廣說，令得知義。」

[T1.705a01] 世尊告曰：「摩納，諦聽，善思念之，我當為汝廣分別說。」

[T1.705a02] 鸚鵡摩納白曰：「唯然，當受教聽。」

[T1.705a03] 佛言：「摩納，何因、何緣男子女人壽命極短。若有男子女人殺生凶弊，極惡飲血，害意著惡，無有慈心於諸眾生乃至蜫蟲，彼受此業，作具足已，身壞命終，必至惡處，生地獄中，來生人間，壽命極短。所以者何？此道受短壽，謂男子女人殺生凶弊，極惡飲血，摩納當[地>知]，此業有如是報也。摩納，何因、何緣男子女人壽命極長。若有男子女人離殺斷殺，棄捨刀杖，有慙有愧，有慈悲心，饒益一切乃至蜫蟲，彼受此業，作具足已，身壞命終，必[5]昇善處，生於天中，來生人間，壽命極長。所以者何？此道受長壽，謂男子女人離殺斷殺，摩納，當知此業有如是報也。」

[T1.705a16]「摩納，何因、何緣男子女人多有疾病。若有男子女人觸嬈眾生，彼或以手拳，或以木石，或以刀杖觸嬈眾生，彼受此業，作具足已，身壞命終，必至惡處，生地獄中，來生人間，多有疾病。所以者何？此道受多疾病，謂男子女人觸嬈眾生，摩納，當知此業有如是報也。摩納，何因、何緣男子女人無有疾病。若有男子女人不觸嬈眾生，彼不以手拳，不以木石，不以刀杖觸嬈眾生，彼受此業，作具足已，身壞命終[6]，必昇善處，生於天中，來生人間，無有疾病。所以者何？此道受無疾病，謂男子女人不觸嬈眾生，摩納，當知此業有如是報也。」

[T1.705a29]「摩納，何因、何緣男子女人形不端*正。若有男子女人急性多惱，彼少所聞，便大瞋恚，憎嫉生憂，廣生諍怒，彼受此業，作具足已，身壞命

---

[1]〔見〕－【聖】＊
[2] 正＝政【聖】＊
[3] 賤＋（賤）【聖】
[4] [>業]～Kamma.
[5] 必＝一【聖】
[6] 終＝絡【宋】

終，必至惡處，生地獄中，來生人間，形不端*正。所以者何？此道受形不端*正，謂男子女人急性多惱，摩納，當知此業有如是報也。摩納，何因、何緣男子女人形體端正。若有男子女人不急性多惱，彼聞柔軟麤[麩-夫+廣][1]強言，不大瞋恚，不憎嫉生憂，不廣生諍怒，彼受此業，作具足已，身壞命終，必昇善處，生於天中，來生人間，形體端*正。所以者何？此道受形體端*正，謂男子女人不急性多惱，摩納，當知此業有如是報也。」

[T1.705b13]「摩納，何因、何緣男子女人無有威德。若有男子女人內懷嫉妬，彼見他得供養恭敬，便生嫉妬，若見他有物，欲令我得，彼受此業，作具足已，身壞命終，必至惡處，生地獄中，來生人間，無有威德。所以者何？此道受無威德，謂男子女人內懷嫉妬，摩納，當知此業有如是報也。摩納，何因、何緣男子女人有大威德。若有男子女人不懷嫉妬，彼見他得供養恭敬，不生嫉妬，若見他有物，不欲令我得，彼受此業，作具足已，身壞命終，必昇善處，生於天中，來生人間，有大威德。所以者何？此道受有威德，謂男子女人不懷嫉妬，摩納，當知此業有如是報也。」

[T1.705b26]「摩納，何因、何緣男子女人生卑賤族。若有男子女人憍慢大慢，彼可敬不敬，可重不重，可貴不貴，可奉不奉，可供養不供養，可與道不與道，可與坐不與坐，可叉手向禮拜問訊不叉手向禮拜問訊，彼受此業，作具足已，身壞命終，必至惡處，生地獄中，來生人間，生卑賤族。所以者何？此道受生卑賤族，謂男子女人憍慢大慢，摩納，當知此業有如是報也。摩納，何因、何緣男子女人生尊貴族。若有男子女人不憍慢大慢，彼可敬而敬，可重而重，可貴而貴，可奉事而奉事，可供養而供養，可與道而與道，可與坐而與坐，可叉手向禮拜問訊而叉手向禮拜問訊，彼受此業，作具足已，身壞命終，必昇善處，生於天中，來生人間，生尊貴族。所以者何？此道受生尊貴族，謂男子女人不憍慢大慢，摩納，當知此業有如是報也。」

[T1.705c14]「摩納，何因、何緣男子女人無有財物。若有男子女人不作施主，不行布施，彼不施與沙門、梵志、貧窮、孤獨、遠來乞者飲食、衣被、華鬘、塗香、屋舍、床榻、明燈、給使，彼受此業，作具足已，身壞命終，必至惡處，生地獄中，來生人間，無有財物。所以者何？此道受無財物，謂男子女人不作施主，不行布施，摩納，當知此業有如是報也。摩納，何因、何緣男子女人多有財物。若有男子女人作施主，行布施，彼施與沙門、梵志、貧窮、孤獨、遠來乞者飲食、衣被、花鬘、塗香、屋舍、床榻、明燈、給使，彼受此業，作具足已，身壞命終，必昇善處，生於天中，來生人間，多有財物。所以者何？此道受多有財物，謂男子女人作施主，行布施，摩納，當知此業有如是報也。」

[1] [麩-夫+廣]＝獷【明】

[T1.705c29]「摩納，何因、何緣男子女人有惡智慧。若有男子女人不數數往詣彼問事，彼若有名德、沙門、梵志，不往詣彼，隨時問義，諸尊，何者為善，何者不善，何者為罪，何者非罪，何者為妙，何者不妙，何者為白，何者為黑，白黑從何生，何義現世報，何義後世報，設問不行，彼受此業，作具[1]足已，身壞命終，必至惡處，生地獄中，來生人間，有惡智慧。所以者何？此道受惡智慧，謂男子女人不數數往詣彼問事，摩納，當知此業有如是報也。摩納，何因、何緣男子女人有善智慧。若有男子女人能數數往詣彼問事，彼若有名德、沙門、梵志，數往詣彼，隨時問義，諸尊，何者為善，何者不善，何者為罪，何者非罪，何者為妙，何者不妙，何者為白，何者為黑，白黑從何[>生]，何義現世報，何義後世報，問已能行，彼受此業，作具足已，身壞命終，必昇善處，生於天中，來生人間，有善智慧。所以者何？此道受善智慧，謂男子女人能數數往詣彼問事，摩納，當知此業有如是報也。」

[T1.706a20]「摩納，當知作短壽相應業必得短壽，作長壽相應業必得長壽，作多疾病相應業必得多疾病，作少疾病相應業必得少疾病，作不端*正相應業必得不端*正，作端正相應業必得端正，作無威德相應業必得無威德，作威德相應業必得威德，作卑賤族相應業必得卑賤族，作尊貴族相應業必得尊貴族，作無財物相應業必得無財物，作多財物相應業必得多財物，作惡智慧相應業必得惡智慧，作善智慧相應業必得善智慧，摩納，此是我前所說，眾生因自行業，因業得報，緣業、依業、業處，眾生隨其高下處妙不妙。」

[T1.706b04] 鸚鵡摩納都提子白曰：「世尊！我已解，善逝，我已知。世尊！我今自歸於佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。世尊！從今日入都提家，如入此舍衛地優婆塞家，令都提家長夜得利義，得饒益安隱快樂。」

[T1.706b09] 佛說如是，鸚鵡摩納都提子及無量眾聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.706b11] 鸚鵡經第九竟[2](三千四百六十五字[3])，

（一七一） 中阿*含[4]根本分別品

---

[1] 具＝其【宋】【元】
[2]〔鸚鵡…竟〕－【明】
[3]〔三千…五字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[4]〔中阿含〕－【明】

(Ma.171)分別大業經[1] 第十(第四分別誦)[2]

[T1.706b14] 我聞如是。

[T1.706b14] 一時，佛遊王舍城，在竹林迦蘭哆園。

[T1.706b15] 爾時，尊者三彌提[3]亦遊王舍城，住無事禪屋[4]中。

[T1.706b16] 於是，異學哺羅陀子[5]中後彷徉，往詣尊者三彌提所，共相問訊，却坐一面，賢三彌提，我欲有所問，聽我問耶？」

[T1.706b18] 尊者三彌提答曰：「賢哺羅陀子，欲問便問，我聞已當思。」

[T1.706b20] 異學哺羅陀子便問曰：「賢三彌提，我面從沙門瞿曇聞，面從沙門瞿曇受，身、口業虛妄，唯意業真諦，或有定[6]，比丘入彼定無所覺。」

[T1.706b23] 尊者三彌提告曰：「賢哺羅陀子，汝莫作是說，莫誣謗世尊！誣謗世尊者為不善也。世尊不如是說，賢哺羅陀子，世尊無量方便說，若故作業[7]，作已成者，我說無不受報，或現世受，或後世受，若不故作業，作已成者，我不說必受報也。」

[T1.706b28] 異學哺羅陀子至再三語尊者三彌提曰：「賢三彌提，我面從沙門瞿曇聞，面從沙門瞿曇受，身、口業虛妄，唯意業真諦，或有定，比丘入彼定無所覺。」

[T1.706c02] 尊者三彌提亦再三告曰：「賢哺羅陀子，汝莫作是說，莫誣謗世尊！誣謗世尊者為不善也。世尊不如是說，賢哺羅陀子，世尊無量方便說，若故作業，作已成者，我說無不受報，或現世受，或後世受，若不故作業，作已成者，我不說必受報也。」

[T1.706c08] 異學哺羅陀子問尊者三彌提：「若故作業，作已成者，當受何報？」

[T1.706c09] 尊者三彌提答曰：「賢哺羅陀子，若故作業，作已成者，必受苦也。」

---

[1] ～《中部》M.136. Mahā-kamma-vibhaṅga sutta. (大業分別經)
[2] 〔第四分別誦〕－【明】
[3] [>三彌提]～Samidhi.
[4] [>無事禪屋]～Araññakuṭikā.
[5] [>異學哺羅陀子]～Potaliputtaparibbājaka.
[6] 定～Samāpatti.
[7] 故作業～Sañcitanika kamma.

[T1.706c11] 異學哺羅陀子復問尊者三彌提曰：「賢三彌提，汝於此法、律學道幾時？」

[T1.706c12] 尊者三[>彌]提答曰：「賢哺羅陀子，我於此法、律學道未久，始三年耳。於是，異學哺羅陀子便作是念：年少比丘尚能護師，況復舊學上尊[1]上尊[2]人耶？於是，異學哺羅陀子聞尊者三彌提所說，不是不非，即從座[3]起，奮頭而去。」

[T1.706c17] 彼時，尊者大周那去尊者三彌提晝行坐處不遠。於是，尊者大周那謂尊者三彌提與異學哺羅陀子所共論者，彼盡誦習，善受持已，即從*座起，往詣[4]尊者阿難所，共相問訊，却坐一面，謂尊者三彌提與異學哺羅陀子所共論者，盡向尊者阿難說之。

[T1.706c23] 尊者阿難聞已，語曰：「賢者周那！得因此論，可往見佛，奉獻世尊！賢者周那！今共詣佛，具向世尊而說此義，或能因是得從世尊聞異法也。」

[T1.706c27] 於是，尊者阿難、尊者大周那共往詣佛，尊者大周那稽首佛足，却坐[5]一面，尊者阿難稽首佛足，却住一面。

[T1.706c29] 彼時，尊者阿難語曰：「賢者大周那！可說，可說。」

[T1.707a01] 於是，世尊問曰：「阿難！周那比丘欲說何事？」

[T1.707a02] 尊者阿難白曰：「世尊！今自當聞。於是，尊者大周那謂尊者三彌提與異學哺羅陀子所共論者盡向佛說。」

[T1.707a05] 世尊聞已，告曰：「阿難！看三彌提比丘癡人無道。所以者何？異學哺羅陀子問事不定[6]，而三彌提比丘癡人一向答[7]也。」

[T1.707a07] 尊者阿難白曰：「世尊！若三彌提比丘因此事說，所有覺者是苦，當何咎耶？」

[T1.707a09] 世尊呵[8]尊者阿難曰：「看，阿難比丘亦復無道。阿難！此三彌提癡人，彼異學哺羅陀子盡問三覺，樂覺、苦覺、不苦不樂覺。阿難！若三彌提癡

---

[1]〔尊〕－【聖】
[2]〔上尊〕－【宋】【元】【明】，〔上〕－【聖】
[3] 座＝坐【聖】＊
[4] 詣＝告【宋】【元】【明】
[5] 坐＝住【明】
[6] 問事不定～Vibhajja byāka aṇīyo pañho，＝問事不足【聖】
[7] 一向答～Ekaṃsena byakato.
[8] 呵＝訶【聖】

人為異學哺羅陀子所問，如是答者：『賢哺羅陀子，若故作樂業，作已成者，當受樂報，若故作苦業，作已成者，當受苦報，若故作不苦不樂業，作已成者，當受不苦不樂報。』阿難！若三彌提癡人為異學哺羅陀子所問，如是答者：『異學哺羅陀子眼尚不敢視三彌提癡人，況復能問如是事耶？』阿難！若汝從世尊問[1]分別大業經[2]者，於如來倍復增上心靖[3]得喜。」

[T1.707a21] 於是，尊者阿難叉手向佛白曰：「世尊！今正是時，善逝，今正是時，若世尊為諸比丘說分別大業經者，諸比丘聞已，當善受持。」

[T1.707a24] 世尊告曰：「阿難！諦聽，善思念之，我當為汝具分別說。」

[T1.707a25] 尊者阿難白曰：「唯然。」

[T1.707a25] 時，諸比丘受教而聽。

[T1.707a26] 佛言：「阿難！或有一不離殺、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，此不離、不護已，身壞命終，生善處天中。阿難！或有一離殺、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，此離、護已，身壞命終，生惡處地獄中。阿難！或有一不離殺、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，此不離、不護已，身壞命終，生惡處地獄中。阿難！或有一離殺、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，此離、護已，身壞命終，生善處天中。」

[T1.707b05] 「阿難！若有一不離殺、不與取、邪婬、妄言乃至[耶>邪]見，此不離、不護已，身壞命終，生善處天中者。若有沙門、梵志得天眼，成就天眼而見彼，見已，作是念：『無身惡行，亦無身惡行報，無口、意惡行，亦無口、意惡行報。』所以者何？我見彼不離殺、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，此不離、不護已，身壞命終，生善處天中，若更有如是比[4]不離殺、不與取、邪婬、婬、妄言，乃至邪見，此不離、不護者，彼一切身壞命終，亦生善處天中，如是見者，則為正見，異是見者，則彼智趣耶[5]，若所見所知極力捫摸，一向著說，此是真諦，餘皆虛妄。」

[T1.707b17]「阿難！若有一離殺、不與取、邪婬、妄言乃至邪見，此離、護已，身壞命終，生惡處地獄中者。若有沙門、梵志得天眼，成就天眼而見彼，見已，作是念：『無身妙行，亦無身妙行報，無口、意妙行，亦無口、意妙行報。』所以者何？我見彼離殺、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，此離、護已，

---

[1] 問＝聞【宋】【元】【明】
[2] 分別大業（經）～Mahākamma vibhaṅga.
[3] 靖＝靜【宋】【元】【明】
[4] 比＋（丘）【宋】【元】【明】【聖】＊
[5] 經中耶字與邪字混用【宋】【元】【明】

身壞命終，生惡處地獄中，若更有如是*比離殺、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，此離、護者，彼一切身壞命終，亦生惡處地獄中，如是見者，則為正見，異是見者，則彼智趣*耶？若所見所知極力捫摸，一向著說，此是真諦，餘皆虛妄。」

[T1.707b28]「阿難！若有一不離殺、不與取、邪婬、妄言乃至邪見，此不離、不護已，身壞命終，生惡處地獄中者。若有沙門、梵志得天眼，成就天眼而見彼，見已，作是念：『有身惡行，亦有身惡行報，有口、意惡行，亦有口、意惡行報。』所以者何？我見彼不離殺、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，此不離、不護已，身壞命終，生惡處地獄中，若更有如是比[1]不離殺、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，此不離、不護者，彼一切身壞命終，亦生惡處地獄中，如是見者，則為正見，異是見者，則彼智趣耶？若所見所知極力捫摸，一向著說，此是真諦，餘皆虛妄。」

[T1.707c10]「阿難！若有一離殺、不與取、邪婬、妄言乃至邪見，此離、護已，身壞命終，生善處天中者。若有沙門、梵志得天眼，成就天眼而見彼，見已，作是念：『有身妙行，亦有身妙行報，有口、意妙行，亦有口、意妙行報。』所以者何？我見彼離殺、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，此離、護已，身壞命終，生善處天中，若更有如是*比離殺、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，此離、護者，彼一切身壞命終，亦生善處天中，如是見者，則為正見，異是見者，則彼智趣*耶？若所見所知極力捫摸，一向著說，此是真諦，餘皆虛妄。」

[T1.707c22]「阿難！於中若有一沙門、梵志得天眼，成就天眼，作如是說：『無身惡行，亦無身惡行報，無口、意惡行，亦無口、意惡行報，者。』我不聽彼，若作是說：『我見彼不離殺、不與取、邪婬、妄言，乃至[耶>邪]見，此不離、不護已，身壞命終，生善處天中。』我聽彼也。若作是說：『若更有如是比不離殺、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，此不離、不護者，彼一切身壞命終，亦生善處天中，者。』我不聽彼，若作是說：『如是見者，則為正見，異是見者，則彼智趣邪，者。』我不聽彼，若所見所知極力捫摸，一向著說此是真諦，餘皆虛妄，者，我不聽彼。所以者何？阿難！如來知彼人異。」

[T1.708a05]「阿難！於中若有一沙門、梵志得天眼，成就天眼，作如是說無身妙行，亦無身妙行報，無口、意妙行，亦無口、意妙行報，我不聽彼，若作是說：『我見彼離殺、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，此離、護已，身壞命終，生惡處地獄中。』我聽彼也。若作是說：『若更有如是比離殺、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，此離、護者，彼一切身壞命終，亦生惡處地獄中，者。』我不聽彼，若作是說：『如是見者，則為正見，異是見者，則彼智趣邪，者。』我不

[1] 比＝此【明】，＋（丘）【宋】＊

聽彼，若所見所知極力捫摸，一向著說此是真諦，餘皆虛妄，者，我不聽彼。所以者何？阿難！如來知彼人異。」

[T1.708a17]「阿難！於中若有一沙門、梵志得天眼，成就天眼，作如是說：『有身惡行，亦有身惡行報，有口、意惡行，亦有口、意惡行報。』我聽彼也。若作是說：『我見彼不離殺、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，此不離、不護已，身壞命終，生惡處地獄中，者。』我聽彼也。若作是說：『若更有如是比不離殺、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，此不離[1]、不護者，彼一切身壞命終，亦生惡處地獄中，者。』我不聽彼，若作是說：『如是見者，則為正見，異是見者，則彼智趣邪，者。』我不聽彼，若所見所知極力捫摸，一向著說此是真諦，餘皆虛妄，者，我不聽彼。所以者何？阿難！如來知彼人異。」

[T1.708b01]「阿難！於中若有一沙門、梵志得天眼，成就天眼，作如是說：『有身妙行，亦有身妙行報，有口、意妙行，亦有口、意妙行報，者。』我聽彼也。若作是說：『我見彼離殺、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，此離、護已，身壞命終，生善處天中，者。』我聽彼也。若作是說：『若更有如是比離殺、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，彼一切身壞命終，亦生善處天中，者。』我不聽彼，若作是說：『如是見者，則為正見，異是見者，則彼智趣邪，者。』我不聽彼，若所見所知極力捫摸，一向著說此是真諦，餘皆虛妄，者，我不聽彼。所以者何？阿難！如來知彼人異。」

[T1.708b13]「阿難！若有一不離殺、不與取、邪婬、妄言乃至邪見，此不離、不護已，身壞命終，生善處天中者，彼若本作不善業，作已成者，因不離、不護故，彼於現法中受報訖而生於彼，或復因後報故，彼不以此因、不以此緣，身壞命終，生善處天中，或復本作善業[2]，作已成者，因離、護故，未盡應受善處報，彼因此緣此故，身壞命終，生善處天中，或復死時生善心，心所有法正見相應，彼因此緣此，身壞命終，生善處天中。阿難！如來知彼人為如是也。」

[T1.708b23]「阿難！若有一離殺、不與取、邪婬、妄言乃至邪見，此離、護已，身壞命終，生惡處地獄中者，彼若本作善業，作已成者，因離、護故，彼於現法中受報訖而生於彼，或復因後報故，彼不以此因、不以此緣，身壞命終，生惡處地獄中，或復本作不善業，作已成者，因不離、不護故，未盡應受地獄報，彼因此緣此，身壞命終，生惡處地獄中，或復死時生不善心，心所有法邪見相應，彼因此緣此，身壞命終，生惡處地獄中。阿難！如來知彼人為如是也。」

[1] 離＝與【聖】
[2] 業＝處【聖】

[T1.708c04]「阿難！若有一不[1]離殺、不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，此不離、不護已，身壞命終，生惡處地獄中者，彼即因此緣此，身壞命終，生惡處地獄中，或復本作不善業，作已成者，因不離、不護故，未盡應受地獄報，彼因此緣此，身壞命終，生惡處地獄中，或復死時生不善心，心所有法邪見相應，彼因此緣此，身壞命終，生惡處地獄中。阿難！如來知彼人為如是也。」

[T1.708c12]「阿難！若有一離殺、不與取、邪婬、妄言乃至邪見，此離、護已，身壞命終，生善處天中者，彼即因此緣此，身壞命終，生善處天中，或復本作善業，作已成者，因離、護故，未盡應受報，彼因此緣此，身壞命終，生善處天中，或復死時生善心，心所有法正見相應，彼因此緣此，身壞命終，生善處天中。阿難！如來知彼人為如是也。」

[T1.708c21]「復次，有四種人，或有人無有似有，或有似無有，或無有似無有，或有似有。阿難！猶如四種奈，或奈不熟似熟，或熟似不熟，或不熟似不熟，或熟似熟。如是。阿難！四種奈喻人，或有人無有似有，或有似無有，或無有似無有，或有似有。」

[T1.708c27] 佛說如是，尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.708c29] 分別大業經第十竟[2](三千五百七字)[3]，

中阿*含經卷[4]第四十四(六千九百七十二字)[5]

[6]中阿*含[7]根本分別品第二[8]竟(二萬四千五百八十九字[9])(第四分別誦[10])[11]，

中阿含經

---

[1] 不＝人【宋】【元】【明】
[2]〔分別…竟〕－【明】
[3]〔三千五百七字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[4] 卷末題與品末題位置前後【明】
[5]〔六千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[6]〔中阿含根本分別品第二竟〕十一字－【宋】【元】
[7]〔中阿含〕－【明】
[8] 第二＝第十三【明】
[9]〔二萬四千[九>五]百八十九字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[10]〔第四分別誦〕－【宋】【元】【明】
[11] ＋（光明皇后願文）【聖

卷第四十五 (Ma.172~175)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

心品第三 [1](有十經)(第四分別誦)

心、浮、受法二　　行禪、說、獵師　　五枝 [2]財物主　　瞿曇彌、多界

（一七二）中阿含 [3]心品

(Ma.172)心經 [4] 第一

[T1.709a13] 我聞如是。

[T1.709a13] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.709a14] 爾時，有一比丘獨安靖 [5]處宴坐思惟，心作是念：誰將世間去，誰為染著，誰起自在，彼時，比丘則於晡時從宴坐起，往詣佛所，稽首禮足，却坐一面，白曰：「世尊！我今獨安*靖處宴坐思惟，心作是念：誰將世間去，誰為染著，誰起自在。」

[T1.709a19] 世尊聞已，歎曰：「 善哉！善哉！比丘，謂有賢道而有賢觀，極妙辯才，有善思惟，誰將世間去，誰為染著，誰起自在，比丘！所問為如是耶？」

[T1.709a22] 比丘答曰：「如是。世尊！」

[T1.709a23] 世尊告曰：「比丘！心將世間去，心為染著，心起自在，比丘！彼將世間去，彼為染著，彼起自在，比丘！多聞聖弟子非心將去，非心染著，非心自在，比丘！多聞聖弟子不隨心自在，而心隨多聞聖弟子。」

[T1.709a27] 比丘白曰：「 善哉！善哉！唯然。世尊！」彼時，比丘聞佛所說，歡喜奉行。

---

[1] 第三＝第十四【明】
[2] 枝＝支【明】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《增支部》A.4.186. Ummagga(導管)、《相應部》S.1.62. Cittaṁ (依)心(導世間)、《雜阿含 25 經》、《雜阿含 434 經》、No.82.《佛說意經》(大正 1.901b)
[5] 靖＝靜【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.709a29] 問曰：「世尊！多聞比丘，說多聞比丘。世尊！云何多聞比丘。云何施設多聞比丘？」

[T1.709b01] 世尊聞已，歎曰：「 善哉！善哉！比丘，謂有賢道而有賢觀，極妙辯才，有善思惟。世尊！多聞比丘，說多聞比丘。世尊！云何多聞比丘。云何施設多聞比丘，比丘！所問為如是耶？」

[T1.709b05] 比丘答曰：「如是。世尊！」

[T1.709b06] 世尊告曰：「比丘！我所說甚多，謂正經、歌詠、記說、偈他、因緣、撰錄、本起、此說、生處、廣解、未曾有法及說義[1]，比丘。若有族姓子，我所說四句偈[2]，知義知法，趣法向法，趣順梵行，比丘！說多聞比丘無復過是，比丘！如是多聞比丘，如來如是施設多聞比丘。」

[T1.709b12] 比丘白曰：「 善哉！善哉！唯然。世尊！」彼時，比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.709b14] 問曰：「世尊！多聞比丘明達智慧[3]，說多聞比丘明達智慧。世尊！云何多聞比丘明達智慧。云何施設多聞比丘明達智慧？」

[T1.709b16] 世尊聞已，歎曰：「 善哉！善哉！比丘，謂有賢道而有賢觀，極妙辯才，有善思惟。世尊！多聞比丘明達智慧，說多聞比丘明達智慧。世尊！云何多聞比丘明達智慧。云何施設多聞比丘明達智慧，比丘！所問為如是耶？」

[T1.709b21] 比丘答曰：「如是。世尊！」

[T1.709b21] 世尊告曰：「比丘！若比丘聞此苦，復以慧正見苦如真者，聞苦習[4]、苦滅、苦滅道，復以慧正見苦[5]滅道如真者，比丘！如是多聞比丘明達智慧，如來如是施設多聞比丘明達智慧。」

[T1.709b26] 比丘白曰：「 善哉！善哉！唯然。世尊！」彼時，比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.709b27] 問曰：「世尊！聰明比丘黠慧廣慧[1]，說聰明比丘黠慧廣慧。世尊！云何聰明比丘黠慧廣慧。云何施設聰明比丘黠慧廣慧？」

---

[1] 正經…說義～Sutta（正義），Geyya（歌詠），Veyyākaraṇa（記說），Gāthā（偈他），Udāna（此說），Itivuttaka.（本起），Jāaka（生處），Abbhuta-dhamma（未曾有法），Vedalla（廣解）

[2] [>四句偈]～Catuppādā gāthā.

[3] [>多聞比丘明達智慧]～Sutavā nibbedhikapañña.

[4] 習＝集【元】【明】

[5] 苦＋（集）【元】【明】

[T1.709c01] 世尊聞已，歎曰：「 善哉！善哉！比丘，謂有賢道而有賢觀，極妙辯才，有善思惟。世尊！云何聰明比丘黠慧廣慧[2]。云何施設聰明比丘黠慧廣慧，比丘！所問為如是耶？」

[T1.709c04] 比丘答曰：「如是。世尊！」

[T1.709c05] 世尊告曰：「若比丘不念自害，不念害他，亦不念俱害，比丘但念自饒益及饒益他，饒益多人，愍傷世間，為天、為人求義及饒益，求安隱快樂，比丘！如是聰明比丘黠慧廣慧，如是如來[3]施設聰明比丘黠慧廣慧。」

[T1.709c10] 比丘白曰：「 善哉！善哉！唯然。世尊！」

[T1.709c11] 彼時，比丘聞佛所說，善受善持，善誦習已，即從坐[4]起，稽首佛足，繞三匝而還。

[T1.709c12] 彼時，比丘聞世尊教，在遠離獨住，心無放逸，修行精勤，彼在遠離獨住，心無放逸，修行精勤已，族姓子所為，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道者，唯無上梵行訖，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已[辯>辦]，不更受有，知如真，彼尊者知法已，乃至得阿羅訶[5]。

[T1.709c19] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.709c21] 心經第一竟[6](千五十四字)[7]，

（一七三）中阿含[8]心品

(Ma.173)浮彌經[9] 第二(第四分別誦)[10]

[T1.709c24] 我聞如是。

---

[1] [>聰明比丘黠慧廣慧]～Paṇḍito mahāpañño.
[2] 慧＋（說聰明比丘黠慧廣慧世尊）十一字【宋】【元】【明】
[3] 如是如來＝如來如是【宋】【元】【明】
[4] 坐＝座【元】【明】
[5] 訶＝漢【宋】【元】【明】
[6]〔心經第一竟〕－【明】
[7]〔千五十四字〕－【宋】【元】【明】
[8]〔中阿含〕－【明】
[9] ～M. 126. Bhūmija sutta. (浮彌經)
[10]〔第四分別誦〕－【明】

[T1.709c24] 一時，佛遊王舍城，在竹林迦蘭哆園。

[T1.709c25] 爾時，尊者浮彌[1]，亦在王舍城無事禪室中。於是，尊者浮彌過夜平旦，著衣持鉢，欲入王舍城而行乞食，尊者浮彌復作是念：且置入王舍城乞食，我寧可往至王子耆婆先那童子家[2]。於是，尊者浮彌便往至王子耆婆先那童子家。」

[T1.710a05] 王子耆婆先那童子遙見尊者浮彌來，即從座[3]起，偏袒著衣，叉手向尊者浮彌，作如是說：「善來，尊者浮彌，尊者浮彌久不來此，可坐此床，尊者浮彌即便就坐。」

[T1.710a09] 王子耆婆先那童子稽首尊者浮彌足，却坐[4]一面，白曰：「尊者浮彌，我欲有所問，聽我問耶？」

[T1.710a11] 尊者浮彌答曰：「王童子，欲問便問，我聞已當思。」

[T1.710a12] 王童子便問尊者浮彌，或有沙門梵志來詣我所，而語我曰：「王童子，有人作願行正梵行，彼必得果，或無願，或願無願，或非有願非無願行正梵行，彼必得果，尊者浮彌，尊師何意、云何說？」

[T1.710a16] 尊者浮彌告曰：「王童子，我不面從世尊聞，亦不從諸梵行聞，王童子，世尊或如是說，或有人作願行正梵行，彼必得果，或無願，或願無願，或非有願非無願行正梵行，彼必得果。」

[T1.710a20] 王童子白曰：「若尊者浮彌尊師如是意、如是說者，此於世間，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，最在其上，尊者浮彌，可在此食，尊者浮彌默然而受，王童子知尊者浮彌默然受已，即從坐起，自行澡水，以極美淨妙種種豐饒食噉含消，自手酏酌，令得飽滿，食訖收器，行澡水已，取一小床別坐聽法，尊者浮彌為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，從*坐起去，往詣佛所，稽首佛足，却坐一面，與王童子所共論者盡向佛說。」

[T1.710b02] 世尊聞已，告曰：「浮彌，何意不為王童子說四喻耶？」

[T1.710b03] 尊者浮彌問曰：「世尊！何謂四喻？」

---

[1] [>浮彌]～Bhūmija.
[2] [>王子耆婆先那童子家]～Jayasenassa rājakumārassa nivesana.
[3] 座＝坐【宋】【元】【明】
[4] 坐＝座【元】【明】

[T1.710b04] 世尊答曰：「浮彌。若有沙門、梵志邪見、邪見定，彼作願行行邪梵行，必不得果，無願、願無願、非有願非無願行邪梵行，必不得果。所以者何？以邪求果，謂無道也。浮彌，猶如有人欲得乳者而[(殼-一)/牛]牛角，必不得乳，無願、願無願、非有願非無願人欲得乳而[(殼-一)/牛]牛角，必不得乳。所以者何？以邪求乳，謂[(殼-一)/牛]牛角也。如是，浮彌。若有沙門、梵志邪見、邪見定，彼作願行行邪梵行，必不得果，無願、願無願、非有願非無願行邪梵行，必不得果。所以者何？以邪求果，謂無道也。」

[T1.710b15]「浮彌。若有沙門、梵志正見、正見定，彼作願行行正梵行，彼必得果，無願、願無願、非有願非無願行正梵行，彼必得果。所以者何？以正求果，謂有道也。浮彌，猶如有人欲得乳者，飽飲飼[1]牛而[(殼-一)/牛]牛乳，彼必得乳，無願、願無願、非有願非無願人欲得乳，飽飲*飼牛而[(殼-一)/牛]牛乳，彼必得乳。所以者何？以正求乳，謂[(殼-一)/牛]牛乳也。如是，浮彌。若有沙門、梵志正見、正見定，彼作願行行正梵行，彼必得果，無願、願無願、非有願非無願行正梵行，彼必得果。所以者何？以正求果，謂有道也。」

[T1.710b26]「浮彌。若有沙門、梵志邪見、邪見定，彼作願行行邪梵行，必不得果，無願、願無願、非有願非無願行邪梵行，必不得果。所以者何？以邪求果，謂無道也。浮彌，猶如有人欲得*酥者，以器盛水，以抨抨之，必不得酥[2]，無願、願無願、非有願非無願人欲得*酥，以器盛水，以抨抨之，必不得*酥。所以者何？以邪求*酥，謂抨水也。如是，浮彌。若有沙門、梵志邪見、邪見定，彼作願行行邪梵行，必不得果，無願、願無願、非有願非無願行邪梵行，必不得果。所以者何？以邪求果，謂無道也。」

[T1.710c08]「浮彌。若有沙門、梵志正見、正見定，彼作願行行正梵行，彼必得果，無願、願無願、非有願非無願行正梵行，彼必得果。所以者何？以正求果，謂有道也。浮彌，猶如有人欲得酥者，以器盛酪，以抨抨之，彼必得*酥，無願、願無願、非有願非無願人欲得*酥，以器盛酪，以抨抨之，彼必得*酥。所以者何？以正求酥，謂抨酥也。如是，浮彌。若有沙門、梵志正見、正見定，彼作願行行正梵行，彼必得果，無願、願無願、非有願非無願行正梵行，彼必得果。所以者何？以正求果，謂有道也。」

[T1.710c20]「 浮彌。若有沙門、梵志邪見、邪見定，彼作願行行邪梵行，必不得果，無願、願無願、非有願非無願行邪梵行，必不得果。所以者何？以邪求果，謂無道也。浮彌，猶如有人欲得油者，以笮[3]具盛沙，以冷[4]水漬而取壓之，必不得油，無願、願無願、非有願非無願人欲得油，以*笮具盛沙，以冷水

---

[1] 飼＝牸【宋】＊
[2] 酥＝蘇【宋】＊
[3] 笮＝柞【宋】，＝控【元】【明】＊
[4] 冷＝於【元】

漬而取壓之，必不得油。所以者何？以邪求油，謂壓沙也。如是，浮彌。若有沙門、梵志邪見、邪見定，彼作願行行邪梵行，必不得果，無願、願無願、非有願非無願行邪梵行，必不得果。所以者何？以邪求果，謂無道也。」

[T1.711a03]「浮彌。若有沙門、梵志正見、正見定，彼作願行行正梵行，彼必得果，無願、願無願、非有願非無願行正梵行，彼必得果。所以者何？以正求果，謂有道也。猶如有人欲得油者，以*笮具盛麻子，以煖[1]湯漬而取壓之，彼必得油，無願、願無願、非有願非無願人欲得油，以*笮具盛麻子，以*煖湯漬而取壓之，彼必得油。所以者何？以正求油，謂壓麻子也。如是，浮彌。若有沙門、梵志正見、正見定，彼作願行行正梵行，彼必得果，無願、願無願、非有願非無願行正梵行，彼必得果。所以者何？以正求果，謂有道也。」

[T1.711a15]「浮彌。若有沙門、梵志邪見、邪見定，彼作願行行邪梵行，必不得果，無願、願無願、非有願非無願行邪梵行，必不得果。所以者何？以邪求果，謂無道也。浮彌，猶如有人欲得火者，以濕木作火母，以濕鑽鑽，必不得火，無願、願無願、非有願非無願人欲得火，以濕木作火母，以濕鑽鑽，必不得火。所以者何？以邪求火，謂鑽濕木也。如是，浮彌。若有沙門、梵志邪見、邪見定，彼作願行行邪梵行，必不得果，無願、願無願、非有願非無願行邪梵行，必不得果。所以者何？以邪求果，謂無道也。」

[T1.711a26]「浮彌。若有沙門、梵志正見、正見定，彼作願行行正梵行，彼必得果，無願、願無願、非有願非無願行正梵行，彼必得果。所以者何？以正求果，謂有道也。浮彌，猶如有人欲得火者，以燥木作火母，以燥鑽鑽，彼必得火，無願、願無願、非有願非無願人欲得火，以燥木作火母，以燥鑽鑽，彼必得火。所以者何？以正求火，謂鑽燥木也。如是，浮彌。若有沙門、梵志正見、正見定，彼作願行行正梵行，彼必得果，無願、願無願、非有願非無願行正梵行，彼必得果。所以者何？以正求果，謂有道也。浮彌，若汝為王童子說此四喻者，王童子聞已必大歡喜，供養於汝，盡其形壽，謂衣被、飲[2]食、臥具、湯藥及餘種種諸生活具。」

[T1.711b12] 尊者浮彌白曰：「世尊！我本未曾聞此四喻，何由得說？唯今始從世尊聞之。」

[T1.711b14] 佛說如是，尊者浮彌及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.711b16] 浮彌經第二竟[3](二千八十三字)[1]，

---

[1] 煖＝暖【明】＊
[2] 飲＝飯【宋】【元】【明】
[3]〔浮彌經…竟〕－【明】

（一七四）中阿含[2]心品

(Ma.174)受法經[3] 第三(第四分別誦)[4]

[T1.711b19] 我聞如是。

[T1.711b19] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.711b20] 爾時，世尊告諸比丘：「世間真實有四種受法[5]。云何為四？或有受法現樂當來受苦報，或有受法現苦當來受樂報，或有受法現苦當來亦受苦報，或有受法現樂當來亦受樂報。」

[T1.711b24]「云何受法現樂當來受苦報，或有沙門、梵志，快莊嚴女共相娛樂，作如是說：『此沙門、梵志於欲見當來有何恐怖，有何災患，而斷於欲，施設斷欲，此快莊嚴於女身體樂更樂觸。』彼與此女共相娛樂，於中遊戲，彼受此法，成具足已，身壞命終，趣至惡處，生地獄中，方作是念：『彼沙門、梵志於欲見此當來恐怖，見此災患故，斷於欲，施設斷欲，我等因欲、諍欲、緣欲故，受如是極苦、甚重苦也。』」

[T1.711c04]「猶春後月，日中極熱，有葛藤[6]子，曰[7]炙圯[8]迸，墮一娑羅[9]樹下，彼時，娑羅樹神因此故而生恐怖。於是，彼樹神若邊傍種子村神、村百穀藥木有親親朋友樹神，於種子見當來有恐怖、有災患故，便往至彼樹神所，而慰勞曰：『樹神勿怖，樹神勿怖，今此種子或為鹿食，或孔雀食，或風吹去，或村[10]火燒，或野火燒，或敗壞不成種子。如是，樹神，汝得安隱。若此種子非為鹿食，非孔雀食，非風吹去，非村火燒，非野火燒，亦非敗壞不成種子，此種子不缺不穿，亦不剖坼[11]，不為風、雨、日所中傷，得大雨漬，便速生也。』」

---

[1]〔二千…字〕－【明】
[2]〔中阿含〕－【明】
[3] 受法經＋（上）【明】，～M. 45. Dhammasamādāna sutta.(Cūḷadhammasamādānasuttaṁ) (得法小經)
[4]〔第四分別誦〕－【明】
[5] [>四種受法]～Cattāri dhammasamādānāni.
[6] 藤＝騰【宋】
[7] 曰＝日【明】
[8] 圯＝岸【宋】，＝坼【元】【明】
[9] [>娑羅]～Sāla.
[10] 村＝得【宋】
[11] 剖坼＝剖拆【宋】＊

[T1.711c16]「彼樹神而作是念：『以何等故，彼邊傍種子村神、村百穀藥木親親朋友樹神，於種子見當來有何恐怖、有何災患，而來慰勞我言，樹神勿怖，樹神勿怖，樹神，此子或為鹿食，或[1]孔雀食，或風吹去，或村火燒，或野火燒，或敗壞不成種子。如是，樹神，汝得安隱。若此種子非為鹿食，非孔雀食，非風吹去，非村火燒，非野火燒，亦非敗壞不成種子，此種子不缺不穿，亦不*剖坼，不為風、雨、日所中傷，得大雨漬，便速生也。成莖枝葉柔軟成節，觸體喜悅，此莖枝葉柔軟成節，觸體喜悅，樂更樂觸。』」

[T1.711c27]「此緣樹成大枝節葉，纏裹彼樹，覆蓋在上，覆蓋在上已，彼樹神方[2]作是念：『彼邊傍種子村神、村百穀藥木親親朋友樹神，於種子見此當來恐[3]怖，見此[4]災患故，而來慰勞我言，樹神勿怖[5]，樹神勿怖，此[6]種子或為鹿食，或孔雀食，或風吹去，或村火燒，或野火燒，或敗壞不成種子。如是，樹神，汝得安隱。若此種子非為鹿食，非孔雀食，非風吹去，非村火燒，非野火燒，亦非敗壞不成種子，此種子不缺不穿，亦不剖坼，不為風、雨、日所中傷，得大雨漬，便速生也。我因種子、緣種子故，受此極苦甚重苦也。』」

[T1.712a10]「如是，或有沙門、梵志，快莊嚴女共相娛樂，作如是說：『此沙門、梵志於欲見當來有何恐怖，有何災患，而斷於欲，施設斷欲，此快莊嚴於女身體樂更樂觸。』彼與此女共相娛樂，於中遊戲，彼受此法，成具足已，身壞命終，趣至惡處，生地獄中，方作是念：『彼沙門、梵志於欲見此當來恐怖，見此災患故，斷於欲，施設斷欲，我等因欲、諍欲、緣欲故，受如是極苦甚重苦也。』是謂受法現樂當來受苦報。」

[T1.712a19]「云何受法現苦當來受樂報，或有一自然重濁欲、重濁恚、重濁癡，彼數隨欲心，受苦憂慼，數隨恚心、癡心，受苦憂慼，彼以苦以憂，盡其形壽，修行梵行，乃至啼泣墮淚，彼受此法，成具足已，身壞命終，必昇善處，生於天中，是謂受法現苦當來受樂報。」

[T1.712a25]「云何受法現苦當來亦受苦報，或有沙門、梵志裸形無衣，或以手為衣，或以葉為衣，或以珠為衣，或不以瓶取水，或不以槌取水，不食刀杖劫抄之食，不食欺妄食，不自往，不遣信，不來尊，不善尊、不住尊。若有二人食，不在中食，不懷妊家食，不畜狗家食，家有糞蠅飛來而不食，不噉魚，不食肉，不飲酒，不飲惡水，或都不飲，學無飲行，或噉一口，以一口為足，或二、三、四，乃至七口，以七口為足，或食一得，以一得為足，或二、三、

---

[1] 或＋（為）【宋】【元】【明】
[2] 方＝而【宋】【元】【明】
[3] （有何）＋恐【宋】
[4] 見此＝有何【宋】
[5] 怖＝恐【宋】【元】【明】
[6] （樹神）＋此【宋】【元】【明】

四，乃至七得，以七得為足，或日一食，以一食為足，或二、三、四、五、六、七日、半月、一月一食，以一食為足，或食菜茄，或食稗子，或食[榞-天+示]米，或食雜[麩-夫+黃]，或食頭頭邏食[1]，或食麁[2]食，或至無事處，依於無事，或食根，或食果，或食自落果，或持連合衣，或持毛衣，或持頭舍衣，或持毛頭舍衣，或持全皮，或持穿皮，或持全穿皮，或持散髮，或持編髮，或持散編髮，或有剃髮，或有剃鬚，或剃鬚髮，或有拔髮，或有拔鬚，或拔鬚髮，或住立斷坐，或修蹲行，或有臥刺，以刺為床，或有臥草[3]，以*草為床，或有事水，晝夜手抒，或有事火，竟昔[4]燃之，或事日、月、尊祐大德，叉手向彼，如此之比，受無量苦，學煩熱行，彼受此法，成具足已，身壞命終，必至惡處，生地獄中，是謂受法現苦當來亦受苦報。」

[T1.712b22]「云何受法現樂當來亦受樂報，或有一自然不重濁欲、不重濁恚、不重濁癡，彼不數隨欲心，受苦憂慼，不數隨恚心、癡心，受苦憂慼，彼以樂以喜，盡其形壽，修行梵行，乃至歡悅[5]心，彼受此法，成具足已，五下分結盡，化生於彼而般涅槃，得不退法，不還此世，是謂受法現樂當來亦受樂報，世間真實有是四種受法者，因此故說。」

[T1.712c01] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.712c03] 受法經第三竟[6](一千五百八十三字)[7]，

（一七五）中阿含[8]心品

(Ma.175)受法經[9] 第四(第四分別誦)[10]

[T1.712c05] 我聞如是。

[T1.712c05] 一時，佛遊拘樓瘦劍磨瑟曇拘樓都邑，

---

[1] 頭頭邏食＝頭頭羅食【宋】【元】【明】
[2] 麁＝鹿【宋】
[3] 草＝菓【宋】【元】，＝果【明】＊
[4] 昔＝宿【元】【明】
[5] 悅＝喜【宋】【元】【明】
[6]〔受法…竟〕－【明】
[7]〔一千五百八十三字〕－【宋】【元】【明】
[8]〔中阿含〕－【明】
[9] 受法經＋（下）【明】，～M. 46. Dhammasamādāna sutta.(Mahādhammasamādāna- suttaṁ) (得法大經)，No.83.《應法經》(大正 1.902b)
[10]〔第四分別誦〕－【明】

[T1.712c06] 爾時，世尊告諸比丘：「此世間如是欲、如是望[1]、如是愛、如是樂、如是意，令不喜、不愛、不可法滅，喜、愛、可法生，彼如是欲、如是望[2]、如是愛、如是樂、如是意，然不喜、不愛、不可法生，喜、愛、可法滅，此是癡法，我法甚深，難見、難覺、難達，如是我法甚深，難見、難覺、難達，不喜、不愛、不可法滅，喜、愛、可法生，是不癡法。」

[T1.712c13]「世間真實有四種受法。云何為四？或有受法現樂當來受苦報，或有受法現苦當來受樂報，或有受法現苦當來亦受苦報，或有受法現樂當來亦受樂報。云何受法現樂當來受苦報，或有一自樂自喜殺生，因殺生，生樂生喜，彼自樂自喜不與取、邪婬、妄言，乃至邪見，因邪見，生樂生喜，如是身樂、心樂，不善從、不善生，不趣智、不趣覺、不趣涅槃，是謂受法現樂當來受苦報。」

[T1.712c21]「云何受法現苦當來受樂報，或有一自苦自憂斷殺，因斷殺，生苦生憂，彼自苦自憂斷不與取、邪婬、妄言乃至斷邪見，因斷邪見，生苦生憂，如是身苦、心苦，善從、善生，趣智、趣覺、趣於涅槃，是謂受法現苦當來受樂報，

[T1.712c26]「云何受法現苦當來亦受苦報，或有一自苦自憂殺生，因殺生，生苦生憂，彼自苦自憂不與取、邪婬、妄言乃至邪見，因邪見生苦、生憂，如是身苦、心苦，不善從、不善生，不趣智、不趣覺、不趣涅槃，是謂受法現苦當來亦受苦報。」

[T1.713a03]「云何受法現樂當來亦受樂報，或有一自樂自喜斷殺，因斷殺，生樂生喜，彼自樂自喜斷不與取、邪婬、妄言乃至斷邪見，因斷邪見，生樂生喜，如是身樂、心樂，善從、善生，趣智、趣覺、趣於涅槃，是謂受法現樂當來亦受樂報。」

[T1.713a08]「若有受法現樂當來受苦報，彼癡者不知如真，此受法現樂當來受苦報，不知如真已，便習行不斷，習行不斷已，便不喜、不愛、不可法生，喜、愛、可法滅，猶如阿摩尼藥[3]，一分好色香味，然雜以毒，或有人為病故服，服時好色香味，可口而不傷咽，服已在腹，便不成藥，如是此受法現樂當來受苦報，彼癡者不知如真，此受法現樂當來受苦報，不知如真已，便習行不斷，習行不斷已，便不喜、不愛、不可法生，喜、愛、可法滅，是謂癡法。」

---

[1] 望＝婬【元】【明】
[2] 望＝婬【明】
[3] 阿摩尼藥＝阿磨尼藥【宋】【元】【明】～Āpānīyakaṃsa.

[T1.713a18]「若有受法現苦當來受樂報，彼癡者不知如真，此受法現苦當來受樂報，不知如真已，便不習行而斷之，不習行斷已，便不喜、不愛、不可法生，喜、愛、可法滅，是謂癡法。」

[T1.713a22]「若有受法現苦當來亦受苦報，彼癡者不知如真，此受法現苦當來亦受苦報，不知如真已，便習行不斷，習行不斷已，便不喜、不愛、不可法生，喜、愛、可法滅，猶如大小便，復雜以毒，或有人為病故服，服時惡色臭無味，不可口而傷咽，服已在腹便不成藥，如是此受法現苦當來亦受苦報，彼癡者不知如真，此受法現苦當來亦受苦報，不知如真已，便習行不斷，習行不斷已，便不喜、不愛、不可法生，喜、愛、可法滅，是謂癡法。」

[T1.713b03]「若有受法現樂當來亦受樂報，彼癡者不知如真，此受法現樂當來亦受樂報，不知如真已，便不習行而斷之，不習行斷已，便不喜、不愛、不可法生，喜、愛、可法滅，是謂癡法，彼習行法不知如真，不習行法不知如真，習行法不知如真，不習行法不知如真已，不習行法習，習行法不習，不習行法習，習行法不習已，便不喜，不愛、不可法生，喜、愛、可法滅，是謂癡法。」

[T1.713b11]「若有受法現樂當來受苦報，彼慧者知如真，此受法現樂當來受苦報，知如真已，便不習行而斷之，不習行斷已，便喜、愛、可法生，不喜、不愛、不可法滅，是謂慧法。若有受法現苦當來受樂報，彼慧者知如真，此受法現苦當來受樂報，知如真已，便習行不斷，習行不斷已，便喜、愛、可法生，不喜、不愛、不可法滅，猶如大小便和若干種藥，或有人為病故服，服時惡色臭無味，不可口而傷咽，服已在腹便成藥，如是此受法現苦當來受樂報，彼慧者知如真，此受法現苦當來受樂報，知如真已，便習行不斷，習行不斷已，便喜、愛、可法生，不喜、不愛、不可法滅，是謂慧法。」

[T1.713b24]「若有受法現苦當來亦受苦報，彼慧者知如真，此受法現苦當來亦受苦報，知如真已，便不習行而斷之，不習行斷已，便喜、愛、可法生，不喜、不愛、不可法滅，是謂慧法。若有受法現樂當來亦受樂報，彼慧者知如真，此受法現樂當來亦受樂報，知如真已，便習行不斷，習行不斷已，便喜、愛、可法生，不喜、不愛、不可法滅，猶如酥[1]、蜜和若干種藥，或有人為病故服，服時好色香味，可口而不傷咽，服已在腹便成藥，如是此受法現樂當來亦受樂報，彼慧者知如真，此受法現樂當來亦受樂報，知如真已，便習行不斷，習行不斷已，便喜、愛、可法生，不喜、不愛、不可法滅，是謂慧法，彼習行法知如真，不習行法知如真，習行法知如真，不習行法知如真已，便習行法習，不習行法不習，習行法習，不習行法不習已，便喜、愛、可法生，不喜、不愛、不可法滅，是謂慧法，世間真實有是四種受法者，因此故說。」

[1] 酥＝蘇【聖】

[T1.713c13] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.713c15] 受法經第四竟[1](一千五百七十五字)[2]，

中阿含經卷第四十五(六千二百九十五字)[3]

中阿含經

卷第四十六 (Ma.176~177)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（一七六）心品

(Ma.176)行禪經 第五(第四分別誦)[4]

[T1.713c22] 我聞如是。

[T1.713c22] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.713c23] 爾時，世尊告諸比丘：「世間真實有四種行禪者。云何為四？或有行禪者熾盛而謂衰退，或有行禪者衰退而謂熾盛，或有行禪者衰退則知衰退如真，或有行禪者熾盛則知熾盛如真。」

[T1.713c27]「云何行禪者熾盛而謂衰退，彼行禪者離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，得初禪成就遊，彼心修習正思，則從初禪趣第二禪，是勝息寂，彼行禪者便作是念：『我心離本相，更趣餘處，失初禪，滅定也。』彼行禪者不知如真，我心修習正思，快樂息寂，則從初禪趣第二禪，是勝息寂，彼不知如真已，於如退轉，意便失定，如是行禪者熾盛而謂衰退。」

---

[1]〔受法…竟〕－【明】
[2]〔一千五百七十五字〕－【宋】【元】【明】
[3] 六千二百九十五字＝第四分別誦【宋】【元】，－【明】
[4]〔第四分別誦〕－【元】【明】

[T1.714a06]「復次，行禪者覺、觀已息，內靖[1]、一心，無覺、無觀，定生喜、樂，得第二禪成就遊，彼心修習正思，從第二禪趣第三禪，是勝息寂，彼行禪者便作是念：『我心離本相，更趣餘處，失第二禪，滅定也。』彼行禪者不知如真，我心修習正思，快樂息寂，從第二禪趣第三禪，是勝息寂，彼不知如真已，於如退轉，意便失定，如是行[2]禪者熾盛而謂衰退。」

[T1.714a14]「復次，行禪者離於喜欲，捨無求遊，正念正智而身覺樂，謂聖所說、聖所捨、念、樂住、室[3]，得第三禪成就遊，彼心修習正思，從第三禪趣第四禪，是勝息寂，彼行禪者便作是念：『我心離本相，更趣餘處，失第三禪，滅定也。』彼行禪者不知如真，我心修習正思，快樂息寂，從第三禪趣第四禪，是勝息寂，彼不知如真已，於如退轉，意便失定，如是行禪者熾盛而謂衰退。」

[T1.714a22]「復次，行禪者樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦不樂、捨、念、清淨，得第四禪成就遊，彼心修習正思，從第四禪趣無量空處，是勝息寂，彼行禪者便作是念：『我心離本相，更趣餘處，失第四禪，滅定也。』彼行禪者不知如真，我心修習正思，快樂息寂，從第四禪趣無量空處，是勝息寂，彼不知如真已，於如退轉，意便失定，如是行禪者熾盛而謂衰退。」

[T1.714b01]「復次，行禪者度一切色想，滅有對[4]想，不念若干想，無量空，是無量空處成就遊，彼心修習正思，從無量空處趣無量識處，是勝息寂，彼行禪者便作是念：『我心離本相，更趣餘處，失無量空處，滅定也。』彼行禪者不知如真，我心修習正思，快樂息寂，從無量空處趣無量識處，是勝息寂，彼不知如真已，於如退轉，意便失定，如是行禪者熾盛而謂衰退。」

[T1.714b09]「復次，行禪者度一切無量空處，無量識，是無量識處成就遊，彼心修習正思，從[5]無量識處趣無所有處，是勝息寂，彼行禪者便作是念：『我心離本相，更趣餘處，失無量識處，滅定也。』彼行禪者不知如真，我心修習正思，快樂息寂，從無量識處趣無所有處，是勝息寂，彼不知如真已，於如退轉，意便失定，如是行禪者熾盛而謂衰退。」

[T1.714b17]「復次，行禪者度一切無量識處，無所有，是無所有處成就遊，彼心修習正思，從無所有處趣非有想非無想處，是勝息寂，彼行禪者便作是念：『我心離本相，更趣餘處，失無所有處，滅定也。』彼行禪者不知如真，我心修習正思，快樂息寂，從無所有處趣非有想非無想處，是勝息寂，彼不知如真已，於如退轉，意便失定，如是行禪者熾盛而謂衰退。」

---

[1] 靖＝靜【宋】【元】【明】【聖】＊
[2] 行＝彼【宋】
[3] 室＝定【宋】【元】【明】
[4] 對＝礙【聖】＊
[5] 從＝彼【宋】【元】

[T1.714b25]「云何行禪者衰退而謂熾盛，彼行禪者離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，得初禪成就遊，彼思餘小想，修習第二禪道，彼行禪者便作是念：『我心修習正思，快樂息寂，則從初禪趣第二禪，是勝息寂。』彼行禪者不知如真，寧可思厭相應想[1]入初禪，不應思餘小想入第二禪，彼不知如真已，不覺彼心而便失定，如是行禪者衰退而謂熾盛。」

[T1.714c04]「復次，行禪者覺、觀已息，內*靖、一心，無覺、無觀，定生喜、樂，得第二禪成就遊，彼思餘小想，修習第三禪道，彼行禪者便作是念：『我心修習正思，快樂息寂，從第二禪趣第三禪，是勝息寂。』彼行禪者不知如真，寧可思厭相應*想入第二禪，不應思餘小想入第三禪，彼不知如真已，不覺彼心而便失定，如是行禪者衰退而謂熾盛。」

[T1.714c12]「復次，行禪者離於喜欲，捨無求遊，正念正智而身覺樂，謂聖所說、聖所捨、念、樂住、室[2]，得第三禪成就遊，彼思餘小想，修習第四禪道，彼行禪者便作是念：『我心修習正思，快樂息寂，從第三禪趣[3]第四禪，是勝息寂。』彼行禪者不知如真，寧可思厭相應想入第三禪，不應思餘小想入第四禪，彼不知如真已，不覺彼心而便失定，如是行禪者衰退而謂熾盛。」

[T1.714c20]「復次，行禪者樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦不樂、捨、念、清淨，得第四禪成就遊，彼思餘小想，修習無量空處道，彼行禪者便作是念：『我心修習正思，快樂息寂，從第四禪趣無量空處，是勝息寂。』彼行禪者不知如真，寧可思厭相應想入第四禪，不應思餘小想入無量空處，彼不知如真已，不覺彼心而便失定，如是行禪者衰退而謂熾盛。」

[T1.714c28]「復次，行禪者度一切色想，滅有*對想，不念若干想，無量空，是無量空處成就遊，彼思餘小想，修習無量識處道，彼行禪者便作是念：『我心修習正思，快樂息寂，從無量空處趣無量識處，是勝息寂。』彼行禪者不知如真，寧可思厭相應想入無量空處，不應思餘小想入無量識處，彼不知如真已，不覺彼心而便失定，如是行禪者衰退而謂熾盛。」

[T1.715a07]「復次，行禪者度一切無量空處，無量識處，是無量識處成就遊，彼思餘小想，修習無所有處道，彼行禪者便作是念：『我心修習正思，快樂息寂，從無量識處趣至無所有處，是勝息寂。』彼行禪者不知如真，寧可思厭相應想入無量識處，不應思餘小想入無所有處，彼不知如真已，不覺彼心而便失定，如是行禪者衰退而謂熾盛。」

---

[1] 想＝相【聖】＊
[2] 室＝空【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 趣＝起【聖】

[T1.715a15]「復次，行禪者度一切無量識處，無所有，是無所有處成就遊，彼思餘小想，修習非有想非無想處道，彼行禪者便作是念：『我心修習正思，快樂息寂，從無所有處趣非有想非無想處，是勝息寂。』彼行禪者不知如真，寧可思厭相應想入無所有處，不應思餘小想入非有想非無想處，彼不知如真已，不覺[1]彼心而便失定，如是行禪者衰退而謂熾盛。」

[T1.715a23]「云何行禪者衰退則知衰退如真，彼行禪者所行、所相[2]、所標，度一切無所有處，非有想非無想，是非有想非無想處成就遊，彼不受此行，不念此，*相、標，唯行無所有處相應念想本退具，彼行禪者便作是念：『我心離本相，更趣餘處，失非有想非無想處，滅定也。』彼知如真已，於如不退，意不失定，如是行禪者衰退則知衰退如真。」

[T1.715b02]「復次，行禪者所行、所相、所標，度一切無量識處，無所有，是無所有處成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行無量識處相應念想本所行[3]，彼行禪者便作是念：『我心離本相，更趣餘處，失無所有處，滅定也。』彼知如真已，於如不退，意不失定，如是行禪者衰退則知衰退如真。」

[T1.715b08]「復次，行禪者所行、所相、所標，度一切無量空處，無量識，是無量識處成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行無量空處相應念想本退具，彼行禪者便作是念：『我心離本相，更趣餘處，失無量空處，滅定也。』彼知如真已，於如不退，意不失定，如是行禪者衰退則知衰退如真。」

[T1.715b14]「復次，行禪者所行、所相、所標，度一切色想，滅有*對想，不念若干想，無量空，是無量空處成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行色樂相應念想本退具，彼行禪者便作是念：『我心離本相，更趣餘處，失無量空處，滅定也。』彼知如真已，於如不退，意不失定，如是行禪者衰退則知衰退如真。」

[T1.715b21]「復次，行禪者所行、所相、所標，樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦[4]不樂、捨、念、清淨，得第四禪成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行第三禪相應念想本退具，彼行禪者便作是念：『我心離本相，更趣餘處，失第四禪，滅定也。』彼知如真已，於如不退，意不失定，如是行禪者衰退則知衰退如真。」

[T1.715b28]「復次，行禪者所行、所相、所標，離於喜欲，捨無求遊，正念正智而身覺樂，謂聖所說、聖所捨、念、樂住、*室，得第三禪成就遊，彼不受此

---

[1] 不覺＝覺不【聖】
[2] 相＝想【元】【明】＊
[3] 所行＝退具【明】
[4] 苦＝喜【明】

行，不念此相、標，唯行第二禪相應念想本退具，彼行禪者便作是念：『我心離本相，更趣餘處，失第三禪，滅定也。』彼知如真已，於如不退，意不失定，如是行禪者衰退則知衰退如真。」

[T1.715c06]「復次，行禪者所行、所相、所標，覺、觀已息，內*靖、一心，無覺、無觀，定生喜、樂，得第二禪成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行初禪相應念想本退具，彼行禪者便作是念：『我心離本相，更趣餘處，失第二禪，滅定也。』彼知如真已，於如不退，意不失定，如是行禪者衰退則知衰退如真。」

[T1.715c12] 復此，行禪者所行、所相、所標，離欲、離[1]惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，得初禪成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行欲樂相應念想本退具，彼行禪者便作是念：『我心離本相，更趣餘處，失初禪，滅定也。』彼知如真已，於如不退，意不失定，如是行禪者衰退則知衰退如真。」

[T1.715c19]「云何行禪者熾盛則知熾盛如真，彼行禪者離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，得初禪成就遊，彼心修習正思，快樂息寂，則從初禪趣第二禪，是勝息寂，彼行禪者便作是念：『我心修習正思，快樂息寂，則從初禪趣第二禪，是勝息寂。』彼知如真已，便覺彼心而不失定，如[2]是行禪者熾盛則知熾盛如真。」

[T1.715c26]「復次，行禪者覺、觀已息，內*靖、一心，無覺、無觀，定生喜、樂，得第二禪成就遊，彼心修習正思，快樂息寂，從第二禪趣第三禪，是勝息寂，彼行禪者便作是念：『我心修習正思，快樂息寂，從第二禪趣第三禪，是勝息寂。』彼知如真已，便覺彼心而不失定，如是行禪者熾盛則知熾盛如真。」

[T1.716a04]「復次，行禪者離於喜欲，捨無求遊，正念正智而身覺樂，謂聖所說、聖所捨、念、樂住、*室，得第三禪成就遊，彼心修習正思，快樂息寂，從第三禪趣第四禪，是勝息寂，彼行禪者便作是念：『我心修習正思，快樂息寂，從第三禪趣第四禪，是勝息寂。』彼知如真已，便覺彼心而不失定，如是行禪者熾盛則知熾盛如真。」

[T1.716a11]「復次，行禪者樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦不樂、捨、念、清淨，得第四禪成就遊，彼心修習正思，快樂息寂，從第四禪趣無量空處，是勝息寂，彼行禪者便作是念：『我心修習正思，快樂息寂，從第四禪趣無量空處，是勝息寂。』彼知如真已，便覺彼心而不失定，如是行禪者熾盛則知熾盛如真。」

---

[1]〔離〕－【宋】【元】【明】
[2] 如＝知【宋】【元】

[T1.716a17]「復次，行禪者度一切色想，滅有*對想，不念若干想，無量空，是無量空處成就遊，彼心修習正思，快樂息寂，從無量空處趣無量識處，是勝息寂，彼行禪者便作是念：『我心修習正思，快樂息寂，從無量空處趣無量識處，是勝息寂。』彼知如真已，便覺彼心而不失定，如是行禪者熾盛則知熾盛如真，

[T1.716a24]「復次，行禪者度一切無量空處，無量識，是無量識處成就遊，彼心修習正思，快樂息寂，從無量識處趣無所有處，是勝息寂，彼行禪者便作是念：『我心修習正思，快樂息寂，從無量識處趣無所有處，是勝息寂。』彼知如真已，便覺彼心而不失定，如是行禪者熾盛則知熾盛如真。」

[T1.716b02]「復次，行禪者度一切無量識處，無所有，是無所有處成就遊，彼心修習正思，快樂息寂，從無所有處趣非有想非無想處，是勝息寂，彼[1]行禪者便作是念：『我心修習正思，快樂息寂，從無所有處趣非有想非無想處，是勝息寂。』彼知如真已，便覺彼心而不失定，如是行禪者熾盛則知熾盛如真，世間實[2]有是四種行禪者，因此故說。」

[T1.716b10] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.716b12] 行禪經第五竟[3](二千五百七十七字)[4]，

（一七七）中阿含[5]心品

(Ma.177)說經 第六(第四分別誦)[6]

[T1.716b15] 我聞如是。

[T1.716b15] 一時，佛遊拘樓瘦劒摩[7]瑟曇拘樓都邑。

[T1.716b16] 爾時，世尊告諸比丘：「我今當為汝等說法，初妙、中妙、竟亦妙，有義有文，具足清淨，顯現梵行，名四種說經，如四種說經分別其義，諦聽，諦聽，善思念之，我今當說。」

[T1.716b20] 時，諸比丘受教而聽。

---

[1] 彼＝從【聖】
[2] （真）＋實【宋】【元】【明】
[3]〔行禪經…竟〕－【明】
[4]〔二千五百七十七字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[5]〔中阿含〕－【明】
[6]〔第四分別誦〕－【明】，＝第五分別誦【聖】
[7] 劒摩＝釼磨【聖】

[T1.716b20] 佛言：「云何四種說經分別其義。若有比丘所行、所相[1]、所標，離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，得初禪成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行欲樂相應念*想退轉具，彼比丘應當知，我生此法，不住、不進，亦復不厭，我生此法而令我退，然我此定不得久住，彼比丘應如是知。」

[T1.716b27]「復次，比丘所行、所相、所標，離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，得初禪成就遊，彼受此行，念此相、標，立念如法，令住一意，彼比丘應當知，我生此法，不退、不進，亦復不厭，我生此法能令我住[2]，而我此定必得久住，彼比丘應如是知。」

[T1.716c03]「復次，比丘所行、所相、所標，離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，得初禪成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行第二禪相應念想昇進具，彼比丘應當知，我生此法，不退、不住，亦復不厭，我生此法令我昇進，如是不久當得第二禪，彼比丘應如是知。」

[T1.716c09]「復次，比丘所行、所相、所標，離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，得初離[3]成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行滅息相應念想無欲具，彼比丘應當知，我生此法，不退、不住，亦不昇進，我生此法能令我厭，如是不久當得漏盡，彼比丘應如是知。」

[T1.716c15]「復次，比丘所行、所相、所標，覺、觀已息，內靖[4]、一心，無覺、無觀，定生喜、樂，得第二禪成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行初禪相應念想退轉具，彼比丘應當知，我生此法，不住、不進，亦復不厭，我生此法而令我退，然我此定不得久住，彼比丘應如是知。」

[T1.716c21]「復次，比丘所行、所相、所標，覺、觀已息，內*靖、一心，無覺、無觀，定生喜、樂，得第二禪成就遊，彼受此行，念此相、標，立念如法，令住一意，彼比丘應當知，我生此法，不退、不進，亦復不厭，我生此法能令[5]我住，而我此定必得久住，彼比丘應如是知。」

[T1.716c26]「復次，比丘所行、所相、所標，覺、觀已息，內靖、一心，無覺、無觀，定生喜、樂，得第二禪成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行第三禪相應念想昇進具，彼比丘應當知，我生此法，不退、不住，亦復不厭，我生此法令我昇進，如是不久當得第三禪，彼比丘應如是知。」

---

[1] 相＝想【元】【明】＊
[2] 住＝作【元】【明】
[3] 離＝禪【宋】【元】【明】【聖】＊
[4] 靖＝靜【宋】＊【元】＊【明】＊
[5] 令＝念【聖】

[T1.717a03]「復次，比丘所行、所相、所標，覺、觀已息，內*靖、一心，無覺、無觀，定生喜、樂，得第二禪成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行滅息相應念想無欲具，彼比丘應當知，我生此法，不退、不住，亦不昇進，我生此法能令我厭，如是不久當得漏盡，彼比丘應如是知。」

[T1.717a09]「復次，比丘所行、所相、所標，離於喜欲，捨無求遊，正念正智而身覺樂，謂聖所說、聖所捨、念、樂住、室[1]，得第三禪成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行第二禪相應念*想退轉具，彼比丘應當知，我生此法，不住、不進，亦復不厭，我生此法而令我退，然我此定不得久住，彼比丘應如是知。」

[T1.717a16]「復次，比丘所行、所相、所標，離於喜欲，捨無求遊，正念正智而身覺樂，謂聖所說、聖所捨、念、樂住、*室，得第三禪成就遊，彼受此行，念此相、標，立念如法，令住一意，彼比丘應當知，我生此法，不退、不進，亦復不厭，我生此法能令我住，而我此定必得久住，彼比丘應如是知。」

[T1.717a22]「復次，比丘所行、所相、所標，離於喜欲，捨無求遊，正念正智而身覺樂，謂聖所說、聖所捨、念、樂住、*室，得第三禪成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行第四禪相應念*想昇進具，彼比丘應當知，我生此法，不退、不住，亦復不厭，我生此法令我昇進，如是不久當得第四禪，彼比丘應如是知。」

[T1.717a28]「復次，比丘所行、所相[2]，所標，離於喜欲，捨無求[3]遊，正念正智而身覺樂，謂聖所說、聖所捨、念、樂住、*室，得第三禪成就遊，彼不受此行，不念此相[4]、標，唯行滅息相應念想無欲具，彼比丘應當知，我生此法，不退、不住，亦不昇進，我生此法能令我厭，如是不久當得漏盡，彼比丘應如是知。」

[T1.717b06]「復次，比丘所行、所相、所標，樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦不樂、捨、念、清淨，得第四禪成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行第三禪相應念*想退轉具，彼比丘應當知，我生此法，不住、不進，亦復不厭，我生此法而令我退，然我此定不得久住，彼比丘應如是知。」

[T1.717b12]「復次，比丘所行、所相、所標，樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦不樂、捨、念、清淨，得第四禪成就遊，彼受此行，念此相、標，立念如法，

---

[1] 室＝空【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 所相＝所退【元】，＝所想【明】
[3] 求＝取【聖】
[4] 相＝想【元】【明】＊

令住一意，彼比丘應當知，我生此法，不退、不進，亦復不厭，我生此法能令我住，而我此定必得久住，彼比丘應如是知。」

[T1.717b18]「復次，比丘所行、所相、所標，樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦不樂、捨、念、清淨，得第四禪成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行無量空處相應念想昇進具，彼比丘應當知，我生此法，不退、不住，亦復不厭，我生此法令我昇進，如是不久當得無量空處，彼比丘應如是知。」

[T1.717b24]「復次，比丘所行、所相、所標，樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦不樂、捨、念、清淨，得第四禪成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行滅息相應念想無欲具，彼比丘應當知，我生此法，不退、不住，亦不昇進，我生此法能令我厭，如是不久當得漏盡，彼比丘應如是知。」

[T1.717c01]「復次，比丘所行、所相、所標，度一切色想，滅有*對想，不念若干想，無量空，是無量空處成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行色樂相應念想退轉具，彼比丘應當知，我生此法，不住、不進，亦復不厭，我生此法而令我退，然我此定不得久住，彼比丘應如是知。」

[T1.717c07]「復次，比丘所行、所相、所標，度一切色想，滅有*對想，不念若干想，無量空，是無量空處成就遊，彼受此行，念此相、標，立念如法，令住一意，彼比丘應當知，我生此法，不退、不進，亦復不厭，我生此法能令我住，而我此定必得久住，彼比丘應如是知。」

[T1.717c12]「復次，比丘所行、所相、所標，度一切色想，滅有*對想，不念若干想，無量空，是無量空處成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行無量識處相應念想昇進具，彼比丘應當知，我生此法，不退、不住，亦復不厭，我生此法令我昇進，如是不久當得無量識處，彼比丘應如是知。」

[T1.717c19]「復次，比丘所行、所相、所標，度一切色想，滅有*對想，不念若干想，無量空，是無量空處成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行滅息相應念想無欲具，彼比丘應當知，我生此法，不退、不住，亦不昇進，我生此法能令我厭，如是不久當得漏盡，彼比丘應如是知。」

[T1.717c25]「復次，比丘所行、所相、所標，度一切無量空處，無量識，是無量識處成就遊，彼不受此行，不念此[想>相]、標，唯行無量空處相應念想退轉具，彼比丘應當知，我生此法，不住、不進，亦復不厭，我生此法而令我退，然[1]我此定不得久住，彼比丘應如是知。」

[1] 然＝樂【聖】

[T1.718a01]「復次，比丘所行、所相、所標，度一切無量空處，無量識，是無量識處成就遊，彼受此行，念此相、標，立念如法，令住一意，彼比丘應當知，我生此法，不退、不進，亦復不厭，我生此法能令我住，而我此定必得久住，彼比丘應如是知。」

[T1.718a07]「復次，比丘所行、所相、所標，度一切無量空處，無量識，是無量識處成就遊，彼不受此行，不念此相[1]、標，唯行無所有處相應念想昇進具，彼比丘應當知，我生此法，不退、不住，亦復不厭，我生此法令我昇進，如是不久當得無所有處，彼比丘應如是知。」

[T1.718a12]「復次，比丘所行、所相、所標，度一切無量空處，無量識，是無量識處成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行滅息*相應念想無欲具，彼比丘應當知，我生此法，不退、不住，亦不昇進，我生此法能令我厭，如是不久當得漏盡，彼比丘應如是知。」

[T1.718a18]「復次，比丘所行、所相、所標，度一切無量識處，無所有，是無所有處成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行無量識處相應念想退轉具，彼比丘應當知，我生此法，不住、不進[2]，亦復不厭，我生此法而令我退，然我此定不得久住，彼比丘應如是知。」

[T1.718a24]「復次，比丘所行、所相、所標，度一切無量識處，無所有，是無所有處成就遊，彼受此行，念此相、標，立念如法，令住一意，彼比丘應當知，我生此法，不退、不進，亦復不厭，我生此法能令我住，而我此定必得久住，彼比丘應如是知。」

[T1.718a29]「復次，比丘所行、所相、所標，度一切無量識處，無所有，是無所有處成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行非有想非無想處相應念想昇進具，彼比丘應當知，我生此法，不退、不住，亦復不厭，我生此法令我昇進，如是不久當得非有想非無想處，彼比丘應如是知。」

[T1.718b06]「復次，比丘所行、所相、所標，度一切無量識處，無所有，是無所有處成就遊，彼不受此行，不念此相、標，唯行厭相應念想無欲具，彼比丘應當知，我生此法，不退、不住，亦不昇進，我生此法能令我厭。如是，不久當得漏盡，彼比丘應如是知，有想有知，齊[3]是得知，乃至非有想非無想處行餘第一有，行禪比丘者，從是起當為彼說。」

[T1.718b14] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

---

[1] 相＝想【聖】＊
[2] 進＝退【宋】【元】【明】
[3] 齊＝齋【聖】

[T1.718b16] 說經第六竟 [1](二千八百二十字)[2]，

中阿含經卷第四十六(六千三百九十七字 [3])[4]

中阿含經

卷第四十七 (Ma.178~181)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（一七八）心品

(Ma.178)獵師經 [5] 第七(第四分別誦)[6]

[T1.718b24] 我聞如是。

[T1.718b24] 一時，佛遊王舍城，在竹林迦蘭哆 [7]園。

[T1.718b25] 爾時，世尊告諸比丘：「獵師飼鹿，不如是心，令鹿得肥、得色、得力、得樂、長壽，獵師飼鹿，如是心飼，唯欲近食，近 [8]食已，令憍恣放逸，放逸 [9]已，隨 [10]獵師、獵師眷屬，獵師飼鹿，如是心也。」

[T1.718b29]「第一群鹿近食獵師食，彼近食已，便憍恣放逸，放逸已，便隨獵師、獵師眷屬，如是彼第一群鹿不脫獵師、獵師眷屬境界。」

[T1.718c03]「第二群鹿而作是念：『第一群鹿近食獵師食，彼近食已，便憍恣放逸，*放逸已，便隨獵師、獵師眷屬，如是第一群鹿不脫獵師、獵師眷屬境界，

---

[1]〔說經第六竟〕－【明】
[2]〔二千八百二十字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[3] 六千三百九十七字＝第四分別誦【宋】【元】【聖】，－【明】
[4] ＋（光明皇后願文）【聖】
[5] ～M. 25. Nivāpa sutta. (撒餌經)
[6]〔第四分別誦〕－【明】
[7] 哆＝陀【宋】【元】【明】
[8] （使）＋近【宋】【元】【明】
[9] （彼）＋放逸【宋】＊【元】＊【明】＊
[10] （便）＋隨【宋】【元】【明】

我今寧可不食[1]獵師食，離於恐怖，依無事處，食草飲水耶？』第二群鹿作是念已，便捨獵師食，離於恐怖，依無事處，食草飲水，彼春後月諸草水盡，身體極羸[2]，氣力衰退，便隨獵師、獵師眷屬，如是彼第二群鹿亦復不脫獵師、獵師眷屬境界。」

[T1.718c11]「第三群鹿亦作是念：『第一、第二群鹿一切不脫獵師、獵師眷屬境界，我今寧可離獵師、獵師眷屬，依住不遠，住不遠已，不近食獵師食，不近食已，便不憍恣放逸，不放逸已，便不隨獵師、獵師眷屬。』第三群鹿作是念已，便離獵師、獵師眷屬，依住不遠，住不遠已，不近食獵師食，不近食已，便不憍恣放逸，不放逸已，便不隨獵師、獵師眷屬，彼獵師、獵師眷屬便作是念：『第三群鹿甚奇諂黠，極[3]諂黠。所以者何？食我食已，而不可得，我今寧可作長圍罝，作長圍罝已，便得第三群鹿所依住止。』獵師、獵師眷屬作是念已，便作長圍罝，作長圍罝已，便得第三群鹿所依住止，如是第三群鹿亦復不脫獵師、獵師眷屬境界。」

[T1.718c26]「第四群鹿亦作是念：『第一、第二、第三群鹿一切不脫獵師、獵師眷屬境界，我今寧可依住獵師、獵師眷屬所不至處，依住彼已，不近食獵師食，不近食已，便不憍恣放逸，不放逸已，便不隨獵師、獵師眷屬。』第四群鹿作是念已，便依住獵師、獵師眷屬所不至處，依住彼已，便不近食獵師食，不近食已，便不憍恣放逸，不放逸已，便不隨獵師、獵師眷屬，彼獵師、獵師眷屬復作是念：『第四群鹿甚奇猛[仁-二+(隹/乃)]，第一猛[仁-二+(隹/乃)]，若我逐彼，必不能得，餘鹿則當恐怖驚散，我今寧可捨罝第四群鹿。』獵師、獵師眷屬作是念已，則便捨罝，如是第四群鹿便得脫獵師、獵師眷屬境界。」

[T1.719a10]「比丘！我說此喻，欲令解義，我今說此當觀其義，獵師食者，當知五欲功德，眼知色、耳知聲、鼻知香、舌知味、身知觸，獵師食者，當知是五欲功德也。獵師者，當知是惡魔王也。獵師眷屬者，當知是魔王眷屬也。群鹿者，當知是沙門、梵志也。第一沙門、梵志近食魔王食，世間信施食，彼近食已，便憍恣放逸，*放逸已，便隨魔王、魔王眷屬，如是第一沙門、梵志不脫魔王[4]境界，猶如第一群鹿近食獵師食，彼近食已，便憍恣放逸，*放逸已，便隨獵師、獵師眷屬，如是第一群鹿不脫獵師、獵師眷屬境界，當觀彼第一沙門、梵志亦復如是。」

[T1.719a22]「第二沙門、梵志亦作是念：『第一沙門、梵志近食魔王食，世間信施食，彼近食已，便憍恣放逸，*放逸已，便隨魔王、魔王眷屬，如是彼第一沙

---

[1] 不食＝捨【宋】【元】【明】
[2] 體極羸＝極羸瘦【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 極＝第一【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 魔王＋（魔王眷屬）【宋】【元】【明】

門、梵志不脫魔王、魔王眷屬境界，我今寧可捨世間[1]信施食[2]，離於恐怖，依無事處，食果[3]及根[4]。』第二沙門、梵志作是念已，便捨世間信施*食，離於恐怖，依無事處，食*果及根，彼春後月諸*果根盡，身*體極羸，氣力衰退，衰退[5]已，便心解脫、慧解脫衰退，心解脫、慧解脫衰退已，便隨魔王、魔王眷屬，如是第二沙門、梵志亦不脫魔王、魔王眷屬境界，猶如第二群鹿而作是念：『第一群鹿近食獵師食，彼近食已，便憍恣放逸，*放逸已，便隨獵師、獵師眷屬，如是第一群鹿不脫獵師、獵師眷屬境界，我今寧可捨獵師食，離於恐怖，依無事處，食草飲水耶？』第二群鹿作是念已，便捨獵師食，離於恐怖，依無事處，食草飲水，彼春後月諸草水盡，身*體極羸，氣力衰退，便隨獵師、獵師眷屬，如是第二群鹿亦不脫獵師、獵師眷屬境界，當觀彼第二沙門、梵志亦復如是。」

[T1.719b14]「第三沙門、梵志亦作是念：『第一、第二沙門、梵志一切不脫魔王、魔王眷屬境界，我今寧可離魔王、魔王眷屬，依住不遠，住不遠已，不近食世間信施*食，不近食已，便不憍恣放逸，不放逸已，便不隨魔王、魔王眷屬。』第三沙門、梵志作是念已，便離魔王、魔王眷屬，依住不遠，住不遠已，便不近食世間信施*食，不近食已，便不憍恣放逸，不放逸已，便不隨魔王、魔王眷屬，然受持二見，有見及無見，彼受此二見故，便隨魔王、魔王眷屬，如是第三沙門、梵志亦不脫魔王、魔王眷屬境界。」

[T1.719b25]「猶如第三群鹿亦作是念：『第一、第二群鹿一切不脫獵師、獵師眷屬境界，我今寧可離獵師、獵師眷屬，依住不遠，住不遠已，不近食獵師食，不近食已，便不憍恣放逸，不放逸已，便不隨獵師、獵師眷屬。』第三群鹿作是念已，便離獵師、獵師眷屬，依住不遠，住不遠已，不近食獵師食，不近食已，便不憍恣放逸，不放逸已，便不隨獵師、獵師眷屬，彼獵師、獵師眷屬便作是念：『第三群鹿甚奇諂黠，*極諂黠。所以者何？食我食已，而不可得，我今寧可作長圍罝，作長圍罝已，便得第三群鹿所依住止。』獵師、獵師眷屬作是念已，便作長圍罝，作長圍罝已，便得第三群鹿所依住止，如是第三群鹿亦不脫獵師、獵師眷屬境界，所依者當知有見也。住止者當知無見也。當觀彼第三沙門、梵志亦復如是。」

[T1.719c12]「第四沙門、梵志亦作是念：『第一、第二、第三沙門、梵志一切不脫魔王、魔王眷屬境界，我今寧可依住魔王、魔王眷屬所不至處，依住彼已，不近食[6]世間信施*食，不近食已，便不憍恣放逸，不放逸已，便不隨魔王、魔

---

[1] （此）＋世間【宋】【元】【明】
[2] （飲）＋食【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 果＝菓【宋】＊
[4] 根＋（耶）【宋】【元】【明】
[5] （力）＋衰退【宋】【元】【明】
[6]〔食〕－【宋】【元】【明】

王眷屬。』第四沙門、梵志作是念已，便依住魔王、魔王眷屬所不至處，依住彼已，不近食世間信施*食，不近食已，便不憍恣放逸，不放逸已，便不隨魔王、魔王眷屬，如是第四沙門、梵志便脫魔王、魔王眷屬境界。」

[T1.719c22]「猶如第四群鹿亦作是念：『第一、第二、第三群鹿一切不脫獵師、獵師眷屬境界，我今寧可依住獵師、獵師眷屬所不至處，依住彼已，不近食獵師食，不近食已，便不憍恣放逸，不放逸已，便不隨獵師、獵師眷屬。』第四群鹿作是念已，便依住獵師、獵師眷屬所不至處，依住彼已，不近食獵師食，不近食已，便不憍恣放逸，不放逸已，便不隨獵師、獵師眷屬，彼獵師、獵師眷屬復作是念：『第四群鹿甚奇 [仁-二+(隹/乃)][1]猛，第一*[仁-二+(隹/乃)]猛，若我逐彼，必不能得，餘鹿則當恐怖驚散，我今寧可捨置第四群鹿。』彼獵師、獵師眷屬作是念已，則便捨置，如是第四群鹿便脫獵師、獵師眷屬境界，當觀彼第四沙門、梵志亦復如是。」

[T1.720a07]「比丘！當學如是所依住止，令魔王、魔王眷屬所不至處，何者魔王、魔王眷屬所不至處，謂比丘離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊，是謂魔王、魔王眷屬所不至處。復次，何者魔王、魔王眷屬所不至處，謂比丘心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，是謂魔王、魔王眷屬所不至處。」

[T1.720a18]「復次，何者魔王、魔王眷屬所不至處，謂比丘度一切色想，至非有想非無想處成就遊，是謂魔王、魔王眷屬所不至處。復次，何者魔王、魔王眷屬所不至處，謂比丘度一切非有想非無想處，想知滅身觸成就遊，慧見諸漏盡斷知，是謂魔王、魔王眷屬所不至處，比丘！如是所依住正，命[2]魔王、魔王眷屬所不至處，當學如是[3]。」

[T1.720a25] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.720a27] 獵師經第七竟[4](二千三百九十六字)[5]，

（一七九）中阿含[6]心品

---

[1] [仁-二+(隹/乃)]猛＝猛[仁-二+(隹/乃)]【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 正命＝止令【宋】【元】【明】
[3] 是＋（修）【宋】【元】【明】
[4]〔獵師…竟〕－【明】
[5]〔二千三百九十六字〕－【宋】【元】【明】
[6]〔中阿含〕－【明】

(Ma.179)五支物主經[1] 第八(第四分別誦)[2]

[T1.720b01] 我聞如是。

[T1.720b01] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.720b02] 爾時，五支物主[3]平[日>旦]出舍衛國，往詣佛所，欲見世尊供養禮事，五支物主便作是念：「且置往見佛世尊！或能宴坐及諸尊比丘，我今寧可詣一娑邏末利異學園[4]。」於是，五支物主便至比[5]道遊戲歡樂，近巾頭阿梨[6]，往詣*一娑邏末利異學園。

[T1.720b07] 彼時，*娑邏末利異學園中，有一異學沙門文祁子[7]，在於彼中為大宗主，眾人之師，眾所敬重，統領大眾五百異學師，彼在擾亂眾發高大音聲，其聲喧鬧，說若干種畜生之論，謂論王、論賊、論鬪諍、論飲食、論衣被、論婦人、論童女、論婬女、論世間、論邪道、論海中，如是比聚集，論若干種畜生之論，異學沙門文祁子遙見五支物主來，便自勅己眾，令默然住：「汝等默然，莫復語言，宜自收斂，此沙門瞿曇弟子五支物主來。若有沙門瞿曇在家弟子居舍衛國者，無過於五支物主。所以者何？彼愛樂默然，稱說默然，若彼見此眾默然者，或能來前。」

[T1.720b20] 彼時，異學沙門文祁子止己眾已，自默然住，

[T1.720b21] 於是，五支物主往詣異學沙門文祁子所，共相問訊，却坐一面，異學沙門文祁子語曰：「物主。若有四事，我施設彼成就善、第一善、無上士，得第一義、質直沙門。云何為四？身不作惡業、口不惡言，不行邪命、不念惡念，物主。若有此四事者，我施設彼成就善、第一善、無上士，得第一義、質直沙門。」

[T1.720b28]五支物主聞異學沙門文祁子所說，不是不非，從坐起去，如此所說，我自詣佛，當問此義，便往詣佛，稽首作禮，却坐一面，與異學沙門文祁子所共論者，盡向佛說。

---

[1] ～M. 78. Samaṇamaṇḍlkā sutta. (沙門文祁子經)
[2] 〔第四分別誦〕－【明】
[3] [>五支物主]～Pañcakaṅga thapati.
[4] 一娑邏…園＝一娑羅末利異學園【宋】＊【元】＊【明】＊～Ekasālaka Mallikā ārāma.
[5] 比＝此【宋】【明】，＝北【元】
[6] [>巾頭阿梨]～Tindukācīra.
[7] [>沙門文祁子]～Samaṇamaṇḍikāputta.

[T1.720c03] 世尊聞已，告曰：「物主，如異學沙門文祁子所說，若當爾者，嬰孩童子支節柔軟，仰向臥眠，亦當成就善、第一善、無上士，得第一義，質直沙門，物主，嬰孩童子尚無身想，況復作身惡業耶？唯能動身，物主，嬰孩童子尚無口想，況復惡言耶？唯能得啼，物主，嬰孩童子尚無命想，況復行邪命耶？唯有呻吟，物主，嬰孩童子尚無念想，況復惡念耶？唯念母乳，物主，若如異學沙門文祁子說者，如是嬰孩童子成就善、第一善、無上士，得第一義、質直沙門。」

[T1.720c13]「物主。若有四事，我施設彼成就善、第一善，然非無上士，不得第一義，亦非質直沙門。云何為四？身不作惡業，口不惡言，不行邪命，不念惡念，物主。若有此四事，我施設彼成就善、第一善，然非無上士，不得第一義，亦非質直沙門，物主，身業、口業者，我施設是戒，物主，念者，我施設是心所有與心相隨，物主，我說當知不善戒，當知不善戒從何而生，當知不善戒何處滅無餘，何處敗壞無餘，當知賢聖弟子云何行滅不善戒耶？物主，我說當知善戒，當知善戒從何而生，當知善戒何處滅無餘，何處敗壞無餘，當知賢聖弟子云何行滅善戒耶？物主，我說當知不善念，當知不善念從何而生，當知不善念何處滅無餘，何處敗壞無餘，當知賢聖弟子云何行滅不善念耶？物主，我說當知善念，當知善念從何而生，當知善念何處滅無餘，何處敗壞無餘，當知賢聖弟子云何行滅善念耶？」

[T1.721a02]「物主。云何不善戒耶？不善身行，不善口、意行，是謂不善戒，物主，此不善戒從何而生，我說彼所從生，當知從心生。云何為心，若心有欲、有恚、有癡，當知不善戒從是心生，物主，不善戒何處滅無餘，何處敗壞無餘，多聞聖弟子捨身不善業，修身善業，捨口、意不善業，修口、意善業，此不善戒滅無餘，敗壞無餘，物主，賢聖弟子云何行滅不善戒，若多聞聖弟子觀內身如身，至觀覺、心、法如法，賢聖弟子如是行者，滅不善戒也。」

[T1.721a12]「物主。云何善戒耶？善身業，善口、意業，是謂善戒，物主，此善戒從何而生，我說彼所從生，當知從心生。云何為心，若心無欲[無欲>]、無恚、無癡，當知善戒從是心生，物主，善戒何處滅無餘，何處敗壞無餘，若多聞聖弟子行戒不著戒，此善戒滅無餘，敗壞無餘，物主，賢聖弟子云何行滅善戒，若多聞聖弟子觀內身如身，至觀覺、心、法如法，賢聖弟子如是行者，滅善戒也。」

[T1.721a20]「物主。云何不善念耶？欲念、恚念、害念，是謂不善念，物主，不善念從何而生，我說彼所從生，當知從想生。云何為想，我[1]說想多種、無量種、若干種行，或欲想，或恚想，或害想，物主，眾生因欲界想故，生不善念，欲界相應。若有想者，因彼想故，生不善念，欲界相應，物主，眾生因

[1] 我＝戒【元】【明】

恚、害界想故，生不善念，恚、害界相應。若有想者，因彼想故，生不善念，恚、害界相應，此不善念從是想生，物主，不善念何處滅無餘，何處敗壞無餘，若多聞聖弟子離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，得初禪成就遊，此不善念滅無餘，敗壞無餘，物主，賢聖弟子云何行滅不善念，若多聞聖弟子觀內身如身，至觀覺、心、法如法，賢聖弟子如是行者，滅不善念也。」

[T1.721b06]「物主。云何善念耶？無欲念、無恚念、無害念，是謂善念，物主，善念從何而生，我說彼所從生，當知從想生。云何為想，我說想多種、無量種、若干種行，或無欲想，或無恚想，或無害想，物主，眾生因無欲界想故，生善念，無欲界相應。若有想者，因彼想故，生善念，無欲界相應，物主，眾生因無恚、無害界故，生善念無恚、無害界相應。若有想者，因彼想故，生善念無[慈>恚]、無害界相應，此善念從是想生，物主，善念何處滅無餘，何處敗壞無餘，若多聞聖弟子樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦不樂、捨、念、清淨，得第四禪成就遊，此善念滅無餘，敗壞無餘，物主，賢聖弟子云何行滅善念，若多聞聖弟子觀內身如身，至觀覺、心、法如法，賢聖弟子如是行者，滅善念也。」

[T1.721b21]「物主，若多聞聖弟子以慧觀不善戒知如真，從生不善戒知如真，此不善戒滅無餘，敗壞無餘，知如真以慧觀，賢聖弟子如是行者，滅不善戒知如真，以慧觀善戒知如真，從生善戒知如真，此善戒滅無餘，敗壞無餘，知如真以慧觀，賢聖弟子如是行者，滅善戒知如真，以慧觀不善念知如真，從生不善念知如真，此不善念滅無餘，敗壞無餘，知如真以慧觀，賢聖弟子如是行者，滅不善念知如真，以慧觀善念知如真，從生善念知如真，此善念滅無餘，敗壞無餘，知如真以慧觀，賢聖弟子如是行者，滅善念知如真。所以者何？因正見故生正志，因正志故生正語，因正語故生正業，因正業故生正命，因正命故生正方便，因正方便故生正念，因正念故生正定，賢聖弟子心如是定已，便解脫一切婬、怒、癡。」

[T1.721c09]「物主，賢聖弟子如是正心解脫已，便知一切生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，是謂學[1]見跡[2]成就八支[3]，漏盡阿羅訶[4]成就十*支，物主。云何學見*跡成就八*支，謂學正見，至學正定，是謂學見*跡成就八*支，物主。云何漏盡阿羅*訶成就十*支，謂無學正見，至無學正智，是謂漏盡阿羅*訶成就十*支，物主。若有十*支，我施設彼成就善、第一善、無上士，得第一義、質直沙門。」

---

[1] 學＝覺【聖】
[2] 跡＝迹【宋】【元】【明】【聖】＊
[3] 支＝枝【聖】＊
[4] 訶＝漢【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.721c18] 佛說如是，彼五*支物主及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.721c20] 五*支物主經第八竟 [1](二千一百七十八字)[2]，

（一八○）中阿含 [3]*心品

(Ma.180)瞿曇彌經 [4] 第九(第四分別誦)[5]

[T1.721c23] 我聞如是。

[T1.721c23] 一時，佛遊釋羇瘦 [6]，在加鞞羅衛尼拘類 [7]樹園。

[T1.721c24] 爾時，摩訶簸邏闍鉢提瞿曇彌 [8]持新金縷黃色衣往詣佛所，稽首佛足，却住一面，白曰：「世尊！此新金縷 [9]黃色衣我自為世尊作，慈愍我故，願垂納受。」

[T1.721c27] 世尊告曰：「瞿曇彌，持此衣施比丘眾，施比丘眾已，便供養我，亦供養眾 [10]。」

[T1.721c29] 大生主 [11]瞿曇彌至再三白曰：「世尊！此新金縷黃色衣我自為世尊作，慈愍我故，願垂納受。」

[T1.722a02] 世尊亦至再三告曰：「瞿曇彌，持此衣施比丘眾，施比丘眾已，便供養我，亦供養眾。」

[T1.722a04] 爾時，尊者阿難立世尊後執拂侍佛。於是，尊者阿難白曰：「世尊！此大生主瞿曇彌於世尊多所饒益，世尊母命終後乳養世尊！」

---

[1]〔五支…竟〕－【明】
[2]〔二千…八字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～M. 142. Dakkhināvibhaṅga sutta.(施分別經)，No.84.分別布施經(大正 1.903b)
[5]〔第四分別誦〕－【明】
[6] [>釋羇瘦]～Sakkesu.
[7] [>加鞞羅衛尼拘類]～Kapilavathu Nigrodha.
[8] 摩訶簸邏闍鉢提瞿曇彌～Mahāpajāpati Gotamī.，＝摩訶波闍波提瞿曇彌【宋】【元】【明】，＝摩訶簸羅闍鉢提瞿曇彌【聖】
[9] 縷＝鏤【聖】
[10] （大）＋眾【宋】【元】【明】
[11] 大生主～Mahāpajāpati.

[T1.722a07] 世尊告曰：「如是，阿難！如是。阿難！大生主瞿曇彌實於我多所饒益，我母命終後乳養於我。阿難！我亦於大生主瞿曇彌多所饒益。所以者何？大生主瞿曇彌因我故，得自歸於佛、法及比丘眾，不疑三尊、苦習[1]滅道，成就信、戒、多聞、施、慧，離殺斷殺、不與取、邪婬、妄言、離酒斷酒，阿難！若有人因人故，得自歸於佛、法及比丘眾，不疑三尊、苦*習滅道，成就信、戒、多聞、施、慧，離殺斷殺、不與取、邪婬、妄言、離酒斷酒者，此人供養於彼人至盡形壽，以飲食、衣被、床榻、湯藥及若干種諸生活具，不得報恩。」

[T1.722a19]「復次。阿難！有七施眾，有十四私施，得大福，得大果，得大功德，得大廣報，阿難！云何七施眾，得大福，得大果，得大功德，得大廣報，信族姓男、族姓女，佛在世時，佛為首，施佛及比丘眾，是謂第一施眾，得大福，得大果，得大功德，得大廣報，信族姓男、族姓女，世尊般涅槃後不久施二部眾，施比丘眾，施比丘尼眾，入比丘僧園而白眾曰：『眾中爾所比丘來，布施彼也。』入比丘尼僧房而白眾曰：『眾中爾所比丘尼來，布施彼也。』是謂第五施眾，得大福，得大果，得大功德，得大廣報。」

[T1.722b01]「阿難！當來時有比丘，名姓種，不精進，著袈裟衣，彼不精進，不精進故施，依眾故，緣眾故，上眾故，因眾故，我說爾時施主得無量不可數不可計福，得善得樂，況復今[2]比丘成就行事，成就除事，成就行事除事，成就質直，成就柔軟，成就質直柔軟，成就忍，成就樂，成就忍樂，成就相應，成就經紀，成就相應經紀，成就威儀，成就行來遊，成就威儀行來遊，成就信，成就戒，成就多聞，成就施，成就慧，成就信、戒、多聞、施、慧耶[3]，是謂第七施眾，得大福，得大果，得大功德，得大廣報，是謂有七施眾，得大福，得大果，得大功德，得大廣報。」

[T1.722b13]「阿難！云何有十四私施，得大福，得大果，得大功德，得大廣報，有信族姓男、族姓女布施如來，施緣一覺[4]，施阿羅訶[5]，施向*阿羅訶[6]，施阿那含[7]，施向阿那含[8]，施斯陀含[9]，施向斯陀含[10]，施須陀洹[11]，施向須陀

---

[1] 習＝集【元】【明】＊
[2] 今＝令【宋】【元】【明】
[3] 耶＝也【宋】【元】【明】【聖】
[4] 緣一覺＝一緣覺【宋】＊～Paccekabuddha.
[5] 阿羅訶＝阿羅漢【宋】＊【元】＊【明】＊～(Tathāgatasāvaka)-arāham.
[6] [>向阿羅訶]～Arahattaphalasacchikiriyā.
[7] [>阿那含]～Anāgāmin.
[8] [>向阿那含]～Anāgāmiphalasacchikiriyā.
[9] [>斯陀含]～Sakadāgāmin.
[10] [>向斯陀含]～Sakadāgāmiphalasacchikiriyā.
[11] [>須陀洹]～Sotāpanna.

洹[1]，施離欲外仙人，施精進人，施不精進人，布施畜生。阿難！布施畜生得福百倍，施不精進人得福千倍，施精進人得福百千倍，施離欲外仙人得福億百千倍，施向須陀洹無量，得須陀洹無量，向斯陀含無量，得斯陀含無量，向阿那含無量，得阿那含無量，向*阿羅訶無量，得*阿羅訶無量，*緣一覺無量，況復如來、無所著、等正覺耶？此十四私施得大福，得大果，得大功德，得大廣報。」

[T1.722b27]「復次。阿難！有四種布施，三淨施。云何為四？或有布施，因施主淨，非受者，或有布施，因受者淨，非施主，或有布施，非因施主淨，亦非受者，或有布施，因施主淨，受者亦然，阿難！云何布施因施主淨，非受者耶？施主精進行妙法，見來見果，如是見、如是說，有施有施果，受者不精進，行惡法，不見來不見果，如是見、如是說，無施無施果，是謂布施因施主淨，非受者也。」

[T1.722c07]「阿難！云何布施因受者淨，非施主耶？施主不精進，行惡法，不見來不見果，如是見、如是說，無施無施果，受者精進行妙法，見來見果，如是見、如是說，有施有施果，是謂布施因受者淨，非施主也。阿難！云何布施非因施主淨，亦非受者耶？施主不精進，行惡法，不見來不見果，如是見、如是說，無[2]施無施果，受者亦不精進，行惡法，不見來不見果，如是見、如是說，無施無施果，是謂布施非因施主淨，亦非受者，阿難！云何布施因施主淨，受者亦然耶？施主精進行妙法，見來見果，如是見、如是說，有施有[3]施果，受者亦精進行妙法，見來見果，如是見、如是說，有施有施果，是謂布施因[4]施主淨，受者亦然。」於是，世尊說此頌曰：「

精進施不精進　如法得歡喜心　信有業及果報　此施因施主淨
不精進施精進　不如法非喜心　不信業及果報　此施因受[5]者淨
懈怠施不精進　不如法非喜心　不信業及果報　如是施無廣報
精進施於精進　如法得歡喜心　信有業及果報　如是施有廣報
奴婢及貧窮　自分施歡喜　信業信果報　此施善人稱
正護善身口　舒手以法乞　離欲施離欲　是財施第一

[T1.723a05] 佛說如是，尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.723a07] 瞿曇彌經第九竟[6](千五百二十字)[1]，

---

[1] [>向須陀洹]～Sotāpattiphalasacchikiriyā.
[2] 無＝不【聖】
[3]〔有〕－【聖】
[4] 因＝曰【聖】
[5] 受＝愛【聖】
[6]〔瞿曇…竟〕－【明】

（一八一）中阿*含[2]心品

(Ma.181)多界經[3] 第十(第四分別誦)[4]

[T1.723a10] 我聞如是。

[T1.723a10] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.723a11] 爾時，尊者阿難獨安靖[5]處宴[6]坐思惟，心作是念：「諸有恐怖，彼一切從愚癡生，不從智慧，諸有遭事、災患、憂慼，彼一切從愚癡生，不從智慧。」於是，尊者阿難則於晡時，從宴坐起，往詣佛所，稽首佛足，却住一面，白曰：「世尊！我今獨安*靖處*宴坐思惟，心作是念：諸有恐怖，彼一切從愚癡生，不從智慧，諸有遭事、災患、憂慼，彼一切從愚癡生，不從智慧。」

[T1.723a19] 世尊告曰：「如是，阿難！如是。阿難！諸有恐怖，彼一切從愚癡生，不從智慧，諸有遭事、災患、憂慼，彼一切從愚癡生，不從智慧。阿難！猶如從葦[卄/積][7]草*[卄/積]生火，燒樓閣堂屋阿難！如是諸有恐怖，從愚癡生，不從智慧，諸有遭事、災患、憂慼，彼一切從愚癡生，不從智慧。阿難！昔過去時若有恐怖，彼一切亦從愚癡生，不從智慧，諸有遭事、災患、憂慼，彼一切從愚癡生，不從智慧。阿難！當來[8]時諸有恐怖，彼一切從愚癡生，不從智慧，諸有遭事、災患、憂慼，彼一切從愚癡生，不從智慧。阿難！今現在諸有恐怖，從愚癡生，不從智慧，諸有遭事、災患、憂慼，彼一切從愚癡生，不從智慧。阿難！是為愚癡有恐怖，智慧無恐怖，愚癡有遭事、災患、憂慼，智慧無遭事、災患、憂慼。阿難！諸有恐怖、遭事、災患、憂慼，彼一切從愚癡可得，不從智慧。」

[T1.723b06] 於是，尊者阿難悲泣淚出，叉手向佛，白曰：「世尊！云何比丘愚癡非智慧？」

[T1.723b08] 世尊答曰：「阿難！若有比丘不知界，不知處，不知因緣，不知是處、非處者。阿難！如是比丘愚癡非智慧。」

---

[1]〔千五…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[2]〔中阿含〕－【明】
[3] ～M. 115. Bahudhātuka sutta. (多界經)，No.776.《佛說四品法門經》(大正 17.712.)、藏(東北 297, 北京 963)
[4]〔第四分別誦〕－【明】
[5] 靖＝靜【宋】【元】【明】【聖】＊
[6] 宴＝燕【聖】＊
[7] [卄/積]＝積【宋】【元】【明】【聖】＊
[8] 來＋（來）【聖】

[T1.723b10] 尊者阿難白曰：「世尊！如是比丘愚癡非智慧。世尊！云何比丘智慧非愚癡，

[T1.723b12] 世尊答曰：「阿難！若有比丘知界、知處、知因緣，知是處、非處者。阿難！如是比丘智慧非愚癡。」

[T1.723b14] 尊者阿難白曰：「世尊！如是比丘智慧非愚癡。世尊！云何比丘知界？」

[T1.723b16] 世尊答曰：「阿難！若有比丘見十八界知如真，眼界、色界、眼識界，耳界、聲界、耳識界、鼻界、香界、鼻識界，舌界、味界、舌識界，身界、觸界、身識界，意界、法界、意識界。阿難！見此十八界知如真。復次。阿難！見六界知如真，地界、水界、火界、風界、空界、識界。阿難！見此六界知如真。復次。阿難！見六界知如真，欲界、恚界、害界，無欲界、無恚界、無害界。阿難！見此六界知如真。復次。阿難！見六界知如真，樂界、苦界、喜界、憂界、捨界無明界。阿難！見此六界知如真。復次。阿難！見四界知如真，覺界、想界、行界、識界。阿難！見此四界知如真。復次。阿難！見三界知如真，欲界、色界、無色界。阿難！見此三界知如真。復次。阿難！見三界知如真，色界、無色界、滅界。阿難！見此三界知如真。」

[T1.723c02]「復次。阿難！見三界知如真，過去界、未來界、現在界。阿難！見此三界知如真。復次。阿難！見三界知如真，妙界、不妙界、中界。阿難！見此三界知如真。復次。阿難！見三界知如真，善界、不善界、無記界。阿難！見此三界知如真。復次。阿難！見三界[如>知]如真，學界、無學界、非學非無學界。阿難！見此三界知如真。復次。阿難！見二界知如真，有漏界、無漏界。阿難！見此二界知如真。復次。阿難！見二界知如真，有為界、無為界、阿難！見此二界知如真。阿難！見此六十二界知如真。阿難！如是比丘知界。」

[T1.723c13] 尊者阿難白曰：「世尊！如是比丘知界。世尊！云何比丘知處？」

[T1.723c15] 世尊答曰：「阿難！若有比丘見十二處知如真，眼處、色處，耳處、聲處，鼻處、香處，舌處、味處，身處、觸處，意處、法處。阿難！見此十二處知如真。阿難！如是比丘知處。」

[T1.723c19] 尊者阿難白曰：「世尊！如是比丘知處。云何比丘知因緣？」

[T1.723c20] 世尊答曰：「阿難！若有比丘見因緣及從因緣起知如真，因此有彼，無此無彼，此生彼生，此滅彼滅，謂緣無明有行乃至緣生有老死，若無明滅則行滅，乃至生滅則老死滅。阿難！如是比丘知因緣。」

[T1.723c24] 尊者阿難白曰：「世尊！如是比丘知因緣。云何比丘知是處、非處？」

[T1.723c26] 世尊答曰：「阿難！若有比丘見處是處知如真，見非處是非處知如真。阿難！[苦>若]世中有二轉輪王並治者，終無是處，若世中有一轉輪王治者，必有是處。阿難！若世中有二如來者，終無是處，若世中有一如來者，必有是處。阿難！若[諦見>見諦]人故害父母，殺阿羅訶[1]，破壞聖眾，惡心向佛，出如來血者，終無是處，若凡夫人故害父母，殺*阿羅訶，破壞聖眾，惡心向佛，出如來血者，必有是處。阿難！若見諦人故犯戒，捨戒罷道者，終無是處，若凡夫人故犯戒，捨戒罷道者，必有是處，若見諦人捨離此內，從外求尊、求福田者，終無是處，若凡夫人捨離此內，從外求尊、求福田者，必有是處。」

[T1.724a10]「阿難！若見諦人從餘沙門、梵志作是說諸尊，可見則見，可知則知者，終無是處，若凡夫人從餘沙門、梵志作是說諸尊，可見則見，可知則知者，必有是處。阿難！若見諦人信卜問吉凶者，終無是處，若凡夫人信卜問吉凶者，必有是處。阿難！若見諦人從餘沙門、梵志卜問吉凶相應，見有苦有煩，見是真者，終無是處，若凡夫人從餘沙門、梵志卜問吉凶相應，見有苦有煩，見是真者，必有是處。」

[T1.724a20]「阿難！若見諦人生極苦甚重苦，不可愛、不可樂、不可思、不可念乃至斷命，捨離此內，更從外求，或有沙門、梵志，或持一句呪，二句、三句、四句、多句、百千句呪，令脫我苦，是求苦、習[2]苦、趣苦、苦盡者，終無是處，若凡夫人捨離此內，更從外求，或有沙門、梵志持一句呪，二句、三句、四句、多句、百千句呪，令脫我苦，是求苦、*習苦、趣苦、苦盡者，必有是處。阿難！若見諦人受八有者，終無是處，若凡夫人受八有者，必有是處。」

[T1.724a29]「阿難！若身惡行，口、意惡行，因此緣此，身壞命終，趣至善處，生於天中者，終無是處，若身惡行，口、意惡行，因此緣此，身壞命終，趣至惡處，生地獄中者，必有是處。阿難！若身妙行，口、意妙行，因此緣此，身壞命終，趣至惡處，生地獄中者，終無是處，若身妙行，口、意妙行，因此緣此，身壞命終，趣至善處，生天中者，必有是處。阿難！若身惡行，口、意惡行，受樂報者，終無是處。阿難！若身惡行，口、意惡行，受苦報者，必有是處。阿難！若身妙行，口、意妙行，受苦報者，終無是處，若身妙行，口、意妙行，受樂[3]報者，必有是處。」

---

[1] 阿羅訶＝阿羅漢【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 習＝集【元】【明】＊
[3] （樂）＋樂【宋】【元】【明】【聖】

[T1.724b12]「阿難！若不斷五蓋心穢、慧羸，心正立四念處者，終無是處，若斷五蓋、心穢、慧羸，心正立四念處者，必有是處。阿難！若不斷五蓋、心穢、慧羸，心不正立四念處，欲修七覺意者，終無是處，若斷五蓋、心穢、慧羸，心正立四念處，修七覺意者，必有是處。阿難！若不斷五蓋、心穢、慧羸，心不正立四念處，不修七覺意，欲得無上正盡覺者，終無是處，若斷五蓋、心穢、慧羸，心正立四念處，修七覺意，得無上正盡覺者，必有是處。阿難！若不斷五蓋、心穢、慧羸，心不正立四念處，不修七覺意，不[1]得無上正盡覺，盡苦邊者，終無是處，若斷五蓋、心穢、慧羸，心正立四念處，修七覺意，得無上正盡覺，盡苦邊者，必有是處。阿難！如是比丘知是處、非處。」

[T1.724b27] 尊者阿難白曰：「世尊！如是比丘知是處、非處。」

[T1.724b28] 於是，尊者阿難叉手向佛，白曰：「世尊！此經名何。云何奉持？」

[T1.724b29] 世尊告曰：「阿難！當受持此多界、法界、甘露界、多鼓、法鼓、甘露鼓、法鏡、四品。是故稱此經名曰多界。」

[T1.724c02] 佛說如是，尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.724c04] 多界經第十竟[2](二千二百三十六字)[3]，

中阿含經卷[4]第四十七(八千三百三十字)[5]

中阿*含心品第三竟[6](二萬一千二十二字[7])第四分別說[8]，[9]

中阿含經

---

[1]〔不〕－【宋】【元】【明】
[2]〔多界…竟〕－【明】
[3]〔二千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[4] 卷末題與品末題位置前後【宋】【元】【明】【聖】
[5]〔八千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[6] 第三＝第十四【明】
[7]〔(二萬一千二十二字)〕－【宋】【元】【明】【聖】
[8] 第四分別說＝第四分別誦【宋】【元】，－【明】
[9] ＋（光明皇后願文）【聖】

卷第四十八 (Ma.182~186)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

雙品第四 [1](有五經雙品本有十經分後五經屬 [2]第五誦故曰雙品)(第四分別誦)[3]

馬邑及馬邑　　牛角娑羅林　　牛角娑羅林　　求解最在後

（一八二）中阿含 [4]雙品

(Ma.182)馬邑經 [5] 第一

[T1.724c18] 我聞如是。

[T1.724c18] 一時，佛遊鴦騎 [6]國，與大比丘眾俱，往至馬邑 [7]，住馬林寺，及比丘眾。

[T1.724c19] 爾時，世尊告諸比丘：「人見汝等沙門，是沙門，人問汝等沙門，汝自稱沙門耶？」

[T1.724c21] 諸比丘白曰：「爾也。世尊！」

[T1.724c22] 佛復告曰：「是以汝等以此，要以此沙門，當學如沙門法及如梵志法，學如沙門法及如梵志法已，要是真諦沙門、不虛沙門，若受衣被、飲食、床榻、湯藥及若干種諸生活具者，彼所供給，得大福，得大果，得大功德，得大廣報，汝等當學如是。云何如沙門法及如梵志法，身行清淨，仰向發露，善護無缺，因此清淨，不自舉，不下他，無穢無濁，為諸智梵行者所共稱譽，若汝作是念：我身行清淨，我所作已辦，不復更學，已成德義，無復上作，比丘！我為汝說，莫令求沙門義失沙門義，若欲求上學者，比丘若身清淨，當復

---

[1] 第四＝第十五【明】
[2] 有五經雙品本有十經分後五經屬＝有十經前五經第四誦後五經【明】
[3] 第四分別誦五字在品中經題前行【明】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] 馬邑經＋（上）【明】，～ M. 39. (Mahā)-Assapura sutta. (馬邑大經)，《增壹阿含 49.8 經》(大正 2.801.)
[6] [>鴦騎]～Aṅgā.
[7] [>馬邑]～Assapura.

作何等，當學口行清淨，仰向發露，善護無缺，因此口行清淨，不自舉，不下他，無穢無濁，為諸智梵行者所共稱譽。」

[T1.725a07]「若汝等作是念：『我身、口行清淨，我所作已辦，不復更學，已成德義，無復上作。』比丘，我為汝說，莫令求沙門義失沙門義，若欲求上學者，比丘若身、口清淨，當復作何等，當學意行清淨，仰向發露，善護無缺，因此意行清淨，不自舉，不下他，無穢無濁，為諸智梵行者所共稱譽，若汝等作是念：『我身、口、意行清淨，我所作已辦，不復更學，已成德義，無復上作。』比丘，我為汝說，莫令求沙門義失沙門義，若欲求上學者，比丘若身、口、意行清淨，當復作何等，當學命行清淨，仰向發露，善護無缺，因此命行清淨，不自舉，不下他，無穢無濁，為諸智梵行者所共稱譽。」

[T1.725a20] 「若汝等作是念：『我身、口、意、命行清淨，我所作已辦，不復更學，已成德義，無復上作。』比丘，我為汝說，莫令求沙門義失沙門義，若欲求上學者，比丘身、口、意命行清淨，當復作何等，比丘當學守護諸根，常念閉塞，念欲明達，守護念心而得成就，恒欲起意，若眼見色，然不受相，亦不味色，謂忿諍故，守護眼根，心中不生貪伺、憂慼、惡不善法，趣向彼故，守護眼根，如是耳、鼻、舌、身，若意知法，然不受相，亦不味[1]法，謂忿諍故，守護意根，心中不生貪伺、憂慼、惡不善法，趣向彼故，守護意根，若汝等作是念：『我[2]身、口、意、命行清淨，守護諸根，我所作已辦，不復更學，已成德義，無復上作。』比丘，我為汝說，莫令求沙門義失沙門義，若欲求上學者，比丘身、口、意、命行清淨，守護諸根，當復作何等，比丘當學正知出入，善觀分別，屈伸[3]低仰，儀容庠[4]序，善著僧伽梨及諸衣鉢，行住坐臥、眠寤[5]語默，皆正知之。」

[T1.725b10]「若汝等作是念：『我身、口、意、命行清淨，守護諸根，正知出入，我所作已辦，不復更學，已成德義，無復上作。』比丘，我為汝說，莫令求沙門義失沙門義，若欲求上學者，比丘身、口、意、命行清淨，守護諸根，正知出入，當復作何等，比丘當學獨住遠離，在無事處，或至樹下空安靖[6]處、山巖石室、露地穰*[卄/積]，或至林中，或在塚間，彼已在無事處，或至樹下空安*靖處，敷尼師壇，結跏[7]趺坐，正身正願，反念不向，斷除貪伺，心無有諍，見他財物、諸生活具，不起貪伺，欲令我得，彼於貪伺淨除其心。」

---

[1] 味＝昧【元】【明】
[2] 〔我〕－【宋】【元】【明】
[3] 伸＝申【宋】【元】【聖】
[4] 庠＝礻序【聖】
[5] 寤＝覺【聖】
[6] 靖＝靜【宋】【元】【明】【聖】＊
[7] 跏＝加【元】

[T1.725b21]「如是瞋恚、睡眠、掉[1]悔，斷疑度惑，於諸善法無有猶豫，彼於疑惑淨除其心，彼斷此五蓋、心穢、慧羸，離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊，彼已得如是定心清淨，無穢無煩，柔軟善住，得不動心，趣向漏盡智通作證，彼便知此苦如真，知此苦習[2]、知此苦滅知此苦滅道如真，亦知此漏如真，知此漏*習、知此漏滅、知此漏滅道如真，彼如是知、如是見已，則欲漏心解脫，有漏、無明漏心解脫，解脫已，便知解脫，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，是說沙門，說梵志，說聖，說淨浴。」

[T1.725c04]「云何沙門，謂息止諸惡不善之法、諸漏穢污，為當來有本，煩熱苦報，生、老、病、死因，是謂沙門。云何梵志，謂遠離諸惡不善之法，諸漏穢污，為當來有本，煩熱苦報，生、老、病、死因，是謂梵志。云何為聖，謂遠離諸惡不善之法、諸漏穢污，為當來有本，煩熱苦報，生、老、病、死因，是謂為聖。云何淨浴，謂淨浴諸惡不善之法、諸漏穢污，為當來有本，煩熱苦報，生、老、病、死因，是謂淨浴，是謂沙門，是謂梵志，是謂為聖，是謂淨浴。」

[T1.725c13] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.725c15] 馬邑經第一竟[3](千三百四十七字)[4]，

（一八三）中阿*含[5]雙品

(Ma.183)馬邑經[6] 第二(第四分別誦)[7]

[T1.725c18] 我聞如是。

[T1.725c18] 一時，佛遊鴦騎國，與大比丘眾俱，往至馬邑，住馬林寺，及比丘眾。

[T1.725c19] 爾時，世尊告諸比丘：「人見汝等沙門，是沙門，人問汝等沙門，汝自稱沙門耶？」

---

[1] 掉＝調【聖】＊
[2] 習＝集【元】【明】＊
[3]〔馬邑…竟〕－【明】
[4] （千三百四十七字）＝一千三百四十六字【宋】【元】，－【明】【聖】
[5]〔中阿含〕－【明】
[6] 馬邑經＋（下）【明】，～M. 40.(Culạ)-Assapura sutta. (馬邑小經)
[7]〔第四分別誦〕－【明】

[T1.725c21] 諸比丘白曰：「爾也。世尊！」

[T1.725c22] 佛復告曰：「是以汝等以此，要以此沙門，當學沙門道跡，莫非沙門，學沙門道跡已，要是真諦沙門、不虛沙門，若受衣被、飲食、床榻、湯藥及若干種諸生活具者，彼所供給，得大福，得大果，得大功德，得大廣報，汝等當學如是。云何非沙門道跡，非沙門。若有貪伺不息貪伺，有恚不息恚，有瞋不息瞋，有不語不息不語，有結不息結，有慳不息慳，有嫉不息嫉，有諛[1]諂不息*諛諂，有欺誑不息欺誑，有無慙不息無慙，有無愧不息無愧，有惡欲不息惡欲，有邪見不息邪見，此沙門垢、沙門*諛諂、沙門詐偽、沙門曲，趣至惡處未盡已，學非沙門道跡，非沙門。」

[T1.726a06]「猶如鉞斧，新作極利，有頭有刃，僧伽[2]梨[3]所裹[4]，我說彼癡學沙門道亦復如是，謂有貪伺不息貪伺，有恚不息恚，有瞋不息瞋，有不語不息不語，有結不息結，有慳不息慳，有嫉不息嫉，有*諛諂不息*諛諂，有無慙不息無慙，有無愧不息無愧，有惡欲不息惡欲，有邪見不息邪見，持僧伽梨，我不說是沙門，若持僧伽梨者，有貪伺息貪伺，有恚息恚，有瞋息瞋，有不語息不語，有結息結，有慳息慳，有嫉息嫉，有*諛諂息*諛諂，有無慙息無慙，有無愧息無愧，有惡欲息惡欲，有邪見息邪見者，彼諸親親朋友往詣而作是說，賢人，汝當學持僧伽梨，賢，汝學持僧伽梨，有貪伺息貪伺，有恚息恚，有瞋息瞋，有不語息不語，有結息結，有慳息慳，有嫉息嫉，有*諛諂息*諛諂，有無慙息無慙，有無愧息無愧，有惡欲息惡欲，有[5]邪見息邪見，若以我見持僧伽梨，有貪伺、恚、瞋、不語、結、慳、嫉、*諛諂、無慙、無愧、惡欲、邪見，是以我持僧伽梨，我說非是沙門。」

[T1.726a27]「如是無衣、編髮、不坐、一食、常揚水、持水，持水者，我說非是沙門，若持水，有貪伺息貪伺，有恚息恚，有瞋息瞋，有不語息不語，有結息結，有慳息慳，有嫉息嫉，有*諛諂息*諛諂，有無慙息無慙，有無愧息無愧，有惡欲息惡欲，有邪見息邪見，彼諸親親朋友[6]往詣而作是說，賢，汝當持水，持水已，有貪伺息貪伺，有恚息恚，有瞋息瞋，有不語息不語，有結息結，有慳息慳，有嫉息嫉，有*諛諂息*諛諂，有無慙息無慙，有無愧息無愧，有惡欲息惡欲，有邪見息邪見，若以我見持水，貪伺、恚、瞋、不語、結、慳、嫉、諛諂、無慙、無愧、有惡欲、有邪見、是以持水者，我說不是沙門，是謂非沙門道跡，非是沙門。」

---

[1] 諛＝諭【聖】＊
[2] 梨＝利【聖】
[3] [>僧伽梨]～Saṅghāṭī.
[4] 裹＝[裹-果+(里/八)]【聖】
[5]〔欲有〕－【聖】
[6] 朋友＝友朋【聖】

[T1.726b12]「云何沙門道跡，非不沙門。若有貪伺息貪伺，有恚息恚，有瞋息瞋，有不語息不語，有結息結，有慳息慳，有嫉息嫉，有*諛諂息*諛諂，有無慙息無慙，有無愧息無愧，有惡欲息惡欲，有邪見息邪見，此沙門嫉、沙門*諛諂、沙門詐偽、沙門曲，趣至惡處盡已，學沙門道跡，非不沙門，是謂沙門道跡，非不沙門。」

[T1.726b19]「彼如是成就戒，身清淨，口、意清淨，無有貪伺，心中無恚，無有睡眠，無*掉、憍傲，斷疑度惑，正念正智，無有愚癡，彼心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，彼作是念：有[1]麤、有妙、有想，來上出要，知如真，彼如是知、如是見已，則欲漏心解脫，有漏、無明漏心解脫，解脫已，便知解脫，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。」

[T1.726c02]「猶去村不遠，有好浴池，清泉流盈，翠[2]草被岸，花樹四周，或於東方有一人來，飢渴疲極，脫衣岸上，入池快浴，去垢除熱，亦除渴乏，如是南方、西方、北方有一人來，飢渴疲極，脫衣岸上，入池快浴，去垢除熱，亦除渴乏。如是，剎利族姓子剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，內行止，令得內止，內止者，我說沙門，說梵志，說聖，說淨浴，如是梵志、居士、工師族姓子剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，內行止，令得內止，內止者，我說沙門，說梵志，說聖，說淨浴。」

[T1.726c13]「云何沙門，謂息止諸惡不善之法、諸漏穢污，為當來有本，煩熱苦報，生、老、病、死因，是謂沙門。云何梵志，謂遠離諸惡不善之法、諸漏穢污，為當來有本，煩熱苦報，生、老、病、死因，是謂梵志。云何為聖，謂遠離諸惡不善之法、諸漏穢污，為當來有本，煩熱苦報，生、老、病、死因，是謂為聖。云何淨浴，謂淨浴諸惡不善之法、諸漏穢污，為當來有本，煩熱苦報，生、老、病、死因，是謂淨浴，是謂沙門，是謂梵志，是謂為聖，是謂淨浴。」

[T1.726c22] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.726c24] 馬邑經第二竟[3](千四百六十字)[4]，

---

[1] 有＋（有有）【宋】【元】【明】
[2] 翠＝好【聖】
[3]〔馬邑…竟〕－【明】
[4] 千四百六十字＝一千四百六十三字【宋】【元】，－【明】【聖】

（一八四）中阿含[1]雙品

(Ma.184)牛角娑羅林經[6] 第三(第四分別誦)[7]

[T1.726c27] 我聞如是。

[T1.726c27] 一時，佛遊跋耆瘦，在牛角娑羅林[2]，及諸多知識上尊比丘大弟子等，尊者舍梨子[3]、尊者大目揵連[4]、尊者大迦葉[5]、尊者大迦旃[6]延、尊者阿那律陀[7]、尊者離越哆[8]尊者阿難[9]，如是比丘[10]多知識上尊比丘大弟子等，亦遊跋耆瘦，在牛角娑羅林，並共近佛葉屋邊住。

[T1.727a04] 於是，尊者大目揵連、尊者大迦葉、尊者大迦*旃延、尊者阿那律陀過夜平旦，往詣尊者舍梨子所，尊者阿難遙見彼諸尊往已，白曰：「賢者離越哆，當知此尊者大目揵連、尊者大迦葉、尊者大迦旃延、尊者阿那律陀過夜[11]平旦，往詣尊者舍梨子所，賢者離越哆，今可共彼諸尊往詣尊者舍梨子所，儻[12]能因彼從尊者舍梨子少多聞法。」於是，尊者大目揵連、尊者大迦葉、尊者大迦旃延、尊者阿那律陀、尊者離越哆、尊者阿難過夜平旦，往詣尊者舍梨子所。

[T1.727a14] 尊者舍梨子遙見彼諸尊來已，尊者舍梨子因彼諸尊故說：「善來，賢者阿難！善來。阿難！善來。阿難！世尊侍者解世尊意，常為世尊之所稱譽，及諸智梵行人，我今問賢者阿難！此牛角娑羅林甚可愛樂，夜有明月，諸娑羅樹皆敷妙香，猶若天花，賢者阿難！何等比丘起發牛角娑羅林。」

[T1.727a21] 尊者阿難答曰：「尊者舍梨子。若有比丘廣學多聞，守持不忘，積聚博聞，所謂法者，初妙、中妙、竟亦妙，有義有文，具足清淨，顯現梵行，

---

[1]〔中阿含〕－【明】
[6] ～M. 32. (Mahā)-Gosiṅga sutta. (牛角林大經)，《增壹阿含 37.3 經》(大正 2.710c)、No.154.《佛說生經》卷 16.比丘各言志經(大正 3.80.)
[7]〔第四分別誦〕－【明】
[2] [>牛角娑羅林]～Gosiṅgasālavana.
[3] [>舍梨子]～Sāriputta.
[4] [>大目揵連]～Mahāmoggallāna.
[5] [>大迦葉]～Mahākassapa.
[6] 旃＝栴【聖】＊
[7] [>阿那律陀]～Anuruddha.
[8] [>離越哆]～Revata.
[9] [>阿難]～Ānanda.
[10]〔丘〕－【元】【明】
[11]〔夜〕－【宋】【元】【明】
[12] 儻＝讜【聖】

如是諸法廣學多聞，翫習至千[1]，意所惟觀，明見深達，彼所說法簡要捷[2]疾，與正相應，欲斷諸結。尊者舍梨子！如是比丘起發牛角娑羅林。」

[T1.727a27] 尊者舍梨子復問曰：「賢者離越哆，賢者阿難比丘已說隨所知，我今復問賢者離越哆，此牛角娑羅林甚可愛樂，夜有明月，諸娑羅樹皆敷妙香，猶若天花，賢者離越哆[3]，何等比丘起發牛角娑羅林？」

[T1.727b03] 尊者離越哆答曰：「尊者舍梨子。若有比丘樂於燕[4]坐，內行止[5]，不廢坐禪，成就於觀，常好閑居，憙安靖[6]處。尊者舍梨子！如是比丘起發牛角娑羅林。」

[T1.727b06] 尊者舍梨子復問曰：「賢者阿那律陀，賢者離越哆比丘已說隨所知，我今復問賢者阿那律陀，此牛角娑羅林甚可愛樂，夜有明月，諸娑羅樹皆敷妙香，猶若天華，賢者阿那律陀，何等比丘起發牛角娑羅林？」

[T1.727b11] 尊者阿那律陀答曰：「尊者舍梨子。若有比丘逮得天眼，成就天眼，於千世界彼少方便須臾盡見。尊者舍梨子！猶有目人住高樓上，於下露地有千土墼[7]，彼少方便須臾盡見。尊者舍梨子！如是若有比丘逮得天眼，成就天眼，於千世界彼少方便須臾盡見。尊者舍梨子！如是比丘起發牛角娑羅林。」

[T1.727b18] 尊者舍梨子復問曰：「賢者迦旃延，賢者阿那律陀比丘已說隨所知，我今復問賢者迦旃延，此牛角娑羅林甚可愛樂，夜有明月，諸娑羅樹皆敷妙香，猶若天花，賢者迦旃延，何等比丘起發牛角娑羅林？」

[T1.727b22] 尊者大迦旃延答曰：「尊者舍梨子！猶二比丘法師共論甚深阿毘曇[8]，彼所問事，善解悉知，答亦無礙，說法辯捷。尊者舍梨子！如是比丘起發牛角娑羅林。」

[T1.727b26] 尊者舍梨子復問曰：「尊者大迦葉，賢者迦旃延比丘已說隨所知，我今復問尊者大迦葉，此牛角娑羅林甚可愛樂，夜有明月，諸娑羅樹皆敷妙香，猶若天華，尊者大迦葉，何等比丘起發牛角娑羅林？」

---

[1] 千＝于【明】＊
[2] 捷＝揵【元】
[3] 哆＝多【元】
[4] 燕＝宴【宋】＊【元】＊【明】＊
[5] 止＝正【元】
[6] 靖＝靜【宋】＊【元】＊【明】＊
[7] 墼＝塹【宋】＊
[8] [>阿毘曇]～Abhidhamma(kathā).

[T1.727c01] 尊者大迦葉答曰：「賢者舍梨子。若有比丘自無事稱說無事，自有少欲稱說少欲，自有知足稱說知足，自樂在遠離獨住稱說樂在遠離獨住，自修行精勤稱說修行精勤，自立正念正智稱說立正念正智，自得定稱說得定，自有智慧稱說智慧，自諸漏已盡稱說諸漏已盡，自勸發渴仰成就歡喜稱說勸發渴仰成就歡喜，賢者舍梨子！如是比丘起發牛角娑羅林。」

[T1.727c10] 尊者舍梨子復問曰：「賢者目揵連，尊者大迦葉已說隨所知，我今復問賢者目揵連，此牛角娑羅林甚可愛樂，夜有明月，諸娑羅樹[1]皆敷妙香，猶若天華，賢者目[2]連，何等比丘起發牛角娑羅林？」

[T1.727c14] 尊者大目揵連答曰：「尊者舍梨子。若有比丘有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，自在無量如意足，彼行無量如意足，變一為眾，合眾為一，一則住一，有知有見，徹過石壁，如空無礙，出入於地，猶若如水，履水如地而不陷沒，上昇虛空，結跏趺坐，猶若如鳥，今此日月有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，以手捫摸，身至梵天。尊者舍梨子！如是比丘起發牛角娑羅林。」

[T1.727c23] 尊者大目揵連問曰：「尊者舍梨子！我及諸尊已各自說隨其所知，我今問尊者舍梨子！此牛角娑羅林甚可愛樂，夜有明月，諸娑羅樹皆敷妙香，猶若天華。尊者舍梨子！何等比丘起發牛角娑羅林？」

[T1.727c28] 尊者舍梨子答曰：「賢者目揵連。若有比丘隨用心自在而不隨心，彼若欲得隨所住止，中前遊行，即彼住止，中前遊行，彼若欲得隨所住止，日中、晡時遊行，即彼住止，日中、晡時遊行，賢者目揵連，猶王、王臣，衣服甚多，有若干種雜妙色衣，彼若欲得中前著者即取著之，彼若欲得日中、晡時著者即取著之，賢者目揵連，如是。若有比丘隨用心自在而不隨心，彼若欲得隨所住止，中前遊行，即彼住止，中前遊行，彼若欲得隨所住止，日中、晡時遊行，即彼住止，日中、晡時遊行，賢者目揵連，如是比丘起發牛角娑羅林。 」

[T1.728a11] 尊者舍梨子告曰：「賢者目揵連，我及諸賢已各自說隨其所知，賢者目揵連，我等寧可共彼諸賢往詣佛所，向論此事，於中知誰最為善說。」於是，尊者舍梨子、尊者大目揵連、尊者大迦葉、尊者大迦旃延、尊者阿那律陀、尊者離越哆、尊者阿難往詣佛所，諸尊者等稽首佛足，却坐一面，尊者阿難亦稽首佛足，却住[3]一面。

---

[1] 樹＝林【聖】
[2] 目＋（犍）【宋】【元】【明】
[3] 住＝坐【明】

[T1.728a18] 尊者舍梨子白曰：「世尊！今日賢者大目揵連、尊者大迦葉、賢者迦旃延、賢者阿那律陀、賢者離越哆、賢者阿難過夜平旦，來詣我所，我遙見彼諸賢來已，因彼諸賢故說：『善來，賢者阿難！善來。阿難！善來。阿難！世尊侍者解世尊意，常為世尊之所稱譽，及諸智梵行[>人]，我今問賢者阿難！此牛角娑羅林甚可愛樂，夜有明月，諸娑羅樹皆敷妙香，猶若天華，賢者阿難！何等比丘起發牛角娑羅林。』賢者阿難即答我曰：『尊者舍梨子。若有比丘廣學多聞，守持不忘，積聚博聞，所謂法者，初妙、中妙、竟亦妙，有義有文，具足清淨，顯現梵行，如是諸法廣學多聞，翫習至*千，意所惟觀，明見深達，彼所說法簡要捷疾，與正相應，欲斷諸結。尊者舍梨子！如是比丘起發牛角娑羅林 。』 」

[T1.728b04] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！舍梨子！實如阿難比丘所說。所以者何？阿難比丘成就多聞。」

[T1.728b06] 尊者舍梨子白曰：「世尊！賢者阿難如是說已，我復問曰：『賢者離越哆，賢者阿難比丘已說隨所知，我今復問賢者離越哆，此牛角[裟>娑]羅林甚可愛樂，夜有明月，諸娑羅樹皆敷妙香，猶若天華，賢者離越哆，何等比丘起發牛角娑羅林。』賢者離越哆即答我曰：『尊者舍梨子。若有比丘樂於*燕坐，內行止，不廢坐禪，成就於觀，常好閑居，憙安*靖處。尊者舍梨子！如是比丘起發牛角娑羅林 。』 」

[T1.728b15] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！舍梨子！如離越哆比丘所說。所以者何？離越哆比丘常樂坐禪。」

[T1.728b17] 尊者舍梨子白曰：「世尊！賢者離越哆如是說已，我復問曰：『賢者阿那律陀，賢者離越哆比丘已說隨所[1]知，我今復問賢者阿那律陀，此牛角娑羅林甚可愛樂，夜有明月，諸娑羅樹皆敷妙香，猶若天華，賢者阿那律陀，何等比丘起發牛角娑羅林。』 賢者阿那律陀即答我曰：『尊者舍梨子。若有比丘逮得天眼，成就天眼，於千世界彼少方便須臾盡見。尊者舍梨子！猶有目人住高樓上，於下露地有千土*墼，彼少有方便須臾盡見。尊者舍梨子！如是。若有比丘逮得天眼，成就天眼，於千世界微[2]少方便須臾盡見。尊者舍梨子！如是比丘起發牛角娑羅林。』 」

[T1.728c01] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！舍梨子！如阿那律陀比丘所說。所以者何？阿那律陀比丘成就天眼。」

---

[1]〔所〕－【聖】
[2] 微＝彼【聖】

[T1.728c03] 尊者舍梨子白曰：「世尊！賢者阿那律陀如是說已，我復問曰：『賢者迦旃延，賢者阿那律陀比丘已說隨所知，我今復問賢者迦旃延，此牛角娑羅林甚可愛樂，夜有明月，諸娑羅樹皆敷妙香，猶若天華，賢者迦旃延，何等比丘起發牛角娑羅林。』賢者迦旃延即答我曰：『尊者舍梨子！猶二比丘法師共論甚深阿毘曇，彼所問事，善解悉知，答亦無礙，說法辯捷。尊者舍梨子！如是比丘起發牛角娑羅林 。』 」

[T1.728c12] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！舍梨子！如迦旃延比丘所說。所以者何？迦旃延比丘分別法師。」

[T1.728c13] 尊者舍梨子白曰：「世尊！賢者迦旃延如是說已，我復問曰：『尊者大迦葉，賢者迦旃延比丘已說隨所知，我今復問尊者大迦葉，此牛角娑羅林甚可愛樂，夜有明月，諸娑羅樹皆敷妙香，猶若天華，尊者大迦葉，何等比丘起發牛角娑羅林。』尊者大迦葉即答我曰：『賢者舍梨子。若有比丘自無事稱說無事，自有少欲稱說少欲，自有知足稱說知足，自樂在遠離獨住稱說樂在遠離獨住，自修行精勤稱說修行精勤，自立正念正智稱說立正念正智，自得定稱說得定，自有智慧稱說[知>智]慧，自諸漏已盡稱說諸漏已盡，自勸發渴仰成就歡喜稱說勸發渴仰成就歡喜，賢者舍梨子！如是比丘起發牛角娑羅林。』 」

[T1.728c27] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！舍梨子！如[1]迦葉比丘所說。所以者何？迦葉比丘常行無事。」

[T1.728c29] 尊者舍梨子白曰：「世尊！尊者大迦葉如是說已，我復問曰：『賢者目揵連，尊者大迦葉已說隨所知，我今復問賢者目揵連，此牛角娑羅林甚可愛樂，夜有明月，諸娑羅樹皆敷妙香，猶若天華，賢者目揵連，何等比丘起發牛角娑羅林。』賢者大目揵連即答我[2]曰：『尊者舍梨子。若有比丘有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，自在無量如意足，彼行無量如意足，變一為眾，合眾為一，一則住一，有知有見，徹過石壁，如空無礙，出入於地，猶若如水，履水如地而不陷沒，上昇虛空，結跏趺坐，猶若如鳥，今此日月有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，以手捫摸，身至梵天。尊者舍梨子！如是比丘起發牛角娑羅林。』 」

[T1.729a14] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！舍梨子！如目揵連比丘所說。所以者何？目揵連比丘有大如意足。」

[T1.729a16] 於是，尊者大目揵連即從坐[3]起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！我及諸尊如是說已。」便白尊者舍梨子曰：「尊者舍梨子！我及諸尊已各自

---

[1] 如＋（大）【聖】
[2] 〔我〕－【聖】
[3] 坐＝座【宋】＊【元】＊【明】＊

說隨其所知，我今問尊者舍梨子：『此牛角娑羅林甚可愛樂，夜有明月，諸娑羅樹皆敷妙香，猶若天華。尊者舍梨子！何等比丘起發牛角娑羅林。』尊者舍梨子即答我曰：『賢者目揵連。若有比丘隨用心自在而不隨心，彼若欲得隨所住止，中前遊行，即彼住止，中前遊行，彼若欲得隨所住止，日中、晡時遊行，即彼住止，日中、晡時遊行，賢者目揵連，猶王、王臣，衣服甚多，有若干種雜妙色衣，彼若欲得中前著者即取著之，彼若欲得日中、晡時著者即取著之，賢者目揵連，如是。若有比丘隨用心自在而不隨心，彼若欲得隨所住止，中前遊行，即彼住止，中前遊行，彼若欲得隨所住止，日中、晡時遊行，即彼住止，日中、晡時遊行，賢者目揵連，如是比丘起發牛角娑羅林。』　」

[T1.729b06] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！目揵連，如舍梨子比丘所說。所以者何？舍梨子比丘隨用心自在。」

[T1.729b08] 於是，尊者舍梨子即從*坐起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！我及諸賢如是說已，告曰：『賢者目揵連，我及諸賢已各自說隨其所知，賢者目揵連，我等寧可共彼諸賢往詣佛所，向論此事，於中知誰最為善說。』世尊！我等誰為善說耶？」

[T1.729b13] 世尊答曰：「舍梨子！一切悉善。所以者何？此諸法者，盡我所說。舍梨子！聽我所說，如是比丘起發牛角娑羅林，舍梨子。若有比丘隨所依住城郭村邑，彼過夜平旦，著衣持鉢，入村乞食，善守護身，善斂諸根，善立其念，彼乞食已，過日中後，收舉衣鉢，澡洗手足，以尼師壇著於肩上，或至無事處，或至樹下，或至空安*靖處，敷尼師壇，結跏[1]趺坐，不解結*跏趺坐乃至漏盡，彼便不解結*跏趺坐乃至漏盡。舍梨子！如是比丘起發牛角娑羅林。」

[T1.729b24] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.729b26] 牛角娑羅林經第三竟[2](三千七百八十五字)[3]，

（一八五）中阿*含[4]雙品

[1] 跏＝加【元】＊
[2]〔牛角…竟〕－【明】
[3] 三千七百八十五字＝三千七百八十二字【宋】【元】，－【明】【聖】
[4]〔中阿含〕－【明】

(Ma.185)牛角娑羅林經[1] 第四(第四分別誦)[2]

[T1.729b29] 我聞如是。

[T1.729b29] 一時，佛遊那摩提[3]瘦，在揵祁精舍[4]。

[T1.729c01] 爾時，世尊過夜平旦，著衣持鉢，入那摩提而行乞食，食訖中後[5]，往詣牛角娑羅林 。

[T1.729c03] 爾時，牛角娑羅林有三族姓子共在中住，尊者阿那律陀[6]、尊者難提[7]、尊者金毘羅[8]，彼尊者等所行如是，若彼乞食有前還者，便敷床汲水，出洗足器，安洗足橙及拭脚巾、水瓶、澡罐，若所乞食能盡食者，便盡食之。若有餘者，器盛覆舉，食訖收鉢，澡洗手足，以尼師壇著於肩上，入室燕[9]坐，若彼乞食有後還者，能盡食者亦盡食之，若不足者，取前餘食，足而食之。若有餘者，便瀉[10]著淨地及無蟲水中，取彼食器，淨洗拭已，舉著一面，收卷床席，拾[11]洗足橙，收拭脚巾[12]，舉洗足器及水瓶、澡罐，掃灑食堂，糞除淨已，收舉衣鉢，澡洗手足，以尼師壇著於肩上，入室*燕坐，彼尊者等至於晡時。若有先從*燕坐起者，見水瓶、澡罐[13]空無有水，便持行取，若能勝者，便舉持來，安著一面，若不能勝，則便以手招一比丘，兩人共舉，持著一面，各不相語，各不相問，彼尊者等五日一集，或共說法，或聖默然 。

[T1.729c21] 於是，守林人遙見世尊來，逆呵[14]止曰：「沙門，沙門，莫入此林。所以者何？今此林中有三族姓子，尊者阿那律陀、尊者難提、尊者金毘羅，彼若見汝，或有不可？」

[T1.729c25] 世尊告曰：「汝守林人，彼若見我，必可，無不可。」

---

[1] 牛角娑羅林經＋（下）【明】，～M. 31. Cūla-Gosiṅga sutta. (牛角林小經)
[2] 〔第四分別誦〕－【明】
[3] [>那摩提]～Nādika.
[4] [>揵祁精舍]～Giṅjakāvasatha.
[5] 後＝夜【明】
[6] [>阿那律陀]～Anuruddha.
[7] [>難提]～Nandiya.
[8] [>金毘羅]～Kimbila.
[9] 燕＝宴【宋】＊【元】＊【明】＊
[10] 瀉＝寫【宋】【元】【聖】
[11] 拾＝檢【聖】
[12] 〔巾舉…除淨〕十七字－【聖】
[13] 罐＝灌【聖】
[14] 呵＝訶【聖】

[T1.729c26] 於是，尊者阿那律陀遙見世尊來，即呵彼曰：「汝守林人，莫呵世尊！汝守林人，莫呵善逝。所以者何？是我尊來，我善逝來。」

[T1.729c29] 尊者阿那律陀[1]出迎世尊！攝佛衣鉢，尊者難提為佛敷牀，尊者金毘羅為佛取水。」

[T1.730a02] 爾時，世尊洗手足已，坐彼尊者所敷之座，坐[2]已，問曰：「阿那律陀，汝常安隱，無所乏耶？」

[T1.730a04] 尊者阿那律陀白曰：「世尊！我常安隱，無有所乏。」

[T1.730a05] 世尊復問，阿那律陀。云何安隱，無所乏耶？」

[T1.730a06] 尊者阿那律陀白曰：「世尊！我作是念：『我有善利，有大功德，謂我與如是梵行共行。』世尊！我常向彼梵行行慈身業，見與不見，等無有異，行慈口業，行慈意業，見與不見，等無有異。世尊！我作是念：我今寧可自捨己心，隨彼諸賢心，我便自捨己心，隨彼諸賢心，我未曾有一不可心。世尊！如是我常安隱，無有所乏。」問尊者難提，答亦如是，復問尊者金毘羅曰：「汝常安隱，無所乏耶？」

[T1.730a15] 尊者金毘羅白曰：「世尊！我常安隱，無有所乏。」

[T1.730a16] 問曰：「金毘羅。云何安隱，無所乏耶？」

[T1.730a16] 尊者金毘羅白曰：「世尊！我作是念：『我有善利，有大功德，謂我與如是梵行共行。』世尊！我常向彼梵行行慈身業，見與不見，等無有異，行慈口業，行慈意業，見與不見，等無有異。世尊！我作是念：『我今寧可自捨己心，隨彼諸賢心，我便自捨己心，隨彼諸賢心，我未曾有一不可心。』世尊！如是我常安隱，無有所乏。」

[T1.730a24] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！阿那律陀，如是汝等常共和合，安隱無諍，一心一師，合一水乳，頗得人上之法，而有差降安樂住止耶？」

[T1.730a27] 尊者阿那律陀白曰：「世尊！如是我等常共和合，安隱無諍，一心一師，合一水乳，得人上之法，而有差降安樂住止。世尊！我等離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊。世尊！如是我等常共和合，安隱無諍，一心一師，合一水乳，得此人上之法，而有差降安樂住止。」

---

[1]〔陀〕－【元】【明】
[2]〔坐〕－【宋】【元】【明】

[T1.730b04] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！阿那律陀，捨此住止，過此度此，頗更有餘得人上之法，而有差降安樂住止耶？」

[T1.730b06] 尊者阿那律陀白曰：「世尊！捨此住止，過此度此，更復有餘得人上之法，而有差降安樂住止。世尊！我心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊。世尊！捨此住止，過此度此，謂更有此餘得人上之法，而有差降安樂住止。」

[T1.730b15] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！阿那律陀，捨此住止，過此度此，頗更有餘得人上之法，而有差降安樂住止耶？」

[T1.730b18] 尊者阿那律陀白曰：「世尊！捨此住止，過此度此，更復有餘得人上之法，而有差降安樂住止。世尊！我等度一切色想，至得非有想非無想處成就遊。世尊！捨此住止，過此度此，謂更有此餘得人上之法，而有差降安樂住止，

[T1.730b23] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！阿那律陀，捨此住止，過此度此，頗更有餘得人上之法，而有差降安樂住止耶？」

[T1.730b25] 尊者阿那律陀白曰：「世尊！捨此住止，過此度此，更復有餘得人上之法，而有差降安樂住止。世尊！我等得如意足、天耳智、他心智、宿命智、生死智，諸漏已盡，得無漏，心解脫、慧解脫，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。世尊！捨此住止，過此度此，謂更有此餘得人上之法，而有差降安樂住止。」

[T1.730c04] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！阿那律陀，捨此住止，過此度此，頗更有餘得人上之法，而有差降安樂住止耶？」

[T1.730c06] 尊者阿那律陀白曰：「世尊！捨此住止，過此度此，更無有餘得人上之法，而有差降安樂住止。」

[T1.730c09] 於是，世尊便作是念：「此族姓子之所遊行，安隱快樂，我今寧可為彼說法。」世尊作是念已，即為尊者阿那律陀、尊者難提、尊者金毘羅說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，從坐[1]起去。於是，尊者阿那律陀、難提、金毘羅送世尊！隨其近遠，便還所住 。

[1] 坐＝座【宋】【元】【明】

[T1.730c15] 尊者難提、尊者金毘羅歎尊者阿那律陀曰：「 善哉！善哉！尊者阿那律陀，我等初不聞尊者阿那律陀說如是義，我等如是有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，然尊者阿那律陀盡向世尊極稱譽我等。」

[T1.730c20] 尊者阿那律陀歎尊者難提、金毘羅曰：「 善哉！善哉！尊者，我亦初未曾從諸賢等聞，尊者如是有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，然我長夜以心知尊者心，尊者有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神。是故我向世尊如是如是說。」

[T1.730c26] 於是，長鬼[1]天形體極妙，光明巍巍，夜將向旦，往詣佛所，稽首佛足，却住一面，白世尊曰：「大仙人，諸跋耆[2]人得大善利，謂現有世尊及三族姓子，尊者阿那律陀、尊者難提、尊者金毘羅。」

[T1.731a01] 地神從長鬼天聞所說，放高大音聲：「大仙人，諸跋耆人得大善利，謂現有世尊及三族姓子，尊者阿那律陀、難提、金毘羅。」

[T1.731a04] 從地神聞聲，虛空天、四王天[3]、三十三天[4]、[火*僉]摩天[5]、兜率哆天[6]、化樂天[7]、他化樂天[8]，須[叟>臾]聲徹至于梵天[9]：「大仙人，諸跋耆人得大善利，謂現有世尊及三族姓子，尊者阿那律陀、難提、金毘羅。」

[T1.731a08] 世尊告曰：「如是，如是，長鬼天，諸跋耆人得大善利，謂現有世尊及三族姓子，尊者阿那律陀、難提、金毘羅，長鬼天，地神聞汝聲已，便放高大音聲，大仙人，諸跋耆人得大善利，謂現有世尊及三族姓子，尊者阿那律陀、難提、金毘羅，從地神聞聲，虛空天、四天王天三十三天、*[火*僉]摩天、*兜率哆[10]天、化樂天、他化樂天，須臾聲徹至于梵天，大仙人，諸跋耆人得大善利，謂現有世尊及三族姓子，尊者阿那律陀、難提、金毘羅，長鬼天，若彼三族家，此三族姓子剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，彼三族家憶此三族姓子所因、所行者，彼亦長夜得大善利，安隱快樂，若彼村邑及天、魔、梵、沙門、梵志，從人至天，憶此三族姓子所因、所行者，彼亦長夜得利饒益，安隱快樂，長鬼天，此三族姓子如是有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神。」

---

[1] 長鬼～Dīgha yakkha.
[2] [>跋耆]～Vajjī.
[3] [>四王天]～Cātummahārājikā devā.
[4] [>三十三天]～Tāvatimsā devā.
[5] [火*僉]摩天＝焰摩天【宋】【元】【明】【聖】＊～Yāmā devā.
[6] 兜率哆天～Tusitā devā.，＝兜率陀天【宋】【元】【明】，＝兜瑟哆天【聖】＊
[7] [>化樂天]～Nimmānaratī devā.
[8] [>他化樂天]～Paranimmitavasavattino devā.
[9] [>梵天]～Brahmakāyikā devā.
[10] 哆＝陀【明】

[T1.731a25] 佛說如是，此三族姓子及長鬼天聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.731a28] 牛角娑羅林經第四竟[1](二千三百八字)[2]，

（一八六）中阿*含[3]雙品

(Ma.186)求解經[4] 第五(第四分別誦)[5]

[T1.731b02] 我聞如是。

[T1.731b02] 一時，佛遊拘樓瘦劒摩瑟曇拘樓都邑，

[T1.731b03] 爾時，世尊告諸比丘：「緣於彼意，不知他心如真者，彼世尊正盡覺不可知。云何求解於如來乎[6]，

[T1.731b05] 時，諸比丘白世尊曰：「世尊為法本，世尊為法主[7]，法由世尊！唯願說之，我等聞已，得廣知義，

[T1.731b07] 佛便告曰：「比丘！諦聽，善思念之，我當為汝具分別說，

[T1.731b08] 時，諸比丘受教而聽。

[T1.731b09] 世尊告曰：「緣於彼意，不知他心如真者，當以二事求解[8]如來，一者眼知色，二者耳聞聲。若有穢污眼、耳知法，是彼尊者為有、為無耶？若求時，則知所有穢污眼、耳知法，彼尊者無，若無此者，當復更求。若有雜眼、耳知法，是彼尊者為有、為無耶？若求時，則知所有雜眼、耳知法，彼尊者無，若無此者，當復更求。若有白淨眼、耳知法，是彼尊者為有、為無耶？若求時，則知所有白淨眼、耳知法，彼尊者有。若有此者，當復更求，彼尊者為長夜行此法、為暫行耶？若求時，則知彼尊者長夜行此法，不暫行也。若常

---

[1]〔牛角…竟〕－【明】
[2] 二千三百八字＝二千二百八字【宋】【元】，－【明】【聖】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～M. 47. Vīmamsaka sutta.
[5]〔第四分別誦〕－【明】
[6] 乎＝于【聖】
[7]〔主〕－【聖】
[8] 解＋（脫）【聖】

行者，當復更求，彼尊者為為名譽，為為利義入此禪耶？不為名譽，不為利義入此[1]禪耶？若求時，則知彼尊者非為災患故入此禪也。

[T1.731b24] 若有作是說，彼尊者樂行非恐怖，離欲不行欲，欲已盡也。便應問彼，賢者，有何行、有何力、有何智，令賢者自正觀如是說，彼尊者樂行非恐怖，離欲不行欲，欲已盡耶？彼若作是答，賢者，我不知彼心，亦非餘事知，然彼尊者或獨住，或在眾，或在集會。若有善逝，若為善逝所化為宗主，因食可見彼賢者，我不自知，我從彼尊者聞，面前諮受，我樂行非恐怖，離欲不行欲，欲已盡也。賢者，我有是行、有是力、有是智，令我自正觀如是說，彼尊者樂行不[2]恐怖，離欲不行欲，欲已盡也。

[T1.731c06] 於中當復問彼如來法。若有穢污眼、耳知法，有彼處此法滅盡無餘。若有雜眼、耳知法，有彼處此法滅盡無餘。若有白淨法，有彼處此法滅盡無餘，如來為彼答。若有穢污眼、耳知法，有彼處此法滅盡無餘。若有雜眼、耳知法，有彼處此法滅盡無餘。若有穢污眼、耳知法，如來滅斷拔絕根本，終不復生。若有雜眼、耳知法，如來滅斷拔絕根本，終[3]不復生。若有白淨法，如是我白淨，如是境界，如是沙門，我如是成就此正法、律，有信弟子往見如來，奉侍如來，從如來聞法，如來為說法，上復上，妙復妙，善除黑白，如來為說法，上復上，妙復妙，善除黑白者，如是如是聞已，知斷一法，於諸法得究竟，靖[4]信世尊！彼世尊正盡覺也。

[T1.731c21] 復應問彼，賢者，有何行、有何力、有何智，令賢者知斷一法，於諸法得究竟，*靖信世尊！彼世尊正盡覺耶？彼如是答，賢者，我[5]不知世尊心，亦非餘事知，我因世尊有如是*靖信，世尊為我說法，上復上，妙復妙，善除黑白，賢者，如如世尊為我說法者，如是如是我聞，如來為我說法，上復上，妙復妙，善除黑白，如是如是我聞已，知斷一法，於諸法得究竟，*靖信世尊！彼世尊正盡覺也[6]，賢者，我有是行、有是力、有是智，令我知斷一法，於諸法得究竟，*靖信世尊！彼世尊正盡覺也。若有此行、有此力，深著如來信根已立者，是謂信見本不壞智相應，沙門、梵志、天及魔、梵及餘世間無有能奪，如是求解如來，如是正知如來，

[T1.732a07] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行[7]，

[T1.732a09] 求解經第五竟[1](千一十八字)[2]，

---

[1] 此＝於【宋】
[2] 〔不〕－【聖】
[3] 終＝絕【宋】【元】【明】
[4] 靖＝淨【宋】【元】【明】，＝靜【聖】＊
[5] （若）＋我【宋】【元】【明】
[6] 也＝耶【宋】【元】【明】
[7] 奉行＋細書（第四分別誦訖）六字【明】

中阿含經卷第四十八 [3](九千九百一十九字) [4]

中阿含雙品第四竟 [5](九千九百一十九字)(第四分別誦竟 [6])[7]，

中阿含 [8]經

卷第四十九 (Ma.187~191)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯 [9]

雙品第一 [10](有五經 [11])(第五日誦名後誦)(有三品半合有三十六經)

說智阿夷那　　拘樓明聖道　東園論小空　　大空最在後

（一八七）中阿含 [12]雙品

(Ma.187)說智經 [13] 第一 [14]

[T1.732a22] 我聞如是。

[T1.732a22] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.732a23] 爾時，世尊告諸比丘：「若有比丘來向汝說已所得智，我生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，者，汝等聞之，當善然可，歡喜奉

---

[1]〔求解…竟〕－【明】
[2]〔千一十八字〕－【明】【聖】
[3] 經題品題位置顛倒【聖】
[4] 九千九百一十九字＝九千九百四十六字【宋】【元】，－【明】【聖】
[5]〔中阿含雙品第四竟(九千九百一十九字)(第四分別誦竟)〕二十二字－【宋】【元】【明】
[6]〔九千…字〕八字－【聖】
[7] ＋（光明皇后願文）【聖】
[8] 含＝鎗【德】【聖】＊
[9]〔東晉…婆譯〕十三字－【聖】＊
[10]〔雙品第一(有五經)(第五日誦名後誦)(有三品半合有三十六經)〕二十四字－【明】
[11] 第五日誦＝第五誦【宋】【元】，＝第五一日誦【德】
[12]〔中阿含〕－【明】
[13] ～M. 112. Chabbisodhana sutta. (六淨經)
[14] 第一＝第六＋（第五誦名後誦）【明】

行。善然可彼，歡喜奉行已，當復如是問彼比丘，賢者，世尊說五盛陰，色盛陰，覺、想、行、識盛陰，賢者。云何知、云何見此五盛陰，得知無所受，漏盡心解脫耶[1]？」

[T1.732a29] 「漏盡比丘得知梵行已立，法者應如是答。諸賢！色盛陰非果、空虛、不可欲、不恒有、不可倚、變易法，我知如是，若於色盛陰有欲、有染、有著、有縛、縛著使者，彼盡、無欲、滅、息、止，得知無所受，漏盡心解脫，如是覺、想、行、識盛陰，非果、空虛、不可欲、不恒有、不可倚、變易法，我知如是，若於識盛陰有欲、有染、有著、有縛、縛著使者，彼盡、無欲、滅、息、止，得知無所受，漏盡心解脫。諸賢！我如是知、如是見此五盛陰，得知無所受，漏盡心解脫，漏盡比丘得知梵行已立，法者應如是答。」

[T1.732b11] 「汝等聞之，當善然可，歡喜奉行。善然可彼，歡喜奉行已，當復如是問彼比丘，賢者，世尊說四食，眾生以此得存長養。云何為四？一曰摶[2]食麤細，二曰更樂，三曰意念，四曰識也。賢者。云何知、云何見此四食，得知無所受，漏盡心解脫耶？」

[T1.732b17]「漏盡比丘得知梵行已立，法者應如是答。諸賢！我於*摶食，意不高不下，不倚[3]不縛，不染不著，得解得脫，盡得解脫，心離顛倒，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，如是更樂、意念、識食，不高不下，不*倚不縛，不染不著，得解得脫，盡得解脫，心離顛倒，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。諸賢！我如是知，如是見此四食，得知無所受，漏盡心解脫，漏盡比丘得知梵行已立，法者應如是答。」

[T1.732b26] 「汝等聞之，當善然可，歡喜奉行。善然可彼，歡喜奉行已，當復如是問彼比丘，賢者，世尊說四說。云何為四？一曰見見說[4]，二曰聞聞說，三曰識識說，四曰知知說，賢者。云何知、云何見此四說，得知無所受，漏盡心解脫耶？」

[T1.732c02] 「漏盡比丘得知梵行已立，法者應如是答。諸賢！我於見見說，不高不下，不*倚不縛，不染不著，得解得脫，盡得解脫，心離顛倒，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，如是聞聞、識識、知知說，不高不下，不*倚不縛，不染不著，得解得脫，盡得解脫，心離顛倒，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。諸賢！我如是知、如是見此四說，得知無所受，漏盡心解脫，漏盡比丘得知梵行已立，法者應如是答。」

---

[1] 耶＝邪【聖】下皆同
[2] 摶＝揣【聖】＊
[3] 倚＝猗【聖】[>＊]
[4] 見見說…知知說～Diṭṭhe diṭṭhavāditā, sute sutavāditā, mute mutavāditā, viññātavāditā.

[T1.732c12] 「汝等聞之，當善然可，歡喜奉行。善然可彼，歡喜奉行已，當復如是問彼比丘，賢者，世尊說內六處，眼處，耳、鼻、舌、身、意處，賢者。云何知、云何見此內六處，得知無所受，漏盡心解脫耶？」

[T1.732c16] 「漏盡比丘得知梵行已立，法者應如是答。諸賢！我於眼及眼識，眼識知法俱知，二法知已。諸賢！若眼及眼識，眼識知法，樂已盡，彼盡、無欲、滅、息、止，得知無所受，漏盡心解脫，如是耳、鼻、舌、身、意及意識，意識知法俱知，二法知已。諸賢！若意及意識，意識知法，樂已盡，彼盡、無欲、滅、息、止，得知無所受，漏盡心解脫。諸賢！我如是知、如是見此內六處，得知無所受，漏盡心解脫，漏盡比丘得知梵行已立，法者應如是答。」

[T1.732c26] 「汝等聞之，當善然可，歡喜奉行。善然可彼，歡喜奉行已，當復如是問彼比丘，賢者，世尊說六界，地界、水界、火界、風界、空界、識界，賢者。云何知、云何見此六界，得知無所受，漏盡心解脫耶？」

[T1.733a01] 「漏盡比丘得知梵行已立，法者應如是答。諸賢！我不見地界是我所，我非地界所，地界非是神，然謂三受[1]依地界住識[2]使所著，彼盡、無欲、滅、息、止，得知無所受，漏盡心解脫，如是水、火、風、空、識界，非是我所，我非識界所，識界非是神，然謂*三受依識界住，*識使所著，彼盡、無欲、滅、息、止，得知無所受，漏盡心解脫。諸賢！我如是知、如是見此六界，得知無所受，漏盡心解脫，漏盡比丘得知梵行已立，法者應如是答。」

[T1.733a11] 「汝等聞之，當善然可，歡喜奉行。善然可彼，歡喜奉行已，當復如是問彼比丘，賢者。云何知、云何見，此內身共有識及外諸相，一切我、我作及慢使斷知，拔[3]絕根本，終不復生。」

[T1.733a15] 「漏盡比丘得知梵行已立，法者應如是答。諸賢！我本未出家學道時，厭生老病死、啼泣困苦、愁[4]慼憂悲，欲斷此大苦陰。諸賢！我厭患已而作是觀，在家至狹[5]，塵勞之處，出家學道，發露曠大，我今在家，為鎖所鎖，不得盡形壽淨修梵行，我寧可捨少財物及多財物，捨少親族及多親族，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道。諸賢！我於後時捨少財物及多財物，捨少親族及多親族，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道。諸

---

[1] 三受＝二受【宋】【元】【明】【德】【聖】＊
[2] 識＝諸【宋】【元】【明】【聖】＊
[3] 拔＝狄【聖】
[4] 愁＝惱【德】【聖】
[5] 狹＝夾【德】【聖】

賢！我出家學道，捨族相[1]已，受比丘要，修習禁戒，守護從解脫，又復善攝威儀禮節，見纖介[2]罪，常懷畏怖，受持學要。」

[T1.733a27]「諸賢！我離殺，斷殺，棄捨刀杖[3]，有慚有愧，有慈悲心，饒益一切乃至蜫蟲，我於殺生淨除其心，我離不與取，斷不與取，與而後取，樂於與取，常好布施，歡喜無悋，不望其報，我於不與取淨除其心。諸賢！我離非梵行，斷非梵行，勤修梵行，精勤妙行，清淨無穢，離欲斷婬[4]，我於非梵行淨除其心。諸賢！我離妄言，斷於妄言，真諦言，樂真諦，住真諦，不移動，一切可信，不欺世間，我於妄言淨除其心。諸賢！我離兩舌，斷於兩舌，行不兩舌，不破壞他，不此聞語彼，欲破壞此，不彼聞語此，欲破壞彼，離者欲合，合者歡喜，不作群黨，不樂群黨，不稱群黨，我於兩舌淨除其心。」

[T1.733b12]「諸賢！我離麤言，斷於麤言。若有所言，辭氣麤[獷[5]，惡聲逆耳，眾所不喜，眾所不愛，使他苦惱，令不得定，斷如是言。若有所說，清和柔潤，順耳入心，可喜可愛，使他安樂，言聲具了，不使人畏，令他得定，說如是言，我於麤言淨除其心。諸賢！我離綺語，斷綺語，時說、真說、法說、義說、止息說，樂止息諍[6]事，順時得宜，善教善呵，我於綺語淨除其心。諸賢！我離治生，斷於治生，棄捨稱量及斗斛，亦不受貨，不縛束人，不望折斗量，不以小利侵欺於人，我於治生淨除其心。」

[T1.733b23]「諸賢！我離受寡婦、童女，斷受寡婦、童女，我於受寡婦、童女淨除其心。諸賢！我離受奴婢，斷受奴婢，我於受奴婢淨除其心。諸賢！我離受象、馬、牛、羊，斷受象、馬、牛、羊，我於受象、馬、牛、羊淨除其心。諸賢！我離受雞、猪，斷受雞、猪，我於受雞、猪淨除其心。諸賢！我離受田業、店肆，斷受田業、店肆，我於受田業、店肆淨除其心。諸賢！我離受生稻、麥、豆[7]，斷受生稻、麥、*豆，我於受生稻、麥、*豆淨除其心。諸賢！我離酒，斷酒，我於飲酒淨除其心。諸賢！我離高廣大床，斷高廣大床，我於高廣大床淨除其心。諸賢！我離華鬘、瓔珞、塗香、脂[8]粉，斷華鬘、瓔珞、塗香、*脂粉，我於花鬘、瓔珞、塗香、*脂粉淨除其心。諸賢！我離歌舞倡伎及往觀聽，斷歌舞倡伎及往觀聽，我於歌舞倡伎及往觀聽淨除其心。諸賢！我離

---

[1] 相＝財【元】【明】
[2] 介＝芥【宋】【元】【明】
[3] 杖＝仗【德】
[4] 婬＝望【聖】
[5] 獷＝[麩-夫+黃]【聖】
[6] 諍＝說【德】【聖】
[7] 豆＝荳【宋】＊
[8] 脂＝[米*旨]【宋】＊

受生色像[1]寶，斷受生色*像寶，我於受生色*像寶淨除其心。諸賢！我離過中食，斷過中食，一食、不夜食、學時食，我於過中食淨除其心。」

[T1.733c13]「諸賢！我已成就此聖戒身，復行知足，衣取覆形，食取[2]充軀，我所往處，衣鉢自隨，無有顧戀，猶如鴈鳥與兩翅俱飛翔空中，我亦如是。諸賢！我已成就此聖戒身及極知足，復守諸根，常念閉塞，念欲明達，守護念心，而得成就，恒欲起意，若眼見色，然不受相[3]，亦不味色，謂忿諍故，守護眼根，心中不生貪伺、憂慼、惡不善法，趣向彼故，守護眼根，如是耳、鼻、舌、身，若意知法，然不受相[4]，亦不味法，謂忿諍故，守護意根，心中不生貪[5]伺、憂慼、惡不善法，趣向彼故，守護意根。諸賢！我已成就此聖戒身及極知足，聖護諸根，正知出入，善觀分別，屈伸[6]低仰，儀容庠序，善著僧伽梨[7]及諸衣鉢，行住坐臥、眠寤[8]語默，皆正知之。」

[T1.733c27]「諸賢！我已成就此聖戒身及極知足，亦成就聖戒護諸根，得正知出入，獨住遠離在無事處，或至樹下空安靖[9]處，山巖石室、露地穰[卄/積][10]，或至林中，或在塚[11]間。諸賢！我已在無事處，或至樹下空安*靖處，敷尼師檀[12]，結跏趺坐，正身正願，及[13]念不向，斷除*貪伺，心無有諍，見他財物、生活具，不起貪伺，欲令我得，我於貪伺淨除其心，如是瞋恚、睡眠、調[14]斷疑度惑[15]，於諸善法無有猶豫，我於疑*惑淨除其心。諸賢！我已斷此五蓋、心穢、慧羸，離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊。諸賢！我已得如是定心清淨，無穢無煩，柔軟[16]善住，得不動心，趣向漏盡通智作證。」

[T1.734a12]「諸賢！我知此苦如真，知此苦習[17]、知此苦滅、知此苦滅道如知此漏、知此漏*習、知此漏滅、知此漏滅道如真，彼如是知、如是見，欲漏心解脫，有漏、無明漏心解脫，解脫已便知解脫，生已盡，梵行已立，所作已[辨>辦]，不更受有，知如真。諸賢！我如是知、如是見，內身有識及外諸相，一

---

[1] 像＝象【德】＊
[2] 取＝趣【德】
[3] 相＝想【宋】【元】【明】
[4] 相＝想【明】
[5] 貪＝念【德】＊
[6] 伸＝申【宋】【德】【聖】＊
[7] [>僧伽梨]～Saṃghāṭī.
[8] 寤＝覺【宋】【元】【明】【聖】
[9] 靖＝靜【宋】【元】【明】【德】【聖】＊［＊ 1]
[10] [卄/積]＝積【德】【聖】
[11] 塚＝家【宋】【元】
[12] 檀＝壇【宋】＊【元】＊【明】＊
[13] 及＝反【宋】【元】【明】
[14] 調＝掉【元】【明】
[15] 惑＝或【德】＊
[16] 軟＝濡【德】
[17] 習＝集【元】【明】＊

切我、我行及慢使斷知，拔絕根本，終不復生，漏盡比丘得知梵行已立，法者應如是答，汝等聞之，當善然可，歡喜奉行。善然可彼，歡喜奉行已，當復如是語彼比丘，賢者，初說我等已可意歡喜，然我等欲從賢者上復上，求智慧應答辯[1]才，以是故我等從賢者問復問耳。」

[T1.734a24] 佛說如是[2]，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.734a26] 說智經第一竟[3](二千八百四十六字)[4]，

（一八八）中阿*含[5]雙品

(Ma.188)阿夷那經[6] 第二[7](第五後誦)[8]

[T1.734a29] 我聞如是。

[T1.734a29] 一時，佛遊舍衛國，在於東園鹿子母堂。

[T1.734b01] 爾時，世尊則於晡時，從燕坐[9]起，堂上來下，在堂影中露地經行，為諸比丘廣說甚深微妙之法，彼時，異學阿夷那，沙門蠻頭弟子遙見世尊從*燕坐起，堂上來下，在堂影中露地經行，為諸比丘廣說甚深微妙之法，異學阿夷那，沙門蠻頭弟子往詣佛所，共相問訊，隨佛經行，世尊迴顧問曰：「阿夷那，沙門蠻頭實思五百思。若有異沙門、梵志一切知、一切見者，自稱我有無餘、知無餘，見彼有過、自稱有過。」

[T1.734b10] 異學阿夷那，沙門蠻頭弟子答曰：「瞿曇！沙門蠻頭實思五百思。若有異沙門、梵志一切知、一切見者，自稱我有無餘、知無餘，見彼有過、自稱有過。」

---

[1] 辯＝辨【德】
[2] 說如是＝如是說【宋】【元】【明】
[3]〔說智…竟〕－【明】
[4]〔二千…六字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[5]〔中阿含〕－【明】
[6] ～《增支部》A.10.116. Ajita(阿夷那)；10.115. Adhamma(3) (非法 3)
[7] 二＝七【明】
[8]〔第五後誦〕－【明】
[9] 燕坐＝宴坐【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.734b13] 世尊復問曰：「阿夷那。云何沙門蠻頭思[1]五百思。若有異[2]沙門、梵志一切知、一切見者自稱我有無餘、知無餘，見彼有過、自稱有過耶？」

[T1.734b17] 異學阿夷那，沙門蠻頭弟子答曰：「瞿曇！沙門蠻頭作如是說，若行、若住、若坐、若臥、若眠、若寤[3]，或晝、或夜，常無礙知見，或時逢[馬*奔][4]象、逸馬、*[馬*奔]車、叛兵、走男、走女，或行如是道，逢惡象、惡馬、惡牛、惡狗，或值蛇[5]聚，或得塊擲，或得杖打，或墮溝瀆，或墮廁中，或乘臥牛，或墮深坑，或入刺中，或見村邑，問名問道，見男見女，問姓問名，或觀空舍，或如是入族，彼既入已，而問我曰：「尊從何行，我答彼曰：「諸賢！我趣惡道也。瞿曇！沙門蠻頭如是比丘思五百思。若有異沙門、梵志一切知、一切見者，自稱我有無餘、知無餘，見彼有過也。」

[T1.734b29] 於是，世尊離於經行，至經行頭[6]敷尼師檀[7]，結跏趺坐，問諸比丘！我所說智慧事，汝等受持耶[8]，彼諸比丘默然不答。」

[T1.734c02] 世尊復至再三問曰：「諸比丘！我所說智慧事，汝等受持耶？諸比丘亦至再三默然不答。」

[T1.734c04] 彼時，有一比丘即從坐[9]起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！今正是時，善逝，今正是時，若世尊為諸比丘說智慧事，諸比丘從世尊聞，當善受持。」

[T1.734c08] 世尊告曰：「比丘！諦聽，善思念之，我當為汝具分別說。」

[T1.734c09] 時，諸比丘白曰：「唯然，當受教聽。」

[T1.734c10] 佛復告曰：「凡有二眾，一曰法眾，二曰非法眾，何者非法眾，或有一行非法說非法，彼眾亦行非法說非法，彼非法人住非法眾前，自已所知，而虛妄言，不是真實，顯示分別，施設其行，流布次第說法，欲斷他意弊惡，難詰不可說也。於正法、律[10]中，不可稱立自已所知，彼非法人住非法眾前，自稱我有智慧普知，於中若有如是說智慧事者，是謂非法眾，何者法眾，或有一行法說法，彼眾亦行法說法，彼法人住法眾前，自已所知，不虛妄言，是真

---

[1] （實）＋思【宋】【元】【明】
[2] 異＋（學）【德】
[3] 寤＝覺【宋】【元】【明】【聖】
[4] [馬*奔]＝奔【德】[>＊]
[5] （青）＋蛇【宋】【元】【明】
[6] （道）＋頭【宋】【元】【明】
[7] 檀＝壇【宋】【元】【明】
[8] 耶＝邪【德】＊
[9] 坐＝座【元】【明】
[10] 〔律〕－【宋】【元】【明】【聖】

是實，顯示分別，施設其行，流布次第說，欲斷他意弊惡，難詰則可說也。於正法中而可稱立自已所知，彼法人住法眾前，自稱我有智慧普知，於中若有如是說智慧事者，是謂法眾。是故汝等當知法、非法、義與非義，知法、非法、義、非義已，汝等當學如法如義。」

[T1.734c26] 佛說如是，即從座起，入室*燕坐，於是諸比丘便作是念：「諸賢當知世尊略說此義，不廣分別。」即從坐起，入室*燕坐。「是故，汝等當知法、非法、義與非義，知法、非法、義、非義已，汝等當學如法如義。」彼復作是念：「諸賢誰能廣分別世尊向所略說義。」彼復作是念：「尊者阿難是佛侍者而知佛意，常為世尊之所稱譽，及諸智梵行人，尊者阿難能廣分別世尊向所略說義，諸賢共往詣尊者阿難所，請說此義，若尊者阿難為分別者，我等當善受持。」

[T1.735a08] 於是，諸比丘往詣尊者阿難所，共相問訊，却坐一面，白曰：「尊者阿難！當知世尊略說此義，不廣分別，即從坐起，入室*燕坐，汝等當知法、非法、義與非義，知法、非法、義、非義已，汝等當學如法如義，我等便作是念：諸賢誰能廣分別世尊向所略說義，我等復作是念：尊者阿難是佛侍者而知佛意，常為世尊之所稱譽，及諸智梵行人，尊者阿難能廣分別世尊向所略說義，唯願尊者阿難為慈愍故而廣說之。」

[T1.735a17] 尊者阿難告曰：「諸賢！聽我說喻，慧者聞喻則解其義。諸賢！猶如有人欲得求實，為求實故，持斧入林，彼見大樹成根、莖、節、枝、葉、華、實，彼人不觸根、莖、節、實，但觸枝、葉，諸賢所說亦復如是，世尊現在，捨來就我而問此義。所以者何？諸賢，當知世尊是眼、是智、是義、是法、法主、法將，說真諦義，現一切義由彼世尊！諸賢應往詣世尊所而問此義。世尊！此云何，此何義，如世尊說者，諸賢等當善受持。」

[T1.735a26] 時，諸比丘白曰：「唯然，尊者阿難！世尊是眼、是智、是義、是法、法主、法將，說真諦義，現一切義由彼世尊！然尊者阿難是佛侍者而知佛意，常為世尊之所稱譽，及諸智梵行人，尊者阿難能廣分別世尊向所略說義，唯願尊者阿難為慈愍故而廣說之。」

[T1.735b03] 尊者阿難告諸比丘：「諸賢等，共聽我所說。諸賢！邪見非法，正見是法。若有因邪見生無量惡不善法者，是謂非義，若因正見生無量善法者，是謂是[1]義。諸賢！乃至邪智非法，正智是法，若因邪智生無量惡不善法者，是謂非義，若因正智生無量善法者，是謂是義。諸賢！謂世尊略說此義，不廣分別，即從坐起，入室*燕坐。是故汝等當知法、非法、義與非義，知法、非法、

[1] 是＝正【宋】【元】【明】

義、非義已，汝等當學如法如義，此世尊略說，不廣分別義，我以此句、以此文廣說如是，諸賢可往向[1]佛具陳，若如世尊所說義者，諸賢等便可受持。」

[T1.735b15] 於是，諸比丘聞尊者阿難所說，善受持誦，即從坐起，繞尊者阿難三匝而去，往詣佛所，稽首作禮，却坐一面，白曰：「世尊！向世尊略說此義，不廣分別，即從坐起，入室*燕坐，尊者阿難以此句、以此文而廣說之。」

[T1.735b20] 世尊聞已，歎曰：「 善哉！善哉！我弟子中有眼、有智、有法、有義。所以者何？謂師為弟子略說此義，不廣分別，彼弟子以此句、以此文而廣說之，如阿難所說，汝等應當如是受持。所以者何？以說觀義應如是也。」

[T1.735b25] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.735b26] 阿夷那經第二竟[2](千八百二十八字)[3]，

（一八九）中阿*含[4]雙品

(Ma.189)聖道經[5] 第三[6](第五後誦)[7]

[T1.735b29] 我聞如是。

[T1.735b29] 一時，佛遊拘樓瘦劒磨瑟曇拘樓都邑。

[T1.735c01] 爾時，世尊告諸比丘：「有一道令眾生得清淨，離愁慼啼哭，滅憂苦懊惱，便得如法，謂聖正定，有習、有助，亦復有具而有七支[8]，於聖正定說習、說助，亦復說具。云何為七？正見、正志、正語、正業、正命、正方便、正念。若有以此七*支習、助、具，善趣向心得一者，是謂聖正定，有習、有助，亦復有具。所以者何？正見生正志，正志生正語，正語生正業，正業生正命，正命生正方便，正方便生正念，正念生正定，賢聖弟子如是心正定，頓盡婬、怒、癡，賢聖弟子如是正心解脫，頓知生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，彼中正見最在其前。」

---

[1] 向＝詣【宋】【元】【明】
[2]〔阿夷…竟〕－【明】
[3]〔(千八百二十八字)〕－【宋】【元】【明】【聖】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～M. 117. Mahā-Cattārīsaka sutta. (大四十經)
[6] 三＝八【明】
[7]〔第五後誦〕－【明】
[8] 支＝枝【德】【聖】＊

[T1.735c13]「若見邪見是邪見者，是謂正見，若見正見是正見者，亦謂正見。云何邪見，謂此見無施、無齋、無有呪說，無善惡業，無善惡業報，無此世彼世，無父無母，世無真人往至善處、善去善向、此世彼世自知自覺自作證成就遊，是謂邪見。云何正見，謂此見有施、有齋，亦有呪說，有善惡業，有善惡業報，有此世彼世，有父有母，世有真人往至善處、善去善向，此世彼世自知自覺自作證成就遊，是謂正見，是為見邪見是邪見者，是謂正見，見正見是正見者，亦謂正見，彼如是知已，則便求學，欲斷邪見成就正見，是謂正方便，比丘以念斷於邪見，成就正見，是謂正[1]念，此三*支隨正見從見方便。是故正見最在前也。」

[T1.735c27]「若見邪志是邪志者，是謂正志，若見正志是正志者，亦謂正志。云何邪志，欲念、恚念、害念，是謂邪志。云何正志，無欲念、無恚念、無害念，是謂正志，是為見邪志是邪志者，是謂正志，見正志是正志者，亦謂正志，彼如是知已，則便求學，欲斷邪志成就正志，是謂正方便，比丘以念斷於邪志，成就正志，是謂正念，此三*支隨正志從見方便。是故正見最在前也。」

[T1.736a07]「若見邪語是邪語者，是謂正語，若見正語是正語者，亦謂正語。云何邪語，妄言、兩舌、麤言、綺語，是謂邪語。云何正語，離妄言、兩舌、麤言、[猗>綺]語，是謂正語，是為見邪語是邪語者，是謂正語，見正語是正語者，亦謂正語，彼如是知已，則便求學，欲斷邪語成就正語，是謂正方便，比丘以念斷於邪語，成就正語，是謂正念，此三*支隨正語從見方便。是故正見最在前也。」

[T1.736a15]「若見邪業是邪業者，是謂正業，若見正業是正業者，亦謂正業。云何邪業，殺生、不與取、邪婬，是謂邪業。云何正業，離殺、不與取、邪婬，是謂正業，是為見邪業是邪業者，是謂正業，見正業是正業者，亦謂正業，彼如是知已，則便求學，欲斷邪業成就正業，是謂正方便，比丘以念斷於邪業，成就正業，是謂正念，此三*支隨正業從見方便。是故正見最在前也。」

[T1.736a24]「 若見邪命是邪命者，是謂正命，若見正命是正命者，亦謂正命。云何邪命。若有求無滿[2]意，以若干種畜生之呪，邪命存命，彼不如法求衣被，以非法也。不如法求飲食、床榻、湯藥、諸生活具，以非法也。是謂邪命。云何正命，若不求無*滿意，不以若干種畜生之呪，不邪命存命，彼如法求衣被，則以法也。如法求飲食、床榻、湯藥、諸生活具，則以法也。是謂正命，是為見邪命是邪命者，是謂正命，見正命是正命者，亦謂正命，彼如是知已，則便求學，欲斷邪命，成就正命，是謂正方便，比丘以念斷於邪命，成就正命，是謂正念，此三*支隨正命從見方便。是故正見最在前也。」

---

[1] 正＋（方便）【宋】【元】【明】
[2] 滿＝漏【宋】＊

[T1.736b08]「云何正方便，比丘者，已生惡法為斷故，發欲求方便，精勤舉心滅，未生惡法為不生故，發欲求方便，精勤舉心滅，未[1]生善法為生故，發欲求方便，精勤舉心滅，已生善法為住不忘不退，轉增廣布，修習滿具故，發欲求方便，精勤舉心滅，是謂正方便。云何正念，比丘者，觀內身如身，觀至覺、心、法如法，是謂正念。云何正定，比丘者，離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊，是謂正定。云何正解脫，比丘者，欲心解脫，恚、癡心解脫，是謂正解脫。云何正智，比丘者，知欲心解脫，知恚、癡心解脫，是謂正智也。是為學者成就八支[2]，漏盡阿羅訶[3]成就十*支[4]。」

[T1.736b21]「云何學者成就八*支，學正見，至學正定，是為學者成就八*支。云何漏盡*阿羅訶成就十支，無學正見至無學正智，是謂漏盡*阿羅訶成就十*支。所以者何？正見者，斷於邪見，若因邪見生無量惡不善法者，彼亦斷之，若因正見生無量善法者，彼則修習，令滿具足，至正智者斷於邪智，若因邪智生無量惡不善法者，彼亦斷之，若因正智生無量善法者，彼則修習，令滿具足。」

[T1.736c01]「是為二十善品、二十不善品，是為說四十大法品轉於梵輪，沙門、梵志、天及魔、梵及餘世間，無有能制而言非者。若有沙門、梵志者，我所說四十大法品[5]轉於梵輪，沙門、梵志、天及魔、梵及餘世間，無有能制而言非者，彼於如法有十詰責[6]。云何為十？若毀呰正見，稱譽邪見。若有邪見沙門、梵志，若供養彼而稱譽彼。若有沙門、梵志者，我所說四十大法品轉於梵輪，沙門、梵志、天及魔、梵及餘世間，無有能制而言非者，彼於如法是謂一*詰責。」

[T1.736c11]「若毀呰，至正智，稱譽邪智。若有邪智沙門、梵志，若供養彼而稱譽彼。若有沙門、梵志，我所說四十大法品轉於梵輪，沙門、梵志、天及魔，梵及餘世間，無有能制而言非者，彼於如法是謂第十*詰責。若有沙門、梵志，我所說四十大法品轉於梵輪，沙門、梵志、天及魔、梵及餘世間，無有能制而言非者，是謂於如法有十*詰責，若更有餘沙門、梵志，蹲踞說蹲踞，無所有說無所有，說無因、說無作、說無業，謂彼彼所作善惡施設，斷絕破壞彼此，我所說四十大法品轉於梵輪，沙門、梵志、天及魔、梵及餘世間，無有能制而言非者，彼亦有*詰責、愁憂恐怖。」

[T1.736c24] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

---

[1]〔滅未…心滅〕十八字－【聖】
[2] [>學者成就八支]～Aṭṭhaṅgasamannāgato sekho.
[3] 阿羅訶＝阿羅漢【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] [>漏盡阿羅訶成就十支]～Dasaṅgasamannāgato arahā.
[5] 法品＝品法【宋】
[6] 詰責＝詰嘖【宋】＊

[T1.736c26] 聖道經第三竟[1](千八百五字)[2]，

（一九○）中阿*含[3]雙品

(Ma.190)小空經[4] 第四[5](第五後誦)[6]

[T1.736c29] 我聞如是。

[T1.736c29] 一時，佛遊舍衛國，在於東園鹿子母堂[7]。

[T1.737a01] 爾時，尊者阿難則於晡時從燕[8]坐起，往詣佛所，稽首佛足，却住一面，白曰：「世尊一時遊行釋中[9]，城名釋都邑，我於爾時從世尊聞說如是義。阿難！我多行空，彼世尊所說，我善知、善受，為善持耶[10]？」

[T1.737a05] 爾時，世尊答曰：「阿難！彼我所說，汝實善知、善受、善持。所以者何？我從爾時及至於今，多行空也。阿難！如此鹿子母堂空無象、馬、牛、羊、財物、穀米、奴婢，然有不空，唯比丘眾，是為。阿難！若此中無者，以此故我見是空，若此有餘者，我見真實有。阿難！是謂行真實、空、不顛倒也。阿難！比丘若欲多行空者，彼比丘莫念村想，莫念人想，當數念一無事想[11]，彼如是知空於村想，空於人想，然有不空，唯一無事想。若有疲勞，因村想故，我無是也。若有疲勞，因人想故，我亦無是，唯有疲勞，因一無事想故，若彼中無者，以此故，彼見是空，若彼有餘者，彼見真實有。阿難！是謂行真實、空、不顛倒也。」

[T1.737a19]「復次。阿難！比丘若欲多行空者，彼比丘莫念人想，莫念無事想，當數念一地想，彼比丘若見此地有高下，有蛇聚，有棘刺[12]叢，有沙有石，山嶮[13]深河，莫念彼也。若見此地平正[14]如掌，觀望處好，當數念彼。阿難！猶

---

[1]〔聖道…竟〕－【明】
[2]〔千八百五字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～M. 121. Cūḷa-suññatā sutta. (空小經)，藏(東北 290, 北京 956 .)
[5] 第四＝第九【明】
[6]〔第五後誦〕－【明】
[7] [>東園鹿子母堂]～Pubbārāma Migāra-māta pāsāda.
[8] 燕＝宴【宋】【元】【明】
[9] [>釋中]～Sakka.
[10] 耶＝邪【德】＊
[11] [>無事想]～Araññasaññā.
[12] 棘刺＝刺棘【宋】【元】【明】
[13] 山嶮＝山峪【元】【明】＊
[14] 正＝政【德】【聖】＊

如牛皮，以百釘張，極張托已，無皺無縮，若見此地有高下，有蛇聚，有棘刺[1]叢，有沙有石，*山嶮深河，莫念彼也。若見此地平*正如掌，觀望處好，當數念彼，彼如是[2]知，空於人想，空無事想，然有不空，唯一地想。若有疲勞，因人想故，我無是也。若有疲勞，因無事想故，我亦無是，唯有疲勞，因一地想故，若彼中無者，以此故，彼見是空，若彼有餘者，彼見真實有。阿難！是謂行真實、空、不顛倒也。

[T1.737b04]「復次。阿難！比丘若欲多行空者，彼比丘莫念無事想，莫念地想，當數念一無量空處想[3]，彼如是知，空無事想，空於地想，然有不空，唯一無量空處想。若有疲勞，因無事想故，我無是也。若有疲勞，因地想故，我亦無是，唯有疲勞，因一無量空處想故，若彼中無者，以此故，彼見是空，若彼有餘者，彼見真實有。阿難！是謂行真實、空、不顛倒也。」

[T1.737b12]「復次。阿難！比丘若欲多行空者，彼比丘莫念地想，莫念無量空處想，當數念一無量識處想，彼如是知，空於地想，空無量空處想，然有不空，唯一無量識處想。若有疲勞，因地想故，我無是也。若有疲勞，因無量空處想故，我亦無是，唯有疲勞，因一無量識處想故，若彼中無者，以此故，彼見是空，若彼有餘者，彼見真實有。阿難！是謂行真實、空、不顛倒也。」

[T1.737b21]「復次。阿難！比丘若欲多行空者，彼比丘莫念無量空處想，莫念無量識處想，當數念一無所有處想[4]，彼如是知，空無量空處想，空無量識處想，然有不空，唯一無所有處想。若有疲勞，因無量空處想故，我無是也。若有疲勞，因無量識處想故，我亦無是，唯有疲勞，因一無所有處想故，若彼中無者，以此故，彼見是空，若彼有餘者，彼見真實有。阿難！是謂行真實、空、不顛倒也。」

[T1.737c01]「復次。阿難！比丘若欲多行空者，彼比丘莫念無量識處想，莫念無所有處想，當數念一無想心定[5]，彼如是知，空[6]無量識處想，空無所有處想，然有不空，唯一無想心定。若有疲勞，因無量識處想故，我無是也。若有疲勞，因無所有處想故，我亦無是，唯有疲勞，因一無想心定故，若彼中無者，以此故，彼見是空，若彼有餘者，彼見真實有。阿難！是謂行真實、空、不顛倒也。」

---

[1] 棘刺＝刺棘【明】
[2] 彼如是＝如是見【宋】【元】【明】
[3] [>無量空處想]～Ākāsānañcāyatanasaññā.(空無邊處)
[4] [>無所有處想]～Ākiñcaññāyatanasaññā.
[5] [>無想心定]～[Nevasaññānāsaññāyatanasaññā.>animitta cetosamādhi.] (非想非非想處)
[6] 空＝定【宋】【元】【明】

[T1.737c09]「彼作是念：我本無想心定，本所行、本所思，若本所行、本所思者，我不樂彼，不求彼，不應住[1]彼，如是知、如是見，欲漏心解脫，有漏、無明漏心解脫，解脫已，便知解脫，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，彼如是知，空欲漏，空有漏、空無明漏，然有不空，唯此我身六處命存。若有疲勞，因欲漏故，我無是也。若有疲勞，因有漏、無明漏故，我亦無是，唯有疲勞，因此我身六處命存故，若彼中無者，以此故，彼見是空，若彼有餘者，彼見真實有。阿難！是謂行真實、空、不顛倒也。謂漏盡、無漏、無為、心解脫。」

[T1.737c21]「阿難！若過去諸如來、無所著、等正覺，彼一切行此真實、空、不顛倒，謂漏盡、無漏、無為、心解脫。阿難！若當來諸如來、無所著、等正覺，彼一切行此真實、空、不顛倒，謂漏盡、無漏、無為、心解脫。阿難！若今現在我如來、無所著、等正覺，我亦行此真實、空、不顛倒，謂漏盡、無漏、無為、心解脫。阿難！汝當如是學，我亦行此真實、空、不顛倒，謂漏盡、無漏、無為、心解脫。是故。阿難！當學如是。」

[T1.737c29] 佛說如是，尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.738a02] 小空經第四竟[2](千四百二十三字[3])，

（一九一）中阿含[4]*雙品

(Ma.191)大空經[5] 第五[6](第五後誦)[7]

[T1.738a05] 我聞如是。

[T1.738a05] 一時，佛遊釋中[8]迦維羅衛[9]，在尼拘類[10]園。

[T1.738a06] 爾時，世尊過夜平旦，著衣持鉢，入迦維羅衛而行乞食，食訖中後，往詣加羅差摩釋精舍[1]，爾時，加羅差摩釋精舍敷眾多床座[2]，眾多比丘於

---

[1] 住＝注【聖】
[2]〔小空…竟〕－【明】
[3]〔千四百二十三字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～M. 122. Mahā-suññatā sutta
[6] 第五＝第十【明】
[7]〔第五後誦〕－【明】
[8] [>釋中]～Sakkā.
[9] [>迦維羅衛]～Kapilavatthu.
[10] [>尼拘類]～Nigrodha.

中住止，彼[3]時，世尊從加羅差摩釋精舍出，往詣加羅釋[4]精舍，爾時，尊者阿難與眾多比丘在*加羅釋精舍中集作衣業，尊者阿難遙見佛來，見已出迎，取佛衣鉢，還敷床座，汲水洗足，佛洗足已，於加[5]羅釋精舍坐尊者阿難所敷之*座，告曰：「阿難！加羅差摩釋精舍敷眾多床座，眾多比丘於中住止。」

[T1.738a16] 尊者阿難白曰：「唯然。世尊！加羅差摩釋精舍敷眾多床*座，眾多比丘於中住止。所以者何？我今作衣業。」

[T1.738a18] 時，世尊復告阿難曰：「比丘不可欲嘩說、樂於嘩說、合會嘩說、欲眾、樂眾、合會於眾、不欲離眾、不樂獨住遠離之處。若有比丘欲嘩說、樂於嘩說、合會嘩說、欲眾、樂眾、合會於眾、不欲離眾、不樂獨住遠離處者，謂有樂、聖樂、無欲之樂、離樂、息樂、正覺之樂、無食之樂、非生死樂，若得如是樂，易不難得者，終無是處，阿難！若有比丘不欲嘩說，不樂嘩說，不合會嘩說，不欲於眾，不樂於眾，不合會眾，欲離於眾，常樂獨住[6]遠離處者，謂有樂、聖樂、無欲之樂、離樂、息樂、正覺之樂、無食之樂、非生死樂，若得如是樂，易不難得[>者]，必有是處。」

[T1.738b02]「阿難！比丘不可欲嘩說、樂於嘩說、合會嘩說、欲眾、樂眾、合會於眾、不欲離眾、不樂獨*住遠離之處。若有比丘欲嘩說、樂於嘩說、合會嘩說、欲眾、樂眾、合會於眾、不欲離眾、不樂獨住遠離處者，得時愛樂心解脫，及不時不移動心解脫者，終無是處，阿難！若有比丘不欲嘩說，不樂嘩說，不合會嘩說，不欲於眾，不樂於眾，不合會眾，欲離於眾，常樂獨住遠離處者，得時愛樂心解脫，及不時不移動心解脫者，必有是處。所以者何？我不見有一色令我欲樂，彼色敗壞變易，異時生愁慼啼哭、憂苦、懊惱，以是故我此異[7]住處正覺盡覺，謂度一切色想行於外空。」

[T1.738b15]「阿難！我行此住處已，生歡悅，我此歡悅，一切身覺正念正智，生喜、生止[8]、生樂、生定，如我此定，一切身覺正念正智。阿難！或有比丘、比丘尼、優婆塞、優婆私[9]共來詣我，我便為彼行如是如是心，遠離，樂無欲，我亦復為彼說法，勸助於彼。阿難！若比丘欲多行空者，彼比丘當持內心住止令一定，彼持內心住止令一定已，當念內空。阿難！若比丘作如是說我不持內心住止，不令一定，念內空者，當知彼比丘大自疲勞。」

---

[1] 加羅差摩釋精舍～Kāḷakhemakassa Sakkassa vihāra.
[2] 座＝坐【德】＊
[3] 彼＝爾【宋】【元】【明】
[4] 加羅釋＝伽羅釋【宋】【元】【明】【聖】＊
[5] 加＝伽【明】
[6] 住＝往【聖】＊
[7]〔異〕－【德】
[8] 止＝心【德】
[9] 優婆私＝優婆夷【宋】【元】【明】【德】＊

[T1.738b25]「阿難！云何比丘持內心住止令一定耶[1]，比丘者，此身離生喜、樂，漬、盡潤漬，普遍充滿，離生喜、樂，無處不遍。阿難！猶人沐浴，器盛澡豆，以水澆和，和令作丸，漬、盡潤漬，普遍充滿，內外周密，無處有漏。如是。阿難！比丘此身離生喜、樂，漬、盡潤漬，普遍充滿，離生喜、樂，無處不遍。阿難！如是比丘持內心住止令得一定，彼持內心住止令一定已，當念內空，彼念內空已，其心移動，不趣向近，不得清澄，不住不解於內空也。阿難！若比丘觀時，則知念內空，其心移動，不趣向近，不得清澄，不住不解於內空者，彼比丘當念外空，彼念外空已，其心移動，不趣向近，不得清澄，不住不解於外空也。」

[T1.738c09]「阿難！若比丘觀時，則知念外空，其心移動，不趣向近，不得清澄，不住不解於外空者，彼比丘當念內外空，彼念內外空已，其心移動，不趣向近，不得清澄，不住不解於內外空也。阿難！若比丘觀時，則知念內外空，其心移動，不趣向近，不得清澄，不住不解於內外空者，彼比丘當念不移動，彼念不移動已，其心移動，不趣向近，不得清澄，不住不解於不移動也。」

[T1.738c18]「阿難！若比丘觀時，則知念不移動，其心移動，不趣向近，不得清澄，不住不解於不移動者，彼比丘彼彼心於彼彼定，御復御，習復習，軟[2]復*軟，善快柔和，攝樂遠離，若彼[3]心於彼彼定，御復御，習復習，*軟復*軟，善快柔和，攝樂遠離已，當以內空成就遊，彼內空成就遊已，心不移動，趣向於近，得清澄住，解於內空。阿難！如是比丘觀時，則知內空成就遊，心不移動，趣向於近，得清澄住，解於內空者，是謂正知。」

[T1.738c27]「阿難！比丘當以外空成就遊，彼外空成就遊已，心不移動，趣向於近，得清澄住，解於外空。阿難！如是比丘觀時，則知外空成就遊，心不移動，趣向於近，得清澄住，解於外空者，是謂正知。阿難！比丘當以內外空成就遊，彼內外空成就遊已，心不移動，趣向於近，得清澄住，解於內外空。阿難！如是比丘觀時，則知內外空成就遊，心不移動，趣向於近，得清澄住，解於內外空者，是謂正知。阿難！當以不移動成就遊，彼不移動成就遊已，心不移動，趣向於近，得清澄住，解於不移動。阿難！如是比丘觀時，則知不移動成就遊，心不移動，趣向於近，得清澄住，解於不移動者，是謂正知。」

[T1.739a12]「阿難！彼比丘行此住處心，若欲經行者，彼比丘從禪室出，在室影中露地經行，諸根在內，心不向外，後作前想，如是經行已，心中不生貪伺、憂慼、惡不善法，是謂正知。阿難！彼比丘行此住處心，若欲坐定者，彼比丘從離經行，至經行頭[4]，敷尼師檀[1]，結跏趺坐，如是坐定已，心中不生貪伺、

---

[1] 耶＝邪【德】＊
[2] 軟＝濡【宋】【元】【明】【德】＊
[3] 彼＋（彼）【宋】【元】【明】【聖】
[4]　（道）＋頭【宋】【元】【明】

憂慼、惡不善法，是謂正知。阿難！彼比丘行此住處心，若欲有所念者，彼比丘若此三惡不善之念，欲念、恚念、害念，莫念此三惡不善之念，若此三善念，無欲念、無恚念、無害念，當念此三善念，如是念已，心中不生貪伺、憂慼、惡不善法，是謂正知。」

[T1.739a25]「阿難！彼比丘行此住處心，若欲有所說者，彼比丘若此論非聖論，無義相應，謂論王論、賊論、鬪諍論、飲食論、衣被論、婦人論、童女論、婬女論、世間論、邪道論、海中論，不[2]論如是種種畜生論，若論聖論與義相應，令心柔和，無諸陰蓋，謂論施論、戒論、定論、慧論、解脫論、解脫知見論、漸損論、不會論[3]、少欲論、知足論、無欲論、斷論、滅論、燕坐[4]論、緣起論，如是沙門所論，如是論已，心中不生貪伺、憂慼、惡不善法，是謂正知。」

[T1.739b05]「復次。阿難！有五欲功德，可樂、意所念，愛色欲相應，眼知色，耳知聲，鼻知香，舌知味，身知觸，若比丘心至到，觀此五欲功德，隨其欲功德，若心中行者。所以者何？無前無後，此五欲功德，隨其欲功德，心中行者。阿難！若比丘觀時，則知此五欲功德，隨其欲功德，心中行者，彼比丘彼彼欲功德，觀無常、觀衰耗、觀無欲、觀斷、觀滅、觀斷捨離，若此五欲功德有欲有染者，彼即滅也。阿難！若如是比丘觀時，則知者此五欲功德有欲有染，彼已斷也。是謂正知。」

[T1.739b16]「復次。阿難！有五盛陰，色盛陰，覺、想、行、識盛陰，謂比丘如是觀興衰，是色、是色習[5]、是色滅，是覺、想、行、識，是識、是識*習、是識滅，若此五盛陰有我慢者[6]，彼即滅也。阿難！若有比丘如是觀時，則知五陰中我慢已滅，是謂正知。阿難！是法一向可、一向樂、一向意念，無漏無受[7]，魔所不及，惡所不及，諸惡不善法、穢污、當來有本、煩熱苦報生老病死因亦所不及，謂成就此不放逸也。所以者何？因不放逸，諸如來、無所著、等正覺得覺，因不放逸根，生諸無量善法。若有隨道品，阿難！是故汝當如是學，我亦成就於不放逸，當學如是。阿難！以何義故，信弟子隨世尊行奉事至命盡耶？」

[T1.739b29] 尊者阿難白世尊曰：「世尊為法本，世尊為法主，法由世尊！唯願說之，我今聞已，得廣知義。」

[T1.739c02] 佛便告曰：「阿難！諦聽，善思念之，我當為汝具分別說。」

---

[1] 檀＝壇【元】【明】
[2]〔論不〕－【德】，〔不〕－【宋】【元】【明】，〔論〕－【聖】
[3] 會論＝貪論【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 燕坐＝宴坐【宋】＊【元】＊【明】＊
[5] 習＝集【元】【明】＊
[6] 者＝是【聖】
[7] 受＝愛【元】【明】

[T1.739c03] 尊者阿難受教而聽。

[T1.739c04]「佛言。阿難！不[1]其正經、歌詠、記說[2]故，信弟子隨世尊行奉事至命盡也。但。阿難！或彼長夜數聞此法，誦習至千[3]，意所惟觀，明見深達，若此論聖論與義相應，令心柔和，無諸陰蓋，謂論施論、戒論、定論、慧論、解脫論、解脫知見論、漸損論、不*會論、小欲論、知足論、無欲論、斷論、滅論、*燕坐論、緣起論，如是沙門所論，得、易不難得，因此義故，信弟子隨世尊行奉事至命盡也。阿難！如是為煩師，為煩弟子，為煩梵行。」

[T1.739c13]「阿難！云何為煩師，若師出世，有策[4]慮思惟，往[5]*策慮地，有思惟觀雜[6]，凡人有辯才，彼住無事處山林樹下，或居高巖，寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順宴[7]坐，或住彼處，學遠離精勤，得增上心，現法樂居，彼學遠離，精勤安隱，快樂遊行已，隨弟子還梵志、居士、村邑、國人，彼隨弟子還梵志、居士、村邑、國人已，便功[8]高還家，如是為煩師，是亦為惡不善法、穢污，當來有本，煩熱苦報、生老病死因所煩，是謂煩師。」

[T1.739c23]「阿難！云何為煩弟子，彼師弟子學彼遠離，彼住無事處山林樹下，或居高巖，寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順燕坐，或住彼處，學遠離精勤，得增上心，現法樂居，彼學遠離，精勤安隱，快樂遊行已，隨弟子還梵志、居士、村邑、國人，彼隨弟子還梵志、居士、村邑、國人已，便*功高還家，如是為煩弟子，是亦為惡不善法，穢污，當來有本，煩熱苦報、生老病死因所煩，是謂煩弟子。」

[T1.740a03]「阿難！云何為煩梵行，若如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼住無事處山林樹下，或居高巖，寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順*燕坐。阿難！如來以何義故，住無事處山林樹下，或居高巖，寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順*燕坐耶？」

[T1.740a09] 尊者阿難白世尊曰：「世尊為法本，世尊為法主，法由世尊！唯願說之，我今聞已，得廣知義。」

---

[1] 不＝若【元】【明】
[2] 正經歌詠記說～Sutta geyya veyyākaraṇa.
[3] 千＝于【明】
[4] 策＝勞【明】＊
[5] 往＝住【宋】【元】【明】
[6] 雜＝離【元】【明】
[7] 宴＝燕【聖】
[8] 功＝貢【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.740a11] 佛便告曰：「阿難！諦聽，善思念之，我當為汝具分別說。」尊者阿難受教而聽。

[T1.740a13] 佛言：「阿難！如來非為未得欲得，未獲欲獲，未證欲證故，住無事處山林樹下，或居高巖，寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順*燕坐。阿難！如來但以二義故，住無事處山林樹下，或居高巖，寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順燕坐，一者為自現法樂居故，二者慈愍後生人故，或有後生人效如來住無事處山林樹下，或居高巖，寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順*燕坐。阿難！如來以此義故，住無事處山林樹下，或居高巖，寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順*燕坐，或住彼處，學遠離精勤，得增上心，現法樂居，彼學遠離，精勤安隱，快樂遊行已，隨梵行還比丘、比丘尼、優婆塞、*優婆私[1]，彼隨梵行還比丘、比丘尼、優婆塞、*優婆*私已，便不*功高而不還家。阿難！若彼不移動心解脫作證，我不說彼有障礙也。若彼得四增上心現法樂居，本為精勤，無放逸遊行故，此或可有失[2]以弟子多集會故。」

[T1.740b03]「復次。阿難！彼師弟子效住無事處山林樹下，或居高巖，寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順*燕坐，或住彼處，學遠離精勤，得增上心，現法樂居，彼學遠離，精勤安隱，快樂遊行已，隨梵行還比丘、比丘尼、優婆塞、*優婆*私，彼隨梵行還比丘、比丘尼、優婆*塞、優婆*私已，便*功高還家，如是為煩梵行，是亦為惡不善法、穢污，當來有本，煩熱苦報、生老病死因所煩，是謂煩梵行。阿難！於煩師、煩弟子，此煩梵行最為不可、不樂、不愛，最意不念，阿難！是故汝等於我行慈事，莫行怨事。」

[T1.740b14]「阿難！云何弟子於師行怨事，不行慈事，若尊師為弟子說法，憐念愍傷，求義及饒益，求安隱快樂，發慈悲心，是為饒益，是為快樂，是為饒益樂，若彼弟子而不恭敬，亦[3]不順行，不立於智，其心不趣向法次法，不受正法，違犯師教，不能得定者，如是弟子於師行怨事，不行慈事。」

[T1.740b21]「阿難！云何弟子於師行慈事，不行怨事，若尊師為弟子說法，憐念愍傷，求義及饒益，求安隱快樂，發慈悲心，是為饒益，是為快樂，是為饒益樂，若彼弟子恭敬順行而立於智，其心歸趣向法次法，受持正法，不違師教，能得定者，如是弟子於師行慈事，不行怨事，阿難！是故汝等於我行慈事，莫行怨事。所以者何？我不如是說，如陶師作瓦。阿難！我說嚴急[4]至苦。若有真實者，必能往也。」

[T1.740c01] 佛說如是，尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

---

[1] 私＝夷【聖】＊
[2] 失＝去【宋】【元】【明】
[3]〔亦〕－【聖】
[4] 嚴急＋（嚴急）【明】

[T1.740c03] 大空第五竟[1](三千六百七十八字)[2]，

中阿含經卷[3]第四十九(萬一千五百八十字)[4]

中阿含[5]雙品第一[6]竟(萬一千五百八十字[7])(第五後誦)[8]，

中阿含經

卷第五十 (Ma.192~193)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

大品[9]第二[10](有十經)(第五後誦)

加樓烏陀夷　　牟梨破群那
跋陀、阿濕貝[11]　　周那、優婆離
調御、癡慧地　　阿梨叱、[口*荼][12]帝

（一九二）中阿含[13]*大品

(Ma.192)加樓烏陀夷經[14] 第一

[T1.740c16] 我聞如是。

---

[1]〔大空第五竟〕－【明】，＝大空經第五竟【宋】【元】【德】
[2]〔三千…八字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[3] 卷末題與品末題位置前後【宋】【元】【明】【德】【聖】
[4]〔萬一…字〕－【宋】【元】【明】【德】
[5]〔中阿含〕－【明】
[6] 第一＝第十五【明】
[7]〔萬一…字〕－【宋】【元】【明】
[8]〔第五後誦〕－【明】
[9]　（後）＋大品【明】
[10] 第二＝第十六【明】
[11] 貝＝具【明】
[12] [口*荼]＝嗏【明】
[13]〔中阿含〕－【明】
[14] ～M. 66. Laṭukikopama sutta. (鶉喻經)

[T1.740c16] 一時，佛遊鴦伽[1]國中，與大比丘眾俱，往至阿恕那[2]住揵若精舍。

[T1.740c17] 爾時，世尊過夜平旦，著衣持鉢，入阿恕[3]那而行乞食，食訖中後，收舉衣鉢，澡洗手足，以尼師檀[4]著於肩上，往至一林，欲晝經行[5]，尊者烏陀夷[6]亦過夜平旦，著衣持鉢，入阿*恕那而行乞食，食訖中後，收舉衣鉢，澡洗手足，以尼師*檀著於肩上，隨侍佛後，而作是念：「若世尊今晝行者，我亦至彼晝行。」

[T1.740c24] 於是，世尊入於[7]林中，至一樹下，敷尼師*檀，結跏[8]趺坐，尊者烏陀夷亦入彼林，去佛不遠，至一樹下，敷尼師*檀，結跏趺坐，爾時，尊者烏陀夷獨在靖[9]處燕[10]坐思惟，心作是念：「世尊為我等多所饒益，善逝為我等多所安隱，世尊於我除眾苦法，增益樂法，世尊於我除無量惡不善之法，增益無量諸善妙法。」

[T1.741a03] 尊者烏陀夷則於晡時從*燕坐起，往詣佛所，稽首佛足，却坐一面，世尊告曰：「烏陀夷，無有所乏，安隱快樂，氣力如常耶？」

[T1.741a05] 尊者烏陀夷白曰：「唯然。世尊！我無所乏，安隱快樂，氣力如常。」

[T1.741a07] 世尊復問曰：「烏陀夷，云何汝無所乏，安隱快樂，氣力如常耶？」

[T1.741a08] 尊者烏陀夷答曰：「世尊！我獨在*靖處*燕坐思惟，心作是念：『世尊為我等多所饒益，善逝為我等多所安隱，世尊於我除眾苦法，增益樂法，世尊於我除[11]無量惡不善之法，增益無量諸善妙法。』世尊昔時告諸比丘：『汝等斷過中食。』世尊！我等聞已，不堪不忍，不欲不樂。若有信梵志、居士往至眾園，廣施作福，我等自手受食，而世尊今教我斷是，善逝教我絕是，復作是說：『此大沙門不能消食。』然我等於世尊威神妙德敬重不堪。是故我等斷中後食。」

---

[1] [>鴦伽]～Aṅga.
[2] [>阿恕那]～Āpaṇa.
[3] 恕＝和【聖】＊
[4] 檀＝壇【元】【明】＊
[5] 晝經行～Divāvihāra.
[6] [>烏陀夷]～Udāyin.
[7] 於＝彼【宋】【元】【明】【聖】
[8] 跏＝加【元】
[9] 靖＝靜【宋】＊【元】＊【明】＊
[10] 燕＝宴【宋】＊【元】＊【明】＊
[11] 於我除＝除於我【元】【明】

[T1.741a19]「復次，昔時世尊告諸比丘：『汝等斷夜食。』世尊！我等聞已，不堪不忍，不欲不樂，於二食中最上、最妙、最勝、最美者，而世尊今教我斷是，善逝教我絕是，復作是說：『此大沙門不能消食。』世尊！昔時有一居士，多持種種淨妙食飲，還歸其家，勅內人曰：『汝等受此舉著一處，我當盡共集會夜食，不為朝中。』世尊！若於諸家施設極妙最上食者，唯有夜食，我為朝中，而世尊今教我斷是，善逝教我絕是，復作是說：『此大沙門不能消食。』然我等於世尊威神妙德敬重不堪。是故我等斷於夜食。」

[T1.741b01] 世尊！我復作是念：『若有比丘非時入村而行乞食，或能逢賊，作業不作業，或逢虎逢鹿，或逢虎鹿，或逢豹逢羆，或逢豹羆，或往[1]如是處，或逢惡象、惡馬、惡牛、惡狗，或值蛇聚，或得塊擲，或得杖打，或墮溝瀆，或墮廁中，或乘臥牛，或墮深坑，或入刺中，觀見空家，入如是家，若彼入已，女人見之，或呼共行惡不淨行。』」

[T1.741b08]「世尊！昔一比丘夜闇微雨，睒睒掣電，而非時行入他家乞食，彼家婦人爾時出外洗蕩食器，彼時婦人於電光中遙見比丘，謂為是鬼，見已驚怖，身毛皆豎，失聲大呼，即便墮娠[2]，而作是語：『尊是鬼！尊是鬼！』時，彼比丘語婦人曰：『妹，我非鬼，我是沙門，今來乞食。』爾時，婦人恚罵比丘至苦至惡，而作是語：『令此沙門命根早斷，令此沙門父母早死，令此沙門種族絕滅，令此沙門腹裂破壞，禿頭沙門以黑自纏，無子[3]斷種，汝寧可持利刀自破其腹，不應非時夜行乞食，坐[4]此沙門而墮我*娠。』世尊！我憶彼已，便生歡悅。世尊！我因此歡悅遍充滿體，正念正智，生喜、止、樂、定。世尊！我因此定遍充滿體，正念正智。如是。世尊！我無所乏，安隱快樂，氣力如常。」

[T1.741b23] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！烏陀夷，汝今不爾如彼癡人，彼愚癡人，我為其說，汝等斷此，彼作是說：『此是小事，何足斷之，而世尊今教我斷此，善逝令我絕此。』亦如是說：『此大沙門不能消食，彼不斷此，彼但於我生不可、不忍，及餘比丘善護持戒者，亦復為彼生不可、不忍。』烏陀夷[5]，彼癡人所縛極堅極牢，轉增轉急，不可斷絕，不得解脫，烏陀夷，猶如有蠅[6]，為涕[7]唾所縛，彼在其中或苦或死，烏陀夷，若人作是說彼蠅所縛，不堅不牢，不轉增急而可斷絕，則得解脫，者，為正說耶？」

---

[1] 往＝住【宋】【元】【明】【聖】
[2] 娠＝身【宋】【元】【明】【聖】＊
[3] 子＝生【聖】
[4] 坐＝咄【宋】【元】【明】【聖】
[5] （為）＋烏陀夷【宋】【元】
[6] 蠅～Laṭukikā（鶉，Makkhikā 蠅）
[7] 涕＝洟【元】【明】＊

[T1.741c05] 尊者烏陀夷白曰：「不也。世尊！所以者何？蠅為*涕唾所縛，彼於其中或苦或死。是故。世尊！彼蠅所縛，極堅極牢，轉增轉急，不可斷絕，不得解脫，

[T1.741c09]「烏陀夷，彼愚癡人我為其說，汝等斷此，彼作是說：『此是小事，何足斷之，而世尊今教我斷此，善逝令我絕此。』亦如是說：『此大沙門不能消食，彼不斷此，彼但於我生不可、不忍，及餘比丘善護持戒者，亦復為彼生不可、不忍。』烏陀夷，彼癡人所縛極堅極牢，轉增轉急，不可斷絕，不得解脫，烏陀夷，若族姓子我為其說，汝等斷此，彼不作是說：『此是小事，何[1]足斷之，而世尊今教我斷此，善逝令我絕此。』亦不如是說：『此大沙門不能消食，彼便斷此，彼不於我生不可、不忍，及餘比丘善護奉戒者，亦不為彼生不可、不忍。』烏陀夷，彼族姓子所縛不堅不牢，不轉增急，而可斷絕，則得解脫，烏陀夷，猶如象王，年至六十，而以憍慠摩訶能伽，牙足體具，筋力熾盛，彼所堅縛，若怒[2]力轉身，彼堅縛者，則便斷絕，還歸本所，烏陀夷，若人作是說彼大象王年至六十，而以憍慠摩訶能伽，牙足體具，筋力熾盛，彼縛極堅極牢，轉增轉急，不可斷絕，不得解脫，者，為正說耶？」

[T1.741c29] 尊者烏陀夷白曰：「不也。世尊！所以者何？彼大象王年至六十，而以憍慠摩訶能伽，牙足體具，筋力熾盛，彼所堅縛，若*怒力轉身，彼堅縛者，則便斷絕，還歸本所。世尊！是故彼大象王年至六十，而以憍慠摩訶能伽，牙足體具，筋力熾盛，彼縛不堅不牢，不轉增急，而可斷絕，則得解脫。」

[T1.742a06]「如是，烏陀夷，彼族姓子我為其說，汝等斷此，彼不作是說：『此是小事，何足斷之，而世尊今教我斷此，善逝令我絕此。』亦不如是說：『此大沙門不能消食，彼便斷此，彼不於我生不可、不忍，及餘比丘善護持戒者，亦不為彼生不可、不忍。』烏陀夷，彼族姓子所縛不堅不牢，不轉增急，而可斷絕，則得解脫。烏陀夷，若有癡人我為其說，汝等斷此，彼作是說：『此是小事，何足斷之，而世尊今教我斷此，善逝令我絕此。』亦如是說：『此大沙門不能消食，彼不斷此，彼但於我生不可、不忍，及餘比丘善護持戒者，亦復為彼生不可[3]、忍。』烏陀夷，彼癡人所縛極堅極牢，轉增轉急，不可斷絕，不可解脫。」

[T1.742a19]「烏陀夷，猶貧窮人無有錢財，亦無勢力，彼有一婦，其眼復瞎，醜不可愛，唯有一屋，崩壞穿漏，烏鳥所栖，弊不可居，而有一床，復破折壞，弊不可臥，正[4]有一瓶，缺不可用，彼見比丘食訖中後，淨洗手足，敷尼師*

---

[1] 何＝可【元】
[2] 怒＝努【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 可＋（亻）【聖】
[4] 正＝止【宋】＊【元】＊【明】＊

檀，坐一樹下，清涼和調，修增上心，彼見已，而作是念：『沙門為快樂，沙門如涅槃，我惡無德。所以者何？我有一婦，其眼復瞎，醜不可愛，不能捨離，唯有一屋，崩壞穿漏，烏鳥所栖，弊不可居，不能捨離，而有一床，復破折壞，弊不可臥，不能捨離，*正有一瓶，缺不可用，不能捨離，愛樂比丘剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道。』烏陀夷，若人作是說：『彼貧窮人無有錢財，亦無勢力，所縛不堅不牢，不轉增急，而可斷絕，則得解脫，者。』為正說耶？」

[T1.742b06] 尊者烏陀夷白曰：「不也。世尊！所以者何？彼貧窮人無有錢財，亦無勢力，有一瞎婦，醜不可愛，不能捨離，唯有一屋，崩壞穿漏，烏鳥所栖，弊不可居，不能捨離，而有一床，復破折壞，弊不可臥，不能捨離，*正有一瓶，缺不可用，不能捨離，愛樂比丘剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道。世尊！是故彼貧窮人無有錢財，亦無勢力，所縛極堅極牢，轉增轉急，不可斷絕[1]，不得解脫。」

[T1.742b15]「如是，烏陀夷，若有癡人我為其說，汝等斷此，彼作是說：『此是小事，何足斷之，而世尊今教我斷此，善逝令我絕此。』亦如是說：『此大沙門不能消食，彼不斷此，彼但於我生不可、不忍，及餘比丘善護持戒者，亦復為彼生不可、不忍。』烏陀夷，是故彼癡人所縛極堅極牢，轉增轉急，不可斷絕，不得解脫，烏陀夷，若族姓子我為其說：『汝等斷此。』彼不作是說：『此是小事，何足斷之，而世尊今教我斷此，善逝令我絕此。』亦不如是說：『此大沙門不能消食，彼便斷此，彼不於我生不可、不忍，及餘比丘善護持戒者，亦不為彼生不可、不忍。』烏陀夷，是故彼族姓子所縛不堅不牢，不轉增急，而可斷絕，則得解脫。」

[T1.742b29]「烏陀夷，猶如居士、居士子，極[太>大]富樂，多有錢財，畜牧產業不可稱計，封戶、食邑、米穀豐饒，及若干種諸生活具、奴婢、象馬，其數無量，彼見比丘食訖中後，淨洗手足，敷尼師*檀，坐一樹下，清涼和調[2]，修增上心，彼見已，而作是念：沙門為快樂，沙門如涅槃，我寧可捨極大富樂金寶、財穀、象馬，奴婢，愛樂比丘剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，烏陀夷，若人作是說：『彼居士、居士子所縛極堅極牢，轉增轉急，不可斷絕，不得解脫，者。』為正說耶？」

[T1.742c10] 尊者烏陀夷白曰：「不也。世尊！所以者何？彼居士、居士子，彼能捨離極大富樂金寶、財穀、象馬，奴婢，愛樂比丘剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道。世尊！是故彼居士、居士子所縛不堅不牢，不轉增急，而可斷絕，則得解脫 。」

---

[1] 絕＝除【宋】【元】【明】
[2] 和調＝調和【宋】【元】【明】

[T1.742c15]「如是，烏陀夷，若族姓子我為其說：『汝等斷此。』彼不作是說：『此是小事，何足斷之，而世尊今教我斷此，善逝令我絕此。』亦不如是說：『此大沙門不能消食，彼便斷此，彼不於我生不可、不忍，及餘比丘善護持戒者，亦不為彼生不可、不忍。』烏陀夷，是故彼族姓子所縛不堅不牢，不轉增急，而可斷絕，則得解脫，烏陀夷，比丘行捨，彼行捨已，生欲相應念，愛樂結縛，彼樂是，不斷、不住、不吐，烏陀夷，我說是縛，不說解脫。所以者何？諸結不善，烏陀夷，結不善故，我說是縛，不說解脫，烏陀夷，比丘行捨，彼行捨已，生欲相應念，愛樂結縛，彼不樂是，斷、住、吐，烏陀夷，我說亦是縛，不說解脫。所以者何？諸結不善，烏陀夷，結不善故，我說是縛，不說解脫，烏陀夷，比丘行捨，彼[1]行捨已，或時意忘俱有欲相應念，愛樂結縛，遲觀速滅，烏陀夷，猶如鐵丸、鐵犁[2]，竟日火燒，或有人著二三渧[3]水，*渧遲不續，水便速盡，烏陀夷，如是比丘行捨，彼行捨已，或時意忘，俱有欲相應念，愛樂結縛，遲觀速滅，烏陀夷，我說亦是縛，不說解脫。所以者何？諸[4]結不善，烏陀夷，結不善故，我說是縛，不說解脫。」

[T1.743a08]「烏陀夷，俱在苦根，遊行無生死，於無上愛盡，善心解脫，烏陀夷，我說解脫，不說是縛。所以者何？諸結已盡，烏陀夷，諸結盡故，我說解脫，不說是縛，烏陀夷，有樂，非聖樂，是凡夫樂，病本、癰本、箭刺之本，有食、有生死，不可修、不可習、不可廣布，我說於彼則不可修，烏陀夷，有樂，是聖樂、無欲樂、離樂、息樂、正覺之樂，無食、無生死，可修、可習、可廣布，我說於彼則可修也。烏陀夷，云何有樂，非聖樂，是凡夫樂，病本、癰本、箭刺之本，有食、有生死，不可修、不可習、不可廣布，我說於彼不可修耶？若因五欲生樂生善者，是樂非聖樂，是凡夫樂，病本、癰本、箭刺之本，有食、有生死，不可修、不可習、不可廣布，我說於彼則不可修。」

[T1.743a23]「烏陀夷，云何有樂，是聖樂、無欲樂、離樂、息樂、正覺之樂，無食、無生死，可修、可習、可廣布，我說於彼則可修耶？烏陀夷，若比丘離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊者，是樂是聖樂、無欲樂、離樂、息樂、正覺之樂，無食、無生死，可修、可習、可廣布，我說於彼則可修也。烏陀夷，比丘離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，得初禪成就遊，聖說是移動，此中何等聖說移動，此中有覺、有觀，是聖說移動，此中何等聖說移動，烏陀夷，比丘覺、觀已息，內靖[5]、一心，無覺、無觀，定生喜、樂，得第二禪成就遊，是聖說移動，此中何等聖說移動，若此得喜，是聖說移動，此中何等聖說移動，烏陀夷，比丘離於喜欲，捨無求遊，正念正智而身覺[6]樂，

---

[1]〔彼〕－【宋】【元】【明】
[2] 犁＝梨【聖】＊
[3] 渧＝[泳-永+適]【聖】＊
[4] 諸＝謂【宋】
[5] 靖＝靜【宋】＊【元】＊【明】＊
[6] 覺＝體【宋】【元】【明】

謂聖所說、聖所捨、念、樂住、室[1]，得第三禪成就遊，是聖說移動，此中何等聖說移動，若此說移動心樂，是聖說移動，此中何等聖說不移動，烏陀夷，比丘樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦不樂、捨念、清淨，得第四禪成就遊，是聖說不移動。」

[T1.743b13]「烏陀夷，比丘離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，得初禪成就遊，烏陀夷，我說此不得無、不得斷、不得過度，此中何等過度，烏陀夷，比丘覺、觀已息，內*靖、一心，無覺、無觀，定生喜、樂，得第二禪成就遊，是謂此中過度，烏陀夷，我說此亦不得無、不得斷、不得過度，此中何等過度，烏陀夷，比丘離於喜欲，捨無求遊，正念正智而身覺樂，謂聖所說、聖所捨、念、樂住、*室，得第三禪成就遊，是謂此中過度，烏陀夷，我說此亦不得無、不得斷、不得過度，此中何等過度，烏陀夷，比丘樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦不樂、捨、念、清淨，得第四禪成就遊，是謂此中過度，烏陀夷，我說此亦不得無、不得斷、不得過度。」

[T1.743b27]「此中何等過度，烏陀夷，比丘度一切色想[2]，滅有對[3]想[4]，不念若干想[5]，無量空，是無量空處[6]成就遊，是謂此中過度，烏陀夷，我說此亦不得無、不得斷、不得過度，此中何等過度，烏陀夷，比丘度一切無量空處，無量識，是無量識處[7]成就遊，是謂此中過度，烏陀夷，我說此亦不得無，不得斷，不得過度，此中何等過度，烏陀夷，比丘度一切無量識處，無所有，是無所有處[8]成就遊，是謂此中過度，烏陀夷，我說此亦不得無，不得斷，不得過度，此中何等過度，烏陀夷，比丘度一切無所有處，非有想非無想，是非有想非無想處[9]成就遊，是謂此中過度，烏陀夷，我說至非有想非無想處亦不得無，不得斷，不得過度，烏陀夷，頗有一結，或多或少久住者，我說不得無，不得斷，不得過度，謂我說不斷耶？」

[T1.743c14] 尊者烏陀夷白曰：「不也。世尊！」

[T1.743c15] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！烏陀夷，汝不爾如彼癡人，彼愚癡人我為其說，汝等斷此，彼作是說：『此是小事，何足斷之，而世尊今教我斷此，善逝令我絕此。』亦如是說：『此大沙門不能消食，彼不斷此，彼但於我生不可、不忍，及餘比丘善護持戒者，亦復為彼生不可、不忍。』烏陀夷，是故彼癡人所

---

[1] 室＝空【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] [>一切色想]～Sabbarūpasaññā.
[3] 對＝礙【聖】
[4] [>有對想]～Paṭighasaññā.
[5] [>若干想]～Nānattasaññā.
[6] [>無量空處]～Akāsānañcāyatana.
[7] [>無量識處]～Viññāṇañcāyatana.
[8] [>無所有處]～Ākiñcaññāyatana.
[9] [>非有想非無想處]～Nevasaññānāsaññāyatana.

縛極堅極牢，轉增轉急，不可斷絕，不得解脫，烏陀夷，若有族姓子我為其說，汝等斷此，彼不作是說：『此是小事，何足斷之，而今世尊教我斷此，善逝令我絕此。』亦不如是說：『此大沙門不能消食，彼便斷此，彼不於我生不可、不忍，及餘比丘善護持戒者，亦不為彼生不可、不忍。』烏陀夷，是故彼族姓子所縛不堅不牢，不轉增急，而可斷絕，則得解脫。」

[T1.744a01] 佛說如是，尊者烏陀夷聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.744a03] 加樓烏陀夷經第一竟[1](四千四百六十七字[2])[3]，

（一九三）中阿*含[4]大品

(Ma.192)牟犁破群那經[5] 第二(第五後誦)[6]

[T1.744a06] 我聞如是。

[T1.744a06] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.744a07] 爾時，牟*犁破群那[7]與比丘尼數共集會。若有人向牟*犁破群那比丘道說[8]比丘尼者，彼聞已，便瞋恚憎嫉，乃至鬪諍。若有人向諸比丘尼道說牟*犁破群那比丘者，諸比丘尼聞已，便瞋恚憎嫉，乃至鬪諍。

[T1.744a11] 眾多比丘聞已，便往詣佛，稽首佛足，却坐一面，白曰：「世尊！牟*[梨>犁]破群那比丘與比丘尼數共集會。若有人向牟*犁破群那比丘道說比丘尼者，彼聞已，便瞋恚憎嫉，乃至鬪諍。若有人向諸比丘尼道說牟*犁破群那比丘者，諸比丘尼聞已，便瞋恚憎嫉，乃至鬪諍。」

[T1.744a17] 世尊聞已，告一比丘，汝往牟*犁破群那比丘所，而語之曰：「世尊呼汝。」

---

[1]〔加…竟〕－【明】
[2] 四千四百六十七字＝四千四百六十四字【宋】【元】，－【明】【聖】
[3] ＋（光明皇后願文）【聖】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～M. 21. Kakacūpama sutta. (鋸喻經)，《增壹阿含 50.8 經》(大正 2.812c)
[6]〔第五後誦〕－【明】
[7] [>牟犁破群那]～Moliya phagguna.
[8] 道說～Avaṇṇaṃ bhāsati.

[T1.744a19] 一比丘聞已，唯然世尊！即從坐[1]起，稽首佛足，繞三匝而去，至牟*犁破群那比丘所，而語之曰：「世尊呼汝！』牟*犁破群那聞已，來詣佛所，為佛作禮，却坐一面。

[T1.744a23] 世尊告曰：「破群那，汝實與比丘尼數共集會。若有人向汝道說比丘尼者，汝聞已，便嗔[2]恚憎嫉，乃至鬪諍。若有人向諸比丘尼道說汝者，諸比丘尼聞已，便*嗔恚憎嫉，乃至鬪諍，破群那，汝實如是耶？」

[T1.744a27] 破群那答曰：「實爾。世尊！」

[T1.744a28] 世尊復問曰：「破群那，汝非至信、捨家、無家、學道耶？」

[T1.744a29] 破群那答曰：「唯然。世尊！」

[T1.744b01] 世尊告曰：「破群那，是以汝至信、捨家、無家、學道者，應當學。若有欲有念依家，斷是。若有欲有念依於無欲，是習是修，是廣布也。破群那，汝當如是學。」

[T1.744b04] 爾時，世尊問諸比丘曰：「汝等非至信、捨家、無家、學道耶？」

[T1.744b05] 諸比丘答曰：「唯然。世尊！」

[T1.744b06] 世尊復告諸比丘曰：「是以汝等至信、捨家、無家、學道者，應當學。若有欲有念依家，斷是。若有欲有念依於無欲，是習是修，是廣布也。汝等當如是學，昔時我曾告諸比丘：『汝等。若有比丘多所知識。若有比丘少所知識，彼一切盡學一坐食，學一坐食已，無為無求，無有病痛，身體輕便，氣力康強，安隱快樂，彼諸比丘多所知識及少知識，盡學一坐食，學一坐食已，無為無求，無有病痛，身體輕便，氣力康強，安隱快樂，彼諸比丘可於我心，我亦不多教訶[3]。』」諸比丘因此生念向法次法。

[T1.744b17]「猶如馬車，御者乘之，左手執轡，右手執策，隨八道行，在[4]意所至，如是諸比丘可於我心，我亦不多教*訶，諸比丘因此生念向法次法，猶如良地有娑羅樹林[5]，彼治林者，聰明黠慧而不懈怠，彼隨時治娑羅樹根，數數鋤糞，以水溉灌，高者掘下，下者填滿，若邊生惡草，薅[6]除棄之，若並生曲戾惡

---

[1] 坐＝座【宋】【元】【明】
[2] 嗔＝瞋【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 訶＝呵【聖】＊
[4] 在＝任【明】
[5] [>娑羅樹林]～Sālavana.
[6] 薅＝芸【宋】，＝茠【元】【明】，＝撓【聖】

不直者，拔根著外，若枝生橫曲，則落[1]治之，若近[2]邊新生調直好者，便隨時治，數數鋤糞，以水溉灌，如是彼良地娑羅樹林轉轉茂盛，如是諸比丘可於我心，我亦不多教*訶，彼[3]我不說彼善語恭順，謂因衣鉢、飲食、床榻、湯藥、諸生活具故。所以者何？彼比丘若不得是還不善語恭順，成就不善語恭順法。」

[T1.744c02]「若有比丘為遠離、依遠離、住遠離，善語恭順，成就善語恭順法者，我說彼善語恭順。所以者何？或有一善護善逝[4]行者，謂因他無[5]惡語言也。若他不惡語言者，便不瞋恚，亦不憎嫉，不憂纏住，不憎*嗔恚，不發露惡，彼諸比丘見已，便作是念：此賢者忍辱溫和堪耐，善制善定善息，若他惡語言者，便*嗔恚憎嫉，而憂纏住憎恚發惡，彼諸比丘見已，便作是念：『此賢者惡性急弊麤獷[6]，不定不制不息。』所以者何？」

[T1.744c12]「比丘，昔時有居士婦，名鞞陀提[7]，極大富樂，多有錢財，畜牧產業不可稱計，封戶、食邑、米穀豐饒，及若干種諸生活具，爾時，居士婦鞞陀提如是大有名稱，流布諸方，居士婦鞞陀提忍辱堪耐溫和，善制善定善息，爾時，居士婦鞞陀提有婢名黑[8]，本侍者，有妙善言，少多行善，彼黑婢作是念：『我大家居士婦鞞陀提如是有大名稱，流布諸方，居士婦鞞陀提忍辱堪耐溫和，善制善定善息，我今寧可試大家居士婦鞞陀提，為實*嗔、為實不*嗔耶？』」

[T1.744c22]「於是，黑婢臥不早起，夫人呼曰：『黑婢，何不早起耶？』黑婢聞已，便作是念：『我大家居士婦鞞陀提實瞋，非不瞋也。但因我善能料理家業、善經營、善持故，令[9]我大家居士婦[婢>鞞]陀提如是有極大名稱，流布諸方，居士婦鞞陀提忍辱堪耐溫和，善制善定善息，我今寧可復更大試大家居士婦鞞陀提，為實*嗔、為實不*嗔耶？』」

[T1.744c29]「於是，黑婢臥極晚不起，夫人呼曰：『黑婢，何以極晚不起耶？』黑婢聞已，作是念：『我大家居士婦鞞陀提實瞋，非不瞋也。但因我善能料理家業、善經營、善持故，令[10]我大家居士婦鞞陀提如是有極大名稱，流布諸方，士婦鞞陀提忍辱堪耐溫和，善制善定善息耳，我今寧可復更極大試大家居士婦鞞陀提，為實瞋、為實不瞋耶？』」

---

[1] 落＝[利-禾+名]【元】【明】
[2] 近＝逝【元】
[3]〔彼〕－【宋】【元】【明】
[4] 逝＝遊【元】【明】【聖】＊
[5] 無＝力【聖】
[6] 獷＝[麩-夫+黃]【聖】＊
[7] [>鞞陀提]～Vedehika
[8] 黑～Kāḷī.
[9] 令＝今【聖】
[10] 令＝今【宋】【元】【明】

[T1.745a08]「於是，黑婢臥至晡時乃起，夫人呼曰：『黑婢，何以乃至晡時起，既不自作，亦不教作，此黑婢不隨我教，此黑婢輕慢於我。』便大瞋恚而生憎嫉，額三脉起，皺面自往，閉戶下關，手執大杖以打其頭，頭破血流。於是，黑婢頭破血流，便出語比隣[1]，訟聲紛紜，多所道說：『尊等，見是忍辱行人堪耐溫和，善制善定善息行耶？罵我曰：黑婢，何以乃至晡時起，既不自作，亦不教作，此黑婢不隨我教，此黑婢輕慢於我！便大瞋恚而生憎嫉，額三脉起，皺面自來，閉戶下關，手執大杖以打我頭，頭破血流。』爾時，居士婦鞞陀提如是便有極大惡名，流布諸方，居士婦鞞陀提惡性急弊麤*獷，不定不制不息。」

[T1.745a21]「如是，或有一善護善逝行者，謂因他無惡語言也。若他不惡語言者，便不瞋恚，亦不憎嫉，不憂纏住，不增[2]瞋恚，不發露惡，彼諸比丘見已，便作是念：『此賢者忍辱溫和堪耐，善制善定善息，若他惡語言者，便瞋恚憎嫉而憂纏住，憎恚發惡。』彼諸比丘見已，便作是念：『此賢者惡性急弊麤*獷，不定不制不息。』」

[T1.745a29]「復次，有互言道[3]，若他說者，或時或非時，或真或非[4]真，或軟或堅，或慈或恚，或有義或無義，汝等，此*互言道，若他說時或心變易者，或口惡言者，我說汝等因此必衰，汝等當學此*互言道，若他說時，心不變易，口無惡言，向怨家人緣彼起慈愍心，心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，汝等當學如是，猶如有人持大鐵鍬來，而作是語：『我能令此大地，使作非地，彼便處處掘復掘，唾溺[5]污之，說惡語者[6]。』作如是說，令大[7]地非地，於意云何？彼人以此方便，能令大地作非地耶？」

[T1.745b15] 諸比丘答曰：「不也。世尊！所以者何？此大地甚深極廣而不可量。是故彼人以此方便，不能令此大地使作非地。世尊！但使彼人唐自疲勞也。」

[T1.745b18]「 如是此*互言道，若他說者，或時或非時，或真或不真，或軟或堅，或慈或恚，或有義或無義，汝等，此*互言道，若他說時或心變易者，或口惡言者，我說汝等因此必衰，汝等當學此*互言道，若他說時，心不變易，口無

---

[1] 隣＝憐【聖】
[2] 增＝憎【聖】
[3] 互言道＝五言道【元】【明】【聖】＊，～Pañca ime…vacanapathā（五言道）.
[4] 非＝不【聖】
[5] 溺＝尿【宋】【元】【明】
[6] 者＝言【聖】
[7] 大＝非【宋】＊【元】＊【明】＊

惡言，向言說者，緣彼起慈愍心，心行如地，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，汝等當學如是，猶如有人持大草炬，作如是語，我以此草炬，用熱恒伽水[1]，令作沸湯，於意云何？彼人以此方便，能令恒伽水熱作沸湯耶？」

[T1.745b29] 諸比丘答曰：「不也。世尊！所以者何。世尊！彼恒伽水甚深極廣，不可度量。是故彼人以此方便，不能令恒伽水熱使作沸湯。世尊！但使彼人唐自疲勞也。」

[T1.745c03]「 如是此*互言道，若他說者，或時或非時，或嗔[2]或不瞋，或軟或堅，或慈或恚，或有義或無義，汝等，此*互言道，若他說時，或心變易者，或口惡言者，我說汝等因此必衰，汝等當學此*互言道，若他說時，心不變易，口無惡言，向言說者，緣彼起慈愍心，心行如恒伽水，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，汝等當學如是，猶如畫師、畫師弟子，持種種彩[3]來，彼作是說，我於此虛空畫作形像，以彩莊[4]染，於意云何？何？彼畫師、畫師弟子以此方便，寧能於虛空畫作形像，以彩*莊染耶？」

[T1.745c15] 諸比丘答曰：「不也。世尊！所以者何。世尊！此虛空非色，不可見無對。是故彼畫師、畫師弟子以此方便，不能於虛空畫作形像，以彩*莊染。世尊！但使彼畫師、畫師弟子唐自疲勞也。」

[T1.745c19]「 如是此*互言道，若他說者，或時或非時，或真或不真，或軟或堅，或慈或恚，或有義或無義，汝等，此*互言道，若他說時，或心變易者，或口惡言者，我說汝等因此必衰，汝等當學此*互言道，若他說時，心不變易，口無惡言，向言說者，緣彼起慈愍心，心行如虛空，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，汝等當學如是，猶如猫皮囊柔治極軟，除[車/瓦][車/瓦]聲[5]，無[車/瓦][車/瓦]聲，彼或有人以手拳[6]扠，石擲杖打，或以刀斫，或撲著地，於意云何？彼猫皮囊柔治極軟，除*[車/瓦][車/瓦]聲，無*[車/瓦][車/瓦]聲，彼寧復有*[車/瓦][車/瓦]聲耶？」

[T1.746a02] 諸比丘答曰：「不也。世尊！所以者何。世尊！彼猫皮囊柔治極軟，除*[車/瓦][車/瓦]聲，無*[車/瓦][車/瓦]聲。是故無復有*[車/瓦][車/瓦]聲。」

---

[1] [>恒伽水]～Gaṅgā.

[2] 嗔＝真【聖】＊

[3] 彩＝采【聖】＊

[4] 莊＝粧【明】＊，＝莊【聖】＊

[5] 除[車/瓦][車/瓦]聲無[車/瓦][車/瓦]聲～Chinnasassarā chinnababbharā，[車/瓦][車/瓦]＝[耎*瓦][耎*瓦]【宋】＊【元】＊【明】＊

[6] 拳＝擁【聖】＊

[T1.746a05]「 如是，諸比丘。若有他人*拳扠石擲，杖打刀斫，汝等若為他人拳扠石擲，杖打刀斫時，或心變易者，或口惡言者，我說汝等因此必衰，汝等當學，若為他人拳扠石擲，杖打刀斫時，心不變易，口不惡言，向捶打人緣彼起慈愍心，心行如猫皮囊，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，汝等當學如是。若有賊來，以利鋸刀節節解截，汝等若有賊來，以利鋸刀節節解截時，或心變易者，或口惡言者，我說汝等因此必衰，汝等當學。若有賊來，以利鋸刀，節節解截，心不變易，口無惡言向割截人，緣彼起慈愍心，心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，汝等當學如是。」

[T1.746a23] 於是，世尊歎諸比丘曰：「 善哉！善哉！汝等當數數念利鋸刀喻沙門教，汝等數數念利鋸刀喻沙門教已，汝等頗見他不愛惡語言向我，我聞已，不堪耐耶？」

[T1.746a26] 諸比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.746a27] 世尊復歎諸比丘曰：「 善哉！善哉！汝等當數數念利鋸刀喻沙門教，汝等數數念利鋸刀喻沙門教已，若汝遊東方，必得安樂，無眾苦患，若遊南方、西方、北方者，必得安樂，無眾苦患， 善哉！善哉！汝等當數數念利鋸刀喻沙門教，汝等數數念利鋸刀喻沙門教已，我尚不說汝諸善法住，況說衰退，但當晝夜增長善法而不衰退， 善哉！善哉！汝等當[1]數數念利鋸刀喻沙門教，汝等數數念利鋸刀喻沙門教已，於二果中必得其一，或於現世得[2]究竟智，或復有餘得阿那含。」

[T1.746b09] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.746b11] 牟梨破群那經第二竟[3] (三千三百五十八字)[4]，

中阿*含經卷第五十(七千八百二十五字[5])[6]

---

[1]〔當〕－【宋】【元】【明】
[2] 得＝間【宋】【元】【明】
[3]〔牟梨…竟〕－【明】
[4] 三千三百五十八字＝三千三百五十六字【宋】【元】，－【明】【聖】
[5] 七千八百二十五字＝七千八百二十字【宋】【元】，－【明】【聖】
[6] ＋（無量明佛無量炎佛無量光佛）十二字【聖】，＋（光明皇后願文）【聖】

中阿含經

卷第五十一 (Ma.194~195)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（一九四）大品

(Ma.194)跋陀和利經 [1] 第三(第五後誦)[2]

[T1.746b19] 我聞如是。

[T1.746b19] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。與大比丘眾俱而受夏坐。

[T1.746b20] 爾時，世尊告諸比丘：「我一坐食 [3]，一坐食已，無為無求，無有病痛，身體輕便，氣力康強，安隱快樂，汝等亦當學一坐食，一坐食已，無為無求，無有病痛，身體輕便，氣力康強，安隱快樂。」

[T1.746b24] 爾時，尊者跋陀和利亦在眾中。於是，尊者跋陀和利即從坐 [4]起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！我不堪任於一坐食。所以者何？若我一坐食者，同不了事，懊惱心悔。世尊！是故我不堪任一坐食也。」

[T1.746b29] 世尊告曰：「跋陀和利，若我受請，汝亦隨我，聽汝請食，持去一坐食，跋陀和利，若如 [5]是者，快得生活。」

[T1.746c02] 尊者跋陀和利又復白曰：「世尊！如是，我亦不堪於一坐食。所以者何？若我一坐食者，同不了事，懊惱心悔。世尊！是故我不堪任一坐食也。」

[T1.746c06] 世尊復至再三告諸比丘：「我一坐食，一坐食已，無為無求，無有病痛，身體輕便，氣力康強，安隱快樂，汝等亦當學一坐食，一坐食已，無為無求，無有病痛，身體輕便，氣力康強，安隱快樂。」

---

[1] ～M. 65. Bhaddāli sutta. (跋陀利經)，《增壹阿含 49.7 經》(大正 2.800b)前部
[2]〔第五後誦〕－【明】
[3] 一坐食～Ekâsanabhojana.
[4] 坐＝座【宋】＊【元】＊【明】＊
[5]〔如〕－【宋】【元】【明】

[T1.746c10] 尊者跋陀和利亦至再三從*坐而起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！我不堪任於一坐食。所以者何？若我一坐食者，同不了事，懊惱心悔。世尊！是故我不堪任一坐食也。」

[T1.746c14] 世尊復至再三告曰：「跋陀和利，若我受請，汝亦隨我，聽汝請食，持去一坐食，跋陀和利，若如是者，快得生活。」

[T1.746c16] 尊者跋陀和利復至再三白曰：「世尊！如是我復不堪於一坐食。所以者何？若我一坐食者，同不了事，懊惱心悔。世尊！是故我不堪任一坐食也。」

[T1.746c20] 爾時，世尊為比丘眾施設一坐食戒，諸比丘眾皆奉學戒及世尊境界諸微妙法，唯尊者跋陀和利說不堪任，從*坐起去。所以者何？不學具戒及世尊境界諸微妙法故。於是，尊者跋陀和利遂藏一夏，不見世尊！所以者何？以不學具戒及世尊境界諸微妙法故　。

[T1.746c26] 時，諸比丘為佛作衣，世尊於舍衛國受夏坐訖，過三月已，補治衣竟，攝衣持鉢，當遊人間，尊者跋陀和利聞諸比丘為佛作衣，世尊於舍衛國受夏坐訖，過三月已，補治衣竟，攝衣持鉢，當遊人間，尊者跋陀和利聞已，往詣諸比丘所，諸比丘遙見尊者跋陀和利來，便作是語：「賢者跋陀和利，汝當知此為佛作衣，世尊於舍衛國受夏坐訖，過三月已，補治衣竟，攝衣持鉢，當遊人間，跋陀和利，當彼處善自守護，莫令後時致多煩勞。」

[T1.747a07] 尊者跋陀和利聞此語已，即詣佛所，稽首佛足，白曰：「世尊！我實有過，我實有過，如愚如癡，如不了，如不善。所以者何？世尊為比丘眾施設一坐食戒，諸比丘眾皆奉學戒及世尊境界諸微妙法，唯我說不堪任，從*坐起去。所以者何？以不學具戒及世尊境界諸微妙法故。」

[T1.747a14] 世尊告曰：「跋陀和利，汝於爾時不知眾多比丘、比丘尼於舍衛國而受夏坐，彼知我、見我，有比丘名跋陀和利，世尊弟子，不學具戒及世尊境界諸微妙法[1]，跋陀和利，汝於爾時不知如此耶？跋陀和利，汝於爾時不知眾多優婆塞、優婆夷居舍衛國，彼知我、見我，有比丘名跋陀和利，世尊弟子，不學具戒及世尊境界諸微妙法，跋陀和利，汝於爾時不知如此耶？跋陀和利，汝於爾時不知眾多[2]異學沙門、梵志於舍衛國而受夏坐，彼知我、見我，有比丘名跋陀和利，沙門瞿曇弟子，名德，不學具戒及世尊境界諸微妙法，跋陀和利，汝於爾時不知如此耶？跋陀和利。若有比丘俱解脫者，我語彼曰：『汝來入泥，跋陀和利，於意云何？』我教彼比丘，彼比丘寧當可住而移避耶？」

---

[1] 法＋（故）【宋】【元】【明】
[2]〔多〕－【聖】

[T1.747a29] 尊者跋陀和利答曰：「不也。」

[T1.747b01] 世尊告曰：「跋陀和利。若有比丘，設非俱解脫[1]有慧解脫[2]，設非慧解脫有身證[3]者，設非身證有見到[4]者，設非見到有信解脫[5]，設非信解脫有法行[6]者，設非法行有信行[7]者，我語彼曰：『汝來入泥，跋陀和利，於意云何？』我教彼比丘，彼比丘寧當可住而移避耶？」

[T1.747b07] 尊者跋陀和利答曰：「不也。」

[T1.747b08] 世尊告曰：「跋陀和利，於意云何？汝於爾時得信行、法行、信解脫、見到、身證、慧解脫、俱解脫耶？」

[T1.747b10] 尊者跋陀和利答曰：「不也。」

[T1.747b10] 世尊告曰：「跋陀和利，汝於爾時非如空屋耶？」

[T1.747b11] 於是，尊者跋陀和利為世尊面呵責[8]已，內懷憂慼，低頭默然，失辯無言，如有所伺[9]。」

[T1.747b13] 於是，世尊面呵*責尊者跋陀和利已，復欲令歡喜，而告之曰：「跋陀和利，汝當爾時，於我無信法靖[10]，無愛法*靖，無靖法[11]*靖。所以者何？為比丘眾施設一坐食戒，諸比丘眾皆奉學戒及世尊境界諸微妙法，唯汝說不堪任，從*坐起去。所以者何？以不學具戒及世尊境界諸微妙法故。」

[T1.747b20] 尊者跋陀和利白曰：「實爾。所以者何？世尊為比丘眾施設一坐食戒，諸比丘眾皆奉學戒及世尊境界諸微妙法，唯我說不堪任，從*坐起去。所以者何？以不學具戒及世尊境界諸微妙法故，唯願世尊受我過失，我見過已，當自悔過，從今護之，不復更作。」

[T1.747b26] 世尊告曰：「跋陀和利，如是汝實如愚如癡，如不了、如不善。所以者何？我為比丘眾施設一坐食戒，諸比丘眾皆奉學戒及世尊境界諸微妙法，唯汝說不堪任，從*坐起去。所以者何？以汝不學具戒及世尊境界諸微妙法故，

---

[1] [>俱解脫]～Ubbatobbāgavimutta.
[2] [>慧解脫]～Paññāvimutta.
[3] [>身證]～Kāyasakkhin.
[4] [>見到]～Diṭṭhippatta.
[5] [>信解脫]～Saddhāvimutta.
[6] [>法行]～Dhammānusārin.
[7] [>信行]～Saddhānusārin.
[8] 責＝嘖【聖】＊
[9] 伺＝思【宋】
[10] 靖＝靜【宋】＊【元】＊【明】＊
[11] 靖法＝諍法【宋】【元】【明】

跋陀和利，若汝有過，見已自悔，從今護之，不更作者，跋陀和利，如是則於聖法、律中益而不損，若汝有過，見已自悔，從今護之，不更作者，跋陀和利，於意云何？若有比丘不學具戒者，彼住無事處山林樹下，或居高巖寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順燕[1]坐，彼住遠離處，修行精勤[2]，得增上心，現法樂居，彼住遠離處，修行精勤，安隱快樂，以[3]誣謗世尊戒，及誣謗天諸智梵行者，亦誣謗自戒，彼誣謗世尊戒，及誣謗天諸智梵行者，亦誣謗自戒已，便不生歡悅，不生歡悅已，便不生喜，不生喜已，便不止身，不止身已，便不覺樂，不覺樂已，便心不定，跋陀和利，賢聖弟子心不定已，便不見如實、知如真。」

[T1.747c17]「跋陀和利，於意云何？若有比丘學具戒者，彼住無事處山林樹下，或居高巖寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順法*燕坐，彼住遠離處，修行精勤，得增上心，現樂居，彼住遠離處，修行精勤，安隱快樂已，不誣謗世尊戒，不誣謗天諸智[4]梵行者，亦不誣謗自戒，彼不誣謗世尊戒，不誣謗天諸智梵行者，亦不誣謗自戒已，便生歡悅，生歡悅已，便生喜，生喜已，便止身，止身已，便覺樂，覺樂已，便心定。」

[T1.747c26]「跋陀和利，賢聖弟子心定已，便見如實、知如真，見如實、知如真已，便離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，得初禪成就遊，跋陀和利，是謂彼於爾時得第一增上心，即於現法得安樂居，易不難得，樂住無怖，安隱快樂，令昇涅槃，彼覺、觀已息，內*靖、一心，無覺、無觀，定生喜、樂，得第二禪成就遊，跋陀和利，是謂彼於[5]爾時得第二增上心，即於現法得安樂居，易不難得，樂住無怖，安隱快樂，令昇涅槃，彼離於喜欲，捨無求遊，正念正智而身覺樂，謂聖所說、聖所捨、念、樂住、室[6]，得第三禪成就遊，跋陀和利，是謂彼於爾時得第三增上心，即於現法得安樂居，易不難得，樂住無怖，安隱快樂，令昇涅槃，彼樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦不樂、捨、念、清淨，得第四禪成就遊，跋陀和利，是謂彼於爾時得第四增上心，即於現法得安樂居，易不難得，樂住無怖，安隱快樂，令昇涅槃。」

[T1.748a15]「彼如是得定心清淨，無穢無煩，柔軟善住，得不動心，覺[7]憶宿命智通作證，彼有行有相貌，憶本無量昔所經歷，謂一生、二生、百生、千生、成劫、敗劫、無量成敗劫，彼眾生名某，彼昔更歷，我曾生彼，如是姓、如是字、如是生、如是飲食、如是受苦樂、如是長壽、如是久住、如是壽訖，此死

---

[1] 燕＝宴【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 勤＝懃【聖】＊
[3] 以＝已【宋】【元】【明】【聖】
[4] 智＝知【聖】
[5]〔於〕－【宋】【元】【明】
[6] 室＝空【宋】【元】【明】
[7] 覺＝學【宋】【元】【明】【聖】

生彼，彼死生此，我生在此，如是姓、如是字、如是生、如是飲食、如是受苦樂、如是長壽、如是久住、如是壽訖，跋陀和利，是謂彼於爾時得此第一明達，以本無放逸，樂住遠離，修行精*勤，謂無智滅而智生，闇壞而明成，無明滅而明生，謂憶宿命智作證明達。」

[T1.748a28]「彼如是得定心清淨，無穢無煩，柔軟善住，得不動心，學於生死智通作證，彼以清淨天眼出過於人，見此眾生死時生時，好色惡色，妙與不妙，往來善處及不善處，隨此眾生之所作業，見其如真，若此眾生成就身惡行，口、意惡行，誹謗聖人，邪見成就邪見業，彼因緣此，身壞命終，必至惡處，生地獄中，若此眾生成就身妙行，口、意妙行，不誹謗聖人，正見成就正見業，彼因緣此，身壞命終，必昇善處，上生天中，跋陀和利，是謂彼於爾時得第二明達，以本無放逸，樂住遠離，修行精勤，無智滅而智生，闇壞而明成，無明滅而明生，謂生死智作證明達。」

[T1.748b12]「彼如是得定心清淨，無穢無煩，柔軟善住，得不動心，學漏盡智通作證，彼知此苦如[1]真，知此苦習[2]、知此苦滅、知此苦滅道如真，知此漏如真，知此漏*習、知此漏滅、知此漏滅道如真，彼如是知、如是見，欲漏心解脫，有漏、無明漏心解脫，解脫已便知解脫，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，跋陀和利，是謂彼於爾時得第三明達，以本無放逸，樂住遠離，修行精勤，無智滅而智生，暗壞而明成，無明滅而明生，謂漏盡智作證明達。」

[T1.748b22] 於是，尊者跋陀和利即從*坐起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！何因何緣，諸比丘等同犯於戒，或有苦治，或不苦治。」

[T1.748b25] 世尊答曰：「跋陀和利，或有比丘數數犯戒，因數數犯戒故，為諸梵行訶所見聞從他疑者，彼為諸梵行訶所見聞從他疑已，便[3]說異異論外餘事，瞋恚憎嫉，發怒廣惡，觸嬈於眾，輕[4]慢於眾，作如是說，我今當作令眾歡喜而可意，作如是意，跋陀和利，諸比丘便作是念：然此賢者數數犯戒，因數數犯戒故，為諸梵行訶所見聞從他疑者，彼為諸梵行訶所見聞從他疑已，*便說異異論外餘事，瞋恚憎嫉，發怒廣惡，觸嬈於眾，*輕慢於眾，作如是說，我今當作令眾歡喜而可意，見已作是語[5]，諸尊，當觀令久住，跋陀和利，諸比丘如是觀令久住。」

---

[1]〔如〕－【聖】
[2] 習＝集【元】【明】＊
[3] 便＝更【宋】【元】【明】【聖】＊
[4]　（轉）＋輕【宋】＊【元】＊【明】＊
[5] 是語＝如是說【宋】【元】【明】

[T1.748c09]「或有比丘數數犯戒，因數數犯戒故，為諸梵行訶所見聞從他疑者，彼為諸梵行訶所見聞從他疑已，不說異異論外餘事，不瞋恚憎嫉，發怒廣惡，不觸嬈眾，不輕慢眾，不如是說，我今當作令眾歡喜而可意，不作如是意，跋陀和利，諸比丘便作是念：然此賢者數數犯戒，因數數犯戒故，為諸梵行訶所見聞從他疑者，彼為諸梵行訶所見聞從他疑已，不說異異論外餘事，不瞋恚憎嫉，發怒廣惡，不觸嬈眾，不輕[1]慢眾，不如是說，我今當作令眾歡喜而可意，見已而作是語，諸尊，當觀令早滅，跋陀和利，諸比丘如是觀令早滅，輕犯禁戒亦復如是。」

[T1.748c22]「跋陀和利，或有比丘有信、有愛、有*靖，今此比丘有信、有愛、有*靖，若我等苦治於此賢者，今此賢者有信、有愛、有*靖，因此必斷，我等寧可善共將護於此賢者，諸比丘便善共將護，跋陀和利，譬若如人唯有[　>一]眼，彼諸親屬為憐念愍傷，求利及饒益，求安隱快樂，善共將護，莫令此人寒熱、飢[2]渴、有病、有憂有病憂，莫塵、莫烟、莫塵烟。所以者何？復恐此人失去一眼。是故親屬善將護之，跋陀和利，如是比丘少信、少愛、少有*靖，諸比丘等便作是念：今此比丘少信、少愛、少有*靖，若我等苦治於此賢者，今此賢者少信、少愛、少有*靖，因此必斷，我等寧可善共將護於此賢者。是故諸比丘善共將護，猶如親屬護一眼人。」

[T1.749a08] 於是，尊者跋陀和利即從*坐起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！何因何緣，昔日少施設戒，多有比丘遵[3]奉持者，何因何緣，世尊今日多施設戒，少有比丘*遵奉持者。」

[T1.749a12] 世尊答曰：「跋陀和利，若比丘眾不得利者，眾便無憙[4]好法，若眾得利者，眾便生*憙好法，生喜好法已，世尊欲斷此*憙好法故，便為弟子施設於[5]戒，如是稱譽廣大，上尊王所識知，大有福、多學問，跋陀和利，若眾不多聞者，眾便不生*憙好法，若眾多聞者，眾便生*憙好法，眾生*憙好法已，世尊欲斷此*憙好法故，便為弟子施設戒，跋陀和利，不以斷現世漏故，為弟子施設戒，我以斷後世漏故，為弟子施設戒，跋陀和利。是故我為弟子斷漏故施設戒，至受[6]我教，跋陀和利，我於昔時為諸比丘說清淨馬喻[7]法，此中何所因，汝憶不耶？」

---

[1] 輕＝轉【宋】【元】
[2] 飢＝饑【明】
[3] 遵＝尊【聖】＊
[4] 憙＝喜【聖】＊
[5]〔於〕－【聖】
[6] 受＝愛【宋】【元】【明】
[7] 喻＝踰【聖】

[T1.749a25] 尊者跋陀和利白曰：「世尊此中有所因。所以者何？世尊為諸比丘施設一坐食戒，諸比丘眾皆奉學戒及世尊境界諸微妙法，唯我說不堪任，從*坐起去，以不學具戒及世尊境界諸微妙法故。世尊！是謂此中有[1]所因。」

[T1.749b01] 世尊復告曰：「跋陀和利，此中不但因是，跋陀和利，若我為諸[此>比]丘當說清淨馬喻法者，汝必不一心，不善恭敬，不思念聽，跋陀和利，是謂此中更有因也。」

[T1.749b04] 於是，尊者跋陀和利即從*坐起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！今正是時，善逝，今正是時，若世尊為諸比丘說清淨馬喻法者，諸比丘從世尊聞已，當善受持。」

[T1.749b08] 世尊告曰：「跋陀和利，猶如知御馬者得清淨良馬，彼知御者先治其口，治其口已，則有不樂於動轉，或欲或不欲。所以者何？以未曾治故，跋陀和利，若清淨良馬從御者治，第一治得成就彼御馬者，然復更治勒口、絆脚、絆脚、勒口而令驅行，用令上閾[2]，堪任王乘無上行，無上息治諸支[3]節，悉御令成，則有不樂於動轉，或欲或不欲。所以者何？以數數治故，跋陀和利，若清淨良馬，彼御馬者數數治時得成就者，彼於爾時調、善調，得無上調、得第一無上調，無上行、得第一行，便中王乘，食於王粟[4]，稱說王馬。」

[T1.749b20]「跋陀和利。如是，若時賢良智人成就十無學法，無學正見，乃至無學正智者，彼於爾時調、善調，得無上調、得第一無上調，無上止、得第一止，除一切曲，除一切穢，除一切怖，除一切癡，除一切諂，止一切塵，淨一切垢而無所著，可敬可重，可奉可祠，一切天人良福田也。」

[T1.749b26] 佛說如是，尊者跋陀和利及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.749b29] 跋陀和利經第三竟[[5](四千三百七字)[6]，

（一九五）中阿含[7]大品

---

[1]〔有〕－【宋】【元】【明】【聖】
[2] 上閾＝止鬪【宋】【元】【明】，閾＝鬪【聖】
[3] 支＝枝【宋】【元】【明】【聖】
[4] 粟＝廩【宋】【元】【明】，＝稟【聖】
[5]〔跋陀…竟〕－【明】
[6]〔四千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[7]〔中阿含〕－【明】，含＝鉿【聖】＊

(Ma.195)阿濕貝[1]經[2] 第四[3](第五後誦)[4]

[T1.749c03] 我聞如是。

[T1.749c03] 一時，佛遊迦尸[5]國，與大比丘眾俱，遊在一處，告諸比丘：「我日一食，日一食已，無為無求，無有病痛，身體輕便，氣力康強，安隱快樂，汝等亦應日一食，日一食已，無為無求，無有病痛，身體輕便，氣力康強，安隱快樂。」

[T1.749c08] 爾時，世尊為比丘眾施設日一食戒，諸比丘眾皆奉學戒及世尊境界諸微妙法。於是，世尊展轉到迦羅賴[6]，住迦羅賴[7]北村尸攝和林。

[T1.749c11] 爾時，迦羅*賴中有二比丘，一名阿濕[8]貝[9]，二名弗那婆修[10]，舊地主、寺主、宗主，彼朝食、暮食、晝食、過中食，彼朝食、暮食、晝食、過中食已，無為無求，無有病痛，身體輕便，氣力康強，安隱快樂，眾多比丘聞已，往詣阿濕*貝及弗那婆修比丘所，而語彼曰：「阿濕*貝，弗那婆修，世尊遊迦尸國，與大比丘眾俱，遊在一處，告諸比丘：「我日一食，日一食已，無為無求，無有病痛，身體輕便，氣力康強，安隱快樂，汝等亦應日一食，日一食已，無為無求，無有病痛，身體輕便，氣力康強，安隱快樂，爾時，世尊為比丘眾施設日一食戒，諸比丘眾皆奉學戒及世尊境界諸微妙法，阿濕*貝，弗那婆修，汝等亦應日一食，日一食已，無為無求，無有病痛，身體輕便，氣力康強，安隱快樂，汝等莫違世尊及比丘眾。」

[T1.749c27] 阿濕*貝、弗那婆修聞已，報曰：「諸賢！我等朝食、暮食、晝食、過中食，朝食、暮食、晝食、過中食已，無為無求，無有病痛，身體輕便，氣力康強，安隱快樂，我等何緣捨現而須待後，如是再三。」

[T1.750a02] 彼眾多比丘不能令阿濕*貝及弗那婆修除惡邪見，即從坐[11]起，捨而去，往詣佛所，稽首佛足，却住[12]一面，白曰：「世尊！此迦[1]羅賴中有二比

---

[1] 貝＝具【宋】【元】【明】
[2] ～M. 70. Kīṭāgirisutta. (枳吒山邑經)
[3]〔四〕－【聖】
[4]〔第五後誦〕－【明】，〔第〕－【宋】
[5] [>迦尸]～kāsī.
[6] [>迦羅賴]～Kīṭāgiri.，迦＝加【宋】【元】【明】【聖】＊
[7]〔賴〕－【聖】[>＊]
[8] [>阿濕貝]～Assaji.
[9] 貝＝具【宋】＊【元】＊【明】＊
[10] [>弗那婆修]～Punabbasuka.
[11] 坐＝座【宋】＊【元】＊【明】＊
[12] 住＝坐【宋】【元】【明】【聖】

丘，一名阿濕*貝，二名弗那婆修，舊土地主、寺主、宗主，彼朝食、暮食、晝食、過中食，彼朝食、暮食、晝食、過中食已，無為無求，無有病痛，身體輕便，氣力康強，安隱快樂。世尊！我等聞已，便往至阿濕*貝及弗那婆修比丘所，而語彼曰：『阿濕*貝，弗那婆修，世尊遊迦[2]尸國，與大比丘眾俱，遊在一處，告諸比丘：「「我日一食，日一食已，無為無求，無有病痛，身體輕便，氣力康強，安隱快樂，汝等亦應日一食，日一食已，無為無求，無有病痛，身體輕便，氣力康強，安隱快樂，爾時，世尊為比丘眾施設日一食戒，諸比丘眾皆奉學戒及世尊境界諸微妙法。」」阿濕*貝，弗那婆修，汝等亦應日一食，日一食已，無為無求，無有病痛，身體輕便，氣力康強，安隱快樂，汝等莫違世尊及比丘眾。』」

[T1.750a21]「阿濕*貝、弗那婆修聞已，報我等曰：『諸賢，我等朝食、暮食、晝食、過中食，朝食、暮食、晝食、過中食已，無為無求，無有病痛，身體輕便，氣力康強，安隱快樂，我等何緣捨現而須待後，如是再三。』世尊！如我等不能令阿濕*貝、弗那婆修除惡邪見，即從*坐起，捨之而去。」

[T1.750a27] 世尊聞已，告一比丘：「汝往至阿濕*貝、弗那婆修比丘所，語如是曰：『阿濕*貝，弗那婆修，世尊呼汝等。』」

[T1.750a29] 一比丘聞已：「唯然世尊！」即從*坐起，稽首佛足，繞三匝而去，至阿濕*貝及弗那婆修比丘所，語如是曰：「阿濕*貝，弗那婆修，世尊呼賢者等！」

[T1.750b04] 阿濕*貝、弗那婆修聞已，即詣佛所，稽首佛足，却坐一面。

[T1.750b05] 世尊問曰：「阿濕*貝，弗那婆修，眾多比丘實語汝等：『阿濕*貝弗那[3]婆修比丘，世尊遊*迦尸國，與大比丘眾俱，遊在一處，告諸比丘，我日一食，日一食已，無為無求，無有病痛，身體輕便，氣力康強，安隱快樂，汝等亦應日一食，日一食已，無為無求，無有病痛，身體輕便，氣力康強，安隱快樂，爾時，世尊為比丘眾施設日一食戒，諸比丘眾皆奉學戒及世尊境界諸微妙法。』」阿濕*貝，弗那婆修，汝等亦應日一食，日一食已，無為無求，無有病痛，身體輕便，氣力康強，安隱快樂，汝等莫違世尊及比丘眾。」

[T1.750b16] 「阿濕*貝，弗那婆修，汝等聞已，語諸比丘曰：『諸賢，我等朝食、暮食、晝食、過中食，朝食、暮食、晝食、過中食已，無為無求，無有病痛，身體輕便，氣力康強，安隱快樂，我等何緣捨現而須待後。』如是再三，阿濕*貝，弗那婆修，諸比丘不能令汝捨惡邪見，即從*坐起，捨之而去耶？」

---

[1] 迦＝加【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 迦＝加【聖】＊
[3]〔那〕－【聖】

[T1.750b22] 阿濕*貝、弗那婆修答曰：「實爾。」

[T1.750b23] 世尊告曰[1]，阿濕*貝，弗那婆修，汝等知說如是法。若有覺樂覺者，彼覺樂覺已，惡不善法轉增，善法轉減。若有覺苦覺者，彼覺苦覺已，惡不善法轉減，善法轉增耶？」

[T1.750b27] 阿濕*貝、弗那婆修答曰：「唯然，我等如是知世尊說法。若有覺樂覺者，彼覺樂覺已，不善法轉增，善法轉減。若有覺苦覺者，彼覺苦覺已，不善法轉減，善法轉增。」

[T1.750c02] 世尊呵阿濕*貝、弗那婆修比丘：「汝等癡人，何由知我如是說法，汝等癡人，從何口聞知如是說法，汝等癡人，我不一向說，汝等一向受持，汝等癡人，為眾多比丘語時，應如是如法答：『我等未知，當問諸比丘！』」

[T1.750c07] 爾時，世尊告諸比丘：「汝等亦如是知我說法。若有覺樂覺者，彼覺樂覺已，不善法轉增，善法轉減。若有覺苦覺者，彼覺苦覺已，不善法轉減，善法轉增耶？」

[T1.750c10] 眾多比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.750c11] 世尊復問曰：「汝等云何知我說法？」

[T1.750c12] 眾多比丘答曰：「世尊！我等如是知世尊說法，或有覺樂覺者，惡不善法轉增，善法轉減，或有覺樂覺者，惡不善法轉減，善法轉增，或有覺苦覺者，惡不善法轉增，善法轉減，或有覺苦覺者，惡不善法轉減，善法轉增。世尊！我等如是知世尊所說法。」

[T1.750c17] 世尊聞已，歎諸比丘曰：「 善哉！善哉！若汝如是說，或有覺樂覺者，惡不善[>法]轉增，善法轉減，或有覺樂覺者，惡不善法轉減，善法轉增，或有覺苦覺者，惡不善法轉增，善法轉減，或有覺苦覺者，惡不善法轉減，善法轉增。所以者何？我亦如是說，或有覺樂覺者，惡不善法轉增，善法轉減，或有覺樂覺者，惡不善法轉減，善法轉增，或有覺苦覺者，惡不善法轉增[2]，善法轉減[3]，或有覺苦覺者，惡不善法轉減，善法轉增。」

[T1.750c27]「若我不知如真，不見、不解、不得、不正盡覺者，或有樂覺者，不善法轉增，善法轉減，我不應說斷樂覺，若我不知如真，不見、不解、不得、不正盡覺者，或有樂覺者，惡不善法轉減，善法轉增，我不應說修樂覺，若我

---

[1]〔曰〕－【宋】【元】【明】【聖】
[2] 增＝減【元】
[3] 減＝增【元】

不知如真，不見、不解、不得、不正盡覺者，或有苦覺者，惡不善法轉增，善法轉減，我不應說斷苦覺，若我不知如真，不見、不解、不得、不正盡覺者，或有苦覺者，惡不善法轉減，善法轉增，我不應說修苦覺。」

[T1.751a08]「若我知如真，見、解、得、正盡覺者，或有樂覺者，惡不善法轉增，善法轉減。是故我說斷樂覺，若我知如真，見、解、得、正盡覺者，或有樂覺，惡不善法轉減，善法轉增。是故我說修樂覺，若我知如真，見、解、得、正盡覺者，或有苦覺者[1]，惡不善法轉增，善法轉減。是故我說斷苦覺，若我知如真，見、解、得、正盡覺者，或有苦覺者，惡不善法轉減，善法轉增。是故我說修苦覺。所以者何？我不說修一切身樂，亦不說莫修一切身樂，我不說修一切身苦，亦不說莫修一切身苦，我不說修一切心樂，亦不說莫修一切心樂，我不說修一切心苦，亦不說莫修一切心苦。」

[T1.751a21]「云何身樂我說不修，若修身樂，惡不善法轉增，善法轉減者，如是身樂我說不修。云何身樂我說修耶？若修身樂，惡不善法轉減，善法轉增者，如是身樂我說修也。云何身苦我說不修，若修身苦，惡不善法轉增，善法轉減者，如是身苦我說不修。云何身苦我說修耶？若修身苦，惡不善法轉減，善法轉增者，如是身苦我說修也。云何心樂我說不修，若[2]修心樂，惡不善法轉增，善法轉減者，如是心樂我說不修。云何心樂我說修耶？若修心樂，惡不善法轉減，善法轉增者，如是心樂我說修也。云何心苦我說不修，若修心苦，惡不善法轉增，善法轉減者，如是心苦我說不修。云何心苦我說修耶？若修心苦，惡不善法轉減，善法轉增者，如是心苦我說修也。彼可修法知如真，不可修法亦知如真[3]，彼可修法知如真，不可修法亦知如真已，不可修法便不修，可修法便修，不可修法便不修，可修法便修已，便惡不善法轉減，善法轉增。」

[T1.751b11]「我不說一切比丘行無放逸，亦復不說一切比丘不行無放逸。云何比丘我說不行無放逸。若有比丘俱解脫[4]者。云何比丘有俱解脫。若有比丘八解脫身觸成就遊，已[5]慧見諸漏已盡已知，如是比丘有俱解脫，此比丘我說不行無放逸。所以者何？此賢者本已行無放逸，若此賢者本有放逸者，終無是處。是故我說此比丘不行無放逸。若有比丘非俱解脫，有慧解脫[6]者。云何比丘有慧解脫。若有比丘八解脫身不觸成就遊，以慧見諸漏已盡已知，如是比丘有慧解

---

[1]〔者〕－【宋】【元】【明】
[2] 若＝苦【明】
[3] 真＋（脩）【聖】
[4] [>俱解脫]～Ubhatobhāgavimutta.
[5] 已＝以【宋】【元】【明】【聖】
[6] [>慧解脫]～Paññāvimutti.

脫，此比丘我說不行無放逸。所以者何？此[1]賢者本已行無放逸，若此賢者本有放逸者，終無是處。是故我說此比丘不行無放逸，此二比丘我說不行無放逸。」

[T1.751b26]「云何比丘我為說行無放逸。若有比丘非俱解脫，亦非慧解脫而有身證[2]。云何比丘而有身證。若有比丘八解脫身觸成就遊，不以慧見諸[3]漏已盡已知，如是比丘而有身證，此比丘我為說行無放逸，我見此比丘行無放逸，為有何果，令我為此比丘說行無放逸耶？或此比丘求於諸根，習善知識，行隨順住止，諸漏已盡得無漏，心解脫、慧解脫，於現法中自知自覺自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，謂我見此比丘行無放逸，有如是果。是故我為此比丘說行無放逸。」

[T1.751c09]「若有比丘非俱解脫，非慧解脫，亦非身證而有見到[4]。云何比丘而有見到。若有比丘一向決定信佛、法、眾，隨所聞法，便以慧增上觀、增上忍，如是比丘而有見到，此比丘我說行無放逸，我見此比丘行無放逸，為有何果，令我為此比丘說行無放逸耶？或此比丘求於諸根，習善知識，行隨順住止，諸漏已盡得無漏，心解脫、慧解脫，於現法中自知自覺自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，謂我見此比丘行無放逸，有如是果。是故我為此比丘說行無放逸。」

[T1.751c20]「若有比丘非俱解脫，非慧解脫，又非身證，亦非見到而有信解脫[5]。云何比丘有信解脫。若有比丘一向決定信[6]佛、法、眾，隨所聞法，以慧觀忍，不如見到，如是比丘有信解脫，此比丘我為說行無放逸，我見此比丘行無放逸，為有何果，令我為此比丘說行無放逸耶？或此比丘求於諸根，習善知識，行隨順住止，諸漏已盡得無漏，心解脫、慧解脫，於現法中自知自覺自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，謂我見此比丘行無放逸，有如是果。是故我為此比丘說行無放逸。」

[T1.752a03]「若有比丘非俱解脫，非慧解脫，又非身證，復非[7]見倒[8]，亦非信解脫而有法行[9]。云何比丘而有法行。若有比丘一向決定信佛、法、眾，隨所聞法，便以慧增上觀、增上忍，如是比丘而有法行，此比丘我為說行無放逸，我見此比丘行無放逸，為有何果，令我為此比丘說行無放逸耶？或此比丘求於諸根，習善知識，行隨順住止，於二果中必得一也。或於現法得究竟智。若有餘

---

1 （以）＋此【宋】【元】【明】【聖】
2 [>身證]～Kāyasakkhin.
3 諸＝證【宋】【元】【明】【聖】
4 [>見到]～Diṭṭhippatta.
5 [>信解脫]～Saddhāvimutta.
6 信＋（解）【宋】【元】【明】
7 〔非〕－【聖】
8 倒＝到【宋】【元】【明】【聖】
9 [>法行]～Dhammânusārin.

者得阿那*含，謂我見此比丘行無放逸，有如是果。是故我為此比丘說行無放逸。」

[T1.752a14]「若有比丘非俱解脫，非慧解脫，又非身證，復非見到，非信解脫，亦非法行而有信行[1]。云何比丘而有信行。若有比丘一向決定信佛、法、眾，隨所聞法，以慧觀忍，不如法行，如是比丘而有信行，此比丘我為說行無放逸，我見此比丘行無放逸，為有何果，令我為此比丘說行無放逸耶？或此比丘求於諸根，習善知識，行隨順住止，於二果中必得一也。或於現法得究竟智。若有餘者得阿那含，謂我見此比丘行無放逸，有如是果，是[2]故我為此比丘說行無放逸此諸比丘我說行無放逸。」

[T1.752a26]「我不說一切諸比丘得究竟智，亦復不說一切諸比丘初得究竟智，然漸漸習學趣迹，受教受訶，然後諸比丘得究竟智，此諸比丘所得究竟智。云何漸漸習學趣迹，受教受訶，然後諸比丘得究竟智，此諸比丘所得究竟智耶？或有信者便往詣，往詣已便奉習，奉習已便一心聽法，一心聽法已便持法，持法已便思惟，思惟已便平[3]量，*平量已便觀察，賢聖弟子觀察已，身諦作證，慧增上觀，彼作是念：『此諦我未曾身作證，亦非慧增上觀，此諦今[4]身作證，以慧增上觀。』如是漸漸習學趣迹，受教受訶，然後諸比丘得究竟智，此諸比丘所得究竟智。」

[T1.752b10] 於是，世尊告曰：「阿濕*貝，弗那婆修，有法名四句，我欲為汝說，汝等欲知耶？」

[T1.752b11] 阿濕*貝及弗那婆修白曰：「世尊！我等是誰，何由知法？」

[T1.752b13] 於是，世尊便作是念：「此愚癡人，越過於我此正法、律極大久遠。若有法、律師貪著食、不離食者，彼弟子不應速行放逸，況復我不貪著食、遠離於食，信弟子者應如是說：『世尊是我師，我是世尊弟子，世尊為我說法，善逝為我說法，令我長夜得義、得饒益安隱快樂。』」

[T1.752b19]「彼信弟子於世尊境界多有所作，於世尊境界多所饒益，於世尊境界多有所行，入世尊境界，止世尊境界者，若遊東方，必得安樂[5]，無眾苦患，若遊南方、西方、北方者，必得安樂，無眾苦患，若信弟子於世尊境界多有所作，於世尊境界多所饒益，於世尊境界多有所行，入世尊境界，止世尊境界者，我尚不說諸善法住，況說衰退，但當晝夜增長善法而不衰退，若信弟子於

---

[1] [>信行]～Saddhânusārin.
[2] 〔是〕－【宋】【元】【明】
[3] 平＝評【元】【明】＊
[4] 今＝令【宋】【元】【明】
[5] 樂＝隱【宋】【元】【明】

世尊境界多有所作，於世尊境界多所饒益，於世尊境界多有所行，入世尊境界，止世尊境界者，於二果中必得一也。或於現世得究竟智，或復有餘得阿那含。」

[T1.752c03] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.752c04] 阿濕貝經第四竟[1](四千一百九十九字)[2]，

中阿*含經卷第五十一(八千五百六字[3])(第五後誦[4])[5]

中阿含經

卷第五十二 (Ma.196~198)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（一九六）大品

(Ma.196)周那經[6] 第五(第五後誦)[7]

[T1.752c12] 我聞如是。

[T1.752c12] 一時，佛遊跋耆，在舍彌[8]村。

[T1.752c12] 爾時，沙彌周那於彼波和[9]中而受夏坐，彼波和中有一尼揵[10]，名親子[11]，在彼命終，終後不久，尼揵親子諸弟子等各各破壞，不共[1]和合，各說

---

[1]〔阿濕…竟〕－【明】
[2]〔四千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[3]〔八千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[4]〔第五後誦〕－【明】
[5] ＋（光明皇后願文）【聖】
[6] ～M. 104. Sāmagāma sutta. (舍彌村經)，No.85.《息諍因緣經》(大正 1.904b)
[7]〔第五後誦〕－【明】
[8] [>舍彌]～Sāma.
[9] [>波和]～Pāvā.
[10] [>尼揵]～Nigaṇṭha.
[11] 親子～Nātaputta.

破壞，不和合事，鬪訟相縛，相憎共諍，我知此法，汝不知也。汝知何法，如我所知，我齊整，汝不齊整，我相應，汝不相應，應說前而說後，應說後而說前，我勝，]汝[2]不如，我問汝事，汝不能答，我已伏汝，當復更問，若汝動者，我重縛汝，更互憍慢，但求勝說，而無訶者，尼揵親子若有在家白衣弟子，彼皆厭患此尼揵親子諸弟子等。所以者何？以其所說惡法、律故，非是出要，不趣正覺，亦非善逝之所說也。崩壞無柱[3]，無所依怙，彼所尊師，亦非如來、無所著、等正覺也。

[T1.752c27] 於是，沙彌周那[4]受夏坐訖，過三月已，補治衣竟，攝衣持鉢，往舍彌村，[往>住]舍彌村北尸攝和林，沙彌周那往詣尊者阿難所，到已禮足，却坐一面，尊者阿難問曰：「賢者周那！從何所來，何處夏坐？」

[T1.753a02] 沙彌周那答曰：「尊者阿難！我從波和來，於波和中而受夏坐，尊者阿難！彼波和中有一尼揵，名曰親子，在彼命終，終後不久，尼揵親子諸弟子等各各破壞，不共和合，各說破壞，不和合事，鬪訟相縛，相憎共諍，我知此法，汝不知也。汝知何法，如我所知，我齊整，汝不齊整，我相應，汝不相應，應說前而說後，應說後而說前，我勝，*汝不如，我問汝事，汝不能答，我已伏汝，當復更問，若汝動者，我重縛汝，更互憍慢，但求勝說，而無訶者，尼揵親子若有在家白衣弟子，彼皆厭患此尼揵親子諸弟子等。所以者何？以其所說惡法、律故，非是出要，不趣正覺，亦非善逝之所說也。崩壞無*柱，無所依怙，彼所尊師，亦非如來、無所著、等正覺也。」

[T1.753a17] 尊者阿難聞已，語曰：「賢者周那！得因此說，可往見佛，奉獻世尊！賢者周那！今[5]共詣佛，具向世尊而說此事，儻[6]能因此得從世尊聞異法也。」

[T1.753a20] 於是，尊者阿難與沙彌周那俱往詣佛，稽首佛足，尊者阿難却住一面，沙彌周那却坐一面。

[T1.753a22] 尊者阿難白曰：「世尊！今日沙彌周那來詣我所，稽首我足，却坐一面，我問曰：『賢者周那！從何所來？何處夏坐？』沙彌周那即答我曰：『尊者阿難！我從波和來，於波和中而受夏坐。』尊者阿難！彼波和中有一尼揵，名曰親子，在彼命終，終後不久，尼揵親子諸弟子等各各破壞，不共和合，各說破壞，不和合事，鬪訟相縛，相憎共諍，我知此法，汝不知也。汝知何法，如

---

[1] 共＋（相）【宋】【元】【明】
[2] 汝＋（汝）【元】【明】＊
[3] 柱＝住【元】【明】＊
[4] [>周那]～Cunda.
[5] 今＝令【聖】
[6] 儻＝讜【聖】

我所知，我齊整，汝不齊整，我相應，汝不相應，應說前而說後，應說後而說前，我勝，*汝不如，我問汝事，汝不能答，我已伏汝，當復更問，若汝動者，我重縛汝，更互憍傲，但求勝說，而無訶者，尼揵親子若有在家白衣弟子，彼皆厭患此尼揵親子諸弟子等。所以者何？以其所說惡法、律故，非是出要，不趣正覺，亦非善逝之所說也。崩壞無*柱，無所依怙，彼所尊師，亦非如來、無所著、等正覺也。」

[T1.753b10]「世尊！我聞此已，恐怖驚懼，舉身毛竪，莫令有比丘於世尊去後而在眾中起如是鬪諍，謂此鬪諍不益多人，多人有苦，非義非饒益，非安隱快樂，乃至天人生極苦患。世尊！我見一比丘坐世尊前，至心敬重世尊！善護善逝。世尊！我見此已，便作是念：若令此比丘於世尊去後，而在眾中起如是鬪諍，謂此鬪諍不益多人，多人有苦，非義非饒益，非安隱快樂，乃至天人生極苦患。」

[T1.753b19] 於是，世尊問曰：「阿難！汝見何等眾中有鬪諍者，謂此鬪諍不益多人，多人有苦，非義非饒益，非安隱快樂，乃至天人生極苦患耶？」

[T1.753b22] 尊者阿難答曰：「世尊！謂有鬪諍，因增上戒、增上心、增上觀，於其眾中生而生者[1]。世尊！謂此鬪諍不益多人，多人有苦，非義非饒益，非安隱快樂，乃至天人生極苦患。」

[T1.753b26] 世尊告曰：「阿難！此鬪諍甚少，謂因增上戒、增上心、增上觀，阿難！若有鬪諍，因道因道迹[2]，於其眾中生而生者。阿難！謂此鬪諍不益多人，多人有苦，非義非饒益，非安隱快樂。阿難！汝見其中有二比丘，各各異意而起鬪諍，是法、是非法，是律、是非律，是犯、是非犯，或輕、或重，可悔、不可悔，可護、不可護，有餘、無餘，起、不起。阿難！於意云何？若我法聚，自知自覺自作證，四念處、四正斷[3]、四如意足、五根、五力、七覺支[4]、八*支聖道。阿難！尼揵親子實非薩云若，而自稱薩云若。阿難！若尼揵親子一切知、一切見者，彼為弟子施設六諍本，謂可聞而止。」

[T1.753c10] 於是，尊者阿難叉手向佛，白曰：「世尊！今正是時，善逝，今正是時，若世尊為諸比丘說六諍本者，諸比丘從世尊聞，當善受持。」

[T1.753c13] 世尊告曰：「阿難！諦聽，善思念之，我當為汝具分別說。」

[T1.753c14] 尊者阿難白曰：「唯然，當受教聽。」

---

[1]〔者〕－【聖】
[2] 迹＝流【宋】，＝疏【聖】
[3] 斷＝懃【聖】
[4] 支＝枝【聖】＊

[T1.753c15] 佛言：「阿難！或有一人瞋惱者結纏。阿難！謂人瞋惱者結纏，彼不敬師，不見法，不護戒，彼不敬師，不見法，不護戒已，便於眾中起如是諍，謂此鬪諍不益多人，多人有苦，非義非饒益，非安隱快樂，乃至天人生極苦患。阿難！如是鬪諍，汝於內外見而不盡者，為斷此諍故，汝當速求方便，學極精勤，正念正智，忍莫令退。阿難！猶人為火燒頭、燒衣，急求方便，救頭、救衣，如是鬪諍，汝於內外見而不盡者，為斷此諍故，汝當速求方便，學極精勤，正念正智，忍莫令退。阿難！如是鬪諍，汝於內外見盡者，汝當重護彼心，常無放逸，欲止此諍故，如是此諍，汝斷根本。阿難！猶人為火燒頭、燒衣，急求方便，救頭、救衣，如是鬪諍，汝於內外見盡者，汝當重護彼心，常無放逸，欲止此諍故，如是此諍，汝斷根本，如是不語結、慳、嫉、諂誑、無慚、無愧、惡欲、邪見、惡性[1]不可制[2]。」

[T1.754a04]「阿難！若有一人惡欲、邪見、惡*性不可*制，彼不敬師，不見法，不護戒，彼不敬師，不見法，不護戒已，便於眾中起如是諍，謂此鬪諍不益多人，多人有苦，非義非饒益，非安隱快樂，乃至天人生極苦患。阿難！如是鬪諍，汝於內外見而不盡者，為斷此諍故，汝當速求方便，學極精*勤，正念正智，忍莫令退。阿難！猶人為火燒頭、燒衣，急求方便，救頭、救衣，如是鬪諍，汝於內外見而不盡者，為斷此諍故，汝當速求方便，學極精*勤，正念正智，忍莫令退。阿難！如是鬪諍，汝於內外見盡者，汝當重護彼心，常無放逸，欲止此諍故，如是此諍，汝斷根本。阿難！猶人為火燒頭、燒衣，急求方便，救頭、救衣，如是鬪諍，汝於內外見盡者，汝當重護彼心，常無放逸，欲止此諍故，如是此諍，汝斷根本。」

[T1.754a20]「復次。阿難！有七止諍，一者應與面前止諍律[3]，二者應與憶止諍律[4]，三者應與不癡止諍律[5]，四者應與自發露止諍律[6]，五者應與君止諍律[7]，六者應與展轉止諍律[8]，七者應與如棄糞掃止諍律[9]，阿難！云何應與面前止諍律。云何斷此諍，謂因面前止諍律也。阿難！一人者一人教訶，護以法、律如尊師教，面前令歡喜，一人者二人、一人者多人、一人者眾教訶，護以法、律，如尊師教，面前令歡喜，二人者二人教訶，護以法、律，如尊師教，面前令歡喜，二人者多人、二人者眾、二人者一人教訶，護以法、律，如尊師教，面前令歡喜，多人者多人教訶，護以法、律，如尊師教，面前令歡喜，多人者

---

[1] 性＝姓【聖】＊
[2] 制＝剎【聖】[>＊]
[3] 應與面前止諍律～Sammukhāvinayodātabbo.
[4] 應與憶止諍律～[ativinayo>sativinayo] dātabbo.
[5] 應與不癡止諍律～Amūḷhavinayo dātabbo.
[6] 應與自發露止諍律～Patiññāya kāretabbam.
[7] 應與君止諍律～Yebhuyyassikā.
[8] 應與展轉止諍律～Tassapāpiyyasikā.
[9] 應與如棄糞掃止諍律～Ṭinavatthārako.

眾、多人者一人、多人者二人教訶，護以法、律，如尊師教，面前令歡喜，眾者眾教訶，護以法、律，如尊師教，面前令歡喜，眾者一人、眾者二人、眾者多人教訶，護以法、律，如尊師教，面前令歡喜。阿難！是謂應與面前止諍律，如是斷此諍，謂因面前止諍律也。」

[T1.754b11]「阿難！云何應與憶止諍律。云何斷此諍，謂因憶止諍律也。阿難！若有一人犯戒而不憶，諸比丘見已，便語彼曰：「汝曹[1]犯戒而不自憶，汝[2]應從眾求於憶律，眾當共與賢者憶律。阿難！若處有眾和集會者，彼比丘應詣，偏袒著衣，脫屣入眾，稽首禮長老上尊比丘足，長跪叉手，白長老上尊比丘曰：「諸尊，聽我曾犯戒而不憶，我今從眾求於憶律，願眾和合與我憶律。阿難！為彼比丘故，眾共和集，應與憶律，以法以律，如尊師教，面前令歡喜。阿難！是謂應與憶止諍律，如是斷此諍，謂因憶止諍律也。」

[T1.754b22]「阿難！云何應與不癡止諍律。云何斷此諍，謂因不癡止諍律也。阿難！若有一人狂發而心顛倒，彼狂發心顛倒已，多不淨行，非沙門法，不順法行而說違犯，彼於後時還得本心，諸比丘見已，便語彼曰：「汝*曹狂發而心顛倒，狂發心顛倒已，多不淨行，非沙門法，不順法行而說違犯，賢者於後還得本心，賢者可從眾求不癡律，眾當共與賢者不癡律。阿難！若處有眾和集會者，彼比丘應詣[3]，偏袒著衣，脫屣入眾，稽首禮長老上尊比丘足，長跪叉手，手，白長老上尊比丘曰：「諸尊，聽我曾狂發而心顛倒，狂發心顛倒已，多不淨行，非沙門法，不順法行而說違犯，我於後時還得本心，我今從眾求不癡律，願眾和合與我不癡律。阿難！為彼比丘故，眾共和集，應與不癡律，以法以律，如尊師教，面前令歡喜。阿難！是謂應與不癡止諍律，如是斷此諍，謂因不癡止諍律也。」

[T1.754c11]「阿難！云何應與自發露止諍律。云何斷此諍，謂因自發露止諍律也。阿難！若有一人犯戒，或有語者，或不語者，或有憶者，或不憶者。阿難！若處有眾和集會者，彼比丘應詣，偏袒著衣，脫屣入眾，稽首禮長老上尊比丘足，長跪叉手，白長老上尊比丘曰：「諸尊，聽我犯某[4]戒[5]，我今向長老上尊比丘至心發露，自說顯示，不敢覆藏，更善護持，後不復作。阿難！諸比丘眾當問彼比丘曰：『賢者自見所犯耶？』彼應答曰：『實自見所犯，眾當語彼，更善護持，莫復作也。』阿難！是謂應與自發露止諍律，如是斷此諍，謂因自發露止諍律也。」

---

[1] 曹＝曾【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 汝＝法【聖】
[3] 詣＝訪【聖】
[4] 某＝其【明】，＝禁【聖】
[5] （禁）＋戒【宋】【元】【明】

[T1.754c24]「阿難！云何應與君止諍律。云何斷此諍，謂因與君止諍律也。阿難！若有一人不知羞恥，不悔見聞，從他疑者惡欲，彼犯戒已，稱一處知，稱一處見，稱一處知已，稱一處見，稱一處見已，稱一處知，在眾中稱一處知，在眾中稱一處見，稱一處知已，稱一處見，稱一處見已，稱一處知。阿難！為彼比丘故，眾共和集，應與君律，君無道無理，君惡不善。所以者何？謂君犯戒已，稱一處知，稱一處見，稱一處知已，稱一處見，稱一處見已，稱一處知，在眾中稱一處知，在眾中稱一處見，稱一處知已，稱一處見，稱一處見已，稱一處知。阿難！是謂應與君止諍律，如是斷此諍，謂因與君止諍律也。」

[T1.755a09]「阿難！云何應與展轉止諍律。云何斷此諍，謂因展轉止諍律也。阿難！有二比丘於其中間若干意起諍，謂是法、非法，是律、非律，是犯、非犯，或輕、或重，可說、不可說，可護、不可護，有餘、無餘，可悔、不可悔。阿難！彼比丘猥處止此諍，若猥處止者，此諍當言止，若猥處不止者，此諍可白眾，若於眾中止者，此諍當言止，若於眾中不止者。阿難！相近住者，於中若有比丘持[1]經、持律、持母者，此比丘共往至彼，說此諍事，若在道路止者，此諍當言止，若道路不止者，此諍當復向眾說，若在眾止者，此諍當言止，若在眾不止者。阿難！若多伴助者，持經、持律、持母者。阿難！彼比丘應者[2]止此諍，以法以律，如尊師教，面前令歡喜。阿難！是謂應與展轉止諍律，如是斷此諍，謂因展轉止諍律也。」

[T1.755a24]「阿難！云何應與如棄糞掃止諍律。云何斷此諍，謂因如棄糞掃止諍律也。阿難！若有住處諸比丘眾鬪訟憎嫉，相憎共諍。阿難！彼諸比丘分立二部，分立二部已，若於一部中有長老上尊者，或有次者，有宗主者，或有次者。阿難！此比丘語彼比丘曰：「諸賢！聽我等無道無理，我等惡不善。所以者何？我等於此善說法、律，至信、捨家、無家、學道，鬪訟憎嫉，相憎共諍。諸賢！因此諍，我等犯戒者除偷羅柘[3]，除家相應，我自為己，亦為彼諸賢故，今向賢[4]至心發露，自說顯示，不敢覆藏，更善護持，後不復作。」

[T1.755b07]「阿難！若此部中無一比丘應者。阿難！此比丘應往至彼第二部，到已稽首，禮長老上尊比丘足，長跪叉手，白長老上尊比丘曰：「諸尊，聽我等無道無理，我等惡不善。所以者何？我等於此善說法、律，至信、捨家、無家、學道，鬪訟憎嫉，相憎共諍。諸賢！因此諍，我等犯戒者除偷*羅柘，除家相應，我自為己，亦為彼諸賢故，今向長老上尊至心發露，自說顯示，不敢覆藏，更善護持，後不復作。阿難！彼比丘當語此比丘曰：「賢者，汝自見犯戒耶？彼應答曰：「實自見所犯，彼當語此，更善護持，莫復作也。第二部亦復如

---

[1] 持＝知【宋】【元】【明】【聖】
[2]〔者〕－【宋】【元】【明】【聖】
[3] 偷羅柘～Thullavajja.，＝偷蘭遮【宋】【元】【明】，＝偷羅遮【聖】
[4]　（諸）＋賢【宋】【元】【明】【聖】

是。阿難！是謂應與如棄糞掃止諍律，如是斷此諍，謂因如棄糞掃止諍律也。阿難！我今令[1]汝說六慰勞法[2]，諦聽，諦聽，善思念之。」

[T1.755b22] 尊者阿難白曰：「唯然，當受教聽。」

[T1.755b22] 佛言：「云何為[3]六，慈身業，向諸梵行，法是[4]慰勞法、愛法、樂法，令愛令重，令奉令敬，令修令攝，得沙門，得一心，得精進，得涅槃，慈口業，慈意業，若法利如法得，自所得飯食，至在鉢中，如是利分布，施諸梵行，是法慰勞法、愛法、樂法，令愛令重，令奉令敬，令修令攝，得沙門，得一心，得精進，得涅槃。若有戒不缺不穿，無穢無異[5]，如地不隨他，聖所稱譽，具足善受持如是戒分，布施諸梵行，是法慰勞法、愛法、樂法，令愛令重，令奉令敬，令修令攝，得沙門，得一心，得精進，得涅槃。若有聖見出要，明見深達，能正盡苦，如是見分布，施諸梵行，是法慰勞法、愛法、樂法，令愛令重，令奉令敬，令修令攝，得沙門，得一心，得精進，得涅槃。阿難！我向所說六慰勞法者，因此故說。阿難！若汝等此六諍本止[6]絕斷者，及此七止諍，眾中起鬪諍，以如棄糞掃止諍律止者，復行此六慰勞法。阿難！如是汝於我去後共同和合，歡喜[7]不諍，同一一心，同一一教，合一水乳，快樂遊行，如我在時。」

[T1.755c14] 佛說如是，尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.755c16] 周那經第五竟[8](四千二百三十字)[9]，

（一九七）中阿含[10]大品

(Ma.197)優婆[11]離經[12] 第六(第五後誦)[13]

[T1.755c19] 我聞如是。

---

[1] 令＝為【聖】
[2] 六慰勞法～Cha Sārāṇīyā dhammā.(Saraṇīya,【形】應該記得的。)
[3]〔為〕－【聖】
[4] 法是＝是法【宋】【元】【明】【聖】
[5] 異＝黑【宋】【元】【明】【聖】
[6] 止＝正【聖】
[7] 喜＝樂【宋】【元】【明】
[8]〔周那…竟〕－【明】
[9]〔四千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[10]〔中阿含〕－【明】，含＝鉿【聖】＊
[11] 婆＝波【宋】【元】【明】【聖】
[12] ～《律藏》大品 Vinaya, Mah. IX. 6.(1-8).，四分律.卷 44(大正 22.888b)
[13]〔第五後誦〕－【明】

[T1.755c19] 一時，佛遊瞻波，在恒伽池岸。

[T1.755c19] 爾時，尊者優波離[1]則於晡時，從燕[2]坐起，往詣佛所，稽首佛足，却坐一面，白曰：「世尊！若比丘眾共和合，作異業、說異業者，是如法業、如律業耶？」

[T1.755c23] 世尊答曰：「不也。優婆[3]離。」

[T1.755c23] 尊者優*婆離復問曰：「世尊！若比丘眾共和合，應與面前律者而與憶律，應與憶律者而與面前律，是如法業、如律業耶？」

[T1.755c26] 世尊答曰：「不也。優*婆離。」

[T1.755c27] 尊者優*婆離復問曰：「世尊！若比丘眾共和合，應與憶律者而與不癡律，應與不癡律者而與憶律，是如法業、如律業耶？」

[T1.755c29] 世尊答曰：「不也。優*婆離。」

[T1.756a01] 尊者優*婆離復問曰：「世尊！若比丘眾共和合，應與不癡律者而與自發露律，應與自發露律者而與不癡律，是如法業、如律業耶？」

[T1.756a04] 世尊答曰：「不也。優*婆離。」

[T1.756a05] 尊者優*婆離復問曰：「世尊！若比丘眾共和合，應與自發露律者而與君律，應與君律者而與自發露律，是如法業、如律業耶？」

[T1.756a08] 世尊答曰：「不也。優*婆離。」

[T1.756a08] 尊者優*婆離復問曰：「世尊！若比丘眾共和合，應與君者而責數[4]，應*諛者而與君，是如法業、如律業耶？」

[T1.756a11] 世尊答曰：「不也。優*婆離。」

[T1.756a11] 尊者優*婆離復問曰：「世尊！若比丘眾共和合，應*責數者而下置，應下置者而*諛，是如法業、如律業耶？」

[T1.756a14] 世尊答曰：「不也。優*婆離。」

---

[1] [>優波離]～Upāli.
[2] 燕＝宴【宋】【元】【明】
[3] 婆＝波【宋】【元】【明】【聖】
[4] 責數＝嘖路[口*數]【聖】＊

[T1.756a14] 尊者優*婆離復問曰：「世尊！若比丘眾共和合，應下置者而舉，應舉者而下置，是如法業、如律業耶？」

[T1.756a16] 世尊答曰：「不也。優*婆離。」

[T1.756a17] 尊者優*婆離復問曰：「世尊！若比丘眾共和合，應舉者而擯[1]，應*擯者而舉，是如法業、如律業耶？」

[T1.756a19] 世尊答曰：「不也。優*婆離。」

[T1.756a20] 尊者優*婆離復問曰：「世尊！若比丘眾共和合，應*擯者而與憶，應與憶者而*擯，是如法業、如律業耶？」

[T1.756a22] 世尊答曰：「不也。優*婆離。」

[T1.756a23] 尊者優*婆離復問曰：「世尊！若比丘眾共和合，應與憶者而從根本治，應從根本治者而與憶，是如法業、如律業耶？」

[T1.756a25] 世尊答曰：「不也。優*婆離。」

[T1.756a26] 尊者優*婆離復問曰：「世尊！若比丘眾共和合，應從根本治者而驅出，應驅出者而從根本治，是如法業、如律業耶？」

[T1.756a28] 世尊答曰：「不也。優*婆離。」

[T1.756a29] 尊者優*婆離復問曰：「世尊！若比丘眾共和合，應驅出者而行不慢，應行不慢者而驅出，是如法業、如律業耶？」

[T1.756b03] 世尊答曰：「不也。優*婆離。」

[T1.756b03] 尊者優*婆離復問曰：「世尊！若比丘眾共和合，應行不慢者而治，應治者而行不慢，是如法業、如律業耶？」

[T1.756b06] 世尊答曰：「不也。優*婆離，優*婆離，若比丘眾共和合，作異業，說異業者，是不如法業、不如律業，眾亦有罪，優*婆離，若比丘眾共和合，應與面前律而與憶律，應與憶律而與面前律者，是不如法業、不如律業，眾亦有罪，優*婆離，若比丘眾共和合，應與憶律而與不癡律，應與不癡律而與憶律者，是不如法業、不如律業，眾亦有罪，優*婆離，若比丘眾共和合，應與不癡律而與自發露律，應與自發露律而與不癡律者，是不如法業、不如律業，眾亦有罪。」

---

[1] 擯＝殯【聖】＊

[T1.756b16]「優*婆離，若比丘眾共和合，應與自發露律而與君律，應與君律而與自發露律者，是不如法業、不如律業，眾亦有罪，優*婆離，若比丘眾共和合，應與君律而*責數，應*責數而與君律者，是不如法業、不如律業，眾亦有罪，優*婆離，若比丘眾共和合，應*責數而下置，應下置而*責數者，是不如法業、不如律業，眾亦有罪，優*婆離，若比丘眾共和合，應下置而舉，應舉而下置者，是不如法業、不如律業，眾亦有罪。」

[T1.756b26]「優*婆離，若比丘眾共和合，應舉而*擯，應*擯而舉者，是不如法業、不如律業，眾亦有罪，優*婆離，若比丘眾共和合，應*擯而與憶，應與憶而*擯者，是不如法業、不如律業，眾亦有罪，優*婆離，若比丘眾共和合，應與憶而從根本治，應從根本治而與憶者，是不如法業、不如律業，眾亦有罪，優*婆離，若比丘眾共和合，應從根本治而驅出，應驅出而從根本治者，是不如法業、不如律業，眾亦有罪，優*婆離，若比丘眾共和合，應驅出而行不慢，應行不慢而驅出者，是不如法業、不如律業，眾亦有罪，優*婆離，若比丘眾共和合，應行不慢而治，應治而行不慢者，是不如法業、不如律業，眾亦有罪。」

[T1.756c11]「優*婆離，若比丘眾共和合，隨所作業即說此業者，是如法業、如律業，眾亦無罪，優*婆離，若比丘眾共和合，應與面前律即與面前律，應與憶律即與憶律，應與不癡律即與不癡律，應與自發露律即與自發露律，應與君律即與君律，應*責數即*責數，應下置即下置，應舉[1]即舉，應*擯即*擯，應憶即憶，應從根本治即從根本治，應驅出即驅出，應行不慢即行不慢，應治即治者，是如法業、如律業，眾亦無罪。」

[T1.756c20]「優*婆離，汝當學隨所作業即說此業，應與面前律即與面前律，應與憶律即與憶律，應與不癡律即與不癡律，應與自發露律即與自發露律，應與君律即與君律，應*責數即*責數，應下置即下置，應舉即舉，應*擯即*擯，應憶即憶，應從根本治即從根本治，應驅出即驅出，應行不慢即行不慢，應治即治者，優*婆離，汝當如是學。」

[T1.756c28] 佛說如是，尊者優*婆離及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.757a02] 優*婆離經第六竟[2](一千五百六十一字)[3]，

（一九八）中阿*含[4]大品

---

[1] 舉＝與【聖】
[2]〔優婆…竟〕－【明】
[3]〔一千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[4]〔中阿含〕－【明】

(Ma.198)調御地經 [1] 第七(第五後誦)[2]

[T1.757a05] 我聞如是。

[T1.757a05] 一時，佛遊王舍城，在竹林迦蘭陀 [3]園。

[T1.757a06] 爾時，沙彌阿夷那和提 [4]亦遊王舍城，在無事處，住禪屋中，彼時王童子耆婆先那 [5]中後彷佯，至沙彌阿夷那和提所，共相問訊，却坐一面，語曰：「賢者阿奇舍那 [6]，欲有所問，聽我問耶？」

[T1.757a10] 沙彌阿夷那和提告曰：「賢王童子，欲問便問，我聞當思。」

[T1.757a11] 王童子問曰：「阿奇舍那，實比丘此法、律中不放逸，行精勤 [7]，得一心耶？」

[T1.757a13] 沙彌答曰：「賢王童子，實比丘此法、律中不放逸，行精[＊]勤，得一心。」

[T1.757a14] 王童子復問曰：「賢者阿奇舍那，汝當隨所聞，汝隨所誦習者，盡向我說，如比丘此法、律中不放逸，行精[＊]勤，得一心。」

[T1.757a17] 沙彌答曰：「賢王童子，我不 [8]堪任 [9]隨所聞法，隨所誦習，廣向汝說，如比丘此法、律中不放逸，行精[＊]勤，得一心也。賢王童子，若我隨所聞法，隨所誦習，向賢王童子說，如比丘此法、律中不放逸，行精[＊]勤，得一心者，或賢王童子不知也。如是我唐煩勞。」

[T1.757a23] 王童子語沙彌曰：「賢者阿奇舍那，汝未 [10]為他所伏，以何意故而自退耶？賢者阿奇舍那，如隨所聞法，隨所誦習，可向我說，如比丘此法、律中不放逸，行精[＊]勤，得一心，若我知者為善，若我不知者，我便不復更問諸法。於是，沙彌阿夷那和提隨所聞法，隨所誦習，向王童子耆婆先那說，如比丘此法、律中不放逸，行精[＊]勤，得一心。」

---

[1] ～M. 125. Dantabhūmi sutta. (調御地經)
[2]〔第五後誦〕－【明】
[3] [>迦蘭陀]～Kalandaka.，迦蘭陀＝加蘭哆【聖】
[4] [>阿夷那和提]～Aciravata.
[5] 耆婆先那～(Jīvasena.)～Jayasena.
[6] [>阿奇舍那]～Aggivessana.
[7] 勤＝懃【聖】
[8] 不＝所【聖】
[9] 任＝行【聖】
[10] 未＝來【聖】

[T1.757b01] 於是，王童子耆婆先那語曰：「賢者阿奇舍那，若比丘此法、律中不放逸，行精*勤，得一心者，終無是處，說無是處已，即從坐[1]起，不辭而去。」

[T1.757b05] 王童子耆婆先那去後不久。於是，沙彌阿夷那和提往詣佛所，稽首作禮，却[2]坐一面，與王童子耆婆先那所共論者，盡向佛說，世尊聞已，告沙彌曰：「阿奇舍那[3]，止，王童子耆婆先那云何得，行欲著欲，為欲愛所食，為欲所燒，若地斷欲、斷欲愛、斷欲燒[4]熱，無欲知、無欲見、無欲覺，此地王童子知者、見者，終無是處。所以者何？阿奇舍那，王童子耆婆先那常行欲也。」

[T1.757b13]「阿奇舍那，猶四調御，象調御、馬調御、牛調御、人調御，於中二調御不可調御，二調御可調御，阿奇舍那，於意云何？若此二調御不可調御，此未調、未調地、未調[5]御受御事者，終無是處，若此二調御可調御、善調御[6]，此調、未調地，御受御事者，必有是處。如是，此阿奇舍那，止，王童子耆婆先那云何得，行欲著欲，為欲愛所食，為欲所燒，若地斷欲、斷欲愛、斷欲煩熱，無欲知、無欲見、無欲覺，此地王童子知者、見者，終無是處。所以者何？阿奇舍那，王童子耆婆先那常行欲也。」

[T1.757b24]「阿奇舍那，猶去村不遠，有大石山，無缺無穿，實而不虛，堅固不動，都合為一，或有二人正[7]欲見者，彼中一人速疾上山，第二人者依住山下，石山上人見石山邊有好平地、園觀、林木、清泉、華池、長流、河水，山上人見已，語山下人汝見山邊有好平地、園觀、林木、清泉、華池、長流、河水耶？山[8]下人答曰：「若我見山，彼邊有好平地、園觀、林木、清泉、華池、長流、河水者，終無是處。於是，石山上人疾疾來下，捉山下人速疾將上，於石山上，到已問曰：『汝見山邊有好平地、園觀、林木、清泉、華池、長流、河水耶？』彼人答曰：『今始見也。』復問彼人曰：『汝本言見者，終無是處，今復言見，為何謂耶？』彼人答曰：『我本為山之所障礙，故不見耳。』如是，阿奇舍那，止，王童子耆婆先那云何得，行欲著欲，為欲愛所食，為欲所燒，若地斷欲、斷欲愛、斷欲煩熱，無欲知、無欲見、無欲覺，此地王童子知者、見者，終無是處。」

---

[1] 坐＝座【宋】【元】【明】
[2] 却＝去【聖】
[3] 舍那＝那舍【宋】【元】
[4] 燒＝煩【宋】【元】【明】【聖】
[5]〔調〕－【宋】【元】【明】【聖】
[6]　（善）＋御【宋】【元】【明】【聖】
[7] 正＝王【宋】【元】【明】【聖】
[8]〔山〕－【宋】【元】【明】【聖】

[T1.757c13]「阿奇舍那，昔者剎利頂生王有捕象師，王告之曰：『汝捕象師，為我捕取野象將來，得已白我。』時，捕象師受王教已，即乘王象往[1]野林中，彼捕象師在野林中見大野象，見已捉繫，著王象項[2]，彼時王象將野象出在於露地，彼捕象師還詣剎利頂生王所，白曰：『天[3]王，已得野象，繫在露地，隨*天王意。』剎利頂生王聞已告曰：『善調象師，汝今可速調此野象，伏令善調象，善調已，還來白我。』於是善調象師受王教已，持極大杖，著右肩上，往野象所，以杖著地，繫野象項[4]，制樂野意，除野欲念，止野疲勞，令樂村邑，習愛人間，善調象師先與飲食。」

[T1.757c26]「阿奇舍那，若彼野象從調象師初受飲食，善調象師便作是念：『今此野象必得生活。』所以者何？此野大象初受飲食，若彼野象從調象師初受飲食者，善調象師則以柔軟可愛言向，臥起、去來、取捨、屈申，若彼野象從調象師，則以柔軟可愛言向，臥起、去來、取捨、屈申者，如是野象隨調象師教，阿奇舍那，若彼野象從調象師隨受教者，善調象師則縛前兩脚、後脚、兩[月*坒][5]、兩脇、尾脊、頭額、耳[6]、牙，及縛其鼻，使人捉鉤，騎其頭上，令眾多人持刀、楯、矟[7]、鉾、戟、斧、鉞而在前立，善調象師手執鋒鉾，在野象前而作是語，我今治汝，令不移動，治汝勿動搖，若彼野象從調象師治不移動時，不舉前脚，亦不動後脚，兩*[月*坒]、兩脇、尾脊、頭額、耳、牙及鼻皆不動搖，如是野象隨調象師住不移動。」

[T1.758a12]「阿奇舍那，若彼野象隨調象師不移動者，彼於爾時忍[刃>刀]、楯、*矟、鉾、戟、斧、鉞、喚呼高聲，若嘯吹螺、擊鼓、椎[8]鐘，皆能堪忍，若彼野象能堪忍者，彼於爾時調御、善調御，得上調御、得最上調御，上速疾、無上速疾，可中王乘，受食王廩[9]，稱說王象。」

[T1.758a18]「如是，阿奇舍那，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛眾祐，彼於此世，天及魔、梵、沙門、梵志，從人至天，自知自覺，自作證成就遊，彼說法初妙、中妙、竟亦妙，有義有文，具足清淨，顯現梵行，彼所說法，居士子聞，居士子聞已，得信如來所說法，彼得信已，剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，阿奇舍那，爾時聖弟子出在露地，猶王野象，如是野象貪欲樂著者[10]，謂在林

---

[1] 往＝至【宋】【元】【明】【聖】
[2] 項＝頂【宋】【元】【明】
[3] 天＝大【明】＊
[4] 項＝頸【元】【明】
[5] [月*坒]＝髀【聖】＊
[6] 耳＝身【聖】＊
[7] 矟＝銷【聖】＊
[8] 椎＝飢【宋】【元】，＝搥【明】，＝推【聖】＊
[9] 王廩＝廩王【元】
[10]〔者〕－【宋】【元】【明】【聖】

中，阿奇舍那，如是天及人貪欲樂著，謂在五欲，色、聲、香、味、觸，如來初始[1]御[2]彼比丘，汝當護身及命清淨，當護口、意及命清淨。」

[T1.758b01]「若聖弟子護身及命清淨，護口、意及命清淨者，如來復調御比丘，汝當觀內身如身，乃至觀覺、心、法如法，若聖弟子觀內身如身，乃至觀覺、心、法如法者，此四念處，謂在賢聖弟子心中，繫縛其心，制樂家意，除家欲念，止家疲勞，令樂正法，修習聖戒，阿奇舍那，猶調象師受剎利頂生王教已，持極大杖，著右肩上，往野象所，以杖著地，繫野象頸，制樂野意，除野欲念，止野疲勞，令樂村邑，習愛人間。如是，阿奇舍那，此四念處，謂在賢聖弟子心中，繫縛其心，制樂家意，除家欲念，止家疲勞，令樂正法，修習聖戒。」

[T1.758b13]「若聖弟子觀內身如身，乃至觀覺、心、法如法，彼如來復更調御比丘，汝當觀內身如身，莫念欲相應念乃至觀覺、心、法如法，莫念非法相應念，若聖弟子觀內身如身，不念欲相應念，乃至觀覺、心、法如法，不念非法相應念者，如是聖弟子隨如來教，阿奇舍那，猶如野象從調象師，則以柔軟可愛言向，臥起、去來、取捨、屈伸[3]者，如是野象隨調象師教。如是，阿奇舍那，若聖弟子觀內身如身，不念欲相應念，乃至觀覺、心、法如法，不念非法相應念，如是聖弟子隨如來教。」

[T1.758b24]「若聖弟子隨如來教者，如來復更調御比丘，汝當離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊，若聖弟子離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就[4]遊者，如是聖弟子則隨如來住不移動，阿奇舍那，猶如野象從調象師治不[5]移動時，不舉前脚，亦不動後脚，兩*[月*坒]、兩脇、尾脊、頭[6]額、耳、牙及鼻皆不動搖，如是野象隨調象師住不移動。如是，阿奇舍那，若聖弟子離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊者，如是聖弟子則隨如來住不移動。」

[T1.758c06]「若聖弟子隨如來住不移動者，彼於爾時則能堪忍飢渴、寒熱、蚊虻、蠅蚤、風[7]日所逼，惡聲[8]、捶杖亦能忍之，身遇諸疾極為苦痛，至命欲絕，諸不可樂皆能堪耐，阿奇舍那，猶如野象隨調象師住不移動，彼於爾時忍刀、楯、矟、鉾、戟、斧、鉞、喚呼高聲，若嘯吹螺、擊鼓、*椎鐘，皆能堪忍。如是，阿奇舍那，若聖弟子隨如來住不移動者，彼於爾時則能堪忍飢渴、

---

[1] 始＝如【聖】
[2] （調）＋御【宋】【元】【明】
[3] 伸＝申【宋】【元】【明】【聖】
[4]〔成就…象不〕五百十[—>]字－【宋】
[5] （法）＋不【元】【明】
[6] 頭＝項【聖】
[7] 風＝虱【元】＊
[8] 聲＝心【元】【明】

寒熱、蚊虻、蠅蚤、*風日所逼，惡聲、捶杖亦能忍之，身遇諸疾極為苦痛，至命欲絕，諸不可樂皆能堪耐。」

[T1.758c16]「阿奇舍那，若聖弟子隨如來能堪忍者，彼於爾時調御、善調御，得上調御、最上調御，得上息、最上息，除諸曲惡、恐怖、愚癡及諛[1]諂，清淨止塵，無垢無穢，可呼可請，可敬可重，實可供養，為一切天人良福田也。阿奇舍那，猶如野象能堪忍者，彼於爾時調御、善調御，得上調御、得最上調御，上速疾、無上速疾，可中王乘，受食王廩，稱說王象。如是，阿奇舍那，若聖弟子隨如來能堪忍者，彼於爾時調御、善調御，得上調御、最上調御，得上息，最上息，除諸曲惡、恐怖、愚癡及*諛諂，清淨止塵，無垢無穢，可呼可請，可敬可[2]重，實可供養，為一切天人良福田也。」

[T1.758c29]「阿奇舍那，少野象不調御死者，說不調御死，中、老野象不調御死者，說不調御死，阿奇舍那，少聖弟子不調御命終者，說不調御命終，中、老聖弟子不調御命終者，說不調御命終，阿奇舍那，少野象善調御死者，說善調御死，中、老野象善調[3]死者，說善調御死，阿奇舍那，少聖弟子善調御命終者，說善調御命終，中、老聖弟子善調御命終者，說善調御命終。」

[T1.759a08] 佛說如是，沙彌阿夷那和提及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.759a11] 調御地經第七竟[4](二千八百九十一字)[5]，

中阿*含經卷第五十二(八千六百八十二字[6])(第五後誦[7])[8]

中阿含經

卷第五十三 (Ma.199)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯[1]

---

[1] 諛＝諭【聖】＊
[2]〔可〕－【元】
[3] 調＋（御）【元】【明】
[4]〔調御地經第七[意>竟]〕－【明】
[5]〔(二千八百九十一字)〕－【宋】【元】【明】【聖】
[6]〔(八千六百八十二字)〕－【宋】【元】【明】【聖】
[7]〔第五後誦〕－【明】
[8]　＋（光明皇后願文）【聖】

（一九九）大品

(Ma.199)癡慧地經[2] 第八(第五後誦)[3]

[T1.759a20] 我聞如是。

[T1.759a20] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.759a21] 爾時，世尊告諸比丘：「我今為汝說愚癡法、智慧法，諦聽，諦聽，善思念之。」時，諸比丘受教而聽。

[T1.759a23] 佛言：「云何愚癡法，愚癡人有三相愚癡標、愚癡像，謂成就愚癡人說愚癡也。云何為三？愚癡人思惡思、說惡說、作惡作，是以愚癡人說愚癡也。若愚癡人不思惡思，不說惡說，不作惡作者，不應愚癡人說愚癡也。以愚癡人思惡思、說惡說、作惡作故，是以愚癡人說愚癡也。彼愚癡人於現法中，身心則受三種憂苦。云何愚癡人身心則受三種憂苦耶？愚癡人者，或有所行[4]，或聚會坐，或在道巷，或在市中，或四衢頭，說愚癡人相應事也[5]，愚癡人者，殺生、不與取、行邪婬、妄言，乃至邪見，及成就餘無量惡不善之法，若成就無量惡不善法者，他人見已，便說其惡，彼愚癡人聞已，便作是念：『若成就無量惡不善之法，他人見已，說其惡者，我亦有是無量惡不善之法，若他知者，亦當說我惡。』是謂愚癡人於現法中，身心則受第一憂苦。」

[T1.759b11]「復次，彼愚癡人又見王人收捉罪人，種種苦治，謂截手、截足，并截手足，截耳、截鼻，并截耳鼻，或臠臠割，拔鬚、拔髮，或拔鬚髮，或著檻中衣裹火燒，或以沙壅草纏火焚，或內鐵驢腹中，或著鐵猪口中，或置鐵虎口中燒，或安銅釜中，或著鐵釜中煑，或段段截，或利叉刺，或以鉤鉤，或臥鐵床以沸油澆，或坐鐵臼以鐵杵擣，或毒龍蜇，或以鞭鞭，或以杖撾，或以棒打，或活貫標頭，或梟其首，彼愚癡人見已，便作是念：『若成就無量惡不善法者，王知捉已，如是考[6]治，我亦有是無量惡不善之法，若王知者，亦當苦治*考我。』如是，是謂愚癡人於現法中，身心則受第二憂苦。」

---

[1]〔東晉…譯〕十三字－【聖】
[2] ～M. 129. Baplāṇḍita sutta. (賢愚經)，No. 86.《佛說泥犁經》(大正 1.907a)
[3]〔第五後誦〕－【明】
[4]〔行〕－【聖】
[5] 也＝已【宋】
[6] 考＝拷【元】【明】＊

[T1.759b25]「復次，彼愚癡人行身惡行，行[1]意惡行，彼若時疾病受苦，或坐臥床，或坐臥榻，或坐臥地，身生極苦甚苦[2]，乃至命欲斷，彼所有身惡行，口、意惡行，彼於爾時懸向在上，猶如晡時，日下高山，影懸向在地，如是彼所有身惡行，口、意惡行，彼於爾時懸向在上，彼作是念：『此是我身惡行，口、意惡行，懸向在上，我於本時不作福、多作惡。若有處作惡者，凶暴作無理事，不作福、不作善、不作恐怖，所歸命、所依怙，我至彼惡處，從是生悔，生悔已，不賢死，不善命終。』是謂愚癡人於現法中，身心則受第三憂苦。」

[T1.759c08]「復次，彼愚癡人行身惡行，行口、意惡行，彼行身惡行，行口、意惡行已，因此緣此，身壞命終，必至惡處，生地獄中，既生彼已，受於苦報，一向不可愛、不可樂、意不可念，若作是說：『一向不可愛、不可樂、意不可念者，是說地獄。』所以者何？彼地獄者，一向不可愛、不可樂、意不可念。」

[T1.759c14] 爾時，有一比丘即從坐[3]起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！地獄苦云何？」

[T1.759c15] 世尊答曰：「比丘！地獄不可盡說，所謂地獄苦，比丘！但地獄苦[4]唯有苦。」

[T1.759c17] 比丘復問曰：「世尊！可得以喻現其義也[5]。」

[T1.759c18] 世尊答曰[6]，亦可以喻現其義也。比丘，猶如王人收[7]賊，送詣剎利頂生王[8]所，白曰：「天王，此賊人有罪，願天王治，剎利頂生王告曰：『汝等將去治此人罪，朝以百矛刺。』王人受教，便將去治，朝以百矛刺，彼人故活，剎利頂生王問曰：『彼人云何？』王人答曰：『天王，彼人故活。』剎利頂生王復告曰：『汝等去，日中復以百矛刺。』王人受教，日中復以百矛刺，彼人故活，剎利頂生王復問曰：『彼人云何？』王人答曰：「天王，彼人故活。』剎利頂生王復告曰：『汝等去，日西復以百矛刺。』王人受教，日西復以百矛刺，彼人故活，然彼人身一切穿決破碎壞盡，無一處完，至如錢孔，剎利頂生王復問曰：『彼人云何？』王人答曰：『天王，彼人故活，然彼身一切穿決破碎壞盡，無一處完，至如錢孔。』比丘，於意云何？若彼人一日被三百矛刺，彼人因是身心受惱極憂苦耶？」

---

[1]〔行〕－【宋】【元】【明】【聖】
[2]　（重）＋苦【宋】【元】【明】【聖】
[3] 坐＝座【宋】＊【元】＊【明】＊
[4]〔苦〕－【宋】【元】【明】【聖】
[5] 也＝耶【宋】【元】【明】【聖】＊
[6] 曰＝言【宋】【元】【明】【聖】
[7] 收＝捉【宋】【元】【明】
[8] 剎利頂生王～Khattiyamuddhāvasitta rājā.

[T1.760a06] 比丘答曰：「世尊！被一矛刺，尚受極苦，況復一日受[1]三百矛刺，彼人身心豈不受惱極憂苦*也。」

[T1.760a08] 於是，世尊手取石子，猶如小豆，告曰：「比丘！汝見我手取此石子，如小豆耶？」

[T1.760a10] 比丘答曰：「見也。世尊！」

[T1.760a10] 世尊復問曰：「比丘！於意云何？我取石子，猶如小豆，比雪山王[2]，何者為大？」

[T1.760a12] 比丘答曰：「世尊手取石子，猶如小豆，比雪山王，百倍、千倍、百千萬倍，終不相及，不可數、不可算，不可譬喻、不可比方，但雪山王極大甚大。」

[T1.760a15] 世尊告曰：「比丘！若我取石子，猶如小豆，比雪山王，百倍、千倍、百千萬倍，終不相及，不可數、不可算，不可譬喻、不可比方，但雪山王極大甚大。如是，比丘！若此人一日被三百矛刺，彼因緣此，身心受惱極重憂苦，比地獄苦，百倍、千倍、百千萬倍，終不相及，不可數、不可算，不可譬喻、不可比方[3]，但地獄中極苦甚苦。」

[T1.760a22]「比丘。云何地獄苦，眾生生地獄中，既生彼已，獄卒手捉，則以鐵斧洞然[4]俱熾，斫治其身，或作八楞，或為六楞，或為四方，或令團圓，或高或下，或好或惡，彼如是*考治苦痛逼迫，歲數甚多，乃至百千，受無量苦，極重甚苦，終不得死，要當至惡不善業盡，是謂地獄苦，比丘。云何地獄苦，眾生生地獄中，既生彼已，獄卒手捉，則以鐵釿[5]洞然俱熾，斫[6]治其身，或作八楞，或為六楞，或為四方，或令團圓，或高或下，或好或惡，彼如是*考治苦痛逼迫，歲數甚多，乃至百千，受無量苦，極重甚苦，終不得死，要當至惡不善業盡，是謂地獄苦。」

[T1.760b06]「比丘。云何地獄苦，眾生生地獄中，既生彼已，獄卒手捉，則以鐵槍[7]洞然俱熾，強令坐上，便以鐵鉗鉗開其口，則以鐵丸*洞然俱熾，著其口中，燒脣燒舌，燒斷[8]燒咽，燒心燒胃，從身下出，彼如是*考治苦痛逼迫，歲

---

[1] 受＝被【宋】【元】【明】【聖】
[2] 雪山王～Himavapabbatarājā.
[3] 比方＝方比【宋】【元】【明】【聖】
[4] 洞然＝同燃【聖】＊，洞＝炯【宋】＊【元】＊【明】＊
[5] 釿＝斧【元】【明】，＝斤【聖】
[6] 斫＝斤【聖】
[7] 槍＝鏘【宋】【元】【明】【聖】
[8] 斷＝齶【聖】＊

數甚多，乃至百千，受無量苦，極重甚苦，終不得死，要當至惡不善業盡，是謂地獄苦，比丘。云何地獄苦，眾生生地獄中，既生彼已，獄卒手捉，則以鐵鏘*洞然俱熾，令[1]強坐上，便以鐵鉗鉗開其口，則以融銅灌其口中，燒脣燒舌，燒*斷燒咽，燒心燒胃，從身下出，彼如是*考治苦痛逼迫，歲數甚多，乃至百千，受無量苦，極重甚苦，終不得死，要當至惡不善業盡，是謂地獄苦。」

[T1.760b19]「比丘。云何地獄苦，眾生生[2]地獄中，既生彼已，獄卒手捉，則以鐵地*洞然俱熾，令仰向臥，挓五縛治，兩手兩足以鐵釘釘，以一鐵釘別釘其腹，彼如是*考治苦痛逼迫，歲數甚多，乃至百千，受無量苦，極重甚苦，終不得死，要當至惡不善業盡，是謂地獄苦，比丘。云何地獄苦，眾生生地獄中，既生彼已，獄卒手捉，則以鐵地*洞然俱熾，令其伏地，從口出舌，以百釘張無皺無縮，猶如牛皮以百釘張無皺無縮，如是眾生生地獄中，既生彼已，獄卒手捉，則以鐵地*洞然俱熾，令其伏地，從口出舌，以百釘張無皺無縮，彼如是*考治者[3]苦痛逼迫，歲數甚多，乃至百千，受無量苦，極重甚苦，終不得死，要當至惡不善業盡，是謂地獄苦。」

[T1.760c05]「比丘。云何地獄苦，眾生生地獄中，既生彼已，獄卒以手捉其頭[4]皮剝下至足，從足剝皮上[5]至其頭[6]，則以鐵車*洞然俱熾，以縛著車，便於鐵地*洞然俱熾，牽挽往來，彼如是*考治苦痛逼迫，歲數甚多，乃至百千，受無量苦，極重甚苦，終不得死，要當至惡不善業盡，是謂地獄苦，比丘。云何地獄苦，眾生生地獄中，既生彼已，獄卒以火*洞然俱熾，使揚撲地，復使手取，自灌其身，彼如是*考治苦痛逼迫，歲數甚多，乃至百千，受無量苦，極重甚苦，終不得死，要當至惡不善業盡，是謂地獄苦。」

[T1.760c16]「比丘。云何地獄苦，眾生生地獄中，既生彼已，獄卒以火山*洞然俱熾，令其上下，彼若下足，其皮肉血即便燒盡，若舉足時，其皮肉血還生如故，彼如是*考治苦痛逼迫，歲數甚多，乃至百千，受無量苦，極重甚苦，終不得死，要當至惡不善業盡，是謂地獄苦，比丘。云何地獄苦，眾生生地獄中，既生彼已，獄卒手捉，以大鐵釜*洞然俱熾，倒舉其身，足上頭下，以著釜中，彼於其中，[彼>或]上或下，或至方維，自體沫出，還煑其身，猶如大豆、小豆、蘊豆、苦[7]豆、芥子著多水釜中，下極然[8]火，彼豆於中，或上或下，或至方維，自沫纏煮，如是眾生生地獄中，既生彼已，獄卒手捉，以大鐵釜*洞然俱

---

[1] [今>令]強＝強令【宋】【元】【明】【聖】
[2] 眾生生＝比丘云何【聖】
[3]〔者〕－【宋】【元】【明】【聖】
[4] 頭＝頂【明】【聖】
[5] 上＝止【元】
[6] 頭＝頂【宋】【元】【明】【聖】
[7] 苦＝胡【宋】【元】【明】【聖】
[8] 然＝燃【聖】＊

熾，倒舉其身，足上頭下，以著釜中，彼於其中，或上或下，或至方維，自體沫出，還煮其身，彼如是*考治苦痛逼迫，歲數甚多，乃至百千，受無量苦，極重甚苦，終不得死，要當至惡不善業盡，是謂地獄苦。」

[T1.761a05]「比丘。云何地獄苦，彼地獄中有獄，名六更樂，若眾生生彼中，既生彼已，若眼見色，不憙[1]不可，非是憙可，意不潤愛，非是潤愛，意不善樂，非是善樂，耳所聞聲、鼻所齅香、舌所嘗味、身所覺觸、意所知法，不憙不可，非是喜可，意不潤愛，非是潤愛，意不善樂，非是善樂，是謂地獄苦，比丘！我為汝等無量方便說彼地獄，說地獄事，*然此地獄苦不可具說，但地獄唯有苦，比丘！若愚癡人或時從地獄出，生畜生者，畜生亦甚苦。」

[T1.761a15]「比丘。云何畜生苦，若眾生生畜生中，謂彼闇冥中生，闇冥中長，闇冥中死，彼為云何，謂地生蟲，愚癡人者，以本時貪著食味，行身惡行，行口、意惡行，彼行身惡行，行口、意惡行已，因此緣此，身壞命終，生畜生中，謂闇冥中生，闇冥中長，闇冥中死，是謂畜生苦，比丘。云何畜生苦，若眾生生畜生中，謂身中生，身中長，身中死，彼為云何，謂名瘡蟲，愚癡人者，以本時貪著食味，行身惡行，行口、意惡行，彼行身惡行，行口、意惡行已，因此緣此，身壞命終，生畜生中，謂身中生，身中長，身中死，是謂畜生苦。」

[T1.761a27]「比丘。云何畜生苦，若眾生生畜生中，謂水中生，水中長，水中死，彼為云何，謂魚、摩竭魚[2]、龜[3]、鼈[4]、婆留尼、提鼻、提[5]鼻[6]伽羅、提[7]鼻伽羅，愚癡人者，以本時貪著食味，行身惡行，行口、意惡行，彼行身惡行，行口、意惡行已，因此緣此，身壞命終，生畜生中，謂水中生，水中長，水中死，是謂畜生苦，比丘。云何畜生苦，若眾生生畜生中，謂齒齧者[8]生草樹木食，彼為云何，謂象、馬、駱駝、牛、驢、鹿、水牛及猪，愚癡人者，以本時貪著食味，行身惡行，行口、意惡行，彼行身惡行，行口、意惡行已，因此緣此，身壞命終，生畜生中，謂齒齧生草樹木食，是謂畜生苦。」

[T1.761b10]「比丘。云何畜生苦，若眾生生畜生中，謂彼聞人大小便氣，即走往趣彼，食彼食，猶如男女聞飲食香，即便往趣彼，如是說彼食彼食。如是，比丘！若眾生生畜生中，謂彼聞人大小便氣，即走往[9]趣彼，食彼食，彼為云何，

---

[1] 憙＝喜【聖】＊
[2] [>摩竭魚]～Macchā.
[3] 龜～Kacchapā.
[4] 鼈～Sumsumārā.，（鼈）＋鼈【宋】【元】【明】【聖】
[5] 提＝堤【聖】
[6]〔鼻〕－【聖】
[7] 提＋（提）【宋】【元】【明】，（堤提）＋提【聖】
[8]〔者〕－【宋】【元】【明】【聖】
[9] 往＝住【宋】

謂雞、猪、狗、犲、烏、拘[1]樓羅、拘稜[2]迦[3]，愚癡人者，以本時貪著食味，行行身惡行，行口、意惡行，彼行身惡行，行口、意惡行已，因此緣此，身壞命終，生畜生中，謂食屎不淨，是謂畜生苦，比丘！我為汝等無量方便說彼畜生，說畜生事，然此畜生苦不可具說，但畜生唯有苦。」

[T1.761b21]「比丘！若愚癡人從畜生出，還生為人，極大甚難。所以者何？彼畜生中不行仁義，不行禮法，不行妙善，彼畜生者更相食噉，強者食弱，大者食小，比丘！猶如此地，滿其中水，有一瞎[4]龜，壽命無量百千之歲，彼水上有小小輕木板，唯有一孔，為風所吹，比丘！於意云何？彼*瞎龜頭寧得入此小輕木板一孔中耶？」

[T1.761b28] 比丘答曰：「世尊！或可得入，但久久甚難。」

[T1.761b29] 世尊告曰：「比丘！或時瞎龜過百年已，從東方來而一舉頭，彼小木板唯有一孔，為東風吹移至南方，或時瞎龜過百年已，從南方來而一舉頭，彼一孔板為南風吹移至西方，或時瞎龜過百年已，從西方來而一舉頭，彼一孔板為西風吹移至北方，或時瞎龜從北方來而一舉頭，彼一孔板為北風吹隨至諸方，比丘！於意云何？彼瞎龜頭寧得入此一孔板耶？」

[T1.761c09] 比丘答曰：「世尊！或可得入，但久久甚難。」

[T1.761c10]「比丘！如是彼愚癡人從畜生出[5]，還生為人，亦復甚難。所以者何？彼畜生中不行仁義，不行禮法，不行妙善，彼畜生者更相食噉，強者食弱，大者食小，比丘！若愚癡人或時從畜生出，還生為人，彼若有家，小姓[6]下下賤，弊惡貧窮，少有飲食，謂得食甚難，彼為云何，謂獄[7]卒家、工師家、巧巧手家、陶師家，如是比餘下賤家，弊惡貧窮，少有飲食，謂得食甚難，生如是家，既生彼已，或瞎或跛，或臂肘短，或身傴曲，或用左手，惡色羊面，醜陋短壽，為他所使，彼行身惡行，行口、意惡行，彼行身惡行，行口、意惡行已，因此緣此，身壞命終，還至惡處，生地獄中。」

[T1.761c22]「猶如二人而共博戲，彼有一人始取如是行，便失奴婢及失妻子，復取己身倒懸烟屋中，彼作是念：我不食不飲，然我始取如是行，便失奴婢及失妻子，復取己身倒懸烟屋中，比丘！此行甚少，失奴婢、失妻子，復取己身倒懸烟屋中，比丘！謂此行所可行，行身惡行，行口、意惡行，彼行身惡行，行

---

[1] 拘＝狗【聖】
[2] 稜＝陵【宋】【元】【明】【聖】
[3] 迦＝伽【聖】
[4] 瞎＝[月*害]【聖】＊
[5] 出＝世【元】【明】
[6] 姓＝性【聖】
[7]〔獄〕－【宋】【元】【明】【聖】

口、意惡行已，因此緣此，身壞命終，還至惡處，生地獄中，比丘！此諸行最不可愛，實不可樂，非意所念，比丘！非為具足說愚癡法耶？」

[T1.762a03] 比丘答曰：「唯然。世尊！為具足說愚癡法也。」

[T1.762a04] 世尊告曰：「云何智慧法，彼智慧人有三相智慧標智慧像，謂成就智慧人說智慧也。云何為三？智慧人者，思善思、說善說、作善作，是以智慧人說智慧也。若智慧人不思善思，不說善說，不作善作者，不應智慧人說智慧也。以智慧人思善思、說善說、作善作故，是[1]智慧人說智慧也。智慧人者，於現法中，身心則受三種喜樂。云何智慧人於現法中身心則受三種喜樂*也。智慧人者，或有所行，或聚[2]會坐，或在道巷，或在市中，或四衢頭，說智慧人相應事也。智慧人者，斷殺、離殺、不與取、邪婬、妄言，乃至斷邪見得正見，及成就餘無量善法，若成就無量善法者，他人見已，便稱譽之，彼智慧人聞已，便作是念：若成就無量善法，他人見已稱譽者，我亦有是無量善法，若他知[3]者，亦當稱譽我，是謂智慧人於現法中，身心則受第一喜樂。」

[T1.762a22]「復次，彼智慧人又見王人種種治賊，謂截手、截足，并截手足，截耳、截鼻，并截耳鼻，或臠臠割，拔鬚、拔髮，或拔鬚髮，或著檻中衣裹火燒，或以沙壅草纏火焚，或內鐵驢腹中，或著鐵猪口中，或置鐵虎口中燒，或安銅釜中，或著鐵釜中煑，或段段截，或利叉刺，或以鉤鉤，或臥鐵床以沸油澆[4]，或坐鐵臼以鐵杵擣，或毒龍蜇，或以鞭鞭，或以杖撾，或以棒打，或活貫摽頭，或梟其首，彼智慧人見已，便作是念：若成就無量惡不善法者，王知捉已，如是*考治，我無是無量惡不善之法，若王知者，終不如是苦治於我，是謂智慧人於現法中，身心則受第二喜樂。」

[T1.762b05]「復次，彼智慧人行身妙行，行口、意妙行，彼若時疾病，或坐臥床，或坐臥榻，或坐臥地，或[5]身生極苦甚重苦，乃至命欲斷，彼所有身妙行，口、意妙行，彼於爾時懸向在上，猶如[哺>晡]時，日下高山，影懸向在地，如是彼所有身妙行，口、意妙行，彼於爾時懸向在上，彼作是念：此是我身妙行，口、意妙行，懸向在上，我於本時不作惡、多作福。若有處不作惡者，不凶暴，不作無理事，作福、作善、作恐怖，所歸命、所依怙，我至彼善處而不生悔，不生悔已，賢死善命終，是謂智慧人於現法中，身心則受第三憙[6]樂。」

---

[1] 是＋（以）【宋】【元】【明】【聖】
[2] 聚＝眾【聖】
[3] 知＝智【聖】
[4] 澆＝洗【聖】
[5]〔或〕－【宋】【元】【明】【聖】
[6] 憙＝喜【聖】

[T1.762b17]「復次，彼智慧人行身妙行，行口、意妙行，彼行身妙行，行口、意妙行已，因此緣此，身壞命終，必昇善處，上生天中，既生彼已，受於樂報，一向可愛、一向可樂而意可念，若作是念：一向可愛、一向可樂而意可念者，是說善處。所以者何？彼善處者，一向可愛，一向可樂而意可念。」

[T1.762b23] 爾時，有一比丘即從*坐起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！善處樂云何？」

[T1.762b25] 世尊答曰：「比丘！善處不可盡說，所謂善處樂，但善處唯有樂。」

[T1.762b27] 比丘復問曰：「世尊！可得以喻現其義耶？」

[T1.762b27] 世尊答曰：「亦可以喻現其義也。猶如轉輪王成就七寶、四種人如意足，比丘！於意云何？彼轉輪王成就七寶、四種人如意足，彼因是身心受極喜樂耶？」

[T1.762c02] 比丘答曰：「世尊！成就一寶、一人如意足，尚受極喜樂，況復轉輪王成就七寶、四種人如意足，非為受極喜樂耶？」

[T1.762c04] 於是，世尊手取石子，猶如小豆，告曰：「比丘！汝見我手取此石子如小豆耶？」

[T1.762c06] 比丘答曰：「見也。世尊！」

[T1.762c07] 世尊復問曰：「比丘！於意云何？我取石子，猶如小豆，比雪山王，何者為大？」

[T1.762c08] 比丘答曰：「世尊手取石子，猶如小豆，比雪山王，百倍、千倍、百千萬倍，終不相及，不可數、不可算，不可譬喻、不可比方，但雪山王極大甚大。」

[T1.762c12] 世尊告曰：「比丘！若我取石子，猶如小豆，比雪山王，百倍、千倍、百千萬倍，終不相及，不可數、不可算，不可譬喻、不可比方，但雪山王極大甚大。如是，比丘！若轉輪王成就七寶、四種人如意足，彼人身心受極喜樂，比諸[1]天樂，百倍、千倍、百千萬倍，終不相及，不可數、不可算，不可譬喻、不可比方，所謂善處樂但善處唯有樂。」

[T1.762c19]「比丘。云何善處樂，彼有善處，名六更樂，若眾生生彼中，既生彼已，若眼見色，意所喜可，彼是喜可，意所潤愛，彼是潤愛，意所善樂，彼是

[1] 諸＝於【宋】【元】【明】【聖】

善樂，耳所聞聲、鼻所嗅香、舌所嘗味、身所覺觸、意所知法，意所喜可，彼是喜可，意所潤愛，彼是潤愛，意所善樂，彼是善樂，是謂善處樂，比丘！我為汝等無量方便，說彼善處說善處事，然此善處樂不可具說，但善處唯有樂。」

[T1.762c27]「比丘！若智慧人或時從善處來，下生人間。若有家者，極大富樂，錢財無量，多諸畜牧，封戶、食邑、米穀豐溢，及若干種諸生活具，彼為云何，謂剎利大長者家、梵志大長者家、居士大長者家，及餘[1]極大富樂，錢財無量，多諸畜牧，封戶、食邑、米穀豐溢，及若干種諸生活具，生如是家，端正[2]可愛，眾人敬順，極有名譽，有大威德，多人所愛，多人所念，彼行身妙行，行口、意妙行，彼行身妙行，行口、意妙行已，因此緣此，身壞命終，還至善處，生於天中　。」

[T1.763a09]「猶如二人而共博戲，彼有一人始求[3]取如是行，多得錢財，彼作是念：「我不田[4]作，然我始取如是行，多得錢財，比丘！此行甚少，謂多得錢財，比丘！謂此所行，行身妙行，行口、意妙行，彼行身妙行，行口、意妙行已，因此緣此，身壞命終，還至[5]善處，生於天中，比丘！此諸行，是行最可愛、最可樂、最可意所念，比丘！非為具足說智慧人法耶？」

[T1.763a17] 比丘白曰：「唯然。世尊！為具足說智慧人法。」

[T1.763a18] 世尊告曰：「是謂愚癡人法、智慧人法，汝等應當知愚癡人法、智慧人法，知愚癡人法、智慧人法已，捨愚癡人法，取智慧人法，當如是學。」

[T1.763a21] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.763a23] 癡慧地經第八竟[6](五千六百三十八字)[7]，

中阿含[8]經卷第五十三(五千六百三十八字)[9](第五後誦[10])[11]

---

[1] 餘＋（家）【宋】【元】【明】【聖】
[2] 正＝政【聖】
[3]〔求〕－【宋】【元】【明】【聖】
[4] 田＝由【宋】【元】【明】
[5] 至＝生【宋】【元】【明】
[6]〔癡慧…竟〕－【明】
[7]〔五千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[8] 含＝鋡【聖】＊
[9]〔五千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[10]〔第五後誦〕－【明】
[1] [1] ＋（海德佛性空佛藥王佛藥王菩薩藥上菩薩願一切眾生悉得摩訶[銜-金+工]道隨喜供養）三十二字【聖】，＋（光明皇后願文）【聖】

中阿含 [1]經

卷第五十四 (Ma.200~201)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯 [2]

（二○○）大品

(Ma.200)阿梨吒經 [3] 第九(第五後誦)[4]

[T1.763b02] 我聞如是。

[T1.763b02] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.763b03] 爾時，阿梨吒 [5]比丘本伽陀婆 [6]梨 [7]，生如是惡見，我知世尊如是說法，行欲者無障礙，諸比丘聞已，往至阿梨吒比丘所，問曰：「阿梨吒，汝實如是說，我知世尊如是說法，行欲者無障礙耶？」

[T1.763b07] 時，阿梨吒答曰：「諸賢！我實知世尊如是說法，行欲者無障礙。」

[T1.763b08] 諸比丘訶阿梨吒曰：「汝莫作是說，莫誣謗世尊！誣謗世尊者不善，世尊亦不如是說，阿梨吒，欲有障礙，世尊無量方便說欲有障礙，阿梨吒，汝可速捨此惡見也。」

[T1.763b12] 阿梨吒比丘為諸比丘所訶已，如此惡見其強力執，而一向說，此是真實，餘者虛妄，如是再三。」

[T1.763b14] 眾多比丘不能令阿梨吒比丘捨此惡見，從坐 [8]起去，往詣佛所，稽首佛足，却坐一面，白曰：「世尊！阿梨吒比丘生如是惡見，我知世尊如是說

---

[1] 含＝銜【聖】＊
[2]〔東晉…譯〕十三字－【聖】
[3] ～M. 22. Alagaddūpama sutta. (蛇喻經)，《增壹阿含 43.5 經》船筏(大正 2.759c)
[4]〔第五後誦〕－【明】
[5] [>阿梨吒]～Ariṭṭha.
[6] [>本伽陀婆梨]～Gaddhabādhi pubba.
[7] 梨＝利【宋】【元】【明】【聖】
[8] 坐＝座【宋】＊【元】＊【明】＊

法，行欲者無障礙。世尊！我等聞已，往詣阿梨吒比丘所，問曰：『阿梨吒，汝實如是說，我知世尊如是說法，行欲者無障礙耶？』阿梨吒比丘答我等曰：『諸賢，我實知世尊如是說法，行欲者無障礙。』世尊！我等訶曰：『阿梨吒，汝莫作是說，莫誣謗世尊！誣謗世尊者不善，世尊亦不如是說。阿梨吒，欲有障礙，世尊無量方便說欲有障礙，阿梨吒，汝可速捨此惡見。』我等訶已，如此惡見其強力執，而一向說，此是真實，餘者虛妄，如是再三。世尊！如我等不能令阿梨吒比丘捨此惡見，從*坐起去。」

[T1.763b29] 世尊聞已，告一比丘，汝往阿梨吒比丘所，作如是語，世尊呼汝。」

[T1.763c02] 於是，一比丘受世尊教，即從*坐起，稽首佛足，遶三匝而去，至阿梨吒比丘所，即語彼曰：「世尊呼汝，阿梨吒比丘即詣佛所，稽首佛足，却坐一面。」

[T1.763c05] 世尊問曰：「阿梨吒，實如是說，我知世尊如是說法，行欲者無障礙耶？」

[T1.763c07] 阿梨吒答曰：「世尊！我實知世尊如是說法，行欲者無障礙。」

[T1.763c08] 世尊訶曰：「阿梨吒，汝云何知我如是說法，汝從何□[1]聞我如是說法，汝愚癡人，我不一向說，汝一向說耶？汝愚癡人，聞諸比丘共訶，汝時應如[法[2]答：『我今當問諸比丘也。』」

[T1.763c12] 於是，世尊問諸比丘：「汝等亦如是知我如是說法，行欲者無障礙耶？」

[T1.763c14] 時，諸比丘答曰：「不也。」

[T1.763c14] 世尊問曰：「汝等云何知我說法？」

[T1.763c15] 諸比丘答曰：「我等知世尊如是說法，欲有障礙，世尊說欲有障礙也。欲如骨鏁，世尊說欲如骨鏁也。欲如肉臠，世尊說欲如肉臠也。欲如把炬，世尊說欲如把炬也。欲如火坑，世尊說欲如火坑也。欲如毒蛇，世尊說欲如毒蛇也。欲如夢，世尊說欲如夢也。欲如假借，世尊說欲如假借也。欲如樹果[3]，世尊說欲如樹*果也。我等知世尊如是說法。」

---

[1] □＝曰【明】
[2] 法＝是【宋】【元】【明】【聖】
[3] 果＝菓【聖】＊

[T1.763c23] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！諸比丘！汝等知我如是說法。所以者何？我亦如是說，欲有障礙，我說欲有障礙，欲如骨鏁，我說欲如骨鏁，欲如肉臠，我說欲如肉臠，欲如把炬，我說欲如把炬，欲如火坑，我說欲如火坑，欲如毒蛇，我說欲如毒蛇，欲如夢，我說欲如夢，欲如假借，我說欲如假借，欲如樹*果，我說欲如樹*果。」

[T1.764a02] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！汝等知我如是說法，然此阿梨吒愚癡之人，顛倒受解義及文也。彼因自顛倒受解故，誣謗於我，為自傷害，有犯有罪，諸智梵行者所不憙也。而得大罪，汝愚癡人，知有此惡不善處也[1]。」

[T1.764a06] 於是，阿梨吒比丘為世尊面訶責[2]已，內懷憂慼，低頭默然，失辯無言，如有所伺。

[T1.764a08] 於是，世尊面訶*責數[3]阿梨吒比丘已，告諸比丘：「若我所說法盡具解義者，當如是受持，若我所說法不盡具解義者，便當問我及諸智梵行者。所以者何？或有癡人，顛倒受解義及文也。彼因自顛倒受解故，如是如是知彼法，謂正經、歌詠、記說、偈他、因緣、撰錄、本起、此說、生處、廣解、未曾有法及說義，彼諍知此義，不受解脫知此義，彼所為知此法，不得此義，但受極苦，唐自疲勞。所以者何？彼以顛倒受解法故。」

[T1.764a18]「譬若如人，欲得捉蛇，便行求蛇，彼求蛇時，行野林間，見極大蛇，便前以手捉其腰中，蛇迴舉頭，或蜇手足及餘支[4]節，彼人所為求取捉蛇，不得此義，但受極苦，唐自疲勞。所以者何？以不善解取蛇法故，如是或有癡人，顛倒受解義及文也。彼因自顛倒受解故，如是如是知彼法，謂正經、歌詠、記說、偈他、因緣、撰錄、本起、此說、生處、廣解、未曾有法及說義，彼諍知此義，不受解脫知此義，彼所為知此法，不得此義，但受極苦，唐自疲勞[5]。所以者何？彼以顛倒受解法故。」

[T1.764a29]「或有族姓子，不顛倒善受解義及文，彼因不顛倒善受解故，如是如是知彼法，謂正經、歌詠、記說、偈他、因緣、撰錄、本起、此說、生處、廣解、未曾有法及說義，彼不諍知此義，唯受解脫知此義，彼所為知此法，得此義，不受極苦，亦不疲勞。所以者何？以不顛倒受解法故。」

---

[1] 也＝耶【宋】【元】【明】【聖】＊
[2] 責＝嘖【聖】＊
[3] 數＝[口*數]【聖】
[4] 支＝肢【宋】【元】【明】【聖】＊
[5] 疲勞＝勞疲【宋】【元】

[T1.764b06]「譬若如人，欲得捉蛇，便行求蛇，彼求蛇時，手執鐵杖，行野林間，見極大蛇，先以鐵杖押[1]彼蛇頂[2]手捉其頭，彼蛇雖反[3]尾迴，或纏手足及餘*支節，然不能蜇，彼人所為求取捉蛇，而得此義，不受極苦，亦不疲勞。所以者何？彼以善解取蛇法故，如是或有族姓子，不顛倒善受解義及文，彼因不顛倒善受解故，如是如是知彼法，謂正經、歌詠、記說、偈他、因緣、撰錄、本起、此說、生處、廣解、未曾有法及說義[4]，彼不諍知此義，唯受解脫知此義，彼所為知此法，得此義，不受極苦，亦不疲勞。所以者何？以不顛倒受解法故，我為汝等長夜說筏喻法，欲令棄捨，不欲令受故。」

[T1.764b19]「云何我為汝等長夜說筏喻法，欲令棄捨，不欲令受，猶如山水甚深極廣，長流駛疾，多有所漂，其中無舡[5]，亦無橋梁，或有人來，而於彼岸有事欲度，彼求度時，而作是念：今此山水甚深極廣，長流駛疾，多有所漂，其中無*舡亦無橋梁而可度者，我於彼岸有事欲度，當以何方便，令我安隱至彼岸耶？復作是念：我今寧可於此岸邊收聚草木，縛作椑[6]栰，乘之而度，彼便[7]岸邊收聚草木，縛作椑栰，乘之而度，安隱至彼，便作是念：今我此栰多有所益，乘此栰已，令我安隱，從彼岸來，度至此岸，我今寧可以著右肩或頭戴去，彼便以栰著右肩上或頭戴去，於意云何？彼作如是竟[8]，能為栰有所益耶？」

[T1.764c04] 時，諸比丘答曰：「不也。」

[T1.764c05] 世尊告曰：「彼人云何為栰所作能有益耶？彼人作是念：今我此栰多有所益，乘此栰已，令我安隱，從彼岸來，度至此岸，我今寧可更以此栰還著水中，或著岸邊而捨去耶？彼人便以此栰還著水中，或著岸邊捨之而去，於意云何？彼作如是，為栰所作能有益耶？」

[T1.764c11] 時，諸比丘答曰：「益也。」

[T1.764c12] 世尊告曰：「如是，我為汝等長夜說栰喻法，欲令棄捨，不欲令受，若汝等知我長夜說栰喻法者，當以捨是法，況非法耶？」

[T1.764c15]「復次，有六見處。云何為六？比丘者，所有色，過去、未來、現在，或內或外，或精或麤，或妙或不妙，或近或遠，彼一切非我有，我非彼

---

[1] 押＝壓【元】【明】
[2] 頂＝項【聖】，＝頭【聖】
[3] 反＝及【聖】
[4] （善）＋義【聖】
[5] 舡＝船【宋】【元】【明】【聖】＊
[6] 椑＝箄【宋】【元】【明】，＝[竺-二+裨]【聖】＊
[7] 彼便＝即於【宋】【元】【明】
[8] 竟＝意【宋】【元】【明】

有，亦非是神，如是慧觀，知其如真，所有覺、所有想、所有此見非我有，我非彼有，我當無我，當不有，彼一切非我有，我非彼有，亦非是神，如是慧觀，知其如真，所有此見，若見聞識知，所得所觀，意所思念，從此世至彼世，從彼世至此世，彼一切非我有，我非彼有，亦非是神，如是慧觀，知其如真，所有此見，此是神，此是世，此是我，我當後世有，常不變易，恒不磨[1]滅法，彼一切非我有，我非彼有，亦非是神，如是慧觀，知其如真。」

[T1.764c28] 於是，有一比丘從*坐而起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊！頗有因內有恐怖耶？」

[T1.764c29] 世尊答曰：「有也。」

[T1.765a01] 比丘復問曰：「世尊！云何因內有恐怖耶？」

[T1.765a02] 世尊答曰：「比丘者，如是見、如是說，彼或昔時無，設有我不得，彼如是見、如是說，憂慼煩勞，啼哭椎[2]胸而發狂癡，比丘！如是因內有恐怖也。」

[T1.765a05] 比丘歎世尊已，復問曰：「世尊！頗有因內無恐怖也[3]。」

[T1.765a06] 世尊答曰：「有也。」

[T1.765a07] 比丘復問曰：「世尊！云何因內無恐怖*也。」

[T1.765a08] 世尊答曰：「比丘者，不如是見、不如是說，彼或昔時無，設有我不得，彼不如是見、不如是說，不憂慼，不煩勞，不啼哭，不*椎胸，不發狂癡，比丘！如是因內無恐怖*也。」

[T1.765a11] 比丘歎世尊已，復問曰：「世尊！頗有因外有恐怖*也。」

[T1.765a13] 世尊答曰：「有也。」

[T1.765a13] 比丘復問曰：「世尊！云何因外有恐怖*也。」

[T1.765a14] 世尊答曰：「比丘者，如是見、如是說，此是神，此是世，此是我，我當後世有，彼如是見、如是說，或遇如來[4]，或遇如*來弟子，聰明智慧而善言語，成就智慧，彼或如來，或如來弟子，滅一切自身故說法，捨離一切

---

[1] 磨＝摩【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 椎＝槌【宋】＊【元】＊【明】＊，＝推【聖】＊
[3] 也＝耶【宋】【元】【明】
[4] 來＝是【聖】＊

漏、一切我、我所作，滅慢使故說法，彼或如來，或如來弟子，滅一切自身故說法，捨離一切漏、一切我、我所作，滅慢使故說法時，憂慼煩勞，啼哭*椎胸而發狂癡，如是說，我斷壞不復有。所以者何？彼比丘所謂長夜不可愛、不可樂、不可意念，比丘多行彼便憂慼煩勞，啼[1]哭*椎胸而發狂癡，比丘！如是因外有恐怖也。」

[T1.765a26] 比丘歎世尊已，復問曰：「世尊！頗有因外無恐怖耶？」

[T1.765a27] 世尊答曰：「有也。」

[T1.765a28] 比丘復問曰：「世尊！云何因外無恐怖耶？」

[T1.765a29] 世尊答曰：「比丘者，不如是見、不如是說，此是神，此是世，此是我，我當後世有，彼不如是見、不如是說，或遇如來，或遇如來弟子，聰明智慧而善言語，成就智慧，彼或如來，或如來弟子，滅一切自身故說法，捨離一切漏、一切我、我所作，滅慢使故說法，彼或如來，或如來弟子，滅一切自身故說法，捨離一切漏、一切我、我所作，滅慢使故說法時，不憂慼，不煩勞，不啼哭，不*椎胸，不發狂癡，不如是說，我斷壞不復有。所以者何？彼比丘所謂長夜可愛、可樂、可意念，比丘多行彼便不憂慼，不煩勞，不啼哭，不*椎胸，不發狂癡，比丘！如是因外無恐怖也。」

[T1.765b13] 爾時，比丘歎世尊曰：「 善哉！善哉！歎善哉已，聞佛所說，善受持誦，則便默然。」

[T1.765b14] 於是，世尊歎諸比丘曰：「 善哉！善哉！比丘受如是所可受[2]，受[3]已，不生憂慼，不煩勞，不啼哭，不*椎胸，不發狂癡，汝等見所受所可受，不生憂慼，不煩勞，不啼哭，不*椎胸，不發狂癡耶？」

[T1.765b19] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.765b19] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！汝等依如是見所可依，見已，不生憂慼，不煩勞，不啼哭，不*椎胸，不發狂癡，汝等見依如是見所可依，見已，不生憂慼，不煩勞，不啼哭，不*椎胸，不發狂癡耶？」

[T1.765b23] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.765b24] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！汝等受如是身，所有身常住不變易、不*磨滅法，汝等見受如是身所可受[1]身已，常住不變易、不*磨滅法耶？」

---

[1] 啼＝勞【聖】
[2] 受＝愛【聖】
[3]〔受〕－【宋】【元】【明】【聖】

[T1.765b27] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.765b27] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！所謂因神故有我，無神見[2]無我，是為神、神所有，不可得、不可施設，及心中有見處、結著、諸使亦不可得，不可施設，比丘！非為具足說見及見所相續，猶如阿梨吒比丘本為伽陀婆利耶？」

[T1.765c03] 比丘答曰：「如是。世尊！為具足說見及見所相續，猶如阿梨吒比丘本為伽陀婆梨[3]。」

[T1.765c05]「復次，有六見處。云何為六？比丘者，所有色，過去、未來、現在，或內或外，或精或麤，或妙或不妙，或近或遠，彼一切非我有，我非彼有，亦非是神，如是慧觀，知其如真，所有覺行[4]、有想、所有此見，非我有，我非彼有，彼[5]當無我，當不有，彼一切非我有，我非彼有，亦非是神，如是慧觀，知其如真，所有此見，若見聞識知，所得所觀，意所思念，從此世至彼世，從彼世至此世，彼一切非我有，我非彼有，亦非是神，如是慧觀，知其如真，所有此見，此是神，此是世，此是我，我當後世有，常不變易，恒不*磨滅法，彼一切非我有，我非彼有，亦非是神，如是慧觀，知其如真。」

[T1.765c18]「所[6]有比丘，此六見處不見是神，亦不見神所有，彼如是不見已，便不受此世，不受此世已，便無恐怖，因不恐怖已，便得般涅槃，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受[7]有，知如真，是謂比丘度塹、過塹、破塚[8]、無門、聖智慧鏡。云何比丘度塹耶？無明塹已盡已知，拔絕根本，打[9]破不復當生，如是比丘得度塹也。云何比丘過塹耶？有愛已盡已知，拔絕根本，*打破不復當生，如是比丘得過塹也。云何比丘破*塚耶？無窮生死已盡已知，拔絕根本，*打破不復當生，如是比丘得破*塚也。云何比丘無門耶？五下分結[10]已盡已知，拔絕根本，*打破不復當生，如是比丘得無門也。云何比丘聖智慧鏡，我慢已盡已知，拔絕根本，*打破不復當生，如是比丘聖智慧鏡，是謂比丘度塹、過塹、破*塚、無門、聖智慧鏡。」

[T1.766a05]「如是正解脫如來，有因提羅及天伊沙那，有梵及眷屬，彼求不能得如來所依識，如來是梵，如來是冷，如來不煩熱，如來是不異，我如是說，諸

---

[1] 受＝愛【宋】【元】【明】
[2] 見＝則【宋】【元】【明】【聖】
[3] 梨＝利【宋】【元】【明】【聖】
[4] 行＝所【宋】【元】【明】【聖】
[5] 彼＝我【宋】【元】【明】【聖】
[6] 所＝若【宋】【元】【明】【聖】
[7] 更受＝受後【宋】【元】【明】【聖】
[8] 塚＝郭【元】【明】＊
[9] 打＝頂【聖】＊
[10] [>五下分結]～Pañc’orambhāgiyāni saṃyojanāni.

沙門、梵志誣謗我，虛妄言不真實，沙門瞿曇御無所施設，彼實有眾生，施設斷滅壞，若此中無我不說，彼如來於現法中說無憂。若有他人罵詈如來，撾打如來[1]，瞋恚責數[2]者，如來因彼處不瞋恚、不憎嫉，終無害心，若人罵詈如來，撾打、瞋恚責數時，如來意云何，如來作是念：若我本所作、本所造者，因彼致此言，然罵詈如來，撾打、瞋恚*責數者，如來作是意。若有他人恭敬如來，供養禮事尊重者，如來因此不以為悅，不以為歡喜，心不以為樂，若他人恭敬如來，供養禮事尊重者，如來意云何，如來作是念：若我今所知所斷，因彼致此。若有他人恭敬如來，供養禮事尊重者，如來作是意。」

[T1.766a22] 於是，世尊告諸比丘：「若有他人罵詈汝等，撾打、瞋恚*責數者。若有恭敬供養、禮事尊重者，汝等因此亦當莫瞋恚憎嫉，莫起害心，亦莫歡悅歡喜，亦莫心樂。所以者何？我等無神、無神所有，猶如今[3]此勝林門外燥草枯木，或有他人持去火燒，隨意所用，於意云何？彼燥草枯木頗作是念：『他人持我去火燒，隨意所用耶？』」

[T1.766b01] 諸比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.766b01]「如是若有他人罵詈汝等，撾打、瞋恚*責數者。若有恭敬供養、禮事尊重者，汝因此亦當莫瞋恚憎嫉，莫起害心，亦莫歡悅歡喜，亦莫心樂。所以者何？我等無神、無神所有，有[4]我法善說，發露廣布，無有空缺，流布宣傳，乃至天人，如是我法善說，發露廣布，無有空缺，流布宣傳，乃至天人，若正智慧[5]解脫命終者，彼不施設有無窮，我法善說，發露廣布，無有空缺，流布宣傳，乃至天人，如是我法善說，發露廣布，無有空缺，流布宣傳，乃至天人。若有五下分結盡而命終者，生於彼間，便般涅槃，得不退法，不還此世。」

[T1.766b13]「我法善說，發露廣布，無有空缺，流布宣傳，乃至天人，如是我法善說，發露廣布，無有空缺，流布宣傳，乃至天人，彼三結已盡，婬怒癡薄，得一往來[6]天上人間，一往來已，便得苦邊，我法善說，發露廣布，無有空缺，流布宣傳，乃至天人，如是我法善說，發露廣布，無有空缺，流布宣傳，乃至天人，彼三結已盡，得[7]須陀洹[8]，不墮惡法，定趣正覺，極七往來天上人間，七往來已，便得苦邊，我法善說，發露廣布，無有空缺，流布宣傳，乃至天

---

[1]〔如來〕－【宋】【元】【明】【聖】
[2] 責數＝嘖[口*數]【聖】＊
[3] 今＝令【聖】
[4]〔有〕－【宋】【元】【明】【聖】
[5]〔慧〕－【宋】【元】【明】【聖】
[6] [>一往來]～Sakadāgāmin.
[7] 得＝是【宋】【元】【明】
[8] [>須陀洹]～Sotāpannā.

人，如是我法善說，發露廣布，無有空缺，流布宣傳，乃至天人。若有信樂於我而命終者，皆[1]生善處，如上有餘。」

[T1.766b25] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.766b27] 阿梨吒經第九竟[2](四千五百七十字[3])，

（二○一） 中阿*含[4]大品

(Ma.201)[口*荼][5]帝經[6]□第十(第五後誦)[7]

[T1.766c01] 我聞如是。

[T1.766c01] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.766c02] 爾時，[口*荼][8]帝比丘雞和哆[9]子[10]生如是惡見：「我知世尊如是說法，今此識，往生不更異。」諸比丘聞已，往至*[口*荼]帝比丘所，問曰：「*[口*荼]帝，汝實如是說，我知世尊如是說法，今此識，往生不更異耶？」

[T1.766c06] *[口*荼]帝比丘答曰：「諸賢！我實知世尊如是說法，今此識，往生不更異。」

[T1.766c08] 時，諸比丘訶*[口*荼]帝比丘曰：「汝莫作是說，莫誣謗世尊！誣謗世尊者不善，世尊亦不如是說，*[口*荼]帝比丘，今此識，因緣故起，世尊無量方便說識因緣故起[11]，有緣則生，無緣則滅，*[口*荼]帝比丘，汝可速捨此惡見也。」

[T1.766c12] *[口*荼]帝比丘為諸比丘所訶已，如此惡見其強力執，而一向說：「此是真實，餘者虛妄。」如是再三。

---

[1] 皆＝必【宋】【元】【明】
[2]〔阿梨…竟〕－【明】
[3]〔四千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] [口*荼]＝嗏【宋】＊【元】＊【明】＊
[6] ～M. 38. Mahā-Taṇhā sankhaya sutta. (愛盡大經)
[7]〔第五後誦〕－【明】
[8] [>[口*荼]帝]～Sāti.
[9] 哆＝多【宋】＊【元】＊【明】＊
[10] [>雞和哆子]～Kevaṭṭa putta.
[11] 起＋（識）【宋】【元】【明】【聖】

[T1.766c15] 眾多比丘不能令*[口*荼]帝比丘捨此惡見，從坐[1]起去，往詣佛所，稽首佛足，却坐一面，白曰：「世尊！*[口*荼]帝比丘生如是惡見，我知世尊如是說法，今此識，往生不更異。世尊！我等聞已，往詣*[口*荼]帝比丘所，問曰：『*[口*荼]帝，汝實如是說，我知世尊如是說法，今此識，往生不更異也[2]。』*[口*荼]帝比丘答我等曰：「諸賢！我實知世尊如是說法，今此識，往生[3]不更異。』世尊！我等訶曰：『*[口*荼]帝比丘，汝莫作是說，莫誣謗世尊！誣謗世尊者不善，世尊亦不如是說，*[口*荼]帝比丘，今此識，因緣故起，世尊無量方便說識因緣故起，識有緣則生，無緣則滅，*[口*荼]帝比丘，汝可速捨此惡見也。』我等訶已，如此惡見其強力執，而一向說，此是真實，餘者虛妄，如是再三。世尊！如我等不能令*[口*荼]帝比丘捨此惡見，從*坐起去。」

[T1.767a01] 世尊聞已，告一比丘，汝往*[口*荼]帝比丘所，作如是語：「世尊呼汝。」

[T1.767a03] 於是，一比丘受世尊教，即從*坐起，稽首佛足，繞三匝而去，至*[口*荼]帝比丘所，即語彼曰：「世尊呼汝。」*[口*荼]帝比丘即詣佛所，稽首佛足，却坐一面。

[T1.767a06] 世尊問曰：「汝實如是說，我知世尊如是說法，今此識，往生不更異也。」

[T1.767a08] [口*荼]帝比丘答曰：「世尊！我實知世尊如是說法，今此識，往生不更異也[4]。」

[T1.767a09] 世尊問曰：「何者識耶？」

[T1.767a10] *[口*荼]帝比丘答曰：「世尊！謂此識說、覺、作、教作、起、等起，謂彼[5]作善惡業而受報也。」

[T1.767a12] 世尊呵曰：「*[口*荼]帝，汝云何知我如是說法，汝從何口[6]聞我如是說法，汝[7]愚癡人，我不一向說，汝一向說耶？汝愚癡人，聞諸比丘共訶汝時，應如法答：『我今當問諸比丘也。』」

---

[1] 坐＝座【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 也＝耶【宋】【元】【明】【聖】＊
[3] 生＋（來）【宋】
[4]〔也〕－【宋】【元】【明】【聖】
[5] 彼＋（彼）【宋】【元】【明】【聖】
[6] 口＝曰【明】
[7] 汝＋（法）【聖】

[T1.767a16] 於是，世尊問諸比丘：「汝等亦如是知我如是說法，今此識，往生不更異耶？」

[T1.767a17] 時，諸比丘答曰：「不也。」

[T1.767a18] 世尊問曰：「汝等云何知我說法？」

[T1.767a19] 諸比丘答曰：「我等知世尊如是說法，識因緣故起，世尊說識因緣故起，識有緣則生，無緣則滅，我等知世尊如是說法。」

[T1.767a22] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！諸比丘！汝等知我如是說法。所以者何？我亦如是說，識因緣故起，我說識因緣故起，識有緣則生，無緣則滅，識隨所緣生，即彼緣，說緣眼色生識，生識已說眼識，如是耳、鼻、舌、身，意[1]法生識，生識已說意識，猶若如火，隨所緣生，即彼緣，說緣木生火，說木火也。緣草糞聚火，說草糞聚火，如是識隨所緣生，即彼緣，說緣眼色生識，生識已說眼識，如是耳、鼻、舌、身，緣[2]意法生識，生識已說意識。」

[T1.767b02] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！汝等知我如是說法，然此*[□*荼]帝比丘愚癡之人，顛倒受解義及文也。彼因自顛倒受解故，誣謗於我，為自傷害，有犯有罪，諸智梵行者所不喜也。而得大罪，汝愚癡人，知有此惡不善處耶？」

[T1.767b07] 於是，*[□*荼]帝比丘為世尊面呵責[3]已，內懷憂慼，低頭默然，失辯無言，如有所伺。

[T1.767b09] 於是，世尊面呵*[□*荼]帝比丘已，告諸比丘：「我當為汝說法究竟，無煩無熱，恒有不變，諸智慧觀如是，諦聽，諦聽，善思念之，時，諸比丘受教而聽。」

[T1.767b12] 佛言，真說見耶？」

[T1.767b13] 比丘答曰：「唯然。世尊！」

[T1.767b13] 世尊告曰：「如來真說見耶？」

[T1.767b14] 比丘答曰：「唯然。世尊！

[T1.767b14] 世尊告曰：「如來滅已，所有真[4]彼亦滅法見耶？」

---

[1] （緣）＋意【聖】
[2] 〔緣〕－【宋】【元】【明】
[3] 責＝嘖【聖】
[4] 真＋（說）【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.767b15] 比丘答曰：「唯然。世尊！」

[T1.767b16] 世尊告曰：「真說已見耶？」

[T1.767b16] 比丘答曰：「唯然。世尊！」

[T1.767b17] 世尊告曰：「如來真說已見耶？」

[T1.767b17] 比丘答曰：「唯然。世尊！」

[T1.767b18] 世尊告曰：「如來滅已，所有*真彼亦滅法已見耶？」

[T1.767b19] 比丘答曰：「唯然。世尊！」

[T1.767b19] 世尊告曰：「真說無有疑惑耶？」

[T1.767b20] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.767b20] 世尊告曰：「如來真說無有疑惑耶？」

[T1.767b21] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.767b22] 世尊告曰：「如來滅已，所有*真彼亦滅法無有疑惑耶？」

[T1.767b23] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.767b24] 世尊告曰：「真說如是，慧見如真，所有疑惑彼滅耶？」

[T1.767b25] 比丘答曰：「唯然。世尊！」

[T1.767b25] 世尊告曰：「如來真說如是，慧見如真，所有疑惑彼滅耶？」

[T1.767b26] 比丘答曰：「唯然。世尊！」

[T1.767b27] 世尊告曰：「如來滅已，所有*真彼亦滅法，如是慧見如真，所有疑惑彼滅耶？」

[T1.767b29] 比丘答曰：「唯然。世尊！」

[T1.767b29] 世尊告曰：「真說已無疑惑耶？」

[T1.767c01] 比丘答曰：「唯然。世尊！」

[T1.767c01] 世尊告曰：「如來真說已無疑惑耶？」

[T1.767c02] 比丘答曰：「唯然。世尊！」

[T1.767c02] 世尊告曰：「如來已滅，所有*真彼亦滅法已無疑惑耶？」

[T1.767c04] 比丘答曰：「唯然。世尊！」

[T1.767c04] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！若汝等如是知、如是見，謂我此見如是清淨，著彼、惜彼、守彼，不欲令捨者，汝等知我長夜說栰喻法，知已所塞流開耶？」

[T1.767c08] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.767c08] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！若汝等如是知、如是見，謂我此見如是清淨，不著彼、不惜彼、不守彼，欲令捨者，汝等知我長夜說栰喻法，知已所塞流開耶？」

[T1.767c11] 比丘答曰：「唯然。世尊！」

[T1.767c12] 世尊歎曰：「善哉，善哉。若有異學來問汝等，賢者，汝等若有如是清淨見，彼何義、何為、何功德，汝等云何答耶？」

[T1.767c14] 比丘答曰：「世尊！若有異學來問我賢者，汝等若有如是清淨見，彼何義、何為、何功德，者，我等當如是答。諸賢！為厭義，為無欲義，為見知如真義故。世尊！若異學來問我者，我等當如是答，

[T1.767c19] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！若異學來問汝，汝等應如是答。所以者何？此所說觀，一曰摶[1]食麤細，二曰更樂，三曰意念，四曰識也。此四食何因、何習，從何而生，由何有耶？彼四食者，因愛、習愛，從愛而生，由愛有也。愛何因、何習，從何而生，由何有耶？愛者，因覺、習覺，從覺而生，由覺有也。覺何因、何習，從何而生，由何有耶？覺者，因更樂、習更樂，從更樂生，由更樂有也。更樂何因、何習，從何而生，由何有耶？更樂者，因六處、習六處，從六處生，由六處有也。六處何因、何習，從何而生，由何有耶？六處者，因名色、習名色，從名色生，由名色有也。名色何因、何習，從何而生，由何有耶？名色者，因識習識，從識而生，由識有也。識何因、何習，從何而生，由何有耶？識者，因行、習行，從行而生，由行有也。行何因、何習，從何而生，由何有耶？行者，因無明、習無明，從無明生，由無明有也。」

---

[1] 摶＝揣【聖】

[T1.768a08]「是為緣無明有行，緣行有識，緣識有名色，緣名色有六處，緣六處有更樂，緣更樂有覺，緣覺有愛，緣愛有受，緣受有有，緣有有生，緣生有老死、愁慼、啼哭、憂苦、懊惱，如是此等[1]大苦陰生，緣生有老死，此說緣生有老死，於汝等意云何？」

[T1.768a13] 比丘答曰：「世尊！緣生有老死，我等意如是。所以者何？緣生有老死也。」

[T1.768a15]「緣有有生，此說緣有有生，於汝等意云何？」

[T1.768a16] 比丘答曰：「世尊！緣有有生，我等意如是。所以者何？緣有有生耶[2]？」

[T1.768a17]「緣受有有，此說緣受有有，於汝等意云何？」

[T1.768a19] 比丘答曰：「世尊！緣受有有，我等意如是。所以者何？緣受有有也。」

[T1.768a20]「緣愛[3]有受[4]，此說緣愛有受，於汝等意云何？」

[T1.768a21] 比丘答曰：「世尊！緣愛有受，我等意如是。所以者何？緣愛有受也。」

[T1.768a23]「緣覺有愛，此說緣覺有愛，於汝等意云何？」

[T1.768a24] 比丘答曰：「世尊！緣覺有愛，我等意如是。所以者何？緣覺有愛也。」

[T1.768a25]「緣更樂有覺，此說緣更樂有覺，於汝等意云何？」

[T1.768a26] 比丘答曰：「世尊！緣更樂有覺，我等意如是。所以者何？緣更樂有覺也。」

[T1.768a28]「緣六處有更樂，此說緣六處有更樂，於汝等意云何？」

[T1.768a29] 比丘答曰：「世尊！緣六處有更樂，我等意如是。所以者何？緣六處有更樂也。」

---

[1] 等＝淳【宋】【元】【明】【聖】
[2] 耶＝也【宋】【元】【明】【聖】
[3] 愛＝受【聖】
[4] 受＝愛【聖】

[T1.768b02]「緣名色有六處，此說緣名色有六處，於汝等意云何？」

[T1.768b03] 比丘答曰：「世尊！緣名色有六處，我等意如是。所以者何？緣名色有六處也。」

[T1.768b05]「緣識有名色，此說緣識有名色，於汝等意云何？」

[T1.768b06] 比丘答曰：「世尊！緣識有名色，我等意如是。所以者何？緣識有名色也。」

[T1.768b08]「緣行有識，此說緣行有識，於汝等意云何？」

[T1.768b09] 比丘答曰：「世尊！緣行有識，我等意如是。所以者何？緣行有識也。」

[T1.768b10]「緣無明有行，此說緣無明有行，於汝等意云何？」

[T1.768b12] 比丘答曰：「世尊！緣無明有行，我等意如是。所以者何？緣無明有行也。是為緣無明有行，緣行有識，緣識有名色緣名色有六處，緣六處有更樂，緣更樂有覺，緣覺有愛，緣愛有受，緣受有有，緣有有生，緣生有老死、愁慼、啼哭、憂苦、懊惱可得生，如是此淳大苦陰生。」

[T1.768b18] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！比丘，汝等如是說。所以者何？我亦如是說，緣無明有行，緣行有識，緣識有名色，緣名色有六處，緣六處有更樂，緣更樂有覺，緣覺有愛，緣愛有受，緣受有有，緣有有生，緣生有老死、愁慼、啼哭、憂苦、懊惱可得生，如是此淳大苦陰生，生滅則老死滅，此說生滅則老死滅，於汝等意云何？」

[T1.768b25] 比丘答曰：「世尊！生滅則老死滅，我等意如是。所以者何？生滅則老死滅也。」

[T1.768b27]「有滅則生滅，此說有滅則生滅，於汝等意云何？」

[T1.768b28] 比丘答曰：「世尊！有滅則生滅，我等意如是。所以者何？有滅則生滅也。」

[T1.768c01]「受滅則有滅也[1]，此說受滅則有滅，於汝等意云何？」

[T1.768c02] 比丘答曰：「世尊！受滅則有滅，我等意如是。所以者何？受滅則有滅也。」

---

[1]〔也〕－【宋】【元】【明】【聖】

[T1.768c03]「愛滅則受滅，此說愛滅則受滅，於汝等意云何？」

[T1.768c05] 比丘答曰：「世尊！愛滅則受滅，我等意如是。所以者何？愛滅則受滅也。」

[T1.768c06]「覺滅則愛滅，此說覺滅則愛滅，於汝等意云何？」

[T1.768c07] 比丘答曰：「世尊！覺滅則愛滅，我等意如是，所以[然>者]何，覺滅則愛滅也。」

[T1.768c09]「更樂滅則覺滅，此說更樂滅則覺滅，於汝等意云何？」

[T1.768c10] 比丘答曰：「世尊！更樂滅則覺滅，我等意如是。所以者何？更樂滅則覺滅也。」

[T1.768c12]「六處滅則更樂滅，此說六處滅則更樂滅，於汝等意云何？」

[T1.768c13] 比丘答曰：「世尊！六處滅則更樂滅，我等意如是。所以者何？六處滅則更樂滅也。」

[T1.768c15]「名色滅則六處滅，此說名色滅則六處滅，於汝等意云何？」

[T1.768c16] 比丘答曰：「世尊！名色滅則六處滅，我等意如是。所以者何？名色滅則六處滅也。」

[T1.768c18]「識滅則名色滅，此說識滅則名色滅，於汝等意云何？」

[T1.768c19] 比丘答曰：「世尊！識滅則名色滅，我等意如是。所以者何？識滅則名色滅也。」

[T1.768c21] 行滅則識滅，此說行滅則識滅，於汝等意云何？」

[T1.768c22] 比丘答曰：「世尊！行滅則識滅，我等意如是。所以者何？行滅則識滅也。」

[T1.768c24]「無明滅則行滅，此說無明滅則行滅，於汝等意云何？」

[T1.768c25] 比丘答曰：「世尊！無明滅則行滅，我等意如是。所以者何？無明滅則行滅也。是為無明滅則行滅，行滅則識滅，識滅則名色滅，名色滅則六處滅，六處滅則更樂滅，更樂滅則覺滅，覺滅則愛滅，愛滅則受滅，受滅則有滅，有滅則生滅，生滅則老死滅，愁慼、啼哭、憂苦、懊惱可得滅，如是此淳大苦陰滅。」

[T1.769a03] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！比丘，汝等如是說。所以者何？我亦如是說，無明滅則行滅，行滅則識滅，識滅則名色滅，名色滅則六處滅，六處滅則更樂滅，更樂滅則覺滅，覺滅則愛滅，愛滅則受滅，受滅則有滅，有滅則生滅，生滅則老死滅，愁慼、啼哭、憂苦、懊惱可得滅，如是此[1]淳大苦陰滅。」

[T1.769a09] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！若汝等如是知如是見，汝等，頗於過去作是念：我過去時有，我過去時無。云何過去時有，何由過去時有耶？」

[T1.769a12] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.769a12] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！若汝等如是知如是見，汝等，頗於未來作是念：我未來當有，我未來當無。云何未來有，何由未來有耶？」

[T1.769a15] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.769a16] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！若汝等如是知如是見，汝等，頗於內有疑惑，此云何此何等，此眾生從何所來趣至何處，何因已有何因當有耶？」

[T1.769a19] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.769a19] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！若汝等如是知如是見，汝等，頗故殺父母，害弟子[2]阿羅訶[3]，破壞聖眾，惡意向佛出如來血耶？」

[T1.769a22] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.769a22] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！若汝等如是知如是見，汝等，頗故犯戒捨戒罷道耶？」

[T1.769a24] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.769a25] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！若汝等如是知如是見，汝等，頗捨此更求外尊求福田耶？」

[T1.769a27] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.769a27] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！若汝等如是知如是見，汝等，頗作[4]沙門梵志如是說諸尊，可知則知可見則見耶？」

---

[1] 此＋（得）【聖】
[2] （佛）＋弟子【聖】
[3] 訶＝漢【明】
[4] 作＝仰【聖】【明】

[T1.769a29] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.769b01] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！若汝等如是知如是見，汝等，頗吉祥為清淨耶？」

[T1.769b02] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.769b03] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！若汝等如是知如是見，汝等，頗為諸沙門梵志，吉祥相應諸見雜苦雜之[1]雜煩熱雜懊惱，彼是真實耶？」

[T1.769b06] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.769b06] 世尊歎曰：「善哉善哉，若汝等如是知如是見，汝等，頗身生疹患，生甚重苦乃至命欲斷，捨此更求外，頗有彼沙門梵志，持一句呪二句三句四句多句百句，持此呪令脫我苦，是謂求苦習苦得苦盡耶？」

[T1.769b11] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.769b11] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！若汝等如是知如是見，汝等，頗受八有耶？」

[T1.769b13] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.769b13] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！若汝等如是知如是見，汝等，頗如是說，我等恭敬沙門敬重沙門，沙門瞿曇是我尊師耶？」

[T1.769b16] 比丘答曰：「不也。世尊！」

[T1.769b16] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！若汝等自知自見自覺得最正覺，汝等隨所問答耶？」

[T1.769b18] 比丘答曰：「如是！世尊！」

[T1.769b19] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！我正御汝等，於畢究竟無煩無熱，恒不變易法，正智所知正智所見正智所覺，因此故我向者說，我為汝說法，畢究竟不煩熱，恒不變易法，正智所知正智所見正智所覺，復次三事合會入於母胎，父母聚集一處，母滿精堪耐香[2]陰已至，此三事合會入於母胎，母胎或持[3]九月十月更生，生已以血長養，血者於聖法中，謂是母乳也。彼於後時諸根轉大根

---

[1] 之＝毒【聖】
[2] 香＝生【宋】【元】【明】
[3] 持＝時【宋】【元】【明】

轉成就，食麤飯麨蘇[1]油塗身，彼眼見色樂著好色憎惡惡[2]色，不立身念少心心解脫慧解脫，不知如真，所生惡不善法，不滅盡無餘，不敗壞無餘，如是耳鼻舌身意知法，樂著好法憎惡惡法，不立身念少心心解脫慧解脫，不知如真，所生惡不善法，不滅盡無餘，不敗壞無餘，彼如是隨[3]憎不憎所受覺，或樂或苦或不苦不樂，彼樂彼覺求著受彼覺，彼樂彼覺求著受彼覺已，若樂覺者是為受，彼緣受有有，緣有有生，緣生有老死，愁慼啼哭憂苦懊惱可得生，如是此淳大苦陰生，比丘！非為具足愛所繫相續如*[口*荼]帝比丘雞和*哆子耶？」

[T1.769c11] 比丘答曰：「如是世尊！具足愛所繫相續，如*[口*荼]帝比丘雞和*哆子也。若時如來出世，無所著等正覺明行成為善逝世間解無上士道法御天人師號佛眾祐，彼眼見色，於好色而不樂著，於惡色而不憎惡，立身念無量心，心解脫慧解脫知如真，所生惡不善法，滅盡無餘，敗壞無餘，如是耳鼻舌身意知法，不著好法不惡惡法，立身念無量心，心解脫慧解脫知如真，所生惡不善法，滅盡無餘，敗壞無餘，彼如是滅憎不憎所受覺，或樂或苦或不苦不樂，彼不樂彼覺，不求不著不受覺，彼不樂彼覺，不求不著不受覺已，若樂覺者彼便滅，樂滅則受滅，受滅則有滅，有滅則生滅，生滅則老死滅，愁慼啼哭憂苦懊惱可得滅，如是此淳大苦陰滅。」

[T1.769c26]「比丘！非為具足愛盡解脫耶？」

[T1.769c27] 比丘答曰：「如是世尊！具足愛盡解脫也。」

[T1.769c28] 說是法時此三千大千世界三反震動，動盡動戰盡戰震盡震。是故此經稱愛盡解脫，佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.770a03] [口*荼]帝經第十竟[4](四千六百九十一字[5])，

中阿*含經卷[6]第五十四(九千三百六十一字)[7]

中阿*含大品第二竟[8](三萬九千九百一十二字[9])(第五後誦[10])[11]，

---

[1] 蘇＝酥【宋】【元】【明】
[2]〔惡〕－【聖】
[3] 隨＝墮【聖】
[4]〔[口*荼]帝…竟〕－【明】
[5]〔四千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[6] 卷末題品末題位置前後【宋】【元】【明】【聖】
[7]〔九千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[8] 中阿含大品第二竟＝後大品第十六竟【明】
[9]〔三萬…字〕－【宋】【元】【明】
[10] 第五後誦＝第三後誦【元】，－【明】
[11] ＋（光明皇后願文）【聖】

卷第五十五 (Ma.202~203)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

中阿含 [1]哺利多品 [2](有十經)(第五後誦)

持齋、哺利多　　羅摩、五下分
心穢、箭毛二　　隨 [3]摩那修學
法樂比丘尼　　拘絺羅在後

（二○二）中阿含 [4]哺利多品

(Ma.202)持齋經 [5] 第一

[T1.770a17] 我聞如是。

[T1.770a17] 一時，佛遊舍衛國，在於東園鹿子母堂。

[T1.770a18] 爾時，鹿子母毘舍佉 [6]平旦沐浴，著白淨衣，將子婦等眷屬圍繞，往詣佛所，稽首作禮，却住一面，世尊問曰：「居士婦，今沐浴耶？」

[T1.770a21] 答曰：「世尊！我今持齋，善逝，我今持齋。」

[T1.770a21] 世尊問曰：「居士婦，今持何等齋耶？齋有三種。云何為三？一者放牛兒齋，二者尼揵齋，三者聖八支 [7]齋，居士婦。云何名為放牛兒齋，若放牛兒朝放澤中，哺收還村，彼還村時，作如是念：『我今日在此處放牛，明日當在彼處放牛，我今日在此處飲牛，明日當在彼處飲牛，我牛今在此處宿止，明日當在彼處宿止，居士婦，如是有人若持齋時，作是思惟：『我今日食如此之食，

---

[1]〔中阿含〕－【宋】【元】【明】
[2] 品＋（第三）【宋】【元】，＋（第十七）【明】
[3] 隨＝鞞【明】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～《增支部》A. VIII. 43. Visākhā sutta. (毘舍佉)，A.3.70. Uposathaṅga(八齋戒)，No.87.《佛說齋經》(大正 1.910c)，No.88.《優陂夷墮舍佉經》(大正 1.912a)，No.89.《佛說八關齋經》(大正 1.913c)
[6] [>鹿子母毘舍佉]～Visākhā [Miga amātā.>Migaramātā.]
[7] 支＝枝【宋】＊

明日當食如彼食也。我今日飲如此之飲，明日當飲如彼飲也。我今含消如此含消，明日[1]含消如彼含消。』其人於此晝夜樂著欲過，是謂名曰放牛兒齋，若如是持齋[2]放牛兒齋者，不獲大利，不得大果，無大功德，不得廣布。」

[T1.770b06]「居士婦。云何名為尼揵齋耶？若有出家學尼揵者，彼勸人曰：『汝於東方過百由延外有眾生者，擁護彼故，棄捨刀杖，如是南方、西方、北方過百由延外有眾生者，擁護彼故，棄捨刀杖，是為彼勸進人，或有想護眾生，或無想不護眾生，汝當十五日說從解脫時，脫衣裸形，東向住立，作如是說：『我無父母，非父母有，我無妻子，非妻子有，我無奴婢，非奴婢生[3]，居士婦，彼彼勸進於真諦語，而反勸進虛妄之言，彼人日日見其父母，便作此念：『是我父母，父母日日見其兒子，亦作此念：『是我兒子，彼見妻子，而作此念：『是我妻子，妻子見彼，亦作此念：『是我尊長，彼見奴婢，復作此念：『是我奴婢，奴婢見彼，亦作此念：『是我大家，彼用此欲，不與而用，非是與用，是謂名曰尼揵齋也。』若如是持尼揵齋者，不獲大利，不得大果，無大功德，不得廣布。」

[T1.770b24]「居士婦。云何名為聖八*支齋，多聞聖弟子若持齋時，作是思惟：『阿羅訶[4]真人盡形壽離殺、斷殺，棄捨刀杖，有慙有愧，有慈悲心，饒益一切，乃至蜫蟲，彼於殺生淨除其心，我亦盡形壽離殺、斷殺，棄捨刀杖，有慙有愧，有慈悲心，饒益一切，乃至蜫蟲，我今[5]於殺生淨除其心，我以此*支於阿羅*訶等同無異。』是故說齋。」

[T1.770c02]「復次，居士婦，多聞聖弟子若持齋時，作是思惟：『阿羅*訶真人盡形壽離不與取、斷不與取，與而[6]後取，樂於與取，常好布施，心樂放捨，歡歡喜無悋，不望其報，不以盜覆心，能自制己，彼於不與取淨除其心，我亦盡形壽離不與取、斷不與取，與而後取，樂於與取，常好布施，心樂放捨，歡喜無悋，不望其報，不以盜覆心，能自制己，我於不與取淨除其心，我以此*支於阿羅*訶等同無異。』是故說齋。」

[T1.770c11]「復次，居士婦，多聞聖弟子若持齋時，作是思惟：『阿羅*訶真人盡形壽離非梵行、斷非梵行，修行梵行，至誠心淨，行無臭穢，離欲斷婬，彼於非梵行淨除其心，我於此日此夜離非梵行、斷非梵行，修行梵行，至誠心淨，行無臭穢，離欲斷婬，我於非梵行淨除其心，我以此*支於阿羅*訶等同無異。』是故說齋。」

---

[1] 日＝當【宋】【元】【明】
[2]〔齋〕－【宋】【元】【明】
[3] 生＝主【宋】【元】【明】
[4] 訶＝漢【宋】＊【元】＊【明】＊
[5]〔今〕－【宋】【元】【明】
[6] 而＝其【宋】【元】【明】

[T1.770c19]「復次，居士婦，多聞聖弟子若持齋時，作是思惟：『阿羅*訶真人盡形壽離妄言、斷妄言，真諦言，樂真諦，住真諦，為人所信，不欺世間，彼於妄言淨除其心，我亦盡形壽離妄言、斷妄言，真諦言，樂真諦，住真諦，為人所信，不欺世間，我於妄言淨除其心，我以此*支於阿羅*訶等同無異。』是故說齋。」

[T1.770c26]「復次，居士婦，多聞聖弟子若持齋時，作是思惟：『阿羅*訶真人盡形壽離酒放逸、斷酒放逸，彼於酒放逸淨除其心，我亦盡形壽離酒放逸、斷酒放逸，我於酒放逸淨除其心，我以此*支於阿羅*訶等同無異。』是故說齋。」

[T1.771a02]「復次，居士婦，多聞聖弟子若持齋時，作是思惟：『阿羅*訶真人盡形壽離高廣大床、斷高廣大床，樂下坐臥，或床或敷草，彼於高廣大床淨除其心，我於此日此夜離高廣大床、斷高廣大床，樂下坐臥，或床或敷草，我於高廣大床淨除其心，我以此*支於阿羅*訶等同無異。』是故說齋。」

[T1.771a08]「復次，居士婦，多聞聖弟子若持齋時，作是思惟：『阿羅*訶真人盡形壽離華鬘、瓔珞、塗香、脂粉、歌舞、倡伎[1]及往觀聽，斷華鬘、瓔珞、塗香、脂粉、歌舞、倡*伎及往觀聽，彼於華鬘、瓔珞、塗香、脂粉、歌舞、倡*伎及往觀聽淨除其心，我於此日此夜離華鬘、瓔珞、塗香、脂粉、歌舞、倡*伎及往觀聽，斷華鬘、瓔珞、塗香、脂粉、歌舞、倡*伎及往觀聽，我於華鬘、瓔珞、塗香、脂粉、歌舞、倡*伎及往觀聽淨除其心，我以此*支於阿羅*訶等同無異。』是故說齋。」

[T1.771a18]「復次，居士婦，多聞聖弟子若持齋時，作是思惟：『阿羅*訶真人盡形壽離非時食、斷非時食、一食，不夜食、樂於時食，彼於非時食淨除其心，我於此日此夜離非時食、斷非時食、一食，不夜食、樂於時食，我於非時食淨除其心，我以此*支於阿羅*訶等同無異。』是故說齋。」

[T1.771a24]「彼往此聖八*支齋已，於上當復修習五法。云何為五？居士婦，多聞聖弟子若持齋時，憶念如來：『彼世尊、如來、無所[2]著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐。』彼作如是憶念如來已。若有惡伺[3]，彼便得滅，所有穢污惡不善法，彼亦得滅，居士婦，多聞聖弟子緣如來故，心靖[4]得喜。若有惡伺，彼便得滅，所有穢污惡不善法，彼亦得滅。」

---

[1] 伎＝妓【元】【明】＊
[2] 所＝我【明】
[3] 伺＝思【宋】＊
[4] 靖＝靜【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.771b04]「譬若如人，頭有垢膩，因膏澤、*暖湯、人力、洗沐故，彼便得淨，如是多聞聖弟子若持齋時，憶念如來：『彼世尊、如來、無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐。』彼作如是憶念如來已。若有惡伺，彼便得滅，所有穢污惡不善法，彼亦得滅，居士婦，多聞聖弟子緣如來故，心*靖得喜。若有惡伺，彼便得滅，所有穢污惡不善法，彼亦得滅，是謂多聞聖弟子持梵齋，梵共會，因梵故，心靖得喜。若有惡伺，彼便得滅，所有穢污惡不善法，彼亦得滅。」

[T1.771b14]「復次，居士婦，多聞聖弟子若持齋時，憶念於法：『此法世尊善說，究竟，恒不變易，正智所知，正智所見，正智所覺。』彼作如是憶念法已。若有惡伺，彼便得滅，所有穢污惡不善法，彼亦得滅，居士婦，多聞聖弟子緣於法故，心*靖得喜。若有惡伺，彼便得滅，所有穢污惡不善法，彼亦得滅。」

[T1.771b21]「猶人身有垢膩不淨，因麩、澡豆、暖湯、人力，極洗浴故，身便得淨，如是多聞聖弟子若持齋時，憶念於法：『此法世尊善說，究竟，恒不變易，正智所知，正智所見，正智所覺。』彼作如是憶念法已。若有惡伺，彼便得滅，所有穢污惡不善法，彼亦得滅，居士婦，多聞聖弟子緣於法故，心*靖得喜。若有惡伺，彼便得滅，所有穢污惡不善法，彼亦得滅，居士婦，是謂多聞聖弟子持法齋，法共會，因法故，心*靖得喜。若有惡伺，彼便得滅，所有穢污惡不善法，彼亦得滅。」

[T1.771c02]「復次，居士婦，多聞聖弟子若持齋時，憶念於眾：『世尊弟子眾善趣向質直，行要行趣，如來眾中實有阿羅*訶真人趣、阿羅*訶果證、阿那含趣、阿那含果證、斯陀含趣、斯陀含果證、須陀洹趣、須陀洹果證，是為四雙人八輩聖士，是謂世尊弟子眾，成就戒、定、慧、解脫、解脫見智[1]，可呼、可請、可供養、可奉事、可敬重，則為天人良福之田。』彼作如是憶念眾已。若有惡伺，彼便得滅，所有穢污惡不善法，彼亦得滅，居士婦，多聞聖弟子緣於眾故，心*靖得喜。若有惡伺，彼便得滅，所有穢污惡不善法，彼亦得滅。」

[T1.771c14]「猶如人衣有垢膩不淨，因灰、皂莢、澡豆、湯水、人力浣故，彼便得淨，如是多聞聖弟子若持齋時，憶念於眾：『世尊弟子眾善趣向質直，行要行趣，如來眾中實有阿羅*訶真人趣、阿羅*訶果證、阿那含趣、阿那含果證、斯陀含趣、斯陀含果證、須陀洹趣、須陀洹果證，是為四雙人八輩聖士，是謂世尊弟子眾，成就戒、定、慧、解脫、解脫*見智，可呼、可請、可供養、可奉事、可敬重，則為天人良福之田。』彼作如是憶念眾已。若有惡伺，彼便得滅，所有穢污惡不善法，彼亦得滅，居士婦，多聞聖弟子緣於眾故，心*靖得喜。若有惡伺，彼便得滅，所有穢污惡不善法，彼亦得滅，是謂多聞聖弟子持眾齋，

[1] 見智＝知見【宋】＊【元】＊【明】＊

眾共會，因眾故，心*靖得喜。若有惡伺，彼便得滅，所有穢污惡不善法，彼亦得滅。」

[T1.771c29]「復次，居士婦，多聞聖弟子若持齋時，憶念自戒：『不缺不穿，無穢無污，極廣極大，不望其報，智者稱譽，善具善趣，善受善持。』彼作如是憶念自戒已。若有惡伺，彼便得滅，所有穢污惡不善法，彼亦得滅，居士婦，多聞聖弟子緣於戒故，心*靖得喜。若有惡伺，彼便得滅，所有穢污惡不善法，彼亦得滅。」

[T1.772a07]「猶若如鏡，生垢不明，因石磨鋥瑩，由人力治，便得明淨，如是多聞聖弟子若持齋時，憶念自戒：『不缺不穿，無穢無污，極廣極大，不望其報，智者稱譽，善具善趣，善受善持。』彼作如是憶念自戒已。若有惡伺，彼便得滅，所有穢污惡不善法，彼亦得滅，居士婦，多聞聖弟子緣於戒故，心*靖得喜。若有惡伺，彼穢得滅，所有穢污惡不善法，彼亦得滅，是謂多聞聖弟子持戒齋，戒共會，因戒故，心*靖得喜。若有惡伺，彼便得滅，所有穢污惡不善法，彼亦得滅。」

[T1.772a17]「復次，居士婦，多聞聖弟子若持齋時，憶念諸天：『實有四王天，彼天若成就信，於此命終，得生彼間，我亦有彼信，彼天若成就戒、聞、施、慧，於此命終，得生彼間，我亦有彼慧，實有三十三天、焰摩天、兜率哆[1]天、化樂天、他化樂天，彼天若成就信，於此命終，得生彼間，我亦有彼信，彼天若成就戒、聞、施、慧，於此命終，得生彼間，我亦有彼慧。』彼作如是憶念已，及諸天信、戒、聞、施、慧。若有惡伺，彼便得滅，所有穢污惡不善法，彼亦得滅，居士婦，多聞聖弟子緣諸天故，心*靖得喜。若有惡伺，彼便得滅，所有穢污惡不善法，彼亦得滅。」

[T1.772a29]「猶如上色金，生垢不淨，因火排[2]鉆[3]椎赤土、人力，磨拭瑩治，便得明淨，如是多聞聖弟子若持齋時，憶念諸天：『實有四王天，彼天若成就信，於此命終，得生彼間，我亦有彼信，彼天若成就戒、聞、施、慧，於此命終，得生彼間，我亦有彼慧，實有三十三天、焰摩天、兜率多[4]天、化樂天、他化樂天，彼天若成就信，於此命終，得生彼間，我亦有彼信，彼天若成就戒、聞、施、慧，於此命終，得生彼間，我亦有彼慧。』彼作如是憶念已，及諸天信、戒、聞、施、慧。若有惡伺，彼便得滅，所有穢污惡不善法，彼亦得滅。」

---

[1] 哆＝陀【宋】【元】【明】
[2] 排＝橐【元】，排＝橐【明】，＝韝【明】
[3] 鉆＝鉗【明】
[4] 多＝陀【宋】【元】【明】

[T1.772b12]「居士婦，若行如是聖八支齋。若有十六大國，謂一者鴦[1]迦[2]，二者摩竭陀[3]，三者迦尸[4]，四者拘薩羅[5]，五者拘樓[6]，六者般闍羅[7]，七者阿攝[8]貝[9]，八者阿和檀提[10]，九者枝提[11]，十者跋耆[12]，十一者跋蹉[13]，十二跋羅，三蘇摩，十四蘇羅吒[14]，十五喻[15]尼，十六劍浮[16]，此諸國中所有錢寶、金、摩尼、真珠、琉璃、壞[17]伽[18]、碧玉、珊瑚、留邵、鞞留、鞞[19]勒、馬瑙、蝳蝐]、赤石、旋[20]珠，設使有人於中作王，隨用自在者，彼一切比丘[21]持聖八支齋，不直十六分。」

[T1.772b22]「居士婦，我因此故說，人王者不如天樂，若人五十歲是四王天[22]一晝一夜，如是三十晝夜為一月，十二月為一歲，如此五百歲是四王天壽，居士婦，必有是處，若族姓男、族姓女持聖八支齋，身壞命終，生四天王[23]中，居婦，我因此故說，人王者不如天樂，若人百歲是三十三天[24]一晝一夜，如是三晝夜為一月，十二月為一歲，如此千歲是三十三天壽，居士婦，必有是處，若族姓男、族姓女持聖八支齋，身壞命終，生三十三天中。」

[T1.772c03]「居士婦，我因此故說，人王者不如天樂，若人二百歲是焰摩天一晝一夜，如是三十晝夜為一月，十二月為一歲，如此二千歲是焰摩天壽，居士婦，必有是處，若族姓男、族姓女持[25]聖八支齋，身壞命終，生焰摩天中，居婦，我因此故說，人王者不如天樂，若人四百歲是兜率陀天一晝一夜，如是三

---

1 [>鴦迦]～Aṅga.
2 迦＝伽【宋】＊【元】＊【明】＊
3 [>摩竭陀]～Magadha.
4 [>迦尸]～Kāsi.
5 [>拘薩羅]～Kosala.
6 [>拘樓]～Kuru.
7 [>般闍羅]～Pañcāala.
8 [>阿攝貝]～Assaka.
9 貝＝見【宋】，＝月【元】【明】
10 [>阿和檀提]～Avanti.
11 [>枝提]～Ceti.
12 [>跋耆]～Vajji.
13 [>跋蹉]～Vaṃsa.
14 [>蘇羅吒]～Sūrasena.
15 喻＝喻【宋】【元】【明】
16 [>劍浮]～Kamboja.
17 壞＝儴【宋】，＝蠰【元】【明】
18 伽＝佉【宋】
19〔鞞〕－【宋】【元】【明】
20 旋＝琁【宋】【元】【明】
21 比丘＝比【宋】，＝皆【元】【明】
22 [>四王天]～Cātummahārājikā devā.
23 天王＝王天【宋】【元】【明】
24 [>三十三天]～Tāvatiṃsā devā.
25 持＋（於）【宋】【元】【明】

十晝夜為一月，十二月為一歲，如此四千歲是兜率陀天壽，居士婦，必有是處，若族姓男、族姓女持聖八支齋，身壞命終，生兜率*哆天中。」

[T1.772c13]「居士婦，我因此故說，人王者不如天樂，若人八百歲是化樂天[1]一晝一夜，如是三十晝夜為一月，十二月為一歲，如此八千歲是化樂天壽，居士婦，必有是處，若族姓男、族姓女持聖八支齋，身壞命終，生化樂天中，居士婦，我因此故說，人王者不如天樂，若人千六百歲是他化樂天一晝一夜，如是三十晝夜為一月，十二月為一歲，如此萬六千歲是他化樂天壽，居士婦，必有是處，若族姓男、族姓女持聖八支齋，身壞命終，生他化樂天中。」

[T1.772c23] 於是，鹿子母毘舍佉叉手向佛，白曰：「世尊！聖八支齋甚奇，甚特，大利大果，有大功德，有大廣布。世尊！我從今始，自盡形壽持聖八支齋，隨其事力，布施修福。」

[T1.772c27] 於是，鹿子母聞佛所說，善持[2]，稽首稽首[3]佛足，繞三匝而去。

[T1.772c28] 佛說如是，鹿子母毘舍佉及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.773a01] 持齋經第一竟[4](四千四十九字)[5]，

（二○三）中阿含[6]哺利多品

(Ma.203)哺利多經[7] 第二(第五後誦)[8]

[T1.773a04] 我聞如是。

[T1.773a04] 一時，佛遊那難大[9]，在波和利奈[10]園之中。

---

[1] [>化樂天]～Paranimmitavasavatti devā.
[2] （善受）＋善【宋】【元】【明】
[3]〔稽首〕－【宋】【元】【明】
[4]〔持齋…竟〕－【明】
[5]〔四千…字〕－【宋】【元】【明】
[6]〔中阿含〕－【明】
[7] ～M. 54. Potaliya sutta. (哺多利經)
[8]〔第五後誦〕－【明】
[9] 大＋（國）【宋】【元】【明】
[10] 奈＝奈【明】

[T1.773a05] 爾時，晡利多[1]居士著白淨衣，白巾裹頭，拄杖執蓋，著世俗屣，從園至園，從觀至觀，從林至林，遍遊從[2]行彷徉，若見諸沙門、梵志者，便作是說：「諸賢！當知我離俗斷俗，捨諸俗事。」

[T1.773a09] 彼諸沙門、梵志以濡[3]軟柔和語曰：「唯然，賢晡利多離俗斷俗，捨諸俗事。」

[T1.773a11] 於是，晡利多居士遍遊行彷徉，往詣佛所，共相問訊，當在佛前，拄杖而立，世尊告曰：「居士，有座，欲坐便坐。」

[T1.773a13] 晡利多居士白曰：「瞿曇！此事不然，此事不可。所以者何？我離俗斷俗，捨諸俗事，而沙門瞿曇喚我為居士耶？」

[T1.773a16] 世尊答曰：「汝有相幖[4]幟如居士。是故我喚汝，居士，有座，欲坐便坐，

[T1.773a18] 世尊如是復至再三告曰：「居士，有座，欲坐便坐。」

[T1.773a19] 晡利多居士亦至再三白曰：「瞿曇！此事不然，此事不可，我離俗斷俗，捨諸俗事，而沙門瞿曇喚我為居士耶？」

[T1.773a21] 世尊答曰：「汝有相*幖幟如居士。是故我喚汝，居士，有座，欲坐便坐。」

[T1.773a23] 世[5]尊問曰：「汝云何離俗斷俗，捨諸俗事耶？」

[T1.773a24] 晡利多居士答曰：「瞿曇！我家一切所有財物盡持施兒，我無為無求遊，唯往取食，存命而已，如是我離俗斷俗，捨諸俗事。」

[T1.773a27] 世尊告曰：「居士，聖法、律中不如是斷絕俗事，居士，聖法、律中有八支[6]斷俗事也。」

[T1.773a29] 於是，晡利多居士捨杖却蓋，及脫俗屣，叉手向佛，白曰：「瞿曇！聖法、律中云何八*支斷俗事耶？」

---

[1] [>晡利多]～Potaliya.
[2] 〔從〕－【宋】【元】【明】
[3] 濡＝[惴-山+而]【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 幖＝摽【宋】，＝標【元】【明】＊
[5] （爾時）＋世【宋】【元】【明】
[6] 支＝枝【宋】＊

[T1.773b02] 世尊答曰：「居士，多聞聖弟子依離殺、斷殺，依離不與取、斷不與取，依離邪婬、斷邪婬，依離妄言，斷妄言，依無貪著、斷貪著，依無害恚、斷害恚，依無憎嫉惱、斷憎嫉惱，依無增上慢、斷增上慢，居士，多聞聖弟子云何依離殺、斷殺耶？多聞聖弟子作是思惟：『殺者必受惡報，現世及後世，若我殺者，便當自害，亦誣謗他，天及諸智梵行者道說我戒，諸方悉當聞我惡名，身壞命終，必至惡處，生地獄中，如是殺者受此惡報，現世及後世，我今寧可依離殺、斷殺耶？』便依離殺、斷殺，如是多聞聖弟子依離殺、斷殺也。」

[T1.773b14]「居士，多聞聖弟子云何依離不與取、斷不與取耶？多聞聖弟子作是思惟：『不與取者必受惡報，現世及後世，若我不與取者，便當自害，亦誣謗他，天及諸智梵行者道說我戒，諸方悉當聞我惡名，身壞命終，必至惡處，生地獄中，如是不與取者受此惡報，現世及後世，我今寧可依離不與取、斷不與取耶？』便依離不與取、斷不與取，如是多聞聖弟子依離不與取、斷不與取也。」

[T1.773b22]「居士，多聞聖弟子云何依離邪婬、斷邪婬[1]，多聞聖弟子作是思惟：『邪婬者必受惡報，現世及後世，若我邪婬者，便當自害，亦誣謗他，天及諸智梵行者道說我戒，諸方悉當聞我惡名，身壞命終，必至惡處，生地獄中，如是邪婬者受此惡報，現世及後世，我今寧可依離邪婬、斷邪婬耶？』便依離邪婬、斷邪婬，如是多聞聖弟子依離邪婬、斷邪婬也。」

[T1.773c01]「居士，多聞聖弟子云何依離妄言、斷妄言耶？多聞聖弟子作是思惟：『妄言者必受惡報，現世及後世，若我妄言者，便當自害，亦誣謗他，天及諸智梵行者道說我戒，諸方悉當聞我惡名，身壞命終，必至惡處，生地獄中，如是妄言者受此惡報，現世及後世，我今寧可依離妄言、斷妄言耶？』便依離妄言、斷妄言，如是多聞聖弟子依離妄言、斷妄言也。」

[T1.773c09]「居士，多聞聖弟子云何依無貪著、斷貪著耶？多聞聖弟子作是思惟：『貪著者必受惡報，現世及後世，若我貪著者，便當自害，亦誣謗他，天及諸智梵行者道說我戒，諸方悉當聞我惡名，身壞命終，必至惡處，生地獄中，如是貪著者受此惡報，現世及後世，我今寧可依無貪著、斷貪著耶？』便依無貪著、斷貪著，如是多聞聖弟子依無貪著、斷貪著也。」

[T1.773c18]「居士，多聞聖弟子云何依無害恚斷害恚耶？多聞聖弟子作是思惟：『害恚者必受惡報，現世及後世，若我害恚者，便當自害，亦誣謗他，天及諸智梵行者道說我戒，諸方悉當聞我惡名，身壞命終，必至惡處，生地獄中，如

[1] 婬＋（耶）【宋】【元】【明】

是害恚者受此惡報，現世及後世，我今寧可依無害恚、斷害恚耶？』便依無害恚、斷害恚，如是多聞聖弟子依無害恚、斷害恚也。」

[T1.773c25]「居士，多聞聖弟子云何依無憎嫉惱、斷憎嫉惱耶？多聞聖弟子作是思惟：『憎嫉惱者必受惡報，現世及後世，若我憎嫉惱者，便當自害，亦誣謗他，天及諸智梵行者道說我戒，諸方悉當聞我惡名，身壞命終，必至惡處，生地獄中，如是憎嫉惱者受此惡報，現世及後世，我今寧可依無憎嫉惱、斷憎嫉惱耶？』便依無憎嫉惱、斷憎嫉惱，如是多聞聖弟子依無憎嫉惱、斷憎嫉惱也。」

[T1.774a05]「居士，多聞聖弟子云何依無增上慢、斷增上慢耶？多聞聖弟子作是思惟：『增上慢者必受惡報，現世及後世，若我增上慢者，便當自害，亦誣謗他，天及諸智梵行者道說我戒，諸方悉當聞我惡名，身壞命終，必至惡處，生地獄中，如是增上慢者受此惡報，現世及後世，我今寧可依無增上慢、斷增上慢耶？』便依無增上慢、斷增上慢，如是多聞聖弟子依無增上慢、斷增上慢也。是謂聖法、律中有八*支斷絕俗事。」

[T1.774a14] 居士問曰：「瞿曇！聖法、律中但是斷俗事，復更有耶？」

[T1.774a16] 世尊答曰：「聖法、律中不但有是斷絕俗事，更有八*支斷絕俗事得作證也。」

[T1.774a17]「晡利多居士聞已，便脫白巾，叉手向佛，白曰：「瞿曇！聖法、律中云何更有八支斷絕俗事得作證耶？」

[T1.774a20] 世尊答曰：「居士，猶如有狗，飢[1]餓羸乏，至屠牛處，彼屠牛師、屠牛弟子淨摘[2]除肉，擲骨與狗，狗得骨已，處處咬嚙，破脣缺齒，或傷咽喉，然狗不得以此除*飢，居士，多聞聖弟子亦復作是思惟：『欲如骨鏁，世尊說欲如骨鏁，樂少苦多，多有災患，當遠離之。』若有此捨離欲、離惡不善之法，謂此一切世間飲食永盡無餘，當修習彼，居士，猶去村不遠，有小肉臠，墮在露地，或烏或鵄，持彼肉去，餘烏鵄鳥競而逐之，於居士意云何，若此烏鵄不速捨此小肉臠者，致餘烏鵄競而逐耶？」

[T1.774b02] 居士答曰：「唯然，瞿曇！」

[T1.774b02]「於居士意云何，若此烏鵄能速捨此小肉臠者，餘烏鵄鳥當復競逐耶？」

---

[1] 飢＝饑【明】＊
[2] 摘＝擿【宋】，＝剔【元】【明】

[T1.774b04] 居士答曰：「不也。瞿曇！」

[T1.774b04]「居士，多聞聖弟子亦復作是思惟：『欲如肉臠，世尊說欲如肉臠，樂少苦多，多有災患，當遠離之。』若有此捨離欲、離惡不善之法，謂此一切世間飲食永盡無餘，當修習彼，居士，猶如有人，手把火炬、向風而行，於居士意云何，若使此人不速捨者，必燒其手、餘支[1]體耶？」

[T1.774b11] 居士答曰：「唯然，瞿曇！」

[T1.774b11]「於居士意云何，若使此人速捨炬者，當燒其手、餘*支體耶？」

[T1.774b12] 居士答曰：「不也。瞿曇！」

[T1.774b13]「居士，多聞聖弟子亦復作是思惟：『欲如火炬，世尊說欲如火炬，樂少苦多，多有災患，當遠離之。』若有此捨離欲、離惡不善之法，謂此一切世間飲食永盡無餘，當修習彼，居士，猶去村不遠，有大火坑，滿其中火，而無烟[火*僉][2]。若有人來，不愚不癡，亦不顛倒，自住本心，自由自在，用樂不用苦，甚憎惡苦，用活不用死，甚憎惡死，於居士意云何，此人寧當入火坑耶？」

[T1.774b22] 居士答曰：「不也。瞿曇。所以者何？彼見火坑，便作是思惟：『若墮火坑，必死無疑，設不死者，定受極苦。』彼見火坑，便思遠離，願求捨離。」

[T1.774b25]「居士，多聞聖弟子亦復作是思惟：『欲如火坑，世尊說欲如火坑，樂少苦多，多有災患，當遠離之。』若有此捨離欲、離惡不善之法，謂此一切世間飲食永盡無餘，當修習彼，居士，猶去村不遠，有大毒蛇，至惡苦毒，黑色可畏。若有人來，不愚不癡，亦不顛倒，自住本心，自由自在，用樂不用苦，甚憎惡苦，用活不用死，甚憎惡死，於居士意云何，此人寧當以手授與及餘*支體，作如是說：『蜇我蜇我耶？』」

[T1.774c05] 居士答曰：「不也。瞿曇。所以者何？彼見毒蛇，便作是思惟：『若我以手及餘*支體使蛇蜇者，必死無疑，設不死者，定受極苦。』彼見毒蛇，便思遠離，願求捨離。」

[T1.774c08]「居士，多聞聖弟子亦復作是思惟：『欲如毒蛇，世尊說欲如毒蛇，樂少苦多，多有災患，當遠離之。』若有此捨離欲、離惡不善之法，謂此一切世間飲食永盡無餘，當修習彼，居士，猶如有人，夢得具足五欲自娛，彼若悟[3]

---

[1] 支＝肢【元】【明】＊
[2] [火*僉]＝焰【宋】【元】【明】
[3] 悟＝寤【元】，＝寤【明】

已，都不見一，居士，多聞聖弟子亦復作是思惟：『欲如夢也。世尊說欲如夢也。樂少苦多，多有災患，當遠離之。』若有此捨離欲、離惡不善之法，謂此一切世間飲食永盡無餘，當修習彼。」

[T1.774c18]「居士，猶如有人假借樂具，或宮殿樓閣，或園觀浴池，或象馬車乘，或繒綿被[1]，或指環、臂釧，或香瓔珞頸鉗，或金寶華鬘，或名衣上服，多人見已，而共歎曰：『如是為善，如是為快。』若有財物，應作如是極自娛樂，其物主者，隨所欲奪，或教人奪，即便自奪，或教人奪，多人見已，而共說曰：『彼假借者，實為欺誑，非是假借。』所以者何？其物主者，隨所欲奪，或教人奪，即便自奪，或教人奪，居士，多聞聖弟子亦復作是思惟：『欲如假借，世尊說欲如假借，樂少苦多，多有災患，當遠離之。』若有此捨離欲、離惡不善之法，謂此一切世間飲食永盡無餘，當修習彼。」

[T1.775a02]「居士，猶去村不遠，有大果[2]樹，此樹常多有好美*果。若有人來，飢餓羸乏，欲得食果，彼作是念：『此樹常多有好美*果，我*飢羸乏，欲得食果，然此樹下無自落*果可得飽食及持歸去，我能緣[3]樹，我今寧可上此樹耶？』念已便上，復有一人來，*飢餓羸乏，欲得食*果，持極利斧，彼[4]作是念：『此樹常多有好美*果，然此樹下無自落*果可得飽食及持歸去，我不能*緣樹，我今寧可斫倒此樹耶？』即便斫倒，於居士意云何，若樹上人不速來下者，樹倒地時，必折其臂、餘*支體耶？」

[T1.775a13] 居士答曰：「唯然，瞿曇！」

[T1.775a13]「於居士意云何，若樹上人速來下者，樹倒地時，寧折其臂、餘*支體耶？」

[T1.775a15] 居士答曰：「不也。瞿曇！」

[T1.775a15]「居士，多聞聖弟子亦復作是思惟，欲如樹*果，世尊說欲如樹果，樂少苦多，多有災患，當遠離之。若有此捨離欲、離惡不善之法，謂此一切世間飲食永盡無餘，當修習彼，是謂聖法、律中更有此八*支斷絕俗事而得作證。」

[T1.775a20]「居士，彼有覺、有觀息，內靖[5]、一心，無覺、無觀，定生喜、樂，得第二禪成就遊，彼已離喜欲，捨無求遊，正念正智而身覺樂，謂聖所

---

[1] 綿被＝綵錦罽【宋】【元】【明】
[2] 果＝菓【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 緣＝沿【宋】＊
[4] 彼＝便【宋】【元】【明】
[5] 靖＝靜【宋】【元】【明】

說、聖所捨、念、樂住、室[1]，得第三禪成就遊，彼樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦不樂、捨、念、清淨，得第四禪成就遊，彼已如是定心清淨，無穢[2]無煩，柔軟善住，得不動心，修學漏盡智通作證，彼知此苦如真，知此苦習[3]、知此苦滅、知此苦滅道如真，知此漏如真，知此漏*習、知此漏滅、知此漏滅道如真，彼如是知、如是見，欲漏心解脫，有漏、無明漏心解脫，解脫已便知解脫，生[4]已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。」

[T1.775b04] 說此法時，晡利多居士遠塵離垢，諸法法眼生。於是，晡利多居士見法得法，覺白淨法，斷疑度惑，更無餘尊，不復由他，無有猶豫，已住果證，於世尊法得無所畏，稽首佛足，白曰：「世尊！我今自歸於佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。世尊！我本著白淨衣，白巾裹頭，拄杖執蓋，及著俗屣，從園至園，從觀至觀，從林至林，遍遊行彷徉，若見諸沙門、梵志者，便作是語[5]：『諸賢，我離俗、斷俗，捨諸俗事，彼諸沙門、梵志*濡軟柔和，語我言，唯然，賢晡利多離俗、斷俗，捨諸俗事。』世尊！我於爾時，彼實無智安著智處，實無智祠，又無智食，實無智，奉事如智慧人。世尊！我從今日，諸比丘眾及世尊弟子，此實有智，安著智慧[6]處，實有智祠，又有智食，實有智，奉事智慧人也。世尊！我今再自歸佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。世尊！我本所信敬重外道沙門、梵志者，從今日斷。世尊！我從[7]今三自歸佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.775b26] 佛說如是，晡利多居士及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.775b28] 晡利多經第二竟[8](三千六百四十二字[9])，

中阿含經卷第五十五(七千六百九十一字[10])(第五後誦)[11]

中阿*含經

---

[1] 室＝定【宋】【元】【明】
[2] 穢＝熱【宋】【元】【明】
[3] 習＝集【元】【明】＊
[4] （我）＋生【宋】【元】【明】
[5] 語＝說【宋】【元】【明】
[6]〔慧〕－【宋】【元】【明】
[7]〔從〕－【宋】【元】【明】
[8]〔晡利…竟〕－【明】
[9]〔三千…字〕－【宋】【元】【明】
[10]〔七千…字〕－【宋】【元】【明】
[11]〔第五後誦〕－【宋】【元】【明】

卷第五十六 (Ma.204~206)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（二○四）晡利多品

(Ma.204)羅摩經 [1] 第三 (第五後誦)[2]

[T1.775c08] 我聞如是。

[T1.775c08] 一時，佛遊舍衛國，在於東園鹿子母堂 [3]。

[T1.775c09] 爾時，世尊則於晡時從燕 [4]坐起，堂上來下，告尊者阿難：「我今共共汝至阿夷羅婆提河浴。

[T1.775c11] 尊者阿難白曰：「唯然。」

[T1.775c11] 尊者阿難執持戶鑰 [5]，遍詣諸屋而彷徉，見諸比丘！便作是說：「諸「諸賢！可共詣梵志羅摩 [6]家。」諸比丘聞已，便共往詣梵志羅摩家，世尊將尊者阿難往至阿夷羅婆提河，脫衣岸上，便入水浴，浴已還出，拭體著衣。」

[T1.775c16] 爾時，尊者阿難立世尊後，執扇扇佛。於是，尊者阿難叉手向佛，白曰：「世尊！梵志羅摩家極好整頓，甚可愛樂，唯願世尊以慈愍故，往至梵志羅摩家，世尊為尊者阿難默然而受，於是世尊將尊者阿難往至梵志羅摩家。」

[T1.775c21] 爾時，梵志羅摩家，眾多比丘集坐說法，佛住門外，待諸比丘說法訖竟，眾多比丘尋說法訖，默然而住，世尊知已，謦欬敲 [7]門，諸比丘聞，即往往開門，世尊便入梵志羅摩家，於比丘眾前敷座而坐，問曰：「諸比丘向說何等，以何事故集坐在此？」

[T1.775c27] 時，諸比丘答曰：「世尊！向者說法，以此法事集坐在此。」

---

[1] ～M. 26. Ariyapariyesana sutta. 《長部 14 經》Mahāpadāna-suttanta、《律藏》〈大品〉Mv. 1.6.8.、《本事經》卷 4(大正 17.678.)

[2] 〔第五後誦〕－【明】

[3] [>東園鹿子母堂]～Pubbārāma Migāramātu pāsāda.

[4] 燕＝宴【聖】

[5] 鑰＝●【聖】

[6] [>羅摩]～Rammaka.

[7] 敲＝擊【宋】【元】【明】

[T1.775c28] 世尊歎曰：「 善哉！善哉！比丘集坐當行二事，一曰說法，二曰默然。所以者何？我亦為汝說法，諦聽，諦聽，善思念之。」

[T1.776a02] 時，諸比丘白曰：「唯然，當受教聽。」

[T1.776a03] 佛言：「有二種求，一曰聖求，二曰非聖求。云何非聖求，有一實病法、求病法，實老法、死法、愁憂慼法，實穢污法、求穢污法。云何實病法求病法。云何病法耶？兒子、兄弟是病法也。象馬、牛羊、奴婢、錢財、珍寶、米穀是病害法，眾生於中觸染貪著，憍慢受入，不見災患，不見出要，而取用之。云何老法、死法、愁憂慼法，穢污法耶？兒子、兄弟是穢污法，象馬、牛羊、奴婢、錢財、珍寶、米穀是穢法[1]害法，眾生於中染觸貪著，憍慢受入，不見災患，不見出要，而取用之，彼人欲求無病無上安隱涅槃，得無病無上安隱涅槃者，終無是處，求無老、無死、無愁憂慼，無穢污無上安隱涅槃，得無老、無死、無愁憂慼、無穢污無上安隱涅槃者，終無是處，是謂非聖求。」

[T1.776a17]「云何聖求耶？有一作是念：『我自實病法，無辜求病法，我自實老法、死法，愁憂慼法，穢污法，無辜求穢污法，我今寧可求無病無上安隱涅槃，求無老、無死，無愁憂慼，無穢污法無上安隱涅槃。』彼人便求無病無上安隱涅槃，得無病無上安隱涅槃者，必有是處，求無老、無死，無愁憂慼，無穢污無上安隱涅槃，得無老、無死，無愁憂慼，無穢污無上安隱涅槃者，必有是處。」

[T1.776a26]「我本未覺無上正盡覺時，亦如是念：『我自實病法，無辜求病法，我自實老法、死法，愁憂慼法，穢污法，無辜求穢污法，我今寧可求無病無上安隱涅槃，求無老、無死、無愁憂慼，無穢污無上安隱涅槃耶？』我時年少童子，清淨青髮，盛年年二十九，爾時極多樂戲，莊飾遊行，我於爾時，父母啼哭[2]，諸親不樂，我剃除鬚髮，著袈裟衣，至信、捨家、無家、學道，護身命清淨，護口、意命清淨，我成就此戒身已，欲求無病無上安隱涅槃，無老、無死、無愁憂慼，無穢污無上安隱涅槃故，更往阿羅羅[3]伽[4]羅摩所，問曰：『阿羅羅，我欲於汝法行梵行，為可爾不？』阿羅羅答我曰：『賢者，我無不可，汝欲行便行。』我復問曰：『阿羅羅。云何汝此法自知自覺自作證耶？』阿羅羅答我曰：『賢者，我度一切識處，得無所有處成就遊。是故我法自知自覺自作證 。』」

[T1.776b14]「我復作是念：『不但阿羅羅獨有此信，我亦有此信，不但阿羅羅獨有此精進，我亦有此精進，不但阿羅羅獨有此慧，我亦有此慧。阿羅羅於此法

---

[1] 法＝污【宋】【元】【明】【聖】
[2] 哭＝泣【宋】【元】【明】【聖】
[3] [>阿羅羅伽羅摩]～Āḷāra Kālāma.
[4] 伽＝加【宋】【元】【聖】

自知自覺自作證。』我欲證此法故，便獨住遠離、空安靖[1]處，心無放逸，修行精勤，我獨住遠離、空安*靖處，心無放逸，修行精勤已，不久得證彼法，證彼法已，復往詣阿羅羅加[2]羅摩所，問曰：『阿羅羅，此法自知自覺自作證，謂度一切無量識處，得無所有處成就遊耶？』阿羅羅伽[3]羅摩答我曰：『賢者，我是法自知自覺自作證，謂度無量識處，得無所有處成就遊[4]。』阿羅羅*伽羅摩復語我曰：『賢者，是為如我此法作證，汝亦然，如汝此法作證，我亦然，賢者，汝來共領此眾。』是為阿羅羅*伽羅摩師處，我與同等，最上恭敬、最上供養、最上歡喜。」

[T1.776b29]「我復作是念：『此法不趣智，不趣覺，不趣涅槃，我今寧可捨此法，更求無病無上安隱涅槃，求無老、無死、無愁憂慼、無穢污無上安隱涅槃。』我即捨此法，便求無病無上安隱涅槃，求無老、無死、無愁憂慼、無穢污無上安隱涅槃已，往詣欝陀羅羅摩子[5]所，問曰：『欝陀羅，我欲於汝法中學，為可爾不？』欝陀羅羅摩子答我曰：『賢者，我無不可，汝欲學便學。』我復問曰：『欝陀羅，汝羅摩子[6]，自知自覺自作證何等法耶？』欝陀羅羅摩子答我曰：『賢者，度一切無所有處，得非有想非無想處成就遊，賢者，我父羅摩自知自覺自作證，謂此法也。』」

[T1.776c12]「我復[7]作是念：『不但羅摩獨有此信，我亦有此信，不但羅摩獨有此精進，我亦有此精進，不但羅摩獨有此慧，我亦有此慧，羅摩自知自覺自作證此法，我何故不得自知自覺自作證此法耶？』我欲證此法故，便獨住遠離、空安*靖處，心無放逸，修行精勤，我獨住遠離、空安靖處，心無放逸，修行精勤已，不久得證彼法，證彼法已，復往欝陀羅羅摩子所，問曰：『欝陀羅，汝父羅摩，是法自知自覺自作證，謂度一切無所有處，得非有想非無想處成就遊耶？』欝陀羅羅摩子答我曰：『賢者，我父羅摩，是法自知自覺自作證，謂度一切無所有處，得非有想非無想處成就遊。』欝陀羅復語我曰：『如我父羅摩此法作證，汝亦然，如汝此法作證，我父亦然，賢者，汝來共領此眾。』欝陀羅羅摩子同師處，我亦如師，最上恭敬、最上供養、最上歡喜。」

[T1.776c29]「我復作是念：『此法不趣智，不趣覺，不趣涅槃，我今寧可捨此法，更求無病無上安隱涅槃，求無老、無死、無愁憂慼、無穢污無上安隱涅槃。』我即捨此法，便求無病無上安隱涅槃，求無老、無死、無愁憂慼、無穢污

---

[1] 靖＝靜【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 加＝伽【宋】【元】【明】
[3] 伽＝加【宋】【元】【聖】＊
[4] 遊＋（耶）【宋】【元】【明】
[5] [>欝陀羅羅摩子]～Uddaka Rāmaputta.
[6] 羅摩子＝父羅摩【宋】【元】【明】
[7] 復＝便【元】【明】

無上安隱涅槃已，往象頂[1]山南，欝鞞羅[2]梵志村，名曰斯那[3]於彼中地至可愛樂，山林欝茂，尼連禪河清流盈岸，我見彼已，便作是念：『此地至可愛樂，山林欝茂，尼連禪河清流盈岸，若族姓子欲有學者，可於中學，我亦當學，我今寧可於此中學。』即便持草往詣覺樹，到已布下敷尼師檀[4]，結跏趺坐，要不解坐，至得漏盡，我便不解坐，至得漏盡，我求無病無上安隱涅槃，便得無病無上安隱涅槃，求無老、無死、無愁憂慼、無穢污無上安隱涅槃，便得無老、無死、無愁憂慼、無穢污無上安隱涅槃，生知生見，定道品法，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。」

[T1.777a18]「我初覺無上正盡覺已，便作是念：『我當為誰先說法耶？』我復作是念：『我今寧可為阿羅羅加[5]摩先說法耶？』爾時有天，住虛空中，而語我曰：「：『大仙人，當知阿羅羅*加摩彼命終來至今七日。』我亦自知阿羅羅*加摩其命終來得今七日，我復作是念：『阿羅羅*加摩，彼人長衰不聞此法，若聞此者，速知法次法，我初覺無上正盡覺已。』作如是念：『我當為誰先說法耶？』我復作是念：『我今寧可為欝陀羅羅摩子先說法耶？』天復住空，而語我曰：『大仙人，當知欝陀羅羅摩子命終已來二七日也。』我亦自知欝陀羅羅摩子命終已來二七日也。我復作是念：『欝陀羅羅摩子，彼人長衰不聞此法，若聞法者，速知法次法。』」

[T1.777b03]「 我初覺無上正盡覺已，作如是念：『我當為誰先說法耶？』我復作是念：『昔五比丘為我執勞，多所饒益，我苦行時，彼五比丘承事於我，我今寧可為五比丘先說法耶？』我復作是念：『昔五比丘今在何處？』我以清淨天眼出過於人，見五比丘在波羅[*>]奈[6]仙人住處鹿野園中，我隨住覺樹下，攝衣持鉢，往波羅*奈加尸都邑，爾時，異學優陀[7]遙見我來，而語我曰：『賢者瞿曇！諸根清淨，形色極妙，面光照耀，賢者瞿曇！師為是誰，從誰學道，為信誰法！』我於爾時即為優陀說偈答曰：『

我最上最勝　不著一切法　諸愛盡解脫　自覺誰[8]稱師
無等無有勝　自覺無上覺　如來天人師　普知成就力

[T1.777b20]「優陀問我曰：『賢者瞿曇！自稱勝耶？』我復以偈而答彼曰：『

勝者如是有　謂得諸漏盡　我害諸惡法　優陀故我勝

---

[1] 頂＝頸【宋】【元】【明】【聖】
[2] [>欝鞞羅]～Uruvelā.
[3] 斯那～Senā.
[4] 檀＝壇【宋】【元】【明】
[5] 加＝伽【元】【明】＊
[6] [>波羅奈]～Bālāṇasī.，奈＝奈【元】[>＊]
[7] [>優陀]～[Unaka.>Upaka.]
[8] 誰＝詎【元】【明】

[T1.777b24]「優陀復問我曰：『賢者瞿曇！欲至何處？』我時以偈而答彼曰：『

我至波羅奈　　擊妙甘露鼓　轉無上法輪　　世所未曾轉

[T1.777b28]「優陀語我曰：『賢者瞿曇！或可有是。』如是語[1]已，即彼邪道經[2]便還去，我自往至仙人住處鹿野園中，時，五比丘遙見我來，各相約勅而立制曰：『諸賢，當知此沙門瞿曇來，多欲多求，食妙飲食，好粳糧飯，及麨酥[3]蜜，麻油塗體，今復來至，汝等但坐，慎莫起迎，亦莫作禮，豫留一座，莫請令坐。』到已語曰：『卿，欲坐者，自隨所欲。』我時往至五比丘所，時，五比丘於我不堪極妙威德，即從坐[4]起，有持衣鉢者，有敷床者，有取水者，欲洗足者，我作是念？『此愚癡人，何無牢固，自立制度還違本要。』我知彼已，坐五比丘所敷之座　　。」

[T1.777c11]「時，五比丘呼我姓字，及卿於我[5]，我語彼曰：『五比丘，我如來、無所著、正盡覺，汝等莫稱我本姓字，亦莫卿我。所以者何？我求無病無上安隱涅槃，得無病無上安隱涅槃，我求無老、無死、無愁憂慼、無穢污無上安隱涅槃，得無老、無死、無愁憂慼、無穢污無上安隱涅槃，生知生見，定道品法，生已盡，梵行已立，所作已[辨>辦]，不更受有，知如真。』彼語我曰：『卿瞿曇！本如是行，如是道跡，如是苦行，尚不能得人上法差降聖知聖見，況復今日多欲多求，食妙飲食，好粳糧飯，及麨酥[6]蜜，麻油塗體耶？』我復語曰：『五比丘，汝等本時見我如是諸根清淨，光明照耀[7]耶？』時，五比丘復答我曰：『本不見卿諸根清淨，光明照*耀，卿瞿曇！今諸根清淨，形色極妙，面光照*耀。』」

[T1.777c25]「我於爾時即告彼曰：『五比丘，當知有二邊行，諸為道者所不當學，一曰著欲樂下賤業凡人所行，二曰自煩自苦，非賢聖求[8]法，無義相應，五比丘，捨此二邊，有取中道，成明[9]成智，成就於定，而得自在，趣智趣覺，趣於涅槃，謂八正道，正見，乃至正定，是謂為八。』意欲隨順教五比丘，教化二人，三人乞食，三人持食來，足六人食，教化三人，二人乞食，二人持食來，足六人食，我如是教，如是化彼，求無病無上安隱涅槃，得無病無上安隱涅槃，求無老、無死、無愁憂慼、無穢污無上安隱涅槃，得無老、無死、無愁憂

---

[1] 語＝說【宋】【元】【明】
[2] 經＝徑【元】【明】
[3] 酥＝蘇【宋】【聖】＊
[4] 坐＝座【宋】【元】【明】
[5] 卿於我～Avusovāda
[6] 酥＝蘇【聖】
[7] 耀＝曜【聖】＊
[8]〔求〕－【宋】【元】【明】
[9] 明＝眼【宋】【元】【明】【聖】

慼、無穢污無上安隱涅槃，生知生見，定道品法，生已盡，梵行已立，所作已[辨>辦]，不更受有，知如真。」

[T1.778a11] 於是，世尊復告彼曰：「五比丘，有五欲功德可愛、可樂、可意所念，善欲相應。云何為五？眼知色，耳知聲，鼻知香，舌知味，身知觸，五比丘，愚癡凡夫而不多聞，不見善友，不知聖法，不御聖法，彼觸染貪著，憍慢受入，不見災患，不見出要，而取用之，當知彼隨弊魔，自作弊魔，墮弊魔手，為魔網纏，魔羂[1]所*纏，不脫[摩>魔]*纏，五比丘，猶如野鹿，為纏所纏，當知彼隨獵師，自作獵師，墮獵師手，為獵師網纏，獵師來已，不能得脫。如是，五比丘，愚癡凡夫而不多聞，不見善友，不知聖法，不御聖法，彼於此五欲功德觸染貪著，憍慢受入，不見災患，不見出要，而取用之，當知彼隨弊魔，自作弊魔，墮弊魔手，為魔網纏，魔纏所纏，不脫魔纏。」

[T1.778a25]「五比丘，多聞聖弟子見善知識，而知聖法，又御聖法，彼於此五欲功德，不觸、不染、不貪、不著，亦不憍慢、不受入，見災患，見出要，而取用之，當知彼不隨弊魔，不自作[2]魔，不墮魔手，不為魔網所纏，不為魔纏所纏，便解脫魔纏，五比丘，猶如野鹿得脫於纏，當知彼不]隨[3]獵師，不自在[4]獵師，不墮獵師手，不為獵師網所纏，獵師來已，則能得脫。如是，五比丘，多聞聖弟子見善知識而知聖法，又御聖法，彼於此五欲功德，不觸、不染、不貪、不著，亦不[5]見[6]憍慢、不受入，見災患，見出要，而取用之，當知彼不隨[7]弊魔，不自在[8]魔，不墮魔手，不為魔網所纏，不為魔纏所纏，便解脫魔纏。」

[T1.778b10]「五比丘，若時如來出興于世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，離欲離惡不善之法，至得第四禪成就遊，彼如是定心清淨，無穢無煩，柔軟善住，得不動心，修學漏盡智通作證，彼知此苦如真，知此苦習[9]、知此苦滅、知此苦滅道如真，知此漏如真，知此漏*習、知此漏滅、知此漏滅道如真，彼如是知、如是見，欲漏心解脫，有漏、無明漏心解脫，解脫已便知解脫，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，彼於爾時自在行，自在住、自在坐、自在臥。所以者何？彼自見無量惡不善法盡。是故彼自在行、自在住、自在坐、自在臥。」

---

[1] 羂＝衒【聖】＊
[2] 作＝在【聖】
[3] 隨＝為【宋】【元】【明】
[4] 在＝作【元】【明】
[5] 不見＝見不【宋】【元】
[6]〔見〕－【明】【聖】
[7] 隨＝墮【聖】＊
[8] 在＝作【宋】【元】【明】
[9] 習＝集【元】【明】＊

[T1.778b24]「五比丘，猶如無事無人民處，彼有野鹿，自在行、自在住、自在伏[1]、自在臥。所以者何？彼野鹿不在獵師境界。是故自在行、自在住、自在*伏、自在臥。如是，五比丘，比丘漏盡得無漏，心解脫、慧解脫，自知自覺自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，彼於爾時自在行，自在住、自在坐、自在臥。所以者何？彼自見無量惡不善法盡。是故彼自在行、自在住、自在坐、自在臥，五比丘，是說無餘解脫，是說無病無上安隱涅槃，是說無老、無死、無愁憂慼、無穢污無上安隱涅槃。」

[T1.778c06] 佛說如是，尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.778c08]羅摩經第三竟[2] (四千一百二十一字)[3]，

（二○五）中阿*含[4]哺利多品

(Ma.205)五下分結經 第四[5] (第五後誦[6])

[T1.778c11] 我聞如是。

[T1.778c11] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.778c12] 爾時，世尊告諸比丘：「我曾說五下分結，汝等受持耶？」諸比丘默然不答。

[T1.778c13] 世尊復再三告諸比丘：「我曾說五下分結，汝等受持耶？」諸比丘亦再三默然不答。

[T1.778c15] 爾時，尊者鬘童子[7]在彼眾中。於是，尊者鬘童子即從坐[8]起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「世尊曾說五下分結[9]，我受持之。」

[T1.778c18] 世尊問曰：「鬘童子，我曾說五下分結，汝受持耶？」

---

[1] 伏＝坐【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 〔羅…竟〕－【明】
[3] 〔四千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[4] 〔中阿含〕－【明】
[5] ～M. 64. (Mahā)Māluṅkva sutta. (摩羅迦大經)
[6] 〔第五後誦〕－【明】
[7] [>鬘童子]～Māluṅkyāputta.
[8] 坐＝座【宋】【元】【明】
[9] [>五下分結]～Pañc’orambhāgiyāni samyojanāni.

[T1.778c19] 尊者鬘童子答曰：「世尊曾說初[1]下分結，是我受持，欲[2]恚、身見、戒取、疑，世尊說第五下分結，是我受持。」

[T1.778c22] 世尊訶曰：「鬘童子，汝云何受持我說五下分結，鬘童子，汝從何口受持我說五下分結耶？鬘童子，非為眾多異學來，以嬰孩[3]童子責數[4]喻詰[5]責[6]汝耶？鬘童子，*嬰孩幼小，柔軟仰眠，意無欲想，況復欲心纏住耶？然彼性使故，說欲使，鬘童子，嬰孩幼小，柔軟仰眠，無眾生想，況復恚心纏住耶？然彼性使故，說恚使，鬘童子，*嬰孩幼小，柔軟仰眠，無自身想，況復身見心纏住耶？然彼性使故，說身見使，鬘童子，*嬰孩幼小，柔軟仰眠，無有戒想，況復戒取心纏住耶？然彼性使故，說戒取使，鬘童子，嬰*孩幼小，柔軟仰眠，無有法想，況復疑心纏住耶？然彼性使故，說疑使，鬘童子，非為眾多異學來，以此*嬰孩童子責數喻詰*責汝耶？」於是，尊者鬘童子為世尊面訶*責已，內懷憂慼，低頭默然，失辯無言，如有所伺。

[T1.779a09] 彼時，世尊面前訶*責鬘童子已，默然而住，爾時，尊者阿難立世尊後，執扇扇佛。於是，尊者阿難叉手向佛，白曰：「世尊！今正是時，善逝，今正是時，若世尊為諸比丘說五下分結者，諸比丘從世尊聞已，善受善[7]持。」

[T1.779a14] 世尊告曰：「阿難！諦聽，善思念之。」

[T1.779a15] 尊者阿難白曰：「唯然，當受教聽。」

[T1.779a15] 佛言：「阿難！或有一為欲所纏，欲心生已，不知捨如真，彼不知捨如真已，欲轉熾盛，不可制除，是下分結。阿難！或有一為恚所纏，恚心生已，不知捨如真，彼不知捨如真已，恚轉熾盛，不可制除，是下分結。阿難！或有一為身見所纏，身見心生已，不知捨如真，彼不知捨如真已，身見轉盛，不可制除，是下分結。阿難！或有一為戒取所纏，戒取心生已，不知捨如真，彼不知捨如真已，戒取轉盛，不可制除，是下分結。阿難！或有一為疑所纏，疑心生已，不知捨如真，彼不知捨如真已，疑轉熾盛，不可制除，是下分結。」

[T1.779a27]「阿難！若依道、依跡，斷五下分結，彼不依此道、不依此跡，斷五下分結者，終無是處。阿難！猶如有人欲得求實，為求實故，持斧入林，彼人見樹成就根、莖、枝、葉及實，彼人不截根、莖，得實歸者，終無是處。如是。阿難！若依道、依跡，斷五下分結，不依此道、不依此跡，斷五下分結

---

[1] （欲）＋初【宋】【元】【明】
[2] 〔欲〕－【聖】
[3] 嬰孩＝嚶[口*孩]【聖】＊
[4] 責數＝嘖[口*數]【聖】＊
[5] 詰＝語【宋】
[6] 責＝嘖【聖】＊
[7] 善受善＝當善受【宋】【元】【明】

者，終無是處。阿難！若依道、依跡，斷五下分結，彼依此道、依此跡，斷五下分結者，必有是處。阿難！猶如有人欲得求實，為求實故，持斧入林，彼人見樹成就根、莖、枝、葉及實，彼人[1]截根、莖，得實歸者，必有是處。如是。阿難！若依道、依跡，斷五下分結，依此道、依此跡，斷五下分結者，必有是處。」

[T1.779b12]「阿難！依何道、依何跡，斷五下分結。阿難！或有一不為欲所纏，若生欲纏，即知捨如真，彼知捨如真已，彼欲纏便滅。阿難！或有一不為恚所纏，若生恚纏，即知捨如真，彼知捨如真已，彼恚纏便滅。阿難！或有一不為身見所纏，若生身見纏，即知捨如真，彼知捨如真已，彼身見纏便滅。阿難！或有一不為戒取所纏，若生戒取纏，即知捨如真，彼知捨如真已，彼戒取便滅。阿難！或有一不為疑所纏，若生疑纏，即知捨如真，彼知捨如真已，彼疑纏便滅。阿難！依此道、依此跡，斷五下分結。」

[T1.779b24]「阿難！猶恒伽河，其水溢岸。若有人來彼岸，有事欲得度河，彼作是念：『此恒伽河，其水溢岸，我於彼岸有事欲度，身無有力令[2]我安隱浮至彼岸。』阿難！當知彼人無力。如是，阿難！若有人覺、滅、涅槃，其心不向而不清淨，不住解脫。阿難！當知此人如彼羸人無有力也。阿難！猶恒伽河，其水溢岸。若有人來彼岸，有事欲得度河，彼作是念：『此恒伽河，其水溢岸，我於彼岸有事欲度，身今有力令我安隱浮至彼岸。』阿難！當知彼人有力。如是，阿難！若有人覺、滅、涅槃，心向清淨而住解脫。阿難！當知此人如彼力[3]人。」

[T1.779c07]「阿難！猶如山水，甚深極廣，長流駛疾，多有所漂，其中無船，亦無橋梁，或有人來彼岸，有事則便求度，彼求度時而作是念：『今此山水甚深極廣，長流駛疾，多有所漂，其中無船，亦無橋梁而可度者，我於彼岸有事欲度，當以何方便令我安隱至彼岸耶？』復作是念：『我今寧可於此岸邊收聚草木，縛作椑[4]栰，乘之而度，彼便岸邊收聚草木，縛作*椑栰，乘之而度，安隱至彼。』如是，阿難！若有比丘攀緣厭離，依於厭離，住於厭離，止息身惡故，心入離、定故，離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，得初禪成就遊，彼依此處，觀覺興衰，彼依此處，觀覺興衰已，住彼必得漏盡，設住彼不得漏盡者，必當昇[5]進得止[6]息處。」

---

[1]〔人〕－【宋】【元】【明】
[2] 令＝今【宋】
[3]　（有）＋力【宋】【元】【明】
[4] 椑＝箄【宋】【元】【明】【聖】＊
[5] 昇＝果【聖】＊
[6] 止＝上【聖】＊

[T1.779c21]「云何*昇進得*止息處，彼覺、觀已息，內靖[1]、一心，無覺、無觀，定生喜、樂，得第二禪成就遊，彼依此處，觀覺興衰，彼依此處，觀覺興衰已，住彼必得漏盡，設住彼不得漏盡者，必當*昇進得止息處。云何*昇進得止息處，彼離於喜欲，捨無求遊，正[2]念正智而身覺樂，謂聖所說、聖所捨、念、樂住、室[3]，得第三禪成就遊，彼依此處，觀覺興衰，彼依此處，觀覺興衰已，住彼必得漏盡，設住彼不得漏盡者，必當*昇進得止息處。云何昇進得*止息處，彼樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦不樂、捨、念、清淨，得第四禪成就遊，彼依此處，觀覺興衰，彼依此處，觀覺興衰已，住彼必得漏盡，設住彼不得[4]漏盡者，必當昇進得*止息處。」

[T1.780a07]「云何昇進得*止息處，彼度一切色想，滅有礙想，不念若干想，無量空，是無量[5]處成就遊，彼依此處，觀覺興衰，彼依此處、觀覺興衰[6]已，住彼必得漏盡，設住彼不得漏盡者，必當*昇進得止息處。云何昇進得*止息處，彼度一切無量空處，無量識，是無量識處成就遊，彼依此處，觀覺興衰，彼依此處，觀覺興衰已，住彼必得漏盡，設住彼不得漏盡者，必當*昇進得止息處。云何昇進得*止息處，彼度一切無量識處，無所有，無所有處成就遊，彼若有所覺，或樂或苦，或不苦不樂，彼觀此覺無常，觀興衰、觀無欲、觀滅、觀斷、觀捨，彼如是觀此覺無常，觀興衰、觀無欲、觀滅、觀斷、觀捨已，便不受此世，不受此世已，便不恐怖，因不恐怖，便般涅槃，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。」

[T1.780a23]「猶去村不遠，有大芭蕉[7]，若人持斧破芭蕉樹，破作片[8]，破為十分，或作百分，破為十分，或作百分已，便擗葉葉，不見彼節，況復實耶？阿難！如是比丘若有所覺，或樂或苦，或不苦不樂，彼觀此覺無常，觀興衰、觀無欲、觀滅、觀斷、觀捨，彼如是觀此覺無常，觀興衰、觀無欲、觀滅、觀斷、觀捨已，便不受此世，不受此[9]世已，便不恐怖，因不恐怖已，便般涅槃，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真。」

[T1.780b04] 於是，尊者阿難叉手向佛，白曰：「世尊！甚奇，甚特，世尊為諸比丘依依立依，說捨離漏，說過度漏，然諸比丘不速得無上，謂畢究竟盡。」

---

[1] 靖＝靜【宋】【元】【明】
[2] 正＝止【聖】
[3] 室＝空【宋】【元】【明】
[4] 得＋（處）【聖】
[5] 量＋（空）【聖】
[6]〔彼依此處觀覺興衰〕－【宋】【元】【明】
[7] 芭蕉＝[木*(厶/巴)]椒【聖】
[8] 破作片＝斫段段【聖】
[9]〔此〕－【宋】【元】【明】

[T1.780b07] 世尊告曰：「如是，阿難！如是。阿難！甚奇，甚特，我為諸比丘依依立依，說捨離漏，說過度漏，然諸比丘不速得無上，謂畢究竟盡。所以者何？人有勝如故，修道便有精麤，修道有精麤故，人便有勝如，阿難！是故我說人有勝如。」

[T1.780b12] 佛說如是，尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.780b14]五下分結經第四竟 [1] (二千三百二十六字)[2]，

（二○六）中阿*含 [3]哺利多品

(Ma.206)心穢經 第 [4]五 [5]

[T1.780b16] 我聞如是。

[T1.780b16] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.780b17] 爾時，世尊告諸比丘：「若比丘、比丘尼不拔心中五穢，不解心中五縛者，是為比丘、比丘尼說必退法。云何不拔心中五穢，或有一疑世尊！猶豫、不開意、不解意、意不靖 [6]。若有一疑世尊！猶豫、不開意、不解意、意不*靖者，是謂不拔第一心穢，謂於世尊也。如是法、戒、教。若有諸梵行，世尊所稱譽，彼便責 [7]數、輕易、觸嬈、侵害，不開意、不解意、意不*靖，是謂第五不拔心中穢，謂於梵行也。」

[T1.780b26]「云何不解心中五縛，或有一身不離染、不離欲、不離愛、不離渴。若有身不離染、不離欲、不離愛、不離渴者，彼心不趣向，不*靖、不住、不解，自方便斷燕 [8]坐。若有此心不趣向，不*靖、不住、不解，自方便斷*燕坐者，是謂第一不解心縛，謂身也。復次，於欲不離染、不離欲、不離愛、不離渴。若有於欲不離染、不離欲、不離愛、不離渴者，彼心不趣向，不*靖、不住、不解，自方便斷*燕坐。若有此心不趣向，不*靖、不住、不解，自方便斷*燕坐者，是謂第二不解心縛，謂欲也。」

---

[1]〔五下…竟〕－【明】
[2]〔二千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～M. 16. Cetokhila sutta. (心荒蕪經)，《增壹阿含 51.4 經》 (大正 2.817a)
[5] 五＋（第五後誦）【宋】【元】
[6] 靖＝靜【宋】＊【元】＊【明】＊
[7] 責＝嘖【聖】＊
[8] 燕＝宴【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.780c08]「復次，有一所說聖義相應，柔軟無疑蓋，謂說戒、說定、說慧、說解脫、說解脫知見、說損、說不聚會、說少欲、說知足、說斷、說無欲、說滅、說*燕坐、說緣起，如是比丘，沙門所說者，彼心不趣向，不*靖、不住、不解，自方便斷*燕坐。若有此心不趣向，不*靖、不住、不解，自方便斷*燕坐者，是謂第三不解心縛，謂說也。復次，數道俗共會，調[1]亂、憍慢、不學問。若有數道俗共會，*調亂、憍慢、不學問者，彼心不趣向、不*靖、不住、不解，自方便斷*燕坐，若此心不趣向，不*靖、不住、不解，自方便斷*燕坐者，是謂第四不解心縛，謂聚[曾>會]也。」

[T1.780c20]「復次，少有所得故，於其中間住，不復求昇進。若有少所得故，於其中間住，不復求昇進者，彼心不趣向，不*靖、不住、不解，自方便斷*燕坐，若此心不趣向，不*靖、不住、不解，自方便斷*燕坐者，是謂第五不解心縛，謂昇進也。若有比丘、比丘尼不拔此心中五穢，及不解此心中五縛者，是謂比丘、比丘尼必退法也。若有比丘、比丘尼善拔心中五穢，善解心中五縛者，是謂比丘、比丘尼清淨法。」

[T1.780c29]「云何善拔心中五穢，或有一不疑世尊！不猶豫、開意、意解、意*靖。若有不疑世尊！不[2]猶豫、開意、意解、意*靖者，是謂第一善拔心中穢，謂於世尊也。如是法、戒、教。若有梵行，世尊所稱譽，彼不*責數、不輕易、不觸嬈、不侵害，開意、意解、意*靖，是謂第五善拔心中穢，謂於梵行也。」

[T1.781a06]「云何解心中五縛，或有一身離染、離欲、離愛、離渴。若有身離染、離欲、離愛、離渴者，彼心趣向，*靖、住、解，自方便斷*燕坐。若有此心趣向，*靖、住、解，自方便斷*燕坐者，是謂第一解心中縛，謂身也。復次，於欲離染、離欲、離愛、離渴。若有於欲離染、離欲、離愛、離渴者，彼心趣向，*靖、住、解，自方便斷*燕坐。若有此心趣向，*靖、住、解，自方便斷*燕坐者，是謂第二解心中縛，謂欲也。」

[T1.781a15]「復次，有一所說，聖義相應，柔軟無疑蓋，謂說戒、說定、說慧、說解脫、說解脫知見、說損、說不聚會、說少欲、說知足、說斷、說無欲、說滅、說*燕坐、說緣起，如是比丘，沙門所說者，彼心趣向，*靖、住、解，自方便斷*燕坐。若有此心趣向，*靖、住、解，自方便斷*燕坐者，是謂第三解心中縛，謂說也。復次，不數道俗共會，不*調亂、不憍慢學問。若有不數道俗共會，不*調亂、不憍慢學問者，彼心趣向，*靖、住、解，自方便斷燕坐。若有[3]此心趣向，*靖、住、解，自方便斷*燕坐者，是謂第四解心中縛，謂不聚會也。」

---

[1] 調＝掉【元】【明】＊
[2]〔不〕－【宋】【元】【明】
[3]〔有〕－【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.781a26]「復次，少有所得故，於其中間不住，復求昇進。若有少所得故，於其中間不住，復求昇進者，彼心趣向，*靖、住、解，自方便斷*燕坐，若此心趣向，*靖、住、解，自方便斷*燕坐者，是謂第五解心中縛，謂昇進也。若有比丘、比丘尼善拔此心中五穢，及善解此心中五縛者，是謂比丘、比丘尼清淨法，彼住此十支[1]已，復修習五法。」

[T1.781b05]「云何為五？修欲定心成就斷如意足，依離、依無欲、依滅、依捨，趣向非品，修精進定、心定、思惟定成就斷如意足，依離、依無欲、依滅、依捨，趣向非品，堪任第五，彼成就此堪任等十五法，成就自受者，必知必見，必正盡覺，至甘露門，近住涅槃，我說無不至涅槃，猶如雞生十卵，或十二，隨時覆蓋，隨時溫暖，隨時看視，雞設有放逸者，彼中或雞子以 [此/束[2]]以足，啄破其卵，自安隱出者，彼為第一，如是比丘成就此堪任等十五法自受者，必知必見，必正盡覺，必至甘露門，近住涅槃，我說無不得[3]涅槃。」

[T1.781b17] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.781b19]心穢經第五竟[4](一千三百九十九字[5])，

中阿*含經卷第五十六 (七千八百四十六字[6]) (第五後誦[7])[8]

中阿含經

卷第五十七 (Ma.207~209)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（二○七）晡利多品[9]

---

[1] 支＝枝【宋】【聖】
[2] [此/束]＝嘴【宋】【元】【明】
[3] 得＝至【宋】【元】【明】
[4]〔心穢…竟〕－【明】
[5]〔一千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[6]〔七千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[7]〔第五後誦〕－【宋】【元】【明】
[8] ＋（光明皇后願文）【聖】
[9] ～M. 77.(Mahā)Sakuludāyi-sutta. (善生優陀夷大經)

(Ma.207)箭毛經[1] 第六 (第五後誦[2])

[T1.781b28] 我聞如是。

[T1.781b28] 一時，佛遊王舍城，在竹林伽蘭[3]哆[4]園，與大比丘眾俱，千二百五十人而受夏坐。

[T1.781c01] 爾時，世尊過夜平旦，著衣持鉢，入王舍城而行乞食，行乞食已，收舉衣鉢，澡洗手足，以尼師檀[5]著於肩上，往至孔雀林[6]異學園中。

[T1.781c04] 爾時，孔雀林異學園中有一異學，名曰箭毛[7]，名德宗主，眾人所師，有大名譽，眾所敬重，領大徒眾，五百異學之所尊也。彼在大眾喧鬧嬈亂，放高大音聲，說種種畜生之論，謂論王、論賊、論鬪、論食、論衣服、論婦人、論童女、論婬女、論世間、論空野、論海中、論國人民，彼共集坐論如是比畜生之論，異學箭毛遙見佛來，勑己眾曰：「汝等默然住，彼沙門瞿曇來，彼眾默然，常樂默然，稱說默然，彼若見此眾默然者，或來相見。」異學箭毛令眾默然已，自默然住。

[T1.781c15] 世尊往詣異學箭毛所，異學箭毛即從坐[8]起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「善來，沙門瞿曇！沙門瞿曇久不來此，願坐此坐。」世尊便坐異學箭毛所敷之座，異學箭毛則與世尊共相問訊，却坐一面。

[T1.781c19] 世尊問曰：「優陀夷[9]，向論何等，以何事故共集坐此？」

[T1.781c21] 異學箭毛答曰：「瞿曇！且置此論，此論非妙，沙門瞿曇欲聞此論，後聞不難。」

[T1.781c23] 世尊如是再三問曰：「優陀夷，向論何等，以何事故共集坐此？」

[T1.781c24] 異學箭毛亦再三答曰：「瞿曇！且置此論，此論非妙，沙門瞿曇欲聞此論，後聞不難，沙門瞿曇若至再三，其欲聞者，今當說之，瞿曇！我等與

---

[1] 經＋（上）【明】
[2] 〔第五後誦〕－【明】
[3] [>伽蘭哆]～Kalandakanivāpa.，伽＝加【宋】【元】，伽＝迦【明】
[4] 哆＝陀【宋】
[5] 檀＝壇【宋】＊【元】＊【明】＊
[6] [>孔雀林]～Moranivāpa.
[7] [>箭毛]～Sakuludāyi.
[8] 坐＝座【宋】＊【元】＊【明】＊
[9] [>優陀夷]～Udāyi.

拘薩羅國眾多梵志，悉共集坐拘薩羅學堂，說如是論，鴦伽摩竭[1]陀國人[2]有大善利，鴦伽摩竭陀國人得大善利，如此大福田眾在王舍城共受夏坐，謂不蘭迦葉[3]。所以者何？瞿曇！*不蘭迦葉名德宗主，眾人所師，有大名譽，眾所敬重，領大徒眾，五百異學之所尊也。於此王舍城共受夏坐，如是摩息迦利瞿舍利子[4]、娑若鞞羅遲子[5]、尼揵親子[6]、彼復迦栴[7]、阿夷[8]哆[9]雞舍劍婆利。」

[T1.782a07]「瞿曇！阿夷*哆雞舍劍婆利名德宗主，眾人所師，有大名譽，眾所敬重，領大徒眾，五百異學之所尊也。於此王舍城共受夏坐，向者亦論沙門瞿曇！此沙門瞿曇名德宗主，眾人所師，有大名譽，眾所敬重，領大比丘眾，千二百五十人之所尊也。亦在此王舍城共受夏坐，瞿曇！我等復作是念：『今此諸尊沙門、梵志，誰為弟子所恭敬、尊重、供養事耶？非為弟子法罵所罵，亦無弟子難師，此一向不可、不相應，不等說已，便捨而去。』瞿曇！我等復作是念：『此*不蘭迦葉不為弟子所恭敬、尊重、供養、奉事，為弟子法罵所罵，眾多弟子難師，此不可，此不相應，此不等說已，便捨而去。』」

[T1.782a21]「瞿曇！昔時*不蘭迦葉數在弟子眾舉手大喚，汝等可住，無有人來問汝等事，人問我事，汝等不能斷此事，我能斷此事，而弟子於其中間更論餘事，不待師說事訖，瞿曇！我等復作是念：『如是此*不蘭迦葉不為弟子所恭敬、尊重、供養、奉事，為弟子法罵所罵，眾多弟子難師，此不可，此不相應，此不等說已，便捨而去。』如是摩息*加利瞿舍利子、娑若鞞羅遲子、尼揵親子、*彼復迦旃、阿夷*哆雞舍劍婆利，瞿曇！我等作如是念：『此阿夷哆雞舍劍婆利[10]不為弟子所恭敬、尊重、供養、奉事，為弟子法罵所罵，眾多弟子難師，此不可，此不相應，此不等說已，便捨而去。』瞿曇！昔時阿夷*哆雞舍劍婆利數在弟子眾舉手大喚，汝等可住，無有人來問汝等事，人問我事，汝等不能斷此事，我能斷此事，而弟子於其中間更論餘事，不待師說事訖。」

[T1.782b09]「瞿曇！我等復作是念：『如是此阿夷哆雞舍劍婆利不為弟子所恭敬、尊重、供養、奉事，為弟子法罵所罵，眾多弟子難師，此不可，此不相應，此不等說已，便捨而去。』」

---

[1] [>鴦伽摩竭陀國人]～Aṅga-Magadhā.
[2] 陀＝提【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] [>不蘭迦葉]～Pūraṇa-Kassapa.，不＝富【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] [>摩息迦利瞿舍利子]～Makkhali-Gosāla.
[5] [>娑若鞞羅遲子]～Sañjaya-Belaṭṭhiputta.
[6] [>尼揵親子]～Niganṭha Nātaputta.
[7] [>彼復迦栴]～Pakudha Kaccāyana.，彼＝波【宋】＊【元】＊【明】＊
[8] [>阿夷哆雞舍劍婆利]～Ajita Kesakambalī.
[9] 哆＝多【宋】＊【元】＊【明】＊
[10]〔瞿曇…利〕十七字－【宋】【元】【明】

[T1.782b13]「瞿曇！我等復作是念：『此沙門瞿曇為弟子所恭敬、尊重、供養、奉事，不為弟子法罵所罵，亦無弟子難師，此不可，此不相應，此不等說已，便捨而去。』瞿曇！昔時沙門瞿曇數在大眾，無量百千眾圍遶說法，於其[1]中有一人鼾眠作聲，又有一人語彼人曰：『莫鼾眠作聲，汝不欲聞世尊說微妙法，如甘露耶？。』彼人即便默然無聲，瞿曇！我等復作是念：『如是此沙門瞿曇為弟子所恭敬、尊重、供養、奉事，不為弟子法罵所罵，亦無弟子難師，此不可，此不相應，此不等說已，便捨而去。』」

[T1.782b24] 世尊聞已，問異學箭毛曰：「優陀夷，汝見我有幾法，令諸弟子恭敬、尊重、供養、奉事我，常隨不離耶？」

[T1.782b26] 異學箭毛答曰：「瞿曇！我見瞿曇有五法，令諸弟子恭敬、尊重、供養、奉事，常隨不離。云何為五？沙門瞿曇麤衣知足，稱說麤衣知足，若沙門瞿曇麤衣知足，稱說麤衣知足者，是謂我見沙門瞿曇有第一法，令諸弟子恭敬、尊重、供養、奉事，常隨不離。復次，沙門瞿曇麤食知足，稱說麤食知足，若沙門瞿曇麤食知足，稱說麤食知足者，是謂我見沙門瞿曇有第二法，令諸弟子恭敬、尊重、供養、奉事，常隨不離。」

[T1.782c07]「復次，沙門瞿曇少食，稱說少食，若沙門瞿曇少食，稱說少食者，是謂我見沙門瞿曇有第三法，令諸弟子恭敬、尊重、供養、奉事，常隨不離。復次，沙門瞿曇麤住止床座知足，稱說麤住止床座知足，若沙門瞿曇麤住止床座知足，稱說麤住止床座知足者，是謂我見沙門瞿曇有第四法，令諸弟子恭敬、尊重、供養、奉事，常隨不離。復次，沙門瞿曇燕[2]坐，稱說*燕坐，若沙門瞿曇*燕坐，稱說燕坐者，是謂我見沙門瞿曇有第五法，令諸弟子恭敬、尊重、供養、奉事，常隨不離，是謂我見沙門瞿曇有五法，令諸弟子恭敬、尊重、供養、奉事，常隨不離。」

[T1.782c19] 世尊告曰：「優陀夷，我不以此五法，令諸弟子恭敬、尊重、供養、奉事我，常隨不離，優陀夷，我所持衣，隨聖力[3]割截，染汙惡色，如是聖衣染汙惡色，優陀夷，或我弟子謂盡形壽衣所棄捨糞掃之衣，亦作是說：『我世尊麤衣知足，稱說麤衣知足。』優陀夷，若我弟子因麤衣知足故，稱說我者，彼因此處故，不恭敬、尊重、供養、奉事我，亦不相隨。復次，優陀夷，我食粳糧成熟，無[麩-夫+黃]無量雜味，優陀夷，或我弟子盡其形壽而行乞食所棄捨食，亦作是說：『我世尊麤食知足，稱說麤食知足。』優陀夷，若我弟子因麤食知足故，稱說我者，彼因此處故，不恭敬、尊重、供養、奉事我，亦不相隨。」

---

[1]〔其〕－【宋】【元】【明】
[2] 燕＝宴【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 力＝刀【元】【明】【聖】

[T1.783a04]「復次，優陀夷，我食如一鞞羅食[1]，或如半鞞羅，優陀夷，或[2]我弟子食如一拘拖[3]，或如半拘*拖，亦作是說：『我世尊少食，稱說少食。』優陀夷，若我弟子因少食故，稱說我者，彼因此處故，不恭敬、尊重、供養、奉事我，亦不相隨。復次，優陀夷，我或住高樓，或住棚[4]閣，優陀夷，或我弟子[5]彼過九月、十月，一夜於覆[6]處宿，亦作是說：『我世尊麤住止床座知足，稱說麁[7]住止床座知足。』優陀夷，若我弟子因麤住止床座知足故，稱說我者，彼因此處故，不恭敬、尊重、供養、奉事我，亦不相隨。」

[T1.783a15]「復次，優陀夷，我常作鬧比丘、比丘尼、優婆塞、優婆夷，或我弟子過半月一入眾，為法清淨故，亦作是說：『我世尊*燕坐，稱說*燕坐。』優陀夷，若我弟子因*燕坐故，稱說我者，彼因此處故，不恭敬、尊重、供養、奉事我，亦不相隨，優陀夷，我無此五法，令諸弟子恭敬、尊重、供養、奉事我，常隨不離。」

[T1.783a21]「優陀夷，我[8]更有五法，令諸弟子恭敬、尊重、供養、奉事我，常隨不離。云何為五？優陀夷，我有弟子，謂無上戒稱說我：『世尊行戒大戒，如所說所作亦然，如所作所說亦然。』優陀夷，若我弟子因無上戒稱說我者，彼因此處，恭敬、尊重、供養、奉事我，常隨不離。復次，優陀夷，我有弟子，謂無上智慧稱說我：『世尊行智慧，極大智慧。若有談論來相對者，必能伏之，謂於正法、律不可說，於自所說不可得說。』優陀夷，若我弟子因無上智慧故，稱說我者，彼因此處，恭敬、尊重、供養、奉事我，常隨不離。」

[T1.783b04]「復次，優陀夷，我有弟子，謂無上知見稱說我：『世尊遊[9]知非不知，*遊見非不見，彼為弟子說法，有因非無因，有緣非無緣，可答非不可答，有離非無離。』優陀夷，若我弟子因無上知見故，稱說我者，彼因此處，恭敬、尊重、供養、奉事我，常隨不離。復次，優陀夷，我有弟子，謂厭愛箭而來問我：『苦是苦，習[10]是*習，滅是滅，道是道，我即答彼，苦是苦，*習是*習，滅是滅，道是道。』優陀夷，若我弟子而來問我，我答可意令歡喜者，彼因此處，恭敬、尊重、供養、奉事我，常隨不離。」

---

[1] 鞞羅食～Beluvāhāra.
[2]〔或〕－【宋】【元】【明】
[3] 拘拖～Kosakahāra.，＝拘施【宋】【元】【明】，＝狗施【聖】
[4] 棚＝閘【聖】
[5] 子＋（隨）【宋】【元】【明】
[6] 覆＝露【宋】【元】【明】【聖】
[7]〔麁〕－【宋】【元】【明】
[8] 我＝復【宋】【元】【明】
[9] 遊＝遍【宋】【元】【聖】，＝徧【明】＊
[10] 習＝集【元】【明】＊

[T1.783b15]「復次，優陀夷，我為弟子或說宿命智通作證明達，或說漏盡智通作證明達，優陀夷，若我弟子於此正法、律中得受得度，得至彼岸，無疑無惑，於善法中無有猶豫者，彼因此處，恭敬、尊重、供養、奉事我，常隨不離，優陀夷，是謂我更有五法，令諸弟子恭敬、尊重、供養、奉事我，常隨不離。」

[T1.783b22] 於是，異學箭毛即從*坐起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「瞿曇！甚奇，甚特，善說妙事，潤澤我體，猶如甘露，瞿曇！猶如大雨，此地高下，普得潤澤，如是沙門瞿曇為我等善說妙事，潤澤我體，猶如甘露。世尊！我已解，善逝，我已知。世尊！我今[1]自歸於佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.783b29] 佛說如是，異學箭毛聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.783c02]箭毛經第六竟[2](二千八百七字[3])，

（二○八）中阿*含[4]哺利多品

(Ma.208)箭毛[5]經[6] 第七[7]

[T1.783c04] 我聞如是。

[T1.783c04] 一時，佛遊王舍城，在竹林加蘭哆園[8]。」

[T1.783c05] 爾時，世尊過夜平旦，著衣持鉢，入王舍城而行乞食，行乞食已，收舉衣鉢，澡洗手足，以尼師檀[9]著於肩上，往至孔雀林[10]異學園中。

[T1.783c08] 爾時，孔雀林異學園中有一異學，名曰箭毛[11]，名德宗主，眾人所師，有大名譽，眾所敬重，領大徒眾，五百異學之所尊也。彼在大眾喧鬧嬈亂，放高大音聲，說種種畜生之論，謂論王、論賊、論鬪[12]、論食、論衣服、

---

[1] 今＋（日）【宋】【元】【明】
[2]〔箭毛…竟〕－【明】
[3]〔二千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] ～M. 79. (Cūḷa)Sakulūdāyi sutta. (善生優陀夷小經)
[6] 經＋（下）【明】
[7] 七＋（第五後誦）【宋】【元】
[8] [>加蘭哆園]～Kalandakanivāpa，加＝迦【宋】【元】【明】
[9] 檀＝壇【宋】【元】【明】
[10] [>孔雀林]～Moranivāpa.
[11] [>箭毛]～Sakuludāyi.
[12] 鬪＝鬧【明】

婦人、論童女、論婬女、論世間、論空野、論海中、論國人民，彼共集坐說如是比畜生之論，異學箭毛遙見佛來，勑己眾曰：「汝等默然住，彼沙門瞿曇來，彼眾默然，常樂默然，稱說默然，彼若見此眾默然者，或來相見。』異學箭毛命[1]眾默然已，自默然住。

[T1.783c19] 世尊往詣異學箭毛所，異學箭毛即從坐[2]起，偏袒著衣，叉手向佛，白曰：「善來，沙門瞿曇！沙門瞿曇久不來此，願坐此坐。』世尊便坐異學箭毛所敷之座，異學箭毛便與世尊共相問訊，却坐一面。

[T1.783c23] 世尊問曰：「優陀夷[3]，向論何等，以何事故共集坐此？」

[T1.783c24] 異學箭毛答曰：「瞿曇！且置此論，此論非妙，沙門瞿曇欲聞此論，後聞不難。」

[T1.783c26] 世尊如是再三問曰：「優陀夷，向論何等，以何事故共集坐此？」

[T1.783c28] 異學箭毛亦再三答曰：「瞿曇！且置此論，此論非妙，沙門瞿曇欲聞此論，後聞不難，沙門瞿曇若至再三，其欲聞者，今當說之，瞿曇！我有策慮，有思惟，住策慮地，住思惟地，有智慧，有辯才，有說實有薩云然[4]，一切知，一切見，無餘知，無餘見，我往問事，然彼不知，瞿曇！我作是念：此是何等耶？」

[T1.784a06] 世尊問曰：「優陀夷，汝有策慮，有思惟，有策慮地，住思惟地，有智慧，有辯才，誰說實有薩云然，一切知，一切見，無餘知，無餘見，汝往問事，而彼不知耶？」

[T1.784a09] 異學箭毛答曰：「*瞿曇！*謂不[5]蘭迦葉[6]是。所以者何？瞿曇！不蘭*迦葉自說實有薩云然，一切知，一切見，無餘知，無餘見也。我有策慮，有思惟，住策慮地，住思惟地，有智慧，有辯才，我往問事，然彼不知，瞿曇。是故我作是念：此是何等耶？如是摩息迦利瞿舍利子、娑若鞞羅遲子、尼揵親子、彼[7]復迦[8]旃、阿夷哆[9]雞舍劍婆利，瞿曇！阿夷*哆雞舍劍婆利自說實有薩云然，一切知，一切見，無餘知，無餘見也。我有策慮，有思惟，住策慮地，住思惟地，有智慧，有辯才，我往問事，然彼不知，瞿曇。是故我作是念：『此

---

[1] 命＝今【元】【明】【聖】
[2] 坐＝座【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] [>優陀夷]～Udāyi.
[4] [>薩云然]～Sabbaññū.
[5] 不＝富【宋】＊【元】＊【明】＊
[6] 迦葉＝加攝【聖】＊
[7] 彼＝波【宋】【元】【明】
[8] 迦＝加【聖】
[9] 哆＝多【宋】＊【元】＊【明】＊

是何等耶？』瞿曇！我復作是念：『若我當往詣沙門瞿曇所，問過去事者，沙門瞿曇必能答我過去事也。我當往詣沙門瞿曇所，問未來事者，沙門瞿曇必能答我未來事也。復次，若我隨所問沙門瞿曇事者，沙門瞿曇必亦答我隨所問事 。』」

[T1.784a27] 世尊告曰：「優陀夷，止，止，汝長夜異見、異忍、異樂、異欲、異意故，不得盡知我所說義，優陀夷，我有弟子有因有緣，憶無量過去本昔所生，謂一生、二生、百生、千生，成劫、敗劫、無量成敗劫，眾生名某，我曾生彼，如是姓、如是字，如是生、如是飲食、如是受苦樂、如是長壽、如是久住、如是壽訖，此死生彼，彼死生此，我生在此，如是姓、如是字、如是生、如是飲食、如是受苦樂、如是長壽、如是久住、如是壽訖，彼來問我過去事，我答彼過去事，我亦往問彼過去事，彼亦答我過去事，我隨所問彼事，彼亦答我隨所問事。」

[T1.784b10]「復次，優陀夷，我有弟子，謂清淨天眼出過於人，見此眾生死時生時、好色惡色、妙與不妙，往來善處及不善處，隨此眾生之所作業，見其如真，若此眾生成就身惡行，成就口、意惡行，誣謗聖人，邪見，成就邪見業，彼因緣此，身壞命終，必至惡處，生地獄中，若此眾生成就身妙行，成就口、意妙行，不誣謗聖人，正見，成就正見業，彼因緣此，身壞命終，必昇善處，得生天中，彼來問我未來事，我答彼未來事，我亦往問彼未來事，彼亦答我未來事，我隨所問彼事，彼亦答我隨所問事。」

[T1.784b21] 異學箭毛白曰：「瞿曇！若如是者，我轉不知，我轉不見，轉癡墮癡，謂沙門瞿曇如是說，優陀夷，止，止，汝長夜異見、異忍、異樂、異欲、異意故，不得盡知我所說義，優陀夷，我有弟子有因有緣，憶無量過去本昔所生，謂一生、二生、百生、千生，成劫、敗劫、無量成敗劫，眾生名某，我曾生彼，如是姓、如是字，如是生、如是飲食、如是受苦樂、如是長壽、如是久住、如是壽訖，此死生彼，彼死生此，我生在此，如是姓、如是字、如是生、如是飲食、如是受苦樂、如是長壽、如是久住、如是壽訖，彼來問我過去事，我答彼過去事，我亦往問彼過去事，彼亦答我過去事，我隨所問彼事，彼亦答我隨所問事。」

[T1.784c06]「復次，優陀夷，我有弟子，謂清淨天眼出過於人，見此眾生死時生時、好色惡色、妙與不妙，往來善處及不善處，隨此眾生之所作業，見其如真，若此眾生成就身惡行，成就口、意惡行，誣謗聖人，邪見，成就邪見業，彼因緣此，身壞命終，必至惡處，生地獄中，若此眾生成就身妙行，成就口、意妙行，不誣謗聖人，正見，成就正見業，彼因緣此，身壞命終，必昇[1]善處，

[1] 昇＝生【明】

得生天中，彼來問我未來事，我答彼未來事，我亦往問彼未來事，彼亦答我未來事，我隨所問彼事，彼亦答我隨所問事。」

[T1.784c17]「瞿曇！我於此生作本所作，得本所得，尚不能憶，況復能憶有因有緣，無量本昔所生事耶？瞿曇！我尚不能見飈風鬼，況復清淨天眼出過於人，見此眾生死時生時，善色惡色、妙與不妙，趣至善處及不善處，隨此眾生之所作業，見其如真耶？瞿曇！我作是念：『若沙門瞿曇問我從師學法者，儻[1]能答彼，令可意也。』」

[T1.784c24] 世尊問曰：「優陀夷，汝從師學其法云何？」

[T1.784c25] 異學箭毛答曰：「瞿曇！彼說色過於色，彼色最勝，彼色最上。」

[T1.784c26] 世尊問曰：「優陀夷，何等色耶？」

[T1.784c27] 異學箭毛答曰：「瞿曇！若色更無有色最上、最妙，為最勝也。彼色最勝，彼色最上。」

[T1.784c29] 世尊告曰：「優陀夷，猶如有人作如是說：『若此國中有女最妙，我欲得彼。』彼若有人如是問者：『君知國中有女最妙、如是姓、如是名、如是生耶？為長短麤細，為白、黑，為不白不黑，為剎利女，為梵志、居士、工師女，為東方、南方、西方、北方耶？』彼人答曰：『我不知也。』復問彼人：『君不知、不見國中有女最妙，如是姓、如是名、如是生，長短麤細、白、黑、不白不黑，剎利女，梵志、居士、工師女，東方、南方、西方、北方者。』而作是說：『我欲得彼女耶？』如是，優陀夷，汝作是說：『彼說色過於色，彼色最勝，彼色最上。』問曰[2]：『汝彼色，然不知也。』」

[T1.785a12] 異學箭毛白曰：「瞿曇！猶如紫磨，極妙金精，金師善磨，瑩治令淨，藉以白練，安著日中，其色極妙，光明照耀[3]。如是，瞿曇！我說彼色過於色，彼色最勝，彼色最上。」

[T1.785a15] 世尊告曰：「優陀夷，我今問汝，隨所解答，優陀夷，於意云何？謂紫磨金精，藉以白練，安著日中，其色極妙，光明照*耀，及螢火蟲在夜闇中光明照*耀，於中光明，何者最上、為最勝耶？」

[T1.785a20] 異學箭毛答曰：「瞿曇！螢火光明於紫磨金精光明，最上、為最勝也。」

---

[1] 儻＝讜【聖】
[2]〔曰〕－【宋】【元】【明】
[3] 耀＝曜【宋】【元】【明】【聖】＊

[T1.785a21] 世尊問曰：「優陀夷，於意云何？謂螢火蟲在夜闇中光明照*耀，及燃油燈在夜闇中光明照*耀，於中光明，何者最上、為最勝耶？」

[T1.785a24] 異學箭毛答曰：「瞿曇！燃燈[1]光明於螢火蟲光明，最上、為最勝也。」

[T1.785a25] 世尊問曰：「優陀夷，於意云何？謂燃油燈在夜闇中光明照*耀，及燃大木積[2]火在夜闇中光明照*耀，於中光明，何者最上、為最勝耶？」

[T1.785a29] 異學箭毛答曰：「瞿曇！燃大木*積火之光明於燃油燈光明，最上、為最勝也。」

[T1.785b01] 世尊問曰：「優陀夷，於意云何？謂燃大木*積火，在夜闇中光明照*耀，及太白星平旦無曀光明照*耀，於中光明，何者最上、為最勝耶？」

[T1.785b04] 異學箭毛答曰：「瞿曇！太白星光於燃大木*積火光，最上、為最勝也。」

[T1.785b06] 世尊問曰：「優陀夷，於意云何？謂太白星平旦無曀光明照*耀，及月殿光夜半無曀光明照*耀，於中光明，何者最上、為最勝耶？」

[T1.785b09] 異學箭毛答曰：「瞿曇！月殿光明於太白星光，最上、為最勝也。」

[T1.785b10] 世尊問曰：「優陀夷，於意云何？謂月殿光夜半無曀光明照曜，及日殿光秋時向中，天淨無曀光明照*耀，於中光明，何者最上、為最勝耶？」

[T1.785b13] 異學箭毛答曰：「瞿曇！日殿光明於月殿光，最上、為最勝也。」

[T1.785b15] 世尊告曰：「優陀夷，多有諸天，今此日月雖有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，然其光明故不及諸天光明也。我昔曾與諸天共集，共彼論事，我之所說，可彼天意，然我不作是說，彼色過於色，彼色最勝，彼色最上，優陀夷，而汝於螢火蟲光色最弊最醜，說彼色過於色，彼色最勝，彼色最上，問已不知。」

[T1.785b22] 異學箭毛白曰：「世尊！悔過此說，善逝，悔過此說。」

[T1.785b23] 世尊問曰：「優陀夷，汝何意如是說。世尊！悔過此說，善逝，悔過此說耶？」

---

[1] 燃燈＝燈燃【聖】
[2] 積＝[卄/積]【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.785b25] 異學箭毛答曰：「瞿曇！我作是說，彼色過於色，彼色最勝，彼色最上，沙門瞿曇今善檢我，善教善訶，令我虛妄無所有也。瞿曇。是故我如是說。世尊！悔過此說，善逝，悔過此說。」

[T1.785b29] 異學箭毛語曰：「瞿曇！後世一向樂，有一道跡一向作世證。」

[T1.785c01] 世尊問曰：「優陀夷。云何後世一向樂。云何有一道跡一向作世證耶？」

[T1.785c03] 異學箭毛答曰：「瞿曇！或有一離殺斷殺、不與取、邪婬、妄言，乃至離邪見得正見，瞿曇！是謂後世一向樂，是謂有一道跡一向作世證。」

[T1.785c06] 世尊告曰：「優陀夷，我今問汝，隨所解答，優陀夷，於意云何？若有一離殺斷殺，彼為一向樂、為雜苦耶？」

[T1.785c08] 異學箭毛答曰：「瞿曇！是雜苦也。」

[T1.785c09]「若有一離不與取、邪婬、妄言，乃至離邪見得正見，彼為一向樂、為雜苦耶？」

[T1.785c11] 異學箭毛答曰：「瞿曇！是雜苦也。」

[T1.785c11] 世尊問曰：「優陀夷，非為如是雜苦樂道跡作世證耶？」

[T1.785c13] 異學箭毛答曰：「瞿曇！如是雜苦樂道跡作世證也。」

[T1.785c14] 異學箭毛白曰：「世尊！悔過此說，善逝，悔過此說。」

[T1.785c15] 世尊問曰：「優陀夷，汝何意故作如是說。世尊！悔過此說，善逝，悔過此說耶？」

[T1.785c17] 異學箭毛答曰：「瞿曇！我向者說後世一向樂，有一道跡一向作世證，沙門瞿曇今善檢我，善教善訶，令我虛妄無所有也。瞿曇。是故我如是說。世尊！悔過此說，善逝，悔過此說。」

[T1.785c21] 世尊告曰：「優陀夷，世有一向樂，有一道跡一向作世證也。」

[T1.785c22] 異學箭毛問曰：「瞿曇。云何世一向樂。云何一道跡一向作世證耶？」

[T1.785c24] 世尊答曰：「優陀夷，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五

蓋、心穢、慧羸，離欲、離[1]惡不善之法，有覺、有觀、離生喜、樂，得初禪成就遊，不共彼天戒等、心等、見等也。彼覺、觀已息，內靖[2]、一心，無覺、無觀，定生喜、樂，得第二禪成就遊，不共彼天戒等、心等、見等也。彼離於喜欲，捨無求遊，正念正智而身覺樂，謂聖所說、聖所捨、念、樂住室[3]，得第三禪成就遊，不共彼天戒等、心等、見等也。優陀夷，是謂世一向樂。」

[T1.786a05] 異學箭毛問曰：「瞿曇！世中一向樂，唯極是耶？」

[T1.786a06] 世尊答曰：「世中一向樂，不但極是也。優陀夷，更有一道跡一向作世證。」

[T1.786a08] 異學箭毛問曰：「瞿曇。云何更[4]有一道跡一向作世證耶？」

[T1.786a09] 世尊答曰：「優陀夷，比丘離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，得初禪成就遊，得共彼天戒等、心等、見等也。彼覺、觀已息，內*靖、一心，無覺、無觀，定生喜、樂，得第二禪成就遊，得共彼天戒等、心等、見等也。彼離於喜欲，捨無求遊，正念正智而身[5]覺樂，謂聖所說、聖所捨、念、樂住、*室，得第三禪成就遊，得共彼天戒等、心等、見等也。優陀夷，是謂一道跡一向作世證。」

[T1.786a18] 異學箭毛問曰：「瞿曇！沙門瞿曇弟子為此世一向樂故，一道跡一向作世證故，從沙門瞿曇學梵行耶？」

[T1.786a20] 世尊答曰：「優陀夷，我弟子不為世一向樂故，亦不為一道跡一向作世證故，從我學梵行也。優陀夷，更有最上、最妙、最勝，為作證故，我弟子從我學梵行也。」

[T1.786a24] 於是，彼大眾放高大音聲，彼是最上、最妙、最勝，為作證故，沙門瞿曇弟子從沙門瞿曇學梵行也。」

[T1.786a26] 於是，異學箭毛勅已眾，令默然已，白曰：「瞿曇。云何最上、最妙、最勝，為作證故，沙門瞿曇弟子從沙門瞿曇學梵行耶？」

[T1.786a29] 世尊答曰：「優陀夷，比丘者樂滅、苦滅，喜、憂本已滅，不苦不樂、捨、念、清淨，得第四禪成就遊，優陀夷，是謂最上、最妙、最勝，為作證故，我弟子從我學梵行也。」

---

[1] 離〕－【宋】【元】【明】
[2] 靖＝靜【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 室＝空【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 是）＋更【宋】【元】【明】
[5] 身＝取【聖】

[T1.786b03] 於是，異學箭毛即從*坐起，欲稽首佛足。於是，異學箭毛諸弟子異學梵行者白異學箭毛曰：「尊今應作師時，欲為沙門瞿曇作弟子耶？尊不應作師時，為沙門瞿曇作弟子也。是為異學箭毛諸弟子學梵行者，為異學箭毛而作障礙，謂從世尊學梵行也。」

[T1.786b09] 佛說如是，異學箭毛聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.786b11]箭毛[1]經第七竟 (三千八百三十字[2])，

（二○九）中阿含[3]哺利多品

(Ma.209)鞞摩那修經 第八[4] (第五後誦[5])

[T1.786b14] 我聞如是。

[T1.786b14] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.786b15] 爾時，異學鞞摩那修[6]中後仿佯[7]往詣佛所，相問訊已，問曰：「瞿曇！最色最[8]色，瞿曇！最色。

[T1.786b17] 世尊問曰：「迦旃[9]，何等色也[10]？」

[T1.786b17] 異學鞞摩那修答曰：「瞿曇！若色更無有色最上、最妙、最勝，瞿曇！彼色最勝，彼色最上。」

[T1.786b19] 世尊告曰：「*迦旃，猶如有人作如是說：『若此國中有女最妙，我欲得彼。』彼若有人如是問者：『君知國中有女最妙，如是姓、如是名、如是生耶？為長短麤細，為白、黑，為不白不黑，為剎利女，為梵志、居士、工師女，為東方、南方、西方、北方耶？』彼人答曰：『我不知也。復問彼人，君不知、不見國中有女最妙，如是姓、如是名、如是生，長短麤細、白、黑、不白

---

[1]〔箭毛…竟〕－【明】
[2]〔三千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～M. 80. Vekhanassa sutta. (鞞摩那修經)，[No. 90]??
[5]〔第五後誦〕－【明】
[6] [>鞞摩那修]～Vekhanassa.
[7] 仿佯＝彷徉【宋】【元】【明】【聖】
[8] 最＋（最）【宋】【元】【明】，＋（勝）【聖】
[9] [>迦旃]～Kaccana.，迦＝加【聖】＊
[10] 也＝耶【宋】【元】【明】【聖】

不黑，剎利女，梵志、居士、工師女，東方、南方、西方、北方者。』而作是說：『我欲得彼女耶？』如是，*迦旃，汝作是說：『彼妙色最妙色，彼色最勝，彼色最上。』問汝彼色，然不知也。」

[T1.786c02] 異學鞞摩那修白曰：「瞿曇！猶如紫磨，極妙金精，金師善磨，瑩治令淨，藉以白練，安著日中，其色極妙，光明照耀[1]。如是，瞿曇！我說彼妙色最妙色，彼色最勝，彼色最上。」

[T1.786c06] 世尊告曰：「*迦旃，我今問汝，隨所解答，*迦旃，於意云何？謂紫磨金精[2]，藉以白練，安著日中，其色極妙，光明照*耀，及螢火蟲在夜闇中光明照*耀，於中光明，何者最上、為最勝耶？」

[T1.786c10] 異學鞞摩那修答曰：「瞿曇！螢火光明於紫磨金精光明，最上、為最勝也。」

[T1.786c12] 世尊問曰：「*迦旃，於意云何？謂螢火蟲在夜闇中光明照*耀，及燃油燈在夜闇中光明照*耀，於中光明，何者最上、為最勝耶？」

[T1.786c14] 異學鞞摩那修答曰：「瞿曇！燃燈光明於螢火蟲光明，最上、為最勝也。」

[T1.786c16] 世尊問曰：「*迦旃，於意云何？謂燃油燈在夜闇中光明照*耀，及燃大木積[3]火在夜闇中光明照*耀，於中光明，何者最上、為最勝耶？」

[T1.786c19] 異學鞞摩那修答曰：「瞿曇！燃大木*積火之光明於燃油燈光明，最上、為最勝也。」

[T1.786c21] 世尊問曰：「*迦旃，於意云何？謂燃大木*積火在夜闇中光明照*耀，及太白星[4]平旦無曀光明照*耀，於中光明，何者最上、為最勝耶？」

[T1.786c24] 異學鞞摩那修答曰：「瞿曇！太白星光[5]於燃大木*積火光，最上、為最勝也。」

[T1.786c26] 世尊問曰：「*迦旃，於意云何？謂太白星平旦無曀光明照*耀，及月殿光夜半無曀光明照*耀，於中光明，何者最上、為最勝耶？」

---

[1] 耀＝曜【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 精＝淨【宋】【元】【明】
[3] 積＝[卄/積]【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 太白星～Osadhitārakā. 藥星、晨星(Venus 金星，清晨東方最明亮的星星，亮度-4.4 等)
[5] 光＋（明）【聖】＊

[T1.786c29] 異學鞞摩那修答曰：「瞿曇！月殿光明於太白星*光，最上、為最勝也。」

[T1.787a01] 世尊問曰：「*迦旃，於意云何？謂月殿*光夜半無曀光明照曜，及日殿*光秋時向中，天淨無曀光明照*耀，於中光明，何者最上、為最勝耶？」

[T1.787a05] 異學鞞摩那修答曰：「瞿曇！日殿光明於月殿光，最上、為最勝也。」

[T1.787a06] 世尊告曰：「*迦旃，多有諸天，今此[1]日月雖有大如意足，有大威德，有大福祐，有大威神，然其光明故不及諸天光明也。我昔曾與諸天共集，共彼論事，我之所說，可彼天意，然我不作是說，彼妙色最妙色，彼色最勝，彼色最上，*迦旃，而汝於螢火蟲光色最弊最醜，說彼妙色最妙色，彼色最勝，彼色最上，問已不知。於是，異學鞞摩那修為世尊面訶責[2]已，內懷憂慼，低頭默然，失辯無言，如有所伺。」

[T1.787a15] 於是，世尊面訶*責已，復令[3]歡悅[4]，告曰：「*迦旃，有五欲功德，可喜、意、令樂[5]欲相應樂，眼知色，耳知聲，鼻知香，舌知味，身知觸，觸，*迦旃，色或有愛者，或不愛者。若有一人，彼於此色可意、稱意、樂意、足意、滿願意，彼於餘色雖最上、最勝，而不欲、不思、不願、不求，彼於此色最勝、最上，*迦旃，如是聲、香、味、觸[6]，*迦旃，觸或有愛者，或不愛者。若有一人，彼於此觸可意、稱意、樂意、足意、滿願意，彼於餘觸雖最上、最勝，而不欲、不思、不願、不求，彼於此觸最勝、最上。」

[T1.787a26] 於是，異學鞞摩那修叉手向佛，白曰：「瞿曇！甚奇，甚特，沙門瞿曇為我無量方便說欲樂、欲樂第一，瞿曇！猶如因草火燃木火，因木火燃草火，如是沙門瞿曇為我無量方便說欲樂、欲樂第一。」

[T1.787b01] 世尊告曰：「止，止，*迦旃，汝長夜異見、異忍、異樂、異欲、異意故，不得盡知我所說義，*迦旃，謂我弟子初夜後夜常不眠臥，正定正意，修習道品，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，彼盡知我所說。」

[T1.787b06] 於是，異學鞞摩那修向佛瞋恚，生憎嫉、不可，欲誣謗世尊！欲墮世尊！如是誣謗世尊！如是墮世尊！語曰：「瞿曇！有沙門、梵志，不知世前際，不知世後際，不知無窮生死，而記說得究竟智，生已盡，梵行已立，所作

---

[1] 此＝依【聖】
[2] 責＝嘖【聖】
[3] （欲）＋令【宋】【元】【明】【聖】
[4] 悅＝喜【宋】【元】【明】【聖】
[5] 令樂＝念愛【宋】【元】【明】【聖】
[6]〔觸〕－【宋】【元】【明】

已辦，不更受有，知如真，瞿曇！我如是念。云何此沙門、梵志，不知世前際，亦不知世後際，不知無窮生死，而記說得究竟智，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真耶？」

[T1.787b15] 於是，世尊便作是念：「此異學鞞摩那修向我瞋恚，生憎嫉、不可，欲誣謗我，欲墮於我，如是誣謗我，如是墮我，而語我曰：『瞿曇！有一沙門梵志，不知世前際，不知世後際，不知無窮生死，而記說得究竟智，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，瞿曇！』我作是念：『云何此沙門、梵志，不知世前際，不知世後際，不知無窮生死，而記說得究竟智，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真耶？』」

[T1.787b24] 世尊知已，告曰：「*迦旃。若有沙門、梵志，不知世前際，不知世後際，不知無窮生死，而記說得究竟智，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真者，彼應如是說，置世前際，置世後際，*迦旃，我如是說，置世前際，置世後際，設不憶一生，我弟子比丘來，不諛[1]諂、無欺誑、質直，我教化之，若隨我教化，如是行者，必得知正法，*迦旃，猶如嬰孩[2]童子，少年柔軟，仰向臥，父母縛彼手足，彼於後轉大，諸根成就，父母解彼手足，彼唯憶解縛[3]時，不憶縛時也。如是，*迦旃，我如是說，置世前際，置世後際，設令不憶一生，我弟子比丘來，不*諛諂、不欺誑、質直，我教化之，若隨我教化，如是行者，必得知正法，*迦旃，譬若因油因炷而燃燈也。無人益油，亦不易炷者，前油已盡，後不更益，無所受已，自速滅也。如是，*迦旃，我如是說，置世前際，置世後際，設令不憶一生，我弟子比丘來，不*諛諂、不欺誑、質直，我教化之，若隨我教化，如是行者，必得知正法，*迦旃，猶如十木聚，二十、三十、四十、五十、六十木聚，以火燒之，洞[4]然俱熾，遂見火焰[5]，後[6]無有人更益草、木、糠、糞掃者，前薪已盡，後不更益，無所受已，自速滅也。如是，*迦旃，我如是說，置世前際，置世後際，設令不憶一生，我弟子比丘來，不*諛諂、不欺誑、質直，我教化之，若隨我教化，如是行者，必得知正法。」

[T1.787c23] 說此法時，異學鞞摩那修遠塵離垢，諸法法[7]眼生。於是，異學鞞摩那修見法得法，覺白淨法，更無餘尊，不復由他，斷疑度惑，無有猶豫，已住果證，於世尊法得無所畏，稽首佛足，白曰：「世尊！願得從佛出家學道，受具足，得比丘，行梵行。」

---

[1] [諛>諛]＝諭【聖】
[2] 嬰孩＝嚶咳【聖】
[3]〔縛〕－【宋】【元】【明】
[4] 洞＝炯【宋】【元】【明】，＝同【聖】
[5] 焰＝[火*僉]【聖】
[6] 後＝彼【宋】【元】【明】【聖】
[7]〔法〕－【聖】

[T1.787c29] 世尊告曰：「善哉[1]，比丘行梵行也。」

[T1.787c29] 異學從佛得出家學道，即受具足，得比丘，行梵行，尊者鞞摩那修出家學道，受具足已，知法見法，乃至得阿羅訶[2]。」

[T1.788a03] 佛說如是，尊者鞞摩那修及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.788a06]鞞摩那修經第八竟[3] (二千一百四十七字[4])，

中阿*含經卷第五十七 (八千七百八十四字[5]) (第五後誦[6])

中阿含經

卷第五十八 (Ma.210~211)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

（二一○）晡利多品

(Ma.210)法樂比丘尼經[7] 第九 (第五後誦)[8]

[T1.788a16] 我聞如是。

[T1.788a16] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.788a17] 爾時，毘舍佉優婆夷[9]往詣法樂比丘尼[1]所，稽首禮足，却坐一面，白法樂比丘尼曰：「賢聖，欲有所問，聽我問耶？」

---

[1] 哉＝來【宋】【元】【明】【聖】
[2] 訶＝漢【宋】【元】【明】
[3]〔鞞摩…竟〕－【明】【聖】
[4]〔二千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[5]〔八千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[6]〔第五後誦〕－【明】【聖】，＋（光明皇后願文）【聖】
[7] ～M. 44. Cūḷa Vedalla sutta. (有明小經)
[8]〔第五後誦〕－【明】
[9] [>毘舍佉優婆夷]～Visākha upāsaka.(毘舍佉優婆塞)

[T1.788a19] 法樂比丘尼答曰：「毘舍佉，欲問便問，我聞已當思。」

[T1.788a21] 毗舍佉優婆夷便問曰：「賢聖，自身，說自身。云何為自身耶？」

[T1.788a22] 法樂比丘尼答曰：「世尊說五盛陰，自身色盛陰，覺、想、行、識盛陰，是謂世尊說五盛陰。」

[T1.788a24] 毗舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毗舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.788a26] 復問曰：「賢聖。云何為自身見耶？」

[T1.788a26] 法樂比丘尼答曰：「不多聞愚癡凡夫不見善知識，不知聖法，不御聖法，彼[2]見色是神，見神有色，見神中有色，見色中有神也。見覺、想、行、識是神，見神有識，見神中有識，見識中有神也。是謂自身見也。」

[T1.788b02] 毗舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毗舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.788b04] 復問曰：「賢聖。云何無身見耶？」

[T1.788b05] 法樂比丘尼答曰：「多聞聖弟子見善知識，知聖法，善御聖法，彼不見色是神，不見神有色，不見神中有色，不見色中有神也。不見覺、想、行、識是神，不見神有識，不見神中有識，不見識中有神也。是謂無身見也。」

[T1.788b10] 毗舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毘舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.788b11] 復問曰：「賢聖。云何滅自身耶？」

[T1.788b12] 法樂比丘尼答曰：「色盛陰斷無餘，捨、吐、盡、不染、滅、息、沒也。覺、想、行、識盛陰斷無餘，捨、吐、盡、不染、滅、息、沒也。是謂自身滅。」

[T1.788b15] 毗舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖，毗舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.788b17] 復問曰：「賢聖，陰說陰盛，陰說盛陰，陰即是盛陰，盛陰即是陰耶？為陰異、盛陰異耶？

---

[1] [>法樂比丘尼]～Dhammadinnā bhikkhunī.
[2] 彼＋（彼）【宋】【聖】

[T1.788b19] 法樂比丘尼答曰：「或陰即是盛陰，或陰非盛陰。云何陰即是盛陰，若色有漏有受，覺、想、行、識有漏有受，是謂陰即是盛陰。云何陰非盛陰，色無漏無受，覺、想、行、識無漏無受，是謂陰非盛陰，

[T1.788b23] 毗舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毗舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.788b25] 復問曰：「賢聖。云何八支[1]聖道耶？」

[T1.788b25] 法樂比丘尼答曰：「八*支聖道者，正見，乃至正定，是謂為八，是謂八*支聖道。」

[T1.788b27] 毗舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毗舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.788b29] 復問曰：「賢聖，八*支聖道有為耶？」

[T1.788c01] 法樂比丘尼答曰：「如是八*支聖道有為也。」

[T1.788c02] 毗舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毗舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.788c04] 復問曰：「賢聖，有幾聚耶？」

[T1.788c04] 法樂比丘尼答曰：「有三聚，戒聚、定聚、慧聚。」

[T1.788c05] 毗舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毗舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.788c07] 復問曰：「賢聖，八*支聖道攝三聚，為三聚攝八*支聖道耶？」

[T1.788c08] 法樂比丘尼答曰：「非八*支聖道攝三聚，三聚攝八*支聖道，正語、正業、正命，此三道*支聖戒聚所攝，正念、正定、此二道*支聖定聚所攝，正見、正志、正方便，此三道*支聖慧聚所攝，是謂非八*支聖道攝三聚，三聚攝八*支聖道。」

[T1.788c14] 毗舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毗舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.788c15] 復問曰：「賢聖，滅有對耶？」

---

[1] 支＝枝【宋】【聖】＊

[T1.788c16] 法樂比丘尼答曰：「滅無對也。」

[T1.788c17] 毗舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毗舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.788c18] 復問曰：「賢聖，初禪有幾*支耶？」

[T1.788c19] 法樂比丘尼答曰：「初禪有五*支，覺、觀、喜、樂、一心，是謂初禪有五*支。」

[T1.788c21] 毗舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毗舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.788c22] 復問曰：「賢聖。云何斷。云何定相。云何定力。云何定功。云何修定耶？」

[T1.788c24] 法樂比丘尼答曰：「若善心得一者，是謂定也。四念處，是謂定相也。四正斷，是謂定力也。四如意足，是謂定功也。若習此諸善法服[1]，數數專修精勤者，是謂定修[2]也。」

[T1.788c28] 毗舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毘舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.789a01] 復問曰：「賢聖，有幾法生身死已，身棄塚間，如木無情？」

[T1.789a02] 法樂比丘尼答曰：「有三法生身死已，身棄塚間，如木無情。云何為三？一者壽，二者暖，三者識，是謂三法生身死已，身棄塚間，如木無情。」

[T1.789a05] 毘舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毘舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.789a07] 復問曰：「賢聖，若死及入滅盡定者，有何差別？」

[T1.789a08] 法樂比丘尼答曰：「死者壽命滅訖，溫暖已去，諸根敗壞，比丘入滅盡定者壽不滅訖，暖亦不去，諸根不敗壞，若死及入滅盡定者，是謂差別。」

[T1.789a11] 毘舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毘舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

---

[1]〔服〕－【元】【明】
[2] 定修＝修定【宋】【元】【明】【聖】

[T1.789a13] 復問曰：「賢聖，若入滅盡定及入無想定者，有何差別？」

[T1.789a15] 法樂比丘尼答曰：「比丘入滅盡定者，想及知滅，入無想定者，想知不滅，若入滅盡定及入無想定者，是謂差別。」

[T1.789a17] 毘舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毘舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.789a19] 復問曰：「賢聖，若從滅盡定起及從無想定起者，有何差別？」

[T1.789a20] 法樂比丘尼答曰：「比丘從滅盡定起時，不作是念：我從滅盡定起，比丘從無想定起時，作如是念，我為有想，我為無想，若從滅盡定起及從無想定起者，是謂差別。」

[T1.789a24] 毘舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毘舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.789a26] 復問曰：「賢聖，比丘入滅盡定時，作如是念，我入滅盡定耶？」

[T1.789a27] 法樂比丘尼答曰：「比丘入滅盡定時，不作是念：我入滅盡定，然本如是修習心，以是故如是趣向。」

[T1.789b01] 毘舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖，毘舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。」

[T1.789b02] 復問曰：「賢聖，比丘從滅盡定起，作如是念，我從滅盡定起耶？

[T1.789b04] 法樂比丘尼答曰：「比丘從滅盡定起時，不作是念：我從滅盡定起，然因此身及六處緣命根。是故從定起。」

[T1.789b07] 毘舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毘舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.789b08] 復問曰：「賢聖，比丘從滅盡定起已，心何所樂，何所趣，何所順耶？」

[T1.789b10] 法樂比丘尼答曰：「比丘從滅盡定起已，心樂離、趣離、順離，

[T1.789b11] 毘舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毘舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.789b13] 復問曰：「賢聖，有[1]幾覺耶？」

[T1.789b14] 法樂比丘尼答曰：「有三覺，樂覺、苦覺、不苦不樂覺，此何緣有耶[2]，緣更樂有。」

[T1.789b15] 毘舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毘舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.789b17] 復問曰：「賢聖。云何樂覺。云何苦覺。云何不苦不樂覺耶？」

[T1.789b18] 法樂比丘尼答曰：「若樂更樂所觸生，身心樂善覺，是覺謂樂覺也。若苦更樂所觸生，身心苦不善覺，是覺謂苦覺也。若不苦不樂更樂所觸[3]生，身心不苦不樂，非善非不善覺，是覺謂不苦不樂覺。」

[T1.789b23] 毘舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毘舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.789b25] 復問曰：「賢聖，樂覺者。云何樂。云何苦。云何無常。云何災患。云何使耶？苦覺者。云何樂。云何苦。云何無常。云何災患。云何使耶？不苦不樂覺者。云何樂。云何苦。云何無常。云何災[4]患。云何使耶？」

[T1.789b29] 法樂比丘尼答曰：「樂覺者，生樂住樂，變易苦，無常者即是災患，欲使也。苦覺者，生苦住苦，變易樂，無常者即是災患，恚使也。不苦不樂覺者，不知苦、不知樂，無常者即是變易，無明使也。」

[T1.789c05] 毘舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毘舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.789c07] 復問曰：「賢聖，一切樂覺欲使耶？一切苦覺恚使耶？一切不苦不樂覺無明使耶？」

[T1.789c09] 法樂比丘尼答曰：「非一切樂覺欲使也。非一切苦覺恚使也。非一切不苦不樂覺無明使也。云何樂覺非欲使耶？若比丘離欲、離惡不善之法，有覺、有觀，離生喜、樂，得初禪成就遊，是謂樂覺非欲使也。所以者何？此斷欲故。云何苦覺非恚使耶？若求上解脫樂，求願悒悒[5]生憂苦，是謂苦覺非恚使

---

[1]〔有〕－【聖】
[2] 耶＝也【聖】
[3] 觸＝獨【聖】
[4] 災＝不【聖】
[5] 悒悒＝邑邑【宋】【聖】

也。所以者何？此斷恚故。云何不苦不樂覺非無明使耶？樂滅、苦滅，喜、憂[1]本已滅，不苦不樂、捨、念、清淨，得第四禪成就遊，是謂不苦不樂覺非無明使也。所以者何？此斷無明故。」

[T1.789c20] 毗舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毗舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.789c22] 復問曰：「賢聖，樂覺者有何對耶？」

[T1.789c22] 法樂比丘尼答曰：「樂覺者以苦覺為對。」

[T1.789c23] 毗舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖，毗舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.789c25] 復問曰：「賢聖，苦覺者有何對耶？」

[T1.789c26] 法樂比丘尼答曰：「苦覺者以樂覺為對，

[T1.789c27] 毘舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毘舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.789c29] 復問曰：「賢聖，樂覺苦覺者有何對耶？」

[T1.789c29] 法樂比丘尼答曰：「樂覺苦覺者以不苦不樂為對，

[T1.790a02] 毘舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毘舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.790a03] 復問曰：「賢聖，不苦不樂覺者有何對耶？」

[T1.790a04] 法樂比丘尼答曰：「不苦不樂覺者以無明為對。」

[T1.790a05] 毘舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毘舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.790a07] 復問曰：「賢聖，無明者有何對耶？」

[T1.790a08] 法樂比丘尼答曰：「無明者以明為對。」

---

[1] 喜憂＝憂喜【宋】【元】【明】

[T1.790a09] 毘舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毘舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.790a11] 復問曰：「賢聖，明者有何對耶？」

[T1.790a11] 法樂比丘尼答曰：「明者以涅槃為對。」

[T1.790a12] 毘舍佉優婆夷聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢聖。」毘舍佉優婆夷歎已，歡喜奉行。

[T1.790a14] 復問曰：「聖賢[1]，涅槃者有何對耶？」

[T1.790a15] 法樂比丘尼告曰：「君欲問無窮事，然君問事不能得窮我邊也。涅槃者，無對也。涅槃者，以無羂[2]過、*羂*羂滅訖，以此義故，從世尊行梵行。」

[T1.790a18] 於是，毘舍佉優婆夷聞法樂比丘尼所說，善受善持，善誦習已，即從坐[3]起，稽首禮法樂比丘尼足，繞三匝而去。

[T1.790a21] 於是，法樂比丘尼見毘舍佉優婆夷去後不久，往詣佛所，稽首佛足，却坐[4]一面，與毘舍佉優婆夷所共論者，盡向佛說，叉手向佛，白曰：「世尊！我如是說、如是答，非為誣謗世尊耶？說真實、說如法、說法次法耶？於如法中，非有相違、有諍、有咎耶？」

[T1.790a27] 世尊答曰：「比丘尼，汝如是說、如是答，不誣謗我，汝說真實，說如法、說法次法，於如法中而不相違，無諍咎[5]也。比丘尼，若毘舍佉優婆夷以此句、以此文來問我者，我為毘舍佉優婆夷亦以此義、以此句、以此文而答彼也。比丘尼，此義如汝所說，汝當如是持。所以者何？此說即是義故。」

[T1.790b04] 佛說如是，法樂比丘尼及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.790b07]法樂比丘尼經第九竟[6](三千四十九字[7])，

（二一一）中阿*含[1]晡利多品

---

[1] 聖賢＝賢聖【宋】【元】【明】【聖】
[2] 羂＝[糸*胃]【宋】【聖】＊，＝緯【元】【明】＊
[3] 坐＝座【宋】【元】【明】
[4] 坐＝住【宋】【元】
[5] （無）＋[[咎-人+卜]>咎]【宋】【元】【明】
[6]〔法樂…竟〕－【明】
[7]〔三千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】

(Ma.211)大拘絺羅經 第十 [2](第五後誦 [3])

[T1.790b10] 我聞如是。

[T1.790b10] 一時，佛遊王舍城，在竹林迦 [4]蘭哆 [5]園。

[T1.790b11] 爾時，尊者舍黎子 [6]則於晡時從燕 [7]坐起，往詣尊者大拘絺羅 [8]所，共相問訊，却坐一面。

[T1.790b13] 尊者舍 [9]*黎子語曰：「賢者拘絺羅，欲有所問，聽我問耶？」

[T1.790b14] 尊者大拘絺羅白曰：「尊者舍*黎子，欲問便問，我聞已當思。」

[T1.790b16] 尊者舍*黎子問曰：「賢者拘絺羅，不善者說不善，不善根者說不善根，何者不善，何者不善根耶？」

[T1.790b18] 尊者大拘絺羅答曰：「身惡行，口、意惡行，是不善也。貪、恚、癡，是不善根也。是謂不善，是謂不善根。」

[T1.790b20] 尊者舍聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.790b22] 復問曰：「賢者拘絺羅，善者說善，善根者說善根，何者為善，何者善 [10]根耶？」

[T1.790b24] 尊者大拘絺羅答曰：「身妙行，口、意妙行，是善也。不貪、不恚、不癡，是善根也。是謂為善，是謂善根。」

[T1.790b26] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

---

[1]〔中阿含〕－【明】
[2] ～M. 43. (Mahā)Vedalla sutta. (有明大經)，《雜阿含 251 經》(大正 2.60b)、《雜阿含 344 經》(大正 2.94b)
[3]〔第五後誦〕－【明】
[4] 迦＝加【宋】【元】【聖】
[5] 哆＝陀【宋】
[6] 黎子＝利弗【宋】＊【元】＊【明】＊，＝梨子【聖】＊
[7] 燕＝宴【宋】【元】【明】
[8] [>大拘絺羅]～Mahākoṭṭhita.
[9] [>舍黎子]～Sāriputta.
[10] （為）＋善【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.790b28] 復問曰：「賢者拘絺羅，智慧者說智慧，何者智慧？」

[T1.790b29] 尊者大拘絺羅答曰：「知如[1]是故說智慧，知何等耶？知此苦如真，知此苦習[2]、知此苦滅、知此苦滅道如真，知*如是故說智慧。」

[T1.790c03] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.790c04] 復問曰：「賢者拘絺羅，識者說識，何者識耶？」

[T1.790c06] 尊者大拘絺羅答曰：「識識[3]是故說識，識何等耶？識色，識聲、香、味、觸、法，識識是故說識。」

[T1.790c08] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.790c09] 復問曰：「賢者拘絺羅，智慧及識，此二法為合為別，此二法可得別施設耶？」

[T1.790c11] 尊者大拘絺羅答曰：「此二法合不別，此二法不可別施設。所以者何？智慧所知，即是識所識。是故此二法合不別，此二法不可別施設。」

[T1.790c14] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.790c16] 復問曰：「賢者拘絺羅，知者汝以何等知？」

[T1.790c17] 尊者大拘絺羅答曰：「知者我以智慧知。」

[T1.790c18] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.790c20] 復問曰：「賢者拘絺羅，智慧有何義，有何勝，有何功德？」

[T1.790c21] 尊者大拘絺羅答曰：「智慧者有厭[4]義、無欲義、見如真義。」

[T1.790c23] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

---

[1] 如＝知【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 習＝集【元】【明】＊
[3] 識是＝是識【聖】
[4] （有）＋厭【宋】【元】【明】

[T1.790c24] 復問曰：「賢者拘絺羅。云何正見？」

[T1.790c25] 尊者大拘絺羅答曰：「知苦如真，知苦[1]習、滅、道如真者，是謂正見。」

[T1.790c27] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.790c28] 復問曰：「賢者拘絺羅，幾因幾緣生正見耶？。

[T1.791a01] 尊者大拘絺羅答曰：「二因二緣而生正見。云何為二？一者從他聞，二者內自思惟，是謂二因二緣而生正見。」

[T1.791a03] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.791a05] 復問曰：「賢者拘絺羅，有幾支[2]攝正見，得心解脫果、慧解脫果，得心解脫功德、慧解脫功德耶？」

[T1.791a07] 尊者大拘絺羅答曰：「有五*支攝正見，得心解脫果、慧解脫果，得心解脫功德、慧解脫功德。云何為五？一者真諦所攝，二者戒所攝，三者博聞所攝，四者止所攝，五者觀所攝，是謂有五*支攝正見，得心解脫果、慧解脫果，得心解脫功德、慧解脫功德。」

[T1.791a13] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.791a15] 復問曰：「賢者拘絺羅。云何生當來有？」

[T1.791a16] 尊者大拘絺羅答曰：「愚癡凡夫無知、不多聞，無明所覆，愛結所繫，不見善知識，不知聖法，不御聖法，是謂生當來有。」

[T1.791a18] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.791a20] 復問曰：「賢者拘絺羅。云何不生當來有？」

[T1.791a21] 尊者大拘絺羅答曰：「若無明已盡，明已生者，必盡苦也。是謂不生於當來有。」

---

[1]〔苦〕－【宋】【元】【明】
[2] 支＝枝【宋】【聖】＊

[T1.791a23] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.791a25] 復問曰：「賢者拘絺羅，有幾覺耶？」

[T1.791a26] 尊者大拘絺羅答曰：「有三覺，樂覺、苦覺、不苦不樂覺，此緣何有耶？緣更樂有。」

[T1.791a27] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.791a29] 復問曰：「賢者拘絺羅，覺、想、思，此三法為合為別，此三法可別施設耶？」

[T1.791b02] 尊者大拘絺羅答曰：「覺、想、思，此三法合不別，此三法不可別施設。所以者何？覺所覺者，即是想所想，思所思。是故此三法合不別，此三法不可別施設。」

[T1.791b05] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.791b07] 復問曰：「賢者拘絺羅，滅者有何對？」

[T1.791b08] 尊者大拘絺羅答曰：「滅者無有對。」

[T1.791b09] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.791b11] 復問曰：「賢者拘絺羅，有五根異行、異境界[1]，各各受自境界，眼根，耳、鼻、舌、身根，此五根異行、異境界，各各受自境界，誰為彼盡受境界，誰為彼依耶？」

[T1.791b14] 尊者大拘絺羅答曰：「五根異行、異境界，各各自受境界，眼根，耳、鼻、舌、身根，此五根異行、異境界，各各受自境界，意為彼盡受境界，意為彼依。」

[T1.791b17] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.791b19] 復問曰：「賢者拘絺羅，意者依何住耶？」

---

[1] 五根異行異境界～Pañc' indriyāni nānāvisayāni nānāgocarāni.

[T1.791b20] 尊者大拘絺羅答曰：「意者依壽，依壽住。」

[T1.791b21] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.791b23] 復問曰：「賢者拘絺羅，壽者依何住耶？」

[T1.791b24] 尊者大拘絺羅答曰：「壽者依暖，依暖住。」

[T1.791b25] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.791b26] 復問曰：「賢者拘絺羅，壽及暖，此二法為合為別，此二法可得別施設耶？」

[T1.791b28] 尊者大拘絺羅答曰：「壽及暖，此二法合不別，此二法不可別施設。所以者何？因壽故有暖，因暖故有壽，若無壽者則無暖，無暖者則無壽，猶如因油因炷，故得燃燈，彼中因[火*僉][1]故有光，因光故有*[火*僉]，若無*[火*僉]者則無光，無光者則無*[火*僉]，如是因壽故有暖，因暖故有壽，若無壽者則無暖，無暖者則無壽。是故此二法合不別，此二法不可別施設。」

[T1.791c07] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.791c09] 復問曰：「賢者拘絺羅，有幾法生身死已，身棄塚間，如木無情？」

[T1.791c11] 尊者大拘絺羅答曰：「有三法生身死已，身棄塚間，如木無情。云何為三？一者壽，二者暖，三者識，此三法生身死已，身棄塚間，如木無情。」

[T1.791c14] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.791c16] 復問曰：「賢者拘絺羅，若死及入滅盡定者，有何差別？」

[T1.791c17] 尊者大拘絺羅答曰：「死者壽命滅訖，溫暖已去，諸根敗壞，比丘入滅盡定者，壽不滅訖，暖亦不去，諸根不敗壞，死及入滅盡定者，是謂差別。」

[T1.791c20] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

---

[1] [火*僉]＝焰【元】【明】＊

[T1.791c22] 復問曰：「賢者拘絺羅，若入滅盡定及入無想定者，有何差別？」

[T1.791c23] 尊者大拘絺羅答曰：「比丘入滅盡定者，想及知滅，比丘入無想定者，想知不滅，若入滅盡定及入無想定者，是謂差別。」

[T1.791c26] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.791c28] 復問曰：「賢者拘絺羅，若從滅盡定起及從無想定起者，有何差別？」

[T1.791c29] 尊者大拘絺羅答曰：「比丘從滅盡定起時，不如是念，我從滅盡定起，比丘從無想定起時，作如是念，我為有想，我為無想，從滅盡定起及從無想定起者，是謂差別。」

[T1.792a04] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.792a06] 復問曰：「賢者拘絺羅，比丘入滅盡定時先滅何法，為身行，為口、意行耶？」

[T1.792a08] 尊者大拘絺羅答曰：「比丘入滅盡定時，先滅身行，次滅口行，後滅意行。」

[T1.792a10] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.792a11] 復問曰：「賢者拘絺羅，比丘從滅盡定起時，先生何法，為身行口、意行耶？」

[T1.792a13] 尊者大拘絺羅答曰：「比丘從滅盡定起時，先生意行，次生口行，後生身行。」

[T1.792a15] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已歡喜奉行。

[T1.792a17] 復問曰：「賢者拘絺羅，比丘從滅盡定起時觸幾觸？」

[T1.792a18] 尊者大拘絺羅答曰：「比丘從滅盡定起時觸三觸。云何為三？一者不移動觸，二者無所有觸，三者無相觸，比丘從滅盡定起時觸此三觸。」

[T1.792a21] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.792a23] 復問曰：「賢者拘絺羅，空、無願、無相，此三法異義、異文耶？為一義、異文耶？」

[T1.792a25] 尊者大拘絺羅答曰：「空、無願、無相，此三法異義、異文。」

[T1.792a26] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.792a28] 復問曰：「賢者拘絺羅，有幾因幾緣生不移動定耶？」

[T1.792a29] 尊者大拘絺羅答曰：「有四因四緣生不移動定。云何為四？若比丘離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊，是謂四因四緣生不移動定。」

[T1.792b03] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.792b05] 復問曰：「賢者拘絺羅，有幾因幾緣生無所有定耶？」

[T1.792b06] 尊者大拘絺羅答曰：「有三因三緣生無所有定。云何為三？若比丘度一切色想，至得無所有處成就遊，是謂有三因三緣生無所有定。」

[T1.792b09] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.792b11] 復問曰：「賢者拘絺羅，有幾因幾緣生無想定？」

[T1.792b12] 尊者大拘絺羅答曰：「有二因二緣生無想定。云何為二？一者不念一切想[1]，二者念無想界，是謂二因二緣生無想定。」

[T1.792b15] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.792b16] 復問曰：「賢者拘絺羅，有幾因幾緣住無想定耶？」

[T1.792b17] 尊者大拘絺羅答曰：「有二因二[1]緣住無想定。云何為二？一者不念一切*想，二者念無想界，是謂二因二緣住無想定。」

---

[1] 想＝相【聖】＊

[T1.792b20] 尊者舍*黎子聞已，歎曰：「 善哉！善哉！賢者拘絺羅。」尊者舍*黎子歎已，歡喜奉行。

[T1.792b22] 復問曰：「賢者拘絺羅，有幾因幾緣從無想定起？」

[T1.792b23] 尊者大拘絺羅答曰：「有三因三緣從無想定起。云何為三？一者念一切*想，二者不念無想界，三者因此身因[2]六處緣命根，是謂三因三緣，從無想定起。」

[T1.792b27] 如是，彼二尊更相稱歎善哉善哉，更互所說，歡喜奉行。從坐[3]起去。

[T1.792b29]尊者大拘絺羅經第十竟[4](三千七十五字[5])。

中阿含[6]經卷第五十八(六千一百二十四字[7])

中阿含[8]晡利多品第三竟(三萬四百四十五字[9])(第五後誦[10])，[11]

中阿含經

卷第五十九 (Ma.212~215)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯

例品第四[12] (有十一經)(第五後誦)

---

[1]〔二〕－【聖】
[2] 因＝及【宋】【元】【明】
[3] 坐＝座【宋】【元】【明】
[4]〔尊者…竟〕－【明】
[5]〔三千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[6] 卷末題品末題位置前後【宋】【元】【明】【聖】
[7]〔六千…字〕－【宋】【元】【明】
[8]〔中阿含〕－【明】
[9]〔三萬…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[10]〔第五後誦〕－【明】
[11] ＋（光明皇后願文）【聖】
[12] 四＝十八【明】

一切智、法嚴　　鞞訶、第一得
愛生、及八城　　阿那律陀二
諸見、箭與[1]喻　　比例最在後

（二一二）中阿含[2]例品

(Ma.212)一切智經 第一[3]

[T1.792c14] 我聞如是。

[T1.792c14] 一時，佛遊欝頭隨若[4]，在普棘刺林[5]。

[T1.792c15] 爾時，拘薩羅[6]王波斯匿[7]聞沙門瞿曇遊欝頭隨若，在普棘刺林，拘薩羅王波斯匿聞已，告一人曰：「汝往詣沙門瞿曇所，為我問訊聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？」作如是語：「拘薩羅王波斯匿問訊聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？又復語曰：「拘薩羅王波斯匿欲來相見。」

[T1.792c21] 彼人受教，往詣佛所，共相問訊，却坐一面，白曰：「瞿曇！拘薩羅王波斯匿問訊聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？拘薩羅王波斯匿欲來相見。」

[T1.792c25] 世尊答曰：「今拘薩羅王波斯匿安隱快樂，今天及人、阿修羅、揵塔[8]和、羅剎及餘若干身安隱快樂，拘薩羅王波斯匿若[9]欲來者，自可隨意。」彼時，使人聞佛所說，善受持誦，即從坐[10]起，繞三匝而去。」

[T1.792c29] 爾時，尊者阿難住世尊後，執拂侍佛，使人去後。於是，世尊迴顧告曰：「阿難！汝來共詣東向大屋，開窓閉戶，住彼密處，今日拘薩羅王波斯匿一心無亂，欲聽受法。」

[T1.793a04] 尊者阿難白曰：「唯然。」

---

[1] 與＝興【宋】【元】【明】
[2]〔中阿含〕－【明】
[3] ～M. 90. Kaṇṇakatthala sutta. (普棘刺林經)
[4] [>欝頭隨若]～Ujuññā.
[5] [>普棘刺林]～Kaṇṇakatthala.
[6] [>拘薩羅]～Kosala.
[7] [>波斯匿]～Pasenadi.
[8] 塔＝沓【宋】＊【元】＊【明】＊
[9]〔若〕－【宋】【元】【明】
[10] 坐＝座【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.793a05] 於是，世尊將尊者阿難至彼東向大屋，開窓閉戶，密處布座，敷尼師檀[1]，結跏趺坐。

[T1.793a07] 彼時，使人還詣拘薩羅王波斯匿所，白曰：「天王，我已通沙門瞿曇！沙門瞿曇今待天王，唯願天王自當知時。」

[T1.793a09] 拘薩羅王波斯匿告御者曰：「汝可嚴駕，我今欲往見沙門瞿曇！」御者受教，即便嚴駕。

[T1.793a11] 爾時，賢[2]及月[3]姊妹與拘薩羅王波斯匿共坐食時，聞今日拘薩羅王波斯匿當往見佛，白曰：「大王，若今往見世尊者，願為我等稽首世尊！問訊聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？」作如是語：「賢及月姊妹稽首世尊！問訊聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？」拘薩羅王波斯匿為賢及月姊妹默然而受。」

[T1.793a18] 彼時，御者嚴駕已訖，白曰：「天王，嚴駕已辦，隨天王意。」

[T1.793a20] 時，王聞已，即便乘車，從欝頭隨若出，往至普棘刺林。

[T1.793a21] 爾時，普棘刺林門外眾多比丘露地經行，拘薩羅王波斯匿往詣諸比丘所，問曰：「諸賢！沙門瞿曇今在何處，我欲往見。」

[T1.793a24] 諸比丘答曰：「大王，彼東向大屋開窓閉戶，世尊在中[4]，大王欲見者，可詣彼屋，在外住已，聲欬敲戶，世尊聞者，必為開戶。」

[T1.793a26] 拘薩羅王波斯匿即便下車，眷屬圍繞，步往至彼東向大屋，到已住外，聲欬敲戶，世尊聞已，即為開戶，拘薩羅王波斯匿便入彼屋，前詣佛所，白曰：「瞿曇！賢及月姊妹稽首世尊！問訊聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？」

[T1.793b02] 世尊問王：「賢及月姊妹更無人使耶？」

[T1.793b03] 拘薩羅王波斯匿白曰：「瞿曇！當知今日賢及月姊妹我共坐食，聞我今當欲往見佛，便白曰：「大王，若往見佛者，當為我等稽首世尊！問訊聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？故如是白世尊！賢及月姊妹稽首世

---

[1] 檀＝壇【宋】【元】【明】
[2] 賢～Sakulā.
[3] 月～Somā.
[4] 在中＝中在【聖】

尊！問訊聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？瞿曇！彼賢及月[1]稽首世尊！問訊聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？」

[T1.793b11] 世尊答曰：「大王，今賢及月姊妹安隱快樂，今天及人、阿修羅、揵*塔和、羅剎及餘若干身安隱快樂。」

[T1.793b14] 於是，拘薩羅王波斯匿與佛共相問訊，却坐一面，白曰：「瞿曇！我欲有所問，聽乃敢陳？」

[T1.793b16] 世尊告曰：「大王，欲問者，恣意所問。」

[T1.793b16] 拘薩羅王波斯匿便問曰：「瞿曇！我聞沙門瞿曇作如是說，本無，當不有，今現亦無若有餘沙門、梵志一切知、一切見者，瞿曇！憶如是說耶？」

[T1.793b20] 世尊答曰：「大王，我不憶作如是說，本無，當不有，今現亦無若有餘沙門、梵志一切知[2]、一切見者。」

[T1.793b22] 爾時，鞞留羅大將住在拘薩羅王波斯匿後，執拂拂王[3]，於是拘薩羅王波斯匿迴[4]顧告鞞留羅[5]大將曰：「前[6]日王共大眾坐，誰最前說沙門瞿曇作如是說，本無，當不有，今現亦無若有餘沙門、梵志一切知、一切見者。」

[T1.793b27] 鞞留羅大將答曰：「天王，有想年少吉祥子[7]前作是說。」

[T1.793b28] 拘薩羅王波斯匿聞已，告一人曰：「汝往至想年少吉祥子所，作如是語『拘薩羅王波斯匿呼汝。』」

[T1.793c01] 彼人受教，即往想年少吉祥子所，作如是語：「年少，拘薩羅王波斯匿呼汝。」

[T1.793c03] 彼人去後。於是，拘薩羅王波斯匿白世尊曰：「沙門瞿曇！頗有異說異受，沙門瞿曇憶所說耶？」

[T1.793c05] 世尊答曰：「大王，我憶曾如是說，本無，當不有，今現亦無若有餘沙門、梵志一時知一切，一時見一切，大王，我憶如是說也。」

---

[1] 月＋（姊妹）【宋】【元】【明】
[2] 〔一切知〕－【聖】
[3] 拂王＝侍王【聖】
[4] 迴＝佪【宋】【元】【聖】
[5] [>鞞留羅]～Viḍūḍabha.
[6] 前＝先【聖】
[7] 想年少吉祥子～Sañjaya brahmaṇa ākāsagotta.

[T1.793c08] 拘薩羅王波斯匿聞已，歎曰：「沙門瞿曇所說如師，沙門瞿曇所說如善師，欲更有所問，聽我問耶？」

[T1.793c10] 世尊告曰：「大王，欲問，恣意所問。」

[T1.793c11] 拘薩羅王波斯匿問曰：「瞿曇！此有四種，剎利、梵志、居士、工師，為有勝如、有差別耶？」

[T1.793c13] 世尊答曰：「此有四種，剎利、梵志、居士、工師，此有勝如、有差別也。剎利、梵志種，此於人間為最上德，居士、工師種，此於人間為下德也。此有四種，剎利、梵志、居士、工師，是謂勝如、是謂差別。」

[T1.793c17] 拘薩羅王波斯匿聞已，歎曰：「沙門瞿曇所說如師，沙門瞿曇所說如善師。」

[T1.793c19] 拘薩羅王波斯匿白曰：「瞿曇！我不但問於現世義，亦復欲問於後世義，聽我問耶？」

[T1.793c21] 世尊告曰：「大王，欲問，恣意所問。」

[T1.793c21] 拘薩羅王波斯匿問曰：「瞿曇！此有四種，剎利、梵志、居士、工師，此有勝如、有差別於後世耶？」

[T1.793c24] 世尊答曰：「此有四種，剎利、梵志、居士、工師，此有勝如、有差別謂後世也。此有四種，剎利、梵志、居士、工師，若成就此五斷支[1]，必得善師如來、無所著、正盡覺，必得可意，無不可意，亦於長夜得義饒益，安隱快樂。云何為五？多聞聖弟子信著如來，根生定立，無能奪者，謂沙門、梵志、天及魔、梵及餘世間，是謂第一斷*支。復次，大王，多聞聖弟子少病無病，成就等食道，不熱不冷，正樂不諍，謂食飲消、正安隱消，是謂第二斷*支。復次，大王，多聞聖弟子無諂無誑、質直，現如真世尊及諸梵行，是謂第三斷*支。」

[T1.794a06]「復次，大王，多聞聖弟子常行精進，斷惡不善，修諸善法，恒自起意，專一堅固，為諸善本，不捨方便，是謂第四斷*支。復次，大王，多聞聖弟子修行智慧，觀興[2]衰法，得如此智，聖慧明達，分別曉了，以正盡苦，是謂第五斷*支，此有四種，剎利、梵志、居士、工師，彼若成就此五斷*支，必得善

[1] 支＝枝【宋】【聖】＊
[2] 興＝與【聖】

師如來、無所著、正盡覺，必得可意，無不可意，亦於長夜得義饒益，安隱快樂，此[1]有四種，剎利、梵志、居士、工師，是謂勝如、是謂差別於後世也。」

[T1.794a16] 拘薩羅王波斯匿聞已，歎曰：「沙門瞿曇所說如師，沙門瞿曇所說如善師，欲更有所問，聽我問耶？」

[T1.794a19] 世尊告曰：「大王，欲問，恣意所問。」

[T1.794a19] 拘薩羅王波斯匿問曰：「瞿曇！此有四種，剎利、梵志、居士、工師，此有勝如、此有差別於斷行耶？」

[T1.794a21] 世尊答曰：「此有四種，剎利、梵志、居士、工師，此有勝如、此有差別於斷行也。大王，於意云何？若信者所斷，是不信斷者，終無是處，若少病者所斷，是多病斷者，終無是處，若不諂不誑者所斷，是諂誑[2]斷者，終無是處，若精勤者所斷，是懈怠斷者，終無是處，若智慧者所斷，是惡慧斷者，終無是處。」

[T1.794a28]「猶如四御，象御、馬御、牛御、人御，彼中二御不可調、不可御，二御可調、可御，大王，於意云何？若此二御不可調、不可御，彼[3]來調地、御地，受御事者，終無是處，若彼二御可調、可御，來至調地、御地，受御事者，必有是處。如是，大王，於意云何？若信者所斷，是不信斷耶？終無是處，若少病者所斷，是多病斷耶？終無是處，若不諂不誑者所斷，是諂誑斷耶？終無是處，若精勤者所斷，是懈怠斷耶？終無是處，若智慧者所斷，是惡慧斷耶？終無是處，如是此四種，剎利、梵志、居士、工師，是謂勝如、是謂差別於斷行也。」

[T1.794b11] 拘薩羅王波斯匿聞已，歎曰：「沙門瞿曇所說如師，沙門瞿曇所說如善師，欲更有所問，聽我問耶？」

[T1.794b13] 世尊答曰：「大王，欲問，恣意所問。」

[T1.794b14] 拘薩羅王波斯匿[4]問曰：「瞿曇！此有四種，剎利、梵志、居士、工師，此有勝如、此有差別，謂斷耶？」

[T1.794b16] 世尊答曰：「此有四種，剎利、梵志、居士、工師，彼等等斷，無有勝如、無有差別於斷也。大王，猶如東方剎利童子來，彼取乾[5]娑羅木作火

---

[1] 此＝自【聖】
[2] 諂誑＝誑諂【宋】【元】【明】【聖】
[3]　（若）＋彼【宋】【元】【明】
[4] 匿＋（王）【聖】
[5] 乾＝千【聖】＊

母，攢[1]攢生火，南方梵志童子來，彼取*乾娑羅[2]木作火母，*鑽攢生火，西方居士童子來，彼取*乾栴檀木作火母，*鑽攢生火，北方工師童子來，彼取*乾鉢投摩木作火母，*鑽攢生火，大王，於意云何？謂彼若干種人[3]持若干種木作火母，*鑽攢生火，彼中或有人著燥草木，生烟、生焰[4]、生色，大王，於烟烟、*焰*焰、色色說何等差別耶？」

[T1.794b27] 拘薩羅王波斯匿答曰：「瞿曇！謂彼若干種人取若干種[5]木作火母，[＊][擯擯>攢攢]生火，彼中或有人著燥草木，生烟、生*焰、生色，瞿曇！我不說烟烟、*焰*焰、色色有差別也。」

[T1.794c02] 如是，大王，此有四種，剎利、梵志、居士、工師，彼一切等等斷，無有勝如、無有差別於斷也。」

[T1.794c04] 拘薩羅王波斯匿聞已，歎曰：「沙門瞿曇所說如師，沙門瞿曇所說如善師，欲更有所問，聽我問耶？」

[T1.794c06] 世尊告曰：「大王，欲問，恣意所問。」

[T1.794c07] 拘薩羅王波斯匿問曰：「瞿曇！有天耶？」

[T1.794c08] 世尊問曰：「大王，何意問有天耶？」

[T1.794c09] 拘薩羅王波斯匿答曰：「瞿曇。若有天有諍、樂諍者，彼應來此間。若有天無諍、不樂諍者，不應來此間。」

[T1.794c11] 爾時，鞞留羅大將住在拘薩羅王波斯匿後，執拂拂王，鞞留羅大將白曰：「瞿曇。若有天無諍、不樂諍者不來此間，且置彼天。若有天[6]諍、樂諍來此間者，沙門瞿曇必說彼天福勝、梵行勝，此天得自在退彼天、遣彼天也。」

[T1.794c16] 是時，尊者阿難在世尊後，執拂侍佛。於是，尊者阿難作是念：「此鞞留羅大將是拘薩羅王波斯匿子，我是世尊子，今正是時，子子共論。」

[T1.794c19] 於是，尊者阿難語鞞留羅大將曰：「我欲問汝，隨所解答，大將，於意云何？拘[波>薩]羅王[欻>波]斯匿所有境界，教令所及，拘薩羅王波斯匿福勝、梵行勝故，寧得自在退去、遣去耶？」

---

[1] 攢＝鑽【元】【明】＊
[2] [>娑羅]～Sāla.
[3] 人＋（人）【宋】【元】【明】
[4] 焰＝[火*僉]【聖】＊
[5] 種〕－【宋】【元】【明】
[6] 天＋（有）【宋】【元】【明】

[T1.794c23] 鞞留羅大將答曰：「沙門，若拘薩羅王波斯匿所有境界，教令所及，拘薩羅王波斯匿福勝、梵行勝故，得自在退去、遣去也。」

[T1.794c26]「大[1]將，於意云何？若非拘薩羅王波斯匿境界，教令所不及，拘薩羅王波斯匿福勝、梵行勝故，意得自在退彼、遣彼耶？」

[T1.794c29] 鞞留羅大將答曰：「沙門，若非拘薩羅王波斯匿境界，教令所不及，拘薩羅王波斯匿福勝、梵行勝故，不得自在退彼、遣彼也。」

[T1.795a03] 尊者阿難復問曰：「大將，頗聞有三十三天[2]耶？」

[T1.795a04] 鞞留羅大將答曰：「我拘薩羅王波斯匿遊戲時，聞有三十三天。」

[T1.795a05]「大將，於意云何？拘薩羅王波斯匿福勝、梵行勝故，寧得自在退彼三十三天，遣彼三十三天耶？」

[T1.795a08] 鞞留羅大將答曰：「沙門，拘薩羅王波斯匿尚不能得見三十三天，況復退遣耶？退遣彼三十三天者，終無是處。」

[T1.795a10]「如是，大將。若有天無諍、不樂諍不來此間者，此天福勝、梵行勝。若有此天諍、樂諍來此間者，此天於彼天尚不能得見，況復天天遣退[3]耶？若退遣彼者，終無是處。」

[T1.795a14] 於是，拘薩羅王波斯匿問曰：「瞿曇！此沙門名何等耶？」

[T1.795a15] 世尊答曰：「大王，此比丘名阿難！是我侍者。」

[T1.795a16] 拘薩羅王波斯匿聞已，歎曰：「阿難所說如師，阿難所說如善師，欲更有所問，聽我問耶？」

[T1.795a18] 世尊告曰：「大王，欲問，恣意所問。」

[T1.795a19] 拘薩羅王波斯匿問曰：「瞿曇！頗有梵耶？」

[T1.795a20] 世尊問曰：「大王，何意問有梵耶？大王，若我施設有梵，彼梵清淨。」

---

[1] （復問）＋大【明】

[2] 三十三天～Tāvatiṁsā devā.

[3] 天天遣退＝退遣【元】【明】，＝天天退遣【宋】【聖】

[T1.795a22] 世尊與拘薩羅王波斯匿於其中間論此事時，彼使人將想年少吉祥子來還，詣拘薩羅王波斯匿所，白曰：「天王，想年少吉祥子已來在此。」

[T1.795a25] 拘薩羅王波斯匿聞已，問想年少吉祥子曰：「前日王共大眾會坐，誰最前說沙門瞿曇如是說，本無，當不有，今現亦無若有餘沙門、梵志一切知、一切見耶？」

[T1.795a28] 想年少吉祥子答曰：「天王，鞞留羅大將前說也。」

[T1.795a29] 鞞留羅大將聞已，白曰：「天王，此想年少吉祥子前說也。」

[T1.795b02] 如是彼二人更互共諍此論，於其中間彼御者即便嚴駕，至拘薩羅王波斯匿所，白曰：「天王，嚴駕已至，天王當知時。」

[T1.795b04] 拘薩羅王波斯匿聞已，白世尊曰：「我問瞿曇一切知[1]事，沙門瞿曇答我一切*知事，我問沙門瞿曇四種清淨，沙門瞿曇答我四種清淨，我問沙門瞿曇所得，沙門瞿曇答我所得，我問沙門瞿曇有梵，沙門瞿曇答我有梵，若我更問餘事者，沙門瞿曇必答我餘事，瞿曇！我今多事，欲還請辭。」

[T1.795b11] 世尊答曰：「大王，自當知時。」

[T1.795b12] 拘薩羅王波斯匿聞世尊所說，善受持誦，即從座起，繞世尊三匝而去。

[T1.795b13] 佛說如是，拘薩羅王波斯匿、尊者阿難及一切大眾聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.795b16]一切智經第一竟[2] (三千七百七十三字)[3]。

（二一三）中阿含[4]例品

[1] 知＝智【宋】＊【元】＊【明】＊
[2]〔一切…竟〕－【明】
[3]〔三千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[4]〔中阿含〕－【明】

(Ma.213)法莊嚴經 第二 [1] (第五後誦 [2])

[T1.795b19] 我聞如是。

[T1.795b19] 一時，佛遊釋中，在釋家 [3]都邑，名彌婁離 [4]。

[T1.795b20] 爾時，拘薩羅 [5]王波斯匿 [6]與長作 [7]共俱有所為故，出詣邑名城 [8]，拘薩羅王波斯匿至彼園觀，見諸樹下寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順燕 [9]坐，見已，憶念世尊！拘薩羅王波斯匿告曰：「長作，今此樹下寂無音聲，遠離，無惡，無有人民，隨順*燕坐，此處我數往見佛，長作，世尊今在何處，我欲往見。」

[T1.795b27] 長作答曰：「天王，我聞世尊遊釋中，在釋家都邑，名彌婁離。」

[T1.795b28] 拘薩羅王波斯匿復問曰：「長作，釋家都邑名彌婁離，去此幾許？」

[T1.795c01] 長作答曰：「天王，去此三拘婁舍。」

[T1.795c01] 拘薩羅王波斯匿告曰：「長作，可勅嚴駕，我欲詣佛。」

[T1.795c03] 長作受教，即勅嚴駕，白曰：「天王，嚴駕已訖，隨天王意，拘薩羅王波斯匿即昇乘出城外 [10]，往至釋家都邑，名彌婁離。」

[T1.795c05] 爾時，彌婁離門外眾多比丘露地經行，拘薩羅王波斯匿往詣諸比丘所，問曰：「諸尊，世尊今在何處晝行？」

[T1.795c08] 眾多比丘答曰：「大王，彼東向大屋，開窓閉戶，世尊今在彼中晝行，大王，欲見便往詣彼，到已住外，謦欬敲戶，世尊聞者，必為開戶。」

---

[1] ～《中部》M. 89. Dhammacetiya sutta (法莊嚴經)，《增壹阿含 38.10 經》(大正 2.724b)、No.154.《佛說生經》卷 15.子命過經(大正 3.80.)、No.91.《婆羅門子命終愛念不離經》(大正 1.915a)

[2] 〔第五後誦〕－【明】tta.

[3] [>釋家]～Sakka.

[4] 彌婁離＝珍婁離【聖】～Medaḷumpa.

[5] [>拘薩羅]～Kosala.

[6] [>波斯匿]～Pasenadi.

[7] [>長作]～Dīghakārāyana.

[8] [>邑名城]～Naṅgaraka.

[9] 燕＝宴【宋】＊【元】＊【明】＊

[10] 〔外〕－【宋】【元】【明】【聖】

[T1.795c11] 拘薩羅王波斯匿即便下車。若有王剎利頂來而得人處，教令大地，有五儀飾，劍、蓋、華鬘及珠柄拂、嚴飾之屣，彼盡脫已，授與長作，長作念曰：「天王今者必當獨入，我等應共住此待耳。」

[T1.795c15] 於是，拘薩羅王波斯匿眷屬圍遶，步往至彼東向大屋，到已住外，謦欬敲戶，世尊聞已，即為開戶，拘薩羅王波斯匿便入彼屋，前至佛所，稽首禮足，再三自稱姓[1]名：「我是拘薩羅王波斯匿，我是拘薩羅王波斯匿。」

[T1.795c20] 世尊答曰：「如是，大王，汝是拘薩羅王波斯匿，汝是拘薩羅王波斯匿。」拘薩羅王波斯匿再三自稱*姓名已，稽首佛足，却坐一面。

[T1.795c23] 世尊問曰：「大王，見我有何等義，而自下意稽首禮足，供養承事耶？」

[T1.795c24] 拘薩羅王波斯匿答曰：「世尊！我於佛而有法靖[2]，因此故，我作是念：『如來、無所著、正盡覺所說法善，世尊弟子眾善趣向也。』世尊！我坐都坐時，見母共子諍，子共母諍，父子、兄弟、姊妹、親屬展轉共諍，彼鬪諍時，母說子惡，子說母惡，父子、兄弟、姊妹、親屬相更[3]說惡，況復他人，我見世尊弟子諸比丘眾從世尊行梵行，或有比丘少多起諍，捨戒罷道，不說佛惡，不說諸[4]法[5]惡，不說眾惡，但自責[6]數，我為惡，我為無德。所以者何？以我不能從世尊自盡形壽修行梵行，是謂我於佛而有法*靖，因此故，我作是念：如來、無所著、正盡覺所說法善，世尊弟子眾善趣向也。」

[T1.796a08]「復次。世尊！我見一沙門梵志，或九月或十月，少多學行梵行，捨隨本服，復為欲所染，染欲著欲，為欲所縛，憍慢受人，不見災患，不見出要而樂行欲。世尊！我見世尊弟子諸比丘眾自盡形壽修行梵行，乃至億數，我於此外，不見如是清淨梵行，如世尊家，是謂我於佛而有法*靖，因此故，我作是念：『如來、無所著、正盡覺所說法善，世尊弟子眾善趣向也。』」

[T1.796a17]「復次。世尊！我見一沙門梵志羸瘦憔悴，形色極惡，身生白皰，人不憙見，我作是念：『此諸尊何以羸瘦憔悴，形色極惡，身生白*皰，人不憙見，此諸尊必不樂行梵行，或身有患，或屏處作惡，以是故諸尊羸瘦憔悴，形色極惡，身生白皰，人不憙見。』我往問彼：『諸尊何故羸瘦憔悴，形色極惡，身生白皰，人不憙見，諸尊不樂行梵行耶？為身有患耶？為屏處作惡耶？是故

---

[1] 姓＝性【聖】
[2] 靖＝靜【宋】＊
[3] 相更＝更相【宋】【元】【明】【聖】
[4]〔諸〕－【宋】【元】【明】
[5]〔法〕－【聖】
[6] 責＝嘖【聖】

諸尊羸瘦憔悴，形色極惡，身生白皰，人不憙見。』彼答我曰：『大王，是白病，大王，是白病。』」

[T1.796a27]「世尊！我見世尊弟子諸比丘眾樂行端*正，面色悅澤，形體淨潔，無為無求，護他妻食如鹿[1]，自盡形壽修行梵行，我見已，作是念：『此諸尊何故樂行端*正，面色悅澤，形體淨潔，無為無求，護他妻食如*鹿，自盡形壽修行梵行，此諸尊或得離欲，或得增上心，現法樂居，易不難得。』是故此諸尊樂行端正，面目[2]悅澤，形體淨潔，無為無求，護他妻食如*鹿，自盡形壽修行梵行，若行欲樂行端正者，我應樂行端正，何以故，我得五欲功德，易不難得，若此諸尊得離欲，得增上心，於現法樂居，易不難得。是故此諸尊樂行端*正，面色悅澤，形體淨潔，無為無求，護他妻食如*鹿，自盡形壽修行梵行，是謂我於佛而有法*靖，因此故，我作是念：『如來、無所著、正盡覺所說法善，世尊弟子眾善趣向也。』」

[T1.796b15]「復次。世尊！我見一沙門梵志聰明智慧，自稱聰明智慧，博聞決定，暗[3]識諸經，制伏強敵，談論覺了，名德流布，一切世間無不聞知，所遊至處壞諸見宗，輒自立論，而作是說：『我等往至沙門瞿曇所，問如是如是事，若能答者，當難詰彼，若不能答，亦難詰已，捨之而去。』彼聞世尊遊某村邑，往至佛所，尚不敢問於世尊事，況復欲難詰耶？是謂我於佛而有法*靖，因此故，我作是念：『如來、無所著、正盡覺所說法善，世尊弟子眾善趣向也。』」

[T1.796b25]「復次。世尊！我見一沙門梵志聰明智慧，自稱聰明智慧，博聞決定，*暗識諸經，制伏強敵，談論覺了，名德流布，一切世間無不聞知，所遊至處壞諸見宗，輒自立論，而作是說：『我等往至沙門瞿曇所，問如是如是事，若能答者，當難詰彼，若不能答，亦難詰已，捨之而去。』彼聞世尊遊某村邑，往至佛所，問世尊事，世尊為答，彼聞答已，便得歡喜，[4]稽首佛足，繞三匝而去，是謂我於佛而有法*靖，因此故，我作是念：『如來、無所著、正盡覺所說法善，世尊弟子眾善趣向也。』」

[T1.796c07]「 復次。世尊！我見一沙門梵志聰明智慧，自稱聰明智慧，博聞決定，暗識諸經，制伏強敵，談論覺了，名德流布，一切世間無不聞知，所遊至處壞諸見宗，輒自立論，而作是說：『我等往至沙門瞿曇所，問如是如是事，若能答者，當難詰彼，若不能答，亦難詰已，捨之而去。』彼聞世尊遊某村邑，往至佛所，問世尊事，世尊為答，彼聞答已，便得歡喜，即自歸佛、法及比丘

---

[1] 鹿＝麁【聖】＊
[2] 目＝色【宋】【元】【明】【聖】＊
[3] 暗＝闇【聖】＊
[4]〔稽首…歡喜〕百七十四字－【聖】

眾，世尊受彼為優婆塞，終身自歸，乃至命盡，是謂我於佛而有法*靖，因此故，我作是念：『如來、無所著、正盡覺所說法善，世尊弟子眾善趣向也。』」

[T1.796c19]「復次。世尊！我見一沙門梵志聰明智慧，自稱聰明智慧，博聞決定，暗識諸經，制伏強敵，談論覺了，名德流布，一切世間無不聞知，所遊至處壞諸見宗，輒自立論，而作是說：『我等往至沙門瞿曇所，問如是如是事，若能答者，當難詰彼，若不能答，亦難詰已，捨之而去。』彼聞世尊遊某村邑，往至佛所，問世尊事，世尊為答，彼聞答已，便得歡喜，即從世尊求出家學，而受具足，得比丘法，佛便度彼而授具足，得比丘法。」

[T1.796c28]「若彼諸尊出家學道而受具足，得比丘法[1]已，獨住遠離，心無放逸，修行精勤，彼獨住遠離，心無放逸，修行精勤已，若族姓子所為，剃除鬚髮，著袈[娑>裟]衣，至信、捨家、無家、學道者，唯無上梵行訖，於現法中自知自覺，自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，若彼諸尊知法已，乃至得阿羅訶[2]，得阿羅*訶已，便作是念：『諸賢，我本幾[3]了*幾失。所以者何？我本非沙門稱沙門，非梵行稱梵行，非阿羅*訶稱阿羅*訶，我等今是沙門，是梵行，是阿羅*訶，是謂我於佛而有法*靖。』因此故，我作是念：『如來、無所著、正盡覺所說法善，世尊弟子眾善趣向也。』」

[T1.797a12]「復次。世尊！我自若[4]居國，無過者令殺，有過者令殺，然在都坐，我故不得作如是說：『卿等並住，無人問卿事，人問我事，卿等不能斷此事，我能斷此事。』於其中間競論餘事，不待前論訖，我數見世尊大眾圍繞說法，彼中一人鼾[5]眠作聲，有人語彼：『君莫*鼾眠作聲，君不用聞世尊說法如甘露耶？』彼人聞已，即便默然，我作是念：『如來、無所著、正盡覺、眾調御士，甚奇，甚特。所以者何？以無刀杖，皆自如法，安隱快樂，是謂我於佛而有法靖[6]。』因此故，我作是念：『如來、無所著、正盡覺所說法善，世尊弟子眾善趣向也。』」

[T1.797a24]「復次。世尊！我於仙餘[7]及宿舊[8]二臣出錢財賜，亦常稱譽，彼命由我，然不能令彼仙餘及宿舊二臣下意恭敬、尊重、供養、奉事於我，如為世

---

[1]〔法〕－【宋】【元】【明】
[2] 訶＝漢【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 幾＝畿【宋】＊
[4]〔若〕－【宋】【元】【明】【聖】
[5] 鼾＝口汙【聖】＊
[6] 靖＝靜【宋】，＝慧【元】
[7] 仙餘～Isīdatta.
[8] 宿舊～Purāna.

尊下意恭敬、尊重、供養、奉事也。是謂我於佛而有法靖[1]，因此故，我作是念：『如來、無所著、正盡覺所說法善，世尊弟子眾善趣向也。』」

[T1.797b02]「復次。世尊！我昔出仙[2]，宿一小屋中，欲試仙餘、宿舊二臣，知彼頭向何處眠耶？為向我，為向世尊！於是，仙餘、宿舊二臣則於初夜結跏趺坐，默然*燕坐，至中夜聞世尊在某方處，便以頭向彼，以足向我，我見已，作是念：『此仙餘及宿舊二臣不在現勝事。是故彼不下意恭敬、尊重、供養、奉事於我，如為世尊下意恭敬、尊重、供養、奉事也。是謂我於佛而有法靖。』因此故，我作是念：『如來、無所著、正盡覺所說法善，世尊弟子眾善趣向也。』」

[T1.797b12]「復次。世尊！我亦國王，世尊亦法王，我亦剎利，世尊亦剎利，我亦拘薩羅，世尊亦拘薩羅，我年八十，世尊亦八十，世尊以此事故，我堪耐為世尊盡形壽，下意恭敬、尊重、供養、奉事。世尊！我今多事，欲還請辭。」

[T1.797b16]「世尊告曰：「大王，自知[3]時。」於是，拘薩羅王波斯匿聞佛所說，善受持誦，即從坐[4]起，稽首佛足，繞三匝而去。

[T1.797b19] 爾時，尊者阿難住世尊後，執拂侍佛。於是，世尊迴顧告曰：「阿難！若有[此>比]丘依彌婁離林住者，令彼一切集在講堂。」

[T1.797b21] 於是，尊者阿難受佛教已，若諸[此>比]丘依彌婁離林住者，令彼一切集在講堂，還詣佛所，白曰：「世尊！若有[此>比]丘依彌婁離林住者，彼一切已集講堂，唯願世尊自當知時。」

[T1.797b25] 於是，世尊將尊者阿難往至講堂比丘眾前，敷座而坐，告曰：「比丘！今拘薩羅王波斯匿在我前說此法莊嚴經已，即從座起，稽首我足，繞三匝而去，比丘！汝等當受持此法莊嚴經，善誦善習。所以者何？比丘，此法莊嚴經，如義如法，為梵行本，趣智趣覺，趣至涅槃，若族姓子至信、捨家、無家、學道者，亦當受持，當誦當習此法莊嚴經。」

[T1.797c04] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.797c06]法莊嚴經第二竟[5]三千三十七字[6])，

（二一四）中阿*含[1]例品

---

[1] 靖＝靜【宋】
[2] 仙＝征【宋】【元】【明】【聖】
[3] （當）＋知【宋】【元】【明】【聖】
[4] 坐＝座【宋】【元】【明】
[5]〔法莊…竟〕－【明】
[6]〔三千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】

(Ma.214)鞞訶提經 第三 [2] (第五後誦 [3])

[T1.797c09] 我聞如是。

[T1.797c09] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.797c10] 爾時，尊者阿難住舍衛國，於東園鹿子母堂為小事故，彼時尊者阿難將一比丘從舍衛出，往至東園鹿子母堂，所為事訖，將彼比丘還，往至勝林給孤獨園。

[T1.797c13] 爾時，拘薩羅 [4]王波斯匿 [5]乘一奔陀利 [6]象，與尸利阿荼 [7]大臣俱出舍衛國，尊者阿難遙見拘薩羅王波斯匿來已，問伴比丘，彼是拘薩羅王波斯匿耶？

[T1.797c17] 答曰：「是也。」

[T1.797c17] 尊者阿難便下道避至一樹下。」

[T1.797c18] 拘薩羅王波斯匿遙見尊者阿難在於樹間，問曰：「尸利阿荼，彼是沙門阿難耶？」

[T1.797c20] 尸利阿荼答曰：「是也。」

[T1.797c20] 拘薩羅王波斯匿告尸利阿荼大臣曰：「汝御此象，令至沙門阿難所，尸利阿荼受王教已，即御此象，令至尊者阿難所。」

[T1.797c23] 於是，拘薩羅王波斯匿問曰：「阿難！從何處來，欲至何處？」

[T1.797c24] 尊者阿難答曰：「大王，我從東園鹿子母堂來，欲至勝林給孤獨園。」

[T1.797c26] 拘薩羅王波斯匿語曰：「阿難！若於勝林無急事者，可共往至阿夷羅婆提河 [8]，為慈愍故，尊者阿難為拘薩羅王波斯匿默然而受。」

---

[1]〔中阿含〕－【明】
[2] ～《中部》M. 88. Bāhitika sutta. (鞞訶提經)，No.90.《佛說鞞摩肅經》(大正 1.913)
[3]〔第五後誦〕－【明】
[4] [>拘薩羅]～Kosala.
[5] [>波斯匿]～Pasenadi.
[6] [>一奔陀利]～Ekapuṇḍarīka
[7] [>尸利阿荼]～Sirivaḍḍha.
[8] . [>阿夷羅婆提河]～Aciravatī.

[T1.797c29] 於是，拘薩羅王波斯匿令尊者阿難在前，共至阿夷羅婆提河，到已下乘，取彼象薦[1]，四疊敷地，請尊者阿難！阿難！可坐此座。」

[T1.798a03] 尊者阿難答曰：「止，止，大王，但心靖[2]足。」

[T1.798a04] 拘薩羅王波斯匿再三請尊者阿難：「阿難！可坐此座。」

[T1.798a05] 尊者阿難亦再三語：「止，止，大王，但心*靖足，我自有尼師檀[3]，我今當坐。」於是，尊者阿難敷尼師檀，結跏趺坐。

[T1.798a07] 拘薩羅王波斯匿與尊者阿難共相問訊，却坐一面，語曰：「阿難！欲有所問，聽我問耶？」

[T1.798a09] 尊者阿難答曰：「大王，欲問便問，我問[4]已當思。」

[T1.798a11] 拘薩羅王波斯匿問曰：「阿難！如來頗行如是身行，謂此身行為沙門、梵志所憎惡耶？」

[T1.798a13] 尊者阿難答曰：「大王，如來不行如是身行，謂是身行為沙門、梵志聰明智慧及餘世間所憎惡也。」

[T1.798a15] 拘薩羅王波斯匿聞已，歎曰：「 善哉！善哉！阿難！我所不及，若聰明智慧及餘世間者，而阿難及之，阿難！若有不善相悉而毀呰稱譽者，我等不見彼真實也。阿難！若有善相悉而毀呰稱譽者，我見彼真實也。阿難！如來頗行如是身行，謂此身行為沙門、梵志聰明智慧及餘世間所憎惡耶？」

[T1.798a22] 尊者阿難答曰：「大王，如來終不行如是身行，謂此身行為沙門、梵志聰明智慧及餘世間所憎惡也。」

[T1.798a24] 拘薩羅王波斯匿問曰：「阿難！云何為身行耶？」

[T1.798a25] 尊者阿難答曰：「大王，不善身行也。」

[T1.798a26] 拘薩羅王波斯匿問曰：「阿難！云何不善身行耶？」

[T1.798a27] 尊者阿難答曰：「大王，謂身行有罪。」

[T1.798a28] 拘薩羅王波斯匿問曰：「阿難！云何身行有罪耶？」

---

[1] 薦＝韉【元】【明】
[2] 靖＝靜【宋】＊【元】＊【明】＊
[3] 檀＝壇【宋】＊【元】＊【明】＊
[4] 問＝聞【宋】【元】【明】【聖】

[T1.798a29] 尊者阿難答曰：「大王，謂行身行，智者所憎惡。」

[T1.798b01] 拘薩羅王波斯匿問曰：「阿難！云何智者所憎惡耶？」

[T1.798b02] 尊者阿難答曰：「大王，謂行身行、自害、害彼、俱害，滅智慧、惡相助，不得涅槃，不趣智，不趣覺，不趣涅槃，彼可行法不知如真，不可行法亦不知如真，可行法不知如真，不可行法亦不知如真已，可受法不知如真，不可受法亦不知如真，可受法不知如真，不可受法亦不知如真已，可斷法不知如真，不可斷法亦不知如真，可斷法不知如真，不可斷法亦不知如真已，可成就法不知如真，不可成就法亦不知如真，可成就法不知如真，不可成就法亦不知如真已，可行法便不行，不可行法而行，可行法便不[1]行，不可行法而行已，可受法便不受，不可受法而受，可受法便不受，不可受法而受已，可斷法便不[2]斷，不[3]可斷法而斷，可斷法便不斷，不可斷法而斷已，可成就法便不成就，不可成就法而成就，可成就法便不成就，不可成就法而成就已，不善法[4]轉增，善法轉減。是故如來終不行此法。」

[T1.798b21] 拘薩羅王波斯匿問曰：「阿難！如來何故終不行此法耶？」

[T1.798b22] 尊者阿難答曰：「大王，離欲、欲已盡，離恚、恚已盡，離癡、癡已盡，如來斷一切不善之法，成就一切善法，教師、妙師、善順師，將御、順御，善語、妙語、善順語。是故如來終不行此法。」

[T1.798b26] 拘薩羅王波斯匿歎曰：「 善哉！善哉！阿難！如來不可行法終不行。所以者何？以如來、無所著、正盡覺故。阿難！汝彼師[5]弟子，學道欲得無上安隱涅槃，汝尚不行此法，況復如來行此法耶？」

[T1.798c01] 拘薩羅王波斯匿問[6]曰：「阿難！如來頗行如是身行，謂此身行不為沙門、梵志聰明智慧及餘世間所憎惡耶？」

[T1.798c04] 尊者阿難答曰：「大王，如來必行如是身行，謂此身行不為沙門、梵志聰明智慧及餘世間所憎惡也。」

[T1.798c06] 拘薩羅王波斯匿問曰：「阿難！云何為身行耶？」

[T1.798c07] 尊者阿難答曰：「大王，謂善身行也。」

---

[1] 不＋（不）【宋】【元】【明】
[2] 不＋（可）【聖】
[3]〔不〕－【聖】
[4]〔法〕－【聖】
[5] 師＝即【聖】
[6]　（嘆）＋問【聖】

[T1.798c08] 拘薩羅王波斯匿問曰：「阿難！云何善身行耶？」

[T1.798c09] 尊者阿難答曰：「大王，謂身行無罪。」

[T1.798c10] 拘薩羅王波斯匿問曰：「阿難！云何身行無罪耶？」

[T1.798c11] 尊者阿難答曰：「大王，謂行身行，智者所不憎惡。」

[T1.798c12] 拘薩羅王波斯匿問曰：「阿難！云何智者所不憎惡。」

[T1.798c13] 尊者阿難答曰：「大王，謂行身行，不自害、不害彼、不俱害，覺慧、不惡相助，得涅槃，趣智趣覺，趣至涅槃，彼可行法知如真，不可行法亦知如真，可行法知如真，不可行法亦知如真已，可受法知如真，不可受法亦知如真，可受法知如真，不可受法亦知如真已，可斷法知如真，不可斷法亦知如真，可斷法知如真，不可斷法亦知如真已，可成就法知如真，不可成就法亦知如真，可成就法知如真，不可成就法亦知如真已，可行法而行，不可行法便不行，可行法而行，不可行法便不行已，可受法而受，不可受法便不受，可受法而受，不可受法便不受已，可斷法而斷，不可斷法便不斷，可斷法而斷，不可斷法便不斷已，可成就法而成就，不可成就法便不成就，可成就法而成就，不可成就法便不成就已，不善法轉減，善法轉增。是故如來必行此法。」

[T1.799a02] 拘薩羅王波斯匿問曰：「阿難！如來何故必行此法耶？ 」

[T1.799a03] 尊者阿難答曰：「大王，離欲、欲已盡，離恚、恚已盡，離癡、癡已盡，如來成就一切善法，斷一切不善之法，教師、妙師、善順師，將御、順御[1]，善語、妙語、善順語。是故如來必行此法。」

[T1.799a07] 拘薩羅王波斯匿歎曰：「 善哉！善哉！阿難！如來可行法必行。所以者何？以如來、無所著、正盡覺故。阿難！汝彼師弟子，學道欲得無上安隱涅槃，汝尚行此法，況復如來不行此法耶？阿難善說，我今歡喜，阿難快說，我極歡喜，若村輸租[2]阿難法應受者，我村輸*租為法布施。阿難！若象、馬、牛、羊阿難法應受者，我象、馬、牛、羊為法布施。阿難！若婦女及童女阿難法應受者，我婦女及童女為法布施。阿難！若生色寶阿難法應受者，我生色寶為法布施。阿難！如此之事阿難皆不應受，我拘薩羅家有一衣，名鞞訶提，彼第一，王以繖科[3]孔中盛送來為信。阿難！若拘薩羅家劫[4]貝諸衣者，此鞞訶提

---

[1]〔順御〕－【聖】
[2] 租＝祖【聖】＊
[3] 繖科＝傘柄【宋】【元】【明】
[4] （有）＋劫【宋】【元】【明】

於諸衣中最為第一。所以者何？此鞞訶提衣長十六肘，廣八肘，我此鞞訶提衣，今為法故布施阿難！阿難！當作三衣，持令彼拘薩羅家長夜增益福[1]。」

[T1.799a25] 尊者阿難答曰：「止，止，大王，但心*靖足，自有三衣，謂我所受。」

[T1.799a26] 拘薩羅王波斯匿白曰：「阿難！聽我說喻，慧者聞喻則解其義，猶如大雨時，此阿夷羅婆提河水滿，兩岸溢則流出，阿難見耶？」

[T1.799a29] 尊者阿難答曰：「見也。」

[T1.799a29] 拘薩羅王波斯匿白曰：「如是，阿難！若有三衣，當與比丘、比丘尼，漸學舍羅、舍羅磨[2]尼離。阿難！以此鞞訶提作三衣受持，令彼拘薩羅家長夜增[3]益福，尊者阿難為拘薩羅王波斯匿默然而受。」

[T1.799b05] 於是，拘薩羅王波斯匿知尊者阿難默然受已，鞞訶提衣為法布施尊者阿難！即從座起，繞三匝而去 。

[T1.799b07] 去後不久，尊者阿難持鞞訶提衣往詣佛所，稽首佛足，却住一面，白曰：「世尊！此鞞訶提衣，今日拘薩羅王波斯匿為法布施我，願世尊以兩足著鞞訶提衣上，令拘薩羅家長夜得增益福。」

[T1.799b12] 於是，世尊以兩足著鞞訶提衣上，告曰：「阿難！若汝與拘薩羅王波斯匿所共論者，今悉向我而廣說之。」

[T1.799b14] 於是，尊者阿難與拘薩羅王波斯匿所共論者，盡向佛說，叉手白曰：「我如是說，不誣謗世尊耶？真說如法，說法次法，不於如法有過失耶？」

[T1.799b17] 世尊答曰：「汝如是說，不誣謗我，真說如法，說法次法，亦不於如法有過失也。阿難！若拘薩羅王波斯匿以此義、以此句、以此文來問我者，我亦為拘薩羅王波斯匿以此義、以此句、以此文答彼也。阿難！此義如[4]汝所說，汝當如是受持。所以者何？此說即是其義。」

[T1.799b23] 佛說如是，尊者阿難及諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.799b26]鞞訶提經第三竟[5] (二千五百九十一字[1])，

---

[1] （得）＋福【宋】【元】【明】
[2] 磨＝摩【宋】【元】【明】
[3] （得）＋增【宋】【元】【明】
[4] 如＝而【元】【明】
[5]〔鞞訶…竟〕－【明】

（二一五）中阿含[2]例品

(Ma.215)第一得經 第四[3] (第五後誦[4])

[T1.799b29] 我聞如是。

[T1.799b29] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.799c01] 爾時，世尊告諸比丘：「若拘薩羅王波斯匿所有境界，教[5]令所及，彼中拘薩羅王波斯匿最為第一，拘薩羅王波斯匿者，變易有異，多聞聖弟子如是觀則厭彼，厭彼已，尚不欲第一，況復下賤，所謂日月境界，光明所照，所照諸方，謂千世界，此千世界，有千日、千月、千弗于[6]逮[7]、千閻浮洲[8]、千拘陀尼洲[9]，千欝單越[10]洲、千須彌山[11]、千四大[12]王天[13]、千四天王[14]子[15]、千三十三[16]天、千釋天因陀羅、千焰摩[17]天、千須焰摩天[18]子，千兜率[19]哆天[20]、千兜率*哆天子，千化樂天、千善化樂[21]天子、千他化樂[22]天、千自在天子，千梵世界[23]及千別梵，彼中有一梵大梵，富祐作化尊，造眾生父，已有當有，彼大梵者，變易有異，多聞聖弟子如是觀則厭彼，厭彼已，尚不欲第一，況復下賤，後時此世敗壞，此世敗壞時，眾生生晃昱天中，彼中有色乘意生，具足一切，支[24]節不減，諸根不壞，以喜為食，形色清淨，自身光照，飛乘虛空，住

---

[1]〔二千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[2]〔中阿含〕－【明】
[3] ～《增支部》A. X. 29. Kosala. (拘薩羅)
[4]〔第五後誦〕－【明】
[5] 教＝故【元】【明】
[6] [>弗于逮]～Pobbavid eha.
[7] 逮＋（洲）【宋】【元】【明】
[8] [>閻浮洲]～Jambudīpa.
[9] [>拘陀尼洲]～Aparagoyāna.
[10] 欝單越＝欝單曰～Uttarakuru.
[11] [>須彌山]～Sinerupabbatarāja.
[12] 大＝天【聖】
[13] 天＋（四）【聖】
[14]〔千四天王子〕－【宋】【元】【明】
[15] （王）＋子【聖】
[16] 三＝二【聖】
[17] [焰>焰]摩＝[火*僉]磨【聖】～Yāma.
[18]〔千須焰摩天〕－【聖】
[19] [>兜率哆天]～Tusita.
[20] 哆＝陀【宋】＊【元】＊【明】＊
[21] 善化樂＝化善樂～Nimmanarati.
[22] 他化樂～Paranimmitavasavattin.
[23] [>梵世界]～Brahmaloka.
[24] 支＝枝【宋】【聖】，＝肢【元】【明】

彼久遠，晃昱天者，變易有異，多聞聖弟子如是觀則厭彼，厭彼已，尚不欲第一，況復下賤。」

[T1.799c21]「復次，有四想，有比丘想小、想大、想無量、想無所有，眾生如是樂想意解者，變易有異，多聞聖弟子如是觀則厭彼，厭彼已，尚不欲第一，況復下賤，復次有八除處。云何為八？比丘，內有色想，外觀色，少善色惡色，彼色除已知、除已見，作如是想，是謂第一除處。復次，比丘！內有色想，外觀色，無量善色惡色，彼色除已知、除已見，作如是想，是謂第[一>二]除處。復次，比丘！內無色想，外觀色，少善色惡色，彼色除已知、除已見[1]，作如是想，是謂第三除處。復次，比丘！內無色想，外觀色，無量善色惡色，彼色除已知、除已見，作如是想，是謂第四除處。」

[T1.800a05]「復次，比丘！內無色想，外觀色，青青色，青見青光，猶如青水華，青青色，青見青光，猶如成就波羅[2]奈[3]衣，熟擣磨碾[4]，光色悅澤，青青色，青見青光。如是，比丘！內無色想，外觀色，青青色，青見青光，無量無量，淨意潤意，樂不憎惡，彼色除已知、除已見，作如是想，是謂第五除處。復次，比丘！內無色想，外觀色，黃黃色，黃見黃光，猶如頻頭歌羅華[5]，黃黃色，黃見黃光，猶如成就波羅*奈衣，熟擣磨*碾，光色悅澤，黃黃色，黃見黃光。如是，比丘！內無色想，外觀色，黃黃色，黃見黃光，無量無量，淨意潤意，樂不憎惡，彼色除已知、除已見，作如是想，是謂第六除處。」

[T1.800a17]「復次，比丘！內無色想，外觀色，赤赤色，赤見赤光，猶如加尼歌羅華[6]，赤赤色，赤見赤光，猶如成就波羅*奈衣，熟擣磨碾，光色悅澤，赤赤色，赤見赤光。如是，比丘！內無色想，外觀色，赤赤色，赤見赤光，無量無量，淨意潤意，樂不憎惡[7]，彼色除已知、除已見，作如是想，是謂第七除處。復次，比丘！內無色想，外觀色，白白色，白見白光，猶如[大>太]白白色，白見白光，猶如成就波羅*奈衣，熟擣磨碾，光色悅澤，白白色，白見白光。如是，比丘！內無色想，外觀色，白白色，白見白光，無量無量，淨意潤意，樂不憎惡，彼色除已知、除已見，作如是想，是謂第八除處，眾生如是樂除處意解者，變易有異，多聞聖弟子如是觀則厭彼，厭彼已，尚不欲第一，況復下賤。」

---

[1] 見＝具【聖】
[2] [>波羅奈]～Bārāṇa.
[3] 奈＝柰【明】＊
[4] 碾＝搌【宋】【聖】＊
[5] [>頻頭歌羅華]～Bandhujīvaka-puppha.
[6] [>加尼歌羅華]～Kaṇṇikāra-puppha.
[7] 惡＝樂【聖】

[T1.800b03]「復次，有十一切處。云何為十？有比丘無量地處修一，思惟上下諸方不二，無量水處，無量火處，無量風處，無量青處，無量黃處，無量赤處，無量白處，無量空[1]處，無量識處第十修一，思惟上下諸方不二，眾生如是樂一切處意解者，變易有異，多聞聖弟子如是觀則厭彼，厭彼已，尚不欲第一，況復下賤，是謂第一清淨說，施設最第一，謂我無、我不有，及為彼證故，施設於道，是謂第一外依見處、最依見處，謂度一切色想，乃至得非有想非無想處成就遊，是謂於現法中第[>一]，求趣至涅槃，於現法中最施設涅槃，謂六更樂處生、滅、味、離、慧見如真，及為彼證故，施設於道。」

[T1.800b16]「復次，有四斷。云何為四？有斷樂遲，有斷樂速，有斷苦遲，有斷苦速，於中若有斷樂遲者，是樂遲故，說下賤，於中若有斷樂[2]欲。若有人習此法初無厭足，若復有人習飲酒者初無厭足，若復有人修習睡眠初無厭足，是謂比丘若人有習此三法者初無厭足，亦復不能至滅盡處。是故諸比丘常當捨離此三法不親近之，如是諸比丘當作是學。」爾時諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

供養三善根　　三痛三覆露　相法三不覺　　愛敬無厭足

[T1.800b28]第一得經第四竟[3] (一千三百七十一字[4])，

中阿含經卷第五十九 (一萬七百七十二字[5]) (第五後誦[6])[7]

[T1.800c01]若有[8]斷樂速者，此斷樂速故，此斷亦說下賤，於中[苦>若]有斷苦遲者，此斷苦遲故，此斷亦說下賤，於中若有斷苦速者，此斷苦速故，此斷非廣布、不流布，乃至天人亦不稱廣布，我斷廣布流布，乃至天人亦稱廣布。云何我斷廣布流布，乃至天人亦稱廣布，謂八支[9]正道，正見，乃至正定為八，是謂我斷廣布流布，乃至天人亦稱廣布，我如是，諸沙門、梵志虛偽妄言，不善不真，實誣謗於我，彼實有眾生施設斷壞，沙門瞿曇無所施設，彼實有眾生施設斷壞，若此無我不如是說，彼如來於現法中斷知[10]一切，得息、止、滅、涅槃。」

[T1.800c13] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

---

[1] 空＝坐【聖】
[2] 若有斷樂…厭足百二十一字聖宋元明大異出卷末【聖】
[3]〔第一…竟〕－【明】
[4]〔一千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[5]〔一萬…字〕－【宋】【元】【明】
[6]〔第五後誦〕－【宋】【元】【明】
[7] ＋（光明皇后御願文）【聖】
[8] 若有以下二百十三字依元本出校合【宋】【元】【明】
[9] 支＝枝【宋】【聖】
[10]〔知〕－【聖】

中阿*含經

卷第六十 (Ma.216~222)

東晉 罽賓三藏 瞿曇僧伽提婆 譯[1]

（二一六）例品

(Ma.216)愛生經[2] 第五 (第五後誦)[3]

[T1.800c21] 我聞如是。

[T1.800c21] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.800c22] 爾時，有一梵志，唯有一兒，心極愛念，忍意溫潤，視之無厭，忽便命終，命終之後，梵志愁憂，不能飲食，不著衣裳，亦不塗香，但至塚哭，憶兒臥處。於是，梵志周遍[4]彷徉，往詣佛所，共相問訊，却坐一面。

[T1.800c26] 世尊問曰：「梵志，今汝諸根不似自心住耶？」

[T1.800c27] 梵志答曰：「今我[根>諸]根何由當得自心住耶？所以者何？唯有一兒，心極愛念，忍意溫潤，視之無厭，忽便命終，彼命終已，我便愁憂，不能飲食，不著衣裳，亦不塗香，但至塚哭，憶兒臥處。」

[T1.801a03] 世尊告曰：「如是，梵志。如是，梵志，若愛生時，便生愁慼、啼哭、憂苦，煩惋、懊惱。」

[T1.801a04] 梵志語曰：「瞿曇！何言若愛生時，便生愁慼、啼哭、憂苦，煩惋、懊惱耶？瞿曇！當知若愛生時，生喜心樂[5]。」

---

[1]〔東晉…婆譯〕十三字－【聖】

[2] ～M. 87. Piyajātika sutta. (愛生經)，No. 91.《說婆羅門子命終愛念不離經》，《增壹阿含 13.3 經》(大正 2.571b)

[3]〔第五後誦〕－【明】

[4] 遍＝遊【明】

[5] 心樂＝樂心【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.801a07] 世尊如是至再三告曰：「如是，梵志。如是，梵志，若愛生時，便生愁慼、啼哭、憂苦，煩惋、懊惱。」

[T1.801a09] 梵志亦至再三語曰：「瞿曇！何言若愛生時，便生愁慼、啼哭、憂苦，煩惋、懊惱耶？瞿曇！當知若愛生時，生喜*心樂。」

[T1.801a11] 時，彼梵志聞佛所說，不說言是，但說非已，即從坐[1]起，奮頭而去。

[T1.801a13] 爾時，勝林於其門前有眾多市郭兒而共博戲，梵志遙見已，便作是念：「世中若有聰明智慧者，無過博戲人，我今寧可往彼，若與瞿曇所共論者，盡向彼說。」於是，梵志往至眾多市郭兒共博戲所，若與世尊所共論者，盡向彼說。

[T1.801a18] 眾多市郭博戲兒聞已，語曰：「梵志，何言若愛生時，便生愁慼、啼哭、憂苦、煩惋、懊惱耶？梵志，當知若愛生時，生喜*心樂。」

[T1.801a21] 梵志聞已，便作[2]是念：「博戲兒所說，正與我同。」頷[3]頭而去。

[T1.801a22] 於是，此論展轉廣布，乃入王宮，拘薩羅[4]王波斯匿[5]聞沙門瞿曇作如是說：「若愛生時，便生愁慼、啼哭、憂苦，煩惋、懊惱。」

[T1.801a25] 語末利[6]皇后曰：「我聞瞿曇作如是說，若愛生時，便生愁慼、啼哭、憂苦、煩惋、懊惱。」

[T1.801a26] 末利皇后聞已，白曰：「如是，大王。如是，大王，若愛生時，便生愁慼、啼哭、憂苦、煩惋、懊惱。」

[T1.801a28] 拘薩羅王波斯匿語末利皇后曰：「聞師宗說，弟子必同，沙門瞿曇是汝師，故作如是說，汝是彼弟子，故作如是說，若愛生時，便生愁慼、啼哭、憂苦，煩惋、懊惱。」

[T1.801b03] 末利皇后白曰：「大王，若不信者，可自往問，亦可遣使。」

[T1.801b04] 於是，拘薩羅王波斯匿即告那利鵞伽[1]梵志曰：「汝往沙門瞿曇所，為我問訊沙門瞿曇聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？作如是語：

---

[1] 坐＝座【宋】＊【元】＊【明】＊
[2] 作＝生【宋】【元】【明】
[3] 頷＝奮【元】【明】，＝鎮【聖】
[4] [>拘薩羅]～Kosala.
[5] [>波斯匿]～Pasenadi.
[6] [>末利]～Mallikā.

『拘薩羅王波斯匿問訊聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？沙門瞿曇實如是說，若愛生時，便生愁慼、啼哭、憂苦，煩惋、懊惱耶？那利鴦伽，若沙門瞿曇有所說者，汝當善受持誦。所以者何？如是之人，終不妄言。』」

[T1.801b13] 那利鴦伽梵志受王教已，即詣佛所，共相問訊，却坐一面，白曰：「瞿曇！拘薩羅王波斯匿問訊聖體康強，安快無病，起居輕便，氣力如常耶？沙門瞿曇實如是說，若愛生時，便生愁慼、啼哭、憂苦，煩惋、懊惱耶？」

[T1.801b17] 世尊告曰：「那利鴦伽，我今問汝，隨所解答，那利鴦伽，於意云何？若使有人，母命終者，彼人發狂，心大錯亂，脫衣裸形，隨路遍走，作如是說：『諸賢，見我母耶？諸賢，見我母耶？』那利鴦伽，以此事故可知，若愛生時，便生愁慼、啼哭、憂苦，煩惋、懊惱，如是父、兄[2]、姊、妹也。兒婦命終，彼人發狂，心大錯亂，脫衣裸形，隨路遍走，作如是說：『諸賢，見我兒婦耶？諸賢，見我兒婦耶？』那利鴦伽，以此事故可知，若愛生時，便生愁慼、啼哭、憂苦，煩惋、懊惱，那利鴦伽，昔有一人，婦暫[3]歸家，彼諸親族欲奪更嫁，彼女聞之，即便速疾還至夫家，語其夫曰：『君，今當知我親族強欲奪君婦嫁與他人，欲作何計。』於是，彼人即執婦臂，將入屋中，作如是語：『俱至後世，俱至後世，便以利刀斫殺其婦，并自害[已>己]。』那利鴦伽，以此事故可知，若愛生時，便生愁慼、啼哭、憂苦，煩惋、懊惱。」

[T1.801c06] 那利鴦伽梵志聞佛所說，善受持誦，即從*坐起，繞三匝而去，還至拘薩羅王波斯匿所，白曰：「天[4]王，沙門瞿曇實如是說，若愛生時，便生愁慼、啼哭、憂苦，煩惋、懊惱。」

[T1.801c10] 拘薩羅王波斯匿聞已，語末利皇后曰：「沙門瞿曇實如是說，若愛生時，便生愁慼、啼哭、憂苦，煩惋、懊惱。」

[T1.801c12] 末利皇后白曰：「大王，我問大王，隨所解答，於意云何？王愛鞞留羅[5]大將耶？」

[T1.801c14] 答曰：「實愛。」

[T1.801c14] 末利復問，若鞞留羅大將變易異者，王當云何？」

[T1.801c15] 答曰：「末利，若鞞留羅大將變易異者，我必[1]生愁慼、啼哭、憂苦，煩惋、懊惱。」

---

[1] [>那利鴦伽]～Nālijaṅgha.
[2] 兄＝母【聖】
[3] 暫＝蹔【聖】
[4] 天＝大【宋】【元】【明】
[5] [>鞞留羅]～Viḍūḍabha.

[T1.801c17] 末利白曰：「以此事故，知愛生時，便生愁慼、啼哭、憂苦，煩惋、懊惱。」

[T1.801c18] 末利復問，王愛尸利阿荼大臣，愛一奔陀[2]利象，愛婆夷利[3]童女，愛雨日蓋[4]，愛加尸及拘薩羅國[5]耶？」

[T1.801c21] 答曰：「實愛。」

[T1.801c21] 末利復問，若加尸及拘薩羅國變易異者，王當云何？」

[T1.801c22] 答曰：「末利，我所具足五欲功德自娛樂者，由彼二國，若加尸及拘薩羅國當變易異者，我乃至無命，況復不生愁慼、啼哭、憂苦，煩惋、懊惱耶？」

[T1.801c25] 末利白曰：「以此事故，知愛生時，便生愁慼、啼哭、憂苦，煩惋、懊惱。」

[T1.801c27] 末利問王：「於意云何？為愛我耶？」

[T1.801c28] 王復答曰：「我實愛汝。」

[T1.801c28] 末利復問：「若我一旦變易異者，王當云何？」

[T1.801c29] 答曰：「末利，若汝一旦變易異者，我必生愁慼、啼哭、憂苦，煩惋、懊惱。」

[T1.802a02] 末利白曰：「以此事故，知愛生時，便生愁慼、啼哭、憂苦，煩惋、懊惱。」

[T1.802a03] 拘薩羅王波斯匿語曰：「末利，從今日去沙門瞿曇因此事是我師，我是彼弟子，末利，我今自歸於佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自歸，乃至命盡。」

[T1.802a07] 佛說如是，拘薩羅王波斯匿及[6]末利皇后聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.802a10]愛生經第五竟[1](一千六百七十八字)[2]，

---

[1] 必＝心【元】【明】
[2] 陀＝他【聖】
[3] [>婆夷利]～Vajīrī.
[4] 雨日蓋～Vāsabhā.
[5] [>加尸及拘薩羅國]～Kāsi-kosalā.
[6] 及＝王【宋】【元】【明】

（二一七）中阿*含[3]例品

(Ma.217)八城經第六[4] (第五後誦)[5]

[T1.802a12] 我聞如是。

[T1.802a12] 一時，佛般涅槃後不久，眾多上尊名德比丘遊波羅利子[6]城，住在雞園[7]。

[T1.802a13] 是時，第十居士八城[8]持多妙貨，往至波羅利子城治生販賣。於是，第十居士八城，彼多妙貨，貨賣速售，大得財利，歡喜踊躍，出波羅利子城，往詣鷄園眾多上尊名德比丘所，稽首禮足，却坐一面，時，諸上尊名德比丘為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜，無量方便為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已，默然而住。

[T1.802a20] 時，諸上尊比丘為彼說法，勸發渴仰，成就歡喜已。於是，第十居士八城白曰：「上尊，尊者阿難今在何處，我欲往見。」

[T1.802a23] 諸上尊比丘答曰：「居士，尊者阿難今在鞞舍離獼猴江邊高樓臺觀，若欲見者，可往至彼。」

[T1.802a25] 爾時，第十居士八城即從坐[9]起，稽首諸上尊比丘足，繞三匝而去，往詣尊者阿難所，稽首禮足，却坐一面，白曰：「尊者阿難！欲有所問，聽我問耶？」

[T1.802a28] 尊者阿難告曰：「居士，欲問便問，我聞已當思。」

[T1.802b01] 居士問曰：「尊者阿難！世尊、如來、無所著、正盡覺成就慧眼，見第一義，頗說一法，若聖弟子住漏盡無餘，得心解脫耶？」

---

[1]〔愛生…竟〕－【明】
[2]〔一千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] ～《中部》M. 52. Aṭṭhakanāgara sutta. (八城經)，No.92.《十支居士八城人經》(大正 1.916a)，《增支部》A.11.17. Dasama 十支
[5]〔第五後誦〕－【明】
[6] [>波羅利子]～Pāṭaliputta.
[7] [>雞園]～Kukkuṭārāma.
[8] [>第十居士八城]～Dasama-gahapati-Aṭṭakanāgara.
[9] 坐＝座【宋】【元】【明】

[T1.802b03] 尊者阿難答曰：「如是。」

[T1.802b04] 居士問曰：「尊者阿難！世尊、如來、無所著、正盡覺成就慧眼，見第一義。云何說有一法，若聖弟子住漏盡無餘，得心解脫耶？」

[T1.802b07] 尊者阿難答曰：「居士，多聞聖弟子離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊，彼依此處，觀法如法，彼依此處，觀法如法，住彼得漏盡者，或[1]有是處，若住彼，不得漏盡者，或因此法，欲法、愛法、樂法、靖[2]法，愛樂歡喜，斷五下分結盡，化生於彼而般涅槃，得不退法，終不還此。」

[T1.802b13]「復次，居士，多聞聖弟子心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，彼依此處，觀法如法，彼依此處，觀法如法，住彼得漏盡者，或有是處，若住彼，不得漏盡者，或因此法，欲法、愛法、樂法、*靖法，愛樂歡喜，斷五下分結盡，化生於彼而般涅槃，得不退法，終不還此，是謂如來、無所著、正盡覺成就慧眼，見第一義，說有一法，若聖弟子住漏盡無餘，得心解脫。」

[T1.802b26]「復次，居士，多聞聖弟子度一切色想，乃至非有想非無想處成就遊，彼於此處，觀法如法，彼於此處，觀法如法，住彼得漏盡者，或有是處，若住彼，不得漏盡者，或因此法，欲法、愛法、樂法、*靖法，愛樂歡喜，斷五下分結盡，化生於彼而般涅槃，得不退法，終不還此，是謂如來、無所著、正盡覺成就慧眼，見第一義，說有一法，若聖弟子住漏盡無餘，得心解脫。」

[T1.802c05] 於是，第十居士八城即從*坐起，偏袒著衣，叉手白曰：「尊者阿難！甚奇，甚特，我問尊者阿難一甘露門，而尊者阿難一時為我說於十二甘露法門，今此十二甘露法門必隨所依，得安隱出，尊者阿難！猶去村不遠，有大屋舍，開十二戶，若人所為故，入彼屋中，復一人來，不為彼人求義及饒益，不求安隱而燒彼屋，尊者阿難！彼人必得於此十二戶隨所依出，得自安隱，如是我問尊者阿難一甘露門，而尊者阿難一時為我說於十二甘露法門，今此十二甘露法門必隨所依，得安隱出，尊者阿難！梵志法、律中說不善法、律，尚供養師，況復我不供養大師尊者阿難耶？」

[T1.802c18] 於是，第十居士八城即於夜中，施設極妙淨美豐饒食噉含消，施設食已，平旦敷座，請鷄園眾及鞞舍離眾皆集一處，自行澡水，則以極妙淨美豐

---

[1] 或＝成【宋】
[2] 靖＝靜【宋】＊【元】＊【明】＊

饒食噉含消，手自斟酌，令得飽滿，食訖收器，行澡水竟，持五百種物買屋別施尊者阿難！尊者阿難受已，施與招提僧。

[T1.802c24] 尊者阿難所說如是，第十居士八城聞尊者阿難所說，歡喜奉行。

[T1.802c27]八城經第六竟[1](一千一百七十字)[2]，

（二一八）中阿*含[3]例品

(Ma.218)阿那律陀經[4] 第七(第五後誦)[5]

[T1.803a01] 我聞如是。

[T1.803a01] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.803a02] 爾時，諸比丘則於晡時從燕[6]坐起，往詣尊者阿那律陀所，稽首禮足，却坐一面，白曰：「我等欲有所問，聽乃敢陳，

[T1.803a04] 尊者阿那律陀答曰：「諸賢！欲問便問，我聞已當思，

[T1.803a06] 時，諸比丘即便問曰。云何比丘賢死、賢命終耶？

[T1.803a07] 尊者阿那律陀答曰：「諸賢！若比丘離欲、離惡不善之法，至得第四禪[7]成就遊者，是謂比丘賢死、賢命終也。

[T1.803a09] 時，諸比丘又復問曰：「比丘極是賢死、賢命終耶？

[T1.803a10] 尊者阿那律陀答曰：「諸賢！比丘不極是賢死、賢命終也。復次。諸賢！若比丘得如意足、天耳、他心智、宿命智、生死智、漏盡，得無漏，心解脫、慧解脫，於現法中自知自覺自作證成就遊，生已盡，梵行已立，所作已辦，不更受有，知如真，是謂比丘賢死、賢命終也。

[T1.803a16] 時，諸比丘又復問曰：「比丘極是賢死、賢命終耶？

---

[1]〔八城…竟〕－【明】
[2]〔一千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[3]〔中阿含〕－【明】
[4] 經＋（上）【明】
[5]〔第五後誦〕－【明】
[6] 燕＝宴【宋】【元】【明】
[7] 禪＋（若比丘離欲離惡不善之法）【宋】【元】【明】

[T1.803a17] 尊者阿那律陀答曰：「諸賢！比丘極是賢死、賢命終也。

[T1.803a18] 於是，諸比丘聞尊者阿那律陀所說，善受持誦已，即從坐[1]起，稽首尊者阿那律陀足，繞三匝而去，

[T1.803a20] 尊者阿那律陀所說如是，彼諸比丘聞尊者阿那律陀所說，歡喜奉行。

[T1.803a23]阿那律陀經第七竟[2] (三百五十三字)[3]，

（二一九）中阿*含[4]例品

(Ma.219)阿那律陀經[5] 第八 (第五後誦)[6]

[T1.803a26] 我聞如是。

[T1.803a26] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.803a27] 爾時，諸比丘則於晡時從燕[7]坐起，往詣尊者阿那律陀所，稽首禮足，却坐一面，白曰：「我等欲有所問，聽乃敢陳，

[T1.803a29] 尊者阿那律陀答曰：「諸賢！欲問便問，我聞已當思，

[T1.803b01] 時，諸比丘即便問曰。云何比丘不煩熱死、不煩熱命終耶？

[T1.803b03] 尊者阿那律陀答曰：「諸賢！若比丘見質直及得聖愛戒者，是謂比丘不煩熱死、不煩熱命終，

[T1.803b05] 時，諸比丘又復問曰：「比丘極是不煩熱死、不煩熱命終耶？

[T1.803b06] 尊者阿那律陀答曰：「諸賢！比丘不極是不煩熱死、不煩熱命終。復次。諸賢！若比丘觀內身如身，乃至觀覺、心、法如法，是謂比丘不煩熱死、不煩熱命終，

---

[1] 坐＝座【宋】【元】【明】
[2]〔阿那…竟〕－【明】
[3]〔三百…字〕－【明】【聖】
[4]〔中阿含〕－【明】
[5] 經＋（下）【明】
[6]〔第五後誦〕－【明】
[7] 燕＝宴【宋】【元】【明】

[T1.803b09] 時，諸比丘又復問曰：「比丘極是不煩熱死、不煩熱命終耶？

[T1.803b11] 尊者阿那律陀答曰：「諸賢！比丘不極是不煩熱死、不煩熱命終。復次。諸賢！若比丘心與慈俱，遍滿一方成就遊，如是二三四方，四維上下，普周一切，心與慈俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，如是悲、喜心與捨俱，無結無怨，無恚無諍，極廣甚大，無量善修，遍滿一切世間成就遊，是謂比丘不煩熱死、不煩熱命終，

[T1.803b19] 時，諸比丘又復問曰：「比丘極是不煩熱死、不煩熱命終耶？

[T1.803b20] 尊者阿那律陀答曰：「諸賢！比丘不極是不煩熱死、不煩熱命終。復次。諸賢！若比丘度一切色想，乃至非有想非無想處成就遊，是謂比丘不煩熱死、不煩熱命終，

[T1.803b23] 時，諸比丘又復問曰：「比丘極是不煩熱死、不煩熱命終耶？

[T1.803b25] 尊者阿那律陀答曰：「諸賢！比丘不極是不煩熱死、不煩熱命終。復次，諸賢。若有[1]比丘度一切非有想非無想處，想知滅身觸成就遊，及慧觀諸漏已盡者，是謂比丘不煩熱死、不煩熱命終，

[T1.803b29] 時，諸比丘又復問曰：「比丘極是不煩熱死、不煩熱命終耶？

[T1.803c01] 尊者阿那律陀答曰：「諸賢！比丘極是不煩熱死、不煩熱命終，

[T1.803c03] 時，諸比丘聞尊者阿那律陀所說，善受持誦，即從坐[2]起，稽首尊者阿那律陀足繞三匝而去，

[T1.803c05] 尊者阿那律陀所說如是，彼諸比丘聞尊者阿那律陀所說，歡喜奉行。

[T1.803c07]阿那律陀經第八竟[3] (六百五十一字)[4]，

（二二○）中阿*含[5]例品

[1]〔有〕－【聖】
[2] 坐＝座【宋】【元】【明】
[3]〔阿那…竟〕－【明】
[4]〔六百…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[5]〔中阿含〕－【明】

(Ma.220)見經 第九[1] (第五後誦)[2]

[T1.803c09] 我聞如是。

[T1.803c09] 一時，佛般涅槃後不久，尊者阿難遊王舍城，在竹林迦[3]蘭哆[4]園。

[T1.803c10] 於是，有一異學梵志，是尊者阿難未出家時友[5]，中後彷徉，往詣尊者阿難所，共相問訊，却坐一面，語尊者阿難！欲有所問，聽我問耶？」

[T1.803c13] 尊者阿難答曰：「梵志，欲問便問，我聞已當思。」

[T1.803c14] 異學梵志即便問曰：「所謂此見捨置除却，不盡通說，謂世有常，世無有常，世有底，世無底，命即是身，為命異身異，如來終，如來不終，如來終不終，如來亦非終亦非不終耶？沙門瞿曇知此諸見如應知耶？」

[T1.803c19] 尊者阿難答曰：「梵志，所謂此見，世尊、如來、無所著、正盡覺捨置除却，不盡通說，謂世有常，世無有常，世有底，世無底，命即是身，為命異身異，如來終，如來不終，如來終不終，如來亦非終亦非不終耶？世尊、如來、無所著、正盡覺知此諸見如應也。」

[T1.803c25] 異學梵志又復問曰：「所謂此見，沙門瞿曇捨置除却，不盡通說，謂世有常，世無有常，世有底，世無[6]底，命即是身，為命異身異，如來終，如來不終，如來終不終，如來亦非終亦非不終耶？沙門瞿曇云何知此諸見如應耶？」

[T1.804a01] 尊者阿難答曰：「梵志，所謂此見，世尊、如來、無所著、正盡覺捨置除却，不盡通說，謂世有常，世無有常，世有底，世無底，命即是身，為命異身異，如來終，如來不終，如來終不終，如來亦非終亦非不終耶？異學梵志，如是具[7]、如是受、如是趣、如是生、如是至後世，所謂此是世尊、如來、無所著、正盡覺捨置除却，不盡通說，謂世有常，世無有常，世有底，世無底，命即是身，為命異身異，如來終，如來不終，如來終不終，如來亦非終亦非不終耶？如是知此諸見，此諸見應如是知。」

---

[1] ～《增支部》A. VII. 51. Avyākata. (無記)，No.93.《佛說邪見經》(大正 1.917a)
[2] 〔第五後誦〕－【明】
[3] 迦＝加【宋】【元】
[4] 哆＝陀【宋】【元】【明】
[5] 友＝往反【聖】
[6] 無＋（有）【宋】【元】【明】
[7] 具＝見【聖】

[T1.804a12] 異學梵志白曰：「我今自歸於阿難。」

[T1.804a13] 尊者阿難告曰：「梵志，汝莫自歸於我，如我自歸於佛，汝亦應自歸[1]。」

[T1.804a14] 異學梵志白曰：「阿難！我今自歸於佛、法及比丘眾，唯願世尊受我為優婆塞，從今日始，終身自[2]歸，乃至命盡。」

[T1.804a17] 尊者阿難所說如是，彼異學梵志聞尊者阿難所說，歡喜奉行。

[T1.804a20]見經第九竟[3] (六百二十五字)[4]，

（二二一）中阿*含[5]例品

(Ma.221)箭喻經 第十[6]第五後誦)[7]

[T1.804a23] 我聞如是。

[T1.804a23] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.804a24] 爾時，尊者鬘童子[8]獨安靖[9]處，燕[10]坐思惟，心作是念：「所謂此見，世尊捨置除却，不盡通說，謂世有常，世無有常，世有底，世無底，命即是身，為命異身異，如來終，如來不終，如來終不終，如來亦非終亦非不終耶？我不欲此，我不忍此，我不可此，若世尊為我一向說世有常者，我從彼學梵行，若世尊不為我一向說世有常者，我當難詰彼，捨之而去，如是世無有常，世有底，世無底，命即是身，為命異身異，如來終，如來不終，如來終不終，如來亦非終亦非不終耶？若世尊為我一向說此是真諦，餘皆虛妄言者，我從彼學梵行，若世尊不為我一向說此是真諦，餘皆虛妄言者，我當難詰彼，捨之而去。」

---

[1] 歸＋（於佛）【宋】【元】【明】
[2] 身自＝自身【宋】
[3]〔見經…竟〕－【明】
[4]〔六百…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[5]〔中阿含〕－【明】
[6] ～《中部》M. 63. (Cūḷa) Māluṅya sutta. (摩羅迦小經)， No.94.《箭喻經》(大正 1.917b)
[7]〔第五後誦〕－【明】
[8] [>鬘童子]～Māluṅkyaputta.
[9] 靖＝靜【宋】＊【元】＊【明】＊
[10] 燕＝宴【宋】＊【元】＊【明】＊

[T1.804b09] 於是，尊者鬘童子則於晡時，從*燕坐起，往詣佛所，稽首作禮，却坐一面，白曰：「世尊！我今獨安*靖處，*燕坐思惟，心作是念：所謂此見，世尊捨置除却，不盡通說，謂世有常，世無有常，世有底，世無底，命即是身，為命異身異，如來終，如來不終，如來終不終，如來亦非終亦非不終耶？我不欲此，我不忍此，我不可此，若世尊一向知世有常者。世尊！當為我說，若世尊不一向知世有常者，當直言不知也。如是世無有常，世有底，世無底，命即是身，為命異身異，如來終，如來不終，如來終不終，如來亦非終亦非不終耶？若世尊一向知此是真諦，餘皆虛妄言者。世尊！當為我說，若世尊不一向知此是真諦，餘皆虛妄言者，當直言不知也。」

[T1.804b24] 世尊問曰：「鬘童子，我本頗為汝如是說世有常，汝來從我學梵行耶？」

[T1.804b26] 鬘童子答曰：「不也。世尊！」

[T1.804b26]「如是世無有常，世有底，世無底，命即是身，為命異身異，如來終，如來不終，如來終不終，如來亦非終亦非不終耶？我本頗為汝如是說此是真諦，餘皆虛妄言，汝來從我學梵行耶？」

[T1.804c02] 鬘童子答曰：「不也。世尊！」

[T1.804c02]「鬘童子，汝本頗向我說，若世尊為我一向說世有常者，我當從世尊學梵行耶？」

[T1.804c04] 鬘童子答曰：「不也。世尊！」

[T1.804c05]「如是世無有常，世有底，世無底，命即是身，為命異身異，如來終，如來不終，如來終不終，如來亦非終亦非不終耶？鬘童子，汝本頗向我說，若世尊為我一向說此是真諦，餘皆虛妄言者，我當從世尊學梵行耶？」

[T1.804c10] 鬘童子答曰：「不也。世尊！」

[T1.804c10] 世尊告曰：「鬘童子，我本不向汝有所說，汝本亦不向我有所說，汝愚癡人，何故虛妄誣謗我耶？」

[T1.804c13] 於是，尊者鬘童子為世尊面訶責[1]數，內懷憂慼，低頭默然，失辯無言，如有所伺。

[1] 責＝嘖【聖】

[T1.804c14] 於是，世尊面訶鬘童子已，告諸比丘：「若有愚癡人作如是念：『若世尊不為我一向說世有常者，我不從世尊學梵行，彼愚癡人竟不得知，於其中間而命終也。如是世無有常，世有底，世無底，命即是身，為命異身異，如來終，如來不終，如來終不終，如來亦非終亦非不終耶？』若有愚癡人作如是念：『若世尊不為我一向說此是真諦，餘皆虛妄言者，我不從世尊學梵行。』彼愚癡人竟不得知於其中間而命終也。」

[T1.804c24]「猶如有人身被毒箭，因毒箭故，受極重苦，彼見[1]親族憐念愍傷，為求利義饒益安隱，便求箭醫，然彼人者方作是念：未可拔箭，我應先知彼人如是姓、如是名、如是生，為長、短、麤、細，為黑、白、不黑不白，為剎利族，梵志、居士、工師族，為東方、南方、西方、比[2]方耶？未可拔箭，我應先知彼弓為柘、為桑、為槻、為角耶？未可拔箭，我應先知弓扎[3]，彼[4]為是牛筋、為麞鹿筋、為是絲耶？未可拔箭，我應先知弓色為黑、為白、為赤、為黃耶？未可拔箭，我應先知弓弦為筋、為絲、為紵、為麻耶？未可拔箭，我應先知箭簳為木、為竹耶？未可拔箭，我應先知箭纏為是牛筋、為麞鹿筋、為是絲耶？未可拔箭，我應先知箭羽為飄[防*鳥[5]]毛、為鵰鷲毛、為鵾鷄毛、為鶴毛耶？未可拔箭，我應先知箭[金*適]為錍[6]、為矛、為鈹刀耶？未可拔箭，我應先知作箭[金*適]師如是姓、如是名、如是生，為長、短、麤、細，為黑、白、不黑不白，為東方、西方、南方、北方耶？彼人竟不得知，於其中間而命終也。」

[T1.805a16]「若有愚癡人作如是念：『若世尊不為我一向說世有常者，我不從世尊學梵行，彼愚癡人竟不得知，於其中間而命終也。如是世無有常，世有底，世無底，命即是身，為命異身異，如來終，如來不終，如來終不終，如來亦非終亦非不終耶？』若有愚癡人作如是念：『若世尊不為我一向說此是真諦，餘皆虛妄言者，我不從世尊學梵行。』彼愚癡人竟不得知，於其中間而命終也。」

[T1.805a25]「世有常，因此見故，從我學梵行者，此事不然，如是世無有常，世有底，世無底，命即是身，為命異身異，如來終，如來不終，如來終不終，如來亦非終亦非不終耶？因此見故，從我學梵行者，此事不然，世有常，有此見故，不從我學梵行者，此事不然，如是世無有常，世有底，世無底，命即是身，為命異身異，如來終，如來不終，如來終不終，如來亦非終亦非不終耶？有此見故，不從我學梵行者，此事不然。」

---

[1] 見＝有【宋】【元】【明】【聖】
[2] 比＝北【宋】【元】【明】【聖】
[3]〔扎〕－【聖】
[4]〔彼〕－【宋】【元】【明】
[5] 飄[防*鳥]＝[票*鳥][陵*鳥]【宋】【元】【明】，＝鷄[(阿-可+(素-糸+夕))*鳥]【聖】
[6]　（為鑇）＋為【宋】，（為齊）＋為【元】【明】【聖】

[T1.805b06]「世有常，無此見故，從我學梵行者，此事不然，如是世無有常，世有底，世無底，命即是身，為命異身異，如來終，如來不終，如來終不終，如來亦非終亦非不終耶？無此見故，從我學梵行者，此事不然，世有常，無此見故，從我學梵行者，此事不然，如是世無有常，世有底，世無底，命即是身，為命異身異，如來終，如來不終，如來終不終，如來亦非終亦非不終耶？無此見故，不從我學梵行者，此事不然。」

[T1.805b15]「世有常者，有生、有老、有病、有死，愁慼、啼哭、憂苦、懊惱，如是此淳大苦陰生，如是世無常，世有底，世無底，命即是身，為命異身異，如來終，如來不終，如來終不終，如來亦非終亦非不終者，有生、有老、有病、有死，愁慼、啼哭、憂苦、懊惱，如是此淳大苦陰生。」

[T1.805b21]「世有常，我不一向說此，以何等故，我不一向說此，此非義相應，非法相應，非梵行本，不趣智、不趣覺、不趣涅槃。是故我不一向說此，如是世無常，世有底，世無底，命即是身，為命異身異，如來終，如來不終，如來終不終，如來亦非終亦非不終，我不一向說此，以何等故，我不一向說此，此非義相應，非法相應，非梵行本，不趣智、不趣覺、不趣涅槃。是故我不一向說此也。何等法我一向說耶？此義[1]我一向說，苦[2]、苦習[3]、苦滅、苦滅道跡，我一向說，以何等故，我一向說此，此是義相應，是法相應，是梵行本，趣智、趣覺、趣於涅槃。是故我一向說此，是為不可說者則不說，可說者則說，當如是持，當如是學。」

[T1.805c07] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.805c09]箭喻經第十竟[4](二千二十七字)[5]，

（二二二）中阿*含[6]例品

(Ma.222)例經 第十一[7] (第五後誦[8])

[T1.805c12] 我聞如是。

---

[1] 義＝苦【聖】
[2]〔苦〕－【聖】
[3] 習＝集【元】【明】
[4]〔箭喻…竟〕－【明】
[5]〔二千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[6]〔中阿含〕－【明】
[7]〔例品〕－【宋】【元】
[8]〔第五後誦〕－【明】

[T1.805c12] 一時，佛遊舍衛國，在勝林給孤獨園。

[T1.805c13] 爾時，世尊告諸比丘：「若欲斷無明者，當修四念處。云何欲斷無明者，當修四念處，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，觀內身如身，[云>至]觀覺、心、法如法，是謂欲斷無明者，當修四念處，如是數斷、解脫、過度、拔絕、滅止、總知、別知，欲別知無明者，當修四念處。云何欲別知無明者，當修四念處，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，觀內身如身，至觀覺、心、法如法，是謂欲別知無明者，當修四念處。」

[T1.805c26]「欲斷無明者，當修四正斷。云何欲斷無明者，當修四正斷，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，已生惡不善法為斷故，發欲求方便，精勤舉心斷，未生惡不善法為不生故，發欲求方便，精勤舉心斷，未生善法為生故，發欲求方便，精勤舉心斷，已生善法為久住不忘、不退、增長、廣大修習具足故，發欲求方便，精勤舉心斷，是謂欲斷無明者，當修四正斷，如是數斷、解脫、過度、拔絕、滅止、總知、別知，欲別知無明者，當修四正斷。云何欲別知無明者，當修四正斷，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，已生惡不善法為斷故，發欲求方便，精勤舉心斷，未生惡不善法為不生故，發欲求方便，精勤舉心斷，未生善法為生故，發欲求方便，精勤舉心斷，已生善法為久住不忘、不退、增長、廣大修習具足故，發欲求方便，精勤舉心斷，是謂欲別知無明者，當修四正斷。」

[T1.806a18]「欲斷無明者，當修四如意足。云何欲斷無明者，當修四如意足，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修欲定如意足，成就斷行，依離、依無欲、依滅，趣非品，如是修精進定、心定也。修思惟定如意足，成就斷行，依離、依無欲、依滅，趣非品，是謂欲斷無明者，當修四如意足，如是數斷、解脫、過度、拔絕、滅止、總知、別知，欲別知無明者，當修四如意足。云何欲別知無明者，當修四如意足，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修欲定如意足，成就斷行，依離、依無欲、依滅，趣非品，如是修精進定、心定也。修思惟定如意足，成就斷行，依離、依無欲、依滅，趣非品，是謂欲別知無明者，當修四如意足。」

[T1.806b06]「欲斷無明者，當修四禪。云何欲斷無明者，當修四禪，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊，是謂欲斷無明者，當修四禪，如是數斷、解脫、過度、拔絕、滅止、總知、別知，欲別知無明者，當修四禪。云何欲別知無明者，當修四禪，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊，是謂欲別知無明者，當修四禪。」

[T1.806b19]「欲斷無明者，當修五根。云何欲斷無明者，當修五根，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修信根、精進、念、定、慧根，是謂欲斷無明者，當修五根，如是發[1]斷、解脫、過度、拔絕、滅止、總知、別知，欲別知無明者，當修五根。云何欲別知無明者，當修五根，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修信根、精進、念、定、慧根，是謂欲別知無明者，當修五根。」

[T1.806c01]「欲斷無明者，當修五力。云何欲斷無明者，當修五力，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修信力、精進、念、定、慧力，是謂欲斷無明者，當修五力，如是數斷、解脫、過度、拔絕、滅止、總知、別知，欲別知無明者，當修五力。云何欲別知無明者，當修五力，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修信力、精進、念、定、慧力，是謂欲別知無明者，當修五力。」

[T1.806c13]「欲斷無明者，當修七覺支[2]。云何欲斷無明者，當修七覺*支，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修念覺*支、依離、依無欲、依滅，趣非品，如是修法、精進、喜、息、定也。修捨覺*支，依離、依無欲、依滅，趣非品，是謂欲斷無明者，當修七覺*支，如是數斷、解脫、過度、拔絕、滅止、總知、別知，欲別知無明者，當修七[3]覺*支。云何欲別知無明者，當修七覺*支，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修念覺*支、依離、依無欲、依滅，趣非品，如是修法、精進、喜、息、定也。

---

[1] 發＝數【宋】【元】【明】
[2] 支＝枝【宋】【聖】＊
[3] 七＝十【元】

修捨覺*支，依離、依無欲、依滅，趣非品，是謂欲別知無明者，當修七覺*支。」

[T1.806c29]「欲斷無明者，當修八*支聖道。云何欲斷無明者，當修八*支聖道，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修正見，乃至修正定為八，是謂欲斷無明者，當修八*支聖道，如是數斷、解脫、過度、拔絕、滅止、總知、別知，欲別知無明者，當修八*支聖道。云何欲別知無明者，當修八*支聖道，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修正見，乃至修正定為八，是謂欲別知無明者，當修八*支聖道。」

[T1.807a12]「欲斷無明者，當修十一切處。云何欲斷無明者，當修十一切處，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修第一地一切處，四維上下不二、無量，如是修水一切處、火一切處、風一切處、青一切處、黃一切處、赤一切處、白一切處、無量空處一切處，修第十無量識處一切處，四維上下不二、無量，是謂欲斷無明者，當修十一切處，如是數斷、解脫、過度、拔絕、滅止、總知、別知，欲別知無明者，當修十一切處。云何欲別知無明者，當修十一切處，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修第一地一切處，四維上下不二、無量，如是修水一切處、火一切處、風一切處、青一切處、黃一切處、赤一切處、白一切處、無量空處一切處，修第十無量識處一切處，四維上下不二、無量，是謂欲別知無明者，當修十一切處。」

[T1.807b03]「欲斷無明者，當修十無學法。云何欲斷無明者，當修十無學法，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修無學正見，乃至修無學正智，是謂欲斷無明者，當修十無學法，如是數斷、解脫、過度、拔絕、滅止、總知、別知，欲別知無明者，當修十無學法。云何欲別知無明者，當修十無學法，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修無學正見，乃至修無學正智，是謂欲別知無明者，當修十無學法。」

[T1.807b16]「如無明，行亦如是，如行，識亦如是，如識，名色亦如是，如名色，六處亦如是，如六處，更樂亦如是，如更樂，覺亦如是，如覺，愛亦如是，如愛，受亦如是，如受，有亦如是，如有，生亦如是，欲斷老死者，當修四念處。云何欲斷老死者，當修四念處，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至

五蓋、心穢、慧羸，觀內身如身，至觀覺、心、法如法，是謂欲斷老死者，當修四念處，如是數斷、解脫、過度、拔絕、滅止、總知、別知，欲別知老死者，當修四念處。云何欲別知老死者，當修四念處，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，觀內身如身，乃至觀覺、心、法如法，是謂欲別知老死者，當修四念處。」

[T1.807c04]「欲斷老死者，當修四正斷。云何欲斷老死者，當修四正斷，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，已生惡不善法為斷故，發欲求方便，精勤舉心斷，未生惡不善法為不生故，發欲求方便，精勤舉心斷，未生善法為生故，發欲求方便，精勤舉心斷，已生善法為久住不忘、不退、增長、廣大修習具足故，發欲求方便，精勤舉心斷，是謂欲斷老死者，當修四正斷，如是數斷、解脫、過度、拔絕、滅止、總知、別知，欲別知老死者，當修四正斷。云何欲別知老死者，當修四正斷，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，已生惡不善法為斷故，發欲求方便，精勤舉心斷，未生惡不善法為不生故，發欲求方便，精勤舉心斷，未生善法為生故，發欲求方便，精勤舉心斷，已生善法為久住不忘、不退、增長、廣大修習具足故，發欲求方便，精勤舉心斷，是謂欲別知老死者，當修四正斷。」

[T1.807c26]「欲斷老死者，當修四如意足。云何欲斷老死者，當修四如意足，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修欲定[1]如意足，成就斷行，依離、依無欲、依滅，趣非品，如是修精進定、心定也。修思惟定如意足，成就斷行，依離、依無欲、依滅，趣非品，是謂欲斷老死者，當修四如意足，如是數斷、解脫、過度、拔絕、滅止、總知、別知，欲別知老死者，當修四如意足。云何欲別知老死者，當修四如意足，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修欲定如意足，成就斷行，依離、依無欲、依滅，趣非品，如是修精進定[2]、心定也。修思惟定如意足，成就斷行，依離、依無欲、依滅，趣非品，是謂欲別知老死者，當修四如意足。」

[T1.808a14]「欲斷老死者，當修四禪。云何欲斷老死者，當修四禪，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊，是謂欲斷老死者，當修四禪，如是數斷、解脫、過度、拔絕、滅

[1] 定＝四【宋】【元】
[2] （定禪）＋定【宋】【元】【明】

止、總知、別知，欲別知老死者，當修四禪。云何欲別知老死者，當修四禪，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，離欲、離惡不善之法，至得第四禪成就遊，是謂欲別知老死者，當修四禪。」

[T1.808a27]「欲斷老死者，當修五根。云何欲斷老死者，當修五根，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修信根、精進、念、定、慧根，是謂欲斷老死者，當修五根，如是數斷、解脫、過度、拔絕、滅止、總知、別知，欲別知老死者，當修五根。云何欲別知老死者，當修五根，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修信根、精進、念、定、慧根，是謂欲別知老死者，當修五根。」

[T1.808b09]「欲斷老死者，當修五力。云何欲斷老死者，當修五力，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修信力、精進、念、定、慧力，是謂欲斷老死者，當修五力，如是數斷、解脫、過度、拔絕、滅止、總知、別知，欲別知老死者，當修五力。云何欲別知老死者，當修五力，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修信力、精進、念、定、慧力，是謂欲別知老死者，當修五力。」

[T1.808b21]「欲斷老死者，當修七覺*支。云何欲斷老死者，當修七覺*支，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修念覺*支、依離、依無欲、依滅，趣非品，如是修法、精進、喜、息、定也。修捨覺*支，依離、依無欲、依滅，趣非品，是謂欲斷老死者，當修七覺*支，如是數斷、解脫、過度、拔絕、滅止、總知、別知，欲別知老死者，當修七覺*支。云何欲別知老死者，當修七覺*支，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修念覺*支、依離、依無欲、依滅，趣非品，如是修法、精進、喜、息、定也。修捨覺*支，依離、依無欲、依滅，趣非品，是謂欲別知老死者，當修七覺*支。」

[T1.808c08]「欲斷老死者，當修八*支聖道。云何欲斷老死者，當修八*支聖道，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修正見，乃至修正定為八，是謂欲斷老死者，當修八*支聖道，如是數斷、解脫、過度、拔絕、滅止、總知、別知，欲別知老死者，當修八*支聖道。云何欲別知老死者，當修八

*支聖道，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修正見，乃至修正定為八，是謂欲別知老死者，當修八*支聖道。」

[T1.808c21]「欲斷老死者，當修十一切處。云何欲斷老死者，當修十一切處，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修第一地一切處，四維上下不二、無量，如是修水一切處、火一切處、風一切處、青一切處、黃一切處、赤一切處、白一切處、無量空處一切處，修第十無量識處一切處，四維上下不二、無量，是謂欲斷老死者，當修十一切處，如是數斷、解脫、過度、拔絕、滅止、總知、別知，欲別知老死者，當修十一切處。云何欲別知老死者，當修十一切處，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修第一地一切處，四維上下不二、無量，如是修水一切處、火一切處、風一切處、青一切處、黃一切處、赤一切處、白一切處、無量空處一切處，修第十無量識處一切處，四維上下不二、無量，是謂欲別知老死者，當修十一切處。」

[T1.809a11]「欲斷老死者，當修十無學法。云何欲斷老死者，當修十無學法，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修無學正見，乃至修無學正智，是謂欲斷老死者，當修十無學法，如是數斷、解脫、過度、拔絕、滅止、總知、別知，欲別知老死者，當修十無學法。云何欲別知老死者，當修十無學法，若時如來出世，無所著、等正覺、明行成為、善逝、世間解、無上士、道法御、天人師，號佛、眾祐，彼斷，乃至五蓋、心穢、慧羸，修無學正見，乃至修無學正智，是謂欲別知老死者，當修十無學法。」

[T1.809a24] 佛說如是，彼諸比丘聞佛所說，歡喜奉行。

[T1.809a26]例經第十一竟[1] (四千八百七十三字[2])。

中阿*含經卷第六十 (一萬一千三百七十七字[3])

中阿*含例品第四竟[4] (二萬二千一百四十九字)[1]。[2] [3]

---

[1]〔例經…竟〕－【明】
[2]〔四千…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[3]〔一萬…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[4] 中阿含例品第四竟＝例品第十八竟【明】[－【明】>]

後出中阿*含經記

[T1.809b03] 昔釋法師於長安出中阿含、增壹、阿毘曇、廣說、僧伽羅叉、阿毘曇心、婆須蜜、三法度、二眾從解脫、從解脫緣，此諸經律，凡百餘万言，並違本失旨，名不當實，依俙[4]屬辭，句味亦差，良由譯人造次未善晉言故使爾耳，會燕秦交戰，關中大亂，於是良匠背世故，以弗獲改正，乃經數年，至關東小清，冀州道人釋法和、罽賓沙門僧伽提和招集門徒，俱遊洛邑，四、五年中研講遂精，其人漸曉漢語，然後乃知先之失也。於是，和乃追恨先失，即從提和更出阿毘曇及廣說也。自是之後，此諸經律漸皆譯正，唯中阿*含、僧伽羅叉、婆須蜜、從解脫緣未更出耳，會僧伽提和進遊京師，應運流化，法施江左。

[T1.809b18] 于時晉國大長者，尚書令衛將軍、東亭侯優婆塞王元琳常護持正法，以為己任，即檀越也。為出經故，造立精舍，延請有道釋慧持等義學沙門四十餘人，施諸所安，四事無乏，又豫請經師僧伽羅叉，長供數年，然後乃以晉隆安元年丁酉之歲十一月十日，於揚州丹陽郡建康縣界，在其精舍，更出此中阿*含，請罽賓沙門僧伽羅叉令誦胡本，請僧伽提和轉胡為晉，豫州沙門道慈筆受，吳國李寶、康[5]化共書，至來二年，戊戌之歲六月二十五日草本始訖。此中阿*含凡有五誦，都十八品，有二百二十二經，合五十一萬四千八百二十五字，分為六十卷。

[T1.809c03] 時，遇國大難，未即正書，乃至五年辛丑之歲，方得正寫，校定流傳，其人傳譯，准之先出，大有不同，於此二百二十二經中，若委靡順從，則懼失聖旨，若從本制，名類多異舊，則逆忤先習，不怗眾情，是以其人不得自專，時有改本，從舊名耳，然五部異同，孰知其正，而道慈愚意怏怏，於違本故諸改名者，皆抄出注下，新舊兩存，別為一卷，與目錄相連，以示於後，將來諸賢令知同異，得更採訪，脫遇高明外國善晉胡方言者，訪其得失，刊之從正。[6]

【經文資訊】大正新脩大藏經 第 1 冊 No.26 中阿含經

【版本記錄】CBETA 電子佛典 Rev. 1.41 (Big5)，完成日期：2004/12/02

【編輯說明】本資料庫由中華電子佛典協會（CBETA）依大正新脩大藏經所編輯

---

[1]〔二萬…字〕－【宋】【元】【明】【聖】
[2] 卷末題下【宋】【元】品末題下【明】＋（第五後誦訖）五字
[3]〔後出…從正〕六百一十一字－【宋】【元】【明】
[4] 俙＝悕【聖】
[5] 康＝唐【聖】
[6] ＋（光明皇后願文）【聖】

【原始資料】蕭鎮國大德提供，張文明大德提供，北美某大德提供
【其他事項】本資料庫可自由免費流通，詳細內容請參閱【中華電子佛典協會資料庫版權說明】
【經文整理】法雨道場 2007.10.

大正藏以高麗版大藏經為底版。【宋】=宋本,A.D.1239，【元】元本,A.D.1290，【明】明本,A.D.1601，【聖】正倉院聖語藏本(天平寫經 A.D.729-)，‘=’ 異本等於，‘—’ 異本無，‘＋’ 異本有，

‘＊’下同，‘～’Pāḷi equivalent